

IBM Security zSecure

メッセージ・ガイド



注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[869 ページの『特記事項』](#)に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM® Security zSecure 製品のバージョン 2 リリース 4 モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典：

SC27-5643-07
IBM Security zSecure
Messages Guide
December 2019

発行：

日本アイ・ビー・エム株式会社

担当：

トランスレーション・サービス・センター

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 2019.

目次

本書について	vii
zSecure 資料.....	vii
関連資料.....	xi
アクセシビリティ.....	xii
技術研修.....	xii
サポート情報.....	xii
適切なセキュリティーの実践に関する注意事項.....	xii
第 1 章概要	1
リリース情報.....	1
zSecure 製品の概要.....	1
zSecure のメッセージ・タイプ.....	2
第 2 章 CKF メッセージ	5
CKF メッセージ 0 から 99.....	6
CKF メッセージ 100 から 199.....	23
CKF メッセージ 200 から 299.....	40
CKF メッセージ 300 から 399.....	54
CKF メッセージ 400 から 499.....	69
CKF メッセージ 500 から 599.....	69
CKF メッセージ 600 から 699.....	85
CKF メッセージ 700 から 799.....	86
CKF メッセージ 800 から 899.....	90
CKF メッセージ 900 から 999.....	91
CKF メッセージ 1000 から 1099.....	101
第 3 章 CKG メッセージ	103
CKG メッセージ 100 から 199.....	103
CKG メッセージ 400 から 499.....	108
CKG メッセージ 500 から 599.....	111
CKG メッセージ 600 から 699.....	117
CKG メッセージ 700 から 799.....	133
CKG メッセージ 800 から 899.....	139
CKG メッセージ 900 から 999.....	141
第 4 章 CKN メッセージ	153
CKN メッセージ 0 から 99.....	154
CKN メッセージ 100 から 199.....	170
CKN メッセージ 200 から 299.....	188
CKN メッセージ 600 から 899.....	193
CKN メッセージ 900 から 999.....	195
第 5 章 CKQ メッセージ	201
CKQ メッセージ 0 から 999.....	201
第 6 章 CKR メッセージ	205
CKR メッセージ 0 から 99.....	205
CKR メッセージ 100 から 199.....	225
CKR メッセージ 200 から 299.....	243

CKR メッセージ 300 から 399.....	260
CKR メッセージ 400 から 499.....	277
CKR メッセージ 500 から 599.....	293
CKR メッセージ 600 から 699.....	311
CKR メッセージ 700 から 799.....	328
CKR メッセージ 800 から 899.....	337
CKR メッセージ 900 から 999.....	342
CKR メッセージ 1000 から 1099.....	362
CKR メッセージ 1100 から 1199.....	378
CKR メッセージ 1200 から 1299.....	394
CKR メッセージ 1300 から 1399.....	414
CKR メッセージ 1400 から 1499.....	430
CKR メッセージ 1500 から 1599.....	448
CKR メッセージ 1600 から 1699.....	458
CKR メッセージ 1700 から 1799.....	459
CKR メッセージ 1800 から 1899.....	477
CKR メッセージ 1900 から 1999.....	477
CKR メッセージ 2000 から 2099.....	494
CKR メッセージ 2100 から 2199.....	507
CKR メッセージ 2200 から 2299.....	515
CKR メッセージ 2300 から 2399.....	533
CKR メッセージ 2400 から 2499.....	552
CKR メッセージ 2500 から 2599.....	570
CKR メッセージ 2600 から 2699.....	580
CKR メッセージ 2700 から 2799.....	583
CKR メッセージ 2800 から 2899.....	584
CKR メッセージ 2900 から 2999.....	588
CKR メッセージ 3000 から 3099.....	588
CKR メッセージ 3100 から 3199.....	597
CKR メッセージ 3700 から 3799.....	598

第 7 章 CKV メッセージ..... 599

CKV メッセージ 0 から 99.....	599
CKV メッセージ 100 から 199.....	603
CKV メッセージ 200 から 299.....	607
CKV メッセージ 300 から 399.....	607
CKV メッセージ 400 から 499.....	610
CKV メッセージ 700 から 799.....	610
CKV メッセージ 800 から 899.....	611

第 8 章 CKX メッセージ 613

CKX メッセージ 0 から 99.....	614
CKX メッセージ 100 から 199.....	616
CKX メッセージ 200 から 299.....	625
CKX メッセージ 300 から 399.....	627
CKX メッセージ 700 から 799.....	630
CKX メッセージ 800 から 899.....	630
CKX メッセージ 900 から 999.....	633

第 9 章 CQT メッセージ..... 643

CQT メッセージ 0 から 99.....	643
CQT メッセージ 100 から 199.....	654
CQT メッセージ 200 から 299.....	663
CQT メッセージ 900 から 999.....	664

第 10 章 C2P メッセージ..... 667

C2P メッセージ 0 から 999 (zSecure の開始タスク).....	668
--	-----

C2P メッセージ 1000 から 1999 (事前定義 RACF アラート).....	726
C2P メッセージ 2000 から 2999 (事前定義 ACF2 アラート).....	738
C2P メッセージ 4000 から 6999 (インストール定義アラート).....	746
C2P メッセージ 8000 から 8999.....	746

第 11 章 C2R メッセージ 749

第 12 章 C2RU メッセージ..... 765

第 13 章 C2RW メッセージ..... 773

第 14 章 C2X メッセージ..... 775

第 15 章 C4R メッセージ..... 791

C4R メッセージ 0 から 399.....	791
C4R メッセージ 400 から 499.....	792
C4R メッセージ 500 から 599.....	798
C4R メッセージ 600 から 699.....	808
C4R メッセージ 700 から 799.....	818
C4R メッセージ 800 から 899.....	825
C4R メッセージ 900 から 999.....	826

第 16 章 B8R メッセージ..... 831

第 17 章 ICH メッセージおよび IRR メッセージ..... 851

第 18 章 BB メッセージ..... 853

I 第 19 章 zSecure Visual のログ・メッセージ..... 855

zSecure Visual のメッセージ - 「Agent」 カテゴリー.....	855
zSecure Visual のメッセージ - 「CA」 カテゴリー.....	856
zSecure Visual のメッセージ - 「Crm」 カテゴリー.....	856
zSecure Visual のメッセージ - 「CRMCrypt」 カテゴリー.....	856
zSecure Visual のメッセージ - 「CrmIODB」 カテゴリー.....	857
zSecure Visual のメッセージ - 「Crypt」 カテゴリー.....	857
zSecure Visual のメッセージ - 「Dispatch」 カテゴリー.....	857
zSecure Visual のメッセージ - 「Engine」 カテゴリー.....	858
zSecure Visual のメッセージ - 「Fdcrmio」 カテゴリー.....	858
zSecure Visual のメッセージ - 「IPCser」 カテゴリー.....	858
zSecure Visual のメッセージ - 「LCM」 カテゴリー.....	859
zSecure Visual のメッセージ - 「LDB」 カテゴリー.....	860
zSecure Visual のメッセージ - 「Route」 カテゴリー.....	860
zSecure Visual のメッセージ - 「TCPIP Conn」 カテゴリー.....	860

第 20 章 その他のエラー・メッセージ..... 863

C エラー.....	863
LC エラー.....	863
EPR エラー.....	863

付録 A 問題解決に対するサポート..... 865

知識ベースの検索.....	865
フィックスの入手.....	865
IBM ソフトウェア・サポートへの登録.....	865
各週のサポート更新情報の入手.....	866
IBM サポートへの連絡.....	866

特記事項.....	869
商標.....	870
索引.....	871

本書について

このガイドでは、IBM Security zSecure 2.4.0 製品の使用時に提示される可能性があるメッセージおよび戻りコードを示します。また、各メッセージおよびエラーについて説明します。このガイドに記載されている、zSecure Manager for RACF® z/VM® に関連する情報は、同製品のバージョン 1.11.2 を対象としています。

このガイドには、次の情報が含まれています。

- zSecure 製品の概要と各製品の機能説明
- メッセージおよびエラーとそれらの重大度レベルを示すリスト
- 各メッセージの説明
- サポート情報

このガイドは、zSecure 製品の管理およびトラブルシューティングを担当するシステム管理者を対象としています。本書をお読みになる際には、zSecure 製品の概念とコマンドを理解しておく必要があります。

zSecure 資料

IBM Security zSecure Suite ライブラリーおよび IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM ライブラリーの資料には、非ライセンス出版物とライセンス出版物が含まれています。このセクションでは、両方のライブラリーと、それらへのアクセス手順をリストします。

zSecure の非ライセンス出版物は、[IBM Security zSecure Suite \(z/OS\)](#) または [IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM](#) の IBM Knowledge Center から入手できます。IBM Knowledge Center は、IBM 製品資料のホームです。IBM Knowledge Center をカスタマイズし、独自の資料の集合を作成して、使用するテクノロジー、製品、およびバージョンを表示するように画面を設計できます。トピックにコメントを追加したり、Eメール、LinkedIn、Twitter で話題を共有したりすることで、IBM や同僚と対話することもできます。ライセンス出版物の入手手順については、[ライセンス文書の入手](#)を参照してください。

製品の IBM Knowledge Center	URL
IBM Security zSecure Suite (z/OS)	www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS2RWS/welcome
IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM	www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSQQGJ/welcome

ライセンス文書の入手

ライセンスの付いていない zSecure V2.4.0 資料は一般公開されています。zSecure のライセンス文書は、ライセンス交付を受けたお客様のみが入手できます。ライセンス文書へのアクセスを要求する方法については、この資料で説明します。

zSecure V2.4.0 のライセンス文書は、[IBM Security zSecure Suite ライブラリー](#)で提供しています。

zSecure V2.4.0 のライセンス文書にアクセスするには、お客様の IBM ID およびパスワードを使用して、[IBM Security zSecure Suite ライブラリー](#)にサインインする必要があります。ライセンス文書が表示されない場合は、ご使用の IBM ID がまだ登録されていないと思われる。IBM ID を登録するには、zDoc@nl.ibm.com宛にメールを送信してください。お客様ご自身のお名前と IBM ID のほかに所属組織のお客様名および番号もお知らせください。IBM ID を持っていない場合は、[IBM アカウントの作成](#)を行うことができます。登録の確認を知らせるメールをお送りいたします。

IBM Security zSecure Suite ライブラリー

IBM Security zSecure Suite ライブラリーには、非ライセンス出版物とライセンス出版物が含まれています。

非ライセンス出版物は、[IBM Security zSecure Suite](#) の IBM Knowledge Center から入手できます。非ライセンス出版物は、クライアントのみが入手できます。ライセンス出版物の入手 ライセンス出版物を入手に

については、[ライセンス出版物の入手](#)を参照してください。ライセンス出版物には、Lで始まる資料番号 (LC43-2107 など) があります。

IBM Security zSecure Suite ライブラリーには、次の資料があります。

- 『このリリースについて』には、リリース固有の情報に加え、zSecure 固有ではない、より一般的な情報が含まれています。リリース固有の情報には、以下が含まれます。
 - 新機能: zSecure V2.4.0 の新機能および機能拡張をリストします。
 - リリース・ノート: 各製品リリースのリリース・ノートで、IBM Security zSecure 製品の重要なインストール情報、非互換性の警告、制限事項、および既知の問題を提供しています。
 - 資料: zSecure Suite および zSecure Manager for RACF z/VM のライブラリーをリストして、簡潔に説明します。また、資料にはライセンス出版物を入手するための手順が含まれています。
 - 関連資料: zSecure に関連する情報のタイトルおよびリンクのリストです。
 - 問題解決に対するサポート: 問題解決策が IBM の知識ベースで見つかる場合がよくあります。また、製品のフィックスが提供されている場合があります。IBM ソフトウェア・サポートに登録すると、IBM の週次 E メール通知サービスを購入できます。IBM サポートでは、製品の問題点に関するサポートや、よくある質問への回答を提供するほか、問題解決の支援も行っています。

- **IBM Security zSecure CARLa-Driven Components** インストールおよびデプロイメント・ガイド, SA88-7162

次の IBM Security zSecure コンポーネントのインストールと構成に関する情報を記載しています。

- IBM Security zSecure Admin
- RACF、CA-ACF2、および CA-Top Secret 用の IBM Security zSecure Audit
- RACF および CA-ACF2 用の IBM Security zSecure Alert
- IBM Security zSecure Visual
- RACF、CA-ACF2、および CA-Top Secret 用の IBM Security zSecure Adapters for SIEM

- **IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF** スタートアップ・ガイド, GI88-4318

IBM Security zSecure Admin および IBM Security zSecure Audit の製品機能、およびユーザーが標準的なタスクや手順を実行する方法を紹介する、実地のガイドが記載されています。このマニュアルは、新規ユーザーが基本的な IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF システム 機能の実用的な知識を身につけるとともに、使用可能な他の製品機能を調べる方法を理解するのに役立つことを目的としています。

- **IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF** ユーザー・リファレンス・マニュアル, LA88-7161

IBM Security zSecure Admin および IBM Security zSecure Audit の製品機能について説明しています。ユーザーが ISPF パネルから管理機能および監査機能を実行する方法が記載されています。このマニュアルには、トラブルシューティング・リソース、および zSecure Collect for z/OS® コンポーネントのインストール手順も記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- **IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF** 行コマンドおよび基本コマンドの要約, SC43-2894

簡略な説明とともに、行コマンドおよび基本 (ISPF) コマンドをリストしています。

- **IBM Security zSecure Audit for ACF2 Getting Started**, GI13-2325

zSecure Audit for CA-ACF2 製品機能について説明し、ユーザーが標準的なタスクや手順 (ログオン ID、規則、グローバル・システム・オプションの分析など) を実行し、レポートを実行するための方法を記載しています。また、このマニュアルには、ACF2 用語に慣れていないユーザー向けに一般的な用語のリストも記載されています。

- **IBM Security zSecure Audit for ACF2 User Reference Manual**, LC27-5640

zSecure Audit for CA-ACF2 を使用してメインフレームのセキュリティー管理およびモニタリングを行う方法について説明します。このガイドには、新規ユーザー向けの情報として、CA-ACF2 の使用や ISPF パネルからの機能へのアクセスに関する概要および概念情報が記載されています。上級ユーザー向けに、このマニュアルには、詳細な参照情報、トラブルシューティングのヒント、zSecure Collect for z/OS の使用に関する情報、およびユーザー・インターフェースのセットアップに関する詳細情報が記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure Audit for Top Secret User Reference Manual, LC27-5641*

zSecure Audit for CA-Top Secret 製品機能について説明し、ユーザーが標準的なタスクや手順を実行する方法を記載しています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure CARLa コマンド・リファレンス, LC43-2107*

CARLa Auditing and Reporting Language (CARLa) についての、一般ユーザーと上級ユーザーの両方の参照情報が記載されています。CARLa は、zSecure を使用してセキュリティーの管理レポートおよび監査レポートを作成するためのプログラミング言語です。「CARLa コマンド・リファレンス」には、データの選択および zSecure レポートの作成のための NEWLIST タイプおよびフィールドに関する詳細情報も記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure Alert ユーザー・リファレンス・マニュアル, SA88-7156*

セキュリティー・サーバー (RACF) または CA-ACF2 で保護された z/OS システムのリアルタイム・モニターである IBM Security zSecure Alert の構成、使用、およびトラブルシューティングの方法を説明しています。

- *IBM Security zSecure Command Verifier ユーザー・ガイド, SA88-7158*

RACF コマンドが入力されたときに RACF ポリシーを実施することによって、RACF メインフレーム・セキュリティーを保護するために IBM Security zSecure Command Verifier をインストールし、使用方法を説明しています。

- *IBM Security zSecure CICS Toolkit ユーザー・ガイド, SA88-7159*

CICS® 環境から RACF 管理機能を提供するために、IBM Security zSecure CICS Toolkit をインストールし、使用方法を説明しています。

- *IBM Security zSecure メッセージ・ガイド, SA88-7160*

すべての IBM Security zSecure コンポーネントのメッセージ解説を記載しています。このガイドは、各製品または機能に関連するメッセージ・タイプについて説明し、IBM Security zSecure 製品のすべてのメッセージおよびエラーとそれらの重大度レベルを、メッセージ・タイプ別にソートしてリストします。また、このガイドは、各メッセージについて説明すると共に、各メッセージに関する追加のサポート情報がある場合はその情報も提供します。

- *IBM Security zSecure Visual クライアント・マニュアル, SA88-7157*

Windows ベース GUI から RACF 管理用タスクを実行するために IBM Security zSecure Visual Client をセットアップし、使用方法を説明しています。

プログラム・ディレクトリーはプロダクト・テープで提供されます。[プログラム・ディレクトリー](#)から最新のコピーをダウンロードすることもできます。

- プログラム・ディレクトリー *IBM Security zSecure CARLa-Driven Components, GI13-2277*

このプログラム・ディレクトリーは、プログラムのインストールと保守を担当するシステム・プログラマーを対象としています。IBM Security zSecure CARLa-Driven Components (Admin、Audit、Visual、Alert および IBM Security zSecure Adapters for SIEM) のインストールに関連した資料と手順に関する情報が記載されています。

- プログラム・ディレクトリー *IBM Security zSecure CICS Toolkit, GI13-2282*

このプログラム・ディレクトリーは、プログラムのインストールと保守を担当するシステム・プログラマーを対象としています。IBM Security zSecure CICS Toolkit のインストールに関連した資料と手順に関する情報が記載されています。

- プログラム・ディレクトリー *IBM Security zSecure Command Verifier, GI13-2284*

このプログラム・ディレクトリーは、プログラムのインストールと保守を担当するシステム・プログラマーを対象としています。IBM Security zSecure Command Verifier のインストールに関連した資料と手順に関する情報が記載されています。

- プログラム・ディレクトリー *IBM Security zSecure Admin RACF-Offline, GI13-2278*

このプログラム・ディレクトリーは、プログラムのインストールと保守を担当するシステム・プログラマーを対象としています。IBM Security zSecure Admin の IBM Security zSecure Admin RACF-Offline コンポーネントのインストールに関連した資料と手順に関する情報が記載されています。

- zSecure Administration、監査、およびコンプライアンスの各ソリューションのプログラム・ディレクトリー
 - 5655-N23: *Program Directory for IBM Security zSecure Administration*、GI13-2292
 - 5655-N24: *Program Directory for IBM Security zSecure Compliance and Auditing*、GI13-2294
 - 5655-N25: *Program Directory for IBM Security zSecure Compliance and Administration*、GI13-2296

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM ライブラリー

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM ライブラリーには、非ライセンス出版物とライセンス出版物が含まれています。

非ライセンス出版物は、IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM の IBM Knowledge Center から入手できます。ライセンス出版物には、Lで始まる資料番号 (LCD7-5373 など) があります。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM ライブラリーには、次の資料があります。

- *IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM* リリース情報
製品リリースごとに、「リリース情報」のトピックで、新機能と機能拡張、非互換性の警告、および資料の更新情報を提供します。最新バージョンのリリース情報は、zSecure for z/VM 資料の Web サイト (IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM の IBM Knowledge Center) から入手できます。
- *IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM: インストールおよびデプロイメント・ガイド*, SC27-4363
製品のインストール、構成、およびデプロイに関する情報を提供します。
- *IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM* ユーザー・リファレンス・マニュアル, LC27-4364
製品インターフェースと、RACF の管理および監査機能の使用方法を説明します。この資料には、CARLa コマンド言語および SELECT/LIST フィールドに関する参照情報が記載されています。また、トラブルシューティング・リソース、および zSecure Collect コンポーネントの使用方法も記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。
- *IBM Security zSecure CARLa* コマンド・リファレンス, LC43-2107
CARLa Auditing and Reporting Language (CARLa) についての、一般ユーザーと上級ユーザーの両方の参照情報が記載されています。CARLa は、zSecure を使用してセキュリティーの管理レポートおよび監査レポートを作成するためのプログラミング言語です。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」には、データの選択および zSecure レポートの作成のための NEWLIST タイプおよびフィールドに関する詳細情報も記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。
- *IBM Security zSecure Documentation CD*, LCD7-5373
IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 資料を提供します。これには、ライセンス交付された製品資料とライセンス交付されていない製品資料が含まれています。
- *Program Directory for IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM*, GI11-7865
本書の情報を効果的に使用するには、プログラム・ディレクトリーから入手可能な一定の前提条件となる知識が必要です。「*Program Directory for IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM*」は、製品のインストール、構成、およびデプロイを担当するシステム・プログラマーを対象としています。この資料には、ソフトウェアのインストールに関連する資料および手順についての情報が記載されています。プログラム・ディレクトリーは、プロダクト・テープで提供されます。IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM の IBM Knowledge Center から最新のコピーをダウンロードすることもできます。

関連資料

このセクションでは、zSecure に関連する情報のタイトルおよびリンクを記載します。

参照先	対象
IBM Security zSecure の IBM Knowledge Center	zSecure のすべての非ライセンス資料。 特定のリリースに固有の情報、システム要件、非互換性などについては、目的のバージョンを選択し、「このリリースについて」を選択します。「新機能」および「リリース・ノート」を参照してください。 zSecure のライセンス文書を入手するには、『 ライセンス文書の入手 』を参照してください。
IBM Security Identity Adapters	zSecure (RACF) 向けの IBM Security Identity Governance and Intelligence アダプターをはじめとする、IBM Security Identity Adapter に関する資料。
IBM Knowledge Center: z/OS	z/OS に関する情報。xi ページの表 1 に、zSecure で最も役立つ資料をいくつか示します。IBM Knowledge Center には、 z/OS V2R4 ライブラリー が含まれています。
IBM Z Multi-Factor Authentication の資料	IBM Z Multi-Factor Authentication (MFA) の資料に関する情報。z/OS V2R4 ライブラリーには、 IBM Z Multi-Factor Authentication の資料 が含まれています。
z/OS Security Server RACF の資料	z/OS Security Server の リソース・アクセス管理機能 (RACF) の資料。RACF コマンド、および各種キーワードの意味については、「 z/OS Security Server RACF コマンド言語 解説書 」および「 z/OS Security Server RACF セキュリティー管理者のガイド 」を参照してください。RACF によって記録される各種イベントの情報については、「 z/OS Security Server RACF 監査担当者のガイド 」に記載されています。
QRadar DSM 構成ガイド	QRadar について詳しくは、IBM Knowledge Center で IBM QRadar Security Intelligence Platform を参照してください。
CICS Transaction Server for z/OS の資料	CICS Transaction Server for z/OS に関する資料。
CA-ACF2 資料	ACF2 に関する情報、および zSecure Audit for ACF2 製品を使用して報告できるイベントのタイプに関する情報。
CA-Top Secret for z/OS の資料	Top Secret に関する情報、および zSecure Audit for Top Secret 製品を使用して報告できるイベントのタイプに関する情報。

表 1. zSecure で使用するのに最も役立つ z/OS の資料

資料タイトル	資料番号
<i>z/OS Communications Server: IP Configuration Guide</i>	SC27-3650
<i>z/OS Communications Server: IP 構成解説書</i>	SC27-3651
<i>z/OS Cryptographic Services ICSF Administrator's Guide</i>	SC14-7506
<i>z/OS Cryptographic Services ICSF System Programmer's Guide</i>	SC14-7507
<i>z/OS Integrated Security Services エンタープライズ 識別マッピング (EIM) ガイド</i> および <i>解説書</i>	SA88-7076
対話式システム生産性向上機能 (ISPF) ダイアログ開発者ガイドとリファレンス z/OS	SC43-2665

表 1. zSecure で使用するのに最も役立つ z/OS の資料 (続き)

資料タイトル	資料番号
z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻 (ABE-HSP)	SA23-1369
z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 2 巻 (IAR-XCT)	SA23-1370
z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス	SA88-7103
z/OS MVS システム・コマンド	SA88-5490
z/OS MVS システム管理機能 (SMF)	SA88-7082
z/OS Security Server RACF セキュリティー管理者のガイド	SA88-5804
z/OS Security Server RACF 監査担当者のガイド	SA88-5718
z/OS Security Server RACF コマンド言語解説書	SA88-6226
z/OS Security Server RACF マクロおよびインターフェース	SC43-2673
z/OS Security Server RACF メッセージおよびコード	SA88-5839
z/OS Security Server RACF システム・プログラマーのガイド	SA88-7029
z/Architecture® 解説書	SA88-8773

z/VM については、IBM Knowledge Center (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSB27U/welcome) または www.vm.ibm.com/library を参照してください。

アクセシビリティ

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーがソフトウェア・プロダクトを快適に使用できるようにサポートします。この製品では、支援技術を使用して、インターフェースを音声でナビゲートすることができます。また、マウスの代わりにキーボードを使用して、グラフィカル・ユーザー・インターフェースのすべての機能を操作できます。

技術研修

技術研修の情報については、IBM Training and Skills の Web サイト (www.ibm.com/training) を参照してください。

zSecure について提供されているコースと、CARLa での迅速な作業開始およびサンプル・アプリケーションについては、[IBM Knowledge Center for zSecure V2.4.0 の zSecure Wiki 資料](#)を参照してください。

サポート情報

IBM サポートは、コード関連の問題や、ルーチン、短期間でのインストール、または使用法に関する疑問をお持ちのお客様に、支援を提供します。IBM ソフトウェア・サポート・サイトへは、www.ibm.com/mysupport から直接アクセスできます。

適切なセキュリティの実践に関する注意事項

IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスからの保護、検出、および対処によってシステムおよび情報を保護することが求められます。不適切なアクセスにより、情報が改ざん、破壊、盗用、または悪用されたり、あるいはご使用のシステムの損傷または他のシステムへの攻撃のための利用を

含む悪用につながる可能性があります。完全に安全と見なすことができる IT システムまたは IT 製品は存在せず、また単一の製品、サービス、またはセキュリティー対策が、不適切な使用またはアクセスを防止する上で、完全に有効となることもありません。IBM のシステム、製品およびサービスは、包括的なセキュリティーの取り組みの一部となるように設計されており、これらには必ず追加の運用手順が伴います。また、最高の効果を得るために、他のシステム、製品、またはサービスを必要とする場合があります。IBM は、何者かの悪意のある行為または違法行為によって、システム、製品、またはサービスのいずれも影響を受けないこと、またはお客様の企業がそれらの行為によって影響を受けないことを保証するものではありません。

第 1 章 概要

IBM Security zSecure スイートは、メインフレーム・セキュリティー環境の効率と保守容易性を改善する製品群です。これらの製品は単独で使用することも、zSecure 製品と共に使用することもできます。メインとなる製品は zSecure Admin と zSecure Audit です。IBM Security zSecure 製品は、z/OS プラットフォームと z/VM プラットフォームの両方に、セキュリティー機能、モニタリング機能、監査機能、およびアラート機能を提供します。

zSecure のメッセージは、通常、関連するプログラムまたはコンポーネントを識別する 3 文字の接頭部によって分類されています。例えば、CKF という接頭部は、zSecure Collect for z/OS コンポーネントによって発行されるメッセージであることを示します。また、CKG メッセージは CKGRACF プログラムによって発行されるメッセージです。このガイドは、プログラムまたはコンポーネントとの関連を示すメッセージ接頭部に基づいて編成されています。

以降のセクションで、zSecure 2.4.0 および zSecure Manager for RACF z/VM 1.11.2 のリリース情報、zSecure 製品の概要、および生成される可能性があるメッセージのタイプについて説明します。

リリース情報

zSecure のリリース情報には、新機能と拡張機能に関する詳細情報、非互換性に関する警告情報、文書の更新に関する情報が記載されています。

最新版の『新機能』と『リリース・ノート』については、IBM Security zSecure V2.4.0 の IBM Knowledge Center (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS2RWS_2.4.0/com.ibm.zsecure.doc_2.4.0/welcome.html) の『このリリースについて』を参照してください。

zSecure 製品の概要

IBM Security zSecure スイートには、以下の製品が含まれています。

zSecure Admin

ISPF インターフェース形式の使いやすい層を RACF 上に提供します。これを使用して、メインフレーム上でセキュリティー管理、ユーザー管理、およびコンプライアンス管理を行えます。ユーザーは、管理コマンドをより迅速に入力して処理し、カスタム・レポートを生成し、セキュリティー・データベースを完全にクリーンアップできるようになります。また、zSecure Admin では、管理権限をより詳細に設定できるため、担当するジョブに必要な一定の管理権限のみをユーザーに付与できます。

zSecure Audit

セキュリティー・イベントの自動的な分析と報告、および機密漏れの検出を可能にする、コンプライアンスと監査ソリューション。ポリシーの例外または違反を警告する、標準レポートとカスタマイズされたレポートを提供します。このコンポーネントは、RACF、ACF2、および Top Secret に使用可能です。

zSecure Alert

z/OS、DB2®、UNIX、RACF、ACF2、および Top Secret におけるセキュリティー・イベントおよび機密漏れを検出および報告するための機能を提供する、メインフレーム監査ソリューション。IBM Security zSecure Alert は、セキュリティーに関連するシステム・イベントの発生時にアラートを生成する、リアルタイム・モニターです。

zSecure Command Verifier

メインフレーム・ポリシー実施ソリューションは、細分性の高い RACF 制御を追加して、エラーおよび非準拠コマンドを防止します。この製品はバックグラウンドで実行され、企業のポリシーや手順に照らして RACF コマンドを検証します。コマンドがポリシーに準拠しない場合、ブロックされるか、修正されます。他の zSecure コンポーネントから独立して実行できます。

zSecure Visual

zSecure Visual クライアントは、RACF 管理用の Windows ベースのグラフィカル・ユーザー・インターフェースです。Visual Server 製品を使用すれば、RACF とのセキュア接続を直接確立して、Windows 環境からの非集中管理を実現できます。

zSecure CICS Toolkit

このコンポーネントを使用すれば、ほとんどの RACF 管理を TSO ではなく CICS 環境から実行できるようになります。

zSecure Adapters for SIEM

このコンポーネントを使用して、メインフレームのセキュリティー・データを収集し、そのデータを IBM SIEM 製品などの Security Information and Event Management (SIEM) ソリューションに送信することにより、企業全体のビューが得られます。

zSecure Manager for RACF z/VM

この製品を使用することで、メインフレーム・セキュリティーの管理プロセスが単純化されると共に、z/VM 上で RACF の問題を速やかに特定し、修正できるようになります。これは、繰り返し発生する、時間のかかるセキュリティー・タスクを自動化します。

zSecure のメッセージ・タイプ

zSecure のメッセージは、英数字の接頭部によって分類されています。それぞれの接頭部は、その分類のメッセージに関連付けられている zSecure 製品機能を示します。以下の表に、使用されている zSecure メッセージ接頭部、関連する機能、およびそのメッセージが表示される可能性がある製品を示します。

メッセージ接頭部	機能	製品	参照先
CKF	zSecure Collect for z/OS (CKFCOLL)	IBM Security zSecure Admin IBM Security zSecure Audit IBM Security zSecure Alert IBM Security zSecure Adapters for SIEM	5 ページの『第 2 章 CKF メッセージ』
CKG	CKGRACF プログラム	IBM Security zSecure Admin IBM Security zSecure Visual	103 ページの『第 3 章 CKG メッセージ』
CKN	zSecure Server (ネットワーク・ノード)	IBM Security zSecure Admin IBM Security zSecure Audit IBM Security zSecure Visual	153 ページの『第 4 章 CKN メッセージ』
CKR	CARLa エンジン	IBM Security zSecure Admin IBM Security zSecure Audit IBM Security zSecure Visual IBM Security zSecure Alert IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM IBM Security zSecure Adapters for SIEM	205 ページの『第 6 章 CKR メッセージ』
CKV	zSecure Collect for z/VM (CKVCOLL)	IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM	599 ページの『第 7 章 CKV メッセージ』
CKX	zSecure コマンド実行ユーティリティ (CKX) または zSecure Command Logger (CKXLOG)	IBM Security zSecure Admin IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM	613 ページの『第 8 章 CKX メッセージ』
CKQ	SMF Collector アドレス・スペース内で実行中の CKQEXSMF プログラム	IBM Security zSecure Audit IBM Security zSecure Adapters for SIEM	201 ページの『第 5 章 CKQ メッセージ』
CQT	モジュール CQTPMSGE	IBM Security zSecure CICS Toolkit	643 ページの『第 9 章 CQT メッセージ』
C2P	zSecure Alert アドレス・スペース、事前定義 RACF アラート、事前定義 ACF2 アラート、インストール定義済みアラート、または zSecure RACF アクセス・モニター	IBM Security zSecure Alert または IBM Security zSecure Admin	667 ページの『第 10 章 C2P メッセージ』

メッセージ接頭部	機能	製品	参照先
C2R	各国語サポート (NLS) テーブルの処理プログラム C2RIMENU、XSLT スタイルシート、またはインストール・カスタマイズ REXX exec C2REUPDR	IBM Security zSecure	749 ページの『 第 11 章 C2R メッセージ 』
C2RU	Windows ユーザー・インターフェース	IBM Security zSecure Visual クライアント	765 ページの『 第 12 章 C2RU メッセージ 』
C2RW	メインフレーム・コンポーネントと Windows クライアント間の通信	IBM Security zSecure Visual Server のサーバー	773 ページの『 第 13 章 C2RW メッセージ 』
C2X	zSecure RACF Exit Activator コンポーネント C2XACTV	IBM Security zSecure Admin IBM Security zSecure Audit IBM Security zSecure Alert	775 ページの『 第 14 章 C2X メッセージ 』
C4R	Command Verifier、CKGRACF、または Visual クライアント	IBM Security zSecure Command Verifier IBM Security zSecure Admin IBM Security zSecure Visual クライアント	791 ページの『 第 15 章 C4R メッセージ 』
B8R	zSecure Admin RACF-Offline 機能	IBM Security zSecure Admin	831 ページの『 第 16 章 B8R メッセージ 』
ICH と IRR	zSecure Admin RACF-Offline	RACF	851 ページの『 第 17 章 ICH メッセージおよび IRR メッセージ 』
BB	Visual サーバーにログオンしている Visual クライアント	IBM Security zSecure Visual	853 ページの『 第 18 章 BB メッセージ 』
Visual のログ・メッセージ	Visual クライアントおよびサーバー	IBM Security zSecure Visual	855 ページの『 第 19 章 zSecure Visual のログ・メッセージ 』
C	インストールまたは構成	IBM Security zSecure Visual クライアント	863 ページの『 第 20 章 その他のエラー・メッセージ 』
LC	クライアント・ユーザー・インターフェースと c2ragent コンポーネントの間の通信層		
EPR	Visual クライアントのエンジン・コンポーネントとユーザー・インターフェース・コンポーネントの間の通信層		

このガイドの以降の各章で、それぞれのメッセージ接頭部、詳細な説明、および取り得る解決策のリストを示します。

第2章 CKF メッセージ

zSecure Collect は、以下の製品のコンポーネントです。

- zSecure Admin
- zSecure Audit
- zSecure Alert
- zSecure Adapters for SIEM
- zSecure Manager for RACF z/VM

zSecure Collect はシステム・データを収集し、そのデータを CKFREEZE データ・セットに保管します。これは、z/OS 製品については CKF 接頭部が付いたメッセージを発行し、z/VM 製品については CKV 接頭部が付いたメッセージを発行します。例えば、zSecure Admin and Audit を使用している場合は、メッセージ番号 CKF0001 が表示される可能性があります。zSecure Manager for RACF z/VM によって発行される同じメッセージの番号は CKV001I となります。z/OS プラットフォームと z/VM プラットフォームの間で共用される zSecure Collect メッセージは、このセクションに記載されています。z/VM 製品に固有の zSecure Collect メッセージは、599 ページの『第7章 CKV メッセージ』に記載されています。

各メッセージ番号の形式は、CKFnnnn または CKVnnnI です (nnnn または nnn は、メッセージ番号)。メッセージ ID に加え、重大度コードもプログラムによって発行されます。このコードは、プログラム完了コードから派生しており、検出された最高の重大度コードを示します。

注：このプログラムからの戻りコードは通常、返されたすべてのメッセージの戻りコードのうち最も大きい値に設定されます。NOWARNINGRC がコーディングされる場合、プログラムからの戻りコード 04 は 00 にリセットされます。

重大度コードには、以下のいずれかの値が含まれます。

00

状況または要約情報を示す通常のメッセージ。

04

情報の損失につながる可能性のある異常な状態が検出されました。

08

要求された情報が失われる原因となる異常な状態が検出されました。後続の処理に影響する場合があります。

12

zSecure Collect の処理中の予期しない状態です。

16

コマンド入力に構文エラーがあるか、またはライセンスに問題があります。

24

zSecure Collect で、内部エラーか、または他の予期しない/サポートされない状態が検出されました。

28

zSecure Collect で内部エラー、または他の予期しない/サポートされない条件が検出されました。システムを保護してダンプを強制するためにユーザー異常終了が発行されます。

このセクションの残りの部分では、すべてのエラー・メッセージと、その説明および実行可能なアクションが一緒にリストされています。メッセージはサブセクションに記載され、3桁のメッセージ番号でグループ化されています。特定のメッセージの資料を見つけるには、メッセージ番号 (CKF970I または CKV970I など) で資料を検索してください。

注：zSecure V2.4.0 では、ほとんどの CKF メッセージが以前の形式 (CKFnnnI) から現在の形式 (CKFnnnn) に名前変更されました。

CKF メッセージ 0 から 99

CKF0000 制御ブロック *name* が *reason* の理由で省略されました (**Control block name omitted, because of reason**)

説明

このメッセージは、プログラムが OS 制御ブロックの検索に失敗した場合に発行されます。これは必ずしも問題ではなく、むしろ、役立つ可能性のある情報が存在しないことを検出したものの、使用されている OS のバージョンでは一切意味をなさない情報であることもあります。制御ブロックの名前は制御ブロック ID の *name* で決まります。障害の正確な性質は *reason* で決まり、以下のようになります。

無効なブロック ID

制御ブロック ID が適切な場所で検出されません。

保護例外

制御ブロックに至るポインター・チェーンのウォークスルー中に保護例外が発生しました。

無効な長さ

制御ブロックの最後に使用されるバイトへのアクセス中に保護例外が発生しました。

nil ポインター

制御ブロックへのポインターに 2 進ゼロが含まれていることが検出されました。

このメッセージは OS の新規リリースへの移行後に発生することがよくあります。結果の CKFREEZE ファイルは、目的のために使用できる場合があります。

制御ブロック *names* が失われたことで示される問題には以下のものがあります。

STGS

RMF はアクティブではありません

EDT

装置タイプ情報が取得されません

IODN

LCU および装置番号テーブルがありません (RMF も同様)

IOCH

チャンネル情報がありません (RMF も同様)

LPBT

論理パス・ブロック・テーブルがありません (SRM SP4)

RCVT

システムに RACF がありません

SSVT

これは RMM がアクティブではない場合に示される可能性があります

重大度

04

CKF0001 *devclass* 装置 *dev* 装置タイプ *devtype* の汎用装置名がありません (**No generic unit name for devclass unit dev devtype devtype**)

説明

このメッセージは、ご使用の OS がアドレス *dev* の装置の汎用ユニット名を指定できなかったこと、および装置タイプ (8 つの 16 進数字で指定される) も zSecure Collect のハードコーディングされた装置テーブルに検出されなかったことを示します。装置クラスは *devclass* です。これは問題ではありません。装置名フィールドに疑問符 (?) が表示されることに注意を促すためのものです。

重大度

04

CKF0002 *type* データ・セット *datasetname* の LOCATE 戻りコード *rc* (**LOCATE return code rc on type data set datasetname**)

説明

このメッセージは、データ・セット *datasetname* (*type* データ・セットとなることが予想される) が MVS™ の LOCATE サービスによって検出できなかったことを示します。サービスが返す戻りコードは *rc* です。CKFREEZE ファイル内のボリュームはブランクのままかゼロになります。

重大度

04

CKF0003 装置 *dev* の DEVTYPE RC が非ゼロ (**DEVTYPE RC nonzero for unit dev**)

説明

装置 *dev* の情報の収集に使用される DEVTYPE SVC が非ゼロの戻りコードを返しました。これが原因で CKFREEZE ファイル内の装置タイプ・レコードが使用不能になる場合があります。

重大度

04

CKF0004 PDSE *dev volume dsname* をクローズし、*decnum* メンバーで *decnum*

バイト読み取りました (Closed PDSE dev volume dsname read decnum bytes in decnum members)

説明

この通知メッセージは、指定された PDSE から読み取られたデータ量を示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0005 **CMD リジェクトを無視してください (Please ignore CMD rejects)**

説明

このメッセージは、オペレーター・コンソールに表示され、3350 DASD 装置に対する CMD reject を指定する IOS000I または IEA000I メッセージのバーストに対してアクションをとらないようにオペレーターに警告します。これは 3350 番台の装置の処理をプログラムが完了した直後に削除されます。許可された操作中にのみ表示されます。

CKF0006 **装置 dev ボリューム volume の CVAFDIR type エラー、R15=rc、CVSTAT=code (CVAFDIR type error, R15=rc, CVSTAT=code on device dev volume volume)**

説明

VTOC 索引へのアクセス中に、CVAFDIR type (READ または RLSE) サービスが、CVAF の戻りコード code と一緒に非ゼロの戻りコード rc を返しました。これらのコードの意味については、該当する IBM マニュアルを参照してください。アクセスのタイプが READ の場合、VTOC は、VTOC 索引内で使用された DSCB マップを考慮することなく完全に読み取られました。

重大度

12

CKF0007 **タスクは APF 許可ではありません - 無保護情報のみを収集できます (Task is not APF authorized - only non-protected information can be collected)**

説明

このメッセージは、プログラムが許可を取得できなかったことを警告します。詳しくは、『許可または非許可 (Authorized or unauthorized?)』セクション (zSecure 製

品のユーザー・リファレンス・マニュアルで使用可能な zSecure Collect の資料) を参照してください。

重大度

00

CKF0008 **問い合わせた DASD 装置の数: number1 (非共有 number2) (Number of DASD devices interrogated: number1 (non-shared number2))**

説明:

このメッセージは、割り振りまたは問い合わせのあった装置の数を示します。number2 は、非共有として生成された装置の数を示します。SHARED=NO 要求が実行された場合は、非共有装置 VTOC/VVDS のみが完全に収集されます。

重大度

00

CKF0009 **コピーされた DSCB エントリーの数: nn**

説明

このメッセージは、VTOC から CKFREEZE ファイルにコピーされるデータ・セット制御ブロックの数を示します。一部のエクステン트는同じデータ・セットについて別々の DSCB に記述されるため、データ・セット制御ブロックの数は、問い合わせのあった装置上のデータ・セットの数よりもいくらか大きくなります。使用している DSCB のみコピーされることに注意してください。

重大度

00

CKF0010 **処理される VVDS データ・セットの数: nn**

説明

このメッセージは、OPEN が試行された VVDS データ・セットの数を示します。すべてのボリュームが VVDS を持つ必要はないため、この数は一般的に、問い合わせのあった DASD 装置の数よりも小さくなります。SHARED=NO の場合、これには、非共有 DASD 装置、およびシステムに該当する特定の構成情報を含む共有 DASD 装置が含まれます。SHARED=NO とともに INFO を組み込むと、データ・セットの詳細を示す CKF0603 または CKF0604 のメッセージが発行されます。

重大度

00

CKF0011 コピーされた NVR/VVR エントリーの数: *nn* (Number of NVR/VVR entries copied: *nn*)

説明

このメッセージは、CKFREEZE ファイルにコピーされる VVR (VSAM ボリューム・レコード) および NVR (非 VSAM ボリューム・レコード) の数を示します。VVR の数は、処理されたボリューム上の VSAM データ・セットのおよそ 2 倍です。NVR は、SMS 管理の非 VSAM データ・セットに関連付けられます。

重大度

00

CKF0012 VVDS の 4K 以外のブロック・サイズはサポートされません。ボリューム *volume* (Non-4K block size for VVDS not supported - volume *volume*)

説明

このメッセージは、ボリューム *volume* で 4KB 以外のブロック・サイズの VVDS が検出されたことを示します。これはこの zSecure Collect リリースではサポートされません。VVDS は、3330/3350/3380/3390 の DASD 上で、最低 DFP 1.0 から DFP 3.3 を使用して自動的に作成されると、4KB のブロック・サイズになります。このメッセージが表示される場合、指定されたボリュームの VVDS 情報は読み取られず、VTOC に記述されるコンポーネント名のみが表示され、クラスター名は表示されません。

重大度

12

CKF0014 DASD 装置 *dev* はオンラインですが作動不能です (DASD Device *dev* online but not ready)

説明

このメッセージは、装置番号 *dev* はオンラインのため構成に組み込まれていましたが、作動不能だったため問い合わせできなかったことを示します。入出力要求をスケジューリングする代わりに、zSecure Collect は装置をスキップしました。これによって、ご使用の目的には不完全な情報が得られる場合があります。

重大度

04

CKF0015 SYSEVENT DONTSWAP に失敗しました。16 進戻りコード *rc*

(SYSEVENT DONTSWAP failed, return code hex *rc*)

説明

このメッセージは zSecure Collect 自身をスワップ不可にすることに失敗したことを示します。その結果、許可された入出力をスケジュールできず、3880 装置について、キャッシュ・サイズ情報および装置レベル・キャッシュ無効化情報が収集されません。WAIT を除去するための保証された装置パス入出力も使用されません。

重大度

08

CKF0016 *volume dsname* についてサポートされない *control block* レベル *hexnum* (Unsupported control block level *hexnum* for volume *dsname*)

説明

このメッセージは、示された PDSE について、サポートされないレイアウトの制御ブロックがディレクトリー項目サービスによって返されたことを示します。制御ブロックが「DESB」の場合、PDSE の残りについてチェックサムおよび IDR 処理がスキップされます。「SMDE」の場合、処理は単一のメンバーについてのみスキップされます。

重大度

08

CKF0017 *type* 装置 *dev volume* へのパス *ch* が作動不能です (Path *ch* to *type* device *dev volume* not operational)

説明

このメッセージは、選択されたオンラインで作動可能な装置番号 *dev* (ボリューム通し番号 *volume*) に対するインストール済み物理チャネル (XA 以前) またはチャネル・パス (XA) *ch* が動作不能だったことを示します。これが通常の作業構成でない場合、通常よりも競合の多い、縮小された構成を測定しています。あるいは、これは VM において実行中の MVS/370 を指す場合もあります。

重大度

04

CKF0018 *parameter* パラメーターは非 XA システムで無効です。(*parameter* Parameter invalid in non-XA system.)

説明

指定された *parameter* は XA 以前のシステムには適用されません。

重大度

12

CKF0019 ***type* 装置 *dev volser* について BFLHFCHN が無効です。VTOC 処理がスキップされました (BFLHFCHN invalid for *type* device *dev volser*; VTOC processing skipped)**

説明

次のバッファ・リストの転送チェーン・ポインター (BFLHFCHN) が無効です。例えば、装置 *dev* について VTOC 情報が (追加で) 取得できませんでした。

重大度

12

CKF0020 **サポートされない装置タイプ *type*、装置 *dev volume* のパス情報が取得できません (Path information not gotten for unsupported device *type type*, device *dev volume*)**

説明

このメッセージは、装置タイプ *type* についての構成情報を要求しましたが、この装置タイプは zSecure Collect によって現在サポートされていないことを示します。3350、3380、3390、および互換性のある装置以外の DASD タイプへのサポートの要求については、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。

重大度

08

CKF0021 ***type* 装置 *dev volume* のストレージ・ディレクター ID が使用不可です (Storage director IDs unavailable for *type* device *dev volume* because unauthorized)**

説明

このメッセージは、装置番号 *dev* でボリューム通し番号が *volume* の物理ストレージ・ディレクター ID については、装置タイプが *type* のため、許可されたプログラムによってのみ取り出すことができることを示します。この結果、ストレージ・ディレクター情報が存在せず、構成の自動演えきが妨げられる可能性があります。

重大度

08

CKF0022 ***type* 装置 *dev volume* へのパス *ch* についてストレージ・ディレクター ID が IOS によって返されません (Storage director ID not returned by IOS for path *ch* to *type* device *dev volume*)**

説明

このメッセージは、ストレージ・ディレクター ID を検出するために必要な完全なセンス情報を、所有する IOS バージョンが返さなかったことを示します。障害は、装置番号 *dev* でボリューム通し番号 *volume* へのパス *ch* で発生しました。このデバイスのタイプは *type* です。zSecure Collect では、装置への他のパスについても同じ障害が発生すると想定し、これらのパスで入出力を試行しないため、このメッセージは 1 つのパスについてのみ発行されます。

重大度

08

CKF0023 ***type* 装置 *dev volume* へのパス *ch* についてストリング・コントローラー ID が IOS によって返されません (String controller ID not returned by IOS for path *ch* to *type* device *dev volume*)**

説明

このメッセージは、コントローラー ID が適切な場所に検出されなかったことを示します。このメッセージは、ストレージ・ディレクター ID も存在しない場合は発行されません。コントローラー情報のみを省略するソフトウェア・レベルは現在知られていません。情報の冗長性により、レポート上にその影響が見られない場合もあります。

重大度

08

CKF0024 ***type* 装置 *dev volume* への *bs* 回の試行後もパス情報が不完全です。少なくともパス *ch* で情報がありません (Path information still incomplete after *bs* tries on *type* device *dev volume*: missing at least path *ch*)**

説明

このメッセージは、*bs* 回の試行後も、zSecure Collect は装置へのすべてのパスについて入出力のスケジューリングに成功していないことを示します。このメッセージは、WAIT=NO および PATH=YES を指定または暗

黙指定した場合にのみ発生します。結果の CKFREEZE 情報は不完全です。

重大度

08

CKF0025 **type 装置 dev volume への bn bs 回のバースト試行後もパス情報が不完全です。少なくともパス ch がありません (Path information still incomplete after -try bursts on type device dev volume: missing at least path ch)**

説明

このメッセージは、バースト間の WAIT 間隔が 0.5 秒で bn 回の bs 試行後も、zSecure Collect は装置へのすべてのパスについての入出力のスケジューリングに成功していないことを示します。これは非常に多く使用されている共用 DASD システムで発生したり、チャンネル・ローテーションのない、空の度合いの高い XA 以前のシステムで発生したりすることがあります。バーストの数、バースト・サイズ、およびバースト間の待ち時間は、該当する BURSTxxxx パラメーターによって調整できます。

重大度

08

CKF0026 **type/mm 装置 dev volume について cccc/mm へのパス ch で予期しない IOS 16 進戻りコード rc、CSW 状況 hhhh センス ssss (Unexpected IOS return code rc hex, CSW status hhhh sense ssss on path ch to cccc/mm for type/mm device dev volume)**

説明

このメッセージは、EXCP の処理中に予期しないエラーが発生したことを示します。IOS 戻りコードは、IBM デバッグ・ハンドブック (IOB/IOSB) および該当する DFP マニュアルに記載されています。cccc/mm および type/mm は、それぞれ制御装置タイプ/モデルおよび装置タイプ/モデルで、SenseId CCW によって返されます。結果の CKFREEZE ファイルは不完全になる可能性が高いです。

重大度

12

CKF0026 **3350 装置 dev volume へのパス ch で予期しない IOS 16 進戻りコード rc、CSW 状況 hhhh センス ssss (Unexpected IOS return code rc**

hex, CSW status hhhh sense ssss on path ch to 3350 device dev volume)

説明

このメッセージは、EXCP の処理中に予期しないエラーが発生したことを示します。IOS 戻りコードは、IBM デバッグ・ハンドブック (IOB/IOSB) および該当する DFP マニュアルに記載されています。結果の CKFREEZE ファイルは不完全になる可能性が高いです。

重大度

12

CKF0027 **type 装置 dev volser CCHHR=0000000000 DSN=dsname で無効な DSCB FMTID=X'xx' (Invalid DSCB FMTID=X'xx' on type device dev volser CCHHR=0000000000 DSN=dsname)**

説明

指定されたボリュームの VTOC に、無効な DSCB (フォーマット X'xx' を持つ) が含まれていました。有効なタイプは X'F0' .. X'F6' のみです。DSCB レコードは CKFREEZE ファイルに含まれますが、使用されません。報告された dsname はエラーの DSCB のデータ・セット名フィールド (キー領域) です。スペース・マップによって DSCB が使用されない場合、これは MVS に影響を及ぼしません。

重大度

04

CKF0028 **dev volser の SVC 99 RC=n DAIRFAIL コード xxxx xxxx (SVC 99 RC=n DAIRFAIL code xxxx xxxx on dev volser)**

説明

装置/volser が存在しない可能性があります。このメッセージの後、問題について IKJ メッセージが続きます。このエラーは、装置 dev の VTOC またはデータ・セットの動的割り振りまたは割り振り解除で発生しました。このメッセージには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度

08

CKF0029 **DASD 装置 dev はオンラインですが、マウントされていません (DASD**

Device dev online, but not mounted)

説明

装置 dev はパブリック、ストレージ、またはプライベートにマウントされていません。zSecure Collect は VTOC および VVDS データ・セットの割り振りを試行しません。

重大度

04

CKF0030 装置 dev ボリューム volser の dsname について OPEN が異常終了しました xxx-rc (OPEN abend xxx-rc on device dev volume volser for dsname)

説明

dsname という名前のデータ・セットが、装置 dev の入力用に関けませんでした。VTOC は ** VTOC volser ** と示されます。VTOC についてエラーが発生した場合、ボリュームの VTOC と VVDS の両方が失われます。VVDS についてエラーが発生した場合、VTOC 情報は正しく読み取られています。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0031 CKFCOLL が sid (osname oslevel DFSMS release JES2 release CPU モデル model) で実行します (CKFCOLL runs on sid with osname oslevel DFSMS release JES2 release CPU model model)

CKF0031 site-specific identification string が where CPU ID CPUid で実行中です (site-specific identification string running on where CPU-id CPUid)

CKF0031 最終レコードが書き込まれました。ID=hh、コンテンツの開始 hexstring (Last record written: ID=hh, contents start hexstring)

説明

zSecure Collect が、示されたシステム (SMF id) およびオペレーティング・システムのリリース・レベルで、表示されたフォーカスおよび製品 ID において、示された CPU 上で実行中に、示されたレコードの書き込み後に異常終了しました (レコードが何も書き込まれていない場合、レコードの行は省略されます)。

重大度

00

CKF0032 切り捨てられるレコードの数: nn

説明

このメッセージは、レコードが出力で切り捨てられたことを示します。問題がある場合は、レコード長を長くすることも可能です。ただし、ほとんどの目的において、必要な情報は BCS レコードの先頭にあるため、通常、これらのレコードの切り捨てによって問題が生じることはありません。

重大度

08

CKF0033 モジュール IGG019X1 がありません。3350 装置の構成情報が入手できません (Module IGG019X1 missing, no configuration info for 3350 devices possible)

説明

このメッセージは、アペンデージ IGG019X1 が検出されなかったことを示します。

重大度

08

CKF0034 [MONITOR 間隔の前] CKFCOLL が使用した CPU 時間: ss.t 秒、経過時間: ss 秒、収集したデータ: m.kkk MB (m.kkk MB/s) ([Before MONITOR interval] CKFCOLL used ss.t CPU seconds, ss elapsed seconds, and collected m.kkk MB (m.kkk MB/s)) [エラー・トラップ・カウントは number です] ([Error trap count is number]) ddname volume dsname に rectotal 件のレコードを書き込み済み (Written rectotal records to ddname volume dsname) 要求された領域: r,rrrKB、付与された領域: g,ggg+g,ggg KB、ジョブ・ステップでの最大使用量: u,uuu+u,uuuu KB (Region requested r,rrrKB, granted g,ggg+g,gggKB max used in jobstep u,uuu+u,uuuuKB)

説明

このメッセージは、使用された TCB 時間と実時間を詳しく示します。また、収集された (CKFREEZE ファイルに書き込まれた) データの量と有効なデータ転送速度の

要約も示します。CHECK=Yが指定された場合、これはデータ削減機能であるため、有効なデータ転送速度は誤解を招くほど低くなります。通常は、エラー・トラップ・カウンタの数値がゼロ以外の値になります。このメッセージは、診断用としてのみ含まれます。MONITORが要求された場合、このメッセージは2回(モニター開始前に1回、プログラムの終了時に1回)発行されます。プログラム終了時のメッセージには、要求された領域、認可された領域、および使用された領域が、16MBラインの上下両方について表示されます。

重大度

00

CKF0035 処理された PDS ディレクトリーの数: *nn* (Number of PDS directories processed: *nn*)

説明

このメッセージは、CKFREEZE ファイルにコピーされた PDS (区分データ・セット) ディレクトリーの数を示します。

重大度

00

CKF0036 *devn volser* の情報が省略されました。非 APF の場合は **FACILITY STGADMIN.IFG.READVTOC.volser** の SAF READ アクセス権限が必要です (Information omitted for *devn volser*, SAF READ access required on FACILITY STGADMIN.IFG.READVTOC.volser if non-APF)

説明

このメッセージは、VTOC の読み取り試行の結果、システム異常終了 300、理由コード 6 が出されたことを示します。これは、名前の非表示がアクティブで、VTOC を読み取ることができなかったことを意味します。RACF システムでは、名前の非表示はコマンド SETROPTS MLNAMES でアクティブになります。名前の非表示がアクティブの場合、指定されたリソース名に対して SAF リソース・チェックが実行されています。

重大度

04

CKF0037 *action* 中の予期しない *abend condition*、装置 *devn volser* (Unexpected *abend condition devn volser* during *action*)

説明

このメッセージは、指定されたアクションを実行しようとしたチャンネル・プログラムについて、EXCP 中に異常終了が発生したことを示します。このメッセージが表示された場合は、回避できるかどうか確認するために、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKF0038 *dsn* の割り振り中の予期しない *abend* (Unexpected *abend* during allocate of *dsn*)

説明

このメッセージは、VSAM クラスターの割り振りの失敗(および VSAM クラスターの自動再呼び出しの実行を含む場合あり)を示します。異常終了が発生しました。クラスターはスキップされます。プログラムが正常に終了したと思われる場合、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0039 OS version DFSMS version JESn version VTAM® version secp version RMF version TSO version HSM version [under VM/version release が稼働中] (Running OS version DFSMS version JESn version VTAM version secp version RMF version TSO version HSM version [under VM/version release])

説明

このメッセージは、zSecure Collect が情報を抽出する元のソフトウェアのリリース・レベルまたは状況を示します。バージョン番号の代わりにキーワード *inactive*、*active*、または *unknown* が表示される場合があります。これらはそれぞれ、製品はインストールされたがアクティブでない、アクティブであるがリリースが取得できなかった、または制御ブロックが存在するがレイアウトがサポートされていないことを示します。*secp* は検出されたセキュリティー製品で、RACF、ACF2、または TSS です。

重大度

00

CKF0040 *dsn* の LISTCAT 中に予期しない *abend* が発生しました (Unexpected *abend* during LISTCAT of *dsn*)

説明

このメッセージは、カタログで VSAM クラスター名の場所の検索に失敗したことを示します。異常終了が発生しました。クラスターはスキップされます。プログラムによって検索されたと思われる場合、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0041 処理されたカタログの数: *nn*
(Number of catalogs processed: *nn*)

説明

このメッセージは、OPEN が試行された ICF および HSM カタログの数を示します。

重大度

00

CKF0042 コピーされた BCS レコードの数: *nn*
(Number of BCS records copied: *nn*)

説明

このメッセージは、CKFREEZE ファイルにコピーされる BCS (基本カタログ構造) レコードの数を示します。

重大度

00

CKF0043 VVDS 情報が収集されず、カタログを高速にダンプできません (VVDS information not collected, catalogs cannot be dumped fast)

説明

このメッセージは、VVDS データ・セットにアクセスできなかったが、カタログ処理が要求された場合に発行されます。zSecure Collect では、カタログをダンプするための VVDS アクセスが必要です。

重大度

00

CKF0044 マスター・カタログの名前が CAXWA で検出されません。 (Name of master catalog not found in CAXWA.)未接続カタログについて異常終了 913-0C が発生する可能性があります (Abend 913-0C may result for unconnected catalogs)

説明

このメッセージは、マスター・カタログ名またはボリューム通し番号を判別できなかったことを示します。結果として、接続されているカタログを判別できません。zSecure Collect は、処理されるディスク上に見つかるすべてのカタログを開こうとします。この結果、各未接続カタログについて異常終了 913-0C になります。

重大度

12

CKF0045 マスター・カタログ・ボリューム *volume* が選択されません。 (Master catalog volume *volume* not selected.)未接続カタログについて異常終了 913-0C が発生する可能性があります (Abend 913-0C may result for unconnected catalogs)

説明

このメッセージは、処理されたすべてのディスク・ボリューム上でマスター・カタログが検出されなかったことを示します。したがって、ユーザー・カタログ・コネクター情報は zSecure Collect によって集計されません。zSecure Collect は、処理されるディスク上に見つかるすべてのカタログを開こうとします。この結果、各未接続カタログについて異常終了 913-0C になります。

重大度

08

CKF0046 *noimbed* および *dsname* のマルチボリューム索引のためにスローダウン・モードが起動されました。 (Slowdown mode invoked because *noimbed* and multi-volume index for *dsname*)

説明

このメッセージは、NOIMBED に必要なマルチボリューム索引コンポーネントがクラスターにあることから、このクラスターについて通常の VSAM 処理が選択されたことを示します。

重大度

00

CKF0047 データ収集が *date time* に、*manufacturer type* モデル *model* 上のノード *nodename* *sysname* *sysname* *sid* *smfid* *netid* *netid* で開始されました
[*MVSCP* configuration id *xx*] [logical partition *LPARname*]
[virtual machine *userid*] [at *sysid*] [*sysplex name*] [*rrsf* *RRSF_node*] (Data collection started on *date time* for node *nodename* *sysname* *sysname* *sid* *smfid* *netid* *netid* on a *manufacturer type* model *model*
[*MVSCP* configuration id *xx*] [logical partition *LPARname*]
[virtual machine *userid*] [at *sysid*] [*sysplex name*] [*rrsf* *RRSF_node*]

説明

このメッセージは、データ収集プロセスに関する環境情報を示しており、問題判別に役立つ場合があります。CKFREEZE データ・セットには、メッセージの最初の行がコメントとして含まれています。

メッセージの最初の行には、JES2 ノード名、GRS システム名、SMF ID、および VTAM *netid* などの各種システム ID がリストされます。

2 行目に示されるプロセッサ指定は、CSRSI サービスによって返されるものです。このサービスがまだ使用できない古いマシンでは、タイプは内部 16 進表記 (*devtype/model*) です。VM システムでは、APF 許可で実行中の場合には実際のモデル・バイトが表示され、そうでない場合は FF になります。

3 行目には、MVSCP 構成 ID、論理区画名、VM 仮想計算機ユーザー ID、VM システム ID (CMS で右下隅に表示される)、SYSPLEX 名、および RRSF ローカル・ノード名を示すオプションの構成情報が表示される場合があります (該当する場合)。RRSF ローカル・ノード名は、z/OS 2.2 以降の場合にのみ表示されます。

重大度

00

CKF0048 *type dev volser componentname* の ACB OPEN に失敗しました。rc=*nn*、code=*nn* クラスタ *clustername* (ACB OPEN failed for *type dev volser componentname* rc=*nn*、code=*nn* cluster *clustername*)

string_returned_by_operating_system
(*string_returned_by_operating_system*)
explanation_of_known_return_codes
(*explanation_of_known_return_codes*)

説明

VSAM データ・セットを開くことができませんでした。戻りコードおよび理由コードを参照してください。*type* は以下のいずれかにすることができます。

- BCS は ICF カタログを示します。
- MCD は HSM MCDS を示します。
- BCD は HSM BCDS を示します。
- CKDS、PKDS、または TKDS は ICSF データ・セットを示します。
- RMM は DFSMS RMM 制御データ・セットを示します。

ICF カタログの ACB OPEN が試行されるのは、カタログが NOIMBED で定義されている場合か、DFP V3 以前のシステムで 16 を超えるエクステント以上を持つか、または DFP V3 以前のシステムで実行が承認されない場合です。

メッセージの 2 行目には、オペレーティング・システムが返した情報が含まれることがあります。メッセージの 3 行目は、既知の戻りコードの説明です。

重大度

08

CKF0049 内部エラー CKFCCHH RC=16 (Internal error CKFCCHH RC=16)

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0050 *dev volser* の *reltrk* DEBNMEXT=*nnn* で TTT 変換が失敗しました (TTT Conversion fails on *reltrk* DEBNMEXT=*nnn* on *dev volser*)

説明

このメッセージは、示された相対トラック番号から絶対シリンダーおよびヘッド・アドレスへの変換に失敗した

ことを示します。要求されたトラックは、読み取られません。これは一般的に、データ・セットを維持するソフトウェアの新規バージョンなどが原因で、データ・セットの内部構造が正しく理解されなかったことを意味します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0051 *ddname* で EXCP が失敗しました。
RC=hh, IOBSEEK=address 装置 *dev volser* (EXCP failed on *ddname*,
RC=hh, IOBSEEK=address device dev volser)

説明

このメッセージは、示された装置およびアドレスでの予期しない入出力障害を示します。戻りコードは 16 進数の EXCP 戻りコードです。

重大度

12

CKF0051 (ECKD) EXCP が *ddname* で失敗しました。アドレス **CKFB: address, rc nnx, CSW=hhhhhhhhhhhhhhhh, IOBSEEK=address** 装置 *dev volser* ((ECKD) EXCP failed on *ddname*,
Address CKFB: address, rc nnx, CSW=hhhhhhhhhhhhhhhh, IOBSEEK=address device dev volser)

説明

このメッセージは、示された装置およびアドレスでの予期しない ECKD 入出力障害を示します。戻りコードは 16 進数の EXCP 戻りコードです。

重大度

12

CKF0051 マルチトラック読み取り EXCP が *ddname* で失敗しました。読み取り数 *hhhh*、アドレス **CKFB: address, rc nnx, CSW=hhhhhhhhhhhhhhhh, IOBSEEK=address** 装置 *dev volser*

説明

このメッセージは、示された装置およびアドレスでの予期しないマルチトラック読み取り入出力障害を示します。戻りコードは 16 進数の EXCP 戻りコードです。

重大度

12

CKF0052 *noimbed* および *catname* の *volume* 上の索引のためにスローダウン・モードが起動されました (Slowdown mode invoked because *noimbed* and index on *volume* for *catname*)

説明

このメッセージは、データ・コンポーネントと異なるボリューム上の索引を使用した高速の EXCP モードが NOIMBED をサポートしないため、要求された ICF、HSM、または RMM カタログ・ダンプが VSAM で試行されることを示します。

重大度

00

CKF0053 APF 許可されていないためスローダウン・モードが起動されました。データ・セット *volume catname* (Slowdown mode invoked because not APF-authorized, data set *volume catname*)

説明

このメッセージは、高速の EXCP モードには APF 許可が必要であるが存在しないため、要求されたカタログ・ダンプは VSAM で試行されることを示します。バージョン 3 以下の DFP システム上で APF 許可なく ICF カタログを読み取るには、ALTER 権限が必要です。DFP バージョン 3 では ICF カタログを読み取るためにはいずれにしても APF 許可が必要で、メッセージ CKF0064 が発行されます。HSM カタログを読み取るには READ 権限が必要です。

重大度

00

CKF0054 *rel track tt* のデータ・セット *catname CA* にはシーケンス・セット・レコードに *nn* の CI がありません (Data set *catname CA* at *rel track tt* missing *nn* CIs in sequence set record)

説明

このメッセージは、索引シーケンス・セット・レコードに記載される CI 数が、CA あたりの CI 数でなかったことを示します。エラー・メッセージに再現性がある場合、データ・セットに対して EXAMINE を実行してください。異常が検出されなかった場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKF0055 *catalogname* の *dev volume componentname* について **ACB OPEN type** が異常終了しました *xxx-**nn*** (*explanation*) (**ACB OPEN type abend xxx-**nn** (*explanation*) for *dev volume componentname* of *catalogname*)**

説明

このメッセージは、示された ICF、RMM、または HSM カタログを開こうとしたときの異常終了を示します。

重大度

08

CKF0056 *vol cluster* について EXCP でサポートするより多くのエクステントが生じた (異常終了 **013-E4**) ためスローダウン・モードが起動されました (**Slowdown mode invoked because more extents than EXCP supports (abend 013-E4) for vol cluster**)

説明

EXCP OPEN によってサポートされるエクステントの最大数は、DFSMS リリースに依存します。これは異常終了 **013-E4** (もっと古いリリースでは **213-20**) としてジョブ・ログに反映されます。この場合は、CKF0030 メッセージは抑止されます。異常終了はインターセプトされ、このリリースについてはスローダウン・モードが起動されます。

重大度

00

CKF0057 *dev volser dsname* の *type* 異常終了 *xxx-**nn*** (*explanation*) (*type abend xxx-**nn*** (*explanation*) on *dev volser dsname*)

説明

装置 *dev* の入力についてデータ・セット *dsname* を開くときにリカバリー不能な異常終了が発生しました。VTOC に対してエラーが発生した場合、VTOC とボリュームのすべてのデータ・セットが失われます。VVDS についてエラーが発生した場合、VTOC 情報は正しく読み取られています。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0058 組み込み SSR の予期しない物理レコード長 *decnum*、*catname* の索引ブロック・サイズ (**Unexpected physical record length *decnum* in imbedded SSR with index blksize *decnum* for *catname***)

説明

このメッセージは、組み込みの索引トラックから物理レコード (つまりブロック) が読み出されるときに使用されたブロック・サイズが、VVR の情報で示すブロック・サイズと異なっていたことを示します。結果は予測不能です。

重大度

12

CKF0059 **NOIMBED** はサポートされません。*volser* のデータ・セット *catname* はスキップされました (**NOIMBED not supported, data set *catname* on *volser* skipped**)

説明

このメッセージは、何らかの理由で索引の読み取りに失敗したことを示します。その結果、NOIMBED データ・セットを処理できません。

重大度

08

CKF0060 *RBA hexnum* の VVDS スペース・マップ・エクステンションが無視されました。*hexnum* が予期されます (**VVDS space map extension at *RBA hexnum* ignored - expecting *hexnum***)

説明

zSecure Collect では VVDS 内でスペース・マップ・チェーンが順番に発生することが予期されます。

重大度

12

CKF0061 **VVDS には APF 許可を使用してのみアクセスできます (VVDS can only be accessed with APF authorization)**

説明

DFP V3 システムでは、VVDS の読み取りには APF 許可が必要です。

重大度

04

CKF0062 **接続済みカタログ *catname* が処理されるボリューム上で検出されません (Connected catalog *catname* not found on volumes processed)**

説明

処理されるマスター・カタログに、カタログ *catname* のコネクター項目が含まれていました。ただし、処理されるボリュームにカタログが検出されませんでした。カタログ情報が不完全な場合があります。

重大度

08

CKF0063 **予期しないエラー: マスター・カタログ BCS がマスター・カタログ・ボリュームで検出されません。 (Unexpected error: Master cat BCS not found on mastercat volume.) 異常終了 913-0C が発生する場合があります (Abend 913-0C may occur)**

説明

このメッセージは、何らかの理由で、マスター・カタログが存在すると予想されたボリューム上にマスター・カタログが検出されなかったことを示します。その結果、ユーザー・カタログが接続されているかどうかを判別できません。bypass-password 処理が使用されない場合、未接続カタログを開こうとしたことから異常終了 913-0C が発生します。

重大度

08

CKF0064 **APF 許可なしにカタログをダンプできません - *catname* (Catalog cannot be dumped without APF authorization - *catname*)**

説明

DFP バージョン 3 以降のシステムでは、ICF カタログのダンプに APF 許可が必要です。

重大度

08

CKF0065 ***datacomponent* の基本データ VVR が取得できないためスローダウン・モードが起動されました (Slowdown mode invoked because primary data VVR not obtained for *datacomponent*)**

説明

VSAM データ・セットを EXCP モードで読み取るには、zSecure Collect では VSAM ボリューム・レコード (VVR) が VVDS に存在することが必要です。このメッセージは、データ・コンポーネントの VVR が検出されなかった場合に発行されます。

重大度

00

CKF0066 ***datacomponent* の noimbed および 1 次索引 VVR が取得できないためスローダウン・モードが起動されました (Slowdown mode invoked because noimbed and primary index VVR not obtained for *datacomponent*)**

説明

NOIMBED 属性を使用して EXCP モードで VSAM を読み取るには、zSecure Collect では索引の VSAM ボリューム・レコード (VVR) が VVDS に存在することが必要です。このメッセージは、インデックス・コンポーネントの VVR が発生しなかった場合に発行されます。

重大度

00

CKF0067 **rel trk *nnn type key* の CA の CI *num* でデータ・セット *datacomponent* エラーが発生しました (Data set *datacomponent* error at CI *num* in CA at rel trk *nnn type key*)**

説明

key は現行レコード・キー (データ・セット名)、*type* は以下のいずれかのエラー・タイプです。

last segment missing - record skipped

スパン・レコードについて、最終セグメントが制御域で検出されませんでした。レコードはCKFREEZEにコピーされません。

orphan inner segment skipped

スパン・レコード中間セグメントが見つかりましたが、レコードの最初のセグメントが制御域に検出されませんでした。セグメントは破棄されます。

updated during copy

スパン・レコードが見つかりましたが、セグメントの更新カウントが同じではありませんでした。これは、制御域に対する読み取り命令どうしの際にレコードが更新された場合に発生することがあります。レコードはCKFREEZEファイル内で文字化けする場合があります。

orphan last segment skipped

スパン・レコードの最終セグメントが見つかりましたが、レコードの最初のセグメントが制御域で検出されませんでした。セグメントは破棄されます。

重大度

04

CKF0068 **CI オフセット *xxxx* の Cat *rln=xxxx(RDF=xxxxxx)* > *datacomponent* の *reltrk nnnnn* の CA で使用される CI *xxxxxx* (Cat *rln=xxxx* (RDF=*xxxxxx*) at CI offset *xxxx* > used CI *xxxxxx* of CA at *reltrk nnnnn* in *datacomponent*)**

説明

カタログ・レコード (*rln*) のレコード長フィールドが、制御インターバル内で使用されているバイトの終点以降を指しています。

重大度

08

CKF0069 **マルチボリューム・クラスター *dsname* についてスローダウン・モードが起動されました (Slowdown mode invoked for multi-volume cluster *dsname*)**

説明

このメッセージは、クラスターにマルチボリューム・データ・コンポーネントがあるため、このクラスターについて通常の VSAM 処理が選択されたことを示します。

重大度

00

18 メッセージ・ガイド

CKF0070

***dev volume dataset* の *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*type abend xxx-nn* (*explanation*) on *dev volume dataset*)**

説明

このメッセージは、示された PDS(E) の OPEN 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0071 **内部エラー IOBEXCP DEBNMEXT=0 (Internal error IOBEXCP DEBNMEXT=0)**

説明

このメッセージは予期しない状態を示します。空のデータ・セットに対して入出力が試行されました。このメッセージは抑止可能です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0072 **予期しない IOCINFO 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected IOCINFO return code *rc* reason code *rr* (decimal))**

説明

このメッセージは、IOCINFO サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。結果は予測不能です。

重大度

08

CKF0073 **動的構成変更が発生し、UCB スキャンが再開しました。ファイルに重複レコードが含まれている可能性があります (Dynamic configuration change occurred, UCB scan restarted - file may contain duplicate records)**

説明

このメッセージは、UCBSCAN サービスが、すべての UCB のスキャン中に構成変更を指示したことを示します。スキャンは再開されますが、アプリケーションで重複情報がサポートされない場合、CKFREEZE ファイルが使用不能になる場合があります。この場合、zSecure Collect を再実行する必要があります。

重大度

04

CKF0074 予期しない UCBSCAN 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected UCBSCAN return code *rc* reason code *rr* (decimal))

説明

このメッセージは、UCBSCAN サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。

重大度

12

CKF0075 *dev volume* 装置タイプ *devtype* の予期しない EDTINFO 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected EDTINFO return code *rc* reason code *rr* (decimal) for *dev volume devtype devtype*)

説明

このメッセージは、装置の汎用装置タイプを取得しようとしているときに、EDTINFO サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。フィールドには、デフォルト値を入れます。

重大度

04

CKF0076 *dev volume* について予期しない UCBSCAN 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected UCBSCAN return code *rc* reason code *rr* (decimal) on *dev volume*)

説明

このメッセージは、最終パス使用マスクを取得しようとしているときに、UCBSCAN サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。

重大度

12

CKF0077

dev volume について予期しない UCBSCAN 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected UCBSCAN return code *rc* reason code *rr* (decimal) on *dev volume*)

説明

このメッセージは、UCB のアドレスのピンおよび取得を試行しているときに、UCBSCAN サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。意図した許可済みの入出力機能は実行されません。

重大度

12

CKF0078

dev volume について予期しない UCBPIN UNPIN *rc rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected UCBPIN UNPIN *rc rc* reason code *rr* (decimal) on *dev volume*)

説明

このメッセージは、許可された入出力操作の後で UCB の unpin (滞留解除) を試行しているときに、UCBPIN サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。

重大度

12

CKF0080

予期しない IXCQUERY *function* 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (16 進数) (Unexpected IXCQUERY *function* return code *rc* reason code *rr* (hexadecimal))

説明

IXCQUERY サービスが、予期しない戻りコードを発行しました。*function* は、要求された情報の種類を示します。対応する XCF レコードがファイルに存在しません。

重大度

00

CKF0081

CF *data* は取得されませんでした。(CF *data* not retrieved.) CFRM データ・セットがないか、アクティブなポリシーがありません

説明

このシステムで結合データ・セット・サポート TYPE(CFRM) にアクセスできないか、アクティブにされ

たポリシーがないため、アクティブな CFRM ポリシーから情報を取得できませんでした。data として可能性がある値は、information と structures のいずれかです。

重大度

04

CKF0082 予期しない IXCQUERY type 異常終了 xxx-nn (explanation)
(Unexpected IXCQUERY type abend xxx-nn (explanation))

説明

このメッセージは IXCQUERY サービスが異常終了したことを示します。XCF シスプレックス・レコードがファイルから失われます。

重大度

04

CKF0083 dev volser のエクステント・サイズの差異 size DEBNMTRK=num (Extent size discrepancy size DEBNMTRK=num on dev volser)

説明

エクステントのトラック数の下位桁 2 バイトに予期しない差異があります。ソフトウェアでは DEBNMTRK を使用します (小さすぎる場合があります)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKF0084 dev volser の内部エラー CKFCCHH RC=20 (Internal error CKFCCHH RC=20 on dev volser)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0085

dev volser の reltrk において TTT 変換結果 CCC HHHH cccc hhhh がエクステント cccc hhhh - cccc hhhh にありません エクステント nn 範囲 cccc hhhh - cccc hhhh 開始 reltrk サイズ trks (TTT conversion result CCC HHHH cccc hhhh not in extent cccc hhhh - cccc hhhh for reltrk on dev volser Extent nn range cccc hhhh - cccc hhhh start reltrk size trks)

説明

このメッセージは、示された相対トラック番号から絶対シリンダーおよびヘッド・アドレスへの変換に失敗したことを示します。要求されたトラックは、読み取られません。これは一般的に、データ・セットを維持するソフトウェアの新規バージョンなどが原因で、データ・セットの内部構造が正しく理解されなかったことを意味します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0086 メンバー mem (相対トラック trk Rrec) が dev volser dsn サイズ trks トラック内にありません (Member mem rel trk trk Rrec not in dev volser dsn size trks trk)

説明

このメッセージは、PDS ディレクトリー・エントリーが、データ・セットの終点以降のメンバー開始 (相対トラックおよびレコード番号) を指していることを示します。考えられる原因は、データ・セットがコピーまたは復元操作中に切り捨てられたことです。

重大度

04

CKF0087 dev volser dsn のサイズ trks トラック内のメンバー mem 相対トラック trk Rrec 内に EOF がありません (Missing EOF in member mem rel trk trk Rrec in dev volser dsn size trks trk)

説明

このメッセージは、区分データ・セット内に物理的に存在する最後のメンバーが、ファイル終了マーカーの前で切り捨てられたことを示します。メンバーは、示され

た相対トラックおよびレコード番号で開始します。考えられる原因は、データ・セットがコピーまたは復元操作中に切り捨てられたことです。このメンバーのチェックサムはありません。

重大度

04

CKF0088 *dev volser dsn* のサイズ *trks* トラック内の *total* メンバーに *n* がありません (Missing *n* out of total members in *dev volser dsn* size *trks* *trk*)

説明

このメッセージは、区分データ・セット・ディレクトリーが、データ・セット内に物理的に存在しないメンバーを参照したことを示します。考えられる原因は、データ・セットがコピーまたは復元操作中に切り捨てられたことです。

重大度

04

CKF0089 *DMSU volume datasetname* のレコード *nnn* に予期しない *DMS* サブファイル名 *name* (Unexpected *DMS* subfile name *name* at record of *DMSU volume datasetname*)

説明

DMSUNL= キーワードによって示されるデータ・セットに不明なサブファイル名が含まれています。これ以上、データ・セットは読み取れません。

重大度

08

CKF0090 *dev volume dataset* の *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*type* *abend xxx-nn* (*explanation*) on *dev volume dataset*)

説明

このメッセージは、示された TMC OPEN 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0091 *dsname* の TRKCALC が RC=*nn* 10 進数を返します (TRKCALC for *dsname* gives RC=*nn* decimal)

説明

TMC、VMF、または ACF のトラックあたりのブロック数の計算は、示された戻りコードで失敗しました。その結果、ブロックは読み取られません。

重大度

08

CKF0092 *type dev volume dataset, num* バイト/ブロック *num* ブロック/トラック *num* レコード/ブロック *num* トラックをオープンしました (Opened *type dev volume dataset, num* *by/bl num bl/tr num rc/bl num* *trk*)

説明

このメッセージは、*type* データ・セット (CA1 では TMC、CA-TLMS では VMF、FDR/ABR では ABR) が開かれたばかりであることを示し、TMC/VMF を読み取るために使用された特性を表示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0093 予期しないブロック長 *nnn*、*type vol dataset* の相対トラック *nnn Rnn* (Unexpected block length *nnn* at rel track *nnn Rnn* of *type vol dataset*)

説明

このメッセージは、読み取られたトラックに予期しないブロック・サイズが含まれていたことを示します。トラックの残りは、スキップされます。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。*type* には、TMC、VMF、または ABR を指定できません。

重大度

08

CKF0093 予期しないブロック接頭部 "*tttttt*"、*ABR vol dataset* の相対トラック *nnn Rnn* (Unexpected block prefix "*tttttt*" at rel track *nnn Rnn* of *ABR vol dataset*)

説明

このメッセージは、読み取った ABR トラックに予期しないブロック接頭部が含まれていたことを示します。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。

重大度

08

CKF0094 *type dev volume dataset* をクローズし、*nnn* トラックの読み取り、*nnn type* および *nnnn DSNB* レコードのコピーを実行しました (**Closed *type dev volume dataset*, read *nnn tracks*, copied *nnn type* and *nnnn DSNB records***)

説明

この通知メッセージは、TMC/VMF/ABR データ・セットがクローズされたことを示し、CKFREEZE にコピーされたボリューム数およびデータ・セット・レコードを表示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0095 サポートされない *type* ブロック・サイズ *nnn* *lrecl nnn*、*volume dataset* (**Unsupported *type* blocksize *nnn lrecl nnn* for *volume dataset***)

説明

type が TMC に等しい場合、このメッセージは、示されたデータ・セットのレコード・サイズ (*lrecl*) が 200 および 340 (CA1 5.0) と異なっていたことを示します。*type* が VMF に等しい場合、このメッセージは、レコード・サイズが 500 と異なっていたことを示します。*type* が ABR に等しい場合、これはブロック・サイズが 32 バイトより小さかったことを示します。

重大度

08

CKF0096 *type dev volume dataset* の *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*type abend xxx-nn* (*explanation*) on *type dev volume dataset*)

説明

このメッセージは、示された *type* のデータ・セット (DMSUNL では DMSU、PDS/E ディレクトリーでは PDSE、DMS AUTHLIB では PDSM) の OPEN 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常

終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0097 *type dev volume dataset*、*blksz nnnn*、*lrecl nnnn lasttrk nnnnn* をオープンしました (**Opened *type dev volume dataset*, *blksz nnnn*, *lrecl nnnn lasttrk nnnnn***)

説明

このメッセージは、示された *type* データ・セット (DMSUNL では DMSU、PDS/E ディレクトリーでは PDSE、または DMS AUTHLIB では PDSM) が開かれたばかりであることを示し、ブロック・サイズ、レコード長、および最終相対トラック番号 (10 進数) を表示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0098 *DMSU volume dataset* のレコード *nnn* に予期しないレコード長 *n* を検出 (**Unexpected record length *n* at record *nnn* of *DMSU volume dataset***)

説明

9 よりも小さいレコード長が見つかりました。これは DMS アンロードではサポートされません (各レコードは 8 バイトのサブファイル名で始まることが予想されています)。データ・セットの残りは、スキップされます。

重大度

08

CKF0099 *type dev volume dataset* をクローズし、*nnn* 個のレコードの読み取り、*nnn* 個の *DSNINDEX* レコードおよび *nnnn* 個の *RACFENC D* レコードのコピーを実行しました (**Closed *type dev volume dataset* read *nnn records*, copied *nnn DSNINDEX* and *nnnn RACFENC D records***)

説明

この通知メッセージは、DMStype データ・セット (DMSUNL では DMSU、PDS/E ディレクトリーでは PDSE、または DMS AUTHLIB では PDSM) がクローズさ

れたことを示し、読み取ったレコード数と、CKFREEZE にコピーされたデータ・セットおよび RACF プロファイルの数を示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF メッセージ 100 から 199

CKF0100 PDS ディレクトリーの終点が *dev vol dsn* にありません (Missing PDS directory end in *dev vol dsn*)

説明

このメッセージは、区分データ・セット編成を持つと予想されたデータ・セットが適切な PDS ディレクトリーを持っていなかった (つまり、高い値のキーを持つレコードで終わった) ことを示します。考えられる原因は、データ・セットが一切 PDS でなかったか、コピーまたは復元操作が失敗したため PDS ディレクトリーの終点より前でデータ・セットが切り捨てられたことです。

重大度

08

CKF0101 *dsn* の LISTCAT 中の予期しない 10 進数戻りコード *nn* (Unexpected return code *nn* dec during LISTCAT of *dsn*)

説明

このメッセージは、カタログで VSAM クラスター名の場所の検索に失敗したことを示します。クラスターはスキップされます。プログラムによって検索されたと思われる場合、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0102 *volume* 上の *type catname*、BLK *decnum*、CISZ *decnum*、CASZ *decnum* バイト、*num* CI/CA、*num* ブロック/CA、*num* トラック/CA、*nn* ブロック/トラック、*nn* ブロック/CI (*type catname* on *volume* BLK *decnum* CISZ *decnum*、CASZ *decnum* byte、*num* CI/CA、*num* bl/CA、*numtr*/CA、*nn* bl/trk、*nn* bl/CI)

説明

この通知メッセージは、直前に開かれた指定の *type* VSAM データ・セット (カタログでは BCS、HSM マイグレーション制御データ・セットでは MCD、HSM バックアップ制御データ・セットでは BCD、DFSMS RMM 制御データ・セットでは RMM) についての制御インターバル・サイズ、制御域のバイト数、ブロック数、およびトラック数、ならびにトラックあたりのブロック数と制御インターバルあたりのブロック数を提供します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0103 組み込みなし - *volume* 上の索引 *indexname*、BLK *decnum* CISZ *decnum* (No imbed - index *indexname* on *volume* BLK *decnum* CISZ *decnum*)

説明

このメッセージは、開かれようとしている索引コンポーネントに NOIMBED 属性があるため、索引の処理が必要なことを示します。このメッセージは、索引コンポーネントのデータ・セット名と、物理ブロック・サイズおよび CI サイズを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0104 IX *dev volume catname* をクローズし、メモリー内 *decnum* バイトに索引を付けました - *indexname* (Closed IX *dev volume catname* index incore *decnum* bytes - *indexname*)

説明

この通知メッセージは、クローズ前にカタログ索引コンポーネントから読み取ったバイト数を要約したものです。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0105 *type dev volser catname* サイズ
num トラック *datacomponent* をオ
ープンしました (**Opened *type dev***
volser catname size num trk
datacomponent)

説明

この通知メッセージには、正常に開かれたばかりの
| *type* データ・セット (CKF0102 を参照) のデータ・コン
ポーネント内のトラック数が含まれます。このメッセ
ージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行
されます。

重大度

00

CKF0106 マスター・カタログは *catname* です
(**Master catalog is *catname***)

説明

この通知メッセージは、マスター・カタログの名前を示
します。このメッセージは、INFO オプションが選択さ
れた場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0107 **ACB *dev volume cluster* コンポーネ**
ント *dsname* をオープンしました
(Opened ACB *dev volume cluster*
component *dsname*)

説明

この通知メッセージは、示された VSAM データ・セッ
トに対して ACB が正常に開かれたことを示します。こ
のメッセージは、INFO オプションが選択された場合に
のみ発行されます。

重大度

00

CKF0108 **ACB *dev volume cluster* をクローズ**
し、*decnum* レコードの
***datacomponent* を読み取り、**
***decnum* レコードをコピーしました**
(Closed ACB *dev volume cluster*
read *decnum*, copied *decnum*
records *datacomponent*)

説明

この通知メッセージは、示された VSAM データ・セッ
トから読み取られたレコード数とコピーされたレコー
ド数を示します。このメッセージは、INFO オプション
が選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0109 ***dsntype dev volume dsname* をオー**
プンしました [割り振りサイズ *nn*
トラック] (Opened *dsntype dev*
***volume dsname* [alloc size *nn trk*])**

説明

この通知メッセージは、示された PDS(E) が正常に開か
れたことを示し、PDS についてはトラック内のデータ・
セットのサイズを示します。このメッセージは、INFO
オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0110 **PDS *dev volume dsname* をクロー**
ズし、*decnum* トラックの読み取り、
***decnum* ディレクトリー・ブロックの**
コピー、*decnum* バイトのスキャンを
実行しました (*decnum* メンバー内)
(Closed PDS *dev volume dsname*
read *decnum* trks, copied *decnum*
dir blks, scanned *decnum* byte in
***decnum* members)**

説明

この通知メッセージは、示された PDS から読み取られ
たディレクトリー・トラックおよびブロックの数を示し
ます。このメッセージは、INFO オプションが選択され
た場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0111 ***n* 入出力実行プログラムを開始して**
います ... (Starting *n* I/O
executors ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェ
ーズを開始していることを表示します。PARALLEL パ
ラメーターによって導入された並列処理の数またはそ
のデフォルト値を表示します。

重大度

00

CKF0112 VTOC *dev volume* サイズ *decnum* トラックをオープンしました (Opened VTOC *dev volume size decnum tracks*)

説明

この通知メッセージは、示されたボリュームに対して VTOC が正常に開かれたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0113 VTOC *dev volume* をクローズし、*num* トラックの読み取り、および *decnum* DSCB のコピーを実行しました (Closed VTOC *dev volume read num tracks, copied decnum DSCBs*)

説明

この通知メッセージは、クローズ前に VTOC から読み取ったトラックおよびレコードの数を要約したものです。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0114 SYS1.VVDS.Vvolume サイズ *decnum* トラック、*nnn* ブロック/トラックをオープンしました (Opened SYS1.VVDS.Vvolume size *decnum tracks, nnn blk/trk*)

説明

この通知メッセージは、示された VVDS が正常に開かれたこと、およびトラックあたりの 4KB ブロックの数を示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0115 SYS1.VVDS.Vvolume をクローズし、*num* トラックの読み取り、および *decnum* 個の NVR/VVR のコピーを実行しました (Closed SYS1.VVDS.Vvolume read *num tracks, copied decnum NVR/VVRs*)

説明

この通知メッセージは、クローズ前に VVDS から読み取ったトラックおよびレコードの数を要約したものです。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0116 *type dev volume catname* をクローズし、*num* 個のトラックおよび *num* 個のレコードの読み取りと、*decnum/decnum* 個の非スパン/スパン・レコードのコピーを実行しました (Closed *type dev volume catname read num trks, num records, copied decnum/decnum non/spanned records*)

説明

この通知メッセージは、クローズ前に *type* データ・セット (CKF0102 を参照) のデータ・コンポーネントから読み取ったトラック数およびレコード数と、コピーしたトラック数およびレコード数 (非スパン・レコードとスパン・レコードの両方) を要約したものです。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0117 コマンド "*command*" の CP 応答が切り捨てられました: *response* (CP response truncated for command "*command*": *response*)

説明

このメッセージは、VM で実行中に発行された指定の CP コマンドの応答が、戻り域に入らなかったことを示します。応答の最初の 5 行が表示されます。その結果、コマンドによって収集された情報が CKFREEZE ファイルから失われる可能性があります。

重大度

12

CKF0118 コマンド "*command*" の CP 戻りコード *nn*: *response* (CP return code *nn* on command "*command*": *response*)

説明

このメッセージは、VM で実行中に発行された指定コマンドに対し、CP が非ゼロの戻りコードを返したことを

示します。その結果、コマンドによって収集された情報が CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度

12

CKF0119 **Q Vnnnn が nnnn のデータを返しました- おそらくサポートされない VM リリースです (Q Vnnnn returns data for nnnn - possibly unsupported VM release)**

説明

MVS の XA リリースを VM で実行中に、zSecure Collect によって発行された QUERY VIRTUAL コマンドが、予期に反して別の装置から情報を返しました。この情報は処理されません。

重大度

12

CKF0120 **予期しない IOS rc xx x、CSW stat xxxx sns xxxx id cccc/mm dddd/mm v/r=vv/rr dev dev volser during CCWname (Unexpected IOS rc xx x、CSW stat xxxx sns xxxx id cccc/mm dddd/mm v/r=vv/rr dev dev volser during CCWname)**

説明

このメッセージは、示された装置上のタイプ CCWname の入出力操作が失敗したことを示します。チャンネル状況ワードおよびセンス・コードの最初の 2 バイトが 16 進数で表示され、16 進数のコントローラー・タイプ cccc とモデル mm および装置タイプ dddd とモデル mm (センス ID によって返される)、および ReadDeviceCharacteristics によって返される仮想および物理コントローラー・タイプも表示されます。後半の情報は、3990 モデルおよび RAMAC 装置の正確な装置タイプおよびモードを判別するために必要です。考えられるハードウェア障害を検査します。直後に続くメッセージ CKF0144 で詳細な診断情報が得られる場合もあります。

重大度

08

CKF0121 **product の予期しない nil name ポインター (Unexpected nil name pointer in product)**

説明

このメッセージには 2 つのフォームがあります。1 番目のフォームは、指定された製品 (HSM、JES2、JES3、

RMM、TLMS) についてアドレス・スペース内でクロスメモリー・サービスを使用して制御ブロック・チェーンへのアクセス中に、予期に反してゼロであることが検出されたポインターの名前を表示します。

重大度

04

CKF0121 **product の予期しない null ASID (Unexpected null ASID for product)**

説明

このメッセージの 2 番目のフォームは、指定された製品 (HSM、JES2、JES3、RMM、TLMS) についてアドレス・スペース内でクロスメモリー・サービスを使用して制御ブロック・チェーンへのアクセス中に、アドレス・スペース ID が予期に反してゼロであることが検出されたことを示します。

重大度

04

CKF0122 **問い合わせた TAPE 装置の数: nnn (Number of TAPE devices interrogated: nnn)**

説明

このメッセージは TAPE=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、問い合わせのあった磁気テープ装置の数を表示します。

重大度

00

CKF0123 **装置 nnnn に対する Q V mmm 照会が nnnn のデータを返しました - おそらくサポートされない VM リリースです (Q V mmm query for device nnnn returns data for nnnn - possibly unsupported VM release)**

説明

MVS の非 XA リリースを VM で実行中に、MVS の装置番号 nnnn の代わりに VM 装置番号 mmm に対して zSecure Collect によって発行された QUERY VIRTUAL コマンドが、予期に反して別の装置から情報を返しました。この情報は処理されません。

重大度

12

CKF0124 **非 SMS システム (Non-SMS system)**

説明

この通知メッセージは、システムに SMS サブシステムが定義されていないことを示すために発行されます。

重大度

00

CKF0125 **SMS が非アクティブです。**

説明

この通知メッセージは、SMS サブシステムが定義されているが非アクティブであることを示すために発行されます。SMS 情報が CKFREEZE ファイルに記載されることはありません。

重大度

04

CKF0126 **SMS IEFSSREQ RC=*nn* (10 進数) (要求 SSSA1TYP=*nn* (10 進数) に対して) (SMS IEFSSREQ RC=*nn* (decimal) for request SSSA1TYP=*nn* (decimal))**

説明

このメッセージは、SMS サブシステム 要求の失敗を示します。要求された SMS 情報が CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度

08

CKF0127 **SMS 戻りコード SSOBRET*N*=*nn* (10 進数) 理由コード SSSARS*N*=*nnn* (10 進数) (要求 SSSA1TYP=*nn* (10 進数) に対して) (SMS return code SSOBRET*N*=*nn* (decimal) reason code SSSARS*N*=*nnn* (decimal) for request SSSA1TYP=*nn* (decimal))**

説明

このメッセージは、SMS 情報要求の失敗を示します。要求された SMS 情報が CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度

08

CKF0128 **SMS は要求 SSSA1TYP=*nn* (decimal) に対して理由コード SSSARS*N*=*nnn* (10 進数) およびメッセージを返しました: *messages* (SMS returned reason code**

SSARS*N*=*nnn* (decimal) and messages for request SSSA1TYP=*nn* (decimal): *messages*)

説明

このメッセージは、SMS 情報要求が失敗した可能性があることを示します。SMS によって返された通知メッセージまたはエラー・メッセージがこのメッセージの後に続きます。要求された SMS 情報が CKFREEZE ファイルから失われる可能性があります。

重大度

04

CKF0129 **要求 SSSA1TYP=*nn* (10 進数) に対する予期しない SMS コール *type* 異常終了 *xxx-nn* (explanation) (Unexpected SMS call *type* abend *xxx-nn* (explanation) for request SSSA1TYP=*nn* (decimal))**

説明

このメッセージは、SMS 情報要求中に発行された異常終了を示します。要求された SMS 情報が CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度

08

CKF0130 **SMS *type* name 構成 *description* (SMS *type* name configuration *description*)**

説明

この通知メッセージは、タイプ *type* および名前 *name* の複合は SMS アクティブであることを示し、アクティブ構成のコメント (説明) フィールドを表示します。

重大度

00

CKF0131 **LCU 選択は不可能です (LCU selection not possible)**

説明

このメッセージは、LCU 選択が指定されましたが、LCU 情報がシステムから検出されなかったことを示します。実行は異常終了します。考えられる理由として、RMF がアクティブでないか、VM システムで実行中であるか、またはサポートされない RMF リリースであることなどがあります。

重大度

12

CKF0132 テープ管理システム CA1、TMSTMVT
レベル TVTxxxx (Tape
management system CA1,
TMSTMVT level TVTxxxx)

説明

このメッセージは、CA1 がシステムでアクティブであることが検出されたことを示すとともに、CA1 TMCKLVL プログラムが使用する形式と同じ形式で CA1 TMVT 制御ブロックのレベルを示します。

重大度

00

CKF0133 収集される追加情報を選択するパラ
メーターの前に **FOCUS** が存在する
必要があります (**FOCUS must
precede parameters selecting
additional information to be
collected**)

説明

このメッセージは、FOCUS が最初のパラメーターでなく、各フォーカスにおいて許可されないパラメーターを FOCUS パラメーターの前に指定した場合に発行されます。FOCUS パラメーターを前に移動してください。

重大度

12

CKF0134 コマンドは現行 **FOCUS** で無効です -
**name (Command not valid in
current FOCUS - name)**

説明

このメッセージは、現行のフォーカス組み合わせにおいて無効な機能が要求されたことを示します。コマンドの *name* を索引から検索して、制約事項を読むことができます。

重大度

12

CKF0135 *site-specific identification string* が
where CPU ID で実行します。ソー
ス・ファイル *ddname volser dsn*
(*site-specific identification string*
Runs on *where CPU-id*, source file
ddname volser dsn)

説明

このメッセージは、サイト固有の識別ストリング、CPU ID、関連する製品番号および製品名を示します。

重大度

00

CKF0136 装置 *dev* ボリューム *volser* の
dsname について **CLOSE** が異常終
了しました *xxx-rc (CLOSEabend
xxx-rc on device dev volume volser
for dsname)*

説明

dsname という名前のデータ・セットが、装置 *dev* でクローズできませんでした。VTOC は ** VTOC *volser* ** と示されます。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0137 **ACB CLOSE** が *type dev volume
datacomp* について失敗しました。
rc=nn code=code クラスタ
*dsname (ACB CLOSE failed for type
dev volume datacomp rc=nn
code=code cluster dsname)*

説明

VSAM データ・セットのデータ・コンポーネント *datacomp* をクローズできませんでした。コードの意味については、該当する DFP マニュアルを参照してください。

重大度

08

CKF0138 **GET RPL** *type dev volume
datacomponent rc=nn* 理由 =*n***nnn**
(*n***nnn** レコードの後) (**GET RPL** *type
dev volume datacomponent rc=nn
reason=n***nnn** after *n***nnn** records)

説明

このメッセージは、示された数のレコードの後の、VSAM GET マクロからの予期しない戻りコードおよび理由コード (10 進数) を示します。

重大度

08

CKF0139 **SYS1.VVDS.Vvolume の TRKCALC から RC=nn (10 進数) が返されました (TRKCALC for SYS1.VVDS.Vvolume gives RC=nn decimal)**

説明

VVDS についてのトラックあたりのブロック数の計算は失敗し、戻りコードが示されました。その結果、スペース・マップは使用されず、VVDS のすべてのトラックが読み取られます。

重大度

08

CKF0140 **コピーされた RACFENC D レコードの数: nnnn (Number of RACFENC D records copied: nnnn)**

説明

このメッセージは、DMS DMSFILES の RACFENC D サブファイルとアンロードされた DMSFILES データ・セットからコピーされたレコードの数を示します。RACFENC D サブファイルは、アーカイブまたはバックアップされたデータ・セットのデータ・セット名と、エンコード名を持つ対応する RACF プロファイルの関係を提供します。

重大度

00

CKF0141 **コピーされた DSNINDEX レコードの数: nnnn (Number of DSNINDEX records copied: nnnn)**

説明

このメッセージは、DMS DMSFILES の RACFENC D サブファイルとアンロードされた DMSFILES データ・セットからコピーされたレコードの数を示します。すべての保存されたデータ・セットおよびバックアップされたデータ・セットが含まれます。

重大度

00

CKF0142 **コピーされた MCD レコードの数: nnnnn (Number of MCD records copied: nnnnn)**

説明

このメッセージは、HSM マイグレーション制御データ・セットからコピーされたレコード数を示します。数値がゼロ以外の場合に表示されます。

重大度

00

CKF0143 **コピーされた BCD レコードの数: nnnnn (Number of BCD records copied: nnnnn)**

説明

このメッセージは、HSM バックアップ制御データ・セットからコピーされたレコード数を示します。数値がゼロ以外の場合に表示されます。

重大度

00

CKF0144 **オリジナル rc nnx sense xxxxxxxx
xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
xxxxxxxx (original rc nnx sense
xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
xxxxxxxx xxxxxxxx)**

説明

このメッセージは、メッセージ CKF0120 または CKF0051 の後に、状況によって表示されます。これは、装置チェックなどの失敗したチャンネル・プログラムに関連付けられたオリジナルの EXCP 戻りコードおよびセンス・コードを示します。ハードウェアの損傷または故障を検査してください。これらが見つからない場合、これらのメッセージを報告し、回避できるかどうかを調べるために、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKF0145 **CKFREEZE LRECL=nnn は最低 23472 である必要があります。BLKSIZE としてハーフ/フル・トラックを使用し、LRECL 4 以下を設定するか、LRECL=X、RECFM=VBS を設定してください (CKFREEZE LRECL=nnn must at least be 23472, use half/full track as BLKSIZE and set LRECL 4 less, or use LRECL=X, RECFM=VBS)**

説明

このメッセージは、CKFREEZE ファイルの最大レコード長が不十分なことを示します。JCL を検査し、LRECL を指定していなかった場合、BLKSIZE を確認してくださ

い。いずれも指定していなかった場合は、BLKSIZE の指定を試みます。これを指定できない場合は、両方の指定を試みてください。両方を指定して SMS がアクティブの場合、ご使用のサイトのストレージ管理者に連絡して、ACS ルーチンで不十分なオーバーライド LRECL の発生を回避できるかを調べてください。

重大度

12

CKF0146 コピーされた TMC ボリューム・レコードの数: *nnnn* (Number of TMC volume records copied: *nnnn*)

説明

このメッセージは、CA1 TMC (磁気テープ管理カタログ) からコピーされたボリューム・レコードの数を示します。

重大度

00

CKF0147 コピーされた DSNB レコードの数: *nnnn* (Number of DSNB records copied: *nnnn*)

説明

このメッセージは、CA1 TMC (磁気テープ管理カタログ) からコピーされた 2 次データ・セット・レコードの数 (データ・セット名ブロック) を示します。

重大度

00

CKF0148 レベル *v.r.m* の DMS レコード (DMS records at level *v.r.m*)

説明

このメッセージは、DMSFILES レコード内に見つかった最も大きい DMS リリース番号を示します。

重大度

00

CKF0149 問い合わせた SWCH 装置の数: *nnn* (Number of SWCH devices interrogated: *nnn*)

説明

このメッセージは SWCH=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、問い合わせのあった ESCON ディレクターの数を表示します。

重大度

00

CKF0150 *dev volser dsname* の *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*type abend xxx-nn* (*explanation*) on *dev volser dsname*)

説明

このメッセージは、DMSFILES データ・セットの OPEN が、示された異常終了コードで失敗したことを示します。このデータ・セットから CKFREEZE ファイルに記載される情報はありません。

重大度

08

CKF0151 *dsname* の TRKCALC から RC=*nn* (10 進数) が返されました (TRKCALC for *dsname* gives RC=*nn* decimal)

説明

DMSFILES データ・セットについてのトラックあたりのブロック数の計算は、示された戻りコードで失敗しました。その結果、ブロックは読み取られません。

重大度

08

CKF0152 DMSF *dev volume dataset*, *nnn* バイト/ブロック、*nn* ブロック/トラック、*nnn* バイト/トラック、*nnnn* トラックをオープンしました (Opened DMSF *dev volume dataset*, *nnn* by/bl *nn* bl/tr *nnn* by/tr *nnnn* trk)

説明

このメッセージは、DMSFILES データ・セットがちょうど開かれたことを示し、DMSFILES データ・セットを読み取るために使用された特性を表示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0153 データ・セットのサポートされない DMSFILES フォーマット - *volser dsname* (Dataset has unsupported DMSFILES format - *volser dsname*)

説明

このメッセージは、示されたデータ・セットが、DMSFILES データ・セットのサポートされたレイアウトに準拠しないことを示します。具体的には、制御レコードに正しい制御ブロック ID が含まれていません。データ・セットはこれ以上、処理されません。

重大度

08

CKF0154 データ・セットにはブロック・サイズ *nnnn* が予期されていますが、*volser dsname* の *nnnn* です (**Dataset expects blksize *nnnn* but is *nnnn* for *volser dsname***)

説明

このメッセージは、DMSFILES データ・セットが DMS 制御レコード内に含む物理ブロック・サイズが、VTOC 内のフォーマット 1 DSCB の物理ブロック・サイズと異なることを示します。データ・セットはこれ以上、処理されません。

重大度

08

CKF0155 DMSF *vol dataset* の相対トラック *nnn Rnn* の予期しないブロック長 *nnn* (**Unexpected block length *nnn* at rel track *nnn Rnn* of DMSF *vol dataset***)

説明

このメッセージは、読み取られた DMSFILES トラックに予期しないブロック・サイズが含まれていたことを示します。データ・セットの残りは、スキップされます。

重大度

08

CKF0156 DMSFILES エラー: RBA *xxxxxxxx* および長さ *nnnnn* の参照が、最後の相対トラック *nnnn* より後を指しています (**DMSFILES error: reference to RBA *xxxxxxxx* and length *nnnnn* points beyond last rel track *nnnn***)

説明

このメッセージは、DMSFILES データ・セットの読み取り中のエラーを示します。索引項目またはファイル制御ブロックが、相対バイト・アドレス (16 進数) に存在し、F1 DSCB で示すデータ・セットの最終使用トラックを超える長さ (10 進数) を持つブロックを指定しま

す。最終使用トラックよりも後のブロックは読み取られません。

重大度

08

CKF0157 DMSFILES エラー: RBA *xxxxxxxx* の論理ブロックの末尾の *nnnn* バイトがありません (**DMSFILES error: missing *nnnn* bytes at the end of logical block at RBA *xxxxxxxx***)

説明

このメッセージは、ファイル終了処理に入ったとき、zSecure Collect が論理ブロックを完了するための追加のバイトを予期したことを示します。

重大度

08

CKF0158 DMSFILES エラー: BLK RBA *xxxxxxxx* を検出しましたが、予期しないサブファイル *name* です。相対トラック *nnn Rnn* (DMSFILES error: found BLK RBA *xxxxxxxx* but unexpected subfile *name* rel trk *nnn Rnn*)

説明

このメッセージは、DSNINDEX または RACFENCD 索引によって指示されるブロックが、指定された RBA で読み取られましたが、DSNINDEX および RACFENCD とは異なるサブファイルのレコードを含んでいたことを示します。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。

重大度

08

CKF0159 DMSFILES エラー: IND RBA *xxxxxxxx* を検出しましたが、予期しないサブファイル *name* です。相対トラック *nnn Rnn* (DMSFILES error: found IND RBA *xxxxxxxx* but unexpected subfile *name* rel trk *nnn Rnn*)

説明

このメッセージは、DSNINDEX または RACFENCD FCB によって指示される索引ブロックが、指定された RBA で読み取られましたが、DSNINDEX および RACFENCD とは異なるサブファイルの索引を含んでいたことを示します。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。

重大度

08

CKF0160 DMSFILES エラー: RBA xxxxxxxx を検出しましたが、BLK または IND 接頭部ではありません。相対トラック nnn Rnn (DMSFILES error: found RBA xxxxxxxx but not a BLK or IND prefix, at rel trk nnn Rnn)

説明

このメッセージは、DSNINDEX または RACFENC D の FCB または索引によって指示されるブロックが、指定された RBA で読み取られましたが、BLK または IND 接頭部を含んでいなかったことを示します。現在の相対トラック番号および物理記録番号は 10 進数で表示されます。

重大度

08

CKF0161 DMSFILES エラー: RBA xxxxxxxx がブロック境界で検出されませんでした、RBA xxxxxxxx 相対トラック nnn Rnn (DMSFILES error: RBA xxxxxxxx not found on block boundary, at RBA xxxxxxxx rel trk nnn Rnn)

説明

このメッセージは、DSNINDEX または RACFENC D の FCB または索引によって指示される論理ブロックの開始 RBA が、物理ブロック境界で検出されなかったことを示します。現在の RBA、相対トラック番号、および物理記録番号が 10 進数で表示されます。

重大度

08

CKF0162 DMSFILES エラー: RBA xxxxxxxx で開始するブロックがありません (DMSFILES error: missed block(s) starting at RBA xxxxxxxx)

説明

このメッセージは、ファイル終了処理に入ったとき、zSecure Collect が、指定された RBA (DSNINDEX または RACFENC D の FCB または索引によって指示される) で開始する追加情報を予期したことを示します。

重大度

08

CKF0163

DMSF dev volume dataset をクローズし、nnn トラックの読み取り、nnn 個の DSNINDEX および nnnn 個の RACFENC D レコードのコピーを実行しました (Closed DMSF dev volume dataset, read nnn tracks, copied nnn DSNINDEX and nnnn RACFENC D records)

説明

この通知メッセージは、DMSFILES データ・セットがクローズされたことを示し、CKFREEZE にコピーされたデータ・セットおよび RACF プロファイル・レコードの数が表示されます。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0164 DMSFILES エラー: name サブファイルが FCB に検出されません (DMSFILES error: name subfile not found in FCBs)

説明

このメッセージは、zSecure Collect がファイル制御ブロック内で指定されたサブファイル定義を検出できなかったことを示します。サブファイルからの情報は CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度

08

CKF0165 DMSFILES エラー: FCB に IND/BLK RBA が存在しないか無効です (DMSFILES error: no or invalid IND/BLK RBA in FCBs)

説明

このメッセージは、zSecure Collect が DSNINDEX および RACFENC D ファイル制御ブロック内で有効な RBA を検出できなかったことを示します。この DMSFILES データ・セットから CKFREEZE ファイルにコピーされる情報はありません。

重大度

08

CKF0166 抑止されるメッセージ番号は 0..999 の範囲である必要があります (Message number to be suppressed must be in range 0..999)

説明

メッセージ抑止コマンド SUPMSG およびそのエイリアスの形式は、コンマで区切って括弧で囲んだ 10 進数のリストであるか、単一の数値です。ブランクのままではない可能性があります。

重大度

12

CKF0167 予期されるデータ・セット *volume dsname* についてボリュームがマウントされていません (**Volume not mounted for expected data set *volume dsname***)

説明

このメッセージは、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、ボリュームがマウントされていなかったことを示します。

重大度

04

CKF0168 ボリューム *volume dsname* の予期されるデータ・セットについてリストアが成功しませんでした (**Restore not successful for expected data set on volume *volume dsname***)

説明

このメッセージは、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、OPEN の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは RESTORE=YES または RECALL=YES が指定または暗黙指定されている場合にのみ発生します。

重大度

04

CKF0168 **RESTORE=NO** および予期されるデータ・セットがボリューム *volume dsname* にありません (**RESTORE=NO and expected data set not on volume *volume dsname***)

説明

このメッセージの形式は、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、データ・セットが VTOC から検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度

04

CKF0169 要求されたデータ・セット *volume dsname* についてボリュームが (除外されたか) マウントされていません (**Volume [excluded or] not mounted for requested data set *volume dsname***)

説明

このメッセージは、データ・セットについてアクションを要求したが、ボリュームがマウントされていなかったか、SELECT および EXCLUDE コマンドによって除外されていたことを示します。

重大度

08

CKF0170 ボリューム *volume dsname* の要求されたデータ・セットについてリストアが成功しませんでした (**Restore not successful for requested data set on volume *volume dsname***)

説明

このメッセージは、データ・セットについてアクションを要求したが、OPEN の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES (RECALL=YES と同じ) が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度

08

CKF0170 **RESTORE=NO** および要求されたデータ・セットがボリューム *volume dsname* にありません (**RESTORE=NO and requested data set not on volume *volume dsname***)

説明

このメッセージの形式は、データ・セットについてアクションを要求したが、データ・セットが VTOC から検出されず、RESTORE=NO が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度

08

CKF0171 任意のボリュームの予期されるデータ・セットについてリストアが成功しませんでした - *dsname* (**Restore**

not successful for expected data set on any volume - dsname)

説明

このメッセージは、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、ALLOCATE の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度

04

CKF0171 **RESTORE=NO** および予期されるデータ・セットが任意のボリュームにありません *dsname (RESTORE=NO and expected data set not on volume dsname)*

説明

このメッセージの形式は、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、データ・セットが任意の VTOC から検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度

04

CKF0172 任意の (含まれていた) ボリュームの要求されたデータ・セットについて リストアが成功しませんでした - *dsname (Restore not successful for requested data set on any [included] volume - dsname)*

説明

このメッセージは、データ・セットについてアクションを要求したが、データ・セットがボリュームから検出されなかったか、ボリュームが SELECT および EXCLUDE ステートメントによって含められなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=NO が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度

08

CKF0172 **RESTORE=NO** および要求されたデータ・セットが任意の (含まれていた) ボリューム *dsname* にありません (**RESTORE=NO and requested**

data set not on any [included] volume dsname)

説明

このメッセージの形式は、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、SELECT および EXCLUDE ステートメントによって含められた任意の VTOC からデータ・セットが検出されず、RESTORE=NO が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度

08

CKF0173 予期される **VSAM** データ・セット *volume dsname* についてボリュームがマウントされていません (**Volume not mounted for expected VSAM data set volume dsname**)

説明

このメッセージは、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、ボリュームがマウントされていなかったことを示します。

重大度

04

CKF0174 ボリューム *volume dsname* の予期される **VSAM** データ・セットについて リストアが成功しませんでした (**Restore not successful for expected VSAM data set on volume volume dsname**)

説明

このメッセージは、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、OPEN の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES (RECALL=YES と同じ) が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度

04

CKF0174 **RESTORE=NO** および予期される **VSAM** データ・セットがボリューム *volume dsname* にありません (**RESTORE=NO and expected VSAM data set not on volume volume dsname**)

説明

このメッセージの形式は、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、データ・セットが VTOC から検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度

04

CKF0175 要求された VSAM データ・セット *volume dsname* についてボリュームが (除外されたか) マウントされていません (**Volume [excluded or] not mounted for requested VSAM data set *volume dsname***)

説明

このメッセージは、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、ボリュームがマウントされていなかったか、SELECT および EXCLUDE コマンドによって除外されていたことを示します。

重大度

08

CKF0176 ボリューム *volume dsname* の要求された VSAM データ・セットについてリストアが成功しませんでした (**Restore not successful for requested VSAM data set on volume *volume dsname***)

説明

このメッセージは、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、OPEN の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES (RECALL=YES と同じ) が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度

08

CKF0176 **RESTORE=NO** および要求された VSAM データ・セットがボリューム *volume dsname* にはありません (**RESTORE=NO and requested VSAM data set not on volume *volume dsname***)

説明

このメッセージの形式は、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、データ・セットが VTOC から

検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度

08

CKF0177 任意のボリュームの予期される VSAM データ・セットについてリストアが成功しませんでした - ***dsname* (Restore not successful for expected VSAM data set on any volume - *dsname*)**

説明

このメッセージは、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、ALLOCATE の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度

04

CKF0177 **RESTORE=NO** および予期される VSAM データ・セットが任意のボリューム *dsname* にはありません (**RESTORE=NO and expected VSAM data set not on volume *dsname***)

説明

このメッセージの形式は、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、データ・セットが任意の VTOC から検出されず、RESTORE=NO が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度

04

CKF0178 任意の (含まれていた) ボリュームの要求された VSAM データ・セットについてリストアが成功しませんでした - ***dsname* (Restore not successful for requested VSAM data set on any [included] volume - *dsname*)**

説明

このメッセージは、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、ALLOCATE 試行に成功しなかったか、ボリュームが SELECT および EXCLUDE ステートメントによって含められなかったことを示します。この

メッセージ・テキストは、RESTORE=YES (RECALL=YESと同じ) が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度

08

CKF0178 **RESTORE=NO** および予期された **VSAM** データ・セットが任意の(含まれていた) ボリューム *dsname* ありません (**RESTORE=NO** and **expected VSAM data set not on volume dsname**)

説明

このメッセージの形式は、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、SELECT および EXCLUDE ステートメントによって含まれた任意の VTOC からデータ・セットが検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度

08

CKF0179 サポートされない MPFT レベル *xx*
(**Unsupported MPFT level xx**)

説明

このメッセージは、メッセージ処理機能について現在サポートされているものよりも新しい制御ブロック・レイアウトが見つかったことを示します。メッセージ抑止についての情報は CKFREEZE ファイルから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0180 装置 *dev volume* に VTOC がありません (**Device dev volume has no VTOC**)

説明

このメッセージは、最後の IPL または VARY コマンド時点において、示されたボリュームに VTOC がなかったことを示します。このボリュームへの処理はスキップされました。

重大度

04

CKF0181 装置 *dev volume* のトラック 0 レコード *n* に VTOC が存在します - サポートされません (**Device dev volume has VTOC on track 0 record n - not supported**)

説明

このメッセージは、示されたボリュームには、トラック 0 の示されたレコードに VTOC があることを示します。zSecure Collect ではこのフォーマットは認識されません。このボリュームへの処理はスキップされました (VTOC はダンプされません)。

重大度

04

CKF0182 この実行のオプション:
FOCUS=(focus)
IO=Y/N,TCPIP=Y/N, DASD=Y/N,
TAPE=Y/N, SWCH=Y/N,
PATH=Y/N, VTOC=Y/N,
VVDS=Y/N, PDS=Y/N, CAT=Y/N/
MCAT, MCD=Y/N, BCD=Y/N,
DMS=Y/N, ABR=Y/N, TMC=Y/N,
RMM=Y/N, VMF=Y/N, UNIX=Y/N
[,UNIXCLIENT=Y/N] RECALL=Y/N
[,AUTOMOUNT=Y/N,
UNIXACL=Y/N], SHARED=Y/N,
OFFLINE=Y/N, SMS=Y/N,
STATS=Y/N, IDR=Y/N,
CHECK=Y/N, SCAN=Y/N,
PARALLEL=NONE/PATHGROUP/
PATH [,NO]REPORT[,ALLRECS]
[,WAIT=Y/N[,BURSTS=num,
BURSTWAIT=num,BURSTSIZE=nu
m] [, [NO]KEYO, [NO]BYPASS,
[NO]SIO, [NO]XMEM, [NO]XMDSN,
[NO]DIAG,
[NO]UIDO[,UNCONNECTED]
[,SLOWDOWN] [,FREE]
[,MONITOR=num]
[,INTERVAL=num]], ENQ=Y/N,
DDLIMIT=num, IOTIMEOUT=nn,
PDSEBUFSIZE=num,
SIGVER=Y/N, XTIO=Y/N,
MOD=Y/N, NJE=Y/N, CICS=Y/N,
IMS=Y/N, MQ=Y/N, DB2=Y/N,
DB2CAT=Y/N, [NO]DB2ADM,
CKDS=Y/N, PKDS=Y/N,
TKDS=Y/N, SYMKEYTEST=Y/
N,CF=Y/N,
SERIALIZATION(NOENQ|
ENQ(SYSDSN/CKRDSN/
SYSDSN,CKRDSN)
[,WAIT[,MAXWAIT(nn)], FAIL]
[,VOLSER][,UNIT])

説明

このメッセージは、現在有効な基本オプション (他のオプションとの組み合わせでないオプション) をリストします。

重大度

00

CKF0183 装置 *dev volume* の CP 形式の VTOC はサポートされません (Device *dev volume* CP-formatted VTOC not supported)

説明

このメッセージは、ボリュームには、(VM で使用するための) CP 形式のボリュームと同じ位置に VTOC があることを示します。このボリュームへの処理はスキップされました (VTOC はダンプされません)。

重大度

04

CKF0184 装置 *dev volume* の AIX 形式の VTOC はサポートされません (Device *dev volume* AIX-formatted VTOC not supported)

説明

このメッセージは、ボリュームには、(AIX/ESA® で使用するための) AIX 形式のボリュームと同じ位置に VTOC があることを示します。このボリュームへの処理はスキップされました (VTOC はダンプされません)。

重大度

04

CKF0185 *dev volume dsname* ディレクトリーの相対トラック *nnn* の読み取りエラー (Error reading rel trk *nnn* in *dev volume dsname* directory)

説明

このメッセージは、PDS ディレクトリー内のトラックの処理中に入出力エラーが発生したことを示します。

重大度

08

CKF0185 *dev volume dsname (member)* 内の相対トラック *nnn* の読み取りエラー (Error reading rel trk *nnn* in *dev volume dsname(member)*)

説明

このメッセージは、PDS メンバー内のトラックの処理中に入出力エラーが発生したことを示します。

重大度

08

CKF0186 予期しない CSVAPF 戻りコード *xxxxxxxx* (16 進数)、理由コード *xxxxxxxx* (16 進数) (Unexpected CSVAPF return code *xxxxxxxx* hex, reason code *xxxxxxxx* hex)

説明

このメッセージは、CSVAPF サービスが予期しない戻りコードを返したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0187 予期しない CSVDYNL 戻りコード *xxxxxxxx* (16 進数)、理由コード *xxxxxxxx* (16 進数) (Unexpected CSVDYNL return code *xxxxxxxx* hex, reason code *xxxxxxxx* hex)

説明

このメッセージは、CSVDYNL サービスが予期しない戻りコードを返したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0188 予期しない CSVDYNL 戻りデータ (Unexpected CSVDYNL return data)

説明

このメッセージは、CSVDYNL サービスが予期しないデータを戻したことを示します (セットなし)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポ

ートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0189 *module1* と *module2* のポインタが同じため終了します。
ASID=aaaa tag=xx and ASID=bbbb tag=yy (Exit same ptr for module1 and module2 ASID=aaaa tag=xx and ASID=bbbb tag=yy)

説明

このメッセージは、同じアドレスに存在することを表明する2つのモジュール大分類名が検出されたことを示します。いずれか1つの名前のみがCKFREEZEファイル内の「正式な」名前です。

重大度

04

CKF0190 *VVDS volser* には *bcsname* 用の索引がないためスローダウン・モードが起動されました (Slowdown mode invoked because *VVDS volser* has no index for *bcsname*)

説明

VVDS にエラーが検出されました (IDCAMS DIAGNOSE について表示されます)。このエラーによって、高速入出力ルーチンが使用できなくなりました。代わりにスローダウン・モードが起動されました。

重大度

00

CKF0191 **NOCLOSE** は PARM ストリングでのみ有効です (NOCLOSE only valid in PARM string)

説明

このメッセージは、NOCLOSE パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

重大度

16

CKF0192 **NODCBE** は PARM ストリングでのみ有効です (NODCBE only valid in PARM string)

説明

このメッセージは、NODCBE パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

重大度

16

CKF0193 **NODUMP** は PARM ストリングでのみ有効です (NODUMP only valid in PARM string)

説明

このメッセージは、NODUMP パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

重大度

16

CKF0194 *xxxx* メモリーについての IARV64 REQUEST=LIST からの予期しない戻りコード *hhhhhhhh* (Unexpected return code *hhhhhhhh* from IARV64 REQUEST=LIST for *xxxx* memory)

説明

IARV64 REQUEST=LIST マクロが戻りコード *hhhhhhhh* で失敗しました。メッセージの *xxxx* は XSHR または XCOM です。IARV64 REQUEST=LIST は 64 ビット・メモリー・オブジェクトについての情報を取得するために使用されます。CKFCOLL が情報を要求するメモリー・オブジェクトには2つのタイプがあります。これらは、共有メモリー・オブジェクト (zSecure では XSHR オブジェクトという) と、共通メモリー・オブジェクト (zSecure では XCOM オブジェクトという) です。このエラーの結果、共有メモリー・オブジェクトまたは共通メモリー・オブジェクトについての情報がCKFREEZE ファイルから失われる可能性があります。

ユーザーの処置

このエラーは、サポートされないオペレーティング・システム上で zSecure を実行したことか、オペレーティング・システムへの最近の保守が IARV64 に影響したことが原因の可能性があります。また、メモリーの破損も原因となる場合があります。エラーについて詳しくは、IARV64 の戻りコードを参照してください。これは「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」マニュアル (SA23-1371 から SA23-1375) に記載されています。引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0195 IARV64 REQUEST=LIST 処理での
tttt 異常終了 *xxx-nn* (説明)。(tttt
abend xxx-nn (description) in
IARV64 REQUEST=LIST
processing.) xxxx 情報がありません
(xxxx info missing)

説明

IARV64 REQUEST=LIST マクロの処理中に異常終了が発生しました。メッセージ内の項目は以下を示します。

- *tttt* はシステムまたはユーザーで、異常終了のタイプです。
- *description* は異常終了の説明です。
- *xxxx* は XSHR または XCOM です。

IARV64 REQUEST=LIST は 64 ビット・メモリー・オブジェクトについての情報を取得するために使用されます。CKFCOLL が情報を要求するメモリー・オブジェクトには 2 つのタイプがあります。これらは、共有メモリー・オブジェクト (zSecure では XSHR オブジェクトという) と、共通メモリー・オブジェクト (zSecure では XCOM オブジェクトという) です。このエラーの結果、共有メモリー・オブジェクトまたは共通メモリー・オブジェクトについての情報が CKFREEZE ファイルから失われる可能性があります。

ユーザーの処置

このエラーは、サポートされないオペレーティング・システム上で zSecure を実行したことか、そのオペレーティング・システムへの最近の保守が IARV64 に影響したことが原因の可能性があります。また、メモリーの破損も原因となる場合があります。エラーについて詳しくは、IARV64 の戻りコードを参照してください。これは「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」(SA23-1371 から SA23-1375) の一連のマニュアルに記載されています。引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0196 予期しない IXCCPLX 処理 *type* の異常終了 *xxx-nn* (explanation)
(Unexpected IXCCPLX processing
type abend xxx-nn (explanation))

説明

このメッセージは、IXCCPLX の処理中に異常終了が発生したことを示します。結合データ・セット定義レコードがファイルから失われます。

重大度

04

CKF0197 IEEQEMCS 中の予期しない *type* の異常終了 *xxx-nn* (explanation)
(Unexpected *type* abend xxx-nn
(explanation) during IEEQEMCS)

説明

このメッセージは、IEEQEMCS の実行中に予期しない異常終了状態が発生したことを示します。これにはシステム・ダンプが伴うことがあります。EMCS コンソールに関する情報が CKFREEZE ファイルから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKF0198 予期しない IEEQEMCS RC=*nn*
RSN=*nn* (Unexpected IEEQEMCS
RC=*nn* RSN=*nn*)

説明

このメッセージは、IEEQEMCS サービスによって予期しない戻りコードおよび理由コードが返されたことを示します。EMCS コンソールに関する情報が CKFREEZE ファイルから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKF0199 サポートされない UCM レベル *xx*
(Unsupported UCM level *xx*)

説明

このメッセージは、コンソールの分析について現在サポートされているものよりも新しい制御ブロック・レイアウトが見つかったことを示します。コンソールに関する情報が CKFREEZE ファイルから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連

付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF メッセージ 200 から 299

CKF0200 *type* データ・セット *volser datasetname* の **OBTAIN** 戻りコード *rc* (**OBTAIN return code *rc* on *type* data set *volser datasetname***)

説明

このメッセージは、データ・セット *datasetname* (*type* データ・セットとなることが予想される) が MVS の OBTAIN サービスによって検出できなかったことを示します。サービスが返す戻りコードは *rc* です。

重大度

00

CKF0201 1 つ以上の APF 許可機能へのアクセスが否認されました - **FOCUS** を調整するか **APF** 許可を除去してください (**Access denied to one or more APF authorized features - adjust FOCUS or drop APF authorization**)

説明

このメッセージは、該当するリソースについてユーザーの権限が不十分であることを示します。ユーザーは要求された機能を変更するか、該当する CKF.*focus* リソースへの READ 許可を取得するか、または APF 許可を除去する (許可されていない STEPLIB を追加するなどによる) 必要があります。

重大度

12

CKF0202 リソース・プロファイルは **FOCUS=AUDIT*** の使用を許可しません - **class CKF.AUDIT (Resource profile does not permit use of FOCUS=AUDIT* - class CKF.AUDIT)**

説明

このメッセージは、示されたリソースに対してユーザーが持っている権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。AUDIT* は AUDITACF2、AUDITRACF、または AUDITTSS を意味します。

重大度

12

CKF0203 空の *type dev volser cluster* をスキップします (**Skipping empty *type dev volser cluster***)

説明:

タイプが *type* の VSAM データ・セット (CKDS、PKDS、または TKDS) は、高使用 RBA が 0 であるため、スキップされました。

重大度

00

CKF0204 リソースが定義されていません - **class profile (Resource not defined - class profile)**

説明

このメッセージは、示されたプロファイルが検出できないことを示します (クラスがアクティブな場合は RACF 戻りコード 4)。メッセージ CKF0211 が続きます。

重大度

00

CKF0205 **ESM** 戻りコード *nnnnnnnn* (16 進数)、理由コード *nnnnnnnn* (16 進数) **class profile (ESM return code *nnnnnnnn* hex, reason code *nnnnnnnn* hex class profile)**

説明

このメッセージは、SAF による RACROUTE REQUEST=AUTH パラメーター・リストの最初の 2 つのフルワードで返される ESM 戻りコードおよび理由コードを示します。一般的に、意味は追加のメッセージで説明されるか、戻りコード 8 の場合は、ジョブ・ログの RACF によって発行される ICH408I メッセージで説明されます。このメッセージは主にデバッグ目的のためのものです。理由コードの意味は ESM の資料に記載されています。

重大度

12

CKF0206 **ESM がインストールされていません。許可検査ができません (ESM not installed, no authorization check possible)**

説明

このメッセージは、RACSTAT マクロの戻りコード 24 で示されるように、リソース・アクセス制御がシステムに存在しないことを示します。すべての操作要求が許可されます。

重大度

00

CKF0207 **ESM が非アクティブです。許可検査ができません (ESM inactive, no authorization check possible)**

説明

このメッセージは、リソース・アクセス制御がシステムでアクティブでないことを示します。すべての操作要求が許可されます。

重大度

00

CKF0208 **SAF クラス class が CDT で定義されていません。許可検査ができません (SAF class class not defined in CDT, no authorization check possible)**

説明

このメッセージは、示されたリソース・クラスが SAF クラス記述子テーブルに定義されていないことを示します。すべての操作要求が許可されます。

重大度

00

CKF0209 **SAF クラス class がアクティブではありません。許可検査ができません (SAF class class not active, no authorization check possible)**

説明

このメッセージは、示されたリソース・クラスの保護がシステムで活動化されていないことを示します。このメッセージの後には、許可検査が要求されたフォーカスを示すメッセージ CKF0210 または CKF0214 が続きます。

重大度

00

CKF0210 **クラス class の許可検査は FOCUS=focus を使用するようにアクティブになる必要があります (Authorization checking for class class must be active to use FOCUS=focus)**

説明

このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて FOCUS=focus によって特別に要求された保護監査情報を zSecure Collect が収集しないことを示しています。focus は ALERT*、AUDIT*、または QRADAR* が可能です。リソースを検査できるようにするには、示された class をアクティブにする必要があります。

重大度

12

CKF0211 **リソース・プロファイルは FOCUS=AUDIT* を使用するために存在する必要があります - class CKF.AUDIT (Resource profile must be present to use FOCUS=AUDIT* - class CKF.AUDIT)**

説明

このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて FOCUS=AUDIT* によって特別に要求された監査情報を収集することを zSecure Collect が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。

重大度

12

CKF0212 **境界より上の常駐ディレクトリーの読み取り中の予期しない code (Unexpected code reading above-bar resident directory)**

説明:

2GB 境界より上の ACF2 常駐ディレクトリーを読み取るようとしているときに、異常終了 code が発生しました。

ユーザーの処置:

このメッセージが今後表示されないようにできるかどうかを確認するには、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載さ

れている手順に従って問題を報告してください。を参照してください。

CKF0213 境界より上の常駐ディレクトリー規則の読み取り中の予期しない **code (Unexpected code reading above-bar resident directory rules)**

説明:

2GB 境界より上の ACF2 常駐規則を読み取ろうとしているときに、異常終了 **code** が発生しました。

ユーザーの処置:

このメッセージが今後表示されないようにできるかどうかを確認するには、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。を参照してください。

CKF0214 クラス **class** の許可検査は **FOCUS=focus** を使用するようにアクティブになる必要があります (**Authorization checking for class class must be active to use FOCUS=focus**)

説明

このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて **FOCUS=focus** によって特別に要求された保護済みの監査情報を収集することを zSecure Collect が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、示されたクラスをアクティブにする必要があります。 **focus** は ADMIN* または VISUAL が可能です。

重大度

12

CKF0215 リソース・プロファイルは **FOCUS=ADMIN*** を使用するために存在する必要があります - **class CKF.ADMIN (Resource profile must be present to use FOCUS=ADMIN* - class CKF.ADMIN)**

説明

このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて任意の ADMIN* FOCUS 指定によって特別に要求された監査情報を収集することを zSecure Collect が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。

重大度

12

CKF0216 リソース・プロファイルは **FOCUS=ADMIN*** の使用を許可しません - **class CKF.ADMIN (Resource profile does not permit use of FOCUS=ADMIN* - class CKF.ADMIN)**

説明

このメッセージは、示されたリソースに対してユーザーが持っている権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。

重大度

12

CKF0217 DD 名 **ddname** を解放します (**Free ddname ddname**)

説明:

DEBUG または INFO がアクティブである場合に、DD 名の FREE がいつ試行されているかを理解するために役立つように発行されるメッセージです。

重大度:

00

CKF0218 照会されたカップリング・ファシリティーの数: **nn**、構造: **nn**、関数 DSN: **nn (Number of Coupling Facilities queried: nn, Structures: nn, Function DSNs: nn)**

説明:

これは、処理されたカップリング・ファシリティーの総数と、見つかった構造の総数および結合データ・セットの総数を示す通知メッセージです。

重大度:

00

CKF0219 DD 名 **ddname** を解放します。使用回数は **number** です (**Free ddname ddname, use count is number**)

説明:

このメッセージは DEBUG または INFO がアクティブな場合にのみ発行され、プログラム・クリーンアップ処理中に **ddname** に対して FREE が実行されていることを示します。

重大度:

00

CKF0220 zSecure の IBM Knowledge Center (<https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS2RWS>) へのリンク (Link to the IBM Knowledge Center for zSecure: <https://>)

www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS2RWS

説明:

このメッセージは、プログラム実行の終わりに発行され、zSecure の IBM Knowledge Center のランディング・ページへのリンクを提供します。組織の現在の zSecure バージョンを選択してください。

重大度

00

CKF0221 予期しない CSVDYNEX 戻りコード *nnn* 理由コード *nnn* (10 進数) (Unexpected CSVDYNEX return code *nnn* reason code *nnn* (decimal))

説明

このメッセージは、CSVDYNEX LIST サービスが失敗した場合に発行されます。戻りコードはご使用の MVS システムのマクロ CSVEXRET に記述されます。戻りコードが 8 で理由コードが 2052 (10 進数) の場合、これは呼び出し元が APF 許可を受けておらず、FACILITY CSVDYNEX.LIST の READ 許可を持たなかったことを意味します。

重大度

04

CKF0222 RMF がアクティブでないか VM で実行中ではありません - LCU の選択が無効です (RMF not active or running under VM - LCU selection invalid)

説明

このメッセージは、LCU 処理に使用される RMF 制御ブロックが検出できなかった場合に発行されます。これは、RMF が存在しないシステムか、サービス・プロセッサ診断命令を許可しない VM リリースにおいて発生する可能性があります。

重大度

16

CKF0223 モジュール *name1* [*name2*] (<address> ASID=*asid* tag=*tag*) をスキップします - まだ RMODE64 はサポートされていません (Skipping module *name1* [*name2*] at <address> ASID=*asid* tag=*tag* - no RMODE64 support yet)。

説明:

このメッセージは、INFO 要求への応答で発行される場合があります。RMODE64 モジュールは CHECK=Y および SCAN=Y ではまだサポートされていません。これは CKFCOLL が 31 ビット・プログラムのためです。

重大度

00

CKF0224 *dev volume dsname(member)* 内のサポートされない IDENTIFY IDR データ (Unsupported IDENTIFY IDR data in *dev volume dsname(member)*)

説明:

このメッセージは、指定されたプログラム・オブジェクトについての IDENTIFY IDR データのフォーマットが認識できなかったことを示します。このプログラム・オブジェクトについて、PTF レベル情報が失われるか不完全になる可能性があります。

重大度

04

CKF0225 スキャン対象の SVC 番号は 0..255 の範囲である必要があります (SVC number to scan for must be in range 0..255)

説明

このメッセージは、0 から 255 の範囲にない値を持つリスト項目が SCANSVC パラメーターに含まれている場合に発行されます。

重大度

12

CKF0226 コピーされた RMM 制御レコードの数: *nnn* (Number of RMM control records copied: *nnn*)

説明

このメッセージは、RMM=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、RMM 制御データ・セットからコピーされたレコードの数を表示します。

重大度

00

CKF0227 検査されたディスク・データ・レコード: *nnn* MB、*nnn* メンバー (Disk data records checked: *nnn* MB in *nnn* members)

説明

このメッセージは、CHECK=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、チェックサム・アルゴリズムによって読み取りおよび合計されたデータのメガバイト数と、このデータを含む PDS メンバーの数を表示します。

重大度

00

CKF0228 *dev volume dsname(member)* 内のサポートされない IDENTIFY IDR データ (Unsupported IDENTIFY IDR data in *dev volume dsname(member)*)

説明

このメッセージは、指定されたロード・ライブラリー・メンバーについての IDENTIFY IDR データのフォーマットが認識できなかったことを示します。このメンバーについて、PTF レベル情報が失われるか不完全になる可能性があります。

ユーザーの処置

データ収集のパラメーターを指定する場合は、CKFCOLL バッチ JCL に PARM= パラメーターの指定を含めてください。

重大度

04

CKF0229 *dev volume dsname* 相対トラック *nnnn* の PDS ディレクトリー・ブロック・キー/データ長が 8/256 でなく *kk/nnn* (PDS dirblk key/data len *kk/nnn* instead of 8/256 for *dev volume dsname* rel track *nnnn*)

説明

このメッセージは、指定されたロード・ライブラリー・メンバーについてのディレクトリー・ブロックのフォーマットがサポートされなかったことを示します。トラックの残りは、スキップされます。おそらくデータ・セットに DSORG=PO が存在しますが、初期化されたディレクトリーがありません。

重大度

08

CKF0230 コピーされた TLMS 基底レコード: *nnn* (Number of TLMS base records copied: *nnn*)

説明

このメッセージは、VMF=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、TLMS ボリューム・マスター・ファイルからコピーされたボリューム基底レコードの数を表示します。

重大度

00

CKF0231 コピーされた TLMS データ・セット・セル: *nnn* (Number of TLMS data set cells copied: *nnn*)

説明

このメッセージは、VMF=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、TLMS ボリューム・マスター・ファイルからコピーされたデータ・セット・レコードの数を表示します。

重大度

00

CKF0232 コピーされた ABR アーカイブ・レコードの数: *nnn* (Number of ABR archive records copied: *nnn*)

説明

このメッセージは、ABR=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、ABR アーカイブ制御ファイルからコピーされたレコードの数を表示します。

重大度

00

CKF0233 予期しない CSRSI 戻りコード *xxxxxxxx* (Unexpected CSRSI return code *xxxxxxxx*)

説明

このメッセージは、CSRSI サービスが予期しない戻りコードを返したことを示します。その結果、ダンプされる CPU 詳細情報が少なくなります。

重大度

00

CKF0234 有効なデータがトラック *nnn* に検出されません (No valid data found on track *nnn*)

説明

このメッセージは、トラックに対して入出力が実行されたがトラックから何も検出されなかったことを示しま

す。これは通常の状態ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0235 **MON** メッセージ *nnn: text* (**MON** msg *nnn: text*)

説明

このメッセージは、MONITOR の処理中に示されます。数値 *nnn* は適切な zSecure Collect メッセージに対応します。説明については、該当する CKF*nnn*I メッセージを参照してください。

重大度

08

CKF0236 *text* における **CKFCMON** 内部エラー (**CKFCMON** internal error on *text*)

説明

このメッセージは、MONITOR の処理中に示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0237 **ERBSMFI** 処理中の *type* 異常終了 *xxx-nn (explanation)* (*type abend xxx-nn (explanation)* during **ERBSMFI** processing)

説明

このメッセージは、ERBSMFI、つまり RMF インターフェイス・モジュールが MONITOR 処理中に異常終了した場合に表示されます。明らかな原因が見つからない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0238 *parm* は **1440 (1 日)** より小さい必要があります (*parm* must be less than **1440 (1 day)**)

説明

MONITOR または INTERVAL パラメーターが 1440 より大きい分数で指定されました。どちらのパラメーターも 1 日より小さくする必要があります。

重大度

12

CKF0239 **SMS** 構成データを読み取る *n* バイトのストレージを取得できません (**Unable to obtain storage of *n* bytes to read SMS configuration data.**)

説明:

zSecure Collect には、SMS 構成の読み取りに使用できるストレージが十分にありません。*n* は必要なストレージ量を示します。

ユーザーの処置:

JOB または STEP カードの REGION 値を増やしてください。また、STORAGEGC コマンドを使用することも有益な場合がありますが、これにより CPU 使用量が増加します。

重大度

08

CKF0242 動的終了情報が省略されました。非 **APF** の場合は **FACILITY** クラス・エンティティ **CSVDYNEX.LIST** について **SAF READ** アクセス権限が必要です (**Dynamic exit info omitted, SAF READ access required on FACILITY class entity CSVDYNEX.LIST if non-APF**)

説明

このメッセージは、CSVDYNEX LIST サービスが失敗した場合に発行されます。CSVDYNEX の戻りコードは 8 で理由コードは 2052 (10 進数) でした。これはご使用の MVS システムのマクロ CSVDYNEX に記述されます。これは、呼び出し元が APF 許可を受けておらず、FACILITY CSVDYNEX.LIST の READ 許可を持たなかったことを意味します。

重大度

04

CKF0243 リソース・プロファイルは **FOCUS=QRADAR*** を使用するために存在する必要があります - *class*

CKF.QRADAR (Resource profile must be present to use FOCUS=QRADAR* - class CKF.QRADAR)

説明

このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて任意の QRADAR* FOCUS 指定によって特別に要求された監査情報を zSecure Collect が収集しないことを示しています。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。AUDIT* フォーカスも指定または暗黙指定された場合、CKF.QRADAR のチェックは実行されません。

重大度

12

CKF0244 リソース・プロファイルは FOCUS=QRADAR* の使用を許可しません - class CKF.QRADAR (Resource profile does not permit use of FOCUS=QRADAR* - class CKF.QRADAR)

説明

このメッセージは、示されたリソースについてユーザーの権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。AUDIT* フォーカスも指定または暗黙指定された場合、CKF.QRADAR のチェックは実行されません。その場合、CKF.AUDIT の許可も十分です。

重大度

12

CKF0245 予期しないブロック長 *nnn*、type *vol dataset* の相対トラック *nnn Rnn* (Unexpected block length *nnn* at rel track *nnn Rnn* of type *vol dataset*)

説明

このメッセージは、読み取られたトラックに予期しないブロック・サイズが含まれていたことを示します。トラックの残りは、スキップされます。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。type には、TMC または VMF を指定できます。このメッセージは、報告されたブロック長がレコード長の整数倍であるため、最終ブロックについてブロックが有効であったはずにもかかわらず、最終ブロックが有効でなかった場合に TMC または VMF についてのみ発行されます。

重大度

08

CKF0246 CA の空のトラックがスキップされません。CI 内に 32 を超えるブロックが存在します - *nn* ブロック/CI クラスタ *dsname* (Empty tracks in CA not skipped, more than 32 blocks in CI - *nn blk/CI cluster dsname*)

説明

このメッセージは、内部入出力最適化アルゴリズムは制御インターバルあたり 32 個の物理ブロックしかサポートしないため、処理を完了できなかったことを示します。その代わりに、一部のトラックが空であったとしても制御域のすべてのトラックを常に読み取ります。これにより入出力パフォーマンスが少し低下しますが、データの損失を示すわけではありません。

重大度

04

CKF0247 *volser* の *catname* についての無効な索引レコード・ヘッダー (Invalid index record header for *catname* on *volser*)

説明

このメッセージは、垂直ポインター・マスクが CI ポインターの数と競合する場合に発生します。

重大度

08

CKF0248 装置 *dev* ボリューム *volser* の *dsname* について OPEN の異常終了 213-04 (OPEN abend 213-04 on device *dev* volume *volser* for *dsname*)

説明

dsname という名前のデータ・セットが、装置 *dev* の入力用には開けませんでした。zSecure Collect がこのメッセージを (CKR030I の代わりに) 発行するのは、ユーザーが明示的に示していない APF ライブラリーを検索したが、そのライブラリーは明らかに *volser* 上に物理的に存在しない場合です。zSecure Audit for RACF によって作成される機密性レポートにはこのことが適切に表示され、この状態によって任意のレポートが無効化されると推測する理由は何もありません。

重大度

04

CKF0249 CA の空のトラックがスキップされ
ません。CA 内に 2048 を超えるブ
ロックが存在します CA - nnn ブロ
ック/CA クラスタ dsname
(Empty tracks in CA not skipped,
more than 2048 blocks in CA - nnn
blk/CA cluster dsname)

説明

このメッセージは、内部入出力最適化アルゴリズムは制御域あたり 2048 個の物理ブロックしかサポートしないため、処理を完了できなかったことを示します。その代わり、一部のトラックが空であったとしても制御域のすべてのトラックを常に読み取ります。これにより入出力パフォーマンスが少し低下しますが、データの損失を示すわけではありません。CA あたり 2048 ブロックを超えるというのはブロック化因数が極めて非効率なことを意味するため、データ・セットをブロック化し直すかどうかを検討してください。

重大度

04

CKF0250 vol dsname の相対トラック nnn に
おける extentsize の VSAM エクステ
ント・スラック n トラックをスキッ
プします (Skipping VSAM extent
slack n trk of extentsize at rel trk
nnn in vol dsname)

説明

このメッセージは、VSAM データ・セットがエクステン
トの最後にスラック・スペースを持つことを示します。
これはスキップされました。必要な場合、データ・セッ
トを再割り振りして無駄なスペースを再利用し、このメ
ッセージを除去することができます。再割り振り後も
引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)
を参照して、このメッセージに関連付けられた使用
可能な保守を探してください。該当する保守が見つ
からない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』
に記載されている手順に従って問題を報告してくだ
さい。

重大度

00

CKF0251 vol dsname についてスローダウン・
モードが起動されました
(Slowdown mode invoked for vol
dsname)

説明

このメッセージは、VSAM データ・セットが遅い方式で
読み取られますが、理由についての具体的なエラー・メ
ッセージが得られないことを示します。

重大度

00

CKF0252 ACF2 アンロード・ファイル ddname
のオープンに失敗しました (Open
failed for ACF2 Unload file
ddname)

説明

このメッセージは、示された ACF2 アンロード・ファイ
ルを開くことができなかったことを示します。

重大度

00

CKF0253 dev volser dsname の type 異常終了
xxx-nn (explanation) (type abend
xxx-nn (explanation) on dev volser
dsname)

説明

示されたボリュームおよび装置のデータ・セット
dsname をオープン中に、OPEN 異常終了で処理できな
い異常終了が発生しました。

重大度

08

CKF0254 dev volser dsname の type 異常終了
xxx-nn (explanation) (type abend
xxx-nn (explanation) on dev volser
dsname)

説明

示されたボリュームおよび非 DASD 装置のデータ・セッ
ト dsname をオープン中に、OPEN 異常終了で処理でき
ない異常終了が発生しました。

重大度

08

CKF0255 dev volser dsname の type 異常終了
xxx-nn (explanation) (type abend
xxx-nn (explanation) on dev volser
dsname)

説明

示されたボリュームおよび装置の DASD カタログ索引
dsname をオープン中に、OPEN 異常終了で処理できな
い異常終了が発生しました。

重大度

08

CKF0256 拡張フォーマット *vol dsname* のためスローダウン・モードが起動されました (**Slowdown mode invoked because Extended Format vol dsname**)

説明

このメッセージは、VSAM データ・セットが拡張フォーマットのデータ・セットのため、遅い方式で読み取られることを示します。

重大度

00

CKF0257 **RACROUTE type 異常終了 xxx-nn (explanation) (RACROUTE type abend xxx-nn (explanation))**

説明

予期せぬ RACROUTE 異常終了が発生しました。

重大度

08

CKF0258 **STATUS=ACCESS はこのユーザーに対して許可されていません (システム異常終了 047) (STATUS=ACCESS not allowed for this user (system abend 047))**

説明

現行の zSecure Collect の非 APF 実行は、RACROUTE STATUS=ACCESS 呼び出しの実行を許可されたログオン ID では実行されません。これは、zSecure Collect 環境について記述する SAFDEF レコードで、以下のように NOAPFCHK キーワードを使用することによって対処できます。

```
INSERT SAFDEF.apf PROGRAM(CKFCOLL)
RB(CKFCOLL)
NOAPFCHK RACROUTE
(REQUEST=AUTH,CLASS=DATASET,
STATUS=ACCESS)
```

重大度

00

CKF0259 入出力バッファに使用可能なストレージがありません (**No storage available for I/O buffer**)

説明

zSecure Collect には適切なサイズの入出力バッファを作成するために使用できるストレージが十分にあり

ませんでした。これにより、プログラムが終了します。この問題を回避するには、zSecure Collect 実行用に大きい領域を割り振ってください。

重大度

12

CKF0260 **UCBSCAN が装置 hhhh volser を返しません (UCBSCAN does not return device hhhh volser)**

説明

このメッセージは、UCBSCAN サービスが示された装置についての情報を返さなかったことを示します。意図した許可済みの入出力機能は実行されません。これは zSecure Collect 実行中の動的変更が原因の場合があります。別の実行でもこのエラーが繰り返される場合、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKF0261 **dev volser dsname で索引の読み取り中に破損した長さが検出されました (Corrupted length found while reading IX on dev volser dsname)**

説明

示されたデータ・セットの索引を読み取っているときに、競合する長さ指定が検出されました。これは通常、データ・セットの破損を示します。このデータ・セットの追加処理はスキップされます。

重大度

08

CKF0262 **クラスター名でもコンポーネント名でもありません -- dsn (Not a cluster or component name -- dsn)**

説明

このメッセージは、ある名前が VSAM クラスター名またはデータ・コンポーネント名として渡されましたが、クラスター名でもデータ・コンポーネント名でもないことを示します。

重大度

08

CKF0263 *dsn* の LISTCAT VOL 中の予期しない 10 進数戻りコード *nn*
(Unexpected return code *nn* dec during LISTCAT VOL of *dsn*)

説明

このメッセージは、カタログで VSAM データ・コンポーネント名の場所の検索に失敗したことを示します。コンポーネントはスキップされます。プログラムによって検索されたと思われる場合、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0264 *dsn* の LISTCAT VOL 中の予期しない *type* 異常終了 *xxx-nn*
(*explanation*) (Unexpected *type* abend *xxx-nn* (*explanation*) during LISTCAT VOL of *dsn*)

説明

このメッセージは、カタログで VSAM データ・コンポーネント名の場所の検索に失敗したことを示します。異常終了が発生しました。コンポーネントはスキップされます。プログラムによって検索されたと思われる場合、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0267 *volume dsname(member)* のプログラム・オブジェクト・ヘッダーの予期しない見出し *eye catcher*
(Unexpected *eye catcher* *eye catcher* for program object header of *volume dsname(member)*)

説明

示されたプログラム・オブジェクトには不明なレイアウトがあります。このメンバーについてのチェックサムおよび IDR 処理はスキップされます。

重大度

08

CKF0268 *volume dsname(member)* についてプログラム・オブジェクト・ヘッダーの長さ *hexnum* がブロック・サイズ *hexnum* よりも長いです
(Program object header length *hexnum* larger than blocksize *hexnum* for *volume dsname(member)*)

説明

PDSE についてのチェックサムおよび IDR 処理では、プログラム・オブジェクトの完全なヘッダーが、読み取られる最初のブロックの範囲内に存在することが必要です。そうでない場合は、処理はスキップされます。

重大度

08

CKF0269 *volume dsname(member)* のサポートされないプログラム・オブジェクト・レベル *hexnum* (Unsupported program object level *hexnum* for *volume dsname(member)*)

説明

示されたプログラム・オブジェクトには不明なレイアウトがあります。このメンバーについてのチェックサムおよび IDR 処理はスキップされます。

重大度

08

CKF0270 PDSE 処理には BPAM が必要です
(PDSE processing requires BPAM)

説明

NOBSAMPAM が PARM ストリングに指定され、プログラムで BPAM を使用しないことが指定されました。ところが、PDSE 用のチェックサム処理および IDR 処理には BPAM が必要です。この処理はすべての PDSE についてスキップされます。

重大度

08

CKF0271 NOBSAMPAM は PARM ストリングでのみ有効です (NOBSAMPAM only valid in PARM string)

説明

このメッセージは、NOBSAMPAM パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

重大度

16

CKF0272 **RACSTAT の予期しない RC。
(RACSTAT unexpected
RC.)CLASS='class' SAFRC=safrc
RACFRC=racfrc RSNCODE=rsn**

説明

RACROUTE REQUEST=STAT 呼び出しを使用してシステムから動的クラス記述子テーブルを取得中に、プログラムはエラーを示す戻りコードを受け取りました。zSecure Collect は動的 CDT の処理を停止します。エラーの原因を判別するには、「Security Server RACF RACROUTE マクロ解説書」で戻りコードを調べてください。

CDT の処理の途中でエラーが発生した場合 (*class* はすべてブランク以外となります)、zSecure Collect は CDT の一部を CKFREEZE ファイルに保管します。この部分的な動的 CDT が zSecure Admin and Audit によって使用されます。何らかのクラス設定が返される前にエラーが発生した場合 (この方が可能性が高い)、zSecure Collect は動的 CDT を保管しません。この場合、zSecure Admin and Audit は静的 CDT を使用して処理を実行します。

重大度

04

CKF0273 ***ddname volser dsname(member) -
問題記述 (ddname volser
dsname(member) - problem
description)***

説明

プログラム・オブジェクトの IDRDATA の処理中に、プログラムに予期しない状態が発生しました。問題記述に IDRDATA が切り捨てられたことが示された場合、プログラム・オブジェクトにはバッファに入れられた量 (PDSEBUFSIZE パラメーターによって制御される) よりも多くの IDRDATA が含まれていたこととなります。この場合、CKFREEZE に書き込まれた IDRDATA は、示されたメンバーについて不完全になります。その他の問題記述の値はプログラム・オブジェクトの不明なレイアウトを示し、その場合、このメンバーについてのすべての IDRDATA 情報は CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度

04

CKF0274 ***ddname volser dsname(member) の
コード・サイズが 0 です (ddname
volser dsname(member) has code
size 0)***

説明

示されたプログラム・オブジェクトは、バインダー・クラス B_TEXT に実際に何も含んでいません。このメンバーの場合、チェックサム処理が非常に速く完了します。この通知メッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0275 **PDSE バッファ・サイズ *decnum*
は 1 から 1024 の間である必要があ
ります (PDSE buffer size *decnum*
must lie between 1 and 1024)**

説明

PDSEBUFSIZE パラメーターは、1 から 1024 (両端の値を含む) の範囲の値のみ受け入れます。

重大度

16

CKF0276 **CKFREEZE ファイルを開くことがで
きませんでした (CKFREEZE file
could not be opened)**

説明

プログラムは CKFREEZE ファイルのオープンに失敗しました。CKFREEZE DD ステートメントが存在すること、および割り振りパラメーターが正しいことを確認してください。

重大度

12

CKF0277 ***CCW opcode* 中に装置 *dev volser* が
nn 秒以内に応答しません (Device
dev volser does not respond within
nn seconds during *CCW opcode*)**

説明

このメッセージは、示されたタイプの入出力で割り込みの欠落が検出されたことを示します。これが APF 許可で実行中の装置に対する最初の入出力 (SenseId) だった場合、SVC 99 でボリュームを動的に割り振る試行は行われず、実行はハングすることなく継続します。この実行が APF 許可でないか、これが SenseId 入出力でない場合、この実行は、オペレーティング・システムによって実行される後続処理でハングする可能性があります。

重大度

08

CKF0278 **CCW opcode** 中に装置 *dev volser* が *ddname* について *nn* 秒以内の応答を停止しました (Device *dev volser* has stopped responding within *nn* seconds on *ddname* during *CCW opcode*)

説明

このメッセージは、既にオープンしたデータ・セットのトラック読み取りについて、欠落した割り込みが検出されたことを示します。実行は復旧を試行しますが、データ・セットのクローズもおそらくハングします。

重大度

08

CKF0279A ボリューム *VOLUME* のハング・テストを終了するために「U」で応答しました (Respond 'U' to terminate hang test on volume *VOLUME*)

説明

このオペレーター・コンソールの WTOR は、エラー・リカバリー動作をテストするために *DEBUGHANGVOLUME* パラメーターが使用されたことを示します。

CKF0280 **IFAEDLIS** 呼び出しの予期しない戻りコード *rc*、使用可能な情報はダンプされませんでした。 (Unexpected returncode *rc* in *IFAEDLIS* call, no enable information dumped.)

説明

IFAEDLIS サービスの呼び出しに失敗したため、このシステム上の製品および機能の使用可能化に関する情報が収集できませんでした。戻りコードはご使用の *MVS* システムのマクロ *IFAEDIDF* に記述されます。

重大度

08

CKF0281 **ACF2** 常駐リソース規則が処理されません。 (ACF2 resident resource rules are not processed.)

説明

プログラムは *APF* を実行していないため、フェッチ保護ストレージの情報にアクセスできません。

重大度

00

CKF0282 リソース・プロファイルは **FOCUS=ALERT** を使用するために存在する必要があります - **CLASS CKF.ALERT (Resource profile must be present to use FOCUS=ALERT - CLASS CKF.ALERT)**

説明

このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて任意の *ALERT* FOCUS* 指定によって特別に要求された監査情報を収集することを *zSecure Collect* が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。 *AUDIT* フォーカス* も指定または暗黙指定された場合、*CKF.ALERT* のチェックは実行されません。

重大度

12

CKF0283 リソース・プロファイルは **FOCUS=ALERT** の使用を許可しません - **class CKF.ALERT (Resource profile does not permit use of FOCUS=ALERT - class CKF.ALERT)**

説明

このメッセージは、示されたリソースに対してユーザーが持っている権限が不十分であることを示します (*SAF* 戻りコード 8)。 *AUDIT** も指定または暗黙指定された場合、*CKF.ALERT* のチェックは実行されません。その場合、*CKF.AUDIT* の許可も十分です。

重大度

12

CKF0284 リソース・プロファイルは **FOCUS=TCIM*** を使用するために存在する必要があります - **class CKF.TCIM (Resource profile must be present to use FOCUS=TCIM* - class CKF.TCIM)**

説明

このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて任意の *TCIM* FOCUS* 指定によって特別に要求された監査情報を *zSecure Collect* が収集しないことを示しています。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。 *AUDIT* フォーカス* も指定または暗黙指定された場合、*CKF.TCIM* の検査は実行されません。

重大度

12

CKF0285 リソース・プロファイルは
FOCUS=TCIM*の使用を許可しません - *class* CKF.TCIM (Resource profile does not permit use of FOCUS=TCIM* - *class* CKF.TCIM)

説明

このメッセージは、示されたリソースについてユーザーの権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。AUDIT* フォーカスも指定または暗黙指定された場合、CKF.TCIM のチェックは実行されません。その場合、CKF.AUDIT の許可も十分です。

重大度

12

CKF0286 リソース・プロファイルは
FOCUS=VISUALを使用するために存在する必要があります - *class* CKF.VISUAL (Resource profile must be present to use FOCUS=VISUAL - *class* CKF.VISUAL)

説明

このメッセージは、セキュリティ・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて FOCUS=VISUAL によって特別に要求された監査情報を収集することを zSecure Collect が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。FOCUS=ADMINRACF も指定または暗黙指定された場合、CKF.VISUAL のチェックは実行されません。

重大度

12

CKF0287 リソース・プロファイルは
FOCUS=VISUALの使用を許可しません - *class* CKF.VISUAL (Resource profile does not permit use of FOCUS=VISUAL - *class* CKF.VISUAL)

説明

このメッセージは、示されたリソースに対してユーザーが持っている権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。FOCUS=ADMINRACF も指定または暗黙指定された場合、CKF.VISUAL のチェックは実行されません。その場合、CKF.ADMIN の許可も十分です。

重大度

12

CKF0288 **STORAGEGC** は **PARM** ストリングでのみ有効です (**STORAGEGC only valid in PARM string**)

説明

このメッセージは、STORAGEGC パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

オペレーターの応答

STORAGEGC パラメーターを指定する場合は、バッチ JCL の PARM= パラメーターに ALLOCATE コマンドを含めてください。

重大度

16

CKF0289 エントリー・ポイント *address* が *control block module[/module]* のエクステンツにありません (**Entry point address not in extent for control block module[/module]**)

説明

示されたストレージ内モジュールを記述する LPDE または CDE 制御ブロックを検査中に、モジュールのエントリー・ポイントが、モジュールが存在すると通知されているストレージ範囲の外側であることが検出されました。この状態はほとんどの場合、フロントエンドの副次的結果です。この状態では、モジュールが存在する場所を判別する方法がないため、CKFREEZE に書き込まれるこのルーチンに関する情報は不完全です。

重大度

04

CKF0290 **LICENSE** は **FOCUS** およびライセンス済みパラメーターより前にある必要があります (**LICENSE must precede FOCUS and licensed parameters**)

説明

このメッセージは、LICENSE データ・セット名の指定は、ライセンス済みパラメーターのあらゆる使用または FOCUS キーワードよりも前にある必要があることを示します。このキーワードは現在は非推奨で、機能しないことに注意してください。

重大度

12

CKF0291 **SERIALIZATION** オプション *option1* および *option2* は相互に排他的です (**SERIALIZATION options *option1* and *option2* are mutually exclusive**)

説明

ENQ 要求を即時に満たすことができない場合に WAIT と FAIL の両方を実行することはできません。プログラムが ENQ を発行することと、ENQ を発行しないこと (NOENQ) を同時に要求することはできません。

重大度

16

CKF0292 **MAXWAIT** のサポートされない値 *nn*: **1..59** の範囲にありません (**Unsupported value *nn* for MAXWAIT: not in the range 1..59**)

説明

SERIALIZATION=(MAXWAIT) は、1 から 59 (両端の値を含む) の範囲の値のみサポートします。

重大度

16

CKF0293 許可されていないプログラムです。 (**Program not authorized.**) APF 逐次化オプション **UNIT**、**VOLSER**、**ENQ(SYSDSN)**、および **MAXWAIT** は使用不可に設定されます (**Disabled APF serialization options UNIT, VOLSER, ENQ(SYSDSN), and MAXWAIT**)

説明

UNIT、VOLSER、ENQ(SYSDSN)、または MAXWAIT のうち少なくともいずれか 1 つのパラメーターを使用して SERIALIZATION が指定されました。装置または volser が使用可能になるまで動的割り振りを待機するには APF 権限が必要です。QNAME SYSDSN の ENQ を要求する場合や、ENQ 要求が指定可能になるまで待機する最大時間を指定する場合も同じことが言えます。プログラムはこの権限を持たないため、装置または volser を待機せず、SYSDSN の ENQ を要求せず、MAXWAIT に指定された値を無視します。

重大度

04

CKF0294

シンボル *symbol* が不明で、空白として扱われました。 (**Symbol *symbol* was unknown, treated as empty.**) [IF の結果: *result*] ([IF result: *result*])

説明

テスト済みのシンボルは Static System Symbol テーブルから検出できず、SMFID でもありませんでした。IF ステートメントを解決するためには、空ストリングを含めることが考慮されます。また、IF ステートメントは *result* (**true** または **false**) に評価されます。実行の早期に構文エラーまたは資格付与エラーが検出された場合、IF の正しい評価が保証できないため、メッセージの後半部分は表示されません。

重大度

00

CKF0295 IF ステートメントの評価が正しくない可能性があります (**IF statements might not evaluate correctly**)

説明

このメッセージの前に CKF0000 メッセージが入り、symt 制御ブロック (Static System Symbol テーブル) に対処するエラーを示します。このテーブルが完全に読み取られませんでした。入力 of IF ステートメントが正しく解決されない可能性があります。このエラーは IF ステートメントが入力に存在する場合にのみ発行され、抑止可能です。このエラーが常に発生する場合、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0296 シンボル *symbol* が「*value*」に解決されました。 (**Symbol *symbol* resolved to "*value*".**) IF の結果: *result* (IF result: *result*)

説明

テスト済みシンボルは *value* 値を持つことが検出されました。また、IF ステートメントは *result* (**true** または **false**) に評価されます。実行の早期に構文エラーまたは資格付与エラーが検出された場合、IF の正しい評価が保証できないため、このメッセージは発行されません。

重大度

00

CKF0297 割り振りの数: 静的 *sss* 動的 *nnn*、解放 *fff*、TIOT SIZE(*ss*) のために許可される最大 *mmm* (Number of allocations: static *sss* dynamic *nnn*, freed *fff*, max allowed *mmm* due to TIOT SIZE(*ss*))

説明

このメッセージは、存在した静的 DDName 割り振りの数、動的割り振りに対して実行された SVC 99 呼び出しの数、および最大値に到達しようとしていたため空きスペースを作る目的で個別に解放されたファイルの数を示します。最大値は PARMLIB メンバー ALLOCxx の TIOT SIZE() パラメーター (これは DDnames に使用可能な物理バイト数を決定しますが、これは DDname あたりの (候補となる) volser 数によって異なります) と、程度はずっと低くなりますが、可能な未使用ファイル数を決定する実際の DYNAMNBR によって決定されます。zSecure Collect は解放するファイルを常に割り振り解除するため、未使用 DDnames を作成することはありません。TIOT SIZE と DDnames の数の間の関係は、おおむね次のようになります。

- SIZE(16) は 819 の ddnames
- SIZE(32) は 1635 の ddnames
- SIZE(64) は 3273 の ddnames

TIOT SIZE の詳細については、「z/OS MVS Initialization and Tuning Reference」の ALLOCxx parmlib メンバーを参照してください。

重大度

00

CKF メッセージ 300 から 399

CKF0300 BPX1GMN が失敗しました。
rc=hexrc 理由=reason (BPX1GMN failed rc=hexrc reason=reason)

説明

このメッセージは、BPX1GMN の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0298 DDname スロットが必要です。
[ddname の早期解放 [vol] dsn | 解放しない] (Need DDname slot, [premature free of ddname [vol] dsn | nothing to free])

説明

このメッセージは、不十分な TIOT サイズが原因となる緊急の問題を警告します。ファイルが割り振り解除されたことをメッセージが示す場合 (ddname の早期解放 [vol])、このファイルは (パフォーマンスおよび DFHSM などの別のプログラムとの逐次化の理由で) 割り振ったままにした方がよかったファイルです。「解放しない」ことをメッセージが示す場合、zSecure Collect の今回の実行または後続の実行は、「IKJ56866I FILE ddname ALLOCATED NOT DATA SET, CONCURRENT ALLOCATIONS EXCEEDED」などのメッセージを出して簡単に失敗する可能性があります (余裕が 10 ファイルより少ない)。全体像を把握するには、SYSPRINT の最後に表示されるメッセージ 297 を参照してください。

重大度

04

CKF0299 DDname スロットが必要です。
ddname を解放します (Need DDname slot, freeing ddname)

説明

このメッセージは、INFO 要求に応答して発行され、DD 名 (TIOT) スロットの通常の再使用を反映しています。

重大度

04

CKF0301 BPX1OPD が失敗しました。
rc=hexrc 理由=reason、'path' 深さ depth (BPX1OPD failed rc=hexrc reason=reason for 'path' depth depth)

説明

このメッセージは、BPX1OPD の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0302 **BPX1RD2 が失敗しました。**
rc=hexrc 理由=reason パス 'path'
(BPX1RD2 failed rc=hexrc
reason=reason path 'path')

説明

このメッセージは、BPX1RD2 の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。デバッグ目的で、UIO 制御ブロックの 16 進ダンプが印刷されます。この領域は BPXYFUIO マクロによってマップされ、「UNIX System Services Assembler Callable Services」マニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0303 **BPX1CLD が失敗しました。**
rc=hexrc 理由=reason パス 'path'
(BPX1CLD failed rc=hexrc
reason=reason path 'path')

説明

このメッセージは、BPX1CLD の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0304 **BPX1CHD が失敗しました。**
rc=hexrc 理由=reason、path の前
(BPX1CHD failed rc=hexrc
reason=reason for .. before path)

説明

このメッセージは、BPX1CHD の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0305

BPX1CHD が失敗しました。
rc=hexrc 理由=reason、'path' 深さ
depth (BPX1CHD failed rc=hexrc
reason=reason for 'path' depth
depth)

説明

このメッセージは、BPX1CHD の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0306 **予期しない現行の深さ depth、**
dirdepth 'path' (Unexpected
current depth depth for dirdepth
'path')

説明

このメッセージは、ネスティング・レベル *dirdepth* における示されたディレクトリーの読み取りがスケジュールされたことを示します。ただし、現行のネスティング・レベルは必要なネスティング・レベルと異なります。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0307 **コピーされた UNIX ディレクトリー**
項目の数: nn、nn ディレクトリーから、
nn ファイル・システム (Number
of Unix directory entries copied:
nn from nn directories in nn file
systems)

説明

このメッセージは、UNIX=Y が指定または暗黙指定された場合に表示され、zSecure Collect によって読み取られてダンプされた UNIX ディレクトリーの数を表示します。

重大度

00

CKF0308 **OMVS が非アクティブです。**

説明

この通知メッセージは、このシステムでは UNIX システム・サービスがアクティブでないことを示します。

重大度

00

CKF0309 **BPX1RDX が失敗しました。
rc=hexrc 理由=reason、'path'
(BPX1RDX failed rc=hexrc
reason=reason on 'path')**

説明

このメッセージは、BPX1RDX の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0310 **BPX1RDL が失敗しました。
rc=hexrc 理由=reason、'path'
(BPX1RDL failed rc=hexrc
reason=reason on 'path')**

説明

このメッセージは、BPX1RDL の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0311 **BPX1GMN が失敗しました。
retval=retval rc=rc 理由=reason、装
置 number (BPX1GMN failed
retval=retval rc=rc reason=reason
for device number)**

説明

このメッセージは、示された装置について BPX1GMN の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは2つのハーフワードで構成されています。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。戻りコードと理由コードの両方を使用して、発生した問題を説明します。これらのコードは「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルに記載されています。

重大度

08

CKF0312 **Symlink が 'target' の自動マウン
ト・ポイント 'mountpoint' をクロス
しました : (Symlink crosses
automount point 'mountpoint' for
'target:')**

説明

この通知メッセージは、target への symlink を処理中に、自動マウント・ポイントがパスされたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0313 **'target' の装置 device に追加の
MNTE が必要です (Extra MNTE
needed for device device of
'target')**

説明

この通知メッセージは、device の target ディレクトリーの内容を読み取るために、追加のマウント・ポイント制御ブロックが必要なことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0314 **DIRSRCH (x) はディレクトリー
'target' では許可されません
(DIRSRCH (x) not allowed on
directory 'target')**

説明

zSecure Collect は target ディレクトリーを検索することが許可されませんでした。このディレクトリーの内容についてダンプされる情報はありません。

重大度

00

CKF0315 **OPENDIR (r) はディレクトリー
'target' では許可されません
(OPENDIR (r) not allowed on
directory 'target')**

説明

zSecure Collect は *target* ディレクトリーを開くことが許可されませんでした。このディレクトリーの内容についてダンプされる情報はありません。

重大度

00

CKF0316 **UNIX 処理中の *type* 異常終了 *xxx-
nn (explanation) (type abend xxx-
nn (explanation) during Unix
processing)***

説明

このメッセージは、UNIX の処理中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。UNIX ファイル・システム情報が完全でない可能性があります。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0317 **内部エラー: '*directory*' の MNTP が
ありません (Internal error: no
MNTP for '*directory*')**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0318 **CATALOG OBTAIN の 16 進数戻り
コード *rc*, '*target*' の自動マウントが
おそらく失敗しました (CATALOG
OBTAIN return code hex *rc*
probably failed automount of
'*target*')**

説明

target ディレクトリーへの CATALOG OBTAIN 中にエラーが発生しました。このディレクトリーの内容についてダンプされる情報はありません。

重大度

00

CKF0319

**'*target*' の自動マウントを試行しま
した (Automount attempted for
'*target*')**

説明

この通知メッセージは、示されたディレクトリーの自動マウントが試行されたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0320

**geteuid 中の *type* 異常終了 *xxx-
nn (explanation) - UNIX=Y* 処理を実行
できません (*type abend xxx-
nn (explanation) during geteuid -
unable to perform UNIX=Y
processing)***

説明

このメッセージは、geteuid の処理中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。UNIX ファイル・システム情報はダンプされません。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0321

**有効な UID 0 に切り替えました
(Switched to effective UID 0)**

説明

この通知メッセージは、seteuid 0 呼び出しに成功したことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0322

**有効な UID *uid* に切り替えました
(Switched to effective UID *uid*)**

説明

この通知メッセージは、seteuid *uid* 呼び出しに成功したことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0323 **Seteuid 0 が失敗しました。**
rc=hexrc 理由=reason (Seteuid 0
failed rc=hexrc reason=reason)

説明

このメッセージは、seteuid 0 コマンドの実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。UNIX 情報は一部のみダンプされます。

重大度

04

CKF0324 **Seteuid uid が失敗しました。**
rc=hexrc 理由=reason (Seteuid uid
failed rc=hexrc reason=reason)

説明

このメッセージは、seteuid uid コマンドの実行中にエラーが発生したことを示します。これは、zSecure Collect が有効な UID の 0 で実行を継続することを意味します。理由コードは 2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度

08

CKF0325 **AUTOMOUNT=N およびディレクト**
リリー 'target' がマウントされていま
せん (AUTOMOUNT=N and
directory not mounted 'target')

説明

この通知メッセージは、ディレクトリがマウントされず、AUTOMOUNT=NO が指定されたため、ディレクトリ target の内容がダンプされないことを示します。

重大度

00

CKF0326 **MNTE 装置 number DIRP path のス**
ケジュール (Schedule MNTE device
number DIRP path)

説明

この通知メッセージは、示されたパスにマウントされたディレクトリの読み取りがスケジュールされたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0327 **スケジュール stat() リンク DIRP**
target (Schedule stat() link DIRP
target)

説明

この通知メッセージは、ターゲットに指定されたディレクトリについて、読み取りがスケジュールされたことを示します。このメッセージは、DEBUG オプションが使用可能にされた場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0328 **DIRP path 深さ depth で開始しまし**
た (Start on DIRP path depth
depth)

説明

この通知メッセージは、zSecure Collect がネスティング・レベル depth において、示されたディレクトリの読み取りを開始したことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0329 **ディレクトリ装置 device の**
'target' 読み取りを延期しました
(Postpone dir device device for
'target')

説明

この通知メッセージは、device の target ディレクトリの読み取りを延期したことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0330 **device volume ddname からの出口**
exit の LOAD 中の type 異常終了
xxx-nn (explanation) (type abend
xxx-nn (explanation) during LOAD
of exit exit from device volume
ddname)

説明

このメッセージは、示された *exit* の LOAD 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0330 *device* からの出口 *exit* の LOAD によって返された *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*type abend xxx-nn* (*explanation*) returned by LOAD of *exit exit from device*)

説明

このメッセージは、出口の LOAD が異常終了から復旧したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0331 *device volume ddname* からの出口 *exit* の DELETE 中の *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*type abend xxx-nn* (*explanation*) during DELETE of *exit exit from device volume ddname*)

説明

このメッセージは、示された *exit* の DELETE 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0332 **BPX1PCT: 集合のリストに失敗しました。(BPX1PCT: List aggregates failed.)RC=rc 理由=reason (RC=rc reason=reason)**

説明

このメッセージは、BPX1PCT の「添付された集合名のリスト (List Attached Aggregate Names)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。これは必ずしも間違いではありません。このメッセージは、例えば zFS ファイル・システムが実行中でないシステムでも生成されることがあります。指定される理由コードは 2 つの

ハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

重大度

04

CKF0333 **BPX1PCT: 集合状況のリストに失敗しました。(BPX1PCT: List aggregate status failed.) RC=rc 理由=reason (RC=rc reason=reason)**

説明

このメッセージは、BPX1PCT の「集合状況のリスト (List Aggregate Status)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

重大度

08

CKF0334 **BPX1PCT: ファイル・システムのリストに失敗しました。(BPX1PCT: List file systems failed.) RC=rc 理由=reason (RC=rc reason=reason)**

説明

このメッセージは、BPX1PCT の「ファイル・システム名のリスト (List File System Names)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

重大度

08

CKF0335 **BPX1PCT: ファイル・システム状況のリストに失敗しました。(BPX1PCT: List file system status failed.) RC=rc 理由=reason (RC=rc reason=reason)**

説明

このメッセージは、BPX1PCT の「ファイル・システム状況のリスト (List File System Status)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。こ

れについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

重大度

08

CKF0336 予期しない DESERV
return_code_description
reason_code_description
(Unexpected DESERV
return_code_description
reason_code_description)

説明

ディレクトリー・エントリー・サービスの呼び出しによって、示された予期しないエラーが返されました。問題の PDSE についてのすべてのチェックサムおよび IDR 処理はスキップされます。INFO オプションを指定すると、問題を起こした PDSE を判別するための十分な情報を SYSPRINT 内で取得できます。

重大度

08

CKF0337 タスクは APF 許可ではありませんが、APF 許可が必要です (Task is not APF authorized, but APF authorization needed)

説明

このメッセージは、APF キーワードが指定されて、許可が必須だと考慮されるときに、プログラムが許可を取得できなかったことを警告します。結果の CKFREEZE には zSecure Collect の ID レコードのみが含まれます。詳しくは、ご使用の zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルで使用可能な zSecure Collect の資料の『許可または非許可 (Authorized or unauthorized?)』のセクションを参照してください。

重大度

12

CKF0338 コピーされた UNIX ACL レコードの数: *num* 個のアクセス ACL、*num* 個のディレクトリー・デフォルト ACL、*num* 個のファイル・デフォルト ACL (Number of UNIX ACL records copied: *num* access ACLs, *num* directory default ACLs, *num* file default ACLs)

説明

このメッセージは、UNIXACL=Y が指定または暗黙指定された場合に示され、zSecure Collect によってダンプされた UNIX ACL レコードの数を表示します。

重大度

00

CKF0339 BPX1PIO が失敗しました。
rc=hexrc 理由=*reason* ('*path*' のタイプ *type* について) (BPX1PIO failed *rc=hexrc* reason=*reason* for type *type* on '*path*')

説明

このメッセージは、BPX1PIO の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。表示される *type* は、アクセス ACL の場合は **1**、ファイル・モデル ACL の場合は **2**、ディレクトリー・モデル ACL の場合は **3** となることができます。

重大度

08

CKF0340 MNTP 装置 *device* *mountpoint* の DIRP (DIRP for MNTP device *device* *mountpoint*)

説明

この通知メッセージは、示された *mountpoint* および *device* のディレクトリーが読み取られることを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0341 装置 *device* FS 名 *file_system_name* の空のパス名 MNTE (Empty *pathname* MNTE for device *device* FS name *file_system_name*)

説明

このメッセージは、w_getmntent (BPX1GMN) サービスが空のパス名 (MNTENTMOUNTPOINT) を返したことを示します。これが発生するのは、zSecure Collect を実行中のユーザーが、マウント・ポイントの 1 つ以上のディレクトリーに対して検索許可を持たないか、ファイル・システムが非同期でマウントされている場合です。マウント・ポイント項目が書き込まれますが、装置はこれ以上処理されません。結果の CKFREEZE から生成さ

れる UNIX マウント・レポートには、レポートされるファイル・システムについてマウント・ポイントが空であると表示されます。UNIX ファイル・レポートにはファイル・システムが何も表示されません。

重大度

04

CKF0342 **DIRP target 深さ depth のスケジュール (Schedule DIRP target depth depth)**

説明

この通知メッセージは、ネスティング・レベル *depth* における示された *target* ディレクトリーの読み取りがスケジュールされたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0343 **深さ depth への正常な cd .. (Successful cd .. to depth depth)**

説明

この通知メッセージは、ネスティング・レベル *depth* への上部ディレクトリーへの切り替えが正常に実行されたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0344 **深さ depth への正常な cd target (Successful cd target depth depth)**

説明

この通知メッセージは、ネスティング・レベル *depth* の *target* へのディレクトリーの切り替えが正常に実行されたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0345 **opendir 'target' に成功しました (Success opendir 'target')**

説明

この通知メッセージは、*target* でのディレクトリーのオープンが正常に実行されたことを示します。このメッ

セージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0346 **closedir 'target' を実行します (Perform closedir 'target')**

説明

この通知メッセージは、*target* ディレクトリーのクローズが実行されることを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されません。

重大度

00

CKF0347 **重複パス名、MNTE 装置 device1 および device2、FS 名 file_system_name、マウント・ポイント mountpoint (Duplicate pathname MNTE devices device1 and device2 FS name file_system_name mountpoint mountpoint)**

説明

このメッセージは、2 番目の装置 *device2* が最初の装置 *device1* と同じマウント・ポイントにマウントされたことを示します。示されたファイル・システムについての 2 番目の装置は処理されません。zSecure Audit は、メッセージ CKR1064 でこの条件に再度フラグを立てる可能性があります。

重大度

08

CKF0348 **装置 device マウント・ポイント mountpoint の重複した MNTE (Duplicate MNTE for device device mountpoint mountpoint)**

説明

このメッセージは、示された *device* のマウント項目が 2 度検出されたことを示します。これは 1 度だけ処理されます。zSecure Audit は、メッセージ CKR1064 でこの条件に再度フラグを立てる可能性があります。

重大度

04

CKF0349 **BPX1LST が失敗しました。rc=hexrc 理由=reason ('pathname')**

深さ *depth* について) (BPX1LST failed rc=*hexrc* reason=*reason* for '*pathname*' depth *depth*)

説明

示されたパス名への lstat() 呼び出しが失敗しました。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子、2つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。ディレクトリーは処理されません。

重大度

08

CKF0350 '*mountpoint*' に対する実行中に装置番号 *olddev* が *newdev* に変更されました (Device number *olddev* changed to *newdev* during run for '*mountpoint*')

説明

示されたマウント・ポイントに対する lstat() 呼び出しが返した装置番号は、ファイル・システム・ダンプがスケジュールされたときに表示された装置番号と異なります。これは正常にサポートされません。zSecure レポートには、古い装置番号およびその古い装置番号に関連付けられたマウント情報と一緒に、新しい装置番号に関連付けられたファイルが表示されます。この問題が繰り返し発生する場合、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0351 装置番号 *dev* が '*mountpoint*' に割り当てられました (Device number *dev* assigned to '*mountpoint*')

説明

この通知メッセージは、zSecure Collect の実行開始時にマウント・ポイント・テーブルに存在せず、その親ディレクトリーにも表示されなかったマウント・ポイントが見つかったことを示します。これは通常、シンボリック・リンクが自動マウント・ポイントを、アンマウントされたディレクトリーにクロスする場合に発生します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKF0352

ZFS ファイル・システムが開始していません。(The ZFS file system has not been started.)

説明

このメッセージは、開始されている ZFS システムが見つからなかったことを示します。したがって、ZFS ファイル・システムおよび集合に関するデータはダンプされません。

重大度

00

CKF0353

PC LPA は共通ストレージ内でなく、*address* ターゲット ASID *address space ID* です (PC LPA not in common storage, but at *address target ASID address space ID*)

説明

PC (プログラム呼び出し) ルーチンに渡される潜在パラメーター・アドレスは共通ストレージ内にありません。潜在パラメーターの値はダンプされません。

重大度

00

CKF0354

function 処理中の *type* 異常終了 *xxx-nn (explanation)* (*type* abend *xxx-nn (explanation)* during *function processing*)

説明

このメッセージは、*function* の処理中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。*function* は、ZFS 集合処理の場合は WRTAGGR になり、照会構成処理の場合は WRTCNFG になります。ZFS 集合またはシスプレックス共有に関する情報が完全ではない可能性があります。共通の異常終了コードについては、該当する zSecure 製品の「ユーザー・リファレンス・マニュアル」で、zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0355

BPX1PIO は *returnedtype* ACL を返しました - *requestedtype* ACL に修正しました (BPX1PIO returned a *returnedtype* ACL - corrected to a *requestedtype* ACL)

説明

w_piocctl サービス (BPX1PIO) によって返された ACL は、要求された ACL タイプと一致しませんでした。これは例えば、z/OS イメージにおいて IBM APAR OW57201 のサービスが適用されていない場合に発生する可能性があります。zSecure Collect は、レコード内で ACL タイプを要求されたタイプに設定してから ACL を CKFREEZE ファイルに書き込むことによって、このエラーを修正しようとしています。これによって、zSecure が CKR1761 を発行することが回避される場合があります。表示される *types* は、アクセス ACL、ファイル・モデル ACL、ディレクトリー・モデル ACL それぞれについて **access**、**fdefault**、**default** です。

重大度

04

CKF0356 データ・セット *volser dsn* への読み取り権限がありません (No READ access to data set *volser dsn*)

説明

このメッセージは、示された非 VSAM データ・セットに対してユーザーが読み取り権限を持たないため、このデータ・セットの処理がスキップされることを示します。

重大度

04

CKF0357 EXIT 要求のためタスクが終了します (Task terminating due to EXIT request)

説明

入力の構文解析中に EXIT ステートメントが読み取られました。プログラムは EXIT ステートメントに指定された戻りコードで終了します。このメッセージの重大度は、EXIT ステートメントの RC パラメーターに指定される値と等しくなります。

重大度

変数

CKF0358 RC は 0 から 99 までの間の数値である必要があります (RC should be a number between 0 and 99)

説明

EXIT コマンドの RC キーワードが指定されましたが、サポートされる範囲に該当しませんでした。ゼロより小さい数値と 99 より大きい数値はサポートされません。

重大度

16

CKF0359 マスター・カタログをダンプできません。他のメッセージを参照してください (Unable to dump master catalog, see other messages)

説明

プログラムは要求されたマスター・カタログのダンプを実行せずに終了しました。原因については、DAIRFAIL メッセージ (例えば「IKJ56866I FILE ddname ALLOCATED NOT DATA SET, CONCURRENT ALLOCATIONS EXCEEDED」) を見直してください。また、下の CKF0297 を探し、DDname の数が問題になっていないか確認してください。CKF0298 の発生も、TIOT サイズの問題を指すことがあります。

重大度

08

CKF0360 ボリューム *dsname* の RLS のためのスローダウン・モードが起動されました (Slowdown mode invoked because of RLS for volume *dsname*)

説明

指定された VSAM クラスタにレコード・レベル共有 (RLS) が設定されているため、より高速な EXCP 処理ではなく通常の VSAM 処理がこのクラスタに対して使用されました。

重大度

00

CKF0361 *volser dsn(mem)* のシグニチャー検証 *action* (Signature verification action for *volser dsn(mem)*)

説明

SIGVER=YES パラメーターによってシグニチャー検証が要求され、ライブラリー内の名前付きモジュールが検証に失敗したか (*action=fails*) 検証に成功しました (*action=success*)。

ユーザーの処置

検証に失敗した場合、オペレーター・メッセージ ICH44x を参照するか、newlist type=smf レポートを実行して type=80、event=86(1:7) を選択することによって失敗に関する追加情報を取得します。失敗の考えられる原因には以下のものが含まれます。

- モジュールのシグニチャーが正しくない。

- モジュールにシグニチャーが存在しないが、プログラムの RACF プロファイルはシグニチャーを必要としている。
- モジュールには有効なシグニチャーが存在するが、証明書チェーンが無効である。

重大度

00

CKF0362 シグニチャー検証をサポートしないシステム上では **SIGVER=YES** は無効です (**SIGVER=YES is invalid on a system that does not support signature verification**)

説明

CKFCOLL が実行中の現行のシステムではシグニチャー検証をサポートしないため、SIGVER=YES パラメーターによって要求されるシグニチャー検証をシステム上で実行できません。

ユーザーの処置

SIGVER=YES パラメーターを削除して CKFCOLL ジョブを再実行します。

重大度

12

CKF0372 z/OS のサポートされないバージョン **vv.rr.mm** を実行しています。結果は予測不能です。アップグレードしてください (**Running an unsupported version vv.rr.mm of z/OS, results are unpredictable - please upgrade**)

説明

このメッセージは、zSecure がサポートされていないオペレーティング・システム・レベルで実行されていることを示します。結果は予測不能です。zSecure を適切なバージョンにアップグレードしてください。

重大度

04

CKF0373 **BPX1PCT ZFS** ファイル・システム情報の照会に失敗しました。 (**BPX1PCT ZFS file system information query failed.**) failed. **OC=nn, RC=nn, 理由=nn (OC=nn, RC=nn, REASON=nn)**

説明:

COMPRESSED, COMPRESS_STATE, ENCRYPTED、および ENCRYPT_STATE の各フィールドの値が、BPX1PCT ZFS ファイル・システム情報関数の実行中のエラーの結果、欠落しています。この関数は、zFS 集合の圧縮/暗号化状態を判別します。

ユーザーの処置

命令コード、戻りコード、および理由コードを確認して問題を解決してください。

- OC=nn は、命令コード修飾子です。
- RC=nn は、戻りコード修飾子です。
- 理由=nn は、「UNIX System Services メッセージおよびコード」に説明されている理由コードです。

重大度

04

CKF0374 **BPX1PCT ZFS** 構成照会に失敗しました。 (**BPX1PCT ZFS configuration query failed.**) **OC=nn, RC=nn, 理由=nn (OC=nn, RC=nn, REASON=nn)**

説明:

このメッセージは、BPX1PCT ZFS 構成関数の実行中にエラーが発生したことを示します。この関数は、いくつかの zFS 情報を判別するために使用されます。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」に説明があります。結果として、ZFS_SMF, ZFS_SMF_INTERVAL, ZFS_FORMAT_COMPRESSION, ZFS_FORMAT_ENCRYPTION, および ZFS_FORMAT_PERMS の各フィールド (TYPE=SYSTEM) の値が欠落しています。

ユーザーの処置

戻りコードと理由コードを確認して問題を解決してください。

- OC=nn は、命令コード修飾子です。
- RC=nn は、戻りコード修飾子です。
- 理由=nn は、「UNIX System Services メッセージおよびコード」に説明されている理由コードです。

重大度

04

CKF0375 予期しない IEFPRMLB 結果です。 **RC hexrc RSN hexreason (Unexpected IEFPRMLB result, RC hexrc RSN hexreason)**

説明

IEFPRMLB サービスが、予期に反して示された *return* および *reason codes* を返しました。これによって、IPL 後に活動化される parmlib 連結に関する情報が失われる可能性があります。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0376	Parmlib データ・セット <i>dsname</i> がボリューム <i>volume</i> から検出されません(Parmlib data set <i>dsname</i> not found on volume <i>volume</i>)
----------------	---

説明

示された parmlib データ・セットが、予期されたボリュームから検出されませんでした。データ・セットを復元するための試行は行われず、このデータ・セットの追加処理はスキップされます。

重大度

04

CKF0377	DD/DDPREF/DSN/DSNPREF キーワードは 1 つだけ指定する必要があります (Exactly one DD/DDPREF/DSN/DSNPREF keyword should be specified)
----------------	--

説明

CHECK= ステートメントが読み込まれましたが、このステートメントは YES/NO を指定せず、単一のキーワード DD、DDPREF、DSN、または DSNPREF を含んでいませんでした。コマンド・パラメーターを修正し、ジョブを再試行してください。

重大度

12

CKF0378	<i>OS_level</i> で TCP/IP スタック構成データを収集できません (TCP/IP stack configuration data cannot be collected on <i>OS_level</i>)
----------------	--

説明

zSecure Collect は、z/OS V1R11 以降が実行中のシステムでのみ、TCP/IP スタック構成データを収集できます。

ユーザーの処置

zSecure を実行中の z/OS システムが V1R10 以下の場合、zSecure Collect 呼び出しの zSecure Collect TCPIP パラメーターを NO に設定することでこのメッセージを回避できます。このパラメーターの設定については、「[IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル](#)」の『zSecure Collect for z/OS』を参照してください。

重大度

00

CKF0379	DSNPREF=<i>dsnpref</i> の LISTCAT 中の予期しない <i>abend</i> (Unexpected <i>abend</i> during LISTCAT of DSNPREF=<i>dsnpref</i>)
----------------	---

説明

このメッセージは、カタログ内の示された接頭部と一致するデータ・セット名の検索に失敗したことを示します。異常終了が発生しました。この CHECK ステートメントは無視されます。プログラムによってデータ・セットが検索されたと思われる場合、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKF0380	DSNPREF=<i>dsnpref</i> の LISTCAT 中の予期しない 10 進数戻りコード <i>nn</i> (Unexpected return code <i>nn</i> dec during LISTCAT of DSNPREF=<i>dsnpref</i>)
----------------	--

説明

このメッセージは、カタログ内の示された接頭部と一致するデータ・セット名の検索に失敗したことを示します。この CHECK ステートメントは無視されます。プログラムによってデータ・セットが検索されたと思われる場合、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKF0381	CHECK <i>statement</i> と一致するデータ・セットがありません (No
----------------	--

matching data sets for CHECK statement)

説明

示されたステートメントと一致したデータ・セットが検出されませんでした。プログラムによってデータ・セットが検索されたと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0382 DD/DDPREF は DSORG= をサポートしません (DD/DDPREF do not support DSORG=)

説明

CHECK ステートメントでは、DD キーワードおよび DDPREF キーワードと組み合わせた追加の DSORG 選択はサポートされません。コマンド・パラメーターを修正し、ジョブを再試行してください。

重大度

12

CKF0383 磁気テープ・データ・セットを使用した DD ddname 連結はサポートされません (DD ddname concatenations with tape data sets are not supported)

説明

示された ddname は少なくとも 1 つの磁気テープ・データ・セットを含む連結です。これはサポートされません。各 DD ステートメントが DASD データ・セットの連結を含むか、単一の磁気テープ・データ・セットを含むような方法で連結を分割し、ジョブを再試行してください。

重大度

12

CKF0384 単一メンバーの DD ddname チェックサムはサポートされません (DD ddname checksum of a single member is not supported)

説明

示された ddname には、PDS(E) の単一メンバーの割り振りが含まれています。これはサポートされません。

割り振りステートメントからメンバー指定を削除し、ジョブを再試行してください。チェックサムは、PDS(E) のすべてのメンバーについてだけでなく、データ・セット全体についても計算されます。

重大度

12

CKF0385 リソース・チェックに SAF クラス class を使用します (Using SAF class class for resource checks)

説明

示されたリソース・クラスは、サイト・モジュールで以前構成されたものです。IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイドの『付録 A. サイト・モジュール』を参照してください。

重大度

00

CKF0386 IFAQUERY 戻り域が小さすぎる。nnn 個のログ・ストリーム・レコードを省略しました。(Omitted nnn log stream records.)

説明

2 回目の呼び出しで required length を渡した後でも、SMF ログ・ストリーム・データを保管するためのスペースが十分ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0387 IFAQUERY からの予期しない戻りコード。(Unexpected return code from IFAQUERY.) SMF ログ・ストリーム情報は収集されません。(SMF log stream information is not collected.) rc=hhhhhhhhhhh (16 進数) rsn=hhhhhhhhhhh (16 進数) (rc=hhhhhhhhhhh hex rsn=hhhhhhhhhhh hex)

説明

SMF ログ・ストリーム・データの取得に失敗しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKF0388 予期しない **IXGCONN** 接続、**RC xxxxxxxx (16 進数)** 理由 **yyyyyyyy (16 進数)**、データ・セットはストリーム名に対して失われます。**(Unexpected IXGCONN connect RC xxxxxxxx hex reason yyyyyyy hex; data sets will be missing for stream name.)**

説明

このメッセージは、SMF ログ・ストリームへの接続の失敗を示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データと分析レポートには含まれません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0389 予期しない **IXGQUERY RC xxxxxxxx (16 進数)** 理由 **yyyyyyyy (16 進数)**、データ・セットはストリーム名に対して失われます。**(Unexpected IXGQUERY RC xxxxxxxx hex reason yyyyyyy hex; data sets will be missing for stream name.)**

説明

このメッセージは、正常に接続された SMF ログ・ストリームからの情報を取得できなかったことを示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0390 ストリーム名に対して予期しない **IXGCONN** 切断、**RC xxxxxxxx (16 進数)**、理由 **yyyyyyyy (16 進数)****(Unexpected IXGCONN disconnect**

RC xxxxxxxx hex reason yyyyyyy hex for stream name)

説明

このメッセージは、正常に接続された SMF ログ・ストリームからの切断の失敗を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKF0391 *stream name* の **IXGCONN** 接続中での *type* 異常終了 **code-reason (explanation) (type abend code-reason (explanation) during IXGCONN connect for stream name)**

説明

このメッセージは、SMF ログ・ストリームへの接続の失敗を示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。異常終了を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0392 *stream name* の予期しないログ・ストリーム **DSN** フォーマット **dsname (Unexpected log stream DSN format dsname for stream name)**

説明

このメッセージは、ログ・ストリームのデータ・セット名のフォーマットが認識されないため、これ以上分析されないことを示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0393 *stream name* の "level" の LISTCAT 中の予期しない RC nn (10 進数) (Unexpected RC nn dec during LISTCAT of "level" for stream name)

説明

このメッセージは、ログ・ストリーム・データ・セットについての任意の VSAM クラスタ名を検出しようとしたときの失敗を示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0394 *stream name* の "level" の LISTCAT 中の type 異常終了 code-reason (explanation) (type abend code-reason (explanation) during LISTCAT of "level" for stream name)

説明

このメッセージは、ログ・ストリーム・データ・セットについての VSAM クラスタ名を検出しようとしたときの失敗を示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。異常終了を解決できない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0395 IEFSSREQ SSI=54 から予期しない戻りコードを受け取りました。(An unexpected return code was received from IEFSSREQ SSI=54.) Subsys=jjij、R15=nn、SSOBRETN=ss。(Subsys=jjij、R15=nn、SSOBRETN=ss.)

説明

サブシステム *jjij* の IEFSSREQ 要求タイプ 54 が、レジスター 15 について *nn*、SSOBRETN について *ss* で終了しました。変数は以下のようになります。

- *jjij* は照会されるサブシステムの名前。
- *nn* は IEFSSREQ から返される R15 の値。
- *ss* は IEFSSREQ によって返される SSOBRETN の値。

このエラーが発生した場合、IEFSSREQ SSI=54 の結果を含むレコードは CKFREEZE データ・セットに書き込まれません。

z/OS バージョン 1.8 以降を実行中の場合、このエラーは JES2 出口処理に関連する追加のエラーとなることもあります。これらの出口を処理するためには、zSecure Collect プログラム CKFCOLL では、JES2 動的出口がサポートされるかどうかを認識されている必要があります。通常、IEFSSREQ への呼び出しは、JES2 動的出口がサポートされているかどうかを判別するのに使用される JES2 レベルについての情報を返します。この情報が返されない場合、CKFCOLL は JES2 動的出口がサポートされているかどうかを判別できない可能性があるため、出口を処理するときにエラーが生成される場合があります。

ユーザーの処置

このエラーは、サポートされないオペレーティング・システム上で zSecure を実行したことか、そのオペレーティング・システムへの最近の保守が IEFSSREQ サービスに影響したことが原因の可能性ががあります。このエラーについて詳しくは、「z/OS MVS Using the Subsystem Interface (SA38-0679)」に記載されている IEFSSREQ および SSOBRETN の戻りコードの値を参照してください。問題を解決できない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0396 サブシステム 情報を収集しています ... (Collecting subsystem information ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは SYSTEMRM にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0397 IMS *jobname* からサブシステム情報を収集しています ... (Collecting subsystem information from IMS *jobname* ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは SYSTERM にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0398 MQ *subs* からサブシステム応答を収集しています ... (Collecting subsystem response from MQ *subs* ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは MQ キュー・マネージャーを識別します。これは SYSTERM にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0399 TCP/IP スタック *name* 構成を読み取るための *amount* のストレージの *action* ができませんでした (Could not *action amount of storage to read TCP/IP stack name configuration*)

説明

action=obtain の場合、zSecure Collect には TCP/IP スタック *name* の構成データを読み取るために使用可能なストレージが十分にありません。この問題を回避するには、zSecure Collect 実行用に大きい領域を割り振ってください。

action=release の場合、zSecure は TCP/IP スタックの読み取りに使用するストレージをリリースできませんでした。内部処理で問題が発生した可能性があります。

重大度

08

CKF メッセージ 400 から 499

CKF0400...CKF0499 *message*

説明

これらのメッセージは、このマニュアルに記載されていないデバッグ・コマンドの結果として発行されます。

重大度

00

CKF メッセージ 500 から 599

CKF0500 INDD、OUTDD、および ERRDD は、*ddname* 行 *number* の PARM ストリング *type "value"* 内でのみ有効です。(INDD, OUTDD, and ERRDD only valid in PARM string *type "value"* at *ddname* line *number*)

説明

INDD、OUTDD、および ERRDD パラメーターは呼び出しパラメーター (JCL の PARM キーワード) としてのみ使用でき、入力ファイルのコマンドとして使用できません。

重大度

16

CKF0501 TCP/IP スタック・イメージを取得できません。(TCP/IP stack images cannot be retrieved.)GETIBMOPT: RC=xxxxxxx ERRNO:yyyyyyyy (GETIBMOPT: RC=xxxxxxx ERRNO:yyyyyyyy)

説明

このメッセージは、EZASMI 呼び出しにおける GETIBMOPT 機能の失敗によってトリガーされ、xxxxxxx は戻りコード、yyyyyyyy はエラー番号を示します。

ユーザーの処置

以下の手順を実行します。

1. ERRNO 戻りコードとして入力される 16 進値を、16 進形式から 10 進形式に変換します。例えば、16 進値 ERRNO=000027EA は 10 進値 10218 に変換されます。
2. ご使用の z/OS バージョンの z/OS インフォメーション・センターに移動します。
3. 「**Communications server**」をクリックします。
4. 「**IP Sockets Application Programming Interface Guide and Reference**」>「**Appendixes**」>「**Appendix B. socket call error return codes**」>「**Additional return codes**」と展開します。
5. 「**Sockets extended ERRNOs**」をクリックします。
6. エラー・コードのリストから、対応する 10 進値の説明を見つけます。

エラー・コードは「*Communications Server IP* ソケット・アプリケーション・プログラミング・インターフェースのガイドとリファレンス」(SA88-5363)からも検索できます。

重大度

08

CKF0502 処理される VTOC データ・セットの数: *number* (Number of VTOC data sets processed: *number*)

説明:

このメッセージは、スキャンまたは収集された VTOC データ・セットの数を示します。SHARED=NO の場合、これには、非共有 DASD 装置、およびシステムに該当する特定の構成情報を含む共有 DASD 装置が含まれます。SHARED=NO とともに INFO を組み込むと、データ・セットの詳細を示す CKF0601 または CKF0602 のメッセージが発行されます。

重大度

00

CKF0503 コピーされた CKDS キー・ラベルの数: *decnum* (Number of CKDS key labels copied: *decnum*)

説明:

この通知メッセージは、CKFREEZE データ・セットにコピーされた CKDS レコード・キー・ラベル・セクションの数を示します。

重大度

00

CKF0504 コピーされた PKDS キー・ラベルの数: *decnum* (Number of PKDS key labels copied: *decnum*)

説明:

この通知メッセージは、CKFREEZE データ・セットにコピーされた PKDS レコード・キー・ラベル・セクションの数を示します。

重大度

00

CKF0505 *type volser cluster* の予期しない可変長レコード *recno* をスキップします (Skipping unexpected non-fixed record *recno* of *type volser cluster*)

説明:

type データ・セットが固定フォーマットであるとヘッダーで記述されている可変長レコードを、コードが検出しました。レコードはスキップされます。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0506 *type volser cluster* の予期しない非 *varlen* レコード *recno* をスキップします (Skipping unexpected non-*varlen* record *recno* of *type volser cluster*)

説明:

type データ・セットが可変長フォーマットであるとヘッダーで記述されている固定長レコードを、コードが検出しました。レコードはスキップされます。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0507 *type volser cluster* の予期しない非 **KDSR** レコード *recno* をスキップします (Skipping unexpected non-**KDSR** record *recno* of *type volser cluster*)

説明:

type データ・セットが **KDSR** フォーマットであるとヘッダーで記述されている非 **KDSR** レコードを、コードが検出しました。レコードはスキップされます。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0508 **PKDS *volser cluster* の予期しないヘッダー・レコード・バージョン *ver* (Unsupported header record version *ver* of PKDS *volser cluster*)**

説明:

コードが ICSF PKDS ヘッダー・レコードでサポートされないバージョン番号を検出しました。そのデータ・セットはスキップされます。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0509 **CKDS *volser cluster* のサポートされないヘッダー・レコード・バージョン *ver* (Unsupported header record version *ver* of CKDS *volser cluster*)**

説明:

コードが ICSF CKDS ヘッダー・レコードでサポートされないバージョン番号を検出しました。そのデータ・セットはスキップされます。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0511 **TKDS *volser cluster* のサポートされないヘッダー・レコード・バージョン *ver* (Unsupported header record version *ver* of TKDS *volser cluster*)**

説明:

コードが ICSF TKDS ヘッダー・レコードでサポートされないバージョン番号を検出しました。そのデータ・セットはスキップされます。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0512 **SYMKEYTEST は実行されません (SYMKEYTEST will not be performed)。CPACF が必要です (It requires CPACF)。**

説明:

CKFCOLL プログラムは、暗号化データ・セットに対して対称鍵ユーザビリティ・テストを実行できませんでした。この機能には、CP Assist for Cryptographic Functions (CPACF) フィーチャーが有効かつ Crypto Express3 フィーチャー以降がインストール済みの IBM zEnterprise z196 以降のシステムが必要です。

重大度

00

CKF0513 **SYMKEYTEST は実行されません (SYMKEYTEST will not be performed)。CPACF では AES XTS がサポートされません (CPACF misses support for AES XTS)。**

説明:

CKFCOLL プログラムは、暗号化データ・セットに対して対称鍵ユーザビリティ・テストを実行できませんでした。CP Assist for Cryptographic Functions (CPACF) では AES XTS がサポートされません。この機能には、CP Assist for Cryptographic Functions (CPACF) フィーチャーが有効かつ Crypto Express3 フィーチャー以降がインストール済みの IBM zEnterprise z196 以降のシステムが必要です。

重大度

00

CKF0515 **予期しない CSNBKRR2 *abend code* (Unexpected CSNBKRR2 *abend code*)**

説明:

鍵トークンを読み取るための CSNBKRR2 ICSF サービス・ルーチンの呼び出しで障害が発生しました。

ユーザーの処置:

abend code を検査して、エラーの原因を示す内容がないか調べてください。「z/OS Cryptographic Services Integrated Cryptographic Service Facility Application Programmer's Guide」を参照してください。

重大度

08

CKF0516 **Dataset: CSNBKRR2 が次で失敗しました: key_label, RT: retcode, RS: reascode (Dataset: CSNBKRR2 failed on: key_label, RT: retcode, RS: reascode)**

説明:

当該データ・セットでコードにより対称鍵ユーザビリティ・テストを実行できませんでした。key_label のトークンを読み取るための CSNBKRR2 ICSF サービス・ルーチンの呼び出しが失敗しました。

ユーザーの処置:

異常終了コードを検査して、エラーの原因を示す内容がないか調べてください。CSNBKRR2 ルーチンの戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS Cryptographic Services Integrated Cryptographic Service Facility Application Programmer's Guide」を参照してください。

重大度

04

CKF0517 **テストされた暗号化データ・セットの数: number1 (number2 個はこのシステムで復号可能、number3 個は復号不可、number4 個は encr. セルが空) (Number of encrypted data sets tested: number1 (number2 can be decrypted on this system, number3 cannot, and number4 have empty encr. cells))**

説明:

このメッセージは、対称鍵ユーザビリティ・テストが実行された暗号化データ・セットの数を示します。このシステムで復号可能なデータ・セットの数、復号できないデータ・セットの数、および暗号化セルが空のデータ・セットの数を示します。

重大度

00

CKF0518 **コピーされた SAFDEF レコードの数: decnum (Number of SAFDEF records copied: decnum)**

説明:

この通知メッセージは、CKFREEZE ファイルにコピーされた ACF2 SAFDEF レコードの数を示しています。

重大度

00

CKF0519 **SAFDEF ヘッダーが正しくありません。SAFDEF レコードを収集できません (Wrong SAFDEF header; cannot collect SAFDEF records)**

説明:

このメッセージは、ACF2 SAFDEF レコードの収集中にエラーが発生したことを示しています。1次 SAFDEF 構造内に不整合が検出されました。SAFDEF レコードは収集されません。

重大度

04

CKF0520 **SDFENVIR ヘッダーが正しくありません。SAFDEF レコードの詳細を収集できません (Wrong SDFENVIR header; cannot collect details of a SAFDEF record)**

説明:

このメッセージは、ACF2 SAFDEF レコードの収集中にエラーが発生したことを示しています。SAFDEF 環境構造内に不整合が検出されました。SAFDEF レコードの追加収集は制限されます。

重大度

04

CKF0521 **VALMAP ヘッダーが正しくありません。SAFDEF RACROUTE 要求の詳細を収集できません (Wrong VALMAP header; cannot collect details of a SAFDEF RACROUTE request)**

説明:

このメッセージは、ACF2 SAFDEF レコードの収集中にエラーが発生したことを示しています。SAFDEF RACROUTE 要求のパラメーター・リストの不整合が検出されました。SAFDEF レコードの追加収集は制限されます。

重大度

04

CKF0522 **共通ストレージ・ブロックのデータの収集でエラーが発生しました: message (Error collecting data on common storage blocks: message)**

説明:

共通ストレージ・ブロックを記述するレコードの収集中にエラーが発生しました。message フィールドに、検出された不整合が示されます。問題の重大度に応じて、今後の分析で個別の共通ストレージ・ブロックまたはすべての共通ストレージ・ブロックが使用できなくなりま

す。これはメッセージ重大度 (4 または 20) でそれぞれ示されます。

重大度

04 または 20

CKF0523 *decnum* 個の共通ストレージ・ブロックの情報および *decnum* 個のその所有者の情報をコピーしました
(Copied information on *decnum* common storage blocks and on *decnum* of its owners)

説明:

この通知メッセージは、CKFREEZE ファイルにコピーされた共通ストレージ・ブロックを記述するレコードの数を示します。共通メモリー・ブロックの所有者を含むレコードの収集数も表示します。

重大度

00

CKF0524 チェックサムの計算でエラーが発生しました: *message* (Error in checksum computations: *message*)

説明:

チェックサム・メカニズムの初期化中、または個々のチェックサムの計算中にエラーが発生しました。*message* は発生した問題を示しています。

重大度

04 または 08

CKF0525 チェックサムの計算には *algorithm* を使用します (Checksum computations use *algorithm*)

説明:

このメッセージは、要求された計算の実行に使用されるチェックサム・アルゴリズムを示します。

重大度

00

CKF0526 チェックサムの計算に *num* CPU 秒、実時間では *num* 秒が使用されました。

説明:

このメッセージは、要求されたチェックサムの計算に使用された CPU 時間の秒数と実時間の秒数の詳細を示します。これにはチェックサム・メカニズムに費やされた全体的な時間 (例えば、レコードの作成に関連する入出力にかかる時間など) が含まれているわけではなく、計算 (例えば、SHA 値の計算) のみの時間が含まれます。

重大度

00

CKF0527 RACROUTE VERIFY CREATE エラー RACF RC (16 進数) *xxxxxxx* RACF 理由 (16 進数) *yyyyyyy*
(RACROUTE VERIFY CREATE error RACF RC (hex) *xxxxxxx* RACF reason (hex) *yyyyyyy*)

説明:

zSecure Collect が RACROUTE VERIFY CREATE を発行して一時トラステッド ACEE を作成したときにエラーを受け取りました。(zSecure Collect received an error when it issued RACROUTE VERIFY CREATE to create a temporary trusted ACEE.)

ユーザーの処置:

戻りコードと理由コードを使用して、RACROUTE が失敗した理由を判別してください。問題を修正できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKF0528 アドレス・スペース情報を収集しています ... (Collecting address space information ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは SYSTEMR にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0529 CICS *jobname* からアドレス・スペース情報を収集しています ... (Collecting address space info from CICS *jobname* ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは CICS 領域を識別します。これは SYSTEMR にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0530 モジュール情報を収集しています ... (Collecting module information ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは SYSTEMER にも書き込まれます。

重大度

00

モードで読み取られ、10,000 トラックを超える VSAM データ・セットとそのタイプ、および HSM と RMM のリポジトリ・データ・セットとそのタイプを識別します。これは SYSTEMER にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0531 *subs* から Db2 情報をアンロードしています ... (Unloading Db2 information from *subs* ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは DB2 サブシステムを識別します。これは SYSTEMER にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0535 *type dev vol dsn* から VSAM データを収集しています ... (Collecting VSAM data from *type dev vol dsn* ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは、HSM と RMM のリポジトリ・データ・セットなど、非常に大きくなる可能性がある種類のデータ・セットとそのタイプを識別します。これは SYSTEMER にも書き込まれます。このメッセージは、非 EXCP モードの VSAM 用に発行されます。

重大度

00

CKF0532 装置情報を収集しています ... (Collecting device information ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは SYSTEMER にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0536 *type dev vol dsn* から CA-1 データを収集しています ... (Collecting CA-1 data from *type dev vol dsn* ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは、テープ管理システム CA-1、データ・セット、およびそのタイプを識別します。これは SYSTEMER にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0533 自動復元用のデータ・セットを割り振っています ... (Allocating data sets for automatic restore ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは SYSTEMER にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0537 *type dev vol dsn* からアーカイブ・データを収集しています ... (Collecting archive data from *type dev vol dsn* ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは、ディスク管理システム CA-Disk (DMS)、データ・セット、およびそのタイプを識別します。これは SYSTEMER にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0534 [big] *type dev vol dsn* から VSAM データを収集しています、*number* トラック ... (Collecting VSAM data from [big] *type dev vol dsn*, *number* tracks ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは、EXCP

CKF0538 UNIX データを収集しています ...
(Collecting UNIX data ...)

説明

この進行状況メッセージは、収集プロセスの新しいフェーズを開始していることを表示します。これは SYSTERM にも書き込まれます。

重大度

00

CKF0539 *logical_dd real_dd* に対する予期しない JES2 PADTYPE xx です
(Unexpected JES2 PADTYPE xx for *logical_dd real_dd*)

説明:

このメッセージは、JES2 割り振り制御ブロックの内容が予期しないものであることを示しています。これにより、JES データ・セットの機密性タイプの欠落、不完全性、不正確性が発生する可能性があります。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0540 スワップされた ASID *asid jobname* のアドレス・スペース・データが収集されません (Address space data not collected for swapped ASID *asid jobname*)

説明

このメッセージは、示されたアドレス・スペースがスワップアウトされ、アドレス・スペースからデータを取得できない場合に発行されます。このアドレス・スペースからの情報は、CKFREEZE データ・セットから欠落しています。この CKFREEZE データ・セットを使用して作成される zSecure レポートは、不完全なものになる可能性があります。このことは特に、示されたアドレス・スペースで (サブ) システム・タイプのタスクを実行している場合に当てはまります。

重大度

04

CKF0541 DD 名 CKFDS001 についてのオープン・エラー *abend code* (OPEN ERROR *abend code* for DDNAME CKFDS001)

説明

この診断メッセージは、MQ QMGR 領域の STEPLIB から取得されたデータ・セットを開く際に障害が発生した場合に出されます。これらのデータ・セットは、必要な接続モジュールをプリロードするために使用されます。プログラムは続行しますが、後で失敗するおそれがあります。

ユーザーの処置

異常終了コードを検査して、エラーの原因を示す内容がないか調べてください。

重大度

08

CKF0542 アクセスする権限がないため、MQ QMGR に接続できませんでした:
QMGR-name (Could not connect to MQ QMGR because not authorized to access: *QMGR-name*)

説明

CKFCOLL プログラムを実行しているユーザーに、示された QMGR に接続するための十分な権限がありません。これは通常、MQCONN リソース・クラス内のプロファイル *QMGR-name*.BATCH によって制御されます。

ユーザーの処置

CKFCOLL を実行しているユーザーが必要な権限を持っていることを確認してください。

重大度

08

CKF0543 接続モジュールが使用不可のため、MQ QMGR に接続できませんでした:
QMGR-name (Could not connect to MQ QMGR because connection modules not available: *QMGR-name*)

説明

MQ QMGR への接続のセットアップ中に、複数のモジュールが STEPLIB またはリンク・リストから動的にロードされました。必須モジュールが見つかりませんでした。プログラムは、次の MQ 領域の処理を続けます。

重大度

08

CKF0544 接続に QMGR を使用できないため、MQ QMGR に接続できませんでした:
QMGR-name (Could not connect to

MQ QMGR because QMGR not available for connection: QMGR-name)

説明

MQ QMGR への接続のセットアップ中に、QMGR が使用不可あることが MQ によって報告されました。これはおそらく、QMGR の初期化を完了できなかったことが原因です。例えば、QMGR が、キュー共有グループに接続するために DB2 サブシステムを待機していることなどが原因です。プログラムは、次の MQ 領域の処理を続けます。

重大度

08

CKF0545 **MQ QMGR QMGR-name、RC=retcode-reascode に接続できませんでした (Could not connect to MQ QMGR QMGR-name, RC=retcode-reascode)**

説明

CKFCOLL プログラムが、示されている QMGR に接続できませんでした。プログラムは、次の MQ 領域の処理を続けます。

ユーザーの処置

追加情報については、16 進数の理由コードを確認してください。理由コードは、「IBM MQ for z/OS: メッセージおよびコード」に記載されています。

重大度

08

CKF0546 **MQ QMGR QMGR-name の module-name をプリロード中にエラーが発生しました (Error preloading module-name for MQ QMGR QMGR-name)**

説明

MQ QMGR への接続のセットアップ中に、複数のモジュールが STEPLIB またはリンク・リストから動的にロードされました。CKFCOLL プログラムは、MQ QMGR 領域の STEPLIB からこれらのモジュールをプリロードしようとしています。示されているモジュールのプリロードが失敗しました。プログラムは続行しますが、他の何らかの方法を使用してモジュールを見つけることができない場合、プログラムは後で失敗するおそれがあります。

重大度

08

CKF0547 **MQ QMGR QMGR-name に steplibがありません (MQ QMGR QMGR-name does not have steplib)。モジュールがプリロードされていません。**

説明

MQ QMGR への接続のセットアップ中に、複数のモジュールが STEPLIB またはリンク・リストから動的にロードされました。CKFCOLL プログラムは、MQ QMGR 領域の STEPLIB からこれらのモジュールをプリロードしようとしています。示された QMGR 領域に STEPLIB DD ステートメントがないため、プリロードが試行されません。プログラムは続行しますが、後で接続モジュールを見つけることができない場合、失敗するおそれがあります。

重大度

00

CKF0548 **CKFWMQ は、MQ QMGR QMGR-name に対して以下の steplib を使用します (CKFWMQ will use the following steplib for MQ QMGR QMGR-name)**
使用された Steplib データ・セット:
(Steplib data sets used):
DSN=QMGR-steplib-datasetname

説明

この診断メッセージは、DEBUG が要求されたか、または必要なモジュールのプリロードが失敗したことが原因で発行されます。

重大度

00

CKF0549 **MQ QMGR steplib 割り振りエラー (MQ QMGR steplib allocation error)。QMGR-name**

説明

示された QMGR の STEPLIB DD 名に現在割り振られているデータ・セットの割り振り中にエラーが発生しました。付随するメッセージを検査して、障害の原因を分析してください。

重大度

08

CKF0550 **QMGR QMGR-name の MQ 情報が要求されました (The MQ information is requested for QMGR QMGR-name)**

説明

この診断メッセージは、DEBUG が要求されたために発行されました。MQ 関連情報の収集が進行中であることを示しています。

重大度

00

CKF0551 **MQ action QMGR QMGR-name error-information**

説明

この診断メッセージは、MQ QMGR 領域から情報を取得するプロセスのステップが失敗した場合に発行されます。エラー情報には、エラーの説明や、16 進数の戻りコードおよび理由コード (RC=retcode-reascode) が含まれている場合があります。

API の完了コードおよび理由コードは、IBM Knowledge Center (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSFKSJ_9.0.0/com.ibm.mq.tro.doc/q040700.htm) に記載されています。

重大度

08

CKF0552 **アドレス・スペース jobname ASID asid にアクセスできません - ALESERV rc=retcode (Cannot access address space jobname ASID asid - ALESERV rc=retcode)**

説明

CKFCOLL プログラムはジョブの専用領域にアクセスできませんでした。これは MQ=YES オプションが要求された場合に発生することがあります。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービズ解説書 第 1 巻」に記載されています。

重大度

04

CKF0553 **POINT RPL type dev volume datacomponent rc=nn reason=nnnn**

説明

このメッセージは、VSAM POINT マクロからの予期しない戻りコードおよび理由コード (10 進数) を示します。

重大度

08

CKF0554 **IFAQUERY 戻り域が小さすぎる。SMF フラッド・ポリシー・レコードを省略しました。(Omitted SMF Flood policy records.)**

説明

SMF フラッド・ポリシー・データの保管に必要な長さを渡すために 2 回目の呼び出しが発行されましたが、データを保管するためのスペースが十分ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0555 **IFAQUERY からの予期しない戻りコード。(Unexpected return code from IFAQUERY.)SMF フラッド・ポリシー情報は失われます。(SMF flood policy information will be missing.) rc=hhhhhhhhhh (16 進数) rsn=hhhhhhhhhh (16 進数) (rc=hhhhhhhhhh hex rsn=hhhhhhhhhh hex)**

説明

使用可能なスペースが小さすぎるため、SMF フラッド・ポリシー・データを返せませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKF0556 **ASID asid jobname のサポートされない MQ リリース release です (Unsupported MQ release release for ASID asid jobname)。SYSP の長さ = 256 を想定します (Assume SYSP length = 256)。**

説明

MQ のリリースが認識されません。このリリースの MQ によって生成される SYSP 制御ブロックの長さが不明です。長さは 256 バイトと想定されます。この値が正しくない場合、さらに、メッセージ CKF0559I が発行される場合があります。

重大度

04

CKF0557 **アドレス・スペース *jobname* ASID *asid* にアクセスできません - ALESERVE rc=rc (Cannot access address space *jobname* ASID *asid* - ALESERVE rc=rc)**

説明

zCollect はジョブの専用領域にアクセスできませんでした。これは CICS=YES zCollect オプションが要求された場合に発生することがあります。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻」に記載されています。

重大度

00

CKF0558 **MQ データ収集 ASID *asid* *jobname* 中の *abend* (*abend* during MQ data collection ASID *asid* *jobname*)**

説明

このメッセージは、示された MQ アドレス・スペースから情報を収集しようとしているときに、予期しない条件が発生したことを示しています。

ユーザーの処置

jobname がサポートされている MQ サブシステムおよびリリースであるか確認してください。そのようになっている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0559 **MQ データ収集 *jobname* 中の *abend* (*abend* during MQ data collection *jobname*)**

説明

このメッセージは、示された MQ アドレス・スペースから情報を収集しようとしているときに、予期しない条件が発生したことを示しています。

ユーザーの処置

jobname がサポートされている MQ サブシステムおよびリリースであるか確認してください。そのようになっている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0560 **問い合わせた CICS 領域の数: *nnn* トランザクション: *nnn* プログラム: *nnn* (Number of CICS regions interrogated: *nnn* Transactions: *nnn* Programs: *nnn*)**

説明

これは、処理された CICS 領域の総数と、見つかったトランザクションおよびプログラムの総数を示す通知メッセージです。

重大度

00

CKF0561 **問い合わせた IMS 領域の数: *nnn* トランザクション: *nnn* PSB: *nnn* (Number of IMS regions interrogated: *nnn* Transactions: *nnn* PSBs: *nnn*)**

説明

これは、処理された IMS 領域の総数と、見つかったトランザクションおよび PSB の総数を示す通知メッセージです。

重大度

00

CKF0562 ***OS_level* で CS リゾルバー・データを収集できません (CS Resolver data cannot be collected on *OS_level*)**

説明

z/OS V1R12 以前で zSecure を実行している場合、zSecure Collect TCP/IP パラメーターを NO に設定することで、このメッセージを回避できます。このパラメー

ターの設定については、「IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル」の『zSecure Collect for z/OS』を参照してください。

重大度

00

CKF0563 リゾルバー NMI エラー **UNIX error (Resolver NMI error UNIX error)**

説明

このメッセージは、EZBREIFR 呼び出しにおける失敗によってトリガーされます。

ユーザーの処置

EZBREIFR サービスの戻りコードおよび理由コードを「Communications Server IP Programmer's Guide and Reference」(SC27-3659)で調べてください。

重大度

08

CKF0564 **CS** リゾルバー構成を読み取るための **amount** のストレージの **action** ができませんでした (**Could not action amount of storage to read CS Resolver configuration**)

説明

action=obtain の場合、zSecure Collect には CS リゾルバーの構成データを読み取るために使用可能なストレージが十分にありません。この問題を回避するには、zSecure Collect 実行用に大きい領域を割り振ってください。**action=release** の場合、zSecure は CS リゾルバーの構成の読み取りに使用するストレージをリリースできませんでした。内部処理で問題が発生した可能性があります。

重大度

08

CKF0565 **BPX1PCT** 照会構成オプションの失敗。戻り値=**nn** 戻りコード=**nn** 理由コード=**nn** (**BPX1PCT Query Config Option failed Return Value=nn Return Code=nn Reason Code=nn**)

説明

このメッセージは、BPX1PCT の「照会構成 (Query Config)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。この機能は、zFS シスプレックスの状況を判別するために使用されます。指定される理由コードは2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード

修飾子です。2つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」に説明があります。このメッセージが発生する場合、SYSPLEX_MODE の値はブランクです。

重大度

04

CKF0566 **DSN dsn** が **RLS** 制御されているかどうかを判別できません。 (**Unable to determine if DSN dsn is RLS controlled.**) **LISTCAT** 戻りコード **rc** (**LISTCAT return code rc**)

説明

このメッセージは、**dsn** データ・セットが **RLS** によって制御されているかどうかを **CKFCOLL** が判別できなかったことを示します。zSecure は、データ・セットについて **LISTCAT** コマンドを発行し、出力に「**RLS in use**」(**RLS** が使用中) と表示されるかどうかを確認することによって、**RLS** がアクティブかどうかを判別します。

ユーザーの処置

データ・セットが **RLS** 制御されており、収集エラーの原因になっている場合、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKF0567 **Nil** ポインターが **jobname** から **id** にアクセスしようとした (**Nil pointer trying to access id from jobname**)

説明

このメッセージは、ストレージ制御ブロックから **CKFREEZE** レコードを作成しようとしたときに、予期しない条件が発生したことを示しています。**id** は、アクセスされた制御ブロックの種類を示します。

ユーザーの処置

jobname がサポートされているサブシステムおよびリリースであるか確認してください。サポートされている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0568 *jobname ASID asid* にアクセス中に
abend が発生しました (*abend
accessing jobname ASID asid*)

説明

このメッセージは、示されたアドレス・スペースが CICS アドレス・スペースかどうかを判別しようとして、そうである場合に、関連する CICS 領域情報を見つけようとしたときに、予期しない条件が発生したことを示しています。

ユーザーの処置

jobname がサポートされているサブシステムおよびリリースであるか確認してください。サポートされている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0569 *jobname* から *id* にアクセス中に
abend が発生しました (*abend
trying to access id from jobname*)

説明

このメッセージは、ストレージ制御ブロックから CKFREEZE レコードを作成しようとしたときに、予期しない条件が発生したことを示しています。*id* は、アクセスされた制御ブロックの種類を示します。

ユーザーの処置

jobname がサポートされているサブシステムおよびリリースであるか確認してください。サポートされている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0570 応答指令信号を送られた DB2 領域
の数: *nn*

説明

この要約メッセージは、zCollect の実行中に処理された DB2 領域の数を示します。

重大度

00

CKF0571 モジュール *xxxxxxx* のロード中のエ
ラー。DB2 サブシステム *yyyy* リリ
ース *zzzz* について DB2 システム・テ
ーブルのアンロードが終了しました
(Error loading module *xxxxxxx* DB2
system table unload terminated
for DB2 subsystem *yyyy* release
zzzz)
使用された Steplib データ・セット:
(Steplib data sets used):
DSN=*aaa.aaaa* (DSN=*aaa.aaaa*)

説明

zSecure Collect は、DB2 モジュールをロードしようとしているときにエラーを受け取りました。この DB2 リリースと関連した各 DB2 サブシステムについて、DB2 システム・カタログ・テーブルのアンロードのプロセスは終了しました。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0572 DB2 steplib 割り振りエラー。(DB2
steplib allocation error.) *yyyy* リリ
ース *zzzz* について DB2 システム・テ
ーブルのアンロードが終了しました
(DB2 system table unload
terminated for DB2 subsystem
yyyy release *zzzz*)
使用された Steplib データ・セット:
(Steplib data sets used):
DSN: *yyyy.yyyy* (DSN: *yyyy.yyyy*)

説明

zSecure Collect は、指定された DB2 steplib データ・セットを割り振ろうとしているときにエラーを受け取りました。この DB2 リリースと関連した各 DB2 サブシステムについて、DB2 システム・カタログ・テーブルのアンロードのプロセスは終了しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0573 **DB2 アンロード・エラー。(unload error.) SYSADM ユーザー ID xxxxxxxx の長さが 8 文字を超えています (SYSADM userid xxxxxxxx greater than 8 characters in length.)**
DB2 システム yyyy の処理は終了しました。(Processing of DB2 system yyyy terminated.)

説明

指定された DB2 サブシステムのインストール SYSADM ユーザー ID は 8 文字を超えています。8 文字を超えるユーザー ID は、役割ベースの SYSADM ユーザー ID です。zSecure はその DB2 システム・カタログ・テーブルをアンロードできなかったため、指定された DB2 サブシステムの処理は終了しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0574 **RACROUTE VERIFY CREATE エラー RACF RC (16 進数) xxxxxxxx RACF 理由 (16 進数) yyyyyyyy (RACROUTE VERIFY CREATE error RACF RC (hex) xxxxxxxx RACF reason (hex) yyyyyyyy)**
DB2 サブシステム zzzz について DB2 テーブルのアンロードが終了しました (DB2 table unload terminated for DB2 subsystem zzzz)

説明

zSecure Collect が「RACROUTE VERIFY CREATE」を発行したときにエラーを受け取りました。指定された

DB2 サブシステムについて、DB2 システム・カタログ・テーブルのアンロードは終了しました。

ユーザーの処置

戻りコードと理由コードを使用して、RACROUTE が失敗した理由を判別してください。問題を修正できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0575 **DSNUTILB について ATTACH が失敗しました。RC=xxxxx。DB2 サブシステム yyyy リリース zzzzzz について、DB2 システム・テーブルのアンロードが終了しました (ATTACH failed for DSNUTILB RC=xxxxx DB2 system table unload terminated for DB2 subsystem yyyy release zzzzzz)**
使用された Steplib データ・セット: (Steplib data sets used:)
DSN: aaaa.aaaa

説明

zSecure Collect は、DB2 システム・カタログ・テーブルをアンロードするために DSNUTILB を開始しようとしているときにエラーを受け取りました。指定された DB2 サブシステムについて、DB2 システム・カタログ・テーブルのそれ以上の処理は終了しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0576 **DB2 テーブルをアンロードするための DSNUTILB への ATTACH 中の予期しない xxxxx (Unexpected xxxxx during ATTACH of DSNUTILB to UNLOAD DB2 tables)**

説明

zSecure Collect は、DB2 システム・カタログ・テーブルをアンロードするための DSNUTILB への ATTACH 中

にエラーを受け取りました。DB2 システム・カタログ・テーブルのそれ以上の処理は終了しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0577	DD 名 CKFDS001 についてのオープン・エラー xxxxx (OPEN ERROR xxxxx for DDNAME CKFDS001)
----------------	---

説明

zSecure Collect は、DB2 steplib データ・セットをオープンしているときにエラーを受け取りました。割り振られた DB2 steplib データ・セットについて詳しくは、メッセージ CKF0572 を参照してください。DB2 システム・カタログ・テーブルのそれ以上の処理は終了しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0578	DB2 サブシステム <i>subsys</i> のテーブル <i>tablename</i> から <i>nnn</i> 個のレコードが処理されました (<i>nnn</i> records processed from table <i>tablename</i> for DB2 subsystem <i>subsys</i>)
----------------	--

説明

この通知メッセージは、DB2 カタログ・テーブルから処理されたレコードの総数を示しています。

重大度

00

CKF0579	応答指令信号を送られた MQ 領域の数: <i>number</i> (Number of MQ regions interrogated: <i>number</i>)
----------------	--

説明

これは、処理された MQ 領域の総数を示す通知メッセージです。

重大度

00

CKF0580	DB2 サブシステム <i>yyyy</i> の DB2 テーブル <i>aaaaaaaa</i> のアンロード中のエラー (Error unloading the DB2 table <i>aaaaaaaa</i> for DB2 subsystem <i>yyyy</i>) 使用された Steplib データ・セット: (Steplib data sets used): DSN: <i>yyyy.yyyy</i> (DSN: <i>yyyy.yyyy</i>)
----------------	---

説明

zSecure Collect は、DB2 テーブルをアンロードしようとしているときにエラーを受け取りました。この DB2 アンロードと関連したエラー・メッセージについて DSNPRT DD が割り振られている場合は、その DD を参照してください。

ユーザーの処置

DSNPRT 内のメッセージを調べて、DB2 テーブルのアンロードの問題を解決してください。エラーの原因が DSNOUT 上での B37/D37 エラーであった場合は、収集 JCL での DSNOUT の割り振り方法について、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の『DB2 テーブルのアンロード (DB2 table unloads)』を参照してください。

重大度

08

CKF0581	BPX1SYC: システム構成オプションの判別に失敗しました。 (Determine system configuration options failed.) RC=<i>rc</i> 理由=<i>reason</i> (RC=<i>rc</i> reason=<i>reason</i>)
----------------	---

説明

BPX1SYC の「システム構成オプションの判別」機能の実行中にエラーが発生しました。理由コードは、2つのハーフワードで構成されます。1つ目は理由コード修飾子です。2つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

ユーザーの処置

「UNIX System Services メッセージおよびコード」にある、指示された理由コードを調べてください。

重大度

08

CKF0582 コピーされた TKDS トークン/証明書レコードの数: *decnum* (Number of TKDS token/cert records copied: *decnum*)

説明

この通知メッセージは、CKFREEZE データ・セットにコピーされた TKDS レコードの数を示します。

重大度

00

CKF0583 JES2、ASID *asid* へのアクセス中の *type* の異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*type* *abend xxx-nn* (*explanation*) accessing JES2, ASID *asid*)

説明

このメッセージは、JES2 アドレス・スペースのデータへのアクセス中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0584 JES2 PSO、ASID *asid* へのアクセス中の *type* の異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*type* *abend xxx-nn* (*explanation*) accessing JES2 PSO, ASID *asid*)

説明

このメッセージは、JES2 PSO データ・スペースのデータへのアクセス中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度

08

CKF0585 アドレス・スペース JES2、ASID *asid* にアクセスできません - ALESERV *rc=rc* (Cannot access address space JES2, ASID *asid* - ALESERV *rc=rc*)

説明

CKFCOLL プログラムは JES2 の専用領域にアクセスできませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは、z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference, Vol. 1」に記載されています。

重大度

08

CKF0586 JES2 PSO、ASID *asid* のデータ・スペースにアクセスできません - ALESERV *rc=rc* (Cannot access data space for JES2 PSO, ASID *asid* - ALESERV *rc=rc*)

説明

CKFCOLL プログラムは、JES2 PSO データ・スペースにアクセスできませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは、z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference, Vol. 1」に記載されています。

重大度

08

CKF0587 OMVS カーネル・アドレス・スペース *jobname* ASID *asid* にアクセスできません - ALESERV *rc=rc* (Cannot access address space *jobname* ASID *asid* - ALESERV *rc=rc*)

説明

zSecure Collect は、UNIX プロセスに関する情報を収集しているときに、OMVS カーネル・ジョブの専用領域にアクセスできませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference, Vol. 1」に記載されています。

重大度

08

CKF0588 OMVS カーネル・アドレス・スペース *jobname* ASID *asid* にアクセス中の異常終了 (Abend accessing OMVS kernel address space *jobname* ASID *asid*)

説明

このメッセージは、OMVS カーネル・アドレス・スペースかどうかの判別を試みていて、そうである場合に、UNIX プロセスについての関連情報を見つけようとし

ているときに、予期しない条件が発生したことを示します。

ユーザーの処置

jobname が OMVS カーネル・タスクであるかどうか確認してください。そのようになっている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0589	OMVS カーネル・アドレス・スペース <i>jobname ASID asid</i> にプロセス情報が見つかりませんでした (Process information not found in OMVS kernel address space <i>jobname ASID asid</i>)
----------------	--

説明

このメッセージは、UNIX プロセスに関する情報が含まれている制御ブロックが見つからなかったことを示します。

ユーザーの処置

jobname が OMVS カーネル・タスクであるかどうか確認してください。そのようになっている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0590	OMVS カーネル・アドレス・スペース <i>jobname ASID asid</i> のプロセス情報テーブルが空です (Process information table in OMVS kernel address space <i>jobname ASID asid</i> is empty)
----------------	--

説明

このメッセージは、UNIX プロセスに関する情報が含まれている制御ブロックが見つかったが、プロセス情報が含まれていないか、レイアウトがサポートされていないことを示します。

ユーザーの処置

jobname が OMVS カーネル・タスクであるかどうか確認してください。そのようになっている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0591	アドレス・スペース <i>jobname ASID asid</i> にアクセスできません - ALESERV rc=rc (Cannot access address space <i>jobname ASID asid</i> - ALESERV rc=rc)
----------------	---

説明

zCollect は、アドレス・スペースのアクティブ・ジョブに関する情報を収集しているときに、ジョブの専用領域にアクセスできませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「[z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻](#)」に記載されています。

重大度

08

CKF0592	<i>jobname ASID asid</i> にアクセス中の異常終了 (Abend accessing <i>jobname ASID asid</i>)
----------------	--

説明

このメッセージは、アドレス・スペースのアクティブ・ジョブに関する情報を収集しようとしているときに、予期しない条件が発生したことを示しています。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKF0593...CKF 0596	<i>message</i>
---------------------------	-----------------------

説明

これらのメッセージは、このマニュアルに記載されていないデバッグ・コマンドの結果として発行されます。

重大度

00

CKF0597 アドレス・スペース *jobname ASID asid* にアクセスできません - **ALESERV rc=retcode (Cannot access address space *jobname ASID asid* - ALESERV rc=retcode)**

説明

zCollect はジョブの専用領域からデータを取得できませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻」に記載されています。

重大度

00

CKF0598 スワップされた **ASID asid** *jobname=jobname* の JFCB が収集されません (JFCBs not collected)

CKF メッセージ 600 から 699

CKF0600...CKF 0699 *message*

説明:

この範囲に含まれるメッセージは、DEBUG または INFO 要求に応答して発行されます。INFO に応答するメッセージのみが記載されています。

CKF0600 以下のボリュームのスキャン中
type dsn
... (Scanning volumes for
type dsn
...)

説明:

このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、当初はボリューム通し番号を持っていなかったデータ・セット要求を示します。

重大度

00

CKF0601 以下の VTOC *volser* のスキャン中
type dsn

for swapped ASID *asid*
***jobname=jobname*)**

説明

このメッセージは、示されたアドレス・スペースがスワップアウトされ、割り振られたデータ・セットに関するデータを取得できない場合に発行されます。このアドレス・スペースからの情報は、CKFREEZE データ・セットから欠落しています。この CKFREEZE データ・セットを使用して作成される zSecure レポートは、不完全なものになる可能性があります。

重大度

04

CKF0599 **ASID *asid* *jobname=jobname* への**
アクセス中の異常終了 *abend info*
(Abend *abend info* during access
ASID *asid* *jobname=jobname*)

説明

このメッセージは、アドレス・スペース *asid* 内の示された *jobname* 用に割り振られたデータ・セットの情報を取得しようとして失敗したことを示します。

重大度

08

... (Scanning VTOC *volser* for
type dsn
...)

説明:

このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、SHARED=NO が要求された場合のこの特定の非共有ボリュームの VTOC へのデータ・セット属性要求を示します。

重大度

00

CKF0602 以下の VTOC *volser* の収集中
type dsn
... (Collecting VTOC *volser*
type dsn
...)

説明:

このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、このボリュームのすべての VTOC データを収集するための要求を示し、オプションとして特定のデータ・セット属性要求のリストを含みます。

重大度

00

CKF0603 以下の VVDS *volser* のスキャン中
type dsn
... (Scanning VVDS *volser* for
type dsn
...)

説明:

このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、SHARED=NO が要求された場合のこの特定の非共有ボリュームの VVDS へのデータ・セット属性要求を示します。

重大度

00

CKF メッセージ 700 から 799

CKF0700 内部エラー: CKFALLOC が無効な状態で呼び出されました (Internal error: CKFALLOC called in invalid state)

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 700 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0701 CKFAXCP: *dev volume* のデータ域が大きすぎます。 - ユーザー異常終了 701 (CKFAXCP: data areas too large, on *dev volume* - user abend 701)

説明

このメッセージは内部エラーを示します。入出力ドライバーに渡されたチャネル・プログラムによって要求されたデータ域が大きすぎます。ユーザー異常終了 701 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKF0604 VVDS *volser* の収集中
type dsn
... (Collecting VVDS *volser*
type dsn
...)

説明:

このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、このボリュームのすべての VVDS データを収集するための要求を示し、オプションとして特定のデータ・セット属性要求のリストを含みます。

重大度

00

重大度

28

CKF0702 *dev volume* の入出力ルーチン *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) - ユーザー異常終了 702 (I/O routine *type* abend *xxx-nn* (*explanation*) on *dev volume* - user abend 702)

説明

このメッセージは内部エラーを示します。入出力ドライバーに渡されたチャネル・プログラムによって要求されたデータ域が大きすぎます。ユーザー異常終了 702 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

28

CKF0703 CKFCAT が無効な状態で呼び出されました (CKFCAT called in invalid state)

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 703 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0704 **内部エラー: IOXC ioxcvol-key 上の BCS bcsvol (Internal error: BCS bcsvol on IOXC ioxcvol-key)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。カタログはスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0705 **内部エラー: CKFPATH が無効な状態で呼び出されました (Internal error: CKFPATH called in invalid state)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 705 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0706 **CKFPDS(E) が無効な状態で呼び出されました (CKFPDS(E) called in invalid state)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 706 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0707 **内部エラー: 間違った IOXC での PDS (Internal error: PDS on wrong IOXC)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。PDS はスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0708 **CKFSCHED 内部エラー: ハングした入出力実行プログラム (CKFSCHED Internal error: hung I/O executor)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 708 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0709 **内部エラー: CKFVTOC が無効な状態で呼び出されました (Internal error: CKFVTOC called in invalid state)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 709 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0710 **内部エラー: CKFVVDS が無効な状態で呼び出されました (Internal error: CKFVVDS called in invalid state)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 710 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0711 *dev volume* の入出力後にアドレス *xxxxxxx* の **4K SQA** の **FREEMAIN** が戻りコード *nn* (16 進数) で失敗しました - ユーザー異常終了 **711 (FREEMAIN for 4K SQA at address xxxxxxx failed with return code nn hex after I/O on dev volume- user abend 711)**

説明

このメッセージは、zSecure Collect が指定されたアドレスの 4KB SQA 領域を開放することに失敗したことを示します。これ以上の SQA 汚染を防ぐために、プログラムではユーザー異常終了 711 を発行します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

28

CKF0712 予期しない **GETMAIN** 戻りコード *nn* (16 進数) (Unexpected **GETMAIN** return code *nn* hex)

説明

このメッセージは、zSecure Collect が、VM DIAGNOSE バッファに対するページ調整済み作業域を取得することに失敗したことを示します。診断は発行されません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0713 予期しない **PGSER/PGFIX** 戻りコード *nnn* (16 進数) (Unexpected **PGSER/PGFIX** return code *nnn* hex)

説明

このメッセージは、PGFIX (非 XA) または PGSER (XA) サービスについて、予期しない戻りコードが見つかった

ことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0714 予期しない **PGSER/PGFREE** 戻りコード *nnn* (16 進数) (Unexpected **PGSER/PGFREE** return code *nnn* hex)

説明

このメッセージは、PGFREE (非 XA) または PGSER (XA) サービスについて、予期しない戻りコードが見つかったことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0715 **CKFAXVM** が予期しない *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) から復旧しました (**CKFAXVM** recovered from unexpected *type* abend *xxx-nn* (*explanation*))

説明

このメッセージは、VM 診断処理中に予期しない異常終了が発生したことを示します。VM 情報が失われる可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0716 **CKFAXVM** 内部エラー: **AXVM** ポインター *xxxxxxx* (アドレス *xxxxxxx*) が無効です (**CKFAXVM** internal error: **AXVM** pointer *xxxxxxx* at address *xxxxxxx* invalid)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0717 **CKFCAT の無効な VSAM データ・セット・タイプ *type* (CKFCAT invalid VSAM data set type *type*)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0718 **CKFTMC が無効な状態で呼び出されました (CKFTMC called in invalid state)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 718 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0719 **内部エラー: 間違った IOXC の *type* (Internal error: *type* on wrong IOXC)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。*type* データ・セット (TMC/VMF/ABR) はスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0720 **CKFDSN が無効な状態で呼び出されました (CKFDSN called in invalid state)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 720 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0721 **内部エラー: 間違った IOXC の *type* (Internal error: *type* on wrong IOXC)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。示されたタイプのデータ・セット (DMSUNL では DMSU、PDS/E ディレクトリーでは PDSE、AUTHLIB では PDSM) はスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0722 **CKFDMSF が無効な状態で呼び出されました (CKFDMSF called in invalid state)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 722 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0723 **内部エラー: 間違った IOXC の *type* (Internal error: *type* on wrong IOXC)**

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。タイプ *type* のデータ・セットはスキップされます。タイプは DMSFILES の場合は DMSF が指定される場合があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0724 ID=cccc (CBVER ID=cccc) について CBVER RESET がありません (CBVER RESET missed for ID=cccc at CBVER ID=cccc)

CKF0724 *proc* の後に CBVER RESET がありません (Missing CBVER RESET after *proc*)

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0725 内部エラー: *type device volume dataset* の後の予期しない連結 (Internal error: unexpected concatenation after *type device volume dataset*)

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKF メッセージ 800 から 899

CKF0874 RECFM=V(BS) RDW *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で LRECL=*lrecl* を超えています (RECFM=V(BS) RDW *hex* exceeds

LRECL=*lrecl* at record *n ddname volser dsname*)

重大度

24

CKF0726 内部エラー: 磁気テープとの連結用に ADDDD が呼び出されました (Internal error: ADDDD called for concatenation with tape)

説明

このメッセージは重大な内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0729 *function* NMI 呼び出しエラー TCP/IP *tcpipstackname* RC *rc* RSN *reasoncode* (*function* NMI call error TCP/IP *tcpipstackname* RC *rc* RSN *reasoncode*)

説明

このメッセージは、NMI 要求が予期しない戻りコード (*rc*) で失敗したことを示します。

ユーザーの処置

以下の方法で、戻りコードの説明を確認してください。

1. ご使用の z/OS のバージョンに応じた z/OS Internet Library を参照し、「z/OS Information Centers」の下で z/OS のバージョンをクリックします。
2. 「z/OS Communications Server」->「IP Programmer's Guide and Reference」を選択します。戻りコードは、『Network management interfaces』に記載されています。

重大度

08

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

CKF0875 **RECFM=V(BS) BDW hex が、レコード *n* ddname volser dsname で BLKSIZE=blksize を超えています (RECFM=V(BS) BDW hex exceeds**

CKF メッセージ 900 から 999

CKF0900 *debug message*

説明

これは IBM ソフトウェア・サポートのみに関係するデバッグ・メッセージであり、一般出荷可能なソフトウェア・バージョンでは表示されません。

重大度

00

CKF0906 **REAL ストレージ *identifier* の読み取り中の *Type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (*Type* abend *xxx-nn* (*explanation*) reading REAL storage *identifier*)**

説明

このエラー・メッセージは、実ストレージから情報を取得しようとしたとき、異常終了が発生したことを示します。*identifier* が LST の場合、いずれかのリンケージ・セカンド・テーブル (Linkage Second Table) が (全体として) 読み取れなかったことを示します。このデータに基づくプログラム呼び出しレポートは不完全になります。

重大度

04

BLKSIZE=blksize at record *n* ddname volser dsname)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

CKF0907 **DYNALLOC トレース: SVC 99 戻りコード *nn* - *meaning* (DYNALLOC trace: SVC 99 return code *nn* - *meaning*)**

説明

このメッセージは、DEBUG か、DAIRFAIL がメッセージ・テキストを返さなかった場合に失敗した SVC99 が原因で発生します。これには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度

00

CKF0910 **HLENQ 状況レポート *identifier* (HLENQ status report *identifier*)**

説明

これらのメッセージは、DEBUG の応答として発行されます。

重大度

00

CKF0911 **service RC=*rc* (16 進数) RSN=*rsn* (16 進数) [*qname-scope rname* の場合]: *explanation* (service RC=*rc* hex**

RSN=rsn hex [for qname-scope rname]: explanation)

説明

示されたサービスへの呼び出し (ENQ または ISGENQ) が RC=0 で完了しませんでした。このメッセージは必ずしもアクションの必要性を示すものではなく、例えば APF 許可プログラムが未許可の QNAME CKRDSN に対して ENQ を発行することがあります。したがって、このメッセージは単なる通知と考えてください。

重大度

00

CKF0912 STIMERM エラー: explanation (STIMERM error: explanation)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0913 逐次化ですべての ENQ を取得できませんでした (Serialization could not obtain all ENQs)

説明

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得できず、続行できません。ENQ を取得できなかったリソースは、先行メッセージ CKF0911 に示されています。

重大度

16

CKF0913 逐次化で重大なエラーが発生しました (Serialization encountered a serious error)

説明

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、予期しない状態が発生しました。実行を続行できません。先行メッセージ CKF0911 を探して、失敗の正しい原因を識別してください。

重大度

16

CKF0913 逐次化ですべての ENQ が取得されました (Serialization has obtained all ENQs)

説明

プログラムは、すべての要求されたリソースの ENQ を正常に取得しました。

重大度

00

CKF0913 逐次化で ENQ の待機を開始します (Serialization starts waiting for ENQs)

説明

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、すべてのリソースが即時に使用可能というわけではありませんでした。プログラムは、残りのリソースが使用可能になるのを待機します。先行メッセージ CKF0911 を探して、即時に使用可能でなかったリソースを識別してください。

重大度

04

CKF0913 逐次化の WAIT がタイムアウトになりました (Serialization WAIT timed out)

説明

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、すべてのリソースが即時に使用可能というわけではありませんでした。SERIALIZATION コマンドの MAXWAIT サブパラメーターで指定された分数待機した後も、要求された 1 つ以上のリソースが使用できませんでした。プログラムは待機を中止して実行を打ち切ります。先行メッセージ CKF0911 を探して、使用できないリソースを識別してください。

重大度

16

CKF0914 中間の HLLQDEQ ID=id または HLLQDEQ ALL が指定されていない複数の HLLQENQ ACTION=xxx,ID=id 呼び出しはサポートされていません (Multiple HLLQENQ ACTION=xxx,ID=id calls without an intervening HLLQDEQ ID=id or HLLQDEQ ALL are not supported)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0915 UNIX レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx* [*meaning*] ファイル *ddname path* (UNIX write record *nn* failed RC *nn* [*meaning*] reason *qqqq rrrrx* [*meaning*] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

CKF0919 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました (Record with negative length *length* directed to *ddname* behind record *recno*)

説明

無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0923 TSO/E 端末からの入力はサポートされません - *ddname*(Input from a TSO/E terminal is not supported - *ddname*)

説明

行モードの TSO/E 端末からの入力はサポートされません。

重大度

20

CKF0924 DD *ddname* DSN *dsn* の無効なブロック・サイズ: *blksize* (DD *ddname* DSN *dsn* invalid block size: *blksize*)

説明

ddname が (OPEN を使用して) 正しく開いた後は、*ddname* が DUMMY デバイスでない限り、その DCB は正のブロック・サイズを示す必要があります。

重大度

16

CKF0925 メンバー *member* DDname *ddname* DSname *dsn* Problem description (Member *member* DDname *ddname* DSname *dsn* Problem description)

説明

プログラムは示されたメンバーを見つけようとしたとき、FIND SVC からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。2 行目の問題記述に、問題の正しい性質が説明されます。

重大度

08

CKF0931 or CKV931I *proc*: バッファー・オーバーラン - *dln=destinationlength* *sln=sourcelength:: data* (*proc*: Buffer overrun - *dln=destinationlength* *sln=sourcelength:: data*)

説明

フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファー・オーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。ユーザー異常終了 931 は SUPMSG=931 を指定することによって抑止可能です。ただし、出力が破損したり他のエラーが発生したりする可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKF0942 or CKV942I 製品コード *code* の環境が一致しません (Environment mismatch for product code *code*)

説明

このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度

00

CKF0944 or CKV944I UNIX *type* のクローズ RC *nn* [meaning] 理由 *qqq rrrr x* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX *type* close RC *nn* [meaning] reason *qqq rrrr x* [meaning] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

type は、「wronly」または「rdonly」のいずれかです。

重大度

16

CKF0945 or CKV945I UNIX *action* が失敗しました。RC *nn* [meaning] 理由 *qqq rrrr x* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX *action* failed RC *nn* [meaning] reason *qqq rrrr x* [meaning] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1OPN または BPX1FCT 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

action は **wronly open**、**fcntl filetag**、または **rdonly open** です。

重大度

16

CKF0947 or CKV947I **filedesc off** の読み取りが失敗しました RC *nn* [meaning] 理由 *qqqq rrrr x* [meaning] ファイル *ddname path* (Reading **filedesc off** failed RC *nn* [meaning] reason *qqqq rrrr x* [meaning] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

CKF0948 or CKV948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (Enablement information corrupt for product code *code*)

説明

このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度

16

CKF0949 or CKV949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (Product code *code* installed and non-APF registration limit exceeded)

説明

このメッセージは、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 制限を超えたため、インストール済みの製品を登録できない場合に発行されます。

重大度

00

CKF0950 or CKV950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (Code not installed here for product code *code*)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度

16

CKF0955 or CKV955I *program task heap* ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (*program task heap STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE*)

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKF0963 or CKV963I あいまいな *name "value"* (Ambiguous *name "value"*)

説明

このメッセージは、あいまいな省略形が入力されたことを示します。つまり、省略された値は 2 つ以上の異なるキーワードの意味を持つ可能性があります。目的のキーワードをより詳細に指定してください。

重大度

16

CKF964I or CKV964I PDS(E) データ・セット *dsn* への書き込みにはメンバー名が必要です (Member name required for writes to PDS(E) data set *dsn*)

説明

このメッセージは、示されたデータ・セットに対して、必要なメンバー名が指定されていないことを示します。

重大度

16

CKF967I or CKV967I RECFM=F は、LRECL=X および RECFM=VBS が設定されたデータ・セット *dsn* に対して無効です (RECFM=F invalid for LRECL=X, RECFM=VBS preferred data set *dsn*)

説明

このメッセージは、設定によって長さ制限のない可変長スパン・レコードを受け取るファイルで RECFM=F データ・セットが見つかったことを示します。非スパン・レコードおよびレコード長が制限されたレコードに対する下位互換性は維持されますが、コードは RECFM=F レコードに書き込めません。

重大度

16

CKF0968 or CKV968I IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (IFAEDDRG failed RC *nn* decimal)

説明

このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKF0969 or CKV969I *dsn* の入出力エラー: *description* (I/O error for *dsn*: *description*)

説明

このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度

08

CKF970I or CKV970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (**FREE STORAGE ERROR**): *message*

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKF0971I or CKV971I この *field* の最大長は *len* です。 *file* の行 *n* (**Maximum length for this field is len at file line n**)

説明

入力に含まれている複数行ストリングが長すぎます。ストリングの最大長はメッセージに示されます。

重大度

16

CKF0972I or CKV972I *product* の使用可能化情報がありません (**Enablement information missing for product**)

説明

このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度

16

CKF0973I or CKV973I **IBM セキュリティー製品コード code が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product code code disabled or not installed)**

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKF0974I or CKV974I **IBM セキュリティー product が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません IBM Security product disabled or not installed here for requested focus**

説明

製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKF0975I or CKV975I **IBM セキュリティー product が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product disabled or not installed)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正

しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKF0976 or CKV976I *product* 製品または機能のコードまたは使用可能化がありません (**Code or enablement for *product* or *feature* is missing**)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKF0976 or CKV976I IBM セキュリティー *product* or *feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security *product* or *feature* disabled or not installed here**)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKF0977 or CKV977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能 ('*feature*') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (**Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*)**)

**NAME('name') FEATURE('feature')
VER(version) REL(release)
MOD(modification)
[製品 *action* RC *rc* 10 進数]
([Product *action* RC *rc* decimal])**

説明

このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG に応答して発行されます。*action* は、"registration" または "status" になります。戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、CKF979I のため)。

重大度

00

CKF0978 or CKV978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (**Product code *code* has been disabled in PARMLIB**)

説明

このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して無効になっている製品について DEBUG への応答として発行されます。

ユーザーの処置

製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度

00

CKF0979 or CKV979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (**Product code *code* implied by other**)

説明

このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に、DEBUG に応答して発行されません。

重大度

00

CKF0980 *jobname* の *fieldname* へのアクセス 試行中の *Type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (***Type* abend *xxx-nn* (*explanation*) trying to access *fieldname* in *jobname***)

説明

このエラー・メッセージは、クロスメモリー・サービスを介して指定されたフィールドを取得しようとしたとき、異常終了が発生したことを示します。一般的な原因は、独自のメッセージ・テキストに同じメッセージ番号を付けることです。

重大度

04

CKF0980 アドレス・スペース *jobname* のスワップアウトが原因で *fieldname* が省略されました (**Omitted *fieldname* because address space *jobname* swapped out**)

説明

このエラー・メッセージは、クロスメモリー・サービスを介して指定されたフィールドを取得しようとしたとき、05D 異常終了が発生したことを示します。これはアドレス・スペースがスワップアウトしたことを意味します。CKFCOLL では現在、他のアドレス・スペースのスワップインを発生させません (スワップイン要求によるシステムの停止を回避するため)。実動システムでは通常、CKFCOLL が確認するアドレス・スペースをスワップ不可として定義します。したがって、このメッセージはほとんどの場合、テスト・システムか、テスト・サブシステム用の実動システム (テスト DB2 など) で表示されます。アドレス・スペースがスワップアウトしているとき PC 呼び出しはユーザーにも使用できないことを知っておくと、PC 呼び出しの監査目的で役に立ちます。

重大度

04

CKF0981 or CKV981I 無効な *type "value"* (**Invalid *type "value"***)

説明

このメッセージは、テキスト *value* がコンテキスト *type* で有効な値でないことを示します。

重大度

16

CKF0982 or CKV982I 内部エラー: *ddname* の行 *number* におけるエラー・コードが不明です (**Internal error: unknown error code at *ddname* line *number***)

説明

入力パーサー・エラー・ルーチンで無効なエラー・コードが検出されました。電子サポート Web サイトを参

照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKF0983 or CKV983I *type "value"* ではなくリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが予期されています (**Expecting list separator/terminator instead of *type "value"* at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、入力パーサーが現在のリストについて、リスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターを予期していたことを示します (これはコンテキストによって、コンマ、空白、または行の終わりとなる場合があります)。代わりに、示されているトークン・タイプ *type* (およびテキストがある場合は *value*) が検出されました。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度

16

CKF0984 or CKV984I 無効な *type* リスト・エレメント・タイプ *type "value"* (*ddname* 行 *number*) (**Invalid *type* list element *type "value"* at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、入力パーサーが指定されたタイプのリスト・エレメントを予期したが、このコンテキストのリスト・エレメントとしてサポートされないタイプのトークンを検出したことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度

16

CKF0985 or CKV985I *ddname* の行 *number* に必須リスト・エレメント/パラメーター「*value*」がありません (**Required list element/parameter "*value*" missing at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、入力パーサーによって、リスト内の示された行に必要なパラメーターまたはエレメントがないことが検出されたことを示します。

重大度

16

CKF0986 or CKV986I *ddname* の行 *number* でパラメーター *value* が重複しています
(Duplicate parameter value at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーによって、示された行にパラメーターまたはリスト・エレメント *value* が重複して出現することが検出されたことを示します。

重大度

16

CKF0987 or CKV987I 構文エラー: *type1* が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "*value*" では *type2* となっています (Syntax error: *type1* expected instead of *type2* at "*value*" on *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定のトークン・タイプ *type1* を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type2* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度

16

CKF0988 or CKV988I 構文エラー: "*c*" が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "*value*" では *type* となっています (Syntax error: "*c*" expected instead of *type* at "*value*" on *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定の文字「*c*」(おそらく区切り文字)を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度

16

CKF0989 or CKV989I 予期しないタイプ ["*value*"] [*element* について] *ddname* の行 *number* (Unexpected type ["*value*"] [for *element*] at *ddname* line number)

CKF0989 *ddname* の行 *number* の予期しない *type* ["*value*"] で EOL にスキップします (Skipping to EOL at unexpected type ["*value*"] at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが特定のトークン・タイプのいずれかを予期したが、異なるトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト値がある場合は、そのテキスト値と、それが読み取られたエレメントもこのメッセージにリストされます。パーサーは次のトークンから続行するか、行の末尾に直接スキップします。

重大度

12

CKF0991 予期しない [*type*|nil] ポインタ。場所: *procedure* - ユーザー異常終了 991 (Unexpected [*type*|nil] pointer in *procedure* - user abend 991)

説明

このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKF0992 または CKV992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明

このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度

04

CKF993I or CKV993I **program** タスク **taskname type** に対する診断ダンプが抑止されました。異常終了 **xxx (DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR program TASK taskname type ABEND xxx)**

説明

このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場合、**program** は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

CKF995I or CKV995I **LRECL** が無効です。区分データ・セットに対して置き換えはされていません (**LRECL invalid; not overruled for partitioned data set**)

説明

このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長によって後続の 013 または 002 異常終了 (アベンド) が発生する可能性があります。

CKF996I or CKV996I **MFREE**: スタック **name** のブロック内で長さが見つかりません (**MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK name**)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKF997I or CKV997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック **name** の最上部にありません (**STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK name**)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKF998I or CKV998I **program** のスタック **tasklevel stackname** でスタック・オーバーフローが発生しました (**STACK OVERFLOW FOR STACK tasklevel stackname IN program**)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKF999I or CKV999I **program** 内のタスク **taskname** のヒープ **heapname** のストレージが不足しています - 領域を増やしてください (**STORAGE SHORTAGE FOR TASK taskname HEAP heapname IN program - INCREASE REGION**)

説明

このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。ヒープ名が LOWHEAP の場合、要求は 16MB ライン以下のストレージに対するものです。

ユーザーの処置

メッセージ CKF034I を調べて、要求された領域と、ジョブ・ステップに付与された権限を判別してください。JOB または STEP カードの REGION 値を増やしてください。また、STORAGEGC コマンドを使用することも有益な場合がありますが、これにより CPU 使用量が増加します。問題のヒープが LOWHEAP だった場合は、このラインより下に使用可能なストレージが十分にありませんでした。このラインより上に十分なストレージがなく、LOWHEAP ストレージが代わりに使用された場合は、REGION を増やすことが依然として役立つ場

合があります。このラインより下で実際にストレージが不足している場合は、PARALLEL オプションを使用して入出力並列処理を削減するか、または FREE オプションを使用して直ちに割り振りの解放を強制的に実行します。

重大度

16

CKF メッセージ 1000 から 1099

CKF1000 **BPX1PCT description (OC=oc): ファイル・システムが開始されませんでした (BPX1PCT description (OC=oc): the file system was not started)**

説明:

ZFS システムが開始されませんでした。したがって、ZFS ファイル・システムおよび集合に関するデータはダンプされません。description は試行したアクションを示し、oc は命令コードを示します。

重大度

00

開始されている ZFS システムが見つかりませんでした。したがって、ZFS ファイル・システムおよび集合に関するデータはダンプされません。description は試行したアクションを示し、oc は命令コードを示します。

重大度

00

CKF1002 **ZFS ファイル・システムが見つかりませんでした (The ZFS file system was not found)**

説明:

有効な ZFS システムが見つかりませんでした。したがって、ZFS ファイル・システムおよび集合に関するデータはダンプされません。

重大度

00

CKF1001 **BPX1PCT description (OC=oc): ファイル・システムが存在しません (BPX1PCT description (OC=oc): the file system does not exist)**

説明:

第3章 CKG メッセージ

この章では、メインフレームで CKGRACF プログラムにより発行されるメッセージについて説明します。CKGRACF プログラムは、zSecure Admin の一部です。待機コマンド (一時アクセスのような)、スケジュールの取り消しまたは再開、ユーザー・データ・フィールド、および RACF プロファイルの更新を必要とするその他の各種機能の処理に使用されます。このプログラムは、zSecure Visual でも使用されます。CKG メッセージのメッセージ接頭部の形式は、CKGnnnI です。この *nnn* はメッセージ番号です。メッセージ ID の後に、重大度コードが示されます。プログラムは、検出された最高位の重大度コードを完了コードとして返します。

CKGRACF のメッセージ番号の一般的な意味は次のとおりです。

- 100-399 状況または要約情報を示す通常メッセージ。
- 400-499 DEBUG コマンドによるデバッグ・メッセージ
- 500-599 状況または要約情報を示す通常メッセージ。
- 600-699 実行中に発生したエラー状態。
- 700-799 コマンドの実行前、入力の解析中に発生したエラー。
- 800-899 アーキテクチャー・サブコンポーネントによって発行されるメッセージ。
- 900-999 アーキテクチャー・サブコンポーネントによって発行されるメッセージ。

CKGRACF 重大度コード、つまり完了コードの一般的な意味は次のとおりです。

- 00** 状況または要約情報を示す通常メッセージ。
- 04** 警告： コマンドが予期しない結果となる可能性がある状況が発生しました。例えば、デフォルト・パスワードを適用する待機コマンドが実行されたが、待機中にデフォルト・パスワードが変更されている場合などです。
- 08** 処理中にエラー状態が発生しました。例えば、プロファイルが見つからなかったか、アクセスが否認された場合などです。
- 12** コマンド入力の構文エラー、または RACF データベースの USR データの形式が無効です。
- 16** 資格付与の問題、または無効なファイル/サポートされていないファイルが CKGRACF に接続されました。
- 20** RACF データベースでサポートされていない状態が検出されたか、またはインストール・エラーが発生しました。
- 24** CKGRACF で内部エラー、または他の予期しない/サポートされない条件が検出されました。メッセージはサブセクションに記載され、3桁のメッセージ番号でグループ化されています。

CKG メッセージ 100 から 199

CKG100I	CKRSITE モジュールの内容: <i>contents (Contents of CKRSITE module: contents)</i>	説明
		このメッセージは、SHOW CKRSITE コマンドの結果として出力されます。 <i>contents</i> には、CKRSITE モジュールの該当する部分が表示されます。

重大度

00

CKG101I ユーザー *user* の権限要件は *setting* です (Authority requirement for user *user* is *setting*)

説明

このメッセージは、AUTHORITY LIST コマンドの結果として出力されます。ユーザー *user* の複数権限要件が表示されます。

重大度

00

CKG102I ユーザー *user* の権限要件はシステム・デフォルト (*setting*) です (Authority requirement for user *user* is the system default (*setting*))

説明

このメッセージは、AUTHORITY LIST コマンドの結果として出力されます。ユーザー *user* に適用されるシステム全体のデフォルトの複数権限要件が表示されます。

重大度

00

CKG103I *field* の値は *value* です (*field* is *value*)

説明

このメッセージは、FIELD LIST コマンドの結果として出力されます。示されている *field* の値が表示されます。フィールドが MFDATA で、255 を超えるバイト数が格納されている場合、フィールドの最初の 255 バイトのみが表示されます。

重大度

00

CKG104I 索引「*index*」を持つユーザー・データ・エレメントが見つかりませんでした (No userdata elements with index '*index*' found)

説明

このメッセージは、USRDATA LIST コマンドの結果として出力されます。USR フィールドに、示されている *index* を持つエントリーが含まれていないことが示されます。

重大度

00

CKG105I 索引「*index*」のユーザー・データの値は「*value*」です (Userdata with index '*index*' is '*value*')

説明

このメッセージは、USRDATA LIST コマンドの結果として出力されます。示されている *index* を持つ 1 つの USR エントリーの USRDATA 部分が表示されます。

重大度

00

CKG106I 次のコマンドを開始します: *command* (Starting command: *command*)

説明

このメッセージは、各コマンドの開始時に出力されます。次に実行される *command* が表示されます。

重大度

00

CKG107I コマンドが結果コード *code* で終了しました (Command ended with result code *code*)

説明

このメッセージは、正常に終了しなかったコマンドの終了時に発行されます。コマンドの結果 (*code*) が表示されます。この結果コードは、613 ページの『第 8 章 CKX メッセージ』に示されている CKX 戻りコードと同一です。このコマンドは、前の CKG106I メッセージにリストされます。

重大度

code

CKG108I 重大なコマンド・エラーが発生しました。CKGRACF を終了しています (Serious command error; terminating CKGRACF)

説明

このメッセージは、8 よりも大きな結果コード (重大な処理エラー、RACF エラー、または内部エラーを示す結果コード) で終了したコマンドの終了時に発行されます。CKGRACF コマンド処理が終了しました。これ以降のコマンドは実行されません。このコマンドは、前の CKG106I メッセージにリストされます。

重大度

00

CKG109I *user* の新しい [デフォルト] パスワードを入力してください (Please enter new [default] password for user *user*)

説明

このメッセージは、ユーザー *user* の新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードの入力を求めます。

重大度

00

CKG110I ユーザー *user* の新規 [デフォルト] パスワードをもう一度入力してください (Please reenter new [default] password for user *user*)

説明

このメッセージは、ユーザー *user* の新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードを再度入力するように求めます。

重大度

00

CKG111I 最も大きな結果コードは *value* でした (Highest result code was *value*)

説明

このメッセージは、コマンド処理完了後に発行され、実行されたコマンド・ストリームにおいて最も大きなコマンド結果コードを示します。1 以上の結果コードを戻すコマンドごとに、メッセージ CKG107I が発行されます。

重大度*value*

CKG112I **CKGRACF** 予約済みユーザー・データ・エントリーが検出されませんでした (No CKGRACF-reserved userdata entries found)

説明

このメッセージは、LIST コマンドが CKGRACF 予約済み USR エントリーを検出できなかったことを示します。

重大度

00

CKG113I

author により *date time* にデフォルト・パスフレーズが設定されました (Default password phrase set by *author* at *date time*)

説明

このメッセージは、ターゲット・ユーザーのデフォルト・パスフレーズが設定されたことを示します。それには、コマンドを発行したユーザーと、デフォルト値が設定された日時が含まれています。デフォルト・パスフレーズはこのメッセージには示されません。

重大度

00

CKG115I *author* により *date time* にデフォルト・パスワードが設定されました (Default password set by *author* at *date time*)

説明

このメッセージは、ターゲット・ユーザーのデフォルト・パスワードが設定されたことを示します。この設定を行ったユーザーと、設定日時が示されます。デフォルト・パスワードはこのメッセージには示されません。

重大度

00

CKG116I ユーザー *user* により *date time* に、*date* の *schedule* に *type* アクションがスケジュールされました。理由: *reason* ユーザー *user* により *date time* に削除されました。削除の理由: *reason* (Scheduled *type* action for *schedule* on *date* by *user* on *date time* Reason: *reason* Deleted by *user* on *date time* Delete reason: *reason*)

説明

このメッセージは LIST コマンドにより出力され、1 つのスケジュール済み取り消し/再開アクションを示します。オプションの継続メッセージは、取り消し/再開の理由を示します。消去アクションの場合、スケジュール済みアクションを削除したユーザーを示します。

重大度

00

CKG117I --- 取り消し/再開の全体的な状況 ---
date から取り消し、*date* から再開
(--- Overall revoke/resume status

--- Revoke from *date* Resume from
date)

説明

このメッセージは LIST コマンドにより出力されます。スケジュール済みアクションの後に出力されます。継続メッセージには、ユーザーの取り消し/再開の全体的なスケジュールが示されます。

重大度

00

CKG118I アテンションにより停止しました
(Stopped due to attention)

説明

このメッセージは、アテンションにより CKGRACF が停止したことを示します。このメッセージは、実行中に ATTN キーが押されたコマンドの終了時にのみ発行されます。コマンドが途中で停止することはありません。

重大度

00

CKG119I コマンド要求はキューに入れられま
した (Command request has been
queued)

説明

このメッセージは、複数権限ユーザー ID に対する USER REQUEST コマンドがキューに入れられたことを示します。このコマンドは、実行前に別のユーザーによる承認が必要です。

重大度

00

CKG120I スケジュールされているアクション
が原因で、ユーザー *user* は再開され
ませんでした (User *user* not
resumed due to scheduled actions)

説明

このメッセージは、示されている *user* に対してスケジュールされていたアクションが、ユーザーを取り消す必要があることを示しているため、このユーザー ID に対する USER RESUME コマンドがこのユーザー ID を再開しなかったことを示します。ユーザーを再開する必要がある場合は、USER SCHEDULE コマンドを使用してスケジュールされている取り消し/再開アクションを変更してください。

重大度

08

CKG121I 削除後にユーザー *user* の状況が
status に設定されました (User *user*
set to *status* after wipe)

説明

このメッセージは、過去の日付に適用されたスケジュール済みアクションに対する USER SCHEDULE WIPE コマンドによって、示されている *user* の取り消し状況が *status* (取り消しまたは再開) に設定されたことを示します。これは、全体的なスケジュールが変更されたか、または以前の ALTUSER REVOKE または ALTUSER RESUME コマンドがスケジュール済み取り消し状態によってオーバーライドされたことが原因である可能性があります。

重大度

0

CKG122I 削除後にユーザー *user* の状況が
status のままでした (User *user* left
status after wipe)

説明

このメッセージは、過去の日付に適用されたスケジュール済みアクションに対する USER SCHEDULE WIPE コマンドによって、示されている *user* の取り消し状況が変更されず、*status* (取り消しまたは再開) のままであることを示します。これは、全体的なスケジュールが変更されなかったか、または以前に実行された ALTUSER REVOKE または ALTUSER RESUME コマンドが変更された全体的なスケジュールに従っていることが原因である可能性があります。

重大度

00

CKG123I ユーザー *user* の状況が削除後に取
り消しのままか、または RESUME の
ために再開のままになっています
(User *user* left revoked after wipe,
resumed due to RESUME)

説明

このメッセージは、過去の日付に適用されたスケジュール済みアクションに対する USER SCHEDULE WIPE コマンドによって、示されている *user* の取り消し状況が変更されず、取り消しのままであることを示します。ただし、同じ USER コマンドの後続の RESUME サブコマンドでは、ユーザーの取り消し状況が再開に設定されます。

重大度

00

CKG126I ASK/REQ に対して実行できるコマンドは PERMIT/CONNECT/REMOVE/DELDSD/RDELETE のみです (Only PERMIT/CONNECT/REMOVE/DELDSD/RDELETE allowed for ASK/REQ)

説明

ASK/REQ (およびキューイング) でサポートされているコマンドは PERMIT/CONNECT/REMOVE/DELDSD/RDELETE のみです。このメッセージは、これ以外の RACF コマンドが指定されている場合に発行されます。

重大度

08

CKG127I プロファイル *class profile* をロックできませんでした (Failed to lock profile *class profile*)

説明

指定されたターゲット・プロファイルのロックが失敗しました。プロファイル・データを読み取ることができず、コマンドを実行できません。

重大度

08

CKG128I 待機コマンドの処理でエラーが発生しました (Error in handling of queued command)

説明

待機コマンドの次のステージを処理しようとしたときにエラーが発生しました。

重大度

08

CKG129I コマンドを保管できませんでした (Failed to store command)

説明

待機コマンドの書き込みが失敗しました。このエラーは複数の原因によって発生することがあります (プロファイルに書き込みできない、プロファイルの USRDATA フィールドがフルなど)。

重大度

08

CKG130I プロファイル *class profile* をアンロックできませんでした (Failed to unlock profile *class profile*)

説明

指定されたターゲット・プロファイルを解放できませんでした。このプロファイルがアンロックされていない場合、その他のプログラムがこのプロファイルを使用することはできません。

重大度

12

CKG131I 待機コマンドの処理でエラーが発生しました (Error in handling of queued command)

説明

待機コマンドの次のステージを処理しようとしたときにエラーが発生しました。

重大度

08

CKG132I CKGRACF 待機コマンド・エントリが見つかりませんでした (No CKGRACF queued command entries found)

説明

このメッセージは、LIST コマンドが、リストされているプロファイル内で CKGRACF により作成された待機コマンド・エントリを検出しなかったことを示します。

重大度

00

CKG133I CKGRACF スケジュール・データ・エントリが見つかりませんでした (No CKGRACF schedule data entries found)

説明

このメッセージは、LIST コマンドが、リストされているプロファイル内で CKGRACF により作成されたスケジュール・エントリを検出しなかったことを示します。

重大度

00

CKG135I *parameter* は PARM ストリングでのみ有効です (*parameter only valid in PARM string*) 重大度
12

説明

parameter NOCLOSE、NODUMP、または TEXTPIPE は、インクルード・ファイルではなくパラメーター・ストリングでのみ有効です。

CKG メッセージ 400 から 499

CKG400I *message* SAF RC (hex) *value*; RACF RC (hex) *value*; RACF reason (hex) *value*

説明

各種デバッグ・コマンドの結果ですが、これらのコマンドについてはこのマニュアルでは説明しません。

重大度

00

CKG401I 要求=*audit*: SAF RC (16 進数) *value*; RACF RC (16 進数) *value*; RACF 理由 (16 進数) *value* (Request=*audit*: SAF RC (hex) *value*; RACF RC (hex) *value*; RACF reason (hex) *value*)

説明

このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、RACROUTE REQUEST=AUDIT 呼び出しの SAF および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度

00

CKG402I *class resource* への *level* アクセスを
検査します (Checking for *level*
access to *class resource*)

説明

このメッセージは DEBUG RACHECK コマンドが原因で発行され、検査されるアクセス・レベルのリソース名を示します。

重大度

00

CKG403I 要求=*type*: SAF RC (hex) *value*; RACF RC (16 進数) *value*; RACF 理由 (16 進数) *value* (Request=*type*:

説明

このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、RACROUTE REQUEST=*type* 呼び出しの SAF および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度

00

CKG404I 要求=*extract,user*: SAF RC (16 進数) *value*; RACF RC (16 進数) *value*; RACF 理由 (16 進数) *value* (Request=*extract,user*: SAF RC (hex) *value*; RACF RC (hex) *value*; RACF reason (hex) *value*)

説明

このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、ユーザー・プロファイルに対する RACROUTE REQUEST=EXTRACT 呼び出しの SAF および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度

00

CKG405I 要求=*extract,owner*: SAF RC (16 進数) *value*; RACFRACF RC (16 進数) *valuevalue*; RACFRACF 理由 (16 進数) *value* (Request=*extract,owner*: SAF RC (hex) *value*; RACF RC (hex) *value*; RACF reason (hex) *value*)

説明

このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、プロファイル所有者の検出を試行した RACROUTE REQUEST=EXTRACT 呼び出しの SAF および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度

00

CKG406I 要求=extract,encrypt: SAF RC (16 進数) value; RACFRACF RC (16 進数) valuevalue; RACFRACF 理由 (16 進数) value
(Request=extract,encrypt: SAF RC (hex) value; RACF RC (hex) value; RACF reason (hex) value)

説明

このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、パスワードの暗号化を試行した RACROUTE REQUEST=EXTRACT,TYPE=ENCRYPT 呼び出しの SAC および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度

00

CKG407I ICHEINTY type RC (16 進数) value; 理由 (16 進数) value (explanation) (ICHEINTY type RC (hex) value; reason (hex) value (explanation))

説明

このメッセージは DEBUG ICHEINTY コマンドが原因で発行され、プロファイルの読み取りを試行し、失敗した ICHEINTY 呼び出しの ICHEINTY 結果コードおよび理由コードと簡易説明を示します。すべての値が 16 進数で表されます。このメッセージは、クラスおよびプロファイル名を示す CKG661I の直後に出力されます。

重大度

00

CKG408I ICHEINTY CKGIWRT 書き込み RC (16 進数) value; 理由 (16 進数) value (explanation) (ICHEINTY CKGIWRT write RC (hex) value; reason (hex) value (explanation))

説明

このメッセージは DEBUG ICHEINTY コマンドが原因で発行され、プロファイル書き込みを試行し、失敗した ICHEINTY 呼び出しの ICHEINTY 結果コードおよび理由コードと簡易説明を示します。すべての値が 16 進数で表されます。このメッセージは、クラスおよびプロファイル名を示す CKG662I の直後に出力されます。

重大度

00

CKG409I ICHEINTY type 削除 RC (16 進数) value; reason (16 進数) value (explanation) (ICHEINTY type delete RC (16 hex) value; reason (hex) value (explanation))

説明

このメッセージは DEBUG ICHEINTY コマンドが原因で発行され、プロファイル削除を試行し、失敗した ICHEINTY 呼び出しの結果コードおよび理由コードと簡易説明を示します。すべての値が 16 進数で表されます。このメッセージは、クラスとプロファイル名を示す CKG663I の直後に出力されます。

重大度

00

CKG410I 要求=verify,create: RAF RC (16 進数) value; RACF RC (16 進数) value; RACF 理由 (16 進数) value (Request=verify,create: RAF RC (hex) value; RACF RC (hex) value; RACF reason (hex) value)

説明

このメッセージは、DEBUG SAFRC がアクティブな場合に発行されます。

重大度

00

CKG411I 要求=verify,delete: RAF RC (16 進数) value; RACF RC (16 進数) value; RACF reason (16 進数) value (Request=verify,delete: RAF RC (hex) value; RACF RC (hex) value; RACF reason (hex) value)

説明

このメッセージは、DEBUG SAFRC がアクティブな場合に発行されます。

重大度

00

CKG415I class profile の id のアクセス権限を検査しています (Checking access for id on class profile)

説明

このメッセージは、リソースに対するユーザーまたはグループのアクセス権限を検査中であることを示します。

重大度

00

CKG416I RACF プロファイル: class profile (RACF profile: class profile)

説明

このメッセージは、DEBUG RACHECK が活動化され、この中に RACHECK に一致するプロファイルが含まれている場合に発行されます。

重大度

00

CKG417I user はリソース所有者です [ではありません] (user is [not] resource OWNER)

説明

このメッセージは、ユーザーが、これより前に出力される CKG415I メッセージにより示されているリソースの所有者である [ではない] ことを示します。

重大度

00

CKG418I user はリソース HLQ です [ではありません] (user is [not] resource HLQ)

説明

このメッセージは、ユーザー ID が、これより前に出力される CKG415I メッセージにより示されるリソースの HLQ に相当する [相当しない] ことを示します。

重大度

00

CKG419I user は user attribute です (user is user attribute)

説明

このメッセージは、ユーザーが SPECIAL、OPERATIONS、AUDITOR、ROAUDITであることを示します。

重大度

00

CKG420I user が SPECIAL[、OPERATIONS、AUDITOR、または ROAUDIT] ではありません (user is not SPECIAL[, OPERATIONS, AUDITOR, or ROAUDIT])

説明

このメッセージは、ユーザーが SPECIAL でないことを示します。リソースへの読み取りアクセス権限が求められる場合、このメッセージはユーザーが OPERATIONS、AUDITOR、または ROAUDIT ではないことも示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度

00

CKG421I user は、リソース・グループ所有者チェーンの group の group attribute です (user is group attribute in group in the resource group owner chain)

説明

このメッセージは、ユーザーがリソース・グループ所有者チェーンのグループの GROUP SPECIAL、GROUP OPERATIONS、または GROUP AUDITOR であることを示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度

00

CKG422I user が、リソース・グループ所有者チェーンの GROUP SPECIAL[、GROUP OPERATIONS、または GROUP AUDITOR] ではありません。 (user is not GROUP SPECIAL[, GROUP OPERATIONS, or GROUP AUDITOR] in the resource group owner chain)

説明

このメッセージは、ユーザーがリソース・グループ所有者チェーンのグループの GROUP SPECIAL ではないことを示します。リソースへの読み取りアクセス権限が求められる場合、このメッセージはユーザーがリソース・グループ所有者チェーンの任意のグループの GROUP OPERATIONS または GROUP AUDITOR ではないことも示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度

00

CKG423I user は、リソース HLQ グループ所有者チェーンの group の group attribute です (user is group attribute in group in the resource HLQ group owner chain)

説明

このメッセージは、ユーザーがリソース HLQ グループ所有者チェーンのグループの GROUP SPECIAL、GROUP OPERATIONS、または GROUP AUDITORであることを示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度

00

CKG424I *user* が、リソース HLQ グループ所有者チェーンの **GROUP SPECIAL**、**GROUP OPERATIONS**、または **GROUP AUDITOR** ではありません。
(*user is not GROUP SPECIAL*, *GROUP OPERATIONS*, or *GROUP*

AUDITOR] in the resource HLQ group owner chain)

説明

このメッセージは、ユーザーがリソース HLQ グループ所有者チェーンの任意のグループの GROUP SPECIAL ではないことを示します。リソースへの読み取りアクセス権限が求められる場合、このメッセージはユーザーがリソース HLQ グループ所有者チェーンの任意のグループの GROUP OPERATIONS または GROUP AUDITOR ではないことも示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度

00

CKG メッセージ 500 から 599

CKG500I 接続取り消し/再開を **UNTIL/FOR/LEN** と組み合わせて使用することはできません (**Connect revoke/resume is not supported in combination with UNTIL/FOR/LEN**)

説明

REVOKE、NOREVOKE、RESUME、および NORESUME パラメーターは、一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) の CONNECT コマンドで使用することはできません。

重大度

08

CKG501I 接続情報を読み取ることができません (**Unable to read connect information**)

説明

CKGRACF が、接続プロファイルの接続情報を読み取ることができませんでした。このプロファイルで文字化けが発生している可能性があります。

重大度

08

CKG502I *class* は *command* の有効なクラスではありません (**class not a valid class for command**)

説明

command コマンドに USER/GROUP/CONNECT を指定しようとしてしました。

重大度

12

CKG503I *command* の *class profile* プロファイルが見つかりませんでした (**class profile profile for command not found**)

説明

command コマンドのプロファイルが見つかりませんでした。このプロファイルは (適切に) 指定されていませんでした。完全修飾総称プロファイルの場合は、総称プロファイルを指定していることを確認してください。

重大度

08

CKG504I *command* の *class profile* プロファイルが見つかりませんでした (**class profile profile for command not found**)

説明

command コマンドのプロファイルが見つかりませんでした。このプロファイルは (適切に) 指定されていませんでした。

重大度

08

CKG505I 待機コマンドを解析できませんでした (Failed to parse queued command)

説明

読み取り時に、既に保管されている待機コマンドを解析できませんでした。キューに入れられた後に変更されていました。

重大度

12

CKG506I CMD サブコマンドはサポートされていません (CMD subcommand not supported)

説明

CMD に指定した RACF コマンドはサポートされていません。

重大度

12

CKG507I CMD サブコマンド解析エラー (CMD subcommand parsing error)

説明

CMD に指定された RACF コマンドの構文が誤っています。このコマンドの構文を確認してください。

重大度

12

CKG508I IKJPARS の内部エラー (Internal error in IKJPARS)

説明

指定された RACF コマンドの解析中にエラーが発生しました。このコマンドの構文を確認してください。

重大度

20

CKG509I パラメーターの入力を求めるプロンプトを出すことができませんでした (Could not prompt for parameters)

説明

CMD に指定された RACF コマンドにはさらに入力が必要ですが、非対話式セッションではこの入力が行われませんでした。

重大度

12

CKG510I ATTN が押されました (ATTN pressed)

説明

指定された RACF コマンドの解析中に ATTN キーが押されました。

重大度

12

CKG511I 不明な RACF 解析エラー (Unknown RACF parse error)

説明

パーサーまたは CKGRACF に対して不明な RACF コマンドの解析中にエラーが発生しました。

重大度

20

CKG512I UNTIL/FOR/LEN が指定されている場合は FROM は使用できません (FROM not allowed for UNTIL/FOR/LEN)

説明

一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) では、PERMIT コマンドの FROM パラメーターはサポートされていません。CMD AT を使用してリバース・コマンドをユーザー自身が要求してください。

重大度

12

CKG513I UNTIL/FOR/LEN が指定されている場合は WHEN はサポートされていません (WHEN is not supported with UNTIL/FOR/LEN)

説明

一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) では、プロファイルの条件付きアクセス・リストの変更はサポートされていません。CMD AT を使用してリバース・コマンドをユーザー自身が要求してください。

重大度

12

CKG514I UNTIL/FOR/LEN が指定されている場合は RESET は使用できません (RESET not allowed for UNTIL/FOR/LEN)

説明

一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) では、アクセス・リストのリセットは許可されていません。追加の CMD コマンドを使用してリバース・コマンドを発行してください。

重大度

12

CKG515I UNTIL/FOR/LEN では 1 つの ID のみがサポートされています (Only one ID supported for UNTIL/FOR/LEN)

説明

一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) では、PERMIT コマンドの ID() パラメーターには ID を 1 つのみ指定できます。複数の CMD コマンドを発行してください。

重大度

12

CKG516I クラス DATASET および PROGRAM ではアクセス権限 EXECUTE のみ許可されています (Access EXECUTE only allowed for classes DATASET and PROGRAM)

説明

クラス DATASET および PROGRAM では、PERMIT コマンドのアクセス権限レベル EXECUTE のみが許可されています。

重大度

08

CKG517I CONNECT/REMOVE では 1 つのユーザー ID のみがサポートされています (Only one userid supported for CONNECT/REMOVE)

説明

CONNECT または REMOVE コマンドのユーザー ID パラメーターには 1 つのユーザー ID のみを指定できます。複数の CMD コマンドを発行してください。

重大度

12

CKG518I UNTIL/FOR/LEN は PERMIT/CONNECT/REMOVE では使用できませんが、command では使用できません (UNTIL/FOR/LEN only allowed with PERMIT/CONNECT/REMOVE, and not with command)

説明

UNTIL/FOR/LEN でサポートされているコマンドは PERMIT/CONNECT/REMOVE のみです。

重大度

12

CKG530I INDD、OUTDD、および ERRDD はパラメーター・ストリングでのみ有効です。 (INDD, OUTDD, and ERRDD only valid in the parameter string.)

説明

PARM ストリング外部で INDD、OUTDD、または ERRDD のオカレンスが検出されました。

重大度

12

CKG569I 指定された ID *id* は USER でも GROUP でもありません (Specified ID *id* not USER or GROUP)

説明

ACCESS コマンドに指定されたユーザー ID がユーザーでもグループでもありませんでした。構文は CKGRACF ACCESS <id> <class> <resource> です。

重大度

08

CKG570I クラス *class* がアクティブではありません (Class *class* is not active)

説明

クラスがアクティブではないため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度

00

CKG571I クラス *class* が RACFRACF に対して定義されていません (Class *class* is not defined to RACF)

説明

クラスがクラス記述子テーブルに定義されていないため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度

00

CKG572I RACF が非アクティブです。

説明

RACF がアクティブではないため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度

00

CKG573I RACF が非アクティブであり、クラス *class* がアクティブではありません (RACF is inactive and class *class* is not active)

説明

RACF とクラスが非アクティブであるため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度

00

CKG574I RACF がインストールされていないか、または十分なレベルではありません (RACF is not installed, or has an insufficient level)

説明

RACF がインストールされていないか、CKGRACF 照会に対応できる十分なレベルにないため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度

00

CKG575I サポートされない STAT 戻りコード。(Unsupported STAT return code.)SAF (16 進数) *nn*; RACF (16

進数) *nn* (SAF (hex) *nn*; RACF (hex) *nn*)

説明

要求された ACCESS が未決定です。クラスに対して RACSTAT 呼び出しが実行されましたが、戻りコードに組み込み変換処理がありません。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度

00

CKG576I 現行状況: *status* (Current status: *status*)

説明

このメッセージは、異常終了が発生した場合に出力されます。コマンド処理中に、このメッセージに続いてメッセージ CKG952I が出力されることがあります。*status* は、異常終了時点でのプログラムのおおよそのアクティビティを示します。

重大度

00

CKG577I 現行コマンド: *command* (Current[®] command: *command*)

説明

このメッセージは、コマンド処理中に異常終了が発生した場合に出力されます。このメッセージは、メッセージ CKG951I に続いて出力されます。*command* は、処理中の現行コマンドを示します。

重大度

00

CKG578I *class profile* に TVTOC が含まれています (*class profile* contains a TVTOC)

説明

ACCESS コマンドからこの予期しない応答が出されました。

重大度

00

CKG579I *class profile* に TVTOC が含まれている可能性があります、現時点では含まれていません (*class profile* can contain a TVTOC, but currently does not)

説明

ACCESS コマンドからこの予期しない応答が出されました。

重大度

00

CKG580I *class profile* に TVTOC が含まれていません (*class profile does not contain a TVTOC*)

説明

ACCESS コマンドからこの予期しない応答が出されました。

重大度

00

CKG581I RRSF 伝搬のために[新規 | デフォルト] パスフレーズが準備されました ([New | Default] password phrase prepared for RRSF propagation)

説明

このメッセージは、パスワード同期パッケージが管理下にあり、このパッケージにパスフレーズを平文で渡す必要があると CKGRACF が判断したことをユーザーに通知します。同期できるコマンドは PWSET PHRASE および PWSET PASSWORD のみです。待機 PWSET PHRASE コマンドのパスフレーズは、固定キーを使用して双方向暗号化 (ハッシュ化) されています。このようなコマンドが完了する時点で、そのパスフレーズが暗号化解除され、ENCRYPT=YES が指定された平文として送信されます。

重大度

00

CKG582I *type* には *class profile* への *level* アクセス権限があります (*type has level access to class profile*)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。ユーザーまたはグループ (*type*) の、クラス *class* 内の指定された *profile* へのアクセス・レベルは *level* です。

重大度

00

CKG583I *class profile* が無保護です。PROTECTALL(WARNING) モードで

す (*class profile is unprotected, protectall in warning mode*)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。指定されているリソースの総称プロファイルがなく、RACF が PROTECTALL(WARNING) モードで稼働しているため、ユーザーまたはグループはデータ・セットに自由にアクセスできます。警告メッセージが発行されますが、アクセスは許可されます。唯一の例外として、個別データ・セット・プロファイルがある場合、リソースは実際には保護されていることがあります。現行 ACCESS コマンドでは、個別データ・セット・プロファイルはサポートされていません。

重大度

00

CKG584I *class profile* は PROTECTALL(FAIL) モードで保護されています (*class profile is protected by protectall fail mode*)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。指定されているリソースの総称プロファイルがなく、RACF が PROTECTALL(FAIL) モードで稼働しているため、ユーザーやグループはデータ・セットにアクセスできません。唯一の例外として、個別データ・セット・プロファイルがある場合、リソースは実際にはアクセス可能であることがあります。現行 ACCESS コマンドでは、個別データ・セット・プロファイルはサポートされていません。

重大度

00

CKG585I *noprotectall* であるため *class profile* が保護されていません (*class profile is unprotected because of noprotectall*)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。指定されているリソースの総称プロファイルがなく、RACF が NOPROTECTALL モードで稼働しているため、ユーザーまたはグループはデータ・セットに自由にアクセスできます。唯一の例外として、個別データ・セット・プロファイルがある場合、リソースは実際には保護されていることがあります。現行 ACCESS コマンドでは、個別データ・セット・プロファイルはサポートされていません。

重大度

00

CKG586I *class profile* の保護は SAF により決定されませんでした。アプリケーションにより決定されます。
(**protection undecided by SAF, application decides**)

説明

要求された ACCESS が未決定です。クラスはアクティブですが、一致するプロファイルが見つかりませんでした。この場合、アプリケーションによってアクセスが許可される場合と許可されない場合があります。

重大度

00

CKG587I *type* には *class profile* への権限がありません (**type is not authorized to class profile**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。ユーザーまたはグループはリソースにアクセスできません。

重大度

00

CKG588I *type* にはボリューム *volser* を使用する権限がありません (**type is not authorized to use volume volser**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。ユーザーまたはグループはリソースにアクセスできません。

重大度

00

CKG589I *type* には *class profile* を使用する権限がありません (**type is not authorized to use class profile**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

重大度

00

CKG590I *type* にはカタログされていないデータ・セットを開く権限がありません (**type is not authorized to open non-cataloged dataset**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。CATDSNS 設定が原因で、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

重大度

00

CKG591I システムが安定状態の場合、*type* には権限がありません (**type is not authorized when system is in tranquil state**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。システムが MLQUIET 安定状態であるため、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

CKG592I *type* には *class profile* への EXECUTE アクセス権限があります (**type has EXECUTE access to class profile**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。一般に、このメッセージが表示されることはありません。

重大度

00

CKG593I *class profile* seclabel はユーザーにより支配されていません (**class profile seclabel not dominated by user**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。リソースの seclabel はユーザーに支配されているものではないため、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

重大度

00

CKG594I ユーザーは *class profile* seclabel を支配できません (**class profile seclabel cannot be dominated by user**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。リソースの seclabel はユーザーに支配されているものではないため

め、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

CKG595I *class profile* に必要な *saclable* が欠落しています (*class profile required seclabel missing*)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。リソースまたはユーザーのいずれか一方に *seclabel* があり、もう一方に *saclabel* がないため、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

重大度

00

CKG596I **REQUEST=VERIFY** は出口で失敗しました (**REQUEST=VERIFY was failed by exit**)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。サイト出口により CKGRACF のセキュリティ環境を確立できないため、アクセス権限検査が失敗しました。

重大度

00

CKG597I *type* は取り消されています (*type has been revoked*)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。CKGRACF のセキュリティ環境を確立できないため、アクセス権限検査が失敗しました。これは、ユーザーが現在取り消されていることが原因で発生します。

CKG メッセージ 600 から 699

CKG600I プロファイル *class profile* が見つかりませんでした (**Profile class profile not found**)

説明

示されているプロファイルは、現行コマンドのターゲットとして指定されていますが、存在していません。現行コマンドを実行できません。RACROUTE 戻りコードを表示するには DEBUG RACROUTE を使用します。メッセージ CKG404I (USER プロファイルの場合) または CKG405I (その他のすべてのプロファイル・タイプ) に RACROUTE,request=EXTRACT 戻りコードが示されています。

重大度

00

CKG598I *type* の *seclabel* がないか、または *seclabel* が十分ではありません (*type has insufficient or no seclabel*)

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。CKGRACF のセキュリティ環境を確立できないため、アクセス権限検査が失敗しました。これは、ユーザー *saclabel* がないか、または十分でないために発生します。

重大度

00

CKG599I サポートされていない AUTH 戻りコード: **SAF RC (16 進数) nn; RACF RC (16 進数) nnnn; RACFRACF 理由 (16 進数) nnnn; クラス class; プロファイル profile (Unsupported AUTH return code: SAF RC (hex) nn; RACF RC (hex) nn; RACF reason (hex) nn; Class class; Profile profile)**

説明

これは ACCESS コマンドへの応答です。これは、CKGRACF によりテキスト・メッセージに変換されない SAF および RACF の戻りコードのキャッチオール・メッセージです。

重大度

00

重大度

08

CKG601I プロファイル *class profile* の所有者 (**ID=owner**) が見つかりません (**Owner of profile class profile (ID=owner) not found**)

説明

示されているプロファイルの所有者は *owner* ですが、これはユーザー ID でもグループ ID でもありません。これは、RACF データベースのエラーを示します。VERIFY PERMIT コマンドを実行してください。

重大度

04

CKG602I プロファイル *class profile* が原因で所有者がループしています (**Profile class profile leads to owner loop**)

説明

示されているプロファイルの所有者であるグループの所有者ツリーが原因で、ループが発生しています。これは、RACF データベースのエラーを示します。VERIFY GROUPTREE コマンドを実行してください。

重大度

20

CKG603I *class profile* の有効範囲プロファイルが長すぎます (**Scope profile too long for class profile**)

説明

示されているプロファイルの有効範囲リソース名は 255 文字を超えるため構成できません。示されているプロファイルに対する有効範囲検査は常に失敗します。これを解決するには、RACF データベース内のグループ・ツリー構造を簡素化してください。

重大度

08

CKG604I *file* の行 *n* のコマンドのコマンド・リソース *class resource* へのアクセス *access* が否認されました (**Access access to command resource class resource denied for command at file line n**)

説明

入力ファイル *file* の行 *n* にあるコマンドへのアクセスでは、コマンド・リソース *resource* への *access* アクセス権限が必要でした。アクセスが否認されました。コマンドは実行されません。

重大度

08

CKG605I プロファイル *class profile* は、*file* の行 *n* のコマンドの有効範囲内にありません (**Profile class profile not in scope for command at file line n**)

説明

両方の SCP プロファイルの検査後に、入力ファイル *file* の行 *n* にあるコマンドのターゲット・プロファイル *class profile* へのアクセスが否認されました。このコマンドは実行されません。このメッセージの原因を判別するには、IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF を使用している場合には SETUP TRACE の「Show CKGRACF command flow」を使用します。または、CKGRACF DEBUG コマンドを直接使用します。これにより、実行されるアクセス権限検査が表示されるので、状況を確認することができます。さらに、追加権限を要求できる場合もあります。

重大度

08

CKG606I *file* の行 *n* にあるコマンドの *class profile* および索引「*index*」のユーザー・データにアクセスできませんでした (**Access to userdata failed for class profile and index 'index' for command at file line n**)

説明

入力ファイル *file* の行 *n* にあるコマンドのターゲット・プロファイル *class profile* の示されている *index* を持つ USR エントリーにアクセスしようとしたところ、アクセスが否認されました。USRDATA コマンドは実行されません。

重大度

08

CKG607I パスワード・ヒストリーに *type* パスワードが含まれています (**type password occurs in password history**)

説明

type により指定された新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードが、ユーザーのパスワード・ヒストリーに含まれています。新規パスワードまたはデフォルト・パスワードは設定されません。

重大度

08

CKG608I ファイル *ddname* データ・セット *dsname* の組み込みメンバー *member* のオープンが失敗しました (**Open failed for imbedded member member of file ddname dataset dsname**)

説明

このメッセージは、メンバーに対して INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、ファイルに割り振られたデータ・セットでそのメンバーを開けなかったことを示します。ジョブ・ログで MVS/DFP メッセージまたは異常終了コードを調べてください。

重大度

12

CKG609I 組み込みファイル *ddname* データ・セット *dsname* のオープンが失敗しました (Open failed for imbedded file *ddname* dataset *dsname*)

説明

このメッセージは、ファイルに対して INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、そのファイルを開けなかったことを示します。ジョブ・ログでメッセージまたは異常終了コードを調べてください。

重大度

12

CKG610I *field* に対する *action* アクションが失敗しました (*action* action for *field* failed)

説明

このメッセージは、FIELD コマンドで *field* に対する *action* が失敗したことを示します。

重大度

08

CKG611I PWCONVERT コマンドが否認されました - ユーザーが SPECIAL ではありません (PWCONVERT command refused - user not SPECIAL)

説明

このメッセージは、ユーザーに SPECIAL 権限がないために PWCONVERT コマンドが実行されなかったことを示します。

重大度

08

CKG612I ユーザー *user* のパスワードはハッシュ化されません (Password for user *user* is not hashed)

説明

このメッセージは、ターゲット・ユーザー *user* の現行パスワードがハッシュ化されていないために、このターゲット・ユーザーに対する PWCONVERT コマンドが実行されなかったことを示します。

重大度

08

CKG613I ユーザー *user* のパスワードを変換できませんでした (Could not convert password for user *user*)

説明

このメッセージは、ターゲット・ユーザー *user* のハッシュ解除されたパスワードをインストール済み環境の暗号化方式で暗号化できなかったために、このターゲット・ユーザーに対する PWCONVERT コマンドが実行されなかったことを示します。これは、インストール済み環境のパスワード暗号化出口 ICHDEX01 または ICHDEX11 が原因である可能性があります。DEBUG SAFRC を使用して RACROUTE 戻りコードを確認してください。メッセージ CKG406I に、RACROUTE 暗号化戻りコードが示されています。

重大度

08

CKG614I RDELETE コマンドが否認されました - ユーザーが SPECIAL ではありません (RDELETE command refused - user not SPECIAL)

説明

このメッセージは、ユーザーに SPECIAL 権限がないために RDELETE コマンドが実行されなかったことを示します。

重大度

08

CKG615I 「*authority*」要件を持つユーザー *user* に対して無効なコマンド・アクション; *file* の行 *n* のコマンド (Command action invalid for user *user* with '*authority*' requirement; command at *file* line *n*)

説明

このメッセージは、USER コマンドが、複数権限要件 *authority* を持つユーザー *user* に対して無効な待機コマンド・アクションとともに使用されたことを示します。

重大度

08

CKG616I デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] が見つかりません - プロンプトが出されます (No default [password | password phrase] found - prompting)

説明

このメッセージは、USER PWSET DEFAULT コマンドまたは USER PWSET DEFAULT PHRASE コマンドが発行されたが、デフォルトのパスワードまたはパスフレーズが見つからなかったことを示します。(これは、同じ USER コマンドの USER PWDEFAULT DELETE コマンドが原因である可能性があります。) CKGRACF は、新規のパスワードまたはパスフレーズの入力を求めるプロンプトを出そうとします。これが失敗すると、メッセージ CKG618I が発行されます。

重大度

00

CKG617I デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] の入力を求めるプロンプトを出す操作が失敗しました (Prompting for default [password | password phrase] password failed)

説明

このメッセージは、USER PWDEFAULT PROMPT コマンドまたは USER PWDEFAULT PROMPT PHRASE コマンドが発行されたことを示します。CKGRACF はデフォルトのパスワードまたはパスフレーズの入力を求めるプロンプトを出そうとしましたが、失敗しました。これは、ユーザーのプロファイル設定 (例: PROFILE NOPROMPT) が原因である可能性があります。USER コマンドは実行されません。

重大度

08

CKG618I [パスワード | パスフレーズ] の入力を求めるプロンプトを出す操作が失敗しました (Prompting for [password | password phrase] password failed)

説明:

このメッセージは、USER PWSET PROMPT コマンドまたは USER PWSET PROMPT PHRASE コマンドが発行されたが、デフォルトのパスワードまたはパスフレーズが見つからなかったことを示します。CKGRACF はパスワードまたはパスフレーズの入力を求めるプロンプトを出そうとしましたが、失敗しました。これは、ユー

ザーのプロファイル設定 (例: PROFILE NOPROMPT) が原因である可能性があります。USER コマンドは実行されません。

重大度

08

CKG619I 前の [パスワード | パスフレーズ] を読み取ることができませんでした (Could not read previous [password | password phrase])

説明

このメッセージは、USER PWSET PREVIOUS コマンドまたは USER PWSET PREVIOUS PHRASE コマンドが発行されたが、KDFAES が有効でないときに前のパスフレーズが作成されたなどの理由で、前のパスワードまたはパスフレーズを読み取ることができなかったことを示します。USER コマンドは実行されません。

重大度

08

CKG620I REQUEST オプションを指定して要求されたコマンドは既にキューに入っています (Requested command was already in queue)

説明

このメッセージは、REQUEST オプションが指定された USER コマンドが使用されたが、要求されたコマンドは既にターゲット・コマンド・キューに入れられていたことを示します。要求が許可されるには、以前の待機コマンドが完了、否認、または停止される必要があります。CONNECT および REMOVE のターゲット・プロファイルは USER プロファイルではなく GROUP プロファイルである点に注意してください。

重大度

08

CKG620 REQUEST/ASK オプションを指定して要求されたコマンドは既にキューに入っています (Requested/asked command was already in queue)

説明

このメッセージは、REQUEST または ASK オプションが指定された USER コマンドが使用されたが、要求されたコマンドは既にターゲット・コマンド・キューに入れられていたことを示します。要求が許可されるには、以前の待機コマンドが完了、否認、または停止される必要があります。CONNECT および REMOVE のターゲット・

プロファイルは USER プロファイルではなく GROUP プロファイルである点に注意してください。

重大度

08

CKG621I コマンドがキュー内で見つかりませんでした (**Command not found in queue**)

説明

このメッセージは、WITHDRAW、SECOND、または COMPLETE オプションを指定した USER コマンドが使用されたが、要求されたコマンドがユーザーのコマンド・キューで見つからなかったか、既に非アクティブにされていたことを示します。

重大度

08

CKG622I 索引「*index*」のユーザー・データを置換できませんでした。古いデータが見つかりませんでした (**Could not replace userdata with index 'index': old data not found**)

説明

このメッセージは、示されている索引 *index* の USR エントリーに対する USRDATA REPLACE コマンドが失敗したことを示します。古い値を持つエントリーがありませんでした。

重大度

08

CKG623I *type* パスワードは、パスワード規則では許可されていません (**type password not allowed by password rules**)

説明

このメッセージは、*type* により示される新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードが、システムのどのパスワード規則にも一致しなかったことを示します。新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードは使用されません。

重大度

08

CKG624I PWDX 出口で異常終了が発生しました - これ以降抑止されます (**ABEND in PWDX exit - suppressed from now on**)

説明

このメッセージは、インストール済み環境の新規パスワード出口 ICHPWX01 の呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。現在の CKGRACF 実行中に、この出口が再度呼び出されることはありません。

重大度

08

CKG625I パスワードの入力を求めるプロンプトを出すことができませんでした (**Could not prompt for password**)

説明

このメッセージは、新規パスワードの入力/再入力を求めるプロンプトが失敗したことを示します。これは、ユーザーのプロファイル設定 (例: PROFILE NOPROMPT) が原因である可能性があります。

重大度

08

CKG626I パスワードが同一ではありません - プロンプトが再度出されます (**Passwords are not identical - prompting again**)

説明

このメッセージは、プロンプトで入力されたパスワードと再入力されたパスワードが一致しないことを示します。パスワードの入力を求めるプロンプトが再度出されます。プロンプト操作を終了するには、空のパスワードを 2 回入力します。

重大度

00

CKG627I 理由が USRDATA に収まりません。切り捨てられます。 (**Reason does not fit in USRDATA; truncated**)

説明

このメッセージは、キューに入れられる USER SCHEDULE コマンドに指定された理由フィールドが、USRDATA 繰り返しグループに収まらないことを示します。理由において、収まる部分は組み込まれますが、収まらない部分は失われます。このメッセージが出力されるのは、アクティブまたはバックアップ RACF データベースが再構造化データベースではない場合のみです。

重大度

04

CKG628I アクション「*requested-action*」は許可されていません。最終アクション「*action*」；権限「*setting*」(Action '*requested-action*' not allowed; last action '*action*'; authority '*setting*')

説明

このメッセージは、待機コマンド・アクション *requested-action* が指定されたことを示します。複数権限要件 *setting* を持つユーザー ID に対して行われた、示されている直前の *action* の後では、このアクションは許可されません。

重大度

08

CKG629I アクション「*requested-action*」は許可されていません。「*action*」アクションを実行しました。(Action '*requested-action*' not allowed; you performed '*action*')

説明

このメッセージは、待機コマンド・アクション *requested-action* が指定されたことを示します。ユーザーは示されている *action* を以前に実行したため、このアクションは許可されません。待機コマンドの各コマンド・アクションは、異なるユーザーによって実行される必要があります。

重大度

08

CKG630I アクションは許可されていません。コマンドの有効期限が切れています (Action not allowed; command has expired)

説明

このメッセージは、待機コマンド・アクションが指定されているが、待機コマンドの有効期限が切れているため、このアクションは許可されないことを示します。

重大度

08

CKG631I 索引「*index*」の CKGRACF 予約エンタリーが不明なエンタリーです (Unknown CKGRACF-reserved entry with index '*index*')

説明

このメッセージは、LIST コマンドが、示されている *index* で不明な CKGRACF 予約 USR エントリーを検出したことを示します。これは、CKGRACF 以外で行われた設定、または試用版インストール中などに、新しいリリースの CKGRACF リリースによって行われた設定が原因である可能性があります。このようなエンタリーを削除するには、WIPE UNDEFINED を使用します。

重大度

08

CKG632I 索引「*index*」のユーザー・データ・エレメントを削除できませんでした。(Could not delete userdata elements with index '*index*'.)

説明

このメッセージは、USRDATA コマンドが示されている *index* の USR エントリー・エレメントを削除できなかったことを示します。このようなエレメントが見つからなかったか、または USR エントリーに指定されている USRDATA 値が一致していませんでした。

重大度

08

CKG633I *file* の行 *n* のコマンドに対し、スケジュール「*schedule*」へのアクセスが否認されました (Access to schedule '*schedule*' denied for command at *file* line *n*)

説明

USER SCHEDULE コマンドに対し、示されている *schedule* へのアクセスが否認されました。

重大度

08

CKG634I 権限設定の形式が誤っています (Authority setting has a wrong format)

説明

このメッセージは、正しくない形式の複数権限設定が検出されたことを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。

AUTHORITY DELETE または WIPE AUTHORITY を使用して、ターゲット・ユーザー ID から複数権限設定を削除してください。エラーが再度発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連

付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG635I デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] 設定の形式が誤っています (Default [password | password-phrase] setting has a wrong format)

説明

このメッセージは、正しくない形式のデフォルト・パスワード設定またはデフォルト・パスフレーズ設定が検出されたことを示します。このメッセージは、CKGRACF の問題、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の、別のコマンドによって既に変更されていることを示している場合があります。USER PWDEFAULT DELETE [PASSWORD | PHRASE] コマンドを使用して、対象ユーザー ID から正しくない設定を削除してみてください。メッセージがパスワード設定に言及している場合は、WIPE DEFAULTPW サブコマンドを使用して、対象ユーザー ID のデフォルト・パスワードを削除してみることもできます。エラーが再度発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG636I フィールド「*description*」に対して指定された長さ *size* が正しくありません (Wrong length size specified for field '*description*')

説明:

このメッセージは、示されている置換対象または削除対象 *description* のフィールドに対して指定された値のサイズ(示されている *size*) が正しくないことを示します。このメッセージが FIELD コマンドに関係している場合は、指定可能なサイズについて「zSecure Admin and Audit ユーザー・リファレンス・マニュアル」の『CKGRACF FIELD のフィールド』という表を参照してください。このメッセージが USER RECREATE コマンドに関係している場合は、指定可能なサイズについて「zSecure Admin and Audit ユーザー・リファレンス・マニュアル」の『CKGRACF USER RECREATE のオプション』という表を参照してください。*description* が「password」である場合、このメッセージは最初(または唯一)の ENCRYPTED_PASSWORD の値を示します。

重大度

08

CKG637I フィールド「*description*」は使用できません。(Field '*description*' not available.)

説明

このメッセージは、示されている *description* のフィールド(表示対象、置換対象、または削除対象)が使用できないことを示します。FIELD コマンドの実行結果としてこのメッセージが出力されたものでない場合は、内部エラー状態を示します。[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKG638I フィールド「*description*」の値が一致しません (Values for field '*description*' do not match)

説明

置換対象または削除対象の示されている *description* のフィールドが、指定された値に一致しません。これは FIELD コマンドの実行結果として発行されます。

重大度

08

CKG639I 待機コマンドの形式が誤っています (Queued command has a wrong format)

説明

このメッセージは、形式が正しくない待機コマンドが検出されたことを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ターゲット・ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG640I ユーザー *user* の *type* パスワードを暗号化できませんでした (**Could not encrypt type password for user user**)

説明

このメッセージは、(*type* により示される) 新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードが、インストール済み環境の暗号化方式を使用して暗号化できなかったために、ターゲット・ユーザー *user* に対する **USER** コマンドが実行されなかったことを示します。これは、インストール済み環境のパスワード暗号化出口 **ICHDEX01** または **ICHDEX11** が原因である可能性があります。DEBUG SAFRC を使用して **RACROUTE** 戻りコードを確認してください。メッセージ **CKG406I** に、**RACROUTE** 暗号化戻りコードが示されています。

重大度

08

CKG641I *type* パスワードは新規パスワード出口では許可されていません (**type password not allowed by new-password exit**)

説明

このメッセージは、*type* により示される新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードが、インストール済み環境の新規パスワード出口 **ICHPWX01** で許可されなかったことを示します。新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードは使用されません。

重大度

08

CKG642I スケジュール済みアクションの形式が誤っています (**Scheduled action has a wrong format**)

説明

このメッセージは、スケジュールされているが形式が誤っている取り消し/再開アクションが検出されたことを示します。このメッセージは、**CKGRACF** のバグか、または対象ユーザー ID の **USR** フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE SCHEDULE を使用して、ターゲット・ユーザー ID からスケジュール済みアクションを削除してください。エラーが再度発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG643I アクションを実行しない場合は **ENTER** を 2 回押してください (**Press enter twice for no action**)

説明

これはエラーを示すメッセージではありません。これはパスワード・プロンプトが出される前に出力され、**Enter** を 2 回押すとパスワード・プロンプトを終了できることを示します。

重大度

00

CKG644I パスワードが入力されませんでした (**No password entered**)

説明

このメッセージは、プロンプトで 2 つの空のパスワードが入力されたことを示します。これによりプロンプトが終了します。パスワードが入力されなかったため、**USER** コマンドは実行されません。

重大度

08

CKG645I キューに入れられている間に、前の [パスワード | パスフレーズ] が変更されました (**Previous [password | password phrase] changed during queuing**)

説明

この警告メッセージは、キューに入れられた **USER PWSSET PREVIOUS** コマンドの実行中に、そのコマンドがキューに入れられている間に前のパスワードまたはパスフレーズが変更されていたことが検出されたことを示します。**USER** コマンドは、そのコマンドが要求されて、最初にキューに入れられた時点での、前のパスワードまたはパスフレーズの値を使用します。

重大度

04

CKG646I キューに入れられている間に、デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] が変更されました (**Default [password | password phrase] changed during queuing**)

説明

この警告メッセージは、キューに入れられた USER PWSET DEFAULT コマンド、USER PWRESET コマンド、または USER PHRESET コマンドの実行中に、そのコマンドがキューに入れられている間にデフォルトのパスワードまたはパスフレーズが変更または削除されていたことが検出されたことを示します。USER コマンドは、そのコマンドが要求されて、最初にキューに入れられた時点での、デフォルトのパスワードまたはパスフレーズの値を使用します。

重大度

04

CKG647I フィールド「*field*」は読み取り専用
 です (Field "*field*" is read only)

説明

ICHEINTY から予期しない戻りコードが返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKG648I パスワードの変更内容が *package* パ
 ートナー・ノードに送信されません
 (Password change will not be sent
 to *package* partner nodes)

説明

この警告は、示されているサブシステムにより同期される RACF ノードでは、変更内容が使用可能でないことを示します。同期されるコマンドは PWSET PASSWORD と PWSET PHRASE のみです。

重大度

04

CKG649I RRSF 伝搬のために *type* パスワード
 が準備されました (*type* password
 prepared for RRSF propagation)

説明

このメッセージは、パスワード同期パッケージが管理下にあり、このパッケージにパスワードを平文で渡す必要があると CKGRACF が判断したことをユーザーに通知します。同期できるコマンドは PWSET PASSWORD と PWSET PHRASE のみです。待機 PWSET PASSWORD コマンドのパスワードは、固定キーを使用して双方向暗号化 (ハッシュ化) されています。このようなコマンド

が完了する時点で、そのパスワードは暗号化解除され、ENCRYPT=YES が指定された平文として送信されます。

重大度

00

CKG650I 将来の日付のタイム・スタンプが検
 出されました (Encountered
 timestamp from future date)

説明

このメッセージは、待機コマンドに将来の日付のタイム・スタンプが含まれていることを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG651I 不明な待機コマンド・コードが検出
 されました (Encountered unknown
 queued-command code)

説明

このメッセージは、待機コマンドに不明なデータが含まれていることを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG652I 不明な待機コマンド状況が検出され
 ました (Encountered unknown
 queued-command status)

説明

このメッセージは、待機コマンドに不明な状況フラグが含まれていることを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG653I デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] が使用できません (No default [password | password phrase] available)

説明

デフォルトのパスワードまたはパスフレーズが使用できないため、USER PWRESET コマンドまたは USER PHRESET コマンドが失敗しました。これは、同じ USER コマンドの PWDEFAULT DELETE サブコマンドが原因であるか、またはターゲット・ユーザーにデフォルト・パスワードまたはデフォルト・パスフレーズが設定されていないことが原因である可能性があります。

重大度

08

CKG654I 待機コマンドのパスワードが不明な暗号化方式で双方向暗号化されています (Password in queued command two-way encrypted with unknown method)

説明

このメッセージは、待機コマンドに使用不可能なデータが含まれていることを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG656I PWDX を変更するには、同じ FIELD コマンドで PASSWORD を変更する必要があります (A PWDX change requires a PASSWORD change in the same FIELD command)

説明

ADD、SET、または REPLACE アクションを指定した FIELD コマンドが PWDX フィールドを指定する場合、同じコマンドが PASSWORD フィールドも指定する必要があります。

重大度

12

CKG657I PHRASEX を変更するには、同じ FIELD コマンドで PHRASE を変更する必要があります (A PHRASEX change requires a PHRASE change in the same FIELD command)

説明

ADD、SET、または REPLACE アクションを指定した FIELD コマンドが PHRASEX フィールドを指定する場合、同じコマンドが PHRASE フィールドも指定する必要があります。

重大度

12

CKG658I *feature* がこのシステムではサポートされていないため、フィールド *field* は許可されません (Field *field* is not allowed because *feature* is not supported on this system)

説明

このシステムでは、*feature* はサポートされていません。そのため、FIELD コマンドで *field* は使用できません。

重大度

12

CKG659I IRRSPW00: SAF RC (16 進数) *safrc*; RACF RC (16 進数) *racfrc*; RACF 理由 (16 進数) *racfreas* (IRRSPW00: SAF RC (hex) *safrc*; RACF RC (hex) *racfrc*; RACF reason (hex) *racfreas*)

説明

呼び出し可能サービス IRRSPW00 でエラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKG660I **PWSET option** オプションは許可されません。まず **NOPROTECTED** を使用してください (**PWSET option not allowed - use NOPROTECTED first**)

説明

USER PWSET コマンドを使用して、保護ユーザーのパスワードおよびパスフレーズを変更することはできません。ユーザーのパスワードまたはパスフレーズを変更する前に、USER *userid* PWSET NOPROTECTED コマンドを使用して、対象ユーザー ID の保護状況を解除してください。

重大度

08

CKG661I **class profile** からプロファイル・データを読み取ることができませんでした (**Could not read profile data from class profile**)

説明

このメッセージは、示されている *profile* (の一部) を読み取ることができなかったことを示します。プロファイルは存在しますが、特定のセグメントが欠落している可能性があります。例えば、BINDPW フィールドが指定されているが、プロファイルに PROXY セグメントがない場合などです。DEBUG ICHEINTY を使用して詳細情報を確認してください。

重大度

08

CKG662I **class profile** にプロファイル・データを書き込むことができませんでした (**Could not write profile data to class profile**)

説明

このメッセージは、示されている *profile* を更新できなかったことを示します。これは、ターゲット・プロファイルが存在しないか、または CKGRACF USRDATA エン

トリーが多数あるためにプロファイルが大きすぎるものが原因である可能性があります。DEBUG ICHEINTY を使用して詳細情報を確認してください。

プロファイルが大きすぎる場合は、WIPE コマンドの実行後に、関連するコマンドを再追加することを検討してください。詳しくは、*IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル* の WIPE コマンドの説明を参照してください。

複数のプロファイルについてこのメッセージが発行される場合、または定期的にこのメッセージが発行される場合は、CKGRACF が期限切れのコマンドを監査目的でプロファイルに保持する期間が長すぎるものが考えられます。この設定は、SHOW CKRSITE コマンドによって検査できます。SHOW コマンドについては、*IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル* を参照してください。「CKRSITE Keep Command」パラメーターの値の変更については、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。

重大度

08

CKG663I プロファイル **class profile [vol(volser)]** を削除できませんでした (**Could not delete profile class profile [vol(volser)]**)

説明

このメッセージは、示されている *profile* を削除できなかったことを示します。これは、ターゲット・プロファイルが存在しないために発生した可能性があります。DEBUG ICHEINTY を使用して詳細情報を確認してください。

重大度

08

CKG664I プロファイル **class profile** が見つかりませんでした (**Profile class profile not found**)

説明

このメッセージは、示されている *profile* が見つからなかったことを示します。プロファイルが存在していない可能性があるか、またはタイプ入力エラーの可能性もあります。DEBUG ICHEINTY を使用して詳細情報を確認してください。

重大度

08

CKG665I コマンドの索引「*profile*」および *class* の CKGAUTH を判別できません (Unable to determine CKGAUTH for class and index "*profile*" for command)

説明

指定されたプロファイルの内部複数権限要件を判別できませんでした。

重大度

00

CKG666I UNTIL の日付が過去の日付であるため、時間指定の一時コマンドを実行できません (Unable to execute timed temporary command because UNTIL date is already past)

説明

一時コマンドが AT の日付から UNTIL の日付までにわたる期間にスケジュールされていましたが、UNTIL の日付までに実行されませんでした。今後このコマンドを実行することはできず、コマンドは強制的に期限切れになります。

重大度

08

CKG667I RACF コマンド実行が失敗しました (RACF command execution failed)

説明

待機コマンドを REFRESH 中に実行できませんでした。つまり、一時コマンドを取り消すことができない可能性があります。失敗したコマンドについて、手動でプロファイルを調べてください。

重大度

08

CKG668I コマンド *command* をリバースできません (Unable to reverse command *command*)

説明

示されているコマンドは一時的に発行される予定でした。しかし、コマンドの意味をリバースする操作が失敗しました。リバースは手動で行う必要があります。

重大度

08

CKG669I プロシージャ *name* で内部エラーが発生しました。理由: *reason* (Internal error in procedure *name*; reason: *reason*)

説明

このメッセージは、内部エラーが発生したことを示します。プロシージャ *name* と *reason* (存在する場合) を書きとめ、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKG670I コマンド *command* の索引 *index* と *class prefix* の racfdata へのアクセスが失敗しました (Access to racfdata failed for class *prefix* and index *index* for command *command*)

説明

racfdata プロファイルでは、ユーザーによる特定の RACF パラメーターまたは値の指定が許可されていません。*index* はパラメーターを示します。索引について詳しくは、「*IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル*」を参照してください。

重大度

08

CKG671I コマンドは既に削除されています (Command already deleted)

説明

これは、例えば有効期限切れなどで、複数の同一コマンドを削除する必要がある場合に発生します。

重大度

04

CKG672I スケジュール済みイベントは既に削除されています。(Scheduled event already deleted.)

説明

このメッセージは、重複するスケジュール済みイベントが削除されていることを示します。

重大度

04

CKG673I **IMBED** パラメーター **FILEDESC/PATH** と **DD/MEM** を同時に指定することはできません (**IMBED parameters FILEDESC/PATH mutually exclusive with DD/MEM**)

説明

このメッセージは、**FILEDESC/PATH** パラメーターが **DD/MM** パラメーターと組み合わせて使用されていることを示します。

重大度

12

CKG674I 質問 **Qnn** への回答が、不明な関数を使用してハッシュ化されています (**Answer to question Qnn hashed with unknown function**)

説明

質問 **Qnn** への回答が、不明な関数を使用してハッシュ化されているため、その形式が不明です。

重大度

08

CKG675I 質問 **Qnn** は **question** です (**Question Qnn is question**)

説明

このメッセージは質問 **nn** を示します。

重大度

00

CKG676I 質問による認証が失敗しました (**Authentication by questions failed**)

説明

一部の回答が正しくありません。

重大度

08

CKG677I 質問による認証が正常に完了しました (**Authentication by questions succeeded**)

説明

すべての回答が正しい内容です。

重大度

00

CKG678I 質問 **Qnn** をリストできませんでした (**Could not list question Qnn**)

説明

質問 **nn** は存在しないため、リストできません。

重大度

04

CKG679I 質問 **Qnn** を削除できませんでした (**Could not delete question Qnn**)

説明

質問 **nn** は存在しないため、削除できません。

重大度

08

CKG680I 質問 **Qnn** を検査できませんでした (**Could not verify question Qnn**)

説明

質問 **nn** は存在しないため、検査できません。

重大度

08

CKG681I ユーザー・プロファイルまたはグループ・プロファイル **profile** が見つかりません (**User or group profile profile not found**)

説明

ユーザー・プロファイルまたはグループ・プロファイル **profile** は存在しません。

重大度

04

CKG682I パスフレーズの変更内容が **package** パートナー・ノードに送信されません。 (**Password phrase change will not be sent to package partner nodes.**)

説明

このメッセージは、示されているサブシステムにより同期される RACF ノードでは、変更内容が使用可能にならないことを示します。同期されるコマンドは、PWSET PHRASE および PWSET PASSWORD のみです。

重大度

04

CKG683I パスフレーズの文字数が最小文字数未満です (Password phrase has fewer than minimum characters)

説明

以下の状態ではパスワード・フレーズの最小文字数が 9 文字になります。

- new-password-phrase 出口 (ICHPWX11) が存在し、CKGRACF の現在の実行中に異常終了していない。
- KDFAES パスワード・ハッシュ・アルゴリズムが使用されている。

上記の状態以外では、パスワード・フレーズの最小文字数は 14 文字です。

重大度

08

CKG684I [新規 | デフォルト] パスフレーズに、同じ文字が 3 文字以上連続して使用されています。 ([New | Default] password phrase contains more than 2 consecutive characters that are identical.)

説明

パスフレーズには同じ文字を 3 文字以上連続して使用することはできません。

重大度

08

CKG685I [新規 | デフォルト] パスフレーズには、2 文字以上の英字を含める必要があります。 ([New | Default] password phrase must contain at least 2 alphabetic characters.)

説明

パスフレーズには、2 文字以上の英字 (A から Z または a から z) を含める必要があります。

重大度

08

CKG686I

[新規 | デフォルト] パスフレーズには、2 文字以上の英字以外の文字を含める必要があります。 ([New | Default] password phrase must contain at least 2 non-alphabetic characters.)

説明

パスフレーズには、2 文字以上の英字以外の文字 (数字、句読点、または特殊文字) を含める必要があります。

重大度

08

CKG687I [新規 | デフォルト] パスフレーズにユーザー ID が含まれています。 ([New | Default] password phrase contains the user ID.)

説明

パスフレーズには、連続した大文字または小文字でユーザー ID を含めることはできません。

重大度

08

CKG688I 新規パスフレーズ出口で異常終了が発生しました - これ以降は抑止されます。 (ABEND in new-password-phrase exit - suppressed from now on.)

説明

インストール済み環境の新規パスフレーズ出口 ICHPWX11 の呼び出し中に異常終了が発生しました。現在の CKGRACF 実行中に、この出口が再度呼び出されることはありません。

重大度

08

CKG689I 待機コマンドのパスフレーズが不明な暗号化方式で双方向暗号化されています。 (Password phrase in queued command two-way encrypted with unknown method.)

説明

待機コマンドに使用不可能なデータが含まれています。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コ

マンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKG690I ユーザー *userid* の [新規 | デフォルト] パスフレーズを暗号化できませんでした。(Could not encrypt [New | Default] password phrase for user *userid*.)

説明

新規パスフレーズを暗号化できなかったため、ターゲット・ユーザー *userid* に対する USER コマンドは実行されませんでした。DEBUG SAFRC を使用して RACROUTE 戻りコードを確認してください。メッセージ CKG406I に、RACROUTE 暗号化戻りコードが示されています。

重大度

08

CKG691I パスフレーズ・ヒストリーに [新規 | デフォルト] パスフレーズが含まれています。([New | Default] password phrase occurs in password phrase history.)

説明

ユーザーのパスフレーズ履歴に新規パスフレーズが含まれています。新規パスフレーズは設定されません。

重大度

08

CKG692I [新規 | デフォルト] パスフレーズが、新規パスフレーズ出口で許可されていません。([New | Default] password phrase not allowed by new-password-phrase exit.)

説明

新規パスフレーズが、インストール済み環境の新規パスフレーズ出口 ICHPWX11 により許可されていませんでした。この新規パスフレーズは使用されません。

重大度

08

CKG693I **RACLINK ID(*userid*) UNDEFINE(*node.id*) が失敗しました - アソシエーションが見つかりませんでした (RACLINK ID(*userid*) UNDEFINE(*node.id*) failed - no association found)**

説明

userid プロファイルで、ローカル・ノードのユーザー *userid* とノード *node* のユーザー *id* の間のユーザー ID アソシエーションが見つかりませんでした。このため、指定されたアソシエーションは未定義にされませんでした。

重大度

08

CKG694I **[NOPASSWORD | NOPHRASE] オプションは許可されません。まず [PHRASE | PASSWORD] を追加するか、または PROTECTED を使用してください ([NOPASSWORD | NOPHRASE] option not allowed - add a [PHRASE | PASSWORD] first or use PROTECTED)**

説明

USER PWSET NOPASSWORD コマンドはパスワードなしで、USER PWSET NOPHRASE コマンドはパスフレーズなしで、ユーザーを作成します。

ユーザーの処置

他のフィールドに値を割り当てるか、または USER PWSET *userid* PROTECTED コマンドを使用してユーザーを保護状態にしてください。

重大度

08

CKG695I **SERVERTOKEN=*name* のアクティブなサーバーがありません (There is no server active with SERVERTOKEN=*name*)**

説明

SERVERTOKEN=*name* を使用して zSecure Server にアクセスしようとしたのですが、指定されたサーバー・トークンを持つアクティブなサーバーを見つけられませんでした。

ユーザーの処置

ISPF ユーザー・インターフェースの実行時に SETUP RUN でサーバー・トークンが正しいかどうかを確認し

てください。トークンが正しい場合は、サーバーがまだ稼働していることを確認します。サーバーが稼働していない場合は、再始動してください。

重大度

00

CKG696I サーバーへのクライアント 接続に失敗しました **RC=decnum (Client connection to server failed RC=decnum)**

説明

zSecure Server にアクセスしようとしたのですが、指示された戻りコードで失敗しました。サーバー・アクセスを必要とする 1 つ以上のフィールドが指定されていた場合は、それらのフィールドを検査できませんでした。

戻りコード値:

- 2** 前のサーバー・エラー CKN メッセージを参照してください。このメッセージの前に、サーバーの ZSECSYS 名が示されます。
- 4** バッファにすべては適合しなかった
- 8** サポートされない関数
- 12** クライアントとして許可されていない呼び出し元
- 16** 無効なパラメーター

ユーザーの処置

このメッセージの前の CKN* サーバー・メッセージを探し、そのガイダンスに従ってください。2 よりも大きい戻りコードの場合は、サーバーを再始動して、問題がなくなったかどうかを確認してください。

重大度

00

CKG697I デフォルト・パスフレーズを設定できるのは、**KDFAES** アルゴリズムを使用している場合のみです。
(Default password phrase can only be set when using the KDFAES algorithm.)

説明:

PWDEFAULT PHRASE サブコマンドがサポートされるのは、KDFAES パスワード・ハッシュ・アルゴリズムが使用されている場合のみです。現在のパスワード・アルゴリズムは、SETROPTS PASSWORD(ALGORITHM(KDFAES)) コマンドを使用して変更できます。

重大度

08

CKG698I **KDFAES** がこのシステムではサポートされていないため、**USER RECREATE [password | password phrase]** 拡張は使用できません (**No USER RECREATE [password | password phrase] extension is allowed because KDFAES is not supported on this system**)

説明:

このシステムでは、KDFAES はサポートされていません。そのため、パスワードまたはパスワード・フレーズの後にパスワード拡張またはパスワード・フレーズ拡張がある場合に、USER RECREATE コマンドに ENCRYPTED_PASSWORD または ENCRYPTED_PHRASE のオプションを指定することはできません。

重大度

08

CKG699I *user* の最終使用時刻が設定されたか、ユーザー ID が使用されました (**Last-use time of user has been set or the user ID has been used**)

説明

USER RECREATE コマンドがユーザー ID *user* に適用されましたが、*user* の最終使用時刻は ALTUSER コマンド、CKGRACF コマンド、またはユーザー ID の使用によって設定されました。最終使用時刻が設定されたユーザー ID に USER RECREATE コマンドを適用することはできません。詳しくは、「IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF ユーザー・リファレンス・マニュアル」の CKGRACF USER コマンドの説明を参照してください。

重大度

08

CKG メッセージ 700 から 799

CKG700I *file* の行 *number* では、*type* の「*value*」ではなく **10 進数値が必要でした (Expected decimal value instead of type "value" at file line number)**

説明

このメッセージは、10 進数の値が予期される場所で 10 進数以外の値が検出されたことを示します。

重大度

12

CKG701I 値 *value* (**10 進数**) は大きすぎます (**Value value (decimal) too large**)

説明

このメッセージは、読み取られた値が大きすぎるためにフィールドに収まらないことを示します。*value* は、10 進数値への変換後に読み取られた値を示します。

重大度

12

CKG702I 値 *value* (**10 進数**) が最小値 *minimum* 未満です (**Value value (decimal) less than minimum minimum**)

説明

このメッセージは、読み取られた値が、示されているフィールドの最小値よりも小さいことを示します。*value* は、10 進数値への変換後に読み取られた値を示します。

重大度

12

CKG703I 値 *value* (**10 進数**) は最大値 *maximum* を超えています (**Value value (decimal) larger than maximum maximum**)

説明

このメッセージは、読み取られた値が、示されているフィールドの最大値を超えていることを示します。*value* は、10 進数値への変換後に読み取られた値を示します。

重大度

12

CKG704I ストリング *string* の「*character*」変換中にエラーが発生しました (**Error during 'character' conversion of string string**)

説明

このメッセージは、ストリングをバイナリー、10 進数、または 16 進数から変換中にエラーが発生したことを示します。*character* は、試行された変換のタイプを示します。これが示されない場合は、変換中に異常終了が発生しています。

重大度

12

CKG705I 無効な変換文字「*character*」(**Invalid conversion character 'character'**)

説明

このメッセージは、引用符付きストリングの後に続く変換文字が現行コマンドではサポートされていないことを示します。現行コマンドでサポートされている唯一の変換文字は、「X」(16 進数からの変換)と「C」(大文字/小文字の維持)です。

重大度

12

CKG706I 長さ *length* のストリングは、予期されているサイズ *size* を超えています (**String with length length is longer than expected size size**)

説明

このメッセージは、読み取られたストリングの長さが示されている *length* であったことを示します。このストリングは大きすぎるため、最大サイズが *size* のフィールドに収まりません。

重大度

12

CKG707I *file* の行 *number* ではキーワード「*keyword*」は使用できません (**Keyword 'keyword' not allowed at file line number**)

説明

このメッセージは、現行コマンドの有効オプションとして認識されているキーワードが検出されたが、このキーワードは現行位置には指定できないことを示します。

重大度

12

CKG708I キーワード「*keyword one*」と「*keyword two*」を同時に *file* の行 *number* に指定することはできません (Keywords '*keyword one*' and '*keyword two*' are mutually exclusive at *file line number*)

説明

このメッセージは、現行コマンドのオプションとして有効であるが、同時に指定できない2つのキーワードが検出されたことを示します。示されている位置は、2番目のキーワードの位置です。

重大度

12

CKG709I クラス「*class*」は *file* の行 *number* には指定できません (Class '*class*' not allowed at *file line number*)

説明

このメッセージは、現行コマンドで使用できないクラスが指定されていることを示します。

重大度

12

CKG710I 「*string*」は有効なユーザー/グループ ID ではありません。サイズが 8 を超えています。 ('*string*' is not a valid user/groupid, size > 8)

説明

このメッセージは、8文字よりも長い無効なユーザー ID またはグループ ID が指定されていることを示します。

重大度

12

CKG711I 無効なプロファイル・タイプ「*character*」です (Invalid profile type '*character*')

説明

このメッセージは、RDELETE または USRDATA コマンドに無効な変換文字が指定されていたことを示します。これらのコマンドで有効な変換文字は「D」(個別) または「G」(総称) です。RDELETE コマンドで有効な変換文

字は、「C」(大/小文字を維持) および「X」(16進数からの変換) です。

重大度

12

CKG712I インターバル値が SETROPTS 最大値 *maximum* を超えています (Interval value larger than SETROPTS maximum *maximum*)

説明

このメッセージは、USER コマンドに指定されている間隔が、SETROPTS PASSWORD(INTERVAL) コマンドにより設定されるシステム定義の最大値を超えていることを示します。

重大度

12

CKG713I キーワード「*keyword*」はバッチ・モードまたは APPC モードでは使用できません (Keyword '*keyword*' not allowed in batch or APPC mode)

説明

指定されたキーワードは、バッチ・モードでは使用できません。

重大度

12

CKG714I PWDEFAULT のデフォルト・オプション「**PROMPT**」は、バッチ・モードまたは APPC モードでは使用できません (PWDEFAULT default option '**PROMPT**' not allowed in batch or APPC mode)

説明

USER PWDEFAULT コマンドのデフォルト・オプションは、バッチ・モードでは使用できません。

重大度

12

CKG715I CNG* USRNM 値は予約されています (CNG* USRNM values are reserved)

説明

USRDATA コマンドに CNG で始まる索引値が指定されています。この索引は CKGRACF による使用のために

予約されており、USRDATA コマンドを使用してアクセスすることはできません。CKGRACF 設定をリストするには、LIST コマンドを使用します。

重大度

12

CKG716I 開始日は終了日よりも前の日付でなければなりません (**Start-date must be earlier than end-date**)

説明

USER SCHEDULE コマンドでは、指定する開始日が指定する終了日よりも前の日付でなければなりません。

重大度

08

CKG717I 左マージンが右マージンを超えることはできません (**Left margin cannot exceed right margin**)

説明

MARGINS(x,y) コマンドでは、x(左マージン)がy(右マージン)を超えることはできません。

重大度

12

CKG718I 入力エラーが原因で **CKGRACF** が終了しました (**CKGRACF terminated due to input errors**)

説明

前のメッセージに、プログラム・パラメーターまたはコマンド入力ファイルのエラーが示されています。CKGRACF は、入力の構文が誤っている場合はコマンドを実行しません。エラーを訂正し、プログラムを再実行してください。

重大度

12

CKG719I スケジュール日として本日以降の日付を指定する必要があります (**Schedule date must be today or in the future**)

説明

USER SCHEDULE REQUEST コマンドでスケジュール日として過去の日付を指定しました。要求されるスケジュール日は、本日以降の日付でなければなりません。無効な形式で入力された日付はゼロ (01JAN1900) として

読み取られるため、このような日付が原因でこのメッセージが発行されることがある点に注意してください。

重大度

12

CKG720I 日付「*date*」は無効です (**Invalid date 'date'**)

説明

指定された日付の形式が無効であったか、または無効な日付でした。日付の形式は 01jan2000 (ISO 日付) または 2001/365 (ユリウス日付) です。うるう年以外の年の 2 月 29 日は、無効な日付です。

重大度

12

CKG721I 個別データ・セット・プロファイルは使用できません (**Discrete dataset profiles not allowed**)

説明

USRDATA コマンドで、データ・セット・プロファイルに対して「D」変換文字を指定しました。個別データ・セット・プロファイルの「USR」フィールドは CKGRACF でサポートされていません。

重大度

12

CKG722I パスワード要求にはパスワード値を指定する必要があります (**Password value must be specified for password request**)

説明

要求に USER PWSET PASSWORD コマンドまたは USER PWDEFAULT PASSWORD コマンドを指定しました。この場合、PASSWORD オプションの後の括弧内にパスワード値を指定する必要があります (例: PASSWORD(SECRET))。パスワード値は、REQUEST 以外のアクションではオプションです。

重大度

12

CKG723I **CLASS class** に指定できるオプションは **QUEUE** および **TAG** のみです (**Only option QUEUE or TAG allowed with CLASS class**)

説明

USER 以外のすべてのクラスの場合、LIST コマンドに指定できるオプションは QUEUE と TAG のみです。これらのクラスのデフォルトは QUEUE オプションです。

重大度

12

CKG724I **CMD にコマンドが指定されていません (No command specified for CMD)**

説明

CMD コマンドのコマンド行で RACF コマンドが見つかりませんでした。

重大度

12

CKG725I **本日より前の日付を開始日にすることはできません (Start-date cannot be earlier than today)**

説明

CMD コマンドの AT に、過去の日付を指定しました。

重大度

08

CKG726I **アクティブなコマンドが指定されていないため、CKGRACF が終了しました (No active commands specified, CKGRACF terminated)**

説明

CKGRACF への入力にアクティブなコマンドを指定しませんでした。非アクティブ・コマンドは、DEBUG、INCLUDE、および SUPPRESS です。

重大度

12

CKG727I **command コマンドには 1 つ以上のオプションが必要です (At least one option is required for the command command)**

説明

コマンド *command* には 1 つ以上のオプションが必要ですが、指定されていません。

重大度

12

CKG728I **PWNO* キーワードを指定する場合は、追加キーワードが必要です (PWNO* keywords require an additional keyword)**

説明

このメッセージは、PWNOEXIT、PWNOHIST、または PWNORULE が USER コマンドの唯一のキーワードとして定義されている場合に発行されます。これらのキーワードを指定する場合は、この指定が有効となるために別のキーワード (PWSET など) が必要です。

重大度

12

CKG729I **日付値「value」の 2 桁の年があいまいです (Date value 'value' 2-digit year is ambiguous)**

説明

この抑止可能メッセージは、2 桁の年が検出されたことを示します。デフォルトでは、2000 年問題関連の混乱を避けるため、これは許可されていません。これが後方互換性に関する問題の場合は、このメッセージを抑止することができます。この場合、2 桁の年はすべて 20 世紀の年として解釈されます (後方互換性のため、この 2 桁の値の前に 19 が付きます)。

重大度

12

CKG730I **日付「date」が 2069 年より後の日付です (Date 'date' is beyond the year 2069)**

説明

このメッセージは、2069 年よりも後の日付が検出されると発行されます。このような日付の原因としてはタイプミスが考えられます。

重大度

04

CKG731I **質問 ID が必要でした (Question identifier expected)**

説明

QUESTION アクション (SET、VERIFY、LIST、または DELETE) の後に単語が指定されている場合、この単語は

質問 ID Qnn でなければなりません (nn は 100 未満の負でない整数)。

重大度

12

CKG732I パスフレーズ要求にはパスフレーズ値を指定する必要があります。
(Password phrase value must be specified for password phrase request.)

説明

要求に USER PWSET PHRASE コマンドを指定しました。この場合、PHRASE オプションの後の括弧内にパスフレーズ値を指定する必要があります (例: PHRASE('This is a secret'))。パスフレーズ値は、REQUEST 以外のアクションではオプションです。

重大度

12

CKG733I フィールド *field* は z/OS v.r 以下ではサポートされていません - このフィールドは無視されます (Field *field* not supported on z/OS v.r and below - field ignored)

説明

USER プロファイルの *field* フィールドは、z/OS バージョン *v* リリース *r* 以下ではサポートされていません。CKGRACF FIELD コマンドを使用してこのフィールドを読み取る操作または設定する操作は無視されます。

重大度

04

CKG734I パスワード・ストリングが 8 バイトを超えています (Password string longer than 8 bytes)

説明

CKGRACF USER PWDEFAULT コマンドまたは CKGRACF USER PWSET コマンドに入力されたパスワードが 8 バイトを超えています。RACF では長さが 8 バイト以下のパスワードがサポートされています。短いパスワードを選択してください。

重大度

12

CKG735I CMS では CKGRACF は稼働しません (CKGRACF does not run under CMS)

説明

CKGRACF は z/OS でのみ稼働します。z/OS でこのメッセージが表示される場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKG736I 無効な複数権限要件 *value* (Invalid multiple-authority requirement *value*)

説明

CKRSITE モジュールで設定された複数権限要件に、不明な値 *value* が設定されています。これは、インストールでのエラーを示します。

重大度

20

CKG737I 待機コマンドの有効期間 (*value*) が監査期間 (*value*) よりも大きくなっています (Queued command expiration time (*value*) larger than auditing period (*value*))

説明

待機コマンドの有効期間と CKRSITE モジュールで設定されている監査期間が競合しています。これは、インストールでのエラーを示します。

重大度

20

CKG738I *explanation*; RACROUTE REQUEST=STAT の戻りコード:
SAFRC=*safrc* RACFRC=*racfrc*
RSNCODE=*rsncode* (*explanation*);
RACROUTE REQUEST=STAT
returned with SAFRC=*safrc*
RACFRC=*racfrc*
RSNCODE=*rsncode*)

説明

CKRSITE モジュールで設定されているクラスが使用可能かどうかを判別する RACROUTE REQUEST=STAT 呼び出しが、RACF またはクラスが使用可能でないことを示しています。*explanation* には、メッセージ (16 進数) に示されている戻りコードの判読可能な形式の説明が示されます。

重大度

20

CKG739I **1.8 以上の RACF が必要です (RACF >= 1.8 required)**

説明

1.8 より前の RACF バージョンがアクティブです。CKGRACF を使用するには、RACF バージョン 1.8 以上が必要です。

重大度

20

CKG740I **CKGRACF は APF 許可で実行する必要があります (CKGRACF must run APF-authorized)**

説明

CKGRACF は APF 許可で実行する必要があります。これは、PARMLIB メンバー IKJTSOxx の TSO 許可コマンド・リスト (AUTHCMD) に CKGRACF を含めないことが原因となる場合もあります。TSO PARMLIB コマンドを使用することによって、IPL を実行せずにこのメンバーへの変更を活動化できます。PARMLIB コマンドについて詳しくは、「TSO/E システム・プログラミング・コマンド解説書」を参照してください。

重大度

20

CKG741I **TCB または ASXB からの ACEE が見つかりませんでした (No ACEE could be found from TCB or ASXB)**

説明

CKGRACF は、現行ユーザーの ACEE を検出できませんでした。

重大度

20

CKG742I **CKGPRINT および SYSTEM が割り振られず、TSO がありません。CKGRACF は終了しました。(Neither CKGPRINT nor SYSTEM allocated and no TSO; CKGRACF terminated)**

説明

このメッセージは、CKGPRINT と SYSTEM が割り振られない場合に出力されます。この場合 CKGRACF は出

力を生成できないため、コマンドの解析または実行前に終了します。

出力を TSO 端末に直接送信するには、CKGRACF コマンドの前に TSO コマンド ALLOC FILE(CKGPRINT) DA(*) を実行してください。後で FREE FILE(CKGPRINT) を使用して CKGPRINT を解放できます。

重大度

16

CKG743I **SYSTEM が割り振られていません (No SYSTEM allocated)**

説明

このメッセージは、SYSTEM が割り振られていない場合に発行されます。すべての出力は CKGPRINT に出力されます。

重大度

00

CKG744I **プロファイル名の位置 *position* に無効文字 *character* が含まれています (Profile name contains invalid character *character* at position *position*)**

説明

プロファイル名の入力ストリングに、プロファイル名で使用できない文字が含まれているため、この入力ストリングは無効です。

重大度

12

CKG745I **パスフレーズは単一引用符で囲む必要があります。(Password phrase must be enclosed in single quotes.)**

説明

PWSET PHRASE オプションではパスフレーズ値を単一引用符で囲む必要があります (例: PHRASE('This is a secret')). 単一引用符をパスフレーズの一部として使用する場合、それぞれの単一引用符を二重にして使用する必要があります (例: PHRASE("This is a "quoted" secret")).

重大度

12

CKG746I **パスフレーズの文字数が *maximum* 文字を超えています。(Password**

phrase has more than *maximum* characters.)

説明

パスフレーズの最大文字数は *maximum* 文字です。

重大度

12

CKG747I パスフレーズの文字数が *minimum* 文字未満です (Password phrase has fewer than *minimum* characters)

説明

パスフレーズの最小文字数は *minimum* 文字です。

重大度

12

CKG748I UNDEF パラメーターは「(NODE_NAME.USERID)」でなければなりません (UNDEF parameter must be '(NODE_NAME.USERID)')

説明

USER *userid* RACLINK UNDEF コマンドの UNDEF パラメーターの後に、(*node.id*) 以外の値が指定されていました。UNDEF(*node.id*) にはスペースを含めてはならない点に注意してください。ノード *node* とユーザー *id* の間に 1 つのドット (.) が必要です。

重大度

12

CKG749I CKGRACF コマンドは NODE() とともに使用する場合にのみ許可されています (CKGRACF command only allowed with NODE())

説明

CKGRACF CMD コマンド内では、別の zSecure ノードに送信する目的でのみ、ネストされた CKGRACF コマンドが許可されています。そのためには、CKGRACF CMD コマンドの NODE(*node*) オプションが必要です。

重大度

12

CKG750I フィールド *field* は、*file* の行 *number* にあるクラス *class* プロファイルでは許可されません (Field *field* is not allowed with a class *class* profile at *file* line *number*)

説明

クラス *class* プロファイルはフィールド *field* を持つセグメントをサポートしないため、このフィールドはクラス *class* プロファイルに関連する FIELD コマンドでは設定できません。

重大度

12

CKG750I フィールド *field* は、PARM スtring 内のクラス *class* プロファイルでは許可されません (Field *field* is not allowed with a class *class* profile in PARM string)

説明

クラス *class* プロファイルはフィールド *field* を持つセグメントをサポートしないため、このフィールドはクラス *class* プロファイルに関連する FIELD コマンドでは設定できません。

重大度

12

CKG メッセージ 800 から 899

CKG834I..CKG 836I message

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

0

CKG837I *address* の CKGSRVIN の IDENTIFY RC=*n* (IDENTIFY RC=*n* for CKGSRVIN at *address*)

説明

このメッセージは、示されたアドレスで示されたモジュール名を設定する IDENTIFY サービスの失敗を示します。

ユーザーの処置

IDENTIFY サービスについては、MVS 資料を参照してください。

重大度

12

CKG841I **重大な function エラー [msg] PC RC=n - ユーザー異常終了 841 を発行します (Severe function error [msg] PC RC=n - issuing user abend 841)**

説明:

リモート・ノードからの読み取り中 (SRVIN) またはリモート・ノードへの書き込み中 (SRVOU) に、サーバーのプログラム呼び出しインターフェースからエラー状態が返されました。function は SRVIN または SRVOU であり、メッセージ・タイプ msg が示される場合もあります。

ユーザーの処置:

サーバーがアクティブであることを確認してから、サーバーを再始動して再試行してください。

重大度:

16

CKG842I **SPECPROC から、範囲外の長さが返されました R0=xxxxxxx - ユーザー異常終了 842 を発行します (SPECPROC returned length out of range R0=xxxxxxx - issuing user abend 842)**

説明

このメッセージは、zSecure Server に関連する内部インターフェースの 1 つが予期しない長さを受け取り、異常終了を発行したことを示します。

ユーザーの処置

IBM サポート・サイトで、このメッセージを検索してください。解決策が投稿されていない場合は、ローカル側およびリモート側の SYSPRINT を収集して、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG845I **module CKNSRVIR キュー file メッセージ type 送信元 zsecsys 長さ length 理由 zsecsys2 ファイル file2 の待機中 (module CKNSRVIR**

queue file message type from zsecsys length length because waiting on zsecsys2 file file2)

説明

このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKG846I **module CKNSRVIR リターン・キュー file メッセージ type 送信元 zsecsys 長さ length (module CKNSRVIR return queued file message type from zsecsys length length)**

説明:

このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

00

CKG851I **ローカル CKNSERVE サーバーが使用できなくなります (ユーザー異常終了 214 (x'0D6')) (Local CKNSERVE server no longer available (user abend 214 (x'0D6')))**

説明

zSecure Server プログラムが終了シーケンスを実行している間に、このプログラムへのプログラム呼び出しが試行されました。

ユーザーの処置

アクションは不要です。この問題に関するサポートが必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKG874I RECFM=V(BS) RDW hex が、レコード *n ddname volser dsname* で LRECL=*lrecl* を超えています (RECFM=V(BS) RDW hex exceeds LRECL=*lrecl* at record *n ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

CKG メッセージ 900 から 999

CKG904I ファイル *file vol dsn(member)* を読み取るには無条件アクセス権限が必要です (Unconditional access is required to read from file *file vol dsn(member)*)

説明

SYSIN 入力として、条件付き (PADS) アクセス権限のみが付与されているデータ・セットが要求されました。このタイプのデータを読み取るには、無条件読み取りアクセス権限が必要です。そのデータ・セットは処理されません。

重大度

12

CKG905I ファイル *ddname* データ・セット *dsn* からの読み取りにはメンバー名が必要です (A member name is required to read from file *ddname* data set *dsn*)

CKG875I RECFM=V(BS) BDW hex が、レコード *n ddname volser dsname* で BLKSIZE=*blksize* を超えています (RECFM=V(BS) BDW hex exceeds BLKSIZE=*blksize* at record *n ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

説明

PDS(E) データ・セットを参照する組み込みステートメントが指定されていましたが、このデータ・セットから読み取るメンバーが指定されていませんでした。組み込みステートメントに正しいメンバーを追加して、照会を再実行依頼してください。

重大度

12

CKG907I DYNALLOC トレース: SVC 99 戻りコード *nn - meaning* (DYNALLOC trace: SVC 99 return code *nn - meaning*)

説明

このメッセージは、SVC99 の失敗により、DAIRFAIL がメッセージ・テキストを返さなかった場合に発行されます。これには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度

00

CKG915I UNIX レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn* [meaning] 理由 *qqqq rrrrx* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX write record *nn* failed RC *nn* [meaning] reason *qqqq rrrrx* [meaning] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

CKG919I 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました (Record with negative length *length* directed to *ddname* behind record *recno*)

説明

無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKG931I *proc*: バッファオーバーラン - *dln=destinationlength* *sln=sourcelength:: data* (*proc*: Buffer overrun - *dln=destinationlength* *sln=sourcelength:: data*)

説明

フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使

用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKG934I 値 *value* が大きすぎます (Value *value* too large)

説明

このメッセージは、入力パーサーが受け取った数値が大きすぎたことを示します。入力パーサーにより処理可能な最大値は 2147483647 です。

重大度

12

CKG938I アテンションが繰り返されています。C (続行) T (終了) または A (異常終了) を入力してください - (Repeated ATTN, enter C(ont) T(erminate) or A(bend) -)

説明

この対話式プロンプトは、アテンションが繰り返された後で、プログラムを終了または異常終了するためのオプションを提供します。

CKG939I アテンションが繰り返されたために終了しました (Terminated due to repeated attention)

説明

CKR938I プロンプトで T を選択した場合に出力されるメッセージです。

重大度

16

CKG942I 製品コード *code* の環境が一致しません (Environment mismatch for product code *code*)

説明

このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度

00

CKG944I UNIX *type* のクローズ RC *nn* [meaning] 理由 *qqq rrrr x* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX *type* close RC *nn* [meaning] reason *qqq rrrr x* [meaning] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

type は「wronly」または「rdonly」のいずれかです。

重大度

16

CKG945I UNIX *action* が失敗しました。RC *nn* [meaning] 理由 *qqq rrrr x* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX *action* failed RC *nn* [meaning] reason *qqq rrrr x* [meaning] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1OPN または BPX1FCT 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。*action* は「wronly open」、「fcntl filetag」、または「rdonly open」です。

重大度

16

CKG947I filedesc *off* の読み取りが失敗しました RC *nn* [meaning] 理由 *qqqq rrrr x* [meaning] ファイル *ddname path* (Reading filedesc *off* failed RC *nn* [meaning] reason *qqqq rrrr x* [meaning] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

CKG948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (Enablement information corrupt for product code *code*)

説明

このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度

16

CKG949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (Product code *code* installed and non-APF registration limit exceeded)

説明

このメッセージは、インストールされたものの、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 限度を超えていたために登録できない製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

ユーザーの処置

CKGRACF を許可された状態で実行する必要があります。

重大度

00

CKG950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (Code not installed here for product code *code*)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度

16

CKG951I モジュール *modulett* のロード試行中にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました (**system abend code (desc) trying to load modulemodulett**)

説明

このメッセージは、モジュールのロードに失敗したことで、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了 306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていなかったことを意味する可能性があります。

重大度

08

CKG955I *program task heap* ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (**program task heap STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE**)

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG962 *message*

説明:

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。同等のメッセージ CKR0962 を参照してください。

CKG962A アテンションによりコマンドが終了しました (**Command terminated by attention**)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ATTN キーを押すことでコマンドを終了したことを示します。

重大度

10

CKG962B コマンドはバックグラウンドではサポートされていません (**Command not supported in background**)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO サービス機能を通してコマンドを実行できなかったことを示します。これは、PARMLIB メンバー IKJTSOxx の TSO 許可コマンド・リスト (AUTHCMD) に CKGRACF を含めないことが原因となる場合もあります。TSO PARMLIB コマンドを使用することによって、IPL を実行せずにこのメンバーへの変更を活動化できます。PARMLIB コマンドについて詳しくは、「TSO/E システム・プログラミング・コマンド解説書」を参照してください。

重大度

16

CKG962C コマンドは失敗しました *abend code* (**Command failed abend code**)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示された *abend code* でコマンドが異常終了したことを示します。

重大度

12

CKG962E TSO/E 環境で実行されていません (**Not running in a TSO/E environment**)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、コマンド環境が TSO/E でないため、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度

16

CKG962F コマンドは失敗しました。戻りコード *code* (10 進数) (**Command failed, return code code (decimal)**)

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、コマンドに失敗して、示された結果コードが返されたことを示しています。このメッセージの前のメッセージが CKG740I の場合、CKG740I の説明を参照してください。その他すべての状況の場合、実行されたコマンドを判別し、該当するマニュアルを確認して可能性のある戻りコードを調べてください。RACF コマンドの場合、戻りコードは「RACF コマンド言語解説書」に記載されています。

重大度

08

CKG962I **IKJTSOEV モジュールが見つかりませんでした (IKJTSOEV module not found)**

説明

TSO 環境を確立しようとしたのですが、TSO 環境初期化ルーチン IKJTSOEV が見つかりませんでした。通常、IKJTSOEV はリンク・リストにあります。このため、TSO コマンド実行試行時に検出された場合は戻りコード 20 が返され、それ以外の場合は 8 が返されます。

重大度

08

CKG962L **コマンドが許可ライブラリーで見つかりませんでした。(Command could not be found in an authorized library.)**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度

16

CKG962M **コマンドが失敗した可能性があります。戻りコード *n* (Command may have failed, return code *n*)**

説明

このメッセージは、コマンドが 4 以下でゼロ以外の戻りコードを返したことを示します。このメッセージでは、

最小戻りコードは 4 になります。このエラーが部分的な失敗または警告のいずれであるかは、コマンドによって異なります。

重大度

04

CKG962N **APF モードからのコマンドは許可されていません - *command* (Command not allowed from APF mode - *command*)**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示されたコマンドが TSO AUTHCMD リスト内になく、APF 許可プログラムから呼び出される安全なコマンドの組み込みリストにもないことを示します。このコマンドをユーザー自身が要求した場合は、APF 許可のない状態で実行するか、または IKJEFT01 を使用して実行してください。組み込み関数に対する応答としてこのメッセージが返された場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG962O **コマンドが TSO スタックをフラッシュしました - 出力トラップ・ファイルを閉じるために再ログオンが必要です (Command has flushed TSO stack - relogon required to close output trap file)**

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは通常、後続のコマンド出力が CKGPRINT ファイルに書き込まれないことを意味します。これは、CKGRACF 終了後に行モードで表示されるか、または失われる可能性があります。z/OS のリリースによっては、通常の動作を復元するには ISPF を終了してから再度開始するだけでよいことがあります。最悪の場合は、再ログオンが必要となります。

重大度

00

CKG962P **% を介した CLIST 処理はサポートされていません (CLIST processing through % not supported)**

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。 % 演算子を使用して CLIST を実行しようとしたことを示します。CLIST の実行はサポートされていません。

重大度

16

CKG962S **IKJEFTSR が失敗しました。戻りコード *error* 理由コード *reason* (IKJEFTSR fails return code *error* reason code *reason*)**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。示されているエラー・コードと理由コードがコマンドから返されました。

重大度

16

CKG962T **コマンドが失敗しました ATTACH rc (10 進数) (Command failed, ATTACH rc rc (decimal))**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを付加できなかったことを示します。

重大度

16

CKG962U **許可環境から許可されていない関数を呼び出すことはできません (Unauthorized functions cannot be invoked from an authorized environment)**

説明

このメッセージは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG962W **コマンドが見つかりません (Command not found)**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度

16

CKG962X **コマンド名の構文エラー (Syntax error in the command name)**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドの名前が構文的に正しくなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度

16

CKG963I **名前があいまいです: 「*value*」 (Ambiguous name "*value*")**

説明

このメッセージは、あいまいな省略語 (複数のキーワードを示す可能性がある省略値など) が入力されたことを示します。目的のキーワードをより詳細に指定してください。

重大度

12

CKG968I **IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (IFAEDDRG failed RC *nn* decimal)**

説明

このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの](#)

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG969I *dsn* の入出力エラー: *description*
(I/O error for *dsn*: *description*)

説明

このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度

08

CKG970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (FREE STORAGE ERROR): *message*

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG971I *file* の行 *n* におけるこの *field* の最大長は *len* です (Maximum length for this field is *len* at file line *n*)

説明

入力に含まれている複数行ストリングが長すぎます。複数行ストリング (出力タイトルおよび引用符付きストリング) の最大サイズは *len* ですが、この最大サイズを超えました。

重大度

12

CKG972I *product* の使用可能化情報がありません (Enablement information missing for *product*)

説明

このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度

16

CKG973I IBM セキュリティー製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product code *code* disabled or not installed)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKG974I IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません IBM Security *product* disabled or not installed here for requested focus

説明

製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKG975I IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed**)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKG976I 製品コード *code* のコードまたは使用可能化がありません (**Code or enablement for product code code is missing**)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKG976 IBM セキュリティー *product or feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product or feature disabled or not installed here**)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKG977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能 ('*feature*') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (**Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME('name') FEATURE('feature') VER(*version*) REL(*release*) MOD(*modification*)**)
[製品 *action RC rc 10* 進数]
([Product *action RC rc decimal*])

説明

このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。*action* は、"registration" または "status" になります。戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、CKG979I のため)。

重大度

00

CKG978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (**Product code code has been disabled in PARMLIB**)

説明

このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して無効になっている製品について DEBUG LICENSE への応答として発行されます。

ユーザーの処置

製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度

00

CKG979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (**Product code code implied by other**)

説明

このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に、DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

重大度

00

CKG981I *type* 「*value*」が無効です (**Invalid type "value"**)

説明

このメッセージは、テキスト *value* がコンテキスト *type* で有効な値でないことを示します。

重大度

12

CKG982I 内部エラー: *ddname* の行 *number* におけるエラー・コードが不明です (**Internal error: unknown error code at *ddname* line number**)

説明

入力パーサー・エラー・ルーチンで無効なエラー・コードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKG983I *ddname* の行 *number* では、リスト区切り文字/終了文字として *type* 「*value*」ではなく *typ1* が必要です (**Expecting *typ1* list separator/terminator instead of type "value" at *ddname* line number**)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、示されたタイプの現行リストのリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーター (コンテキストに応じてコンマ、空白、行末など) を予期したことを示します。代わりに、示されているトークン・タイプ *type* (およびテキストがある場合は *value*) が検出されました。入力パーサーは、現在の

リストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度

12

CKG984I *ddname* の行 *number* で無効な *type* リスト・エレメント・タイプ *type* 「*value*」が検出されました (**Invalid type list element type "value" at *ddname* line number**)

説明

このメッセージは、入力パーサーが指定されたタイプのリスト・エレメントを予期したが、このコンテキストのリスト・エレメントとしてサポートされないタイプのトークンを検出したことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度

12

CKG985I *ddname* の行 *number* に必須リスト・エレメント/パラメーター「*value*」がありません (**Required list element/parameter "value" missing at *ddname* line number**)

説明

このメッセージは、入力パーサーによって、リスト内の示された行に必要なパラメーターまたはエレメントがないことが検出されたことを示します。

重大度

12

CKG986I *ddname* の行 *number* でパラメーター *value* が重複しています (**Duplicate parameter value at *ddname* line number**)

説明

このメッセージは、入力パーサーによって、示された行にパラメーターまたはリスト・エレメント *value* が重複して出現することが検出されたことを示します。

重大度

12

CKG987I 構文エラー: *ddname* の行 *number* の「*value*」では、*type2* ではなく *type1* が必要でした (Syntax error: *type1* expected instead of *type2* at "*value*" on *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定のトークン・タイプ *type1* を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type2* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度

12

CKG988I 構文エラー: *ddname* の行 *number* の「*value*」では、*type* ではなく「*c*」が必要でした (Syntax error: "*c*" expected instead of *type* at "*value*" on *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定の文字「*c*」 (おそらく区切り文字) を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度

12

CKG989I 予期しないタイプ ["*value*"] [*element* について] *ddname* の行 *number* (Unexpected type ["*value*"] [for *element*] at *ddname* line *number*)

CKG989 *ddname* の行 *number* の予期しない *type* ["*value*"] で EOL にスキップします (Skipping to EOL at unexpected *type* ["*value*"] at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力パーサーが特定のトークン・タイプのいずれかを予期したが、異なるトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト値がある場合は、そのテキスト値と、それが読み取られたエレメントもこのメッセージにリストされます。パーサーは次のトークンから続行するか、行の末尾に直接スキップします。

重大度

12

CKG991I 予期しない [*type|nil*] ポインタ。場所: *procedure* - ユーザー異常終了 991 (Unexpected [*type|nil*] pointer in *procedure* - user abend 991)

説明

このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明

このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度

04

CKG993I *program* タスク *taskname type* に対する診断ダンプが抑止されました。異常終了 *xxx* (DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR *program* TASK *taskname type* ABEND *xxx*)

説明

このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

CKG994I 最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。 *ddname* (Last record truncated by end-of-file *ddname*)

説明

このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度

16

CKG995I **LRECL が無効です。区分化されているため置き換えられませんでした (LRECL invalid; not overruled because partitioned)**

説明

このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、この後に 013 または 002 の異常終了が発生する可能性があります。

CKG996I **MFREE: スタック name のブロック内で長さが見つかりません (MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK name)**

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKG997I **スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック name の最上部にありません (STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK name)**

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG998I **program のスタック tasklevel stackname でスタック・オーバーフローが発生しました (STACK OVERFLOW FOR STACK tasklevel stackname IN program)**

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKG999I **program 内のタスク taskname のヒープ heapname のストレージが不足しています - 領域を増やしてください (STORAGE SHORTAGE FOR TASK taskname HEAP heapname IN program - INCREASE REGION)**

説明

このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。ヒープ名が LOWHEAP または SYSSTACK の場合、この要求は 16 MB ラインより下のストレージに対して出されます。この名前が MAINHEAP の場合、この要求はあらゆる場所のストレージに対して出されます。領域 (バッチ・ジョブの場合) または SIZE (TSO コマンドの場合) を増やしてから、再試行してください。

重大度

16

第4章 CKN メッセージ

この章では、CKNSERVE プログラムで発行されるメッセージについて説明します。CKNSERVE プログラムは zSecure Server です。zSecure Server (通常は、システムあたり 1 つ配置) は、CKRCARLA、CKX、および CKGRACF からの要求にリモートで応じることができるピア・ノードからなるネットワークを形成します。

CKNSERVE プログラムで使用される重大度レベル・コードを以下に示します。

I

通知メッセージ。

W

警告メッセージ。タスクは続行されますが、エラーが発生しました。

E

エラー・メッセージ。タスクはすぐに終了する場合も、続行を試みる場合もあります。

S

重大なエラー・メッセージ。

A

アクション・メッセージ。状態を修正するには、オペレーターの操作が必要です。

CKN メッセージ番号は、以下のカテゴリーに従ってグループ化されています。

100-399	状況または要約情報を示す通常メッセージ。
400-499	DEBUG コマンドによるデバッグ・メッセージ
500-599	状況または要約情報を示す通常メッセージ。
600-699	実行中に発生したエラー状態。
700-799	コマンドの実行前、入力の解析中に発生したエラー。
800-899	アーキテクチャー・サブコンポーネントによって発行されるメッセージ。
900-999	アーキテクチャー・サブコンポーネントによって発行されるメッセージ。

CKNSERVE 重大度コード、つまり完了コードの一般的な意味は次のとおりです。

00

状況または要約情報を示す通常メッセージ。

04

警告: 予期しない結果がコマンドで生じる恐れのある状況が発生しました。

08

処理中にエラー状態が発生しました。

12

コマンド入力に構文エラーがあるか、または USR データの形式が無効です。

16

ライセンスに問題があるか、またはファイルが無効もしくはサポートされていません。

20

サポートされない条件が見つかったか、またはインストールでエラーが発生しました。

24

CKNSERVE で内部エラー、または他の予期しない/サポートされない条件が検出されました。

CKN メッセージ 0 から 99

CKN000I **gethostname から取得したローカル・ホスト名は *HOSTNAME* です (Local hostname obtained from gethostname is *HOSTNAME*)**

説明

このメッセージは、gethostname サービスから戻されたローカル・ホスト名を示します。必要な ZSECSYS 構成ステートメントがサーバーで使用されていない場合は、これが問題になる場合があります。

重大度

00

CKN001I **BPX1HST gethostname が失敗しました *unix error* (BPX1HST gethostname failed *unix error*)**

説明

このメッセージは、サーバーがローカル・ホスト名を取得できなかったことを示します。zSecure Server は、この名前がないと作動できません。

ユーザーの処置

TCP/IP 構成を確認してください。グローバル・デフォルトがあることを確認するか、または TCPDATA ファイルを割り振ってください。これらのいずれかが指定されている場合は、ガイダンスとして「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルを参照してください。

重大度

12

CKN002I **ホスト名の *BPX1GAI getaddrinfo* が失敗しました *unix error* (BPX1GAI getaddrinfo for hostname failed *unix error*)**

説明

このメッセージは、サーバーが正規ドメイン名を取得できなかったことを示します。zSecure Server は、この名前がないと作動できません。

ユーザーの処置

TCP/IP 構成を確認してください。グローバル・デフォルトがあることを確認するか、または TCPDATA ファイルを割り振ってください。これらのいずれかが指定されている場合は、ガイダンスとして「UNIX System

Services メッセージおよびコード」のマニュアルを参照してください。

重大度

12

CKN003I **正規ドメイン名は *DNAMNAME* です (Canonical domain name is *DNAMNAME*)**

説明

このメッセージは、getaddrinfo サービスで戻される正規ドメイン名を示します。必要な ZSECSYS 構成ステートメントがサーバーで使用されていない場合は、これが問題になる場合があります。CKNIN 入力ファイルで OPTION OWNSYS を指定しない場合、サーバーは、この名前に一致する最初の ZSECSYS をその IPADDR パラメーターに選択します。

重大度

00

CKN004I **BPX1SOC system TCP ソケット・ファミリー *ai_family abend* (BPX1SOC system TCP socket family *ai_family abend*)**

説明

このメッセージは、示されたファミリー・タイプのソケットを取得できなかったことを示します。設定済みのタイプは 19 (AF_INIT6) です。ただし、これが非アクティブの場合は、ファミリー 2 (AF_INET) へのフォールバックが必要です。ソフトウェアは、19 (AF_INIT6) または 2 (AF_INET) 以外のソケット・ファミリーは受け入れられません。system は、ZSECSYS 名または「Server」という語のいずれかです。

ユーザーの処置

原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

12

CKN005I **BPX1SOC system TCP ソケットが失敗しました - *unix error* ファミリー *ai_family* ソケット・タイプ *ai_socktype* (BPX1SOC system TCP socket failed - *unix error* family *ai_family socktype ai_socktype*)**

説明

このメッセージは、示されたファミリー・タイプのソケットを取得できなかったことを示します。設定済みのタイプは 19 (AF_INET6) です。ただし、これが非アクティブの場合は、ファミリー 2 (AF_INET) へのフォールバックが必要です。ソフトウェアは、19 (AF_INET6) または 2 (AF_INET) 以外のソケット・ファミリーは受け入れません。system は、ZSECSYS 名または「Server」という語のいずれかです。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

12

CKN006I system TCP ソケット・ファミリー ai_family がストリーム・ソケット SOCKDESC を設定しました (system TCP socket family ai_family established stream socket SOCKDESC)

説明

この通知メッセージは、特定のソケット記述子番号が設定されたシステムを示します。これを使用して、ソケット番号を含む後続のエラー・メッセージを特定のシステムにリンクできます。system は、ZSECSYS 名または「Server」という語のいずれかです。

重大度

00

CKN007I ポート PORT ソケット SOCKDESC に対する BPX1BND バインド呼び出し abend (BPX1BND bind call for port PORT socket SOCKDESC abend)

説明

このメッセージは、バインド呼び出しにより、示されたソケットの示されたポートにリスナーを設定するときに、異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

12

CKN008I

ポート PORT ソケット SOCKDESC に対する BPX1BND バインド呼び出しが失敗しました unix error (BPX1BND bind call for port PORT socket SOCKDESC failed unix error)

説明

このメッセージは、バインド呼び出しにより、示されたソケットの示されたポートにリスナーを設定するときに、UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

12

CKN009I サーバー・ソケット SOCKDESC はポート PORT にバインドされました (Server socket SOCKDESC bound to port PORT)

説明

このメッセージは、示されたポート番号を listen するために使用されるソケット番号を示します。

重大度

00

CKN010I ソケット SOCKDESC 上での BPX1LSN listen abend (BPX1LSN listen on socket SOCKDESC abend)

説明

このメッセージは、示されたソケットに対する listen 呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

12

CKN011I ソケット SOCKDESC 上での BPX1LSN listen が失敗しました unix error (BPX1LSN listen failed on socket SOCKDESC unix error)

説明

このメッセージは、示されたソケットに対する listen 呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

12

CKN012I サーバーがソケット *SOCKDESC* のポート *PORT* を listen しています。最大キュー項目数は *BACKLOG* です (**Server now listening on socket *SOCKDESC* to port *PORT* with max queue depth *BACKLOG***)

説明

このメッセージは、サーバーが、示されたソケット番号を使用して示されたポートを listen していることを示します。

重大度

00

CKN013I ソケット *SOCKDESC* 上での **BPX1AIO** 受諾 *abend* (**BPX1AIO accept on socket *SOCKDESC* *abend***)

説明

このメッセージは、示されたソケットに対する *asyncio* 受諾呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

12

CKN014I ソケット *SOCKDESC* 上での **BPX1AIO** 受諾が失敗しました *unix error* (**BPX1AIO accept failed on socket *SOCKDESC* *unix error***)

説明

このメッセージは、示されたソケットに対する *asyncio* 受諾呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

12

CKN015I **CKNCOMR** は、*WKQR address* 上の不明な *WKQR**TYPE=xx* です (**CKNCOMR unknown *WKQR**TYPE=xx* on *WKQR address***)

説明

このメッセージは、不明な要求タイプが通信タスクで受信されたことを示します。

ユーザーの処置

これが既知の問題であり、特定のフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN016I ソケット *SOCKET* 上での **BPX1AIO** 接続 *abend* (**BPX1AIO connect on socket *SOCKET* *abend***)

説明

このメッセージは、示されたソケットに対する *asyncio* 接続呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

12

CKN017I ソケット *SOCKET* 上での **BPX1AIO** 接続が失敗しました *unix error* (***IPADDRESS* のポート *PORT***) (**BPX1AIO connect failed on socket *SOCKET* *unix error* port *PORT* of *IPADDRESS***)

説明

このメッセージは、示されたポートおよび IP アドレスの示されたソケットに対する `asyncio` 接続呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

12

CKN018I ソケット `SOCKDESC` 上での `BPX1AIO` 受信 `abend` (`BPX1AIO receive on socket SOCKDESC abend`)

説明

このメッセージは、示されたソケットに対する `asyncio` 受信呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

12

CKN019I ソケット `SOCKDESC` 上での `BPX1AIO` 受信が失敗しました `unix error` (`BPX1AIO receive failed on socket SOCKDESC unix error`)

説明

このメッセージは、示されたソケットに対する `asyncio` 受信呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

12

CKN020I ソケット `SOCKDESC` 上での `number` バイトの `TYPE` メッセージの `BPX1AIO` 送信 `abend` (`BPX1AIO send number byte TYPE msg on socket SOCKDESC abend`)

説明

このメッセージは、示されたソケット上での示されたメッセージ・タイプに対する `asyncio` 送信呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

12

CKN021I ソケット `SOCKDESC` 上での `NUMBER` バイトの `TYPE` メッセージの `BPX1AIO` 送信が失敗しました `unix error` (`BPX1AIO send NUMBER byte TYPE msg failed on socket SOCKDESC unix error`)

説明

このメッセージは、示されたソケット上での示されたメッセージ・タイプに対する `asyncio` 送信呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

12

CKN022I ソケット `SOCKDESC` 上での送信が失敗しました `unix error`、ソケットを閉じます (`Send failed on socket SOCKDESC unix error , closing socket`)

説明

このエラーは、このサーバーからピア・サーバーへの通信リンクをブロックするファイアウォール・アクションによって発生した可能性があります。ピア・サーバーが管理ノードであり、このサーバーが管理対象ノードである場合、接続が成功すれば、これは必ずしも問題ではありません。これが問題の場合は、少なくとも管理ノードから管理対象ノードへの 1 方向で接続を確立できるように 1 つ以上のファイアウォールを構成する必要があります。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

04

CKN0231 ソケット **SOCKDESC** が閉じているため、送信が失敗しました (**Send failed because socket SOCKDESC closed**)

説明

このメッセージは、スケジュール済みの送信アクションの準備が整ったが、ソケットが閉じていたことを示します。この原因としては、サーバーがシャットダウンしたか、またはファイアウォールが接続を終了したことが考えられます。

ユーザーの処置

ローカル・サーバーもリモート・サーバーもシャットダウンしていなかった場合は、このソケットの接続先のノードに関するエラーが構成メンバーにないかどうかと、接続パスが依然として機能していることを確認してください。

重大度

08

CKN0241 ソケット **SOCKDESC** 上での受信が失敗しました **unix error (Receive failed on socket SOCKDESC unix error)**

説明

このメッセージは、示されたソケットに対する送信呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。これは、パス内のファイアウォール・アクションによって発生した可能性があります。ただし、他の接続がまだ存在している場合、または接続が必要なクライアントが存在しない場合は、問題とはなりません。

ユーザーの処置

クライアントに関する問題がない場合は、メッセージを無視してください。クライアントがアクティブでなければならぬ場合は、UNIX システム・コードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。

重大度

04

CKN0251 ソケット **SOCKDESC** が閉じているため、受信が失敗しました (**Receive failed because socket SOCKDESC closed**)

説明

このメッセージは、スケジュール済みの受信アクションの準備が整ったが、ソケットが閉じていたことを示します。この原因としては、サーバーがシャットダウンしたか、またはファイアウォールが接続を終了したことが考えられます。

ユーザーの処置

ローカル・サーバーもリモート・サーバーもシャットダウンしていなかった場合は、このソケットの接続先のノードに関するエラーが構成メンバーにないかどうかと、接続パスが依然として機能していることを確認してください。

重大度

08

CKN0261 ソケット **SOCKDESC** 上でメッセージ長が負のフィールド **hexnum** を受信しました (**Negative message length field hexnum received on socket SOCKDESC**)

説明

このメッセージはプロトコル・エラーを示します。別のプロトコルを使用するサービスがサーバーと接続したことが考えられます。

ユーザーの処置

示されたソケットで接続したユーザーを特定してください。また、ソケットでポート番号が処理対象に正しく構成されていることを確認してください。

重大度

08

CKN0271 ソケット **SOCKDESC** で不明なメッセージ ID **TYPE** を受信しました。「**string**」を開始します (**Unknown message id TYPE received on socket SOCKDESC starts "string"**)

説明

このメッセージはプロトコル・バージョン・エラーを示します。現在のサーバーのバージョンと互換性のない、より新しい zSecure Server がサーバーと接続したことが考えられます。

ユーザーの処置

このソケットで接続したユーザーを特定してください。また、ソケットでポート番号が処理対象に正しく構成されていることを確認してください。

重大度

08

CKN028I サポートされない **TYPE** レベル **xx** が **xx** の代わりにソケット **SOCKDESC** で受信されました (**Unsupported TYPE level xx instead of xx received on socket SOCKDESC**)

説明

このメッセージはプロトコル・バージョン・エラーを示します。現在のサーバーのバージョンと互換性のない、より新しい zSecure Server がサーバーと接続したことが考えられます。

ユーザーの処置

構成されているすべてのサーバーが、互換性のあるレベルであることを確認してください。例えば、より緩やかなアップグレード・パスに従ってください。

重大度

08

CKN029I 予期しない **TYPE** 長さ **length found** が **length expected** の代わりにソケット **SOCKDESC** で受信されました (**Unexpected TYPE length length found instead of length expected received on socket SOCKDESC**)

説明

このメッセージはプロトコル・エラーを示します。別のプロトコルを使用するサービスがサーバーと接続したことが考えられます。

ユーザーの処置

このソケットで接続したユーザーを特定してください。また、ソケットでポート番号が処理対象に正しく構成されていることを確認してください。これが zSecure Server の場合は、バージョンに互換性があることを確認してください。バージョンに互換性があると記載されている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN030I ソケット **SOCKDESC** に対して、無効なメッセージ **ID type**、長さ **length** で **CKNRMSG** が呼び出されました (**CKNRMSG called with invalid**

message id type len length for socket SOCKDESC)

説明

このメッセージはソフトウェアの問題を示します。

ユーザーの処置

サーバー CKNPRINT 出力を保存します。[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKN031I **BPX1CLO** でソケット **sockdesc** を閉じることができませんでした **unix error (BPX1CLO failed close socket sockdesc unix error)**

説明

このメッセージは、ソケットを閉じるときに発生した問題を示します。

ユーザーの処置

「UNIX System Services メッセージおよびコード」資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。

重大度

04

CKN032I ドメインに対する **BPX1FAI freeaddrinfo** が失敗しました **unix error (BPX1FAI freeaddrinfo for domain failed unix error)**

説明

このメッセージは、freeaddrinfo 呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。サーバー操作への影響はないと考えられます。

ユーザーの処置

CKNPRINT ファイルを保存して [電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKN033I **IPADDR** に対する **BPX1GAI** **getaddrinfo** **ZSECSYS** が失敗しました **unix error** (**BPX1GAI** **getaddrinfo** **ZSECSYS** failed **unix error** for **IPADDR**)

説明

このメッセージは、示された IP アドレスに対する **getaddrinfo** 呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

08

CKN034I **ZSECSYS** **ZSECSYS** **getaddrinfo** により **IPADDR** が **NUMIP** に解決されます (**ZSECSYS** **ZSECSYS** **getaddrinfo** resolves **IPADDR** to **NUMIP**)

説明

この通知メッセージは、どの IP アドレスを使用して、示された **ZSECSYS** への接続が試行されるかを示します。

重大度

00

CKN035I **CKNCLNR** は、**WKQR address** 上の不明な **WKQRTYPE=xx** です (**CKNCLNR** unknown **WKQRTYPE=xx** on **WKQR address**)

説明

このメッセージは、不明な要求タイプが通信タスクで受信されたことを示します。

ユーザーの処置

これが既知の問題であり、特定のフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN036I ソケット **SOCKDESC** 上で **zsecsys** への接続が失敗しました **unix error** (**Connect to zsecsys** failed on socket **SOCKDESC** **unix error**)

説明

このメッセージは、示されたサーバーへの接続呼び出しが失敗したことを示します。サーバー構成ファイルが不正確であるか、必要なネットワーク・リンクがダウンしているか、またはリモート・サーバーがアクティブでない可能性があります。

ユーザーの処置

リモート・サーバーがアクティブであるかどうかを確認して、アクティブでない場合はリモート・サーバーを再始動してください。エラーについて詳しくは、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

12

CKN037I **zsecsys=ZSECSYS** **zsecnode=ZSECNODE** **smfid=name** から接続を試みましたが、これらが構成ファイルに定義されていません (**Attempt to connect from** **zsecsys=ZSECSYS** **zsecnode=ZSECNODE** **smfid=name** but not defined in configuration file)

説明

このメッセージは、示されたリモート・サーバーがローカル・サーバーと接続したが、サーバーがサーバー構成ファイルに定義されていないことを示します。

ユーザーの処置

リモート・サーバーで接続する場合は、サーバー構成を更新してください。サーバー構成が正しい場合は、非認識 (無許可) サーバーがローカル・サーバーにアクセスするために許可されたリモート・サーバーを模倣しようとしているかどうかを判別してください。

重大度

08

CKN038I 接続先の **IPADDR** は **zsecsys=ZSECSYS** **zsecnode=ZSECNODE** **smfid=name** ですが、構成ファイルで定義されている **SYSNAME/ZSYSNODE** ではあ

りません (IPADDR connected to is zsecsys=ZSECSYS zsecnode=ZSECNODE smfid=name but not SYSNAME/ZSYSNODE as defined in configuration file)

説明

このメッセージは、ローカル・サーバーがリモート・サーバーに接続しているが、接続から戻された名前がローカル・サーバーの構成ファイルで定義された名前とは異なることを示します。

ユーザーの処置

この接続が機能することを確認してください。機能する場合は、構成ファイルの1つまたは両方を変更してください。

重大度

08

CKN040I **ZSECNODE 名 (ZSECNODE) の定義が重複しています (Duplicate ZSECNODE NAME(ZSECNODE) definition)**

説明

このメッセージは、サーバー構成ファイルにエラーがあることを示します (ZSECNODE が複数回定義されています)。

ユーザーの処置

ノード定義のいずれかを変更または削除してください。

重大度

12

CKN041I **ZSECSYS 名 (ZSECSYS) の定義が重複しています (Duplicate ZSECSYS NAME(ZSECSYS) definition)**

説明

このメッセージは、サーバー構成ファイルにエラーがあることを示します (ZSECSYS 名が複数回定義されています)。ZSECSYS 名は固有でなければなりません。

ユーザーの処置

システム定義のいずれかを変更または削除してください。

重大度

12

CKN042I **ZSECNODE 名 (ZSECSYS) が定義されていません (NO ZSECNODE NAME(ZSECSYS) defined)**

説明

このメッセージは、ZSECSYS ステートメントが、まだ定義されていない ZSECNODE を参照した場合に発行されます。ZSECNODE を定義してから、ZSECNODE を参照する ZSECSYS ステートメントを定義する必要があります。

ユーザーの処置

ZSECNODE ステートメントを移動または追加するか、もしくはノード名の誤りを修正してください。

重大度

12

CKN044I **有効な ZSECSYS がパラメーターに定義されていません (No valid ZSECSYS defined in parameters)**

説明

サーバー構成ファイルには、ZSECNODE ステートメントと ZSECSYS ステートメントを含める必要があります。有効な ZSECSYS ステートメントが見つかりませんでした。

ユーザーの処置

有効なサーバー構成ファイルを作成します。

重大度

12

CKN045I **所有するシステムの ZSECSYS の値を判別できません。(Cannot determine value for ZSECSYS for own system.)**

説明:

プログラムは現在のシステムの ZSECSYS に該当する指定を見つけることができませんでした。これは、OWNSYS ステートメントと ZSECSYS ステートメントに指定された値間の不一致が原因で発生することがあります。OWNSYS が指定されていない場合は、ZSECSYS ステートメントのエラーが原因で発生した可能性が高くなります。

ユーザーの処置:

ZSECSYS を自動的に判別できるか、OWNSYS が定義された ZSECSYS を参照できるように、サーバー構成ファイルを修正してください。

重大度

12

CKN046I 独自の ZSECSYS の IPADDR がドメイン名と異なります (IPADDR for own ZSECSYS differs from domain name)

説明

このメッセージは、現在のシステムの正規名が、OPTION OWNSYS 上のシステムの SECSYS ステートメントの IPADDR に一致していないことを示します。この不一致により、リモート・システムは、現行システムに接続できない可能性があります。

ユーザーの処置

現行システム名の DNS 名を確認して、構成ファイルを更新してください。

重大度

04

CKN047I ポート番号 IPPORT は無効です。1 から 65535 の間にしてください (Port number IPPORT not possible, must be in range 1..65535)

説明

IP ポートの指定が無効です。この数値は 1 から 65535 の間でなければなりません。

ユーザーの処置

IPPORT の指定を修正してください。

重大度

12

CKN048I 抑止するメッセージ番号は、0 から 999 の間にしてください (Message number to be suppressed must be in range 0...999)

説明

OPTION MSGSUP の指定に無効なメッセージ番号が含まれています。この数値は 0 から 999 の間でなければなりません。

ユーザーの処置

MSGSUP の指定を修正してください。

重大度

12

162 メッセージ・ガイド

CKN050I

サーバーには、z/OS 1.9 以降が必要です。

説明

このメッセージは、サポートされる z/OS リリース上で zSecure Server が実行されていないことを示します。このメッセージは抑止できますが、このように zSecure Server を実行することはサポートされないことに注意してください。

ユーザーの処置

このシステム上で zSecure Server を使用する必要がある場合は、z/OS リリースをサポートされる リリースにアップグレードしてください。

重大度

16

CKN051I

サーバーは、APF 許可がある状態で実行してください (Server must run APF authorized)

説明

クライアント通信をセットアップして、RACF 情報を取得するには、サーバーに APF 許可が必要です。このメッセージは抑止できますが、サーバーを APF 許可なしで実行すると、非クライアント・エンドポイント・サーバーとしての機能が非常に制限されます。そのため、APF 許可なしでの実行は、サポートされていません。

ユーザーの処置

ロード・ライブラリーを APF リストに追加してください。

重大度

16

CKN052I

サーバー・トークン **SERVERTOKEN** を使用するサーバーは、既にアクティブのようです (Server with servertoken **SERVERTOKEN** seems to be active already)

説明

このメッセージは、サーバーが既に稼働しており、示されたサーバー・トークンを使用していることを示します。これはサポートされません。特定のサーバー・トークンを使用するサーバーは、いつの時点でも、システムあたり 1 つしかアクティブにできません。

ユーザーの処置

同一システム上で並列サーバーを始動する場合は、サーバー・トークンを変更してください。サーバーを再始動する場合は、最初のサーバー・インスタンスを停止してください。

重大度

16

CKN054I 予期しない IEANTRT 戻りコード *rc* が戻されました (Unexpected IEANTRT return code *rc*)

説明

このメッセージには、z/OS 名前トークン要求サービスからの予期しない戻りコードがリストされます。

ユーザーの処置

サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、IEANTRT 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN055I サーバー・トークン *token* は、互換性のないバージョン *version* 用に定義されています。このサーバーは *version* を使用しています (Sertoken *token* is defined for an incompatible version *version* this server uses *version*)

説明

このメッセージは、互換性のないバージョンのサーバー・トークンが見つかったことを示します。

ユーザーの処置

別のサーバー・トークンを使用するか、または別のバージョンのクライアント・ソフトウェアを使用してください。

重大度

16

CKN056I サーバー・トークン *token* を使用する IPL の後、CKNSERVE が最初に始動します (CKNSERVE first start after IPL with sertoken *token*)

説明

このメッセージは、示されたサーバー・トークンについて、システムに新しい名前トークンが追加されたことを示します。

重大度

00

CKN057I SYSEVENT DONTSWAP が失敗しました。戻りコード *rc* (SYSEVENT DONTSWAP failed, return code *rc*)

説明

このメッセージには、SYSEVENT DONTSWAP 呼び出しからの予期しない戻りコードがリストされます。

ユーザーの処置

サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、SYSEVENT 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。

重大度

16

CKN058I サーバー・トークンからの既存の LX *heLX* を使用中 (Using existing LX *heLX* from sertoken)

説明

この進行通知メッセージは、サーバーで再利用されているリンケージ索引を示します。

重大度

00

CKN059I 新しい LX の取得中 (Obtaining new LX)

説明

この進行通知メッセージは、サーバーでリンケージ索引が必要であることを示します。

重大度

00

CKN060I 新しい LX *hex lx* を取得しました
(Obtained new LX *hex lx*)

説明

この進行通知メッセージは、サーバーが取得した新しいリンケージ索引を示します。

重大度

00

CKN061I *address* の CKNSVPC の IDENTIFY
RC=*decrc* (IDENTIFY RC=*decrc* for
CKNSVPC at *address*)

説明

このメッセージには、IDENTIFY 呼び出しからの予期しない戻りコードがリストされます。

ユーザーの処置

サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN062I 新しい ET の取得中 (Obtaining new
ET)

説明

この進行通知メッセージは、サーバーでエントリー・テーブルが必要であることを示します。

重大度

00

CKN063I トークン *TOKEN* を持つ新しい ET を
取得しました (Obtained new ET
with token *TOKEN*)

説明

この進行通知メッセージは、サーバーが取得した新しいエントリー・テーブル・トークンを示します。

重大度

00

CKN064I アドレス・スペースが ET に接続され
ました (Address spaces now
connected to ET)

説明

この進行通知プロセスは、クライアントがプログラム呼び出しを通じてサーバーに接続できるようになったことを示します。

重大度

00

CKN065I *NAMETOKEN* の作成中に予期しない
IEANTCR 戻りコード *decrc* が発生
しました (Unexpected *IEANTCR*
return code *decrc* creating
NAMETOKEN)

説明

このメッセージには、永続的なサーバー名トークンの作成を試行している間に発生した、z/OS 名前トークン作成サービスからの予期しない戻りコードが示されます。

ユーザーの処置

サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、*IEANTCR* 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN066I 永続的なサーバー名トークン
NAMETOKEN が正常に作成されまし
た (Persistent server name token
NAMETOKEN created successfully)

説明

この進行通知メッセージは、作成された永続的な名前トークンを示します。

重大度

00

CKN067I **NAMETOKEN** の作成中に予期しない
IEANTCR 戻りコード *decrc* が発生
しました (**Unexpected IEANTCR**
return code *decrc* creating
NAMETOKEN)

説明

このメッセージには、非永続的なサーバー名トークンの作成を試行している間に発生した、z/OS 名前トークン作成サービスからの予期しない戻りコードが示されます。

ユーザーの処置

サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、IEANTCR 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN068I 非永続的なサーバー名トークン
NAMETOKEN が正常に作成されまし
た (**Non-persistent server name**
token *NAMETOKEN* created
successfully)

説明

この進行通知メッセージは、作成された非永続的な名前トークンを示します。

重大度

00

CKN069I エントリー・テーブルの削除中
(**Removing Entry Table**)

説明

この進行通知メッセージは、サーバーがエントリー・テーブルの削除を試みていることを示します。

重大度

00

CKN070I 接続が存在している間にエン
トリー・テーブルが削除されまし
た

(**Entry Table removed while**
connections existed)

説明

この進行通知メッセージは、サーバーがエントリー・テーブルを削除したが、接続が依然としてアクティブであることを示します。これにより、例えば、クライアントで OD6 異常終了が発生する場合があります。

重大度

00

CKN072I エントリー・テーブルが正常に削除
されました (**Entry Table removed**
successfully)

説明

この進行通知メッセージは、サーバーがエントリー・テーブルを削除したが、アクティブな接続がなかったことを示します。

重大度

00

CKN073I **SYSEVENT OKSWAP** が失敗しまし
た。戻りコード *decrc* (**SYSEVENT**
OKSWAP failed, return code *decrc*)

説明

このメッセージには、SYSEVENT OKSWAP 呼び出しからの予期しない戻りコードがリストされます。サーバーへの影響はない可能性があります。

ユーザーの処置

サーバーの再始動を試行して、エラーが再度発生するかどうかを確認してください。

重大度

04

CKN080I *address2* での *address1* 長さ
length1 へのコピー、または
address4 からの *address3* 長さ
length2 の書き込みで問題が発生し
ました - **abend (Problem copying to**
address1* len *length1* at *address2
writing *address3* len *length2* from
***address4* - abend)**

説明

このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡されたバッファ・アドレスまたは長さが無効であったことを示します。

ユーザーの処置

呼び出しの問題を修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を探してください。

重大度

08

CKN081I 無効な PLIST ポインターが渡されました **address - abend (Invalid PLIST pointer passed address - abend)**

説明

このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡されたパラメーター・リスト・アドレスが無効であったことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN082I 無効な BUFLLEN ポインターが渡されました **address - abend (Invalid BUFLLEN pointer passed address - abend)**

説明

このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡されたバッファー長アドレスが無効であったことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN083I 無効なトークン・ポインターが渡されました **address - abend (Invalid**

token pointer passed address - abend)

説明

このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡されたトークン・アドレスが無効であったことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN084I **jobname ASID asid** ユーザー **userid** から無効なトークンまたは期限切れのトークンが渡されました **address cbid (Invalid or expired token passed address cbid from jobname ASID asid user userid)**

説明

このメッセージは、サーバーが PC 呼び出しで渡されたトークンを認識していないことを示します。クライアントの稼働中にサーバーを再始動すると、まれにこの現象が発生する場合があります。クライアント終了要求を送信してから別の要求 (リモート・ファイルのクローズなど) を送信しても、この現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置

サーバーを再始動した場合は、無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN085I 期限切れのトークン (**old client number**) が **jobname ASID asid** ユーザー **userid** から渡されました。現在は **new client number** です (**Expired token passed old client number now new client number**)

**from jobname ASID asid user
userid)**

説明

このメッセージは、サーバーが PC 呼び出しで渡されたトークンを認識していないことを示します。クライアントの稼働中にサーバーを再始動すると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置

サーバーを再始動した場合は、無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN086I 渡されるトークンはジョブ *jobname ASID asid TCB tcb-address* ユーザー *userid* に属しています。呼び出し元は *jobname ASID asid TCB tcb-address* ユーザー *userid* です (Token passed belongs to job *jobname ASID asid TCB tcb-address user userid*; caller is *jobname ASID asid TCB tcb-address user userid*)

説明

このメッセージは、別のクライアントに属するクライアント番号が PC 呼び出しでサーバーに渡されたことを示します。クライアントの稼働中にサーバーを再始動すると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置

サーバーを再始動した場合は、無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN087I *jobname ASID asid* ユーザー *userid* から無効なトークンが渡されました

**address - abend (Invalid token
passed address - abend from
jobname ASID asid user userid)**

説明

このメッセージは、サーバーが PC 呼び出しで渡されたトークンを認識していないことを示します。クライアントの稼働中にサーバーを再始動すると、まれにこの現象が発生する場合があります。クライアント終了要求を送信してから別の要求 (リモート・ファイルのクローズなど) を送信しても、この現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置

サーバーを再始動した場合は、無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN088I ユーザー ID が見つからず、識別できません (No userid found, cannot identify)

説明

このメッセージは、PC 呼び出しを発行している作業単位の SAF ユーザー ID をサーバーが識別できないことを示します。したがって、アクセスは拒否されます。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN089I トークンの更新中にエラーが発生しました *address - abend (Error updating token address - abend)*

説明

このメッセージは、サーバーがトークンを更新できないことを示します。原因としては、トークンがキー 8 のストレージに配置されていないことが考えられます。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN090I 無効な FUNCTION ポインターが渡されました *address -abend* (Invalid FUNCTION pointer passed *address -abend*)

説明

このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡された関数ポインターが無効であったことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN091I サポートされない FUNCTION レベル *xx* が *yy* の代わりに *jobname ASID asid* ユーザー *userid* から受信されました (Unsupported FUNCTION level *xx* instead of *yy* received from *jobname ASID asid* user *userid*)

説明

このメッセージは、PC 呼び出しに渡された関数のバージョンがサーバーでサポートされないことを示します。サポートされない組み合わせで新しいクライアントと古いサーバーを使用していることが考えられます。

ユーザーの処置

より新しいサーバーに接続するか、またはより古いクライアントを使用してください。

重大度

08

CKN092I 予期しない FUNCTION の長さ *len1* が *len2* の代わりに *jobname ASID asid* ユーザー *userid* から受信されました (Unexpected FUNCTION length *len1* instead of *len2* received from *jobname ASID asid* user *userid*)

説明

このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡された、示された関数のメッセージの長さが無効であったことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN093I ZSECSYS ZSECSYS はサーバーに定義されていません。 *jobname ASID asid* ユーザー *userid* からの呼び出し (ZSECSYS ZSECSYS not defined to server; call from *jobname ASID asid* user *userid*)

説明

このメッセージは、サーバーの構成ファイルで定義されていないサーバー名にアクションが送信されたことを示します。

ユーザーの処置

クライアントで別のターゲット・システムを指定するか、またはご希望のシステムの定義でサーバー構成ファイルを更新して、サーバーを再始動してください。

重大度

04

CKN094I タスク *task IEVAPE* が失敗しました RC=*dec* (Task *task IEVAPE* failed RC=*dec*)

説明

このメッセージは、一時停止エレメントの割り振りに失敗したことを示します。

ユーザーの処置

サーバーを再始動して、クライアント・アクションのやり直しを試みてください。問題が引き続き発生する場合は、IEAVAPE 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKN095I タスク *task* IEAVPSE が失敗しました RC=*dec* (Task *task* IEAVPSE failed RC=*dec*)

説明

このメッセージは、一時停止エレメントでの待機に失敗したことを示します。

ユーザーの処置

サーバーを再始動して、アクションのやり直しを試みてください。問題が引き続き発生する場合は、IEAVPSE 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKN096I タスク *task* IEAVDPE が失敗しました RC=*dec* (Task *task* IEAVDPE failed RC=*dec*)

説明

このメッセージは、一時停止エレメントの割り振り解除に失敗したことを示します。

ユーザーの処置

サーバーを再始動して、アクションのやり直しを試みてください。問題が引き続き発生する場合は、IEAVDPE 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKN097I タスク *task* インスタンス TCB *address* がクライアント *client number* ジョブ *jobname* ASID *asid* ユーザー *userid* からの要求 *function* を認識しませんでした (Task *task* instance TCB *address* unrecognized request *function* from client *client number* job *jobname* ASID *asid* user *userid*)

説明

このメッセージは、PC 呼び出しに渡された要求がサーバーでサポートされないことを示します。サポートされない組み合わせで新しいクライアントと古いサーバーを使用していることが考えられます。

ユーザーの処置

より新しいサーバーのサーバー・トークンを使用するか、またはより古いクライアントを使用してください。

重大度

08

CKN098I ZSECNODE *ZSECNODE* はサーバーに定義されていません。 *jobname* ASID *asid* ユーザー *userid* からの呼び出し (ZSECNODE *ZSECNODE* not defined to server; call from *jobname* ASID *asid* user *userid*)

説明

このメッセージは、サーバー構成ファイルで定義されていないサーバー・ノードにアクションが送信されたことを示します。

ユーザーの処置

クライアントで別のターゲット・ノードを指定するか、またはご希望のノードの定義でサーバー構成ファイルを更新して、サーバーを再始動してください。

重大度

04

CKN099I **ZSECSYS ZSECSYS** は、ノード **ZSECNODE** の一部ではありません。
jobname ASID asid ユーザー **userid**
からの呼び出し (**ZSECSYS ZSECSYS**
not part of node ZSECNODE, call
from jobname ASID asid user
userid)

説明

このメッセージは、サーバーの構成ファイルで定義されていないサーバー名とノードの組み合わせにアクションが送信されたことを示します。示された **ZSECSYS** は、示された **ZSECNODE** のメンバーでなければなりません。

ユーザーの処置

クライアントで別のターゲット・システムまたはノードを指定するか、もしくはご希望のシステムに一致する定義でサーバー構成ファイルを更新して、サーバーを再始動してください。

重大度

04

CKN メッセージ 100 から 199

CKN100I 予期しない **STIMERM SET RC=nn**
(**Unexpected STIMERM SET**
RC=nn)

説明

このメッセージは、STIMERM サービスが予期しない戻りコードを受信したことを示します。

ユーザーの処置

該当する z/OS MVS 資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。

重大度

16

CKN101I **console** ユーザー **userid command**
から **START** コマンドを受信しまし
た (**START command received from**
console user userid command)

説明

この通知メッセージは、示された定位置パラメーターでオペレーターが **START** コマンドを受信したことを示します。

重大度

00

CKN102I **console** ユーザー **userid command**
から **STCOM** コマンドを受信しまし
た (**STCOM command received**
from console user userid
command)

説明

この通知メッセージは、示されたキーワード・パラメーターでオペレーターの **START** コマンドを受信したことを示します。

重大度

00

CKN103I **console** ユーザー **userid command**
から **MODIFY** コマンドを受信しまし
た (**MODIFY command received**
from console user userid
command)

説明

この通知メッセージは、示されたオペレーターの **MODIFY** コマンドを受信したことを示します。

重大度

00

CKN104I **console** ユーザー **userid** から **STOP**
コマンドを受信しました (**STOP**
command received from console
user userid)

説明

この通知メッセージは、オペレーターの **STOP** コマンドを受信したことを示します。

重大度

00

CKN105I 予期しない QEDIT RC=*nn*
(Unexpected QEDIT RC=*nn*)

説明

このメッセージは、QEDIT サービスが予期しない戻りコードを受信したことを示します。

ユーザーの処置

該当する z/OS MVS 資料を参照してください。

重大度

08

CKN106I *abend* のため、クリーンアップして終了します (Cleanup and terminating due to *abend*)

説明

このメッセージは、メインタスクの異常終了が代行受信され、リソースのクリーンアップが実行されていることを示します。クリーンアップは、OPTION NOCLEANUP で抑止できますが、そうした場合、アドレス・スペースが再利用できなくなる場合があります。

ユーザーの処置

「z/OS MVS システム・コード」で異常終了を参照して、原因とアクションを確認してください。

重大度

16

CKN108I CKNRCLR は、WKQR *address* 上の不明な WKQRTYPE=*nn* です (CKNRCLR unknown WKQRTYPE=*nn* on WKQR *address*)

説明

このメッセージは、不明な要求タイプがリモート・クライアント・ハンドラー・タスクで受信されたことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN109I タスク *TASK* は、END 後の ALLOC を無視します (Task *TASK* ignoring ALLOC after END)

説明

このメッセージは、既に終了しているクライアントの ALLOC 要求がリモート・サーバーに渡されたことを示します。クライアントの稼働中にサーバーをシャットダウンすると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置

サーバーがシャットダウン中だった場合は、このメッセージを無視してクライアントの操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

08

CKN0110I タスク *TASK* は、ソケット *SOCKET* からの END 後の DOIO を無視します (Task *TASK* ignoring DOIO after END from socket *SOCKET*)

説明

このメッセージは、既に終了しているクライアントの入出力要求がリモート・サーバーに渡されたことを示します。クライアントの稼働中にサーバーをシャットダウンすると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置

サーバーがシャットダウン中だった場合は、このメッセージを無視してクライアントの操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

08

CKN111I タスク *TASK* は、ソケット *SOCKDESC* からの未初期化クライアント *CLNTNO* の DOIO を無視します (Task *TASK* ignoring DOIO for non-initialized client *CLNTNO* from socket *SOCKDESC*)

説明

このメッセージは、ALLOC 要求を受信していないクライアントの入出力要求がリモート・サーバーに渡されたことを示します。クライアントの稼働中にローカル・サーバーをシャットダウンすると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置

サーバーを再始動した場合は、メッセージを無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

08

CKN112I 未構成の ZSECSYS からソケット **SOCKDESC** 上で **ALLO** (割り振り) を受信しました - 無視します (**ALLO** (allocate) received from unconfigured ZSECSYS on socket **SOCKDESC** - ignored)

説明

このメッセージは、未確認の接続で ALLOC 要求を受信したことを示します。このメッセージには以前のメッセージが付随していて、そこから問題の原因を推定できます。

ユーザーの処置

サーバー構成ファイルを変更して、示されたシステムを定義してください。

重大度

08

CKN113I 未構成の ZSECSYS からソケット **SOCKDESC** 上で **DOIO** を受信しました - 無視します (**DOIO** received from unconfigured ZSECSYS on socket **SOCKDESC** - ignored)

説明

このメッセージは、未確認の接続で入出力要求を受信したことを示します。このメッセージには以前のメッセージが付随していて、そこから問題の原因を推定できます。

ユーザーの処置

サーバー構成ファイルを変更して、示されたシステムを定義してください。

重大度

08

CKN114I 未構成の ZSECSYS からソケット **SOCKDESC** 上で **ENDC** を受信しました - 無視します (**ENDC** received from unconfigured ZSECSYS on socket **SOCKDESC** - ignored)

説明

このメッセージは、未確認の接続でエンド・クライアント要求を受信したことを示します。このメッセージには以前のメッセージが付随していて、そこから問題の原因を推定できます。

ユーザーの処置

サーバー構成ファイルを変更して、示されたシステムを定義してください。

重大度

08

CKN115I **CKNDOIR** は、**WKQR** address 上の不明な **WKQR**TYPE=xx です (**CKNDOIR** unknown **WKQR**TYPE=xx on **WKQR** address)

説明

このメッセージは、不明な要求タイプがリモート・ワーカー・タスクで受信されたことを示します。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN116I **USERID** RC=hexnum RSN=hexnum 16 進数について、**RACF** 初期化が失敗しました。ZSECSYS ジョブ **JOBNAME** ユーザー **USERID** クライアント **CLNTNO** に通知します (**RACF** initialization failed for **USERID** RC=hexnum RSN=hexnum hex; notifying ZSECSYS job **JOBNAME** user **USERID** client **CLNTNO**)

説明

このメッセージは、リモート・マップ実行ユーザー ID で初期化が失敗し、示された SAF 戻りコードと理由コードが戻されたことを示します。

ユーザーの処置

RACROUTE REQUEST=VERIFY について、Security Server RACROUTE の資料で、示された SAF 戻りコードと理由コードを確認してください。

重大度

08

CKN117I タスク再始動の限度に達しました。
シャットダウンします (Task restart
limit reached, shutting down)

説明

このメッセージは、サーバー・タスクが失敗した後、タスクの再始動を繰り返し、最大再始動限度まで達したことを示します。サーバーはシャットダウンします。

ユーザーの処置

CKNPRINT とジョブ・ログで最初のエラーを示すメッセージを確認し、それらのメッセージのガイダンスに従ってください。

重大度

16

CKN118I タスク CKNCOMT の再始動が開始さ
れました (Task CKNCOMT restart
initiated)

説明

サーバー通信タスクが非アクティブであることが検出され、再始動が試行されています。

ユーザーの処置

CKNPRINT とジョブ・ログで最初のエラーを示すメッセージを確認し、それらのメッセージのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN119I タスク CKNCLNT の再始動が開始さ
れました (Task CKNCLNT restart
initiated)

説明

ローカル・クライアント・ハンドラー・タスクが非アクティブであることが検出され、再始動が試行されています。

ユーザーの処置

CKNPRINT とジョブ・ログで最初のエラーを示すメッセージを確認し、それらのメッセージのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN120I タスク CKNRCLT の再始動が開始さ
れました (Task CKNRCLT restart
initiated)

説明

リモート・クライアント・ハンドラー・タスクが非アクティブであることが検出され、再始動が試行されています。

ユーザーの処置

CKNPRINT とジョブ・ログで最初のエラーを示すメッセージを確認し、それらのメッセージのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN121I ZSECSYS クライアント CLNTNO ジ
ョブ JOBNAME ユーザー USERID か
ら受信したファイル CLNT_DDNM
の要求が重複しています (Duplicate
request for file CLNT_DDNM
received from ZSECSYS client
CLNTNO job JOBNAME user
USERID)

説明

このメッセージは、同一のクライアント・ファイル名について 2 つの ALLOC 要求を受信したことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

08

CKN122I **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID の *clientdd* に *serverdd*
dsname member が割り振られました
(Allocated *serverdd dsname*
member to clientdd of ZSECSYS
client nn job JOBNAME ASID ASID
user USERID)

説明

この通知メッセージは、リモート・クライアントに対するサーバー・サイド・データ・セットの割り振りが成功したことを示すために発行されます。

重大度

00

CKN123I **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID から受信したファイル
clientdd の要求はサポートされませ
ん (Unsupported request for file
clientdd received from **ZSECSYS**
client nn job JOBNAME ASID ASID
user USERID)

説明

このメッセージはプロトコル・エラーを示します。

ユーザーの処置

サーバーのバージョンでクライアントのバージョンがサポートされることを確認してください。サポートされない場合は、下位レベルのバージョンをアップグレードするか、または別のサーバーを使用してください。

重大度

08

CKN124I **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID から受信した *clientdd* に対
する入出力要求 (**alloc** を除く) が失
敗しました (**I/O request but alloc**
failed for clientdd received from
ZSECSYS client nn job JOBNAME
ASID ASID user USERID)

説明

このメッセージはプロトコル・エラーを示します。

ユーザーの処置

障害に関する1つ以上のメッセージを検索して、そこから続行してください。メッセージが記録されていない

場合は、クライアントを再始動してやり直してください。それで解決しない場合は、サーバーを再始動してやり直してください。それでも解決しない場合は、クライアントのプロトコル・エラーを修正してください。

重大度

08

CKN125I **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID から、*clientdd* に対する入
出力要求 (**alloc** は除く) を受信しま
した (**I/O request without alloc** for
clientdd received from **ZSECSYS**
client nn job JOBNAME ASID ASID
user USERID)

説明

このメッセージはプロトコル・エラーを示します。

ユーザーの処置

障害に関する1つ以上のメッセージを検索して、そこから続行してください。メッセージが記録されていない場合は、クライアントを再始動してやり直してください。それで解決しない場合は、サーバーを再始動してやり直してください。それでも解決しない場合は、クライアントのプロトコル・エラーを修正してください。

重大度

08

CKN126I **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID から受信した *clientdd* の代
わりに **serverdd abend** を開こうと
しました (**Open serverdd abend** for
clientdd received from **ZSECSYS**
client nn job JOBNAME ASID ASID
user USERID)

説明

このメッセージは、示されたクライアント・ファイルの代わりに、サーバー上にある示された DD 名を開こうとしている間に、異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

「MVS システム・コード」を参照して、示された異常終了コードについて調べ、そのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN1271 **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID から受信した *clientdd* を開
けませんでした (**Open failed for**
clientdd received from ZSECSYS
client nn job JOBNAME ASID ASID
user USERID)

説明

このメッセージは、示されたクライアント・ファイルをサーバー上で開けなかったことを示します。

ユーザーの処置

要求中のデータ・セットに関するメッセージをサーバー・ジョブ・ログで探してください。

重大度

08

CKN1281 **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID から受信したファイル
clientdd でレコードを取得しようと
しましたが、ファイルが開いていま
せん (**Get for unopened file**
clientdd received from ZSECSYS
client nn job JOBNAME ASID ASID
user USERID)

説明

このメッセージは、クライアントからのプロトコル・エラーを示します。クライアント・アプリケーションは、正常に開けなかったファイルからレコードを取得しようとしていました。

ユーザーの処置

オープンの異常終了のメッセージまたはオープンの失敗のメッセージを探して、そのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN1291 **Alloc** で **ZSECSYS/NODE** が欠落し
ています。 **JOBNAME ASID ASID** ユ
ーザー **USERID** からの呼び出し
(**Alloc missing ZSECSYS/NODE;**
call from JOBNAME ASID ASID
user USERID)

説明

このメッセージは、サーバーが受信した割り振り要求にターゲット・システムまたはノードが指定されていないか

ったことを示します。これは、クライアント API エラーです。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

04

CKN1301 ノード **ZSECNODE** は現在接続され
ていません。 **JOBNAME ASID ASID**
ユーザー **USERID** からの呼び出し
(**Node ZSECNODE not currently**
connected; call from JOBNAME
ASID ASID user USERID)

説明

このメッセージは、現在使用できないリモート・サーバーへのアクセスが試行されたことを示します。

ユーザーの処置

後でやり直すか、または接続を作成できなかった理由を確認して、原因を取り除いてください。

重大度

04

CKN1311 システム **ZSECSYS** は現在接続され
ていません。 **JOBNAME ASID ASID**
ユーザー **USERID** からの呼び出し
(**System ZSECSYS not currently**
connected; call from JOBNAME
ASID ASID user USERID)

説明

このメッセージは、現在使用できないリモート・サーバーへのアクセスが試行されたことを示します。

ユーザーの処置

後でやり直すか、または接続を作成できなかった理由を確認して、原因を取り除いてください。あるいは、ZSECSYS の代わりに ZSECNODE を使用して、ノード上のアクティブ・システムを検出できるようにしてください。

重大度

04

CKN1321 ソケット **SOCKDESC** 上で **ZSECSYS**
から既に存在しないクライアント
nn 向けのメッセージ・データを受信

しました (Message DATA received from ZSECSYS on socket SOCKDESC for client nn that is no longer present)

説明

このメッセージは、サーバーの使用中にプロトコル・エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを調べて、サーバーと対話しているときの待ち時間が長すぎないことを確認してください。

重大度

04

CKN133I **USERID abend** について、**RACF** 初期化が失敗しました (**RACF initialization failed for USERID abend**)

説明

リモート・クライアントのパートナー (ピア) ユーザー ID であるローカル・ユーザー ID で RACROUTE REQUEST=VERIFY のときに、異常終了が発生しました。

ユーザーの処置

「MVS システム・コード」を参照して、示された異常終了コードについて調べ、そのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN134I タスク **TASK** は、初期化が失敗した後の **ALLOC** を無視します (**Task TASK ignores ALLOC after failed initialization**)

説明

このメッセージは、サーバーの使用中にプロトコル・エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正してください。失敗後は、呼び出しを中止することを検討してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

04

CKN135I **address FUNCTION** 長さ **hexlen** からのコピーに問題があります - **abend** (**Problem copying from address FUNCTION len hexlen - abend**)

説明

このメッセージは、呼び出し元のストレージにデータを戻している間に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

「MVS システム・コード」を参照して、示された異常終了コードについて調べ、そのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN136I **JOBNAME ASID ASID** ユーザー **USERID** からの **clientdd** に対して、**alloc** なしでオープン/取得/クローズします (**Open/get/close without alloc for clientdd from JOBNAME ASID ASID user USERID**)

説明

このメッセージは、サーバー使用時のプロトコル・エラーを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

08

CKN137I **ddname dataset** から **number** 件のレコードを読み取りました (**Read number records from ddname dataset**)

説明

このメッセージは、リモート・クライアントに代わってこのデータ・セットから読み取ったレコード件数を示します。

重大度

00

CKN138I 通信タスクの状況 **SCKD address** (**Communication task status SCKD address**)

ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN139I **TASK** サブタスクの状況 **TSKD address (TASK subtask status TSKD address)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN140I メインタスクの状況 **RACF address (Main task status RACF address)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN141I メインタスクの状況 **ZNOD address (Main task status ZNOD address)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN142I メインタスクの状況 **ZSYS address (Main task status ZSYS address)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN143I メインタスクの状況 **ZSCS address (Main task status ZSCS address)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN144I メインタスクの状況 **DNAM address (Main task status DNAM address)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN145I メインタスクの状況 **INFO address (Main task status INFO address)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN146I **CLNT address** のクライアント・ハンドラー・タスクの状況 (**Client handler task status for CLNT address**)
dump (dump)

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN147I クライアント *nn* **LFIL address** のローカル・ファイル名の状況 (**Local file name status for client nn LFIL address**)
dump (dump)

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN148I **SYSNAME RCLN address** のリモート・クライアント・ハンドラー・タスクの状況 (**Remote client handler task status for SYSNAME RCLN address**)
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN149I 作業キューのヘッダー **WKQH address (Work queue header WKQH address)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN150I 作業キューのエレメント **WKQR address type status (Work queue element WKQR address type status)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN151I 待機エレメント **WKQR address type status (Wait element WKQR address type status)**
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN152I クライアントの状況 **RLNK address**
(**Client status RLNK address**)
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN153I **ZSECSYS** クライアント **NO RFIL**
address のクライアント・ハンドラ
ー・タスクの状況 (**Client handler**
task status for ZSECSYS client NO
RFIL address)
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN154I 失敗しているサーバーをクライアン
ト **nn** に通知します (**Notify client nn**
of failing server)

説明

このメッセージは、クライアントが待っていたが完了できなかつた要求に対する代理応答として、待機クライアントに送信されます。

ユーザーの処置

サーバーを再始動するか、またはサーバーが再始動されるまで待機して、やり直してください。

重大度

00

CKN155I 停止しているサーバーをクライアン
ト **nn** に通知します (**Notify client nn**
of stopping server)

説明

このメッセージは、クライアントが待っていた要求に対する代理応答として、待機クライアントに送信されます。サーバーがオペレーターから STOP 要求を受信したので、この要求を完了できませんでした。

ユーザーの処置

サーバーを再始動するか、またはサーバーが再始動されるまで待機して、やり直してください。

重大度

00

CKN156I サーバーの停止中 - ソケット
SOCKDESC の待機がキャンセルされ
ました (**Server stopping - socket**
SOCKDESC wait cancelled)

説明

このメッセージは、クライアントが待っていた要求に対する代理応答として、待機クライアントに送信されます。サーバーがオペレーターから STOP 要求を受信したので、この要求を完了できませんでした。

ユーザーの処置

サーバーを再始動するか、またはサーバーが再始動されるまで待機して、やり直してください。

重大度

00

CKN157I サーバーが失敗しています - ソケッ
ト **SOCKDESC** の待機がキャンセル
されました (**Server failing - socket**
SOCKDESC wait cancelled)

説明

このメッセージは、クライアントが待っていたが完了できなかつた要求に対する代理応答として、待機クライアントに送信されます。

ユーザーの処置

サーバーを再始動するか、またはサーバーが再始動されるまで待機して、やり直してください。

重大度

00

CKN158I **SYSNAME(name) SYSPLEX(name)**
[LPARNAME(name)]
[VMUSERID(name)]
[HWNAME(name)] 上の *activity*

(activity on SYSNAME(name)
SYSPLEX(name)
[LPARNAME(name)]
[VMUSERID(name)]
[HWNAME(name)]
CPU-id CPUid (CPU-id CPUid)
製品コード codes Products
(Product codes codes Products)

説明

このメッセージは、システム、シスプレックス、LPAR、VM ユーザー ID、稼働しているハードウェア、およびインストールされて IFAPRDxx によってこのプログラムでは使用不可になっていない IBM Security zSecure スイート製品を示します。製品コードの説明については、いずれかの zSecure Admin and Audit のユーザー・リファレンス・マニュアルでライセンス名の表を参照してください。「製品」セクションの各行には、製品 ID と特定の製品機能の完全な名前が示されています (例: コード AUDITRACF の場合は、5655-N17 IBM Security zSecure Audit for RACF)。activity は、使用している呼び出し環境に応じて Runs または UNIX になります。

重大度

00

CKN159I CKRSITE モジュールのコンテンツ:
(Contents of CKRSITE module):
クラス: **setting** (Class: **setting**)

説明

このメッセージは、OPTION DEBUG コマンドにตอบสนองして発行されます。setting には、関連するクラス名が表示されます (XFACILIT など)。

重大度

00

CKN160I 接続が除去されました。ソケット
SOCKDESC の待機がキャンセルされ
ました (Connection dropped
socket **SOCKDESC** wait cancelled)

説明

このメッセージは、リモート・サーバーの接続が失われ、一時停止しているクライアントが解放されたことを示します。

ユーザーの処置

ネットワーク接続を復元して、操作を再試行してください。

重大度

00

CKN161I zSecure Server **zsecnode/zsecsys**
トークン **servertoken** シャットダウン
が完了しました (zSecure Server
zsecnode/zsecsys token
servertoken shutdown complete)

説明

このメッセージは、メインタスクのシャットダウンの準備が整い、終了していることを示します。

重大度

00

CKN162I ソケット **sockdesc** 上での
zsecnode/zsecsys
sysplex.clone.sysname
njenode.smfid rrsfnode との間の接続
がセキュアでないため拒否されました
(Unsecured connection
rejected on socket **sockdesc**
from/to **zsecnode/zsecsys**
sysplex.clone.sysname
njenode.smfid rrsfnode)

説明

リモート・サーバーとの間での接続が試行されましたが、接続が AT-TLS によって保護されていませんでした。サーバーでは、非セキュア接続は許可されません。非セキュア接続を許可するには、OPTION ステートメントを使用します。

ユーザーの処置

ポリシー・エージェントを備えたサーバー間で AT-TLS 保護をセットアップしてください。詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度

00

CKN163I **zsecnode/zsecsys**
sysplex.clone.sysname
njenode.smfid rrsfnode との間のソ
ケット **sockdesc** 上の接続は [非セキュ
ア|セキュア|自己] です
([Unsecured|Secured|Self]
connection on socket **sockdesc**
from/to **zsecnode/zsecsys**
sysplex.clone.sysname
njenode.smfid rrsfnode)

説明

このメッセージは、zSecure Server がピア zSecure Server またはそれ自体に対して正常に接続を確立したことを示します。

重大度

00

CKN164I クライアント *number* ジョブ
jobname ユーザー *userid* (Client
number job jobname user userid)

説明

このメッセージは、ローカル・クライアント・プログラムが zSecure Server に対して最初に要求を出すときにレコードに書き込まれます。クライアント要求が同じトークンを渡し、同じ *userid* および *jobname* から発行され、サーバーが再始動していない場合、クライアントは、同じクライアントと見なされます。

重大度

00

CKN165I zSecure Server *zsecnode/zsecsys*
で、*zsecnode/zsecsys* への最後の接続
が失われました (zSecure Server
zsecnode/zsecsys lost last
connection to zsecnode/zsecsys)

説明

このメッセージは、パートナー zSecure Server に対する最後の TCP 接続が除去されたことを示します。新しい割り振り要求を受信するまで、接続は除去されたままとなります。

重大度

00

CKN166I IEFSSREQ SSI=54、Subsys=*subsys*
から予期しない戻りコードを受信し
ました。R15=*rc*、SSOBRETN=*rsn*
(An unexpected return code was
received from IEFSSREQ SSI=54,
Subsys=*subsys*, R15=*rc*,
SSOBRETN=*rsn*)

説明

サブシステム *subsys* の IEFSSREQ 要求タイプ 54 が終了し、Register 15 には戻りコード *rc*、SSOBRETN フィールドには理由コード *rsn* が設定されました。各変数の意味を以下に示します。

- *subsys* は、照会されているサブシステムの名前です (JES2 または JES3)。

- *rc* は、IEFSSREQ から戻される Register 15 の値です。
- *rsn* は、SSOBRETN から取得される IEFSSREQ 理由コードです。

IEFSSREQ を使用してサブシステム要求を発行すると、エラーが発生した場合に CKN166I メッセージが生成されます。

z/OS バージョン 1.8 以降を実行している場合は、JES ノード処理に関連するその他のエラーが発生する場合があります。通常、IEFSSREQ を呼び出すと、JES2 専用ノードまたは JES3 ホーム・ノードを含む 1 次 JES2 または JES3 サブシステムに関する情報が戻されます。この情報が戻されない場合、CKNSERVE は、ローカル JES ノードの名前を判別できません。

ユーザーの処置

このエラーは、サポートされないオペレーティング・システム上で zSecure を実行したり、IEFSSREQ サービスに影響を与える恐れのある保守をオペレーティング・システムに対して最近行ったりした場合に発生することがあります。このエラーについては詳しくは、「z/OS MVS Using the Subsystem Interface (SA38-0679)」に記載されている IEFSSREQ および SSOBRETN の戻りコードの値を参照してください。問題を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN167I JES ノード、Subsys=*subsys version*
の特定中にエラーが発生しました
(Error locating JES node,
Subsys=*subsys version*)

説明

CKN167I メッセージは、IEFSSREQ サブシステム要求から JES ノードを判別できない場合に発行されます。各変数の意味を以下に示します。

- *subsys* は、JES2 または JES3 1 次サブシステムの名前です。
- *version* は、JES2 または JES3 のバージョンです (例: SP 1.8.0)。

ユーザーの処置

このエラーは、IEFSSREQ サービスに影響を与える恐れのある保守をオペレーティング・システムに対して最近行った場合に発生することがあります。1 次 JES2 または JES3 サブシステムが初期化されていることを確認してから、zSecure マルチシステム・サーバーの再始動を試行してください。問題を解決できない場合は、

電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN168I *subsys* ノードは *node* です (*subsys* node is *node*)

説明

マルチシステム・サーバーの初期化時に JES ノードが解決されるとこの通知メッセージが発行されます。各変数の意味を以下に示します。

- *subsys* は、1 次サブシステムの名前です (JES2 または JES3)。
- *node* は、専用ノードの名前 (JES2) またはホーム・ノードの名前 (JES3) です。

重大度

00

CKN169I エンド・クライアント要求 **CKNE** の後の要求 *id* を無視します (Ignoring request *id* after an end-client request **CKNE**)

説明

このメッセージは、既に終了しているクライアントの示された要求タイプがローカル・サーバーに渡されたことを示します。これは、例えば、リモート・ファイルのクローズ要求がエンド・クライアント要求の後に送信された場合に発生することがあります。

ユーザーの処置

無視するか、または呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

04

CKN170I **BPX1CLO** は、listen 中のソケット **SOCKDESC** を閉じることができませんでした **UNIX_ERROR** (**BPX1CLO failed close listening socket SOCKDESC UNIX_ERROR**)

説明

このメッセージは、ソケットを閉じる試みが失敗したことを示します。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

04

CKN171I *ddname volser dsname* から *number* 件のレコードを読み取った後にクローズします (Close after reading *number* records from *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、示されたデータ・ソースから読み取られたレコードの件数を示します。

重大度

00

CKN172I *clntddnm* を 2 回開くことはできません。 **zsecsys** クライアント *number* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* による要求 (Cannot open *clntddnm* twice; request by **zsecsys** client *number* job *jobname* user *userid*)

説明

このメッセージは、同一のクライアント・ファイル名について 2 つのオープン要求を受信したことを示します。

ユーザーの処置

呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

08

CKN173I *client-userid* では、*target-userid* へのユーザー ID マッピングは許可されません。 **zsecsys** ジョブ *jobname* ユーザー *client-userid* クライアント *client-id* に通知します (Userid mapping not allowed for *client-userid* to *target-userid*, notifying **zsecsys** job *jobname* user *client-userid* client *client-id*)

説明

target-userid には、*client-userid* に対する承認済みの PEER または MANAGED-BY アソシエーションがありません。*target-userid* の使用は拒否されます。

ユーザーの処置

ユーザー ID マッピングを定義する CKNUMAP プロファイルを追加するか、または RACLINK を通じてユーザー ID アソシエーションを設定してください。

重大度

08

CKN174I *client-userid* のユーザー ID マッピングは実装されていません。
zsecsys ジョブ *jobname* ユーザー *client-userid* クライアント *client-id* に通知します (Userid mapping not implemented for *client-userid*, notifying *zsecsys* job *jobname* user *client-userid* client *client-id*)

説明

client-userid には、ターゲット・システム上で使用するユーザー ID を判別するマッピング・プロファイルがありません。データ・アクセスとコマンド実行は拒否されます。

ユーザーの処置

ユーザー ID マッピングを定義する CKNUMAP プロファイルを追加するか、または RACLINK を通じてユーザー ID アソシエーションを設定してください。

重大度

08

CKN175I [CKNADMIN | CKNUMAP] プロファイルの RACF EXTRACT に失敗しました *abendcode*(RACF EXTRACT of [CKNADMIN | CKNUMAP] profile failed *abendcode*)

説明

USERID マッピング情報を取得して検査する RACF 抽出関数が失敗しました。メッセージに CKNUMAP が含まれている場合、処理は ID マッピングを使用して続行します。メッセージに CKNADMIN が含まれている場合、処理は ZSECNODE ユーザー ID なしで続行します。

ユーザーの処置

ZSECNODE ユーザー ID については、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の追加のセキュリティ手段を参照してください。

重大度

08

CKN176I タスク *task* は、ソケット *sockdesc* が失われた後の DOIO は無視します (Task *task* ignoring DOIO after lost socket *sockdesc*)

説明

このメッセージは、リモート・サーバーへの接続が失われたために、サーバーがリモート入出力要求を破棄していることを示します。

ユーザーの処置

リモート・サーバーが再始動したら、照会を再度実行してください。

重大度

08

CKN177I タスク *task* は、ソケット *sockdesc* が失われた後の ALLO は無視します (Task *task* ignoring ALLO after lost socket *sockdesc*)

説明

このメッセージは、リモート・サーバーへの接続が失われたために、サーバーがリモート・ファイル割り振り要求を破棄していることを示します。

ユーザーの処置

リモート・サーバーが再始動したら、照会を再度実行してください。

重大度

08

CKN178I *zsecsys* クライアント *n* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の *localfile* のリモート *type* ファイル *rmtfile* *dsname* [*member*] (Remote *type* file *rmtfile* *dsname* [*member*] for *localfile* of *zsecsys* client *n* job *jobname* user *userid*)

説明

この通知メッセージは、示されたクライアント・ローカル・ファイル名からリモート・コマンド画面を送信するために使用される リモート・ファイル名を示します。

重大度

00

CKN179I CKNDOIA は、WKQR address 上の不明な WKQRTYPE=xx です (CKNDOIA unknown WKQRTYPE=xx on WKQR address)

説明

このメッセージは、ルーチン CKNDOIA で予期しない条件が見つかったことを示します。タスクは、ユーザー異常終了 179 で終了します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN180I zsecsys クライアント *n* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* から受信したファイル *localfile* に書き込もうとしましたが、ファイルが開いていません (Put for unopened file *localfile* received from zsecsys client *n* job *jobname* user *userid*)

説明

このメッセージは、プロトコル・エラーを示します。開いていないファイルについて、PUT I/O を受信していません。

ユーザーの処置

クライアント・プログラムを停止して再始動してください。問題が引き続き発生する場合は、ローカル・サーバーとリモート・サーバーを再始動してください。それでも問題が引き続き発生する場合は、クライアント・プログラムを修正してください。クライアントが IBM ソフトウェアの場合は、IBM サポート Web サイトでこのメッセージを検索してください。

重大度

08

CKN181I zsecsys クライアント *n* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* から受信したファイル *localfile* に書き込もうとしましたが、ファイルがサポートされていません (Put for unsupported file *localfile* received from zsecsys client *n* job *jobname* user *userid*)

説明

このメッセージは、プロトコル・エラーを示します。PUT I/O をサポートしないファイル・タイプについて、PUT I/O を受信しています。

ユーザーの処置

クライアント・プログラムを修正してください。クライアントが IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKN182I ZSECSYS クライアント *n* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* がファイル *remotefile* 経由で *m* 件のレコードをリモート・プログラムに渡しました (ZSECSYS client *n* job *jobname* user *userid* passed *m* records to remote program via file *remotefile*)

説明

この通知メッセージは、示されたりモート・ファイルに関して何件のレコードがクライアントからリモート・プログラムに渡されたのかを示します。

重大度

00

CKN183I ファイル *ddname* での入出力時に *jobname* ASID *xxxx* ユーザー *userid* からサーバー *zsecsys* への接続が失われました (Connection lost to server *zsecsys* during I/O on file *ddname*; from *jobname* ASID *xxxx* user *userid*)

説明

このメッセージは、示されたファイル名での入出力操作中にリモート・サーバーへの接続が失われたことを示します。

ユーザーの処置

ターゲットの *zsecsys* または *zsecnode* への接続が再確立されるまで待ってから (リモート・サーバーの再始動を要求するか、またはシステムにターゲット *zsecnode* で別の *zsecsys* を選択させます)、照会を再度実行してください。

重大度

08

CKN184I *type* のアクセス検査中に失敗しました *abendcode* (Failure during type access verification *abendcode*)

説明

示されたリソース・タイプへのアクセスの検査を試みている間に異常終了が発生しました。

リソース・タイプの取り得る値は、CKNADMIN または DIRECT です。

CKNADMIN

サイト SAF クラス・プロファイル
CKNADMIN.TONODE.zsecnode を参照してください。

DIRECT

RRSFDATA プロファイル DIRECT.rrsfnode を参照してください。

ユーザーの処置

異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

08

CKN185I *zsecnode* へのアクセスが許可されていません。RRSFDATA
DIRECT.*zsecnode* へのアクセス権が不十分です。RC=*retcode*
RN=*reascde* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* クライアント *clientid* (Not authorized to access *zsecnode* , insufficient access to RRSFDATA
DIRECT.*zsecnode* RC=*retcode*
RN=*reascde* job *jobname* user *userid* client *clientid*)

説明

示された *userid* には、RRSFDATA DIRECT.*zsecnode* リソースへの十分なアクセス権がありません。*zsecnode* に送信されるデータ・セットとコマンドは許可されません。

ユーザーの処置

示された SAF 戻りコードと理由コードを Security Server RACROUTE の資料で確認してください。示されたノードにコマンドを経路指定する許可がユーザーに必要な場合は、ユーザーに許可を与えてください。

重大度

08

CKN186I CKNADMIN のアクセスの検証中に失敗しました *abendcode*。使用は許可されません (Failure during CKNADMIN access verification *abendcode*, disallow use)

説明

現行ノードへのアクセスを制御する CKNADMIN リソースへのアクセスを検証しようとしている間に異常終了が発生しました。システムへのアクセスは許可されません。

ユーザーの処置

異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

08

CKN187I *source-node* から *current-node* へのアクセスは許可されません。
RC=*retcde* RSN=*reascde* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* クライアント *clientid* (Not authorized to access *current-node* from *source-node* RC=*retcde* RSN=*reascde* job *jobname* user *userid* client *clientid*)

説明

示された *userid* には、クライアント・ノードへのアクセスを制御するリソース CKNADMIN.FROMNODE *zsecnode* への十分なアクセス権がありません。*current-node* に送信されるデータ・セットとコマンドは許可されません。

ユーザーの処置

示された SAF 戻りコードと理由コードを Security Server RACROUTE の資料で確認してください。示されたノードにコマンドを経路指定する許可がユーザーに必要な場合は、ユーザーに許可を与えてください。または、実際に存在するユーザー ID に CKNUNMAP マッピングを追加してください。

重大度

08

CKN188I RACLINK データの RACF による取得が失敗しました *abendcode*。使用は許可されません (RACF Retrieval of RACLINK data failed *abendcode*, disallow use)

説明

ユーザー ID マッピング・データの取得を試みている間に異常終了が発生しました。RACLINK ユーザー ID アソシエーションは使用されません。システムに送信されるデータ・セットとコマンドは許可されません。

ユーザーの処置

異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

08

CKN189I ファイル **CLNTDDNM** に対する **ALLOC** の処理中にサーバー **ZSECSYS** への接続が失われました。ジョブ **jobname** ユーザー **userid** クライアント **clientno** (**Connection lost to server ZSECSYS during ALLOC of file CLNTDDNM, job jobname user userid client clientno**)

説明

このメッセージは、ALLOC 要求時、ネットワーク接続が失敗するか、またはサーバーがシャットダウンもしくはサーバーに他の問題が発生したことが原因で、リモート (ターゲット) サーバーへの接続が失われたことを示します。

ユーザーの処置

接続を再確立した後、またはリモート・サーバーを再始動した後にアクションをやり直してください。

重大度

08

CKN190I **program** が終了しました **abend** (**program ended abend**)

説明

このメッセージは、クライアントに代わって始動したプログラムが、示された異常終了で終了したことを示します。

ユーザーの処置

異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

04

CKN191I

program が終了しました、**RC number (program ended RC number)**

説明

この通知メッセージは、クライアントに代わって始動したプログラムが、示された戻りコードで終了したことを示します。

重大度

00

CKN192I

msgno msgno に対するクライアント **clientno** のジョブ **jobname** の **ASID asid** の待ち時間 (**n** 分) が長すぎます。解放を試行しています (**Excessive wait time n minutes for client clientno job jobname ASID asid for msgno msgno; attempting release**)

説明

このメッセージは、クライアントがリモート・サーバーからの応答を待機していましたが、待機時間が長すぎることを示します。クライアントに、この CKN192I メッセージが通知されます。同じクライアントに対してこのメッセージが繰り返し発行されると、クライアント・タスク内の現在のプロセスが終了されます。これにより、後続のエラー・メッセージが発生する場合があります。

ユーザーの処置

ローカル・サーバーおよびリモート・サーバーの CKNPRINT とジョブ・ログを調べてください。何か問題が示されていた場合は、その問題に関連するサーバーを再始動してください。問題が見つからない場合は、ジョブを再実行してください。問題が再度発生した場合は、次のレベルのサポートを呼び出してください。

重大度

04

CKN193I

ZSECSYS クライアント **clientno** ジョブ **jobname** ユーザー **userid** の **CLNTDDNM** について、**TYPE=type** 指定「**string**」は無効です (**Invalid TYPE=type specification "string" for CLNTDDNM of ZSECSYS client clientno job jobname user userid**)

説明

このメッセージはプロトコル・エラーを示します。より新しいバージョンのプロトコルを使用するクライアントがサーバーに接続したことが考えられます。

ユーザーの処置

クライアントとサーバーが、互換性のあるレベルであることを確認してください。場合によっては、別のサーバー・トークンを使用して、必要なレベルをサポートするサーバーに接続してください。

重大度

08

CKN194I ZSECSYS クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の **CLNTDDNM** に対して、あまりにも多くのファイルが同時に提供されます (**Too many files at the same time for CLNTDDNM of ZSECSYS client *clientno* job *jobname* user *userid***)

説明

このメッセージは、同じリモート・プログラム・インスタンスに対して、サポートされない数の情報要求が経路指定されていることを示します。

ユーザーの処置

照会を簡素化することを試みてください。

重大度

08

CKN195I ZSECSYS クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の **CLNTDDNM** について、**TYPE=CKFREEZE** 指定「*string*」は無効です (**Invalid TYPE=CKFREEZE specification "*string*" for CLNTDDNM of ZSECSYS client *clientno* job *jobname* user *userid***)

説明

このメッセージはプロトコル・エラーを示します。より新しいバージョンのプロトコルを使用するクライアントがサーバーに接続していることが考えられます。

ユーザーの処置

クライアントとサーバーが、互換性のあるレベルであることを確認してください。場合によっては、別のサーバー・トークンを使用して、必要なレベルをサポートするサーバーに接続してください。

重大度

08

CKN196I

TYPE=CKFREEZE spec、または **ZSECSYS** クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の **CLNTDDNM** に対して、リモート・サーバー・ファイル名 **RMTRFILE** が割り振られていません。 (**Remote server file name RMTRFILE not allocated for TYPE=CKFREEZE spec or CLNTDDNM of ZSECSYS client *clientno* job *jobname* user *userid***)

説明

このメッセージは、示された CKFREEZE ファイルについて、サーバーから割り振りが欠落していることを示します。

ユーザーの処置

サーバーを再始動します。これで問題が訂正されない場合は、呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度

08

CKN197I

TYPE=CKFREEZE spec、または **ZSECSYS** クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の **CLNTDDNM** について、リモート・サーバー・ファイル名 **RMTRFILE** が使用されています (**Remote server file name RMTRFILE used for TYPE=CKFREEZE spec or CLNTDDNM of ZSECSYS client *clientno* job *jobname* user *userid***)

説明

この通知メッセージは、クライアントからの CKFREEZE 要求を満たすために使用されているリモート・ファイルを示します。

重大度

00

CKN198I

サーバーを停止します。 **program** が終了しました **abend_or_RC** (**Stopping server because program ended *abend_or_RC***)

説明

このメッセージは、異常終了またはゼロ以外の戻りコードで、必要なタスクが終了したことを示します。サーバーはシャットダウンします。

ユーザーの処置

ローカル・サーバーおよびリモート・サーバーのジョブ・ログと CKNPRINT を調べてください。何か問題があった場合は解決して、その問題に関連するサーバーを再始動してください。

重大度

16

CKN199I CKNDSN のアクセス検査中に失敗しました *abend* (Failure during

CKNDSN access verification *abend*)

説明

RACROUTE REQUEST=AUTH 許可検査中に異常終了が発生しました。アクセスは許可されません。

ユーザーの処置

異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

08

CKN メッセージ 200 から 299

CKN200I *dsname* へのアクセスは許可されません。 *profile* へのアクセス権が不十分です。 **RC=hexrc RSN=hexrsn (16 進数)**。クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* (Not authorized to access *dsname*, insufficient access to *profile* **RC=hexrc RSN=hexrsn hex; client *clientno* job *jobname* user *userid***)

説明

示された *profile* に対する許可が存在しません。したがって、*dsname* へのアクセスは許可されません。このメッセージは、クライアント・ユーザー ID または ZSECNODE ユーザー ID のいずれかを表示することができます。ZSECNODE ユーザー ID は、一致する CKNADMIN.FROMNODE プロファイルの APPLDATA から取得されます。ユーザー ID が指定された場合、ユーザー ID はこの ZSECNODE からのユーザーがどのデータ・セットを使用できるかを制御するために使用されます。

ユーザーの処置

RACROUTE REQUEST=AUTH について、Security Server RACROUTE の資料で、示された SAF 戻りコードと理由コードを確認してください。

重大度

08

CKN201I *system* クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* からの *dstype dsname* の使用は許可されません (Not authorized to use *dstype dsname* from *system* client *clientno* job *jobname* user *userid*)

説明

このメッセージは、タイプ *dstype* の *dsname* にアクセスする権限が不足していることを通知するためにクライアントに渡されます。このメッセージは、クライアント・ユーザー ID または ZSECNODE ユーザー ID のいずれかに、*dsname* への十分なアクセス権限がない場合に発行されることがあります。

ユーザーの処置

詳細な情報が必要な場合は、リモート・サーバーの CKNPRINT で CKN200I または CKN199I を探してください。

重大度

08

CKN202I *ZSECSYS* クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の *CLNTDDNM* に *RMTDDNM dsname [member]* を割り振れませんでした (Allocate failed *RMTDDNM dsname [member]* to *CLNTDDNM* of *ZSECSYS* client *clientno* job *jobname* user *userid*)

説明

このメッセージは、リモート・サーバーでの割り振りが失敗した場合にクライアントに渡されます。

ユーザーの処置

詳細な情報が必要な場合は、リモート・サーバーの CKNPRINT ファイルで、このメッセージの前にある IKJ* メッセージを探して、そのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN203I **OPTION name** は、**PARM** ストリング
でのみ有効です (**OPTION name**
only valid in **PARM** string)

説明

示されたオプションは、PARM ストリングでのみ指定で
きます。CKNIN ファイルでは指定できません。

ユーザーの処置

オプションを PARM ストリングに移動して、操作を再
試行してください。

重大度

12

CKN204I **WKQH address** の応答キュー
(**Answer queue for WKQH address**)
ダンプ

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる
要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN205I **class ('resource')** の許可中に異常終
了しました: **abend (ABEND**
authorizing class ('resource'):
abend)

説明

示されたリソースに対する RACROUTE
REQUEST=AUTH で、示された異常終了が検出されまし
た。

ユーザーの処置

異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、
「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

08

CKN206I **zsecnode/zsecsys**
sysplexclone.sysname
njenode.smfid rrsfnode との間のソ

ケット **SOCKDESC** 上の [非セキュ
ア|セキュア] 接続は許可されません
(**[Unsecured|Secured] connection**
not authorized on socket
**SOCKDESC [from|to] zsecnode/
zsecsys sysplexclone.sysname**
njenode.smfid rrsfnode))

説明

リモート・サーバーとの間での接続が試行されました
が、接続が AT-TLS によって保護されていませんでした。
サーバー・タスクは、非セキュア例外リソース
「CKNADMIN.INSECURE.secsys」に対して許可されて
いません。

ユーザーの処置

ポリシー・エージェントを備えたサーバー間で AT-TLS
保護をセットアップしてください。詳しくは、「インス
トールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してくだ
さい。

重大度

08

CKN207I **zsecnode/zsecsys**
sysplexclone.sysname
njenode.smfid rrsfnode との間のソ
ケット **SOCKDESC** 上のパートナー
cert 名が無効です (**Partner cert**
name invalid on socket SOCKDESC
[from|to] zsecnode/zsecsys
sysplexclone.sysname
njenode.smfid rrsfnode))

説明

ピア証明書の ALTNAME エクステンションのホスト名
DOMAIN の名前の値 (証明書ホスト名) が ZSECSYS 名
に一致しませんでした。証明書は、パートナー・サー
バーが本当の ZSECSYS パートナー・ノードであり、なり
すましのアタッカーではないことの証明として使用さ
れます。そのため、これは識別と認証の失敗を示しま
す。また、この認証および識別機能を無効にするために
使用できる例外リソース
「CKNADMIN.CERTOKAY.secsys」に対する許可もあり
ませんでした。

ユーザーの処置

適切な (ローカル) 鍵リングの適切な (リモート)
ZSECSYS 名の証明書を生成してください。詳しくは、
「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照
してください。

重大度

08

CKN208I ソケット・アクティブ WKQR
*address type status (Socket active
WKQR address type status)*

説明

このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN209I CKFCOLL がまだアクティブである
か、CKFREEZE *ddname* がまだ使用
中です。(CKFCOLL still active, or
CKFREEZE *ddname* still in use.)リ
フレッシュは遅延されます (Refresh
delayed)

説明

自動スナップショット・ファイルのリフレッシュが必要ですが、前のCKFREEZE データ・セットのリフレッシュのCKFCOLLが引き続き使用中であるか、*ddname*に割り振られたCKFREEZEがまだ使用中です。

ユーザーの処置

このメッセージが1回だけ表示された場合は、無視してください。問題が引き続き発生する場合は、サーバーを再始動してください。それで解決しない場合は、クライアント対話の完了を遅延させている可能性のある問題をCKNPRINT出力で探して、問題を解決してください。

重大度

08

CKN210I ZSECSYS クライアント *number* ジ
ョブ *jobname* ユーザー *user* がファ
イル *remotedd* をクローズしました
(ZSECSYS client number job
*jobname user user closed file
remotedd*)

説明

このメッセージは、プログラムが既に終了したリモートCKRCALRAから、リモート・ファイルについてのクローズ要求を受け取ったことを示します。これはクライアントの終了直前に通常発生します。

重大度

00

CKN211I RETRYINTERVAL *interval* は 0 とす
るか、1 分から 1440 分までとする必
要があります (RETRYINTERVAL
interval must be 0 or between 1
and 1440 minutes)

説明

指定した RETRYINTERVAL 値が、有効な範囲内にありません。自動再試行を非アクティブにするには 0 を指定します。サーバー間の失敗した通信の再試行を行うまでの期間を定義するには、最低 1 分から最大 1440 分までの値を指定します。

ユーザーの処置

入力を訂正し、操作を再試行してください。

重大度

12

CKN212I zSecure サーバー *zsecnode/
zsecsys* トークン *servertoken* は、ポ
ート *n* を listen しています
(zSecure Server *zsecnode/zsecsys
token servertoken now listening on
port n*)

説明

このメッセージは、サーバーがピア・サーバーからの接続を listen していることを示します。このメッセージは、出力メッセージおよび WTO の両方として発行されます。

重大度

00

CKN213I zSecure サーバー *zsecnode/
zsecsys* トークン *servertoken* が停
止中 *abend* (zSecure Server
*zsecnode/zsecsys token
servertoken stopping abend*)

説明

このメッセージは、サーバーが異常終了状態に回答して停止中であることを警告します。このメッセージは、出力メッセージおよび WTO の両方として発行されます。

重大度

16

CKN214I クライアント *n* ジョブ *jobname*
ASID *asid* ユーザー *userid* からのテ
スト PC 異常終了要求 (Test PC
abend request from client *n* job
jobname ASID *asid* user *userid*)

説明

呼び出し側プログラムのエラー・リカバリーをテストするために PC ルーチンからユーザー異常終了 214 が発行されます。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKN215I *zsecsys* クライアント *clientno* ジョ
ブ *jobname* ユーザー *userid* の長ず
ぎるアイドル時間 *nn* 分。終了をシ
ミュレートします (Excessive idle
time *nn* minutes for *zsecsys* client
clientno job *jobname* user *userid*;
simulating end)

説明

リモート・クライアントから対話を受け取らなかった時間が *nn* 分を超えました。このサーバーに保持されているエンキューおよびリソースを解放するために、エンド・クライアント・アクションがシミュレートされます。このメッセージは、リモート・クライアントが 10 分以上サイレントの場合にのみ発行されます。

ユーザーの処置

ユーザーのアクションは不要です。

重大度

08

CKN216I READALL アクセス権限検査中の異
常終了、*abendcode*、アクセス権限
なしと想定します (ABEND during
READALL access check *abendcode*
assume no access)

説明

XFACILITY リソース・クラス内の CKR.READALL リソースに対する実行ユーザー ID のアクセス検査中に予期しない状況が発生しました。zSecure サーバーは CKRCARLA クライアントに対し、ユーザーには CKR.READALL リソースへの十分なアクセス権限がないことを通知します。

ユーザーの処置

「Security Server RACF メッセージおよびコード」マニュアルの異常終了コードを参照してください。

重大度

08

CKN217 ノード・ユーザー ID *node-userid* が
cert-userid と一致しません (Node
userid *node-userid* does not match
cert-userid)

説明

一致する CKNADMIN.FROMNODE プロファイルから取得された ZSECNODE ユーザー ID が、ノードの証明書に関連付けられたユーザー ID と一致しません。接続は拒否されて通信は停止します。

ユーザーの処置

一致する CKNADMIN.FROMNODE プロファイルの APPLDATA で指定された ZSECNODE ユーザー ID が正しいことを確認してください。ノードの証明書に関連付けられている RACF ユーザー ID が正しいことを確認してください。これらのユーザー ID の指定について詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の AT-TLS を使用したセキュア通信の設定に関するセクションを参照してください。

重大度

08

CKN218I BPX1OPT setsockopt
TCP_KEEPALIVE がソケット
sockdesc で失敗しました *unix_error*
(BPX1OPT setsockopt
TCP_KEEPALIVE failed on socket
sockdesc *unix_error*)

説明

このメッセージは、TCP KEEPALIVE ソケット・オプションを ZSECSYS RETRYINTERVAL に設定する setsockopt 呼び出しの間に UNIX エラーが発生したことを示します。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

08

CKN219 BPX1OPT setsockopt
SO_KEEPALIVE のアクティブ化が

ソケット *sockdesc* で失敗しました
**unix_error (BPX1OPT setsockopt
SO_KEEPALIVE active failed on
socket sockdesc unix_error)**

説明

このメッセージは、接続を定期的にテストすることを要求する *setsockopt* 呼び出しの間に、UNIX エラーが発生したことを示します。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

08

CKN220 **BPX1OPT setsockopt
TCP_NODELAY のアクティブ化がソ
ケット *sockdesc* で失敗しました
*unix_error (BPX1OPT setsockopt
TCP_NODELAY active failed on
socket sockdesc unix_error)***

説明

このメッセージは、接続でメッセージを遅延しないことを要求する *setsockopt* 呼び出しの間に、UNIX エラーが発生したことを示します。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

08

CKN221 **BPX1OPT setsockopt
SO_REUSEADDR のアクティブ化が
ソケット *sockdesc* で失敗しました
*unix_error (BPX1OPT setsockopt
SO_REUSEADDR active failed on
socket sockdesc unix_error)***

説明

このメッセージは、ポートを再使用可能にすることを要求する *setsockopt* 呼び出しの間に、UNIX エラーが発生したことを示します。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度

08

CKN222I ***userid* について RACF ACEE のク
リーンアップに失敗しました。
RC=*retcode* RSN=*reascode* (16 進
数)、*sysname* ジョブ *jobname* ユー
ザー *userid* クライアント *clientno*
(RACF ACEE clean up failed for
userid RC=*retcode* RSN=*reascode*
hex for *sysname* job *jobname* user
userid client *clientno*)**

説明

ユーザー *userid* のセキュリティ環境の削除が成功しませんでした。メッセージには、RACROUTE REQUEST=VERIFY ENVIR=DELETE に対する戻りコードと理由コードに加え、このセキュリティ環境が作成されたリモート・ユーザー ID の識別番号が表示されます。

ユーザーの処置

「Security Server RACF RACROUTE マクロ解説書」で RACROUTE 関数の戻りコードと理由コードを調べてください。

重大度

08

CKN223I **ネゴシエーションされた TLS 暗号
cipher が NIST 800-131A に準拠し
ていません (Negotiated TLS cipher
cipher is not compliant with NIST
800-131A)**

説明

このメッセージは、ネゴシエーションされた TLS 暗号 *cipher* が、NIST 特別刊行物 800-131A に準拠していないことを示します。

ユーザーの処置

暗号の説明については、「z/OS Cryptographic Services System SSL Programming」のトピック『Cipher Suite Definitions』を参照してください。TTLSCipherParms ステートメントを使用して、AT-TLS ポリシー・ルール内で NIST 800-131A に準拠した暗号のリストを指定してください。

重大度

04

CKN224I **ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ユーザー *USERID* から受
信した CARLA ファイルに対する**

REREAD 要求は無効です (Invalid REREAD request on CARLA file received from ZSECSYS client nn job JOBNAME user USERID)

説明

このメッセージは、クライアントからのプロトコル・エラーを示します。クライアント・アプリケーションは、2パス・モードがサポートされていないファイルを再読み取りしようとしてしました。

重大度

08

CKN225I **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ *JOBNAME* ユーザー *USERID* から受信した **CKX** 出力ファイルに対する **REREAD** 要求は無効です (Invalid REREAD request on CKX output file received from ZSECSYS client *nn* job *JOBNAME* user *USERID*)

説明

このメッセージは、クライアントからのプロトコル・エラーを示します。クライアント・アプリケーションは、2パス・モードがサポートされていないファイルを再読み取りしようとしてしました。

重大度

08

CKN226I **ZSECSYS** クライアント *nn* ジョブ *JOBNAME* ユーザー *USERID* から受信した、開いていないファイル *DDNAME* に対する **REREAD** 要求は無効です (Invalid REREAD request for unopened file *DDNAME* received from ZSECSYS client *nn* job *JOBNAME* user *USERID*)

CKN メッセージ 600 から 899

CKN600...CKN *message*
699

説明

CKN600 から CKN699 の範囲のメッセージは、内部エラー・メッセージであり、個々に文書化はされていません。この範囲内のメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

説明

このメッセージは、クライアントからのプロトコル・エラーを示します。クライアント・アプリケーションは、正常に開けなかったファイルを再読み取りしようとしてしました。

ユーザーの処置:

オープンの異常終了のメッセージまたはオープンの失敗のメッセージを探して、そのガイダンスに従ってください。

重大度

08

CKN227I システム日付が *date* に変わりました (System date changed to *date*)

説明:

このメッセージは、システム日付を記録するために CKNPRINT 出力ファイルに出力されます。これは、タイム・スタンプ・オプションが設定されなかった場合に特に便利です。

重大度

00

CKN228I **CKNDSN UPDATE** のアクセス検査中に失敗しました *abend* (Failure during CKNDSN UPDATE access verification *abend*)

説明:

RACROUTE REQUEST=AUTH 許可検査中に異常終了が発生しました。アクセスは許可されません。

ユーザーの処置:

異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度

08

CKN700...CKN *message*
799

説明

CKN700 から CKN799 の範囲のメッセージは、トレース・メッセージであり、個々に文書化はされていません。この範囲内のメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKN874I RECFM=V(BS) RDW hex が、レコード *n ddname volser dsname* で LRECL=*lrecl* を超えています (RECFM=V(BS) RDW hex exceeds LRECL=*lrecl* at record *n ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

CKN875I RECFM=V(BS) BDW hex が、レコード *n ddname volser dsname* で BLKSIZE=*blksize* を超えています (RECFM=V(BS) BDW hex exceeds BLKSIZE=*blksize* at record *n ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

CKN893I *task ep* の接続を試みました。タスク *task TCB addr ATTACH RC=n 10* 進数 (Task *task TCB addr ATTACH*

RC=n dec attempting to attach *task ep*)

説明

このメッセージは、*task* という名前のタスクの示された TCB インスタンスから新しいタスク *task ep* の接続に失敗したことを示します。

ユーザーの処置

ATTACH 戻りコードの説明を確認して、適切なアクションを実行してください。例えば、戻りコードがストレージ不足を示している場合があります。

重大度

16

CKN894I タスク *task TCB taskaddr* による *task ep* インスタンス TCB *subtaskaddr* の切り離し。RC=*nn 10* 進数 (Task *task TCB taskaddr DETACH of task ep instance TCB subtaskaddr RC=nn dec*)

説明

このメッセージは、タスク *task* の示された所有インスタンス TCB *taskaddr* が、サブタスク *task ep* の示された TCB インスタンスを正しく削除することに失敗したことを示します。RC 値は、ゼロ以外の DETACH 戻りコードです。

ユーザーの処置

DETACH 戻りコードの説明を確認して、適切なアクションを実行してください。

重大度

04

CKN895I タスク *task TCB addr* サブタスク *task ep* インスタンス TCB *subtaskaddr* が失敗しました *abend* (Task *task TCB addr subtask task ep instance TCB subtaskaddr failed abend*)

説明

このメッセージは、示された異常終了コードで DETACH タスクが失敗したことを示します。この失敗は、*task* という名前のタスクの示されたマザー TCB インスタンスの *task ep* のドーター・タスク・インスタンス TCB *subtaskaddr* で発生しました。

ユーザーの処置

異常終了コードの意味を確認して、適切なアクションを実行してください。例えば、戻りコードがストレージ不足や入力/出力ファイル関連の失敗を示している場合があります。これがユーザー異常終了コードの場合は、ユーザー異常終了コードと同じ 10 進数のメッセージ番号を持つジョブ・ログまたはシステム・ログの出力ファイルまたは WTO にメッセージが存在するはずで、ユーザー異常終了コードが 16 の場合、メッセージ番号は異なる場合があります (例えば、999)。メッセージを調べて、そのガイダンスに従ってください。

重大度

04

CKN896I タスク *task* TCB *addr* ゼロ ECB 待機 (Task *task* TCB *addr* zero ECB wait)

説明

これは、ソフトウェア内の問題を示す内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置

CKNPRINT を保存して [電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN897I HMALLOC 呼び出しエラー: *task2* からの非スレッド・セーフ *task1 heap* (HMALLOC CALL ERROR: NON-

CKN メッセージ 900 から 999

CKN900I *task taskaddr* の IDENTIFY RC=*rc* (IDENTIFY RC=*rc* for *task taskaddr*)

説明

IDENTIFY サービスは、示された *task* に対して示された *rc* を返しました。

重大度

00

CKN931I *proc*: バッファ・オーバーラン - *dln=destinationlength sln=sourcelength:: data (proc:*

THREDSAFE *task1 heap* from *task2*)

説明

これは、ソフトウェア内の問題を示す内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置

SYSPRINT および他の関連するファイルを保存して、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN898I *program* 再帰的な異常終了が発生しました (*program Recursive abend percolated*)

説明

この WTO メッセージは、再帰的な異常終了状態が発生したことを警告します。要約ダンプを提供する試み、またはリカバリーの試みは、失敗することが考えられます。

ユーザーの処置

最初の異常終了を解決してください。

重大度

I

Buffer overrun -
dln=destinationlength
sln=sourcelength:: data)

説明

フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファ・オーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKN941I プログラムに対する診断ダンプが抑止されました。グローバル領域または GBLREG GARBLE AT xxxxxxxx が理由です (DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR program BECAUSE GLOBAL AREA OR GBLREG GARBLE AT xxxxxxxx)

説明

この WTO メッセージは、診断ダンプがない理由を示します。問題を分析するには、通常のダンプが必要です。

重大度

I

CKN955I *program task heap* ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (*program task heap STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE*)

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN968I IFAEDDRG が失敗しました RC nn (10 進数) (IFAEDDRG failed RC nn decimal)

説明

このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN969I *dsn* の入出力エラー: *description* (I/O error for *dsn*: *description*)

説明

このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度

08

CKN970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (FREE STORAGE ERROR): *message*

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN972I *product* の使用可能化情報がありません (Enablement information missing for *product*)

説明

このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度

16

CKN973I IBM セキュリティ製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM

Security product code code disabled or not installed)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR名、VMユーザーID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKN974I **IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません IBM Security *product disabled or not installed here for requested focus***

説明

製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR名、VMユーザーID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKN975I **IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security *product disabled or not installed*)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR名、VMユーザーID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKN976I ***product* 製品または機能のコードまたは使用可能化がありません (Code or enablement for *product product* or feature is missing)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR名、VMユーザーID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKN976 **IBM セキュリティー *product or feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security *product or feature disabled or not installed here*)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR名、VMユーザーID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKN977I **製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能('*feature*') バージョン**

(*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (Installed **PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(id) NAME('name') FEATURE('feature') VER(version) REL(release) MOD(modification)**)
【製品 *action RC rc 10* 進数】
([Product *action RC rc decimal*])

説明

このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG に応答して発行されます。*action* は、"registration" または "status" になります。戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、CKN979I のため)。

重大度

00

CKN978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (Product code *code* has been disabled in PARMLIB)

説明

このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シस्पレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して無効になっている製品について DEBUG への応答として発行されます。

ユーザーの処置

製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度

00

CKN979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (Product code *code* implied by other)

説明

このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に、DEBUG に応答して発行されます。

重大度

00

CKN991I 予期しない [*type|nil*] ポインター。
場所: *procedure* - ユーザー異常終了 991 (Unexpected [*type|nil*] pointer in *procedure* - user abend 991)

説明

このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明

このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度

04

CKN993I *program* タスク *taskname type* に対する診断ダンプが抑止されました。異常終了 *xxx* (DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR *program* TASK *taskname type* ABEND *xxx*)

説明

このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

CKN998I *program* のスタック *tasklevel stackname* でスタック・オーバーフローが発生しました (STACK OVERFLOW FOR STACK *tasklevel stackname* IN *program*)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKN999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ *heapname* のストレージが不足

しています - 領域を増やしてください
**(STORAGE SHORTAGE FOR
TASK *taskname* HEAP *heapname*
IN *program* - INCREASE REGION)**

説明

このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。ヒープ名が LOWHEAP の場合、要求は 16MB ライン以下のストレージに対するものです。

重大度

16

第 5 章 CKQ メッセージ

CKQ メッセージは、zSecure SMF Collector アドレス・スペース内で実行中の CKQEXSMF プログラムによって発行されます。メッセージ ID は、CKQnnnnX という形式を使用します。ここで、X は、メッセージの重大度を示します。CKQEXSMF プログラムが使用する重大度レベル・コードは次のとおりです。

I

通知メッセージ。

W

警告メッセージ: タスクは続行されますが、エラーが発生しました。

E

エラー・メッセージ: タスクは作業終了することも、続行しようとすることもあります。

S

重大なエラー・メッセージ。

A

アクション・メッセージ: 状態を修正するには、オペレーターの手操作が必要です。

CKQ メッセージは、この章に記載する例外を除き、C2P メッセージと同一です。メッセージが CKQ 接頭部を使用したメッセージ・リスト内に見つからない場合、CKQ 接頭部を C2P 接頭部に置き換えて、667 ページの『第 10 章 C2P メッセージ』を調べてください。CKQ メッセージは、この章に記載する例外を除き、zSecure Alert (プログラム C2POLICE) と zSecure Admin アクセス・モニター (プログラム C2PACMON) が発行する C2P メッセージと同一です。

CKQ メッセージ 0 から 999

CKQ0100A

zSecure SMF Collector がアクティブではありません (zSecure SMF Collector not active)

説明:

zSecure SMF Collector が停止しました。

ユーザーの処置:

このメッセージの前にある CKQ メッセージに問題が示されている場合は、その問題を解決してから、再始動してください。

**CKQ0101...CK
Q0351**

説明

これらのメッセージは同じ番号の C2P メッセージと同一です。

CKQ0352E

バージョンが一致しません。終了します。(Version mismatch, exit)

説明:

C2PC 通信域のバージョン標識が正しくないときに、このエラー・メッセージが CKQIO2PC の呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKQ0353E

不明な DD 名 (Unknown DDname)

説明:

サポートされているどのタイプでもないファイルを開こうとした場合に、このエラー・メッセージが CKQIO2PC モジュールの呼び出し元に返されます。ファイル・タイプは、DD 名の 5 文字目から 7 文字目に示す必要があります。

ユーザーの処置:

DD 名が、サポートされているファイル・タイプのみを反映していることを確認してください。

CKQ0356E

無効な機能コードです (Invalid function code)

説明:

呼び出しパラメーターに無効な機能コードが指定されていた場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKQ0361I タイプ *newlist-type* の *ddname* のオープン (Open of *ddname* for type *newlist-type*)

説明:

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

CKQ0362I *ddname* のクローズ (Close of *ddname*)

説明:

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

CKQ0363I *ddname* 用のレコードを取得 (Get record for *ddname*)

説明:

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

CKQ0375I *hexdata*

説明:

この診断メッセージは、現在の SMF レコードまたは WTO レコードの最初の 16 バイトを 16 進形式で示します。

**CKQ0376...CK
Q0549**

説明

これらのメッセージは同じ番号の C2P メッセージと同一です。

CKQ0550E まだバッファがありません。終了します (No buffer yet, exit)

説明:

ストレージ内バッファが作成される前に、レコードを取得するための CKQIOPC ルーチンが呼び出されました。

ユーザーの処置:

CKQRADAR 開始タスクを再開してください。操作が再度失敗する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKQ0551I タスク NT が見つかりません (Task NT not found)

説明:

クライアント開始タスクが CKQEXSMF 開始タスクに接続するのは今回が初めてです。クライアントのステータスを記録する名前付きトークンが見つかりませんでした。この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。

CKQ0552E IEANTCR からのエラー戻り、RC=nnnn (Error return from IEANTCR, RC=nnnn)

説明:

クライアントのステータスを記録するために使用される名前付きトークンを作成できませんでした。処理は、クライアントのステータスを保存せずに続行されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKQ0553I バッファを切り替えた *ddname* が現在の末尾に到達しました (Buffer switched *ddname* reached end of current)

説明:

SMF レコードを収集するためのアクティブなバッファが切り替えられ、レコードを読み取るプログラムが、そのバッファの末尾に到達しました。このメッセージの後には、メッセージ CKQ0554I が続きます。この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。

CKQ0554I 次のバッファ *index* (Next buffer *index*)

説明:

SMF レコードを収集するためのアクティブなバッファが切り替えられ、プログラムが、示されたバッファからレコードの読み取りを開始します。この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。

CKQ0556E ファイルが開いていません。終了します (File not open, exit)

説明:

CKQIO2PC ルーチンがファイルからレコードを取得する要求を受信しましたが、そのファイルは現在開いていませんでした。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKQ0557E SMF コレクターがアクティブではありません。終了します (SMF collector not active, exit)

説明:

CKQIO2PC ルーチンが呼び出されましたが、zSecure SMF Collector タスクがシステム内に見つかりませんでした。データ転送はできません。

ユーザーの処置:

zSecure SMF Collector 開始タスク (CKQEXSMF) を開始して、操作を再試行してください。再度失敗する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKQ0558I このタスクの最初の呼び出しです
(First call this task)

説明:

クライアント・プログラムの現在のインスタンスは、前に CKQIO2PC ルーチンを起動していません。必要な制御ブロックが取得および初期化されました。この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。

CKQ0559I PC によって判別されたカーソル:
Idx=xx Csr=nnnnnnnn (Cursor
determined by PC: Idx=xx
Csr=nnnnnnnn)

説明:

この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。クライアント・タスクの保存済みステータスに基づく、レコード取得の開始点を示します。

CKQ0560I 使用されるデフォルトのカーソル:
Idx=xx Csr=nnnnnnnn (Default
cursor used: Idx=xx
Csr=nnnnnnnn)

説明:

この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。CKQIOPC ルーチンがレコード取得の開始点を判別できなかったことを示します。CKQIO2PC ルーチンは、デフォルトの場所を判別しました。

CKQ0561I バッファ *nn* のオープン (Open
buffer *nn*)

説明:

この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。CKQIO2PC ルーチンがデータ・ストリームを開く要求を受信したことを示します。結果として、示されたストレージ内バッファがアクセスされました。

CKQ0562I *ddname* 処理停止 (*ddname*
Processing STOP)

説明:

CKQIO2PC ルーチンは、zSecure SMF Collector プログラムがコンソール・オペレーター要求により停止したことを検出しました。CKQIO2PC ルーチンは、レコードがもう使用できなくなったことをクライアント・プログラムに通知します。

CKQ0563I レコードが見つかりません (no
record found)

説明:

この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。CKQIOPC ルーチンは、クライアント・プログラムに渡す新しいレコードを見つけることができませんでした。実行を続けます。

CKQ0564I 再開ポイントの探索 (Locate
resume point)

説明:

CKQIOPC ルーチンが、クライアント・プログラムの前のインスタンスに渡された最終レコードの探索を開始します。この最終レコードに続くレコードが、クライアント・プログラムの現在のインスタンスに渡される最初のレコードです。この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。

CKQ0565W 再開ポイントを探索できません
(Cannot locate resume point)

説明:

CKQIOPC ルーチンが、クライアント・プログラムの前のインスタンスに渡された最終レコードと一致するレコードを見つけることができませんでした。CKQIOPC ルーチンは、現在のタイム・スタンプより後に作成されたレコードのみを返します。

CKQ0566I 次のバッファ *nn* のスキャン
(Scan next buffer *nn*)

説明:

再開ポイントを探索するプロセス中に、現在のバッファの末尾に到達しました。CKQIOPC ルーチンは、メッセージで示されたバッファからプロセスを続行します。この診断メッセージが発行されるのは、DEBUG IO がアクティブのときのみです。

CKQ0568I レコードはまだありません。
(Record not there yet.)お待ちくだ
さい (*nn*) (Wait *nn*)

説明:

現在のバッファ内のレコードには、有効なレコード ID がありません。これは、イベントが発生したタスクの遅延によるものと考えられます。レコードの取得プロセスは、レコードの移動完了を待機します。数値 *nn* は、現在のレコードに対して遅延が発生した頻度を示します。このメッセージは、DEBUG IO がアクティブな場合にのみ発行されます。

CKQ0569I レコードは現在存在しますか?
(Record now present?)再試行しま
す (Retry)

説明:

このメッセージは、レコードが現在のバッファに追加され、レコードの取得プロセスが再開したことを示します。レコードの取得プロセスの一時停止は、メッセージ CKQ0568I で示されています。意図したレコードがまだ存在しない場合、プロセスは再度待機します。このメ

メッセージは、DEBUG IO がアクティブな場合にのみ発行されます。

CKQ0570W バッファにレコード・ギャップがあります。スキップします (Record gap in buffer, skip)

説明:

このメッセージは、メッセージのブロックで常に発行されます。最初のメッセージはヘッダー・メッセージであり、数回の反復後、現在のバッファ内のレコードに有効なレコード ID がないことを示します。現在のレコードはスキップされます。次のレコードの場所が判別できない場合、複数のレコードがスキップされる場合があります。後続の CKQ0570W メッセージは、予期されたレコード域の内容を示します。このメッセージは、DEBUG BUFFER がアクティブな場合にのみ発行されます。

CKQ0570W 16 進レコード・データ (hex record data)

説明

このメッセージは、メッセージのブロックで常に発行されます。最初のメッセージはヘッダー・メッセージであり、ストレージ内データ・バッファからレコードを読み取るプロセスで無効なレコードが見つかったことを示します。後に続くメッセージは、レコードが予期されていたストレージ域の内容を示します。レコードが無効である理由として最も可能性が高いのは、そのレコードを作成したユーザー・タスクがレコードの作成を終了しなかったことです。このメッセージが発行されるのは、DEBUG BUFFER がアクティブな場合のみです。

このメッセージ・フォーマットは、レコードが予期されていたストレージ内のデータ 16 進表現を示します。

CKQ0572E バッファを割り振ることができません。MEMLIMIT を超えました (Cannot allocate buffer; MEMLIMIT exceeded)

説明:

開始タスクの MEMLIMIT は、ストレージ内バッファに指定されたサイズと数には不十分です。開始タスク・プロシージャで指定されたサンプルの MEMLIMIT は 8G です。256M のバッファを 32 個指定すると 8G の MEMLIMIT に適合しますが、これでは CKRCARLA などの他のプログラム用のスペースが残りません。他のプログラムにもストレージが必要ですが、その量も MEMLIMIT に計上されます。

CKQ0703I *address hexdata *chardata**

説明

このメッセージは内部診断データを示します。値 *address* は、アドレスの最後の 4 桁のみを示します。

CKQ0704...CKQ0900

説明

これらのメッセージは同じ番号の C2P メッセージと同一です。

第 6 章 CKR メッセージ

zSecure Suite のいくつかの製品のメインプログラムは、CARLa Auditing and Reporting Language (CARLa) で作成されたスクリプトで駆動します。この理由から、これはよく「CARLa エンジン」と呼ばれます。これは RACF、SMF、および他のタイプの情報を処理します。このプログラムは、zSecure Admin、zSecure Audit、zSecure Alert、zSecure Visual、zSecure Adapters for SIEM、および zSecure Manager for RACF z/VM に組み込まれています。

このプログラムは "CKRCARLA プログラム" と呼ばれることもあります。現行リリースで、実際の CKRCARLA プログラムは、実作業を実行するために CKR4Z196 プログラムまたは CKR8Z12 プログラムのいずれかと呼び出すスタブ・プログラムです。これらのプログラムは、「31 ビット・アドレッシング」および「64 ビット・アドレッシング」CARLa エンジンと呼ばれることもあります。

この章では、CARLa エンジンがメインフレーム上で発行するメッセージを説明しています。これらのメッセージの接頭部には、CKRnnnn または CKRnnnI 形式の固有メッセージ ID が付きます。ここで、nnnn および nnn は固有のメッセージ値を示します。メッセージ ID の後に、重大度コードが示されます。

注：CARLa エンジンからの戻りコードは通常、返されたすべてのメッセージの戻りコードのうち最も大きい値に設定されます。OPTION NOWARNING がコーディングされる場合、プログラムからの戻りコード 04 は 00 にリセットされます。

CARLa エンジンの重大度コードと完了コードの一般的な意味は以下のとおりです。

00

状況または要約情報を示す通常のメッセージ、または決定事項を示すメッセージ。

04

一般的な警告、つまり VERIFY または REPORT 処理の結果として検出されるエラー条件の可能性があり、このエラー条件の除去を試みるには、zSecure によって生成されるコマンドを使用します (CKRCMD が割り振られた場合)。

08

VERIFY または REPORT 処理の結果として通常検出されるエラー条件。このエラーを除去するために zSecure が生成できるコマンドはありません。

12

コマンド入力の構文エラー。

16

zSecure に関連する資格の問題または無効/非サポート・ファイル。

20

セキュリティー・データベース、VTOC、または VVDS、あるいはボリューム共有で検出された非サポート条件。

24

zSecure で検出された内部エラーなどの予期しないサポートされない条件。

32

使用された RETURN または JUMP キー。

メッセージはサブセクションに記載され、3 桁のメッセージ番号でグループ化されています。

CKR メッセージ 0 から 99

CKR0000

入力エラーにより *program* が終了しました (*program terminated due to input errors*)

説明

前のメッセージは、パラメーターまたはコマンド入力ファイルのエラーを示しています。コマンド入力が構文的に正しくない場合、プログラムはコマンドを実行しません。エラーを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

重大度

12

CKR0001 抑制された UNLOAD, SHOW, (SORT)LIST, DISPLAY, (D)SUMMARY, REPORT, VERIFY, COPY, REMOVE, MOVE, または MERGE が指定されていません (No unsuppressed UNLOAD, SHOW, (SORT)LIST, DISPLAY, (D)SUMMARY, REPORT, VERIFY, COPY, REMOVE, MOVE or MERGE specified)

説明

出力を生成するコマンドが指定または暗黙指定されていません。LICENSE パラメーター条件が満たされていないためにすべての NEWLIST が抑制された場合も、このメッセージが発行される可能性があります。

ユーザーの処置:

メッセージに示されたいずれかのコマンドを指定するか、要求する機能の資格が実際に当該システムで付与されていることを確認してください。

重大度

12

CKR0002 出力ファイルを開くことができませんでした (Output file open failed) - [(redirected virtualdd)] ddname [path | dsname volser]

説明

示されたファイル (CKRUNLOU、CKRCMD など) の OPEN が失敗しました。バッチ・ジョブを実行している場合は、ジョブ・ログを参照して異常終了コードと理由コードを確認してください (異常終了コードはおそらく 013 です)。異常終了コードと理由コードがない場合は、おそらく DDname が割り振られていません。TSO を対話式で実行していて、異常終了コードが端末にリストされていない場合は、PROFILE WTPMSG を指定して再実行してください。CKR0002 メッセージ内の ddname フィールドには、不要情報が含まれる場合があります。異常終了コードと理由コードの意味は、MVS システム・メッセージおよびコードのマニュアルにあります。このメッセージには、2つの DD 名が示される場合があります。1つは実際の ddname で、もう1つは CARLa で参照される dd= パラメーター (virtualdd) です。

重大度

16

CKR0003 入力用のファイル ddname volser dsn を開くことができませんでした

(Open for input failed on file ddname volser dsn)

説明

示されたファイルと任意の ALLOC DD=ddname コマンドの DD ステートメントを確認してください。エラーを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

重大度

16

CKR0004 [complex] pads ddname volume dsn の処理が開始されました (Processing started for [complex] pads ddname volume dsn) システム name 上で date time にプログラム program v.l.m date time ジョブ name によってアンロードされました [割り当てられた複合システム名 complex] (Unloaded by program program v.l.m date time job name at date time on system name [Complex name complex assigned]) ソース type データ・セット i は volume datasetname でした (Source type dataset i was volume datasetname) databaseformat テンプレート・レベル level (databaseformattemplate level level)

説明

このメッセージは、アンロードされたセキュリティ・データベースを作成したプログラムのバージョン、データベースがアンロードされた日時、およびアンロードが実行されたシステムの SMF ID を示します。ファイルに含まれているアンロードされた RACF または ACF2 データ・セットごとに、オリジナルのボリュームとデータ・セット名がリストされます。ACF2 の場合、データ・セットの type (LID、RULE、または INFO) も示されます。RACF の場合、データベース・フォーマットが最終行に formattype database format release の形式で示されます。ここで、formattype は Restructured または Non-restructured、release (存在する場合は RACF release FMID (旧リリースの場合は v.r.m) の形式になります。テンプレート level (存在する場合は、テンプレートを最後に変更した FMID または APAR 番号に続いて、リリース・レベルおよび APAR レベルの数値標識が示されます (この情報がある場合)。このメッセージに pads を示すテキスト PADS が含まれている場合は、データベースへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。この場合、プログラムの機能はユーザーの有効範囲までに制限されます。このメッセージに pads を示すテキスト program pathing が含まれてい

る場合は、データベースへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。

重大度

00

CKR0005 *complex* に対して読み取られたプロファイルの数 *nnnnnn*、選択されたプロファイルの数 *yyyy (pp%)* (*nnnnnn profiles read, yyyy profiles selected (pp%) for complex*)

説明

このメッセージは、プロファイル入力フェーズの最後に書き込まれます。このフェーズでは、SELECT、EXCLUDE、LIST、および UNLOAD コマンドが処理され、他のコマンドのために情報が格納されます。RACF データベースで使用されているプロファイルの総数のほか、SELECT および EXCLUDE コマンドによって選択されたプロファイルの数もリストされます。これは、NEWLIST コマンドの有効範囲内の SELECT および EXCLUDE には適用されません。

重大度

00

CKR0006 *ddname [path | volser dsname]* で切り捨てられたプロファイルの数 *nn (nn profiles truncated on ddname [path | volser dsname])*

説明

出力ファイル *ddname* のレコード長が不十分なため、プロファイルが切り捨てられました。このため、アンロードされたファイルに対して後続処理が行われる場合、切り捨てられたプロファイルに関して誤ったエラー・メッセージが出される可能性があります。ただし、必ずしもこのようになるとは限りません。例えば、VERIFY CONNECT コマンドを試行または暗黙指定すると、切り捨てられたグループ・プロファイルが原因で誤ったエラー・メッセージが発生しますが、データベースの冗長性により、一般にはそれ以外の問題は発生しません。

このメッセージは、zSecure Admin UNLOAD ファイルの現行のレコード長に対してプロファイルの長さが長すぎるときに発行されます。この原因を修正するには、次の LRECL 指定で UNLOAD ファイルを割り振ってください。

LRECL=X, RECFM=VBS

ブロック化可変スパン (VBS) レコード・フォーマットでは、UNLOAD レコードはより多くの物理レコードにまたがることができます。

重大度

08

CKR0007 ファイルが空です (File is empty) - *ddname volume dsn*

説明

指定された TYPE=UNLOAD ファイルは割り振られましたが、レコードが含まれていませんでした。

重大度

16

CKR0008 *type* レコードの前にファイルの終わりに達しました (End-of-file before *type* record) - *ddname volume dsn*

説明

指定された TYPE=UNLOAD ファイルにはいくつかの状況レコードが含まれていましたが、示されたレコード・タイプが存在しませんでした。示された *type* は、ICB (最初の RACF データベース・レコードの場合)、CRDB (発信元データベース・レコードの場合)、または FDR (ACF2 FDR レコードの場合) になります。おそらくアンロードが失敗したか、システム・カタログが旧バージョンのアンロード・データ・セットを指しています (この問題について考えられる原因については、CKR0014 を参照してください)。

重大度

16

CKR0009 **SYSNAME(name) SYSPLEX(name) [LPARNAME(name)] [VMUSERID(name)] [HWNAME(name)]** 上の **siteidentifier activity (siteidentifier activity on SYSNAME(name) SYSPLEX(name) [LPARNAME(name)] [VMUSERID(name)] [HWNAME(name)])** CPU-id CPUid (CPU-id CPUid) 製品コード *codes Products* (Product codes codes Products)

説明

このメッセージは、サイト固有のストリング、システム、シスプレックス、LPAR、VM ユーザー ID、稼働しているハードウェア、およびインストールされて IFAPRDxx によってこのプログラムでは使用不可になっていない IBM Security zSecure スイート製品を示しています。製品コードの説明については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されているライセンス名の表を参照してください。「製品」セクション

ンの各行には、製品 ID と特定の製品機能の完全な名前が示されています (例: コード AUDITRACF の場合は、5655-N17 IBM Security zSecure Audit for RACF)。activity は、使用している呼び出し環境に応じて Runs または UNIX になります。

重大度

00

CKR0010 ファイル *ddname* で OPEN type が異常終了しました *hhh-hh* [(*explanation*)] (OPEN type abend *hhh-hh* [(*explanation*)] on file *ddname*)

説明

示されたファイル (CKRACFnn、またはリダイレクトされたデータベース DD 名) の OPEN が失敗しました。バッチ・ジョブを実行している場合は、ジョブ・ログを参照して異常終了コードと理由コードを確認してください (異常終了コードはおそらく 013 または 213 です)。TSO を対話式で実行していて、異常終了コードが端末にリストされていない場合は、PROFILE WTPMSG を指定して再試行してください。

重大度

16

CKR0011 入出力エラー: *synadaf message* (I/O error: *synadaf message*)

説明

CKRACFnn ファイルのいずれかで入出力エラーが発生しました。割り振られたファイルが確かに RACF データベースで、RECFM=F および LRECL=1024 (再構成されていないデータベースの場合) または LRECL=4096 (再構成されたデータベースの場合) が設定されていることを確認してください。VM システムでは、OS でフォーマットされたミニディスク上のデータベースでこのエラーが発生する可能性もあります。この場合は、データベースを CMS でフォーマットされた一時ミニディスクにコピーし、このコピーを処理することで、データベースを処理できます。

重大度

16

CKR0012 90 を超える RACF データ・セットは並列処理できません - 分割実行を使用してください (More than 90 RACF data sets parallel not supported - use separate runs)

説明

このバージョンのプログラムは、90 を超えるデータ・セットを同時に処理できません。ALLOC DB= コマンドを使用して、90 以下のデータ・セットを処理対象として選択してください。サイトで 90 を超えるデータ・セットを処理する必要がある場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR0013 ファイル *unload-ddname* または *db-ddname* が事前割り振りされていません (No file *unload-ddname* or *db-ddname* preallocated)

説明

暗黙的割り振りモードで、RACF プロファイルのソースが検出されませんでした。通常は、現在の RACF データベースが動的に割り振られますが、CMS システム上または RACF がアクティブでない MVS システム上で実行しています。処理したいデータベースを明示的に CKRACF01 ファイルに (データベースが分割されている場合は CKRACFnn ファイルにも) 明示的に割り振るか、ALLOC TYPE=RACF または ALLOC TYPE=UNLOAD コマンドを使用してください。

重大度

16

CKR0014 ファイルが CRCF レコードで始まっていません (File does not start with CRCF record) - *ddname volume dsn*

説明

このメッセージは、CKRUNLIN ファイル (つまりセキュリティ・データベースの UNLOAD ファイル) に無効な情報が含まれていることを示しています。一般的な理由は以下の 2 つです。

- UNLOAD データ・セットが zSecure によって記入されていない
- UNLOAD データ・セットに互換性のない/無効な DCB 特性が含まれている

ISPF オプション 3.2 を使用して DCB 情報を見ると、これを確認できます。以下のようになっているはずですが。

```
Organization . . . : PS
Record format . . . : VBS
Record length . . . : 32768
Block size . . . . : 27998
```

レコード・フォーマット U または データ・セット 編成 PO がある場合は、インストール済み環境におそらく ACS ルーチン (つまりデフォルトのデータ・セット特性を設定するための SMS ルーチン) があり、最後の修飾子に文字 LOAD が含まれているデータ・セットがロード・モジュール・データ・セットになることが、そのルーチンで想定されています。CKRJCPYR の JCL で DCB 特性を指定することをお勧めします。

```
//CKRUNLOU DD ....,
//
DSORG=PS,RECFM=VBS,LRECL=X,BLKSIZE=27998
```

重大度

16

CKR0015 [complex] 1 次 RACFDB db ファイル *ddname* データ・セット *dsname* を *volume* 上で開くことができませんでした (Open failed of [complex] primary RACF DB db file *ddname* data set *dsname* on *volume*)

説明

詳しくは、CKR0002 および CKR0010 を参照してください。

重大度

16

CKR0016 [complex] 2 次 RACFDB db ファイル *ddname* データ・セット *dsname* を *volume* 上で開くことができませんでした (Open failed of [complex] secondary RACF DB db file *ddname* data set *dsname* on *volume*)

説明

詳しくは、CKR0002 および CKR0010 を参照してください。

重大度

16

CKR0017 [complex] DB db *pads ddname volume datasetname* の処理が開始されました (Processing started for [complex] DB db *pads ddname volume datasetname*)

CKR0017 ファイル *ddname complex* に *databaseformat release* テンプレート・レベル *level* があります (File *ddname complex* has

databaseformat release template level level)

説明

示されたファイルの TYPE=RACF データ・セットが正常に開き、データベースの入力が開始されました。データベース・フォーマットは 2 行目に *formattype* データベース・フォーマット *release* の形式で示されます。ここで、*formattype* は **restructured** または **non-restructured**、*release* (存在する場合) の形式は **RACF release FMID** (旧リリースの場合は *v.r.m*) になります。テンプレート *level* (存在する場合) には、テンプレートを最後に変更した FMID または APAR 番号に続いて、リリース・レベルおよび APAR レベルの数値標識が示されます (この情報がある場合)。このメッセージに *pads* を示すテキスト **PADS** が含まれている場合は、データ・セットへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。この場合、プログラムの機能はユーザーの有効範囲までに制限されます。

重大度

00

CKR0018 *ddname volume datasetname* の範囲がありません (No extents present for *ddname volume datasetname*)

説明

示されたファイルは正常に開きましたが、範囲がありませんでした (データ・セットが空です)。

重大度

16

CKR0019 CKRACF01 が事前割り振りされている場合、ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE/DB は無効です (ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE/DB invalid if CKRACF01 pre-allocated)

説明

事前割り振りデータベースに加え、暗黙的割り振りモードの ALLOCATE コマンドがコマンドに含まれていました。ALLOCATE コマンドを削除するか、CKRACFC01 ファイルを削除してください。

重大度

16

CKR0020 **Type** の入力終了しました。LIMIT *lim* に達しました (**Type input terminated, LIMIT *lim* reached**)

説明

LIMIT コマンドで指定した OUT または IN の限度に達しました。プロファイルまたはレコード (*type*) はこれ以上読み取られません。

重大度

00

CKR0021 サポートされない **BAM** フォーマット: 奇数ニブル上の最初のブロック、ブロック番号 *nnnn*、データベース *num* (**Unsupported BAM format: 1st block on odd nibble, block number *nnnn*, database *num***)

説明

ブロック可用性マップ (BAM) の入力中に、サポートされないフォーマットが検出されました (ニブルは 4 ビットで、非 RDS フォーマットで 1 つのブロックのセグメントを記述します)。それ以外のエラーが検出されず、このエラーが再発する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0022 サポートされない **BAM** フォーマット: 最後の **BAM** ブロック以外の奇数 # ブロック - ブロック番号 *nnnn db num* (**Unsupported BAM format: odd # blks in other than last BAM block - block number *nnnn db num***)

説明

ブロック可用性マップ (BAM) の入力中に、サポートされないフォーマットが検出されました。それ以外のエラーが検出されず、このエラーが再発する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

210 メッセージ・ガイド

CKR0023 **QSAM** を使用した入力用に、ファイル *ddname* データ・セット *dsn* を *vol* 上で開くことができませんでした (**OPEN for input with QSAM failed for file *ddname* dataset *dsn* on *vol***)

説明

BDAMQSAM 処理の使用 (現在、これはデフォルト・モードです)、BDAM 処理の終了後に、QSAM 処理を使用してデータ・セットを再度開くことができませんでした。発生した問題を示す他のエラー・メッセージが発行されている可能性があります。

重大度

16

CKR0024 索引マーカがブロック境界にありません: *ddname* ブロック *nnnn* セグメント・オフセット *off* (**Index marker not on block boundary: *ddname* block *nnnn* segment offset *off***)

説明

RACF データベースで、ブロック内の最初以外のセグメントで索引ブロックが始まるのが検出されました。このフォーマットはサポートされません。この問題が再発する場合は、IRRUT200 を実行してください。エラーが明らかにならない場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0025 索引ブロックの長さが無効です: *ddname* ブロック *nnnn* 長さ *len* (**Index block with invalid length: *ddname* block *nnnn* length *len***)

説明

RACF データベースで、長さが 1024 (非 RDS の場合) または 4096 (RDS の場合) でない索引ブロックが含まれていることが検出されました。このフォーマットはサポートされません。[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0026 プロファイルの 2 番目のセグメントでファイルの終わりに達しました: **ddname** ブロック **nnnn** セグメント・オフセット **off** (End of file in 2nd segment of profile: **ddname** block **nnnn** segment offset **off**)

説明

RACF データベースの指定された位置でプロファイルが読み取られましたが、データ・セットの終わりで完了しませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0027 プロファイル継続ではなく未使用のセグメント: **ddname** ブロック **nnnn** セグメント・オフセット **off** (Unused segment instead of profile continuation: **ddname** block **nnnn** segment offset **off**)

説明

RACF データベース内の指定された位置でプロファイルが読み取られましたが、物理プロファイル長フィールドに従って完了していないにもかかわらず、ブロック可用性マップは次のセグメントが使用されていないことを示しています。この問題は、読み取りの実行中にデータベース上で更新アクティビティが発生したために起きる場合があります。同じ場所でこの問題が再発する場合は、IRRUT200 を実行してデータベースを分析してください。それでもエラーが明らかにならない場合や、問題が断続的に発生して煩わしい場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0028 ファイル **ddname** がプロファイル用に **nn** ブロック (ブロックの場所 **nnnn** セグメント・オフセット **off**) 拡張されましたが、あと **yyy** セグメントが必要です (File **ddname**

extended nn block for profile at blk **nnnn** segment offset **off** needs **yyy** segments extra)

説明

RACF データベース内の指定された位置 **nnnn/off** でプロファイルが読み取られましたが、データ・セットの論理的な終わり (つまり BAM ブロックに従った終わり) で完了しませんでした。完全なプロファイルを得るために、データベースの論理的な終わりが自動的に **nn** ブロック拡張されました。データベースの読み取り中に大きな新規レコードが RACF データベースに追加された場合は、これが発生する可能性があります。

重大度

20

CKR0029 セグメント・タイプ **X'hh'** はサポートされていません - **ddname** ブロック **nnnn** セグメント・オフセット **off** (Segment type **X'hh'** not supported - **ddname** block **nnnn** segment offset **off**)

説明

不明なデータベース・セグメント・タイプが検出されました。この問題が同じ場所で再発する場合は、IRRUT200 を実行してください。これで構造エラーが明らかにならない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0030 サポートされないテンプレート **addr. hexvalue len ll** 検索対象 **fldname** エンティティ・タイプ **n** ICB 場所 **addr** (Unsupported template **addr. hexvalue len ll** searching **fldname** in entity type **n** ICB at **addr**)

説明

テンプレートを使用したプロファイルのスキャン中に、サポートされない種類のテンプレートが検出されました。エラーが再発する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0031 インストール・オプションによって制限付きモードがアクティブになっています。ユーザー *userid* (**Restricted mode active by installation option; user *userid***)

説明

このメッセージは、制限付きモードがアクティブな状態で製品がインストールされたことを示しています。制限付きモードの設定は、CKRSITE モジュールのインストール・オプションによって指定されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについては詳しくは、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。接続されているセキュリティー・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。

重大度

00

CKR0031 *pads* により制限付きモードがアクティブになっています。ユーザー *userid* (**Restricted mode active because of *pads*; user *userid***)

説明

このメッセージは、プログラムに付与された読み取りアクセス権限により、1つまたはいくつかの入力ファイルしか処理できなかったことを示しています。この場合は、制限付きモードの処理が自動的にアクティブになります。このメッセージには、テキスト **PADS** または *pads* を示すテキスト **program pathing** が含まれます。接続されているセキュリティー・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。

重大度

00

CKR0031 制限付きモードがアクティブになっています。ユーザー *userid* には **class CKR.READALL** に対する **READ** アクセス権限がありません (**Restricted mode active, user *userid* no READ access to class CKR.READALL**)

説明

CKRSITE モジュールで指定されたクラスの CKR.READALL リソースを扱うプロファイルを使用して、完全なデータベースを読み取ることができるユーザー

(READ アクセス権限) と、制限付きモードで実行するユーザー (対象プロファイルあり、NONE アクセス権限) を定義することができます。現在のユーザーには READ アクセス権限がありません。接続されているセキュリティー・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについては詳しくは、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。

重大度

00

CKR0031 無制限モードがアクティブになっています。ユーザー *userid* には **class CKR.READALL** に対する **READ** アクセス権限があります (**Unrestricted mode active, user *userid* READ access to class CKR.READALL**)

説明

CKRSITE モジュールで指定されたクラスの CKR.READALL リソースを扱うプロファイルを使用して、完全なデータベースを読み取ることができるユーザー (READ アクセス権限) と、制限付きモードで実行するユーザー (対象プロファイルあり、NONE アクセス権限) を定義することができます。現在のユーザーには READ アクセス権限があります。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについては詳しくは、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。

重大度

00

CKR0031 無制限モードがアクティブになっています。ユーザー *userid* (**Unrestricted mode active; user *userid***)

説明

このメッセージは、インストール・オプション RESTRICT を使用して製品がインストールされていないため、製品のデフォルトにより無制限モードに設定されていること、プログラムに読み取りアクセス権限が付与されていなくても入力ファイルを処理できること、および CKRSITE モジュールで指定されたクラスの CKR.READALL リソースを扱うプロファイルが定義されていないことを示しています。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについては詳しくは、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。

重大度

00

CKR0031 [シミュレーション | リモート・ノード | シミュレーションおよびリモート・ノード] による制限モードですが、ユーザー *userid* は特権 **[SPECIAL] [AUDITOR] [ROAUDIT]** を持っています (Restricted mode by [simulation | remote node | simulation and remote node], although user *userid* has privilege **[SPECIAL] [AUDITOR] [ROAUDIT]**)

説明

このメッセージは、SIMULATE RESTRICT コマンドが存在したか、制限モードを必要とするリモート・ノードがあったか、それら両方であることを示します。実行しているユーザー ID の示された特権をオーバーライドします。接続されているセキュリティー・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについては、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。

重大度

00

CKR0031 [シミュレーション | リモート・ノード | シミュレーションおよびリモート・ノード] による制限モードですが、ユーザー *userid* は *class profile* に対する **READ** アクセス権限を持っています (Restricted mode by [simulation | remote node | simulation and remote node], although user *userid* READ access to *class profile*)

説明

このメッセージは、SIMULATE RESTRICT コマンドが存在したか、制限モードを必要とするリモート・ノードがあったか、それら両方であることを示します。実行しているユーザー ID の、示されたリソースに対する **READ** 特権をオーバーライドします。接続されているセキュリティー・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについては、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。

重大度

00

CKR0031

ユーザー *userid* に対する [シミュレーション | リモート・ノード | シミュレーションおよびリモート・ノード] による制限モードですが、プロファイル *class profile* がありません (Restricted mode by [simulation | remote node | simulation and remote node] for user *userid*, although no profile *class profile*)

説明:

このメッセージは、SIMULATE RESTRICT コマンドが存在したか、制限モードを必要とするリモート・ノードがあったか、それら両方であることを示します。これは、すべての入力ソースに対する無条件読み取り許可など、あらゆる考慮事項に優先します。示されたプロファイルが存在せず、かつクラスのデフォルト RC が 4 であるため、別の方法でこれらがテストされたこととなります。接続されているセキュリティー・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについては、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。

重大度

00

CKR0031 無制限モードがアクティブになっています。ユーザー *userid* は特権 **[SPECIAL] [AUDIT] [ROAUDIT]** を持っています (Unrestricted mode active; user *userid* has privilege **[SPECIAL] [AUDIT] [ROAUDIT]**)

説明

照会を実行しているユーザーが現在の (実行) システムでシステム全体の属性 **SPECIAL**、**AUDIT**、および **ROAUDIT** のうち 1 つ以上を持つため、この照会は無制限モードで実行されます。

これらの属性は、CKR.READALL リソースを検査する前にテストされます。

CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについては、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。

重大度

00

CKR0032 ファイル *ddname* が割り振られていません (File *ddname* not allocated)

説明

PRINT コマンドで要求されたファイル名の割り振りが検出されませんでした。JCL を確認してください。

重大度

12

CKR0033 [complex] DB db datasetname で使用中のセグメントの数 number (256 バイト中)、空いているセグメントの数 number (pp% 使用)、索引での使用 pp%。([complex] DB db datasetname has number segments (of 256 byte) in use, number segments free (pp% used) Index uses pp%.)Unusedspace. readmethod を使用。(Using readmethod.) Statistics

説明

このメッセージは、RACF データ・セットの内容について報告しています。各セグメントは 256 バイトです。空きスペースがデータベースの終わりにあるか(使用されない)、データベースを通してフラグメント化されている可能性があります。すべてのスペースがフラグメント化されている場合、Unusedspace には「空きスペースが完全にフラグメント化されています (Free space completely fragmented)」というテキストが表示されます。それ以外の場合は、「pp% 以上のスペースが未使用 (Space beyond pp% never used)」が表示されます。データ・セットは索引を使用せずに読み取られるため、readmethod は、BDAMQSAM、multitrack ECKD EXCP、または full-track EXCP になります。いずれかの EXCP メソッドが使用された場合は、次のフォーマットで 3 番目の行が表示されます。「number IO 中、合計 number から number ブロックが読み取られました (Read number blocks from a total of number in number IOs)。キャッシュ・ヒットは pp% でした (Cache hit was pp%)」。

重大度

00

CKR0034 ID id のアクションが要求されましたが、オカレンスが検出されませんでした (Action for id id requested, but no occurrences were found)

説明

移動する許可または通知が存在しないため、示されたユーザーまたはグループの REMOVE または MOVE コマンドの結果、何のコマンドも生成されませんでした。タイプ入力エラーまたはデータベースの一部を除外する

SELECT ステートメントがないかどうかを確認してください。

重大度

00

CKR0035 場所 ddname レコード nnnnn、オリジナル DB seq i RBA hexnum 対象複合システム complex (at ddname record nnnnn, originally DB seq i RBA hexnum for complex complex)

説明

このメッセージは、前のエラー・メッセージが発生した TYPE=UNLOAD ファイル内の場所を示しています。

重大度

00

CKR0036 場所 ddname ブロック nnnn セグメント・オフセット i DB seq j RBA hexnum 対象複合システム complex (at ddname block nnnn segment offset i DB seq j RBA hexnum for complex complex)

説明

このメッセージは、前のエラー・メッセージが発生した TYPE=RACF ファイル内の場所を示しています。

重大度

00

CKR0037 DD 名 ddname ソース=source DSN=dsname 状況=ERR の割り振りに失敗しました (Allocation failed for DDNAME ddname source=source DSN=dsname status=ERR)

説明

要求されたデータ・セットが ACF2 によって ERR とマークされていたため、アクティブ ACF2 (バックアップ) データ・セットの動的割り振りの試行時に、割り振りが失敗したことがプログラムによって検出されました。これは暗黙的に、データ・セットが存在しないため、ACF2 自体がデータ・セットを割り振ることができなかったことを示しています。ddname は、割り振りが失敗したデータ・セットのタイプを示しています。

重大度

16

CKR0038 警告: 複合システム *complex* の RACF 範囲テーブルが不明で、**SUPPRESS ICHRRNG** が暗黙指定されています (Warning: RACF Range Table for *complex complex unknown*, SUPPRESS ICHRRNG implied)

説明

このメッセージは、セキュリティー複合システム *complex* の正しい CKFREEZE ファイルが欠落していたか、このファイルに必要な範囲テーブルが含まれていなかったことを示しています。プログラムは、すべてのプロファイルが正しい RACF データ・セット内にあるものとして処理します。

重大度

00

CKR0039 *product* は *cc.c* CPU 秒、*[u,uuu +uu.uuu KB [+uuuu MB],]* を使用し、実時間で *ss* 秒を費やしました (*product used cc.c CPU seconds, [u,uuu +uu.uuu KB [+uuuu MB],] and took ss wall clock seconds*) [REGIONX によって] 要求された領域は *rr,rrr[+rr,rrrr]* KB、*[source* によって] 付与された領域は *g,ggg +gg,gggg KB + gggg MB* です (Region requested [by REGIONX] *rr,rrr[+rr,rrrr]* KB, granted *g,ggg +gg,gggg KB + gggg MB [by source]*) ステップで使用された最大量は、*uu,uuu+uu,uuu KB + uuuu MB* です (Max used in job step *uu,uuu +uu,uuu KB + uuuu MB*) [エラー・トラップ・カウントは *number* です] ([Error trap count is *number*])

説明

このメッセージは、リソースの使用量と、この実行の経過時間を示します。実行が失敗で終了した場合は、ストレージ部分が省略されます。TSO ユーザーの場合は、zSecure 出力画面を対話式で表示している間に、TSO で他の ISPF 論理画面上で実行された処理が CPU 秒に含まれます。CKR4Z196 (31 ビット) の CARLa エンジンで実行した場合は、最初の行に高いメモリー使用率が表示されないことに注意してください。

メッセージの 2 行目には、ユーザーが要求した領域と、インストールによってジョブ・ステップに権限付与された領域がリストされます。要求された領域サイズが JCL JOB ステートメントの REGIONX キーワードによって指定された場合、「by REGIONX」標識と、16MB 境界より下と 16MB 境界より上の要求された領域サイズ

も出力されます。領域サイズは *below + above + high* でフォーマットされます。

below

これは、16 MB 境界よりも下の領域です (キロバイト単位)。

above

これは、16 MB 境界よりも上で 2GB 境界よりも下の領域です (キロバイト単位)。

high

これは、2 GB 境界よりも上の領域です (メガバイト単位)。

source

これは、2 GB 境界よりも上のアドレス・スペース・メモリー制限 (MEMLIMIT) のソースです。

メッセージの 3 行目には、ジョブ・ステップ中に使用された実際の最大値が示されます。これには、ジョブ・ステップで実行された他のタスクがすべて含まれます。つまり、TSO ユーザーの場合は、TSO および ISPF ストレージと、ログオン以降に ISPF 論理画面で実行されたその他のタスクがすべて含まれます。

エラーがトラップされた場合、4 行目には、「エラー・トラップ・カウントは *number* です (Error trap count is *number*)」が示されます。

重大度

00

CKR0040 RACF 標識が設定されていますが、*volser datasetname* の個別プロファイルが見つかりませんでした (RACF indicator set but no discrete profile found for *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY INDICATED コマンドが原因で発行されます。

このエラー状態を解決するため、ADDSD NOSET に続いてプロファイルの DELDSD で構成されるコマンド・シーケンスが生成されます。

重大度

04

CKR0041 個別プロファイルが見つかっていませんが、RACF 標識が設定されていません *volser datasetname* (Discrete profile found but RACF indicator not set *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、DELSD NOSET コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0042 個別プロファイルは存在しますが、ボリューム上にデータ・セットがありません (**Discrete profile present but no dataset on volume**) *volser datasetname*

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、DELSD NOSET コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0043 個別プロファイルは存在しますが、ボリュームがマウントされていません (**Discrete profile present but volume not mounted**) *volser datasetname*

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、DELSD NOSET コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0044 **PROGRAM dsn/vol** は廃止されています (**PROGRAM dsn/vol obsolete**) *complex program - volser dsname Reason*

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。この理由は、複合システム内のいずれかのシステムで、示されたデータ・セットが、示されたボリューム上に存在しないためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す *Reason* 行が続きます。

- *syst volser* システム上にボリュームがマウントされていません (**Volume is not mounted on system** *syst volser*)
- *syst volser* システム上で **VTOC** を読み取ることができません (**VTOC is not readable on system** *syst volser*)

- データ・セットは、**syst volser dsname** のボリューム上に存在しません (**Data set does not exist on volume of** *syst volser dsname*)
- データ・セットは *syst volser dsname* のボリューム上で区分されていません (**Data set is not partitioned on volume of** *syst volser dsname*)

複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、**RALTER DELMEM** コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0045 廃止された許可 *identity* 不明なプログラム *program - volser datasetprofile* (**Obsolete permit identity unknown program** *program - volser datasetprofile*)

説明

このメッセージは、RACF が基本プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、**WHEN** 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0046 *event* 許可 *identity* が非 **VSAM** のアクセス・リストにあります (**event permit identity in access list of non-VSAM**) *volser datasetname*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE VOL() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0047 **PROGRAM dsn/vol** は予備であり、ボリュームなしの *dsn* によって扱われます (**PROGRAM dsn/vol redundant, covered by dsn w/o**)

**vol) complex program - volser
dsname**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。この理由は、示されたボリューム固有の PROGRAM プロファイル・メンバーが、ボリューム指定のない PROGRAM プロファイル・メンバーによって扱われる(したがって予備になる)ためです。複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0048 *event* 許可 *identity* がアクセス・リストの VSAM プロファイルにあります (*event permit identity in access list VSAM profil volser datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE VOL() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0049 重複する範囲が ICHRRNG 複合システム *complex* キー *key* にあります (*Duplicate range in ICHRRNG complex complex key key*)

説明

このメッセージは、RACF 範囲テーブルが同じ範囲内で 2 回検出されたことを示しています。プログラムは最初の定義を使用し、後続の定義は無視します。

重大度

08

CKR0050 *event* 許可 *identity* がアクセス・リストの総称 DATASET *datasetname* にあります (*event permit identity in access list generic DATASET datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT GENERIC DELETE コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0051 日付値 "*value*" の 2 桁の年があいまいです (*Date value "value" 2-digit year is ambiguous*)

説明

この抑止可能メッセージは、2 桁の年が検出されたことを示します。デフォルトでは、2000 年問題関連の混乱を避けるため、これは許可されていません。これが後方互換性に関する問題の場合は、このメッセージを抑止することができます。この場合、2 桁の年はすべて 20 世紀の年として解釈されます(これらには接頭部 19 が付き、後方互換があります)。カットオフされる日付や期間は *newlist type* と *fieldname* に依存し、後方互換がないため、使用されません。

重大度

12

CKR0052 *event* 許可 *identity* がアクセス・リストのモデル DATASET *datasetname* にあります (*event permit identity in access list model DATASET datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0053 *ddname* の行 *number* にあるフィールド *field* の値 "*value*" の 2 桁の年があいまいです (*Field field value*)

**"value" 2-digit year ambiguous at
ddname line number)**

説明

この抑止可能メッセージは、newlist type=RACF で 2 桁の年が検出されたことを示しています。デフォルトでは、2000 年問題関連の混乱を避けるため、これは許可されていません。これが後方互換性に関する問題の場合は、このメッセージを抑止することができます。この場合、2 桁の年はすべて 20 世紀の年として解釈されます(これらには接頭部 19 が付き、後方互換があります)。カットオフされる日付や期間は newlist type と fieldname に依存し、後方互換性がないため、使用されません。

重大度

12

CKR0054 **event 許可 identity 一般リソース・プロファイル class progname (event permit identity general resource profile class progname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で event が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で event が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で event が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0055 **event 所有者 identity 対象の非 VSAM DATASET プロファイル volser datasetname - newowner を作成してください (event owner identity of non-VSAM DATASET profile volser datasetname - make newowner)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドでの **Undefined** に相当する イベント、REMOVE PERMIT/ USER/ GROUP コマンドでの **Remove** に相当する イベント、および COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドでの **Replace** に相当するイベントで発行されます。このエラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() OWNER() コマンドが生成されます。新しい所有者は、identity と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。その場合、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前

が付きます。メッセージには、選択された新しい所有者が表示されます。

重大度

04

CKR0056 **event 所有者 identity 対象の VSAM DATASET プロファイル volser datasetname - newowner を作成してください (event owner identity of VSAM DATASET profile volser datasetname - make newowner)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で event が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で event が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() OWNER() コマンドが生成されます。新規所有者は identity と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度

04

CKR0057 **event 所有者 identity 対象の総称 DATASET プロファイル datasetname - newowner を作成してください (event owner identity of generic DATASET profile datasetname - make newowner)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で event が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で event が **Replace** になる場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD GENERIC OWNER() コマンドが生成されます。新規所有者は identity と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度

04

CKR0058 **event 所有者 identity 対象のモデル DATASET プロファイル datasetname - newowner を作成し**

てください (*event owner identity of model DATASET profile datasetname - make newowner*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になる場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSO OWNER() コマンドが生成されます。新規所有者は *identity* と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度

04

CKR0059 *event* 所有者 *identity* 一般リソース・プロファイル *prognam* - *newowner* を作成してください (*event owner identity general resource profile prognam - make newowner*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になる場合に発行されます。エラー状態を解決するために、RALTER OWNER() コマンドが生成され、DEFAULT OWNER= で選択されたデフォルトの所有者が設定されます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度

04

CKR0060 *event* 所有者 *identity* 対象のユーザー *userid* - *newowner* を作成してください (*event owner identity on user userid - make newowner*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTUSER OWNER() コマンドが生成され、DEFAULT OWNER= で選択されたデフォルトの所有者が新規所有者として設定されます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度

04

CKR0061 *event* グループ *group* 上の所有者 *identity* - *newowner* を作成します (*event owner identity on group group - make newowner*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTGROUP OWNER() コマンドが生成され、選択されたデフォルトの所有者が新規所有者として設定されます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度

04

CKR0062 *event* 所有者 *identity* 接続対象 *userid* 接続先 *group* (*event owner identity connect userid to group*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、CONNECT OWNER() コマンドが生成され、接続グループが新規所有者として設定されます。

重大度

04

CKR0063 *event* 所有者 *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* (*event owner identity general resource profile class key*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になる場合に発行されます。エラー状態を解決するために、RALTER OWNER() コマンドが生成され、選択されたデフォルトの所有者が設定されます。

重大度

04

CKR0064 *event* 許可 *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* (*event permit*)

**identity general resource profile
class key)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0065 **グループ *group* 上でユーザー ID *userid* が欠落しています (Missing *userid* *userid* on *group* *group*)**

説明

このメッセージは、VERIFY CONNECT コマンドが原因で発行されます。これは、示されたユーザー ID が示された GROUP プロファイルの USERID 繰り返しグループにないか、このようなグループ・プロファイルが全くないことを示しています。また、このグループは汎用でないか、グループが汎用であっても、この接続に SPECIAL、OPERATIONS、または AUDITOR の接続属性があるか、USE 以外の接続権限があります。接続情報は RACF データベース内の 3 か所にあり、特定の部分が欠落していた場合は、これらの各場所にメッセージ CKR0065、CKR0066、または CKR0067 が発行されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

08

CKR0066 **ユーザー *userid* 上でグループ *group* が欠落しています (Missing *group* *group* on *user* *userid*)**

説明

このメッセージは、VERIFY CONNECT コマンドが原因で発行されます。これは、示されたグループが示された USER プロファイルの CONGRPNM 繰り返しグループにないか、このようなユーザー・プロファイルが全くないことを示しています。接続情報は RACF データベース内の 3 か所にあり、特定の部分が欠落していた場合は、これらの各場所にメッセージ CKR0065、CKR0066、または CKR0067 が発行されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

08

CKR0067 **グループ *group* への接続 *userid* が欠落しています (Missing *connect* *userid* to *group* *group*)**

説明

このメッセージは、VERIFY CONNECT コマンドが原因で発行されます。これは、示されたグループが示された USER プロファイルの CGGRPNM 繰り返しグループにないか、このようなユーザー・プロファイルが全くないことを示しています。接続情報は RACF データベース内の 3 か所にあり、特定の部分が欠落していた場合は、これらの各場所にメッセージ CKR0065、CKR0066、または CKR0067 が発行されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

08

CKR0068 ***event* ID - *identity* が *number* 回参照されました (*event* *id* - *identity* *referenced* *number* *times*)**

説明

このメッセージは、未定義または削除/コピーされた *identity* ごとに、VERIFY PERMIT コマンドまたは MOVE/REMOVE/COPY PERMIT/USER/GROUP/NOTIFY コマンドによって検出された誤った参照について要約したものです。

重大度

00

CKR0069 ***volser* *clustername* 上のクラスター宛てに指定されていない *ctlg* 項目がどのシステムにもありません (No *system* has non-directed *ctlg* entry for cluster on *volser* *clustername*)**

説明

このメッセージは、ボリューム *volser* 上に少なくとも 1 つのコンポーネントを持つクラスター *clustername* がカタログに入れられ、ボリューム *volser* を共有するどのシステムでも、このクラスターにアクセスするには STEPCAT または JOBCAT DD ステートメントが必要であることを示しています。さらに、どのシステム上にも最初の修飾子に対する別名がありません。そうでない場合は、代わりにメッセージ CKR0294 が発行されます。

重大度

04

CKR0070 コンポーネント名が VTOC で 2 回検出されました (Component name found twice in VTOC) - *volser datasetname*

説明

VTOC 内で同一フォーマットの 1 DSCB キーを 2 つ使用することはできません。このエラーが再発する場合は (最初に zSecure Collect を再実行してください)、VTOC 索引 (存在する場合) を使用してどちらのキーが使用中かを判別し、他方のキーの DSCB を別の名前 (データを保持したい場合) またはフォーマット 0 DSCB に変更することで、この状態を解決できる可能性があります。DSCB を変更する場合は、VTOC 索引を再作成する必要があります。

重大度

08

CKR0071 コンポーネント名が VTOC ではなく VVDS で検出されました (Component name found in VVDS but not in VTOC) - *volser datasetname*

説明

zSecure Collect による VTOC の読み取りと VVDS の読み取りの間に、システムによってアクションが実行された結果、偶発的に発生する場合があります (VVDS を開くのにかなりの時間がかかります)。同じコンポーネントでこのメッセージが再発する場合は (最初に zSecure Collect を再実行してください)、問題があります。VVDS で IDCAMS DIAGNOSE 関数を実行してください。DELETE CLUSTER コマンドまたは DELETE VVR コマンドが役立つ場合があります。

重大度

08

CKR0072 クラスター名のどのボリュームでもカタログが検出されませんでした (Catalog not found on any volume for cluster name) *datasetname*

説明

このメッセージは CKR0073 と共に発行され、VVDS が指しているカタログが CKFREEZE ファイルで検出されなかったことを示しています。このメッセージには、現在使用不可になっているカタログに入れられたクラスター名がリストされます。通常の検索シーケンスによって使用可能な別のカタログにデータ・セットが入れられた場合は、問題にする必要はありません。

重大度

04

CKR0073 どのシステムのどのボリュームでもカタログが検出されませんでした (Catalog not found on any volume on any system) *datasetname*

説明

このメッセージは、VVDS から示されたカタログへの参照が検出されたことを示すために発行されます。現在使用不可になっているカタログに入れられたクラスター名は、個別の CKR0072 メッセージと CKR0169 メッセージによってリストされます。

重大度

08

CKR0074 VVDS の個別プロファイルが存在しません (DFP では使用されていません) (Discrete profile for VVDS present (not used by DFP)) *volser datasetname*

説明

DFP は、VVDS に対する操作について RACF に問い合わせません。代わりに、これを開くには、APF 許可が必要となります。このため、VVDS プロファイルは、VVDS のアクセス要件について *false* のピクチャーを提示します。純粋な RACF/DFP の組み合わせの場合は、データの誤解を避けるため、これを削除してください。ただし、ご使用の非 IBM ストレージ管理製品が DASDVOL クラスを正しく使用しており、VVDS データ・セット・プロファイルを使用していないことを検証してください。

重大度

04

CKR0075 アクセス不能なデータ・セット (RACF 標識付き、プロファイルなし) *volser datasetname* (Inaccessible data set (RACF indicated and no profile) *volser datasetname*)

説明

示されたデータ・セットは存在しますが、どの (個別または総称) プロファイルでも保護されていません。このメッセージは、VERIFY PROTECTALL 機能によって発行されます。このデータ・セットは標識付き (このデータ・セットが個別プロファイルによって保護されることを RACF に通知する VTOC 内の DSCBIND ビットがオンになっている) ため、個別プロファイルが予期されます。インストール済み環境で、ユーザー・データ・セットにアクセスできるのがそのユーザー自身だけであり、

そのため PERMIT も監査要件も登録する必要がない場合は、この状況を容認できることがあります。このエラー状態を解決するために、ADDSD NOSET コマンドが生成されます。ただし、VERIFY INDICATED も指定されていた場合は除きます。この場合、該当するコマンド・シーケンスと共に、メッセージ CKR0040 が既に発行されています (CKR0040 を参照)。プロファイルを追加するだけでは不十分な可能性があるので注意してください。この場合は、必要に応じてアクセス・リストを拡張するか、代わりに総称プロファイルを使用してください。

重大度

04

CKR0076 無保護データ・セット (RACF 標識なし、非総称) *volser datasetname* (Unprotected data set (not RACF indicated, no generic) *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、NOPROTECTALL 環境または PROTECTALL(WARN) 環境での VERIFY PROTECTALL コマンドが原因で発行されます。コマンドが生成されません。

重大度

08

CKR0077 総称プロファイルに一致するデータ・セットがありません (Generic profile without matching data sets) *datasetname*

説明

示された総称プロファイルは、どのデータ・セットも保護していないと思われる。このメッセージは、VERIFY NOTEEMPTY 関数が原因で発行され、CKRCMD 内のプロファイル用に DELDSD GENERIC コマンドが付随します。プロファイルが有効な関数を実行していてもこのメッセージが発行される状況はいくつか考えられます。割り振りを禁止する場合、一時的にのみ存在するデータ・セットを保護する場合 (おそらく周期的なバッチ実行中、あるいは TSO ユーザーによって定期的にデータ・セットが作成され、削除される)、VERIFY NOTEEMPTY の実行で入力として最近の CKFREEZE データ・セットが使用されなかった場合などが考えられます。例えばバッチ・ジョブの実行中などに一時ファイルの存在を確認する場合は、空のプロファイルを削除する前に、SMF レポートと JCL ライブラリー検索を使用することをお勧めします。検証後、CKRCMD の結果を実行する前に、エディターを使用して不要なコマンドを削除することができます。

重大度

04

CKR0078 予備の非 VSAM DATASET プロファイル (Redundant non-VSAM DATASET profile) *volser datasetname*

説明

このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD VOL() です。

重大度

04

CKR0079 予備の VSAM データ・セット・プロファイル (Redundant VSAM data set profile) *volser datasetname*

説明

このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD VOL() です。

重大度

04

CKR0080 予備の TAPE データ・セット・プロファイル (Redundant TAPE data set profile) *volser datasetname*

説明

このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD VOL() です。

重大度

04

CKR0081 予備の MODEL データ・セット・プロファイル (Redundant MODEL data set profile) *datasetname*

説明

このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD VOL() です。

重大度

04

CKR0082 アクセス不能なデータ・セット (標識なし、非総称) (**Inaccessible dataset (not indicated and no generic)**)
volser datasetname

説明

このメッセージは、PROTECTALL(FAIL) 環境での VERIFY PROTECTALL コマンドが原因で発行されます。コマンドが生成されません。

重大度

04

CKR0083 予備の総称データ・セット・プロフィール (**Redundant generic data set profile**) *datasetname*

説明

このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD です。

重大度

04

CKR0084 コンポーネント名が VVDS ではなく VTOC で検出されました (**Component name found in VTOC but not in VVDS - volser datasetname**)

説明

zSecure Collect による VTOC の読み取りと VVDS の読み取りの間に、システムによってアクションが実行された結果、偶発的に発生する場合があります (VVDS を開くのにかなりの時間がかかります)。最初に、IBM zSecure Collect を再実行してください。同じコンポーネントでこのメッセージが再発する場合は、問題があります。VVDS で IDCAMS 関数を実行してください。

重大度

08

CKR0085 ポリウム *volser datasetname* 上の 1 つのカタログで重複するクラスター項目が検出されました (**Duplicate cluster entry found in 1 catalog on volume volser datasetname**)

説明

このメッセージは、構成入力ファイル CKFREEZE にポリウム *volser* 上のカタログのカタログ・ダンプが含

まれ、同じクラスター項目 *datasetname* が 2 回出現することを示しています。これは、同じカタログのダンプが含まれた 2 つの CKFREEZE ファイルを連結すると起こる可能性があります。

重大度

08

CKR0086 *volser datasetname* 上でカタログに入れられたクラスターに対する所有権セルが検出されませんでした (**Ownership cell not found for cluster cataloged on volser datasetname**)

説明

このメッセージは、構成入力ファイル CKFREEZE にポリウム *volser* 上のカタログのカタログ・ダンプと、クラスター項目 *datasetname* が含まれているが、そのクラスター項目の所有権セルが検出されなかったことを示しています。CKFREEZE ファイルのレコード長が、カタログ・レコードに対して十分かどうかを確認してください。

重大度

08

CKR0087 詳細メッセージの数 (**Number of detail messages is**) *nnn*

説明

このメッセージは、続けて発行される詳細メッセージの総数を要約したものです。

重大度

00

CKR0088 ID ベースの抑止または制限要求 - 抑止された詳細メッセージの数 *nnn* (**Id based suppress or limit request(s) - nnn detail message(s) suppressed**)

説明

このメッセージは、SUPPRESS ID= コマンドと LIMIT ID= コマンドによって抑止されたメッセージの数を要約したものです。なお、これら 2 つのコマンドは、VERIFY コマンドと REMOVE コマンドによって実行される処理ではなく (この場合は、適用可能であれば SELECT QUAL= を使用します)、発行されるメッセージの数を制限するに過ぎません。

重大度

00

CKR0089 接続されたどのカタログ (*volser datasetname* 上のコンポーネント) にもクラスターがありません (Cluster not in any connected catalog, component on *volser datasetname*)

説明

示されたクラスター (*datasetname*) が MVS 制御ブロックまたは VVDS から参照されましたが、どのシステム上のマスター・カタログに接続されたどのカタログにも、このクラスターが含まれていませんでした。このボリュームを共有しているシステムの CKFREEZE ファイルを含めていなかったか、ご使用のシステムのいずれかのマスター・カタログが、先に古いカタログとの同期を行わずに切り替えられた可能性があります。このクラスターへは、通常はアクセスできなくなります。

重大度

08

CKR0090 *volser* の抑止要求 - 抑止された詳細メッセージの数 *nnn* (*volser suppress request - nnn detail message(s) suppressed*)

説明

このメッセージは、ボリュームごとの SUPPRESS VOL= コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

CKR0091 *volser* のメッセージ限度を超えました - 抑止された詳細メッセージの数 *nnn* (*volser message limit exceeded - nnn detail message(s) suppressed*)

説明

このメッセージは、ボリュームごとの LIMIT MSG= コマンドの結果を要約したものです。

重大度

08

CKR0092 *volser* には *complex [version]* 内にプロファイルのない RACF 標識付きデータ・セットが *nnn* 個あります (*volser has nnn RACF indicated data set(s) without profile in complex [version]*)

説明

このメッセージは、ボリュームごとの VERIFY INDICATED コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

CKR0093 *volser* には *complex [version]* 内に非 RACF 標識付きデータ・セットの個別プロファイルが *nnn* 個あります (*volser has nnn discrete profile(s) for non-RACF indicated data sets in complex [version]*)

説明

このメッセージ (および CKR0094 と CKR0095) は、ボリュームごとの VERIFY ONVOLUME コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

CKR0094 *volser* には *complex [version]* 内のボリューム上にデータ・セットがない個別プロファイルが *nnn* 個あります (*volser has nnn discrete profile(s) without data set on the volume in complex [version]*)

説明

このメッセージ (および CKR0093 と CKR0095) は、ボリュームごとの VERIFY ONVOLUME コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

CKR0095 *volser* には個別プロファイルが *nnn* 個ありますが、*complex [version]* 内のボリュームがマウントされていません (*volser has nnn discrete profile(s) but volume not mounted in complex [version]*)

説明

このメッセージ (および CKR0093 と CKR0094) は、ボリュームごとの VERIFY ONVOLUME コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

CKR0096 *volser* には **complex [version]** 内に *nnn* 個のアクセス不能データ・セットがあります (RACF 標識付き、プロフィールなし) (*volser has nnn inaccessible data set(s) (RACF indicated, no profile) in complex [version]*)

説明

このメッセージ (および CKR0097 と CKR0098) は、ボリュームごとの VERIFY PROTECTALL コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

CKR0097 *volser* には **complex [version]** 内に *nnn* 個のアクセス不能データ・セットがあります (標識なし、プロフィールなし) (*volser has nnn inaccessible data set(s) (not indicated, no profile) in complex [version]*)

説明

このメッセージ (および CKR0096 と CKR0098) は、PROTECTALL (FAIL) 環境にあるボリュームごとの VERIFY PROTECTALL コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

CKR メッセージ 100 から 199

CKR0100 **ID=name** の要求が重複しています (Duplicate request for ID=name)

説明

1つの ID に対し、両立しない特定の要求が複数出されました。重複を削除し、競合する要求ごとに個別実行を使用してください。

重大度

12

CKR0101 **REPORT PERMIT/SCOPE=id** が重複しています (Duplicate REPORT PERMIT/SCOPE=id)

CKR0098 *volser* には **complex [version]** 内に *nnn* 個の無保護データ・セットがあります (標識なし、プロフィールなし) (*volser has nnn unprotected data set(s) (not indicated, no profile) in complex [version]*)

説明

このメッセージ (および CKR0097 と CKR0098) は、NOPROTECTALL 環境または PROTECTALL (WARN) 環境にあるボリュームごとの VERIFY PROTECTALL コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

CKR0099 カタログ *catalog name* に対して抑制されたメッセージの数 *nnn* (*nnn messages suppressed for catalog catalog name*)

説明

このコマンドは、SUPPRESS CAT= コマンドまたは LIMIT MSG= コマンドの結果を要約したものです。

重大度

00

説明

示されたコマンド内で 1つの ID が 2 回出現しています。重複を削除してください。

重大度

12

CKR0102 パラメーター **OUTOFGROUP**、**NONDEFAULT**、および **(NON)REDUNDANT** は同時に使用できません (The parameters **OUTOFGROUP**, **NONDEFAULT** and **(NON)REDUNDANT** are mutually exclusive)

説明

これらの REPORT オプションごとに、個別実行を使用してください。

重大度

12

CKR0103 処理対象のフィールド "*fldname*" がどのテンプレートでも検出されませんでした (Field "*fldname*" to be processed not found in any template)

説明

LIST、SORTLIST、DISPLAY、または (D)SUMMARY コマンドで要求したフィールドは、NEWLIST TYPE=RACF 組み込みフィールドではなく、またどのタイプのエンティティのテンプレートでも検出されませんでした。zSecure CARLa コマンド・リファレンスの "CARLa コマンド言語" に関する章でスペルを確認してください。

重大度

12

CKR0103 処理対象のフィールド "*fldname*" が不明です (Field "*fldname*" to be processed unknown)

説明

LIST、SORTLIST、DISPLAY、または (D)SUMMARY コマンドで要求したフィールドは、組み込みフィールドではありません。zSecure CARLa コマンド・リファレンスの "CARLa コマンド言語" に関する章でスペルを確認してください。

重大度

12

CKR0104 SCAN または FIELDVALUE と共に FIELD を指定する必要があります (FIELD must be specified with either SCAN or FIELDVALUE)

説明

選択基準として使用するフィールドと、正確なまたはサブストリングのスキャン値の両方を指定する必要があります。

重大度

12

CKR0105 ボリューム "*volser*" が複数回指定されています (Volume "*volser*" specified more than once)

説明

同じ関数に対して同じボリュームが複数回指定されました。おそらく、エディターの繰り返しコマンドを使用し、それを別のボリュームに変更する意図だったと思われます。

重大度

12

CKR0106 カタログ "*catname*" が複数回指定されています (Catalog "*catname*" specified more than once)

説明

同じ関数に対して同じカタログが複数回指定されました。おそらく、エディターの繰り返しコマンドを使用し、それを別の名前に変更する意図だったと思われる。

重大度

12

CKR0107 パラメーター PROFILE、MASK/FILTER、MATCH、および BESTMATCH は同時に使用できません (The parameters PROFILE, MASK/FILTER, MATCH and BESTMATCH are mutually exclusive)

説明

SELECT または EXCLUDE コマンドで指定できる、プロファイル・キーに基づく選択オプションは 1 つのみです。

重大度

12

CKR0108 左マージンが右マージンを超えることはできません (場所 *ddname* の行 *number*) (Left margin cannot exceed right margin at *ddname* line *number*)

説明

MARGINS(*x,y*) コマンドでは、*x* (左マージン) が *y* (右マージン) を超えることはできません。この問題が発生した *dataset* と行 *number* は、可能であれば指定されません。

重大度

12

CKR0109 **PAGEBY= の前に BY= が必要です (BY= must precede PAGEBY=)**

説明

PAGEBY 値は BY リストの最初に指定する必要があり、BY リストは PAGEBY オプションの前に指定する必要があります。

重大度

12

CKR0110 **PAGEBY と BY の組み合わせはプロファイルごとのページを暗黙指定しています (PAGEBY and BY combination implies page per profile)**

説明

指定または暗黙指定された BY と PAGEBY パラメータの組み合わせでは、プロファイルごとに改ページが行われます。これはおそらく本来の意図ではないと思われます。

重大度

12

CKR0111 **DB=1 はマスター・データベースなので、ddname の行 number の token の前に含める必要があります (DB=1 must be included because it is the master database before token at ddname line number)**

説明

マスター・データベースには使用される RACF オプションが含まれているため、選択するデータベースに必ず含める必要があります。

重大度

12

CKR0112 **ddname の行 number の token の前の DB 番号は、1 から 64 までの範囲のみがサポートされます (DB numbers only supported in range 1..64 before token at ddname line number)**

説明

シーケンス番号による選択で使用できるのは、シーケンス番号 1 から 64 のみです。これより大きなシーケンス番号を使用するには、CKRACFnn ファイルを事前割り振りする必要があります。

重大度

12

CKR0113 **LIST コマンドの後に少なくとも 1 つのパラメータを指定するか、NEWLIST を LIKELIST ターゲットにする必要があります (LIST commands must be followed by at least one parameter or NEWLIST must be a LIKELIST target)**

説明

LIST コマンドは、オペランドなしでは指定できません。これを行うと、選択された各プロファイルまたは各レコードの行が空になってしまうためです。このルールの例外となるは、LIST コマンドが含まれる NEWLIST が LIKELIST のターゲットとなる場合です。この場合はおそらく、NEWLIST によって OUTLIM がゼロに設定されます。

重大度

12

CKR0114 **フィールド field の値選択は ddname の行 number ではサポートされません (Value selection for field field not supported at ddname line number)**

説明

指定されたフィールドには、内部コーディングされたフィールド値があります。このタイプはサポートされておらず、使用できるのは出力の場合のみです。

重大度

12

CKR0115 **option が有効となるのは USER/PERMIT= の後のみです (option only valid behind USER/PERMIT=)**

説明

示されたオプションが有効となるのは、COPY、MOVE、REMOVE のオプション USER= または PERMIT= の後のみです。おそらく、パラメータの順序を変更するだけで済みます。

重大度

12

CKR0116 *option* が有効となるのは **USER/GROUP=** の後のみです (*option only valid behind USER/GROUP=*)

説明

示されたオプションが有効となるのは、COPY、MOVE、REMOVE のオプション **USER=** または **GROUP=** の後のみです。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度

12

CKR0117 *option* が有効となるのは **(RE)MOVE TOGROUP=** の後のみです (*option only valid behind (RE)MOVE TOGROUP=*)

説明

示されたオプションが有効となるのは、MOVE または REMOVE のオプション **TOGROUP=** の後のみです。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度

12

CKR0118 *option* が有効となるのは **USER/GROUP/NOTIFY/PERMIT=** の後のみです (*option only valid behind USER/GROUP/NOTIFY/PERMIT=*)

説明

示されたオプションが有効となるのは、COPY、MOVE、REMOVE のオプション **USER=** または **GROUP=** の後のみです。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度

12

CKR0119 *option* が有効となるのは **USER=** の後のみです (*option only valid behind USER=*)

説明

示されたオプションが有効となるのは、COPY、MOVE、REMOVE のオプション **USER=** の後のみです。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度

12

CKR0120 *option* を **COPY** と共に使用するのは無効です (*option not valid with COPY*)

説明

示されたオプションが有効となるのは MOVE または REMOVE コマンドの後のみであり、COPY の後では無効となります。

重大度

12

CKR0121 **NEWLIST** の後の印刷オプションは **(SORT)LIST** の前に指定する必要があります (**Print options behind NEWLIST must be specified before the (SORT)LIST**)

説明

NEWLIST コマンドの有効範囲内では、印刷オプションと選択オプションは **LIST**、**SORTLIST**、**DISPLAY**、または **(D)SUMMARY** コマンドの前に指定する必要があります。コマンドの順序を変更して、ジョブを再実行してください。

重大度

12

CKR0122 **NEWLIST** の後の選択は **(SORT)LIST** または **(D)SUMMARY** の前に指定する必要があります (**Selection behind NEWLIST must be specified before the (SORT)LIST or (D)SUMMARY**)

説明

NEWLIST コマンドの有効範囲内では、印刷オプションと選択オプションは **LIST**、**SORTLIST**、**DISPLAY**、または **(D)SUMMARY** コマンドの前に指定する必要があります。コマンドの順序を変更して、ジョブを再実行してください。

重大度

12

CKR0123 **zSecure** の **IBM Knowledge Center** (<https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS2RWS>) へのリンク (**Link to the IBM Knowledge Center for zSecure: https://**)

説明:

このメッセージは、プログラム実行の終わりに発行され、zSecure の IBM Knowledge Center のランディング・ページへのリンクを提供します。組織の現在の zSecure バージョンを選択してください。

重大度

00

CKR0124 フィールド *field* 値 "*value*" は *ddname* の行 *number* では無効です。DDMMYYYY、YYYY-MM-DD、YYYY/DDD、TODAY、DUMPDATE、オプションの接尾部 "-nn" を使用してください (Field *field* value "*value*" invalid at *ddname* line *number* Use DDMMYYYY, YYYY-MM-DD, YYYY/DDD, TODAY, DUMPDATE, optionally suffixed)

説明

日付が予期されていますが、フォーマットが認識されません。このプログラムでは、ISO フォーマットの日付 (例: 01OCT1999)、ユリウス日付 (例: 1999/274)、および 2 つのキーワード TODAY と DUMPDATE がサポートされています。これらのキーワードに接尾部 -xx を付けると、xx 日前の日付 (例: TODAY-7) を指定できます。さらに、値 NEVER を指定して、日付なしを指定することもできます。

注: すべての日付フィールドが DUMPDATE をサポートするわけではありません。例えば、証明書フィールド CERTSTRT および CERTEND では指定できません。

重大度

12

CKR0125 抑止するメッセージ番号を 0..1999 の範囲で指定してください (Message number to be suppressed must be in range 0..1999) - nnnn

説明

このメッセージは、メッセージ番号の検証が失敗したことを示しています。接頭部 CKR なしの 10 進数を 1 つ入力するか、またはこのような複数の数値をコンマで区切り、括弧で囲んでリストとして指定してください。

重大度

12

CKR0126 *type* "*value*" の前にある日付値が無効です (場所 *ddname* の行 *number*) (Invalid date value before *type* "*value*" at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された日付の値が正しくないことを示します。この原因としては、無効な月の名前、年の形式、日番号、無効なセパレーターなどが考えられます。有効な日付フォーマットについては、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で日付フィールドのパラメーターに関する説明を参照してください。

重大度

12

CKR0127 アクセス値 ALTER-*x* は *type* "*value*" の前では予期されていません (場所 *ddname* の行 *number*) (The access value ALTER-*x* was not expected before *type* "*value*" at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、プログラムが前のトークンを、示されたアクセス値 ALTER-O、ALTER-Q、または ALTER-S と解釈したが、この値はこのコンテキストでは適用されないことを示しています。

重大度

12

CKR0128 *type* "*value*" ではなく関係演算子または "(" が予期されています (場所 *ddname* の行 *number*) (Expecting relational operator or "(" instead of *type* "*value*" at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、プログラムが前のトークンをフィールド名と解釈したため、フィールド値をテストする式の残り部分を予期していることを示しています。おそらく、示されたストリングの直前のキーワードの入力ミスと思われる。

重大度

12

CKR0129 値リストが有効となるのは "=" または "<>" と共に使用した場合のみです - *ddname* の行 *number* の delimiter "*value*" の前 (Value list

only valid with "=" or "<>" - before delimiter "value" at ddname line number)

説明

このメッセージは、「より小」または「より大」を含む関係演算子と共に値リストを指定したことを示しています。これらの関係演算子は、単一値を指定する場合のみ使用し、値リストと一緒に使用しないでください。

重大度

12

CKR0130 *ddname volume dsn* の OPEN が失敗しました (OPEN failed for *ddname volume dsn*)

説明

詳しくは、CKR0002 および CKR0010 を参照してください。

重大度

16

CKR0131 ファイルが空です (File empty) - *ddname volume dsn*

説明

詳しくは、CKR0002 および CKR0010 を参照してください。

重大度

16

CKR0132 構成の読み取り対象システム *name* *iplvol volume* 読み取り元 *pads file volume dsn* 実行対象 *OS version activeproducts* 作成したプログラム *progrname* ジョブ *jobname* 日時 *dd mmm yyyy hh:mm:ss:cc (runtype)*

説明

このメッセージは、MVS システムの CKFREEZE ファイルが作成された時期、場所、方法、および作成が実行されたオペレーティング・システムとそのバージョンを示しています。 *activeproducts* にリストされる可能性のある製品は、 *DFP version JES2 version ESM version TSO version HSM version* です。ここで、ESM は **RACF**、**ACF2**、**TSS** のいずれか、*DFP* は **DFP** または **DFSMS** になります。DFSMS の場合は、バージョン番号の後にアクティブ・コンポーネントがリストされる場合があります (例: DFSMS 2.10.0 hsm rmm)。使用される可能性のある *runtype* は **APF** または **non-APF** です。non-APF

の場合は、CKFREEZE に情報が含まれません。このメッセージに *pads* を示すテキスト **PADS** が含まれている場合は、データ・セットへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。この場合、プログラムの機能はユーザーの有効範囲までに制限されます。

重大度

00

CKR0132 構成の読み取り対象システム *name* 読み取り元 *pads file volume dsn* 作成したプログラム *progrname* ジョブ *jobname* 日時 *ddmmmyyyy hh:mm:ss.ffffff*

説明

このメッセージは、VM システムの CKFREEZE ファイルが作成された時期、場所、方法を示しています。このメッセージに *pads* を示すテキスト **PADS** が含まれている場合は、データ・セットへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。この場合、プログラムの機能はユーザーの有効範囲までに制限されます。

重大度

00

CKR0133 **VERIFY PERMIT** および **COPY/MOVE/REMOVE** は同時に使用できません (**VERIFY PERMIT and COPY/MOVE/REMOVE are mutually exclusive**)

説明

VERIFY PERMIT コマンドと COPY/MOVE/REMOVE コマンドの両方を指定することはできません (両方のコマンドは内部で同じメソッドを使用するため)。

重大度

12

CKR0134 デフォルトのシステム・ビューポイント *name1* が検出されませんでした。代わりに *name2* を使用します。

説明

このメッセージは、DEFAULT SYSTEM=*name1* コマンドが指定されたが、プログラムによって読み取られた CKFREEZE ファイル内にシステム *name1* がないことを示しています。代わりに *name2* を使用して、操作が続行されます。

重大度

04

CKR0135 ファイル *ddname* 上の *system* の後にあるシステム *sysid* データの連結は無効です。システムごとに個別の **CKRCKFnn** ファイルを使用してください (**Concatenation of system *sysid* data behind system on file *ddname* invalid, use separate **CKRCKFnn** file for each system**)

説明

このメッセージは、1つの入力ファイル内に2つの連結された CKFREEZE データ・セットが検出されたことを示しています。これはサポートされません。個別の DD 名または複数の ALLOC TYPE=CKFREEZE コマンドを使用してください。このメッセージは、複数の zSecure Collect ジョブが同じデータ・セットに書き込まれた場合にも発行される可能性があります。

重大度

16

CKR0136 **VSAM** プロファイル上の間接 *volser* は複数のシステムではサポートされません (**Indirect *volser* on VSAM profile not supported for multiple systems**) - *datasetname*

説明

このメッセージは、間接 (*****) を持つ個別 VSAM データ・セット・プロファイルがデータベースに含まれていることを示しています。このプログラムでは、複数のシステムを使用する場合はこれがサポートされません。間接 *volser* は、プロファイルが (別々のシステムにある) 複数のデータ・セットを同時に扱う場合があることを暗黙的に指定します。

重大度

08

CKR0137 フィールド *name* 値はアクセス権限でも権限でもありません - "*value*" (場所 *ddname* の行 *number*) (**Field *name* value is not an access or authority - "*value*" at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、プログラムが NONE、READ、EXECUTE、UPDATE、ALTER、USE、CREATE、CONNECT、JOIN のいずれかを予期していることを示しています。

重大度

12

CKR0138 監査アクセス権限は ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、NONE のいずれかでなければなりません - "*value*" (場所 *ddname* の行 *number*) (**Audit access must be ALTER, CONTROL, UPDATE, READ, or NONE - "*value*" at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

重大度

12

CKR0139 監査イベントは ALL、SUCCESS、FAILURE、NONE のいずれかでなければなりません - "*value*" 場所 *ddname* の行 *number* (**Audit event must be ALL, SUCCESS, FAILURE, or NONE - "*value*" at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

重大度

12

CKR0140 外部グループを参照しているプロファイルの数は *number* です (**complex version**) (**Number of profiles referring outside group is *number* for complex version**)

説明

このメッセージは、REPORT OUTOFGROUP コマンドによってリストされたプロファイルの数を要約したものです。

重大度

00

CKR0141 検出されたデフォルト以外のプロファイルの数は *number* です (**complex version**) (**Number of non-default**)

profiles found is number for complex version)

説明

このメッセージは、REPORT NONDEFAULT コマンドによってリストされたプロファイルの数を要約したものです。

重大度

00

CKR0142 テストされた *xxxx* 個のプロファイルのうち予備の数は *yyyy* (*pp%*) です (*complex version*) (Of the *xxxx* profiles tested *yyyy* are redundant (*pp%*) for *complex version*)

説明

このメッセージは、REPORT NONREDUNDANT または REPORT REDUNDANT コマンドによって予備と見なされたプロファイルの数を示しています。さらに、予備のテストが行われたプロファイルの総数とこの数が比較されます。

重大度

00

CKR0143 選択された有効範囲内のプロファイルおよび修飾子の数は *number* です (*complex version*) (Number of profiles and qualifiers in selected scope is *number* for *complex version*)

説明

このメッセージは、REPORT SCOPE= または REPORT PERMIT= コマンドによってリストされたプロファイルおよび修飾子の数を要約したものです。

重大度

00

CKR0144 MOD/NEW が有効となるのは TYPE=CKRCMD/OUTPUT と共に使用した場合のみです - *ddname* の行 *number* (MOD/NEW only valid with TYPE=CKRCMD/OUTPUT - at *ddname* line *number*)

説明:

CKRCMD または OUTPUT 以外の TYPE を持つ ALLOC ステートメント上で MOD または NEW が指定されました。これはサポートされません。MOD キーワードまたは NEW キーワードを ALLOC ステートメントから削除してください。

重大度

12

CKR0145 MOD/NEW を VOL/UNIT/MEMBER/FILEDESC/PIPE/GETPROC とともに使用することはできません - *ddname* の行 *number* (MOD/NEW mutually exclusive with VOL/UNIT/MEMBER/FILEDESC/PIPE/GETPROC - at *ddname* line *number*)

説明:

ALLOC の MOD パラメーターまたは NEW パラメーターは、FILEDESC、GETPROC、MEMBER、PIPE、UNIT、および VOL のどのパラメーターとも組み合わせることができません。MOD キーワードまたは NEW キーワードを削除するか、サポートされないパラメーターを除外してください。

重大度

12

CKR0146 FILEDESC をデータ・セット属性や、OUTPUT/CKRCMD 以外の TYPE とともに使用することはできません - *ddname* の行 *number* (FILEDESC mutually exclusive with data set attributes and TYPE<>OUTPUT/CKRCMD - at *ddname* line *number*)

説明:

FILEDESC を指定できるのは、ALLOC TYPE=OUTPUT または TYPE=CKRCMD 上のみです。また、DATACLAS, MGMTCLAS, STORCLAS, MB_PRIM, MB_SEC, VOL, UNIT などのデータ・セット属性とともに使用することもできません。

重大度

12

CKR0147 PATH/GETPROC をデータ・セット属性とともに使用することはできません - *ddname* の行 *number* (PATH/GETPROC mutually exclusive with data set attributes - at *ddname* line *number*)

説明:

UNIX のパス名を指定した場合は、DATACLAS, MGMTCLAS, STORCLAS, MB_PRIM, MB_SEC, VOL, UNIT などのデータ・セット属性を指定できません。

重大度

12

CKR0148 *event stuser identity* 一般リソース・プロファイル STARTED profile

(event stuser identity general resource profile STARTED profile)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Remove** になった場合に発行されます。つまり、未定義の identity が、示された STARTED profile の STDATA セグメントの STUSER フィールドにあることを意味します。この状態を解決するため、このフィールドをプロファイルから削除するための RALT コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0149 event stgrp identity 一般リソース・プロファイル STARTED profile (event stgrp identity general resource profile STARTED profile)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/GROUP コマンドが原因で event が **Remove** になった場合に発行されます。つまり、未定義の identity が、示された STARTED profile の STDATA セグメントの STGROUP フィールドにあることを意味します。この状態を解決するため、このフィールドをプロファイルから削除するための RALT コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0150 STARTED プロファイル profile が呼び出したユーザー id はグループ group に接続されていません - "user" が使用されます (STARTED profile profile revoked user id not connected to group group - "user" is used.)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された profile に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STUSER フィールドで指定されたユーザー id が STGROUP フィールドで指定された group に接続されていない問題です。このため、未定義のユーザー ID user が使用されます。さらに、ユーザー id が取り消されるため、最初の問題が解決した後も、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。このメッセージはプロファイル・レベル

のエラーを示しますが、望ましい解決策が不明なため、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0151 STARTED プロファイル profile が呼び出したユーザー id はグループ group に接続されていません - "user" が procedure volume dataset に使用されます (STARTED profile profile revoked user id not connected to group group - "user" is used for procedure volume dataset)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された profile に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STUSER フィールドで指定されたユーザー id が STGROUP フィールドで指定された group に接続されていない問題です。このため、未定義のユーザー ID user が使用されます。さらに、ユーザー id が取り消されるため、最初の問題が解決した後も、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。profile の最初の修飾子が総称であり、ユーザー id または group が =MEMBER として指定されているため、procedure として評価されています。そのため、主となる問題はプロファイル・レベルの状態に関するものではなく、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0152 STUSER が STARTED プロファイル profile で指定されていません - ICHRIN03 が使用されます - ユーザー ID id は STGROUP となっており - newgroup に変更されました (No STUSER specified on STARTED profile profile - ICHRIN03 is used - and user id id as STGROUP - changed to newgroup)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された profile に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STUSER フィールドが含まれていない問題です。もう 1 つは、STGROUP フィールドに有効なグループ ID ではなくユーザー名 id が含まれている問題です。最初の状態は重大であるため、示されたプロファイルは無視され、開始プロシージャ・

テーブル ICHRIN03 が代わりに使用されます。この状態は意図的なものである可能性があるため、この状態を解決するためのアクションは試行されません。2 番目の問題については、解決するためのコマンドが生成されます。*newgroup* が **group(=MEMBER)** の場合は、プロファイルの最初の修飾子が有効なグループ ID になり、STGROUP フィールドはそのメンバーの名前を使用するように設定されます。それ以外の場合は、*newgroup* が **NOGROUP** になり、STGROUP フィールドが STDATA セグメントから削除されます。したがって (後で指定されるユーザーの) デフォルト・グループが使用されることとなります。2 番目の状態を解決した後の新規実行では、CKR0564 のみが返されるはずですが。

重大度

08

CKR0153 STUSER が STARTED プロファイル *profile* で指定されていません - ICHRIN03 が使用されます - 未定義の STGROUP *id* - *newgroup* に変更されました (No STUSER specified on STARTED profile *profile* - ICHRIN03 is used - and undefined STGROUP *id* - changed to *newgroup*)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STUSER フィールドが含まれていない問題です。もう 1 つは、STGROUP フィールドに有効なグループ ID ではなく値 *id* が含まれている問題です。最初の状態は重大であるため、示されたプロファイルは無視され、開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が代わりに使用されます。この状態は意図的なものである可能性があるため、この状態を解決するためのアクションは試行されません。2 番目の問題については、解決するためのコマンドが生成されます。*newgroup* が **group(=MEMBER)** の場合は、プロファイルの最初の修飾子が有効なグループ ID になり、STGROUP フィールドはそのメンバーの名前を使用するように設定されます。それ以外の場合は、*newgroup* が **NOGROUP** になり、STGROUP フィールドが STDATA セグメントから削除されます。したがって (後で指定されるユーザーの) デフォルト・グループが使用されることとなります。2 番目の状態を解決した後の新規実行では、CKR0564 のみが返されるはずですが。

重大度

08

CKR0154 STARTED プロファイル *profile* に含まれているグループ ID *id* が STUSER、ユーザー ID *id2* が

STGROUP になっています - "user" が使用されます - *action* の対象 *newuser newgroup note* (STARTED profile *profile* contains group id *id* as STUSER and user id *id2* as STGROUP - "user" is used - *action* to *newuser newgroup note*)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STUSER フィールドに有効なユーザー ID ではなくグループ名 *id* が含まれている問題です。もう 1 つは、STGROUP フィールドに有効なグループ ID ではなくユーザー名 *id2* が含まれている問題です。これらのエラーの結果として、プロファイルで指定されたユーザーとグループが無視され、未定義のユーザー ID *user* が代わりに使用されます。誤った指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーまたはグループの場合は、それぞれ *newuser* または *newgroup* がメンバー名を使用する **=MEMBER** に設定されます。それ以外の場合は、それぞれフィールドが削除されることを示す **NOUSER** および **NOGROUP** に設定されます。*newuser* が **user(=MEMBER)** (したがって *newgroup* が **NOGROUP**) の場合は、ID が両方とも修正され、*action* が **correct** になりますが、*note* に「ただし、それでもユーザー ID が呼び出されます (but userid still revoked)」と示される可能性があります。つまり、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*newuser* が **NOUSER** の場合は、*action* が **change** になり、*note* は示されません。提示された変更の後もプロファイルは明らかに使用できないため、RACF は開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、後続の VERIFY STC でこのプロファイルに対して CKR0564 が発行されます。

重大度

08

CKR0155 STARTED プロファイル *profile* に含まれているグループ ID *id* が STUSER で、さらに未定義の STGROUP *id2* が含まれています - "user" が使用されます - *action* の対象 *newuser newgroup note* (STARTED profile *profile* contains group id *id* as STUSER and undefined STGROUP *id2* - "user" is used - *action* to *newuser newgroup note*)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に2つの個別の問題があることを示しています。1つは、STDATA セグメント内の STUSER フィールドに有効なユーザー ID ではなくグループ名 *id* が含まれている問題です。もう1つは、STGROUP フィールドに有効なグループ ID ではなく値 *id2* が含まれている問題です。これらのエラーの結果として、プロファイルで指定されたユーザーとグループが無視され、未定義のユーザー ID *user* が代わりに使用されます。誤った指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーまたはグループの場合は、それぞれ *newuser* または *newgroup* がメンバー名を使用する **=MEMBER** に設定されます。それ以外の場合は、それぞれフィールドが削除されることを示す **NOUSER** および **NOGROUP** に設定されます。 *newuser* が **user(=MEMBER)** (したがって *newgroup* が **NOGROUP**) の場合は、ID が両方とも修正され、*action* が **correct** になりますが、*note* に「ただし、それでもユーザー ID が呼び出されます (but userid still revoked)」と示される可能性があります。つまり、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。 *newuser* が **NOUSER** の場合は、*action* が **change** になり、*note* は示されません。提示された変更の後もプロファイルは明らかに使用できないため、RACF は開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、後続の VERIFY STC でこのプロファイルに対して CKR0564 が発行されます。

重大度

08

CKR0156 **STARTED** プロファイル *profile* に未定義の **STUSER id** があり、ユーザー ID *id2* が **STGROUP** になっています - "**user**" が使用されます - *action* の対象 *newuser newgroup note* (**STARTED profile profile has undefined STUSER id and user id id2 as STGROUP - "user" is used - action to newuser newgroup note**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に2つの個別の問題があることを示しています。1つは、STDATA セグメント内の STUSER フィールドに有効なユーザー ID ではなく値 *id* が含まれている問題です。もう1つは、STGROUP フィールドに有効なグループ ID ではなくユーザー名 *id2* が含まれている問題です。これらのエラーの結果として、プロファイルで指定されたユーザーとグループが無視され、未定義のユーザー ID *user* が代わりに使用されます。誤った指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初

の修飾子が有効なユーザーまたはグループの場合は、それぞれ *newuser* または *newgroup* がメンバー名を使用する **=MEMBER** に設定されます。それ以外の場合は、それぞれフィールドが削除されることを示す **NOUSER** および **NOGROUP** に設定されます。 *newuser* が **user(=MEMBER)** (したがって *newgroup* が **NOGROUP**) の場合は、ID が両方とも修正され、*action* が **correct** になりますが、*note* に「ただし、それでもユーザー ID が呼び出されます (but userid still revoked)」と示される可能性があります。つまり、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。 *newuser* が **NOUSER** の場合は、*action* が **change** になり、*note* は示されません。提示された変更の後もプロファイルは明らかに使用できないため、RACF は開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、後続の VERIFY STC でこのプロファイルに対して CKR0564 が発行されます。

重大度

08

CKR0157 **STARTED** プロファイル *profile* に未定義の **STUSER id** と未定義の **STGROUP id2** があります - "**user**" が使用されます - *action* の対象 *newuser newgroup note* (**STARTED profile profile has undefined STUSER id and undefined STGROUP id2 - "user" is used - action to newuser newgroup note**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に2つの個別の問題があることを示しています。1つは、STDATA セグメント内の STUSER フィールドに有効なユーザー ID ではなく値 *id* が含まれている問題です。もう1つは、STGROUP フィールドに有効なグループ ID ではなく値 *id2* が含まれている問題です。これらのエラーの結果として、プロファイルで指定されたユーザーとグループが無視され、未定義のユーザー ID *user* が代わりに使用されます。誤った指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーまたはグループの場合は、それぞれ *newuser* または *newgroup* がメンバー名を使用する **=MEMBER** に設定されます。それ以外の場合は、それぞれフィールドが削除されることを示す **NOUSER** および **NOGROUP** に設定されます。 *newuser* が **user(=MEMBER)** (したがって *newgroup* が **NOGROUP**) の場合は、ID が両方とも修正され、*action* が **correct** になりますが、*note* に「ただし、それでもユーザー ID が呼び出されます (but userid still revoked)」と示される可能性があります。つまり、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。 *newuser* が **NOUSER**

の場合は、*action* が **change** になり、*note* は示されません。提示された変更の後プロファイルは明らかに使用できないため、RACF は開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、後続の VERIFY STC でこのプロファイルに対して CKR0564 が発行されます。

重大度

08

CKR0158 **STARTED** プロファイル *profile* にはユーザー ID である **STGROUP =MEMBER** があり、**STUSER id2** が取り消されます - "*user*" が *procname volume dsn* システム *system subsystem* に使用されます (**STARTED profile profile has STGROUP =MEMBER, which is a userid, and revoked STUSER id2 - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドに **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されたデータ・セット *dsn* にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* が有効なグループ ID ではなく、ユーザー ID であるため、未定義のユーザー ID *user* が使用される問題です。もう 1 つは、STUSER フィールドで指定されたユーザー ID が取り消されるため、最初の問題が解決した後でも、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0159 **STARTED** プロファイル *profile* には未定義の **STGROUP =MEMBER** があり、**STUSER id2** が取り消されます - "*user*" が *procname volume dsn* システム *system subsystem* に使用されます (**STARTED profile profile has STGROUP =MEMBER, which is undefined, and revoked STUSER id2 - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドに **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されたデータ・セット *dsn* にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* が有効なグループ ID ではなく、RACF に対して未定義であるため、未定義のユーザー ID *user* が使用される問題です。もう 1 つは、STUSER フィールドで指定されたユーザー ID が取り消されるため、最初の問題が解決した後でも、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0160 サポートされない RACF データベースのブロック・サイズ *nnnnn* (**1024** または **4096** でなければなりません) 対象ファイル *ddname dsname* (**Unsupported RACF database blksize nnnnn (must be 1024 or 4096) on file ddname dsname**)

説明

読み取り対象のデータベースのブロック・サイズはサポートされていません。この問題は、データベースを別のシステムに送信した際に、正しいブロック・サイズを明示的に要求せずにそのシステムでデータベースを受信した場合に起こる可能性があります。この場合、このシステムは別のブロック・サイズを選択します。

重大度

16

CKR0161 セグメント名がテンプレート内にありません - *name* 対象エンティティ・タイプ *xx* (**Segment name not in templates - name for entity type xx**)

説明

再構成データベース内のプロファイルの読み取り時に使用されたセグメント名が、示されたエンティティ・タイプのテンプレートで検出できませんでした。このメッセージの後に、詳しい分析に役立つプロファイルの正確なソース・ロケーションが示されます。

重大度

16

CKR0162 *key* の基本セグメントでエンティティ・タイプが検出されませんでした (**Entity type not found in BASE segment of key**)

説明

再構成データベースにあるプロファイルの基本セグメントのエンティティ・タイプが、プロファイル内の予期された場所で検出されませんでした。RACF コマンドを使用して通常はこのプロファイルを表示できる場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0163 エンティティ・タイプ *user* が想定されます - *key* のセグメント *segname* (**Entity type user assumed - segment segname of key**)

説明

このメッセージは、非基本セグメントが検出されたが、そのエンティティ・タイプを判別できなかったことを示しています。このメッセージが発行されるのは、DEBUG SEGMENT が発行された場合のみです。RACF 1.9 以上の場合、この問題が発生する可能性があるのは USER または GROUP プロファイルの DFP セグメントのみです。ほとんどの場合、これらは同じ (つまり アクセサー ID として) 扱われるため、これは実際には問題となりません。ただし、LIST を CLASS と共に要求すると、誤ってクラスが USER と示される可能性があります。

重大度

00

CKR0164 セグメント名 *segname* がエンティティ・タイプ *xx* のセグメント・テーブル内にありません (**Segment name segname not in segment table for entity type xx**)

説明

再構成データベース内のプロファイル・セグメントの読み取り時に使用されたセグメント名が、示されたエンティティ・タイプのセグメント・テーブルで検出できませんでした。このメッセージの後に、詳しい分析に役立つ

プロファイルの正確なソース・ロケーションが示されます。

重大度

16

CKR0165 エンティティ・タイプ *xx* のテンプレートが検索されませんでした (**Template not found for entity type xx**)

説明

再構成された RACF データベース内のプロファイルの読み取り時に、示されたエンティティ・タイプが使用されましたが、ICB には示されたエンティティ・タイプのテンプレート・ポインターが含まれていませんでした。このメッセージの後に、詳しい分析に役立つプロファイルの正確なソース・ロケーションが示されます。

重大度

16

CKR0166 条件付きアクセス・リストが *class key* で不明なクラス "*class*" を参照しています (**Conditional access list refers to unknown class "class" in class key**)

説明

再構成された RACF データベース内の一般リソース・プロファイルに条件付きアクセス・リストが含まれていましたが、クラス記述子テーブルで検出されないクラスへの参照がこのリストに含まれています。このメッセージは、"*class*" あたり 1 回だけ示されます。

重大度

08

CKR0167 条件付きアクセス・リスト内のグループ化リソースはサポートされていません (**Grouping resource in conditional access list not supported**) - *class key*

説明

再構成データベース内の一般リソース・プロファイルに、グループ化 *class* への参照を持つ条件付きアクセス・リストが含まれていました。条件付きアクセス・リスト内で使用できるのは、非グループ化クラスのみです。

重大度

16

CKR0168 **complex** 上の最大プロファイル長は **class key** に対して **nnnnn** バイトです (**Maximum profile length on complex is nnnnn bytes for class key**)

説明

この情報メッセージは、示された複合システム上の RACF データベースで検出された最大プロファイル長を詳述するものです。この情報を利用すると、問題がどれだけ迫っているかを判断できます。非再構成データベースの場合、最大長は 64KB です。

重大度

00

CKR0169 クラスタ保護を決定できません (どのカタログまたは **VVDS** にもありません) **clustname (Cluster protection undecidable (not in any catalog or VVDS) clustname)**

説明

VVDS またはカタログ情報が欠落しているため、示されたクラスタをレポート内で正しく表すことができません。このメッセージは、**SUPPRESS VSAM_SHORTCUT** を行うことで除去または削減できることがあります。

重大度

08

CKR0170 制限モードでの選択は、制限付きフィールド **field** ではできません (場所 **ddname** の行 **number**) (**Selection in restricted mode is not allowed on restricted field field at ddname line number**)

説明

プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働している場合は、示されたフィールドでの選択はできません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは **SIMULATE RESTRICT** が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合は、示されたフィールドが欠落していることと見なされることを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。このフィールドに適用される制限は、**BUILTIN** と **RACF** を使用してズームインした後、基本コマンド **FIELD** からの出力の「Restrictions」列で見ることができます。ただし、このコマンドも制限モードで発行されていることが条件です (これを実現す

るには、**SETUP PREAMBLE** で **SIMULATE RESTRICT** を使用します)。

注: 制限が **OWNER** または **CKGOWNR** を対象としており、制限付きフィールドが **SELECT** ステートメントで使用された場合は、メッセージ [563 ページの『CKR2463』](#) が代わりに発行されます。

重大度

04 または 12

CKR0171 クラスが記述子テーブルにありません。デフォルトのプロパティが想定されます (**Class not in descriptor table, default properties assumed**) - **class**

説明

示されたクラス (または、非 RDS データベースではそのクラスの 4 文字の接頭部) がデータベース内にありますが、クラス記述子テーブル内にはありません。このため、プログラムはこのクラスのプロパティを認識できず、このクラスを誤って使用する可能性があります。この問題は、例えば別のシステムから RACF データベースを処理する場合や、クラス記述子テーブルからクラスを削除する前に、そのクラスに含まれるプロファイルをすべてしなかった場合などに発生する可能性があります。このメッセージの後には、問題のクラスで最初に検出されたプロファイルが示されます。すべてのプロファイルを検索するには、**SELECT CLASS=** コマンドを使用します。

重大度

08 (OPTION ステートメントの **MSGRC** パラメーターによって変更されない限り)

CKR0172 **ICHCNX00** が返した修飾子は内部フォーマットでは **"qual1"** ですが、**dsname** の外部フォーマットでは **"qual2"** になっています (**ICHCNX00 returns qualifier "qual1" for internal but "qual2" for external format of dsname**)

説明

インストール・システム出口で、データ・セット名の内部フォーマットと外部フォーマットについて異なる修飾子が返されましたが、このどちらもデータ・セット名の最初の修飾子と等しくありません。プログラムは外部フォーマットを選択します。このメッセージは、コマンド **SUPPRESS MSG=172** で抑制できます。

重大度

16 (OPTION ステートメントの **MSGRC** パラメーターによって変更されない限り)

CKR0173 ICHCNX00 が返した修飾子は内部フォーマットでは "qual1" ですが、*dsname* の外部フォーマットでは "qual2" になっています
(**ICHCNX00 returns qualifier "qual1" for internal but "qual2" for external format of dsname**)

説明

インストール・システム出口で、データ・セット名の内部フォーマットと外部フォーマットについて異なる修飾子が返されました。プログラムは外部フォーマットを選択します。このメッセージは、DEBUG QUAL コマンドが発行された場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKR0174 BCS system volume *dsn* 内の UCAT 別名 *alias* に *n>1* アソシエーションのサポートがありません (No support for *n>1* associations in UCAT alias *alias* in BCS system volume *dsn*)

説明

このメッセージは、ユーザー・カタログの別名項目で予期しない条件が検出されたことを示しています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0175 BCS system volume *dsn* 内の *usercat* 別名 *alias* に、サポートされない数の修飾子が含まれています (Unsupported number of qualifiers in *usercat* alias *alias* in BCS system volume *dsn*)

説明

このメッセージは、カタログ内の別名項目に含まれる修飾子が 4 個を超えていることを示しています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0176 BCS レコード・クラスター *dsname* に予期しないボリューム・セル *volser* が含まれています (Unexpected volume cell *volser* in BCS record cluster *dsname*)

説明

このメッセージは、ICF カタログ・レコードで予期しない条件が検出されたことを示しています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR0177 カタログ情報が欠落しているため、VERIFY NONEMPTY が複合システム *complex* 上で実行されませんでした (VERIFY NONEMPTY not performed on complex *complex* due to missing catalog information)

説明

このメッセージは、VSAM データ・セットに関するカタログ情報が、示された複合システムの CKFREEZE ファイルから欠落していたことを示しています。この原因としては、これらのファイルが APF 許可なしに作成されたことが考えられます。VERIFY NONEMPTY はこの情報の完全性に左右されるため、処理が拒否されます。

重大度

08

CKR0178 システム *name* の CKFREEZE ファイルが SIMULATE SHARED VOLUME= *volser* コマンドにありません (No CKFREEZE file for system *name* in SIMULATE SHARED VOLUME= *volser* command)

説明

このメッセージは、使用したシステム名が CKFREEZE ファイル内で見つからなかったことを示します。おそらく、システム名の入力ミスか、CKFREEZE ファイルを割り振り忘れたものと思われる。

重大度

12

CKR0179 システム *system* 上のボリューム *volume* に関する共有情報が矛盾しています (**Conflicting share information for volume *volume* on system *system***)

説明

SIMULATE コマンドが、指定されたシステム/ボリュームの組み合わせに関して矛盾しています。

重大度

12

CKR0180 システム *name* の CKFREEZE ファイルが **SIMULATE (NON)SHARED SYSTEM=*name*** コマンドにありません (**No CKFREEZE file for system *name* in SIMULATE (NON)SHARED SYSTEM=*name* command**)

説明

このメッセージは、使用したシステム名が CKFREEZE ファイル内で見つからなかったことを示します。おそらく、システム名の入力ミスか、CKFREEZE ファイルを割り振り忘れたものと思われる。

重大度

12

CKR0181 サブパラメーターが不明です (**Unknown subparameter**) - *parm*

説明

このメッセージは、指定されたパラメーターをプログラムが認識できない (少なくともこの場所にはない) ことを示しています。

重大度

12

CKR0182 フィールド *name* のフラグ値は **GLOBAL**、**GENERAL**、または **SPECIFIC** でなければなりません - "*value*" (場所 *ddname* の行 *number*) (**Field *name* flag value must be GLOBAL, GENERAL or SPECIFIC - "*value*" at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、フィールド *name* に指定できる値が GLOBAL、GENERAL、SPECIFIC のみであることを示しています。

重大度

12

CKR0183 シミュレーションはサポートされていません (**Simulation not supported**) - *parm*

説明

このメッセージは、指定されたパラメーターは認識されたが、シミュレーションにはサポートされないことを示しています。

重大度

12

CKR0184 オプション **SHARED** と **NONSHARED** は矛盾します (**Conflicting options SHARED and NONSHARED**)

説明

このメッセージは、すべてのシステムにあるすべてのボリュームを、共有と非共有の両方として定義しようとしたことを示しています。

重大度

12

CKR0185 **SIMULATE SHARE VOL=*list*** に、システム *system* がボリュームを共有する相手のシステム名を含めてください (**SIMULATE SHARE VOL=*list* should include the system names system *system* has to share the volume(s) with**)

説明

このメッセージは、ボリュームに対してシステム・リストを指定する場合は、そのボリュームを共有するシステムのリストを含める必要があることを示しています。システムを 1 つだけ指定しても、共有関係の定義には不十分です。そのボリュームをすべてのシステム間で共有したい場合は、SYSTEM パラメーターを完全に省く必要があります。

重大度

12

CKR0186 システム *system* 上のボリューム *name* に関する **SHARE/NONSHARE** が矛盾しています (**Conflicting SHARE/NONSHARE for volume name on system system**)

説明

このメッセージは、システム *system* 内のボリューム *name* を、異なる SIMULATE コマンドで共有と非共有の両方として定義しようとしたことを示しています。

重大度

12

CKR0187 フィールド *name* の値ストリング・タイプがサポートされていません - **'value'** 場所 *ddname* の行 *number* (**Field name value string type not supported - 'value' at ddname line number**)

説明

有効なストリング・タイプは、X (16 進数)、B (ビット (マスク))、C (文字ストリング (タイプの省略と同じ)) のみです。

重大度

12

CKR0188 フィールド *name* の値が無効です - ビット・ストリングに含めることのできる値は **0**、**1**、または **.** のみです - **"value"** (場所 *ddname* の行 *number*) (**Field name value invalid - bit string may only contain 0, 1, or . - "value" at ddname line number**)

説明

このメッセージは、タイプ B (ビット・マスク) のストリングに無効文字が含まれていることを示しています。ビットに対する完全一致突き合わせの場合は **0** または **1**、意識しない場合はドット「**.**」を指定してください。

重大度

12

CKR0189 フィールド *name* のフラグ値は **FORCE** または **NOFORCE** でなければなりません - **"value"** (場所 *ddname* の行 *number*) (**Field name flag value must be FORCE or NOFORCE - "value" at ddname line number**)

説明

このメッセージは、XRFSSOFF フラグに指定された値が適切でないことを示しています。

重大度

12

CKR0190 フィールド *name* の値が無効です - 最大ビット・ストリング長は **32** です (場所 *ddname* の行 *number*) (**Field name value invalid - maximum bit string length is 32 at ddname line number**)

説明

このメッセージは、2 進数で 32 桁を超えるビット・マスク入力ストリングを使用しようとしたことを示しています。これはサポートされません。

重大度

12

CKR0191 フィールド *name* のフラグ値は **16** 進数、**2** 進数、**YES**、**NO**、**ON**、**OFF**、ビット・マスクのいずれかでなければなりません **"value"** (場所 *ddname* の行 *number*) (**Field name flag value must be hex, binary, YES, NO, ON, OFF, or a bit mask "value" at ddname line number**)

説明

このメッセージは、フラグ・フィールドの値が認識されなかったことを示しています。

重大度

12

CKR0192 **PAGELEN=nn** を **5** より大きい値にするか、ページ・セパレーターを抑制する場合は **0** にしてください (**PAGELEN=nn must be larger than 5, or 0 to suppress page separators**)

説明

このメッセージは、PAGELENGTH に指定した値が無効であることを示しています。ページ長には、すべてのページ・ヘッダーとタイトルが含まれます。これらは各ページに印刷されるため、最小ページ長は 5 (トピック・タイトル、タイトル、サブタイトル、空の行、列ヘッダー) になります。ヘッダーが不要な場合は、NOPAGE を指定します。NEWLIST/SORTLIST あたり

ヘッダーを1つだけ使用したい場合は、PAGELENGTH=0を指定します。

重大度

12

CKR0193 *activereason* 使用システム *name*
iplvol volume 稼働 OS *operating*
system release リリース *prod*
release (activereason using system
name iplvol volume running
operating system release with prod
release)

説明

このメッセージは、アクティブなシステム設定が使用されていることを示しています。*activereason* にテキスト「**[F=BASE] 構成ファイルがありません (No [F=BASE] configuration file)**」が含まれている場合は、CKFREEZE ファイルがないことがこの理由です。*activereason* に「**アクティブ構成 (Active configuration)**」と示される場合は、明示的な割り振り要求がこの理由です。通常はCKFREEZE ファイルから取得されるシステム制御ブロックに関する必須情報 (RACF データベースを処理する場合は RACF クラス記述子テーブルなど) は、現行システムから取得されます。このメッセージには、セキュリティー製品 *prod* (RACF、ACF2、または TSS) とそのリリース・レベルも示されま

重大度

00

CKR0194 カタログ *catname* にある *dsname*
のコネクター項目にボリューム・セル
がありません (**Volume cell**
missing from connector entry for
***dsname* in catalog *catname*)**)

説明

このメッセージは、ICF カタログ・レコードで予期しない条件が検出されたことを示しています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0195 **SIMULATE RESTRICT** はこのシステム
では使用できません (**SIMULATE**
RESTRICT not possible on this
system)

説明

このメッセージは、現在のユーザー ID が定義されていない RACF データベースでは、制限付き PADS モードをシミュレートできないことを示しています。

重大度

12

CKR0196 *ddname volume dsn* への PADS ア
クセス中にはアンロードできません
(**Unload not allowed during PADS**
access to *ddname volume dsn*))

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働しており、アンロード・ファイルを作成できないことを示しています。これを行うと、権限の有効範囲を超える情報を表示できてしまうためです。なお、「有効範囲内」のプロファイルでも、表示の「有効範囲内」でない情報が含まれています。これは、その情報へのアクセス権限が RACF 自体によって与えられていないためです。

重大度

12

CKR0196 *ddname volume dsn* へのプログラ
ム・パス指定アクセス中にはアンロ
ードできません (**Unload not**
allowed during program pathing
access to *ddname volume dsn*))

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたはプログラム・パス指定モードで稼働しており、アンロード・ファイルを作成できないことを示しています。これを行うと、権限の有効範囲を超える情報を表示できてしまうためです。なお、「有効範囲内」のレコードでも、表示の「有効範囲内」でない情報が含まれています。これは、その情報へのアクセス権限が ACF2 自体によって与えられていないためです。

重大度

12

CKR0197 構成データ・セットへの PADS アク
セスではアンロードできません
(**Unload not allowed with PADS**
access to configuration dataset))

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働しており、アンロード・ファイルを作成できないことを示しています。CKFREEZE ファイ

ルへの PADS アクセスの場合、これは厳密には必要とは限りませんが、正確にどの入力ファイルに PADS モードでアクセスしたかに関係なく、プログラムに設定される動作の制限モードは 1 つのみです。

重大度

12

CKR0197 構成データ・セットへのプログラム・パス指定アクセスではアンロードできません (Unload not allowed with program pathing access to configuration dataset)

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたはプログラム・パス指定モードで稼働しており、アンロード・ファイルを作成できないことを示しています。CKFREEZE ファイルへのプログラム・パス指定アクセスの場合、これは厳密には必要とは限りませんが、正確にどの入力ファイルにプログラム・パス指定モードでアクセスしたかに関係なく、プログラムに設定される動作の制限モードは 1 つのみです。

重大度

12

CKR0198 制限モードではオプションを使用できません (Option not allowed in restricted mode) - *option*

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働しており、示されたオプションまた

はコマンドはアクセス制御決定に影響を与える可能性があるため使用できないことを示しています。

通常、このメッセージは重大度 12 で発行されます。*option* が DEBUG other than RESTRICT PERFORM DICT CPIC ACTION OUNIT の場合、このメッセージの重大度はゼロになります。

重大度

12 または 00

CKR0199 REPORT [SCOPE|PERMIT]=*idname* は使用できません。ID が複合システム *complex version* 上の有効範囲内にありません (REPORT [SCOPE|PERMIT]=*idname* not allowed, id is not in your scope on complex *complex version*)

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働しており、権限の有効範囲外と見なされるユーザーまたはグループについては有効範囲レポートおよび許可レポートを要求できないことを示します。

重大度

12

CKR メッセージ 200 から 299

CKR0200 重複する NONVSAM プロファイル・ボリューム *volser* データ・セット *datasetname* があります (Duplicate NONVSAM profile volume *volser* dataset *datasetname*)

説明

2 つの同一のプロファイル・キーが同じボリュームで見つかりました。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

20

CKR0201 重複する TAPEDSN プロファイル・ボリューム *volser* データ・セット *datasetname* があります (Duplicate TAPEDSN profile volume *volser* dataset *datasetname*)

説明

2 つの同一のプロファイル・キーが同じボリュームで見つかり、両方が DSTYPE=TAPE でした。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

20

CKR0202 重複する VSAM プロファイル・ボリューム *volser* クラスター *datasetname* があります (Duplicate VSAM profile volume *volser* cluster *datasetname*)

説明

2つの同一のプロファイル・キーが同じボリュームで見つかり、両方が DSTYPE=VSAM でした。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

20

CKR0203 重複する MODEL プロファイル *datasetname* があります (Duplicate MODEL profile *datasetname*)

説明

2つの同一のプロファイル・キーが見つかり、両方が1つのモデル・データ・セットに対するものでした。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

20

CKR0204 重複する総称データ・セット・プロファイル・ベース *datasetname* があります (Duplicate generic dataset profile base *datasetname*)

説明

2つの同一のプロファイル・キーが見つかり、両方が1つの総称データ・セット・プロファイルに対するものでした。これは RACF データベース内の異常です。最初のプロファイルのみが使用され、この状態を除去するためのサポートは存在しません。

重大度

20

CKR0205 *field* がプロファイル *datasetname* 内で見つかりませんでした。複合システム *complex version* (*field* not found in profile *datasetname* *complex complex version*)

説明

ここで、*field* は DSTYPE または MODELNAM となります。示されたデータ・セット・プロファイル内で、指定されたフィールドを検索中に、プロファイルの終わりに達したか、テンプレートにフィールドが含まれていませんでした。エラーが再発する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0206 重複する GLOBAL プロファイル *classname* があります。複合システム *complex version* (Duplicate GLOBAL profile *classname* *complex complex version*)

説明

示されたクラスの2つの同一の GLOBAL プロファイルが見つかりました。これは RACF データベース内の異常です。最初のプロファイルのみが使用され、この状態を除去するためのサポートは存在しません。

重大度

20

CKR0207 プロファイル *identity* 複合システム *complex version* のモデル名の長さ *length* が長すぎます (Model name length *length* too long on profile *identity* *complex complex version*)

説明

ユーザー・プロファイルまたはグループ・プロファイルのモデル・プロファイル名の長さが *length* 文字です。モデル・プロファイルの最大長は、44 文字から高位修飾子の接頭部 (ユーザー ID または グループ ID の後にドットが付いたもの) の長さを引いたものです。

プログラムはこの状態のサポートを提供しません。

重大度

20

CKR0208 *field* が *type* プロファイル内で見つかりませんでした。複合システム *complex version* (*field* not found in *type* profile.*complex complex version*)

説明

ここで、*type* は DATASET または GENERAL となり、*field* は UNIVACS, UACC, FLAG1, AUDIT, AUDITQS, AUDITQF, GAUDITQS, または GAUDITQF となります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0209 *identity* が USER および GROUP の両方として定義されています (*identity* defined as both USER and GROUP)

説明

示された *identity* が、クラス USER およびクラス GROUP 内のプロファイルとして見つかりました。この状態を処理するためのサポートは存在しません。

重大度

20

CKR0210 USER "*identity*" が二重に定義されています (USER "*identity*" doubly defined)

説明

同一のキーを持つ 2 つのユーザー・プロファイルが検出されました。同じデータベースの 2 つのコピーを 1 回の実行で結合した可能性があります。

重大度

20

CKR0211 GROUP "*identity*" が二重に定義されています (GROUP "*identity*" doubly defined)

説明

同一のキーを持つ 2 つのグループ・プロファイルが検出されました。同じデータベースの 2 つのコピーを 1 回の実行で結合した可能性があります。

重大度

20

CKR0212 数値またはフラグ・フィールド *fldname* が、プロファイル *key* でサポートされる長さ (4 バイト) を超え

ています (Numeric or flag field *fldname* exceeds supported length (4 byte) for profile *key*)

説明

このメッセージは、SELECT または EXCLUDE 処理中に、示されたフィールドのフィールド長が 4 バイトを超えているプロファイルが検出されたことを示します。プログラムは、すべての数値フィールドの長さが 4 バイト以下であると想定します。

重大度

20

CKR0213 システム *name* のマスター・カタログが欠落しています (Missing master catalog for system *name*)

説明

このメッセージは、示されたシステムのマスター・カタログのカタログ・ダンプが CKFREEZE ファイルに含まれていなかったか、どのカタログがマスター・カタログであるかが明確でなかったことを示します。

重大度

16

CKR0214 選択されたオプションには CKFREEZE ファイルが必要です (CKFREEZE file required for selected options)

説明

このメッセージは、CKFREEZE ファイルの存在を必要とするプログラム・ファンクションが要求されたことを示します。しかし、割り振られた CKFREEZE または CKRCKF0n ファイルが見つかりませんでした。

重大度

12

CKR0215 マスクされたフィールド *field* にアクセスするには、非 PADS 実行が必要です (Non-PADS run required to access masked field *field*)

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで作動しているため、データベース・テンプレート内で *masked* としてマークが付けられているフィールドへのアクセスを要求できないことを示します。

重大度

12

CKR0216 **event 許可 identity whenclass whenprofile(1-15) class key (event permit identity whenclass whenprofile(1-15) class key)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、一般リソース・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。(RE)MOVE または VERIFY の場合は、条件付き許可を削除するための PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。COPY の場合は、条件付き許可を作成するための PERMIT WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0217 **field にアクセスするには、監査権限が必要です (Audit authority required to access field)**

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで作動しているため、AUDITOR またはグループ AUDITOR 属性を持つユーザーのために予約されているフィールドへのアクセスを要求できないことを示します。ALLOWRESTRICT 修飾子はこのメッセージの重大度を 4 まで低下させるため、プログラムは照会を終了できます。問題のフィールドはブランクとして表示されます。

重大度

12 または 04

CKR0218 フィールド *field* (長さ *field-length*) は、ターゲット行の長さ *line-length* より *number* 文字だけ長くなります - *ddname* の行 *number* (Field *field* of length *field-length* extends *number* chars beyond target line length *line-length* - *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、最大長 *line-length* の出力行バッファに入れられるよりも多くのフィールドを要求したことを示します。示されたフィールド (長さ *field-length*) は、出力行の終了位置を *number* 文字超えます。要求されたフィールドは、自動的に切り捨てられます。

重大度

12

CKR0219 **ICHCNX00 出口異常終了 sssuuu。 SUPPRESS ICHCNX00 をアクティブ化しています (ICHCNX00 exit abend sssuuu now activating SUPPRESS ICHCNX00)**

説明

このメッセージは、現行システムの RACF 出口 ICHCNX00 の呼び出し中に異常終了状態がインターセプトされたことを示します。これは、出口が監視プログラム状態、キー・ゼロ操作、またはその他の許可された機能を要求する場合によく発生します。異常終了コードは、システム異常終了 *sss* (16 進数) またはユーザー異常終了 *uuu* (16 進数) でした。実行の残りの部分では、この出口への呼び出しは抑止されます。

重大度

16

CKR0220 **fieldname location** の日付の長さはサポートされていません。複合システム *complex version* (Unsupported date length for *fieldname location* *complex version*)

説明

このメッセージは、可変長日付フィールドをサポートされない長さでフォーマットしようとする発行されます。メッセージには、テンプレートからのフィールド名が示され、この状態が見つかったプロファイルがフォーマット *profile key* またはフォーマット *connect user to group* で示されます。

重大度

20

CKR0221 **警告: プログラム・プロファイルは存在しますが、プログラム制御がシステム *sys* でアクティブではありません。複合システム *complex version* (Warning: program profiles present but program control not active in system *sys* *complex version*)**

説明

このメッセージは、PROGRAM 保護に関連するレポートが要求されたことを示します。プロファイルはクラス PROGRAM 内で見つかりましたが、システム全体オプション SETROPTS WHEN(PROGRAM) が有効ではありません。これは、SIMULATE SETROPTS WHEN(PROGRAM) コマンドを組み込まない限り、プロファイルは RACF によって使用されないこと、および REPORT AC1 出力と REPORT PADS 出力に表示されないことを意味します。

重大度

00

CKR0222 *event* グループ *name* の上位グループ *identity - name* を作成します (*event supgrp identity of group name - make name*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。上位グループ・フィールドは、ALG コマンドによって、示されたグループに変更されます。

重大度

04

CKR0223 **PRINT/NEWLIST 出力ファイルが無効です - file (Invalid PRINT/NEWLIST output file - file)**

説明

このメッセージは、示されたファイル名または DD 名が、NEWLIST または PRINT コマンドのターゲットとして無効であることを示します。指定できない予約済み DD 名は、CKRUNLIN、CKRUNLOU、STEPLIB、SYSABEND、SYSUDUMP、SYSMDUMP、CKRCARLA、CKRTSPRT、XMLIN、XMLOUT、CKRACF*、CKRSMF*、およびこれらのファイルを宛先変更したすべてのターゲットです。詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の OPTION コマンドの説明を参照してください。

重大度

12

CKR0224 *nn* 個のプロファイルおよび *nn* 個のセグメントが読み取られ、*nn* 個のプロファイルおよび *nn* 個のセグメントが選択されました (*complex [version] (nn%) (nn profiles and nn segments read, nn profiles and nn*

segments selected (nn%) for complex [version])

説明

このメッセージは、再構造化データ・セットでのみ発行され、プロファイル (基本セグメント) および非基本セグメントが読み取られた数および選択された数を示します。パーセンテージは、プロファイルと非基本セグメントの合計に基づきます。マージのみを使用する実行で選択される数は、ゼロになります。他の TYPE=RACF newlists、reports、または verify コマンドが使用された場合、選択されるプロファイル/セグメントの数はコマンドによって決定されます。

重大度

00

CKR0225 **DMS デフォルト設定がサポートされていません - 複合システム *complex* システム *system* 上の *ppppppppv* (DMS default setting not supported - *ppppppppv* on *complex complex system system*)**

説明

このメッセージは、DMS パラメーター *ppppppppv* の示された設定 *v* がサポートされないことを示します。結果は予測不能になることがあります。これは、実際のパラメーター値が CKFREEZE ファイル内で欠落していた場合に、示されたパラメーター設定が (DMS 内のデフォルトであるため) プログラムによってデフォルトとして想定されたために発生することがあります。

重大度

16

CKR0226 **sysid が無効です (4 文字以下である必要があります) (Invalid sysid (must be lower or equal to 4 characters))**

説明

このメッセージは、条件付きアクセス・リスト項目内で 4 文字を超えるシステム名が見つかったことを示します。これはサポートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0227 *length* は n..32767 の範囲内である
必要があります (*length must be in
range n..32767*)

説明

このメッセージは、指定されたページまたは行の長さ *length* が、許容範囲である 0..32767 (PL の場合) または 1..32767 (LL の場合) の間にないことを示します。出力のページ番号付けを禁止する場合は、PL=0 または NOPAGE を使用する必要があります。

重大度

12

CKR0228 修飾子 (SUB/TOP)TITLE は、WRAP/
MORE/HOR と組み合わせることは
できません - フィールド *field*、
ddname の行 *number* (Modifiers
(SUB/TOP)TITLE cannot be
combined with WRAP/MORE/HOR
- field *field* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、概要行の繰り返しフィールドの表示を変更する修飾子が指定されたが、これはページ・タイトルではサポートされないことを示します。

重大度

12

CKR0229 修飾子 (SUB/TOP) TITLE を同時に
使用することはできません - フィー
ルド *field*、*ddname* の行 *number*
(Modifiers (SUB/TOP) TITLE are
mutually exclusive - field *field* at
ddname line *number*)

説明

フィールドは、タイトルまたはトップ・タイトルの一部である必要があります。しかし、フィールドを 2 回指定し、それぞれに修飾子の 1 つを付与することができます。

重大度

12

CKR0230 修飾子 PAGE は、PAGE のない変数フ
ィールドの後では許可されません -
フィールド *field*、*ddname* の行
number (Modifier PAGE not
allowed after variable field
without PAGE - field *field* at
ddname line *number*)

説明

値が変更されたときにページ境界を決定するフィールドは、ページ修飾子を持たないフィールドよりもソート階層内で上位にある必要があります。

重大度

12

CKR0231 (SUB/TOP)TITLE は、出力行でフ
ィールドの前に出現する必要があります
- フィールド *field*、*ddname* の行
number ((SUB/TOP)TITLE must
occur before fields on output line -
field *field* at *ddname* line *number*)

説明

ページ・タイトル内で報告されるフィールドは、(トップ)タイトル修飾子を持たないフィールドよりもソート階層内で上位にある必要があります。

重大度

12

CKR0232 KEY は、表示でキー以外のフィー
ルドの前に出現する必要があります -
フィールド *field*、*ddname* の行
number (KEY must occur before
any non-key fields on display -
field *field* at *ddname* line *number*)

説明

KEY 修飾子は、表示の左側にある連続する列のセット内でのみ使用できます。これは、水平にスクロールできない表示の部分を定義します。

重大度

12

CKR0233 修飾子 (SUB/TOP)TITLE は、長さ 0
では無効です - フィールド *field*、
ddname の行 *number* (Modifiers
(SUB/TOP)TITLE not valid with
length 0 - field *field* at *ddname* line
number)

説明

ページ・タイトル内で報告されるフィールドは、固定長を持つ必要があります。

重大度

12

CKR0234 *option* 修飾子は LIST コマンドでは無効です。 *ddname* の行 *number* の *token* の前で SORTLIST を使用してください (*option modifier invalid on LIST command, use SORTLIST before token at ddname line number*)

説明

PAGE、SUBTITLE、TITLE、または TOPTITLE 修飾子を使用する場合は、SORTLIST を使用してください。

重大度

12

CKR0235 非 VSAM DATASET プロファイル *volume datasetname* 上の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (*Replace notify identity on VSAM DATASET profile volume datasetname - with newnotify*)

説明

このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0236 VSAM DATASET プロファイル *volume datasetname* 上の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (*Replace notify identity on VSAM DATASET profile volume datasetname - with newnotify*)

説明

このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0237 総称 DATASET プロファイル *datasetname* 上の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (*Replace notify identity on generic DATASET profile datasetname - with newnotify*)

説明

このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0238 モデル DATASET プロファイル *datasetname* の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (*Replace notify identity of model DATASET profile datasetname - with newnotify*)

説明

このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0239 通知 *identity* を *id2* プロファイル *class key* に変更します (*Change notify identity to id2 profile class key*)

説明

このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で、PROGRAM または GLOBAL プロファイルに対して発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための RALTER NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0240 BCS RACF 標識が設定されていますが、個別 VSAM プロファイルがありません (*volser clustname (BCS RACF indicator set but no discrete VSAM profile volser clustname)*)

説明

このメッセージは、VERIFY INDICATED コマンドが原因で発行されます。

重大度

04

CKR0241 個別 VSAM プロファイルがありますが、BCS RACF 標識が設定されていません *volser clustername (Discrete VSAM profile but BCS RACF indicator not set volser clustername)*

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。示されたボリュームは、示されたクラスタの RACF 標識ビットがオフに設定された所有権セルを含んだカタログ (BCS) のボリュームです。エラー状態を解決するために、DELDS NOSET コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0242 個別 VSAM プロファイルが存在しますが、クラスタが見つかりません *volser clustername (Discrete VSAM profile present but no cluster found volser clustername)*

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。示されたボリュームは、クラスタを含まなかったカタログのボリュームです。エラー状態を解決するために、DELDS NOSET コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0243 個別 VSAM プロファイルがありますが、BCS ボリュームがマウントされていません *volser clustername (Discrete VSAM profile but BCS volume not mounted volser clustername)*

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。プロファイルは、マウントされていないボリュームを示しています。エラー状態を解決するために、DELDS NOSET コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0244 テープ DATASET プロファイル *volser datasetname* 上の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (**Replace notify identity on tape**)

DATASET profile volser datasetname - with newnotify)

説明

このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDS NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0245 *event* テープ DATASET プロファイル *volser datasetname* の修飾子 *identity* - DELDS を出力します (**event qualif identity of tape DATASET profile volser datasetname - output DELDS**)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未定義か、または削除されることを示します。状態を解決するために、DELDS VOL() コマンドが生成されます。SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージとアクションが抑止される場合があります。

重大度

04

CKR0246 *event* 非 VSAM DATASET プロファイル *volser datasetname* の修飾子 *identity* - DELDS を出力します (**event qualif identity of non-VSAM DATASET profile volser datasetname - output DELDS**)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未定義か、または削除されることを示します。状態を解決するために、DELDS VOL() コマンドが生成されます。SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージとアクションが抑止される場合があります。

重大度

04

CKR0247 **event VSAM DATASET** プロファイル
volser datasetname の修飾子
identity - DELDSD を出力します
(**event qualif identity of VSAM**
DATASET profile volser
datasetname - output DELDSD)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で **event** が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で **event** が **Remove** になった場合に発行されます。これは、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未定義か、または削除されることを示します。状態を解決するために、DELDSD VOL() コマンドが生成されます。SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージとアクションが抑止される場合があります。

重大度

04

CKR0248 **event 総称 DATASET** プロファイル
datasetname の修飾子 **identity -**
DELDSD を出力します (**event qualif**
identity of generic DATASET profile
datasetname - output DELDSD)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で **event** が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で **event** が **Remove** になった場合に発行されます。これは、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未定義か、または削除されることを示します。状態を解決するために、DELDSD コマンドが生成されます。SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージとアクションが抑止される場合があります。

重大度

04

CKR0249 **event モデル DATASET** プロファイル
datasetname の修飾子 **identity -**
DELDSD を出力します (**event qualif**
identity of model DATASET profile
datasetname - output DELDSD)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で **event** が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で **event** が **Remove** になった場合に発行されます。これは、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未定義か、または削除されることを示します。状態を解決するために、DELDSD コマンドが生成されます。SUPPRESS コマンドを使用すると、

このメッセージとアクションが抑止される場合があります。

重大度

04

CKR0250 マルチボリューム個別プロファイル
がありますが、**RACF** 標識がありませ
ん **volser datasetname**
(**Multivolume discrete profile but**
no RACF indicator volser
datasetname)

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD DELVOL コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0251 マルチボリューム個別プロファイル
がありますが、データ・セットが見
つかりません **volser datasetname**
(**Multivolume discrete profile but**
dataset not found volser
datasetname)

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD DELVOL コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0252 マルチボリューム個別プロファイル
がありますが、ボリュームがマウン
トされていません **volser**
datasetname (Multivolume
discrete profile but volume not
mounted volser datasetname)

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD DELVOL コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0253 **volume clustername** に関するカタ
ログがダンプされていないため、ク
ラスタ標識が不明です (**Cluster**

indicator unknown due to undumped catalog on volume clustername)

説明

示されたクラスターを VVDS に従ってカタログしたカタログが、カタログ・ダンプ内に存在しなかったため、プログラムは、クラスターが RACF 標識付きだったかどうかを判別できませんでした。

重大度

08

CKR0254 GDG モデルが存在するため、個別プロファイルは使用されません *volser datasetname* (Discrete profile not used because GDG model present *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。これは、GDG 生成のための個別プロファイルが存在するが、その GDG ベース名のための非 VSAM またはモデルの個別プロファイルも同時に存在し、GDG モデル化がアクティブであることを示します。エラー状態を解決するために、DELSD NOSET コマンドが生成されます。ただし、生成が GDG から既にロールオフしている場合、コマンドは拒否され、エラー・メッセージ "NOT FOUND IN CATALOG" が発行されることがあります。この場合、プロファイルは、コマンドを発行する前にシステム全体 MODEL(GDG) オプションを非アクティブにすることによってのみ削除できません。

重大度

04

CKR0255 *event* 非 VSAM DATASET プロファイル *volser datasetname* 上の通知 *identity* (*event notify identity on non-VSAM DATASET profile volser datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度

04

252 メッセージ・ガイド

CKR0256 *event* VSAM DATASET プロファイル *volser datasetname* 上の通知 *identity* (*event notify identity on VSAM DATASET profile volser datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0257 *event* 総称 DATASET プロファイル *datasetname* 上の通知 *identity* (*event notify identity on generic DATASET profile datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0258 *event* モデル DATASET プロファイル *datasetname* の通知 *identity* (*event notify identity of model DATASET profile datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0259 *event* 通知 *identity* 一般リソース・プロファイル *class name* (*event*)

**notify identity general resource
profile class name)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、RALT NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0260 *event* メンバー *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* (*event member identity general resource profile class key*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Remove** になった場合に発行されます。このメッセージは、NODES リソース・クラスに関してのみ発行されます。この状態を解決するために、プロファイル全体を削除する RDEL コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0261 不明な *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* を持つキーです (*Key with unknown identity general resource profile class key*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT または (RE)MOVE PERMIT/USER コマンドが原因で発行されます。このメッセージは、何らかの修飾子をユーザー ID またはグループにすることができるリソース・クラス (例えば、VMMDISK、VMBATCH、DLFDATA、JESJOBS、NODES、JESSPOOL、PROPCNTL、VMEVENT、VMXEVENT など) に対してのみ発行されます。状態を解決するために、プロファイルを削除するための RDEL コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0262 *event* ユーザー *identity* - BPX.DEFAULT.USER 内の OMVS デ

フォルト UID を定義します (*event user identity - defines OMVS default UID in BPX.DEFAULT.USER*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除される *identity* が OMVS デフォルト UID を定義していること、およびエラー状態が解決されないことを意味します。このエラー状態は、デフォルト GID 指定が存在し、削除されない場合には、解決されません。保持されるべきデフォルト GID 指定がなかった場合には、指定を削除することによって状態が解決され、代わりに CKR0298 が発行されたはずです。

重大度

08

CKR0263 *event* 通知 *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* (*event notify identity general resource profile class key*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Replace** になった場合に発行されます。状態を解決するために、通知フィールドを削除するための RALTER NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0264 *event* 非 VSAM DATASET プロファイル *volser datasetname* 上の R-ownr *identity* (*event R-ownr identity on non-VSAM DATASET profile volser datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0265 *event VSAM DATASET* プロファイル *volser datasetname* 上の **R-ownr identity (event R-ownr identity on VSAM DATASET profile volser datasetname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0266 *event 総称 DATASET* プロファイル *datasetname* 上の **R-ownr identity (event R-ownr identity on generic DATASET profile datasetname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0267 *event モデル DATASET* プロファイル *datasetname* の **R-ownr identity (event R-ownr identity of model DATASET profile datasetname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0268 *event 許可 identity whenclass whenprofile(1-15) class key (event permit identity whenclass whenprofile(1-15) class key)*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、一般リソース・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0269 *event 許可 identity SYSID smfid PROGRAM profile (event permit identity SYSID smfid PROGRAM profile)*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、PROGRAM プロファイルの条件付きアクセス・リスト WHEN(SYSID(*smfid*)) 節内で見つかったことを示します。この状態を解決するために PERMIT DELETE WHEN(SYSID(*smfid*)) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0270 *event 許可 identity whenclass whenprofile(1-15) PROGRAM profile (event permit identity whenclass whenprofile(1-15) PROGRAM profile)*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、WHEN(SYSID(...)) 以外の PROGRAM プロファイルの条件付きアクセス・リスト節内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0271 *event* テープ *dsn volser datasetname* のアクセス・リスト内の許可 *identity (event permit identity in access list of tape dsn volser datasetname)*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE VOL() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0272 *id2* と共に *raclink node.id* を削除します - **RACLINK UNDEFINE** を出力します (**Remove raclink node.id with id2 - output RACLINK UNDEFINE**)

説明

このメッセージは、REMOVE USER= コマンドが原因で発行されます。*id2* を削除するには、その *raclink* を最初に削除する必要があるため、それぞれに **RACLINK UNDEFINE** が生成されます。

重大度

00

CKR0273 *event* テープ **DATASET** プロファイル *volser datasetname* の所有者 *identity - newowner* を作成します

(*event owner identity of tape DATASET profile volser datasetname - make newowner*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() OWNER() コマンドが生成されます。新規所有者は *identity* と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きまます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度

04

CKR0274 *event* テープ **DATASET** プロファイル *volser datasetname* 上の通知 *identity (event notify identity on tape DATASET profile volser datasetname)*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/ PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0275 アクセス不能なクラスター (**RACF** 標識付き、プロファイルなし) *volser datasetname (Inaccessible cluster (RACF indicated and no profile) volser datasetname)*

説明

このメッセージは、VERIFY PROTECTALL コマンドまたは VERIFY INDICATED コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、ADDSD NOSET コマンドが生成されますが、これは VERIFY INDICATED が指定されていない場合に限りまます。プロファイルを追加するだけでは不十分な可能性があるので注意してください。この場合は、必要に応じてアクセス・リストを拡張するか、代わりに総称プロファイルを使用してください。

重大度

04

CKR0276 無保護クラスター (非 RACF 標識付き、総称なし) *volser datasetname* (Unprotected cluster (not RACF-indicated, no generic) *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、NOPROTECTALL 環境または PROTECTALL(WARN) 環境での VERIFY PROTECTALL コマンドが原因で発行されます。コマンドが生成されません。

重大度

08

CKR0277 *event* テープ DATASET プロファイル *volser datasetname* 上の R-ownr *identity* (*event* R-ownr *identity* on tape DATASET profile *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0278 ユーザー *identity* の取り消しが要求されました (Revoke for user *identity* requested)

説明

このメッセージは、(RE)MOVE USER=, REVOKE コマンドが原因で発行されます。応答として、ALTUSER REVOKE コマンドが生成されます。

重大度

00

CKR0279 要求に従ってユーザー *identity* をグループ *identity* に接続します - **CONNECT** を出力します (Connect user *identity* to group *identity* as requested - output **CONNECT**)

説明

このメッセージは、MOVE USER=, TOGROUP= コマンドが原因で発行されます。応答として、CONNECT コマンドが生成されます。

重大度

00

CKR0280 以前のデフォルトが削除されるため、*identity* のデフォルト・グループが *identity* になります (Default group of *identity* becomes *identity* because removing former default)

説明

このメッセージは、MOVE USER=, TOGROUP= コマンドが原因で発行されます。応答として、ALTUSER DFLTGRP() コマンドが生成されます。

重大度

00

CKR0281 要求に従ってユーザー *identity* を *identity* から削除します - **REMOVE** を出力します (Remove user *identity* from *identity* as requested - output **REMOVE**)

説明

このメッセージは、MOVE USER=, TOGROUP= コマンドが原因で発行されます。応答として、REMOVE コマンドが生成されます。

重大度

00

CKR0282 アクセス不能クラスター (非標識付き、総称なし) *volser datasetname* (Inaccessible cluster (not indicated and no generic) *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、PROTECTALL(FAIL) 環境での VERIFY PROTECTALL コマンドが原因で発行されます。コマンドが生成されません。

重大度

04

CKR0283 要求に従ってユーザー ID *identity* グループ *identity* を削除します - **DELUSER** を出力します (Delete

userid identity group identity as requested - output DELUSER)

説明

このメッセージは、REMOVE USER= コマンドが原因で発行されます。応答として、DELUSER コマンドが生成されます。

重大度

00

CKR0284 深さ *depth* のグループ *identity* を削除します - DELGROUP を出力します (Delete group *identity* of depth *depth* - output DELGROUP)

説明

このメッセージは、REMOVE GROUP= コマンドが原因で発行されます。応答として、示された *depth* を持つ、示されたグループについて、DELGROUP コマンドが生成されます。

重大度

00

CKR0285 通知 *identity* 一般リソース・プロフィール *class key* を *newnotify* に置き換えます (Replace notify *identity* general resource profile *class key* by *newnotify*)

説明

このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための RALTER NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0286 *volser datasetname* 上のクラスター・コンポーネントの VTOC および VVDS 項目がありません (No VTOC and no VVDS entry for cluster component on *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、クラスター・コンポーネントがカタログ項目またはシステム制御ブロックによって参照されているが、VTOC または VVDS 内で見つからなかった場合に発行されます。

重大度

08

CKR0287 *seq* のアーカイブ *volser datasetname* での復元不能データ・セット、標識付き、総称なし (Non-restorable dataset, indic, no generic at archive *volser datasetname* of *seq*)

説明

このメッセージは、DMSFILES データ・セットに含まれる DSNINDEX および RACFENC D レコードに対応するデータ・セット *datasetname* のバージョンが、アーカイブ操作の時点で RACF 標識付きであり、個別プロフィールによって保護されていたが、その個別 RACF プロファイル (エンコードされた名前付き) が RACF データベース内で見つからなくなった場合に発行されます。DMS 資料によると、これは、最初に DSNINDEX レコードを変更しないとデータ・セットを復元できないことを意味します。zSecure Collect を繰り返し実行した後もこのメッセージが発生する場合は、DMS の資料 (RACFCHK1 など) の手順に従って、DMS と RACF 間の関係を調整してください。

重大度

08

CKR0288 *seq* の *volser datasetname* の復元不能データ・セット、RACFENC D レコードが欠落しています (Non-restorable data set, RACFENC D record missing for *volser datasetname* of *seq*)

説明

このメッセージは、DMSFILES データ・セットに含まれる DSNINDEX レコードに対応するデータ・セット *datasetname* のバージョンが、アーカイブ操作の時点で RACF 標識付きであり、個別プロフィールによって保護されていたが、対応する RACFENC D レコードを含んでいない場合に発行されます。DMS 資料によると、これは、最初に DSNINDEX レコードを変更しないとデータ・セットを復元できないことを意味します。zSecure Collect を繰り返し実行した後もこのメッセージが発生する場合は、DMS の資料 (RACFCHK1 など) の手順に従って、DMS と RACF 間の関係を調整してください。

重大度

08

CKR0289 *seq* の *datasetname* の孤立 RACFENC D レコード、DSNINDEX レコードが欠落しています (Orphan RACFENC D record, DSNINDEX

record missing for datasetname of seq)

説明

このメッセージは、DMSFILES データ・セットに含まれる RACFENDC レコードに対応する示されたデータ・セットのバージョンが、対応する DSNINDEX レコードを含んでいない場合に発行されます。これは、現行プログラムでは検査されない「孤立」個別プロファイルに対応している可能性があります。zSecure Collect を繰り返し実行した後もこのメッセージが発生する場合は、DMS の資料 (RACFCHK1 など) の手順に従って、DMS と RACF 間の関係を調整してください。

重大度

08

CKR0290 *seq* のアーカイブ非標識付きデータ・セット *volser datasetname* での個別プロファイル (Discrete profile at archive non indicated data set *volser datasetname* of *seq*)

説明

このメッセージは、DMSFILES データ・セット内の DSNINDEX レコードが、示されたデータ・セットのバージョンが (アーカイブ操作中に) 非標識付きであると同時に個別プロファイルによって保護されていたことを示している場合に発行されます。この矛盾するビット設定は、プログラムによってサポートされません。

重大度

08

CKR0291 *seq* の *volser datasetname* で RACFENDC レコードが見つかりましたが、DSNINDEX 個別フラグがオフです (RACFENDC record found but DSNINDEX discrete flag off *volser datasetname* of *seq*)

説明

このメッセージは、(当初はボリューム *volser* 上にあった) データ・セット *datasetname* のバージョンの DMSFILES データ・セット内で RACFENDC レコードが見つかったが、アーカイブの時点でデータ・セットが個別プロファイルによって保護されていなかったことを示す DSNINDEX レコードもある場合に発行されます。この矛盾するビット設定は、プログラムによってサポートされません。

重大度

08

CKR0292

接続されたカタログがどのボリュームでも見つかりません *datasetname* (Connected catalog not found on any volume *datasetname*)

説明

このメッセージは、システムのマスター・カタログの 1 つに含まれる usercatalog コネクター項目が指すカタログ *datasetname* が見つからなかった場合に発行されます。

重大度

08

CKR0293

ボリュームが *volser datasetname* 上のクラスター・コンポーネントのどのシステムにもマウントされていません (Volume not mounted on any system for cluster comp on *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、カタログまたはシステム制御ブロックが参照する VSAM コンポーネントのボリュームが、どの CKFREEZE ファイル内にも存在しなかった場合に発行されます。

重大度

08

CKR0294

クラスターはカタログされていますが、どのシステム *volser datasetname* 上でも適切なカタログではありません (Cluster cataloged but not in proper ctlg on any system *volser datasetname*)

説明

このメッセージは、このクラスターがカタログ内に存在するが、CKFREEZE が提供されているどのシステム上でも直接アクセスできないために発行されます。これは、マスター・カタログ内に、クラスターの HLQ またはクラスターの DS 名の ALIAS がないためです。これは、これらのシステム上でこのクラスターにアクセスするには、STEPCAT/JOB CAT 割り振りを使用するバッチ・ジョブが必要であることを意味します。ALIAS が正しく定義されている別のシステムからクラスターにアクセスする予定がない場合は、別名を定義するか、クラスターを削除する必要があります。この状態が意図的なものである場合は、SUPPRESS MSG=294 コマンドを使用して、レポートからメッセージを抑制できます。

重大度

04

CKR0295 1つのシステム *volser datasetname* 上に2つのクラスターのコンポーネント部品 (Component part of two clusters on one system *volser datasetname*)

説明

これは、カタログでの保守問題を指します。同じ VSAM コンポーネントが、1つのシステム上の2つの (マスターまたは接続) カタログ内で定義されています。このシステムで正しい定義はどちらか、およびもう1つの定義が別のシステム上で使用されていないかどうかを調査する必要があります。カタログの1つからコンポーネント (またはクラスター全体) をアンカタログして、このエラーを修正できます。

重大度

08

CKR0296 ロード・モジュールのない PROGRAM プロファイルがありますが、情報が欠落しています *complex program Reason (PROGRAM profile w/o load module but info missing complex program Reason)*

説明

このメッセージは、示された PROGRAM プロファイルが複合システム内のシステムからのロード・モジュールをカバーしているように見えないが、それを確認するのに必要な情報が欠落しているために、VERIFY PGMEXIST 機能によって発行されます。このメッセージの後に、1つ以上の Reason 行と、以下の詳細説明のいずれかが示されます。

- **CKFREEZE** 内に、*volser* のないデータ・セット *dsname* を検索するための、すべての **VTOC** がありません。
- **CKFREEZE** 内に、任意のシステムのデータ・セット *dsname* を検査する Mig. カタログがありません。
- マイグレーション済みデータ・セット *syst dsname* で **PDS** ディレクトリーを使用できません。
- **CKFREEZE** 内に、データ・セット *syst volser* を検査する **VTOC** がありません。
- **CKFREEZE** 内に、データ・セット *syst volume dsname* を検査する Mig. カタログがありません。
- マイグレーション済みデータ・セット *syst volume dsname* で **PDS** ディレクトリーを使用できません。
- データ・セット *syst volser dsname* で **CKFREEZE** 内に **PDS** ディレクトリーがありません。

zSecure Admin または Audit for RACF を使用している場合、欠落している VTOC、欠落しているマイグレーション・カタログ、および欠落している PDS ディレクトリー情報について詳しくは、「zSecure CARLa コマン

ド・リファレンス」の VERIFY PGMEXIST, PROGRAMNONEMPTY, PROGRAMNOTEMPTY, PGMNONEMPTY, PGMNOTEMPTY コマンドの資料を参照してください。CKRCMD ファイルが複合システムに割り振られると、PROGRAM プロファイルを削除するためのコメント化された RDELETE コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0297 廃止 PROGRAM、ロード・モジュールがライブラリー内にありません *complex program (Obsolete PROGRAM, load module not in libraries complex program)*

説明

このメッセージは、示された PROGRAM プロファイルが複合システム内のどのシステムからのロード・モジュールもカバーしていないために、VERIFY PGMEXIST 機能によって発行されます。CKRCMD ファイルが複合システムに割り振られると、PROGRAM プロファイルを削除するための RDELETE コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0298 *event* ユーザー *identity - BPX.DEFAULT.USER* 内の OMVS デフォルト UID を定義します - **RALTER** を出力します (*event user identity - defines OMVS default UID in BPX.DEFAULT.USER - output RALTER*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除される *identity* が OMVS デフォルト UID を定義していること、および指定を削除することでエラー状態が解決されることを意味します。デフォルト GID の指定があった場合は、それも削除されます。別個のメッセージは表示されません。削除されるべきでないデフォルト GID 指定があった場合には、エラー状態が解決不能と見なされ、代わりに CKR0262 が発行されたはずです。

重大度

04

CKR0299 *event* グループ *identity - BPX.DEFAULT.USER* 内の OMVS デフォルト GID を定義します -

RALTER を出力します (**event group identity - defines OMVS default GID in BPX.DEFAULT.USER - output RALTER**)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/GROUP コマンドが原因で event が **Remove** になった場合に発

行されます。これは、削除される identity が OMVS デフォルト GID を定義していること、および指定を削除することでエラー状態が解決されることを意味します。これは、デフォルト UID 指定が保持されるべきであることも意味します。そうでない場合は、代わりに CKR0298 が発行されたはずです。

重大度

04

CKR メッセージ 300 から 399

CKR0300 テープ・ボリューム *vvvvvv* は TAPEVOL プロファイル *key1* および *key2* の一部です。複合システム *complex version* (Tape volume *vvvvvv* part of TAPEVOL profile *key1* as well as *key2* complex *complex version*)

説明

このメッセージは、ボリューム通し番号が複数の TAPEVOL プロファイルの一部である場合に発行されます。これは、分割されたデータベースおよび正しくない範囲テーブルを使用して実行した場合に発生することがあります。

重大度

20

CKR0301 *event 許可 identity whenclass whenprofile(1-15) - volume dsname (event permit identity whenclass whenprofile(1-15) - volume dsname)*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で event が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で event が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で event が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、identity が、個別データ・セット・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0302 *event 許可 identity whenclass whenprofile(1-15) データ・セット dsname (event permit identity whenclass whenprofile(1-15) dataset dsname)*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で event が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で event が **Copy** または **Replace** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で event が **Redundant** になった場合に発行されます。これは、identity が、総称データ・セット・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0303 *event 許可 identity whenclass whenprofile(1-15) モデル dsname (event permit identity whenclass whenprofile(1-15) model dsname)*

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で event が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で event が **Copy** または **Replace** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で event が **Redundant** になった場合に発行されます。これは、identity が、モデル・データ・セット・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0304 ボリューム *volser datasetname* のスクラッチ状況に関するテープ情報が矛盾しています (**Tape information inconsistent on scratch status for volume *volser datasetname***)

説明

このメッセージは、*volser* の 1 つのテープ・カタログ項目はこれがスクラッチ・ボリュームであることを示し、もう 1 つの項目はそうでないことを示す場合に発行されます。これはスクラッチ・ボリュームとして扱われます。

重大度

08

CKR0305 カタログ項目がテープ管理システム *volser datasetname* ファイル *seq* と矛盾しています (**Catalog entry conflicts with tape management system *volser datasetname* file *seq***)

説明

このメッセージは、ICF カタログとテープ・カタログが、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。テープ・カタログが正しいと見なされ、ICF カタログ項目は無視されます。

重大度

08

CKR0306 TVTOC 項目がテープ管理システム *volser datasetname* ファイル *seq* と矛盾しています (**TVTOC entry conflicts with tape management system *volser datasetname* file *seq***)

説明

このメッセージは、RACF データベース内の TVTOC 項目とテープ・カタログ項目が、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。テープ・カタログが正しいと見なされ、TVTOC 項目は無視されます。

重大度

08

CKR0307

ファイル *volser datasetname* ファイル *seq* のテープ管理情報が矛盾しています (**Conflicting tape management information for file *volser datasetname* file *seq***)

説明

このメッセージは、2 つのテープ・カタログ項目が、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。

重大度

08

CKR0308 カタログ項目の *fileseq* が他のカタログ項目 *volser datasetname* ファイル *seq* と同じです (**Catalog entry same *fileseq* as other catalog entry *volser datasetname* file *seq***)

説明

このメッセージは、2 つの ICF カタログ項目が、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。

重大度

08

CKR0309 カタログ項目が TVTOC *volser datasetname* ファイル *seq* と矛盾しています (**Catalog entry conflicts with TVTOC *volser datasetname* file *seq***)

説明

このメッセージは、ICF カタログと RACF データベース内の TVTOC 項目が、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。TVTOC が正しいと見なされ、ICF カタログ項目は無視されます。

重大度

08

CKR0310 先行ボリュームのポインターを追加するとループが作成されます。*volser datasetname* は *vol2* に先行します。*source* を読み取っています (**Adding previous volume pointer would create a loop *volser***)

**datasetname previous vol2,
reading source)**

**volume of volser datasetname
previous vol2)**

説明

このメッセージは、*vol2* が *volser* の直接の先行ボリュームとして宣言されたが、*volser* が *vol2* に既に先行している場合に発行されます。*source* は、**TVTOC** (RACF データベースの処理中にエラーが検出されたことを示します) または **CKFREEZE** (ICF およびテープ・カタログの処理中にエラーが検出されたことを示します) のいずれかです。新規リンクは確立されません。すべての TVTOC 項目が最初に処理されます。

重大度

08

CKR0311 テープ管理情報がボリューム・チェーニングに関して矛盾しています *volser datasetname* 先行 *vol2*
(Conflicting tape management info on volume chaining *volser datasetname* previous *vol2*)

説明

このメッセージは、2つのテープ管理カタログ項目が、同じボリューム通し番号に対して異なる先行ボリュームを示す場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。

重大度

08

CKR0312 TVTOC チェーニングがテープ管理システムと矛盾しています *volser datasetname* 先行 *vol2* (TVTOC chaining conflict with tape management system *volser datasetname* previous *vol2*)

説明

このメッセージは、示されたボリューム通し番号の先行ボリュームに関して、RACF データベース内の TVTOC 項目がテープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、TVTOC 項目は無視されます。

重大度

08

CKR0313 カタログ項目が先行ボリュームに関して一致しません *volser datasetname* 先行 *vol2* (Catalog entries disagree on the previous

説明

このメッセージは、2つの ICF カタログ項目が、同じテープ・ボリューム通し番号に対して異なる先行ボリュームを示す場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。*vol2* は無視されたリンクです。

重大度

08

CKR0314 カタログ・ボリューム・チェーニングがテープ管理と矛盾しています、*volser datasetname* 先行 *vol2*
(Catalog vol chaining conflicts with tape management *volser datasetname* previous *vol2*)

説明

このメッセージは、示されたボリューム通し番号の先行ボリュームに関して、ICF カタログ項目がテープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、カタログ項目からの情報は無視されます。

重大度

08

CKR0315 カタログ・ボリューム・チェーニングが TVTOC と矛盾しています *volser datasetname* 先行 *vol2*
(Catalog vol chaining conflicts with TVTOC *volser datasetname* previous *vol2*)

説明

このメッセージは、示されたボリューム通し番号の先行ボリュームに関して、ICF カタログ項目が RACF データベース内の TAPEVOL TVTOC 項目と矛盾する場合に発行されます。TVTOC が正しいと見なされ、カタログ項目からの情報は無視されます。

重大度

08

CKR0316 組み込み ISPF 変数が見つかりません - *name*、*ddname* の行 *number*
(Imbedded ISPF variable not found - *name* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、ISPF 変数に対して INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、暗黙的な関数プール、共有変数プール、またはプロファイル変数プール内に変数が存在しなかったことを示します。

重大度

12

CKR0317 オープンに失敗しました [*type* 異常終了 *rc-rr (interpretation)*]、組み込みファイル *ddname* データ・セット *dsname*、*ddname2* の行 *number* (Open failed [*type* *abend rc-rr (interpretation)*] for imbedded file *ddname* dataset *dsname* at *ddname2* line *number*)

説明

このメッセージは、ファイルに対して INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、そのファイルを開けなかったことを示します。異常終了が発生した場合、異常終了コード、理由コード、および解釈が示されます。ジョブ・ログで追加情報を持つメッセージを確認します。このメッセージに異常終了情報がない場合は、その前の CKR メッセージに障害の理由が示されているはずです。

重大度

12

CKR0318 ICHRIN03 総称項目が最後の項目ではありません、*sys* 項目 "*procname userid grpname*" を無視しました (ICHRIN03 generic entry is not the last one, ignored *sys* entry "*procname userid grpname*")

説明

このメッセージは、示されたシステム *sys* 上の開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 のコンテンツ内のエラーを示します。総称項目は、RACF によって総称項目として処理される最後の項目である必要があります。ICHRIN03 内の総称項目が最後の項目ではない可能性があります。

重大度

08

CKR0319 ICHRIN03 総称項目が任意のユーザーの成りすましを許容します、*sys* 項目 "*procname userid grpname*" (ICHRIN03 generic entry allows masquerading any user *sys* entry "*procname userid grpname*")

説明

このメッセージは、示されたシステム *sys* 上の開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 のコンテンツの望ましくない影響を示します。総称項目は、開始タスク・プロシージャ・ライブラリーまたは JES2 パラメーター・データ・セットへの UPDATE アクセス権を持つユーザーに対して、成りすますユーザー ID と同じ名前を持つプロシージャ・メンバーを作成することで、システム内の任意のユーザーとして成りすますことを許容します。推奨される総称項目の形式は、開始タスクとして実行することを許可されるユーザー ID のみを含むように明確に指定された非ブランクのグループ名を、総称項目に組み込むことです。

重大度

08

CKR0320 オプションは NEWLIST の後でのみ有効です - *option*、*ddname line* (Option only valid behind NEWLIST - *option* at *ddname line*)

説明

このメッセージは、示された *option* が BUNDLE、OPTION、または PRINT コマンド上に組み込まれていたが、このオプションは NEWLIST 上でのみ許可されることを意味します。例は RDS、NONRDS、および RETAIN です。ほとんどの PRINT のオプションは NEWLIST コマンド上でも許可されることに注意してください。

重大度

12

CKR0321 ICHRIN03 未定義ユーザー *id* プロシージャ *procname volume dsn status system subsystem* (ICHRIN03 undefined user *id* procedure *procname volume dsn status system subsystem*)

説明

このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャ *procname* で、開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャ・ライブラリー内の示されたプロシージャは、RACF データベース内で定義されていないユーザー ID にマップされています。そのため、プロシージャは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャ・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファ

イルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度

08

CKR0322 **ICHRIN03 未定義グループ *id* プロシージャー *procname* volume dsn status system subsystem (ICHRIN03 undefined group *id* procedure *procname* volume dsn status system subsystem)**

説明

このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャー *procname* で、開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャー・ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内で定義されていない接続グループにマップされています。そのため、プロシージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度

08

CKR0323 **ICHRIN03 *uid* から グループ *id* への接続がありません、プロシージャー *procname* volume dsn status system subsystem (ICHRIN03 no connect *uid* to group *id* proc *procname* volume dsn status system subsystem)**

説明

このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャー *procname* で、開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャー・ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内で接続が定義されていないユーザー ID/グループの組み合わせにマップされています。そのため、プロシージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ライブラリーが示

されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度

08

CKR0324 **ICHRIN03 はグループ *id* をユーザーとして含みます - *procname* volume dsn status system subsystem (ICHRIN03 contains group *id* as user - *procname* volume dsn status system subsystem)**

説明

このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャー *procname* で、開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャー・ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内でユーザーとしてではなくグループとして定義されているユーザー ID にマップされています。そのため、プロシージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度

08

CKR0325 **ICHRIN03 はユーザー ID *id* をグループとして含みます - *procname* volume dsn status system subsystem (ICHRIN03 contains userid *id* as group - *procname* volume dsn status system subsystem)**

説明

このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャー *procname* で、開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャー・ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内でグループとしてではなくユーザーとして定義されているグループ名にマップされています。そのため、プロシージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー

"*" で実行されます。status が **fallbk** である場合、示されたプロシージャでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャ・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度

08

CKR0326 開始タスクはデフォルト権限を使用して実行されます *procname volume dsn status system subsystem (Started task runs with default authority procname volume dsn status system subsystem)*

説明

status が **system** である場合、このメッセージは、サブシステム *subsystem* のプロシージャ *procname* に対してシステム *system* 上でデフォルト RACF ユーザー (USER=*) を使用して実行される開始タスクを識別します。これは正しい操作であることがあります (タスクが、アクセスされるデータ・セットの UACC よりも上位のアクセス権を必要としない場合)。その一方で、この権限を使用して (必要な権限なしで) 開始された場合に失敗する多数のプロシージャが識別されることがよくあります。status が **fallbk** である場合、示されたプロシージャでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャ・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。後者に該当する潜在的な問題に関心がない場合は、SUPPRESS FALLBACK をコマンド入力に追加します。デフォルトのユーザー ID に関するすべてのメッセージを抑止するには、SUPPRESS ID=* (ICHRIN03 の場合) および SUPPRESS ID=+++++++ (STARTED クラスの場合) をコマンド入力に追加します。このメッセージのみを抑止するには、SUPPRESS MSG=326 をコマンド入力に追加します。

重大度

00

CKR0327 *sys ICHRIN03* 項目が未使用です (subsys に該当プロシージャなし) *procname (sys ICHRIN03 entry unused (subsys no proc) procname)*

説明

このメッセージは、開始済みプロシージャ・テーブル ICHRIN03 と、アクティブ・プロシージャ・ライブラリーが一致しないことを示します。ICHRIN03 内の示されたプロシージャ名は、システム内の開始タスクで使用される MSTR および JES2 プロシージャ・ライブラリー内のどのプロシージャもカバーしません。注: このメッセージは、無許可ライブラリーからの zSecure Collect を実行して生成された CKFREEZE ファイルが使用されている場合にも発行されることがあります。zSecure Collect が APF 許可プログラムとして実行される場合、クロスメモリー機能を使用して、STCPROC (または STCPROC がない場合は PROC00) に割り振られるデータ・セットを検出します。その後、これらの各 proclib の PDS ディレクトリーを読み取ります。無許可の実行で PDS データ・セットのディレクトリーをダンプするように zSecure Collect に指示するのでは不十分であることに注意してください。これらのデータ・セットは proclib として認識されないからです。

重大度

08

CKR0328 廃止許可 *identity* 不明なプログラム *program* - モデル *datasetprofile* 内 (Obsolete permit *identity unknown program program* - in model *datasetprofile*)

説明

このメッセージは、RACF が基本プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0329 廃止許可 *identity* 不明なプログラム *program* 総称 *datasetprofile* (Obsolete permit *identity unknown program program genericdatasetprofile*)

説明

このメッセージは、RACF が基本プログラム・セキュリティ・モード (RACF z/OS 1.4 より前のリリース、または以降の RACF リリースで明示的に定義) で稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存

在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0330 オープンに失敗しました [*type* 異常終了 *rc-rr (interpretation)*], 組み込みメンバー *member*、ファイル *ddname* データ・セット *dsname*、*ddname2* の行 *number (Open failed [type abend rc-rr (interpretation)] for imbedded member member of file ddname dataset dsname at ddname2 line number)*

説明

このメッセージは、メンバーに対して INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、ファイルに割り振られたデータ・セットでそのメンバーを開けなかったことを示します。異常終了が発生した場合、異常終了コード、理由コード、および解釈が示されます。ジョブ・ログで追加情報を持つメッセージを確認します。このメッセージに異常終了情報がない場合は、その前の CKR メッセージに障害の理由が示されているはずです。

重大度

12

CKR0331 STC デフォルト権限 - *procname* はグループ *procname volume dsn* システム *system subsystem* です (STC default authority - *procname* is a group *procname volume dsn system system subsystem*)

説明

このメッセージは、開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 内の総称項目と、システム *system* 上の RACF データベースの間で、サブシステム *subsystem* 内の特定のプロシージャ・ライブラリー・メンバー *procname* が一致しないことを示します。示されたプロシージャ・ライブラリー内の示されたプロシージャは、RACF データベース内でユーザーとしてではなくグループとして定義されているユーザー ID にマップされています。そのため、プロシージャは、開始時に未定義 RACF ユーザー "*" を割り当てられます。

重大度

08

CKR0332 STC は *user* の *group* への接続を取り消しました - *procname volume dsn status system subsystem (STC revoked connect user to group -*

procname volume dsn status system subsystem)

説明

status が **system** である場合、このメッセージは、システム *system* 上の開始できないプロシージャを示します。ボリューム *volume* 上の示されたプロシージャ・ライブラリー *dsn* 内のサブシステム *subsystem* のプロシージャ *procname* は、RACF データベース内で接続が定義されているユーザー ID/グループの組み合わせにマップされていますが、接続が取り消されました。したがって、プロシージャは開始できません。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャでは同じ問題が発生しますが、現在は使用されていません。プロシージャ・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度

08

CKR0333 開始タスク・ユーザー ID *userid* プロシージャ *procname volume dsn status system subsystem* を取り消しました (Revoked started task *uid userid procedure procname volume dsn status system subsystem*)

説明

status が **system** である場合、このメッセージは、システム *system* 上の開始できないプロシージャを示します。ボリューム *volume* 上の示されたプロシージャ・ライブラリー *dsn* 内のサブシステム *subsystem* のプロシージャ *procname* は、RACF データベース内で定義されているユーザー ID にマップされていますが、ユーザー ID が取り消されました。したがって、プロシージャは開始できません。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャでは同じ問題が発生しますが、現在は使用されていません。プロシージャ・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度

08

CKR0334 プロシージャ *procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して JCL メンバーが非表示です (重複) (JCL member hidden (duplicate) for procedure

**procname volume dsn system
system subsystem)**

説明

このメッセージは、開始できないプロシージャ・メンバーを示します。ボリューム *volume* 上の示されたプロシージャ・ライブラリー *dsn* 内のサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* は、連結の一部であるため、開始できません。連結内でその前にあるライブラリーで、同じメンバーが定義されています。したがって、この JCL メンバーは開始できません。

重大度

00

CKR0335 *id1* を *id2* にコピー、個別リソース *class key* が追加されます (Copy *id1* to *id2* adds discrete resource *class key*)

説明

このメッセージは、*id1* 用の類似した既存のプロファイルを模倣して、*id2* に固有の個別一般リソース・プロファイルを追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

04

CKR0336 *id1* を *id2* にコピー、総称リソース *class key* が追加されます (Copy *id1* to *id2* adds generic resource *class key*)

説明

このメッセージは、*id1* 用の類似した既存のプロファイルを模倣して、*id2* に固有の総称一般リソース・プロファイルを追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

04

CKR0337 *id1* を *id2* にコピー、総称 DATASET プロファイル *dsn* が追加されます (Copy *id1* to *id2* adds generic DATASET profile *dsn*)

説明

このメッセージは、*id1* 用の類似した既存のプロファイルを模倣して、*id2* に固有の総称データ・セット・プロファイルを追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に

生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

04

CKR0338 *id1* を *id2* にコピー、モデル DATASET プロファイル *dsn* が追加されます (Copy *id1* to *id2* adds model DATASET profile *dsn*)

説明

このメッセージは、*id1* 用の類似した既存のプロファイルを模倣して、*id2* に固有のモデル・データ・セット・プロファイルを追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

04

CKR0339 新規総称 DATASET プロファイル *dsn* の所有者 *id1* を置き換えます - *id2* を作成します (Replace owner *id1* of new generic DATASET profile *dsn* - make *id2*)

説明

このメッセージは、*id2* に固有の総称データ・セット・プロファイルの所有者を *id1* から *id2* に変更するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

04

CKR0340 新規モデル DATASET プロファイル *dsn* の所有者 *id1* を置き換えます - *id2* を作成します (Replace owner *id1* of new model DATASET profile *dsn* - make *id2*)

説明

このメッセージは、*id2* に固有のモデル・データ・セット・プロファイルの所有者を *id1* から *id2* に変更するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

04

CKR0341 テープ DATASET プロファイル *volser dsn* の *id* のコピーはサポートされません (Unsupported copy *id* for tape DATASET profile *volser dsn*)

説明

このメッセージは、ユーザー固有またはグループ固有の個別プロファイルのコピーするコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されなかったことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

08

CKR0342 非 VSAM DATASET プロファイル *volser dsn* の *id* のコピーはサポートされません (Unsupported copy *id* non-VSAM DATASET profile *volser dsn*)

説明

このメッセージは、ユーザー固有またはグループ固有の個別プロファイルのコピーするコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されなかったことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。COPY が名前変更操作の準備として発行された場合、データ・セットの RENAME は、個別プロファイルの名前変更を自動的に実行します。

重大度

08

CKR0343 VSAM DATASET プロファイル *volser dsn* の *id* のコピーはサポートされません (Unsupported copy *id* for VSAM DATASET profile *volser dsn*)

説明

このメッセージは、ユーザー固有またはグループ固有の個別プロファイルのコピーするコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されなかったことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。COPY が名前変更操作の準備として発行された場合、データ・セットの RENAME は、個別プロファイルの名前変更を自動的に実行します。

重大度

08

CKR0344 プロファイル *class key* のメンバーの *id* のコピーはサポートされません

(Unsupported copy *id* for member of profile *class key*)

説明

このメッセージは、示されたプロファイルのメンバー・リスト内のユーザー固有項目の関数をコピーするコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されなかったことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

08

CKR0345 コマンド入力で暗黙指定されたグループはユーザーです - *id* (Group implied in command input is a user - *id*)

説明

このメッセージは、ID *id* がグループであることを暗黙指定するコマンドが指定されたことを示します。しかし、*id* は、RACF データベース内でユーザー ID として定義されています。ほとんどのコマンドは、これ以上処理されません。

重大度

12

CKR0346 コマンド入力で暗黙指定されたユーザーはグループです - *id* (User implied in command input is a group - *id*)

説明

このメッセージは、ID *id* がユーザー ID であることを暗黙指定するコマンドが指定されたことを示します。しかし、*id* は、RACF データベース内でグループとして定義されています。ほとんどのコマンドは、これ以上処理されません。

重大度

12

CKR0347 *event* 所有者 *id1* を *id2* にリソース *class key* 内で置き換えます (*event* owner *id1* by *id2* in resource *class key*)

説明

このメッセージは、*id2* に固有の一般リソース・プロファイルの所有者を *id1* から *id2* に変更するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度

04

CKR0348 *parameter* は TOUSER の後にある
必要があります (*parameter must
come behind TOUSER*)

説明

COPY または MOVE コマンド上のパラメーターの順序が無効です。示されたパラメーターは、TOUSER パラメーターの後でのみ有効です。

重大度

12

CKR0349 *parameter* は COPY の後でのみ有効
です (*parameter only valid behind
COPY*)

説明

このパラメーターは、現行の MOVE または REMOVE コマンド上では無効であり、COPY コマンド上でのみ有効です。

重大度

12

CKR0350 複合システム *complex [version]* 上
で処理された許可/参照の数は
number です (*Number of permits/
references processed on complex
[version] is number*)

説明

このメッセージは、ユーザーおよびグループに対する許可およびその他の参照が処理された数を示します。これは、ご使用のデータベースおよび処理された IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF コマンドの複雑度の測定のために使用できます。

重大度

00

CKR0351 *event* グループ *name* 上の所有者
identity - name を作成します (*event
owner identity on group name -
make name*)

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。所有者および上位グループ・フィールドは両

方とも、ALG コマンドによって、示されたグループに変更されます。

重大度

04

CKR0352 要求に従ってユーザー *id1* をグルー
プ *id2* に追加します - **ADDUSER** を
出力します (**Add user *id1* to group
id2 as requested - output
ADDUSER**)

説明

このメッセージは、ユーザー ID *id1* をそのデフォルト・グループとなるグループ *id2* に追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY USER= コマンドの結果として発行されます。

重大度

00

CKR0353 要求に従ってグループ *id1* をグルー
プ *id2* に深さ *depth* で追加します -
ADDGROUP を出力します (**Add
group *id1* to group *id2* at depth
depth as requested - output
ADDGROUP**)

説明

このメッセージは、グループ *id1* を *id2* のサブグループとして追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY USER= コマンドの結果として発行されます。

重大度

00

CKR0354 *parameter* は USER= または COPY
PERMIT/GROUP= の後でのみ有効
です (*parameter only valid behind
USER= or COPY PERMIT/GROUP=*)

説明

このパラメーターは現行の MOVE または REMOVE コマンド上では無効であるか、あるいはパラメーターの順序が無効です。

重大度

12

CKR0355 **PERMIT/USER/GROUP/NOTIFY**
は、コマンドごとに 1 回出現できる
相互に排他的なオペランドです

(PERMIT/USER/GROUP/NOTIFY are mutually exclusive operands that can occur once per command)

説明

示されたオペランドは、MOVE、REMOVE、または COPY コマンドごとに 1 つのみ許可されます。

重大度

12

CKR0356 要求によってすべての接続が省略されるため、要求されたユーザー *userid* を追加しません - **TOGROUP** を指定してください (Not adding user *userid* as requested because all connects omitted by request - specify **TOGROUP**)

説明

このメッセージは、ユーザー *userid* に対して COPY 要求が指定されたが、要求によって (例えば、FROMGROUP パラメーターまたは SELECT コマンドを使用して) すべての接続が省略されるため、ユーザーを追加できなかったことを示します。ユーザー ID を追加するには、少なくとも 1 つの接続グループが必要です。

重大度

12

CKR0357 プロシージャ名はユーザー ID ではありません - デフォルトを使用します *procname volume dsn* システム *system subsystem* (Procedure name not a userid - uses default *procname volume dsn system system subsystem*)

説明

このメッセージは、ボリューム *volume* 上のデータ・セット *dsn* にある JCL を持つシステム *system* 上のサブシステム *subsystem* の開始プロシージャ *procname* に関するものです。このメッセージは、総称項目 "*" を通じて開始プロシージャ・テーブル内で暗黙指定されたユーザー ID が、システム *system* 上の RACF データベース内で定義されていないため、デフォルト RACF ユーザー (USER=*) を使用して実行される開始タスクを識別します。これは正しい操作であることがあります (タスクが、アクセスされるデータ・セットの UACC よりも上位のアクセス権を必要としない場合)。その一方で、この権限を使用して (必要な権限なしで) 開始された場合に失敗する多数のプロシージャが識別されることがよくあります。デフォルトのユーザー ID に関するすべてのメッセージを抑制するには、SUPPRESS ID=* (ICHRIN03 の場合) および SUPPRESS

ID=+++++++ (STARTED クラスの場合) をコマンド入力に追加します。このメッセージのみを抑制するには、SUPPRESS MSG=357 をコマンド入力に追加します。

重大度

00

CKR0358 **ICHRIN03** 総称項目は特権ありです *sys* 項目 "*procname userid grpname*" (ICHRIN03 generic entry is privileged *sys* Entry "*procname userid grpname*")

説明

このメッセージは、示されたシステム *sys* 上の開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 の機能が望ましくないことを示します。総称項目には特権属性があり、プロシージャ・ライブラリーに新規に追加されたすべての開始タスクの実行時に、アクセス制御決定を監査なしでバイパスできます。通常、この属性は、いくつかの選択されたタスクでのみ必要とされる属性であり、ほとんどすべての開始タスクで必要とされる属性ではありません。

重大度

08

CKR0359 **ICHRIN03** 総称項目はトラステッドです *sys* 項目 "*procname userid grpname*" (ICHRIN03 generic entry is trusted *sys* Entry "*procname userid grpname*")

説明

このメッセージは、示されたシステム *sys* 上の開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 の機能が望ましくないことを示します。総称項目にはトラステッド属性があり、プロシージャ・ライブラリーに新規に追加されたすべての開始タスクの実行時に、アクセス制御決定をバイパスできます。通常、この属性は、いくつかの選択されたタスクでのみ必要とされる属性であり、ほとんどすべての開始タスクで必要とされる属性ではありません。

重大度

08

CKR0360 **GROUP** は **MOVE** の後では無効です (GROUP invalid behind MOVE)

説明

このパラメーターは、MOVE コマンド上では無効です。ユーザーを移動するか、許可または通知を置き換えるには、USER、PERMIT、または NOTIFY を使用します。

重大度

12

CKR0361 MOVE USER/PERMIT では TOGROUP が必要です (TOGROUP required with MOVE USER/PERMIT)

説明

パラメーター TOGROUP が、MOVE コマンドから欠落しています。ユーザーを移動する先のグループを指定するには、このパラメーターを使用します。

重大度

12

CKR0362 ユーザー ID *userid* の削除は要求されていませんが、すべての接続の削除が暗黙指定されています (Delete of *userid* *userid* not requested, but removal of all connects implied)

説明

ユーザー ID およびグループの REMOVE または MOVE コマンドの結果として、示されたユーザー ID のすべての接続が削除されます。しかし、このユーザー ID の REMOVE は要求されませんでした。ユーザー ID は、生成されたコマンドによって削除されません。ユーザーの TOGROUP を指定するか、ユーザーの REMOVE を追加するか、現行コマンドを変更することができます。ISPF インターフェースを使用して実行するときに、'Delete all USERS connected to GROUP' オプションを使用することもできます。

重大度

12

CKR0363 *parameter* は PERMIT= の後でのみ有効です (*parameter* only valid behind PERMIT=)

説明

示されたパラメーターは現行コマンド上では無効であるか、あるいはパラメーターの順序が正しくありません。

重大度

12

CKR0364 セキュリティ・レベル *nn* の名前が重複しています。"*name1*" および "*name2*"、複合システム *complex version* (Duplicate name for

security level *nn* "*name1*" and "*name2*" complex *complex version*)

説明

セキュリティ・レベルの名前を定義するクラス SECDATA 内の SECLEVEL プロファイルのメンバー・リストに、同じレベルに対する複数の名前が含まれています。これは、データベースに複数の SECLEVEL プロファイルがある場合に発生することがあります。

重大度

20

CKR0365 複合システム *complex version* 内でセキュリティ・カテゴリ *nn* の名前が重複しています。"*name1*" および "*name2*" (Duplicate name for security category *nn* "*name1*" and "*name2*" in *complex complex version*)

説明

セキュリティ・カテゴリの名前を定義するクラス SECDATA 内の CATEGORY プロファイルのメンバー・リストに、カテゴリの同じ内部表現に対する複数の名前が含まれています。これは、データベースに複数の CATEGORY プロファイルがある場合に発生することがあります。

重大度

20

CKR0366 以下のプロファイルにはデータ・ルールが指定されていません - 現在の設定が使用されます: (The following profiles have no data rule specified - current settings used:)

説明

このメッセージは、コロンの後に続くプロファイルがソースと現行データベースの両方に存在し、それらに含まれているデータが異なることを示します。しかし、データ・ポリシーを規定するマージ規則が見つかりませんでした。

重大度

08

CKR0367 以下のプロファイルには権限ルールが指定されていません - ソースの設定が使用されます: (The following profiles have no auth rule specified - source settings used:)

説明

このメッセージは、コロンの後に続くプロファイルがソースと現行データベースの両方に存在し、それらに含まれているセキュリティー関連データが異なることを示します。しかし、権限ポリシーを規定するマージ規則が見つかりませんでした。

重大度

08

CKR0368 以下のユーザーには権限ルールが指定されていません - 取り消し状況は予測不能です: (The following users have no auth rule specified - revoke status unpredictable)

説明

このメッセージは、コロンの後に続くプロファイルがソースと現行データベースの両方に存在し、それらに含まれているセキュリティー関連データが異なることを示します。しかし、権限ポリシーを規定するマージ規則が見つかりませんでした。

重大度

08

CKR0369 *number* 個のログオン ID レコードが読み取られました (complex [version]) (number logonid records read for complex [version])

説明

このメッセージは、ACF2 ログオン ID データベースでのみ発行され、読み取られたレコードの数を示します。

重大度

00

CKR0370 *field* への間接フィールド参照はサポートされません、*ddname* の行 *number* (Indirect field reference to *field* is not supported at *ddname* line number)

説明

示された間接参照 *from:field* はサポートされません。

重大度

12

CKR0371 : 演算子によるフィールド参照は LIST コマンドでは無効です、SORTLIST/DISPLAY を使用してく

ださい - *type "value"*、*ddname* の行 *number* (Field reference by : operator invalid on LIST command, use SORTLIST/DISPLAY - *type "value"* at *ddname* line number)

説明

NEWLIST TYPE=RACF 内で、間接フィールド参照 *from:field* は、SORTLIST および DISPLAY コマンドでのみ有効であり、LIST コマンドでは無効です。

重大度

12

CKR0372 フォーマット SECLEVEL および CATEGORY は LIST コマンドでは無効です、SORTLIST を使用してください - *type "value"*、*ddname* の行 *number* (Formats SECLEVEL and CATEGORY invalid on LIST command, use SORTLIST - *type "value"* at *ddname* line number)

説明

セキュリティー・レベルまたはカテゴリーのフォーマットは、SORTLIST および DISPLAY コマンドでのみ有効であり、LIST コマンドでは無効です。

重大度

12

CKR0373 スキャン演算子: は "=" または "<>" がある場合にのみ有効です - *ddname* の行 *number* の *delimiter "value"* の前 (Scan operator : only valid with "=" or "<>" - before *delimiter "value"* at *ddname* line number)

説明

フィールド値スキャン演算子: は、フィールド値コンパレーターが等号または不等号を示す場合にのみ有効です。

重大度

12

CKR0374 スtring・タイプ *t* のフィールド・スキャンはサポートされません (Field scan for string type *t* is not supported)

説明

文字ストリングのみをスキャンできます。

重大度

12

CKR0375 フィールド *name* 値 "*value*" の選択の変換エラー、*ddname* の行 *number* (Conversion error for selection of field *name* value "*value*" at *ddname* line *number*)

説明

示された値は、フィールド *name* で必要な内部フォーマットに変換できませんでした。

重大度

12

CKR0376 フィールド *name* で修飾子 *modifier* が無効です、*ddname* の行 *number* (Modifier *modifier* invalid for field *name* at *ddname* line *number*)

説明

出力修飾子 (例えば、EXPLODE または SCOPE) は、フィールド *name* または出力フォーマットでは使用できません。

重大度

12

CKR0377 TTR 変換ルーチンが *ddname volser dsname* の *track Rn* で失敗しました (TTR Conversion routine fails on *track Rn* for *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、EXCP モード処理中の失敗を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

このメッセージは、コマンド BDAMQSAM を入力に追加することにより回避できます。

重大度

20

CKR0378 PROFLIST は、以前に定義された NEWLIST NAME= パラメーターを参

照する必要があります (PROFLIST must refer to a previously defined NEWLIST NAME= parameter)

説明

PROFLIST は、先行する NEWLIST の名前をその値として受け入れます。渡された値は、NEWLIST の NAME として定義されていませんでした。

重大度

12

CKR0379 *option* は NEWLIST コマンドの有効範囲内でのみ有効です (*option only valid in scope of a NEWLIST command*)

説明

示されたオプションは、NEWLIST に続くコマンドでのみ指定できます。

重大度

12

CKR0380 ユーザー *userid* のアクションが要求されましたが、ユーザー ID が定義されていません (Action for user *userid* requested, but *userid* not defined)

説明

ユーザーが存在しないため、示されたユーザーの REMOVE、MOVE、または COPY コマンドを正常に完了できません。タイプ入力エラーまたはデータベースの一部を除外する SELECT ステートメントがないかどうかを確認してください。

重大度

12

CKR0381 グループ *grpid* のアクションが要求されましたが、グループが定義されていません (Action for group *grpid* requested, but group not defined)

説明

グループが存在しないため、示されたグループの REMOVE または COPY コマンドを正常に完了できません。タイプ入力エラーまたはデータベースの一部を除外する SELECT ステートメントがないかどうかを確認してください。

重大度

12

CKR0382 *name* フィールドは **LIST** コマンドでは無効です、**SORTLIST** を使用してください - *ddname* の行 *number* (*name field invalid on LIST command, use SORTLIST - at ddname line number*)

説明

フィールド *name* は、**SORTLIST** および **DISPLAY** コマンドでのみ有効であり、**LIST** コマンドでは無効です。

重大度

12

CKR0383 複合システム *complex [version]* の **RACF** データベースをユーザー **ID** *userid* なしで処理するには、非 **PADS** アクセス権が必要です (**Non-PADS access required to process RACF database of complex complex [version] without your userid userid**)

説明

制限アクセス・モードの場合、処理するセキュリティ・データベースに、現行システム上のユーザー ID と同じユーザー ID が含まれている必要があります。示された複合システムのセキュリティ・データベース内で、そのようなユーザー ID が見つかりませんでした。実行は終了します。

重大度

12

CKR0383 複合システム *complex [version]* の **ACF2** データベースをログオン **ID** *logonid* なしで処理するには、無制限アクセス権が必要です (**Unrestricted access required to process ACF2 database of complex complex [version] without your logonid**)

説明

制限アクセス・モードの場合、処理するセキュリティ・データベースに、現行システム上のログオン ID と同じログオン ID が含まれている必要があります。示された複合システムのセキュリティ・データベース内で、そのようなログオン ID が見つかりませんでした。実行は終了します。

重大度

12

CKR0384 制限フィールド *field* にアクセスするには、非 **PADS** 実行が必要です (**Non-PADS run required to access restricted field field**)

説明

このメッセージは、プログラムが制限モードまたは **PADS** モードで作動しているため、通常は **RACF** コマンドによって表示できないフィールドへのアクセスを要求できないことを示します。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ただし、**ALLOWRESTRICT** 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合を除きます。後者の場合は、示されたフィールドに対して出力が生成されないことを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。

重大度

04 または 12

CKR0385 *event* メンバー *resource(1-33) class profile (event member resource(1-33) class profile)*

説明

このメッセージは、**VERIFY PERMIT** コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、**REMOVE PERMIT/USER/ GROUP** コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、**COPY PERMIT/USER/ GROUP** コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、ID が、グループ化クラス内の一般リソース・プロファイルの個別メンバー内で見つかったことを示します。メンバー・リソース名の最初の 33 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、**RALT DELMEM(...)** コマンドまたは **RALT ADDMEM(...)** コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0386 *event* メンバー *resource(1-33) class profile (event member resource(1-33) class profile)*

説明

このメッセージは、**VERIFY PERMIT** コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、**REMOVE PERMIT/USER/ GROUP** コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、**COPY PERMIT/USER/ GROUP** コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、ID が、グループ化クラス内の一般リソース・プロファイルの総称メンバー内で見つかったことを示

します。メンバー・リソース名の最初の 33 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、RALT DELMEM(...()) コマンドまたは RALT ADDMEM(...()) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0387 *event* メンバー *resource(1-33)*
**GLOBAL DATASET (*event* member
resource(1-33) GLOBAL DATASET)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/ GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、ID が、GLOBAL DATASET プロファイルのメンバーとして存在するデータ・セット名内で見つかったことを示します。メンバー・リソース名の最初の 33 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、RALT DELMEM(...()) コマンドまたは RALT ADDMEM(...()) コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0388 **ISPLINK** モジュールが欠落していません、変数が使用できません - *varname*、*ddname* の行 *number* (**ISPLINK** module missing, variable not available - *varname* at *ddname* line *number*)

説明

IMBED または INCLUDE ステートメントが ISPF 変数からの入力を要求しましたが、ISPF インターフェイス・モジュール ISPLINK が見つかりませんでした。

重大度

12

CKR0389 **ISPLINK** モジュールが欠落していません、ISPF 機能を実行できません (**ISPLINK** module missing, no ISPF functions possible)

説明

コマンドが ISPF 機能を要求しましたが、ISPF インターフェイス・モジュール ISPLINK が見つかりませんでした。BLDL にも見つからず、CKRCARLA ロード・モジュールにもリンクされていません。

重大度

12

CKR0390 アクティブな ISPF 環境がありません、ISPF 機能は実行できません (No active ISPF environment, no ISPF functions possible)

説明

コマンドが ISPF 機能を要求しましたが、ISPLINK 戻りコードは、ISPF コマンドを実行できないことを示しています。

重大度

12

CKR0391 重複する **NEWLIST** NAME=*name*、*ddname* の行 *number*、*ddname2* の行 *number2* で既に定義されています (**Duplicate NEWLIST** NAME=*name* at *ddname* line *number*, already defined at *ddname2* line *number2*)

説明

2 つの NEWLIST が同じ NAME=*name* パラメーターを持っています。これは許可されません。

重大度

12

CKR0392 **NEWLIST** の有効範囲内の **UNLOAD** では、**DDNAME** パラメーターが必要です (**DDNAME** parameter required on **UNLOAD** in the scope of a **NEWLIST**)

説明

UNLOAD コマンドが NEWLIST コマンドの有効範囲内で使用される場合、出力ファイルは、DDNAME= パラメーターまたはそれと同等の (DD=、FILE=、F=) を使用して指定する必要があります。

重大度

12

CKR0393 **DEBUG** オプションが無効です - *option* (Invalid **DEBUG** option - *option*)

説明

無効な **DEBUG** オプションが使用されました。

重大度

12

CKR0394 1つのサブシステム内で16個を超えるSMF出口はサポートされません - システム *system-name* (More than 16 SMF exits per subsystem not supported - system *system-name*)

説明

システム *system-name* には、1つ以上のSMFサブシステム内で16個を超えるSMF出口があります。これはMVSおよびzSecureの現行バージョンではサポートされません。

重大度

16

CKR0395 修飾子 WRAP を *format* フォーマットと組み合わせることはできません - フィールド *name*、*ddname* の行 *number* (Modifier WRAP cannot be combined with the *format* *format* - field *name* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、WRAP または WORDWRAP の使用でのエラーを示します。これらの出力修飾子は、示された出力フォーマットの列では使用できません。

重大度

12

CKR0396 総数 *nn* 個の項目を含む *nn* 個のルール・レコードが読み取られました (*complex* [*version*]) (*nn* rule records containing a total of *nn* entries read for *complex* [*version*])

説明

このメッセージは、ACF2 ルール・データベースでのみ発行され、読み取られたレコードの数およびそれらのレコード内に存在したルール行の総数を示します。

重大度

00

CKR0397 フィールド *name* (長さ *field-length*) が、行の長さ *line-length* に合わせて

new-length に切り捨てられました、*ddname* の行 *number* (Field *name* of length *field-length* truncated to *new-length* to fit in line length *line-length* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、フィールド *name* が出力行に入りきらなかったため、行の長さに合わせて切り捨てられたことを示します。これはエラー状態を示すものではありません。

重大度

00

CKR0398 *type* "value" の前で、マージされた NEWLISTS の最大数 255 を超えています、*ddname* の行 *number* (Maximum of 255 merged NEWLISTSs exceeded before *type* "value" at *ddname* line *number*)

説明

MERGEST と ENDMERGE のペアの間の NEWLIST ステートメントの数が 255 を超えています。NEWLIST の数を少なくするか、レポートをいくつかの MERGEST/ENDMERGE ペアに分割してください。

重大度

12

CKR0399 SUMMARY は、NEWLIST 本体の最後のコマンドである必要があり、NEWLIST ごとに1つのみ許可されます (SUMMARY must be the last command in a NEWLIST body, only one per NEWLIST)

説明

このメッセージは、同じ NEWLIST 内で SUMMARY または DSUMMARY コマンドの後に、LIST ファミリーからの別のコマンドがあったことを示します。これは許可されません。

重大度

12

CKR メッセージ 400 から 499

CKR0400 **AND** では前の文節が必要です。
(**AND requires prior clause**)

説明

入力データで構文エラーが検出されました。プログラムでは、SELECT または EXCLUDE コマンドの AND/OR リストで AND が検出されましたが、前の文節がないと判断されています。

重大度

12

CKR0401 **OR** では前の文節が必要です。(OR
requires prior clause)

説明

入力データで構文エラーが検出されました。プログラムでは、SELECT または EXCLUDE コマンドの AND/OR リストで OR が検出されましたが、前の文節がないと判断されています。

重大度

12

CKR0402 **NOT** 節には *type* 「*value*」ではなく
括弧が必要です。 *ddname*、行
number。(NOT clause expects
parentheses instead of *type*
"value" at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、プログラムが SELECT または EXCLUDE コマンドで前のトークンを NOT と解釈し、節を括弧で囲む必要があることを示します。

重大度

12

CKR0403 **LIKELIST** は、前に定義されている
NEWLIST type=type NAME= パラメ
ーターを参照する必要があります。
(**LIKELIST must refer to a
previously defined NEWLIST
type=type NAME= parameter**)

説明

このメッセージは、同じタイプ (*type* で示されているタイプ) の既存の NEWLIST 名を参照していない LIKELIST が使用されたことを示します。LIKELIST ターゲットは、入力データで前に指定された、同じタイプの NEWLIST の名前である必要があります。参照され

ている NEWLIST 内に、LIST、SORTLIST/DISPLAY、または (D)SUMMARY コマンドが必要です。このメッセージを抑止すると、先行する NEWLIST を参照していないすべての LIKELIST 節は、すべてのレコードを選択します。

重大度

12

CKR0404 *value* ではなく有効な年の値が必要
です。(Expected valid year value
instead of *value*)

説明

このメッセージは、範囲外の SELECT または EXCLUDE コマンドの YEAR キーワードの値を指定したことを示します。有効な年の値は、0 から 99 (暗黙的に 1900 が加算される) の範囲か、1900 以上の値です。

重大度

12

CKR0405 *type* での範囲エラー (Range error
in *type*)

説明

このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドで、無効な *type* の範囲 (コロンで区切った 2 つの値) を指定したことを示します。範囲の開始値は、終了値以下である必要があります。唯一の例外は、曜日の範囲です。曜日の範囲では、開始値と終了値が異なる値である必要があります (曜日の範囲ではラップアラウンドを処理できます)。

重大度

12

CKR0406 ストリング *source - string* の変換中
のエラー (Error during conversion
of string *source - string*)

説明

このメッセージは、ストリング *string* を、16 進数、10 進数、または 2 進数から変換する際にエラーが発生したことを示します。指定した変換タイプで無効な文字が *string* に含まれているかどうかを確認してください。

重大度

12

CKR0407 *value* ではなく有効な日付の値が必要です。(Expected valid monthday value instead of *value*)

説明

このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドで MONTHDAY キーワードの範囲外の値を指定したことを示します。有効な日付値は、1 から 31 の範囲です。

重大度

12

CKR0408 不明なイベント名 *name* (Unknown event name *name*)

説明

このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドで EVENT キーワードの不明なイベント名を指定したことを示します。名前イベントを指定するか、イベント番号を使用してください。

重大度

12

CKR0409 サブストリング選択は、=、<>、および != でのみ許可されます (Substring selection only allowed with =, <> and !=)

説明

このメッセージは、<、>、<=、または >= の関係演算子がサブストリング・スキャン (関係演算子の後のコロン「:」で指定) で使用されたことを示します。これは許可されません。サブストリング・スキャンには、等価演算子と不等価演算子のみが定義されています。

重大度

12

CKR0410 値リストは、=、<>、および != でのみ許可されます (Value list only allowed with =, <> and !=)

説明

このメッセージは、<、>、<=、または >= の関係演算子に続いて、値リストの開始を示す左括弧が指定されたことを示します。これは許可されません。値リストには、等価演算子と不等価演算子のみが定義されています。

重大度

12

CKR0411 *value* ではなく有効な時間の値が必要です。(Expected valid time value instead of *value*)

説明

このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドの TIME キーワードの範囲外の値を指定したことを示します。有効な時間値は 0000 から 2359 の範囲です。60 以上の分の値は許可されません。注意: TIME=10:00 を指定すると、0010 から 0000 の (無効な) 時刻範囲が指定されることとなります。代わりに、TIME=1000 を使用してください。

重大度

12

CKR0412 ストリングが、予期されるサイズ *value source* を超えています (String longer than expected size *valuesource*)

説明

このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドのこのキーワードに許可される長さを超えるストリング値を指定したことを示します。このキーワードに許可される最大長は、メッセージで示されています。

重大度

12

CKR0413 FIELDVAL タイプ *type* では、リストは許可されません。(List not allowed for FIELDVAL type *type*)

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=SMF FIELDVAL タイプ MASK1 または MASK2 で値リストを使用したことを示します。これらの FIELDVAL タイプは、単一値の場合のみ使用できます。

重大度

12

CKR0414 *type* の空リストが無視されました。(Ignored empty list of *type*)

説明

この警告メッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドにキーワードは指定されているが、*type* 値または値リストが指定されていないことを示します。zSecure はキーワードを無視し、入力処理を続行します。リストに無効値のみが含まれる場合にも、このメッセージが発生することがあります。

重大度

00

CKR0415 *eventname* の構文解析中に、重複イベント *event* が検出されました。
(Duplicate event *event* while parsing *eventname*)

説明

「select event<>」節の構文解析中に、示されている *event* が 2 回指定されていることが検出されました。2 番目に指定されていたのは *eventname* でした。多くの場合、これは、イベントが名前と番号の両方で指定されたか、事前定義イベント・グループの一部として指定された (ALLSVC など) 場合に発生します。競合している他の *eventname* 指定が不明な場合、*eventname* 指定を節の先頭に移動して、照会を再実行してください。この結果発行される CKR0415 メッセージで、競合している他の *eventname* が示されます。重複指定が意図的なものである場合 (event<>(ALLSVC(success),RACINIT(warning)) など)、2 つのうち一方を、選択内容における別の event<> 節に移動する必要があります。

重大度

12

CKR0416 重複したタイプ番号 *value*
(Duplicate type number *value*)

説明

このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドの TYPE キーワードの値リストで、タイプ・コードが 2 回使用されていることを示します。

重大度

12

CKR0417 *ddname* 行 *number* の type 「*value*」の前に (または =、≠ または <> の関係演算子が必要です (Expected (or =, ≠ or <> relational operator before type "*value*" at *ddname* line *number*))

説明

このメッセージは、プログラムが、SELECT または EXCLUDE コマンドで、関係演算子 =、≠、または <>、あるいは値リストの左括弧を検出しなかったことを示します。より大/より小を示す演算子、およびフィールド比較演算子は、ここでは許可されません。

重大度

12

CKR0418 SMF 入力終了しました。SMFIN による制限値に達しました。(SMF input terminated, limit SMFIN reached)

説明

このメッセージは、LIMIT コマンドの SMFIN パラメーターにより定義された入力制限値に達したため、zSecure Audit が SMF レコードの読み取りを停止したことを示します。このメッセージは単なる通知であり、エラーを示すものではありません。

重大度

00

CKR0419 SMF 入力終了しました。すべての OUTLIM による制限値に達しました。(SMF input terminated, all OUTLIM limits reached)

説明

このメッセージは、すべての TYPE=SMF の NEWLISTS について、NEWLIST コマンドの OUTLIM パラメーターで定義された出力制限値に達したため、zSecure Audit が SMF レコードの読み取りを停止したことを示します。

重大度

00

CKR0420 警告: 複合システム *complex* について、ALLOC NJENODE=*node1* が CKFREEZE ノード *node2* と異なります。(Warning: ALLOC NJENODE=*node1* differs from CKFREEZE node *node2* for complex *complex*)

説明

実際のノードではなく、ALLOC ステートメント上の NJE ノードが使用されます。これは、ノードが、ALLOC ステートメントで指定されている名前で現在呼び出されていることが確実でない限り、コマンドが生成された対象のノードに、コマンドがルーティングされないことを意味します。

重大度

00

CKR0421 パターン *pattern* は許可されません。*ddname*、行 *number*。(Pattern *pattern* not allowed at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、ワイルドカード文字が含まれるストリングが使用されており、これは許可されません。例えば、パターン検索のサブストリング・スキャンやフィールドではサポートされません。

重大度

12

CKR0422 目的の節に *operator* が続いています。(Expected clause following *operator*)

説明

このメッセージは、選択節が *operator* で終了していることを示します。*operator* は、AND または OR です。AND または OR には、別の選択節を続ける必要があります。

重大度

12

CKR0423 *type* 値のリストは許可されません。(List of *type* values not allowed)

説明

このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドの *type* (TIME または DATETIME) キーワードで値リストが使用されていることを示します。これは許可されません。代わりに、値の範囲 (コロンで区切った 2 つの値) か、OR で連結された複数の節を使用してください。

重大度

12

CKR0424 警告: AND/OR の使用法が不明確です。括弧を使用して、意図するグループ化を指定してください。(Warning: Ambiguous AND/OR usage, please use parentheses to indicate desired grouping)

説明

このメッセージは、SELECT/EXCLUDE または WHERE 節が不明確であったため、左から右に解決されることを示します。これはユーザーの意図と異なる可能性があります。AND/OR 節の両側に括弧を使用して、目的のグループ化を指定してください。

重大度

04

CKR0425

処理対象のフィールド「*field-name*」は、NEWLIST TYPE=*list-type* では無効です。*ddname*、行 *number*。(Field "*field-name*" to be processed not valid for NEWLIST TYPE=*list-type* at *ddname* line *number*)

説明

LIST、SORTLIST、DISPLAY、または SUMMARY コマンドで要求した出力フィールドが、タイプ *list-type* の NEWLIST に対して定義されていません。スペルを確認してください。*list-type* と *deftype* が同じである場合、それ自体は newlist タイプではないが、DEFTYPE ステートメントで定義されている newlist でエラーが発生したことを示します。

重大度

12

CKR0426 CKASMF1 における不明な記述子タイプ *hex-value* (Unknown descriptor type *hex-value* in CKASMF1)

説明

このメッセージは、SMF レコード内のフィールドの選択において内部エラーが発生したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR0427 *nn* SMF レコードが読み取られ、*nn* SMF レコードが選択されました (*nn* %)。(nn SMF records read, nn SMF records selected (nn%))

説明

このメッセージは、読み取られた SMF レコード数と、選択されたレコード数および割合を示します。

重大度

00

CKR0428 [*reason*] 入力の OPEN が失敗しました。*ddname volser datasetname*。(Reason input OPEN failed *ddname volser datasetname*)

説明

このメッセージは、*ddname* が割り振られたが、入力のために開くことができなかったことを示します。*ddname* の DD ステートメントを確認し、エラーを修正してジョブを再実行依頼してください。示されている *type* は、ファイルが必要とされる *newlist* タイプです。これは、**SMF**、または DEFTYPE ステートメントで定義されている *newlist* タイプの名前です。DEFTYPE タイプのファイルの場合、ファイル内容の自動的な範囲処理はサポートされません。そのため、ファイルに対する無条件アクセス権限が必要です。ファイルが、PADS を利用してのみ読み取ることができる場合は、そのことが理由により示されます。

重大度

16

CKR0429 **SMF アンロードの OPEN が失敗しました。 *ddname volser datasetname*。(SMF unload OPEN failed *ddname volser datasetname*)**

説明

このメッセージは、*ddname* が割り振られたが、出力のために開くことができなかったことを示します。*ddname* の DD ステートメントを確認し、エラーを修正してジョブを再実行依頼してください。

重大度

16

CKR0430 ***type* 入力ファイルを開くことができませんでした。(No *type* input files could be opened)**

説明

このメッセージは、DD 名が割り振られていないか、割り振られているどの DD 名も入力用に開くことができなかつたために、*newlist* タイプ *type* の入力ファイルを開くことができなかつたことを示します。DD ステートメントを確認し、ジョブを再実行依頼してください。示されている *type* は、**SMF**、または DEFTYPE ステートメントで定義されている *newlist* タイプの名前です。

ALLOCATE SMF ACTIVE が指定され、アクティブな SMF 記録なしでシステムが実行された場合にも、このメッセージが発生することがあります。

重大度

12

CKR0431 **ビット・フィールド *string* の変換中のエラー (Error in conversion of bitfield *string*)**

説明

このメッセージは、ビット・フィールドの変換中にエラーが発生したことを示します。ビット・フィールドは、文字 0、1、および「.」(無指定)で構成できます。

重大度

12

CKR0432 **フィールド・タイプ *type* は、フィールド *field* ではサポートされません。(Field *type type* not supported for field *field*)**

説明

このメッセージは、示されている *field* が、SELECT/EXCLUDE 処理に使用されたことを示します。このフィールドは、現行の NEWLIST タイプでの出力のみに使用できます。このエラー・メッセージが発生する可能性がある NEWLIST タイプは、ストリング、ビット・フィールド、および数値の選択をサポートします。時間帯など、一部のフィールド・タイプは、出力のみに使用できます。

重大度

12

CKR0433 **前に NEWLIST が指定されていない SUMMARY および LIST タイプ・コマンドは、*program* 製品コード *code* ではサポートされません (SUMMARY and LIST *type* commands without a prior NEWLIST are not supported for *program* product *code code*)**

説明

プログラムが RACF データベースを読み取ることができる設定になっていない限り、SUMMARY、DSUMMARY、DISPLAY、LIST、および SORTLIST コマンドは、NEWLIST のコンテキスト内でのみ有効です。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品の使用中にこのエラーが発生する場合、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR0434 ***ddname* の行 *number* では、*type* の「*value*」ではなく 10 進数値が必要でした (Expected decimal *value*)**

instead of type "value" at ddname line number)

説明

このメッセージは、10 進数の値が予期される場所で 10 進数以外の値が検出されたことを示します。

重大度

12

CKR0435 値 *number* (10 進数) が、最大値 *maximum* を超えています。(Value *number* (decimal) above maximum of maximum)

説明

このメッセージは、大きすぎてフィールドに収まらない数値が読み取られたことを示します。zSecure は、10 進数 *number* を読み取ったか、または 10 進数値 *number* を持つ引用符付きストリングを (16 進数または 2 進数から) 変換しました。

重大度

12

CKR0436 DDNAME キーワードの意味が変更されました。代わりに SMFDD を使用してください。ddname、行 *number*。(Meaning of DDNAME keyword has changed, use SMFDD instead - at ddname line number)

説明

このメッセージは、照会で NEWLIST TYPE=SMF キーワード DDNAME が使用されたことを示します。このキーワードの意味は変更されています。代わりに SMFDD を使用してください。

重大度

12

CKR0437 ユーザー・アテンション要求により、SMF 入力が終了しました。(SMF input terminated by user attention request)

説明

このメッセージは、ユーザーがアテンション・キーを押したために、NEWLIST TYPE=SMF の入力処理が終了したことを示します。既に処理されたレコードの出力が生成されます。

重大度

00

CKR0438 SMF 入力が終了しました。メモリー不足です。(SMF input terminated: out of memory)

説明

このメッセージは、プログラムでメモリー不足が発生したために、NEWLIST TYPE=SMF の入力処理が終了したことを示します。既に処理されたレコードの出力が生成されます。さらに入力処理を行うには、より制限的な SELECT/EXCLUDE ステートメントを作成するか、REGION サイズを増加させます。

重大度

08 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR0439 ALLOW および LOG の PERMISSIONS は、PREVENT と同時に指定することはできません。(PERMISSIONS of ALLOW and LOG are mutually exclusive with PREVENT)

説明

少なくとも同じ PERMISSIONS キーワードでは、PREVENT のアクセス・レベルでの ACF2 データ・セット・アクセス規則の選択は、他のアクセス・レベルでの選択と組み合わせることはできません。

重大度

12

CKR0440 選択/除外処理では、フィールド「*field-name*」は使用できません。代わりに「*field-name2*」を使用してください。(Field '*field-name*' may not be used for select/exclude processing, use '*field-name2*' instead)

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=SMF の選択節が、出力のみに使用できるフィールド *field-name* を使用しようとしたことを示します。場合によっては、代わりにフィールド *field-name2* が提示されることがあります。

重大度

12

CKR0441 比較演算では、フィールド「*field*」は使用できません。(Field '*field*' may not be used in compare operations)

説明

示されている *field* は、NEWLIST TYPE=SMF でのフィールド間比較演算では使用できません。通常のフィールド値比較は許可されます。

重大度

12

CKR0442 リソース削除: マイグレーション済み関連名 **MIGRAT *dsname catalog*** (Resource deletion: Migrated related name **MIGRAT *dsname catalog***)

説明

このメッセージは、HSM MCDS 内に存在するマイグレーション済みデータ・セット名に、削除される高位修飾子があることを示します。ただし、これは別のデータ・セット名の関連名であり、通常は同じ最初の修飾子を持ちます。この名前前のカタログ内の非 VSAM 項目は、ベース名の削除時に HSM によって自動的に削除されます。特定のコマンドは生成されません。

重大度

00

CKR0443 **event appdat *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* (event appdat *identity* general resource profile *class key*)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で event が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で event が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除対象の ID が APPLDATA フィールドにあることを意味します。このメッセージは、TMEADMIN クラスについてのみ発行されます。この状態を解決するために、プロファイル全体を削除する RDEL コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR0444 **SUMMARY/DSUMMARY** では **ACL** フィールドは無効です。 **USERID** を使用してください。 ***ddname*, 行 *number***。(ACL field invalid on

SUMMARY/DSUMMARY, use USERID - at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、特殊目的のフィールド ACL で要約を実行できないことを示します。

重大度

12

CKR0444 **SUMMARY/DSUMMARY** では ***field*** フィールドは無効です。 ***ddname*, 行 *number***。(field field invalid on **SUMMARY/DSUMMARY - at *ddname* line number)**)

説明

このメッセージは、特殊目的のフィールド *field* で要約を実行してはならないことを示します。

重大度

12

CKR0445 静的システム・シンボルの拡張が長すぎます: ***hex*** (Expansion for static system symbol too long: ***hex***)

説明

このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの予期しないレイアウトが検出されたことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0446 静的システム・シンボルの拡張がレコードを超えています: ***hex*** (Expansion for static system symbol exceeds record: ***hex***)

説明

このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの予期しないレイアウトが検出されたことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0447 静的シンボルの名前が長すぎます:
hex (Name of static symbol too long: hex)

説明

このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの予期しないレイアウトが検出されたことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0448 静的システム・シンボルの名前がレコードを超えています:
hex (Name of static system symbol exceeds record: hex)

説明

このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの予期しないレイアウトが検出されたことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0449 重複した静的システムシンボル定義:
var は既に **val**。 **dupval** は無視されました。
(Duplicate static system symbol definition: **var** already **val** ; **dupval** ignored.)

説明

このメッセージは、重複したシステム・シンボル定義が検出されたことを示します。新しい値は無視されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0450

type pads ファイル **ddname volser dsn** の処理が開始されました。
(Started processing **type pads** file **ddname volser dsn**)

説明

このメッセージは、SMF または Top Secret セキュリティ ATF 入力ファイル **ddname** の処理が開始されたことを示します。また、テキスト PADS による **pads** で、条件付きアクセスによりデータへのアクセスが許可されていることを示す場合もあります。その場合、zSecure Audit は、機能をユーザーの適用範囲に制限します。

重大度

00

CKR0451 DD 名 **ddname** およびレコード番号 **recno** での SMF 処理 (SMF processing at DDname **ddname** and RecNo **recno**)

説明

このメッセージは、異常終了が発生した場合に出力されます。これは、異常終了時に処理されていたレコードの DD 名およびレコード番号を示します。

重大度

00

CKR0452 以下のシステムについて、SMF レコードが処理されました。
version complex-name system-name, start-date start-time から **end-date end-time note** まで。
(SMF records were processed for the following systems: **version complex-name system-name** from **start-date start-time** to **end-date end-time note**)

説明

SMF 処理が完了した後、この複数行メッセージが出力されます。これは、検出されたシステム ID ごとに、処理された最初のレコードおよび最後のレコードの日時を示します。SMF ID に関連付けられている CKFREEZE ファイルが存在しなかった場合、テキスト「(CKFREEZE ファイルがない)」とともに **note** が示されることがあります。**note** は、処理されたレコードの数を示す場合もあります。このメッセージは単なる通知であり、エラーを示すものではありません。

重大度

00

CKR0453 静的システム・シンボル・テーブルがスキップされました：*num* 個の項目が要求されましたが、レコードが小さすぎます。(Static system symbol table skipped : *num* entries claimed, but record too small)

説明

このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの長さが、CKFREEZE レコードの長さで適合しなかったことを示します。CKFREEZE データ・セットに対して、より大きい LRECL を指定して zSecure Collect を再実行してください。最大値になっている場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0454 SMF CACHE ジョブ・タグ・システムが有効ですが、意味がありません。無効にされました。(SMF CACHE job tag system enabled but not useful - now disabled)

説明

このメッセージは、ジョブ・タグ・システムを有効にしても意味がないため、オフになったことを示します。JOBID、USER、GROUP、および TERMINAL キーワードが、選択 (SELECT、EXCLUDE) または表示 (LIST、SORTLIST、DISPLAY) コマンドで使用されていませんでした。

重大度

00

CKR0455 SMF CACHE は *size* KB を使用しましたが、*skipped-number* レコードをスキップする必要がありました。また、*full-number* ジョブ・タグのうち *number* について、*cached-number* レコードがまだキャッシュされています。(SMF CACHE used *size* KB but had to skip *skipped-number* records and still had *cached-number* records cached for *number* out of *full-number* job tags)

説明

このメッセージは、SMF 処理中にジョブ・タグ・システムがオンになったことを示します。また、使用されて

いるメモリー量、キャッシュがフルであったためにスキップされたレコードの数、最終レコードの読み取り後に未完了のままになっていたレコードの数、未完了のジョブ・タグの数、およびジョブ・タグの全体数も出力されます。詳しくは、SMF CACHE コマンドを参照してください。未完了のままになっていたレコードおよびスキップされたレコードは、RACF 情報なしで処理されています。

重大度

00

CKR0456 SMF CACHE によるジョブ・タグ *job-tag* の処理が未完了です。*cached-num* レコードがキャッシュされ、*skipped-num* 個がスキップされました。(SMF CACHE incomplete job tag *job-tag* with *cached-num* records cached and *skipped-num* skipped)

説明

このメッセージは、SMF CACHE VERBOSE によるものです。SMF 処理の終了時に未完了であるジョブ・タグごとに、これらのメッセージの 1 つが出力されます。影響されるジョブ、ファイルの終わりでキャッシュされたレコードの量、およびキャッシュがフルであったためにスキップされたレコードの量が示されます (これらの量のレコードは、RACF 情報なしで処理されています)。

重大度

00

CKR0457 SMF CACHE によるジョブ・タグ *job-tag* の処理が完了しています。*cached-num* レコードがキャッシュされ、*skipped-num* 個がスキップされました。(SMF CACHE completed job tag *job-tag* with *cached-num* records cached and *skipped-num* skipped)

説明

このメッセージは、SMF CACHE VERBOSE によるものです。完了しており、いくつかのレコードをキャッシュしたすべてのジョブ・タグについて、これらのメッセージの 1 つが出力されます。*skipped-num* は、キャッシュがフルであったためにスキップされたレコードの量を示します。このようなレコードは、RACF 情報なしで処理されています。

重大度

00

CKR0458 SMF RACF コマンド *item* 表示が切り捨てられました。 *ddname*、レコード *number*。 (SMF RACF command *item display truncated at ddname record number*)

説明

示されている表示内容は、このバッファには大きすぎます。 *item* で示されているように、これはコマンドまたはコマンド・パラメータ表示である場合があります。

重大度

08

CKR0459 ICHNCV00 シミュレート (system=sys) 内部エラー: *message* (ICHNCV00 simulate (system=sys) internal error: *message*)

説明

このメッセージは、命名規則テーブル ICHNCV00 のシミュレーションで障害が発生したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR0460 水平フォーマットとダンプ・フォーマットを 1 つのフィールドで組み合わせることはできません。 *field*、*ddname*、行 *number*。 (Horizontal and dump format cannot be combined on one field - *field at ddname line number*)

説明

DUMP 出力修飾子と HORIZONTAL 出力修飾子は、組み合わせることができません。

重大度

12

CKR0461 *number* SMF [type *rectype*] レコードが、*date time* からシステム *system-id* 上で失われています。 (number SMF [type *rectype*] records were lost on system *system-id* from *date time*)

説明

タイプ 7 の SMF レコードが処理されると、このメッセージが出力されます。これは、SMF ファイルを生成したシステムで SMF レコードが失われたことを示します。zSecure Audit または SMF 処理におけるエラーを示すものではありません。 *rectype* が存在する場合、SMF レコード・フラッディング・オプションにより、タイプ *rectype* のレコードはドロップされています。いくつかのレコードが失われたため、zSecure Audit への入力が無完了である場合があります。レコード欠落中に発生したイベントは監査できません。

重大度

00

CKR0462 *ddname line number* の type 「*value*」の前に (または =、<>、==、<>=、あるいは <<>> の関係演算子が必要です。 (Expected (or =, <>, <>=, ==, or <<>> relational operator before type "*value*" at *ddname line number*)

説明

このメッセージは、zSecure が、SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにおいて、関係演算子 =、<>、または <>=、フィールド比較演算子 ==、<<>>、または <>=、あるいは値リストの左括弧を検出できなかったことを示します。より大/より小を示す演算子は、ここでは許可されません。

重大度

12

CKR0463 *ddname* 行 *number* の type 「*value*」の前に (または =、<>、<、>、<=、あるいは >= の関係演算子が必要です (Expected (or =, <>, <, >, <=, or >= relational operator before type "*value*" at *ddname line number*)

説明

このメッセージは、zSecure が、SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにおいて、関係演算子 =、<>、<、>、<=、または >=、あるいは値リストの左括弧を検出できなかったことを示します。フィールド比較演算子は、ここでは許可されません。追加情報については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『SELECT/EXCLUDE - フィールド比較』の資料を参照してください。

重大度

12

CKR0464 サブストリング・オフセットは $>= 1$ である必要があります。(Substring offset must be $>= 1$)

説明

このメッセージは、zSecure が、SELECT または EXCLUDE コマンドにおいて、無効なサブストリング・オフセットを検出したことを示します。SUBSTRING 操作では、少なくとも 1 つのオフセット (2 番目の SUBSTRING パラメーター) が必要です。

重大度

12

CKR0465 サブストリング *maxlen* はゼロにできません。(Substring *maxlen* may not be zero)

説明

このメッセージは、zSecure が、SELECT または EXCLUDE コマンドにおいて、無効なサブストリング最大長を検出したことを示します。例えば、SUBSTRING(*field,offset,maxlen*) のように、最大長が SUBSTRING 操作で指定されている場合、最大長は少なくとも 1 でなければなりません。フィールドの末尾まで完全に選択する (例えば、SUBSTRING(*field,offset*)) 場合、最大長は除外してください。

重大度

12

CKR0466 サブストリング *endpos* を開始位置より前に置くことはできません。(Substring *endpos* may not be before start)

説明

このメッセージは、zSecure が、SELECT または EXCLUDE コマンドにおいて、無効なサブストリング終了位置を検出したことを示します。例えば、SUBSTRING(*field,offset:endpos*) のように、最大長が SUBSTRING 操作で指定されている場合、終了位置は開始位置 (オフセット) 以上である必要があります。SUBSTRING(*field,offset*) のように、フィールドの末尾まで選択する場合は、終了位置を省略してください。

重大度

12

CKR0467 *operation* は、*format* フィールド *name* では許可されません。*ddname*、*行 number*。(operation not allowed with *format field name* at *ddname line number*)

説明

このメッセージは、正しくないフォーマットのフィールド値に指定された操作演算を zSecure が検出したことを示します。EXTRACTDN 操作は、X.509-DN フォーマットの識別名にのみ適用できます。一部の CONVERT 操作は特定の日付形式でのみ動作します。その他の操作は、文字フォーマットのフィールドにのみ適用できます。

注: フィールド値の操作関数がネストされている場合は、表示されるフォーマットが中間結果になっていることがあります。例えば、EXTRACTDN 実行後の結果フォーマットは Char であるため、関数を 1 回だけ適用できます。

重大度

12

CKR0468 DDNAME *ddname* は NOA 状況であり、クラスター名 *cluster name* が FDR で定義されていません。割り振りが失敗しました。(DDNAME *ddname* is in NOA status, and cluster name *cluster name* is not defined in the FDR - allocation failed)

説明

アクティブ ACF2 バックアップ・データ・セットの動的割り振りを試行中に、プログラムは、そのデータ・セットが ACF2 開始 JCL の DD DUMMY 指定で指定変更されていたために、ACF2 により割り振られなかったことを検出しました。以降、ACFDR で定義されている適切な ACF2 データベースからデータ・セット名を取得しようとしたときに、プログラムは、現在アクティブなデータベース・クラスターが ACFDR で定義されていないこと、または指定のクラスターに、*ddname* により指定された機能について定義されたデータ・セットが存在しないことを検出しました。これは、プログラムが、割り振るデータ・セットを判別できないことを意味します。

重大度

16

CKR0469 比較フィールドは、両方とも繰り返すことはできません。[- *field1* および *field2*]、*ddname*、*行 number*。(Compare fields may not both be repeated [- *field1* and *field2*] at *ddname line number*)

説明

このメッセージは、プログラムが SELECT または EXCLUDE コマンドで無効な比較演算を検出したことを示します。2 つのフィールドを比較する場合 (フィール

ド定数比較ではなくフィールド間比較)、最大で1つのフィールドのみ、繰り返しグループ・フィールドにできます。比較演算で、2つの繰り返しフィールドの比較が試行されましたが、これはサポートされません。

重大度

12

CKR0470 比較対象のフィールドは同じフォーマットである必要があります。[-*field1* および *field2*], *ddname*、行 *number*。 (Fields to be compared must have the same format [-*field1* and *field2*] at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、プログラムが SELECT または EXCLUDE コマンドで無効な比較演算を検出したことを示します。2つのフィールドを比較する場合(フィールド定数比較ではなくフィールド間比較)、両方のフィールドは同じフォーマットである必要があります(両方とも文字フォーマットまたは両方とも数値など)。比較演算で、異なるフォーマットを持つ2つのフィールドの比較が試行されましたが、これはサポートされません。

重大度

12

CKR0471 SMS 管理ボリュームにおける重複したデータ・セット *volser dsname* (Duplicate data set on SMS managed volumes *volser dsname*)

説明

ライブラリー・バージョンの比較中に、複数の SMS 管理ボリュームにおいて同じデータ・セット名が検出されました。これはサポートされません。

重大度

08

CKR0472 データ・セット *dsname* について、SMS 管理への変換が想定されました。 (Conversion to SMS managed assumed for data set *dsname*)

説明

複数の CKFREEZE ファイルのライブラリー・バージョンの比較中に、データ・セット名が、最初は非 SMS 管理ボリューム上で検出され、その後に SMS 管理ボリューム上で検出されました。ボリュームまたはデータ・セットが SMS に変換されたと想定されます。

重大度

00

CKR0473 READ 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *dsname* ではありません。プロファイルを変更します。 (READ-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *dsname* - change profile)

説明

Trusted Computing Base の機密データ・パーツを使用したデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。他のデータ・セットに対する影響を最小限に抑えつつ、保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これを行うために、完全修飾総称が使用されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0474 READ 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。 (READ-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname*)

説明

Trusted Computing Base の機密データ・パーツを使用したデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。個別プロファイルの保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0475 UPDATE 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *dsname* ではありません。プロファイルを変更します。 (UPDATE-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *dsname* - modify profile)

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して更新に対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。他のデータ・セットに対す

る影響を最小限に抑えつつ、保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これを行うために、完全修飾総称が使用されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0476 **UPDAT 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを変更します。(UPDAT-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - modify profile)**

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して更新に対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。個別プロファイルの保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0477 **ALTER 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *dsname* ではありません。プロファイルを変更します。(ALTER-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *dsname* - modify profile)**

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して ALTER アクセスに対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。通常、これは ICF カタログに制限されています。他のデータ・セットに対する影響を最小限に抑えつつ、保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これを行うために、完全修飾総称が使用されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0478 **ALTER 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを変更します。(ALTER-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - modify profile)**

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して ALTER アクセスに対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。通常、これは ICF カタログに制限されています。個別プロファイルの保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0479 **機密データ・セットに対するグローバル・アクセスが CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。(Global access to sensitive dataset not CS1-compliant *volser dsname*)**

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。これは、グローバル・アクセス・テーブルを利用して付与されているアクセス権限のレベルが高すぎるためです。グローバル・アクセス・テーブルを、許可される最高レベルに調整するコマンドが生成されます。これは、ユーザーに対するデータ・セットの可用性が低下することを意味します。

重大度

04

CKR0480 **READ 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを追加します。(READ-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - add profile)**

説明

Trusted Computing Base の機密データ・パーツを使用したデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。当該データ・セットをカバーする現行の総称プロファイルを使用して、新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに調整されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0481 **UPDAT 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを追加します。(UPDAT-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - add profile)**

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して更新に対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。当該データ・セットをカバーする現行の総称プロファイルを使用して、新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに調整されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0482 **ALTER 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを追加します。(ALTER-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - add profile)**

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して ALTER アクセスに対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。通常、これは ICF カタログに制限されています。当該データ・セットをカバーする現行の総称プロファイルを使用して、新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに調整されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度

04

CKR0483 **READ 機密データ・セットが無保護 *volser dsname* です。プロファイルを追加します。(READ-sensitive data set unprotected *volser dsname* - add profile)**

説明

Trusted Computing Base の機密データ・パーツを使用したデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに設定されません。

重大度

04

CKR0484 **UPDATE 機密データ・セットが無保護 *volser dsname* です。プロファイルを追加します。(UPDATE-sensitive data set unprotected *volser dsname* - add profile)**

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して更新に対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに設定されます。

重大度

04

CKR0485 **ALTER 機密データ・セットが無保護 *volser dsname* です。プロファイルを追加します。(ALTER-sensitive data set unprotected *volser dsname* - add profile)**

説明

Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して ALTER アクセスに対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。通常、これは ICF カタログに制限されています。新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに設定されます。

重大度

04

CKR0486 **FIELDVAL は、Select/Exclude 処理のみに使用できます。ddname、行 number。(FIELDVAL may only be**

used for Select/Exclude - at
ddname line number)

説明

NEWLIST TYPE=SMF 内の FIELDVAL フィールドは、SELECT/EXCLUDE 処理のみに使用できます。LIST、SORTLIST、または (D)SUMMARY コマンドで使用されており、これは許可されません。

重大度

12

CKR0487 定義されている変数 *name* (*type=type*) が **boolean/as/true** ではないため、節で使用できません。
(Defined variable *name* (*type=type*) is not boolean/as/true, may not be used in clause)

説明

示されている変数が SELECT/EXCLUDE または WHERE 節で使用されていますが、プールまたはフィールド・ベースの定義ではありませんでした。これは許可されません。

重大度

12

CKR0488 Newlist [*name=name*] *type=type* が、*reason* の理由で、*ddname* の行 *number* で抑止されました (Newlist [*name=name*] *type=type* suppressed for *reason* at *ddname* line *number*)

説明

示された NEWLIST は、以下に示される理由で抑止されました。

制限モード

ユーザーが、UNRESTRICTED オプションが指定された NEWLIST を制限モードで実行しました。

監査員でない

システム全体の監査員ではないユーザーが、RESTRICT_AUDITOR オプションが指定された NEWLIST を実行しました。

抑止されていない NEWLIST の処理は続行されます。

重大度

00

CKR0489 システム *system* の NEWLIST TYPE=PPT 要求は、ライブ・システムまたは非 APF CKFREEZE ではサ

ポートされません。(NEWLIST TYPE=PPT request for system system not supported for live system or non-APF CKFREEZE)

説明

示されている *system* の NEWLIST TYPE=PPT が、出力を生成できませんでした。この NEWLIST タイプでは、zSecure Collect の APF 許可実行により生成された CKFREEZE ファイルが必要です。

重大度

00

CKR0490 \$CAT サイズ *size* (10 進数) は、**newlist type=JOBCLASS** でサポートされません。(\$CAT size *size* (decimal) not supported in newlist type=JOBCLASS)

説明

NEWLIST TYPE=JOBCLASS は、検出された JES2 \$CAT テーブル・サイズをサポートしません。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。示されている *size*、ご使用の MVS、および JES2 レベルが含まれるエラー・レポートを送信してください。

重大度

16

CKR0491 繰り返しサブストリングは **TYPE=RACF** 節では許可されません。変数 *name*。(Repeated substring not allowed in TYPE=RACF clause - variable *name*)

説明

NEWLIST TYPE=RACF 節では、ネストされたサブストリング要求は許可されません。

重大度

12

CKR0492 TYPE=RACF 選択節でのフィールド値の操作または検索は許可されません。変数 *name*。(Field value manipulation or lookup not allowed in TYPE=RACF select clause - variable *name*)

説明

この変数の DEFINE に類似のフィールド値操作または他のフィールド値の操作もある場合、NEWLIST TYPE=RACF の select/exclude ステートメントでは、特定のフィールド値操作 (CONVERT、PARSE、WORD) およびフィールド検索が許可されません。SUBSTRING の使用は許可されます。

ユーザーの処置

すべての操作を 1 つの DEFINE に移動してください。

重大度

12

CKR0493 ブール変数 *name* は、比較の右側としては使用できません。 (Boolean variable *name* may not be used as right-hand side of compare)

説明

ブール変数は SELECT ステートメントで使用できますが、フィールド間比較の右側では使用できません。

重大度

12

CKR0494 サブストリング操作は、ブール変数 *name* では許可されません。 (Substring operation not allowed on boolean variable *name*)

説明

サブストリング関数は、タイプ BOOLEAN の定義済み変数に対して実行できません。

重大度

12

CKR0495 ファイル *ddname* でのアンロードの連結はサポートされません。最初のアンロード後に停止します。 (Concatenation of unloads in file *ddname* is not supported - stopping after 1st one)

説明

複数のアンロードは個別の DD 名に割り振る必要があります。これらは連結できません。

重大度

12

CKR0496

警告: *complex* のデータベースが、システム *system [version]* からの設定で処理されました (Warning: database for *complex* processed with settings from system *system [version]*)

説明

complex の RACF データベースが、参照のためにストレージ内設定が使用されている *system* と一致しません。(このメッセージは、FUNCTION=MAIN または FUNCTION=BASE にのみ関係します。)

重大度

00

CKR0497 制限モードでは、*complex [version]* 以外の他のシステムの設定を使用することは許可されません。 (Restricted mode does not allow using settings from any other system than *complex [version]*)

説明

complex の RACF データベースが、参照のためにストレージ内設定が使用されている *system* と一致しません。これは制限モードでは許可されません。

重大度

12

CKR0498

警告: *complex* のデータベースが、*system* の設定で処理されました。 (Warning: database for *complex* processed with settings from *system*)

説明

complex の RACF データベースが、参照のためにストレージ内設定が使用されている *system* と一致しません。(このメッセージは FUNCTION=MERGE にのみ関係します。)

ユーザーの処置

COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用して使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・セットを明示的に区分してください。

重大度

00

CKR0499

***component* クラスタ *name* について、VVDS レコードに無効なセルがあ**

ります。(Invalid cell in VVDS record for component cluster name)

重大度

08

説明

構文解析で、予期しない VVDS セルの終了が検出されました。

CKR メッセージ 500 から 599

CKR0500 変数 *variable (type=type)* の定義 (*ddname*、行 *number*) が、*ddname*、行 *number* の定義と競合しています。(Define for variable *variable (type=type)* at *ddname* line *number* conflicts with define at *ddname* line *number*)

説明

このエラー・メッセージは、同じ名前を持つ 2 つの統計変数が、同じ NEWLIST 内で定義されていたことを示します。これは許可されません。

重大度

12

CKR0501 変数 *variable (type=type)* の定義 (*ddname*、行 *number*) が、*ddname*、行 *number* の定義を指定変更しています。(Define for variable *variable (type=type)* at *ddname* line *number* overrides define at *ddname* line *number*)

説明

この警告メッセージは、前の NEWLIST 内で定義されている統計変数と同じ名前の統計変数が、NEWLIST 内で定義されていたことを示します。古い定義は、新しい定義で指定変更されます。これは意図しない動作である可能性があります。

重大度

00

CKR0502 **DISPLAY** に、繰り返しフィールドまたは詳細フィールドのみが含まれています。*newlist* の第 1 レベルの表示は空になります。*ddname*、行 *number*。(DISPLAY only contains repeat or detail fields, 1st level display would be empty for *newlist* at *ddname* line *number*)

説明

このエラー・メッセージは、DISPLAY コマンドに、第 1 レベルの表示で表示できるフィールドが含まれていなかったことを示します。これは許可されません。非繰り返しフィールドまたは非詳細フィールドを DISPLAY コマンド内に指定してください。NEWLIST パラメーター **DETAIL** を指定した場合、少なくとも 1 つの非繰り返しフィールドで出力修飾子 **NODETAIL** を使用してください。

重大度

12

CKR0503 *ddname* 行 *number* の *token* の前でしきい値の指定が重複しています (Duplicate threshold specification before *token* at *ddname* line *number*)

説明

このエラー・メッセージは、同じフィールドに対して複数のしきい値出力修飾子が使用されていることを示します。これは許可されません。

重大度

12

CKR0504 マージされた *newlist* 内の要約が無効です。*ddname*、行 *number*。(Summary invalid in merged *newlist* at *ddname* line *number*)

説明

現行バージョンの zSecure では、**SUMMARY** コマンドは、マージされた NEWLIST では使用できません。

重大度

12

CKR0505 レベル *number* の複合要約には、繰り返しグループ値「*field-name*」を含めることはできません。*ddname*、行 *number*。(Compound summary

at level number cannot contain repeat group value "field-name" at ddname line number)

説明

現行バージョンの zSecure では、複合要約キーは非繰り返しグループで構成されている必要があります。このエラー・メッセージは、タイプ *field-name* の繰り返しグループ・フィールドが複合要約キーの一部であることを示します。

重大度

12

CKR0506 *ddname*、行 *number* の変数 *name* が、検索で定義されています。**type=RACF LIST** コマンドでは無効です。(Variable name at ddname line number defined with lookup - invalid with type=RACF LIST commands)

説明

変数 *name* が、検索演算子を使用して定義されていました。NEWLIST TYPE=RACF の場合、そのような変数を LIST コマンドで使用することはできません。代わりに、SORTLIST または DISPLAY を使用してください。

重大度

12

CKR0507 アスタリスク・リスト演算子は、**SUMMARY** コマンドでのみ有効です。(Asterisk list operator is only valid on SUMMARY commands)

説明

このエラー・メッセージは、アスタリスク (*) リスト演算子が、LIST、SORTLIST、または DISPLAY コマンドで使用されていることを示します。これは、SUMMARY または DSUMMARY コマンドでのみ使用できます。

重大度

12

CKR0508 **ENDMERGE** が欠落しています。(ENDMERGE missing)

説明

このエラー・メッセージは、マージされた NEWLIST が開始されているが、終了されていないことを示します。

重大度

12

CKR0509 **MERGEST** なしで **ENDMERGE** が使用されています。(ENDMERGE without MERGEST)

説明

このエラー・メッセージは、ENDMERGE コマンドが検出されたが (通常はマージされた NEWLIST を終了する)、マージされた NEWLIST を開始するための、前の MERGEST コマンドが見つからなかったことを示します。

重大度

12

CKR0510 ターゲット・フィールド *field-name* (**type=type**) が、定義 *statistic-name* について未定義です。*ddname*、行 *number*。(Target field *field-name* (**type=type**) undefined for define *statistic-name* at ddname line number)

説明

このエラー・メッセージは、存在しない、または定義されていないターゲット・フィールドを指定した統計変数が定義されていたことを示します。

重大度

12

CKR0511 **ENDBUNDLE** の前に **ENDMERGE** が欠落しています。(ENDMERGE missing before ENDBUNDLE)

説明

このエラー・メッセージは、ENDBUNDLE コマンドが、BUNDLE - MERGEST - ENDBUNDLE のシーケンスの中で検出されたことを示します。このシーケンスの中に ENDMERGE コマンドが含まれている必要があります。

重大度

12

CKR0512 *ddname*、行 *number* で検出されたターゲット・フィールド *field-name* (**type=type**) に、定義 *statistic-name* に必要な **where** 節がありません。*ddname*、行 *number*。(Target field *field-name* (**type=type**) found at ddname line number does not have

the required where clause for define *statistic-name* at *ddname* line *number*)

説明

このエラー・メッセージは、別の変数のターゲットとして定義されている統計変数に、WHERE 節がないことを示します。ターゲット変数の目的は WHERE 節の共有であるため、ターゲットにはこの節が必要です。

重大度

12

CKR0513 IBM Security zSecure 製品コード *code* について、*function* の使用はライセンス交付を受けていません。(Use of *function* is not licensed for IBM Security zSecure product code *code*)

説明

示されている機能 (コマンドまたはパラメーター) は、使用されている製品についてのライセンス交付を受けていません。例えば、IBM Security zSecure Admin が、z/OS システム上で zSecure Audit なしで実行されている場合、この構成は、NEWLIST TYPE=SMF コマンドを使用するためのライセンス交付を受けていません。製品の *codes* については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されている NEWLIST LICENSE パラメーターの説明を参照してください。

重大度

12

CKR0514 *ddname*、行 *number* の変数 *statistic-name* が、Boolean、Subselect、または As として定義されていません。LIST コマンドでは無効です。(Variable *statistic-name* at *ddname* line *number* not defined as Boolean, Subselect, or As - invalid on LIST commands)

説明

このエラー・メッセージは、要約統計変数が、LIST、SORTLIST、または DISPLAY コマンドで使用されていることを示します。これは許可されません。これらの変数は、(D)SUMMARY を指定した場合のみに使用できます。

重大度

12

CKR0515 ターゲット *target-variable* に既に存在するため、定義 *statistic-name* (*type=type*) の WHERE 節は無効です。*ddname*、行 *number*。(WHERE clause invalid for define *statistic-name* (*type=type*) at *ddname* line *number* because target *target-variable* already has one)

説明

このエラー・メッセージは、ターゲット変数が指定された統計変数にも、独自の WHERE 節があることを示します。これは許可されません。ターゲット変数に WHERE 節がある場合、自動的に継承され、指定変更できません。異なる WHERE 節を指定した 2 つの変数を作成するには、両方に WHERE 節を指定して 2 つの個別定義を作成し、ターゲット変数から WHERE 節を削除します。

重大度

12

CKR0516 要約レベル *number* には、少なくとも 1 つの要約キーが必要です。キーは、定義済みの変数または検索にすることはできません。*ddname*、行 *number* の *newlist*。(Summary level *number* must have at least one summary key and key cannot be a defined var or lookup - *newlist* at *ddname* line *number*)

説明

このエラー・メッセージは、示されている NEWLIST の (D)SUMMARY コマンドに、キー変数なしで要約レベルが指定されていたことを示します。これは、上端 (左端) の要約レベルでのみ許可されます。有効な要約キー変数はフィールドであり、定義されている統計および検索変数ではありません。

重大度

12

CKR0517 列の長さが 0 であり、行の最後でないか、あるいは列の長さが可変性であるため、WRAP は無効です。*ddname*、行 *number* のフィールド *field-name*。(WRAP invalid because column length 0 and not the last in line or column floating - *field* *field-name* at *ddname* line *number*)

説明

このエラー・メッセージは、WRAP 出力修飾子が、行の最後でない列に対して指定変更の長さゼロと組み合わせて使用されたか、指定変更の長さ 0 (可変長) を持つ別の列が行に存在していたことを示します。FIELD(WRAP,0) の目的は、出力行の残り部分を埋めることであるため、これは行の最後の列に対してのみ許可されます。

重大度

12

CKR0518 **NEWLIST option** では LIST は許可されません。 (**LIST not allowed for NEWLIST option**)

説明

このエラー・メッセージは、NEWLIST option を指定して LIST コマンドが使用されたことを示します。これは、示されている NEWLIST オプションでは許可されません。代わりに SORTLIST または DISPLAY を使用してください。

重大度

12

CKR0519 **(D)SUMMARY** でのみ許可されるオプションです。 *ddname*、行 *number* の *option-name*。 (**Option only allowed for (D)SUMMARY - option-name at ddname line number**)

説明

このエラー・メッセージは、要約オプション *option-name* が、LIST、SORTLIST、または DISPLAY コマンドで使用されたことを示します。示されているオプションは、SUMMARY および DSUMMARY コマンドでのみ使用できます。

重大度

12

CKR0520 *ddname*、行 *number* のマージされた NEWLIST では、NEWLIST と同じ LIST ファミリー・メンバーを使用する必要があります。 *ddname*、行 *number*。 (**Merged NEWLIST at ddname line number must use same LIST family member as NEWLIST at ddname line number**)

説明

MERGLIST/ENGLIST ペア内のすべての NEWLIST では、同じ出力コマンド (DISPLAY または SORTLIST) を

使用する必要があります。示されている 2 つの newlist では、これに該当しませんでした。

重大度

12

CKR0521 制限モードの NEWLIST TYPE=SMF で、SUPPRESS CKFREEZE が無視されました。 (**SUPPRESS CKFREEZE ignored for restricted mode NEWLIST TYPE=SMF**)

説明

NEWLIST TYPE=SMF が制限モードで使用される場合 (NEWLIST SCOPE または SIMULATE RESTRICT での PADS モード)、SUPPRESS CKFREEZE コマンドは使用できません。このコマンドでは、ユーザーが VSAM コンポーネントの制限検査を回避できてしまうためです。IOCONFIG は、CKFREEZE の別名です。

重大度

00

CKR0522 プログラムがアテンションで終了しました。 (**Program was terminated by attention**)

説明

ATTN キーが押されたため、プログラムが停止しました。

重大度

12

CKR0523 *num* 個の要素を持つグループ・ツリー・ループ。 *type1 id1* に、所有者として *type2 id2* が存在します。 (**Group tree loop with num elements type1 id1 has type2 id2 as owner**)

説明

このメッセージは、VERIFY GROUPTREE コマンドが原因で発行されます。このメッセージは、グループ・ツリー内のループのサイズを示します。継続メッセージは、ループ内のすべてのユーザーおよびグループを示します。 *type* はユーザーまたはグループ、 *id* は RACF ユーザー ID またはグループ ID を示します。

重大度

08

CKR0524 プログラムがストレージ不足により終了しました。 *keyword* を増加させ

てください。(Program was terminated due to storage shortage - increase keyword)

説明

ストレージ(メモリー)不足により、プログラムが停止しました。keyword の値 (REGION または MEMLIMIT) は、増加させると効果的である可能性が最も高いパラメーターを示します。

ユーザーの処置

keyword サイズを増加させて、プログラムを再実行してください。

重大度

12

CKR0525 CKRSITE モジュールの内容: contents (Contents of CKRSITE module: contents)

説明

このメッセージは、SHOW CKRSITE コマンドの結果として出力されます。contents には、CKRSITE モジュールの該当する部分が表示されます。

重大度

00

CKR0526 複合システム complex について、CKRSITE クラス class が CDT 内で見つかりません。(CKRSITE class not found in CDT for complex complex)

説明

このメッセージは、CKGRACF プロファイルに使用されているクラス (CKRSITE モジュールで設定されているもの) が、クラス記述子テーブルで見つからなかったことを示します。原因として可能性が高いのは、インストール・エラーです。

重大度

12

CKR0527 フィールド field の副選択はサポートされません。(Subselect of field field not supported)

説明

このメッセージは、変数が、示されている field の副選択として定義されているが、このフィールドの副選択はサポートされていないことを示します。現行バージョン

の zSecure では、副選択が許可されるフィールドは、ACL、CUSTOM_DATA、および USR のみです。詳しくは、DEFINE コマンドを参照してください。

重大度

12

CKR0528 「group」内の「field」の副選択は許可されません。(Subselect of "field" in "group" not allowed)

説明

このメッセージは、group の副選択 (ACL、CUSTOM_DATA、または USR) において、副選択でサポートされていない field が使用されたことを示します。サポートされているフィールドの表については、DEFINE コマンドを参照してください。

重大度

12

CKR0529 無効な ACCESS VALUE 「value」(ddname、行 number) (Invalid ACCESS VALUE "value" at ddname line number)

説明

示されている ddname で指定されたアクセス value が無効です。

重大度

12

CKR0530 kind は、PARM ストリング type 「value」でのみ有効です。ddname、行 number。(kind only valid in PARM string type "value" at ddname line number)

説明

ALLOCATE コマンドの kind パラメーターは、パラメーター・ストリングに入れて指定する必要があります。kind パラメーターは、以下のいずれかの値になります。

ERRDD
INDD
LETRAPOFF
LETRAPON
NOBSAMBAM
NOCLEANUP
NOCLOSE
NODCBE
NODUMP
NOESTAE

NOLE
OUTDD
STORAGEGC
TEXTPIPE
UMASK

ユーザーの処置

このパラメーターを指定する場合は、バッチ JCL の PARM= パラメーターに ALLOCATE コマンドを含めてください。

重大度

12

CKR0531 展開済みフィールド「*field*」の要約は許可されません。 *ddname*、行 *number*。(Summary of exploded field "*field*" not allowed at *ddname* line *number*)

説明

EXPLODE 出力修飾子は、(D)SUMMARY コマンドでは使用できません。RESOLVE および EFFECTIVE 出力修飾子 (EXPLODE とは異なるタイプ) も使用できません。

重大度

12

CKR0532 警告: 変数 *field* (type=*type*) のグローバル定義 (*ddname*、行 *number*) が、*ddname*、行 *number* のローカル定義を指定変更しています。(Warning: global define for variable *field* (type=*type*) at *ddname* line *number* overrides local define at *ddname* line *number*)

説明

この警告メッセージは、示されている変数 *field* のローカル定義が、グローバル定義によって指定変更されたことを示します。

重大度

00

CKR0533 システム *system* では、ストレージ内リソース規則ディレクトリーに関するレポートはサポートされません。(Reporting on the in-storage resource rule directories is not supported for system *system*)

説明

必要な情報がフェッチ保護ストレージ内に存在するため、アクセスできません。部分的な回避策として、zSecure Collect の APF 実行により作成される CKFREEZE を割り振る方法があります。ただし、そのような CKFREEZE には、一部のリソース選択規則ディレクトリーに関する情報のみが含まれているため、この方法を行った場合でもレポートは未完了になります。

重大度

04

CKR0534 フィールドの後に、インデント・ベース *base* が見つかりません。 *ddname*、行 *number*。(Indent base *base* not found behind field at *ddname* line *number*)

説明

INDENT 出力修飾子によって使用されている、示された *base* フィールドが、同じ (SORT)LIST または DISPLAY コマンドで指定されていませんでした。インデントされたフィールドの後で指定する必要があります。NONDISPL 出力修飾子を使用して、この *base* フィールドが出力されないようにすることができます。

重大度

12

CKR0535 グループ *group* の作成が要求されましたが、グループは既に定義されています。(Create of group *group* requested, but group already defined)

説明

このメッセージは、COPY または MOVE コマンドにより追加される示された *group* が、既に定義されており、ADDGROUP コマンドは生成されないことを示します。

重大度

12

CKR0536 ユーザー ID *user* の作成が要求されましたが、ユーザーは既に定義されています。(Create of userid *user* requested, but user already defined)

説明

このメッセージは、COPY または MOVE コマンドにより追加される示された *user* が、既に定義されており、ADDUSER コマンドは生成されないことを示します。

重大度

12

CKR0537 グループ *id* について、グループのネストの最大の深さ 255 を超えました。VERIFY GROUPTREE を実行してグループ・ループを検査してください。(Maximum group nesting depth of 255 exceeded at group *id* - run VERIFY GROUPTREE to check for group loops)

説明

グループ・ツリーの深さの処理中に、示されているグループについて、最大の深さ 255 に達しました。これは、グループ・ツリー構造内のループが原因である可能性があります。VERIFY GROUPTREE を使用することで確認できます。また、グループ・ツリーの深さが 255 グループを超えている場合にも発生する可能性があります。この状態は、IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF ではサポートされません。

重大度

16

CKR0538 グループ **SYS1** が見つかりません。SELECT/EXCLUDE ステートメントを確認してください。(Group **SYS1** not found, check SELECT/EXCLUDE statements)

説明

このメッセージは、VERIFY GROUPTREE コマンドが原因で発行されたもので、グループ **SYS1** が見つからなかったことを示します。VERIFY コマンドは処理されませんでした。このメッセージは、グループ **SYS1** を除外したグローバル SELECT/EXCLUDE 処理によるものである可能性があります。この処理によるものでない場合、グループ **SYS1** は必要であるため、RACF データベース内に深刻な問題があることを意味します。

重大度

12

CKR0539 指定されたタイプでは、ALLOC PRIMARY/BACKUP/INACTIVE は無効です。*ddname*、行 *number* の *token* より前。(ALLOC PRIMARY/BACKUP/INACTIVE invalid for specified type - before *token* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、ALLOC コマンドが無効であることを示します。コマンドで指定されているタイプでは、オ

プション PRIMARY、BACKUP、INACTIVE はすべて無効です。有効なオプションは ACTIVE のみです。

重大度

12

CKR0540 ファイル *ddname* に対する OPEN abend-type (OPEN abend-type on file *ddname*)

説明

示されている *ddname* を持つ TYPE=CKFREEZE ファイルを開く際に、示されている *type* の異常終了が発生しました。

重大度

16

CKR0541 ファイル *ddname* に対する OPEN abend-type (OPEN abend-type on file *ddname*)

説明

示されている *ddname* を持つ TYPE=UNLOAD ファイルを開く際に、示されている *type* の異常終了が発生しました。

重大度

16

CKR0542 CONNECT フィールドは参照で使用する必要があります。*ddname*、行 *number*。(CONNECT field must be used in a lookup - at *ddname* line *number*)

説明

The CONNECT フィールドは、(SORT)LIST または (D)SUMMARY コマンドにおいてそれ自体で使用することはできません。使用される場合、グループ・プロファイルを表示する際は USERID への間接参照に基づいて指定し、ユーザー・プロファイルを表示する際は CONGRPNM または CGGRPNM への間接参照に基づいて指定する必要があります。

重大度

12

CKR0543 7件を超える JES サブシステムはサポートされません。*ddname* システム *smfid* [*version*] [-*generation*] で VERIFY/REPORT STC にエラーがあります (More than 7 JES subsystems not supported -

VERIFY/REPORT STC in error for ddname system smfid [version] [-generation])

説明

このメッセージは、**VERIFY STC** コマンドまたは **REPORT STC** コマンド、あるいは newlist タイプ COMPLIANCE、ID、または TRUSTED により生成されます。システムが、7 を超える JES2 または JES3 サブシステムで分析されたことを示します。zSecure ではこれをサポートしていません。示されたシステムに対する開始タスク、STC または TSO プロシージャ・ライブラリーについて要求されたレポートは、誤っているか不完全です。

重大度

16

CKR0544 **LX が高すぎます。(LX too high!)
LXAT 索引=index (16 進数)、LX=val (16 進数)、ジョブ名 jobname。最大値は val2 (10 進数) です (LXAT index=index (hex) for LX=val (hex) jobname jobname; maximum is val2 (dec))**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=PC (プログラム呼び出しレポート) によって生成されます。内部エラー、または CKFREEZE ファイルでの不整合を示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0545 **システム system の NEWLIST TYPE=PC 要求が行われましたが、使用可能な PC データがありません。(NEWLIST TYPE=PC request for system system, but no PC data available.)**原因は、CKFREEZE が古いか、または APF 以外の CKFREEZE である可能性があります (Perhaps old or non-APF CKFREEZE)

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=PC (プログラム呼び出しレポート) によって生成されます。示されている system についてプログラム呼び出しレポートが要求されたが、そのプログラム呼び出しデータを使用できな

かったことを示します。使用されている CKFREEZE ファイルを確認してください。プログラム呼び出しレポートでは、zSecure Audit などを使用した、zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。

重大度

00

CKR0546 **SYSTEM system について、NEWLIST TYPE=PC CKFREEZE データが不完全です。(NEWLIST TYPE=PC CKFREEZE data incomplete for SYSTEM system)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=PC (プログラム呼び出しレポート) によって生成されます。当該システムの CKFREEZE が、ASN および LX の再利用サポートに対応した最新の zSecure Collect で構成されていないことを示します。以前の z/OS リリースを実行するシステムで発行された場合、これは、内部エラーまたは CKFREEZE ファイルでの不整合を示します。

重大度

20

CKR0547 **NEWLIST TYPE=MSG が要求されましたが、MPFT が見つかりません。古い CKFREEZE である可能性があります。(NEWLIST TYPE=MSG requested but no MPFT found. Possibly old CKFREEZE)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。MPF レポートが要求されたが、当該 MPF データが使用可能でなかったことを示します。使用されている CKFREEZE ファイルを確認してください。MPF レポートでは、zSecure Audit などを使用した、zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。

重大度

04

CKR0548 **NEWLIST TYPE=MSG が要求されましたが、MPFTENTY が見つかりません。(NEWLIST TYPE=MSG requested but no MPFTENTY found)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。MPF レポートが要求されたが、当該 MPF データが使用可能でなかったことを示

します。使用されている CKFREEZE ファイルを確認してください。MPF レポートでは、zSecure Audit などを使用した、zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。

重大度

04

CKR0549 **NEWLIST TYPE=MSG では CKFREEZE が必要です。(NEWLIST TYPE=MSG requires CKFREEZE)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。MPF レポートが要求されたが、CKFREEZE ファイルが使用されていないことを示します。MPF レポートでは CKFREEZE ファイルが必要です。使用している JCL または入力ファイル・セットを確認してください。

重大度

08

CKR0550 **NEWLIST TYPE=MSG で、予期しない MPFTVRSN version が検出されました。version2 が必要です。(NEWLIST TYPE=MSG unexpected MPFTVRSN version, expected version2)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。内部エラー状態を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。使用している MVS レベルと、示されている両方のバージョン番号を報告してください。

重大度

20

CKR0551 **必要な MPFT は amount1 ですが、amount2 が検出されました。(Expected MPFTs: amount1; got amount2)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。内部エラー状態を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0552 **system について、使用可能な SMF サブシステム情報はありません。(No SMF subsystem information available for system)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=SMFOPT (SMF サブシステム・オプション・レポート) によって生成されます。示されている system について、SMF サブシステム情報を使用できなかったことを示します。CKFREEZE ファイルを確認してください。このレポートでは、zSecure Audit などを使用した、zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。

重大度

08

CKR0553 **ディレクトリーとリソース規則が、システム system で nnnn バイトを使用しています (Directories and resource rules use nnnn bytes for system system)**

説明

このメッセージは、プログラムがストレージ内 ACF2 リソース規則ディレクトリーおよびリソース・ルール・セットの作業用コピーを作成するのに必要なストレージの量を示します。

重大度

00

CKR0554 **TCP/IP インターフェース接続が失敗しました。エラー・コードは code です。(TCP/IP interface connection failed, error code code)**

説明

zSecure を TCP/IP インターフェースに接続しようとしたときに、障害が発生しました。エラー・コードは、z/OS インフォメーション・センターの『z/OS Communications Server: IP and SNA Codes』に記載されています。ここにリストされていないコードは、『z/OS UNIX System Services Messages and Codes』に戻りコードとして記載されています。

ご使用の z/OS バージョンのインフォメーション・センターにアクセスするには、[z/OS Internet Library](#) を参照してください。

重大度

04

CKR0555 ビット・マスクを空にしたり、2048より長くしたりすることはできません *source* (Bitmask cannot be empty or longer than 2048 *source*)

説明

CARLa ステートメントに、空のビット・マスク値、または 2048 より長いシンボルのビット・マスク値が含まれています。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトを確認し、修正してください。

重大度

12

CKR0556 ビット・マスクは許可されません。(Bitmask is not allowed)

説明

CARLa ステートメントに、許可されないビット・マスク値が含まれています。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトを確認し、修正してください。

重大度

12

CKR0557 無効な IP アドレスまたはネットワーク接頭部「*string*」が *ddname* の行 *number* にあります (Invalid IP address or network prefix '*string*' at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、CARLa スクリプトに、無効な IP アドレスまたはネットワーク接頭部の指定 (IPv4 または IPv6 のいずれか) があることを示します。

ユーザーの処置

対応する CARLa スクリプトを調整して、有効な IP アドレスまたはネットワーク接頭部の指定を行ってください。ネットワーク接頭部は、IP アドレス、スラッシュ文字 (/)、および接頭部の長さを示す整数で構成されます。IPv4 アドレスの場合、接頭部の長さは最大 32 文字にすることができます。IPv6 アドレスの場合、接頭部の長さは最大 128 文字にすることができます。

重大度

12

CKR0558 CKRRMRG - ロギング中に正しくない見出し *eyecatcher* が検出されました。(CKRRMRG - Illegal *eyecatcher* *eyecatcher* during logging)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0559 CKRRMRG - Nil ポインターが検出されました。(CKRRMRG - Nil pointer found)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0560 STARTED クラス内にプロファイルは存在しますが、クラスがアクティブではありません。ICHRIN03 が使用されます。(Profiles in STARTED class exist, but class not active - ICHRIN03 is used.)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内のプロファイルは存在するが、クラスがアクティブでないことを示します。この結果、プロファイルは無視され、代わりに開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が使用されます。

重大度

00

CKR0561 STARTED クラスはアクティブですが、プロファイルが見つかりません。ICHRIN03 が使用されます。

(STARTED class active, but no profiles found - ICHRIN03 is used)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラスがアクティブであるが、プロフィールが含まれていないことを示します。この結果、代わりに開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が使用されます。

重大度

00

CKR0562 **ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE/SMF は、他のソース ID と組み合わせることはできません。ddname、行 number。(ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE/SMF cannot be combined with other source identifiers - at ddname line number)**

説明

ストレージ内の制御ブロックから取得されたデータ・ソースを参照する ALLOC ステートメントは、同時に外部データ・ソースを指すことはできません。

重大度

12

CKR0563 **STARTED プロファイル profile に STDATA セグメントがありません。ICHRIN03 が使用されます。newuser note に対する action。(STARTED profile profile has no STDATA segment - ICHRIN03 is used - action to newuser note)**

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている profile に、STDATA セグメントが含まれていないことを示します。この結果、示されているプロフィールは無視され、代わりに開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が使用されます。STUSER 指定 newuser を使用して、STDATA セグメントを作成するためのコマンドが生成されます。プロフィールの最初の修飾子が有効なユーザー ID である場合、newuser は user(=MEMBER)、action は correct となり、その後でプロフィールは使用可能になりますが、「ただし、ユーザー ID は取り消されている」に注意しなければならない場合があります。これは、開始タスクが下位の権限で実行され、問題が発生する可能性があることを意味します(CKR0575 で示されています)。プロフィールの最初の修飾子が有効な

ユーザー ID でない場合、newuser は NOUSER、action は change となり、このプロフィールに対する以降の VERIFY STC では、CKR0564 が発行されます。

重大度

08

CKR0564 **STARTED プロファイル profile に STUSER が指定されていません。ICHRIN03 が使用されます。(No STUSER specified on STARTED profile profile - ICHRIN03 is used)**

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている profile に、STDATA セグメント内の STUSER フィールドが含まれていないことを示します。この結果、示されているプロフィールは無視され、代わりに開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が使用されます。この状態は意図的なものである可能性があるため、この状態を解決するためのアクションは試行されません。

重大度

08

CKR0565 **STARTED プロファイル profile に、STUSER としてグループ ID group が含まれています。「user」が使用されます。newuser note に対する action。(STARTED profile profile contains group id group as STUSER - "user" is used - action to newuser note)**

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている profile に、STDATA セグメント内の STUSER フィールドの有効なユーザー ID が含まれていないが、グループ名 id は含まれていることを示します。この結果、プロフィールで指定されているユーザーは無視され、代わりに未定義のユーザー ID user が使用されます。エラーのある指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロフィールの最初の修飾子が有効なユーザーである場合、newuser はメンバー名を使用するように user(=MEMBER) に設定され、action は correct となりますが、「ただし、ユーザー ID は取り消されている」に注意しなければならない場合があります。これは、開始タスクが下位の権限で実行され、問題が発生する可能性があることを意味します(メッセージ CKR0575 で示されています)。プロフィールの最初の修飾子が有効なユーザーでない場合、フィールドが削除対象であることを示すために NOUSER に設定され、action は change となり、note はありません。提示された変更の実行後、

このプロファイルは使用不能となり、RACF は開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、このプロファイルに対する以降の VERIFY STC では、CKR0564 が発行されます。

重大度

08

CKR0566 **STARTED** プロファイル *profile* に、未定義の **STUSER id** があります。「*user*」が使用されます。*newuser note* に対する *action*。(STARTED profile *profile* has undefined **STUSER id - "user" is used - action to newuser note**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラス内の指定された *profile* の STDATA セグメントの STUSER フィールドで、ユーザー ID *id* が有効でないことを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザーは無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。エラーのある指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーである場合、*newuser* はメンバー名を使用するように **user(=MEMBER)** に設定され、*action* は **correct** になります。ただし、*note* は「ただし、ユーザー ID は取り消されている」を指定する場合があります。これは、開始タスクが下位の権限で実行され、(メッセージ CKR0575 で示されるような)問題が発生する可能性があることを意味します。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーでない場合、フィールドが削除対象であることを示すために、*newuser* は **NOUSER** に設定され、*action* は **change** に設定され、*note* は指定されません。提示された変更の実行後、このプロファイルは使用不能となり、RACF は開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、このプロファイルに対する以降の VERIFY STC では、CKR0564 が発行されます。

重大度

08

CKR0567 **STARTED** プロファイル *profile* に、グループ ID である **STUSER =MEMBER** があります。*procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「*user*」が使用されます (STARTED profile *profile* has **STUSER =MEMBER, which is a groupid - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STUSER フィールドの値 **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャー *procname* が有効なユーザー ID ではなく、グループ ID であることを示します。この結果、プロシージャー名はユーザー ID としては使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャーにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0568 **STARTED** プロファイル *profile* に、未定義の **STUSER =MEMBER** があります。*procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「*user*」が使用されます (STARTED profile *profile* has **STUSER =MEMBER, which is undefined - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STUSER フィールドの値 **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャー *procname* が有効なユーザー ID でないことを示します。この結果、プロシージャー名はユーザー ID としては使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャーにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0569 **STARTED** プロファイル *profile* に、**STUSER** と **STGROUP =MEMBER** の両方があります。「*user*」が使用されます。*deletions* に対する *action*。(STARTED profile *profile* has both **STUSER and STGROUP =MEMBER - "user" is used - action to deletions**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* において、STDATA セグメント内の STUSER と STGROUP の両方のフィールドに値 **=MEMBER** があることを示します。どのプロシージャー名でも、ユーザー ID とグループ ID の両方に同時に一致することは不可能であるため、これはプロファイル・レベルのエラーを意味します。この結果、プロファイル内の指定は無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。プロファイルの最初の修飾子が個別の修飾子である場合、これがユーザー ID と一致するのか、グループ ID と一致するのか、または両方と一致しないのかが検査されます。それぞれ、*deletions* には **NOGROUP** または **NOUSER**、あるいはその両方が含まれ、削除対象の指定内容を示します。プロファイルの最初の修飾子が総称である場合、このような検査を行うことはできず、*deletions* は **NOGROUP** となります。これは、問題を解決できる可能性がある唯一の方法です(一部のマッチング・プロシージャーの場合)。問題が確実に修正された場合(個別の最初の修飾子が有効なユーザー ID と一致する場合)のみ、*action* は **correct** となります。それ以外の場合は、**change** となります。

重大度

08

CKR0570 **STARTED** プロファイル *profile* に、**STGROUP** としてユーザー ID *id* が含まれています。「*user*」が使用されます。*newgroup note* に対する *action*。(STARTED profile *profile* contains userid *id* as STGROUP - "*user*" is used - *action* to *newgroup note*)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラスの *profile* に、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドの有効なグループ ID ではなく、無効なユーザー ID *id* が含まれていることを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザーは無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。エラーのある指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なグループである場合、*newgroup* はメンバー名を使用するように **group(=MEMBER)** に設定されます。そうでない場合は、フィールドが削除対象であることを示すために **NOGROUP** に設定されます。*Note* は、ユーザー ID *id* および *newgroup* に関する追加の問題を示します。*Note* は存在しないか、以下のいずれかの値を持っている可能性があります。

ただし、接続されていない (but still unconnected)

=MEMBER は有効なグループだったが、それでも (CKR0574 で示されるように) プロファイル指定が無視される。

ただし、ユーザー ID は取り消されている (but userid still revoked)

開始タスクが下位の権限で実行されたが、まだ (CKR0575 で示されるような) 問題が発生した可能性がある。

ただし、接続されていない、ユーザー ID は取り消されている (but still unconnected, userid still revoked)

両方の問題が残っている場合 (CKR0150)。

ユーザー ID の取り消し状況にかかわらず、結果のプロファイル指定が使用可能となる場合 (欠落している接続なし)、*action* は **correct** となります。それ以外の場合、**change** となります。

重大度

08

CKR0571 **STARTED** プロファイル *profile* に、未定義の **STGROUP** *id* があります。「*user*」が使用されます。*newgroup note* に対する *action*。(STARTED profile *profile* has undefined STGROUP *id* - "*user*" is used - *action* to *newgroup note*)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドの有効なグループ ID が含まれていないが、値 *id* は含まれていることを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザーは無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。エラーのある指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なグループである場合、*newgroup* はメンバー名を使用するように **group(=MEMBER)** に設定されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なグループでない場合、フィールドが削除対象であることを示すために **NOGROUP** に設定されます。*Note* は、ユーザー ID *id* および *newgroup* に関する追加の問題を示します。「ただし、接続されていない (but still unconnected)」は、**=MEMBER** は有効なグループであるが、プロファイル指定は無視されることを示します (CKR0574 で示されています)。「ただし、ユーザー ID は取り消されている」は、開始タスクが下位の権限で実行され、問題が発生する可能性があることを意味します (CKR0575 で示されています)。両方の問題が残っている場合、または存在しない可能性がある場合は、「ただし、接続されていない、ユーザー ID は取り消されている (but still unconnected, userid still revoked)」とな

ります (CKR0150)。ユーザー ID の取り消し状況にかかわらず、結果のプロファイル指定が使用可能となる場合 (欠落している接続なし)、*action* は **correct** となります。それ以外の場合、**change** となります。

重大度

08

CKR0572 **STARTED** プロファイル *profile* に、ユーザー ID である **STGROUP =MEMBER** があります。 *procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「*user*」が使用されます (**STARTED profile profile has STGROUP =MEMBER, which is a userid - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドの値 **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* が有効なグループ ID ではなく、ユーザー ID であることを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザー ID は使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。 *profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0573 **STARTED** プロファイル *profile* に、未定義の **STGROUP =MEMBER** があります。 *procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「*user*」が使用されます (**STARTED profile profile has STGROUP =MEMBER, which is undefined - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドの値 **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある JCL を持つ

サブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* が有効なグループ ID でないことを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザー ID は使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。 *profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0574 **STARTED** プロファイル *profile* ユーザー *id* が、グループ *group* に接続されていません。「*user*」が使用されず。 (**STARTED profile profile user id not connected to group group - "user" is used**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、有効なユーザーおよびグループが含まれているが、ユーザー *id* はグループ *group* に接続されていないことを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザー ID は使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。このメッセージはプロファイル・レベルのエラーを示しますが、望ましい解決策が不明なため、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0575 **STARTED** プロファイル *profile* でユーザー ID *user* が取り消されています。下位のアクセス権限で実行されます。 (**STARTED profile profile has revoked userid user - executes with reduced access**)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、有効なユーザーおよびグループが含まれているが、そのユーザー *user* は取り消されていることを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザー ID は使用されますが、開始タスクは下位のアクセス権限で実行されるため、問題が発生する可能性があります。このメッセージはプロファイル・レベルのエラーを示しますが、望ましい解決策が不明なため、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0576 **STARTED** プロファイルが見つかりません。 **ICHRIN03** が使用されます - *procname volume dsn* システム *system subsystem* (No **STARTED** profile found, **ICHRIN03** is used - *procname volume dsn system system subsystem*)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されているプロシージャ *procname* が、**STARTED** クラスのプロファイルと一致しないことを示します。この結果、代わりに開始プロシージャ・テーブル **ICHRIN03** が使用されます。

重大度

00

CKR0577 **STARTED** プロファイル *profile* が、開始済みプロシージャによって使用されていません。 (**STARTED** profile *profile* not used by any started procedure)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。 **STARTED** クラス内の、示されている *profile* が、いずれのプロシージャにも使用されていないことを示します。プロファイルが予備である可能性があります。

注: 許可されていないライブラリーから zSecure Collect を実行することで作成された CKFREEZE ファイルが使用されている場合にも、このメッセージが発行される場合があります。 zSecure Collect が APF 許可プログラムとして実行される場合、クロスメモリー機能を使用して、STCPROC (または STCPROC が無い場合は PROC00) に割り振られるデータ・セットを検出します。その後、これらの各 *proclib* の PDS ディレクトリーを読み取ります。無許可の実行で PDS データ・セットのディレクトリーをダンプするように zSecure Collect に指示するのでは不十分であることに注意してください。これらのデータ・セットは *proclib* として認識されないからです。

重大度

00

CKR0578 **STARTED** プロファイル *profile* ユーザー *id* が、グループ *group* に接続されていません。 *procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「*user*」が使用されます (**STARTED** profile *profile* user *id*

not connected to group *group* - "user" is used for *procname volume dsn system system subsystem*)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、ボリューム *volume* 上のデータ・セット *dsn* にある JCL を持つシステム *system* 上のサブシステム *subsystem* のプロシージャ *procname* に適用されます。 **STARTED** クラス内の、示されている *profile* における問題を示しています。STDATA セグメント内の STUSER フィールドのユーザー *id* が、STGROUP フィールド内のグループに接続されていないため、未定義のユーザー ID *user* が使用されます。 *profile* の最初の修飾子が総称であり、ユーザー *id* または *group* が **=MEMBER** として指定されているため、*procedure* として評価されています。そのため、主となる問題はプロファイル・レベルの状態に関するものではなく、コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0579 **STARTED** プロファイル *profile* でユーザー ID **=MEMBER** が取り消されています。 *procedure volume dataset* では下位のアクセス権限で実行されます。 (**STARTED** profile *profile* has revoked userid **=MEMBER** - reduced access for *procedure volume dataset*)

説明

このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。 **STARTED** クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STUSER フィールドの値 **=MEMBER** が含まれており、*procedure* を使用する必要があることを示します。ただし、*procedure* は有効なユーザー ID ですが、取り消されているため、開始タスクは下位の権限で実行され、問題が発生する可能性があります。 *profile* の最初の修飾子は総称であるため、問題はプロファイル・レベルの状態に関するものではありません。コマンドは生成されません。

重大度

08

CKR0580 システム *system* の TSO ユーザー *user* は、RACF パスワード制御の影響を受けません。 *volume dataset*。 (**TSO** user *user* on system *system* not subject to RACF password control - *volume dataset*)

説明

このメッセージは、VERIFY TSOALLRACF コマンドによって作成されます。指定された *system* において、示されている *user* が、示されている UADS *data set* に含まれているが、有効な RACF ユーザー ID ではないことを示します。この結果、UADS データ・セットで指定されているパスワードを使用して、このユーザー ID でログオンできます。RACF 制御の影響は受けません。

重大度

08

CKR0581 システム *system* の TSO ユーザー *user* に、TSO セグメントがありません。 *volume dataset*。 (TSO user *user on system system does not have a TSO segment - volume dataset*)

説明

このメッセージは、VERIFY TSOALLRACF コマンドによって作成されます。指定された *system* において、示されている *user* が、示されている UADS *data set* に含まれており、これは有効な RACF ユーザー ID であるが、TSO セグメントが存在しないことを示します。このユーザー ID は RACF 制御の影響を受けますが、その TSO 属性は、RACF データベースではなく UADS データ・セットから取得されます。

重大度

08

CKR0582 指定されたタイプでは、ALLOC SMF は無効です。 *ddname*、行 *number* の *token* より前。 (ALLOC SMF invalid for specified type - before token at *ddname line number*)

説明

このメッセージは、ALLOC コマンドが無効であることを示します。新規の構文コマンドでは、コマンドごとに 1 つの入力ソースのみ記述できます。

重大度

12

CKR0583 VSMLIST 戻りコード *value* (VSMLIST return code *value*)

説明

稼働中の MVS システムが検証され、VSMLIST サービスが、サポートされない戻りコードを返した場合に、このメッセージが発行される場合があります。 [電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付け

られた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。示されている *value* と、使用している MVS レベルを報告してください。

重大度

08

CKR0584 システム *system* はパスワードのハッシュ処理を使用しています。 (System *system* uses password hashing)

説明

このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。指定された *system* において、使用されているパスワード暗号化方式はハッシュ処理であることを示します。RACF データベースに対する READ アクセス権限を持つユーザー、または RACF データベースのコピー/バックアップ権限を持つすべてのユーザーが、すべてのパスワードをデコードできる可能性があります。

重大度

00

CKR0585 取り消されたユーザーに不十分なパスワードが設定されています。 *user*。 (Revoked user with weak password - *user*)

説明

このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。示されている、取り消された *user* に、不十分な DES 暗号化パスワードが設定されていることを示します。パスワードは、このメッセージには含まれません。

重大度

00

CKR0586 ユーザーに不十分なパスワードが設定されています。 *user*。 (User with weak password - *user*)

説明

このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。示されている非取り消し *user* に、不十分な DES 暗号化パスワードが設定されていることを示します。パスワードは、このメッセージには含まれません。

重大度

00

CKR0587 取り消されたユーザーにハッシュ処理パスワードが設定されています。
user. (Revoked user with hashed password - user)

説明

このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。示されている、取り消された *user* に、容易にデコードできるハッシュ処理パスワードが設定されていることを示します。パスワードは、このメッセージには含まれません。

重大度

00

CKR0588 ユーザーにハッシュ処理パスワードが設定されています。**user. (User with hashed password - user)**

説明

このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。示されている非取り消し *user* に、容易にデコードできるハッシュ処理パスワードが設定されていることを示します。パスワードは、このメッセージには含まれません。

重大度

00

CKR0589 パスワード結果要約の確認(複合システム *complex [version]*) (Verify password result summary *complex complex [version]*)
取り消されたユーザーにハッシュ処理パスワードが設定されています:
num1 (Revoked users with hashed password: num1)
非取り消しユーザーにハッシュ処理パスワードが設定されています:
num2 (Non-revoked users with hashed password: num2)
取り消されたユーザーに不十分な DES パスワードが設定されています:
num3 (Revoked users with weak DES password: num3)
非取り消しユーザーに不十分な DES パスワードが設定されています:
num4 (Non-revoked users with weak DES password: num4)

説明

このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。ハッシュ処理パスワードまたは不十分な DES 暗号化パスワードを持つ、検出された取り消しユーザーおよび非取り消しユーザーの数の要約が示されます。

重大度

00

CKR0590 パスワードの検証では、アンロードではなく **RACF** データベースが必要です(複合システム *complex [version]*) (Verify password requires RACF database, not unload for complex *complex [version]*)

説明

このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。VERIFY PASSWORD コマンドが、「実際の」RACF データベース(1次、バックアップ、またはコピー)ではなく、アンロードされた RACF データベースで使用されたことを示します。アンロードされたデータベースにはパスワード情報が含まれていないため、パスワード検証を実行できません。

重大度

00

CKR0591 *system[version]* の **ICHNCV00** 構文解析での警告:
warning、規則 *convention-name type*、節 *number* (Warning in **ICHNCV00** parse for *system* : **warning** in *convention convention-name type clause number*)

説明

このメッセージは、ICHNCV00 機能はサポートされているが、いくつかの制限付きでシミュレートされることを示します。*warning* は、サポートされない機能のタイプを示します。*type* および *number* で示されているように、この機能は SELECT 節または ACTION 節内の規則 *convention-name* で使用されています。このとき、RACGPID および RACUID 機能の使用のために、このメッセージが発行されます。これは抑制することができません。

重大度

04

CKR0592 *system[version]* の **ICHNCV00** 構文解析でのエラー:
error、規則 *convention-name type*、

節 number (Error in ICHNCV00 parse for system: error in convention convention-name type clause number)

説明

このメッセージは、ICHNCV00 を構文解析できなかつたか、ICHNCV00 機能がサポートされていないことを示します。これにより、テーブルはシミュレートされません。error は問題を示しています。機能がサポートされない場合、type および number で示されているように、メッセージには、オプションで規則 convention-name、SELECT 節または ACTION 節が示されます。このメッセージは抑制することができます。

重大度

04

CKR0593 構文解析エラーのため、ICHNCV00 は使用されません。(ICHNCV00 not used because of parse errors)

説明

このメッセージは、ICHNCV00 を構文解析できなかつたか、zSecure がサポートしていない機能を使用したために、ICHNCV00 が使用されないことを示します。問題を示す、1つ以上の CKR0592 メッセージが先行しています。

重大度

00

CKR0594 システム system: zSecure は、date time の ICHNCV00 を使用をシミュレートできません not。suppressed 再構成された ICHNCV00 ソース・コードが contents に続きます (System system: using ICHNCV00 of date time Cannot be simulated by zSecure suppressed Reconstructed ICHNCV00 source code follows contents)

説明

このメッセージは、SHOW ICHNCV00 コマンドによって生成されます。2番目の行は、zSecure が命名規則テーブルをシミュレートできるかどうかをレポートします。この場合、not は省略され(not ではない)、必要に応じて追加の行の suppressed が「ただし、**SUPPRESS ICHNCV00** によって抑止 (But was suppressed by **SUPPRESS ICHNCV00**)」として示される場合があります。

重大度

00

CKR0595 ICHNCV00 シミュレーションでは、長さ size の修飾子はサポートされません。(Qualifier of length size not supported in ICHNCV00 simulation)

説明

このメッセージは、ICHNCV00 のシミュレーション中に生成されます。ソース・データ・セット名が、示されている size (ゼロであるか 8 より大きい) の修飾子を使用したことを示します。zSecure では、データ・セット名は変換されません。

重大度

00

CKR0596 次の空の修飾子より後の割り当てはサポートされません。システム system (Assignment beyond next empty qualifier not supported system system)

説明

このメッセージは、ICHNCV00 のシミュレーション中に生成されます。命名規則テーブルに、使用中の最後の修飾子および未使用の最初の修飾子より後で出力修飾子 UQ に対して割り当てを行うアクションがあり、データ・セット名には差異が残ることを示します。zSecure は、データ・セット名を変換しません。

重大度

00

CKR0597 指定されたタイプでは、ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE は無効です。ddname、行 number の token より前。(ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE invalid for specified type - before token at ddname line number)

説明

このメッセージは、ALLOC コマンドが無効であることを示します。現行の入力ソース標識が、これをサポートしないタイプを指定して使用されました。

重大度

12

CKR0598 値「none」は、他の scan_inst 値と同時に使用することはできません。
(The value "none" is mutually exclusive with other scan_inst value)

説明

指示スキャン・フィールドの SELECT の値 NONE が、他の指示スキャン値を使用したリストで使用されています。これは許可されません。代わりに、明示的 OR を使用してください。

重大度

12

CKR0599 **BUNDLEBY=field** の **DEFINE** は、ステートメントに対するタイプ **AS** で

ある必要があります。 **ddname**、行 **number** (**DEFINE for BUNDLEBY=field** must be of type **AS** for statement at **ddname** line **number**)

説明

変数が BUNDLEBY 値として使用される場合、DEFINE AS で定義された変数である必要があります。要約統計、ブール、または SMF フィールドを使用することはできません。

重大度

12

CKR メッセージ 600 から 699

CKR0600 **BUNDLE** なしの **ENDBUNDLE**
(**ENDBUNDLE** without **BUNDLE**)

説明

このエラー・メッセージは、ENDBUNDLE コマンド (通常は NEWLIST のバンドルを終了する) が検出されたが、バンドルを開始するための BUNDLE コマンドが、その前に検出されなかったことを示します。

重大度

12

CKR0601 **BUNDLE** のネストは許可されていないため、**ddname** の行 **number** で、**BUNDLE** に対して **ENDBUNDLE** が欠落している箇所を確認してください (Nested **BUNDLE** not allowed, check missing **ENDBUNDLE** for **BUNDLE** at **ddname** line **number**)

説明

このエラー・メッセージは、2つの BUNDLE コマンドの間に ENDBUNDLE がないことが検出されたことを示します。BUNDLE コマンドをネストすることはできません。

重大度

12

CKR0602 **ddname** の行 **number** で、**BUNDLE** の前に **ENDMERGE** を実行してください (Issue **ENDMERGE** before **BUNDLE** at **ddname** line **number**)

説明

このエラー・メッセージは、BUNDLE コマンドが、MERGELIST - BUNDLE のシーケンスの中で検出されたことを示します。このシーケンスの中に ENDMERGE コマンドが含まれている必要があります。BUNDLE - ENDBUNDLE のシーケンスの中に MERGELIST - ENDMERGE を組み込むことは可能ですが、その逆を行うことはできません。

重大度

12

CKR0603 **ddname** の行 **number** で、**BUNDLE** に **DISPLAY** を組み込むことはできません (**BUNDLE** cannot contain **DISPLAY** - at **ddname** line **number**)

説明

このエラー・メッセージは、DISPLAY コマンドが BUNDLE - ENDBUNDLE 内で検出されたことを示します。BUNDLE コマンドは、印刷出力用であるため、対話式的表示は許可されません。

重大度

12

CKR0604 **BUNDLE** または **NEWLIST** に **BUNDLEBY** がありませんが、これは **ddname** の行 **number** で必要です (**BUNDLEBY** not on **BUNDLE** or **NEWLIST** but required at **ddname** line **number**)

説明

BUNDLE - ENDBUNDLE コマンドでは、BUNDLE またはバンドル内の各 NEWLIST に、BUNDLEBY パラメーターが必須です。この場合、このパラメーターが欠落しています。

重大度

12

CKR0605 ユーザー定義 SMF フィールドの数は **32767** を超えてはなりません
(More than 32767 user-defined SMF fields not possible)

説明

このメッセージは、SMF レポートのユーザー定義フィールド数の内部制限に達したことを示します。DEFINE SMF_FIELD、SMF_SECTION、または RACF_SECTION コマンドの数を減らしてください。

重大度

12

CKR0606 *field* は **Select/Exclude/Define-As** でのみ使用できます - *ddname* の行 *number* (*field* may only be used in Select/Exclude/Define-As - at *ddname* line *number*)

説明

示された *field* (SMF_FIELD、SMF_SECTION、または RACF_SECTION) が、出力コマンドで使用されていました。これらのフィールド (ユーザー定義の SMF フィールドを作成するために使用される) は、出力コマンドに直接使用することはできません。ただし、これらのフィールドを DEFINE コマンドで使用して新しい変数を作成し、その変数を出力コマンドで使用することは可能です。

重大度

12

CKR0607 *database class profile* 基本セグメントが、複合システム *complex* にありません (*database class profile base segment missing in complex complex*)

説明

マージ中に、指定されたプロファイルに基本セグメントがないことが検出されました。*Database* は、「現行 (Current)」または「ソース (Source)」です。このプロファイルは、マージ・プロセスでスキップされます。現行

フェーズが完了すると、プログラムは停止します。このメッセージは、select および exclude を指定した結果である可能性があります。次に、示されたプロファイルが損傷しているかどうかを確認する必要があります。プロファイルが損傷していない場合、プロファイル自体の正確性を確認し、不完全なプロファイルを修正または削除するアクションを実行します。

重大度

12

CKR0608 ALLOC での使用は DSN/DSNPREF/CMSFILE/PATH/FILEDESC/GETPROC/INMEM/CDP のいずれかに限られています - *ddname* の行 *number* (Use only one of DSN/DSNPREF/CMSFILE/PATH/FILEDESC/GETPROC/INMEM/CDP on ALLOC - at *ddname* line *number*)

説明

ALLOCATE コマンドで指定できるのは、DSN、DSNPREF、CMSFILE、PATH、FILEDESC、GETPROC、INMEM、および CDP パラメーターのうち、最大で 1 つのみです。

重大度

12

CKR0609 ALLOC は、*ddname* の行 *number* の *token* の前で特定のファイル形式のキーワードと特定のオプション形式のキーワードの両方を使用しています (ALLOC uses both specific file format and specific option format keywords - before token at *ddname* line *number*)

説明

ALLOCATE コマンドには、オプション形式とファイル形式という 2 つの異なる形式があります。それぞれの形式では、その形式で有効なキーワードがあり、他方の形式を表すキーワードと混在させることはできません。この 2 つの形式については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスの ALLOCATE コマンドの文書で説明されています。

重大度

12

CKR0610 ファイル形式の ALLOC は、*ddname* の行 *number* の *token* の前に明示的な TYPE および入力ソース指定が必要です (ALLOC in file format requires explicit TYPE and input

source specification - before token
at ddname line number)

ddname1 and ddname2 apply to
same system system)

説明

ALLOCATE コマンドには、オプション形式とファイル形式という2つの異なる形式があります。後者の形式を SMF キーワード (一度に両方の形式を指定する) を指定しないで使用する場合は、TYPE キーワードおよび DD、DSN、CMSFILE、PATH、FILEDESC、PRIMARY、BACKUP、ACTIVE、または INACTIVE のいずれか1つのキーワードが必要です。この2つの形式については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスの ALLOCATE コマンドの文書で説明されています。

重大度

12

CKR0612 Tapevol profile のボリュームが同等ではありません (Tapevol profile volumes not equal)

説明

言及された tapevol プロファイルのマージ中に、ソース・バージョンと現行バージョンのボリューム・リストが同等でないことが明らかになりました。プロファイルはマージされません。

重大度

04

CKR0613 2つ以上のセキュリティー・データベースの複合システム名がありません。ALLOC ステートメントで COMPLEX= を指定してください (Complex names missing for two or more security databases, specify COMPLEX= on ALLOC statement)

説明

プログラムは、割り降られたセキュリティー・データベースにデフォルトの COMPLEX 名を割り当てようとしていましたが、どの複合システムをどのデータベースに割り当てるか判別できませんでした。TYPE=RACF のすべての ALLOC ステートメントに COMPLEX パラメーターを指定してください。

重大度

12

CKR0614 警告: unload ddname1 および ddname2 が同じシステム system に適用されています (Warning: unload

説明

2つの複合システムが、同じ名前で定義されていることが明らかになりました。これは、同じ複合システム名の2つのデータベースの情報が表示されるため、表示で混乱が生じる可能性があることを意味しています。これは、ALLOC COMPLEX パラメーターを指定しないで TYPE=UNLOAD 入力ファイルを使用した場合にのみ発生することがあります。COMPLEX パラメーターを指定して再実行してください。

重大度

00

CKR0615 入力システム構成の概要 (デフォルト・システム system 複合システム complex) (Input system structure overview (default system system complex complex))

説明

このメッセージは、割り振られたファイルとその用途の概要を示しています。これは主に、zSecure による複数のシステムのさまざまな種類のファイル (UNLOAD、CKFREEZE) をどのように結合するかを決定するために使用されます。これらのファイルは、ヘッダー行の下にテーブル表示で示されます。

複合システムの値を含むメッセージ行には、レポート・ヘッダーで使用されているタイム・スタンプが表示されます。これは、UNLOAD データ・セットのタイム・スタンプであるか、またはライブ・データ・セットの使用時の現在時刻を表します。複合システムに使用可能なセキュリティー・データベースがなかった場合、データ・セット名の列が空になる場合があります。タイム・スタンプは CKFREEZE のタイム・スタンプになります。プログラムがセキュリティー・データベースのタイプを判別できなかった場合、prod 列に???? と表示される場合があります。

それぞれの入力ファイルがどのように使用されるかの詳細については、他のメッセージ行に示されます。CKFREEZE データ・セットまたは稼動中システムの prod 値の前に等号 (=) が付いている場合があります。これは、CKFREEZE が主に別の複合システム (ここでは等号は付かない) に割り当てられているという意味です。その複合システムには使用できる適切な CKFREEZE がいないため、これはフォールバックとして使用されます。つまり、例えば、対応するシステム ID を持つ SMF レコードは、CKFREEZE が等号なしで表示されている複合システム名に割り当てられることを暗黙に示しています。

重大度

00

CKR0616 システム *name* 複合システム *complex* の *product* セキュリティー・データベースがありません。制限モードでは許可されません
(Missing *product security database for system name complex complex - not allowed in restricted mode*)

説明

このメッセージは、制限モード (aka PADS) 実行では、示されたシステム *name* に対して、使用可能な *product* セキュリティー・データベース (RACF、ACF2、または TSS) がないことを示します。このため、制限モードの実行は不可能です。

重大度

12

CKR0617 システム *name* 複合システム *complex* の *product* セキュリティー・データベースがありません
(Missing *product security database for system name complex complex*)

説明

このメッセージは、1つ以上のレポートでセキュリティ情報が必要であるが、示されたシステム *name* に対して、使用可能な *product* セキュリティー・データベース (RACF、ACF2、または Top Secret) がないことを示します。このメッセージを抑止するか (SUP MSG=617) または OPTION MSGRC=(617.rc) を使用して、重大度を通知レベルまたは警告レベルに下げることができます。

重大度

16 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR0618 制限モードでは、*product* システム *system [version]* を *product2* 複合システム *complex* によって保護されているものとして処理することは許可されません (Processing *product system system [version]* as if protected by *product2 complex complex is not allowed in restricted mode*)

説明

このメッセージは、示されたシステム *system* に対して、使用可能な *product* セキュリティー・データベース (RACF、ACF2、または TSS) がないことを示します。通

常、複合システム *complex* 用の示された *product2* セキュリティー・データベースが代わりに使用されますが、これは制限モードでは許可されません。

重大度

12

CKR0619 制限モードでは、システム *name* ファイル *ddname* の **COMPLEX=*complex*** をオーバーライドすることは許可されません
(Overriding **COMPLEX=*complex*** for **system name file *ddname*** not allowed in restricted mode)
ただし、ZSECNODE、RRSF ノード、SYSPLEX、SYSNAME、または SMF ID と等しい場合を除きます (unless equal to ZSECNODE, RRSF node, SYSPLEX, SYSNAME, or SMF id)

説明

このメッセージは、示されたファイルに使用されている複合システムをオーバーライドするために、ALLOCATE コマンド上で COMPLEX= ステートメントが使用されたことを示します。このオーバーライドは、このパラメーターの値が ZSECNODE、RRSF ノード、SYSPLEX、SYSNAME、または SMF ID と等しい場合を除き、制限モードでは許可されません。

重大度

12

CKR0620 *kind* データベースに *ID name* がありません (*kind database does not have id name*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (Source)」または「現行 (Current)」) データベースの構造上のエラーを示します。ID *name* (SYS1 または IBMUSER) を検出できませんでした。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度

12

CKR0621 *kind* ID *name* は、参照されていますが定義されていません。ユーザーと

見なします (*kind id name referred to but not defined - assume user*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「**現行 (Current)**」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* の ID が、(所有者、デフォルト・グループ、上位グループとして、またはユーザー・グループ接続で) 参照されていますが検出できませんでした。回避策として、IBM Security zSecure Admin は、これをユーザーと見なします。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度

04

CKR0622 *kind ID name* がユーザーとグループの両方として定義されています (*kind id namedefined as both user and group*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「**現行 (Current)**」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* の ID は、ユーザーとグループの両方として認識されています。これは、データベースの構造上のエラーが原因であり、ID をマージする前に修復する必要があります。グローバル EXCLUDE コマンドを使用することによって、この問題を回避できる可能性があります。

重大度

12

CKR0623 *kind ID name* には所有者がいません。SYS1 と見なします (*kind id name has no owner - assume SYS1*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「**現行 (Current)**」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* の ID が検出されましたが、所有者を判別できませんでした。回避策として、IBM Security

zSecure Admin は、所有者が SYS1 であるものと見なします。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度

04

CKR0624 *kind* ユーザー *name* には、デフォルト・グループおよび接続がありません (*kind user name has no default-group and no connects*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「**現行 (Current)**」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* のユーザーに対して、デフォルト・グループを検出することができず、フォールバックとして機能する他の接続を検出することもできませんでした。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度

12

CKR0625 *kind* グループ *name* の上位グループがありません。SYS1 と見なします (*kind group name has no superior-group - assume SYS1*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「**現行 (Current)**」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* のグループが検出されましたが、上位グループを判別できませんでした。回避策として、IBM Security zSecure Admin は、上位グループが SYS1 であるものと見なします。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/

ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度

04

CKR0626 *kind* グループ *name* には *supgrp*<>*owning* グループがあり、所有者を *supgrp* に設定する必要がありますと見なしています (*kind group name has supgrp<>owning group, assuming owner should be set to supgrp*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (Source)」または「現行 (Current)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* のグループが検出されましたが、このグループには上位グループおよび所有者とは異なるグループがあります。回避策として、zSecure Audit は、上位グループを所有者としても使用する必要があると見なします。これは、データベースの構造上のエラーが原因です。

重大度

04

CKR0627 *kind* データベースに構造上のエラーがあります。VERIFY CONNECT、PERMIT を実行してください (*kind database has structural errors - please run VERIFY CONNECT,PERMIT*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行され、*kind* (ソースまたは現行) データベースの構造上のエラーが、先行メッセージで診断されたことを示します。VERIFY PERMIT および/または VERIFY CONNECT を実行してください。

重大度

00

CKR0628 TVTOC マージはサポートされていません (TVTOC merge not supported)

説明

マージ中に、TVTOC を持つ一部の TAPEVOL プロファイルがソース・データベースと現行データベースの両方に

存在することが検出されました。このメッセージは、このようなプロファイルがマージされないことを警告するために出されます。

重大度

04

CKR0629 *kind* データベースは *ID name* を持ちますが、*user/group* ではありません (*kind database has id name but is not a user/group*)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (Source)」または「現行 (Current)」) データベースの構造上のエラーを示します。ID *name* (SYS1 または IBMUSER) が検出されましたが、その種類が正しくありません (SYS1 の場合は *group*、IBMUSER の場合は *user*)。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度

12

CKR0630 2つのマージ・ソース・データベースは許可されません (Two merge sources not allowed)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行され、2つのソース RACF データベースが検出されたことを示します。マージには、厳密に1つのソース・データベースと1つの現行データベースが必要です。RACF データベースとその機能の概要については、前の CKR0615 メッセージを参照してください。

重大度

12

CKR0631 2つのマージ現行データベースは許可されません (Two merge currents not allowed)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行され、2つの現行 RACF データベースが検出されたことを

示します。マージには、厳密に1つのソース・データベースと1つの現行データベースが必要です。RACFデータベースとその機能の概要については、前のCKR0615メッセージを参照してください。

重大度

12

CKR0632 マージにはソース・データベースおよび現行データベースが必要です (**Merge requires source and current**)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行され、ソース・データベースも現行データベースも検出されず、データベースがまったく検出されなかったことを示します。マージには、厳密に1つのソース・データベースと1つの現行データベースが必要です。RACFデータベースとその機能の概要については、前のCKR0615メッセージを参照してください。

重大度

12

CKR0633 これらの **src** グループには **SUPGROUP** 規則がありますが、選択されていません: **group ids** (These **src groups** have a **SUPGROUP** rule but are not selected: **group ids**)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、**MERGERULE SOURCEID SUPGROUP** コマンドが指定された複数のグループが検出されました。しかし、マージする対象のグループが選択されていません。これはエラーです。マージ対象のグループを選択するか、このグループの **MERGERULE** コマンドを省略してください。

重大度

12

CKR0634 **kind** ユーザー **name** には、接続 **group** を使用するデフォルト・グループがありません (**kind user name** has no default-group, using connect group)

説明

このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、**kind** (「ソース (**Source**)」または「現行

(**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された **name** のユーザーが検出されましたが、デフォルト・グループを判別できませんでした。回避策として、IBM Security zSecure Admin は、**group** への既存の接続を使用します。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル **SELECT** ステートメントまたはグローバル **EXCLUDE** ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル **SELECT** ステートメントではなく、**MERGE/ENDMERGE** ブロック内の **SELECT** ステートメントによって選択される必要があります。

重大度

04

CKR0635 マージの内部エラー: **description** (**MERGE** internal error: **description**)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に内部エラーが発生しました。示された **description** を書き留めて、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0636 マージ・フェーズ **number** でエラーが発生し、予定より早く停止しました (**Errors in merge phase number - stopped early**)

説明

IBM Security zSecure Admin データベース・マージのパス **number** 中にエラーが発生しました。このエラーは、以前のメッセージで説明されていました。これらのエラーのために、IBM Security zSecure Admin データベースのマージを続行できなくなり、停止しました。

重大度

12

CKR0637 マージには、ローカルの現行 **RACF** データベースが必要です (**Merge** requires a local **current RACF** database)

説明

マージが指定されましたが、マージ先の適切なデータベースが指定されていませんでした。zSecure サーバ

ー・ネットワークを介して、非ローカル・データベースにマージすることはできません。

重大度

12

CKR0638 マージには、ローカルの RACF ソース・データベースが必要です (Merge requires a local RACF source database)

説明

マージが指定されましたが、マージ元の適格なデータベースが指定されていませんでした。zSecure サーバー・ネットワークを介して、非ローカル・データベースからマージすることはできません。

重大度

12

CKR0639 CKREFRI: コマンド・バッファオーバーフロー (CKREFRI: command buffer overflow)

説明

このメッセージは、1 つ以上のクラスが SETROPTS REFRESH コマンドから除外されたことを示します。

重大度

08

CKR0640 以下の src ID は、規則を持っていますが、定義されていません: *ids* (The following src ids have a rule but are not defined: *ids*)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、存在しないユーザー ID またはグループ ID を指定する複数の MERGERULE SOURCEID コマンドが検出されました。これはエラーです。ユーザー ID またはグループ ID を訂正するか、示された ID の MERGERULE コマンドを省略してください。

重大度

12

CKR0641 これらの src には RENAME がありますが、選択されていないため、現行データベースに存在しません: *ids* (These src ids have a RENAME, are not selected, and do not exist in current: *ids*)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、複数の MERGERULE SOURCEID RENAME コマンドが検出されました。示された ID は、SOURCE システム上の有効なユーザー ID およびグループ ID ですが、マージ対象として選択されていないため、コマンドを SOURCE ID に適用できません。RENAME オプションで指定された新しい名前が CURRENT システムに存在しておらず、マージ中に作成されることもないため、示された ID (例えばアクセス・リスト上の ID) への参照にコマンドを適用できません。これはエラーです。マージ対象のユーザー ID またはグループ ID を選択するか、示された ID の MERGERULE コマンドを省略してください。

重大度

12

CKR0642 以下の現行 ID は、> 1 rename のターゲットです: *ids* (The following current ids are the target of > 1 rename: *ids*)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、複数の MERGERULE SOURCEID RENAME コマンドが検出されました。これらのコマンドのいくつかで、SOURCE ID を、同一の CURRENT ID に名前変更しました。これは許可されません。ただし、SOURCE データベースを複数回マージすることによって、所期の効果を実現できます。

重大度

12

CKR0643 以下のユーザーに SUPGROUP 規則が適用されています: *ids* (The following users have a SUPGROUP rule: *ids*)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、ユーザーを SOURCEID として指定している複数の MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが検出されました。これは許可されません。SUPGROUP オプションは、グループに対してのみ適用できます。MERGERULE コマンドを訂正してください。

重大度

12

CKR0644 SYS1 に対する SUPGROUP 規則は許可されません: (A SUPGROUP rule for SYS1 is not allowed:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ後に SYS1 という名前になるグループに対して上位グループを指定している複数の MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが検出されました。これは許可されません。SYS1 は上位グループを持つことはできません。src-id は元のグループ名 (名前変更前) を示し、cur-id は SYS1 になります。

元	新
src-id	cur-id

重大度

12

CKR0645 以下の現行 ID は、src+rename のターゲットです: **ids (The following current ids are the target of src +rename: ids)**

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、複数の MERGERULE SOURCEID RENAME コマンドが検出されました。これらの 1 つ以上のコマンドで、SOURCE ID が CURRENT ID に名前変更されましたが、この ID は、名前変更されなかった選択した SOURCE ID のターゲットでもあります。これは許可されません。ただし、SOURCE データベースを複数回マージすることによって、所期の効果を実現できます。

重大度

12

CKR0646 以下のユーザーが SUPGROUP として指定されました: **ids (The following users were specified as a SUPGROUP: ids)**

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、ユーザーを SUPGROUP として指定している複数の MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが検出されました。これは許可されません。SUPGROUP オプションでは、グループを新しい上位グループとして指定する必要があります。ただし、MERGERULE SOURCEID OWNER オプションを使用して、ユーザーをグループの所有者として指定することができます。MERGERULE コマンドを訂正してください。

重大度

12

CKR0647 以下のグループがソース内で検出されました。これらは、現行システムのユーザーです: **(Following groups found in source. They are users in current:)**

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ対象として選択された複数のグループの名前が、(おそらく名前変更後に) CURRENT システム上のユーザーの名前と同じであることが検出されました。これは許可されません。src-id 列はユーザーをリストし、cur-id 列はマージ後の新しい名前をリストします。MERGERULE コマンドを訂正してください。

ソース	現行
src-id	cur-id

重大度

12

CKR0648 以下のユーザーがソース内で検出されました。これらは、現行システムのグループです: **(Following users found in source. They are groups in current:)**

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ対象として選択された複数のユーザーの名前が、(おそらく名前変更後に) CURRENT システム上のグループの名前と同じであることが検出されました。これは許可されません。src-id 列はユーザーをリストし、cur-id 列はマージ後の新しい名前をリストします。MERGERULE コマンドを訂正してください。

ソース	現行
src-id	cur-id

重大度

12

CKR0649 ID が所有者として定義されていますが、定義/選択されていません: **ids (Ids defined as owner, but not defined/selected: ids)**

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ後に欠落するユーザーまたはグループを指定している複数の MERGERULE SOURCEID OWNER コマンドが検出されました。これはエラーです。MERGERULE コマンドを訂正してください。

重大度

12

CKR0650 ID が SupGroup として定義されていますが、定義/選択されていません: *ids* (Ids defined as supgroup, but not defined/selected: *ids*)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ後に欠落するグループを指定している複数の MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが検出されました。これはエラーです。MERGERULE コマンドを訂正してください。

重大度

12

CKR0651 以下のグループが SupGroup ループを構成しています: *groups* (The following groups are part of a supgroup loop: *groups*)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 3)、マージ後のグループ・ツリー構造が、示されたグループのループを構成することが判別されました。これはエラーであり、MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドを指定または訂正することによって修正する必要があります。

重大度

12

CKR0652 以下のグループはソース専用です。これらのグループのソース専用上位グループが選択されていません: (The following groups are source-only; their src-only supgrp is not selected:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 3)、複数のグループがマージ対象として選択されていること、および SOURCE データベースにのみ存在することが検出されました。さらに、SUPGROUP コマンドが指定されておらず、SOURCE システム上の上位グループがマージ対象として選択されていませんでした。これはエラーであり、ソースの上位グループを選択するか、グループを選択しないか、MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドを指定することによって修正する必要があります。

元 新 元の上位

src-grp

cur-grp

src-supgroup

重大度

12

CKR0653 以下のグループには、競合する上位グループがあり、コマンドがありません: (The following groups have conflicting supgrps, and no command:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 3)、複数のグループがマージ対象として選択されていること、および SOURCE および CURRENT の両方のデータベースにのみ存在することが検出されました。さらに、上位グループが異なっていました。ソースの上位グループもマージ対象として選択されており、この競合を解決するコマンドが指定されていませんでした。これはエラーであり、以下のような各種の方法で修正できます。(1) 選択基準を変更する。(2) MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドを指定する。(3) MERGERULE SOURCEID DATA コマンドを指定する。(4) MERGERULE DEFAULT DATA コマンドを指定する。

ソース	現行	元のソース	元の名前変更	現行の上位グループ
<i>src-grp</i>	<i>cur-grp</i>	<i>src-s</i>	<i>renamed-src</i>	<i>cur-supgroup</i>

重大度

12

CKR0654 グループ **SYS1** が名前変更され、上位グループが指定されていませんでした (Group **SYS1** was renamed, and no superior group was specified)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 3)、SOURCE データベースのグループ **SYS1** が、MERGERULE SOURCEID RENAME コマンドを使用して名前変更されたことが検出されました。しかし、新しいグループが CURRENT データベースにまだ存在しておらず、新しい上位グループが指定されていませんでした。これはエラーであり、MERGERULE SOURCEID コマンドを使用して修正できます。

重大度

12

CKR0655 これらのソース専用ユーザーには所有者がいますが、その所有者は選択されていません (These src-only users have an owner that is not selected:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 4)、ソース・データベース上にのみ存在する 1 人以上のユーザーに、現行データベースに存在せず、マージ対象としても選択されていない所有者がいることが検出されました。さらに、MERGERULE SOURCEID OWNER コマンドが指定されていません。所有者を判別できないため、これはエラーです。適切な所有者を指定するか、ユーザーのマージ対象の所有者を選択してください。

ソース	現行	ソース所有者
<i>src-user</i>	<i>cur-user</i>	<i>src-owner</i>

重大度

12

CKR0656 これらのユーザーの所有者が競合しており、コマンドがありません: (These users have conflicting owners, no command:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 4)、ソース・システムと現行システムの両方に存在する 1 人以上のユーザーの所有者が競合していることが検出されました。さらに、MERGERULE SOURCEID OWNER、MERGERULE SOURCEID DATA、または MERGEID DEFAULT DATA コマンドが指定されていませんでした。所有者を判別できないため、これはエラーです。

ソース	現行	ソースの所有者	現行の所有者
<i>src-user</i>	<i>cur-user</i>	<i>src-own</i>	<i>current-owner</i>

重大度

12

CKR0657 以下の接続には競合する属性があり、Auth 規則がありません: (The following connects have conflicting attrs and no auth rule:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 5)、1 つ以上のユーザーとグループの接続の属

性が、ソース・バージョンと現行バージョンで競合していることが検出されました。さらに、競合を解決する MERGERULE SOURCEID AUTHORITY または MERGERULE DEFAULT AUTHORITY が指定されていませんでした。これはエラーです。メッセージには、競合するユーザーとグループの接続ごとに、ソース・データベースと現行データベース上のユーザーおよびグループの名前がリストされます。

ソース・ユーザー	Src-grp	現行ユーザー	現行グループ
<i>s-user</i>	<i>s-group</i>	<i>c-user</i>	<i>c-group</i>

重大度

12

CKR0658 以下のユーザーには、マージ後の接続がありません: (The following users have no connects after the merge:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 6)、1 人以上のユーザーがマージ後にグループ接続を持たないことが検出されました。これはエラーであり、以下の方法で修正する必要があります。(1) ユーザーを選択解除する。(2) 1 つ以上の接続グループを選択する。(3) ユーザーの名前を CURRENT システムに既に存在するユーザーの名前に変更する。

ソース	現行	Src-dfltgrp
<i>src-id</i>	<i>cur-id</i>	<i>source defaultgroup</i>

重大度

12

CKR0659 以下のユーザーには dfltgrp がないため、> 1 が接続をコピーしました: (The following users have no dfltgrp, and > 1 copied connect:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 6)、1 人以上のユーザーがマージ後のグループ接続を 2 つ以上持つことが検出されましたが、ソース・デフォルト・グループがマージされず、デフォルト・グループを判別できませんでした。これはエラーであり、以下のような様々な方法で修正できます。(1) ユーザーを選択解除する。(2) マージ対象のソース defaultgroup を選択する。(3) ユーザーの名前を CURRENT システムに既に存在するユーザーの名前に変更する。

ソース	現行	Src-dfltgrp
-----	----	-------------

src-id cur-id source
defaultgroup

重大度

12

CKR0660 以下のユーザーには 2 つの dfltgrp 候補があります: (The following users have two dfltgrp candidates:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 6)、1 人以上のユーザーが 2 つのデフォルト・グループ候補を持っていること、および競合を解決できる MERGERULE SOURCEID DATA または MERGERULE DEFAULT DATA コマンドが指定されていないことが検出されました。これはエラーです。

ソース 現行 Src-dflt 現行のデフォルト

src-id cur-id src-dflt current defaultgroup

重大度

12

CKR0661 警告: *product* システム *name* が、複合システム *name2* [version] の *product2* データベースによって保護されているものとして処理されました (Warning: *product* system *name* now processed as if protected by *product2* database of complex *name2* [version])

説明

このメッセージは、示されたシステム *name* に対して、使用可能な *product* セキュリティー・データベース (RACF、ACF2、または TSS) がないことを示します。複合システム *name2* 用の、示された *product2* セキュリティー・データベースが、代わりに使用されます。

重大度

00

CKR0662 警告: 複合システム *name* 用の RACF クラス記述子テーブルが不明です。現行システム CDT を使用します (Warning: RACF Class Descriptor Table for complex *name* unknown, using current system CDT)

説明

このメッセージは、示されたシステム *name* 用の RACF クラス記述子テーブル (CDT) が見つからなかったことを示します。現行システム CDT が代わりに使用されます。

重大度

00

CKR0663 開始タスク情報がありません。ICHRIN03 がシステム *name* の *ddname* にありません。複合システム *complex* [version] (Started task info missing, ICHRIN03 not in *ddname* for system *name* complex *complex* [version])

説明

このメッセージは、VERIFY/REPORT STC によって発行されます。これは、STARTED クラスの処理は続行されるが、示されたシステム *name* のフォールバック開始タスク情報がないことを示します。レポートが不完全である可能性があります。

重大度

08

CKR0664 RACF DB の 2 パス BDAMQSAM 読み取りはサポートされていません。複合システム *name* には UNLOAD を使用してください (または、BDAMQSAM を使用しないでください) (Two-pass BDAMQSAM read of RACF db not supported, use an unload [or no BDAMQSAM] for complex *name*)

説明

RACF データベースは (UNLOAD とは対照的に) 2 パス読み取りに使用することはできません。代わりに、UNLOAD を使用してください (または、実行時に BDAMQSAM コマンドを含めないでください)。これは、操作の対象となるグループ構造を知る必要がある ANYSUPGROUP などのフィールドを照会内で指定したことや、NEWLIST TYPE=RACF の選択でロックアップを使用したこと (これには、所有権の関係などを事前に認識しておく必要があります) が原因で発生する場合があります。

重大度

12

CKR0665 UNLOAD COMPLEX= パラメーターは、NEWLIST TYPE=*type* では無効

です (UNLOAD COMPLEX=
parameter not valid for NEWLIST
TYPE=type)

説明

UNLOAD ステートメントの COMPLEX パラメーターは、アンロードする複合システム・セキュリティ・データベースを示すことが目的です。アンロード・ファイルに含めることができるのは1つの複合システムの情報のみですが、NEWLIST は複数の複合システムの情報をプリントできます。COMPLEX パラメーターは、非セキュリティ・データベース NEWLIST に対しては意味がないため、このエラー・メッセージが表示されます。

重大度

12

CKR0666 システム *system* 複合システム *complex* NJE ノード *node* に、フリー CKRCMD ファイル *ddname volume dsn* が割り当てられています (System *system* complex *complex* NJE node *node* has been assigned free CKRCMD file *ddname volume dsn*)

説明

コマンド生成は、複合システムごとに行われます。各複合システムには、独自の出力ファイルが必要です(コマンドを正しい複合システムに送信する必要があるため)。これらのメッセージは、どの TYPE=CKRCMD ファイルが、どの複合システムに使用されたかを示します。

重大度

00

CKR0667 クラスのない余分な CNSX がありません - ファイル *ddname volume dsn* (Extra CNSX without class- file *ddname volume dsn*)

説明

入力ソースのクラス記述子テーブルに含まれているクラス記述子が、CDT 拡張 (CNSX) レコードよりも少なくなっています。データベース・アンロード・ファイルでレコードが切り捨てられたか、より重大な事柄が発生している可能性があります。ファイルに DCB 属性 RECFM=VBS,LRECL=X が指定されていることを確認してください。

重大度

16

CKR0668 クラス *name* で CNSX のファイル *ddname* が一致しません (Class name CNSX mismatch file *ddname*)

説明

入力ソースのクラス記述子テーブルに含まれている CNSX ポインターが、CDT 拡張 (CNSX) レコードと異なっています。データベース・アンロード・ファイルでレコードが切り捨てられたか、より重大な事柄が発生している可能性があります。ファイルに DCB 属性 RECFM=VBS,LRECL=X が指定されていることを確認してください。

重大度

16

CKR0669 クラス *name* 以降で CNSX がファイル *ddname volume dsn* にありません。ダウン・レベル・リリースでアンロードされた可能性があります (Class name and higher miss CNSX on file *ddname volume dsn* - probably unloaded with downlevel release)

説明

アンロード・ファイルに、示されたクラスで始まるクラス記述子テーブル拡張 (CNSX) レコードがありません。レポートが誤りである可能性があります。

重大度

16

CKR0669 クラス *name* 以降で CNSX がファイル *ddname* にありません。ダウン・レベル CNFCOLL は RACF 2.2 をサポートしていません (Class name and higher miss CNSX on file *ddname* - downlevel CNFCOLL does not support RACF 2.2)

説明

CKFREEZE ファイルに、示されたクラスで始まるクラス記述子テーブル拡張 (CNSX) レコードがありません。レポートが誤りである可能性があります。

重大度

16

CKR0670 RCVT と CNST のリリースが非互換です。NEWLIST TYPE=CLASS が不完全です。 *system* に適切な CKFREEZE を割り振ってください

(Incompatible RCVT and CNST release - NEWLIST TYPE=CLASS incomplete - allocate proper CKFREEZE for system)

説明

同一のシステムで、RACF 2.2 以降の unload および CKFREEZE と、これ以前のレベルの RACF の unload および CKFREEZE とを安全に混在させることはできません。このため、NEWLIST TYPE=CLASS 出力を信頼することはできません。一貫性のある入力セット (例えば、同一システム上で生成された unload および CKFREEZE など) を使用してください。

重大度

16

CKR0671 UNLOAD の DDNAME=ddname が無効です (DDNAME=ddname is invalid on UNLOAD)

説明

unload のターゲットとして、他の目的のために予約されているファイル名を指定しました。DDNAME パラメーターで、別のファイル名を指定してください。

重大度

12

CKR0672 許可される MERGE は 1 つのみです。前のコマンドは無視されました (Only one MERGE allowed - previous ignored)

説明

複数の MERGE 入力コマンドが指定されました。最後に指定されたコマンドのみが使用されます。複数の RACF データベース・マージ・ジョブは、複数回に分けて実行する必要があります。

重大度

04

CKR0673 ソース ID id のキーワード keyword の値が重複しています (Duplicate value for keyword keyword for source id id)

説明

MERGE 入力コマンドで、オプション keyword を設定するために MERGERULE SOURCEID=id ステートメントが使用されていました。しかし、このオプションは、先行する MERGERULE コマンドで既に同じ ID に設定されています。これはエラーです。

重大度

12

CKR0673 リソース・クラス class のキーワード keyword の値が重複しています (Duplicate value for keyword keyword for resource class class)

説明

MERGE 入力コマンドで、オプション keyword を設定するために MERGERULE SOURCECLASS=class ステートメントが使用されていました。しかし、このオプションは、先行する MERGERULE コマンドで既に同じ一般リソース・クラスに設定されています。これはエラーです。

重大度

12

CKR0674 ENDMERGE なしで EOF に達しました。ENDMERGE が指定されたものと見なします (EOF without ENDMERGE... ENDMERGE assumed)

説明

MERGE 入力コマンドで、入力が MERGE コマンドの読み取り後、ENDMERGE コマンドの読み取り前に終了しました。終了のための ENDMERGE が指定されたものと見なします。

重大度

04

CKR0675 警告: ALLOC TYPE=CKRCMD FILE=ddname COMPLEX=name の複合システムは処理されませんでした (Warning: complex not processed for ALLOC TYPE=CKRCMD FILE=ddname COMPLEX=name)

説明

示された複合システム用の CKRCMD 出力ファイルが指定されましたが、この複合システムは入力セット内で見つかりませんでした。出力ファイルは使用されません。

重大度

00

CKR0676 これらのグループの OWNER パラメーターは、supgroup と同じではありません (These groups have an

OWNER parameter that is not equal to the supgroup:

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 4)、1 つ以上のグループに MERGERULE SOURCEID OWNER コマンドが指定されていることが検出されました。これらのコマンドは、グループを新しい所有者として指定していますが、指定された所有者が前のパスで判別された上位グループと同じではありませんでした。これはエラーです。目的の所有者を上位グループとして指定するか、ユーザーを所有者として使用してください。

ソース	現行	新しい上位	所有者パラメーター
<i>src-grp</i>	<i>cur-grp</i>	<i>supgrp</i>	<i>owner specified</i>

重大度

12

CKR0677 以下のソース専用プロファイルで、現行所有者が見つかりませんでした (For the following source-only profiles no current owner could be found:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 7)、1 つ以上のデータ・セットまたは一般リソース・プロファイルが、ソース・データベースにのみあることが検出されました。さらに、現行データベース上でこれらのプロファイルの所有者が見つかりませんでした。ソース所有者はマージされなかったために現行データベースに存在しません。また、高位修飾子が現行データベース上の有効な ID ではありません。これはエラーです。多くの場合、示された所有者をマージ対象として選択するか、プロファイルの高位修飾子用の MERGERULE SOURCEID OWNER コマンドを指定することによって解決できます。

ソース所有者	クラス	プロファイル
<i>owner</i>	<i>class</i>	プロファイル

重大度

12

CKR0678 以下のプロファイルには、ポリシーが設定されていなかったために未解決のアクセス・リストがあります (The following profiles have an unresolved access list because no policy was set:)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 8)、1 つ以上のデータ・セットまたは一般リソース・プロファイルのアクセス・リストに、解決できない相違が含まれていることが検出されました。これはエラーです。プロファイルの高位修飾子用の MERGERULE SOURCEID AUTHORITY コマンドを指定するか、MERGERULE DEFAULT AUTHORITY コマンドを指定することによって解決できます。

クラス	現行のプロファイル名
<i>class</i>	プロファイル

重大度

12

CKR0679 警告: *number* 回出現したアクセス・リスト ID のマージ中に未定義の ID 「*id*」をスキップしました (Warning: skipped undefined id "*id*" during merge of access list Id occurred *number* times)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 8)、RACF データベースに存在しないアクセス・リスト ID が検出されました。このアクセス・リスト項目はマージされません。このメッセージは無視できます。VERIFY PERMIT を実行して、RACF データベースをクリーンアップします。

重大度

04

CKR0680 プロファイル *discrete-name* の非基本セグメントをスキップします (Skipping non-base segments for profiles *discrete-name*)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に、複数の個別プロファイルの名前が同じでした。さらに、非基本セグメントが検出されました。非基本セグメントは、基本セグメントに割り当てることができないため、スキップされます。

重大度

04

CKR0681 一般リソース・クラス *name* が、ソース・システムにのみ存在します (General resource class *name* is only present on the source system)

(プロファイルはマージされていません)
ignored

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 1)、マージ対象として選択されているプロファイルが含まれている一般リソース・クラス *name* が検出されました。しかし、このクラスは、ソース・システムにのみ存在します。プロファイルはマージされません。クラスにマージ規則が指定されていた場合は、3 行目の **ignored** が、MERGERULE SOURCECLASS=class ignored という形式で表示されます。

重大度

00

CKR0682 一般リソース・クラス *name* は、現行システムではなく、ソース・システム上で汎用です (**SETROPTS GENERIC** が **CKRCMD** に書き込まれました) (**General resource class name is generic on the source system, not on the current (SETROPTS GENERIC written to CKRCMD)**)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 1)、マージ対象として選択されている汎用プロファイルが含まれている一般リソース・クラス *name* が検出されました。しかし、このクラスの汎用処理は、ソース・システム上でのみアクティブになっています。このクラス用の **SETROPTS GENERIC** コマンドが、**CKRCMD** に書き込まれました。これが望ましくない場合は、このクラスをデータベース・マージから除外してください。

重大度

00

CKR0683 一般リソース・クラス *name* が、現行システムではなく、ソース・システム上でアクティブになっています (**General resource class name is active on the source system, not on the current**)

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 1)、マージ対象として選択されているプロファイルが含まれている一般リソース・クラス *name* が検出されました。しかし、このクラスは、ソース・システム上でのみアクティブになっています。プロファイル

はマージされますが、現行システム上で実用的な機能を果たすことはありません。

重大度

00

CKR0684 **ID name** の条件付きアクセス・リスト項目が無効です。プロファイルをスキップしました: **class key (Invalid conditional access list entry for id name - skipped Profile: class key)**

説明

IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 8)、ユーザーまたはグループ *name* の条件付きアクセス・リスト項目に不要情報が含まれていることが検出されました。このような無効な項目を作成する可能性のある RACF PTF レベルが、過去に存在していました。プロファイルはマージされますが、現行システム上で残りのアクセス・リストが失われる可能性があります。

重大度

08

CKR0685 ファイル *filename* の有効な行の長さ *nn* が、**NEWLIST DD=CKRCMD** に使用された最初の **CKRCMD** の行の長さ *mm* と矛盾しています (**File filename effective linelength nn conflicts with first CKRCMD linelength mm used for NEWLIST DD=CKRCMD**)

説明

CKRCMD 出力を使用して複数のセキュリティー複合システムのデータベースを処理する場合、出力が書き込まれるファイルは 1 つのみではありません。複合システムごとに 1 つの **TYPE=CKRCMD** ファイルに自動的にリダイレクトされます。**NEWLIST** 定義は、行の長さに依存します (依存させることができます)。このため、有効な行の長さが、これらすべての **TYPE=CKRCMD** ファイルで同一である必要があります。この要件は、**NEWLIST DD=CKRCMD** を使用しない場合は当てはまりません。

重大度

12

CKR0686 **ACF2_CHANGE num** がレコードの終わりを越えて読み取りを行っています (**ACF2_CHANGE num reads beyond end-of-record**)

説明

ログオン ID または Infostorage の変更用の ACF2 SMF レコードが、レコードの終わりを越えた情報を要求しました。レコードが切り捨てられた可能性があります。

重大度

08

CKR0687 一部の ACF2_CHANGE 値が省略されました (Some ACF2_CHANGE values omitted)

説明

ログオン ID または Infostorage の変更用の ACF2 SMF レコードに、内部 zSecure Audit バッファに収まりきれない情報が含まれていました。一部の繰り返しグループの値が失われます。

重大度

08

CKR0688 xx は不明な ACFATYPE です (Unknown ACFATYPE xx)

説明

ACF2 SMF レコードに、フィールド ACFATYPE のサポートされない値が含まれていました。サポートされない値は、16 進数で指定されていました。

重大度

20

CKR0689 xx は不明な ACF2 サブタイプです (Unknown ACF2 subtype xx)

説明

ACF2 SMF レコードに、サポートされない値が ACSMFREC の値 (レコード・サブタイプ) として含まれていました。サポートされない値は、16 進数で指定されていました。

重大度

20

CKR0690 ACF2 mode=xxx はサポートされていません (Unsupported ACF2 mode=xxx)

説明

ACF2 SMF レコードに、サポートされない値が ACVMFTF の値として含まれていました。サポートされない値は、16 進数で指定されていました。

重大度

20

CKR0691 進行状況 *module - description* (In *module - description*)

説明

これはマージ・プロセスの進行標識です。

重大度

00

CKR0692 ファイル *file* の追加スナップショットが *timestamp* に作成されました (File *file* additional snapshot was created at *timestamp*)

説明

このメッセージは、TYPE=CKFREEZE 入力ファイルに、2つの連結されたシステム・スナップショットが含まれていたことを示します。この2番目のスナップショットは、IBM Security zSecure によって無視されます。

重大度

00

CKR0693 マージ・ソースの2パス読み取りが活動化されています (Two-pass read of merge source activated)

説明

このメッセージは、メモリー使用量を最小限にするためにマージ・ソース・データベースを2回読み取る必要があることを示します。通常、これは、操作の対象となるグループ構造を知る必要がある ANYSUPGRP などの選択フィールドが原因です。

重大度

00

CKR0694 フィールド *fieldaddr fieldname* のフォーマット *outputformat* は、変更の場合はサポートされていません。定義されている場所: *ddname* の行 *number* (Field *fieldaddr fieldname* format *outputformat* not supported for modify - defined at *ddname* line *number*)

説明

フィールドは原則として変更可能ですが、使用されていた出力フォーマットが変更用にサポートされていません。オーバーライド・フォーマットを指定していません。

った場合、これは内部エラーです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0695 繰り返しコマンド数の安全限度である 50 を超えました (Safety limit of 50 repeat commands exceeded)

説明

MERGE コマンド生成は、コマンドを 16KB の断片に自動的に分割します。このような分割が 50 回行われた後も、コマンドは完了しませんでした。内部エラーが存在する可能性が非常に高いため、コマンド生成が中止されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR0696 マージ *function* の CKRCMD がありません (No CKRCMD for merge function)

説明

マージが要求されましたが、指定されたデータベース機能 (ソースまたは現行) 用のコマンドを生成するためのファイルがありませんでした。

重大度

08

CKR0697 *nn* は不明なエンティティ・タイプです (Unknown entity type *nn*)

CKR メッセージ 700 から 799

CKR0700 最初のボリュームのカatalog項目が矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (First volume catalog entries conflict, file *seq volser datasetname first vol2*)

説明

プロファイル・キャッシュ・メカニズムが、サポートされないエンティティ・タイプを検出しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0698 重複する接続です *user / group* (Duplicate connect *user / group*)

説明

プロファイル・キャッシュ・メカニズムが、非 RDS RACF データベース内で重複する接続を検出しました。

重大度

20

CKR0699 クラス *class* に MERGERULE SOURCECLASS が指定されましたが、ソース CDT 内でクラスが検出されませんでした (MERGERULE SOURCECLASS specified for class *class* but class not found in source CDT)

説明

MERGERULE SOURCECLASS が、ソース・データベースのクラス記述子テーブルに存在しないクラスに指定されました。クラス名が正しく指定されていることを確認してください。

重大度

12

説明

このメッセージは、2 つの ICF カタログ項目がそれぞれ示している、*datasetname* (テープ・ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームが、異なっている場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法がありません。*vol2* は無視されたリンクです。

重大度

08

CKR0701 最初のボリュームがテープ管理で矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (First volume conflict in tape mgmnt for file *seq volser datasetname first vol2*)

説明

このメッセージは、2つのテープ・カタログ項目がそれぞれ示している、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームが、異なっている場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法がありません。*vol2* は無視されたリンクです。

重大度

08

CKR0702 最初のボリュームがテープ管理/TVTOCで矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (First volume conflict tape mgmnt/TVTOC, file *seq volser datasetname first vol2*)

説明

このメッセージは、RACF データベース内の TVTOC 項目が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、テープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、TVTOC の指示 (*vol2*) が無視されます。

重大度

08

CKR0703 最初のボリュームがテープ管理/カタログで矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (First volume conflict tape mgmnt/catlg, file *seq volser datasetname first vol2*)

説明

このメッセージは、ICF カタログ項目が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、テープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、ICF カタログの指示 (*vol2*) が無視されます。

重大度

08

CKR0704

最初のボリュームがテープ管理と矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (First volume conflict with tape mgmnt, file *seq volser datasetname first vol2*)

説明

このメッセージは、情報ソース (おそらく ICF カタログであるが、TVTOC の場合も考えられる) が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、テープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、もう一方の指示 (*vol2*) が無視されます。

重大度

08

CKR0705 最初のボリュームがカタログと矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (First volume conflict with catalog for file *seq volser datasetname first vol2*)

説明

このメッセージは、情報ソース (おそらく ICF カタログであるが、TVTOC の場合も考えられる) が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、ICF カタログ項目と矛盾する場合に発行されます。最初の情報が正しいものと見なされ、新しい ICF 情報 (*vol2*) が無視されます。

重大度

08

CKR0706 最初のボリュームがカタログ/TVTOCで矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (First volume conflict catalog/TVTOC for file *seq volser datasetname first vol2*)

説明

このメッセージは、ICF カタログ項目が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、RACF データベース内の TVTOC 項目と矛盾する場合に発行されます。TVTOC 情報が正しいと見なされ、ICF カタログの指示 (*vol2*) が無視されます。

重大度

08

CKR0707 マルチボリューム・リンク・テーブル内のカウントに誤りがあります (複合システム *volser* カウント *count*) (**Erroneous count in multi-volume link table, complex *volser* count *count***)

説明

このメッセージは、次のリンク・テーブル内の *volser* で始まる複合システムに定義されている 2 次ボリュームの数を宣言している *count* フィールドが、1 より小さいか、最大値を超えている場合、つまり、*count* が 5 (TLMS 基底レコードの場合) または 32 (TLMS マルチボリューム・レコードの場合) より大きい場合に発行されます。このレコード内のマルチボリューム・リンク情報は無視されます。

重大度

08

CKR0708 複合システム *volser* のマルチボリューム・テーブル内のシーケンス番号が不正です (シーケンス番号 *vseq*) (**Bad sequence number in multi-volume table of complex *volser* sequence number *vseq***)

説明

このメッセージは、*volser* で始まる TLMS 複合システムの 2 次ボリュームを定義するテーブル内の項目に、2 より小さいボリューム・シーケンス番号 *vseq* が含まれている場合に発行されます。このような項目はスキップされます。

重大度

08

CKR0709 TLMS ボリューム *volser* に対する **CONVERSION *abend-type*** (**CONVERSION *abend-type* for TLMS volume *volser***)

説明

このメッセージは、ボリューム *volser* の TLMS 基底レコードを表す CKFREEZE 項目のボリューム・シーケンスまたはボリューム・カウント・フィールドのパック 10 進から 2 進への変換が失敗した場合に発行されます。このレコード内のマルチボリューム情報は無視されます。

重大度

20

CKR0710 マルチボリューム複合システム *volser* シーケンス番号 *vseq* でボリューム・シーケンスが矛盾しています。 *vol2* が無視されます (**Volume sequence conflict in multi-volume complex *volser* sequence number *vseq* ignored *vol2***)

説明

このメッセージは、*vol2* が *volser* で始まるマルチボリューム複合システムの *vseq* 番目のボリュームとして識別されたが、別のボリュームが既に識別されていた場合に発行されます。新しいリンク情報が無視されます。

重大度

08

CKR0711 2 次ボリュームが非スクラッチ複合システム *volser* ボリューム *vol2* でスクラッチになっています (**Secondary volume is scratch in nonscratch complex *volser* volume *vol2***)

説明

このメッセージは、*vol2* が、非スクラッチ・ボリューム *volser* で始まる複合システムでスクラッチ 2 次ボリュームになっている場合に発行されます。

重大度

08

CKR0712 最初とされるボリュームが、*vol2* によって参照される複合システム *volser* への関与を否定しています (**Alleged first volume denies involvement in complex *volser* referenced by *vol2***)

説明

このメッセージは、非スクラッチ・ボリューム *vol2* が、*volser* で始まる TLMS 複合システムにリンクされていたが、*volser* がマルチボリューム複合システムの先頭として基底レコードによって認識されなかった場合、または基底レコードが検出されなかった場合に発行されます。

重大度

08

CKR0713 TLMS マルチボリューム複合システム *volser* に孤立 2 次ボリュームがあります (孤立ボリューム *vol2*) (**Orphan secondary volume in**)

TLMS multi-volume complex volser orphan volume vol2)

説明

このメッセージは、非スクラッチ・ボリューム *vol2* が、TLMS 複合システムの前頭として別のボリューム *volser* を参照しているが、適切なリンク情報が検出されなかった場合に発行されます。

重大度

08

CKR0714 マルチボリューム複合システムに 2 次ボリュームがありません (*volser* カウント *count*) (Multi-volume complex without any secondary volumes *volser count count*)

説明

このメッセージは、ボリューム *volser* がマルチボリューム複合システムの前頭として識別されたが、有効なリンク情報が検出されなかった場合に発行されます。*count* は、*volser* の基底レコードに示されているボリューム・カウントです。

重大度

08

CKR0715 マルチボリューム複合システムに 2 次ボリュームがありません (*volser* シーケンス番号 *vseq*) (Missing secondary volume in multi-volume complex *volser* sequence number *vseq*)

説明

このメッセージは、*volser* がマルチボリューム複合システムの前頭として識別され、何らかのリンク情報が検出されたが、中間ボリュームがない場合に発行されます。

重大度

08

CKR0716 非 VSAM データ・セットが VTOC ではなく VVDS 内で検出されました - *volser datasetname* (Non-VSAM data set found in VVDS but not in VTOC - *volser datasetname*)

説明

zSecure Collect による VTOC の読み取りと VVDS の読み取りの間に、システムによってアクションが実行された結果、偶発的に発生する場合があります (VVDS を開くのにかなりの時間がかかります)。このメッセージが

同じデータ・セットで再度表示される場合 (まず、もう一度 zSecure Collect を実行してください) には、問題が存在します。VVDS で IDCAMS DIAGNOSE 関数を実行してください。DELETE NVR コマンドが役立つ場合があります。

重大度

08

CKR0717 非 VSAM データ・セットが VVDS 内で複数回検出されました - *volser datasetname* (Non-VSAM data set found in VVDS multiple times - *volser datasetname*)

説明

データ・セットを削除するときに、非 VSAM SMS 管理データが、主に NVR で言及されているカタログを介して DELETE され、他のカタログから DELETE NOSCRATCH されます。このメッセージは、複数の NVR が検出されたため、生成されたコマンドには、単一のデータ・セット用の複数のカタログのための NOSCRATCH キーワードがないことを示します。つまり、1 つ以上のコマンドが失敗する可能性があります。生成されたコマンドを確認する場合は、十分に注意してください。

重大度

08

CKR0718 リソースの削除: DELETE 非 VSAM *volser datasetname catalogname* (Resource deletion: DELETE non-VSAM *volser datasetname catalogname*)

説明

このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セットに対して DELETE が生成されたことを示します。*catalogname* が デフォルト・カタログと等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度

00

CKR0719 リソースの削除: DELETE 非 VSAM NOSCRATCH *volser datasetname catalogname* (Resource deletion: DELETE non-VSAM NOSCRATCH *volser datasetname catalogname*)

説明

このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セットに対して DELETE NOSCRATCH が生成されたことを示します。*catalogname* が **デフォルト・カタログ** と等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度

00

CKR0720 リソースの削除: **SUPPRESS del n-vsam noscr volser datasetname catalogname (Resource deletion: SUPPRESS del n-vsam noscr volser datasetname catalogname)**

説明

このメッセージは、もし DELETE NOSCRATCH コマンドの生成を許可していたのであれば、DELETE NOSCRATCH が、*datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セット用に生成されていたはずであることを示します。*catalogname* が **デフォルト・カタログ** と等しい場合は、カタログ・キーワードが指定されていなかったこととなります。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度

00

CKR0721 リソースの削除: **DELETE クラスタ - datasetname catalogname (Resource deletion: DELETE cluster datasetname catalogname)**

説明

このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる VSAM クラスタに対して DELETE が生成されたことを示します。*catalogname* が **デフォルト・カタログ** と等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度

00

CKR0722 リソースの削除: **DELETE クラスタ - NOSCRATCH datasetname catalogname (Resource deletion: DELETE cluster NOSCRATCH datasetname catalogname)**

説明

このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる VSAM クラスタに対して DELETE NOSCRATCH が生成されたことを示します。*catalogname* が **デフォルト・カタログ** と等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度

00

CKR0723 リソースの削除: **SUPPRESS delete クラスタ NOSCRATCH datasetname catalogname (Resource deletion: SUPPRESS delete cluster NOSCRATCH datasetname catalogname)**

説明

このメッセージは、もし DELETE NOSCRATCH コマンドの生成を許可していたのであれば、DELETE NOSCRATCH が、*datasetname* と呼ばれる VSAM クラスタ用に生成されていたはずであることを示します。*catalogname* が **デフォルト・カタログ** と等しい場合は、カタログ・キーワードが指定されていなかったこととなります。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度

00

CKR0724 リソースの削除: **DELETE GENERATIONDATAGROUP datasetname catalogname (Resource deletion: DELETE GENERATIONDATAGROUP datasetname catalogname)**

説明

このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる GDG に対して DELETE GENERATIONDATAGROUP が生成されたことを示します。*catalogname* が **デフォルト・カタログ** と等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度

00

CKR0725 リソースの削除: **DELETE ALIAS aliasname catalogname (Resource deletion: DELETE ALIAS aliasname catalogname)**

説明

このメッセージは、*aliasname* と呼ばれるカタログ別名に対して DELETE ALIAS が生成されたことを示します。*catalogname* が **master catalog** と等しい場合は、カタログ・キーワードが指定されていなかったため、コマンドはアクティブなマスター・カタログに対して実行されます。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログ (通常は非アクティブなマスター・カタログ) を対象とします。

重大度

00

CKR0726 リソースの削除: DELETE 非 VSAM DSCB *volser datasetname reason* (Resource deletion: DELETE non-VSAM DSCB from *volser datasetname reason*)

説明

このメッセージは、適切な DELETE がなかったため、ボリューム *volser* 上にある *datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セットの DSCB を削除するために、コマンド・シーケンス ALLOCATE - FREE DELETE が生成されたことを示します。これは、データ・セットがデフォルト・システム上でカタログされているにもかかわらず、接続されているカタログには存在しない場合 (*reason* は **unconnected catalog**)、デフォルト・システムで共有されていない DASD 上のカタログ内でのみ存在する場合 (*reason* は **remote catalog not shared**)、またはカタログ項目が検出されなかった場合 (*reason* は **not in any catalog anywhere**) に発生します。

重大度

00

CKR0727 リソースの削除: 孤立非 VSAM DSCB が保持されています *volser datasetname reason* (Resource deletion: orphan non-VSAM DSCB kept *volser datasetname reason*)

説明

このメッセージは、適切な DELETE がなかったため、もしコマンド・シーケンス ALLOCATE - FREE DELETE の生成を許可していたのであれば、ボリューム *volser* 上にある *datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セットの DSCB を削除するために、そのコマンド・シーケンスが生成されていたはずであることを示します。これは、データ・セットがデフォルト・システム上でカタログされているにもかかわらず、接続されているカタログには存在しない場合 (*reason* は **unconnected catalog**)、デフォルト・システムで共有されていない DASD 上のカタログ内でのみ存在する場合 (*reason* は **remote catalog not shared**)、またはカタログ項目が検出されなかった場合

(*reason* は **not in any catalog anywhere**) に発生します。

重大度

00

CKR0728 カタログ項目が先行ボリュームに関して一致しません *diskvolser datasetname* 先行 *vol2* (Catalog entries disagree on the previous volume of *diskvolser datasetname* previous *vol2*)

説明

このメッセージは、2つの ICF カタログ項目が、同一のディスク・ボリューム通し番号について、先行ボリュームとして異なるものを示している場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。*vol2* は無視されたリンクです。

重大度

08

CKR0729 カタログ項目の最初のボリュームが、他の *diskvolser datasetname* で 2 次ボリュームになっています (First volume of catalog entry is secondary in other *diskvolser datasetname*)

説明

このメッセージは、1つの ICF カタログ項目ではディスク・ボリューム *diskvolser* が *datasetname* の最初のボリュームであることを示しているが、別のカタログ項目ではそのディスク・ボリュームが 2 次ボリュームであることを示す場合に発行されます。最初に検出された項目が正しいと見なされ、もう一方の項目は無視されます。

重大度

08

CKR0730 リソースのコピー: DEFINE ALIAS *aliasname catalogname* (Resource copying: DEFINE ALIAS *aliasname catalogname*)

説明

このメッセージは、*aliasname* と呼ばれるカタログ別名に対して DEFINE ALIAS が生成されたことを示します。*catalogname* が **master catalog** と等しい場合は、カタログ・キーワードが指定されていなかったため、別名はアクティブなマスター・カタログ内で定義されます。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログ

(通常は非アクティブなマスター・カタログ) を対象とします。新しい別名は、コピーされた別名 (表示されていない) と同じカタログに関連付けられます。

重大度

00

CKR0731 **RACFVARS** プロファイル・キーの先頭に「&」がありません:
profilename、複合システム **complex version** (**RACFVARS profile key has no leading '&': profilename complex complex version**)

説明

クラス RACFVARS 内で不明なフォーマットの一般リソース・プロファイルが検出されました。

重大度

04

CKR0732 **CKFREEZE** が存在せず、リソース管理コマンドが生成されていません
(**No CKFREEZE present, no resource management commands are generated**)

説明

このメッセージは、もし CKFREEZE が存在していたのであれば、リソースに関する特定のタイプのコマンドが生成されていたはずであることを示します。管理は、リソースの削除コマンドかリソースのコピー・コマンドの一方のみが生成されていたのであれば削除またはコピーと等しく、両方のコマンドが生成されていたのであれば削除およびコピーと等しくなります。このメッセージは CKRCMD ファイルにもエコー出力されます。このメッセージは、これらの機能が明示的に抑止されている場合または暗黙指定されていない場合は発行されません。

重大度

00

CKR0733 **VSM** 領域で矛盾があります:
address が **type1 name1** および **type2 name2** になっています (**VSM area conflict: address is type1 name1 and type2 name2**)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の

『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0734 組み込みが失敗しました。ファイル **ddname1** が **ddname2** の行 **number** で割り振られませんでした (**Imbed failed, file ddname1 not allocated at ddname2 line number**)

説明

このメッセージは、指定された ddname **ddname1** を割り振ることができなかったため、外部データ・ソースを組み込みできなかったことを示します。

重大度

12

CKR0735 **IMBED** パラメーター **FILEDESC/PATH** は、**ddname** の行 **number** で **DD/MEM** と相互に排他的です (**IMBED parameters FILEDESC/PATH mutually exclusive with DD/MEM at ddname line number**)

説明

組み込みステートメントに入れることができる外部データ・ソースは 1 つのみです。

重大度

12

CKR0737 要求された新しい所有者 **owner** が、複合システム **complex** 上で未定義です (**Requested new owner owner is undefined on complex complex**)

説明

このメッセージは、ユーザーのコピー・アクションで指定された所有者が、言及された複合システムで定義されていない場合に発行されます。

重大度

12

CKR0738 要求された新しいデフォルト・グループ **group** が、複合システム **complex** で未定義です (**Requested new default group group is undefined on complex complex**)

説明

このメッセージは、ユーザーのコピー・アクションで指定されたデフォルト・グループが、言及された複合システムで定義されていない場合に発行されます。

重大度

12

CKR0739 リソースの削除: **DELETE** マイグレーション済みクラスター **MIGRAT dsname catalog** (Resource deletion: **DELETE** migrated cluster **MIGRAT dsname catalog**)

説明

このメッセージは、HSM MCDS に存在するマイグレーション済み VSAM クラスター・データ・セット名に、削除すべき高位修飾子があることを示します。DELETE PURGE コマンドが、自動復元なしの削除を実現するために生成されました。

重大度

00

CKR0740...CKR message 0777

説明

この範囲のメッセージはすべて、内部の整合性検査の結果として生成される内部エラー・メッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0778 **PROTECTED** パラメーターは、**NEWPASSWORD** または **NEWPHRASE** パラメーターと一緒に使用できません。(The **PROTECTED** parameter cannot be used with either the **NEWPASSWORD** or **NEWPHRASE** parameters.)

説明

PROTECTED パラメーターを指定すると、ログオンに使用できないユーザー ID をセットアップすることができません。NEWPASSWORD および NEWPHRASE パラメーターは、ユーザー ID のパスワードまたはパスフレーズを設定するために使用されます。

ユーザーの処置

パスワードまたはパスフレーズを持つユーザー ID をセットアップする場合は、PROTECTED パラメーターを削除してください。ログオンに使用できないユーザー ID をセットアップする場合は、NEWPASSWORD または NEWPHRASE パラメーターを削除してください。

重大度

12

CKR0779...CKR message 0785

説明

この範囲のメッセージはすべて、内部の整合性検査の結果として生成される内部エラー・メッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0786 **CKRXINIT.CKRDIDID: ID** フィルター名の長さが **246** を超えています - **name (CKRXINIT.CKRDIDID: Identity filter name is longer than 246 - name)**

説明

ユーザー・プロファイルの DMAPNAME フィールドに、サポートされる最大長を超える ID フィルター参照が含まれています。RACMAP_REGISTRY フィールドで、値が失われる可能性があります。

重大度

20

CKR0787 *message*

説明

この内部エラー・メッセージは、内部の整合性検査の結果として生成されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0788 ユーザー *userid* の所有者フィールドに入力されていません (Owner field for user *userid* not filled in)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0789...CKR message 0791

説明

この範囲のメッセージはすべて、内部の整合性検査の結果として生成される内部エラー・メッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0792 使用されている領域がプロファイルの途中で終わっています: *ddname* ブロック *blockno* セグメント・オフセット *segno* (End of used area in middle of profile: *ddname* block *blockno* segment offset *segno*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0793 *complex* について、データベースが *ddname1* と *ddname2* で競合しています - 固有の複合システム名を指定してください (Database conflict for *complex* between *ddname1* and *ddname2* - specify unique complex names)

説明

同じ複合システム名に対して複数のセキュリティー・データベースが検出されました。これは、明示的に指定された複合システム名と同じデフォルトの複合システム名が (例えば、ZSECSYS から) 派生されたことが原因となっている可能性があります。

ユーザーの処置

必ず、セキュリティー・データベースごとに固有の複合システム名を使用してください。

重大度

16

CKR0794 CKROUBU 範囲エラー、*TLHVIX=num1* *BUHD#TLHD=num2* (CKROUBU range error, *TLHVIX=num1* *BUHD#TLHD=num2*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0795 BUNDLEBY が見つかりません (BUNDLEBY not found)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0796 CKACMEM: 使用可能なデータ・セット・コンテキストがありません (CKACMEM: No dataset context available)

説明

このメッセージは、zSecure Audit ライブラリー更新レポートの内部エラー条件を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守

が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0797 **CKACMEM: dataset volume の TVOL がありません (CKACMEM: No TVOL for dataset volume)**

説明

このメッセージは、zSecure Audit ライブラリー更新レポートの内部エラー条件を示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0798 **CKACMEM: dataset volume の CVOL がありません (CKACMEM: No CVOL for dataset volume)**

説明

このメッセージは、zSecure Audit ライブラリー更新レポートの内部エラー条件を示します。[電子サポート](#)

[Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0799 **CKACMEM: CFIXB がありません dataset volume (CKACMEM: No CFIXB dataset volume)**

説明

このメッセージは、zSecure Audit ライブラリー更新レポートの内部エラー条件を示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR メッセージ 800 から 899

CKR0800...CKR message 0802

説明

これらのメッセージは、アーキテクチャー・サブコンポーネントからのメッセージです。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR0803 **ddname data.set.name で指定されている、OS によってフォーマットされた RACF DB が無効です (Invalid**

OS formatted RACF DB specified for ddname data.set.name)

説明

このメッセージは、VM インストール・プロセスの一部として上記で指定された RACF データベース・データ・セットが存在しないか、OS によってフォーマットされた RACF データベース・ファイルではないことを示します。VM インストール済み環境を調べて、指定したオプションが正しいことを確認してください。

重大度

16

CKR0804 **OS によってフォーマットされた RACF DB のエクステン数が nn で、これはエラーです。エクステントの数が 1 つの場合のみ処理可能です (Error OS formatted RACF DB**

has nn extents. Only able process if it has 1 extent

説明

このメッセージは、VM インストール・プロセスの一部として上記で指定された RACF データベース・データ・セットが存在しないか、OS によってフォーマットされた RACF データベース・ファイルではないことを示します。VM インストール済み環境を調べて、指定したオプションが正しいことを確認してください。

重大度

16

CKR0805 デバイス *nnnn cc=mm R15=nn* で入出力エラー (I/O error on device *nnnn cc=mm R15=nn*)

説明

このメッセージは、OS によってフォーマットされた RACF データベースのセンス情報を返すために DIAG A8 を発行しようとして、入出力エラーが発生したことを示します。エラー・レポートを IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。

重大度

08

CKR0806 *ddname fn ft fm/data.set.name* で FILEDEF エラー RC=*nn* (FILEDEF error RC=*nn* for *ddname fn ft fm/data.set.name*)

説明

このメッセージは、CMS ファイル (*fn ft fm*) または OS によってフォーマットされた RACF データベース (*data.set.name*) 用の FILEDEF コマンドを発行しようとして、エラーが発生したことを示します。エラー・レポートを IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。

重大度

08

CKR0807I CKRCARLA の異常終了での再試行が要求されましたが、許可されませんでした (CKRCARLA Abend retry requested but not allowed)

説明:

この WTO メッセージは、異常終了が発生したときに、プログラムのリカバリーと継続がオペレーティング・システムによってサポートされていない場合に発行されます。異常終了はローカル・リカバリー・ルーチンによってインターセプトされています。

CKR0808I

クリーンアップのために CKRCARLA の異常終了での再試行が要求されましたが、許可されませんでした (CKRCARLA Abend retry for cleanup requested but not allowed)

説明:

この WTO メッセージは、異常終了が発生したときに、プログラムのリカバリーと継続がオペレーティング・システムによってサポートされていない場合に発行されます。異常終了は、ALLOC CLEANUP パラメーターが指定されたためにセットアップされたグローバル・リカバリー・ルーチンによってインターセプトされています。

CKR0809

ddname 上の *procedure* 呼び出しタイプ *type* が *recno* 個のレコードの後で、次のように報告しています: (*procedure call type type on ddname after record recno reports:*) *msg*

説明:

レコードを書き込む、名前が示されているプロシージャが、非ゼロの戻りコードと説明 *msg* を発行しました。*recno* は、前に正常に書き込まれたレコードの数を示しています。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR0810...CKR message 0836

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

0

CKR0837

address の CKRSRVIN の IDENTIFY RC=*n* (IDENTIFY RC=*n* for CKRSRVIN at *address*)

説明

このメッセージは、示されたアドレスで示されたモジュール名を設定する IDENTIFY サービスの失敗を示します。

ユーザーの処置

「IDENTIFY サービス」については、MVS 資料を参照してください。

重大度

12

**CKR0838...CKR message
0839**

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR0841 重大な *function* エラー [*msg*] PC RC=*n* - ユーザー異常終了 841 を発行します (Severe *function* error [*msg*] PC RC=*n* - issuing user abend 841)

説明

リモート・ノードからの読み取り中 (SRVIN) またはリモート・ノードへの書き込み中 (SRVOU) に、サーバーのプログラム呼び出しインターフェースからエラー状態が返されました。*function* は SRVIN または SRVOU であり、メッセージ・タイプ *msg* が示される場合があります。

ユーザーの処置

サーバーがアクティブであることを確認してから、サーバーを再始動して再試行してください。

重大度

16

CKR0842 SPECPROC から、範囲外の長さが返されました R0=xxxxxxx - ユーザー異常終了 842 を発行します (SPECPROC returned length out of

range R0=xxxxxxx - issuing user abend 842)

説明

このメッセージは、zSecure Server に関連する内部インターフェースの 1 つが予期しない長さを受け取り、異常終了を発行したことを示します。

ユーザーの処置

ローカル側およびリモート側の SYSPRINT を収集して、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0843 FILEDATA=RECORD レコード *recno* は *bytes* バイト (16 進数) で、*max_bytes* バイトを超えています。ファイル *ddname path* を閉じます (FILEDATA=RECORD record *recno* has *bytes bytes* (hex), exceeding *max_bytes bytes*; closing file *ddname path*)

説明

このメッセージは、FILEDATA=RECORD フォーマットの UNIX ファイル *path* のレコード *recno* が *bytes* バイトであることを示します。この値は、許容される最大バイト数 *max_bytes* を超えています。これは、ファイルが破損していることを示します。したがって、ファイルからこれ以上のレコードの読み取りは行われません。ファイルは閉じられます。

重大度

08

CKR0844 最後の FILEDATA=RECORD レコードが、ファイルの終わりで切り捨てられています *ddname path* (Last FILEDATA=RECORD record truncated by end-of-file *ddname path*)

説明

このメッセージは、レコードの途中で FILEDATA=RECORD フォーマットの UNIX ファイル *path* でファイルの終わりに達したことを示します。これは、ファイルが破損していることを示します。

重大度

08

CKR0845 *module CKNSRVIR キュー file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* 理由 *zsecsys2* ファイル *file2* の待機中 (*module CKNSRVIR queue file message type from zsecsys length length because waiting on zsecsys2 file file2*)

説明:

このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

0

CKR0846 *module CKNSRVIR リターン・キュー file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* (*module CKNSRVIR return queued file message type from zsecsys length length*)

説明:

このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

0

CKR0847 *message*

説明:

このメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

00

CKR0848 DTISPF.FMTVXML が呼び出されましたが、まだ有効化されていません (DTISPF.FMTVXML called but not yet enabled)

説明

このメッセージは、XML 出力の文字をエスケープするルーチンで問題が発生したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。分析のためにこの問題を再現する方法をお知らせください。

重大度

24

CKR0849...CKR message
0850

説明

これらのメッセージは、アーキテクチャー・サブコンポーネントからのメッセージです。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR0851 ローカル CKNSERVE サーバーが使用できなくなります (*abend information*) (Local CKNSERVE server no longer available (*abend information*))

説明:

zSecure Server の呼び出し中に異常終了が発生しました。最も一般的な *abend information* は、CKRCARLA プログラムの実行中の zSecure Server の停止または取り消しによって発生する system *abend 0D6-27* (non-existent program call) です。

ユーザーの処置:

zSecure Server が他の zSecure プログラムによって使用されているときに、停止されていないことを確認してください。この問題に関するサポートが必要な場合は、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR0852 レコード *number* での *ddname* 入力の待機中、*timestamp* に **RESTART** インターバルの終了を検出しました (**RESTART interval end detected at *timestamp* during *ddname* input wait at record *number***)

説明:

再始動インターバルの終わりに到達しました。プログラムがブロッキング呼び出しで待機していたがインターバルが期限切れになった場合は、想定より遅れて発行される場合があります。

重大度

00

CKR0853 *ddname* に対する **GETPROC *procname* OPEN** (呼び出しタイプ *type*)、戻りコード *rc*、(**GETPROC *procname* OPEN** (call type *type*) on *ddname* return code *rc*、)

説明:

GETPROC ルーチンの OPEN が失敗し、CKR0929 とともに他のメッセージは発行されませんでした。

重大度

00

CKR0854 *ddname* に対する **GETPROC *procname* OPEN** (呼び出しタイプ *type*)、戻りコード *rc* - リカバリーの試行が進行中 (**GETPROC *procname* OPEN** (call type *type*) on *ddname* return code *rc* - recovery attempt in progress)

説明:

このメッセージは、GETPROC プロシージャが CLOSE/OPEN によって再試行を要求し、CLOSE と OPEN が正常に終了した場合に、CKR0929 メッセージの後に発行されます。リカバリー試行の次の部分は GET 要求です。それが失敗すると、CKR0855 が発行されます。

重大度

00

CKR0855 *ddname* に対する **GETPROC *procname* GET** (呼び出しタイプ *type*)、戻りコード *rc* - リカバリー失敗 (**GETPROC *procname* GET** (call type *type*) on *ddname* return code *rc* - recovery failed)

説明:

このメッセージは、GETPROC プロシージャが再試行を要求し、CLOSE と OPEN が正常に終了したが、次の GET が再度失敗した場合に、CKR0929 メッセージの後に発行されます。zSecure は、リカバリーが失敗したと結論付けます。

重大度

16

CKR0874 **RECFM=V(BS) RDW hex が、レコード *n ddname volser dsname* で **LRECL=lrecl** を超えています (**RECFM=V(BS) RDW hex exceeds **LRECL=lrecl** at record *n ddname volser dsname***)**

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

CKR0875 **RECFM=V(BS) BDW hex が、レコード *n ddname volser dsname* で **BLKSIZE=blksize** を超えています (**RECFM=V(BS) BDW hex exceeds **BLKSIZE=blksize** at record *n ddname volser dsname***)**

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

**CKR0876...CKR message
0899**

説明

これらのメッセージは、アーキテクチャー・サブコンポーネントからのメッセージです。これらのメッセージ

に関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR メッセージ 900 から 999

CKR0900 *debug message*

説明

これは IBM ソフトウェア・サポートのみに関係するデバッグ・メッセージであり、一般出荷可能なソフトウェア・バージョンでは表示されません。

重大度

00

CKR0901 **DTISPF 内部エラー: MX#B >
DTLNLEN (DTISPF internal error:
MX#B > DTLNLEN)**

説明

このメッセージは、表示のフォーマットに問題があることを示します。予期しないデータが表示される場合があります。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。分析のためにこの問題を再現する方法をお知らせください。

重大度

24

CKR0902 **ENDDTPRO エラー: 書き込みが
DTLNLEN を超えました
(ENDDTPRO error: written beyond
DTLNLEN)**

説明

このメッセージの後、ユーザー異常終了 902 が続きます。これは、問題が発生したためにプログラムが終了することを示します。

ユーザーの処置

入力に DEBUG コマンドがないことを確認してから再試行してください。DEBUG オプションがなくても引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0903 **インストールされていない関数を使用しようとしました - ユーザー異常
終了 903 (Attempt to use
uninstalled function - user abend
903)**

説明:

処理中の CARLa スクリプトが、ユーザー構成で使用できない zSecure 機能に属する関数を (暗黙的に) 参照しています。例えば、RACF のみのインストール済み環境での ACF2 固有の関数などです。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 903 が続きます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0904 ファイル *file vol dsn(member)* を読み取るには無条件アクセス権限が必要です (**Unconditional access is required to read from file *file vol dsn(member)***)

説明

条件付き (PADS) アクセスのみが付与されたデータ・セットが、SYSIN or XMLIN 入力で要求されました。このタイプのデータを読み取るには、無条件読み取りアクセス権限が必要です。そのデータ・セットは処理されません。

重大度

12

CKR0905 ファイル *ddname* データ・セット *dsn* からの読み取りにはメンバー名が必要です (**A member name is required to read from file *ddname* data set *dsn***)

説明

PDS(E) データ・セットを参照する組み込みステートメントが指定されていましたが、このデータ・セットから読み取るメンバーが指定されていませんでした。組み込みステートメントに正しいメンバーを追加して、照会を再実行依頼してください。

重大度

12

CKR0907 DYNALLOC トレース: SVC 99 戻りコード *nn* - *meaning* (DYNALLOC trace: SVC 99 return code *nn* - *meaning*)

説明

このメッセージは、DEBUG SVC99 が原因で、または失敗した SVC99 (DAIRFAIL がメッセージ・テキストを返さなかった) が原因で発行されます。これには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度

00

CKR0908 *nn* から *mm* への CCSID 変換が失敗し、フォールバックは行われませんでした (**CCSID conversion from *nn* to *mm* fails and no fallback**)

説明

CCSID 変換が失敗しました (詳しくは、CKR0917 を参照)。フォールバックが SUPPRESS MSG=917 によって許可または強制されましたが、この特定の CCSID ペアではフォールバック・サポートがありません。このメッセージは、CCSID のペアごとに 1 回だけ発行されます。

重大度

16

CKR0908 *nn* から *mm* への CCSID 変換で、*z/OS V1R2* 以降が必要であるためシステム異常終了 **019-00** が発生しました (**CCSID conversion from *nn* to *mm* system abend 019-00 because *z/OS V1R2* or higher is required**)

説明

要求された機能または入力で Unicode サービスが必要ですが、このオペレーティング・システム・レベルでは使用できません。したがって、変換サービスがシステム異常終了 019 理由コード 0 (「ダウン・レベルのシステム」) を発行しました。フォールバックは不能です。続いて、プログラムがもう一度 S019-00 異常終了で終了する場合があります。

重大度

16

CKR0909 *nn* から *mm* への CCSID 変換で、単純な下位 **128** 文字の変換にフォールバックします (**CCSID conversion from *nn* to *mm* fallback to simple low-128 character translation**)

説明

CCSID 変換が失敗しました (詳しくは、CKR0917 を参照)。UTF-8 出力用の明示的な要求がなかったか、メッセージ 917 が明示的に抑止されたために、フォールバックが行われます。フォールバックとは、単純な ASCII 変換が行われることを意味します。これは、下位 128 の ASCII 文字と等価ではない UTF-8 文字があれば、その文字は (UTF-8 文字の長さに応じて) 1 つ以上のドットとして表示されるという意味です。このフォールバック・モードでは、名前全体がドットのみで構成される場合があります。このメッセージは、CCSID のペアごとに 1 回だけ発行されます。

重大度

00

CKR0910 HLENQ 状況レポート *identifier* (**HLENQ status report *identifier***)

説明

これらのメッセージは、DEBUG ENQ に対応して発行されます。

重大度

00

CKR0911 *service RC=rc (16 進数) RSN=rsn (16 進数) [qname-scope rname の場合]: explanation (service RC=rc hex RSN=rsn hex [for qname-scope rname]: explanation)*

説明

示されたサービス (ENQ または ISGENQ) に対する呼び出しが、RC=0 で完了しませんでした。これは、APF 許可プログラムが無許可 QNAME CKRDSN に対して ENQ を発行したなどの、まったく無害な理由で発生する可能性があります。したがって、このメッセージは単なる通知と考えるてください。

重大度

00

CKR0912 **STIMERM エラー: explanation (STIMERM error: explanation)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0913 **逐次化ですべての ENQ を取得できませんでした (Serialization could not obtain all ENQs)**

説明

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、予期しない状態が発生しました。先行メッセージ CKR0911 で、ENQ を取得できなかったリソースが識別されました。

重大度

16

CKR0913 **逐次化で重大なエラーが発生しました (Serialization encountered a serious error)**

説明

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、予期しない状態が発生しました。実行を続行できません。先行メッセージ CKR0911 を探して、この障害の正確な原因を特定してください。

重大度

16

CKR0913 **逐次化ですべての ENQ が取得されました (Serialization has obtained all ENQs)**

説明

プログラムは、すべての要求されたリソースの ENQ を正常に取得しました。

重大度

00

CKR0913 **逐次化で ENQ の待機を開始します (Serialization starts waiting for ENQs)**

説明

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、すべてのリソースが即時に使用可能というわけではありませんでした。プログラムは、残りのリソースが使用可能になるのを待機します。

ユーザーの処置:

先行メッセージ CKR0911 を探して、直ちに使用可能になっていなかったリソースを特定してください。

重大度

04

CKR0913 **逐次化の WAIT がタイムアウトになりました (Serialization WAIT timed out)**

説明

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、すべてのリソースが即時に使用可能というわけではありませんでした。OPTION SERIALIZATION コマンドの MAXWAIT サブパラメーターで指定された分数待機しましたが、1つ以上の必要なリソースがまだ使用不可になっています。プログラムは待機を中止して実行を打ち切ります。

ユーザーの処置:

先行メッセージ CKR0911 を探して、使用不可になっているリソースを特定してください。

重大度

16

CKR0913 逐次化の WAIT が ATTN 割り込みによって停止しました (Serialization WAIT stopped by ATTN interrupt)

説明:

プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたのですが、すべてのリソースが即時に使用可能というわけではありませんでした。リソースが使用可能になるのを待機中、端末ユーザーが ATTN キーを押しました。プログラムは待機を停止し、終了します。

ユーザーの処置:

先行の CKR0911 メッセージを探して、使用不可になっているリソースを特定してください。

重大度

16

CKR0914 中間の HLLQDEQ ID=*id* または HLLQDEQ ALL が指定されていない複数の HLLQENQ ACTION=*xxx*,ID=*id* 呼び出しはサポートされていません (Multiple HLLQENQ ACTION=*xxx*,ID=*id* calls without an intervening HLLQDEQ ID=*id* or HLLQDEQ ALL are not supported)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0915 UNIX レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx* [*meaning*] ファイル *ddname path* (UNIX write record *nn* failed RC *nn* [*meaning*] reason *qqqq rrrrx* [*meaning*] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コ

ードを参照するには、IBM UNIX System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

CKR0915 レコード *nn* のデフレートが失敗しました RC *nn meaning*、ファイル *ddname pathname* (Deflate record *nn* failed RC *nn meaning*, file *ddname pathname*)

説明

このメッセージは、圧縮ルーチンで重大なエラーが検出されたことを示します。ユーザー異常終了 915 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0916 *nn* から *nn* への CCSID 変換の警告 RC=*nn* 理由 *rrrrrrr x meaning* [ソース *nnn* ターゲット *nnn* に残されている長さ] [推測される長さ>16MB ソース *xxxxxxxxx* ターゲット *xxxxxxxxx*](CCSID conversion from *nn* to *nn* warning RC=*nn* reason *rrrrrrr x meaning* [Length left for source *nnn* target *nnn*] [Suspect length>16MB source *xxxxxxxxx* target *xxxxxxxxx*])

説明

このメッセージは、示された CCSID 間での文字エンコードの変換で障害が発生したことを示します。1208 は UTF-8 を表します。37、1140、1147 は標準の EBCDIC エンコードです。一般に、小さすぎる列に印刷したり (UTF-8 表記は EBCDIC 表記より幅が広がる場合がある)、SET UNI コマンドの進行中に (例えば、新しい変換テーブルをロードするために) 変換を試みたことが原因となります。重大度は 4 で、プログラムは操作を続行します。

このメッセージの後に、推測される長さについての副次的な行とユーザー異常終了 916 が続く場合があります。このような場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージ (および異常終了) は抑止可能です。

重大度

04

CKR0917 *nn* から *nn* への CCSID 変換エラー RC=*nn* 理由 *nnnn* x *meaning* [推測される長さ>16MB ソース *nnn* ターゲット *nnn*] (CCSID conversion from *nn* to *nn* error RC=*nn* reason *nnnn* x *meaning* [Suspect length>16MB source *nnn* target *nnn*])

説明

このメッセージは、示された CCSID 間での文字エンコードの変換で重大な障害が発生したことを示します。1208 は UTF-8 を表します。37、1140、1147 は標準の EBDIC エンコードです。一般に、示された CCSID 間の変換に必要な適切な変換イメージがないこと、または変換イメージをロードするための SET UNI が (z/OS の下位リリースで) まったく行われていないことが原因となります。

ご使用のシステムの Unicode サポート担当者に連絡しなければならない場合があります。

このメッセージの後に、推測される長さについての副次的な行とユーザー異常終了 917 が続く場合があります。このような場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

このメッセージ (および異常終了) は抑止可能です。メッセージを抑止する場合は、基本 ASCII 変換へのフォールバックが試行されますが、すべての非 US 文字は 1 つ以上のドットに変換されます。出力ファイルに ENCODING=UTF-8 が指定されている場合は、出力が UTF-8 標準に準拠することが保証されないという意味で、抑止は推奨されません。

このメッセージの重大度は、フォールバックが試行される予定であった場合は 4、ENCODING=UTF-8 が指定されていたためにフォールバックが許可されていなかった場合は 16 です。このメッセージが SUPPRESS MSG=917 コマンドによって明示的に抑止される場合、ENCODING=UTF-8 要求がある場合でも、ASCII 変換へのフォールバックが試行されます。フォールバックが試行される場合は、メッセージ CKR0908 または CKR0909 が発行されます。

重大度

04 または 16

CKR0918 CCSID 変換に未初期化アンカーが渡されました (Uninitialized anchor passed to CCSID conversion)

説明

このメッセージは、最初にエンコードを決定することなく変換が要求された場合のプログラム障害を示します。[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

ユーザー異常終了 918 が発行されます。このメッセージ (および異常終了) は抑止可能ですが、結果は予測不能です。

重大度

24

CKR0919 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました (Record with negative length *length* directed to *ddname* behind record *recno*)

説明

無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0920 DELDUP: エレメント・サイズは *size* です - DICT オプションは無視されました (DELDUP: Element size is *size* - DICT option ignored)

説明

NODUP オプションが指定または暗黙指定されたフィールドが正しく処理されませんでした。ストレージ不足と思われます。[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0921 DELDUP: エレメント・サイズを 0 にして呼び出されました (DELDUP: Called with element size 0)

説明

NODUP オプションが指定または暗黙指定されたフィールドが正しく処理されませんでした。フィールドはソートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0922 **DELDUP: NIL** ポインターで呼び出されました (**DELDUP: Called with NIL pointer**)

説明

NODUP オプションが指定または暗黙指定されたフィールドが正しく処理されませんでした。フィールドはソートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0923 **TSO/E** 端末からの入力はサポートされません - **ddname(Input from a TSO/E terminal is not supported - ddname)**

説明

行モードの TSO/E 端末からの入力はサポートされません。

重大度

20

CKR0924 **DD ddname DSN dsn** の無効なブロック・サイズ: **blksize (DD ddname DSN dsn invalid block size: blksize)**

説明

ddname が正常に OPEN された後、その DCB は、ddname が DUMMY デバイスである場合以外は正の値のブロック・サイズを示している必要があります。

重大度

16

CKR0925 **メンバー member DDname ddname DSname dsn** 問題記述 (**Member member DDname ddname DSname dsn Problem description**)

説明

プログラムは示されたメンバーを見つけようとしたとき、FIND SVC からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。2 行目の問題記述に、問題の正しい性質が説明されます。

重大度

16

CKR0926 **モジュール module の LOAD は失敗しました (LOAD of module module failed)**

説明

プログラムは、示されたモジュールが使用可能であることを予期していました。しかし、このモジュールが見つかりませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0927 **procedure** に対する **CEEPIPI(call_sub)** が失敗しました: **reason (CEEPIPI(call_sub) to procedure failed: reason)**

説明

これは、LE を介してサブルーチンを呼び出せなかったことを示す内部エラーです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0928 **LE** 環境を **established|terminated** できませんでした。 **RC rc (LE environment could not be established|terminated, RC rc)**

説明

Language Environment® 処理での内部エラーです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR0929 *ddname* 上の *procedure* 呼び出しタイプ *type* が、*recno* 個のレコードの後で、次のように報告しています:
msg (procedure call type type on ddname after record recno reports: msg)

説明

指定されたプロシージャ (ALLOCATE GETPROC= ステートメントで使用されている) が、*msg* という説明付きでゼロ以外の戻りコードを発行しました。*msg* に C2P メッセージ番号が含まれている場合は、「IBM Security zSecure Alert: ユーザー・リファレンス・マニュアル」を調べてください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。*recno* は、正常に取得されたレコードの数を示します。

重大度

08

CKR0930 ブロック数が等しくありません - *ddname* の情報が欠落している可能性があります (**Block count unequal - information may be missing for *ddname***)

説明

このメッセージは、テープからの読み取り時に発生する可能性があります。これは、*ddname* に割り振られている 1 つ以上のテープのボリューム終了処理中に、DCB に記録されているブロック数がテープのトレーラー・レベルのブロック数と異なっていることを示しています。読み取られた情報が不完全である可能性があります。

重大度

08

CKR0931

proc: バッファオーバーラン - dln=destinationlength sln=sourcelength:: data (proc: Buffer overrun - dln=destinationlength sln=sourcelength:: data)

説明

フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

ユーザー異常終了 931 は SUPPRESS FMTABEND (「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で SUPPRESS コマンドの FMTABEND オプションを参照) または SUPPRESS MSG=931 を指定することによって抑止可能です。ただし、出力が破損したり他のエラーが発生したりする可能性があります。

重大度

24

CKR0932 ***proc: address: hash=storedhash* のディクショナリー項目は、*value* に対して *actualhash* になっている必要があります (*proc: Dictionary entry at address: hash=storedhash, should be actualhash for value*)**

説明

指定されたディクショナリー項目が損傷していることが、*proc* によって示されています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0933 ***DICTDEL: address. hash32 avll avlr bc llll* に対する *LISTDEL* が *RC=rc* を返しました (*DICTDEL: LISTDEL for address. hash32 avll avlr bc llll returned RC=rc*)**

説明

示された *address* にあり、表示された特性を持つディクショナリー項目の削除要求が、ゼロ以外の戻りコード *rc*

を返しました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0934 値 *value* が大きすぎます (Value *value* too large)

説明

このメッセージは、入力パーサーが受け取った数値が大きすぎたことを示します。入力パーサーにより処理可能な最大値は 2147483647 です。

重大度

12

CKR0935 *Dictionary Statistics*

説明

これらのメッセージは、DEBUG DICT に対応して発行され、ディクショナリー参照メカニズムのパフォーマンスを判別するために使用できます。

重大度

00

CKR0937 *string* 長さ *length* で *routine* 内部エラー (*routine* internal error for *string* length *length*)

説明:

示された特性を持つディクショナリー項目を追加しようとして、示された *routine* が失敗しました。 *routine* が DICTNEW の場合、これは既に存在する項目を追加する要求である可能性があります。ユーザー異常終了 937 が発行されます。このメッセージおよび異常終了は SUPPRESS MSG=937 で抑止できます。引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR938I アテンションが繰り返されています。 C (続行) T (終了) または A (異常終了) を入力してください - (Repeated ATTN, enter C(ont) T(erminate) or A(bend) -)

説明

この対話式プロンプトは、アテンションが繰り返された後で、プログラムを終了または異常終了するためのオプションを提供します。

CKR0939 アテンションが繰り返されたために終了しました (Terminated due to repeated attention)

説明

CKR0938 のプロンプトで T を選択した場合に書き込まれるメッセージです。

重大度

16

CKR0940 レコード *decnum* の後に、負の長さ *hexnum* のレコードを *ddname* に書き込むことを要求しました - ユーザー異常終了 940 (Request to write record with negative length *hexnum* to *ddname* behind record *decnum* - user abend 940)

説明

このメッセージは、ソフトウェアの問題、または誤った DD 名に入力ファイルを接続しようとしたことを示します。ユーザー異常終了 940 が発行されます。このメッセージは抑止可能であり、レコードはスキップされます。ただし、結果の出力ファイルは、再利用できない可能性があり、後続のエラーが発生する場合があります。IBM ソフトウェア・サポートから指示された場合を除き、このメッセージは抑止しないことをお勧めします。

ユーザーの処置

割り振りと、接続されたデータ・セットの妥当性を検査してください。検査してもエラーが分からない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。関連する文書を提出してください。

重大度

16

CKR0942 製品コード *code* の環境が一致しません (Environment mismatch for product code *code*)

説明

このメッセージは、識別された製品コードを示す code がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度

00

CKR0943 **TEXTPIPE のファイル数が 10 を超えています。ファイル *name* をスキップします (More than 10 files for TEXTPIPE, skipping file name)**

説明

ALLOC TEXTPIPE の現在の実装では、パイプに入れるファイル数が最大で 10 に制限されています。示されたファイルは「正常に」、つまり textpipe にリダイレクトされずに処理されます。

重大度

16

CKR0944 **UNIX *type* のクローズ RC *nn* [meaning] 理由 *qqq rrrr x* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX *type* close RC *nn* [meaning] reason *qqq rrrr x* [meaning] file *ddname path*)**

説明

このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

type は「wronly」または「rdonly」のいずれかです。

重大度

16

CKR0945 **UNIX *action* が失敗しました。RC *nn* [meaning] 理由 *qqq rrrr x* [meaning] *specification* (UNIX *action* failed RC *nn* [meaning] reason *qqq rrrr x* [meaning] *specification*)**

説明

このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数形式) に分割された理由コードで、BPX1CLO, BPX1FCA, BPX1FCR, BPX1FCT, BPX1FST, BPX1OPN, BPX1PIP, BPX1RED, BPX1SPN, BPX1WAT, または同等の BPX4* 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM UNIX System Services のマニュアルを使用してください。

action は「wronly open」、「fchattr filefmt」、「fstat」、「fchaudit」、「fcntl filetag」、「rdonly open」、「pipe for spawn」、「close of pipe FD *xnn* after spawn」、「close of local pipe FD *xnn* for spawn cleanup」、「close of local pipe FD *xnn* before wait」、「read of pipe FD *xnn* after spawn」、「spawn」、「wait on spawn subprocess」のいずれかです。

重大度

4 または 16

CKR0946 **Unix レコードはバッファ・サイズ *buflength* を超えています - 分割します (Unix record larger than buffer size *buflength*- split)**

説明

このメッセージは、元々は非常に大きかったレコードが、今は 2 つの別個のレコードとして処理されていることを警告します。

重大度

04

CKR0947 ***filedesc off* の読み取りが失敗しました RC *nn* [meaning] 理由 *qqqq rrrr x* [meaning] ファイル *ddname path* (Reading *filedesc off* failed RC *nn* [meaning] reason *qqqq rrrr x* [meaning] file *ddname path*)**

説明

このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

CKR0948 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (**Enablement information corrupt for product code code**)

説明

このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度

16

CKR0949 製品コード *code* がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (**Product code code installed and non-APF registration limit exceeded**)

説明

このメッセージは、インストールされたものの、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 限度を超えていたために登録できない製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

重大度

00

CKR0950 製品コード *code* のコードはインストールされていません (**Code not installed here for product code code**)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度

16

CKR0951 モジュール *module* のロード時にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました (**system abend code (desc) trying to load module module**)

説明

このメッセージは、モジュールのロードに失敗したことで、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了

306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていなかったことを意味する可能性があります。

重大度

08

CKR0953 *nn* レコード後の *vol* 上の *dd dsn* で *action RPL* エラー *rc=nn* 理由=*nn* (**action RPL error rc=nn reason=nn for dd dsn on vol after nn records**)

説明

このメッセージは、示された VSAM データ・セットの読み取りに失敗したことを示します。

重大度

16

CKR0954 *vol* 上の *dd dsn* で *action ACB* エラー *rc=nn* コード=*nn* (**action ACB error rc=nn code=nn for dd dsn on vol**)

説明

このメッセージは、示された VSAM データ・セットの読み取りに失敗したことを示します。

重大度

16

CKR0955 *program task heap* ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (**program task heap STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE**)

説明

このメッセージは内部メモリ管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0959 *type PQUERY* 領域 DTAREA パネル *panel* 戻りコード *rc* (**type PQUERY**)

area DTAREA on panel panel
return code rc)

説明

ISPF を再始動しても引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR0960 *command* が書き込まれました
(Written *command*)

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、示された *command* が CKRTSPRT に正常に書き込まれたことを意味します。

重大度

00

CKR0960 *command; command2* が正常に実行
されました (Successful
command; command2)

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、示された *command* (複数の場合もある) が正常に実行されたことを意味します。

重大度

00

CKR0960 *command; command2* で TSOCMD
RC=*code* (10 進数) (TSOCMD
RC=*code* (decimal) for *command;*
command2)

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、示された *command* (複数の場合もある) が実行されたが、示された結果 *code* が返されたことを意味します。通常、これはコマンドでエラーが発生したことを示します。この RC は、[613 ページの『第 8 章 CKX メッセージ』](#)で説明されている CKX 戻りコードと同じです。

重大度

00

CKR0961 *function* が失敗しました - *error*
message (*function* failed - *error*
message)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ISPF 関数 (BROWSE または LMFREE) が失敗したことを意味します。この関数によって返されたエラー・メッセージが含まれます。

重大度

00

CKR0961 LMINIT が失敗しました - *error*
message (LMINIT failed - *error*
message)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ISPF LMINIT 関数が失敗したことを意味します。この関数によって返されたエラー・メッセージが含まれます。

重大度

12

CKR0962 IKJTSOEV モジュールが見つかりま
せんでした (IKJTSOEV module not
found)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO/E 環境モジュールが検出されなかったために TSO/E 環境を確立できなかったことを示します。これは、TSO リリースが古いことが原因となっている場合があります。このため、TSO コマンド実行試行時に検出された場合は戻りコード 20 が返され、それ以外の場合は 8 が返されます。

重大度

08

CKR0962 IKJTSOEV 戻りコード *cc* 理由コー
ド *rr* サービス理由コード *src* (10 進
数) (IKJTSOEV return code *cc*
reason code *rr* service reason code
src (decimal))

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示された戻りコードおよび理由コードで TSO/E 環境モジュールが失敗したために TSO/E 環境を確立できなかったことを示します。

重大度

08

CKR0962 SVC 202 戻りコード cc (SVC 202 return code cc)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、CMS コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度

08

CKR0962 CKXLOG PC 呼び出し abend (CKXLOG PC 呼び出し abend)

説明:

CKXLOG サーバーの呼び出しが異常終了で失敗しました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

4

CKR0962 IEANTRT 戻りコード cc (IEANTRT return code cc)

説明:

CKXLOG の機能の PC 番号を取得するための名前付きトークン・サービスの呼び出しが失敗しました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

8

CKR962A アテンションによりコマンドが終了しました (Command terminated by attention)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ATTN キーを押すことでコマンドを終了したことを示します。

重大度

08

CKR962B コマンドはバックグラウンドではサポートされていません (Command not supported in background)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO サービス機能を通してコマンドを実行できなかったことを示します。これは、PARMLIB メンバー IKJTSOxx の TSO 許可コマンド・リスト (AUTHCMD) に CKGRACF を含めないことが原因となる場合もあります。TSO PARMLIB コマンドを使用することによって、IPL を実行せずにこのメンバーへの変更を活動化できます。PARMLIB コマンドについて詳しくは、「TSO/E システム・プログラミング・コマンド解説書」を参照してください。

重大度

08

CKR962C コマンドは失敗しました abend code (Command failed abend code)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示された abend code でコマンドが異常終了したことを示します。

重大度

08

CKR962D メモリー不足 (Out of memory)

説明:

UNIX システム・サービスの spawn でメモリー不足状態が発生しました。

ユーザーの処置:

REGION (場合によっては MEMLIMIT) を増加させてください。

重大度

8

CKR962E TSO/E 環境で実行されていません (Not running in a TSO/E environment)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、コマンド環境が TSO/E でないため、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度

08

CKR962F コマンドは失敗しました。戻りコード **code (10 進数) (Command failed, return code code (decimal))**

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、コマンドに失敗して、示された結果コードが返されたことを示しています。このメッセージの前のメッセージが CKG740I の場合、CKG740I の説明を参照してください。その他すべての状況の場合、実行されたコマンドを判別し、該当するマニュアルを確認して可能性のある戻りコードを調べてください。RACF コマンドの場合、戻りコードは「RACF コマンド言語解説書」に記載されています。

重大度

08

CKR962G CKGRACF コマンドで警告が発生しました。戻りコード **4 (CKGRACF command produced a warning; return code 4)**

説明

CKGRACF コマンドは正常に実行されましたが、警告メッセージが発生しました。

重大度

08

CKR962H spawn に失敗しました (**Spawn failed**)

説明:

UNIX システム・サービスの spawn に失敗しました。

ユーザーの処置:

正確なエラー状態について詳しくは、SYSPRINT または CKXPRINT を参照してください。

重大度

08

CKR962I パイプを使用できません (**Pipe unavailable**)

説明:

UNIX システム・サービスのパイプを使用できません。

重大度

08

CKR962J TSOXUSS RC=xnnnnnnnn

説明:

UNIX システム・サービス・インターフェースが失敗し、16 進戻りコード nnnnnnnnn を返しました。

重大度

08

CKR962K 待機に失敗しました (**Wait failed**)

説明:

UNIX システム・サービスのサブプロセス待機に失敗しました。

重大度

08

CKR962L コマンドが許可ライブラリーで見つかりませんでした。 (**Command could not be found in an authorized library.**)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度

08

CKR962M コマンドが失敗した可能性があります。戻りコード <n> (**Command may have failed, return code <n>**)

説明

このメッセージは、コマンドが 4 以下でゼロ以外の戻りコードを返したことを示します。このメッセージでは、最小戻りコードは 4 になります。このエラーが部分的な失敗または警告のいずれであるかは、コマンドによって異なります。

重大度

08

CKR962N APF モードからのコマンドは許可されていません - **command (Command not allowed from APF mode - command)**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示されたコマンドが TSO AUTHCMD リスト内になく、APF 許可プログラムから呼び出される安全なコマンドの組み込みリストにもないことを示します。このコマンドをユーザー自身が要求した場合は、APF 許可のない状態で実行するか、または IKJEFT01 を使用して実行してください。このメッセージが関数に回答して発行されている場合は、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。

CKR962O コマンドが TSO スタックをフラッシュしました - 出力トラップ・ファイルを閉じるために再ログオンが必要です (Command has flushed TSO stack - relogon required to close output trap file)

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。一般に、これは後続のコマンド出力が SYSPRINT ファイルに書き込まれないことを意味します。コマンド出力が失われるか、zSecure の終了後に行モードで表示される可能性があります。z/OS のリリースによっては、通常の動作を復元するには ISPF を終了してから再度開始するだけでよいことがあります。最悪の場合は、再ログオンが必要になることもあります。

CKR962P % を介した CLIST 処理はサポートされていません (CLIST processing through % not supported)

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。% 演算子を使用して CLIST を実行しようとしたことを示します。CLIST の実行はサポートされていません。

重大度

08

CKR962Q 引用符エラー (Quoting error)

説明:

UNIX システム・サービスのコマンド・パラメーターの引用符を解釈できません。

重大度

08

CKR962S IKJEFTSR が失敗しました。戻りコード *error* 理由コード *reason* (IKJEFTSR fails return code *error* reason code *reason*)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。示されているエラー・コードと理由コードがコマンドから返されました。

重大度

08

CKR962T コマンドが失敗しました ATTACH rc rc (10 進数) (Command failed, ATTACH rc rc (decimal))

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを付加できなかったことを示します。

重大度

08

CKR962U 許可環境から許可されていない関数を呼び出すことはできません (Unauthorized functions cannot be invoked from an authorized environment)

説明

このメッセージは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR962V コマンドがありません (No command)

説明:

UNIX システム・サービス・コマンドがヌル・ストリングです。

重大度

08

CKR962W コマンドが見つかりません (Command not found)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマン

ドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度

08

CKR962X **コマンド名の構文エラー (Syntax error in the command name)**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドの名前が構文的に正しくなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度

08

CKR962Y **動的 TSO 環境では許可コマンドはサポートされていません - 代わりに IKJEFT01 から呼び出してください (Authorized commands not supported in dynamic TSO environment - call from IKJEFT01 instead)**

説明

これは、無許可環境で実行される CMD オプションを指定した NEWLIST が原因です。CMD オプションを使用する場合は、APF 許可環境が必要です。例えば、TSO モニター・プログラム IKJEFT01 で実行するか、zSecure Alert で実行してください。zSecure Audit メインプログラム CKRCARLA 自体を APF 許可としてインストールしないでください。CMD オプションの代わりに、出力をファイルに書き込み、後続のジョブ・ステップでプロシージャ C2RCXTSO を実行することもできます。

重大度

08

CKR0963 **name が不明確です: 「value」" (Ambiguous name "value")**

説明

このメッセージは、あいまいな省略語 (複数のキーワードを示す可能性がある省略値など) が入力されたことを示します。目的のキーワードをより詳細に指定してください。

重大度

12

CKR964I **PDS(E) データ・セット *dsn* への書き込みにはメンバー名が必要です (Member name required for writes to PDS(E) data set *dsn*)**

説明

このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、必要なメンバー名が指定されていないことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 964 を出します。

CKR965I **メンバー *mem* は PDS(E) でのみ使用できます。 *dsn* には使用できません (Member *mem* can only be used with PDS(E); not for *dsn*)**

説明

このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 965 を出します。

CKR966I **端末ファイル *ddname* でメンバー *mem* を使用することはできません (Cannot use member *mem* on terminal file *ddname*)**

説明

このメッセージは、示された *ddname* を持つ終端出力ファイルに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 966 を出します。

CKR967I **RECFM=F は、LRECL=X および RECFM=VBS が設定されたデータ・セット *dsname* に対して無効です (RECFM=F invalid for LRECL=X,RECFM=VBS preferred data set *dsname*)**

説明

このメッセージは、示された *ddname* を持つ出力ファイルに対して、指定された固定レコード・フォーマットが許可されなかったことを示します。これは、示されたデータ・セットに対してはサポートされません。プログラムは、ユーザー異常終了 967 を出します。

CKR0968 **IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (IFAEDDRG failed RC *nn* decimal)**

説明

このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0969 入出力エラー: *description*
[*optional 2nd line of description*]
ddname volser dsn[(member)]
[*volser dsn*]... (I/O error for:
description
[*optional 2nd line of description*]
ddname volser dsn[(member)]
[*volser dsn*]...)

説明

このメッセージは、示されたいずれかのデータ・セットに対する通常の QSAM、BSAM、または BPAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

このメッセージには、DFP SYNADAF 呼び出しから返された診断データが 1 行か 2 行示されます。DFP SYNADAF には、この診断データに関する詳細情報が含まれています。その後、DD 名およびデータ・セットの連結が続きます。BPAM の場合は、そのいずれかのデータ・セットのメンバー名も示されます。

重大度

08

CKR970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (FREE STORAGE ERROR): *message*

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0971 *file* の行 *n* におけるこの *field* の最大長は *len* です (Maximum length for this field is *len* at file line *n*)

説明

入力に含まれている複数行ストリングが長すぎます。複数行ストリング (印刷タイトルまたは引用符付きストリング) の最大サイズ *len* を超えました。

重大度

12

CKR0972 *product* の使用可能化情報がありません (Enablement information missing for *product*)

説明

このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度

16

CKR0973 IBM セキュリティ製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product code *code* disabled or not installed)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKR0974 **IBM セキュリティー product が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (IBM Security product disabled or not installed here for requested focus)**

説明

製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKR0975 **IBM セキュリティー product が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product disabled or not installed)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKR0976 **製品コード code のコードまたは使用可能化がありません (Code or enablement for product code code is missing)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKR0976 **IBM セキュリティー product or feature が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product or feature disabled or not installed here)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKR0977 **製品所有者('IBM CORP') ID(id) 名前('name') 機能('feature') バージョン(version) リリース (release) 変更(modification) がインストール済みです (Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(id) NAME('name') FEATURE('feature') VER(version) REL(release) MOD(modification))**
[製品 action RC rc 10 進数]
([Product action RC rc decimal])

説明

このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。action は、"registration" または "status" になります。戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、CKR0979 のため)。

重大度

00

CKR0978 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (Product code *code* has been disabled in PARMLIB)

説明

このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して無効になっている製品について DEBUG LICENSE への応答として発行されます。

ユーザーの処置

製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度

00

CKR0979 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (Product code *code* implied by other)

説明

このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に、DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR0981 *type* 「*value*」が無効です (Invalid *type* "*value*")

説明

このメッセージは、テキスト *value* がコンテキスト *type* で有効な値でないことを示します。

重大度

12

CKR0982 内部エラー: *ddname* の行 *number* におけるエラー・コードが不明です

(Internal error: unknown error code at *ddname* line number)

説明

入力パーサー・エラー・ルーチンで無効なエラー・コードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR0983 *ddname* の行 *number* では、リスト区切り文字/終了文字として *type* 「*value*」ではなく *type1* が必要です (Expecting *type1* list separator/terminator instead of *type* "*value*" at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、示されたタイプの現行リストのリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーター (コンテキストに応じてコンマ、空白、行末など) を予期したことを示します。代わりに、示されているトークン・タイプ *type* (およびテキストがある場合は *value*) が検出されました。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度

12

CKR0984 *ddname* の行 *number* で無効な *type* リスト・エレメント・タイプ *type* 「*value*」が検出されました (Invalid *type* list element *type* "*value*" at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが指定されたタイプのリスト・エレメントを予期したが、このコンテキストのリスト・エレメントとしてサポートされないタイプのトークンを検出したことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度

12

CKR0985 *ddname* の行 *number* に必須リスト・エレメント/パラメーター「*value*」がありません (Required list element/parameter "*value*" missing at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーによって、リスト内の示された行に必要なパラメーターまたはエレメントがないことが検出されたことを示します。

重大度

12

CKR0986 *ddname* の行 *number* で [token "*value*" の前の] パラメーター *value* が重複しています (Duplicate parameter *value* [before token "*value*"] at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーによって、示された行にパラメーターまたはリスト・エレメント *value* が重複して出現することが検出されたことを示します。

重大度

12

CKR0987 構文エラー: *type1* が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "*value*" では *type2* となっています (Syntax error: *type1* expected instead of *type2* at "*value*" on *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定のトークン・タイプ *type1* を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type2* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度

12

CKR0988 構文エラー: "*c*" が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "*value*" では *type* となっています (Syntax error: "*c*" expected instead of *type* at "*value*" on *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定の文字「*c*」(おそらく区切り文字)を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度

12

CKR0989 *ddname* の行 *number* で予期しない *type* ["*value*"] が [*element* に対して] 検出されました (Unexpected *type* ["*value*"] [for *element*] at *ddname* line number)

CKR0989 *ddname* の行 *number* の予期しない *type* ["*value*"] で EOL にスキップします (Skipping to EOL at unexpected *type* ["*value*"] at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが特定のトークン・タイプのいずれかを予期したが、異なるトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト値がある場合は、そのテキスト値と、それが読み取られたエレメントもこのメッセージにリストされます。パーサーは次のトークンから続行するか、行の末尾に直接スキップします。

重大度

12

CKR0990 *ddname* の行 *number* の「*value*」で、*type* ではなく = または (が予期されていました (Expecting = or (instead of *type* at "*value*" on *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが「=」または「(」を予期していたが、代わりに別のトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト値がある場合は、そのテキストもこのメッセージに組み込まれます。

重大度

12

CKR0991 予期しない [*type*|nil] ポインター。場所: *procedure* - ユーザー異常終了 991 (Unexpected [*type*|nil] pointer in *procedure* - user abend 991)

説明

このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR0992	ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード rc (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code rc)
----------------	--

説明

このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度

04

CKR993I	program タスク taskname type に対する診断ダンプが抑止されました。異常終了 xxx (DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR program TASK taskname type ABEND xxx)
----------------	---

説明

このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

CKR0994	最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。ddname (Last record truncated by end-of-file ddname)
----------------	---

説明

このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度

16

CKR995I	LRECL が無効です。区分データ・セットであるため置き換えられませんでした (LRECL invalid; not overruled because partitioned data set)
----------------	---

説明

このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、この後に 013 または 002 の異常終了が発生する可能性があります。

CKR996I	MFREE: スタック name のブロック内で長さが見つかりません (MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK name)
----------------	--

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR997I	スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック name の最上部にありません (STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK name)
----------------	---

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR998I *program* のスタック *tasklevel stackname* でスタック・オーバーフローが発生しました (STACK OVERFLOW FOR STACK *tasklevel stackname* IN *program*)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ *heapname* のストレージが不足しています - *keyword* を増やしてください (Storage shortage for task

taskname heap *heapname* in *program* - increase *keyword*)

説明

このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。ヒープ名が LOWHEAP または SYSSTACK の場合、この要求は 16 MB ラインより下のストレージに対して出されます。この名前が MAINHEAP の場合、この要求はあらゆる場所のストレージに対して出されます。この名前が SMFDCACHE の場合、zSecure Audit ジョブ・タグ・システムが使用したメモリーは多すぎます。SMFDCACHE コマンドを参照してください。MAINHEAP および SMFDCACHE の場合、CPU 使用量は増えることとなりますが、ALLOC STORAGEEGC コマンドを使用すると効果的です。*keyword* の値 (REGION または MEMLIMIT) は、増加させると効果的である可能性が最も高いパラメーターを示します。

重大度

16

CKR メッセージ 1000 から 1099

CKR1000 ALLOC PRIMARY/BACKUP および ACTIVE/INACTIVE は、互いに排他的な組み合わせです - *ddname* の行 *number* の *token* の前 (ALLOC PRIMARY/BACKUP and ACTIVE/INACTIVE are mutually exclusive pairs - before *token* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、ALLOC コマンドが無効であることを示します。1つのコマンドで、オプションの PRIMARY と BACKUP を同時に使用することはできません。1つのコマンドで、オプションの ACTIVE と INACTIVE を同時に使用することはできません。

重大度

12

CKR1001 MASKTYPE=ACF2 は、TYPE=RACF では無効です - *ddname* の行 *number* の *token* (MASKTYPE=ACF2 invalid with TYPE=RACF - *token* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、newlist に明示的な masktype が指定されたことを示します。ただし、ACF2 マスクを NEWLIST TYPE=RACF に使用することはできません。

重大度

12

CKR1002 [*complex*] [*program pathing*] *databasetype ddname volume dsn* に対する処理が開始しました (Processing started for [*complex*] [*program pathing*] *databasetype ddname volume dsn*)

説明

データ・セットのオープンが示されたデータベース・タイプの示されたファイルに対して成功し、データベースの入力が開始されました。

重大度

00

CKR1003 ":" *statement* に含まれる "where" の NLS テーブル *var* に構文エラーがあります (Syntax error in NLS table *var* at "where" in ":" *statement*)

説明

PANEL ステートメントに無効な構文が含まれています。ステートメントに含められる行数は、最大 5 行です。

重大度

12

CKR1004 **CKRACTS: var len len に対する VDEFINE 戻りコード n (CKRACTS: VDEFINE return code n for var len len)**

説明

示された戻りコードにより、PANEL ステートメントに対する ISPF VDEFINE サービスが失敗しました。

重大度

12

CKR1005 フィールド *field* は、*panel* の現行の表示レベルでは使用できません
(Field *field* not available on current display level for *panel*)

説明

このメッセージは、NLS テーブルに定義された行コマンドの PANEL ステートメントがフィールドを要求したが、そのフィールドは newlist の表示ステートメントに存在しないことを示します。

重大度

12

CKR1006 **ACFCDSP abend (explanation)**

説明

これは、L 行コマンドで ACF2 データベース・レコードの表示用フォーマット設定を試行中に、異常終了が代行受信されたことを示します。

重大度

16

CKR1007 **USER "id" が二重に定義されています (USER "id" doubly defined)**

説明

このメッセージは、1 つのログオン ID に対して 2 つのログオン ID レコードが検出されたことを示します。これは、データベースの割り振りに問題があることを示します。ALLOC TYPE=ACF2LID ステートメントを調べ

て、適切なデータ・セットが DD 名に割り振られていることを確認してください。

重大度

20

CKR1008 **RULE "key" が二重に定義されています (RULE "key" doubly defined)**

説明

このメッセージは、1 つのデータ・セット・アクセス規則に対して 2 つの規則レコードが検出されたことを示します。これは、データベースの割り振りに問題があることを示します。ALLOC TYPE=ACF2RULE ステートメントを調べて、適切なデータ・セットが DD 名に割り振られていることを確認してください。

重大度

20

CKR1009 稼働中の ACF2 *type* データベースの読み取りは、このリリースではサポートされません。代わりにバックアップ・データベースを使用します
(Reading the live ACF2 *type* database not supported in this release, using backup database instead)

説明

このメッセージは、コマンド ALLOC TYPE=ACF2INFO PRIMARY または ALLOC TYPE=ACF2RULE PRIMARY はこのリリースでは失敗することを示します。バックアップ・データベースが代わりに使用されます。

重大度

00

CKR1010 システム *sys* クラスタ *cluster* の CKFREEZE DSN 情報がありません
(CKFREEZE DSN info missing for system *sys* cluster *cluster*)

説明

このメッセージは、カタログ処理が試行されたが、システム内の指定されたクラスタのデフォルト・カタログが見つからなかったことを示します。このエラーは、メッセージ CKR0213 (マスター・カタログの欠落) の後に発生するか、誤って SHARED=NO CKFREEZE ファイルだけを使用していることが原因で発生する場合があります。その場合は、示されたクラスタのマスター・カタログ内の別名が指すユーザー・カタログを含むファイルが存在しません。この場合は、カタログ・スナップショットの欠落を示す CKR0292 メッセージも出力され

ます。このメッセージは、複数のデータ・センターからの CKFREEZE ファイルを分析するときに、DASD 共有が正しく設定されていない場合にも発生する場合があります。例えば、UCB が共有として生成されているために、カタログ・ボリュームがデフォルトで共有に設定される場合などです。また、このメッセージは、特定時点の比較に必要な ALLOC VERSION= を使用せずに、同一システムの複数の特定時点スナップショットを分析するときにも発生する場合があります。

ユーザーの処置

共有されているディスク、および単に HCD で共有として生成されたディスク (実際には共有されていない場合でも) のすべてに対応できる、十分な数の SHARED=YES CKFREEZE ファイルを使用して実行していることを確認してください。複数の特定時点を分析するときは、ALLOC VERSION= を指定してください。newlist type=dasdvolf を実行して、想定されているボリューム共有を調べてください。ボリュームが実際には共有されていないにもかかわらず、HCD で UCB が SHARED として生成されているために、正しくない共有が想定されている場合は、それらのボリューム通し番号について、適切な SIMULATE SHARED ステートメントを追加してください。最新のディスクでは、通常、ボックスのシリアル番号によって共有のあいまいさが解消されていますが、S390 エミュレーション製品の中には、DASD ボックスの通し番号の固有性が適切にシミュレートされていないものがあります。この場合は、SIMULATE SHARED ステートメントを使用する必要が生じることがあります。また、IO=NO と指定して作成される CKFREEZE には、DASD ボックスのシリアル番号自体が含まれていません。

注: このメッセージは抑止できますが、結果は保証されません。

重大度

20

CKR1011 **system には cluster 内の component のカタログがありません (No catalog on system for component in cluster)**

説明

カタログ情報がありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1012 **要約のための十分なストレージがありません。keyword を増やしてくだ**

さい (Not enough storage for summary - Increase keyword)

説明

要約の作成中に、ストレージ不足の状態が発生しました。keyword の値 (REGION または MEMLIMIT) は、増加させると効果的である可能性が最も高いパラメータを示します。

ユーザーの処置

keyword を増やすか、照会または要約を単純化してください。

重大度

16

CKR1013 **システム sys のレコード n に対する SIM SMF 要求が重複しています (Duplicate SIM SMF request for system sys record n)**

説明

このメッセージは、同じ SMF システム ID およびレコード番号に対して 2 つの SIMULATE コマンドが指定されたことを示します。

重大度

12

CKR1014 **SIMULATE SMF にはシステム smfid の CKFREEZE ファイルが必要です (SIMULATE SMF requires a CKFREEZE file for system smfid)**

説明

このメッセージは、SYSTEM=smfid を設定した SIMULATE SMF コマンドが指定されたが、該当する SMFid の CKFREEZE が見つからなかったことを示します。SIMULATE コマンドは無視されます。システムの CKFREEZE を割り振るか、SYSTEM=smfid パラメータを削除して、すべてのシステムに有効になるように SIMULATE コマンドを変更してください。

重大度

00

CKR1015 **C2ARULE 内にタグがありません (Zero TAG in C2ARULE)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1016 正数ではない規則項目番号が要求されました (**Requested rule entry number is not positive**)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1017 **C2ARULE: レコード・タイプ *type* はサポートされません (C2ARULE: Unsupported record type type)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1018 **C2ARULE: レコード *record* 内のレコード・バージョン *number* はサポートされません (Unsupported record version number in record record)**

説明

不明なレイアウトのアクセス規則レコードが検出されました。このエラー・メッセージの後に、問題のレコードの 16 進ダンプが続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1019 **C2ARULE: 規則項目 # *number* が要求されましたが、この規則には *number* のエントリーしかありません (C2ARULE: requested rule entry # *number* but this rule has only *number* entries)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1020 複合システム *complex* の ACCVT が見つかりません。デフォルトの GSO 設定が想定されます (**ACCVT not found for complex *complex* - default GSO settings assumed**)

説明

フィールドの処理中に、指定された複合システムの ACCVT が欠落していることが検出されました。ACCVT には、このフィールドの処理を正常に完了するために必要な情報が含まれます。このエラーが発生する可能性があるのは、CKFREEZE ファイルが関連付けられていない入力に対して UNLOAD を使用している場合です。この場合、zSecure Audit for ACF2 はデフォルトの設定が有効であると想定します。

重大度

04

CKR1021 無効な UID スtring 記述子。ANY_UID_STRING が UID として処理されず (**Invalid UID string descriptor - ANY_UID_STRING treated as UID**)

説明

旧バージョンの zSecure Collect によって作成された CKFREEZE を使用しています。UID スtring のレイアウトを記述する情報が不完全なため、多値 UID スtring を使用しているのかどうか、および使用している場合には UID スtring のどの部分に多値フィールドが含まれているのかを判断できません。プログラムは、多値 UID スtring を使用していないと想定して、処理を続行します。

重大度

04

CKR1022 **fieldname の FDE が見つかりません。 ANY_UID_STRING が UID として処理されず (FDE not found for fieldname - ANY_UID_STRING treated as UID)**

説明

ANY_UID_STRING 疑似フィールドの処理中に、UID ストリングを構成するフィールドのいずれかのフィールド定義項目がないことが検出されました。そのため、ACF2 6.2 多値 UID ストリング・フィーチャーが使用されているのかどうかを判別できません。したがって、プログラムは判別試行を停止し、ANY_UID_STRING を標準の単価 UID として処理します。

重大度

04

CKR1023 **C2AFLD 内にタグがありません (Zero tag in C2AFLD)**

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1024 **TAG tag が FDE 境界内にありません (0,number) (TAG tag out of FDE bounds (0,number))**

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1025 **C2AFLD 内に無効なレコード・タイプ xx があります (Invalid record type xx in C2AFLD)**

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの](#)

[『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1026 **LIKELIST は、BESTMATCH パラメーターが設定された選択を参照することはできません - ddname の行 number の token の前 (A LIKELIST cannot refer to a select with a BESTMATCH parameter - before token at ddname line number)**

説明

このメッセージは、LIKELIST パラメーターで参照されている newlist が、その選択の中で、許可されていない BESTMATCH パラメーターを使用していることを示します。

重大度

12

CKR1027 **BESTMATCH パラメーターは、ddname の行 number の EXCLUDE と一緒に使用できません (The BESTMATCH parameter cannot be used in combination with EXCLUDE - at ddname line number)**

説明

BESTMATCH パラメーターを除外処理に使用することはできません。

重大度

12

CKR1028 **BESTMATCH パラメーターと一緒に使用できる SELECT は 1 つだけです (Only one SELECT allowed in combination with a BESTMATCH parameter)**

説明

BESTMATCH パラメーターを複数の (暗黙的に論理和演算された) 選択ステートメントと組み合わせて使用することはできません。

重大度

12

CKR1029 **LID データベースは、CKFREEZE または現行の ACF2 システムからの FDE 情報がなければ処理できません**

(LID database cannot be processed without FDE information from CKFREEZE or current ACF2 system)

説明

zSecure Audit for ACF2 がログオン ID データベースを処理するには、フィールド定義項目からの情報が必要ですが、FDE が見つかりませんでした。これが発生する可能性があるのは、ACF2 がアクティブではなく、必要な情報を含む CKFREEZE ファイルが割り振られていないシステム上で ACF2 ログオン ID データベースのコピーを (アンロードではなく) 処理する場合です。

重大度

12

CKR1030 **C2ALFD2 内に考えられない TLHD タイプ *number* があります (Impossible TLHD type *number* in C2ALFD2)**

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1031 **フィールド "*fieldname*" に、*ddname* の行 *number* の複合システム *complex* に有効な定義がありません (Field "*fieldname*" has no valid definition for complex *complex* at *ddname* line *number*)**

説明

このメッセージは、示されたフィールドのフィールド定義項目が見つからなかったことを示します。このメッセージが ALLOWUNDEFINED 修飾子を指定した LIST ファミリー・コマンドのフィールドに対して発行されていない限り、メッセージの重大度は 12 です。ALLOWUNDEFINED について詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」のセクション『一般出力修飾子: フィールド出力の制御』を参照してください。

重大度

12 または 0

CKR1032

SELECT および EXCLUDE ステートメントは、NEWLIST ステートメントの前では無効です (SELECT and EXCLUDE statements are invalid before a NEWLIST statement)

説明

zSecure Audit for ACF2 の場合、SELECT および EXCLUDE コマンドは、NEWLIST のコンテキスト内でのみ有効です。

重大度

12

CKR1033

タグ *number* の C2ALFDE 内に配列添字エラーがあります。LFDE の要素は 0,*number* です (Array index error in C2ALFDE for tag *number*; LFDE dimensions are 0,*number*)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1034

BESTMATCH パラメーターは、OR 関数と一緒に使用できません。 *ddname* の行 *number* (The BESTMATCH parameter cannot be used together with an OR function - at *ddname* line *number*)

説明

BESTMATCH パラメーターを (明示的) OR ステートメントと組み合わせて使用することはできません。

重大度

12

CKR1035

***recordtype* レコードが欠落しています - *ddname volume dsn* (*recordtype* record missing - *ddname volume dsn*)**

説明

このメッセージは、アンロードの処理中に、極めて重要なレコードの欠落が検出されたことを示します。アンロードはおそらく失敗しました。

重大度

16

CKR1036 フィールド "*fldname*" は
SUBSELECT 節にのみサポートされ
ます (Field "*fldname*" is only
supported for SUBSELECT clauses)

説明

DEFINE、SELECT、LIST、SORTLIST、DISPLAY または (D)SUMMARY コマンドに指定したフィールドは、どのエンティティ・タイプテンプレートにも見つかりませんでした。したがって、このフィールドは SUBSELECT 節にのみサポートされる組み込みフィールドです。RACF を対象に zSecure を実行している場合、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の RACF プロファイルの資料に記述されている TEMPLATE コマンドを利用して、要求したフィールドのスペリングと使用方法を確認できます。

重大度

12

CKR1037 明示的割り振りモード: CKRCMD が
参照されましたが、1 つも割り振られ
ていません (Explicit allocation
mode: CKRCMD referred, but none
allocated)

説明

1 つ以上の ALLOC ステートメントが検出されたため、明示的割り振りモードが有効です。これは、暗黙的に割り振られたファイルはなく、ファイル (CKRCMD を含む) は明示的に割り振られたはずであることを意味します。明示的に割り振られた CKRCMD ファイルはありませんが、それでもまだ、CKRCMD が NEWLIST (F=CKRCMD) のターゲットとして参照されています。1 つ以上の CKRCMD ファイル (処理対象の複合システムごとに 1 つ) に対する ALLOC ステートメントを追加してください。

重大度

12

CKR1038 コンテンツ・ノード *value* に SLGN
タグがありません (Zero SLGN tag
in contents node *value*)

説明

[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1039 *ddname* の行 *number* の *field* で日
付変換エラーが発生しました。
value の日付変換エラーです (Date
conversion error for *field* at
ddname line *number* Date
conversion error for *value*)

説明

このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された日付の値が正しくないことを示します。無効な月の名前、年の形式、日番号、または無効なセパレーターが原因である可能性があります。

重大度

12

CKR1040 *ddname* の行 *number* の *field* には
サポートされない入力タイプです
(Unsupported input type for *field*
at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力で示された場所より前に検出されたフィールドが、SELECT/EXCLUDE 処理には使用できないタイプであることを示します。

重大度

12

CKR1041 *ddname* の行 *number* のフラグ・フ
ィールド *field* には無効な値です
(Invalid value for flag *field* at
ddname line *number*)

説明

このメッセージは、入力で示された場所より前に検出されたサイト定義のフラグ・フィールドが正しく指定されていないことを示します。サイト定義のフラグ・フィールドは、field=ON、field=YES、field=OFF または field=NO を指定した場合にのみ、SELECT/EXCLUDE 処理に使用できます。

重大度

12

CKR1042 *ddname* の行 *number* の 10 進数入
力 *value* は無効です (Invalid
decimal input *value* at *ddname* line
number)

説明

このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された値が有効な 10 進数でないことを示します。入力
が長すぎるのが原因となっている可能性があります。

重大度

12

CKR1043 長さ *value* は、*ddname* の行 *number* の 16 進数フィールドにはサポートされません (Length *value* not supported for hexadecimal fields at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された値がサポートされない長さであることを示します。SELECT/EXCLUDE 処理にサポートされるのは、長さ 256 バイト以下の 16 進数フィールドです。これよりも長いフィールドはサポートされません。

重大度

12

CKR1044 *ddname* の行 *number* の 16 進数入力 *value* は無効です (Invalid hexadecimal input *value* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された値が有効な 16 進数でないことを示します。

重大度

12

CKR1045 *ddname* の行 *number* の入力タイプ *value* は使用できません (Impossible input type *value* at *ddname* line *number*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1046 複合システムに依存するノードにデータがありません (No data in complex-dependent node)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1047 *new list* タイプ *value* には、複合システムへの依存関係はサポートされません (Complex dependency not support for *new list* type *value*)

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1048 フォーマット・タイプ *value* には、複合システムへの依存関係はサポートされません (Complex dependency not supported for format type *value*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1049 不明な疑似フィールドです (TAG=*value*) (Unknown pseudo field; TAG=*value*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR1050 **CKRPUTV: 行の出力エレメントが多すぎます (CKRPUTV: too many output elements on line)**

説明

単一の出力レコードに、数百万の出力エレメントが含まれているようです。このレコードには、新しい出力は書き込まれません。この状態はある程度、ストレージ不足のように扱われますが、処理は続行できます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR1051 **CKRPUTV: ddname の行 number に定義された繰り返しグループ fieldaddr fieldname のエレメントが多すぎます (CKRPUTV: too many elements in repeat group fieldaddr fieldname defined at ddname line number)**

説明

示された繰り返しグループの単一のインスタンスに、数百万の項目が含まれているようです。この繰り返しグループには、新しい出力は書き込まれません。この状態はある程度、ストレージ不足のように扱われますが、処理は続行できます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR1053 **フォーマット format は、acl-type フィールドでのみ使用できます - ddname の行 number の name (Format format can only be used with the acl-type field - name at ddname line number)**

説明

示されたフォーマットは、ACL フィールドまたは ACF2_ACL フィールド、あるいはこれらのフィールドに基づく定義済み変数でのみ機能します。

重大度

12

CKR1054 **複合システム complex にはデフォルトの所有者 owner が定義されていません (Default owner owner is undefined on complex complex)**

説明

このメッセージは、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された所有者が、メッセージに示された complex に定義されていない場合に、この所有者を含む RACF コマンドが生成されると発行されます。これは複合システムごとに 1 度だけ表示されます

重大度

12

CKR1055 **event 通知 identity 機能クラス・プロフィール profile (event notify identity facility class profile profile)**

説明

このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドでの未定義に相当する event、および REMOVE USER コマンドでの除去に相当する event で発行されます。これは、除去対象の ID が、メッセージに示された OnePass マッピング・プロファイルの NOTIFY フィールドに存在していたことを意味します。エラー状態を解決するために、プロファイルを除去するための RDEL コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1056 **修飾子 FIRSTONLY を MORE と同時に使用することはできません - ddname の行 number のフィールド name (Modifier FIRSTONLY is mutually exclusive with MORE - field name at ddname line number)**

説明

FIRSTONLY 修飾子は、繰り返しグループが単一の項目に削減されることを暗黙に示すため、繰り返しグループ修飾子 MORE との組み合わせには意味がありません。

重大度

12

CKR1057 **ddname の行 number のフィールド name の要約で、修飾子 FIRSTONLY と SORT を同時に使用することは**

きません (Modifier FIRSTONLY cannot be combined with SORT on a summary for field name at ddname line number)

説明

要約処理には、前もって繰り返しグループを単一の項目に削減する必要があります。つまり、事前ソートを行う必要があることを意味します。これは、特定の条件下では、ルックアップおよび制限処理などの特定のフィールド操作との組み合わせではサポートされません。フィールドが、明示的 CARLa に実際に指定または暗黙指定されていない内部 SORT 修飾子を持つ可能性はあります。RACF を対象に zSecure を使用している場合、詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の NODUP システム全体のオプションに関する資料を参照してください。

重大度

12

CKR1058 *fieldaddr fieldname* のバッファ用のストレージが残っていません。*function* を使用不可にしました。定義位置: *ddname* 行 *number* (No storage left for buffer for *fieldaddr fieldname* - *function* disabled - defined at *ddname* line number)

説明

示されたフィールドでは、示された機能のための特別な処理が必要です。この機能は次のいずれかです。

- WRAP (WRAP または WORDWRAP 修飾子を受け入れるため)
- フォーマット変換
- DBCS 対応の切り捨て
- ソフト改行処理 (/n 指定を受け入れるため)

ユーザーの処置:

プログラムに使用可能なストレージを増やします。

重大度

08

CKR1059 *fieldname1* の繰り返しグループ制限はサポートされません - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname2* (Repeat group restriction for *fieldname1* is not supported - field *fieldname2* at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、部分的に制限されたフィールドに対して制限モードで発生する可能性があります。これは、現行バージョンでは *fieldname1* の部分的制限をサポートしないことを意味します。したがって、*fieldname2* は空の列になります。(Fieldname2 は要求されたフィールドで、*fieldname1* は実際のデータベース・フィールドです。*fieldname2* が定義済み変数の場合、この 2 つは異なる可能性があります。)

重大度

04

CKR1060 **VERIFY STC と COPY/MOVE/REMOVE を同時に使用することはできません (VERIFY STC and COPY/MOVE/REMOVE are mutually exclusive)**

説明

VERIFY STC コマンドと COPY/MOVE/REMOVE コマンドの両方を指定することはできません。

重大度

12

CKR1061 *option* は COPY GROUP TOGROUP の後でのみ有効です (*option* only valid behind COPY GROUP TOGROUP)

説明

指定されたオプションは、COPY GROUP= TOGROUP= コマンドの後でのみ有効です。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度

12

CKR1062 グループ *groupid* の削除は抑止されます。これはまだ、DATASET プロファイルの HLQ です (Delete group *groupid* suppressed, still HLQ for DATASET profiles)

説明

このメッセージは、指定されたコマンドを実行した場合、示された *groupid* が削除される結果となることを示します。しかし、RACF データベースには、この ID を持つデータ・セット・プロファイルが HLQ として残っています (おそらく SUPPRESS DELDSD コマンドの結果)。DELGROUP はこのインスタンスでは失敗することになるため、抑止されます。

重大度

04

CKR1063 **NEWDATA は COPY TOUSER/
TOGROUP の後でのみ有効です
(NEWDATA only valid behind
COPY TOUSER/TOGROUP)**

説明

このメッセージは、NEWDATA キーワードが予期しない位置で検出されたことを示します。これは、COPY USER TOUSER または COPY GROUP TOGROUP 構造の後でのみ有効です。おそらく、コマンド・キーワードを指定する順序を変更するだけで済みます。

重大度

12

CKR1064 **CKRCFV: システム *system* 複合シス
テム *complex* で UNIX 装置 *dev* が重
複しています (CKRCFV: Duplicate
UNIX device *dev* in system *system*
complex *complex*)**

説明

検出された CKFREEZE レコードに含まれるマウント・ポイントは、この *system* 上の別のファイル・システムに既に使用されている装置番号に関連付けられています。このマウント・レコードは無視され、新しいファイル・システム・ダンプは開始されません。

重大度

20

CKR1065 **DDname の行 *number* の *type*
"value" の前の *masktype* が混合引
用符で囲まれています (*masktype* in
mixed quotes before *type* "value"
at DDname line number)**

説明

マスクが一致しない開始引用符と終了引用を使用して指定されているようです。例えば、単一引用符 (') で始まり、二重引用符 (") で終わっているなどです。*masktype* は、**拡張属性マスク**または**アクセス・インテント・マスク**にすることができます。

重大度

12

CKR1066 ***masktype* は DDname の行 *number*
の行境界 - *type* "value" を越えては
なりません (*masktype* cannot**

**exceed line boundary - *type*
"value" at DDname line number)**

説明

示されたマスクのタイプが行境界をまたがっているようです。*masktype* は、**拡張属性マスク**または**アクセス・インテント・マスク**にすることができます。

重大度

12

CKR1067 ***masktype*: 二重の +/- が DDname の
行 *number* の *type* "value" で見つかり
ました (*masktype*: double +/-;
found *type* "value" at DDname line
number)**

説明

構文解析対象のマスク・タイプは、「+」と「-」を使用して、それぞれ「オン」、「オフ」にする属性のリストを指定します。この2つの標識が、その間に属性が指定されていない状態で検出されました。*masktype* は、**拡張属性マスク**または**アクセス・インテント・マスク**にすることができます。マスクではなく、固定サイズの属性設定のリストを指定するには、引用符を指定しないでください。代わりに、例えば --s- だけを使用します。

重大度

12

CKR1068 ***masktype*: =, +, または - が予期さ
れます。DDname の行 *number* で
type "value" が検出されました
(*masktype*: =, + or - expected;
found *type* "value" at DDname line
number)**

説明

構文解析対象のマスク・タイプは、「+」と「-」を使用して、それぞれ「オン」、「オフ」にする属性のリストを指定するか、または「=」を使用して正確な属性のリストを指定しますが、これらの標識が見つかりませんでした。*masktype* は、**拡張属性マスク**または**アクセス・インテント・マスク**にすることができます。マスクではなく、固定サイズの属性設定のリストを指定するには、引用符を指定しないでください。代わりに、例えば ap-- だけを使用します。

重大度

12

CKR1069 ***masktype* に予期されない文字が含
まれています。DDname の行
number で *type* "value" が検出され**

ました (Unexpected character in masktype; found type "value" at DDname line number)

説明

示された文字は、構文解析対象のマスク・タイプとして認識されません。masktype は、**拡張属性マスク**または**アクセス・インテント・マスク**にすることができます。前者の場合に有効な属性文字は、a、p、s、および l です。後者の場合に有効な属性文字は、d、r、w、および x です。さらに、「+」、「-」、および「=」は「オン」、「オフ」として有効な標識であり、マスクは引用符で囲む必要があります。ブランクは無視されます。

重大度

12

CKR1070 DDname の行 number の type "value" の前に内部で矛盾する masktype があります (Internally inconsistent masktype before type "value" at DDname line number)

説明

構文解析されたマスクは、構文的には正しくても、意味的には矛盾します。すなわち、1つ以上の属性を「オン」にするとともに「オフ」にもするように要求されています。masktype は、**拡張属性マスク**または**アクセス・インテント・マスク**にすることができます。

重大度

12

CKR1071 DDname の行 number の type "value" の前の masktype が「+」または「-」で終わっています (masktype ends with + or - before type "value" at DDname line number)

説明

構文解析対象のマスク・タイプは、「+」と「-」を使用して、それぞれ「オン」、「オフ」にする属性のリストを指定します。最後にあるこのような標識の後に属性が続いていない状態で、終了引用符が検出されました。masktype は、**拡張属性マスク**または**アクセス・インテント・マスク**にすることができます。

重大度

12

CKR1072 OMVS HOME に、複合システム complex version のユーザー userid には無効な値が含まれています:

home (OMVS HOME contains invalid value for user userid in complex complex version: home)

説明

示されたユーザー ID の OMVS セグメント内の HOME フィールド値では、ユーザーが z/OS Unix システム・サービスにログオンできません。このことは構文から明らかです。つまり、home が「/」で開始しておらず、「./」でも「./」でもありません。

重大度

04

CKR1073 CKAOUNIX.CKASDIR: SDIR を構築するためのメモリーがありません (CKAOUNIX.CKASDIR: No memory to build SDIRs)

説明

メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理で適切なサブディレクトリー検索用の構成を構築することができません。TYPE=UNIX の newlist では、HOME_OF フィールドが空になり、AUDITCONCERN が不完全になる可能性、AUDITPRIORITY が低すぎる可能性、および DEPTH と ATTR が誤っている可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。

重大度

08

CKR1074 CKAOUNIX.CKATHOM: アソシエーションを構築するためのメモリーがありません。ホーム・ディレクトリーは判別されません (CKAOUNIX.CKATHOM: No memory to build associations, home directories are not determined)

説明

メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理でユーザーのホーム・ディレクトリーを判別することができません。TYPE=UNIX の newlist では、HOME_OF フィールドが空になり、AUDITCONCERN が不完全になる可能性、AUDITPRIORITY が低すぎる可能性、および DEPTH と ATTR が誤っている可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。

重大度

08

CKR1075 **CKAOUNIX.CKAQMNT: QMNT** を構築するためのメモリーがありません
(**CKAOUNIX.CKAQMNT: No memory to build QMNTs**)

説明

メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理で適切なマウント・ポイント修飾子検索用の構成を構築することができません。TYPE=UNIX の newlist では、HOME_OF フィールドが空になり、AUDITCONCERN が不完全になる可能性、および AUDITPRIORITY が低すぎる可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。

重大度

08

CKR1076 **CKAOUNIX.CKAQMNT: ADDINOD** のメモリー不足エラーが発生しました。ホーム・ディレクトリーは決定されません (**CKAOUNIX.CKAQMNT: Out of memory error in ADDINOD, home directories are not determined**)

説明

メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理でユーザーのホーム・ディレクトリーを判別することができません。TYPE=UNIX の newlist では、HOME_OF フィールドが空になり、AUDITCONCERN が不完全になる可能性、および AUDITPRIORITY が低すぎる可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。

重大度

08

CKR1077 コマンド・タイプ・ファイル *ddname* はファイル・オプション *fileoption* をサポートしません... (**Command type file *ddname* does not support file options *fileoption* ...**)

説明

示されたコマンド出力 DD 名 (CKR2PASS (2 パスの CARLa コマンドの場合) または CKRCMD (TSO コマンド出力の場合) にできます) は、示されたファイル・オプションをサポートしません。このオプションは、

UTF-8 (Unicode)、COMPRESS=GZIP、および MAXPAGE (ページ数の制限) を組み込むことができます。

重大度

12

CKR1078 **FOCUS** は資格の確認を必要とするパラメーターの前になければなりません (**FOCUS must precede parameters requiring entitlement checks**)

説明

このメッセージは、フォーカスが決定された後に LIMIT FOCUS コマンドが発行されたことを示します。フォーカスは、プログラムの実行に使用されるフォーカスを認識しなければならない最初のパラメーターで決定されます。そのようなパラメーターの例は、特定の製品コードに対してのみ資格を与えられる、newlist タイプの NEWLIST TYPE=*type* です。

ユーザーの処置

コマンドを入力先の先頭のほうに移動してください。

重大度

12

CKR1079 **CKAOUNIX.CKAINOX: INOX** を構築するためのメモリーがありません。UNIX ファイル名のルックアップは行われません (**CKAOUNIX.CKAINOX: No memory to build INOXes, UNIX file name lookups are not performed.**)

説明

メモリーが不足しています。このエラーの結果、UNIX 処理で適切な Inode 検索用の構成を構築することができません。TYPE=SMF の newlist では、RECORDDESC が不完全になる可能性があり、UNIX_PATHNAME は空になる可能性があります。

ユーザーの処置:

REGION のサイズを増加させるか照会を制限して、問題が解決されるかどうか調べてください。

重大度

08

CKR1080 フォーマット *formatname* を *fieldname1* フィールドと一緒に使用することはできません - *ddname* の行 *number* の *fieldname2* (**Format *formatname* cannot be used with**

**the *fieldname1* field - *fieldname2*
at *ddname* line *number*)**

説明

field1 の内部表現で使用できるのは、このフィールドの特殊なフォーマットのみです。(Fieldname2 は要求されたフィールドで、*fieldname1* は実際の基本フィールドです。*fieldname2* が定義済み変数の場合、この 2 つは異なる可能性があります。)

重大度

12

CKR1081 **SCOPE= と notPROFLIST チェーニングを同時に使用することはできません - DDname の行 *number* の *newlist name* (SCOPE= mutually exclusive with notPROFLIST chaining - *newlist name* at DDname line *number*)**

説明

SCOPE=id パラメーターが指定された *newlist name* は、PROFLIST= または NOTPROFLIST= パラメーターも指定しており、それ自体が PROFLIST=*name* または NOTPROFLIST=*name* 指定のターゲットです。この組み合わせはサポートされません。

重大度

12

CKR1082 ***ddname* の行 *number* の *token* の前に、TYPE= パラメーターが欠落した DEFTYPE があります (DEFTYPE missing TYPE= parameter before *token* at *ddname* line *number*)**

説明

DEFTYPE ステートメントには TYPE= の指定を含める必要があります。

重大度

12

CKR1083 ***ddname* の行 *number* の DEFTYPE ABBREV2=*abbrev2* は、予約された *reserve reason* です (DEFTYPE ABBREV2=*abbrev2* is reserved *reserve reason* at *ddname* line *number*)**

説明

示されたロケーションに指定された *abbrev2* は、別の省略形と競合します。これは、定義済みの *newlist* また

は内部処理に使用される値の省略形、あるいは別の DEFTYPE に指定された ABBREV2 である可能性があります。前者の競合タイプは、常に国別文字 (\$、#、または @) を ABBREV2 に含めることによって回避できます。後者の競合が発生した場合は、この照会の DEFTYPE 指定を確認して修正する必要があります。

重大度

12

CKR1084 ***ddname* の行 *number* の *token* の前に *nnn* を超える DEFTYPE ステートメントを使用することはできません (No more than *nnn* DEFTYPE statements allowed before *token* at *ddname* line *number*)**

説明

このメッセージは、ユーザー定義 *newlist* タイプの数に関する内部制限を超えたことを示します。DEFTYPE ステートメントの数を減らしてください。

ユーザーの処置:

現行の制限 (*newlist* タイプ数 256) がご使用のインストール済み環境で問題になる場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR1085 ***ddname1* の行 *number1* と *ddname2* の行 *number2* のタイプ *name* の DEFTYPE が重複していません (Duplicate DEFTYPE for type *name* at *ddname1* line *number1* and at *ddname2* line *number2*)**

説明

ユーザー定義の *newlist* タイプには、実行ごとに 1 つの定義のみが許可されます。

重大度

12

CKR1086 ***ddname* の行 *number* のタイプ *name* が未定義です (Undefined type *name* at *ddname* line *number*)**

説明

newlist タイプ名が不明です。DEFTYPE ステートメントが欠落している可能性があります。

重大度

12

CKR1087 *ddname* の行 *number* の **ALLOC TYPE=*name*** が未定義です
(Undefined **ALLOC TYPE=*name*** at *ddname* line *number*)

説明

割り振りタイプ名が不明です。DEFTYPE ステートメントが欠落している可能性があります。

重大度

12

CKR1088 *type=name pads* ファイル *ddname volser dsn* の処理が開始しました
(Started processing *type=name pads* file *ddname volser dsn*)

説明

このメッセージは、示された newlist タイプに対する処理が、示されたデータ・セットの読み取りを開始したことを示します。このメッセージに *pads* を示すテキスト PADS が含まれている場合は、データ・セットへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。

重大度

00

CKR1089 *number type* レコードが読み取られ、*number2 type* レコードが選択されました (*p%*) (*number type records read number2 type records selected (p%)*)

説明

このメッセージは、入力フェーズの最後に、タイプ *type* に対して書き込まれます。これは、その NEWLIST タイプの出力に対して読み取られて選択されたレコードの数を示します。ルックアップは別の NEWLIST タイプの一部として出力されるため、選択カウントではルックアップを考慮しません。ルックアップの場合、すべてのレコードが読み取られますが、ルックアップ・ターゲット・フィールドのみが保管されます。

重大度

00

CKR1090 **CHECKSUM_ALG_CHANGE** 値 *number* は 840 (すなわち、5 週間) を超えています (The **CHECKSUM_ALG_CHANGE** value

of number exceeds 840, i.e., 5 weeks)

説明:

CHECKSUM_ALG_CHANGE オプションの最大許容値は 840 (時間) であり、5 週間に相当します。

重大度

12

CKR1091 フィールド *field* の長さゼロのオーバーライドは、*ddname* の行 *number* の表示行の最後のフィールドでのみ有効です (Overriding length zero on field *field* only valid on last field in display line at *ddname* line *number*)

説明

表示では、行の最後のフィールドでのみ、長さゼロのオーバーライドを使用できます。このフィールドが、画面上の行の残りのスペースを使用します。

重大度

12

CKR1092 クラス *class* の **CKR.READALL** が定義されていません。(**CKR.READALL in class *class* not defined.**)デフォルトを使用します。(**Using defaults.**)

説明

ユーザーにデータベース全体の読み取りを許可するのか、またはそのユーザーの有効範囲内のデータに限り、アクセスを許可するのかを決定するには、通常、CKR.READALL リソースをカバーするプロファイルが使用されます。そのようなプロファイルが定義されていないか、*class* が誤って指定されています。そのため、CKRSITE 領域内のデータ、またはデータベースでユーザーが持つアクセスのタイプ (PADS/non-PADS) に基づいて、制限付き/制限なしの決定が行われます。詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components」について: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度

00

CKR1093 *databasetype* RACF DB を割り振ることができません。(***databasetype* RACF DB cannot be allocated.**) システム上に存在しません。(**Not present on system.**)

説明

示されたデータベースがアクティブ・システムに存在しないため、このデータベースを使用できませんでした。システム構成を確認して、既存のデータベースを指定してください。

重大度

12

CKR1094 **CKROUNIT: modifier** は、行の先頭フィールドにのみ指定できます。
(CKROUNIT: modifier can only be specified on first field on a line.)
DDname の行 **number** の **field**

説明

CONDPAGE および NOTEMPTY 修飾子は、出力行全体に影響します。そのため、行の先頭フィールドでのみ受け入れられます。

重大度

12

CKR1095 **CKATUID: ストレージ不足により、**
フィールド fieldname は入力されま
せん。(CKATUID: Storage
shortage, field fieldname is not
filled in.)

説明

メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理で適切な RACF ID 検索用の構成を構築することができません。TYPE=UNIX の newlist では、示されたフィールドが空になり、UNIX_ACL が不完全になります。type=SMF の newlist では、RECORDDESC が不完全になる可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。fieldname は **OWNER** または **GROUP** になる可能性があります。これはそれぞれ、UID を RACF ユーザーに変換できないこと、GID を RACF グループに変換できないことを意味します。

重大度

08

CKR1096 **マスク・タイプ監査フラグ・ストリ**
ング string での errordesc
(errordesc in mask-type audit flags
string string)

説明

UNIX 監査フラグ・フィールドのマスク・タイプ指定ストリングで構文エラーが検出されました。正しい構文

について詳しくは、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで UNIX フィールド に関するセクションを参照してください。errordesc は、例えば r=s,f のように、2 番目の「+」、「-」、または「=」がその前に属性がない状態で検出された場合には「**演算子の重複指定 (Duplicate operator specification)**」となります。string が書き込み、読み取り、または実行に対して「=」指定を使用し、同じアクセス・タイプに対して「+」または「-」指定も使用している場合、あるいは複数の「=」、複数の「+」、複数の「-」を指定している場合には、「**読み取りの重複設定 (Duplicate setting for read)**」、「**書き込みの重複設定 (Duplicate setting for write)**」、または「**実行の重複設定 (Duplicate setting for exec)**」となります。また、すべてのアクセス・タイプで指定が重複する場合には「**重複設定 (Duplicate setting)**」となります。「+」、「-」、または「=」が先行していない監査設定指標が検出されると、「**演算子未指定 (No operator specified)**」となります。構文的には正しくても、意味的には矛盾している指定の場合(つまり、1つ以上のフラグを「オン」および「オフ」にするように要求された場合)、「**無効な真と偽の同時選択 (Select on true AND false invalid)**」となります。

重大度

12

CKR1097 **マスク・タイプ・ファイル・モード・**
ストリング string での errordesc
(errordesc in mask-type file mode
string string)

説明

UNIX ファイル・モード・フィールドのマスク・タイプ指定 string で構文エラーが検出されました。errordesc は、単一のマスクに「u」、「g」、または「o」の特定節と非特定節の両方が検出された場合には「**>型付きおよび汎用の指定 (Typed and generic specification)**」となります。2 番目の「+」、「-」、または「=」がその前に属性がない状態で検出された場合(例えば、g=r,w)には「**演算子の重複指定 (Duplicate operator specification)**」となります。所有者、グループ、他のアクセス・グループ、またはすべてのアクセス・グループを示す「u」、「g」、「o」、または「a」のうちの少なくとも1つが先行していない「+」、「-」または「=」が検出された場合には「**演算子のターゲット未指定 (No target for operator specified)**」となります。string が「=」で所有者、グループ、または他のグループを指定するとともに「+」または「-」で同じアクセス・グループを指定している場合、または複数の「=」を指定している場合には「**グループ u の重複使用 (Duplicate use of group u)**」、「**グループ g の重複使用 (Duplicate use of group g)**」または「**グループ o の重複使用 (Duplicate use of group o)**」となります。複数の「+」または「-」を指定している場合には「**グループ group に対する operand の重複使用 (Duplicate use of operand for group group)**」となります。「+」、「-」、または「=」

が先行していないアクセス・タイプが検出されると、「演算子未指定 (No operator specified)」となります。他のグループに対して「s」(setuid/setgid)が指定または暗黙指定されている場合には、「グループ o に無効な s (s is not valid for group o)」となります。所有者またはグループ・アクセス・グループに対してスティッキー・ビットが指定または暗黙指定されている場合には、それぞれ「グループ u に無効な t (t is not valid for group u)」、「グループ g に無効な t (t is not valid for group g)」となります。構文的には正しくても、意味的には矛盾している指定の場合 (つまり、1つ以上のフラグを「オン」および「オフ」にするように要求された場合)、「無効な真と偽の同時選択 (Select on true AND false invalid)」となります。

正しい構文の追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで *Unix* フィールド に関するセクションを参照してください。

重大度

12

CKR1098 *specificationtype-type objecttype* スtring *string* での正しくない *expected* (Illegal *expected* in *specificationtype-type objecttype* string *string*)

説明

示された種類の指定に構文エラーが検出されました。*expected* は、文字または値になります。*specificationtype* は、マスク、8進数、またはテキストになります。*objecttype* は、ファイル・モード、汎用フ

ァイル・モードまたは監査フラグになります。*objecttype generic file mode* は、アクセス・タイプの「非特定」指定タイプを意味します。

正しい構文について詳しくは、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで *Unix* フィールド に関するセクションを参照してください。

重大度

12

CKR1099 *Specificationtype-type objecttype* スtringには、*DDname* の行 *number* の *type "value"* の前に長さ *required* が必要です (*Specificationtype-type objecttype* string should have length *required* before *type "value"* at *DDname* line *number*)

説明

示された種類の指定での長さは、検出された長さとは異なる固定長です。*Specificationtype* は、8進数またはテキストになります。*objecttype* は、ファイル・モードまたは監査フラグになります。

正しい構文の追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで *Unix* フィールド に関するセクションを参照してください。

重大度

12

CKR メッセージ 1100 から 1199

CKR1100 *ddname volser dsname* での **OBTAIN RC=nn (OBTAIN RC=nn on *ddname volser dsname*)**

説明

このメッセージは、ディスク・ボリューム通し番号 *volser* の VTOC から *dsname* の DSCB を取得できなかったことを示します。必要な場合にはデータ・セットを復元するか、データ・セット名を修正してください。すべて正しい場合には、プリアンブルでコマンド *BDAMQSAM* を指定して、この問題の解決を試みてください。

重大度

16

CKR1101 *ddname volser dsname* での予期されない **IOS rc hhx, CSW stat stat sns sense cmd op (Unexpected IOS**

rc hhx, CSW stat stat sns sense cmd op for *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、示された戻りコード、状況、およびセンス情報で EXCP が失敗したことを示します。データ・セットに問題がない場合には、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。プリアンブルでコマンド *BDAMQSAM* を指定して、この問題の解決を試みてください。

重大度

20

CKR1102 *ddname volser dsname* の **CCHHR cc hh r rel blk nnn** での予期されない

いファイル終了 (Unexpected end-of-file at CCHHR cc hh r rel blk nnn for ddname volser dsname)

説明

このメッセージは、ブロック可用性マップ (BAM) が指定する最終ブロックの前のトラックに到達する前に、ファイル終了マーカーが検出されたことを示します。これは、前のメッセージで示された入出力失敗に続くエラーである可能性があります。データ・セットに問題がない場合には、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。プリアンブルでコマンド BDAMQSAM を指定して、この問題の解決を試みてください。

重大度

20

CKR1103 *ddname volser dsname* の CCHHR cchhr rel blk nnn での予期されないブロック長 *bb* (Unexpected block length *bb* at CCHHR cchhr rel blk nnn for *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、示された相対ブロック番号で、VTOC に指定されたブロック・サイズとは異なるブロック長が検出されたことを示します。データ・セットに問題がない場合には、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。プリアンブルでコマンド BDAMQSAM を指定して、この問題の解決を試みてください。

重大度

20

CKR1104 BAM に準拠して使用中のブロックが空です - *ddname* ブロック *blkno* セグメント・オフセット *offset* (Empty block in use according to BAM - *ddname* block *blkno* segment offset *offset*)

説明

示されたブロックには、BAM ではデータが含まれていると示されていましたが、データは含まれていませんでした。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照

して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR1105 *RXNE index rel blk block* での予期されない長さ (Unexpected len in *RXNE index rel blk block*.)

説明

このメッセージは、非 RDS 索引の処理中に検出された長さが短すぎることを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度

16

CKR1106 予期されるデータ・ブロック *ddname* ブロック *block* が見つかりませんでした (Expected data block not found *ddname* block *block*)

説明

このメッセージは、示された RACF *data set* 内の *block* は実際には索引ブロックですが、索引はこれをデータ・ブロックと示していたことを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度

20

CKR1107 *key* の *ddname* の rel blk *block* で索引が競合しています (Index conflict on rel blk *block* on *ddname* for *key*)

説明

このメッセージは、RACF *data set* 内の *block* が、索引と、その索引によるデータ・ブロックの両方を指していたことを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度

16

CKR1108 *key* の *ddname* の *rel blk block* で索引が競合しています (**Index conflict on rel blk block on ddname for key**)

説明

このメッセージは、RACF *data set* 内の *block* が、索引と、その索引によるデータ・ブロックの両方を指していたことを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度

16

CKR1109 想定されるエンティティ・タイプ・グループ - *key* のセグメント **segment (Entity type group assumed - segment segment of key)**

説明

このメッセージは、エンティティ・タイプのユーザーまたはグループを判別できない非基本セグメントが検出されたことを示します。このメッセージが発行されるのは、DEBUG SEGMENT が指定されている場合のみです。

重大度

00

CKR1110 索引が空きスペース *ddname* ブロック *block* セグメント・オフセット *segment* を指しています (**Index**

points to free space *ddname* block *block* segment offset *segment*)

説明

このメッセージは、示された RACF *data set* の索引がブロック可用性マップでは未使用になっているデータ *block* を指していることを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度

08

CKR1111 予期されない 16 進数 *xx* のアクセス・レベル (**Unexpected access level hex *xx***)

説明

マージ処理中に、無効なアクセス・レベルが検出されました。原因として、データベース内のレコードが破損している可能性があります。

重大度

16

CKR1112 *userid/groupid* には予期されない 16 進数 *xx* の CONNECT 権限 (**Unexpected CONNECT authority hex *xx* for *userid/groupid***)

説明

マージ処理中に、無効な CONNECT 権限が検出されました。原因として、データベース内のレコードが破損している可能性があります。

重大度

16

CKR1114 データ・セット *name* は、HLQ の長さが 8 文字を超えているためスキップされます (**Data set *name* has a HLQ of more than 8 characters long - skipped**)

説明

アクセス規則とデータ・セットの突き合わせ中に、長さ 8 文字を超える高位修飾子からなる名前のデータ・セットが検出されました。ACF2 規則ではこのデータ・セッ

トを保護できないため、このデータ・セットでの以降の処理はスキップされます。

重大度

20

CKR1117 **CKRACTS: var len len に対する VDEFINE 戻りコード *n* (CKRACTS: VDEFINE return code *n* for var len len)**

説明

示された戻りコードにより、PANEL ステートメントに対する ISPF VDEFINE サービスが失敗しました。

重大度

12

CKR1118 **複合システム *complex* の UADS 情報が欠落しています。APF CKFREEZE が必要です (Missing UADS information for complex *complex* - APF CKFREEZE needed)**

説明

ログオン ID が TSO にログオンできるかどうかをチェック中に、この質問に答えを出すには UADS 情報が必要であることがわかりました。しかし、これに該当する情報が使用できませんでした (APF 許可による zSecure Collect 実行によって作成された CKFREEZE ファイルが必要です)。プログラムは、ログオン ID は TSO にログオンできないと想定します。

重大度

04

CKR1119 **無効フィールド長 *length* が見つかりました。フィールド・オフセットは *offset* です (Invalid field length *length* found; field offset is *offset*)**

説明

ログオン ID レコード内の指定されたオフセットのフィールドに対し、無効な長さが返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1120 **エントリーの数は無効な長さです (Number of entries invalid length)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1121 **DSN マスクが見つかりませんでした (DSN mask not found)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1122 **無効なレコード長です (Record length invalid length)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1123 **CDSR が見つかりませんでした (CDSR not found)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1125 レコード *key* 内のフィールド *tag* のオフセット *offset* は無効です
(Invalid offset *offset* for field *tag* in record *key*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1126 *key* に InfoStorage レコードのマークが付けられていません (*key* is not marked as an InfoStorage record)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1127 *key* はサポートされないタイプです (*key* is of an unsupported type)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1128 *key* のレイアウトが不明です - バージョン番号 *number* (*key* has an unknown layout - version number *number*)

説明

指定されたリソース規則に、サポートされないレイアウトがあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、

866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1129 レコード *key* 内のフィールド *tag* のシーケンス番号 *number* は無効です
(Invalid Sequence Number *number* for field *tag* in record *key*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1130 *key* に要求された RuleHeader 行タイプは不明です (Unknown RuleHeader line type requested for *key*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1131 レコード *key* の最初の項目が、フィールド *offset* の前の項目を参照しています (First entry in record *key* refers to a previous one for field *offset*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1132 レコード "key" が二重に定義されています (Record "key" doubly defined)

説明

示されたリソース規則は、同じセキュリティー複合システムで検出済みです。これは、データベースの割り振りに問題があることを示します。ALLOC TYPE=ACF2INFO ステートメントを調べて、適切なデータ・セットが DD 名に割り振られていることを確認してください。

重大度

20

CKR1133 [*complex*] DB *db datasetname* について、取得対象の *number* の (256 バイトの) セグメントのうち、*pp%* を読み取りました。Unusedspace。([*complex*] DB *db datasetname* read *pp%* to obtain *number* segments (of 256 byte) Unusedspace.) readmethod を使用。(Using readmethod.) *number* の要求に対し、*number* の特殊ブロック、*number* の索引ブロック、および *number* のデータ・ブロックを使用。(Used *number* special, *number* index, and *number* data blocks for *number* requests.) Statistics

説明

このメッセージは、RACF データ・セットの索引経由読み取りについてのレポートです。読み取るセグメントの数、このデータを取得するために実際に物理的に読み取られたパーセンテージを示します。パーセンテージは、一部のパーツを複数回読み取る必要があった場合には 100% を超える場合があります。空きスペースは、データベースの終わりにあるか (使用されることはありません)、データベースによってフラグメント化される場合があります。すべてのスペースがフラグメント化されている場合、Unusedspace には「空きスペースが完全にフラグメント化されています (Free space completely fragmented)」というテキストが示されます。それ以外の場合は、「*pp%* 以上のスペースが未使用 (Space beyond *pp%* never used)」が示されます。readmethod は、BDAM、索引付き ECKD EXCP、または索引付き EXCP になります。いずれかの EXCP メソッドが使用された場合は、次のフォーマットで 4 番目の行が表示されます。「*number* の IO にある全 *number* のブロックのうち、*number* のブロックを読み取りました (If either EXCP method was used, a fourth line is shown in the format Read *number* blocks from a total of *number* in *number* IOs)。キャッシュ・ヒットは *pp%* でした (Cache hit was *pp%*)」。

重大度

00

CKR1134 DDname の行 *number* の SIMULATE 指定は、DDname の行 *number* のコマンドと競合します (SIMULATE specification at DDname line *number* conflicts with the command at DDname line *number*)

説明

1 つの複合システムに対する複数の SIMULATE CNGRACF または SIMULATE CKGRACF コマンドは許可されません。また、複合システムを明示的に指定しない複数の SIMULATE CNGRACF または SIMULATE CKGRACF コマンドも許可されません。

重大度

12

CKR1135 ddname の行 *number* の element value の type ルックアップが未定義です (Undefined type lookup element value at ddname line *number*)

説明

このメッセージは、間接参照が誤って指定されていることを示します。deftype ルックアップの構文は、FIELD:TYPE.KEY.TARGET となります。ここで、TYPE は DEFTYPE コマンドによって作成された newlist のタイプ、KEY および TARGET はこの同じ newlist タイプに定義済みのフィールドです。間接参照の詳しい解説については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで DEFINE コマンドのフィールド値の操作に関する説明を参照してください。element は、type、key、または target のいずれかとなります。これは、誤りのある構文要素を示します。key または target type の場合には、TYPE を反映します。

重大度

12

CKR1135 ddname 行 *number* の token の前で element value の検索が未定義です (Undefined lookup element value before token at ddname line *number*)

説明

このメッセージは、MAILTO= が誤って指定されていることを示します。構文は MAILTO=:TYPE.TARGET となります。ここで、TYPE は DEFTYPE コマンドによって作成された newlist のタイプ、TARGET はその newlist タイプに定義済みのフィールドです。zSecure CARLa

コマンド・リファレンスで、OPTION コマンドの MAILTO に関する説明を参照してください。 *element* は、 **type** または **target** となります。これは、誤りのある構文要素を示します。

重大度

12

CKR1136 フィールド **LID** が見つかりませんでした (**Field LID not found**)

説明

zSecure Audit for ACF2 はログオン ID を保管できません。このエラーが発生する可能性があるのは、ACF2 がアクティブではなく、必要な情報を含む CKFREEZE ファイルが割り振られていないシステム上で ACF2 ログオン ID データベースのコピーを処理する場合です。アンロード処理の場合、これは致命的エラーとなります。

重大度

20

CKR1137 *number type* のレコードが処理され、*number2 (p%)* のレコードが選択されました [*presel (nn%)* のレコードが事前選択されました] (*number type records processed, selected number2 (p%)* [, *preselected presel (nn%)*])

説明

このメッセージは、*newlist* の *type number* のレコードが読み取られ、そのうち *number2* のレコードが実際に選択されたことを示します。オプションとして、このメッセージは、事前選択されたレコードの数を、数値および合計に対するパーセンテージとして示すことがあります。

重大度

00

CKR1138 レコード "*key*" はディレクトリーの様です: "*id*" (**Record "*key*" appears to be a directory: "*id*"**)

説明

示された構造化 InfoStorage レコードのレイアウトは矛盾します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1139 *program* は *cc.c* CPU 秒、*nn,nnnKB* を使用し、実時間で *ss* 秒を費やしました (***program used cc.c CPU seconds, nn,nnnKB, and took ss wall clock seconds***)

説明

このメッセージは、大部分の処理が完了した後、*newlist* 出力処理が開始される前に発行されます。この実行でのリソース使用量および経過時間を示します。このメッセージの主な用途は、ISPF インターフェースでのリソース使用量を測定することです。その理由は、SYSPRINT の終了に発行される、このメッセージに相当する CKR0039 には、ユーザーが ISPF 表示を調べている間の全思考時間、ISPF 表示からの全リソース消費量 (再帰照会やその他の ISPF コマンドなど) がすべて含まれるため、リソース使用量を測定するにはそれほど有効ではないためです。

重大度

00

CKR1140 システム *system* の最大システム数 *max* を超えています (**Maximum number of *max* systems exceeded for system *system***)

説明

このメッセージは、システム数 (I/O 構成) に関する内部制限を超えたことを示します。CKFREEZE の ALLOCATE ステートメントの数を減らしてください。現行の制限 (有効構成数 100) がご使用のインストール済み環境で問題になる場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR1141 複合システム *complex* の最大複合システム数 *max* を超えています (**Maximum number of *max* complexes exceeded for complex *complex***)

説明

このメッセージは、複合システム (セキュリティー・データベース) 数に関する内部制限を超えたことを示します。該当するデータベースの ALLOCATE ステートメン

トの数を減らしてください。現行の制限 (セキュリティー・データベース数 100) がご使用のインストール済み環境で問題になる場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR1142 ルックアップ *type.key.target* の *key=key* のエントリーが重複および競合しています。値 "*value1*" が保持され、レコード *number* での値 "*value2*" は無視されます。
(Duplicate and conflicting entry for *key=key* in lookup *type.key.target* Value "*value1*" retained, value "*value2*" from record *number* ignored.)

説明

タイプ *type* のファイルの読み取り中に、ルックアップのキー・フィールドとして使用されるフィールド *key* エントリーが重複していることが検出されました。この場合、重複するエントリー *value1* および *value2* は異なる値を指定します。 *value1* のみが、ルックアップの表示用に保管されます。重複するエントリーが検出され、*value1* および *value2* が同一の場合、メッセージ CKR2363 が発行されます。

重大度

00

CKR1143 ワード数は 1 以上でなければなりません (Word number must be >= 1)

説明

WORD(*field,number,delimiter*) 式に含まれる *number* が正しく指定されていません。

重大度

12

CKR1144 *ddname* の行 *number* の BUNDLEMAILTO 関数が正しくありません (Illegal BUNDLEMAILTO function at *ddname* line *number*)

説明

無効な BUNDLEMAILTO 値が指定されました。これは、BUNDLEBY 基本フィールドと組み合わせた一連の field value 操作関数でなければなりません。詳しくは、

「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で BUNDLE コマンドに関する説明を参照してください。

重大度

12

CKR1145 BUNDLEMAILTO は *ddname* の行 *number* の BUNDLE コマンドでのみ有効です (BUNDLEMAILTO is only valid on the BUNDLE command at *ddname* line *number*)

説明

BUNDLEMAILTO キーワードが、このキーワードをサポートしないコマンドに指定されました。

重大度

12

CKR1146 PAS 属性には *ddname* の行 *number* の *token* の前に KEY 修飾子が必要です (PAS attribute requires KEY modifier before *token* at *ddname* line *number*)

説明

ポイント・アンド・シュート (PAS) 修飾子は、KEY 修飾子も設定されたフィールド (つまり、表示からスクロールオフできないフィールド) でのみサポートされます。

重大度

12

CKR1147 *ddname* は CHECKSUM_ALG_CHANGE オプションに分類されます (*ddname* falls under the CHECKSUM_ALG_CHANGE option)

説明

ddname CKFREEZE ファイルおよび同じシステムの前のスナップショットが CHECKSUM_ALG_CHANGE の時間内に生成されました。そのため、*ddname* はライブラリー監査アプリケーション (メインメニューのオプション AU.L) でマイグレーション・ポイントであるとみなされます。指紋と改ざん防止ダイジェストが両方の CKFREEZE ファイルに保管されていて、さまざまなアルゴリズムによって計算されたデータ・セットは、変更されていないとみなされます。

重大度

00

CKR1148 **CKRCFV: システム *system* 複合システム *complex* に別の DMSFILES ダンプが検出されました。 *volume dsname* はスキップされます (CKRCFV: Encountered another DMSFILES dump for system *system complex complex - skipped volume dsname*)**

説明

このメッセージは、プログラムが単一システムで複数 DMSFILES ダンプを検出し、どの DMSFILES ダンプを使用するかを決定できないときに発行されます。現行のプログラム出力に悪影響はありません。

重大度

004

CKR1149 ***ddname* の行 *number condition* の ALLOC コマンドは、前のコマンドにより無視されます (ALLOC command at *ddname line number condition* a previous one - ignored)**

説明

ACTIVE または INACTIVE セキュリティー・データベースに対する示された ALLOC コマンドが、メッセージに示されているように、前の ALLOC コマンドと重複しているか、前のコマンドと両立しません。後者の場合、示されたコマンドが PRIMARY セキュリティー・データベースを割り振ることを指定 (または暗黙指定) しているのに対し、前のコマンドは BACKUP を指定していたか、あるいはその逆となっています。コマンドは、無視されます。

重大度

00

CKR1150 **レコード "*key*" が二重に定義されています (Record "*key*" doubly defined)**

説明

示された構造化 InfoStorage レコードは、同じセキュリティー複合システムで検出済みです。これは、データベースの割り振りに問題があることを示します。ALLOC TYPE=ACF2INFO ステートメントを調べて、適切なデータ・セットが DD 名に割り振られていることを確認してください。

重大度

20

CKR1151 ***field* <Asymmetric AREMFLG> *flag***

説明

サポートされないレイアウトの ACF2 SMF レコードが検出されました。SMF レコードが壊れている可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1151 ***field* <*id*: 解読不能 AREMFLG> *flag* (*field* <*id*: unintelligible AREMFLG> *flag*)**

説明

サポートされないレイアウトの ACF2 SMF レコードが検出されました。SMF レコードが壊れている可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1152 **警告: 複合システム *name* の動的解析テーブルは不明です。現行システムの DPT を使用します (Warning: Dynamic parse table for complex *name* unknown, using current system DPT)**

説明

このメッセージは、示された複合システム名の動的解析テーブル (DPTB) が見つからなかったことを示します。現行システムの DPTB が代わりに使用されます。DPTB は、この複合システムにカスタム・フィールドを使用できるかどうかを定義します。

重大度

00

CKR1153 **ENDBUNDLE が欠落しています (ENDBUNDLE missing)**

説明

このメッセージは、BUNDLE は開始されたが、終了しなかったことを示します。

重大度

12

CKR1154 複合システム *complex* のタイプ *type* の割り振りが重複しています (Duplicate allocation of type *type* for complex *complex*)

説明

ACF2 複合システム内で割り当てられるデータ・セットは、各 *type* (LID、規則、および Infostorage) につき、1 つです。照会の割り振りステートメントを確認してください。

重大度

12

CKR1155 *field* ではなく、監査機能コードが予期されます (Expected Audit Function Code instead of *field*)

説明

番号または監査機能コード標識 (引用符なし) が指定されていなければなりません。

重大度

12

CKR1156 出力ファイルのアンロードに RECFM=U を指定することはできません - [(リダイレクトされた CKRUNLOU)] *ddname* [*path* | *volser dsname*] (Unload output file cannot have RECFM=U - [(redirected CKRUNLOU)] *ddname* [*path* | *volser dsname*])

説明

RECFM=U を指定したデータ・セットへの UNLOAD はサポートされません。UNLOAD データを別のフォーマットのデータ・セットに出力して、再試行してください。

重大度

16

CKR1157 副選択節の中に LIKELIST を指定することはできません (LIKELIST cannot be specified in a subselect clause)

説明

副選択節の中に LIKELIST 節を指定することは許可されていません。

重大度

12

CKR1158 "subselectclause" 内の "field" の副選択は、SELECT ステートメントでは許可されません (Subselect of "field" in "subselectclause" not allowed in SELECT statement)

説明

SELECT ステートメントの副選択節では、許可されないフィールドがいくつかあります。これらのフィールドの値は、データベースの読み取りが完了するまで判断できないためです。例えば、ACL フィールド USER および GROUP を使用することはできません。これは、アクセス・リストに、一致するプロファイルを関連付けなければタイプを判断できない ID が含まれているためです。これらのフィールドの代わりに、ID を使用してください。

重大度

12

CKR1159 SELECT ステートメントの副選択節の中でのルックアップは許可されません - *ddname* の行 *number* の *type* "value" の前 (Lookup not allowed in subselect clause in SELECT statement - before *type* "value" at *ddname* line *number*)

説明

SELECT ステートメントの副選択節の中では、ルックアップが禁止されています。これは、データベースの読み取りが完了してからでないと、ルックアップを実行できないためです。

重大度

12

CKR1160 修飾子 SORT は繰り返しフィールドにのみ適用されます。 *ddname* の行 *number* の *field* には有効ではありません (Modifier SORT applies to repeated fields only - not useful for *field* at *ddname* line *number*)

説明

SORT は繰り返しグループ修飾子であり、*field* は繰り返しフィールドではありません。したがって、これは無視されます。

重大度

04

CKR1161 *scope record: NextKey* ネスト・レベルの深さを超えています (*scope record: NextKey nesting level depth exceeded*)

説明

ACF2 有効範囲レコードは、最大 10 の NextKey ネスト・レベルをサポートします。このメッセージに示された有効範囲レコードは、この最大値を超えているレコードです。このレコードに対する以降の処理は打ち切られます。

重大度

04

CKR1162 *fieldname fieldvalue* には考えられない長さの値 *value* です (*Impossible length value value for fieldname fieldvalue*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1163 *scope record: 可能性の低い NextKey* の数です (*scope record: improbable number of NextKeys*)

説明

示された有効範囲レコードには、複数の NextKey があるようです。これは、論理的に不可能です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1164 *datasetname* のサイズが 2 GB を超えています。 (*datasetname exceeds 2 GB in size.*) これは RACF データベース破壊の原因となる可能性があります。 (*This could be a cause for RACF database corruption.*)

説明

RACF データ・セットのサイズは 2 GB に制限されています。これよりも大きいデータ・セットは、データベース破壊の原因となる可能性があります。示されたデータ・セットは 2 GB を超えています。重大度 8 は、2 GB 境界より上のスペースが使用されているため、RACF データベース破壊が発生する可能性が大きいことを示します。重大度 4 は、このスペースが使用されていないことを示します。

重大度

04 または 08

CKR1165 修飾子 UNIVERSAL は、*ddname* の行 *number* のフィールド *field* には無効です (*Modifier UNIVERSAL invalid for field field at ddname line number*)

説明

このメッセージは、UNIVERSAL 修飾子が、この修飾子の使用をサポートしないフィールドで使用されていることを示します。この修飾子をサポートするのは、ACL および CONNECTS のようなフィールドのみです。

重大度

12

CKR1166 *ddname* の行 *number* のタイプ「*value*」の前で予期されていたのは *type* アクセス・レベルではありません (*A type access level was not expected before type "value" at ddname line number*)

説明

このメッセージは、プログラムは前のトークンをタイプ *type* のアクセス・レベルとして解釈したが、このコンテキストでは、このタイプは適用できないと考えられることを示します。タイプは UNIX、ACF2、有効範囲、モジュール、または DEFINE にできます。UNIX および ACF2 アクセスの値は、newlist タイプ TRUSTED での選択にのみ使用します。有効範囲の値は、newlist タイプ TRUSTED および REPORT_SCOPE での選択にのみ使用します。モジュールの値は、newlist タイプ REPORT_AC1 および REPORT_PADS での選択にのみ

使用します。DEFINE アクセスの値は、newlist タイプ ACCESS および RACF_ACCESS でのみ使用されます。

重大度

12

CKR1166 *ddname* の行 *number* のタイプ "*value*" の前で予期されていたのはアクセス・レベル *value* ではありません (The access value *value* was not expected before type "*value*" at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、プログラムは前のトークンをアクセス値 *value* として解釈したが、このコンテキストでは、この値は適用できないと考えられることを示します。HIDDEN は、newlist タイプ REPORT_STC での選択にのみ使用されます。QUALOWN は、newlist タイプ REPORT_SCOPE、ACCESS、および RACF_ACCESS でのみ使用されます。OWNER は、newlist タイプ TRUSTED、REPORT_REDUNDANCY、REPORT_SENSITIVE、REPORT_NONDEFAULT、REPORT_OUFOFGROUP、および REPORT_PROFILE でのみ使用されます。値 ADD、A-READ、DELETE、D-READ、ADD-DEL、および AD-READ は、newlist タイプ TRUSTED および REPORT_SCOPE でのみ使用されます。

重大度

12

CKR1166 *ddname* の行 *number* のタイプ "*value*" の前で予期されていたのは CONNECT 権限ではありません (A CONNECT authority was not expected before type "*value*" at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、プログラムは前のトークンを CONNECT 権限として解釈したが、このコンテキストでは、この値は適用できないと考えられることを示します。CONNECT 権限は、NEWLIST TYPE=RACF_ACCESS でのみ使用されます。

重大度

12

CKR1167 ディレクトリー・レイアウト *number* は不明です。空の SSCP が想定されます (Unknown directory layout *number* - empty SSCP assumed)

説明

ACF2 常駐有効範囲の構造を分析中に、プログラムが不明なレイアウト ID を持つ有効範囲ディレクトリーを検出しました。異常終了を防ぐために、ディレクトリーの処理は完全にスキップされます。これは実質的に、すべての SCPLIST が空であると見なされることを暗黙に示します。これにより、有効範囲の設定された管理者に対してプログラムが使用不可能になります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1168 ディレクトリー・レイアウトの不明な ID - 番号 (Unknown directory layout for identifier - number)

説明

アンロードの作成中に、プログラムが不明なレイアウト ID を持つ有効範囲ディレクトリーを検出しました。プログラムは続行を試みますが、正しい出力が生成される保証はありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1169 *ddname* 行 *number* の *token* の前の時間値が正しくありません (Illegal time value before *token* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、時間を認識できない DATETIME フォーマットの値を読み取ると発行されます。

重大度

12

CKR1170 *ddname* 行 *number* の *token* の前の日付値の継続が無効です (Invalid continuation of date value before *token* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、日付部分の後に文字が残っている DATETIME フォーマットの値を読み取ると発行されません。

重大度

12

CKR1171 **newlist フィールドおよび不明瞭なエンティティに起因する、セグメント・タイプ明確化のための格納要求 (Request storing for segment typing due to newlist field and ambiguous entity)**

説明

このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、正しいエンティティ・タイプが判別されていることに依存するフィールドを必要とする LIST ファミリー・ステートメントがある場合に発行されます。

重大度

00

CKR1172 **newlist 選択に起因する、セグメント・タイプ明確化のための格納要求 (Request storing for segment typing due to newlist selection)**

説明

このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、SELECT ステートメント自体が明確化されたエンティティ・タイプを必要とする場合に発行されます。

重大度

00

CKR1173 **グローバル SELECT は、セグメント・タイプ明確化のための格納が必要ないことを示します。(Global select indicates no storing for segment typing is needed.)**

説明

このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにす

べてのユーザーとグループを格納する必要がない場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。このメッセージがオーバーライドする可能性があるのは、メッセージ CKR1171、CKR1172、CKR1304、または CKR1305 です。これが一般的に発生するのは、グローバル SELECT と内部 (newlist) SELECT が実際には関連を持っていない場合です。

重大度

00

CKR1174 **現行システムでは RRSF コマンド伝搬がアクティブになっています。(RRSF command propagation is active on CURRENT system.) コマンドの最大サイズは 5000 バイトに削減されます (Reducing maximum command size to 5000 bytes.)**

説明

RRSF コマンド伝搬では、伝搬されるコマンドのサイズが 5000 バイトに制限されます。現行システムでは RRSF コマンド伝搬がアクティブになっているため、コマンドの最大サイズは 16 キロバイトから 5000 バイトに削減されます。

重大度

00

CKR1175 **user2 の CP ディレクトリー内に予期されないミニディスク user1 dev があります (Unexpected minidisk user1 dev in CP directory for user2)**

説明

このメッセージは、VM CKFREEZE ファイル内で CP ディレクトリーが予期しないレイアウトになっていることを意味します。製品がこの状態をサポートするべきだとお考えの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR1176 **CP ディレクトリー内に予期されないミニディスク user1 dev があります (Unexpected minidisk user1 dev in CP directory)**

説明

このメッセージは、VM CKFREEZE ファイル内で CP ディレクトリーが予期しないレイアウトになっていることを意味します。製品がこの状態をサポートするべきだとお考えの場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR1177 CP ディレクトリーが欠落していたため、**VERIFY NONEMPTY/ONVOLUME** は複合システム **complex** で実行されませんでした (**VERIFY NONEMPTY/ONVOLUME not performed on complex complex due to missing CP directory**)

説明

このメッセージは、VM CKFREEZE ファイルが欠落しているか、または CP ディレクトリー情報が含まれていないことを意味します。これを必要とする関数は実行されません。

重大度

08

CKR1178 ボリューム **volume user.dev** のミニディスクでは **VMMDISK** プロファイルは保護されません (**No VMMDISK profile protection for minidisk on volume volume user.dev**)

説明

このメッセージは、VM CP ディレクトリーにミニディスク定義と一致するプロファイルがなく、使用可能な HCPRWA 情報がない場合に、**VERIFY PROTECTALL** によって発行されます。この状態を修正するためのコマンドは生成されません。したがって、ユーザー自身がアクセス要件を確認する必要があります。VM によって行われるデフォルトのアクションは、HCPRWA モジュール内の **SYSSEC** マクロにコード化された内容によって定義されます。

重大度

08

CKR1179 一致するミニディスクがない汎用 **VMMDISK** プロファイルです。
profile (Generic VMMDISK profile

without matching minidisks profile)

説明

このメッセージは、**VERIFY NONEMPTY** または **VERIFY ALLNOTEMPTY** が、そのコマンドに従ってプロファイルが廃止されることを示すために発行します。プロファイルを除去するために、**RDELETE RACF** コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1180 個別の **VMMDISK** プロファイルですが、ミニディスクが定義されていません。**profile (Discrete VMMDISK profile but no minidisk defined profile)**

説明

このメッセージは、ミニディスクが存在しなくなったため、プロファイルが廃止されることを示すために **VERIFY ONVOLUME** によって発行されます。プロファイルを除去するために、**RDELETE RACF** コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1181 **field** にはサポートされない **FDE: FLAGS=SPECIAL (Unsupported FDE for field: FLAGS=SPECIAL)**

説明

示されたフィールドには、そのフィールド定義項目によると、非標準処理要件があります。これは、サイト定義のフィールドにはサポートされません。

重大度

20

CKR1182 **field** にはサポートされない **FDE: HEADER=NONE (Unsupported FDE for field: HEADER=NONE)**

説明

サイト定義の多値ビット・フィールドはサポートされません。

重大度

20

CKR1183 *field* にはサポートされない FDE: DYNAMEL ではない (X)VL (Unsupported FDE for *field*: (X)VL, but not DYNAMEL)

説明

示された多値フィールドは、可変長のエントリーを持つフィールドとして定義されていますが、このフィールドには各エントリーの実際の長さを示す手段がありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1184 *field* にはサポートされない FDE: STATUS=PSEUDO (Unsupported FDE for *field*: STATUS=PSEUDO)

説明

現在サポートされる疑似フィールドは、ログオン ID レコードの UID スtringのみです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1185 *field* にはサポートされない FDE: 長さ = 0 (Unsupported FDE for *field*: length = 0)

説明

一般に長さがゼロ・バイトの FDE 定義フィールドは、選択基準として使用できません。SORTLIST ステートメントなどで使用しても、同じく無効です。

重大度

20

CKR1186 *field* にはサポートされない FDE: リモート・デフォルト値 (Unsupported FDE for *field*: remote default value)

説明

FDE に正しいデフォルト値が存在しないフィールドはサポートされません。

重大度

20

CKR1187 *field* にはサポートされない FDE: サポートされないタイプ: *type* - *type(hex)* (Unsupported FDE for *field*: unsupported TYPE: *type* - *type(hex)*)

説明

示されたフィールドには、8 つの ACF2 定義データ型 (バイナリー、文字、パック 10 進数、時間、ビット・フラグ、TOD スタンプ、16 進数、または暗号化) が 1 つもありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1188 *field* には矛盾する FDE: TYPE=BIT、FLAGS=MULTI (Inconsistent FDE for *field*: TYPE=BIT, FLAGS=MULTI)

説明

サイズが 1 ビットに定義されたビット・フラグ型のフィールドは、複数の値を持つことができません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1189 *field* には矛盾する FDE: FLAGS=MULTI、STATUS=PSEUDO (Inconsistent FDE for *field*: FLAGS=MULTI, STATUS=PSEUDO)

説明

多値 ACF2 疑似フィールドはサポートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1190 *field* には矛盾する FDE: (X)VL ではない DYNAMEL (Inconsistent FDE for *field*: DYNAMEL, but not (X)VL)

説明

示された多値フィールドには、それぞれの値に長さバイトがありますが、これらの値の長さは一定しています。正しいフィールド定義かもしれませんが、現時点ではサポートされていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1191 *field* には矛盾する FDE: TYPE=PACKED、LENGTH > 16 (Inconsistent FDE for *field*: TYPE=PACKED、LENGTH > 16)

説明

パック 10 進数フィールドは、16 バイトを超える長さにできません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1192 *field* に複数の値がありません (*field* does not HAVE multiple values)

説明

示されたフィールドは多値フィールドとして定義されていません。しかし、最初の値以外の値に対する要求が検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1193 *field* には矛盾する AMULTFLD: AMULTCUR < 0 (Inconsistent AMULTFLD for *field*: AMULTCUR < 0)

説明

示された多値フィールドの値の数が負の数値になっています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度

20

CKR1194 *field* には矛盾する AMULTFLD: 要求された値 # > AMULTCUR (Inconsistent AMULTFLD for *field*: requested value # > AMULTCUR)

説明

示された多値フィールドには、要求された値の数だけの値がありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度

20

CKR1195 *field* には矛盾する AMULTFLD: AMULTCUR > FDEMVMAX (Inconsistent AMULTFLD for *field*: AMULTCUR > FDEMVMAX)

説明

示された多値フィールドに、そのフィールド定義項目で許可されている値より多くの値が定義されています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度

20

CKR1196 *field* には矛盾する **AMULTFLD:**
AMULTOFF の過去のレコード
(**Inconsistent AMULTFLD for field:**
AMULTOFF past record)

説明

示されたフィールドの多値フィールド・ヘッダーは ACF2 データベース・レコードに存在しますが、実際の値は存在しません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度

20

CKR1197 *field:* **DYNAMEL** が過去のレコード
終了を実行しています (*field:*
DYNAMEL running past record
end)

説明

要求されたフィールドの値は、多値フィールド・ヘッダーでは存在すると示されていますが、ACF2 データベース・レコードには物理的に存在しません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

CKR メッセージ 1200 から 1299

CKR1200 **ERRORMAILTO、**
SMTPMAILFROM、FROM、
または **REPLYTO** のない *keyword* は
無効です (*keyword invalid without*
ERRORMAILTO or
SMTPMAILFROM or FROM or
REPLYTO)

説明

E メール・メッセージを生成するために、キーワード MAILTO (MT) および BUNDLEMAILTO (BMT) が使用されています。これらのキーワードを使用する場合、有効

重大度

20

CKR1198 *field:* 固定 MV の過去のレコード終
了 (*field:* **fixed MV past record end**)

説明

要求されたフィールドの値は、多値フィールド・ヘッダーでは存在すると示されていますが、ACF2 データベース・レコードには物理的に存在しません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度

20

CKR1199 **IMBED NODUP** は **FILEDESC/PATH**
パラメーターをサポートしません
(**IMBED NODUP does not support**
the FILEDESC/PATH parameters)

説明

IMBED コマンドで、NODUP パラメーターが FILEDESC または PATH パラメーターと組み合わせて使用されています。これはサポートされません。

重大度

12

な SMTP ヘッダーを作成するには、示されたキーワードの 1 つ以上に有効な値が不可欠です。

重大度

12

CKR1201 フォーマット *outfmt* のフィールド
は、1 つのレコードまたは詳細表示あ
たり 1 つだけ変更できます -
ddname の行 *number* の *name*、また
は *parm* スtring 内の *name*
(**Fields with format *outfmt* can**
only be modifiable once per record)

or detail display - name at ddname line number or - name in parm string)

説明

同じ表示に、フィールド *name* のオカレンスが 2 つ以上あり、どちらのオカレンスも変更可能となっています。これは、フォーマットが CHAR または ASIS でない限り、許可されません。これは、レコード・レベルの表示、または詳細表示にも適用される可能性があります。フィールドを 1 回だけ表示するか、1 つのオカレンスを除くすべてのオカレンスに NOMODIFY 修飾子を追加してください。

重大度

12

CKR1202 繰り返しグループ・フィールド *name* は、1 つの詳細表示あたり 1 つだけ変更可能として表示できます - *ddname* の行 *number* の *name*、または *parm* スtring 内の *name* (Repeat group field *name* can only be displayed as modifiable once per detail display -name at *ddname* line number or - name in *parm* string)

説明

詳細表示に、繰り返しグループとして定義されたフィールド *name* のオカレンスが 2 つ以上あり、どちらのオカレンスも変更可能となっています。これはサポートされません。繰り返しグループ行にフィールドを 1 回だけ表示するか、1 つのオカレンスを除くすべてのオカレンスに NOMODIFY 修飾子を追加してください。

重大度

12

CKR1203 ID *identity* の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* に、BASIC または MAIN が指定されていません (BASIC or MAIN not specified on program profile *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID *identity*)

説明

このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプロファイルが定義されていますが、そのプロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') があ

りません。RACF は拡張警告モードで稼働するため、コメント化された RALTER PROGRAM APPLDATA('MAIN') コマンドが生成されます。示されたプログラムを条件付きアクセス・リストに定義する必要があると決定した場合は、このコマンドのコメントを外して実行できます。詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『"VERIFY PADS"』を参照してください。

重大度

04

CKR1204 ID *identity* の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム *program* に固有のプログラム・プロファイルが見つかりませんでした (No specific program profile found for program *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID *identity*)

説明

このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リストに定義されています。対応する固有のプログラム・プロファイルは見つかりませんが、このプログラム用の非特定プログラム・プロファイルはあります。RACF は拡張警告モードで稼働するため、固有でないプロファイルを固有のプロファイルにコピーするためのコマンドと APPLDATA('MAIN') を追加するためのコマンドがコメント化されて生成されます。示されたプログラムを条件付きアクセス・リストに定義する必要があると決定した場合は、このコマンドのコメントを外して実行できます。詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『"VERIFY PADS"』を参照してください。

重大度

04

CKR1205 ID *identity* の DATASET プロファイル *volser datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* 用の非特定プロファイルが見つかりませんでした (No non-specific profile found for program profile *program* used in DATASET profile *volser datasetprofile* for ID *identity*)

説明

このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付

きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1206 **ID identity の汎用 DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* 用の非特定プロファイルが見つかりませんでした (No non-specific profile found for program profile *program* used in generic DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)**

説明

このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1207 **ID identity の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* 用の非特定プロファイルが見つかりませんでした (No non-specific profile found for program profile *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)**

説明

このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1208 **ID identity の DATASET プロファイル *volser datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* に、BASIC または MAIN が**

指定されていません (BASIC or MAIN not specified on program profile *program* used in DATASET profile *volser datasetprofile* for ID identity)

説明

このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1209 **ID identity の汎用 DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* に、BASIC または MAIN が指定されていません (BASIC or MAIN not specified on program profile *program* used in generic DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)**

説明

このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1210 **ID identity の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* に、BASIC または MAIN が指定されていません (BASIC or MAIN not specified on program profile *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)**

説明

このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1211 ID identity の DATASET プロファイル *volser datasetprofile* で使用されているプログラム *program* に固有のプログラム・プロファイルが見つかりませんでした (No specific program profile found for program *program* used in DATASET profile *volser datasetprofile* for ID identity)

説明

このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1212 ID identity の汎用 DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム *program* に固有のプログラム・プロファイルが見つかりませんでした (No specific program profile found for program *program* used in generic DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)

説明

このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状

態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1213 ID identity の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム *program* に固有のプログラム・プロファイルが見つかりませんでした (No specific program profile found for program *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)

説明

このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1214 PIPE は *ddname* の行 *number* の PATH/FILEDESC でのみ有効です (PIPE is only valid on PATH/FILEDESC - at *ddname* line *number*)

説明

PIPE の指定は、PATH または FILEDESC 割り振りでのみ有効です。PIPE を除去するか、PATH または FILEDESC 割り振りに変更してください。

重大度

12

CKR1215 GETPROC は *ddname* の行 *number* の TYPE=SMF、TYPE=ACCESS、または <deftype> でのみ有効です (GETPROC is only valid on TYPE=SMF, TYPE=ACCESS, or <deftype> - at *ddname* line *number*)

説明

GETPROC は、SMF、ACCESS、または DEFTYPE コマンドで定義された入力タイプ以外の入力タイプには無効

です。さらに、GETPROC パラメーターは内部 IBM Security zSecure 用に意図されています。

重大度

12

CKR1216 WTO/SNMP/SYSLOG/CMD は相互に排他的です - *ddname* の行 *number* (WTO/SNMP/SYSLOG/CMD are mutually exclusive - at *ddname* line number)

説明

newlist には、特殊な配信タイプ (つまり、CMD、SNMP、SYSLOG、または WTO) を 1 つだけ指定できます。

重大度

12

CKR1217 PL/LL を WTO/SNMP/SYSLOG/CMD/XML と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *number* (PL/LL mutually exclusive with WTO/SNMP/SYSLOG/CMD/XML - at *ddname* line number)

説明

SNMP、WTO、SYSLOG、CMD、および XML は、それぞれ固有の行およびページの長さを暗黙的に指定します。これらの値を変更することはできません。

重大度

12

CKR1218 WTO が RC=*rc* (10 進数) で失敗しました。 *ddname* の行 *number* の newlist (WTO failed RC=*rc* (dec) newlist at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、示された newlist に対してオペレーター宛メッセージ (WTO) を発行中にエラーが発生したことを示します。このメッセージの後に、問題の WTO が示されます。

重大度

0 4

CKR1219 SNMP トラップが失敗しました。 *ddname* の行 *number* の msg newlist (SNMP trap failed msg newlist at *ddname* line number)

説明

newlist に対する SNMP トラップの送信に失敗しました。送信ルーチンが msg を報告しました。報告される可能性があるメッセージとその理由は以下のとおりです。

表 3. CKR1219 のメッセージ	
メッセージ	説明
特定のタイプが欠落しています (missing specific type)	SNMP トラップ送信用の CARLa (sort)list の先頭行が、トラップの特定のタイプを示す整数で始まっていませんでした。
不明な変数: <i>variable1</i> , <i>variable2</i> , ... (unknown variable(s): <i>variable1</i> , <i>variable2</i> , ...)	一部のストリングが変数として認識されませんでした。原因として、CARLa (sort)list にタイプミスがあることが考えられます。
各変数を 1023 文字にトリミングしても、変数の合計長さが過剰です (total length of variables is too large, even after trimming each variable to 1023 characters)	各変数のコンテンツは 1023 文字を超えていませんでしたが、変数ストリングとそのコンテンツの合計サイズが最大値の 32000 バイトを超えていました。
SnmppEnc に失敗しました (SnmppEnc failed)	SNMP トラップをエンコードできませんでした。コミュニティー・ストリングにセミコロンが含まれているか、エンタープライズ・ストリングのフォーマットが誤っている可能性があります。
IBM-1047 から ISO8859-1 への変換に失敗しました。メモリーが不足していました (IBM-1047 to ISO8859-1 conversion failed: not enough memory)	メモリー不足により、EBCDIC から ASCII に変換できませんでした。
IBM-1047 から ISO8859-1 へのコンバーターを開けません (Cannot open converter from IBM-1047 to ISO8859-1)	EBCDIC から ASCII への変換がサポートされませんでした。 電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、 866 ページの『IBM サポートへの連絡』 に記載されている手順に従って問題を報告してください。

表 3. CKR1219 のメッセージ (続き)	
メッセージ	説明
ソケット・エラー: rc return code (16 進数)、理由 reason code (16 進数)、error message string (socket error: rc return code (hex), reason reason code (hex); error message string)	ソケットを作成できませんでした。詳しくは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。
sendto エラー: rc return code (16 進数)、理由 reason code (16 進数)、error message string (sendto error: rc return code (hex), reason reason code (hex); error message string)	ソケットでデータを送信できませんでした。詳しくは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。
使用法: <specific> -c <community> -g <generic> -e <enterprise> (usage: <specific> -c <community> -g <generic> -e <enterprise>)	特定のトラップが指定された行の構文が誤っています。行は、特定のトラップ・フィールドを指定する整数で始まらなければなりません。その後にはオプションで、「-c community」、「-g generic」(generic は、汎用トラップ・フィールドを指定する整数)、および「-e enterprise」(enterprise は、ドットで区切られた整数のリスト)を続けます。
<specific> は整数でなければなりません (<specific> must be an integer)	特定トラップ・フィールドに整数が指定されていません。
<generic> は整数でなければなりません (<generic> must be an integer)	汎用トラップ・フィールドに整数が指定されていません。
C ルーチン CKRTRAP の呼び出しに失敗しました (Call to C routine CKRTRAP failed)	ルーチン CKRTRAP を呼び出すことができませんでした。これはおそらく、LE 環境が欠落しているか、誤って設定されていることによる結果です。この実行に ALLOC NOLE が指定されていないかを確認してください。

重大度

04

CKR1220 **GETHOSTNAME rc rc (10 進数)、
errno errno (16 進数)
(GETHOSTNAME rc rc (dec), errno
errno (hex))**

説明

GETHOSTNAME 呼び出しが失敗しました。これにより、無効な SMTP HELO ステートメントおよび SNMP トラップという結果になる可能性があります。原因には、(他の理由のなかでも特に) TCP/IP リゾルバー・データが欠落していること、または UNIX 呼び出しを実行できないこと (例えば UID が提供されていないなど) が考えられます。

重大度

08

CKR1221 **protocol destination [rc rc|earlier]
を解決できませんでした - ddname
の行 line の newlist newlist (Could
not resolve protocol destination [rc
rc|earlier] - newlist newlist at
ddname line line)**

説明

指定された newlist (SNMPTO、SYSLOGTO、SYSLOGUDP、または SYSLOGTCP) の protocol destination キーワードに指定された destination を IP アドレスに解決できませんでした。SNMP トラップ (SNMP の場合) または UNIX の SYSLOG メッセージ (SYSLOG の場合) は、この宛先には送信されません。原因としては、指定が誤っていること、TCPIP が誤って構成されていること、ドメイン・ネーム・サーバー (DNS) が一時的に使用不可能であること、または SNMP 宛先が一時的に (動的) DNS にないことが考えられます。

earlier はこの newlist が以前の宛先と同じ宛先を指していることを示します。

重大度

04

CKR1222 **field ルックアップは選択でサポート
されません - ddname の行 number
(field lookup not supported on
select - at ddname line number)**

説明

示されたフィールドは、SELECT 節でセキュリティー・データベース・ルックアップ・フィールドとして使用できません。SELECT 節のルックアップは、(ANY)SUPGROUP/OWNER/DFLTGRP に限定されます。

ユーザーの処置

このグループからのキーワードのみを指定するようにステートメントの SELECT 節を変更するか、デフォルト (RACF) 以外の newlist タイプを参照してください。

重大度

12

CKR1223 *ddname* の行 *number* の *token* の前の **CLEANUP** および **NOCLEANUP** は、互いに排他的な組み合わせです (**CLEANUP and NOCLEANUP are mutually exclusive before token at ddname line number**)

説明

ALLOCATE コマンドでキーワード CLEANUP と NOCLEANUP を同時に使用することはできません。

重大度

12

CKR1224 *ddname* の行 *line* のメールボックス指定 *token* が不完全です (**Incomplete mailbox specification token at ddname line line**)

説明

示された *token* の前のメールボックス指定にエラーが検出されました。アドレス指定については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明されている RFC 2822 構文を参照してください。E メール・アドレス・リストが使用されている場合、DD 名は Rxxxxxxx の形式になります。ここで、xxxxxxx は 10 進数です。この場合、これが参照するのは、使用されている E メール・アドレス・リスト内のレコード番号です。使用された <deftype> を見つけるには、このメッセージの前に示される前回のメッセージ CKR1088 を参照してください。

重大度

12

CKR1225 *ddname* の行 *number* の E メール *name* が *address* に送信されました。件名: **subject (E-mail name at ddname line number sent to address, subject: subject)**

説明

これは、newlist *name* に対して要求された E メール・メッセージが、指定の入力ロケーションから生成されたことを示す通知メッセージです。これは、示された件名で *address* に送信されました。

重大度

00

CKR1226 **ALLOC TYPE=esm ACTIVE** は、非 *esm* システムでは無効です - *ddname* の行 *number* (**ALLOC TYPE=esm ACTIVE is invalid on a non-esm system - at ddname line number**)

説明

外部セキュリティー・マネージャー *esm* に対するアクティブなセキュリティー・データベースの割り振り要求を受信しました。その ESM は、このシステムではアクティブでないため、割り振りを行うことはできません。

重大度

12

CKR1227 **SNMP** トラップが、*ddname* の行 *number* の *IPaddress* ポート *port* *newlist* を含めた *nr* 受信側に送信されました (**Sent SNMP trap to nr recipients, including IPaddress port port newlist at ddname line number**)

説明

このメッセージは、SNMP トラップが *newlist* に送信されたことを通知するために発行されます。

重大度

00

CKR1228 *format* フォーマットの **NEWLIST TYPE=deftype** にはフィールド **"SYSTEM"** が必要です。*ddname* の行 *number* の *fieldaddr* *fieldname* の時間帯は省略されます (**Field "SYSTEM" required in NEWLIST TYPE=deftype for format format - time zone omitted for fieldaddr fieldname at ddname line number**)

説明

DATETIMEZONE, SMFTIMESTAMPZONE, JAVA_SIMPLEDATE, および XSD_DATETIME の各フォーマットには、使用する時間帯を判別するためのシステムが必要です。DEFTYPE *newlist* の場合、使用するシステムの SMFid となるフィールド SYSTEM を定義する必要があります。日時形式について詳しくは、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明している LIST コマンドのフォーマット名を参照してください。

重大度

04

CKR1230 *ddname* の行 *line* のメールボックス・アドレス *token* にローカル部分がありません (Missing local part of mailbox address token at *ddname* line *line*)

説明

示された *token* の前のメールボックス指定にローカル部分 (ユーザー名) がありませんでした。アドレス指定については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明されている RFC 2822 構文を参照してください。E メール・アドレス・リストが使用されている場合、DD 名は Rxxxxxxx の形式になります。ここで、xxxxxxx は 10 進数です。この場合、これが参照するのは、使用されている E メール・アドレス・リスト内のレコード番号です。使用された <deftype> を見つけるには、このメッセージの前に示される前回のメッセージ CKR1088 を参照してください。

重大度

12

CKR1231 *ddname* の行 *line* のメールボックス・アドレス *token* にドメインがありません (Missing domain in mailbox address token at *ddname* line *line*)

説明

示された *token* の前のメールボックス指定にドメインがありませんでした。アドレス指定については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明されている RFC 2822 構文を参照してください。E メール・アドレス・リストが使用されている場合、DD 名は Rxxxxxxx の形式になります。ここで、xxxxxxx は 10 進数です。この場合、これが参照するのは、使用されている E メール・アドレス・リスト内のレコード番号です。使用された <deftype> を見つけるには、このメッセージの前に示される前回のメッセージ CKR1088 を参照してください。

重大度

12

CKR1232 *ddname* の行 *number* の NEWLIST NAME=*name* は抑止されます。*ddname2* の行 *number* の newlist を使用します (Suppressing NEWLIST NAME=*name* at *ddname* line *number*, using the one at *ddname2* line *number*)

説明

このメッセージは、FIRST_PER_NAME オプションにより NEWLIST が抑止されていたことを示します。メッセージは、この名前を持つ NEWLIST の代わりに使用される newlist を識別します。

この NEWLIST が MERGELIST の一部である場合、次の両方の条件が真であれば、ENDMERGE の後にメッセージ CKR2338 が続きます。

- 抑止された NEWLIST が MERGELIST 内の最初の NEWLIST である。
- 使用された出力コマンドが DISPLAY または SORTLIST である。

重大度

00

CKR1233 **C2ARULE:** レコード *key* が壊れています: 無効なトレーラー・オフセット (C2ARULE: record key corrupted: invalid trailer offset)

説明

示されたアクセス・ルール・レコードに予期しないレイアウトがあります。破損している可能性があります。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1234 レコード *key* のトレーラー・オフセットは無効です (Record key has an invalid trailer offset)

説明

示されたリソース規則レコードのレイアウトは予期されません。破損している可能性があります。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1235 間隔 *number* が *time* に開始されました (Start of interval *number* at *time*)

説明

このメッセージは、ソフトウェア・コードによるファイルの終わり条件を受信した後に、処理の新しいパスを開始したことを示します。

重大度

00

CKR1236 **MAILFONTSIZE は 1 から 7 の範囲内でなければなりません (MAILFONTSIZE must be in range 1..7)**

説明

MAILFONTSIZE は、ブラウザーのデフォルト・フォントが 12 ポイントに設定されている場合、8、10、12、14、18、24、26 ポイント・サイズに対応する 1 から 7 の範囲の数値にする必要があります (ユーザーはこれを変更できます)。

重大度

12

CKR1237 **WTO/SNMP/SYSLOG/CMD を E メールと同時に使用することはできません- ddname の行 number (WTO/SNMP/SYSLOG/CMD are mutually exclusive with e-mail - at ddname line number)**

説明

newlist には、特殊な配信タイプ (つまり、E メール、CMD、SYSLOG、SNMP、または WTO) を 1 つだけ指定できます。

重大度

12

CKR1238 **C2REMAIL の割り振りに失敗しました。(Allocation of C2REMAIL failed.)ライター: "writer" クラス: "class" NJENode: "node" (Writer: "writer" Class: "class" NJENode: "node")**

説明

C2REMAIL DD の割り振り中にエラーが発生しました。SMTPWRITER、SMTPCLASS および SMTPNJENODE パラメーターの値が有効であるかどうかを確認してください。

重大度

16

CKR1239

WTO が発行されました。ddname の行 number の newlist (WTO issued newlist at ddname line number)

説明

このメッセージは、示された newlist の WTO が正常に発行されたことを示します。このメッセージの後に、問題の WTO が示されます。

重大度

00

CKR1240

ddname の行 number の Newlist [name=name] type=type に、解決済み SNMP 宛先が含まれていませんでした - suppressed (Newlist [name=name] type=type at ddname line number did not contain a resolved SNMP destination - suppressed)

説明

指定された newlist の出力は宛先 SNMP または SYSLOG に送信されることになっていました。しかし、指定された宛先には到達できません。newlist 出力は抑止されています。宛先変更された出力がデフォルトのシステム・ファイルに送信されている場合は、そのファイルで newlist 情報を確認できます。SNMP のデフォルトは C2RSNMP で、SYSLOG のデフォルトは C2RSYSLG です。

出力テストを容易にするために SNMPTOFILE または SYSLOGTOFILE も指定されている場合には、newlist は抑止されません。

ユーザーの処置

newlist 出力を生成したプログラムで、SYSLOGTO=、SYSLOGUDP=、SYSLOGTCP=、または SNMPTO= パラメーターを更新して、システムがアクセスできる有効な IP アドレスを指定してください。有効なアドレスが指定されている場合には、システム管理者に連絡して、宛先に到達できない理由を確認してください。

重大度

08

CKR1241

SNMP は VM の下ではサポートされません (SNMP is not supported under VM)

説明

VM の下で SNMP トラップを発行するためのサポートはまだありません。このことがご使用のインストール

済み環境で問題になる場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR1242 16 進数ストリングを 255 文字より長くすることはできません *source* (Hexadecimal string cannot be longer than 255 *source*)

説明

入力に、テキストから 16 進数に変換されることなるストリングが含まれており、そのストリングの長さが 255 バイトを超えていました。これはサポートされません。

重大度

12

CKR1243 メールボックス・アドレスのフレーズを、*ddname* の行 *number* の 512 文字の *token* より長くすることはできません (*ddname line number*)

説明

E メール・アドレス指定で使用されるフレーズは、512 文字を超える長さにはできません。示された *token* の前に、誤ったフレーズが検出されました。アドレス指定については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明されている RFC 2822 構文を参照してください。E メール宛先ファイルが使用されている場合、DD 名は Rxxxxxxx の形式になります。ここで、xxxxxxx は 10 進数です。a decimal number. この場合、これが参照するのは、使用されている E メール宛先ファイル内のレコード番号です。使用された <deftype> を見つけるには、このメッセージの前に示される前回のメッセージ CKR1088 を参照してください。

重大度

12

CKR1244 OUTPUTFORMAT=*outputformat* は、MAILTO と組み合わせた場合にのみ有効です - *ddname* の行 *number* (OUTPUTFORMAT=*outputformat* is only valid in combination with MAILTO - at *ddname line number*)

説明

出力フォーマット *outputformat* は、E メール送信される newlist にのみサポートされます。OUTPUTFORMAT の指定を変更または削除するか、正しい Eメールのパラメーターを指定してください。

重大度

12

CKR1245 タイプ *type* からの (フィールド *field* への) 暗黙的ルックアップは、*ddname* の行 *number* ではサポートされません (Implicit lookup from type *type* to (field *field*) is not supported at *ddname line number*)

説明

示された newlist タイプからのセキュリティー・データベースに対するオブジェクト・タイプのルックアップはサポートされません。サポートされるソース・タイプのリストは、REPORT_SCOPE、SMF、RACF、TRUSTED です。

重大度

12

CKR1246 *mailoption* は、*ddname* の行 *number* の BUNDLE に含まれる個別の NEWLIST レベルでは有効ではありません (*mailoption* is not valid on the individual NEWLIST level within a BUNDLE at *ddname line number*)

説明

BUNDLE 内の NEWLIST は、まとめて 1 つとして扱われます。代わりに、BUNDLE の前にある BUNDLE ステートメントまたは OPTION ステートメントに *mailoption* を指定してください。

重大度

12

CKR1247 *mailto* は、*ddname* の行 *number* の BUNDLE 内では有効ではありません (*mailto* is not valid within a BUNDLE at *ddname line number*)

説明

BUNDLE は MAILTO をサポートしません。代わりに、BUNDLEMAILTO を使用してください。

重大度

12

CKR1248 構文 "(HOR[,len])" は推奨されません。これは "HOR([len],0)" に相当します (Deprecated syntax "(HOR[,len])" is equivalent to "HOR([len],0)")

説明

このメッセージは、フィールドまたは定義済み変数の最初の HORIZONTAL 修飾子が検出され、その指定が古い構文を使用していて、WRAP や明示的な長さ 0 を伴っていない場合に発行されます。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『LIST コマンド - 繰り返しフィールド出力修飾子』の説明を参照してください。

重大度

00

CKR1249 構文 "(HOR[,len2])" は推奨されません。これは、ここでは "HOR(len1)" に相当します。ddname の行 num に定義された variablename (Deprecated syntax "(HOR[,len2])" evaluates to "HOR(len1)" here - variablename defined at ddname line num)

説明

このメッセージは、定義済み変数に 2 番目の HORIZONTAL 修飾子が検出されると発行されます。つまり、先行の DEFINE ステートメントに既に HORIZONTAL 修飾子があるということです。さらに、その指定が古い構文を使用していて、明示的な長さ 0 を伴っていないか、ゼロ以外の列の長さが暗黙指定されているかのどちらかで、かつ、WRAP が (DEFINE にも、ローカル・オーバーライドとしても) 指定されていない場合に発行されます。HORIZONTAL 修飾子について詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『LIST コマンド - 繰り返しフィールド出力修飾子』を参照してください。同等の式は、変数の DEFINE ステートメントに依存することに注意してください。

重大度

00

CKR1250 PROGRAM データ・セット名は廃止されています。complex program - dsname Reason (PROGRAM data set name is obsolete complex program - dsname Reason)

説明

このメッセージは、ボリュームに固有でない PROGRAM メンバーに対する VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。その理由は、複合システム名のどのシステムにも、示されたデータ・セット名が実存する区分データ・セットに解決されるボリュームがないためです。このメッセージの後に、1 つ以上の Reason 行と、以下の詳細説明のいずれかが示されます。

- 区分データ・セットは、dsname のどのシステムの、どのボリュームにも存在しません (Partitioned data set does not exist on any volume any system dsname)
- syst volser システム上にボリュームがマウントされていません (Volume is not mounted on system syst volser)
- syst volser システム上で VTOC を読み取ることができません (VTOC is not readable on system syst volser)
- データ・セットは、システム syst volser dsname 上に存在しません (Data set does not exist on system syst volser dsname)
- データ・セットはシステム syst volser dsname 上で区分されていません (Data set is not partitioned on system syst volser dsname)

複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1251 PROGRAM dsn は廃止されている可能性があります。情報がありません。complex program - dsname Reason (PROGRAM dsn may be obsolete but info is missing complex program - dsname Reason)

説明

このメッセージは、ボリュームに固有でない PROGRAM メンバーに対する VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。その理由は、複合システム名のどのシステムにも、示されたデータ・セット名が実存する区分データ・セットに解決されるボリュームが見当たらないためです。このメッセージの後に、1 つ以上の Reason 行と、以下の詳細説明のいずれかが示されます。

- CKFREEZE 内に、volser のないデータ・セット dsname を検索するための、すべての VTOC がありません。
- CKFREEZE 内に、任意のシステムのデータ・セット dsname を検査する Mig. カタログがありません。

欠落した VTOC および欠落したマイグレーション・カタログについて詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の VERIFY PROGRAM の説明を参照してください。複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1252 PROGRAM IPL ボリューム・エントリ `dsn/*****` は廃止されています。 ***complex program - ***** dsname Reason (PROGRAM IPL volume entry dsn/***** obsolete complex program - ***** dsname Reason)***

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。その理由は、複合システムのどのシステムでも、示されたデータ・セット名が IPL ボリュームに実在する区分データ・セットに解決されないためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す Reason 行が続きます。

- データ・セットはシステム `syst volser dsname` の IPL ボリューム上にありません。 (**Data set not on IPL volume of system `syst volser dsname`**)
- データ・セットは `syst volser dsname` の IPL ボリューム上で区分されていません。 (**Data set is not partitioned on IPL volume of `syst volser dsname`**)

複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1253 PROGRAM IPL ボリューム・エントリ `dsn/*****` は廃止されたようです。 ***complex program - ***** dsname Reason (PROGRAM IPL vol entry dsn/***** appears obsolete complex program - ***** dsname Reason)***

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。その理由は、複合システム内には、示されたデータ・セット名が IPL ボリュームに実在する区分データ・セットに解決されるシステムが見当たりませんが、その一方で、1つ以上のエラー条件が検出されたた

めです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す Reason 行が続きます。

- IPL ボリュームは、システム `syst volser` 上でアンマウントされた可能性があります (**IPL volume appears unmounted on system `syst volser`**)
- VTOC は `syst volser` の IPL ボリュームに対して読み取り不可能になっているようです。 (**VTOC appears unreadable for IPL volume of `syst volser`**)
- データ・セットはシステム `syst volser dsname` の IPL ボリューム上にありません。 (**Data set not on IPL volume of system `syst volser dsname`**)
- データ・セットは `syst volser dsname` の IPL ボリューム上で区分されていません。 (**Data set is not partitioned on IPL volume of `syst volser dsname`**)

複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1254 PROGRAM `dsn/*****` は未使用ですが、情報がありません。 ***complex program - ***** dsname Reason***

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。その理由は、複合システム内には、示されたデータ・セット名が IPL ボリュームに実在する区分データ・セットに解決されるシステムが見当たらず、エラー条件が検出されなかったためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す Reason 行が続きます。

- IPL ボリュームは、システム `syst volser` 上でアンマウントされた可能性があります (**IPL volume appears unmounted on system `syst volser`**)
- VTOC は `syst volser` の IPL ボリュームに対して読み取り不可能になっているようです。 (**VTOC appears unreadable for IPL volume of `syst volser`**)
- VTOC が IPL ボリューム `syst volser` の CKFREEZE 内にありません。 (**VTOC not present in CKFREEZE for IPL volume `syst volser`**)
- データ・セット `syst volser dsname` をチェックするための Mig. catlg が CKFREEZE 内にありません。 (**Mig. catlg not in CKFREEZE to check data set `syst volser dsname`**)
- データ・セットはシステム `syst volser dsname` の IPL ボリューム上にありません。 (**Data set not on IPL volume of system `syst volser dsname`**)

- データ・セットは *syst volser dsname* の IPL ボリューム上で区分されていません。(Data set is not partitioned on IPL volume of *syst volser dsname*)

RACF を対象に zSecure を使用している場合、欠落した VTOC および欠落したマイグレーション・カタログについて詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の VERIFY PGMEXIST の説明を参照してください。複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1255 PROGRAM dsn/vol は廃止されていますが、情報がありません。complex program - volser dsname Reason (PROGRAM dsn/vol obsolete, but missing information complex program - volser dsname Reason)

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。その理由は、複合システム内には、示されたデータ・セット名が示されたボリュームに実在する区分データ・セットに解決されるシステムが見当たらないためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す Reason 行が続きます。

- syst volser* システム上にボリュームがマウントされていません (Volume is not mounted on system *syst volser*)
- syst volser* システム上で VTOC を読み取ることができません (VTOC is not readable on system *syst volser*)
- VTOC は CKFREEZE *syst volser* 内にありません (VTOC is not present in CKFREEZE *syst volser*)
- データ・セット *syst volser dsname* をチェックするための Mig. catlg が CKFREEZE 内にありません。(Mig. catlg not in CKFREEZE to check data set *syst volser dsname*)
- データ・セットは、*syst volser dsname* のボリューム上に存在しません (Data set does not exist on volume of *syst volser dsname*)
- データ・セットは *syst volser dsname* のボリューム上で区分されていません (Data set is not partitioned on volume of *syst volser dsname*)

RACF を対象に zSecure を使用している場合、欠落した VTOC および欠落したマイグレーション・カタログについて詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の VERIFY PGMEXIST の説明を参照してください。複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除す

るために、コメント化された RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度

04

CKR1256 開始プロシージャー・テーブル切り捨て - *number1* エントリー宣言、*number2* 読み取り - システム *system* 複合システム *complex* (Started Procedure Table truncated - *number1* entries declared, *number2* read - system *system complex complex*)

説明

示された *system* の CKFREEZE 内にある開始プロシージャー・テーブルのイメージが不完全です。その結果、NEWLIST TYPE=SPT によって生成される出力は少なくなります (例えば、AU.S RACF 制御 - STCTABLE)。

重大度

08

CKR1257 開始プロシージャー・テーブル切り捨て - *number1* エントリー宣言、*number2* 読み取り - システム *system [version] [-generation]* 複合システム *complex [version]* (Started Procedure Table truncated - *number1* entries declared, *number2* read - system *system [version] [-generation] complex complex [version]*)

説明

示された *system* の CKFREEZE 内にある開始プロシージャー・テーブルのイメージが不完全です。その結果、NEWLIST TYPE=COMPLIANCE/ID/TRUSTED/R_STC、REPORT STC によって生成される出力が少なくなり、VERIFY STC の結果が正しくない可能性があります。

重大度

08

CKR1258 <ddname> <vol> <dsn> の CKFREEZE レコード <yyyy> の実効レコード長が 0 です (Effective record length 0 at CKFREEZE record <yyyy> of <ddname> <vol> <dsn>)

説明

このメッセージは、CKFREEZE ファイルに、実効レコード長が 0 の無効なレコードが含まれていたことを示します。通常、原因は 2 つのうちのいずれかです。ファイルが完全な CKFREEZE ファイルでないか、あるいは LRECL=X,RECFM=VBS ファイルを適切にサポートしないユーティリティーによって移送または圧縮解除されています。その場合には、情報が欠落することになります。当初ファイルが作成されたシステム上で元のファイル进行分析して、そのファイルではこのメッセージが発生しないことを確認することをお勧めします。これが確認できた場合は、ユーティリティーが原因です。ユーティリティーが分析前のファイルに触れることなく、正常な zSecure Collect 実行によって作成されたファイルでこのメッセージが発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージは抑止可能ですが、その場合にはおそらく情報が欠落し、その結果、無効なレポートになるか、内部エラー・メッセージが発行される可能性があることに注意してください。

重大度

16

CKR1259 UNLOAD は NEWLIST TYPE=type には無効です (UNLOAD not valid for NEWLIST TYPE=type)

説明

UNLOAD ステートメントは、この NEWLIST タイプにはサポートされません。DEFTYPE が定義された NEWLIST タイプには、代わりに LIST RECORD を使用できます。

重大度

12

CKR1260 単語 *word* ではなく、NO または 10 進数が予期されます (Expected NO or decimal number instead of word)

説明:

示されたワードは、ここでは認識されません。10 進数または NO (引用符なし) が指定されていなければなりません。

重大度

12

CKR1261 CKRPRTFL: *ddname* の行 *number* の *fieldaddr fieldname* のフォーマット *output_format* に合わせ、

recordaddr の値の長さ *long_length* が 65535 に切り捨てられました (CKRPRTFL: Value length *long_length* in *recordaddr* truncated to 65535 for format *output_format* for *fieldaddr fieldname* at *ddname* line number)

説明:

示された *output format* は、65535 を超える入力長をサポートしません。示された *record* の *field* に設定された値 *long length* は、出力フォーマット・ルーチン呼び出す前に切り捨てられました。結果の出力は、予期された出力とは異なる場合があります。

重大度

08

CKR1262 値 "None" を他の理由値と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *num* の *token* の前 (The value "None" is mutually exclusive with other Reason values - before *token* at *ddname* line *num*)

説明:

RACF 理由フィールドの SELECT に、値 NONE が他の RACF 理由値と一緒に使用されていました。これは許可されません。代わりに、明示的 OR を使用してください。

重大度

12

CKR1263 *fieldaddr fieldname* が変更不可能になりました - *ddname* 行 *number* のフォーマット *outputformat* の表示レベルでの連結内 (*fieldaddr fieldname* made nonmodifiable - in concatenation on display level with format *outputformat* at *ddname* line *number*)

説明

示された *field* のフォーマットでは、連結内での変更がサポートされません。このフィールドは、レコードまたは要約表示レベルでの連結内に出現します。フィールドを変更可能に復元するには、そのフィールドを連結の外に出してください。このメッセージを回避するには、明示的な NOMODIFY 修飾子をフィールドに追加します。

重大度

00

CKR1264 *fieldaddr fieldname* が変更不可能になりました - *ddname* の行 *number*

のフォーマット *outputformat* の詳細表示での連結内 (*fieldaddr fieldname made nonmodifiable - in concatenation on detail display with format outputformat at ddname line number*)

説明

示された *field* のフォーマットでは、連結内での変更がサポートされません。このフィールドは、詳細表示レベルでの連結内に出現します。フィールドを変更可能に復元するには、そのフィールドを連結の外に出してください。このメッセージを回避するには、明示的な NOMODIFY 修飾子をフィールドに追加します。

重大度

00

CKR1265 *fieldaddr fieldname* が変更不可能になりました - *ddname* の行 *number* の WRAP が設定された詳細表示での連結内 (*fieldaddr fieldname made nonmodifiable - in concatenation on detail display with WRAP at ddname line number*)

説明

示された *field* には WRAP または WORDWRAP 修飾子があるため、該当する変更は連結内でサポートされません。このフィールドは、詳細表示レベルでの連結内に出現します。フィールドを変更可能に復元するには、そのフィールドを連結の外に出してください。このメッセージを回避するには、明示的な NOMODIFY 修飾子をフィールドに追加します。

重大度

00

CKR1266 フィールド *fieldaddr2 fieldname2* が散在しています。 *ddname* の行 *number* の連結 *fieldaddr1 fieldname1* が表示レベルで変更不可能になりました (*Scattered field fieldaddr2 fieldname2 - concatenation fieldaddr1 fieldname1 made nonmodifiable on display level at ddname line number*)

説明

示された *field1* で始まる連結の一部となっている *field2* は、変更可能なレコードまたは要約表示レベルで複数回出現しています。これはサポートされない組み合わせです。その結果、連結全体が変更不可能になりま

す。連結内でこのフィールドを変更可能に復元するには、同じ表示レベルにある他のインスタンスに NOMODIFY 修飾子を追加してください。連結の残りの項目を変更可能に復元するには、*field2* に NOMODIFY 修飾子を追加してください。

重大度

00

CKR1267 フィールド *fieldaddr2 fieldname2* が散在しています。 *ddname* の行 *number* の連結 *fieldaddr1 fieldname1* が詳細表示で変更不可能になりました (*Scattered field fieldaddr2 fieldname2 - concatenation fieldaddr1 fieldname1 made nonmodifiable on detail display at ddname line number*)

説明

示された *field1* で始まる連結の一部となっている *field2* は、変更可能な詳細表示レベルで複数回出現しています。これはサポートされない組み合わせです。その結果、連結全体が変更不可能になります。連結内でこのフィールドを変更可能に復元するには、同じ表示レベルにある他のインスタンスに NOMODIFY 修飾子を追加してください。連結の残りの項目を変更可能に復元するには、*field2* に NOMODIFY 修飾子を追加してください。

重大度

00

CKR1268 修飾子 **DETAIL**、**NODETAIL**、および **BOTH** は相互に排他的です - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname* (**Modifiers *DETAIL*, *NODETAIL* and *BOTH* are mutually exclusive - field *fieldname* at *ddname* line number**)

説明

これらの修飾子はそれぞれに、**DISPLAY** ステートメント内でフィールドまたはリテラルを出現させる表示レベルを制御するため、組み合わせることはできません。

重大度

12

CKR1269 修飾子 *modifier2* が修飾子 *modifier1* をオーバーライドします - *ddname* の行 *number* の *definedvariable* (**Modifier *modifier2* overrides modifier *modifier1* -**

definedvariable at ddname line number)

説明

示された *modifier1* が、示された DEFINE ステートメントに指定されました。このデフォルトは、ここで *definedvariable* に使用されている *modifier2* によってオーバーライドされます。この 2 つの属性は結合されません。

重大度

00

CKR1270 詳細フィールド *fieldname1* から概要へのルックアップは、*ddname* の行 *number* の *fieldname2* にはサポートされません (Lookup from detail field *fieldname1* to overview is not supported for *fieldname2* at *ddname* line number)

説明

基本フィールド *field1* に必要となる特殊な処理は、詳細レベルが生成されるときにのみ行われます。基本の値は、概要レベルが生成される時点では使用できないため、このルックアップはサポートされません。基本フィールドを使わずに概要でのルックアップを可能にするには、詳細レベルの *field1* のオカレンスの前に、このフィールドの新しいオカレンスを挿入して、NONDISPL 修飾子が設定された DISPLAY ステートメントに組み込んでください。

重大度

12

CKR1271 CUA の属性 *attribute2* が CUA の属性 *attribute1* をオーバーライドします - *ddname* の行 *number* の *definedvariable* (CUA attribute *attribute2* overrides CUA attribute *attribute1* - *definedvariable* at *ddname* line number)

説明

示された *attribute1* が、示された DEFINE ステートメントに指定されました。このデフォルトは、ここで *definedvariable* に使用されている *attribute2* によってオーバーライドされます。この 2 つの属性は結合されません。

重大度

00

CKR1272

予期しない CSRSI 戻りコード
xxxxxxx (Unexpected CSRSI
return code xxxxxxx)

説明

このメッセージは、CSRSI サービスが予期しない戻りコードを返したことを示します。その結果、稼働中のシステムの CPU モデル詳細情報を表示することはできません。

重大度

00

CKR1273 フィールド *name* のフラグ値は UPPER または ASIS でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "value" (Field name flag value must be UPPER or ASIS - "value" at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、フィールド名の場合、SELECT ステートメントに指定できる値は UPPER および ASIS のみであることを示します。

重大度

12

CKR1274 フィールド *field* の値は DISALLOWED または ALLOWED でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "value" (Field field value must be DISALLOWED or ALLOWED - "value" at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、*field* (CDTGEN (別名 CLASS_GENERIC_ALLOWED) または CDTGENL (別名 CLASS_GENLIST_ALLOWED)) の場合、SELECT ステートメントに指定できる値は DISALLOWED (別名 NO または OFF) および ALLOWED (別名 YES または ON) のみであることを示します。

重大度

12

CKR1275 MACCHECK の値は、NORMAL、REVERSE、または EQUAL でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "value" (MACCHECK value must be NORMAL, REVERSE, or EQUAL - "value" at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、フィールド CDTMAC の場合、SELECT ステートメントに指定できる値は NORMAL、REVERSE、または EQUAL のみであることを示します。

重大度

12

CKR1276 制限モードでの選択は、*ddname* の行 *number* の *type* 節では許可されません (**Selection in restricted mode is not allowed with type clause at *ddname* line *number***)

説明

プログラムが制限モードまたは PADS モードで実行しているときには、示されたタイプの節での選択は許可されません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。

ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合は、示されたフィールドが欠落していることを見なされることを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。

CKR0170 も参照してください。

重大度

04 または 12

CKR1277 タイプ *type1* への暗黙的ルックアップは、*ddname* の行 *number* の *type2* からはサポートされません (**Implicit lookup to type *type1* not supported from type *type2* at *ddname* line *number***)

説明

オブジェクト属性のルックアップは、この newlist タイプの組み合わせにはサポートされません。

重大度

12

CKR1278 タイプ *type1* への明示的ルックアップは、*ddname* の行 *number* のフィールド *field* のタイプ *type2* からは許可されません (**Explicit lookup to type *type1* not supported from type *type2* through field *field* at *ddname* line *number***)

説明

タイプ *type2* から示されたタイプ *type1* への ID ルックアップは、サポートされません。RACF を対象に zSecure を使用している場合、許可されるターゲット・タイプは RACF のみです。ACF2 を対象に zSecure を使用している場合、これは実際には ACF2 セキュリティー・データベースの ACF2_LID 情報のルックアップということになります。

重大度

12

CKR1279 BESTMATCH パラメーターは、*ddname* の行 *number* の newlist コンテキストでのみ使用できます (**The BESTMATCH parameter can only be used in a newlist context at *ddname* line *number***)

説明

BESTMATCH パラメーターが、グローバル SELECT (つまり、最初の NEWLIST ステートメント) で使用されていました。これはサポートされません。SELECT ステートメントを正しい NEWLIST TYPE=RACF に移動してください。

重大度

12

CKR1280 グループ *groupid* の接続リストのユーザー *userid* が重複しています。複合システム *complex version* (**Duplicate user *userid* in connect list of group *groupid* complex *complex version***)

説明

示された GROUP プロファイルの USERID フィールドに、示されたユーザー ID が複数回含まれています。これは RACF データベース内の異常です。RACF は最初の接続項目のみを使用し、zSecure は RACF が使用する項目のみを表示します。ただし、選択の際には両方の接続項目が考慮されるため、予期しない出力になる可能性があります。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

04

CKR1281 定義済み変数 *variable* (*type=type*) は boolean/as/true でないため、*ddname* の行 *number* のルックアップ・ターゲットとして使用されない可能性があります (**Defined variable *variable* (*type=type*) is not**)

boolean/as/true, may not be used as lookup target at ddname line number)

説明

このメッセージは、不適切なタイプの変数が (明示的) ID ルックアップのルックアップ・ターゲットとして使用されていたことを示します。許可されるタイプは、BOOLEAN、AS、および TRUE のみです。

重大度

12

CKR1282 定義済み変数 *variable (type=type)* は **boolean/as/true** でないため、*ddname* の行 *number* のルックアップ・ターゲットとして使用されない可能性があります (**Defined variable *variable (type=type)* is not boolean/as/true, may not be used as lookup target at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、不適切なタイプの変数が (暗黙的) オブジェクト・プロパティ・ルックアップのルックアップ・ターゲットとして使用されていたことを示します。許可されるタイプは、BOOLEAN、AS、および TRUE のみです。

重大度

12

CKR1283 *ddname* 行 *number* の *token* の前にルックアップ・フィールドが予期されています (**Expecting lookup field before *token* at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、ルックアップの指定が予期されていたが、検出されたフィールド名が空白であったか、欠落していたことを示します。

重大度

12

CKR1284 *ddname* の行 *number* の *name* の前のフィルター比較で使用できるのは、**=**、**<>**、および **^=** のみです (**Filter comparison only allowed with **=**, **<>**, and **^=** before *name* at *ddname* line *number***)

説明

フィールドを比較するために使用できるのは、**=**、**<>**、または **^=** 演算子を使用したフィルターのみです。

重大度

12

CKR1285 列幅 *width* は **DUMP(*n*)** には不十分です。 ***width2*** が必要です - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname* (**Column width *width* insufficient for **DUMP(*n*)**, *width2* required - field *fieldname* at *ddname* line *number***)

説明

DUMP(*n*) のフォーマット設定には、ダンプ・オフセット、セパレーター、および 1 つ以上のフルワードが入るだけのスペースが必要です。 **DUMP** フォーマットについて詳しくは、**zSecure CARLa** コマンド・リファレンスで説明している **LIST** コマンドのフォーマット名を参照してください。

重大度

12

CKR1286 有効範囲でフィルタリングされる繰り返しグループ・フィールド *field* は、*ddname* の行 *number* のルックアップ・キーとして使用できません (**Scope-filtered repeat group field *field* cannot be used as lookup key at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、項目レベルの有効範囲処理が必要な繰り返しグループ・フィールドは、ルックアップ・キーとしてサポートされないことを示します。

重大度

12

CKR1287 **RACLIST** の値は、**ALLOWED**、**REQUIRED**、または **DISALLOWED** でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "value" (**RACLIST value must be **ALLOWED**, **REQUIRED**, or **DISALLOWED** - "value" at *ddname* line *number***)

説明

このメッセージは、フィールド **CDTRACL** の場合、**SELECT** ステートメントで指定できる値は **ALLOWED**、

REQUIRED、および DISALLOWED のみであることを示します。

重大度

12

CKR1288 UACC の値は、ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、ACEE、または NONE でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "value" (UACC value must be ALTER, CONTROL, UPDATE, READ, ACEE, or NONE - "value" at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、フィールド CDTUACC の場合、SELECT ステートメントで指定できる値は ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、ACEE、および NONE のみであることを示します。

重大度

12

CKR1289 <*dsn* または *path*> には DD 名番号 00-99 が残っていません (No DDname number 00-99 left for <*dsn* or *path*>)

説明

このメッセージは、特定のファイル・タイプ (DD 名の接頭部) でサポートされる最大自動割り振り数に達していることを示します。SE.1 のファイル・セット数を削減するか、追加する必要があるファイルに対する独自の DD 名を設定した追加 ALLOC ステートメントを手動で作成してください。

重大度

12

CKR1290 *address* 以下のアドレスを持つ項目が、NUCMAP 内に見つかりませんでした (No entry with address less than or equal to *address* found in the NUCMAP)

説明

プログラムはアドレス *address* のモジュールを nucleus マップで検索しましたが、見つかりませんでした。このメッセージを受け取ったが、その理由が分からない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866](#)

ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1291 重複する SECLABEL プロファイル *seclabel* があります。複合システム *complex version* (Duplicate SECLABEL profile *seclabel* complex *complex version*)

説明

示された *seclabel* は 2 回定義されています。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

20

CKR1292 RACSTAT の予期しない RC。(RACSTAT unexpected RC.)CLASS='class' SAF RC=*safrc* RACF RC=*racfr* RSNCODE=*rsn*

説明

RACROUTE REQUEST=STAT 呼び出しを使用してシステムから動的クラス記述子テーブルを取得中に、プログラムはエラーを示す戻りコードを受け取りました。zSecure Audit は動的 CDT の処理を停止します。エラーの原因を判別するには、「*Security Server RACF RACROUTE* マクロ解説書」で戻りコードを調べてください。

このエラーが CDT 処理の途中で発生した場合 (*class* のすべてがブランクになっていない場合)、zSecure Audit は、引き続き部分的 CDT を使用することに注意してください。クラス設定が返される前にエラーが発生した場合 (この場合のほうが高い可能性があります)、zSecure Audit はフォールバックして静的 CDT を使用します。このメッセージは抑止可能です。

重大度

16

CKR1293 CERTIFICATE_TRUSTED の値は、NOTRUST/No、TRUST/Yes、または HIGHTRUST/Hi でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "value" (CERTIFICATE_TRUSTED value must be NOTRUST/No, TRUST/Yes, or HIGHTRUST/Hi - "value" at *ddname* line *number*)

説明

CERTIFICATE_TRUSTED フィールドに指定できる値は、NOTRUST(または No)、TRUST(または、TRUSTED あるいは Yes)、および HIGHTRUST(または、HIGH あるいは Hi)のうち、いずれか1つだけです。有効な値を SELECT ステートメントに指定してください。

重大度

12

CKR1294 ***ddname dsname* [別名 *dsname*] の割り振りに失敗しました (Allocation failure for *ddname dsname* [for alias *dsname*])**

説明

示されたデータ・セットに対する動的割り当てが失敗しました。失敗の正確な原因に関する診断情報は、DAIRFAIL による先行メッセージに含まれています。処理は打ち切られます。

重大度

16

CKR1295 **CKAUNIX.CKATSEC: TSEC ACL を作成するためのメモリーが残っていません (CKAUNIX.CKATSEC: No memory left to build TSEC ACLs)**

説明

メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理で各種 SECLABEL へのアクセス権限を判別することができません。TYPE=UNIX newlist では、HOME_OF、AUDITCONCERN、および AUDITPRIORITY フィールドに誤った出力または不完全な出力が示される可能性があります。TYPE=TRUSTED の場合は、一部の考慮事項がレポートされない可能性があります。

重大度

08

CKR1296 **CKFREEZE ファイルではありません - *ddname volume dsn* (Not a CKFREEZE file - *ddname volume dsn*)**

説明

このメッセージは、TYPE=CKFREEZE ファイルの割り当ては行われたが、データ・セットのコンテンツが CKFREEZE レイアウトに準拠しているものでも、アンロードでもないことを示します。

重大度

16

CKR1297 **UNLOAD が CKFREEZE ファイルとして割り当てられました - *ddname volume dsn* (UNLOAD allocated as CKFREEZE file - *ddname volume dsn*)**

説明

このメッセージは、TYPE=CKFREEZE ファイルの割り当ては行われたが、データ・セットのコンテンツから、これは実際には TYPE=UNLOAD データ・セットであることを示します。CARLa、JCL、または SE.1 の入力ファイルのセットで、一部の行が交換された可能性があります。

重大度

16

CKR1298 ***ddname* の行 *number* の要約キーに設定された NONDISPL により、SORTLIST/DISPLAY は表示されません (SORTLIST/DISPLAY invisible because of NONDISPL on summary key(s) at *ddname* line *number*)**

説明

このメッセージは、要約レベルのいずれかに表示不可要約キーしかなく、それがその要約レベルとその下にあるすべての要約レベルに対する出力抑止要求として解釈されていることを示します。SORTLIST/DISPLAY の出力は、階層では最下位の要約レベルの下にあるため、この出力も同じく抑止されます。したがって、SORTLIST/DISPLAY 要求は受け入れられません。SORTLIST/DISPLAY ステートメントを削除するか、要約キーから NONDISPL 標識を除去してください。

重大度

12

CKR1299 **ユーザー *userid* の接続リストでグループ *groupid* が重複しています (Duplicate group *groupid* in connect list of user *userid*)**

説明

示された USER プロファイルの CGGRPNM フィールドに、示されたグループ ID が複数含まれています。これは RACF データベース内の異常です。RACF は最初の接続項目のみを使用し、zSecure は RACF が使用する項目のみを表示します。ただし、選択の際には両方の接続項目が考慮されるため、予期しない出力になる可能性があります。

あります。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度

04

CKR メッセージ 1300 から 1399

CKR1300 予期されない索引項目 ID *hexid* *ddname* *rel* *blk* *blknum* オフセット *hexnum* テーブル *hexnum* *lvl* *level* (Unexpected index entry id *hexid* *ddname* *rel* *blk* *blknum* *offset* *hexnum* *table* *hexnum* *lvl* *level*)

説明

サポートされない ID を持つ予期されない種類の項目が RACF データベース索引で見つかりました。SUPPRESS INDEX コマンドを CARLa ストリームに追加することで、この問題を回避できる可能性があります。これは、ISPF インターフェース内から SETUP PREAMBLE の下で指定できます。

RACF ユーティリティ IRRUT200 が不整合またはエラーを警告しない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

不整合がレポートされる場合は、IRRUT400 を使用して RACF データベースを再編成してください。

重大度

16

CKR1301 *source* *sourcename* のアクティブ・セグメント・テーブルが無効です (Invalid active segment table for *source* *sourcename*)

説明

ストレージ内の RACF データベース・テンプレートのイメージが含まれるレコードを処理中に、予期されない状態が検出されました。*source* が **system** である場合、レコードは CKFREEZE から提供されました。そうでない場合は、UNLOAD からのレコードです。プログラムは、必要な場合には別のソースからテンプレートを取得しますが、これらのテンプレートは必ずしも最新のテンプレートであるとは限りません。

重大度

04

CKR1302 複合システム *complex* は *source* *sourcename* テンプレート・レベル *template level comparison* の *template type* テンプレートを使用

します (Complex *complex* uses *template type* templates of *source* *sourcename* *template level* *template level comparison*)

説明

このメッセージは、どのテンプレートを使用して、示された複合システムの RACF データベースを処理するかを示します。*template type* が **database** の場合、*source* および *sourcename* はそれぞれ **complex** および **complex** となります。この場合、メッセージはテンプレート・レベルの詳細を提供しません。この情報は、この複合システムに関する先行の CKR0004 に含まれます。*template type* が **incore** の場合、*source* は、(稼働中の設定または CKFREEZE のいずれかから取得されたテンプレートであることを示す) **system**、または (一般に、UNLOAD から取得されたテンプレートであることを示す) **complex** となります。いずれの場合も、*template level* は RACF リリース・レベルと最後にテンプレートを変更した APAR レベルを示し、その後にそれぞれに相当する数値 (この情報が使用可能な場合) を示します。このメッセージは、メモリー内のテンプレートがデータベース・テンプレートと等しいかどうかを示します。メモリー内のテンプレートはデータベース・テンプレートよりも新しい場合にのみ使用されるため、メッセージには通常、**(DB とは異なります (different from DB))** と示されます。

重大度

00

CKR1303 ID ルックアップ・フィールドが多すぎます。制限数は約 8000 です (Too many id lookup fields, limit is around 8000)

説明

このメッセージは、ユーザーまたはグループを対象に保管するには、ルックアップ・フィールドが多すぎること示します。文字フィールドでの制限数は約 8000 です。ルックアップ・ターゲットとして使用している定義ステートメントの数を削減してください。

重大度

12

CKR1304 *newlist* 除外に起因する、セグメント・タイプ明確化のための格納要求

(Request storing for segment typing due to newlist exclude)

説明

このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、SELECT ステートメント自体にはエンティティ・タイプが明確になっている必要はないが、USER および GROUP を組み込む必要があるため、EXCLUDE ステートメントで使用されているフィールドに、エンティティ・タイプの明確化が必要になる場合に発行されます。

重大度

00

CKR1305 **where 節に起因する、セグメント・タイプ明確化のための格納要求 (Request storing for segment typing due to where clause)**

説明

このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、定義済み変数に、明確なエンティティ・タイプを必要とする WHERE 節が含まれる場合に発行されます。

重大度

00

CKR1306 **グローバルな除外には、セグメント・タイプ明確化のための格納が必要で (Global exclude needs storing for segment typing)**

説明

このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、グローバルな EXCLUDE ステートメントに、明確なエンティティ・タイプを必要とするフィールドが含まれる場合 (例えば、EXCLUDE CLASS=USER SEGMENT=OMVS) に発行されます。

重大度

00

CKR1307

***esm datasource ddname volser dsn(member)* を読み取るためのライセンス交付を受けていません (Not licensed to read *esm datasource ddname volser dsn(member)*)**

説明

datasource が **unload** の場合、このメッセージは、外部セキュリティ・マネージャー *esm* を実行中のシステムで作成された UNLOAD を読み取ろうとしたことを示します。このタイプの UNLOAD を検査するためのライセンス交付はを受けていません。正しい IFAPRDxx メンバーで実行していることを確認するか、問題の UNLOAD を照会から除去してください。*datasource* が **remote database** の場合、このメッセージは zSecure Server ネットワークを介して割り振られたセキュリティ・データベースを参照します。

重大度

16

CKR1308 ***ddname* の行 *number* の DEFTYPE *parameter* に国別文字が含まれていません (DEFTYPE *parameter* does not contain a national character at *ddname* line *number*)**

説明

示された位置の DEFTYPE コマンドの *parameter* (TYPE または ABBREV2 にすることが可能) に、国別文字 (\$、#、または @) が含まれていません。通常はこれが問題になることはありませんが、将来、新しい TYPE または ABBREV2 値が IBM Security zSecure で事前定義されるときに、競合が発生する可能性があります。このメッセージは、NOWARN パラメーターを DEFTYPE 指定に追加することで抑止できます。

重大度

04

CKR1309 **DDNAME *ddname* は既に *dsn* に割り当てられています - *inputdd* の行 *number* (DDNAME *ddname* has already been assigned to *dsn* - at *inputdd* line *number*)**

説明

示された *ddname* に対して複数の ALLOC コマンドを発行しました。これらのコマンドのうち 2 つ (またはそれ以上) が、DSN/CMSFILE/PATH パラメーターを指定しています。これらのパラメーター値の最初の値が *dsn* として示され、2 番目の ALLOC コマンドの位置が *inputdd* の行 *number* に示されます。照会の ALLOC ステートメントを修正してから、再実行してください。

重大度

12

CKR1310 **CONNECT** ルックアップは **DEFINE** でサポートされません - *ddname* の行 *number* (**CONNECT lookup not supported on DEFINE - at *ddname* line number**)

説明

これは、DEFINE ステートメントでは :CONNECT ルックアップがサポートされないことを示します。これを使用できるのは、SORTLIST または DISPLAY ステートメントのみです (例えば、"SORTLIST KEY USERID USERID:CONNECT")。

重大度

12

CKR1311 タイプ *type* は、*ddname* の行 *number* の組み込み **newlist** で既に使用されています (**Type *type* already used by builtin newlist at *ddname* line number**)

説明

示された位置の DEFTYPE コマンドに指定された **TYPE=type** は、IBM Security zSecure に事前定義された **newlist** タイプと競合します。このような性質の競合を回避するために、DEFTYPE **TYPE=** の名前には常に国別文字 (\$、#、または @) を含めてください。

重大度

12

CKR1312 **CKRSTPMB: 無効なメンバーの長さ *xx* : program - member 複合システム complex version (CKRSTPMB: Invalid member length *xx* : program - member complex complex version)**

説明

PROGRAM プロファイル *program* のメンバー・リストを保管中に、長さが *xx* (16 進数) の項目 *member* が検出されました。この長さは、有効な項目を含めるには短すぎます。このメンバー・リスト項目は無視されます。

重大度

20

CKR1313 フィールド *fieldname* からのルックアップは *ddname* の行 *number* でサポートされません (**Lookup through**

field *fieldname* not supported at *ddname* line number)

説明

ターゲット **newlist** タイプのルックアップ・キーの指定は、**deftype** ルックアップにのみサポートされます。

重大度

12

CKR1314 **complex DB *nn* *ddname* volser *dsn* で順次モードに切り替え中 *switchreason***
現時点までに *number* の特殊ブロック、*number* の索引ブロック、および *number* のデータ・ブロック (現行キュー長 *number* のうち) の読み込みを完了。
現時点までに *number* のブロック (合計 *number* の *number* 入出力のうち) の読み込みを完了 (**Switching to sequential mode *switchreason* on complex DB *nn* *ddname* volser *dsn* So far read *number* special, *number* index, and *number* data blocks of current queue length *number* So far read *number* blocks from a total of *number* in *number* IOs**)

説明

このメッセージは、プログラムが、索引付き入出力の継続により、この RACF データ・セットを単純に順次処理する場合よりも応答時間が長くなると予期していることを示します。この決定は、RACF データベース内の RACF データ・セットごとに個別に行われます。

switchreason がクライアントによる要求 (**as requested by client**) の場合、この決定は照会の論理分析の結果であり、CKRCARLA インスタンスが zSecure Server ネットワークを介してデータベース・サーバーとして稼働している場合にのみ生成されます。ローカル・クライアント・インスタンスは、入出力を開始する前に、この決定を行います。

switchreason が多数の要求 (**due to high number of requests**) の場合、これは、キューに入れられた実際の入出力数に基づく動的決定です。

この動作を (デバッグおよびパフォーマンス分析のために) 抑止する場合は、コマンド **SUPPRESS INDEXCUTOFF** (可能な場合にのみ索引付き入出力を実行) または **SUPPRESS INDEX** (常に順次入出力を実行) を使用できます。索引付き入出力のカットオフ・ポイントは、**LIMIT INDEXBIAS** を使用して変更できます。詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の

SUPPRESS および LIMIT コマンドの説明を参照してください。

注: これらのコマンドは、CARLa を読み取る CKRCARLA インスタンスにのみ適用されます。ローカル・クライアントとリモート・データベース・サーバーのインスタンスには、それぞれ独自の入力コマンドがあります。

重大度

00

CKR1315 オプション *option* は **FILEFORMAT=XML** と両立しません - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname* (Option *option* incompatible with **FILEFORMAT=XML** - field *fieldname* at *ddname* line *number*)

説明

示されたフィールド出力修飾子は、FILEFORMAT=XML と両立しません。修飾子ではなく、STRING となる場合もあります。その場合、XML エlement が関連付けられていないため、リテラルがサポートされないことを示します。

重大度

12

CKR1316 オプション *option* は **FILEFORMAT=XML** と両立しません - *ddname* の行 *number* (Option *option* incompatible with **FILEFORMAT=XML** - at *ddname* line *number*)

説明

示された NEWLIST オプションは、FILEFORMAT=XML と同時に使用することはできません。

重大度

12

CKR1317 *ddname* の行 *number* の **FILEFORMAT=XML** には **NEWLIST NAME** が必要です (NEWLIST NAME is required with **FILEFORMAT=XML** at *ddname* line *number*)

説明

XML 出力は、NEWLIST NAME= パラメーターで定義された Element 名を持つ構造化 XML Element の形式になります。したがって、これが必要です。

重大度

12

CKR1318 *ddname* の行 *number* の **newlist newlist** に重複する XML フィールド・Element 名 *name* があります (Duplicate XML field element name *name* in newlist *newlist* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、LIST または SORTLIST ステートメント内に、重複するフィールド名が指定または (別名処理により) 暗黙指定されていることを示します。この指定は FILEFORMAT=XML では不可能です。繰り返された Element 名が、繰り返しフィールドの値として使用されるためです。

重大度

12

CKR1319 **NEWLIST NAME=name** は無効な XML 名です - *ddname* の行 *number* (**NEWLIST NAME=name** invalid XML name - at *ddname* line *number*)

説明

XML 出力は、NEWLIST NAME= パラメーターで定義された Element 名を持つ構造化 XML Element の形式になります。したがって、XML 名の規則に従った名前ではなければなりません。つまり、名前を「XML」、数字、またはハイフンで開始することはできません。また、名前に国別文字を含めることもできません。

重大度

12

CKR1320 *ddname* の行 *number* の XML フィールド・Element 名 *name* は、*ddname* の行 *number* の **NAME=name** で設定されたレコード・Element と同じです (XML field element name *name* at *ddname* line *number* same as record element set by **NAME=name** at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、FILEFORMAT=XML で使用されているフィールド名が、同じ出力ファイルに出力される newlist 名と同じであることを示します。XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・Element 名、NEWLIST NAME= パラメーターで定義された

エレメント名を持つレコード・レベルのサブエレメント、および (SORT)LIST フィールド名で定義されたフィールド・レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度

12

CKR1321 **BESTMATCH** パラメーターを *ddname* の行 *number* の **WHERE** 節で使用することはできません (**The BESTMATCH parameter cannot be used in a WHERE clause - at ddname line number**)

説明

BESTMATCH パラメーターが、**DEFINE** ステートメントの **WHERE** 節で使用されていました。これはサポートされません。**BESTMATCH** パラメーターは、**newlist** の **SELECT** ステートメントでのみ使用できます。

重大度

12

CKR1322 セグメント *segname* は複合システム *complex* ではサポートされません (**Unsupported segment segname in complex complex**)

説明

このメッセージは、現行バージョンの zSecure ではサポートされない新規セグメント名が RACF データベース・テンプレートで検出されたことを示します。

重大度

08

CKR1323 *ddname* の行 *number* の **token** で使用できる **EUpdate** セパレーターは、**/**、**-**、または空白のみです (**EUpdate separator can only be a /, - or blank token at ddname line number**)

説明

EUpdate フォーマットで使用できるセパレーターは、スラッシュ (**/**)、ダッシュ (**-**)、および空白 () のみです。指定を確認して、照会を再実行依頼してください。

重大度

12

CKR1324

オプション *option warningtext*。
UTF-8 値が考えられます - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname* (**Option option warningtext possible UTF-8 values - field fieldname at ddname line number**)

説明

デフォルト以外の出力エンコード方式でレポートを生成する場合、示されたフィールド出力修飾子は、Unicode の値が含まれる可能性のあるこのフィールドと両立しません。これが適用されるのは、**INDENT**、**TITLE**、および **TOPTITLE** です。このメッセージは、**FILEOPTION ENCODING=EBCDIC** がレポートに適用される場合は重大度 0 で発行され、エンコード方式を変更すると、この照会が機能しなくなることを通知します。その他の出力エンコード方式がアクティブの場合は、重大度 12 の構文エラーとして発行されます。

重大度

00 または 12

CKR1325 オプション *option* は、出力ファイルに対して既に異なる形で設定されています。*ddname* の行 *number* の *newlist name* による予期されない変更です (**Option option already set differently for output file, unexpected change by newlist name at ddname line number**)

説明

示されたオプションは、出力ファイルのプロパティです。同じファイルに書き込む複数の **NEWLIST** で、このプロパティを異なるように設定することはできません。このメッセージは通常、重大度 12 (構文エラー) で発行されます。ただし、原則としてファイル・プロパティにしなければならないが、複数の **NEWLIST** で異なる可能性があるオプションについては、重大度 4 (警告) で発行されます。これらのオプションは、**NOPAGE**、**PAGELength**、**OVERPRINT**、**MAXPAGE**、**PAGETEXT**、および **CAPS** です。

一般に、出力ファイルのオプションを設定するには **FILEOPTION** ステートメントを使用し、**DD=** **NEWLIST** または **MERGLIST** ステートメントの **DD** 名を参照して、**OPTION** または **NEWLIST** ステートメントでは上記のオプションを省略することをお勧めします。

CKR1325 メッセージは、後続の **newlist** のデフォルトを設定する **OPTION** パラメーターが **FILEOPTION** ステートメントで暗黙指定された内容と競合することが原因でよく発生します。

重大度

04 または 12

CKR1326 FILEOPTION DD=*ddname* は、*ddname* の行 *number* の DD 名の最初の参照の前に配置する必要があります (FILEOPTION DD=*ddname* must be positioned before first reference to DDname at *ddname* line *number*)

説明

ファイル・オプションを使用した DD 名の参照には、FILEOPTION ステートメントが続いていなければなりません。

重大度

12

CKR1327 FILEOPTION の後のオプションは無効です - *ddname* の行 *number* の option (Option not valid behind FILEOPTION - option at *ddname* line *number*)

説明

FILEOPTION コマンドが参照できるのは出力ファイルのオプションのみです。NEWLIST オプションなど、その他のオプションは参照できません。有効なオプションとその正確な意味のリストについては、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されている FILEOPTION コマンドの説明を参照してください。

重大度

12

CKR1328 大/小文字混合パスワードのサポートは、現行システムでは無効です (Mixed case password support disabled on current system)

説明

マージ操作のソース・データベースでは大/小文字混合パスワードが使用可能に設定されていますが、現行データベースでは使用可能に設定されていません。パスワードがソース・データベースから現行データベースにコピーされると、大/小文字混合パスワードを持つユーザーは、そのパスワードを使用してログインすることができなくなります。

重大度

00

CKR1329 *ddname* の行 *number* の MERGELIST NAME=*name* は重複しています (Duplicate MERGELIST NAME=*name* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、2つの mergelist 指定に同じ名前が含まれていることを示します。これは許可されません。MERGELIST 名は固有でなければなりません。

重大度

12

CKR1330 *ddname* の行 *number* の newlist *name* が含まれる XML エLEMENTの *source* には MERGELIST NAME= が必要です (MERGELIST NAME= required at *source* for XML element containing newlist *name* at *ddname* line *number*)

説明

MERGELIST を組み合わせた FILEFORMAT=XML の場合、MERGELIST が MERGELIST と ENDMERGE の間に、個別の newlist を子として含む「共通」の XML エLEMENT名を定義します。この XML エLEMENTを出力できるようにするには、MERGELIST に NAME= パラメーターを指定して、そのELEMENT名を定義する必要があります。

重大度

12

CKR1331 表示にソフト改行はサポートされません - *ddname* の行 *number* (Soft newline not supported for display - at *ddname* line *number*)

説明

ソフト改行演算子 /n を使用できるのは、(SORT)LIST および SUMMARY コマンドのみです。DISPLAY または DSUMMARY コマンドでは使用できません。ハード改行演算子 / を使用するか、(SORT)LIST に変換してください。

重大度

12

CKR1333 *ddname* の行 *number* の値 *nn* は MAXWAIT にはサポートされません。1 から 59 の範囲の値ではありません (Unsupported value *nn* for

**MAXWAIT: not in the range 1..59
at ddname line number)**

説明

OPTION SERIALIZATION(MAXWAIT) は、1 から 59 までの範囲の値のみをサポートします。

重大度

12

CKR1334 許可されていないプログラムです。
(Program not authorized.) APF 逐次化オプション UNIT、VOLSER、ENQ(SYSDSN)、および MAXWAIT は使用不可に設定されます (Disabled APF serialization options UNIT, VOLSER, ENQ(SYSDSN), and MAXWAIT)

説明

OPTION SERIALIZATION が、UNIT、VOLSER、ENQ(SYSDSN)、または MAXWAIT パラメーターの 1 つ以上と一緒に指定されています。装置または volser が使用可能になるまで動的割り振りを待機するには APF 権限が必要です。QNAME SYSDSN の ENQ を要求する場合や、ENQ 要求が指定可能になるまで待機する最大時間を指定する場合も同じことが言えます。プログラムにはこの許可がないため、装置または volser を待機することも、SYSDSN で ENQ を要求することもあります。また、MAXWAIT に指定された値も無視します。

重大度

04

CKR1335 **SERIALIZATION** オプション **option1** および **option2** を **ddname** の行 **number** で同時に使用することはできません **(SERIALIZATION options option1 and option2 are mutually exclusive at ddname line number)**

説明

ENQ 要求を即時に満たすことができない場合に WAIT と FAIL の両方を実行することはできません。プログラムが ENQ を発行することと、ENQ を発行しないこと (NOENQ) を同時に要求することはできません。

重大度

12

CKR1336 オプションは **OPTION** の後でのみ有効です - **ddname** の行 **lineno** の **parm** (Option only valid behind

**OPTION - parm at ddname line
lineno)**

説明

このメッセージは、指定されたパラメーターはプログラムによって認識されるが、指定したコマンドでは有効でないことを示します。これは、OPTION の後でのみ有効です。

重大度

12

CKR1337 メッセージ番号 **nnn** は **ddname** の行 **lineno** の **MSGRC** にはサポートされません **(Message number nnn not supported for MSGRC at ddname line lineno)**

説明

このメッセージは、OPTION MSGRC は任意のメッセージ番号をサポートしないことを示します。サポートされているメッセージの一覧については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で、OPTION コマンドの MSGRC キーワードの説明を参照してください。

重大度

12

CKR1338 メッセージ番号 **nnn** の重大度 **sss** が最大重大度の **99** を超えています。**ddname** の行 **lineno** の **MSGRC** **(Message number nnn severity sss exceeds maximum 99, MSGRC at ddname line lineno)**

説明

OPTION MSGRC でメッセージに割り当てることのできる最大重大度は 99 です。

重大度

12

CKR1339 **NEWLIST FILEFORMAT=XML** ルート・エレメント名は **DD=** として指定する必要があります。省略することはできません - **ddname** の行 **number** **(NEWLIST FILEFORMAT=XML root element name must be specified as DD=, cannot be omitted - at ddname line number)**

説明

XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名を持つ構造化 XML エレメントの形式になります。DD= パラメーターが何らかの形で指定されている必要があります (最初の NEWLIST の前の OPTION として指定または newlist で暗黙指定されているか、あるいは MERGELIST で指定されている必要があります)。

重大度

12

CKR1340 **NEWLIST DD=name は無効な XML 名です - ddname の行 number (NEWLIST DDname invalid XML name - at ddname line number)**

説明

XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名を持つ構造化 XML エレメントの形式になります。したがって、XML 名の規則に従った名前であればなりません。つまり、名前を「XML」、数字、またはハイフンで開始することはできません。また、名前に国別文字を含めることもできません。

重大度

12

CKR1341 **NEWLIST NAME=name で設定された XML エレメント名は、ddname の行 number の DD=name で設定されたルートと同じです (XML element name set by NEWLIST NAME=name same as root set by DD=name at ddname line number)**

説明

XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名、および NEWLIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つレコード・レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度

12

CKR1342 **newlist name の ddname の行 number にある XML フィールド・エレメント名 name は、ddname の行 number の DD=name で設定されたルートと同じです (XML field element name name at ddname line number in newlist name same**

as root set by DD=name at ddname line number)

説明

XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名、NEWLIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つレコード・レベルのサブエレメント、および (SORT)LIST フィールド名で定義されたフィールド・レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形 XML 文書内で同じにすることはできません。

CKR1343 **オプション option は ENCODING=UTF-8 と両立しません - ddname の行 number (Option option incompatible with ENCODING=UTF-8 - at ddname line number)**

重大度

12

このメッセージは、UTF-8 出力エンコード方式は示されたオプションと組み合わせて使用できないことを示します。

CKR1344 **ddname の行 number の FILEOPTION にはファイル/DD の指定が必要です (File/DD specification is required on FILEOPTION at ddname line number)**

説明

このメッセージは、FILEOPTION には、適用対象のファイルを示す FILE=/F=/DDNAME=/DD= の指定が必要であることを示します。

重大度

12

CKR1345 **MERGELIST NAME=name は無効な XML 名です - ddname の行 number (MERGELIST NAME=name invalid XML name - at ddname line number)**

説明

XML 出力は、MERGELIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つ構造化 XML エレメントの形式になります。したがって、XML 名の規則に従った名前であればなりません。つまり、名前を「XML」、数字、またはハイフンで開始することはできません。また、名前に国別文字を含めることもできません。

重大度

12

CKR1346 *ddname* の行 *number* の NEWLIST NAME=*name* で設定された XML エレメント名は、*ddname* の行 *number* の MERGELIST NAME=*name* で設定されたエレメントと同じです (XML element name set by NEWLIST NAME=*name* at *ddname* line *number* same as element set by MERGELIST NAME=*name* at *ddname* line *number*)

説明

XML 出力は、MERGELIST NAME= パラメーターで定義されたオプション mergelist レベルのエレメントと、NEWLIST NAME= パラメーターで定義されたレコード・レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度

12

CKR1347 MERGELIST NAME=*name* で設定された XML エレメント名は、*ddname* の行 *number* の DD=*ddname* で設定されたルートと同じです (XML element name set by MERGELIST NAME=*name* same as root set by DD=*ddname* at *ddname* line *number*)

説明

XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名、および MERGELIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つオプション mergelist レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度

12

CKR1348 XML フィールド・エレメント名 *name* は無効な XML 名です - *ddname* の行 *number* (XML field element name *name* invalid XML name - at *ddname* line *number*)

説明

XML 出力は、(SORT)LIST フィールド名で定義されたエレメント名を持つ構造化 XML エレメントの形式になります。したがって、XML 名の規則に従った名前でない

ればなりません。つまり、名前を「XML」、数字、またはハイフンで開始することはできません。また、名前に国別文字を含めることもできません。

重大度

12

CKR1349 *ddname* の行 *number* の XML フィールド・エレメント名 *name* は、*ddname* の行 *number* の MERGELIST NAME=*name* で設定されたエレメントと同じです (XML field element name *name* at *ddname* line *number* same as element set by MERGELIST NAME=*name* at *ddname* line *number*)

説明

XML 出力は、MERGELIST DD= パラメーターで定義されたオプション mergelist レベルのエレメント名、および (SORT)LIST フィールド名で定義されたエレメント名を持つフィールド・レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度

12

CKR1350 FILEFORMAT=XML は *ddname* の行 *number* の DISPLAY と両立しません (FILEFORMAT=XML is incompatible with DISPLAY at *ddname* line *number*)

説明

DD 名と行番号で示された NEWLIST には、その出力で対話式表示を作成するよう示されているため、FILEFORMAT=XML とは両立しません。

重大度

12

CKR1351 DSNPREF=*pref* の LISTCAT 中の予期しない 10 進数戻りコード *nn* (Unexpected return code *nn* dec during LISTCAT of DSNPREF=*pref*)

説明

このメッセージは、カタログ SVC 26 から予期しない戻りコードを受け取ったことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポート

への連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR1352 **DSNPREF=prefix の LISTCAT 中の予期しない *abend* (Unexpected *abend* during LISTCAT of DSNPREF=prefix)**

説明

このメッセージは、示されたカタログ検索の処理中に異常終了が発生したことを示します。

重大度

12

CKR1353 **ALLOC DSNPREF=prefix が DSN=dsn を追加します (ALLOC DSNPREF=prefix adds DSN=dsn)**

説明

このメッセージは、DSNPREF パラメーターとの一致に基づいて ALLOC DSN= 要求が追加されたことを示します。このメッセージは、明示的に要求されたか、前に別の DSNPREF によって突き合わせられたことにより、ALLOC DSN= 要求が既に存在する場合には発行されないことに注意してください。

重大度

00

CKR1354 **ALLOC DSNPREF を DD と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *number* (ALLOC DSNPREF is mutually exclusive with DD - at *ddname* line number)**

説明

DSNPREF のような汎用要求に対する DD 名の指定はサポートされません。一致するデータ・セット名ごとに個別の DD 名が生成されます。

重大度

12

CKR1355 **RECFM=F または U *ddname dsn* が指定された SMF ファイルはスキップされます (Skipping SMF file with RECFM=F or U *ddname dsn*)**

説明

ALLOC TYPE=SMF が実行された結果、SMF データ・セットの正しいレコード・フォーマットを持たないデータ・セットが生成されました。具体的には、RECFM=F および RECFM=U データ・セットは、SMF 読み取りプログラムではサポートされません。不適切なデータ・セットを自動的にスキップすることによって ALLOC TYPE=SMF DSNPREF= を利用しやすくするために、このメッセージの重大度は 8 に抑えられています。

重大度

08

CKR1356 **ALLOC DELETE は TYPE=SMF/TYPE=ACCESS/deftype DSN=/DSNPREF= でのみサポートされず - *ddname* の行 *number* (ALLOC DELETE only supported with TYPE=SMF/TYPE=ACCESS/deftype DSN=/DSNPREF= - at *ddname* line number)**

説明

このメッセージは、現行の ALLOCATE ステートメントでは DELETE キーワードが許可されていないことを示します。このキーワードを使用できるのは、タイプが TYPE=SMF、TYPE=ACCESS、または DEFTYPE に定義されたデータ・セット名による割り振りのみです。

重大度

12

CKR1357 ***ddname dsn* の削除が要求されました (Delete requested for *ddname dsn*)**

説明

このメッセージは、示されたデータ・セットに割り振られた示されたファイルの最終処理が、ファイルの解放中に DELETE に変更されることを示します。

重大度

00

CKR1358 **DSNPREF を 43 より長くすることはできません - *ddname* の行 *number* の *delimiter* (DSNPREF cannot be longer than 43 - *delimiter* at *ddname* line number)**

説明

このメッセージは、データ・セット接頭部の最大長は 43 文字であることを示します。44 文字の名前には DSN= を使用してください。

重大度

12

CKR1359 *ddname volser dsn* では SMF を >32KB より大きくできないため、長さ *size* のレコード *number* はスキップされます (Skipping record number of length size because SMF cannot be >32KB in *ddname volser dsn*)

説明

LRECL=X データ・セットから SMF を読み取り中に、どの SMF レコード・マッピングのレコード記述子ワードにも収まり切らないレコード長が検出されました。したがって、SMF レコードではないことが証明されたため、このレコードはスキップされます。

重大度

08

CKR1360 APF モードで実行中。class **CKR.CKRCARLA.APF** に対する READ アクセス (Running in APF mode, READ access to class **CKR.CKRCARLA.APF**)

説明

このメッセージは、(例えば、CKRCARLX または C2POLICE により) APF 許可をアクティブにした CKRCARLA が呼び出され、ユーザーが SAF により APF の使用を許可されたことを示します。SAF クラスは、CKRSITE モジュールに定義されたインストールです。

重大度

00

CKR1361 クラス *class* の **CKR.CKRCARLA.APF** が定義されていません。(CKR.CKRCARLA.APF in class *class* not defined.) APF モードは許可されません。(APF mode disallowed.)

説明

このメッセージは、(例えば、CKRCARLX または C2POLICE により) APF 許可をアクティブにした CKRCARLA が呼び出されたが、ユーザーが SAF により明示的に APF の使用を許可されなかったことを示します。これは許可されません。示された SAF リソースに対する許可を取得するか、CKRCARLA を直接呼び出してください (これは AC(0) を持つため、APF 許可なしで実行します)。SAF クラスは、CKRSITE モジュールに定義されたインストールです。

重大度

12

CKR1362 APF モードは許可されません。class **CKR.CKRCARLA.APF** に対する読み取り権限がありません (APF mode disallowed, no READ access to class **CKR.CKRCARLA.APF**)

説明

このメッセージは、(例えば、CKRCARLX または C2POLICE により) APF 許可をアクティブにした CKRCARLA が呼び出されたが、ユーザーが SAF により明示的に APF の使用を拒否されたことを示します。示された SAF リソースに対する許可を取得するか、CKRCARLA を直接呼び出してください (これは AC(0) を持つため、APF 許可なしで実行します)。SAF クラスは、CKRSITE モジュールに定義されたインストールです。

重大度

12

CKR1363 XML_STYLESHEET=IMBED には DDNAME= または MEMBER= を指定する必要があります - *ddname* の行 *number* (Need to specify DDNAME= or MEMBER= on XML_STYLESHEET=IMBED - at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、コード化された XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントが DDNAME= または MEMBER= ステートメントを指定していないことを示します。少なくとも、いずれか 1 つを指定する必要があります。

重大度

12

CKR1364 SYSTEM *system* の type LXAT レコードが壊れています (type LXAT record corrupt on SYSTEM *system*)

説明

示されたシステムの CKFREEZE からの LXAT レコードが壊れていることが検出されました。newlist type=PC の LX フィールドで記述された構造化繰り返しグループで検出された情報が誤っている可能性があります。CKFREEZE の更新後に、このメッセージが再び発生した場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)

ジの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR1365 オプション *option* は **COMPRESS** と両立しません - *ddname line* (Option *option* incompatible with **COMPRESS** - at *ddname line*)

説明

このメッセージは、圧縮された出力ファイルとの組み合わせではサポートされないオプションまたはコマンドを示します。

重大度

12

CKR1366 *original* の出力を *compressed* バイトに圧縮しました (係数 *factor*)、ファイル *ddname pathname* (**Compressed output from original to compressed bytes (factor factor), file ddname pathname**)

説明

この抑止可能メッセージは、COMPRESS=GZIP 出力ファイルごとに、元のデータ・サイズと圧縮後のデータ・サイズ、および達成された減少係数をリストします。

重大度

00

CKR1367 **ALLOWUNDEFINED** にはオーバーライド長が必要です - フィールド *fieldname source* (**ALLOWUNDEFINED requires overriding length - field fieldname source**)

説明:

ALLOWUNDEFINED では、ACF2 データベースにフィールド定義エントリがない LID フィールドを使用できます。ただし、この場合はレポートで使用する出力幅を明示的に指定する必要があります。

ALLOWUNDEFINED について詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」のセクション『一般出力修飾子: フィールド出力の制御』を参照してください。

ユーザーの処置:

ALLOWUNDEFINED 修飾子が指定されたフィールドにオーバーライド出力長を指定するか、この修飾子を削除してください。

重大度

12

CKR1368 **SAFDEF** レコード *num* のロードでエラーが発生しました。システム *system [version] of source: message* (**Error loading SAFDEF record *num* system *system [version] of source: message***)

説明

SAFDEF 関連データを含む予期しないレコードが CKFREEZE で見つかりました。このメッセージは、通常、示されたレコードでの破損の結果によるものです。message フィールドに、検出された不整合が示されます。問題の重大度に応じて、今後の分析およびレポートで個別またはすべての SAFDEF レコードが使用できなくなります。これはメッセージ重大度 (4 または 20) でそれぞれ示されます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

4 または 20

CKR1369 *complex [version]* に対して読み取った InfoStorage レコード数 *number*、リソース規則の合計項目数 *number* (**number InfoStorage records read for *complex [version]*; resource rules totalled *number* entries**)

説明

このメッセージは、ACF2 Infostorage データベースに対してのみ発行され、読み取ったレコード数と、読み取った Infostorage レコードのうち、リソース規則レコードに含まれる規則の行数を示します。

重大度

00

CKR1370 エンティティ *e* の拡張テンプレート・ブロック *n* は、seq *s* *ddname volser dsname* の ICBTEMP に見つかりませんでした (**Extended template block *n* for entity *e* not found in ICBTEMP for seq *s* *ddname volser dsname***)

説明

このメッセージは、テンプレート拡張子へのポインタがテンプレート・ブロックで検出されたが、対応する情報がテンプレート・ブロック配列になかったことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージは、平均時間では抑止できます。

重大度

20

CKR1371 **255 より長い汎用ストリング *source* (Generic string longer than 255 *source*)**

説明

汎用が含まれ、255 文字より長いストリングが指定されました。これはサポートされません。照会を変更して、再実行依頼してください。

重大度

12

CKR1372 アンロード出力 **LRECL=nnnn** は **23472** 以上でなければなりません。 **LRECL=X,RECFM=VBS** が優先されます。ファイル [(リダイレクトされた **CKRUNLOU**)] **ddname [path | volser dsname]** (Unload output **LRECL=nnnn** must at least be **23472**, **LRECL=X,RECFM=VBS** preferred file [(redirected **CKRUNLOU**)] **ddname [path | volser dsname]**)

説明

このメッセージは、アンロードされるセキュリティー・データベースには、最小 23472 のレコード長が必要であることを示します。それでもレコードが切り捨てられる可能性があります。推奨される LRECL 指定は次のとおりです。

LRECL=X, RECFM=VBS

重大度

16

CKR1374 ファイル **ddname volser dsname** のスタイル・シートを開くことができません (Cannot open stylesheet from file **ddname volser dsname**)

説明

このメッセージは、XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントで定義された XSLT スタイル・シートを開くことができないことを示します。ファイルが正しく割り振られていて、メンバーが存在することを確認してください。

重大度

08

CKR1375 ファイル **ddname volser dsname** のスタイル・シート内に開始タグ **<xsl:stylesheet>** が見つかりません (Cannot find open tag **<xsl:stylesheet>** in stylesheet from file **ddname volser dsname**)

説明

XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントで指定された XSLT スタイル・シートには、**<xsl:stylesheet>** エレメントが含まれていないようです。zSecure が組み込み用に使用する XSLT スタイル・シートには、**<xsl:stylesheet>** 開始タグと **</xsl:stylesheet>** 終了タグがなければなりません。この 2 つが、個別の行で認識される単独エレメントであるためです。

重大度

08

CKR1376 ファイル **ddname volser dsname** のスタイル・シート内に終了タグ **</xsl:stylesheet>** が見つかりません (Cannot find close tag **</xsl:stylesheet>** in stylesheet from file **ddname volser dsname**)

説明

XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントで定義された XSLT スタイル・シートには、**</xsl:stylesheet>** エレメントが含まれていないようです。zSecure が組み込み用に使用する XSLT スタイル・シートには、**<xsl:stylesheet>** 開始タグと **</xsl:stylesheet>** 終了タグがなければなりません。この 2 つが、個別の行で認識される単独エレメントであるためです。

重大度

08

CKR1377 **XML_STYLESHEET=IMBED** は **ddname line number** の **XML_DTD** と両立しません (**XML_STYLESHEET=IMBED** is incompatible with **XML_DTD** at **ddname line number**)

説明

組み込み XSLT スタイル・シートに DTD を含めることはできません。

重大度

12

CKR1378 PDS *ddname volser dsn* からは、メンバー名を読み取る必要があります。重大度: 8 (A member name is required to read from PDS *ddname volser dsn* :severity: 8)

説明

XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントに指定されたデータ・セットは区分されていますが、メンバーが指定されていません。

CKR1379 CERTIFICATE_KEYUSAGE 値が誤っています - *ddname* の行 *number* の "value" (CERTIFICATE_KEYUSAGE value incorrect - "value" at *ddname* line *number*)

説明

CERTIFICATE_KEYUSAGE フィールドで有効な値は、HANDSHAKE、DOCSIGN、DATAENCRYPT、CERTSIGN、digitalSignature、nonRepudiation、keyEncipherment、dataEncipherment、keyAgreement、keyCertSign、cRLSign、および encipherOnly のみです。照会を確認して、再実行依頼してください。

重大度

12

CKR1380 E メールに ENCODING=UTF-8 を使用できるのは、*ddname* の行 *number* に OUTPUTFORMAT=ATTACH が指定されている場合のみです (ENCODING=UTF-8 for e-mail can only be used with OUTPUTFORMAT=ATTACH at *ddname* line *number*)

説明

UTF-8 エンコード・レポートは、添付としてのみ E メールで送信できます。OUTPUTFORMAT=ATTACH を指定するか、ENCODING=UTF-8 を除去してください。

重大度

12

CKR1381

E メールと通常のレポートの両方に同じ DD 名を使用することはできません - *ddname* の行 *number* (The same DD *ddname* cannot be used both for e-mail and normal reporting - at *ddname* line *number*)

説明

示された CARLa ステートメントは、前のステートメントと同じレポート DD 名を指定または暗黙指定していますが、これらの指定は両立しません。一方は E メール宛先を指定し、もう一方は通常のレポートを要求しているためです。

重大度

12

CKR1382 制限モードでは、*ddname* の行 *number* の SELECT キーワード *keyword* は許可されません (Restricted mode does not allow SELECT keyword *keyword* at *ddname* line *number*)

説明

プログラムが制限モードまたは PADS モードで実行しているときには、示されたキーワードによる選択は許可されません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合は、示されたフィールドが欠落していることを見なされることを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。CKR0170 も参照してください。

重大度

04 または 12

CKR1383 ライセンス交付を受けていないため、ALLOC TYPE=TSS_ATF ファイルはスキップされます - *ddname volume dsn* (ALLOC TYPE=TSS_ATF file skipped because not licensed - *ddname volume dsn*)

説明

示されたデータ・セットに対する ALLOC TYPE=TSS_ATF ステートメントは無視されます。その理由は、IBM Security zSecure Audit for Top Secret がインストールされていないか、IFAPRDxx で使用不可に設定されているためです。

重大度

00

CKR1384 *ddname* に **COMPRESS=GZIP** が要求されましたが、ファイル指定が不完全なため、無視されます (**COMPRESS=GZIP requested for *ddname* but file specification is incompatible - ignored**)

説明

このメッセージは、示された DD 名に対し GZIP 圧縮が指定されたが、問題のファイルは FILEDESC または PATH が指定された ALLOC コマンドによって割り振られなかったことを示します。出力は圧縮されません。

重大度

04

CKR1385 **LRECL** の不足により、**XML** ファイルが使用できない可能性があります - ***ddname volser dsn(member)*** (**XML file may be unusable due to insufficient LRECL - *ddname volser dsn(member)***)

説明

指定された XML 出力ファイル内の 1 つ以上の行が切り捨てられたことから、タグが欠落しているか、壊れている可能性があります。これにより、XML 文書が使用できない状態になっている可能性があります。ファイルに指定された **LRECL** を増やして (最悪の場合、プログラム自体が XML 出力に割り振るファイルの **LRECL** は 6600 です)、照会を再実行してください。

重大度

08

CKR1386 *ddname* の行 *number* の **E** メールと **LIST** 出力は両立しません (**E-mail and LIST output are incompatible at *ddname* line number**)

説明

LIST 出力の E メール送信はサポートされません。代わりに、**SORTLIST** を使用してください。

重大度

12

CKR1387 ファイル・オプション **CAPS** は、*ddname* の行 *number* の **XML** または **UTF-8** 出力では使用できません (**File option CAPS cannot be used**)

with XML or UTF-8 output at *ddname* line number)

説明

ファイル・オプション **CAPS** は、**FILEFORMAT=XML** または **ENCODING=UTF-8** では使用できません。

重大度

12

CKR1388 ファイル・オプション **NULLS** は、*ddname* の行 *number* の **XML** 出力では使用できません (**File option NULLS cannot be used with XML output at *ddname* line number**)

説明

ファイル・オプション **NULLS** は、XML 処理による制御文字の自動フィルタリングと競合します。このファイル・オプションを **FILEFORMAT=XML** で使用することはできません。

重大度

12

CKR1389 *type* データを読み取るには、非 **PADS** アクセス権限が必要です。 ***file vol dsn(member)*** はスキップされず (**Non-PADS access required to read *type* data, skipping *file vol dsn(member)***)

説明

条件付き (**PADS**) アクセス権限のみが付与されたデータ・セットが、*type* 入力に要求されました。 **DEFTYPE** データを読み取るには、無条件読み取りアクセス権限が必要です。 そのデータ・セットは処理されません。

重大度

08

CKR1390 無制限 **SMF** には非 **PADS** アクセス権限が必要です。 ***file vol dsn(member)*** はスキップされます (**Non-PADS access required for unrestricted SMF, skipping *file vol dsn(member)***)

説明

無制限モードでの **SMF** ファイルの読み取りには、無条件 **READ** アクセス権限が付与されたデータ・セットのみが有効です。 示されたデータ・セットに付与されているのは、条件付き (**PADS**) **READ** のみです。 そのデータ・セットはスキップされます。

重大度

08

CKR1391 未定義の区画 *division* または未定義のフィールド *field* (**Undefined *division* *division* or undefined *field* *field***)

説明

区画 *division* のフィールド *field* に対する明示的要求は無効です。原因としては、該当するフィールドが要求された区画に定義されていないこと、または該当する区画が Infostorage レコード・タイプに定義されていないことが考えられます。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度

12

CKR1392 フィールド *field* は常駐タイプ *residence type* に定義されていません (**Field *field* not defined for *residence type* *residence type***)

説明

要求された常駐タイプに関連付けられたレコード構造ブロックに、要求されたフィールドのフィールド定義項目が見つかりませんでした。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度

12

CKR1393 フィールド *field* は常駐タイプ *residence type* および区画 *division* に定義されていません (**Field *field* not defined for *residence type* *residence type* and *division* *division***)

説明

要求された常駐タイプおよび区画のレコード構造ブロックには、要求されたフィールドのフィールド定義項目が含まれていません。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度

12

CKR1394 区画 *division* は常駐タイプ *residence type* に定義されていませ

ん (**Division *division* not defined for *residence type* *residence type***)

説明

要求された区画と常駐タイプの組み合わせは無効です。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度

12

CKR1395 常駐タイプ *residence type* は定義されていません (**Undefined *residence type* *residence type***)

説明

要求された常駐タイプは存在しません。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度

12

CKR1396 *number* 個の InfoStorage レコードがスキップされました (**complex [version] (number InfoStorage records skipped for complex [version])**)

説明

このメッセージは、ACF2 Infostorage データベースに対してのみ発行され、処理がスキップされたレコード数を示します。現行リリースではまだサポートされないサブタイプの Infostorage レコードに対しては、処理がスキップされます。

重大度

00

CKR1397 *source* の RTYP レコード *num system system [version]* のロードでエラーが発生しました: **message (Error loading RTYP record *num system system [version]* of *source*: *message*)**

説明:

RESOURCE-TYPE(SAFELIST/PROTLIST) 関連データを含む予期しないレコードが CKFREEZE で見つかりました。このメッセージは、通常、示されたレコードでの破損の結果によるものです。message フィールドに検出された不整合が示されます。問題の重大度に応じて、今後の分析およびレポートで個別またはすべての RESOURCE-TYPE(SAFELIST/PROTLIST) レコードが使

用できなくなります。これはメッセージ重大度 (4 または 20) でそれぞれ示されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

4 または 20

CKR1398 複合システム *complex* には **FUNCTION=MERGE** 入力が存在しますが、**FUNCTION=MAIN** 入力はありません (**FUNCTION=MERGE input present for complex complex but FUNCTION=MAIN input is missing**)

説明

複合システム *complex* には RACF データベースまたはアンロードが MERGE 入力ソースとして割り振られています。相当する MAIN データベースまたはアンロードが指定されていません。割り振りを確認して、照会を再実行してください。

CKR メッセージ 1400 から 1499

CKR1400 サポートされていないバージョン **vv.rr.mm** の z/OS 上で実行する場合の結果は予測不能です。アップグレードしてください (**Running on an unsupported version vv.rr.mm of z/OS, results are unpredictable - please upgrade**)

説明

このメッセージは、zSecure がサポートされていないオペレーティング・システム・レベルで実行されていることを示します。結果は予測不能です。zSecure を適切なバージョンにアップグレードしてください。

重大度

04

CKR1401 サポートされなくなったバージョン **vv.rr.mm** の z/OS で実行すると、製品の一部の機能を実行できなくなる可能性があります (**Running on a no longer supported version vv.rr.mm of z/OS, some product features may fail**)

重大度

12

CKR1399 *ddname volser dsn* のシステム *system* レコード *number* の **QUAA** が壊れているか、切り捨てられています (**Corrupted/truncated QUAA for system system record number of ddname volser dsn**)

説明

CKFREEZE ファイルから取得した QUAA レコードは、CKFREEZE の LRECL が小さすぎるため切り捨てられます。

ユーザーの処置

LRECL サイズを大きくすることを検討してください。

重大度

08

説明

このバージョンの zSecure は、それを実行しているオペレーティング・システム・レベルではサポートされていません。一部の (新しい) 製品機能を実行できない可能性があります。一方、一般的に古いレポートはそのまま使用し続けることができますが、実行できない場合のサポートはありません。

重大度

04

CKR1402 サポートされていない OS 製品 *name* 上で実行する場合の結果は予想不能です (**Running on an unsupported OS product name, results are unpredictable**)

説明

このバージョンの zSecure によって、現在のオペレーティング・システムは認識されておらず、サポートされていません。

重大度

04

CKR1403 サポートされていないバージョン **vv.rr.mm** の **z/OS** を分析する場合の結果は予測不能です。アップグレードしてください (**Analyzing an unsupported version vv.rr.mm of z/OS, results are unpredictable - please upgrade**)

説明

このメッセージは、このバージョンの zSecure ではサポートされていないオペレーティング・システム・レベルからシステムのスナップショットを分析中であることを示します。結果は予測不能です。zSecure を適切なバージョンにアップグレードしてください。

重大度

04

CKR1404 **100** 件の **SMF** データ・セットを処理しています。その後の実行用に **nnn** 個の **ALLOC DSNPREF** 一致が残されました (**Processing 100 SMF data sets, nnn ALLOC DSNPREF matches left for a subsequent run**)

説明

このメッセージは、TYPE=SMF での **ALLOC DSNPREF** ステートメントが 100 件より多い数のデータ・セット名の一致を出力したことを示します。アルファベット順に最初の 100 セットのみが処理されます。

DELETE オペランドもオンの場合、その後の実行では続く 100 データ・セットが選出されます。最適な処理状態を確保するには、システムごとに、SMF データ・セット名のアルファベット順を SMF レコードの発生順と一致させる必要があります。

重大度

08

CKR1405 処理可能な数を超過する **SMF** データ・セットが要求されたため、活動中 **SMF** が抑止されました (**Live SMF suppressed because more SMF data sets requested than can be processed**)

説明

DSNPREF 仕様に一致する TYPE=SMF データ・セットの中に、すべての活動中 **SMF** データ・セットと一緒に処理することができないデータ・セットがある限り、活動中 **SMF** の処理は抑止されます。この処理は、確実に **SMF** レコードを発生順に処理できるようにするために行われます (データ・セット名に発生順位が反映され、

活動中 **SMF** より古い **SMF** レコードが含まれている場合)。

重大度

08

CKR1406 **ddname** 行 **number** の **token** の前では 4 つを超える **SUBSYS** パラメーターはサポートされません (**More than 4 SUBSYS parms not supported before token at ddname line number**)

説明

ALLOC CARLa コマンドの **SUBSYS** キーワードは、4 つのサブパラメーターのみサポートします。それより多く必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR1407 **ALLOC SUBSYS** は、**ddname** の行 **number** の **PATH/FILEDESC/CMSFILE/GETPROC/SMFSTREAM/DSNPREF/INMEM/CDP** ではサポートされません (**ALLOC SUBSYS not supported with PATH/FILEDESC/CMSFILE/GETPROC/SMFSTREAM/DSNPREF/INMEM/CDP - at ddname line number**)

説明

SUBSYS 仕様は、**DSN=** 以外の入力ソース指定と一緒に使用することはできません。

重大度

12

CKR1408 **IFAQUERY** 戻り域が小さすぎる。**nnn** 個のログ・ストリーム・レコードを省略しました。 (**Omitted nnn log stream records.**)

説明

2 回目の呼び出しで **required length** を渡した後でも、**SMF** ログ・ストリーム・データを保管するためのスペースが十分ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』

に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR1409 IFAQUERY からの予期しない戻りコード。(Unexpected return code from IFAQUERY.)SMF ログ・ストリーム情報は収集されません。(SMF log stream information is not collected.) rc=hhhhhhhhhh (16 進数) rsn=hhhhhhhhhh (16 進数) (rc=hhhhhhhhhh hex rsn=hhhhhhhhhh hex)

説明

SMF ログ・ストリーム・データの取得に失敗しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR1410 ALLOC TYPE=SMFSTREAM は、ddname の行 number の PATH/FILEDESC/CMSFILE/GETPROC/DSNPREF/INMEM/CDP ではサポートされません (ALLOC TYPE=SMFSTREAM not supported with PATH/FILEDESC/CMSFILE/GETPROC/DSNPREF/INMEM/CDP - at ddname line number)

説明

TYPE=SMFSTREAM 仕様を DSN= 以外の入力ソース指定と一緒に使用することはできません。

重大度

12

CKR1411 システム system のアクティブな SMF ログ・ストリームを判別できません (Cannot determine active SMF log streams for system system)

説明

SMF ログ・ストリームが使用されており、IBM Security zSecure が非 APF モードで稼働している間にアクティブ SMF 割り振りが要求された場合は、SMF ログ・ストリームの設定が保存されている CKFREEZE ファイルに

接続する必要があります。CKFREEZE ファイルに接続していないか、そのファイルは古い zSecure Collect を使用して作成された CKFREEZE ファイルです。

重大度

04

CKR1412 TYPE=ACCESS pads ファイル ddname volser dsn の処理を開始しました (Started processing TYPE=ACCESS pads file ddname volser dsn)

説明

このメッセージは、ACCESS 入力ファイル ddname の処理が開始されたことを示します。また、テキスト PADS による pads で、条件付きアクセスによりデータへのアクセスが許可されたことを示す場合もあります。

重大度

00

CKR1413 ACCESS データを読み取るには非 PADS アクセス権限が必要です。file vol dsn(member) をスキップします (Non-PADS access required to read ACCESS data, skipping file vol dsn(member))

説明

ACCESS データ・セットは、無条件 READ アクセス権限が与えられている場合にのみ読み取ることができます。示されたデータ・セットに付与されているのは、条件付き (PADS) READ のみです。データ・セットの読み取りはスキップされます。

重大度

08

CKR1414 TYPE=ACCESS の nn 個の ACCESS レコードを処理し、nn 個の ACCESS レコードを選択しました (nn%) (nn ACCESS records processed, nn ACCESS records selected for TYPE=ACCESS (nn%))

説明

このメッセージは、処理した ACCESS レコードの数と、選択された ACCESS レコードの数およびパーセンテージを示します。

重大度

0

CKR1415 ライセンス交付を受けていないため、**ALLOC TYPE=ACCESS** ファイルをスキップしました - *ddname volume dsn* (**ALLOC TYPE=ACCESS file skipped because not licensed-ddname volume dsn**)

説明

zSecure Admin と zSecure Audit for RACF がいずれもインストールされていないか、IFAPRDxx で無効になっているため、指定されたデータ・セットの **ALLOC TYPE=ACCESS** ステートメントは無視されます。

重大度

00

CKR1416 *profile* の一貫性のない **CFDEF** 定義 (**Inconsistent CFDEF definitions for profile**)

説明

このメッセージは、データベースのマージ中に、ソース・データベースと現在のデータベースの両方に **CFIELD** プロファイルが存在することが判明したことを示します。その場合、マージするには、それらのプロファイルの各 **CFDEF** セグメントが同一である必要があります。示されたプロファイルの **CFDEF** セグメントは同一ではありません。

重大度

08

CKR1417 *cccc* の代わりに予期されるカスタム **FIELD** タイプ (**Expected Custom FIELD Type instead of cccc**)

説明

CARLa で、次のような **DEFINE** ステートメントが見つかりました: **DEFINE yourname SUBSELECT(CSTYPE=cccc)**。値 *cccc* で予期される値は、Num、Char、Hex、または Flag ですが、実際の値はこれらの値ではありません。

ユーザーの処置

CARLa コードを修正し、正しいカスタム・フォーマット・タイプの値を指定してください。

重大度

12

CKR1418 **CFDEF** のフィールド **CFFIRST** および **CFOTHER** の値は、**ALPHA**、**ALPHANUM**、**ANY**、

NONATBC、**NONATNUM**、または **NUMERIC** でなければなりません - *ddname* の行 *number* での "value" (**The value of CFDEF fields CFFIRST and CFOTHER must be ALPHA, ALPHANUM, ANY, NONATBC, NONATNUM, or NUMERIC - "value" at ddname line number**)

説明

このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

ユーザーの処置

フィールドに適切な値を選択してください。

重大度

12

CKR1419 **CSTYPE** の値は、**CHAR**、**NUM**、**FLAG**、または **HEX** でなければなりません - *ddname* の行 *number* での "value" (**CSTYPE value must be CHAR, NUM, FLAG, or HEX - "value" at ddname line number**)

説明

このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

ユーザーの処置

フィールドに適切な値を選択してください。

重大度

12

CKR1420 **UNLOAD** 処理でのシステム異常終了コード *code(text)*。 (**system abend code code(text) in UNLOAD processing.**) 処理されていない動的構文解析テーブルです。 (**Dynamic Parse Table not processed.**)

説明

UNLOAD 処理時の動的構文解析テーブルの書き込み中に異常終了しました。これにより、他の **UNLOAD** 処理が影響を受けることはありません。ただし、結果の **UNLOAD** ファイルに書き込まれている動的構文解析テーブルは完全ではないため、カスタム・フィールドの検

査で使用するとエラーや省略が発生する可能性があります。

ユーザーの処置

CKRCARLA からの JESLOG および SYSPRINT 出力を検討し、これが他のエラーまたはメッセージに関連付けられているかどうかを判断してください。問題を解決できない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR1421 **newlist name source** で、**10 行を超える複数行 WTO 出力は抑止されました (Multi-line WTO output beyond line 10 was suppressed for newlist name source)**

説明

newlist により 10 行を超える複数行 WTO が作成されました。出力できるのは最大で 10 行であるため、超過した行は抑止されました。

重大度

04

CKR1422 **すべての SMF 処理が抑止されました。(All SMF processing suppressed.)**

説明

SMF 処理を明示的に抑止するために SUPPRESS SMF コマンドが使用されました。

重大度

00

CKR1423 **ddname の行 number の type "value" の前で、値の範囲は = でのみ許可されます - (Value range only allowed with = before type "value" at ddname line number)**

説明

このメッセージは、値の範囲をサポートしない演算子を使用した値の範囲が検出されたことを示しています。値の範囲と一緒に使用できる演算子は、等価演算子のみです。

ユーザーの処置

演算子を変更するか、範囲を使用しないでください。

重大度

12

CKR1424 **ddname の行 line で数値シンボル name が見つからず、デフォルトがありません。(No numeric symbolic namefound and no default at ddnameline line.)**

説明

パーサーはタイプ NUM の数値またはシンボル名を予期しますが、非数値のストリングが見つかりました。このステートメントより前の CARLa には、SYMBOLIC NUM name=value ステートメントがありませんでした。

シンボル名の大/小文字は区別されませんが、各名前の最大長は 24 です。CARLa で SYMBOLIC 定義の有無の両方を処理する必要がある場合は、name だけではなく、name|value などのように縦棒の後にデフォルト値を指定できます。

重大度

12

CKR1425 **パスフレーズは引用符で囲む必要があります。(Password phrase must be quoted.)**

説明

パスフレーズ値に、必須の引用符がありません。

ユーザーの処置

パスフレーズ値を更新して引用符を含めてください (例えば、'password phrase')。

重大度

12

CKR1426 **NEWLIST TYPE=ip_newlist_type 要求が発行されましたが、使用可能な TCP/IP スタック構成データがありません。(A NEWLIST TYPE=ip_newlist_type request was issued, but no TCP/IP stack configuration data are available.)** 原因は、CKFREEZE が古いか、または APF 以外の CKFREEZE である可能性があります (Might be caused by old or non-APF CKFREEZE)

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=*ip_newlist_type* によって生成されます。これは、TCP/IP スタック構成レポートの1つです。TCP/IP スタック構成レポートが要求されましたが、使用可能なスタック構成データがありませんでした。使用したCKFREEZE ファイルを確認してください。TCP/IP スタック構成レポートでは、zSecure Audit を含むフォーカスで APF 許可 zSecure Collect を実行する必要があります。要求された情報を含んだCKFREEZE ファイルを作成するためには、zSecure Collect のバージョンが最低でも 1.11 である必要があります。CKFREEZE ファイルを作成するために使用されたバージョンは、メッセージ CKR0132 の SYSPRINT で確認することができます。

重大度

00

CKR1427 **NEWLIST TYPE=*ip_newlist_type* CKFREEZE データが不完全か破壊されています (NEWLIST TYPE=*ip_newlist_type* CKFREEZE data incomplete or corrupted)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=*ip_newlist_type* によって生成されます。これは、TCP/IP スタック構成レポートの1つです。CKFREEZE ファイルが不完全か破壊されていることを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1428 **NEWLIST TYPE=*ip_newlist_type* には CKFREEZE が必要です (NEWLIST TYPE=*ip_newlist_type* requires CKFREEZE)**

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=*ip_newlist_type* によって生成されます。これは、TCP/IP スタック構成レポートの1つです。TCP/IP スタック構成レポートが要求されましたが、CKFREEZE ファイルが使用されなかったことを示します。レポートにはCKFREEZE ファイルが必要です。JCL または入力ファイルのセットを確認してください。

重大度

08

CKR1429

**jobtag CICS 辞書が無効です。
ddname 行 recno での <system>
<date time> (jobtag CICS
dictionary invalid <system> <date
time> at ddname line recno)**

説明

このメッセージは、示された日時に書き込まれた system システムについて CICS 辞書レコードが無効であることを示しています。この CICS 辞書レコードは、同じに jobtag について書き込まれた CICS パフォーマンス・レコードと一致しません。

重大度

12

CKR1430 **CICS SMF 辞書 system 切り捨て - ddname の行 recno で辞書が無視されました。(CICS SMF dictionary system truncated - dictionary ignored at ddname line recno.)**

説明

CICS パフォーマンス・レコード辞書を含む SMF レコードが切り捨てられました。これは、コピー先のデータ・セットに対して指定した LRECL が小さすぎる場合に発生することがあります。

重大度

00

CKR1431 **FAILLOAD フィールドの値は BADSIGONLY、ANYBAD、または NEVER でなければなりません - "badvalue" source (Field FAILLOAD value must be BADSIGONLY, ANYBAD, or NEVER - "badvalue" source)**

説明

このメッセージは、FAILLOAD フィールドの値が認識されなかったことを示します。

ユーザーの処置

このメッセージにリストされた値のいずれかを指定するか、フィールドの参照を削除してください。

重大度

12

CKR1432 **SIGAUDIT フィールドの値は、BADSIGONLY、ANYBAD、SUCCESS、ALL、**

または **NONE** でなければなりません
- **"badvalue" source (Field SIGAUDIT value must be BADSIGONLY, ANYBAD, SUCCESS, ALL, or NONE - "badvalue" source)**

説明

このメッセージは、SIGAUDIT フィールドの値が認識されなかったことを示します。

ユーザーの処置

このメッセージにリストされた値のいずれかを指定するか、フィールドの参照を削除してください。

重大度

12

CKR1433 **CKRSTORF.CKRSIDID: 重複 IDID エントリ *userid label flags filter*, 複合システム *complex version* (CKRSTORF.CKRSIDID: Duplicate IDID entry *userid label flags filter complex complex version*)**

説明

重複した配布 ID フィルター (RACMAP) が、示された *userid* に示された *label* でマッピングしていることが検出されました。重複は無視されます。このメッセージは抑制することができます。

重大度

20

CKR1434 **CKFREEZE ファイル *ddname* システム *system [version]* で FUNCTION=BASE の場合、セキュリティー・データベース複合システム *complex* では F=BASE になっている必要があります (FUNCTION=BASE on CKFREEZE file *ddname system system [version]* requires F=BASE on security database *complex complex*)**

説明

システムは比較対象の基準として指定されていますが、そのシステムのセキュリティー複合システムが指定されていません。比較プロセスでは、システムとそのセキュリティー複合システムの両方が必要です。

このメッセージは、複数の複合システムに同じ名前を付与しようとするとき (この場合は、CKR1472 メッセージ

が生成されます) の副次作用として生成される可能性もあります。

ユーザーの処置

メッセージ CKR1472 が CKR1434 と一緒に生成された場合は、最初に CKR1472 を解決します。次に、もう一度比較プロセスを実行して、CKF1434 メッセージを生成させたエラーが解決されたかどうかを確認します。

CKR1434 が単独で生成された場合は、セキュリティー・データベース割り振りステートメントに FUNCTION=BASE オプションを追加してください。

重大度

12

CKR1435 **FUNCTION=BASE を複数のセキュリティー・データベースで指定することはできません。 (FUNCTION=BASE cannot be specified for more than one security database.)**

説明

FUNCTION=BASE を指定することにより、比較関数で必ず比較対象とする「標準」セキュリティー・データベースを識別する必要があります。2つのセキュリティー・データベースを基準として使用するようには要求することはできません。指定できるのは、1つのセキュリティー・データベース (例えば、UNLOAD) と、同じ複合システムにある基準としての1つのシステム (CKFREEZE) です。

ユーザーの処置

この指定によってセキュリティー・データベースが1つだけ残されるまで、FUNCTION=BASE を除去してください。

重大度

12

CKR1436 **FUNCTION=BASE を複数のシステムで指定することはできません。 (FUNCTION=BASE cannot be specified for more than one system.)**

説明

FUNCTION=BASE を指定することにより、比較関数で必ず比較対象とする「標準」システムを識別する必要があります。2つのシステムを基準として使用するようには要求することはできません。指定できるのは、1つのセキュリティー・データベース (例えば、UNLOAD) と、

同じ複合システムにある基準としての1つのシステム (CKFREEZE) です。

ユーザーの処置

この指定によってセキュリティー・システムが1つだけ残されるまで、FUNCTION=BASE を除去してください。

重大度

12

CKR1437 **COMPAREOPT BASE/BY/COMPARE** は *name source* フィールドでサポートされていません。
(COMPAREOPT BASE/BY/COMPARE is not supported for field name source.)

説明

このフィールドでは比較がサポートされていません。

ユーザーの処置

別のフィールドを使用してください。

重大度

12

CKR1438 **FUNCTION=BASE** は **TYPE=CKFREEZE/UNLOAD/RACF/ACF2*/CKRCMD** の場合のみサポートされます - *ddname* 行 *number* の *token* の前でエラーが検出されました (**FUNCTION=BASE only supported for TYPE=CKFREEZE/UNLOAD/RACF/ACF2*/CKRCMD - error detected before token at ddname line number**)

説明

このファイル・タイプは、比較の根拠として使用できません。FUNCTION=BASE を指定できるのは、セキュリティー・データベース、CKFREEZE ファイル、およびコマンド・ファイルの場合です。

ユーザーの処置

このTYPEにはFUNCTION=BASEを指定しないでください。

重大度

12

CKR1439 言語 *lng* は、*source* での **LANGUAGE** ステートメントでは無効です

(Language lng is not valid in the LANGUAGE statement at source)

説明

LANGUAGE ステートメントの構文解析中、英語 (ENG、ENU) は有効なオーバーライド言語ではありません。構文解析は続行されますが、実行はキャンセルされます。

ユーザーの処置

別の言語を選択してください。

重大度

12

CKR1440 *source2* での **LANGUAGE ln2** が *ln1* の最初の **LANGUAGE** ステートメントと一致しません (**LANGUAGE ln2 at source2 does not match the first LANGUAGE statement of ln1**)

説明

LANGUAGE ステートメントの構文解析中、最初に検出された *lng1* 言語と異なる言語 *lng2* が見つかりました。構文解析は続行されますが、実行はキャンセルされます。CKRCARLA の各実行は1つの言語にのみ翻訳されます (あるいは翻訳されません)。

ユーザーの処置

2つの別々の実行で異なる言語への翻訳を実行してください。

重大度

12

CKR1441 「*original*」の翻訳は *source* の「*translation2*」によってオーバーライドされた「*translation1*」でした (**Translation for "original" was "translation1" overridden by "translation2" at source**)

説明

LANGUAGE ステートメントの構文解析中、同じストリングまたは値に対して複数の翻訳が見つかりました。最後の翻訳が優先されます。

ユーザーの処置

最後の翻訳が意図するものであることを確認してください。

重大度

00

CKR1442 このオカレンスは名前付きの **NEWLIST** セクションでのみ有効です。 **source** の **TYPE** セクションでは有効ではありません (**Occurrence only valid in named NEWLIST sections, not in TYPE section at source**)

説明

このオカレンスは、TYPE セクションの FIELD 節ではなく、LANGUAGE ステートメントの名前付き NEWLIST セクションの FIELD 節でのみ有効です。

ユーザーの処置

オカレンス指定子を除去するか、ステートメントを NEWLIST 節に移動してください。

重大度

12

CKR1443 **LANGUAGE** ステートメントは、 **source** のどの **NEWLIST** またはフィールド名を使用するよりも先に指定する必要があります (**LANGUAGE statements must precede the use of any NEWLIST or field name at source**)

説明

CARLa 入力での LANGUAGE ステートメントを使用できるのは、フィールド、newlist、またはより一般的には翻訳を必要とするストリングが関係する要素を最初に使用するよりも前だけです。

ユーザーの処置

LANGUAGE ステートメントを移動するか、CARLa 入力ストリームの最初のほうに組み込むか、または SETUP PREAMBLE で出力処理を実行する CARLa をオプション CO に含まれるメンバーに移動してください。

重大度

12

CKR1444 **ddname volser dsn** のシステム **smfid** レコードで使用される複合システム **name** (**Complex name used for system smfid records in ddname volser dsn**)

説明

このメッセージは、ACCESS 入力ファイル内のユーザーが表示することを許可されるシステム ID **smfid** が処理されるごとに 1 回、発行されます。このメッセージは、

予期せぬ障害について理解する上で役立つように発行されます。例えば、入力名またはユーザー指定複合システム名のセットが不完全なまま、AM.8.2 でアクセス監視コマンドを生成しようとする、メッセージには、ファイル中のどの複合システム (RACF データベース) のアクセスに障害の原因があるかが示されます。ALLOC コマンドに VERSION が指定されていれば、このメッセージでは、複合システム名の後に VERSION が続いています。

ユーザーの処置

メニュー・オプション AM.8.2 からアクセス監視コマンドを実行しているときに予期せぬ障害が発生した場合は、このメッセージを検討して問題点を検出してください。

重大度

00

CKR1445 非対称鍵の使用値は、**(NO)SECUREEXPORT**、**(NO)HANDSHAKE**、またはそれらの値の組み合わせでなければなりません - **ddname** の行 **number** での「**value**」 (**Asymmetric key usage value must be (NO)SECUREEXPORT, (NO)HANDSHAKE, or a combination of them - "value" at ddname line number**)

説明

このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

ユーザーの処置

フィールドに適切な値を選択してください。

重大度

12

CKR1446 対称鍵のエクスポート可能値は、**(BY)ANY**、**(BY)LIST**、または **(BY)NONE** でなければなりません - **ddname** の行 **number** での「**value**」 (**Symmetric key exportable value must be (BY)ANY, (BY)LIST, or (BY)NONE - "value" at ddname line number**)

説明

このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

ユーザーの処置

フィールドに適切な値を選択してください。

重大度

12

CKR1447 *nn* SMF サブレコードが読み取られ、*nn* SMF サブレコードが選択されました (*nn%*) (*nn* SMF subrecords read, *nn* selected (*nn%*))

説明

このメッセージは、読み取った SMF サブレコードの数と、選択された SMF サブレコードの数およびパーセンテージを示します。

重大度

00

CKR1448 重複した **COMPAREOPT TYPE=type NAME=name** 保持バージョン **source (Duplicate COMPAREOPT TYPE=type NAME=name retaining version source)**

説明

COMPAREOPT 定義は一度だけ使用できます。

ユーザーの処置

どちらか一方の名前を変更するか、一方の定義を削除してください。

重大度

12

CKR1449 *source* でも使用されている重複した **COMPAREOPT** フィールド名 *name source (Duplicate COMPAREOPT field name name source also used source)*

説明

COMPAREOPT フィールド名リストには、多くて1つのフィールド名がリストされます。

ユーザーの処置

重複した名前を削除してください。

重大度

12

CKR1450 **COMPAREOPT NAME=DEFAULT** は予約された *source* です。
(**COMPAREOPT NAME=DEFAULT is reserved source.**)

説明

COMPAREOPT 名前 DEFAULT は自動生成用に予約されています。ALLOC FUNCTION=BASE と指定されて自動的に生成される可能性があります。

ユーザーの処置

別の名前を選択してください。

重大度

12

CKR1451 定義された *source* ではない **COMPAREOPT NAME=name type=type (COMPAREOPT NAME=name type=type not defined source)**

説明

PRINT/OPTION/NEWLIST によって参照される COMPAREOPT は、NEWLIST、DISPLAY、または SORTLIST ステートメントで必要になる前に、COMPAREOPT ステートメントで定義する必要があります。

ユーザーの処置

「COMPAREOPT=」を使って名前を参照する前に、不足している COMPAREOPT ステートメントを追加してください。また、NEWLIST および COMPAREOPT の newlist "TYPE=" 仕様が一致する必要があります。

重大度

12

CKR1452 *translation2* によってオーバーライドされた翻訳 *translation1 (Translation translation1 overridden with translation2)*

説明

LANGUAGE ステートメントの構文解析中、同じストリングまたは値に対して複数の翻訳が見つかりました。最後の翻訳が優先されます。

ユーザーの処置

最後の翻訳が意図するものであることを確認してください。

重大度

00

CKR1453 **FORMAT 名 *name* は *source* での言語翻訳でサポートされていません (FORMAT name *name* is not supported for language translation at *source*)**

説明

言語翻訳でサポートされていない FORMAT 名が検出されました。構文解析は続行されますが、実行はキャンセルされます。

ユーザーの処置

FORMAT 節を除去するか、フォーマット名を変更してください。

重大度

12

CKR1454 **PREFIXLEN は 0 または 29 から 70 の範囲内でなければなりません (PREFIXLEN must be 0 or in range 29...70)**

説明

印刷オプション PREFIXLEN は、0 にするか、28 より大きく 71 より小さい値にする必要があります。

重大度

12

CKR1455 **セグメント全体のスキャンは制限モードでは許可されません - *ddname* の行 *number* (Scan of entire segment is not allowed in restricted mode - at *ddname* line *number*)**

説明

制限または PADS モードでプログラムを実行しているとき、プロファイル・セグメント全体のスキャンは許可されません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子により、照会を実行する必要があることが明示的に指定されている場合は、スキャンを

実行しても何も検出されないことを通知する警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。CKR0170 も参照してください。

重大度

04 または 12

CKR1456 **NEWLIST 名の接尾部 *suffix* は無効です。 *source* では、「.DISPLAY」が唯一の有効な接尾部です。 (NEWLIST name *suffix* is invalid, ".DISPLAY" is the only valid suffix at *source*.)**

説明

NEWLIST 名に接尾部を付ける場合、有効な接尾部は「.DISPLAY」だけです。実行はキャンセルされます。

ユーザーの処置

名前の接尾部を修正するか、または除去してください。

重大度

12

CKR1457 **PREFIXLEN 値 *val* は 0 または 29 から 70 の範囲内の *source* でなければなりません。 (PREFIXLEN value *val* must be 0 or in range 29..70 *source*.)**

説明

LANGUAGE ステートメントで指定する接頭部の長さは、0 にするか、28 より大きく 71 より小さい値にする必要があります。

ユーザーの処置

29 以上 70 以下の値を指定するか、PREFIXLEN 仕様を LANGUAGE ステートメントから除去して、接頭部のデフォルト長さを印刷オプション PREFIXLEN の値にしてください。

重大度

12

CKR1458 ***field* での選択は EXISTS および MISSING でのみサポートされます - *ddname* の行 *number* (Selection on *field* is only supported for EXISTS and MISSING - at *ddname* line *number*)**

説明

このフィールドは、EXISTS および MISSING 関数の SELECT 節でのみサポートされています。

重大度

12

CKR1459 ログオン ID *logon_id* には、開始タスク *task_id* の *complex [version]* 内の割り当て先グループへのアクセス権限がありません。(Logon ID *logon_id* has no access to the group that started task *task_id* is assigned to in *complex [version]*)

説明

GSO STC レコードは、ログオン ID データベース内で一致する STC ログオン ID が見つからない場合、開始タスクの ID に基づいてログオン ID およびオプションのグループ ID を割り当てます。CA ACF2 r12 では、関連付けられた GSO STC レコードで定義されているグループ ID を開始タスクに割り当てる前に、検証呼び出しが行われ、STC レコードで定義されている割り当てられたログオン ID にグループ ID へのアクセス権限があるかどうか検査されます。ログオン ID に、割り当てられたグループ ID へのアクセス権限を付与するには、TGR リソース・タイプでリソース規則を書き込む必要があります。VERIFY STC' がその検証を行い、ログオン ID にグループ (グループが定義されている場合) へのアクセス権限がない場合にこのメッセージを発行します。

重大度

04

CKR1460 システム *name* に対する BPX1PCT ZFS 構成照会に失敗しました。(BPX1PCT ZFS configuration query failed for system *name*.) OC=*nn*, RC=*nn*, 理由=*nn* (OC=*nn*, RC=*nn*, REASON=*nn*)

説明:

ZFS_SMF, ZFS_SMF_INTERVAL, ZFS_FORMAT_COMPRESSION, ZFS_FORMAT_ENCRYPTION, および ZFS_FORMAT_PERMS の各フィールド (TYPE=SYSTEM) の値が、BPX1PCT ZFS 構成関数の実行中のエラーの結果、欠落しています。この関数は、zFS のデフォルトの圧縮、暗号化、およびアクセス権形式、さらに SMF レコード設定を判別します。

ユーザーの処置

命令コード、戻りコード、および理由コードを確認して問題を解決してください。

- OC=*nn* は、命令コード修飾子です。

- RC=*nn* は、戻りコード修飾子です。

- 理由=*nn* は、「UNIX System Services メッセージおよびコード」に説明されている理由コードです。

重大度

04

CKR1461 要求された鍵から *class* の UTF-8 への変換で長さの超過 *length* が発生しました (Converting requested key to UTF-8 for *class* yielded excessive length *length*)
requestedkey
convertedkey

説明

UTF-8 の鍵を使用するクラス (例えば、IDIDMAP) の選択ステートメントで、KEY=*requestedkey* 仕様が使用されました。索引付きデータベースの読み取りで、探している UTF-8 プロファイル・キーに要求を変換できませんでした。要求は EBCDIC で表示されるのに対し、変換結果は 16 進数で表示されます。

重大度

12

CKR1462 racmap *userid* ラベル *label* の除去 - 出力 RACMAP DELMAP (Remove racmap *userid* label *label* - output RACMAP DELMAP)

説明

このメッセージは、REMOVE USER= コマンドが原因で発行されます。*userid* を除去するためには、まずその ID マッピングを削除し、それぞれについて RACMAP DELMAP が生成されるようにする必要があります。

重大度

00

CKR1463 不完全な COMPAREOPT - TYPE および NAME は必須の *source* です (Incomplete COMPAREOPT - TYPE and NAME are required *source*)

説明

COMPAREOPT ステートメントには、ステートメントを識別する名前とタイプの両方が必要です。一方または両方のパラメーターが欠落しています。

ユーザーの処置

欠落しているパラメーターを追加してください。

重大度

12

CKR1465 **DEFINE TYPE=*name** は、**COMPARE_RESULT**、**COMPARE_CHANGES**、**COUNT**、および **SUMCOUNT source** でのみ許可されます (**Define TYPE=*name only allowed for COMPARE_RESULT, COMPARE_CHANGES, COUNT, and SUMCOUNT source**)

説明

指定された変数名での **DEFINE TYPE=*** はサポートされていないタイプです。TYPE=* では、指定されたタイプのみが許可されます。

ユーザーの処置

TYPE を適切なタイプに変更し、すべての適切なタイプごとに **DEFINE** ステートメントを繰り返してください。

重大度

12

CKR1466 **DEFINE name TYPE= * source** では **WHERE** 節は許可されません (**WHERE clause not allowed for define name TYPE= * source**)

説明

指定された変数名の場合、**DEFINE TYPE=*** では **WHERE** 節は許可されません。TYPE=* では、指定されたタイプのみが許可されます。

ユーザーの処置

WHERE 節を除去するか、必要とされるすべてのタイプで **DEFINE** を繰り返し、明示的 **NEWLIST** タイプを指定してください。

重大度

12

CKR1467 ルックアップのような関数は **DEFINE name TYPE=* source** では許可されません (**Functions like lookup not allowed for define name TYPE=* source**)

説明

サブistring、**WORD**、**LOOKUP**などの関数を指定して、指定された変数名で **DEFINE TYPE=*** が指定さ

れました。これらの関数は **TYPE=*** では許可されません。

ユーザーの処置

関数を除去するか、必要とされるすべてのタイプで **DEFINE** を繰り返す一方で、明示的 **NEWLIST** タイプを指定してください。

重大度

12

CKR1468 警告: 変数 *name source* の **TYPE=*** 定義は **TYPE=type** 定義 *source2* をオーバーライドします (**Warning: TYPE=* define for variable name source overrides TYPE=type define source2**)

説明

この抑止可能なメッセージは、前の変数定義が **TYPE=*** 定義によって置き換えられることを警告するものです。以前の定義は前の **NEWLIST** で使用され続けている可能性があります。特定のタイプが指定された場合は、同じ変数名でのそのタイプのグローバル・タイプ固有 **DEFINE** もオーバーライドします。このメッセージは、グローバル変数が同じ名前でもインスタンス化されているすべての **NEWLIST** タイプで発行されます。その変数名に対するそれ以後の参照では、オーバーライドされた定義を使用しなくなります。

重大度

00

CKR1469 *ddname* の行 *number* の *token* の前で **COMPAREOPT keyword1** を指定する必要があります (**COMPAREOPT keyword1 must be specified before token at ddname line number**)

説明

TYPE は、**COMPAREOPT** ステートメントの **BY**、**COMPARE**、または **BASE** より前に指定する必要があります。NAME は **BASE** の前に指定する必要があります。

ユーザーの処置

TYPE および NAME キーワードを、**BY**、**COMPARE**、および **BASE** パラメーターの前に追加または移動してください。

重大度

12

CKR1470 *origin* の行 *line* のフィールド *field* の値 *invalid expression* は有効な数式ではありません (**Field field value invalid expression is not a valid numeric expression at origin line**)

説明

パーサーは、フィールド値に有効な数式が入っていることを予期しています。このコンテキストでは、10進数または数値シンボリック式のどちらかを使用できます。

重大度

12

CKR1471 リソース・シミュレーション・クラス *class* はサポートされていません - *source* (**Resource simulation class class is not supported - source**)

説明

リソース・シミュレーションでは、メンバー・リストに標準的ではない意味を割り当てるクラスはサポートされていません。この制限は、CONNECT、DIGTNMAP、DIGTCERT、DIRACC、DIRAUTH、FSSEC、FSOBJ、GLOBAL、GMBR、GROUP、IDIDMAP、NDSLINK、NODES、NODMBR、NOTELINK、PMBR、PROGRAM、RACFVARS、RVARSMBR、SCDMBR、SECDATA、SECLABEL、SECLMBR、UNIXMAP、USER、VMBR、VMEVENT、VMXEVENT、VXMBRなどのクラスに適用されます。DATASET クラスはどちらの場合もサポートされていません。

ユーザーの処置

DATASET クラスの場合は、リソース・シミュレーションで SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用できます。

重大度

12

CKR1472 複合システム名に **FUNCTION=BASE** と **MAIN** の両方を含めることはできません (**Complex name cannot have both FUNCTION=BASE and MAIN**)

説明

同じセキュリティー・データベースの2つのバージョンを比較する場合は、異なる複合システム名を使用してください。同じ複合システム名を使用すると、データベースの一方のバージョンの出力をもう一方のバージョンの出力と区別できなくなります。

このメッセージにより、続いて CKR1434 メッセージが発行される可能性もあります。

ユーザーの処置

FUNCTION=BASE および (デフォルト関数) FUNCTION=MAIN で別の複合システム名を使用してください。

重大度

12

CKR1474 **COMPARE** が欠落し、**COMPAREOPT TYPE=type NAME=name source** のデフォルトがありません (**Missing COMPARE and no default for COMPAREOPT TYPE=type NAME=name source**)

説明

指示された COMPAREOPT ステートメントで COMPARE パラメーターが欠落しています。(The COMPARE parameter is missing on the indicated COMPAREOPT statement.)NEWLIST タイプにデフォルトの COMPARE 値が定義されていません。(A default COMPARE value is not defined for the newlist type.)

ユーザーの処置

COMPARE パラメーターを追加してください。

重大度

12

CKR1475 *source* で予期されない短い **ACCESS** レコード (**Unexpected short ACCESS record at source**)

説明

このメッセージは、TYPE=ACCESS として指定された入力ファイルに、TYPE=ACCESS ファイルで許可されるより短いレコードが含まれていることを示します。入力ファイルで検出されるエラーの数が多すぎる場合は、このメッセージに続いて CKR1477 メッセージが発行されます。

SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージを抑制できます。

ユーザーの処置

TYPE=ACCESS の ALLOC ステートメント、または SETUP 入力ファイル・パネルで、適切なデータ・セットと TYPE を指定したことを確認してください。

重大度

16

CKR1476 *source* でサポートされていない
ACCESS レコード・タイプ *xx*
(**Unsupported ACCESS record type
xx at source**)

説明

このメッセージは、TYPE=ACCESS として指定された入力ファイルに、非認識のレコード ID *xx* が含まれていることを示します。検出されるエラーの数が多すぎる場合は、このメッセージに続いて CKR1477 メッセージが発行されます。

SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージを抑制できます。

ユーザーの処置

TYPE=ACCESS の ALLOC ステートメント、または SETUP 入力ファイル・パネルで、適切なデータ・セットと TYPE を指定したことを確認してください。

重大度

16

CKR1477 **TYPE=ACCESS** 入力でのエラーが多
すぎます。 *source* ではファイルの残
りをスキップします (**Excessive
errors in TYPE=ACCESS input;
skipping rest of file at source**)

説明

このメッセージは、TYPE=ACCESS として指定されたファイルで 100 件を超えるエラーが検出されたことを示します。ファイルの残りはスキップされます。

SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージを抑制できます。

ユーザーの処置

TYPE=ACCESS の ALLOC ステートメント、または SETUP 入力ファイル・パネルで、適切なデータ・セットと TYPE を指定したことを確認してください。

重大度

16

CKR1478 **COMPARE_CHANGES** は **SUMMARY**
でサポートされていません
(**COMPARE_CHANGES not
supported on SUMMARY**)

説明

比較プロセスの結果は COMPARE_CHANGES 変数によって戻されます。COMPARE_CHANGES 結果を報告するには、SORTLIST または DISPLAY コマンドを使用する必要があります。SUMMARY コマンドは使用できません。

重大度

12

CKR1479 **SYSLOG** は **VM** ではサポートされて
いません (**SYSLOG is not supported
under VM**)

説明

UNIX SYSLOG 受信側への SYSLOG メッセージの書き込みは、z/VM 環境で直接的にサポートされていません。

ユーザーの処置

z/OS 環境でこの CARLa を実行してください。

重大度

12

CKR1480 *name sockdesc m* の *sendto* に失敗
しました **UNIX error**、 *name source*
(**Sendto for name sockdesc m
failed UNIX error, name source**)

説明

表示されたエラーにより UNIX **sendto** サービスが失敗したことを示します。

ユーザーの処置

エラーを訂正し、やり直してください。

重大度

12

CKR1481 *sockdesc n* の *addr* ポート *port* への
name の送信、 *name source*
syslog_line (**Sending name to addr
port port on sockdesc n, name
source syslog_line**)

説明

SYSLOG メッセージの宛先を示します。また、SYSLOG メッセージの EBCDIC エンコード方式も示します。ただし、情報は UTF-8 フォーマットで送信されます。

addr フォーマットは、ソケット記述子を作成する場合の IP スタックに対応します。IPv6 スタックが使用可能な場合、IPv4 アドレスは IPv6 ソケットにマッピング

され、次のフォーマットで表示されます：
::FFFF:n.n.n.n。ここで、n.n.n.n は IPv4 アドレスです。以下の例は、IPv4 と IPv6 の異なるメッセージ・フォーマットを示しています。

IPv6 スタックにマッピングされる IPv4 アドレスのメッセージ:

```
CKR1481 00 Sending syslog alert 0  
to ::FFFF:127.0.0.1 port 514 on sockdesc  
0, IPV6V4 at SYSIN line 6
```

IPv6 スタックのメッセージ:

```
CKR1481 00 Sending syslog alert 0 to ::1  
port 514 on sockdesc 0, IPV6V4 at SYSIN  
line 6
```

IPv4 スタックのメッセージ:

```
CKR1481 00 Sending syslog alert 0 to  
127.0.0.1 port 514 on sockdesc 0, IPV4LCL  
at SYSIN line 6
```

重大度

00

CKR1482 **SYSLOG** メッセージ から空です
**name source (Empty syslog
message name source)**

説明

SYSLOG メッセージの送信要求に空の行があるか、または行がまったくありません。

ユーザーの処置

SYSLOG メッセージの生成で使った CARLa を修正し、もう一度試してください。

重大度

12

CKR1483 **SYSLOG** メッセージ **name** は 1 行を
超えています。 **name source
syslog_line_1 syslog_line_2 (Syslog
message name has more than 1
line, name source syslog_line_1
syslog_line_2)**

説明

SYSLOG メッセージで送信される通知は最初の行のみです。

ユーザーの処置

メッセージを変更して 1 行に減らしてください。

重大度

12

CKR1484 **SYSLOG** の **IPv4 family sockettype
protocol** ソケット呼び出しに失敗し
ました **UNIX error (IPv4 family
sockettype protocol socket call for
syslog failed UNIX error)**

説明

UNIX **socket** サービスによる IPv4 ソケットの設定が試みられましたが、この試みは示された診断情報を出力して失敗しました。

ユーザーの処置

IBM Knowledge Center for z/OS から入手可能な「z/OS UNIX System Services Messages and Codes」リファレンス・マニュアルを参照してください。

重大度

12

CKR1485 **IPv4 SYSLOG** ソケットのクローズ
に失敗しました **UNIX error (IPv4
syslog socket close failed UNIX
error)**

説明

IPv4 ソケットのクローズが試みられましたが、この試みは示された診断情報を出力して失敗しました。

ユーザーの処置

[z/OS インターネット・ライブラリー](#) から入手可能な「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」のリファレンス・マニュアルを参照してください。

重大度

12

CKR1486 **SYSLOG** システム異常終了 **abend-
reason (description)** の **[ipstack]
family sockettype protocol** ソケット
呼び出し (**[ipstack] family
sockettype protocol socket call for
syslog system abend abend-reason
(description)**)

説明

IPv4 または IPv6 のソケット呼び出しに失敗しました。**[ipstack] family sockettype protocol** アドレスは、作成されるソケットのタイプに応じて、IPv4 と IPv6 のいずれかになります。フォールバック試行は、追加の **ipstack** 標識 IPv4 によって示されます。異常終了コードの追

加情報については、[z/OS インターネット・ライブラリ](#) から入手可能な「*Communications Server IP and SNA Codes*」マニュアルを参照してください。

重大度

12

CKR1487 **[ipstack] family sockettype protocol syslog sockdesc n が作成された (Created [ipstack] family sockettype protocol syslog sockdesc n)**

説明

[ipstack] family sockettype protocol アドレスには、getaddrinfo サービスが返すアドレス・ファミリー (IPv6 の場合は AF_INET6、IPv4 の場合は AF_INET) が表示されます。フォールバック 試行は、追加の ipstack 標識 IPv4 によって示されます。

次の例は、UDP と TCP の異なるメッセージ・フォーマットを示しています。

```
CKR1487 00 Created AF_INET6 DGRAM UDP
syslog sockdesc 0
CKR1487 00 Created AF_INET6 STREAM TCP
syslog sockdesc 1
```

重大度

00

CKR1488 **CMSMODE は DSN/DA/DATASET でのみ有効です - token AT ddname LINE number の前 (CMSMODE is only valid with DSN/DA/DATASET - before token AT ddname LINE number)**

説明

このメッセージは、z/VM の場合、RACF データベースの CARLa ALLOC ステートメントでは、CMSMODE パラメーターを使用するときに DSN、DA、または DATASET パラメーターを必要とすることを示します。

重大度

12

CKR1489 **CMSMODE を VOL/UNIT/STORCLAS/MGMTCLAS/DATACLAS とともに使用することはできません - ddname の行 number の token の前 (CMSMODE is mutually exclusive with VOL/UNIT/STORCLAS/MGMTCLAS/DATACLAS - before token at ddname line number)**

説明

このメッセージは、z/VM の CARLa ALLOC ステートメントで、RACF データベース・データ・セットの CMSMODE パラメーターと一緒に、誤って V、VOL、VOLSER、VOLUME、U、または UNIT 割り振りパラメーターが指定されたことを示します。CMSMODE パラメーターは、ファイルを割り振るため、DSN、DA、または DATASET パラメーターとのみ一緒に使用できます。

重大度

12

CKR1490 **VM 環境の DSN/DA/DATASET では CMSMODE が必要です - token AT ddname LINE number の前 (CMSMODE is required with DSN/DA/DATASET under VM - before token AT ddname LINE number)**

説明

このメッセージは、z/VM 環境の CARLa ALLOC ステートメントで、RACF データベース・データ・セットの CMSMODE パラメーターを指定しなかったことを示します。

重大度

12

CKR1491 **VM 環境では許可されない MEMBER 仕様 - token AT ddname LINE number の前 (MEMBER specification not allowed under VM - before token AT ddname LINE number)**

説明

このメッセージは、z/VM 環境の CARLa ALLOC ステートメントで、RACF データベースの DSN、DA、または DATASET パラメーターに誤ってメンバーを指定したことを示します。

重大度

12

CKR1492 **CMSMODE は VM でのみ有効です - token AT ddname LINE number の前 (CMSMODE is only valid under VM - before token AT ddname LINE number)**

説明

このメッセージは、z/OS 環境の CARLa ALLOC ステートメントで、RACF データベース・データ・セットの CMSMODE パラメーターを誤って指定したことを示します。このパラメーターは、z/VM でのみ使用できます。

重大度

12

CKR1493 複合システム *complex* に **ACF2 SVC-A** を使用できません: *reason*.
(Cannot use ACF2 SVC-A for complex *complex*: *reason*.)
dsn にフォールバックします
(Falling back to *dsn*)

説明

このメッセージは、プログラムがアクティブなログオン ID データベースへの IO を実行するのに ACF2 変更 SVC を使用できないことを示します。代わりに、バックアップ・データベースが使用されます。ACF2 SVC を使用できない理由はいくつかありますが、経験法則では、SVC の使用がサポートされるのは NEWLIST TYPE=ACF2LID の場合のみであり、LID または LID マスクには明示的な SELECT ステートメントが必要です。さらに、SELECT ステートメントは複雑すぎたはけません。

重大度

00

CKR1494 サーバーへのクライアント 接続に失敗しました **RC=decnum (Client connection to server failed RC=decnum)**

説明

このメッセージは、CARLa 照会が zSecure Server にアクセスする必要があったが、示された戻りコードでサーバーへの接続試行が失敗したことを示します。例えば一部のフィールドが指定されているが、検査できなかった場合です。

このサーバーが照会に必要な場合は、メッセージ CKR2351 も表示されます。

戻りコード値:

2

前のサーバー・エラー CKN メッセージを参照してください。このメッセージの前に、サーバーの ZSECSYS 名が示されます。

4

バッファにすべては適合しなかった

8

サポートされない関数

12

クライアントとして許可されていない呼び出し元

16

無効なパラメーター

ユーザーの処置

このメッセージの前の CKN* サーバー・メッセージを検索して、そのガイダンスに従ってください。2 より大きい戻りコードの場合は、CKR1494 の情報および示された戻りコードについて、サポート・サイトを検索してください。サーバーを再始動して、問題が解決したかどうか確認してください。

重大度

0

CKR1495 **SERVETOKEN=name** のアクティブなサーバーがありません (There is no server active with **SERVETOKEN=name**)

説明

このメッセージは、CARLa 照会が zSecure Server にアクセスする必要があったが、示されたサーバー・トークンを持つアクティブ・サーバーを検出できなかったことを示します。

このサーバーが照会に必要な場合は、メッセージ CKR2351 も表示されます。

ユーザーの処置

ISPF ユーザー・インターフェースの実行時に SETUP RUN でサーバー・トークンが正しいかどうかを確認してください。トークンが正しい場合は、サーバーがまだ稼働していることを確認します。サーバーが稼働していない場合は、再始動してください。

重大度

0

CKR1496 **ACF2** からの予期しない **RC : msg (Unexpected RC from ACF2: msg)**

説明

このメッセージは、プログラムがログオン ID データベースからレコードを読み取るために ACF2 変更 SVC を使用していたことを示します。このプロセス中に、詳細を提供するメッセージが付随した、ゼロ以外の戻りコード (失敗を示す) を ACF2 から受け取ります。メッセージのテキストをここに再現します。

重大度

20

CKR1497 *ddname*、行 *number* にある **ALLOC** コマンドの *zsecparm* に一致するアクティブ・システムが見つかりません (**No active systems found matching zsecparm in ALLOC command at ddname line number**)

説明:

示された ALLOC コマンドで *zsecparm* の ZSECNODE または ZSECSYS の指定が使用されています。ノードまたはシステムに対してアスタリスク (*) の値が使用されています。この値は、アクティブ・システムのみを選択します。*zsecparm* の指定に一致するすべてのシステムは、ローカルの zSecure Server に対して非アクティブになっていると思われます。CKNSERVE 基本コマンドを使用して、サーバー接続の状況を確認してください。

重大度

12

CKR1498 オプション **DD** および **SYSLOG** は同時に使用することができません (**Options DD and SYSLOG are mutually exclusive**)

説明

NEWLIST ステートメントで DD (DDNAME,FILE,F) と SYSLOG の両方を指定することはできません。

CKR メッセージ 1500 から 1599

CKR1500 *program* の無効な \$ANYMISSINGMIGC: *volser dsname* (Invalid \$ANYMISSINGMIGC in program: *volser dsname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1501 CKRPUTV: *ddname* の行 *number* で *fieldtype* フィールド *fieldaddr fieldname* の *calltype* 呼び出しが定義されました (CKRPUTV: *calltype*

ユーザーの処置

NEWLIST ステートメントで DD (DDNAME,FILE,F) または SYSLOG パラメーターの一方が指定され、その両方が指定されていないことを確認します。

重大度

12

CKR1499 CKRSVPUT 同期エラー - ファイル *ddname* が開くのを待っていますが、*clientno* の *ddname2* が見つかりました (**CKRSVPUT sync error - waiting for file ddname open but finding ddname2 for clientno**)

説明

このメッセージは、zSecure Server を介したリモート CKRCARLA との通信でエラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

同時に使用するリモート・ファイルの数を少なくしてください。

重大度

24

call for *fieldtype* field *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明

fieldaddr fieldname によって指定されたフィールドを再び保管することはできません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1502 CKRPRMSG.CKRM385: メッセージ *msgid* に、*class profile* では予期されない *eyecatcher* タイプのメンバー項目があります (CKRPRMSG.CKRM385: Message

msgid has unexpected member entry of type eyecatcher for class profile)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーの場合に特に重要な情報は、*msgid* と、示された *profile* に実際にあるメンバー・リストです。*msgid* の最初の 4 文字は、部分的に失敗している関数を示します (例えば、VERIFY PERMIT の「VPRM」)。

重大度

24

CKR1503 E メール送信された XML 文書 DD *ddname* では ENCODING=UTF-8 を使用してください (E-mailed XML document DD *ddname* should use ENCODING=UTF-8)

説明

z/OS SMTP サーバーは EBCDIC からの E メールを自動的に ASCII に変換します。E メール送信された XML 文書でデフォルトの ENCODING=EBCDIC を使用すると、EBCDIC エンコードされた文書であることを示すヘッダーを含んだ ASCII 文書が作成されます。そのような XML 文書は、使用する XSLT プロセッサによって構文解析できない可能性があります。XML 文書では ENCODING=UTF-8 を使用することを推奨します。

重大度

04

CKR1504 動的解析テーブルのストレージを取得できません。(Unable to obtain storage for Dynamic Parse Table.)Size=nnnnnn、SYSTEM=ssssssss、DDNAME=ddddddd (Size=nnnnnn, SYSTEM=ssssssss, DDNAME=ddddddd)

説明

CKFREEZE データ・セットまたは UNLOAD データ・セットを処理する間、ストレージを取得して動的解析テーブルを再構築することができませんでした。値 *ssssssss* および *ddddddd* により、処理中の CKFREEZE または UNLOAD データ・セットを識別できます。値 *nnnnnn* は、テーブルで要求されるストレージのサイズ (バイト単位) です。

このエラーは、CKFREEZE または UNLOAD データ・セットの読み取り中に発生しました。データ・セットで動的解析テーブルのレコードが見つかりましたが、レコードからテーブルを再構成する試みに失敗しました。このメッセージの結果として、この入力ファイルから動的解析テーブルは作成されません。これは、RACF カスタム・フィールドの処理に影響を与えます。

ユーザーの処置

このエラーは、CKFREEZE または UNLOAD データ・セットの破損が原因で発生したと考えられます。CKFREEZE または UNLOAD データ・セットがソートされている場合、または何らかの方法でレコードがドロップまたは変更されている場合は、この種類のエラーが発生する可能性があります。データ・セットが処理されているアドレス・スペースに割り振られているメモリーが不十分であるという可能性もあります。問題を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1505 動的解析テーブルのエラー (Errors in Dynamic Parse Table.)text、Table Part = nn、SYSTEM=ssssssss、DDNAME=ddddddd (text, Table Part = nn, SYSTEM=ssssssss, DDNAME=ddddddd)

説明

動的解析テーブルの再構成中にエラーが発生しました。メッセージに示されるテキスト値は以下の値のいずれかになります。

- 「シーケンス・エラー (Sequence error)」は、検出されたレコードに順次レコード番号がないことを示します。
- 「アドレスの不一致 (Address mismatch)」は、レコードの中に一致するオリジナル・アドレスがないことを示します。
- 「長さの不一致 (Length mismatch)」は、レコードの中に予期される長さがないことを示します。
- 「ポインター・エラー (Pointer error)」は、内部ポインターの調整時に、内部アドレスがテーブル境界の外部にあることが検出されたことを示します。
- 「バッファー・オーバーラン (Buffer overrun)」は、テーブルの作成時に、動的解析テーブルの領域の終わりを過ぎて書き込もうとする試みが検出されたことを示します。

値 *nn* は、最後に処理されたテーブルのセクションを識別します。値 *ssssssss* および *ddddddd* により、処理中のデータ・セットを識別できます。

このエラーは、CKFREEZE または UNLOAD データ・セットの読み取りおよび処理中に発生しました。ファイルに動的解析テーブルのレコードが見つかりましたが、レコードからテーブルを再構成する試みに失敗しました。このメッセージの結果として、この入力ファイルから動的解析テーブルは作成されません。これは、RACF カスタム・フィールドの処理に影響を与えます。

ユーザーの処置

このエラーは、CKFREEZE または UNLOAD データ・セットの破損が原因で発生したと考えられます。CKFREEZE または UNLOAD データ・セットがソートされている場合、または何らかの方法でレコードがドロップまたは変更されている場合は、この種類のエラーが発生する可能性があります。データ・セットが処理されているアドレス・スペースに割り振られているメモリーが不十分であるという可能性もあります。問題を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1506 8 文字より長い CSDATA キーワード名 *name* です。(CSDATA keyword name *name* longer than 8 characters.) キーワードを無視します。(Ignoring keyword.)

説明

動的解析テーブルに 8 文字より長いカスタム・フィールドがあります。このキーワードは無視されます。

重大度

20

CKR1507 無効な CSTD の長さ *length* で呼び出された *procedure* (*procedure called with invalid CSTD length length*)

説明

カスタム・フィールド処理で内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1509 CKRMODF OTYPCSD 内部エラー。(CKRMODF OTYPCSD Internal error.)Reason

説明

カスタム・フィールドの上書き処理で内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1510 不完全な INFO データが戻されました - DNAM ブロック欠落 (Incomplete INFO data returned-missing DNAM block)

説明

このメッセージは、サーバーからのノード情報データで予期せぬ状態が戻されたことを示します。

ユーザーの処置

情報が欠落していない場合は、このメッセージを無視してください。情報が欠落している場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

4

CKR1511 CKRFMTC.PRTFLD: *fieldname source* の無効な索引とともに呼び出されました (CKRFMTC.PRTFLD: Called with invalid index for *fieldname source*)

説明

これは内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1512 **CKRINP@.VXMLTAB: ハッシュ文字変換の戻り値が予期しない長さ *length* です。'string' (CKRINP@.VXMLTAB: Unexpected returned length *length* of hash character translation 'string')**

説明

XML 出力の文字を正しくエスケープするために、zSecure は CCSID 内のハッシュ文字の 16 進値を調べようとしていました。CCSID は、CARLa オプション MY_CCSID で指定されます。変換ルーチンが、ヌル・ストリング、または 1 バイトよりも長いストリングを返しました。これは予期されていません。

ユーザーの処置

MY_CCSID で使用されている CCSID が有効であること、および z/OS の Unicode に対するサポートがアクティブで、適切なテーブルがロードされていることを確認してください。

重大度

24

CKR1513 ***act_rec_length* バイトが CKFREEZE から読み取られました。 *expected_rec_length* が期待されていました。(*act_rec_length* bytes read from CKFREEZE, *expected_rec_length* expected.) レコード: CKFREEZE の *recid* (Record: *recid* of CKFREEZE)**

説明

指定された CKFREEZE データ・セット (CKFREEZE) から読み取られたレコード (*recid*) について、実際の NMI レコードの長さが、期待される NMI レコードの長さと同じでない場合は、エラーが発生します。

ユーザーの処置

このメッセージを使用して、予期しないレコードの切り捨てまたは入出力エラーをトラブルシューティングしてください。

重大度

08

CKR1514 **CKRLKT: KEY_IMPLICIT ですが LOOKUP_TLUR がありません (CKRLKT: KEY_IMPLICIT but no LOOKUP_TLUR)**

説明:

予期しない状態が発生したため、プログラムは、ユーザー異常終了 1514 で終了します。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1515 **SIM CLASS=*class* RESOURCE=*resname* 複合システム complex システム *system* で機密性「*senstype*」の ACCESS=*access* が重複しています (Duplicate ACCESS=*access* for sensitivity "*senstype*" on SIM CLASS=*class* RESOURCE=*resname* complex complex system *system*)**

説明

このメッセージは、SIMULATE CLASS ステートメントが組み込みの機密性と競合している場合に発行されます。これは内部エラーです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1516 **予期しないオブジェクト・タイプ *type* です (Unexpected object type *type*)**

説明

このメッセージは、内部エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1517 範囲設定できるセグメントの数が、複合システム *complex* の最大数 *maximum* を超えました (Number of segments that can be scoped exceeds maximum of *maximum* for complex *complex*)

説明

このメッセージの発生原因としては、破損した RACF データベースの使用、プログラムの内部エラー、またはサポートされていない RACF レベルなどが考えられます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1518...CKR 1519 *message*

説明

この範囲のメッセージはすべて、内部の整合性検査の結果として生成される内部エラー・メッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1520 バッファ *name* が *profilename* には小さすぎます (Buffer *name* too small for *profilename*)

説明

指定されたバッファが行コマンド処理に使用されません。1つのプロファイル名を含めるには小さすぎます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1521 CKROUNIT.CKRSADR 内部エラー: "*text*" 不明なプロトコル、*ddname* の行 *line* の *newlist newlist* (Internal error: "*text*" unknown protocol, *newlist newlist* at *ddname line line*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1522 CKROUNIT.CKRSADR 内部エラー: *destination* の SAMP *port* が *newlist source* ではありません (CKROUNIT.CKRSADR Internal error: SAMP *port* for *destination* not located at *newlist source*)

説明

このメッセージの後に、ユーザー異常終了 1522 が続きます。これは抑止できません。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1523 チェックサムが存在しますが、使用可能なデータ・セット・コンテキストはありません。**source** のシステム **system [version] (Checksums exist no data set context available; system system [version] of source)**

説明:

区分データ・セット (PDS) のチェックサムを含む CKFREEZE レコードの処理中、または区分拡張データ・セット (PDSE) の処理中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1524 **address** に **RISK(sensitivity,accesslevel)** に関する考慮事項のテキストのない **AUCI id** があります (**AUCI id without concern text for RISK(sensitivity,accesslevel) at address**)

説明:

TRUSTED の処理中に、不完全な監査に関する考慮事項インスタンスが見つかりました。このメッセージの後に、制御ブロックのダンプが出力されます。ユーザー異常終了 1524 が発行されて要約ダンプが生成され、実行が終了します。このメッセージが抑止される場合は、処理が継続されます (監査に関する考慮事項インスタンスはスキップされます)。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

24

CKR1525 **address** に **RISK(sensitivity,accesslevel)** に関する考慮事項のテキストのない **AUCI id** があります (**AUCI id without concern text for RISK(sensitivity,accesslevel) at address**)

説明:

TRUSTED の処理中に、不完全な監査に関する考慮事項インスタンスが見つかりました。このメッセージの後に、制御ブロックのダンプが出力されます。ユーザー異

常終了 1525 が発行されて要約ダンプが生成され、実行が終了します。このメッセージが抑止される場合は、処理が継続されます (監査に関する考慮事項インスタンスはスキップされます)。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

24

CKR1540 システム **system** の **callid** で **TMNT** なしの **QMNT: qualifier QMNTaddr. hexvalue (QMNT without TMNT at callid for system system : qualifier QMNTaddr. hexvalue)**

説明

マウント・ポイントの検索が正常に完了しました。マウント・ポイントは見つかりませんでした。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1554 **ddname** の **CKRXINIT.CKRDBPUT OPEN** で **RC=rc** が戻されました - **User ABEND 1554** を発行 (**CKRXINIT.CKRDBPUT OPEN for ddname returned RC=rc - issuing USER ABEND 1554**)

説明

このメッセージは、サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、**ddname** で送信される RACF データについてクライアントと通信している間に重大エラーを受信したことを示します。この重大度のエラー (**rc** 12 以上) はリカバリーできません。サーバーはユーザー **ABEND 1554** を発行して要約ダンプを生成します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1555 RC=*rc* を戻した *ddname* の CKRXINIT.CKRDBPUT function - USER ABEND 1555 を発行します (CKRXINIT.CKRDBPUT function for *ddname* returned RC=*rc* - issuing USER ABEND 1555)

説明

このメッセージは、サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、*ddname* で送信されている RACF データについてクライアントと通信している間に重大エラーを受信したことを示します。この重大度のエラー (*rc* 12 以上) はリカバリーできません。サーバーはユーザー ABEND 1555 を発行して要約ダンプを生成します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1556 CKRXINIT.CKRDBPUT: *ddname* での不明な機能コード *code* (CKRXINIT.CKRDBPUT: Unknown function code *code* for *ddname*)

説明

このメッセージは、サーバー CKRCARLA インスタンスからクライアントに RACF データを送信するルーチンが、*ddname* に関して解読不能な機能要求によって呼び出されたことを示します。要求は無視されます。このメッセージの後には、メッセージ CKR0809 が続きます。これらのメッセージは抑止可能です。

重大度

24

CKR1557 CKROUNIT.TLSDINIT: UTF-8 への *fieldname1* の変換はサポートされていません - *ddname* の行 *number* でのフィールド *fieldname2*。(CKROUNIT.TLSDINIT: Conversion of *fieldname1* to UTF-8 is not

supported - field *fieldname2* at *ddname* line number.)

説明

このメッセージは抑止可能です。この場合は変換が行われません。(Fieldname2 は要求されたフィールド、fieldname1 は実際のデータベース・フィールドです。それらは、fieldname2 が定義済み変数である場合には異なる可能性があります。)

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1558 CKROUNIT.TLSDINIT: EBCDIC への *fieldname1* の変換はサポートされていません - *ddname* の行 *number* でのフィールド *fieldname2*。(CKROUNIT.TLSDINIT: Conversion of *fieldname1* to EBCDIC is not supported - field *fieldname2* at *ddname* line number.)

説明

このメッセージは抑止可能です。この場合は変換が行われません。(Fieldname2 は要求されたフィールド、fieldname1 は実際のデータベース・フィールドです。それらは、fieldname2 が定義済み変数である場合には異なる可能性があります。)

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1559 CKRLKPP.CKRIDID: *fieldname1* の繰り返しグループ制限はサポートされていません - *ddname* の行 *number* で定義されているフィールド *fieldname2* (CKRLKPP.CKRIDID: Repeat group restriction for *fieldname1* is not supported - field

fieldname2 defined at ddname line number)

説明

Fieldname2 は、生成されるレポートに空で表示されます。このメッセージは抑制することができます。(Fieldname2 は要求されたフィールド、fieldname1 は実際のデータベース・フィールドです。それらは、fieldname2 が定義済み変数である場合には異なる可能性があります。)

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1560 ファイル *file1* および *file2* への同時入出力はサポートされていません
(No support for simultaneous I/O to files *file1* and *file2*)

説明

このメッセージには、zSecure Server が、リモート・サーバー上の異なる RACF データベースへの同時入出力をサポートしないことが示されます。プログラムはユーザー異常終了 1560 を発行します。

ユーザーの処置

ターゲット・サーバーあたり 1 つのセキュリティー・データベースのみにアクセスするように照会を変更してください。

重大度

24

CKR1561 CKRSVPUT は WKQR address type flags ではなく SVPUT を予期しています (CKRSVPUT expects SVPUT instead of WKQR address type flags)

説明

これは内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1562 CKRSVPUT 予期せぬ関数 *nn*
(CKRSVPUT unexpected function *nn*)

説明

これは内部エラー・メッセージです。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 1562 が続きます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1563 CKRSVPUT ファイル・レベル SVPUT WKQR address type flags ではない無効な WKQR TYPE (CKRSVPUT invalid WKQR TYPE *nn* instead of file level SVPUT WKQR address type flags)

説明

これは内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1564 ファイル *FILE1* および *FILE2* への同時入出力はサポートされていません
(No support for simultaneous I/O to files *FILE1* and *FILE2*)

説明

このメッセージには、zSecure Server が、1 つ以上のリモート・ファイルについて、異なる受信側への同時入出

力をサポートしないことが示されます。プログラムはユーザー異常終了 1564 を発行します。

ユーザーの処置

ターゲット・サーバーあたり少ない数の同時入出力操作を実行するように照会を変更してください。

重大度

24

CKR1565 不明な NDEI フォーマット - RRSF 情報が使用できません。(Unknown NDEI format - RRSF information is unavailable.)

説明

RRSF 定義が読み取られませんでした。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR1566 DIRLIST パラメーター・エラー。(DIRLIST parameter error.)ZERRMSG=error_message (ZERRMSG=error_message)

説明

このメッセージは、DIRLIST サービスの呼び出し中に内部エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1567 アクセス I/O が停止しました (ACCESS I/O stalled)

説明

TYPE=ACCESS I/O スケジューラーが間違っています。このエラーの後、ユーザー異常終了 1567 が続きます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1587 CKAOUNIX.CKAFAID: 監査 ID fileauditid に対して無効なトークンを使用して後続の呼び出しが行われました。システム system 複合システム complex 索引 index (CKAOUNIX.CKAFAID: Follow-on call with invalid token for auditid fileauditid system system complex complex index index)

説明

UNIX ファイル監査 ID を使用してパス名の判別が行われたときに予期しない状態が発生し、解決に失敗しました。解決は、SMF レポート内のパス名の品質を向上させるなどの目的で行われます。system 名と complex 名によって CKFREEZE が識別されます。このメッセージは抑制することができます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1593 フィールド name source での hex から format への認識されない SLFN 操作 (description) (Unrecognized SLFN operation hex to format (description) on field name source)

説明:

フィールド操作演算の構文チェッカーで、不明なタイプの DEFINE ... CONVERT 操作が検出されました。ネストされた操作の構文検査が停止し、操作演算は許可されます。このメッセージが抑止されない限り、解析中に戻りコード 24 が出されると CARLa 照会の実行が停止されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1594 フィールド *name source* での認識されない SLFN 操作 *hex (description)* (Unrecognized SLFN operation *hex (description)* on field *name source*)

説明:

フィールド操作演算の構文チェッカーで、不明なタイプのフィールド操作演算が検出されました。ネストされた操作の構文検査が停止し、操作演算は許可されます。このメッセージが抑止されない限り、解析中に戻りコード 24 が出されると CARLa 照会の実行が停止されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1596 CKRINLT: 無効な CALLTYPE *type* で呼び出されました (CKRINLT: Called with invalid CALLTYPE *type*)

説明

newlist タイプ入力パーサーが間違っています。TYPE=指定が認識されません。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1597 *procedure* パラメーター *eyecatcher* は *name* ではありません (*procedure parm eyecatcher not name*)

説明

procedure の呼び出しパラメーターの検証に失敗しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1598 *ddname* の行 *number* で *fieldname* のフォーマットは未解決です (Format unresolved for *fieldname* at *ddname* line *number*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1599 CKROUNIT 内部エラー: OUTFDEFV なしの OUTFSLCT (CKROUNIT internal error: OUTFSLCT without OUTFDEFV)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR メッセージ 1600 から 1699

CKR1600 *message*

説明

このメッセージは、デバッグ・オプションに応答して発行されます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR1601 *jobtag* は、*ddname* 行 *recno* で [derived|later] CICS 辞書 [<system> <date time>] を使用します (*jobtag* uses [derived|later] CICS dictionary [<system> <date time>] at *ddname* line *recno*)

説明

この通知メッセージは、*jobtag* のすべての CICS パフォーマンス・レコードによって使用される CICS パフォーマンス・レコード辞書を含むレコードを示します。**later** フラグ値は、このレコードが、CICS パフォーマンス・レコード自体よりも後に書き込まれたことを意味します。**derived** フラグ値は、SMF には *jobtag* について突き合わせる CICS 辞書が含まれていないことを意味します。この場合、辞書はパフォーマンス・レコードから派生します。派生した辞書の場合、メッセージはシステム日付、時刻、およびレコード番号を示しません。

重大度

00

CKR1602..169 *message*

7

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの](#)

[『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR1698 経過/CPU *x.xxxxxx/y.yyyyyy* の合計 *e.eeeeeee/c.cccccc* メッセージ *mmmmmm* (Elapsed/CPU *x.xxxxxx/y.yyyyyy* total *e.eeeeeee/c.cccccc* msg *mmmmmm*)

説明

このメッセージは、DEBUG PERFORM 要求への応答として書き込まれ、前の CKR1698 (最初のメッセージの場合はプログラムの開始) 以降の経過時間と CPU 時間、およびそれに続いてプログラムの開始以降の経過時間と CPU 時間の合計が記録されます。時間は、6 桁の秒数によりマイクロ秒の精度で表示されます。メッセージの最後には、ISPF 状況メッセージ番号が記録されます。そのプログラムが ISPF アプリケーションとして実行されていた場合は、SUPPRESS MSGTIMER をアクティブにしたときに画面に表示されるような、ISPF メッセージの実際の内容を示す継続行が示されます。CKR1698 メッセージと継続行は、SUPPRESS MSGTIMER 設定とは関係なく書き込まれます。ISPF アプリケーションの場合、経過時間には、ユーザーがコマンドが発行するまでのプログラムの待ち時間もすべて含まれます。

重大度

00

CKR1699 *message*

説明

このメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。このメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR メッセージ 1700 から 1799

CKR1700 **C2ARULE:** レコード *record* が破損しました: 再構成テーブルのオフセットアウト (**C2ARULE: record record corrupted: offset out of Reconstruction Table**)

説明

示されたアクセス・ルール・レコードに予期しないレイアウトがあります。破損している可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1701 **C2ARULE:** レコード *record* が破損しました: 辞書のオフセットアウト (**C2ARULE: record record corrupted: offset out of Dictionary**)

説明

示されたアクセス・ルール・レコードに予期しないレイアウトがあります。破損している可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1702 **C2ARULE:** レコード *record* が破損しました: データ領域のオフセットアウト (**C2ARULE: record record corrupted: offset out of Data area**)

説明

示されたアクセス・ルール・レコードに予期しないレイアウトがあります。破損している可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1703 **CKRPUTV.CKRPTCLS:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname*、**TLST recordaddr** でステージング領域にある繰り返しグループ項目が多すぎます (**CKRPUTV.CKRPTCLS: Too many repeat group entries in staging area for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明

繰り返しグループ *field* を閉じようとするときに、予想外に多数の繰り返しグループ項目が検出されました。これは、早い段階の処理で防止すべきでした (CKR1051 を参照)。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。示された *record* のフィールドは空として表示されます。

重大度

24

CKR1704 **CKRPRMSG.CKRM301:** メッセージ *msgid* に、**DATASET profile volume** では予期されないタイプ *eyecatcher* の **WHEN** 節があります (**CKRPRMSG.CKRM301: Message msgid has unexpected WHEN clause of type eyecatcher for DATASET profile volume**)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーの場合、特に重要な情報は、*msgid* と、示された *profile* に実際に含まれている **WHEN** 節です。*msgid* の最初の 4 文字は、部分的に失敗している関数を示します (例えば、VERIFY PERMIT の「VPRM」)。

重大度

24

CKR1705 **CKRPRMSG:** メッセージ *msgid* に、**class profile** では予期されない *eyecatcher* タイプの **WHEN** 節があります (**CKRPRMSG: Message**

msgid has unexpected WHEN clause of type eyecatcher for class profile)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーの場合、特に重要な情報は、*msgid* と、示された *profile* に実際に含まれている WHEN 節です。*msgid* の最初の 4 文字は、部分的に失敗している関数を示します (例えば、VERIFY PERMIT の「VPRM」)。

重大度

24

CKR1706 **CKRPRMSG.CKRWPGM: PROGRAM profile のメッセージ msgid に eyecatcher - hexvalue タイプの予期されない WHEN 節があります (CKRPRMSG.CKRWPGM: Message msgid for PROGRAM profile with unexpected WHEN clause of type eyecatcher - hexvalue)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーの場合、特に重要な情報は、*msgid* と、示された PROGRAM *profile* に実際に含まれている WHEN 節です。*msgid* の最初の 4 文字は、部分的に失敗している関数を示します (例えば、VERIFY PERMIT の「VPRM」)。

重大度

24

CKR1707 **CKRDDC: 未定義の呼び出しタイプ hexvalue (CKRDDC: Undefined calltype hexvalue)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1708 **CKRDDC: TSEG で未定義の GENERAL SEGMENT segment (CKRDDC: GENERAL SEGMENT segment not defined in TSEG)**

説明

示されたセグメントが定義されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1709 **CKATUID: TUID ツリーで見つからない RACFid UGID ugid です (CKATUID: RACFid UGID ugid not found in TUID tree)**

説明

UNIX UID から RACF ユーザー ID への、または UNIX GID から RACF グループへのルックアップ・ツリーの作成中に問題が発生しました。このメッセージの後に、ユーザー異常終了 1709 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1710 **CKRCFV: system complex でのディレクトリー・レベルのエラー: directoryname にあるデバイス dev の currdepth から newdepth (CKRCFV: Directory level error in system complex: from currdepth to newdepth for device dev at directoryname)**

説明

CKFREEZE レコードが検出されました。これは、処理中のファイル・システム・ダンプでは不可能なディレクトリー切り替えを示します。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に

記載されている手順に従って問題を報告してください。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*directoryname* は切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1711 **CKRCFV: *directoryname* にあるデバイス *dev* の *system complex* でのディレクトリー・ツリー・バックアップ問題 (あと *number* レベル)**
(CKRCFV: Directory tree backup problem (*number levels to go*) in *system complex* for device *dev* at *directoryname*)

説明

ファイル・システム・ダンプでのディレクトリー切り替え時に問題が発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*directoryname* は切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度

24

CKR1712 **CKRCFV: *directoryname* にあるデバイス *dev* の *system complex* での親ディレクトリー配置問題 (CKRCFV: Parent directory locate problem in *system complex* for device *dev* at *directoryname*)**

説明

ファイル・システム・ダンプでのディレクトリー切り替え時に問題が発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*directoryname* は切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度

24

CKR1713 **CKRCFV: *directoryname* にあるデバイス *dev* の *system complex* でのディレクトリー項目配置問題 (CKRCFV: Directory entry locate problem in *system complex* for device *dev* at *directoryname*)**

説明

ファイル・システム・ダンプでのディレクトリー切り替え時に問題が発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*directoryname* は切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1714 **CKRCFV: *filename* にあるデバイス *dev* の *system complex* レコード *recno* でディレクトリー項目レコードが切り捨てられました (CKRCFV: Directory entry record truncated in *system complex* record *recno* for device *dev* at *filename*)**

説明

UNIX ディレクトリー項目の切り捨てられた CKFREEZE レコードが検出されました。レコードはスキップされます。

system complex は CKFREEZE を示します。*recno* は、スキップされるファイルのレコード番号です。

dev は、ファイル・システムのデバイス番号です。*filename* はスキップされるファイルの (おそらく切り捨てられる) 最後の修飾子です。

重大度

16

CKR1715 **CKRCFV: *pathname* の *system complex* にある空の相対名 (CKRCFV: Empty relative name in *system complex* at *pathname*)**

説明

UNIX ディレクトリー項目の CKFREEZE レコードで空の相対名が指定されていることが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。system 名と complex 名によって CKFREEZE が識別されます。pathname は、このレコードの絶対パス名です。

重大度

20

CKR1716 **CKRCFV.CKRTDIRC:system complex: mountpoint で「.」なしの HFS ルート・ディレクトリー (CKRCFV.CKRTDIRC: HFS root directory without '!' for system complex: mountpoint)**

説明

処理中のファイル・システム・ダンプのルート・ディレクトリーを閉じるときに、「.」項目が処理されていないことが認められました (ルート・ディレクトリー自体の特性を記述)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ルート・ディレクトリーとファイル・システムの残りの部分が破棄されます。system 名と complex 名によって CKFREEZE が識別されます。mountpoint はファイル・システムのマウント・ポイントの絶対パス名です。

重大度

20

CKR1717 **CKRCFV: 現行ディレクトリー system complex のないリンク・レコード: symlinkname (CKRCFV: Link record but no current directory system complex: symlinkname)**

説明

symlink の CKFREEZE レコードが見つかりましたが、このシステムでディレクトリーは処理されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。system 名と complex 名によって CKFREEZE が

識別されます。symlinkname は、symlink の最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1718 **CKRCFV: ディレクトリー system complex のディレクトリー項目が多すぎます: pathname (CKRCFV: Too many directory entries in directory system complex: pathname)**

説明

指定されたディレクトリーには、サポートされる許容ディレクトリー配列サイズより多くのディレクトリー項目があるように見えます (現在、100 万個以上)。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。system 名と complex 名によって CKFREEZE が識別されます。pathname は、問題ディレクトリーの絶対パス名です。

重大度

20

CKR1719 **CKRCFV: symlinkname の system complex でのリンク配置問題です (CKRCFV: Link locate problem in system complex for symlinkname)**

説明

symlink の CKFREEZE レコードが見つかりましたが、指定された symlinkname はこのシステムで現在処理中のディレクトリーにあるディレクトリー項目ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。system 名と complex 名によって CKFREEZE が識別されます。symlinkname は、symlink の最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1720 **CKRCFV: linktarget の system complex にリンクがないリンク・コンテンツ (CKRCFV: Link contents but no link in system complex for linktarget)**

説明

symlink コンテンツを含む CKFREEZE レコードが見つかりましたが、関係する symlink のレコードがありません (または、そのレコードが破棄されました。CKR1717 および CKR1719 を参照してください)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*linktarget* は、symlink が評価するパス名です。

重大度

20

CKR1721 **CKRCFV: *pathname* の *system complex* にディレクトリー項目の属性がありません (CKRCFV: Directory entry attributes missing in system complex for *pathname*)**

説明

symlink コンテンツを含む CKFREEZE レコードが見つかりましたが、それに関連付けられたディレクトリー項目が不完全です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、symlink の絶対パス名です。

重大度

20

CKR1722 **CKRCFV: *system complex* で HFS が選択されていないディレクトリー項目: *filename* (CKRCFV: Directory entry but no HFS selected in system complex: *filename*)**

説明

UNIX ディレクトリー項目の CKFREEZE レコードが検出されましたが、そのシステムではファイル・システム・ダンプが何も開始されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。そのレコードはスキップされ、次の明示的なファイル・システム・ダンプが開始されるより前に、ファイル・システム・ダンプの内部に属する後続の CKFREEZE レコードもすべてスキップされます。

system 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*filename* は、スキップされるファイルの最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1723 **CKRCFV: デバイス *dev* の *system complex* でディレクトリーが選択されていないディレクトリー項目: *filename* (CKRCFV: Directory entry but no directory selected in system complex for device *dev*: *filename*)**

説明

UNIX ディレクトリー項目の CKFREEZE レコードが検出されましたが、ディレクトリーが選択されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*filename* はスキップされるファイルの最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1724 **CKRCFV.CKRTDIRC: *system complex* で HFS が選択されていないディレクトリー・クローズ - レコード *number* で認められました (CKRCFV.CKRTDIRC: Directory close but no HFS selected for system complex - noticed at record number)**

説明

現在の UNIX ディレクトリー処理の終了時に、ディレクトリーを追加するファイル・システムの指定が欠落していると見なされました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システムの残りがある場合、それらはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*number* は、現在処理されている CKFREEZE にあるレコード番号です (または、ファイルの終わりの状態を示す可能性もあります)。

重大度

24

CKR1725 **CKRCFV.CKRTDIRC: system complex の HFS がありません: mountpoint (CKRCFV.CKRTDIRC: Missing HFS for system complex: mountpoint)**

説明

現在の UNIX ディレクトリー処理の終了時に、ディレクトリーを追加するファイル・システムが欠落していると見なされました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システムの残りの部分はスキップされます。system 名と complex 名によって CKFREEZE が識別されます。mountpoint は、それより下では情報が欠落する、ファイル・システムのマウント・ポイントを特定します。

重大度

24

CKR1726 **CKRCFV: system complex で、開始時に閉じられない前のディレクトリー: pathname(CKRCFV: Previous directory not closed on open in system complex: pathname)**

説明

新規 UNIX ディレクトリーの構成を開始するとき、前のディレクトリーが閉じられていないように見なされました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。前のディレクトリーは、この予期せぬ状態からの復旧をしようとして、処理を続行する前に閉じられます。system 名と complex 名によって CKFREEZE が識別されます。pathname は、開かれるディレクトリーの絶対パス名です。

重大度

24

CKR1727 プロファイル key に不正な FLTRNAME 値があります: fieldvalue (Illegal FLTRNAME value in profile key : fieldvalue)

説明

このメッセージは、示されたプロファイルの FLTRNAME フィールドに、発行者と件名の識別名を区別するために使用される文字 (16 進数の 4A) が含まれ

ていなかったことを示します。これは、RACF データベースが破損した結果と考えられます。

重大度

20

CKR1728 **CKRFTRDN: 不正な呼び出しタイプ type (CKRFTRDN: Illegal call type type)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1730 **DD dd RecNo number タイプ type で不正に拡張された再配置セクション・タイプ smftype (Illegal extended relocate section type smftype in DD dd RecNo number type type)**

説明

DD および、レコード番号によって示される SMF レコード (レコード・タイプ smftype) で、不正なデータ・タイプが検出されました。この拡張された再配置セクションはスキップされます。このレコードに関するすべてのレポートは、不完全である可能性があります。このメッセージは、通常、示されたレコードでの破損の結果によるものです。

重大度

20

CKR1731 **CKRPUTV.CKRPTSRT: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname のソート・ルーチンがありません (CKRPUTV.CKRPTSRT: Missing sort routine for fieldaddr fieldname defined at ddname line number)**

説明

示される繰り返しグループ・フィールドは特別なフォーマットに設定されており、特別なソート・ルーチンが必要ですが、指定されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』

に記載されている手順に従って問題を報告してください。繰り返しグループはソートされません。

重大度

24

CKR1732 *module: ddname* の行 *number* で定義された無効な列 *fieldaddr fieldname* を指定して呼び出されました (*module: Called with invalid column fieldaddr fieldname defined at ddname line number*)

説明

ACL または CONNECTS 展開ルーチンで、渡された列のフォーマットが正しくないことが認められました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1733 **CKRXPLD: ddname** の行 *number* で *fieldaddr fieldname* 列のストレージ不足が定義されました (**CKRXPLD: Storage leak for column fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明

ACL 展開ルーチンで、渡された列が、そこに格納されている展開された ACL を解放しないことが認められました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1734 **CKRPUTV.CKRDELST: ddname** の行 *number* で定義された *type* フィールド *fieldaddr fieldname* は別々に削除できません (**CKRPUTV.CKRDELST: Cannot separately delete type field fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明

何も格納されていない列のフィールドを削除するために、レコード削除ルーチンが呼び出されました。 *type* が **linked** の場合、その列は別の列の別名です。 *type* が **internal** の場合、その列は補助列です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1735 *routine: ddname* の行 *number* で定義された *type* フィールド *fieldaddr fieldname* が呼び出されました (*routine: Called for type field fieldaddr fieldname defined at ddname line number*)

説明

サポートされていない列タイプの *routine* が呼び出されました。 *type* が **linked** の場合、その列は別の列の別名です。 *type* が **hidden** または **internal** の場合は、何も出力されないことになっています。 *routine* は、**CKRPUTV.CKRIRPT** (繰り返しグループのオープン) または **CKRPUTV.CKRPTCLS** (繰り返しグループのクローズ) になります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1736 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname** の行 *number* で *type* フィールド *fieldaddr fieldname* のフラッシュが定義されました (**CKRPRTFL.CKRGETV: Flush for type field fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明

キャッシュがない列のキャッシュをフラッシュするために値の取得ルーチンが呼び出されました。 *type* が **linked** の場合、その列は別の列の別名です。 *type* が **internal** の場合、その列は補助列です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1737 *procedure: class objectname* として
予期されないプロファイル・タイプ
*type (procedure: Unexpected
profile type type for class
objectname)*

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。このデータ・セットの TYPE=DSN に PROFILE フィールドがありません。

重大度

24

CKR1738 **CKAOU DSN: TNVR address volume
dsname の TVOL がありません
(CKAOU DSN: Missing TVOL for
TNVR address volume dsname)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。このデータ・セットの TYPE=DSN 内の次のフィールドは、誤って false またはブランクになっているか、欠落している可能性があります: IS_MOUNTED, IS_MIGRATED, IN_VTOC, IN_VVDS, REAL_DSNAME, REAL_VOLUME, UNITTYPE, BOX_SERIAL.

重大度

24

CKR1739 **CKAOUNIX: 親がディレクトリーでは
ありません - filetype system
TMNTaddr TDIRaddr DIREaddr
filename ; dev directory
(CKAOUNIX: Parent is not a
directory - filetype system
TMNTaddr TDIRaddr DIREaddr
filename ; dev directory)**

説明

「..」(親) 指定に続く UNIX パス名解決で、解決後の場所がディレクトリーではありませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

トへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1740 システム *system* の *callid* で THFS
なしの TMNT: *mountpoint
TMNTaddr. hexvalue* (TMNT
without THFS at *callid* for system
*system : mountpoint
TMNTaddr. hexvalue*)

説明

関連付けられたファイル・システムがないマウント・ポイントが検出されました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1741 **CKRCFV: system complex で HFS が
選択されていないディレクトリー切
り替え: directory (CKRCFV:
Directory switch but no HFS
selected in system complex:
directory)**

説明

UNIX ディレクトリー切り替えの CKFREEZE レコードが検出されましたが、*system* ではファイル・システム・ダンプが何も開始されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。そのレコードはスキップされ、次の明示的なファイル・システム・ダンプが開始されるより前に、ファイル・システム・ダンプの内部に属する後続の CKFREEZE レコードもすべてスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*directory* は、切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1742 システム *system* の *callid* で SDIR
配列が欠落しています: *TMNTaddr
TDIRaddr; mountpoint* (Missing

SDIR array at callid for system system: TMNTaddr TDIRaddr; mountpoint .)

説明

最上位レベルのサブディレクトリー検索構造を持たないファイル・システムが検出されました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1743 システム *system* の *callid* で内部ルートが欠落しています: *TMNTaddr; mountpoint (Missing inner root at callid for system system: TMNTaddr; mountpoint)*

説明

ルート・ディレクトリーなしのファイル・システムが検出されました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1744 システム *system* の *callid* で TATT が欠落しています: *TMNTaddr TDIRaddr DIREaddr filename ; dev directory (Missing TATT at callid for system system: TMNTaddr TDIRaddr DIREaddr filename ; dev directory)*

説明

属性のない UNIX ファイルが検出されました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1745 **ADDTHOM:** システム *system* のマウント・ポイント *mountpoint* で

INODE インデックスが欠落しています (**ADDTHOM:** Missing INODE index for system *system* mount point *mountpoint*)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。TYPE=UNIX newlist において、HOME_OF フィールドと AUDITCONCERN が不完全で、示されたファイル・システムのファイルにおいて AUDITPRIORITY の値が低すぎる可能性があります。

重大度

24

CKR1746 **ADDTHOM:** システム *system* のマウント・ポイント *mountpoint* で **INODE** インデックス項目 *inode* が欠落しています (**ADDTHOM:** Missing **INODE** index entry *inode* for system *system* mount point *mountpoint*)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。TYPE=UNIX newlist において、HOME_OF フィールドと AUDITCONCERN が不完全で、報告された *inode* を含む示されたファイル・システムのファイルに対して AUDITPRIORITY の値が低すぎる可能性があります。

重大度

24

CKR1747 *DIREaddr2 relativepathname* を処理する間、システム *system* の *DIREaddr1* からの *callid* で、HFS アップ・リンクが欠落していました (**Missing HFS up link at callid from *DIREaddr1* on system *system* while processing *DIREaddr2 relativepathname***)

説明

ルート・ディレクトリー項目 *DIRE1* をそのファイル・システムに関連させることができませんでした。これにより、*DIRE2* でのパス評価に失敗する可能性があります。さらに ATTR、AUDITCONCERN、および AUDITPRIORITY フィールドの出力が正しくなくなる

可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1748 *DIREaddr2 relativepathname* を処理する間、システム *system* の *volume FSname* からの *callid* でアップ・リンクが欠落していました (**Missing up link at callid from volume FSname on system system while processing DIREaddr2 relativepathname**)

説明

示されたファイル・システムは、予期されるとおりにこのシステムのいずれかのディレクトリーにマウントされたようには見なされませんでした。これにより、DIRE2 でのパス評価に失敗する可能性があり、さらに ATTR、AUDITCONCERN、および AUDITPRIORITY フィールドの出力が正しくなくなる可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1749 *program* の孤立インスタンス: *volser datasetname*、複合システム *complex [version]* (**Orphan instance in program : volser datasetname complex complex [version]**)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1750 **CKRCFV: system complex** のマウント・ポイントが選択されていないマウント情報 - レコード *number* で認められました (**CKRCFV: Mount info but no mount point selected for**

system complex - noticed at record number)

説明

先行するマウント・ポイントに関連させることのできない、マウント・ポイント情報を含む CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*number* は、CKFREEZE が現在処理されているレコード番号です。

重大度

20

CKR1751 **CKRCFV: filename** に *system complex* デバイス *dev* の現行ディレクトリーがない **UNIX ACL** レコード (**CKRCFV: UNIX ACL record but no current directory for system complex device dev at filename**)

説明

UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、処理中のディレクトリーはありませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*filename* は ACL が属するファイルの最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1752 **CKRCFV: filename** にあるデバイス *dev* の *system complex* における **UNIX ACL** 配置問題 (**CKRCFV: UNIX ACL locate problem in system complex for device dev at filename**)

説明

処理中のディレクトリーに属さない、UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告し

てください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*filename* は ACL が属するファイルの最後の修飾子です。

重大度

20

CKR1753 **CKRCFV: *pathname* の *system complex* にディレクトリー項目の属性がありません (CKRCFV: Directory entry attributes missing in system complex for *pathname*)**

説明

UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが見つかりましたが、それに関連付けられたディレクトリー項目が不完全です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度

20

CKR1754 **CKRCFV: *filename* でのデバイス *dev* の *system complex* で UNIX ACL レコード項目名が切り捨てられました (CKRCFV: UNIX ACL record entry name truncated for system complex for device *dev* at *filename*)**

説明

UNIX ACL を含む切り捨て CKFREEZE レコードが検出されました。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*filename* は ACL が属するファイルの最後の修飾子です。

重大度

16

CKR1755 **CKRCFV: *system complex pathname* のマウント・ポイントが選択されていない UNIX ACL レコード (CKRCFV: UNIX ACL record but no mount point selected for system complex *pathname*)**

説明

UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、処理中のファイル・システムはありませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの相対パス名です。

重大度

24

CKR1756 **CKRCFV: UNIX ACL レコードに *system complex pathname* では予期されない見出し *eyecatcher* があります (CKRCFV: UNIX ACL record has unexpected *eyecatcher* *eyecatcher* for system complex *pathname*)**

説明

UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、ACL レコードが認識されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度

20

CKR1757 **CKRCFV: UNIX ACL レコードに *system complex pathname* で予期されないバージョン *version* があります (CKRCFV: UNIX ACL record has unexpected version *version* for system complex *pathname*)**

説明

UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、ACL レコード・バージョンが認識されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が

識別されます。 *pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度

16

CKR1758 **CKRCFV: UNIX ACL レコードに *system complex pathname* の ACL 項目がありません (CKRCFV: UNIX ACL record has no ACL entries for *system complex pathname*)**

説明

UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、ACL レコードが小さすぎていずれの項目も含めることができませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度

20

CKR1759 **CKRCFV: *system complex pathname* で UNIX ACL レコードが切り捨てられました (CKRCFV: UNIX ACL record truncated for *system complex pathname*)**

説明

UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、ACL レコードが小さすぎて、含むと宣言した項目のすべてを含めることができませんでした。レコードに実際に含まれている項目のみが処理されます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度

16

CKR1760 **CKRCFV: *system complex* デバイス *dev* について、UNIX ACL レコードはあるが、現行ディレクトリーがない (CKRCFV: UNIX ACL record but no current directory for *system complex device dev*)**

説明

UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードがマウント・ポイントのルート自体に検出されましたが、対応するディレクトリーを見つけることができませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* は、ファイル・システムのデバイス番号です。

重大度

24

CKR1761 **CKRCFV: *pathname* の *system complex* での重複 UNIX type ACL (CKRCFV: Duplicate UNIX type ACL in *system complex* for *pathname*)**

説明

指定されたタイプの UNIX ACL を含む 2 番目の CKFREEZE レコードが、その同じファイルで見つかりました。タイプは、**access**、**default**、または **fddefault** になります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* はファイルの絶対パス名です。

重大度

20

CKR1762 **内部エラー - データベース I/O が停止しました (Internal error - database I/O stalled)**

説明

未処理の入出力は見つかりませんでしたが、アンロード複合システムでの入出力を待っています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1763 内部エラー - データベース I/O が停止しました (Internal error - database I/O stalled)

説明

未処理の入出力は見つかりませんでした。アンロード以外の複合システムでの入出力を待っています。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1764 内部エラー - データベース I/O が停止しました (Internal error - database I/O stalled)

説明

保留中の入出力で複合システムは見つかりませんでした。次に進みますが、これによって同期問題が発生したり、プロファイルが選択されなかったりする可能性があります。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1765 内部エラー - *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* の OUTS が定義されていません (Internal error - no OUTS for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、FIELD 制限処理に失敗したことを示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1766 内部エラー - *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr1 fieldname1* による *fieldaddr2 fieldname2* の検索の OUTS があり

ません (Internal error - no OUTS for *fieldaddr1 fieldname1* lookup for *fieldaddr2 fieldname2* defined at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、FIELD 制限処理に失敗したことを示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1767 内部エラー - *ddname* の行 *number* で定義された *display1 OUTF fieldaddr fieldname* の OUTS がありません (Internal error- no OUTS for *display1 OUTF fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、FIELD 制限処理に失敗したことを示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1768 内部エラー - *ddname* の行 *number* で定義された *display2 OUTF fieldaddr fieldname* の OUTS がありません (Internal error- no OUTS for *display2 OUTF fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、FIELD 制限処理に失敗したことを示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1769 CKRRDVAL 内部エラー: 矛盾する呼び出し: *parameter area*

**(CKRRDVAL internal error:
inconsistent call: parameter area)**

**combination in program profile
program: volser dsname complex
complex version)**

説明

CKRRDVAL の呼び出しパラメーターの検証に失敗しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1770 **program の孤立 IPLvol: member、複
合システム complex [version]
(Orphan iplvol in program :
member complex complex
[version])**

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1771 **CKRPRLST.DTMOVS2: ddname の
行 number で定義された fieldaddr
fieldname の OUD2 が見つかりませ
んでした (CKRPRLST.DTMOVS2:
No OUD2 found for fieldaddr
fieldname defined at ddname line
number)**

説明

詳細表示のフィールドの変更で使用するバッファ長 (オーバーライド長は 0) を決定するときにエラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1772 **プログラム・プロファイル program:
volser dsname での重複した
vol/dsn の組み合わせ、複合システム
complex version (Duplicate vol/dsn**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM または VERIFY PGMEXIST 処理での内部エラーを示します。セキュリティー・データベース内の不整合を指す場合もあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1773 **program: volser dsname の TVOL が
ありません。複合システム complex
[version] (Missing TVOL for
program: volser dsname complex
complex [version])**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM または VERIFY PGMEXIST 処理での内部エラーを示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1774 **program: volser dsname で無効なイ
ンスタンス、複合システム complex
[version] (Invalid instance in
program: volser dsname complex
complex [version])**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM または VERIFY PGMEXIST 処理での内部エラーを示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1775 *program: volser dsname* で無効な
**\$NOVTOC (Invalid \$NOVTOC in
program: volser dsname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1776 *program: volser dsname* で無効な
**\$ANYMISSINGVTOC (Invalid
\$ANYMISSINGVTOC in program:
volser dsname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1777 *program: volser dsname* で無効な
**\$NOVTOC (Invalid \$NOVTOC in
program: volser dsname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1778 *program: volser dsname* に
\$ANYMISSINGVTOC または
\$ANYMISSINGMIGC がありません
**(Missing \$ANYMISSINGVTOC or
\$ANYMISSINGMIGC in program:
volser dsname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1779 *program: volser dsname* で無効な
**\$NOTMOUNTED (Invalid
\$NOTMOUNTED in program: volser
dsname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1780 *program: volser dsname* で無効な
**\$VTOCUNREADABLE (Invalid in
program:volser dsname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1781 *program: volser dsname* で無効な
**\$NOVTOC (Invalid \$NOVTOC in
program: volser dsname)**

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1782 *program: volser dsname* で無効な \$NOVTOC (Invalid \$NOVTOC in *program: volser dsname*)

説明

このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1783 CKROUNIT 内部エラー - *fieldname ddname* の行 *number* の TLUD なしの OUTF\$SLFN\$LOOKUP (CKROUNIT internal error - OUTF \$SLFN\$LOOKUP without TLUD for *fieldname ddname line number*)

説明

fieldname の処理中にリカバリー不能エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1784 非 SLFN 検索 *fieldname* (Non-SLFN lookup *fieldname*)

説明

fieldname の検索が試みられましたが、必要な構造がありませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1785 **ADDTHOM:** システム *system* のマウント・ポイント *pathname* に、フリー **INODE** インデックス項目 *inode* がありません (**ADDTHOM: No free**

INODE index entry *inode system system mount point pathname*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。TYPE=UNIX newlist において、HOME_OF フィールドと AUDITCONCERN が不完全で、報告された *inode* を含む示されたファイル・システムのファイルに対して AUDITPRIORITY の値が低すぎる可能性があります。

重大度

24

CKR1786 *routine: IHOM hexaddr* デバイス *device* の *inode inode* の THOM がありません (*routine: No THOM for IHOM hexaddr dev device inode inode*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。TYPE=UNIX newlist において、HOME_OF フィールドと AUDITCONCERN が不完全で、報告された *inode* を含む示されたファイル・システムのファイルに対して AUDITPRIORITY の値が低すぎる可能性があります。

重大度

24

CKR1787 **CKRCFV:** ファイル監査 ID がデバイス *dev: filename* の *system complex* にある *inode* と一致しません (**CKRCFV: File audit id mismatches inode in system complex for device dev: filename**)

説明

示されたファイルがあるかどうか検査されたファイルに監査 ID に予期されないレイアウトがあります。ファイル監査 ID からこのファイル・システムのファイルへの検索は実行されません。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*filename* は検査済みファイルの最後に識別された名前、示されたデバイスのルート・ディレクトリーにあります。このメッセージが、サポートされていない z/OS リリースの zFS ファイル・システムに対して発行された場合、このメッセージは、重大度 0 (通知) で発行されます。それ以外の場合、

このメッセージは、重大度 20 (サポートされない条件) で発行されます。その場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20 (または 0)

CKR1788 **CKRCFV: システム *system complex* で固有ではないファイル・システム 監査 ID *auditid* - デバイス *dev* の索引は除去されます (CKRCFV: File system audit id *auditid* not unique on system *system complex* - device *dev* unindexed)**

説明

示されたデバイス (ファイル・システム) の監査 ID が、前に検出された別のデバイスの監査 ID と同じになっています。ファイル監査 ID からこのファイル・システムのファイルへの検索は、失敗するか、他のデバイスを指す誤った結果を出力します。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。

このメッセージは、複数の HFS ファイルまたは ZFS ファイルのファイル・システム 監査 ID が同じであるときに発行される場合があります。z/OS 資料の「**zFS administration guide**」で zFS 監査 ID の概要を参照して、ご使用の z/OS UNIX 環境で固有監査 ID 機能を実装する方法のガイドラインを確認してください。RE.U.R の MOUNT レポートを使用して、デバイスに関する情報を調べることができます。OPTION MSGRC=(1788,rc) を使用して、メッセージの重大度を変更できます。

ユーザーの処置:

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR1789 **CKRCKGF.CKRUSRG: 無効なタグ tag (dec) が呼び出されました (CKRCKGF.CKRUSRG:Called for invalid tag tag (dec))**

説明

USR 副選択ルーチンで解読不能な要求が出されました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセ

ージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1790 **CKRSEL.CKRCOMFV: 無効なタグ tag (dec)が呼び出されました (CKRSEL.CKRCOMFV: Called for invalid tag tag (dec))**

説明

通常の ACL (初期) 副選択ルーチンで、解読不能な要求が出されました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1791 **CKRSEL.CKRC2MFV: 無効なタグ tag (dec)が呼び出されました (CKRSEL.CKRC2MFV: Called for invalid tag tag (dec))**

説明

条件付きの ACL (初期) 副選択ルーチンで、解読不能な要求が出されました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1792 ***routine: ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* にリテラルは格納されていません (*routine: No literal stored for fieldaddr fieldname defined at ddname line number*)**

説明

固定値が入力されるはずのフィールドのキャッシュが空になっています。フィールドは空のまま表示されます。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの](#)

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1793 **CKRPUTV.CKRDELST function: 未完了の再ステージング - 現在は TLST recordaddr (CKRPUTV.CKRDELST function: Unfinished restage - now at TLST recordaddr)**

説明

示された *record* に対して示されたリスト削除 *function* を実行していたときに、先行する再ステージング機能が完了していなかったことが判明しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1794 **CKRPRTFL.CKRGETV function: 未完了の再ステージング - 現在 ddname の行 number で fieldaddr fieldname が定義されました (CKRPRTFL.CKRGETV function: Unfinished restage - now at fieldaddr fieldname defined at ddname line number)**

説明

示された *field* に対して示された値取得 *function* を実行していたときに、先行する再ステージング機能が完了していなかったことが判明しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1795 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname の再ステージングの準備はできていません (CKRPRTFL.CKRGETV: Not ready for restage of fieldaddr fieldname defined at ddname line number)**

説明

現在のプログラム状態では再ステージングが許可されないため、*field* の再ステージング要求は失敗しました。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1796 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr2 fieldname2 をステージングしながら、fieldaddr1 fieldname1 を再ステージングすることはできません (CKRPRTFL.CKRGETV: Cannot restage fieldaddr1 fieldname1 while staging fieldaddr2 fieldname2 defined at ddname line number)**

説明

ステージング領域が *field2* 用に使用されているため、*field1* の再ステージング要求は失敗しました。*field1* は空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1797 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された recordaddr2 をステージングしながら、レコード recordaddr1 の fieldaddr fieldname を再ステージングすることはできません (CKRPRTFL.CKRGETV: Cannot restage fieldaddr fieldname for record recordaddr1 while staging recordaddr2 defined at ddname line number)**

説明

別のレコードで同じフィールドがまだステージングされているため、*field* の再ステージング要求は失敗しました。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポ

ートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1798 CKRPRTFL.CKRGETV: *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* のステージング領域がありません (CKRPRTFL.CKRGETV: No staging area for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明

必要なステージング領域が割り振られていないため、*field* の再ステージング要求は失敗しました。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR メッセージ 1800 から 1899

CKR1800...CKR1899 *message*

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR メッセージ 1900 から 1999

CKR1900 ゼロ以外の RDJFCB 戻りコード *rc* RACFDB 複合システム *complex* (Nonzero RDJFCB return code *rc* RACFDB complex *complex*)

説明

RDJFCB SVC が、CKRACF*nn* ファイルの 1 つについてゼロ以外の戻りコード *rc* を返しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守

CKR1799

CKRPRTFL.CKRGETV: *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* のステージング領域が小さすぎます (CKRPRTFL.CKRGETV: Staging area too small for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明

必要とされているステージング領域が小さすぎるため、*field* の再ステージング要求は失敗しました。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR1901 CKREPNDF: *complex version* の、TRID でない PERM\$OWN PERMXREF (CKREPNDF: PERM

\$OWN PERMXREF not TRID on complex version)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1902 **CKREPNDF: complex version の、NONDEFAULT である無効な PERMXREF (CKREPNDF: PERMXREF invalid with NONDEFAULT on complex version)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1903 **CKROUGRP: OUTFGROUP である無効な PERMXREF、complex version (CKROUGRP: PERMXREF invalid with OUTFGROUP on complex version)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1904 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname、TLST recordaddr の値ポインターが NIL です (CKRPRTFL.CKRGETV: Value pointer is NIL for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1905 **CKROURPT: PERMXREF は PERM を指します (CKROURPT: PERMXREF points to PERM)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1906 **nil CKRELEM を指定して呼び出された CKRSPERM (CKRSPERM called with nil CKRELEM)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1907 **CKRSTNVD: 2 次ボリュームの空の CKRELEM (CKRSTNVD: Secondary volume empty CKRELEM)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1908 **CKRSTPDA 2 次ボリュームで空の CKRELEM が見つかりました (CKRSTPDA Secondary volume finds empty CKRELEM)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1909 ***routine: ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* で WHERE 節が不適切に扱われています (*routine: WHERE clause improperly treated for fieldaddr fieldname defined at ddname line number*)**

説明:

示されたフィールドは、WHERE 節が含まれている「後で処理される」フィールドです。この節の真の結果は適正に処理されませんでした。結果として生成される変数インスタンスはおそらく空です。*routine* は、エラー状態が認識された時点に応じて、**CKRPUTV** または **CKRPUTV.CKROUCLS** のいずれかになります。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1910 **CKRVPRM.CHKSTPR: VERIFY STC がアクティブである STARTED profile (ID *id* に対するタイプ *type* の呼び出し) (CKRVPRM.CHKSTPR: STARTED profile but VERIFY STC active; type *type* call for *id id*)**

説明

VERIFY STC もアクティブであるため、報告された STARTED profile に対して STARTED プロファイルの VERIFY PERMIT 処理を呼び出すべきでなかったことが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、

866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1911 **PERM なしの未定義 ID *identity* (Undefined ID *identity* without PERM)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1912 **XREF なしの未定義 ID *identity* PERM (Undefined ID *identity* PERM w/o XREF)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1913 **CKRVPRM: *type* の PERMXREF 処理がありません (CKRVPRM: No PERMXREF handling for *type*)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1914 ***volser datasetname* の不明なエラー・メッセージ *type* (Unknown error message *type* for *volser datasetname*)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1915 TRID TRCO *user/group* からグループが欠落しています (TRID missing group from TRCO *user/group*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1916 CKRFSTC: プロファイル *profile* のメンバー *procedure* で *user* のデフォルト・グループが見つかりません (CKRFSTC: no default group found for *user* at member *procedure* under profile *profile*)

説明

有効な STUSER ユーザーが指定されており、STGROUP が指定されていない STARTED *profile* に対して、タスク *procedure* の処理中にデフォルト・グループが見つからない場合に、この内部エラーが発行されます。VERIFY STC はこれ以降この状態を無視し、REPORT STC は使用されている未定義ユーザーを報告します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1917 サポートされていない被比較数タイプ *bbbb* (Unsupported comparand type *bbbb*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1918 *ddname* 読み取りブロック *nnn* での早期のファイル終了。計算された最後のブロックは *mmm* (Premature end-of-file on *ddname* reading blk *nnn* computed last block is *mmm*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR1919 内部エラー: *profile* で TGDAQUAL=0 (Internal error: TGDAQUAL=0 for *profile*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1920 CKRFLD *field* 検索中の内部エラー (CKRFLD internal error searching *field*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1921 CKRCFV: システム *system* の複合システム *complex* の UNIX デバイス *dev* でマウント・レコードが切り捨て

られました (CKRCFV: Mount record truncated for UNIX device dev in system system complex complex)

説明

CKFREEZE マウント・レコードで、レコードに収まらない長さのマウント・ポイント・パスが指定されていることが検出されました。そのマウント・ポイント・パスは切り捨てられますが、処理は継続されます。

重大度

16

CKR1922 CKRSTELM の呼び出しが無効です (CKRSTELM called invalidly)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1923 CKRSPERM1 非サポート - field (CKRSPERM1 unsupported - field)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1924 CKRSPERM2 非サポート - field (CKRSPERM2 unsupported - field)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1925 GET\$PMB: volser - datasetname で無効なプログラム program が参照されました (GET\$PMB: invalid program program referred for volser - datasetname)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1926 無効な CKRELEM type が指定された CKRSTPMB、複合システム complex version (CKRSTPMB with invalid CKRELEM type complex complex version)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1927 TNVD や TGDA ではなく、xxxx - dsname vol である TPMB の TNVR、システム sys、複合システム complex version (TNVR for TPMB not TNVD or TGDA but xxxx - dsname vol system sys complex complex version)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1928 TNVD や TGDA ではなく、xxxx - dsname vol である TNVR、システム sys、複合システム complex version (TNVR not TNVD or TGDA but xxxx

- *dsname vol system sys complex complex version*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1929 **CKRXINIT.CKRDIDID: TSEG で GENERAL BASE が定義されていません (CKRXINIT.CKRDIDID: GENERAL BASE not defined in TSEG)**

説明

一般リソース・プロファイルの基本セグメントがこの RACF データベースで未定義のようです。索引付きデータベース読み取り処理では、RACMAP_REGISTRY フィールドに対する出力が完全であることは保証できません。SUPPRESS INDEX を指定して実行することにより、より完全な結果を出力できる可能性があります。

重大度

20

CKR1930 **CKROURPT key で PERMWHEN が欠落しています (CKROURPT missing PERMWHEN on key)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1931 **CKROURPT key で type の PERMWHEN サポートがありません (CKROURPT no PERMWHEN support for type on key)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1932 **CKROURPT PERMWHEN では type1 が予期されていましたが、type2 が見つかりました (CKROURPT PERMWHEN expected type1 found type2)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1933 **内部エラー: mcat は system catvol catname の system でも処理されました (Internal error: mcat processed also on system for system catvol catname)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1934 **system cluster には、接続された ctlg catname がありません (No connected ctlg catname for system cluster)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1935 *system* のクラスター *name* の *ctlg catname* がない **Dircat (Dircat w/o ctlg catname for system cluster name)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1936 TNVR に Sys セクションがありません。スキップしました - *volume dsname* (TNVR has no sys sections, skipped - *volume dsname*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1937 CKROURPT 不明なレポート・タイプ *type* (CKROURPT Unknown report type *type*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1938 *type hexlength #sys=number #cmplx=number* でセクションが欠落しています - 異常終了 1938 を発行します (Section missing for *type hexlength #sys=number #cmplx=number* - issuing abend 1938)

説明

古い CKFREEZE ファイルや不完全な CKFREEZE ファイルを分析しようとしている場合は、このメッセージが操作の妨げになっている可能性があります。そうでない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1939 データセット *volume dsname* の DATASET プロファイルが複数あります (More than one DATASET profile for dataset *volume dsname*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1940 予期されないプロファイル・タイプ *typ1* および *typ2* のテープ・ボリューム、複合システム *complex version* (Tape volumes in unexpected profile type *typ1* and *typ2* complex *complex version*)

説明

予期されないプロファイル・タイプでボリューム通し番号が検出されました (例えば、総称 TAPEVOL プロファイル)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1941 定義済みユーザー *id* のデフォルト・グループがありません。複合システム *complex [version]* (Missing default group for defined user *id* complex *complex [version]*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1942 TNVD/TGDA/NOPR ではなく、*type - volume dsname* である TNVR、複合システム *complex [version]* (TNVR not TNVD/TGDA/NOPR but *type - volume dsname complex complex [version]*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1943 *type* 内部エラー: *string [ddname および RecNo number]* で発生] (*type internal error: string [at ddname and RecNo number]*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1944 CKRVPRM TRID *address name* に対して無効な *id* (CKRVPRM TRID *address invalid id to name*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1945 CKRACTM: CKRGETV が、*ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname*、TLST *recordaddr*、トークン *token* で RC=*rc* を返しました (CKRACTM: CKRGETV returned RC=*rc* for *fieldaddr fieldname*; TLST *recordaddr*; token *token* defined at *ddname line number*)

説明

action-on-modify ルーチンで、示されたフィールドの前の値を取得できませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。変更アクションは失敗します。

重大度

24

CKR1946 *routine* でマージされた TLST は無効です (*routine merged TLST invalid*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1947 CKRPRTFL.CKRGETV: *fieldaddr fieldname* に対する不明なキャッシュ方式 *xx*。 *ddname* の行 *number* で TLST *recordaddr* が定義されました (CKRPRTFL.CKRGETV: Unknown cache method *xx* for *fieldaddr fieldname*; TLST *recordaddr* defined at *ddname line number*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1948 **CKRCFV: system complex から mountpoint への HFS 切り替え時の ディレクトリー項目 (CKRCFV: Directory entry during HFS switch for system complex to mountpoint)**

説明

新規ファイル・システム・ダンプの開始が完了しないうちに、UNIX ディレクトリー項目の CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。

重大度

20

CKR1949 **CKRCFV: system complex FSvolser FSdatasetname の重複 HFS ダンプ (CKRCFV: Duplicate HFS dump for system complex FSvolser FSdatasetname)**

説明

ファイル・システム・ダンプが検出されましたが、すでにそのファイル・システムのダンプは以前に行われています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このファイル・システム・ダンプはスキップされます。

重大度

20

CKR1950 **内部エラー - beadcont address . hexvalue * char-value ***

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1951

CKRPUTV.CKRPTCLS: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname、TLST recordaddr で繰り返しクローズが無効です (CKRPUTV.CKRPTCLS: Invalid repeat close for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。示された record の示された field は保管されません。

重大度

24

CKR1952 **CKRPUTV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname でエレメントの長さが無効です length (CKRPUTV: Invalid element length length for fieldaddr fieldname defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1953 **CKRPATT: パターン field での nil MGEN (CKRPATT: nil MGEN at pattern field)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1954 **CKRPRTFL: ddname の行 number で定義されている fieldaddr fieldname のフォーマット**

**outputformat が不明です
(CKRPRTFL: Unknown format
outputformat for fieldaddr
fieldname defined at ddname line
number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1955 **CKRPUTV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname に対して、不明なストレージ方式 xx が要求されました (CKRPUTV: Unknown storage method xx requested for fieldaddr fieldname defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1956 **CKRPUTV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname に対して、不明な繰り返しグループ・ストレージ方式 xx が要求されました (CKRPUTV: Unknown repeat group storage method xx requested for fieldaddr fieldname defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1957 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname、TLST recordaddr での関数呼び出し number が不明です (CKRPRTFL.CKRGETV: Unknown function call number for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1958 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname、TLST recordaddr、fn code、cachetoken に対して、無効なトークン token が要求されました (CKRPRTFL.CKRGETV: Invalid token token requested for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr; defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1959 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname、TLST recordaddr のリンクが NIL です (CKRPRTFL.CKRGETV: Link is NIL for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1960 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr1 fieldname から fieldaddr2 へのリンク (TLST recordaddr、flg flags) のキャッシュが無効です (CKRPRTFL.CKRGETV: Cache invalid for link from fieldaddr1 fieldname to fieldaddr2; TLST recordaddr; flg flags defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1961 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname1 の行 number1 および ddname2 の行 number2 で定義された fieldname、TLST recordaddr、OUTF fieldaddr1 および fieldaddr2 のストレージ方式 xxyy が不明です (CKRPRTFL.CKRGETV: Unknown storage method xxyy for fieldname; TLST recordaddr; OUTFs fieldaddr1 fieldaddr2 defined at ddname1 line number1 at ddname2 line number2)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1962 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname、TLST recordaddr の繰り返しグループ・アドレスが NIL です (CKRPRTFL.CKRGETV: Repeat group address is NIL for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1963 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname、TLST recordaddr の繰り返しグループ項目の長さが 0 です (CKRPRTFL.CKRGETV: Repeat group entry length 0 for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1964 **CKRPRTFL.CKRGETV: fieldaddr fieldname の a b/c 項目。ddname の行 number で TLST recordaddr が定義されました (CKRPRTFL.CKRGETV: a b/c entries in fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1965 **CKRPRTFL.CKRGETV: yy (zz) を介した fieldaddr fieldname の xx の解凍に失敗しました。ddname の行 number で TLST recordaddr が定義されました (CKRPRTFL.CKRGETV: Decompress of xx for fieldaddr fieldname via yy (zz) failed; TLST**

recordaddr defined at ddname line number)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1966 **ddname volser dsn の RDW (len1) と入力ルーチン (len2) の間で、SMF レコード number の長さに差異があります (SMF record number length discrepancy between RDW (len1) and input routines (len2) in ddname volser dsn)**

説明

SMF 入力ルーチンによって返された長さが、SMF レコードの RDW で示される長さとは異なります。レコードはスキップされます。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1967 **CKRPRTFL.CKRGETV: ddname の行 number で fieldaddr fieldname: descriptor1; TLST recordaddr: descriptor2 のレコード記述子の不一致が定義されました (CKRPRTFL.CKRGETV: Record descriptor mismatch for fieldaddr fieldname: descriptor1; TLST recordaddr: descriptor2 defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1968

CKRPUTV: ddname の行 number で fieldaddr fieldname で想定される expected と異なる長さ actual の項目が定義されました (CKRPUTV: Entry length actual instead of expected for fieldaddr fieldname defined at ddname line number)

説明

示された field は、expected によって示される固定長の値を持つことになっていましたが、長さが actual の項目が検出されました。選択したストレージ方式では、項目を今すぐに保管することはできません。zSecure for RACF を実行している場合は、データベースで発生する問題のトラブルシューティングに関する情報について、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されている『VARLEN 出力修飾子』の資料を参照してください。データベースでエラーが検出されない場合、または別のプラットフォームで zSecure を実行している場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR1969

CKROUNIT: ddname の行 number で fieldname の不明な要約統計 xx (CKROUNIT: Unknown summary statistic xx for fieldname at ddname line number)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1970

routine: 無効なリスト・ヘッダー - TLHD listaddr. hexvalue * charvalue * (routine: Invalid list header - TLHD listaddr. hexvalue * charvalue *)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの](#)

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1971 *routine: 無効なリスト行 - TLST recordaddr. hexvalue * charvalue * (routine: Invalid list line - TLST recordaddr. hexvalue * charvalue *)*

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージの後に、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージが抑止される場合は、処理が続行されます。

重大度

24

CKR1972 **CKRDEXB: ddname volser dsname** のキャッシュ *start-end* にない要求された *rel blk block* (**CKRDEXB: Requested rel blk block not in cache start-end for ddname volser dsname**)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、SUPPRESS INDEX または BDAMQSAM を指定することによって回避できる可能性があります。

重大度

24

CKR1973 **CKRSTPL.CKRCLST: MERGELIST** に関して 1 次 TLHD を入力する必要があります (**CKRSTPL.CKRCLST: For a MERGELIST the primary TLHD must be supplied**)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

て問題を報告してください。このエラーが発生すると、出力レコードが正しくないソート順で表示されます。

重大度

24

CKR1974 **CKRPUTV: ddname** の行 *number* で *fieldaddr1 fieldname1* への後でのコールで *fieldaddr2 fieldname2* へ繰り返しグループのオープンが定義されました (**CKRPUTV: Late call for fieldaddr1 fieldname1 but repeat group open for fieldaddr2 fieldname2 defined at ddname line number**)

説明

明らかに、2 つの繰り返しグループが同時に構成されています。これはサポートされておらず、*field1* への「ネストされた」呼び出しは無視されます。すなわち、値は破棄されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1975 **CKRXINIT: キー/マスク/クラスがありません。** (**CKRXINIT: no key/mask/class**)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、SUPPRESS INDEX または BDAMQSAM を指定することによって回避できる可能性があります。

重大度

24

CKR1976 **CKRXINIT: キーの長さが 0 です** (**CKRXINIT: key has length 0**)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、SUPPRESS

INDEX または BDAMQSAM を指定することによって回避できる可能性があります。

重大度

24

CKR1977 **CKRDIXB: キャッシュ内に見つかりません (CKRDIXB: in cache not found)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、SUPPRESS INDEX または BDAMQSAM を指定することによって回避できる可能性があります。

重大度

24

CKR1978 **作動可能な RFDS の状態が state でず (Ready RFDS but state is state)**

説明

CPU ループを防止するために、ユーザー異常終了 1978 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1979 **CKRLKPP: ddname の行 number で fieldaddr fieldname への指定されていない種類の繰り返しグループの制限が定義されました (CKRLKPP: Unspecified kind of repeat group restriction for fieldaddr fieldnamedefined at ddname line number)**

説明

示されたフィールドの処理中にエラーが発生しました。このフィールドは出力されません。このメッセージは抑制することができます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1980 **CKRLKPP: type の ddname の行 number で fieldaddr fieldname への解釈不能なリクエスト xx が定義されました (CKRLKPP: Unintelligible request xxfor fieldaddr fieldname defined at ddname line number in type)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1981 **CKRPATT: MTAB に未定義の総称タイプの追加が必要です (CKRPATT: undefined generic type to be added to MTAB)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1982 **C2ARULE: 最初の項目で逆方向参照が見つかりました (C2ARULE: backward reference found at first entry)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1983 **CKRPUTV: ddname の行 number で、後で処理されるフィールド fieldaddr fieldname への先行したコ**

ールが定義されました (CKRPUTV: Early call for late field *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明

示された *field* は後のステージングで構成されると想定されます。この呼び出しは無視されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1984 *routine: 無効な列 - OUTF fieldaddr. hexvalue * charvalue * (routine: Invalid column - OUTF fieldaddr. hexvalue * charvalue *)*

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージの後に、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージが抑止される場合は、処理が続行されます。

重大度

24

CKR1985 *CKRPUTV: ddname の行 number で fieldaddr1 fieldname1 への後でのオープンで fieldaddr2 fieldname2 への繰り返しグループのオープンが定義されました (CKRPUTV.CKRIRPT: Late open for fieldaddr1 fieldname1 but repeat group open for fieldaddr2 fieldname2 defined at ddname line number)*

説明

繰り返しグループの作成と遅い列の構成のために使用された領域は *field1* に関して明示的にオープンされますが、最初に *field2* に関してクローズされるべきでした。*field2* へのクローズ処理が、この状態からのリカバリーを試みるため、要求されたオープン処理の前にここで実行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、

866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1986 *CKRPUTV.CKRPTSRT: ddname の行 number で fieldaddr fieldname への予期されないエレメント・サイズ size が定義されました (CKRPUTV.CKRPTSRT: Unexpected element size size for fieldaddr fieldname defined at ddname line number)*

説明

繰り返しグループ *field* に何らかの不具合があります。現在の繰り返しグループはソートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1987 *CKRPUTV: ddname の行 number で複数値の繰り返しなしフィールド fieldaddr fieldname が定義されました (CKRPUTV: Multi-valued non-repeat field fieldaddr fieldname defined at ddname line number)*

説明

1 件のレコードに対して明らかに複数の *field* 値が存在しますが、このフィールドは繰り返しフィールドではありません。2 次値は破棄されます。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1988 *CKRPUTV.CKRDELST function: ddname の行 number で fieldaddr fieldname への出力用にまだオープンしているレコード recordaddr が定義されました (CKRPUTV.CKRDELST function: Record recordaddr still open for*

output for *fieldaddr fieldname*
defined at *ddname* line number)

説明

示された削除リスト *function* により、まだ作成中のレコードが削除されます。すでに削除されているレコードへの後での書き込みは混乱を招く可能性があり、この状態からのリカバリーは複雑で不確実です。ユーザー異常終了 16 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1989 *routine: fieldaddr fieldname* を印刷するためのレコード記述子 *descriptor* の準備ができていません (*routine: Record descriptor descriptor not ready for printing fieldaddr fieldname*)

説明

示された *field* を印刷する要求は受け入れられません。その列は現時点で印刷されるレコードが見当たらないレコード・タイプの一部です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1990 *CKRPUTV: ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* のためにすでに保管されているリテラルが定義されました (*CKRPUTV: Literal already stored for fieldaddr fieldname defined at ddname line number*)

説明

示された *field* 列はリテラルであるため、2 次値は予想されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

492 メッセージ・ガイド

CKR1991 *CKRPRTFL.CKRGETV: OUTF_TLSD address field* が定義されていない *source* (*CKRPRTFL.CKRGETV nil OUTF_TLSD address field defined source*)

説明:

このエラー・メッセージは、示されたフィールドに予期しないエラー条件が関連付けられていることを示します。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1992 *CKRCKGS: complex* に *userid* のデフォルト・グループがありません (*CKRCKGS: No default group for userid in complex*)

説明

示された *complex* の示された *userid* のデフォルト・グループが欠落しているようです。この *userid* で CKG.SCP.ID リソース名を構成することはできません。CKGRACF 有効範囲決定がオフになっている可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1993 *procedure: 予期せぬ SCOP eyecatcher* [リソース *resource* の場合] (*procedure: Unexpected SCOP eyecatcher [for resource resource]*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1994 **CKRCKGS.CKRIMPL: 無効な USRC (len=len) - fieldaddr fieldname での data、TLST recordaddr (CKRCKGS.CKRIMPL: Invalid USRC (len=len) - data for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr)**

説明

示された *record* の示された *field* にある *data* のフォーマットは、予期される USRC フォーマットではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1995 **CKRPUTV.CKRPTCLS: ddname の行 number、TLST recordaddr で fieldaddr fieldname への無効な空の繰り返しクローズが定義されました (CKRPUTV.CKRPTCLS: Invalid empty repeat close for fieldaddr fieldname defined at ddname line number; TLST recordaddr)**

説明

示された *field* は最初に保管され、その後空の列を生成して処理されましたが、これを行うためのストレージ方式の予防措置は何も行われませんでした。このメッセージの後に、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1996 **CKRPUTV.CKRDELST: MERGELIST エラー - TLHD queryaddr ix queryindex TLST recordaddr ix recordindex (CKRPUTV.CKRDELST: MERGELIST error - TLHD queryaddr ix queryindex TLST recordaddr ix recordindex)**

説明

レコードの削除ルーチンの問題が MERGELIST で発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ペ

ージの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1997 **CKRLKUP: ddname の行 number で定義された fieldaddr fieldname、TLST recordaddr 呼び出しタイプ xx に対して関数が指定されていません (CKRLKUP: No function indicated for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr call type xx defined at ddname line number)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR1998 **CKRCFV: system complex から mountpoint への HFS 切り替え時のディレクトリー切り替え (CKRCFV: Directory switch during HFS switch for system complex to mountpoint)**

説明

新規ファイル・システム・ダンプの開始が完了しないうちに、UNIX ディレクトリー切り替えの CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。

重大度

20

CKR1999 **CKRCFV: system complex mountpoint の HFS ルート前のディレクトリー切り替え (CKRCFV: Directory switch before HFS root for system complex mountpoint)**

説明

ルート・ディレクトリーの内容はまだ確認されていませんが、UNIX ディレクトリー切り替えの CKFREEZE レコ

ードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。

重大度

20

CKR メッセージ 2000 から 2099

CKR2000 **GQE/XCOM 関連レコード *num* のロードでエラーが発生しました。システム *system [version] of source: message (Error loading GQE/XCOM related record num system system [version] of source: message)***

説明

共通ストレージ・ブロックを記述するレコードのロード中にエラーが発生しました。GQE/XCOM 関連データが含まれる予期しないレコードが、CKFREEZE に見つかりました。このメッセージは、通常、示されたレコードでの破損の結果によるものです。
message には、検出された不整合が表示されます。問題の重大度に応じて、今後の分析およびレポートで個々の、またはすべての GQE/XCOM レコードが使用できなくなります。これはメッセージ重大度 (04 または 20) でそれぞれ示されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

4 または 20

CKR2001 **CKFREEZE は切り捨てられているようです。システム *system [version] [- generation]*、ファイル *ddname source (CKFREEZE appears to be truncated, system system [version] [- generation] file ddname source)***

説明:

CKFREEZE ファイルの末尾に予期されているレコードが見つかりませんでした。これは、CKFCOLL の実行が B37 異常終了などで異常終了したか、CKFREEZE ファイルが転送中に切り捨てられたことを示します。

ユーザーの処置:

CKFCOLL の実行が (CKFREEZE に対する割り振りが不十分であったなどの理由で) 異常終了しなかったことと、ファイルまたはデータ・セットが転送中に切り捨てられなかったことを確認してください。

重大度

16

CKR2002 **BPXnOPT setsockopt TCP_NODELAY のアクティブ化がソケット *n* で失敗しました。RC *nn [meaning]* [理由 *qqqq rrrrx [meaning]*] (BPXnOPT setsockopt TCP_NODELAY active failed on socket *n* RC *nn [meaning]* [reason *qqqq rrrrx [meaning]*])**

説明:

このメッセージは、示されたソケット・オプションを設定できなかったことを示します。

ユーザーの処置

IBM Knowledge Center for z/OS から入手可能な「z/OS UNIX System Services Messages and Codes」リファレンス・マニュアルを参照してください。

重大度

08

CKR2003 **SYSLOG メッセージ *name source* が配信されませんでした (Syslog message not delivered *name source*)**

説明:

このメッセージは、宛先に配信できなかったためにスキップされるすべての SYSLOG メッセージについて発行されます。メッセージは、接続がおよそ 5 秒間より長くダウンしているとスキップされます。処理は、機能している通信パスを停滞させないように、次の宛先または次のメッセージに進みます。デフォルトでは、CKQRADAR 用のメンバー CKQSPECL ではこのメッセージは抑止されます。CKQRADAR は、プログラムの終了時、または再始動時に要約メッセージ CKR2004 を使用します。SYSLOG メッセージをいずれの宛先にも配信できない場合、デフォルトでは、C2RSYSLG ファイルが割り振られていればそのファイルにメッセージが書き込まれます。

ユーザーの処置:

この動作を抑止するには、SUPPRESS SYSLOG_FALLBACK_FILE を使用します。

重大度

08

CKR2004 *number* 個のメッセージを *IPdestination* のポート *port* に配信できませんでした (Failed to deliver *number* messages to port *port* of *IPdestination*)

説明:

このメッセージは、プログラムの終了時、またはプログラムの再始動直前に発行されます。これは、示されている宛先に対して現在の再始動インターバル中に失われた SYSLOG メッセージの数を表示します。現在の再始動インターバルで SYSLOG メッセージが失われた宛先ごとに 1 つのメッセージが出力されます。

重大度

08

CKR2005 *number* 個のメッセージを *IPdestination* のポート *port* に配信できませんでした (Failed to deliver *number* messages to port *port* of *IPdestination*)

説明:

このメッセージは、現在の再始動インターバルでメッセージを受信できなかった宛先に対する MODIFY *jobname*, DISPLAY オペレーター・コマンドへの応答で表示されます。

重大度

00

CKR2006 *IPdestination* のポート *port* で使用できるプロトコルは 1 つの UDP または TCP のみです (Can use only one protocol UDP or TCP on port *port* of *IPdestination*)

説明:

このメッセージは、UDP と TCP の両方に対して同じ宛先 IP アドレスとポートを使用するように指定した場合に発行されます。これはサポートされません。

重大度

12

CKR2007 UDP ソケットのクローズに失敗しました。sockdesc *n* RC *nn* [*meaning*] [理由 *qqqq* *rrrr* [*meaning*]] (UDP socket close failed sockdesc *n* RC *nn* [*meaning*] [reason *qqqq* *rrrr* [*meaning*]])

説明:

これは UDP 接続のクローズに失敗したことを示しています。このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しまたは BPX4CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。

ユーザーの処置

IBM Knowledge Center for z/OS から入手可能な「z/OS UNIX System Services Messages and Codes」リファレンス・マニュアルを参照してください。

重大度

12

CKR2008 TYPE=ASSERT [PADS] ファイル *source* の [再] 読み取りを開始しました (Started [re-]read of TYPE=ASSERT [PADS] file *source*)

説明:

エンジンは、示されているアサーション・レコード・ファイルを開き、読み取りを開始しました。

重大度

00

CKR2009 TYPE=ASSERT ファイル *source* から *number* 件のレコードを読み取りました [*errornum* 件のエラー] (Read *number* records [with *errornum* errors] from TYPE=ASSERT file *source*)

説明:

このメッセージは、示されたファイルから読み取られたアサーション・レコードの数を示します。

重大度

00

CKR2010 TYPE=ASSERT ファイル *source* が不完全です (Incomplete TYPE=ASSERT file *source*)

説明:

アサーション・ファイルが切り捨てられている可能性があります。予期されるファイルの終わりレコードが見つかりません。処理は、読み取られたレコードを使用して続行されます。

重大度

08

CKR2011 TYPE=ASSERT 入力エラーが多すぎます。ファイル *source* の残りを

スキップします (Excessive errors in TYPE=ASSERT input; skipping rest of file source)

説明:

TYPE=ASSERT 入力ファイルに、しきい値である 5 件のエラーより多くのエラーが既にあります。ファイルの残りの部分はスキップされます。

重大度

16

CKR2013 **ASSERT** データを読み取るには非 **PADS** アクセス権限が必要です。 *source* をスキップします (Non-PADS access required to read ASSERT data, skipping source)

説明:

このプログラムでは、範囲設定がサポートされません。このためユーザーの制御範囲に基づいて表示可能なアサーションレコードが制限されます。フィールドの内容はスキップされます。

重大度

08

CKR2014 ファイル *source* 内に予期されない短い **ASSERT** レコード *recno* (Unexpected short ASSERT record *recno* in file source)

説明:

示されたレコード番号で、サポートされないレコード長が見つかりました。このレコードはスキップされ、処理は、制限に到達して CKR2011 が発行されるまで続行されます。

重大度

16

CKR2015 ファイル *source* にサポートされない **ASSERT** ファイル形式 *hex* のレコード *recno* (Unsupported ASSERT file format *hex* record *recno* for file source)

説明:

示されたファイル内のレコード *recno* にサポートされないレコード形式が検出されました。ファイルの残りの部分はスキップされます。

ユーザーの処置:

これが実際に TYPE=ASSERT ファイルであることを確認し、このデータ・セットを含めないように割り振りを調整してください。

重大度

16

CKR2016 *number* 件の **ASSERT** レコードが *destination* に書き込まれました (number ASSERT records written to destination)

説明:

このメッセージは、SAVE TYPE=ASSERT ステートメントへの応答で書き込まれたレコードの数を示します。

重大度

00

CKR2017 *ddname volser dsn* 内の不完全なレコード *number* 長さ *length* をスキップしています (Skipping incomplete record *number* length *length* in *ddname volser dsn*)

説明:

予期されたすべてのフィールドが見つかる前に、アサーション・ファイル・レコードの末尾に到達しました。

ユーザーの処置:

アサーション・ファイルのみが割り振られたことを確認してください。

重大度

16

CKR2018 アサーション・ソースの保存でエラーが発生しました。 *ddname volser dsn* 内の出力レコード *number* の後が欠落しています (Error saving assertion source, now missing behind output record *number* in *ddname volser dsn*)

説明:

示された出力データ・セットまたはファイルにアサーションを保存しようとしているときにエラーが発生しました。アサーション・ソースは、そのソースが *ddname* から読み取られたか、ユーザー・インターフェースから追加されたかを示します。

重大度

16

CKR2019 **SAVE DD=ddname** が指定されていますが **ALLOC TYPE=OUTPUT** がありません - *source* (SAVE DD=ddname but no ALLOC TYPE=OUTPUT - source)

説明:

SAVE 要求が出力 DD 名 *ddname* を指していますが、対応する ALLOC TYPE=OUTPUT DD=*ddname* 指定が見つかりませんでした。

重大度

12

CKR2020 **タイプ?は SAVE ではサポートされ
ません (Type ? not supported on
SAVE)**

ユーザーの処置:

SAVE コマンドでサポートされる newlist タイプのリストについては、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」のセクション『SAVE』を参照してください。

重大度

12

CKR2021 **NEW を MOD/GETPROC とともに使
用することはできません - *ddname*
の行 *number* (NEW mutually
exclusive with MOD/GETPROC - at
ddname line *number*)**

説明:

ALLOC ステートメントで、パラメーター NEW が MOD または GETPROC とともに検出されました。この組み合わせはサポートされません。

重大度

12

CKR2022 **SAVE DD=*ddname* は PRINT
DD=*ddname* *source* と両立しません
(SAVE DD=*ddname* incompatible
with PRINT DD=*ddname* *source*)**

説明:

ターゲット (出力) DD 名を SAVE と NEWLIST/PRINT の両方の DD= 指定に使用することはできません。SAVE は、印刷出力の宛先とは異なる DD 名を使用する必要があります。

重大度

12

CKR2023 **SAVE DD=*ddname* *source* が重複し
ています (Duplicate SAVE
DD=*ddname* *source*)**

説明:

特定の DD 名を指す SAVE ステートメントは 1 つのみ指定できます。

重大度

12

CKR2024

順序が間違っているアサーションは無視されました。 *source2* を使用した *source1* (Out of order assertion ignored *source1* using *source2*)

説明:

source1 からのアサーション読み取りは、その GMT 時刻が実行中のシステムより未来であるため、無視されました。

重大度

08

CKR2025 **SENSTYPE が許可されるのは
ASSERT AS=CONFIG の場合のみで
す。 *source* (SENSTYPE only
allowed on ASSERT AS=CONFIG
source)**

説明:

SENSTYPE オペランドが、それをサポートしない ASSERT AS アサーション・タイプに対して見つかりました。サポートされるのは AS(CONFIG) アサーションに対してのみです。

重大度

12

CKR2026 **ASSERT AS=CONFIG で許可される
のは次のみです: SENSTYPE,
CLASS, RESOURCE, ENDDATE, BY,
COMMENT *source* (ASSERT
AS=CONFIG only allows
SENSTYPE, CLASS, RESOURCE,
ENDDATE, BY, COMMENT *source*)**

説明:

ASSERT AS=CONFIG ステートメントに対してサポートされないオペランドが見つかりました。許可されるのは示されたオペランドのみです。

重大度

12

CKR2027 **SAVE type=*type* のオープンに失敗
しました。 *ddname* *volser* *dsn*
(SAVE type=*type* OPEN failed
ddname *volser* *dsn*)**

説明:

アサーション出力データ・セットまたはファイルを開こうとしているときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置:

オープンが失敗した理由を説明する別のオペレーティング・システム・エラー・メッセージを探して、問題を解決してください。

重大度

16

CKR2028 **SAVE type=type はサポートされていません (SAVE type=type unsupported)**

説明:

SAVE コマンドは、示されている出力ファイル・タイプをサポートしていません。SAVE メカニズムは、アサーションなどの newlist 出力の表示中に追加されたデータの保存を意図して設計されています。

ユーザーの処置:

タイプの誤りを訂正するか、SAVE とは別の出力書き込みメカニズム (NEWLIST DD=、UNLOAD DD= など) を見つけてください。

重大度

16

CKR2029 **dsname** について、アサーション **MASKTYPE=ACF2** の **source1** は、前の **MASKTYPE=EGN** の **source2** と矛盾します (**Assertion MASKTYPE=ACF2 source1 conflicts with earlier MASKTYPE=EGN source2 for dsname**)

説明:

構成アサーション・データ・セット名のマスク・タイプが、前の SIMULATE ステートメントと矛盾します。このステートメントは、ステートメントが解析される時点での OPTION オプション設定からマスク・タイプを継承します。

ユーザーの処置:

使用するマスク・タイプを一貫性のあるものにしてください。

CKR2030 **dsname** について、アサーション **MASKTYPE=EGN** の **source1** は、前の **MASKTYPE=ACF2** の **source2** と矛盾します (**Assertion MASKTYPE=EGN source1 conflicts with earlier MASKTYPE=ACF2 source2 for dsname**)

説明:

構成アサーション・データ・セット名のマスク・タイプが、前の SIMULATE ステートメントと矛盾します。このステートメントは、ステートメントが解析される時点での OPTION オプション設定からマスク・タイプを継承します。

ユーザーの処置:

使用するマスク・タイプを一貫性のあるものにしてください。

CKR2031

マスク指定では、**dsname** に対して少なくとも 3 文字の **source** の非総称接頭部を持つ必要があります (**Mask specification must have a non-generic prefix of at least 3 characters source for dsname**)

説明:

汎用指定の先頭の 3 文字はいずれも、汎用文字にできません。これは、マスク照合の CPU パフォーマンスを向上させるために適用されます。

ユーザーの処置:

必要に応じて、少なくとも 3 つの非汎用先頭文字をそれぞれ使用した、複数のマスク指定を使用してください。

CKR2032

ドメイン **domain source** に **DEFSENS senstype** がありません (**Missing DEFSENS senstype in domain domain source**)

説明:

DOMAIN の SENSTYPE パラメーターに DEFSENS 定義がありません。このメッセージは抑止可能です。抑止すると、パラメーターが無視されます。

重大度

12

CKR2033

ドメイン **domain source** に重複する **WHITELIST=member** 指定がありません (**Duplicate WHITELIST=member specification in domain domain source**)

説明:

ホワイトリスト・メンバー名を指定できるのは、ドメインごとに 1 回のみです。

重大度

12

CKR2034

SAVE type=type の遅延オープンが失敗しました。 **source (SAVE type=type late open failed source)**

説明:

ALLOC TYPE=ASSERT POSTPONE に対して遅延オープンが失敗しました。最後の実行で収集されたアサーション情報は失われます。

重大度

16

CKR2035

NEWLIST name source で **count type** 件のレコードが **ddname path_or_dsn** にアンロードされました (**NEWLIST name source**)

**unloaded count type records to
ddname path_or_dsn)**

説明:

UNLOAD 要求が、NEWLIST NAME=*name* の範囲内で実行されました。UNLOAD コマンドごとに、ターゲットのデータ・セットまたは UNIX ファイルに書き込まれたレコードの数がリストされます。

重大度

00

CKR2036 **ALLOC SAVE が許可されるのは
TYPE=ASSERT DSNPREF でのみで
す - 場所 source (ALLOC SAVE only
allowed with TYPE=ASSERT
DSNPREF - at source)**

説明:

SAVE オペランドが許可されるのは、TYPE=ASSERT と DSNPREF=*prefix* も指定した ALLOC ステートメントに対してのみです。

重大度

12

CKR2037 **DSNPREF 長 length が source で
SAVE に対する最大長である 14 を
超えています (DSNPREF length
length exceeds max length of 14
for SAVE at source)**

説明:

SAVE オペランドは、接頭部の長さが示された *maxlen* 値以下の場合にのみ、日付、時刻、ユーザー ID、およびデータ・セット・タイプから成る自動修飾子の生成に使用できます。自動的に追加される接尾部は、「.Yyyymmdd.Thhmmss.userid78.CKAO」の形式にする必要があります。

ユーザーの処置:

短いデータ・セット名接頭部を設計するか、ALLOC TYPE=OUTPUT DD=*file* DSN=*your dsn* and SAVE TYPE=ASSERT DD=*file* を使用して自分でデータ・セット名を指定してください。

重大度

12

CKR2038 **単純または一般的なパスワードやパ
スフレーズのスキャンが完了しまし
た (Completed scan for trivial or
dictionary passwords and
phrases)**

説明:

KDFAES 暗号化とディクショナリー・サポートを使用した ACTIVE RACF データベースに対する VERIFY PASSWORD 関数が正常に完了しました。ディクショナ

リー・ファイルは CKAPWDCT DDname に割り振られました。これは、一般的なパスワードやパスフレーズをスキャンするために使用されました。

重大度

00

CKR2039 **単純または一般的なパスワードやパ
スフレーズの再スキャンが完了しま
した (Completed re-scan for trivial
or dictionary passwords and
phrases)**

説明:

KDFAES 暗号化とディクショナリー・サポートを使用した ACTIVE RACF データベースに対する VERIFY PASSWORD REDO 関数が正常に完了しました。ディクショナリー・ファイルは CKAPWDCT DDname に割り振られました。これは、一般的なパスワードやパスフレーズをスキャンするために使用されました。

重大度

00

CKR2040 **単純なパスワードやパスフレーズの
(再) スキャンが完了しました
(Completed (re-)scan for trivial
passwords and phrases)**

説明:

KDFAES 暗号化サポートを使用した ACTIVE RACF データベースに対する VERIFY PASSWORD 関数が正常に完了しました。このメッセージは、検査の関数が選択されたすべてのユーザーに対して要求されたときか、検査対象がパスワードまたはパスワード・フレーズを最近変更したユーザーのみに制限されている場合に発行されます。ディクショナリー・ファイルは CKAPWDC DDname に割り振られなかったため、使用されません。

ユーザーの処置:

重大度

00

CKR2041 **小さいディクショナリーを使用し
た、単純または一般的なパスワード
やパスフレーズの (再) スキャンが完
了しました (Completed (re-)scan
for trivial or dictionary passwords
and phrases, using small
dictionary)**

説明:

KDFAES 暗号化とディクショナリー・サポートを使用した ACTIVE RACF データベースに対する VERIFY PASSWORD REDO 関数が正常に完了しました。このメッセージは、検査の関数が選択されたすべてのユーザーに対して要求されたときか、検査対象がパスワードまたはパスワード・フレーズを最近変更したユーザーのみに

制限されている場合に発行されます。
CKR.VERIFY.PASSWORD リソースへの CONTROL アクセス権限がユーザーにあるため、小さいディクショナリー・ファイルの使用が許可されました。

重大度

00

CKR2042 ユーザーにはパスワードを検証する権限がありません (User not authorized for verify password)

説明:

ユーザーには、CKR.VERIFY.PASSWORD リソースへの十分なアクセス権限がありません。通常の使用には、READ アクセス権限が必要です。REDO キーワードの使用には、UPDATE アクセス権限が必要で、小さいディクショナリー・ファイルの使用には、CONTROL アクセス権限が必要です。

重大度

16

CKR2043 プログラムは APF 許可されていません。(Program not APF authorized.) 要求された分析を実行できません (Cannot perform requested analysis)

説明:

KDFAES サポート・コードの使用には、APF 許可が必要です。通常この機能のためには、提供されている CKRCARLX プログラムを使用できます。

ユーザーの処置:

KDFAES をアクティブにして ACTIVE RACF データベースに対して VERIFY PASSWORD 関数を実行できるのは、APF 許可されたバージョンの zSecure プログラムを使用するときのみです。許可されていない関数は、KDFAES によって暗号化されたパスワードやパスワード・フレーズをサポートしません。これは、ACTIVE RACF データベースではない RACF 入力ソースを選択した場合に使用されます。KDFAES によって暗号化されたパスワードとパスワード・フレーズに対して分析を実行する場合は、APF 許可プログラムを実行するバッチ・ジョブを実行依頼してください。前の分析の結果に関するレポート作成は、zSecure オプションの AU.S、または提供されているいずれかの CARLa サンプルを使用して、実行できます。

重大度

16

CKR2044 小さいディクショナリーを使用したパスワードの検証を使用する権限がありません (Not authorized to use verify password using a small dictionary)

説明:

ユーザーには、CKR.VERIFY.PASSWORD リソースへの十分なアクセス権限がありません。小さいディクショナリー・ファイルの使用には、CONTROL アクセス権限が必要です。

重大度

16

CKR2045 ディクショナリーのレコードが固定長ではなく、行の長さが 100 ではありません (Dictionary does not have fixed length records and line length 100)

説明:

DDname CKAPWDCT に割り振られるディクショナリーが、必要なレコード形式になっていません。パスワードとパスワード・フレーズに対応するには、データ・セットのレコードが固定長で、行の長さが 100 である必要があります。

重大度

16

CKR2046 ユーザー・リストのレコードが固定長ではなく、行の長さが 8 以上ではありません (User does not have fixed length records and line length 8 or longer)

説明:

DDname CKAPWUSR に割り振られるユーザー・リストが、必要なレコード形式になっていません。データ・セットのレコードが固定長で、行の長さが少なくとも 8 文字である必要があります。

重大度

16

CKR2047 スキャン結果を使用した RACF データベースの更新に失敗しました (Update of RACF database with scan result failed)

説明:

VERIFY 結果に関する情報を使用してユーザー・プロフィールを更新しようとしているときに、内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR2048 パスワードの検証関数を再実行する権限がありません (Not authorized for redo of verify password function)

説明:

ユーザーには、CKR.VERIFY.PASSWORD リソースへの十分なアクセス権限がありません。REDO キーワードの使用には、UPDATE アクセス権限が必要です。

重大度

16

CKR2049 パスワードの検証関数からの予期しない戻りコード (Unexpected return code from verify password function)

説明:

VERIFY PASSWORD 関数の実行中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置:

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR2050 非 KDFAES のパスワード検証は実行されません。KDFAES 検証に含まれています (Verify password non-KDFAES not done, included in KDFAES verify)

説明:

パスワードのオフライン検証は実行されませんでした。現在の CKRCARLA 実行は、KDFAES 暗号化とディクショナリー・ファイルの使用をサポートするオンライン分析を既に実行済みです。オンライン分析には、オフラインのパスワード検証で提供される簡単なパスワードの検証が含まれています。

重大度

00

CKR2051 SENSTYPE は、末尾がアンダースコアであるか、先頭が PCI-PAN、PCI-PAN-clr、PCI-AUTH、GDPR-data、または Site である必要があります。source (SENSTYPE must end in underscore or start with PCI-

PAN, PCI-PAN-clr, PCI-AUTH, GDPR-data, or Site source)

説明:

機密性タイプは、末尾がアンダースコアであるか、GTftrace と等しいか、先頭が示された標準的な関連機密性タイプの接頭部である必要があります。

ユーザーの処置:

機密性タイプを修正してください。

重大度

12

CKR2052 ASSERT AS=CONFIG は、RESOURCE のみでなく CLASS も必要とします。source (An ASSERT AS=CONFIG requires CLASS as well as RESOURCE source)

説明:

CLASS パラメーターまたは RESOURCE パラメーター、あるいはその両方が ASSERT AS=CONFIG ステートメントにありません。

ユーザーの処置:

欠落しているパラメーターを追加してください。

重大度

12

CKR2053 source 内の構成アサーション・レコード record に senstype がありません (Missing senstype in configuration assertion record record in source)

説明:

TYPE=ASSERT 入力ファイルの読み取り中に、無効なレコードが見つかりました。これは、AS=CONFIG レコードであるが、SENSTYPE がないことを示しています。

ユーザーの処置:

アサーション・ファイルが CKRCARLA エンジンで生成された場合は、IBM サポート・コミュニティー (www.ibm.com/mysupport/) でエラー・メッセージを検索してください。

重大度

16

CKR2054 ddname の行 number の絶対パス名に無効な値があります (Invalid value for absolute pathname at ddname line number)

説明:

指定されたパス名は正しい絶対パスではありません。パスの先頭が1つのスラッシュ (/) でないか、連続スラ

ッシュが使用されているか、末尾がスラッシュになっています。

重大度:
12

CKR2055 *source* に無効なアサーション・レコード *record* (Invalid assertion record *record* in *source*)

説明:

TYPE=ASSERT 入力ファイルの読み取り中に、無効なレコードが見つかりました。このメッセージは、抑止して、メッセージと戻りコードを除外できます。

ユーザーの処置:

アサーション・ファイルが CKRCARLA エンジンで生成された場合は、IBM サポート・コミュニティ (www.ibm.com/mysupport) でエラー・メッセージを検索してください。

重大度

16

CKR2056 *ddname* の行番号のフィールド *field* では Select はサポートされません (Select not supported on field *field* at *ddname* line number)

説明:

示されたフィールドが SELECT ステートメント、または DEFINE コマンドの WHERE 節で使用されています。これはサポートされません。このフィールドは出力でのみ使用できます。

重大度:
12

CKR2057 ライセンス交付を受けていないため、ALLOC TYPE=CKXLOG ファイルをスキップしました - *ddname volume dsn* (ALLOC TYPE=CKXLOG file skipped because not licensed-*ddname volume dsn*)

説明

zSecure Admin がインストールされていないか IFAPRDxx で無効になっているため、示されたデータ・セットの ALLOC TYPE=CKXLOG ステートメントは無視されます。

重大度

04

CKR2058 TYPE=CKXLOG [PADS] ファイル *source* の [再] 読み取りを開始しました (Started [re-]read of TYPE=CKXLOG [PADS] file *source*)

説明:

エンジンは、示されているコマンド・ログ・ファイルを正常に開き、読み取りを開始しました。

重大度

00

CKR2059 TYPE=CKXLOG ファイル *source* から *number* 件のレコードを読み取りました [errornum 件のエラー] (Read *number* records [with *errornum* errors] from TYPE=CKXLOG file *source*)

説明:

このメッセージは、示されたファイルから読み取られたコマンド・ログ・レコードの数を示します。

重大度

00

CKR2060 *ddname volser dsname* のレコード *recno* を処理中に異常終了 *code-reason* (stock description) が発生しました (Abend *code-reason* (stock description) while processing record *recno* of *ddname volser dsname*)

説明:

標識付き CKFREEZE ファイルのレコード *recno* の XTST 部分を処理中にアベンドが発生しました。これにより、情報が欠落する可能性があります。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

8

CKR2061 TYPE=CKXLOG 入力でエラーが多すぎます。ファイル *source* の残りをスキップします (Excessive errors in TYPE=CKXLOG input; skipping rest of file *source*)

説明:

TYPE=CKXLOG 入力ファイルに、しきい値である 5 件のエラーより多くのエラーが既にあります。ファイルの残りの部分はスキップされます。

重大度

16

<p>CKR2063</p> <p>説明: このプログラムでは、範囲設定がサポートされません。このためユーザーの制御範囲に基づいて、どのユーザーがどのコマンド・ログ・レコードを表示できるかが制限されます。フィールドの内容はスキップされます。</p> <p>重大度 08</p>	<p>CKXLOG データを読み取るには非 PADS アクセス権限が必要です。source をスキップします (Non-PADS access required to read CKXLOG data, skipping source)</p>	<p>重大度: 12</p> <hr/> <p>CKR2067</p> <p>説明: CKXLOG 開始タスクがアクティブでないか、アクティブなログ・ストリーム名を返していません。割り振り要求は抑止されます。</p> <p>重大度 04</p>	<p>ALLOC TYPE=CKXLOG ACTIVE が要求されましたが、CKXLOG がアクティブではありません - スキップされました (ALLOC TYPE=CKXLOG ACTIVE requested but CKXLOG is not active - skipped)</p>
<p>CKR2064</p> <p>説明: 示されたレコード番号で、サポートされないレコード長が見つかりました。このレコードはスキップされ、処理は、制限に到達して CKR2061 が発行されるまで続行されます。</p> <p>重大度 16</p>	<p>ファイル source 内に予期されない短い CKXLOG レコード recno (Unexpected short CKXLOG record recno in file source)</p>	<p>CKR2068</p> <p>説明 この通知メッセージは、CKXLOG レコードに system1 が含まれており、このシステムに CKFREEZE が検出されず、複合システムからのデフォルト・システム system2 の選択を指示する SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT が指定されている場合に出されます。これは COMPLEX= パラメーターが ALLOC TYPE=CKXLOG ステートメントにある場合にのみ発行されます。</p> <p>重大度 00</p>	<p>dsn または path に一致する CKFREEZE ファイルがないため、システム system1 に複合システム complex version デフォルト system2 で注釈を付けします (Annotating system system1 with complex version default system2 because no CKFREEZE file matching dsn or path)</p>
<p>CKR2065</p> <p>説明: 示されたファイル内のレコード recno にサポートされないレコード形式が検出されました。ファイルの残りの部分はスキップされます。</p> <p>ユーザーの処置: これが実際に TYPE=CKXLOG ファイルであることを確認し、このデータ・セットを含めないように割り振りを調整してください。</p> <p>重大度 16</p>	<p>ファイル source にサポートされない CKXLOG ファイル形式 hex のレコード recno (Unsupported CKXLOG file format hex record recno for file source)</p>	<p>CKR2069</p> <p>説明 一連の入力ファイルに CKFREEZE ファイルが存在していないシステム SMF ID が含まれている CKXLOG レコードが読み取られました。SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT ステートメントが指定されているために、これらの CKXLOG レコードにデフォルト・システムからの設定が使用されます。</p>	<p>ddname volser dsn に一致する CKFREEZE ファイルがないため、システム name1 にデフォルト name2 で注釈を付けています (Annotating system name1 with default name2 because no CKFREEZE file matching ddname volser dsn)</p>
<p>CKR2066</p> <p>説明: 制限モードでは、示されたフィールドが出力でのみ使用できます。このフィールドは、SELECT ステートメントや、DEFINE コマンドの WHERE 節では使用できません。</p>	<p>ddname の行 number のフィールド field では制限モードでの選択は許可されません (Selection in restricted mode not allowed on field field at ddname line number)</p>		

ユーザーの処置

アクションは不要です。

重大度

00

CKR2070 ファイル *ddname volser dsn* 内のシステム *SMFid* について **CKFREEZE** が見つかりませんでした (**No CKFREEZE file found for system *SMFid* in file *ddname volser dsn***)

説明

一連の入力ファイルに CKFREEZE ファイルが存在していないシステム SMF ID が含まれている CKXLOG レコードが読み取られました。

ユーザーの処置

指示されたシステムの CKFREEZE ファイルを接続してください。例えば、CKXLOG ファイルが変更されたことが原因で、そのような CKFREEZE が存在しない場合は、SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT ステートメントを使用して、デフォルト・システムからの設定を使用できます。

重大度

08

CKR2071 システム *system* に **complex2 version2** ではなく **COMPLEX/VERSION complex1 version1** で注釈を付けています (**Annotating system *system* with COMPLEX/VERSION complex1 version1 instead of complex2 version2**)

説明

このメッセージは、TYPE=CKXLOG ファイルで COMPLEX= パラメーターと VERSION= パラメーターが受け入れられず、その結果、ルックアップ・フィールドが空になることを警告しています。代わりに、示されたデータベース (複合システムおよびバージョン) が使用されます。

ユーザーの処置:

これが実行しようとしている内容であることを確認してください。

重大度

00

CKR2072 *ddname volser dsn* のシステム *smfid* レコードで使用される複合システム *name* (**Complex name used**)

for system *smfid* records in *ddname volser dsn*)

説明

このメッセージは、CKXLOG 入力ファイル内のユーザーが表示することを許可されるシステム ID *smfid* が処理されるごとに 1 回、発行されます。このメッセージは、予期せぬ障害について理解する上で役立つように発行されます。例えば、入力名またはユーザー指定複合システム名のセットが不完全なままルックアップを使用すると、メッセージには、ルックアップで使用される複合システム (RACF データベース) が示されます。ALLOC コマンドに VERSION が指定されていれば、このメッセージでは、複合システム名の後に VERSION が続いています。

重大度

00

CKR2073 システム *systemname* の出口 *exitname* の継続レコード *recno* が破損しています (**Exit *exitname* continuation record *recno* is corrupt on system *systemname***)

説明:

このメッセージは、マルチパート・システム 出口レコードを CKFREEZE から読み取る際に、レコード・ヘッダーが破損している場合に発行されます。これは、CKFREEZE ファイルが破損しているために、出口の内容が不完全であることを示します。

重大度:

08

CKR2074 システム *systemname* に予期しない出口継続レコード *recno* があります (**Unexpected exit continuation record *recno* on system *systemname***)

説明:

このメッセージは、マルチパート・システム 出口レコードを CKFREEZE から読み取る際に、出口の最初のパートが事前に読み取られていなかった場合に発行されます。これは CKFREEZE ファイルが破損していること、および示されたレコードが無視されることを示します。

重大度:

08

CKR2075 システム *systemname* でレコード *recno* の前に不完全な出口 *exitname* があります (**Incomplete exit *exitname* on system *systemname* before record *recno***)

説明:

このメッセージは、システム 出口レコードまたはマルチパート・システム 出口レコードの最初のパートを

CKFREEZE から読み取っていて、前に保管されているマルチパート出口 (*exitname*) の最後のパートを示すレコードが検出されなかった場合に発行されます。これは、CKFREEZE ファイルが破損しているために、出口の内容が不完全であることを示します。

重大度:
08

CKR2076 **CKXLOG 入力マージで予期しないレコード順が検出されました:
(Unexpected record order in
CKXLOG input merge found):**
ファイル *ddname1 source1* 内の
ETOD hex レコード *recno1* (**ETOD
hex record *recno1* in file *ddname1
source1***
ファイル *ddname2 source2* 内の
ETOD hex レコード *recno2* (**ETOD
hex record *recno2* in file *ddname2
source2***

説明:
ALLOC TYPE=CKXLOG によって識別されるファイルの入力ファイル・マージの実行中に、予期しないソート順が検出されました。このメッセージでは予期しない順序を持つ 2 つのレコードが示されます。これらが異なるファイルからのものである場合、このいずれかのファイルの順序が間違っている可能性があります。

重大度
04

CKR2077 システム *system* の CKFREEZE が不完全なために **RRSF** 状況を判別できません (**CKFREEZE for system
system too incomplete to
determine RRSF status**)

説明:
CARLa コマンドを正しく処理するには、システムの RRSF 構成を判別する必要があります。示されたシステムの CKFREEZE ファイルには、システムの RRSF 構成の判別に十分な情報が含まれていません。

ユーザーの処置:
APF 許可、XMEM オプション、および
FOCUS=ADMINRACF または FOCUS=AUDITRACF を使用して zSecure Collect を実行することによって作成された CKFREEZE ファイルを使用してください。

重大度
04

CKR2080 *ppp* 用の **TTT** 変換結果 **CCCC HHHH
nnnn** が、**mmmm - ooooo** のエクステン
tent 内にありません。エクステン
tent **0** の範囲は **qqqq - rrrr** です (**TTT
conversion result CCCC HHHH**

**nnnn not in extent mmmm - ooooo
for pppExtent 0 range qqqq - rrrr**

説明

相対トラック・アドレスの絶対トラック・アドレスへの変換を試行中に、CKR2080 ルーチンでエラーが発生されました。このエラーは、相対トラックが、OS によってフォーマットされた RACF データベースのエクステン
tent 外にあったことを示します。エラー・レポートを IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。

重大度
24

CKR2081 **CKRCARLA の異常終了のクリーン
アップが完了しました (CKRCARLA
Abend cleanup complete)**

説明:
この WTO メッセージは、プログラムの継続が不可能なときに、リカバリー・プロセスの完了を示すために発行されます。リソースは解放され、データ・セットは閉じられて割り振り解除され、これ以降はエンキューされなくなります。

CKR2082 **CKRCARLA には Z196 以上が必要で
す (CKRCARLA requires Z196 or
higher)**

説明:
CKRCARLA モジュールは、zSecure がそのバージョンでサポートされないハードウェアで実行された場合にこのオペレーター宛メッセージ (WTO) を発行します。このメッセージが発行されると、戻りコード 20 が出されます。

ユーザーの処置:
古いハードウェアをサポートする旧バージョンの zSecure を使用してください。

重大度:
20

CKR2083 このバージョンの **CARLa** エンジン
には **z12** 以上が必要です。
CKRCARLa を使用して正しいバー
ジョンを呼び出してください (**This
version of the CARLa engine
requires a z12 or higher; use
CKRCARLa to call proper version**)

説明:
CARLa エンジンの 64 ビット・バージョンが、このモジュールに必要な最小レベルより古いレベルのハードウェアから呼び出されました。

ユーザーの処置:
CKRCARLa を使用して、正しいモジュールが自動的に呼び出されるようにしてください。

重大度:

CKR2084 ONLYAT オプションが指定されましたが、システム *system* で RRSF が構成されていません (**ONLYAT options specified but system system does not have RRSF configured**)

説明:

ONLYAT オプションが指定されてもシステムで RRSF が構成されていない場合は、メッセージ CKR2084 がメッセージ CKR2320 とともに発行されます。

ユーザーの処置:

これは警告メッセージにすぎません。このジョブで処理されるどのシステムにおいても不要な場合は、ユーザー入力から ONLYAT オプションを除去できます。

重大度

04

CKR2085 チェックサム関連レコード *num* のロード中にエラーが発生しました。 *source* のシステム *system [version]: message (Error loading checksum related record num system system [version] of source: message)*

説明:

チェックサムを含むレコードのロード中にエラーが発生しました。このメッセージは通常、示されているレコードが破損または切り捨てられたことが原因で発行されます。 *message* は検出された不整合を示しています。チェックサムは、レポートの詳細分析には使用できません。

重大度

20

CKR2086 *format-or-field* には CAST 演算子を使用できません (**Cannot use CAST operator for format-or-field**)

説明:

要求された CAST 演算を実行できませんでした。CAST 演算子は、4 バイトを超えない、内部の長さが固定しているフィールドをサポートします (zSecure CARLa コマンド・リファレンス内の newlist FIELD の LENGTH_INT フィールドを参照してください)。これは、HEX 形式と DECIMAL 形式にキャストできます。

重大度

12

CKR2087 システム *name* に対する BPX1PCT ZFS 構成照会に失敗しました。ファイル・システムが開始されませんでした (**BPX1PCT ZFS configuration**

query failed for system name: the file system was not started)

説明:

ZFS ファイル・システムが開始されなかったため、ZFS_SMF、ZFS_SMF_INTERVAL、ZFS_FORMAT_COMPRESSION、ZFS_FORMAT_ENCRYPTION、および ZFS_FORMAT_PERMS の各フィールド (TYPE=SYSTEM) の値が欠落しています。

ユーザーの処置:

メッセージを確認し、必要に応じて適切なアクションを実行してください。

重大度:

00

CKR2088 システム *name* に対する BPX1PCT ZFS 構成照会に失敗しました。ファイル・システムが存在しません (**BPX1PCT ZFS configuration query failed for system name: the file system does not exist**)

説明:

ZFS ファイル・システムが定義されていないため、ZFS_SMF、ZFS_SMF_INTERVAL、ZFS_FORMAT_COMPRESSION、ZFS_FORMAT_ENCRYPTION、および ZFS_FORMAT_PERMS の各フィールド (TYPE=SYSTEM) の値が欠落しています。

ユーザーの処置:

メッセージを確認し、必要に応じて適切なアクションを実行してください。

重大度:

00

CKR2089I 選択されたアーキテクチャーを使用できません。 *module-name* にリダイレクトしています (**Selected architecture not available, redirecting to module-name**)

ユーザーの処置:

必要最低限のハードウェア・アーキテクチャー・レベルを使用できません。このメッセージは、ユーザーが CKRCARLA モジュールを選択した場合に発行されます。このモジュールは、アーキテクチャー・レベル z12 以降を必要とする 64 ビット仮想ストレージを利用します。現在のハードウェア・レベルは不十分です。したがって、要求されたコードを実行できません。必要とされるアーキテクチャー・レベルが低い 31 ビット仮想ストレージ・モジュール (*module-name*) が代わりに使用されます。

ユーザーの処置:

このメッセージを回避するには、オプション SE.0 で要求されたハードウェア・レベルをデフォルトに変更してください。

CKR メッセージ 2100 から 2199

CKR2150 **CKRVCONF:** システム *system* 上の *volser* に対する共有情報がありません (**CKRVCONF: sharing info missing for *volser* on system *system***)

説明

このメッセージは、内部エラーが発生したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR2156 **SUMA address、接頭部の長さ *length*、接頭部 *prefix* を処理する COMMON_PREFIX 用のストレージが残っていません (No storage left for COMMON_PREFIX, processing SUMA address prefix length length prefix prefix)**

説明:

COMMON_PREFIX (または CPRX) 修飾子の処理中に、ストレージ不足状態が発生しました。このメッセージが抑止された場合でも、このレベルの要約処理は停止します。

重大度

08

CKR2157 **SUMA address、接頭部の長さ *length*、接頭部 *prefix* を処理する COMMON_PREFIX 作業バッファ用のストレージが残っていません (No storage left for COMMON_PREFIX work buffer, processing SUMA address prefix length length prefix prefix)**

説明:

COMMON_PREFIX (または CPRX) 修飾子の処理中に、ストレージ不足状態が発生しました。このメッセージが抑止された場合でも、このレベルの要約処理は停止します。

重大度

08

CKR2158 **RACF のバックアップ・データ・セットが存在しません。 (RACF backup data set does not exist.)1 次にフォールバックします。 (Fall back to primary.)**

説明:

キーワード BACKUP とともに ALLOC コマンドが指定されましたが、システムには RACF バックアップ・データベースが定義されていません。代わりに、1 次 RACF データベースが使用されます。

重大度

04

CKR2159 **RACF のバックアップ・データ・セット *dsn* がアクティブではありません。 (RACF backup data set *dsn* not active.)1 次にフォールバックします。 (Fall back to primary.)**

説明:

キーワード BACKUP または BACKUP ACTIVE とともに ALLOC コマンドが指定されましたが、示されている RACF バックアップ・データ・セットは、RVARY INACTIVE コマンドのためにアクティブではありません。代わりに、1 次 RACF データベースが使用されます。

重大度

04

CKR2160 **dd *ddname*、行 *number* にある ALLOC コマンドの *zsecparm* に一致するシステムが見つかりません (No systems found matching *zsecparm* in ALLOC command at dd *ddname* line *number*)**

説明:

示された ALLOC コマンドで *zsecparm* での ZSECNODE または ZSECSYS の指定が使用されています。ローカルの zSecure Server に定義されたシステムでこの指定に一致するものはありません。CKNSERVE 基本コマンドを使用して、ローカルの zSecure Server に定義された *zsecnodes* と *zsecsystems* を確認してください。

重大度

12

CKR2161 **ノード *zsecnode* のシステム *zsecsys* は非アクティブです (System *zsecsys* in node *zsecnode*)**

is inactive)。再接続を試行していません (Attempting to reconnect)。

説明:

示されたシステムは、ALLOC コマンドの ZSECSYS 指定により選択されています。このシステムは、ローカルの zSecure Server に対して非アクティブになっていると思われ、再接続が試行されています。再接続の試行が失敗した場合、CKN036I メッセージが表示されます。

重大度

00

CKR2162 ノード *zsecnode* にアクティブ・システムが見つかりません (No active systems found in node *zsecnode*)。システム *zsecsys* への再接続を試行しています (Attempting to reconnect with system *zsecsys*)。

説明:

示されたノードは、ALLOC コマンドの ZSECNODE または ZSECSYS 指定で選択されています。このノードのすべてのシステムは、ローカルの zSecure Server に対して非アクティブになっていると思われ、示されたシステムへの再接続が試行されます。再接続の試行が失敗した場合、CKN036I メッセージが表示されます。

重大度

00

CKR2163 ノード *zsecnode* にアクティブ・システムが見つかりません (No active systems found in node *zsecnode*)。ddname 行 *number* にある ALLOC コマンドからノードを除外します (Excluding node from ALLOC command at *ddname* line *number*)

説明:

示された ALLOC コマンドの ZSECNODE または ZSECSYS 指定により、示されたノードが選択されました。アクティブなシステムのみを選択するアスタリスク (*) の値が使用されました。このノードのすべてのシステムは、ローカルの zSecure Server に対して非アクティブになっていると思われ、このノードのデータはレポートから除外されます。CKNSERVE 基本コマンドを使用して、サーバー接続の状況を確認してください。

重大度

04

CKR2164 ノード *zsecnode* のシステム *zsecsys* は非アクティブです (System *zsecsys* in node *zsecnode* is inactive)。ddname 行 *number* にある ALLOC コマンドからシステム

を除外します (Excluding system from ALLOC command at *ddname* line *number*)

説明:

示されたシステムは、この ALLOC コマンドの ZSECNODE または ZSECSYS 指定で選択されています。このシステムは、ローカルの zSecure Server に対して非アクティブになっていると思われ、このシステムのデータはレポートから除外されます。CKNSERVE 基本コマンドを使用して、サーバー接続の状況を確認してください。

重大度

04

CKR2165 ここに ISPF 変数は指定できません (ISPF variable not allowed here)

説明:

引用符トリガーまたは置換文字ストリングを定義する際に ISPF 変数は指定できません。

重大度

12

CKR2166 置き換えるストリングは空にはできません (String to be replaced cannot be empty)

説明:

REPLACE_CHAR および QUOTE_REPLACE_CHAR 印刷オプションでは、置き換えるストリング (置き換えペアの最初のストリング) は空にはできません。

重大度

12

CKR2167 CKRCFV: 以下のレコードの予想しない順序 *number* タイプ *type subtype* システム *system [version]*、*source* (CKRCFV: Unexpected order for record *number* type *type subtype* system *system [version]* of *source*)

説明:

レコードの予想しない順序が CKFREEZE 内で検出されました。結果は予測不能です。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR2168 QUOTE_TRIGGER 文字「X」はサポートされていません。その文字は、UTF8 で長さ 1 が必要です (QUOTE_TRIGGER character "X" unsupported, must have length 1 in UTF8)

説明:

引用符トリガー文字は、EBCDIC と UTF8 のいずれでも長さが 1 バイトでなければならないため、使用できません。

重大度

12

CKR2169 DA/GR ベースのルックアップ・フィールドが多すぎます (Too many DA/GR-based lookup fields)

説明:

オブジェクトのルックアップ・フィールド数に関する内部制限に達しました。

ユーザーの処置:

ルックアップの数を減らしてください。または、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR2170 targetfield で TLUV ベースのルックアップ・フィールドが多すぎます (Too many TLUV-based lookup fields - at targetfield)

説明:

オブジェクトのルックアップ・フィールド数に関する内部制限に達しました。

ユーザーの処置:

ルックアップの数を減らしてください。または、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

CKR2171 newlist タイプ=type で、num1 (num2 のうち) が選択されました

(At newlist type=type selected num1 of num2)

説明:

このメッセージは、この newlist タイプの出力レコードの作成中にストレージ不足またはアテンション割り込みが発生したときに作成されていた newlist タイプを示します。このメッセージは、ストレージ不足が発生したときにプログラムが newlist タイプ内のオブジェクトの処理をどこまで進めていたかを判別するのに役立ちます。場合によっては、このメッセージの前に、処理されていた特定の newlist を示すメッセージ CKR2172 が発行されます。

num1 は、割り込みの前に選択されたレコードの数です。

num2 は、割り込みの前に処理されたレコードの数です。

重大度

00

CKR2172 newlist 名=name で、number が選択されました (At newlist name=name selected number)

説明:

このメッセージは、出力のこの部分の保管中にストレージ不足またはアテンション割り込みが発生したときに処理されていた newlist を示します。このメッセージは、ストレージ不足が発生したときにプログラムが処理をどこまで進めていたかを判別するのに役立ちます。多くの場合、このメッセージの後に、処理されていた newlist タイプを示すメッセージ CKR2171 が発行されます。

number は、割り込みの前に処理されたレコードの数です。

重大度

00

CKR2173 CKDS キー・ラベルのあいまいなタイプ type1 および type2、label system [version]、レコード recno source (CKDS key label ambiguous type type1 and type2 for label system [version], record recno source)

説明:

固有のキー・ラベルを必要とするキー・タイプが、CKDS 内で重複する定義を持っていることが検出されました。無効な重複は、newlist タイプ出力に追加されません。固有のラベルを持つ必要があるキー・タイプは、DATA、DATAM、DATAMV、DATAXLAT、MAC、MACVER、および NULL です。

ユーザーの処置:

CKDS 内で重複する定義を解決してください。

重大度:
08

CKR2174 **DEFSENS sensitivity**
CONCERN='concern' PRIO=prio2
は既に **PRIO=prio1 source1 -**
source2 と定義されています
(DEFSENS sensitivity
CONCERN='concern' PRIO=prio2
but already PRIO=prio1 source1 -
source2)

説明

機密性レベル/リスク・レベルの組み合わせに関連付けられている監査の考慮事項に割り当てられる監査の考慮事項の優先順位は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。

ユーザーの処置

機密性の名前を訂正するか、または優先順位の 1 つを調整してください。

重大度

12

CKR2175 **ID=id** の優先順位 **PRIO=prio2** は、既に **PRIO=prio1 source1 - source2** が割り当てられているため、重複しています (**Duplicate priority**
PRIO=prio2 for ID=id already
PRIO=prio1 source1 - source2)

説明

この DEFSENS ステートメントで参照されている監査の考慮事項 ID には、別の優先順位が既に割り当てられています。

ユーザーの処置

優先順位が異なる監査の考慮事項には、異なる監査の考慮事項 ID を使用してください。

重大度

12

CKR2176 **DEFSENS sensitivity**
CONCERN='concern' PRIO=prio2
は既に **PRIO=prio1 source1 -**
source2 と定義されています
(DEFSENS sensitivity
CONCERN='concern' PRIO=prio2
but already PRIO=prio1 source1 -
source2)

説明

機密性レベル/リスク・レベルの組み合わせに関連付けられている監査の考慮事項に割り当てられる監査の考慮事項の優先順位は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。どちらの DEFSENS ステートメントも CLASS= キーワードと RESOURCE_TYPE キーワードは指定していないため、この機密性とリスク・レベルの組み合わせに対してより具体的な割り当てがない、すべてのクラス向けのデフォルトが指定されています。

ユーザーの処置

機密性の名前を訂正するか、またはどちらの DEFSENS ステートメントを削除するかを決定してください。

重大度

12

CKR2177 **DEFSENS sensitivity**
CONCERN='concern' PRIO=prio2
は既に **PRIO=prio1 source1 -**
source2 と定義されています
(DEFSENS sensitivity
CONCERN='concern' PRIO=prio2
but already PRIO=prio1 source1 -
source2)

説明

機密性レベル/リスク・レベルの組み合わせに関連付けられている監査の考慮事項に割り当てられる監査の考慮事項の優先順位は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。どちらのステートメントにも CLASS (または RESOURCE_TYPE) の仕様があることに注意してください。

ユーザーの処置

機密性レベルとリスク・レベルが同じ場合に優先順位を区別するには、監査に関する考慮事項のストリングを異なるものにしてください。そうしない場合には、いずれかの機密性または優先順位を調整してください。

重大度

12

CKR2178 **DEFSENS sensitivity**
CONCERN='concern2'
CLASS=class source2
は既に **CONCERN='concern1'**
source1 と定義されています
(DEFSENS sensitivity

CONCERN='concern2'
CLASS=class source2
but already defined as
CONCERN='concern1' source1)

説明

特定のクラスの機密性/リスク・レベルの組み合わせに割り当てる監査の考慮事項は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。このエラーは、DEFSENS ステートメントに対して 1 回だけ発行されます。ただし問題は、示されているよりも多くのクラスに当てはまる可能性もあります。

ユーザーの処置

特定の 1 クラスに対して、同じ機密性レベルとリスク・レベルの、異なる監査の考慮事項を割り当てたつもりであれば、DEFSENS ステートメントの CLASS キーワードまたは RESOURCE_TYPE キーワードを調整してください。そうでない場合は、機密性の名前を訂正してください。

重大度

12

CKR2179 **DEFSENS sensitivity**
CONCERN='concern2' source2
は既に CONCERN='concern1'
source1 と定義されています
(DEFSENS sensitivity
CONCERN='concern2' source2
but already defined as
CONCERN='concern1' source1)

説明

特定のクラスの機密性/リスク・レベルの組み合わせに割り当てる監査の考慮事項は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。どちらの DEFSENS ステートメントも CLASS= キーワードと RESOURCE_TYPE キーワードは指定していないため、この機密性に対してより具体的な割り当てがない、すべてのクラス向けのデフォルトが指定されています。

ユーザーの処置

特定の 1 クラスに対して、同じ機密性レベルとリスク・レベルの、異なる監査の考慮事項を割り当てたつもりであれば、CLASS キーワードまたは RESOURCE_TYPE キーワードを適切な DEFSENS ステートメントに追加してください。そうでない場合は、機密性の名前を訂正するか、または誤りの DEFSENS ステートメントを削除してください。

重大度

12

CKR2180 **DEFSENS には token "value"**
source の前に ACCESS= キーワード
が必要です (DEFSENS requires
ACCESS= keyword, before token
"value" source)

説明

単一の DEFSENS ステートメントが、機密性 (=object type) とリスク・アクセス・レベル (ACCESS=) の組み合わせのプロパティを定義しています。ACCESS レベルは必要です。

ユーザーの処置

この DEFSENS ステートメントを訂正するか、または削除してください。

重大度

12

CKR2181 **考慮事項の ID id は最初に source1 -**
source2 で定義されているため重複
しています (Duplicate concern id id
first defined source1 - source2)

説明

この DEFSENS ステートメントで参照されている監査の考慮事項 ID には、別の監査の考慮事項テキストが既に割り当てられています。

ユーザーの処置

この ID を意図的に再利用したのであれば、監査の考慮事項が同一になるように修正してください。そうでない場合は、どちらかの監査の考慮事項に別の ID を割り当ててください。

重大度

12

CKR2182 **考慮事項の ID id は最初に source1 -**
source2 で定義されているため重複
しています (Duplicate concern id id
first defined source1 - source2)

説明

この SIMULATE ステートメントで CONCERN に割り当てられている監査の考慮事項 ID は、別の監査の考慮事項に既に割り当てられています。

ユーザーの処置

この ID を意図的に再利用したのであれば、監査の考慮事項が同一になるように修正してください。そうでない場合は、どちらかの監査の考慮事項に別の ID を割り当ててください。

重大度

12

CKR2183 **SIMULATE CLASS/RESTYPE** には **token "value" source** の前に **RESOURCE** が必要です (**SIMULATE CLASS/RESTYPE requires RESOURCE, before token "value" source**)

説明

SIMULATE CLASS コマンドまたは **SIMULATE RESOURCE_TYPE** コマンドは、リソースを機密と指定するために使用されます。RESOURCE キーワードを指定しない場合には効果はありません。

ユーザーの処置

この **SIMULATE** ステートメントを訂正するか、または削除してください。同時にリソースを特定せずに特定の **SENSITIVITY** のプロパティを指定するには、**DEFSENS** ステートメントを使用します。

重大度

12

CKR2184 **SIMULATE SENSITIVITY=sensitivity CONCERN='concern' PRIO=prio2** は既に **PRIO=prio1 source1 - source2** と定義されています (**SIMULATE SENSITIVITY=sensitivity CONCERN='concern' PRIO=prio2 but already PRIO=prio1 source1 - source2**)

説明

機密性レベル/リスク・レベルの組み合わせに関連付けられている監査の考慮事項に割り当てられる監査の考慮事項の優先順位は、固有でなければなりません。この **SIMULATE** ステートメントでの指定が、前の **DEFSENS** ステートメントまたは **SIMULATE** ステートメントでの指定と競合しています。

ユーザーの処置

機密性の名前を訂正するか、または優先順位の 1 つを調整してください。

重大度

12

CKR2185 **ID=id** の優先順位 **PRIO=prio2** は、既に **PRIO=prio1 source1 - source2** が割り当てられているため、重複しています (**Duplicate priority PRIO=prio2 for ID=id already PRIO=prio1 source1 - source2**)

説明

この **SIMULATE** ステートメントで参照されている監査の考慮事項 ID には、別の優先順位が既に割り当てられています。

ユーザーの処置

優先順位が異なる監査の考慮事項には、異なる監査の考慮事項 ID を使用してください。

重大度

12

CKR2186 **SIMULATE CLASS=class SENSITIVITY=sensitivity PRIO=prio2** は既に **PRIO=prio1 source1 - source2** と定義されています (**SIMULATE CLASS=class SENSITIVITY=sensitivity PRIO=prio2 but already PRIO=prio1 source1 - source2**)

説明

この **SIMULATE CLASS** ステートメントで指定されている監査に関する考慮事項の優先順位が、前の **DEFSENS** ステートメントでの指定と競合しています。

ユーザーの処置

クラスが異なり、機密性レベルが同じである場合に優先順位を区別するには、監査に関する考慮事項のストリングを異なるものにしてください。そうしない場合には、いずれかの機密性または優先順位を調整してください。

重大度

12

CKR2187 **SIMULATE CLASS=class SENSITIVITY=sensitivity CONCERN='concern2' source2** は既に **CONCERN='concern1' source1** と定義されています (**SIMULATE CLASS=class SENSITIVITY=sensitivity CONCERN='concern2' source2 but**

already defined as
CONCERN='concern1' source1)

説明

特定のクラスの機密性/リスク・レベルの組み合わせに割り当てる監査の考慮事項は、固有でなければなりません。この SIMULATE ステートメントでの指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。

ユーザーの処置

特定の 1 クラスに対して、同じ機密性レベルとリスク・レベルの、異なる監査の考慮事項を割り当てたつもりであれば、CLASS キーワードまたは RESOURCE_TYPE キーワードを調整してください。そうでない場合は、機密性の名前を訂正してください。

重大度

12

CKR2188 事前定義された機密性は *token* "value" source の前の **ACCESS/CONCERN/PRIO/ID** と相互排他的です (Predefined sensitivity is mutually exclusive with ACCESS/CONCERN/PRIO/ID before token "value" source)

説明

事前定義された機密性を SENSITIVITY= keyword で使用する場合は、リスク・アクセス・レベルと監査の考慮事項の ID、優先順位、およびテキストが暗黙に指定されます。

ユーザーの処置

これらのキーワードを SIMULATE ステートメントから削除してください。

重大度

12

CKR2189 **CKRCFD:** 以下のレコードの予期しない順序 *number* タイプ *type subtype* システム *system [version]*, *source* (**CKRCFD: Unexpected order for record number type type subtype system system [version] of source**)

説明:

レコードの予期しない順序が CKFREEZE 内で検出されました。結果は予測不能です。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR2190 重複する NJE ノード名 *name*、サブシステム *subs* システム *system [version]* (**Duplicate NJE node name name in subsystem subs system system [version]**)

説明:

1 つの JES サブシステムのノード定義内に予期しない重複するノード名があります。

重大度

20

CKR2192 パラメーター *option* には、厳密に 1 つの 1 バイト文字 *source* が含まれている必要があります (**Parameter option must contain exactly one single-byte character source**)

説明:

このメッセージは、示されたパラメーターが、1 バイトから成る 1 つの文字のみをサポートすることを示しています。

ユーザーの処置:

示されたパラメーターには、1 バイトの文字を 1 つ選択してください。

重大度

12

CKR2193 パラメータ *option* は、**NO/PREFIX source** 以外の **HEADER** と同時に使用することはできません (**Parameter option mutually exclusive with HEADER other than NO/PREFIX source**)

説明:

このメッセージは、示されたパラメーターが HEADER=LEEF, CEF, CSV, TSOCMD などのヘッダーを規定する形式では禁止されていることを示します。

ユーザーの処置:

このパラメーターをカスタマイズするには HEADER=NO または HEADER=PREFIX を使用してください。または、これ以上カスタマイズせずに、標準 HEADER 指定のいずれかを使用してください。

重大度

12

CKR2194 アクセスが ACF2 によって拒否されました: *msg (Access denied by ACF2: msg)*

説明:

このメッセージは、プログラムがログオン ID データベースからレコードを読み取るために ACF2 変更 SVC を使用していたことを示します。このプロセス中に、詳細を提供するメッセージが付随した、戻りコード 4 (要求が拒否されたことを示す) を ACF2 から受け取りました。メッセージのテキストをここに再現します。

重大度

04

CKR2195 レベルの共通接頭部修飾子の最大数は *maximum* です。 *number requested - chainaddr fieldname source (Maximum number of common prefix modifiers on a level is maximum; number requested - chainaddr fieldname source)*

説明:

COMMON_PREFIX (CPFX) 修飾子を持つフィールドの数には構造的な制限があります (ある特定の表示レベルにおいて)。

chainaddr は、IBM ソフトウェア・サポート・スペシャリスト用の関連情報である場合があります。

fieldname はこの表示レベルに属する最初のフィールドの名前です。このフィールドには、*common_prefix* 修飾子自体はない場合があります。

source は、CARLa 入力の場所を示します。そこでは、このレベルに属する最初のフィールドが、関連するレベルを識別するために定義されています。

ユーザーの処置:

共通接頭部修飾子を含むフィールドの数を減らします (特定の *newlist* 内の単一の要約レベルまたは表示レベル内)。

重大度

12

CKR2196 テスト *name source2* で、マージされたドメイン *domain source1* に対するアサーションを行うオブジェクトのタイプを選択するには、*type:ASSERT* を指定する必要があります (Need to specify *type:ASSERT* to select which type of objects to assert for merged domain *domain source1* in test *name source2*)

説明:

このメッセージは、アサーションが必要なオブジェクトの *newlist* タイプを明確にする必要があることを示します。構文 TEST *name ASSERT* を使用できるのは単

一タイプ・ドメインの場合のみであり、定義により、マージする複数の *newlist* タイプをカバーするドメイン・マージには使用できません。そのため、ドメイン・マージを伴うこのルールの場合は、単語 ASSERT の前にドメインの *newlist* タイプを指定する必要があります。

ユーザーの処置:

テストを TEST *name type:ASSERT* と指定してください。

重大度:

12

CKR2197 コンプライアンス規則ドメインでサポートされていない *Newlist* タイプ - *type (Newlist type not supported in compliance rule domains - type)*

説明:

このメッセージは、NEWLIST TYPE ASSERT、NEWLIST、COMPLIANCE、COMPLIANCE_RULE_SET、COMPLIANCE_OBJECT_TYPE、TYPE、CONCERN_TEXT、FIELD、または FIELD_OVERRIDE の場合に発行され、規則ドメインでそれらのタイプを使用できないことを示します。

ユーザーの処置:

別の方法でレポートを作成してください。

重大度:

12

CKR2198 ASSERT と OTHERWISE は同時に指定できません - TEST *name source (ASSERT and OTHERWISE are mutually exclusive - TEST name source)*

説明:

このメッセージは、TEST ステートメントで OTHERWISE と ASSERT を組み合わせることはできないことを示します。ただし、OTHERWISE 節の中のテストでは ASSERT を使用できます (TEST ... OTHERWISE (TEST *name ASSERT*) など)。

ユーザーの処置:

TEST *name source* ステートメントから ASSERT または OTHERWISE のいずれかを削除してください。

重大度:

12

CKR2199 *file* システム *system [version] ALLOC F=MAIN* 複合システムがありません。複合システム "*complex*" を追加します (*file system system [version] no ALLOC F=MAIN complex, adding complex "complex"*)

説明

このメッセージは、セキュリティー・データベースに対する FUNCTION=MAIN ALLOC ステートメントが見つからなかったこと、および zSecure が、示されたシステムの (セキュリティー・データベースなしの) 「空の」複合システムの処理を継続することを示します。複合システム名が固有であることは保証されません。

ユーザーの処置:

別のことを意図していた場合は、適切な FUNCTION=、COMPLEX=、および VERSION= の各パラメーターを指定した ALLOC ステートメントを追加してください。

重大度

00

CKR メッセージ 2200 から 2299

CKR2200

入力ファイルのオープン *type* が異常終了しました *code-reason (stock description) file description (Input open type abend code-reason (stock description) file description)*

説明

このメッセージは、入力ファイルを開けなかったことを示します。最も一般的な異常終了コードについてのストック説明が出力されます。異常終了コードと理由コードを検索するか、ジョブ・ログで関連する IEC、ICH、または IRR メッセージを調べることができます。

ファイル説明には、ファイル名およびデータ・セット名または UNIX パス名が示され、*file description* がリモート・ファイルまたはストレージ・バッファのどちらであるかが示されます。

重大度

16

CKR2201

dsn が *volume* 上の *realdsn* として検出されました (Located *dsn* as *realdsn* on *volume*)

説明

このメッセージは、ユーザーから渡されたデータ・セット名が実際には別名であったことを示します。実際のデータ・セット名とボリューム通し番号が示されます。以降の処理では、別名は実際のデータ・セット名に置き換えられます。

重大度

00

CKR2202

競合するジョブ名 *jobname1* が *ASID asid* で見つかりました (Conflicting *jobname jobname1* found for *ASID asid*)。ジョブ名 *jobname2* が、同じ *ASID* に対して以前に定義されています (Jobname *jobname2* was previously defined for the same *ASID*)。)

説明

アドレス・スペース情報の処理中に、競合するジョブ名が検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

このメッセージを抑止するか (SUP MSG=2202) または OPTION MSGRC=(2202,rc) を使用して重大度を通知レベルまたは警告レベルに下げることができます。

重大度

08 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2203

type=count テストでは OTHERWISE テストをネストできません。位置: *token "value" source* の前 (Nested OTHERWISE test incompatible with *type=count* test - before *token "value" source*)

説明

type=count という形式のコンプライアンス STANDARD コマンドの TEST に指定された OTHERWISE 節でテストがネストしていました。この組み合わせはサポートされません。

ユーザーの処置:

必要なコンプライアンス・テストを別の順序で指定してください。

重大度

12

CKR2204

SITE_SEVERITY source に STANDARD 名がありません (Missing STANDARD name on *SITE_SEVERITY source*)。)

説明

RULE または RULE_SET 名を指定する場合、STANDARD() キーワードを使用して STANDARD 名を

識別する必要もあります。RULE 名および RULE_SET 名は、標準内でのみ固有です。

ユーザーの処置

STANDARD パラメーターを追加してください。

重大度

12

CKR2205 **SITE_SEVERITY** ステートメントが *source* と *source2* で重複しています (**Duplicate SITE_SEVERITY statement source, also source2**)。

説明

ルール、ルール・セット、標準、複合システム、またはシステムが別の SITE_SEVERITY ステートメントでも識別されました。

ユーザーの処置

SITE_SEVERITY ステートメントのいずれかを変更または削除してください。

重大度

12

CKR2206 **RULE** または **RULE_SET source** が指定された **COMPLEX** または **STANDARD** を指定します (**Specify either COMPLEX or STANDARD with RULE or RULE_SET source**)。

説明

SITE_SEVERITY ステートメントに相互に排他的な 2 つの形式があります。ルール (セット) の重大度を却下するか、セキュリティー・データベース (複合システム) に対してより高いか低い重要度を割り当てます。

ユーザーの処置

SITE_SEVERITY ステートメントを 2 つの SITE_SEVERITY ステートメントに分割するか、STANDARD の後に RULE または RULE_SET パラメーターを追加してください。

重大度

12

CKR2207 **SITE_SEVERITY STANDARD name** の *source* が見つかりません (**SITE_SEVERITY STANDARD name not found source**)。

説明

SITE_SEVERITY ステートメントが、見つからない標準名を参照しています。標準名には大/小文字の区別があることに注意してください。

ユーザーの処置

標準名のスペルを確認してください。

重大度

04

CKR2208 **SITE_SEVERITY RULE "name" の source** が見つかりません (**SITE_SEVERITY RULE "name" not found source**)

説明

いずれの組み込みの標準にもないルール・セットを参照する SITE_SEVERITY ステートメントが見つかりました。これは、タイプ入力エラーか、この実行で標準が意図的に省略された可能性があります。

ユーザーの処置:

標準が意図的に省略されているのではない場合は、標準を追加するか、またはタイプ入力エラーを訂正してください。

重大度

04

CKR2209 **SITE_SEVERITY RULE "name" の source** が見つかりません (**SITE_SEVERITY RULE "name" not found source**)

説明

いずれの組み込みの標準にもないルールを参照する SITE_SEVERITY ステートメントが見つかりました。これは、タイプ入力エラーか、この実行で標準が意図的に省略された可能性があります。

ユーザーの処置:

標準が意図的に省略されているのではない場合は、標準を追加するか、またはタイプ入力エラーを訂正してください。

重大度

04

CKR2210 **ID userid: complex[version] の XSGP source group** についてネスト・レベルの深さを超えました (**Id userid: Nesting level depth**)

exceeded for XSGP source group in complex(version)]

説明

ACF2 相互参照ソース・グループ・レコードは最大 25 個のネスト・レベルをサポートします。このメッセージに示されたレコードは、この最大値を超えています。このレコードに対する以降の処理は打ち切られます。

重大度

20

CKR2211 **N/A テストは、OTHERWISE - testsource の後ではサポートされません (N/A test not supported behind OTHERWISE - testsource)**

説明

TEST N/A ステートメントは TEST OTHERWISE チェーンの一部にすることはできません。

ユーザーの処置:

各 N/A TEST は独自のルール内に配置してください。

重大度

12

CKR2212 **SYSTEM にも COMPLEX にも基づいていないため、N/A はタイプ=type でサポートされません - test source (N/A not supported for type=type because not SYSTEM or COMPLEX based - test source)**

説明

TEST N/A 機能は、どのシステムおよび複合システムにルール・セットが適用されるかを定義します。示されている NEWLIST タイプは、SYSTEM フィールドも COMPLEX フィールドもキーの一部として含んでいないため、システムまたは複合システムに対するルール・セットの適用可能性に影響を及ぼすことはできません。

ユーザーの処置:

異なるドメイン NEWLIST タイプを使用するか、TEST N/A ではなく RULE EXEMPT 節を使用します。

重大度

12

CKR2213 **N/A テストと非 N/A テストは、同じルール name source に含めることはできません (N/A tests and non-N/A tests cannot be in same rule name source)**

説明

ルールでは、TEST N/A ステートメントと他の TEST ステートメントを混用することはできません。これは、システムまたは複合システムの非適用可能性を決定するルールはすべて、あらゆるルール・セットから他のテストを行う前に、まず評価する必要があるためです。

ユーザーの処置:

ルール・セットで TEST N/A と通常の TEST を結合するには、それらに異なるルール名を割り当てる必要があります。これらは同じルール・セットの一部にすることができます。

重大度

12

CKR2214 **DOMAIN で SUMMARY を実行しない場合、N/A テストはカウント・テストでサポートされません - test source (N/A test not supported for count test without SUMMARY on the DOMAIN - test source)**

説明

TEST N/A 機能は、どのシステムおよび複合システムにルール・セットが適用されるかを定義します。SYSTEM または COMPLEX (あるいはその両方) で SUMMARY を実行せずに NEWLIST 用のレコードの数をテストする場合、それを特定のシステムまたは複合システムに結び付ける方法はありません。

ユーザーの処置:

SUMMARY(SYSTEM COMPLEX VER COUNT) または SUMMARY(COMPLEX VER COUNT) 節を RULE DOMAIN の DOMAIN 指定に追加してください。

重大度

12

CKR2215 **ddname1 行 number1 のルール・セット setname は、標準 stdname VER(version) 内の ddname2 行 number2 で既に定義されています (Rule set setname at ddname1 line number1 already defined at ddname2 line number2 in standard stdname VER(version))**

説明

RULE_SET は、STANDARD バージョン内で固有の名前を持っている必要があります。

ユーザーの処置:

指定された標準内で同じ名前を持つ 2 つのルール・セットのいずれかの名前を変更してください。

重大度

12

CKR2216 機密性 "*senstype*" ACCESS=*risk* の不整合な CONCERN は無視されました (Inconsistent CONCERN for sensitivity "*senstype*" ACCESS=*risk* ignored)

説明

このメッセージは、機密性タイプとリスク・レベルの組み合わせに対して複数の考慮事項のテキストが生成された場合に発行されます。格納される考慮事項のテキストは1つのみです。このメッセージの発行は非常にまれなケースであると予想されます。通常、メッセージ CKR2386 が代わりに発行されます。

ユーザーの処置

SIMULATE CLASS コマンドを確認して、すべての CONCERN テキストに対して固有の機密性タイプとアクセス・レベルの組み合わせを定義してください。SIMULATE CLASS コマンドが関係していない場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR2217 *file* 行 *number* のフォーマット *format* フィールド *field* の値 *value* が無効です (Invalid value *value* for format *format* field *field* at file line *number*)

説明

SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにフォーマット *format* を持つフィールド *field* に対して無効な値が指定されました。有効なフォーマット値は、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『NEWLIST TYPE=RACF 用の SELECT および EXCLUDE』に記載されています。

重大度

12

CKR2218 *source* 用の CKFCOLL パラメーター (CKFCOLL parameters for *source*)

説明

このメッセージは、SHOW CKFIN コマンドへの応答として発行され、CKFREEZE データ・セットごとに

CKFCOLL への入力パラメーターを後続の行に示します。

重大度

00

CKR2219 *source* 内の *system*[*version*] 用の CKFCOLL メッセージ (CKFCOLL messages for *system*[*version*] in *source*)

説明

このメッセージは、SHOW CKFMSG コマンドへの応答として発行され、CKFREEZE データ・セットごとに、CKFCOLL によって発行されたメッセージを後続の行に示します。

重大度

00

CKR2220 タイプ=*type* のライセンスがないシステムで CKFREEZE が作成されました - *source* (CKFREEZE created on system without type=*type* entitlement - *source*)

説明

このメッセージは、CKFCOLL を使用してスナップショットが取られたシステム上で、資格を与えられていない NEWLIST タイプを CARLa スクリプトが要求した場合に発行されます。

ユーザーの処置:

資格がないレポートを実行しないでください。または、スナップショットを取るために CKFCOLL プログラムが実行されたシステムのライセンスを拡張して、CKFCOLL を再実行してください。

重大度

16

CKR2221 サイトのバナー・ファイル *ddname volser dsname* を開くことができません (Cannot open site banner file *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、SITE_BANNER オプションで指定されたサイト定義の USS テーブル・バナー・ファイルを開くことができないことを示します。ファイルが正しく割り振られているかどうか、およびメンバーが存在するかどうかを確認してください。

重大度

16

CKR2222 ファイル *ddname volser dsname* からの読み取りにはメンバー名が必要です (A member name is required to read from file *ddname volser dsname*)

説明

PDS(E) データ・セットを参照する SITE_BANNER オプションが指定されていましたが、このデータ・セットから読み取られるメンバーが指定されていませんでした。SITE_BANNER オプションに正しいメンバーを追加して、照会を再実行依頼してください。

重大度

16

CKR2223 MSTR DD 名 *ddname* システム *smfid [version]* の連結数 *nnn* が、サポートされている最大数の 127 を超えています (Concat number *nnn* of MSTR *ddname ddname system smfid [version]* larger than supported maximum 127)

説明

CKRCARLA プログラムは、MSTR DD 名の IEFPDSI または IEFJOBS 連結で 127 個を超えるデータ・セットをサポートしません。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR2224 APF データ・セット *dsn* がボリューム *volser* の VTOC で SMS とマーク付けされましたが、システム *system version* ではボリュームは SMS 管理ではありません。メンバーがレポートに存在しない可能性があります (APF data set *dsn* marked SMS in VTOC for volume *volser* but volume not SMS managed on system *system version*; members might be missing in report)

説明

このメッセージは、ボリュームが SMS 管理ではないために、CKFREEZE ファイルがデータ・セットを非 APF としてマーク付けした場合に発行されます。ただし、データ・セットは最終的に APF 許可とみなされます。これは、データ・セットが SMS 管理のボリューム状況ではないものの、APF 状況を決定するフォーマット 1/8 DSCB のビットであるためです。以前の CKFREEZE ファイルの分析を向上させるために、CKRCARLA はデータ・セットを APF 許可とみなします。ボリューム状況の間違った使用が原因で、PDS ディレクトリーは CKFREEZE で自動的にダンプされません。その結果、R_AC1、R_PGM、R_PADS NEWLIST が不完全になる可能性があります。

このメッセージは、CARLa 照会にロード・モジュール分析が必要になり、DEBUG APF が指定されていた場合にのみ発行されます。

重大度

04

CKR2225 システム *smfid [version]* では要求されたレポートに CKFREEZE ファイルが必要です (Requested report requires CKFREEZE file for system *smfid [version]*)

説明

このメッセージは、VERIFY または NEWLIST が要求されましたが、示されたシステム用の CKFREEZE に接続されなかったことを示します。このメッセージは抑止可能ですが、メッセージを抑止すると、結果が予測不能になります。

ユーザーの処置:

適切な CFREEZE ファイルを割り振って、再実行してください。

重大度

16

CKR2226 要求されたレポートの CKFREEZE *smfid [version]* が不完全です - *source* (CKFREEZE *smfid [version]* too incomplete for requested report - *source*)

説明

このメッセージは、VERIFY または NEWLIST が要求されましたが、VERIFY または NEWLIST の情報が不十分であり、示されたシステムで使用可能な CKFREEZE の内容が制限されていたことを示します。このバージョンは ALLOC VERSION キーワードで指定されたものです。システム ID に対して最新の CKFREEZE に関する

ものでない場合は、世代が表示されます。例えば、世代-1 は最新のものの直前の CKFREEZE を意味します。

このメッセージは抑止可能ですが、メッセージを抑止すると、結果が予測不能になります。このメッセージの後には、不完全な情報の原因となった CKFCOLL オプションが示されます。オプションの先頭に 'shr' が付いている場合は、VERSION 内で、十分なオプションを持つ SHARED=Y CKFREEZE ファイルが検出されなかったことを意味します。例えば、'shr CAT<>YES' は、カタログの内容を表示するために使用できる SHARED=Y,CAT=Y CKFREEZE が割り振られていなかったことを意味します。

DASD のみの分析を可能にするためのテープ・カタログのみ欠落している場合、メッセージの重大度は 4 です。ただし、VERIFY NOTEMPTY を実行することにより、アンカタログされたテープ・データ・セットをカバーするプロファイルを削除するためのコマンドが生成される場合があります。

ユーザーの処置:

必要な VERIFY 関数についての適切な内容を含めて CFREEZE ファイルを作成し (示されたオプションは指定しない)、それらの CFREEZE ファイルを割り振って再実行してください。すべての DASD がシスプレックス内のメンバー間で共有されている場合は、1つの SHARED=Y CKFREEZE ファイルを持つだけで十分であり、残りは SHARED=N にすることができます。

重大度

16 または 4

CKR2227 **COMPLIANT、NONCOMPLIANT、N/A、および ASSERT は同時に使用できません - test source (COMPLIANT, NONCOMPLIANT, N/A and ASSERT are mutually exclusive - test source)**

説明

TEST N/A は、ルール・セットが適用されるシステムおよび複合システムを定義します。一方、TEST ASSERT は、手動アサーションが必要であることを示します。TEST COMPLIANT および TEST NONCOMPLIANT は、結果が準拠か非準拠かを明示的に定義します。これらのテスト機能は同時に使用することはできません。

ユーザーの処置

ルール・セットで TEST N/A と通常の TEST を結合するには、それらに異なるルール名を割り当てる必要があります。これらは同じルール・セットの一部にすることができます。アサーションは別個の TEST ステートメントに指定する必要があります。

重大度

12

CKR2228 **DDNAME=ddname は E メールでは許可されていません (DDNAME=ddname not allowed for e-mail)。DDNAME=C2REMAIL を指定する必要があります (DDNAME=C2REMAIL required)。**

説明

MAILTO オプションを使用して、C2REMAIL とは異なる ddname が指定されました。代わりに、C2REMAIL を使用してください。

重大度

12

CKR2229 **SUMMARY はマージと結合できません。ドメイン domain source (SUMMARY cannot be combined with merge, domain domain source)**

説明

このメッセージは、DOMAIN 上の SUMMARY を、SELECT パラメーター上の複数の NEWLIST タイプと結合できないことを示します。

ユーザーの処置

DOMAIN から SUMMARY を削除するか、DOMAIN SELECT から NEWLIST タイプを削除してください。

重大度

12

CKR2230 **ドメインのマージでサポートされるのは 2 つのタイプのみで、number はサポートされません。ドメイン domain source (Domain merge only supports 2 types, not number, domain domain source)**

説明

このメッセージは、ドメインと 2 つの NEWLIST タイプとのマージのみがサポートされ、それ以上はサポートされないことを示します。このメッセージは抑止可能ですが、抑止した場合、結果が予測不能になります。

重大度

12

CKR2231 パスワードでの特殊文字のサポートは、現行システムでは無効です (Password support for special characters not enabled on current system)

説明

マージ操作のソース・データベースでは、パスワードでの特殊文字が許可されていますが、現行データベースでは許可されていません。パスワードがソース・データベースから現行データベースにコピーされると、特殊文字を含むパスワードを持つユーザーは、このパスワードを使用してログインすることができなくなります。

重大度

00

CKR2232 現行システムでは、KDFAES 暗号化はサポートされていません (Current system does not support KDFAES encryption)

説明

マージ操作のソース・データベースでは、パスワードのハッシュ処理に KDFAES 暗号化アルゴリズムが使用されますが、現行データベースでは使用されません。パスワードをソース・データベースから現行データベースにコピーするコマンドは生成されません。

重大度

00

CKR2233 RETCONC: 監査に関する考慮事項に変数がありますが、考慮事項のテキストに変数が見つかりませんでした (RETCONC: Audit concern contains variables, however none were found in the concern text)

説明

このメッセージは、サポートされていない状態を通知するものです。監査に関する考慮事項が変数を関連付けましたが、変数を考慮事項のテキストに置換できませんでした。コンテキストを把握するには、DEBUG NLS を指定して照会を再実行し、このメッセージの直前に発行される CKR1631 メッセージを調べてください。

ユーザーの処置:

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。少なくとも、説明で触れた CKR1631 メッセージによる関連情報を報告してください。

重大度

08

CKR2235 NOOVM キーワードは、NEWOVUID、NEWOVMGID、NEWOVMPROGRAM、NEWOVHME、および NEWOVMSROOT の各キーワードと同時に使用することはできません。(The NOOVM keyword is mutually exclusive with the NEWOVUID, NEWOVMGID, NEWOVMPROGRAM, NEWOVHME, and NEWOVMSROOT keywords.)

説明

NOOVM キーワードが COPY コマンドで使用されている場合は、NEWOVUID、NEWOVMGID、NEWOVMPROGRAM、NEWOVHME、および NEWOVMSROOT の各キーワードは使用できません。

ユーザーの処置:

該当するキーワードを除去して、COPY コマンドを再発行してください。

重大度

12

CKR2236 アンロードの 2 パス読み取りがサーバーでサポートされていません。(Two-pass READ of unload not supported by server.) zSecure サーバーをアップグレードしてください。(Please upgrade the zSecure server.)

説明

このメッセージは、ローカル・サーバーまたはリモート・サーバーがリモート UNLOAD データ・セットの読み取りをサポートしていないことを示します。

ユーザーの処置:

ローカル・サーバーまたはリモート・サーバーを、リモート UNLOAD データ・セットの 2 パス読み取りをサポートするレベルにアップグレードしてください。zSecure V2.2.0 以降では、リモート RACF データベースの 2 パス読み取りがサポートされています。

重大度

12

CKR2238 複合システム *name* で、*count* 件の変数キー・プロファイル・セグメントをキャッシュするために、*metricspec* バイトの一時ストレージ

が使用されました (Complex name used metricspec bytes of transient storage for caching count variable-key profile segments)

説明

このメッセージは、プロファイル・キー内で RACF 変数名を持つプロファイル・セグメントを保管する際に、一時的に使用された仮想ストレージの量を示しています。これらのプロファイルは、各変数が解決されるまで、ストレージ内に保管されます。DEBUG DICT でストレージの使用をリストする際に、別のデータでこのストレージが再利用されていることがあります。

ユーザーの処置:
何も必要ありません。

重大度

00

CKR2240 **NEWPHRASE** または **PROTECTED** は、**NOPASSWORD** とともに指定する必要があります (**NEWPHRASE** or **PROTECTED must be specified with NOPASSWORD**)

説明

NOPASSWORD が指定されているが **PROTECTED** パラメーターまたは **NEWPHRASE** パラメーターが指定されていない **COPY USER** ステートメントが検出されました。

重大度

12

CKR2241 **NEWPASSWORD** を **NOPASSWORD** パラメーターとともに指定することはできません (**NEWPASSWORD cannot be used with NOPASSWORD parameter**)

説明

相互に排他的である **NEWPASSWORD** パラメーターと **NOPASSWORD** パラメーターの両方が指定された **COPY USER** ステートメントが検出されました。

重大度

12

CKR2242 **NOPASSWORD** は、**KDFAES** 対応システムよりも前のシステムで実行された場合、構文エラーの原因となる可能性があります (**NOPASSWORD might result in a syntax error if run on pre-KDFAES capable system**)

説明

KDFAES 対応システムよりも前のシステムで **NOPASSWORD** が指定された **COPY USER** ステートメントを実行すると、コマンドが失敗する可能性があります。

重大度

04

CKR2243 **FAUDIT** は、**TYPE=OUTPUT** と **FILEDESC/PATH** の両方が指定されていて、**SVC99** が指定されていない場合のみ有効です (**ddname** の行 **number**) (**FAUDIT** only valid with both **TYPE=OUTPUT** and **FILEDESC/PATH**, and not with **SVC99** - at **ddname** line number)

説明

出力用にオープンする必要がある UNIX の **filedesc** または UNIX のパス名の場合、**ALLOC** ステートメントで指定できるのは **FAUDIT** だけです。また、このオプションは、**DYNALLOC** を使用して割り振られた UNIX ファイルではサポートされません。

重大度

12

CKR2244 *type "value"* の前の監査フラグ・ストリングで引用符を使用することはできません (**DDname** の行 **number**) (**Quotes not supported in audit flags string before type "value" at DDname line number**)

説明

ALLOC パラメーターの **FAUDIT** では、文書化された構文のみ使用することができます。

重大度

12

CKR2245 制限モードにより、有効範囲レポートと **myaccess/scop** に対して **SUPPRESS REASON=(WARN,NOPROFILE,SELFCONNECT,PWDCHANGE,CKGRACMAP,CKGRACDCERT)** が適用されます (**SUPPRESS REASON=(WARN,NOPROFILE,SELFCONNECT,PWDCHANGE,CKGRACMAP,CKGRACDCERT) for scope reports and myaccess/scope**)

説明

これは、report scope、newlist scope= parameter、my access、my scope のうち、いずれかの関数が制限モードで要求された場合に発行される通知メッセージです。制限モードで有効範囲レポートを実行すると、レポートに記録される情報量が少なくなることがあります。

間接アクセス機能の認識を許可する場合や、警告モードのプロファイルを検索する場合は、ユーザーの直接的な有効範囲外のオブジェクトの情報が必要になります。そのため、定義上、制限モードの場合は、出力がユーザーの直接的な有効範囲だけに制限され、間接アクセスの理由と警告モードが抑制されることになります。

重大度

00

CKR2247 **UNIX シンボリック・リンクの \$SYSNAME または \$VERSION 解決が失敗しました。システム system dd ddname の OEXT レコードが見つかりません (\$SYSNAME or \$VERSION resolution for UNIX symbolic link failed. OEXT record not found for system system dd ddname)**

説明

示されたシステムの、示された dd で割り振られている CKFREEZE ファイルに、z/OS UNIX OEXT 制御ブロック・レコードが含まれていません。このレコードは、\$SYSNAME または \$VERSION で始まるシンボリック・リンクを持つ z/OS UNIX パスを解決するために必要です。レポートは信頼できない可能性があります。

ユーザーの処置

OEXT に関するメッセージについて、zSecure Collect ジョブを確認してください。新しい CKFREEZE を最新レベルの CKFCOLL で作成してください。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR2248 **UNIX シンボリック・リンクの \$SYSNAME 解決が失敗しました。システム system dd ddname のシンボル &SYSNAME が見つかりません (\$SYSNAME resolution for UNIX symbolic link failed. Symbol**

&SYSNAME not found for system system dd ddname)

説明

示されたシステムの、示された dd で割り振られている CKFREEZE ファイルに、&SYSNAME システム・シンボルの値が含まれていません。この値は、\$SYSNAME で始まるシンボリック・リンクを持つ z/OS UNIX パスの解決に必要です。レポートは信頼できない可能性があります。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR2249 **\$SYSSYMA/ および \$SYSSYMR/ で始まるシンボリック・リンクはサポートされません。結果は予測できない可能性があります。システム system dd ddname (Symbolic links starting with \$SYSSYMA/ and \$SYSSYMR/ are not supported. Results may be unexpected. System system dd ddname)**

説明

z/OS UNIX ファイル・システム・データの処理中に、\$SYSSYMA/ および \$SYSSYMR/ で始まるターゲットがあるシンボリック・リンクが検出されました。このシンボリック・リンクはサポートされていません。レポートは信頼できない可能性があります。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR2250 **UNIX シンボリック・リンクの \$VERSION 解決が失敗しました。システム system dd ddname の OPTN レコードが見つかりません (\$VERSION resolution for UNIX symbolic link failed. OPTN record**

not found for system system dd
ddname)

VERSION complex1 version1
instead of complex2 version2)

説明

示されたシステムの、示された dd で割り振られている CKFREEZE ファイルに、BPXPRMxx メンバーからの値を持つ z/OS UNIX OPTN 制御ブロックが含まれていません。このレコードは、\$VERSION で始まるシンボリック・リンクを持つ z/OS UNIX パスを解決するために必要です。レポートは信頼できない可能性があります。

ユーザーの処置

OPTN に関するメッセージについて、zSecure Collect ジョブを確認してください。新しい CKFREEZE を最新レベルの CKFCOLL で作成してください。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR2251 *dsn* または *path* に一致する CKFREEZE ファイルがないため、*system1* を複合システム *complex version* デフォルト *system2* でシミュレートします (Simulating system *system1* with complex *complex version* default *system2* because no CKFREEZE file matching *dsn* or *path*)

説明

この通知メッセージは、ACCESS レコードに *system1* が含まれており、このシステムに CKFREEZE が検出されず、複合システムからのデフォルト・システム *system2* の選択を指示する SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT が指定されている場合に出されます。これは COMPLEX= パラメーターが ALLOC TYPE=ACCESS ステートメントにある場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKR2252 システム *system* を *complex2 version2* の代わりに COMPLEX/VERSION *complex1 version1* でシミュレートします (Simulating system *system* with COMPLEX/

説明

このメッセージは、TYPE=ACCESS ファイルに対して COMPLEX= パラメーターまたは VERSION= パラメーターが受け入れられず、結果として SIM_ フィールドが空になるため、警告しています。代わりに、示されたデータベース (複合システムおよびバージョン) が使用されます。

ユーザーの処置:

これが実行しようとしている内容であることを確認してください。

重大度

00

CKR2253 *zsecnode zsecsys* でファイル *file* のリモート割り振りが失敗しました (File *file* remote allocation failed on *zsecnode zsecsys*)

説明:

このメッセージは、リモート・ファイルの割り振りに失敗したことを示します。

ユーザーの処置:

ファイルに関する追加メッセージを探して詳細情報を調べ、ALLOC ステートメントを修正してください。

重大度

16

CKR2254 CKFREEZE ベースの *newlist* タイプがないため、*system* からのライブ設定を使用して処理される *complex version* のデータベースのみを使用できます (Database for *complex version* processed with live settings from *system*, only allowed because no CKFREEZE based *newlist* types)

説明:

このメッセージは、示された複合システムの CKFREEZE ファイルがなかったことを警告します。レコード・キーにシステム名が指定された NEWLIST TYPE の要求がなかったため、zSecure は比較を続行します。ライブ・システム設定は、複合システムのデフォルト・システムとして使用されます。これは制限モードであっても使用できます。

ユーザーの処置

データベースの提供元システム以外のシステムのライブ設定を使用すると、レポートで以下の問題が発生する場合があります。

- カスタム・データ・フィールドの誤り。
- 分割されたデータベースに適切な範囲テーブルを使用していないため、欠落しているか「非表示」のプロファイルが突然表示されたり非表示になったりする。

この状態が発生した場合は、F=BASE 割り振りに別の VERSION を持つ適切な CKFREEZE データ・セットを接続してください。

CKR2255 **CKFREEZE ベースの newlist タイプがないため、system からの F=BASE ライブ設定を使用して処理される complex version のデータベースのみを使用できます (Database for complex version processed with F=BASE live settings from system, only allowed because no CKFREEZE based newlist types)**

説明:

このメッセージは、示された複合システムの CKFREEZE ファイルがなかったことを警告します。レコード・キーにシステム名が指定された NEWLIST TYPE の要求がなかったため、zSecure は比較を続行します。ライブ・システム設定は、複合システムのデフォルト・システムとして使用されます。これは制限モードであっても使用できます。

ユーザーの処置

データベースの提供元システム以外のシステムのライブ設定を使用すると、レポートで以下の問題が発生する場合があります。

- 誤ったカスタム・データ・フィールドが表示される。
- 分割されたデータベースに適切な範囲テーブルを使用していないため、欠落しているか「非表示」のプロファイルが突然表示されたり非表示になったりする。

この状態が発生した場合は、FUNCTION=BASE 割り振りに別の VERSION を持つ適切な CKFREEZE データ・セットを接続してください。

CKR2256 **INMEM を 26 より長くすることはできません - ddname の行 number の delimiter (INMEM cannot be longer than 26 - delimiter at ddname line number)**

説明

ALLOC TYPE=SMF INMEM=rname コマンドが使用され、SMFPRMxx で定義されたメモリー内リソースを指しています。リソース名の最大長は 26 文字です。

重大度

12

CKR2257 **IFAMQRY 戻り域が小さすぎます。 ReturnedImrs=value (IFAMQRY**

return area too small, ReturnedImrs=value)

説明

このメッセージは、予期しないほど多くの SMF INMEM リソース名が IFAMQRY サービスから返されたことを示します。結果が返された場合は、そのサブセットで処理を続行します。このメッセージは、返されたリソース名の数を示します。

ユーザーの処置:

INMEM 定義の数を 32 以下に減らすか、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR2258 **IFAMQRY からの予期しない戻りコード。(Unexpected return code from IFAMQRY.) SMF INMEM 情報が見つかりません。(SMF INMEM information not found.) RC=rc (16 進数)、RSN=rsn (16 進数) (RC=rc hex, RSN=rsn hex)**

説明

このメッセージは、SMF INMEM リアルタイム・インターフェースから情報を取得するのに失敗したことを示します。このメッセージの後に、QRPB パラメーター制御ブロックのダンプが出力されます。

ユーザーの処置:

戻りコードおよび理由コードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」の IFAMQRY に関する情報を参照してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR2259 **INMEM rname が許可されました。 SMF レコード・タイプ・マスク bitmask (INMEM rname allowed, SMF record type mask bitmask)**

説明

この通知メッセージは、ALLOC コマンドで要求された INMEM リソース名が見つかり、許可されたことを示し

ます。また、INMEM リソースの SMF タイプ・マスクもリストします。

重大度

00

CKR2260 **ALLOC INMEM=rname が見つからないか許可されていません (ALLOC INMEM=rname not found or not authorized)**

説明

ALLOC ステートメントで INMEM リソース名が要求されましたが、見つからなかったか、ユーザーがリソース FACILITY IFA.rname に対する SAF 権限を持っていませんでした。

ユーザーの処置:

リソース名のスペルを確認するか、SMFPRMxx PARMLIB メンバーと比較するか、リソースに対する SAF 権限を確認するか、z/OS リリースが INMEM をサポートしていることを確認してください。

重大度

12

CKR2261 **ALLOC INMEM には 64 ビット・プログラムが必要です (ALLOC INMEM requires 64 bit program)**

説明

ALLOC INMEM= 指定は 64 ビット・ロード・モジュールから実行する必要があります。

ユーザーの処置:

ハードウェアのレベルが z196 以上であることを確認してください。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の ALLOCATE に関するセクションに記載されている ALLOC PROGRAM パラメーターも参照してください。

重大度

12

CKR2262 **INMEM rname に対する IFAMCON からの予期しない戻りコード。RC=rc (16 進数)、RSN=rsn (16 進数) (Unexpected return code from IFAMCON for INMEM rname, RC=rc hex, RSN=rsn hex)**

説明

このメッセージは、SMF INMEM リアルタイム・インターフェース への接続に失敗したことを示します。戻りコードおよび理由コードの意味については「z/OS MVS

プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」の IFAMCON に関する情報を参照してください。このメッセージの後に、CNPB パラメーター制御ブロックのダンプが出力されます。

ユーザーの処置:

戻りコードおよび理由コードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」の IFAMCON に関する情報を参照してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR2263 **clause source で暗黙的に指定されたフィールド field について、制限付きモードでの選択により、newlist [name] へのアクセスが最小限に抑えられ、level になっています (Selection in restricted mode raises minimum access on newlist [name] to level for field field implied in clause source)**

説明

対象の制限付きフィールドが SELECT 節で暗黙的に指定されているため、指定された newlist の出力が、ユーザーが必要なアクセス権限を持っているレコードだけに自動的に制限されています。

重大度

00

CKR2264 **制限モードでの選択は、clause source で暗黙的に指定されたフィールド field では許可されません (Selection in restricted mode not allowed on field field implied in clause source)**

説明

プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働している場合は、示されたフィールドでの選択はできません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合は、示されたフィールドが欠落していると思われることを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。BUILTIN と RACF でズームインした後、基本コマンド FIELD からの出力の

Restrictions 列に、このフィールドに適用される制限が表示されます。ただし、このコマンドも制限モードで発行されていることが条件です。(これを実現するには、SETUP PREAMBLE で SIMULATE RESTRICT を指定します)。

注：制限の対象が OWNER または CKGOWNR で、制限付きフィールドが SELECT ステートメントで使用されている場合は、CKR2263 メッセージが代わりに発行されます。

重大度

04 または 12

CKR2265 **likelist=name2 source** について、制限付きモードでの選択により、**newlist [name] source** へのアクセスが最小限に抑えられ、**level** になっています (**Selection in restricted mode raises minimum access on newlist [name] source to level for likelist=name2 source**)

説明

newlist *name2* の出力が、このメッセージの前の CKR2263 メッセージまたは CKR2463 メッセージで通知された必要なアクセス権を持つユーザーの記録だけに自動的に制限されています。この newlist では、その newlist を参照する LIKELIST SELECTION 節が指定されているため、同じ最小アクセス要件が適用されません。

重大度

00

CKR2266 **NEWLIST name source** で **SEGMENT=segmentname** が指定されていますが、選択内容が一致していません (**SEGMENT=segmentname on NEWLIST name source but selection does not seem to match**)

説明

newlist が対象のセグメントに対して固有であると想定した場合、SEGMENT=*segmentname* の存在によって有効な選択の実行方法が決まります。後で SELECT ステートメントを分析した結果、newlist が対象のセグメントに対して実際に固有であるという結論には達しませんでした。別のセグメントに対して newlist が実際に固有である場合、このメッセージの戻りコードは 12 になります。制限モードの場合も、このメッセージの戻りコードは 12 になります。いずれの条件にも一致しない場合、このメッセージのデフォルトの戻りコードは 4 になります。OPTION MSGRC=(2266,*rc*) を指定すると、この戻りコードが影響を受けることがあります。

このメッセージを抑止することはできません。CKR2267 も参照してください。

ユーザーの処置:

この照会が対象のセグメントに対して固有ではない場合は、NEWLIST ステートメントから SEGMENT= パラメーターを削除してください。SELECT ステートメントが複雑なために分析が失敗した場合は、CLASS=*class* SEGMENT=*segment* KEY=*key* などではまるように書き換えてください (適切な場合)。その際、この文節の後に OR 条件を指定しないでください。

重大度

04 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り) または 12

CKR2267 セグメント *segmentname* で、**fieldaddr fieldname (fieldname2** に基づく) の複数の値が指定されています - 定義された **source (Multiple values for fieldaddr fieldname [based on fieldname2] in segment segmentname - defined source)**

説明

指定された *field* の 1 件のレコードで、複数の値が存在しています。NEWLIST ステートメントで SEGMENT= の指定があり、それを使用して照会が用意されました。このメッセージの前の CKR2266 メッセージでは、選択内容が対象セグメントに対して実際には固有ではないという警告が通知されています。現在のレコードは、別の *segmentname* セグメントに対するレコードです。このセグメント内では、対象のフィールドを正常に繰り返すことができます。2 次値は破棄されます。このメッセージは、*source* によって識別される特定の出力列に対して 1 回だけ発行されます。出力フィールドが、別の名前前のフィールドに基づいて定義された変数である場合、その基となったフィールドが *field2* として表示されます。このメッセージは抑制することができます。

ユーザーの処置:

CKR2266 を参照してください。

重大度

04

CKR2268 **INMEM name** に対する IFAMGET からの予期しない戻りコード。RC=*rc* (16 進数)、RSN=*rsn* (16 進数) (**Unexpected return code from IFAMGET for INMEM name, RC=*rc* hex, RSN=*rsn* hex**)

説明

このメッセージは、SMF INMEM リアルタイム・インターフェース から次のレコードを取得するのに失敗した

ことを示します。このメッセージの後に、GET パラメーター・ブロック GTPB のダンプが出力されます。

ユーザーの処置:

戻りコードおよび理由コードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」の IFAMGET に関する情報を参照してください。電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR2269 **INMEM rname が先頭から上書きされたため、SMF レコードをスキップしました。RESSIZMAX または prio を増加させてください (SMF records skipped due to INMEM rname wraparound, increase RESSIZMAX or prio)**

説明

このメッセージは、すべての SMF レコードを渡すまでに SMF INMEM リアルタイム・インターフェース でバッファの折り返しが発生したことを示します。ログ・レコードとの整合性を確保するために、SMF のディスパッチング優先順位、コンシューマー・ジョブ (CKQRADAR など)、および TCPIP スタックのすべてを、多数の SMF レコードを書き込むタスクのディスパッチング優先順位より高くするか、スベア・プロセッサ容量を確保しなければなりません。

重大度

08

CKR2270 **INMEM name に対する IFAMDSC からの予期しない戻りコード。RC=rc (16 進数)、RSN=rsn (16 進数) (Unexpected return code from IFAMDSC for INMEM name, RC=rc hex, RSN=rsn hex)**

説明

このメッセージは、SMF INMEM リアルタイム・インターフェース からの切断に失敗したことを示します。このメッセージの後に、パラメーター制御ブロックのダンプが出力されます。

ユーザーの処置:

戻りコードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」を参照してください。電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探して

ください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR2271 **PAGEALIGN は 1 から 255 までの範囲になければなりません (PAGEALIGN must be in range 1...255)**

説明

印刷オプション PAGEALIGN は、0 より大きく、256 より小さい値にする必要があります。

重大度

12

CKR2272 **無効な IP アドレス「string」が ddname の行 number にあります (Invalid IP address 'string' at ddname line number)**

説明

このメッセージは、CARLa スクリプトに、無効な IP アドレス (IPv4 または IPv6) があることを示します。

ユーザーの処置

対応する CARLa スクリプトを調整して、有効な IP アドレスの指定を行ってください。

重大度

12

CKR2273 **セグメント・パラメーター segment1 と segment2 を同時に使用することはできません (Segment parameters segment1 and segment2 are mutually exclusive)**

説明:

SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにおいて、SEGMENT=segment1、SEG=segment1、S=segment1、または segment1 パラメーターの後に segment2 パラメーターを指定することはできません。

CKR2274 **volser ckds system [version] のサポートされない CKDS ヘッダー・レコード・バージョン nn、レコード recno ddname vol ckfreeze (Unsupported CKDS header record version nn for volser ckds system [version], record recno ddname vol ckfreeze)**

説明:

ICSF CKDS ヘッダー・レコードは、プログラムがサポートしないバージョンを示します。メッセージには、CKFREEZE のレコード番号が示されます。CKDS データ・セットは処理されません。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR2275 *volser pkds system [version] のサポートされない PKDS ヘッダー・レコード・バージョン nn、レコード recno ddname vol ckfreeze (Unsupported PKDS header record version nn for volser pkds system [version], record recno ddname vol ckfreeze)*

説明:

ICSF PKDS ヘッダー・レコードは、プログラムがサポートしないバージョンを示します。メッセージには、CKFREEZE のレコード番号が示されます。PKDS データ・セットは処理されません。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR2276 **OPTIMIZE=STORAGE が指定されていますが、照会が有効ではありません (OPTIMIZE=STORAGE specified but query not eligible)**

説明

この通知メッセージは、OPTION OPTIMIZE=STORAGE が明示的に指定されたが処理できない場合に発行されます。

重大度

00

CKR2277 *volser tkds system [version] のサポートされない TKDS ヘッダー・レコード・バージョン nn、レコード recno ddname vol ckfreeze (Unsupported*

TKDS header record version nn for volser tkds system [version], record recno ddname vol ckfreeze)

説明:

ICSF TKDS ヘッダー・レコードは、プログラムがサポートしないバージョンを示します。メッセージには、CKFREEZE のレコード番号が示されます。TKDS データ・セットは処理されません。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、[電子サポート Web サイト](#)を検索してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR2278 **ACCESS= には SENSITIVITY= が必要です。位置: token "value" source の前 (ACCESS= requires SENSITIVITY=, before token "value" source)**

説明

SENSITIVITY キーワードも存在する場合は (DATASET を除きます)、SIMULATE CLASS および SIMULATE RESTYPE は ACCESS キーワードのみを受け入れます。

ユーザーの処置

アクセス・リスク・レベルに関連した機密性を追加するか、リスク・レベルを削除してください。

重大度

12

CKR2279 **CKAUNIX.CKASENIX: IRIXes を構築するためのメモリーがありません。UNIX ファイルは機密と認識されていません (CKAUNIX.CKASENIX: No memory to build IRIXes, UNIX files not recognized as sensitive)**

説明

メモリーが不足しています。このエラーの結果、UNIX 処理で適切な機密ファイル検索用の構成を構築することができません。TYPE=UNIX で PRIV_* 繰り返しグループが空になっています。

ユーザーの処置:

REGION のサイズを増加させるか照会を制限して、問題が解決されるかどうか調べてください。

重大度

08

CKR2280 CLASS='UNIXfile'c の場合は RESOURCE_LOCATION がサポートされません。位置: *source* の前 (RESOURCE_LOCATION not supported for CLASS='UNIXfile'c before *source*)

説明

SIMULATE CLASS='UNIXfile'c (または SIMULATE RESOURCE_TYPE=UNIXFILE) では RESOURCE_LOCATION を指定できません。

ユーザーの処置

SIMULATE コマンドから RESOURCE_LOCATION (または RESLOC) の指定を削除してください。

重大度

12

CKR2281 SIMULATE CLASS=*class* は ACCESS=*access- source* を許可しません (SIMULATE CLASS=*class* does not allow ACCESS=*access- source*)

説明

示されたクラスでは、示されたアクセス・レベルをサポートしていません。SIMULATE CLASS について詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『SIMULATE』を参照してください。

ユーザーの処置

クラスが UNIXfile である場合は、UPDATE を WRIT-NX に変更するか READ を READ-NX に変更してください。それ以外のクラスの場合は、UPDATE または READ を使用してください。CLASS キーワードを使用する場合は、UNIXfile を 'UNIXfile'c と指定して大/小文字の区別を保持する必要があります。代わりに RESOURCE_TYPE=UNIXFILE を指定することもできます。

重大度

12

CKR2282 リソース名は 246 文字以下でなければなりません。位置: *source* (Resource name longer than 246 not expected before *source*)

説明:

SIMULATE CLASS ステートメントや SIMULATE RESOURCE_TYPE ステートメントで現在サポートされている長さを超えるリソース名を指定すると、このメッセージが発行されます。SAF リソースの場合のリソース名の最大長は 246 文字です。UNIXFILE リソースの場合のリソース名の最大長は 1023 文字です。

ユーザーの処置:

正しい CLASS および RESOURCE *name* を指定したことを確認してください。UNIX ファイルを指定しなければならない場合は、SIMULATE RESTYPE ステートメントを使用することを推奨します。UNIX ファイルの指定に SIMULATE CLASS を使用する場合は、ここ示されているとおり正確に CLASS='UNIXfile'c と指定してください。

重大度

12

CKR2283 SIMULATE RESOURCE_TYPE=*restype* はサポートされていません - *source* (SIMULATE RESOURCE_TYPE=*restype* is not supported - *source*)

説明

現在、SIMULATE RESOURCE_TYPE=*restype* がサポートしているのは UNIXFILE のみです。

ユーザーの処置

SAF クラスの場合は、代わりに SIMULATE CLASS=*class* を使用してください。

重大度

12

CKR2284 BOOLEAN DEFINE *name* (type=*type*) *source* には WHERE 節が必要です (WHERE clause required for BOOLEAN DEFINE *name* (type=*type*) *source*)

説明

ブール統計を評価するには条件が必要です。これは、DEFINE ステートメント上の WHERE 節自体でなければならないか、または、DEFINE ... BOOLEAN(*variable*) の場合、参照される変数に WHERE 節がなければなりません。

ユーザーの処置:

WHERE 節が不要な場合、BOOLEAN を TRUE に変更します。そうでない場合は、必ず、WHERE 節を使用可能にしてください。

重大度

12

CKR2285 長さ *len1* の IP アドレスは長さ *len2* に切り捨てられました - **address (IP address of length *len1* truncated to length *len2* - address)**

説明:

このメッセージは、IP アドレスまたは DNS 名をバーの下の方にコピーするときには切り捨てたことを示します。

ユーザーの処置:

IP アドレス指定の誤っている部分を修正してください。

重大度

8

CKR2286 **TYPE=RACF の DOMAIN_OPTION の「FLATTEN」は、token source の前には使用できません (DOMAIN_OPTION "FLATTEN" not allowed for TYPE=RACF before token source)**

説明

NEWLIST オプション FLATTEN は、TYPE=RACF ではサポートされていません。

ユーザーの処置:

CARLa 照会、つまり、示された DOMAIN ステートメントの OPTION(RACF(..)) パラメーターを変更してください。

重大度

12

CKR2287 オプション **FLATTEN(fieldname)** には有効な **source** がありません (**Option FLATTEN(fieldname) has no effect source**)

説明

示された *fieldname* に対して NEWLIST オプション FLATTEN が指定されましたが、そのフィールドはフラット化の対象として適格ではありません。上位互換性のため、これは通常、禁止されてはなりません。しかし、照会からの出力はその指定によって変更されません。OPTION MSGRC=(2287,rc) はメッセージの重大度に影響を与えるために使用され、メッセージ重大度は CKRCARLA プログラムの戻りコードに影響を与えません。このメッセージは有効な戻りコードに関係なく抑止可能です。

ユーザーの処置:

この状態を解決することが望ましい場合は、CARLa 照会、つまり、示された DOMAIN ステートメントの OPTION(type(FLATTEN=*fieldname*)) パラメーターを変更するか、このオプションの前に SUPPRESS MSG=2287 コマンドを追加してください。

重大度

04 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2288 **TYPE=RACF source** では **FLATTEN** は許可されていません (**FLATTEN not allowed for TYPE=RACF source**)

説明

NEWLIST オプション FLATTEN は、TYPE=RACF ではサポートされていません。

ユーザーの処置:

CARLa 照会を変更してください。

重大度

12

CKR2289 オプション **FLATTEN(fieldname)** には有効な **source** がありません (**Option FLATTEN(fieldname) has no effect source**)

説明

示された *fieldname* に対して NEWLIST オプション FLATTEN が指定されましたが、そのフィールドはフラット化の対象として適格ではありません。上位互換性のため、これは通常、禁止されてはなりません。しかし、照会からの出力はその指定によって変更されません。OPTION MSGRC=(2289,rc) はメッセージの重大度に影響を与えるために使用され、メッセージ重大度は CKRCARLA プログラムの戻りコードに影響を与えません。このメッセージは有効な戻りコードに関係なく抑止可能です。

重大度

04 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2290 オプションは **TYPE= - FLATTEN source** の後でのみ有効です (**Option only valid behind TYPE= - FLATTEN source**)

説明

NEWLIST オプション FLATTEN(*fieldname*) の変換処理は、フラット化されるフィールドが属するレポート・タイプによって異なります。NEWLIST での TYPE= の指

定は、FLATTEN(*fieldname*) より前になければなりません。

ユーザーの処置:

NEWLIST ステートメントの TYPE= パラメーターを FLATTEN パラメーターより前に移動してください(または、レポート・タイプがデフォルト値に設定されている場合は、TYPE= パラメーターを明示的に追加してください)。

重大度

12

CKR2291 **DEFSENS ACCESS=level は CLASS='class'c - source で許可されていません (DEFSENS ACCESS=level not allowed with CLASS='class'c - source)**

説明

示されたクラスでは、示されたりスク・アクセス・レベルはサポートされていません。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の DEFSENS コマンドに関する情報を参照してください。

ユーザーの処置:

クラスが UNIXfile である場合は、UPDATE を WRIT-NX に変更するか READ を READ-NX に変更してください。それ以外のクラスの場合は、UPDATE または READ を使用してください。CLASS キーワードを使用する場合は、UNIXfile を 'UNIXfile'c と指定して大/小文字の区別を保持する必要があります。代わりに RESOURCE_TYPE=UNIXFILE を指定することもできます。単一の DEFSENS ステートメントで、UNIXfile と他のクラスとを混在させて、CLASS または RESTYPE の指定リストにより ACCESS レベルを指定することはしないでください。このメッセージは、DEFSENS ステートメントごとに 1 回限り発行されます。

重大度

12

CKR2292 **DEFSENS source での考慮事項 ID id は以前に SIMULATE 上で使用されていました (Concern id id on DEFSENS source was used on SIMULATE before)**

説明

このメッセージは、この DEFSENS ステートメントに指定されている ID が、以前に SIMULATE ステートメントに指定されていたことを示しています。DEFSENS に指定される考慮事項 ID は固有の監査の考慮事項および優先順位を識別しなければなりません。SIMULATE に指定される考慮事項 ID は相互に検証される(または記憶される)ことはありません。以前の SIMULATE ステ

ートメントで、同じ ID を使用して別の監査に関する考慮事項を割り当てた可能性があります。

ユーザーの処置

気にしない場合は、このメッセージを抑止することができます。十分な検証を確実に行うには、SIMULATE ステートメントの前に DEFSENS ステートメントを組み込んでください。

重大度

04

CKR2293 **DEFSENS RESOURCE_TYPE=restype はサポートされていません - source (DEFSENS RESOURCE_TYPE=restype is not supported - source)**

説明

現在、DEFSENS RESOURCE_TYPE=restype がサポートしているのは UNIXFILE のみです。

ユーザーの処置

SAF クラスの場合は、代わりに DEFSENS CLASS=class を使用してください。

重大度

12

CKR2294 **PRIO は 2 から 9 の範囲内で、token "value" source の前にある必要があります (PRIO must be in range 2..9, before token "value" source)**

説明

監査に関する考慮事項の優先度は 2 から 9 の範囲である必要があります。値 2 はアプリケーション・レベル許可に該当します。一方、9 は上位の許可を示し、RACF、ACF2、または TSS をバイパスできる APF プログラムを変更できることに相当します。

ユーザーの処置

優先順位を調整して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2295 **DEFSENS sensitivity source でクラス名 class が重複しています (Duplicate class name class on DEFSENS sensitivity source)**

説明

DEFSENS ステートメントでの CLASS= *keyword* で、同じクラスを 2 回リストしています。

ユーザーの処置

CLASS の指定を訂正してください。

重大度

12

CKR2296 *source* でのフィールド *name* に対する明示的ルックアップはサポートされません (Explicit lookup to field *name* is not supported at *source*)

説明:

示されたフィールドのルックアップはサポートされません。

ユーザーの処置:

CARLa スクリプトからこのルックアップを削除してください。

重大度

12

CKR2297 CONCERN には *token "value" source* の前に PRIO および CONCERN が必要です (Concern requires PRIO and CONCERN, before *token "value" source*)

説明

PRIO、CONCERN、または ID のいずれかのパラメーターを指定した場合には、PRIO パラメーターおよび CONCERN パラメーターが必要になります。

ユーザーの処置

欠落しているパラメーターを追加して、操作を再試行してください。

CKR メッセージ 2300 から 2399

CKR2300 ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECNODE=zsecnode ACTIVE
[COMPLEX=*complex*] の追加
(Adding ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECNODE=zsecnode ACTIVE
[COMPLEX=*complex*])

説明

このメッセージは、示されたノードのリモート zSecure Server から、小さな最新 CKFREEZE が取得されること

重大度

12

CKR2298 ユーザー定義の機密性タイプは *token "value" source* の前で「Site」で始まる必要があります (User-defined sensitivity type must start with "Site", before *token "value" source*)

説明

サイト機密性は「Site」の 4 文字で始まる必要があります。

ユーザーの処置

サイト機密性を定義したのであれば、「Site」で始まるように機密性を変更し、操作を再試行してください。事前定義された機密性タイプは、SIMULATE CLASS ステートメントでは使用できますが、DEFSENS ステートメントでは使用できません。

重大度

12

CKR2299 *string* 考慮事項 ID は *token "value" source* の前で「x」で始まる必要があります (*string concern ID* must start with "x", before *token "value" source*)

説明:

サイト定義の考慮事項 ID は、「S」で始まる必要があります。CARLa で定義される IBM 考慮事項 ID は、「I」で始まる必要があります。

ユーザーの処置

ID を訂正して、操作をやり直してください。

重大度

12

を示します。このアクションは、ALLOC ステートメントの入力セットに適切な代替入力がない場合に実行されます。

重大度

00

CKR2301 ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECSYS=zsecsys ACTIVE
[COMPLEX=*complex*] の追加

(Adding ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECSYS=zsecsys ACTIVE
[COMPLEX=complex])

説明

このメッセージは、メッセージに示されるリモート zSecure Server から、小さな最新 CKFREEZE が取得されることを示します。このアクションは、ALLOC ステートメントの入力セットに適切な代替入力がない場合に実行されます。

重大度

00

CKR2302 *ddname volser dsname* に割り当てられた複合システム名 **complex** (Complex name **complex** assigned to *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、アンロード操作に割り当てられた複合システム名を示します。

重大度

00

CKR2303 *danem volser dsname* に割り当てられた複合システム名 **complex** (Complex name **complex** assigned to *danem volser dsname*)

説明

このメッセージは、アンロード・ファイルに割り当てられた複合システム名を示します。割り当ては一致するセキュリティ・データベース名に基づくものではありません。その場合は、代わりにメッセージ CKR2347 が発行されます。

重大度

00

CKR2304 *ddname* システム **system [version]** の RACF データ・セット *volser dsname* に対して複合システム **complex** が割り当てられました (Complex **complex** assigned for RACF data set *volser dsname* of *ddname system system [version]*)

説明

このメッセージは、示された RACF データ・セット名に基づくセキュリティ・データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度

00

CKR2305 複合システム **complex** がデフォルトで *ddname* システム **system [version]** に割り当てられました (Complex **complex** assigned by default to *ddname system system [version]*)

説明

このメッセージは、デフォルト・システムがメインまたは基本機能のセキュリティ・データベースに割り当てられ、複合システム名とバージョンが継承されたことを示します。デフォルト・システムについて詳しくは、DEFAULT コマンドを参照してください。

重大度

00

CKR2306 複合システム **complex** **FUNC=MERGE** がデフォルトで *ddname* システム **system [version]** に割り当てられました (Complex **complex** **FUNC=MERGE** assigned by default to *ddname system system [version]*)

説明

このメッセージは、デフォルト・システムがセキュリティ・データベースに割り当てられ、複合システム名が継承されたことを示します。デフォルト・システムについて詳しくは、DEFAULT コマンドを参照してください。

重大度

00

CKR2307 ファイル *ddname* の ALLOC で命名されたため、複合システム **complex** が追加されました (Complex **complex** added because named on ALLOC for file *ddname*)

説明

このメッセージは、別のファイルにある明示的に固有の COMPLEX= パラメーターにより、複合システム (セキュリティ・データベースなし) が追加されたことを示します。

重大度

00

CKR2308 *file* システム **system [version]** は通常機能の複合システム **complex** と一

致します (**file system system [version] matches normal function complex complex**)

説明

このメッセージは、複合システム名とバージョン名が一致するため、示されたスナップショット・ファイルがメインおよび基本機能の複合システムで使用されることを示します。このバージョンは ALLOC VERSION キーワードで指定されたものです。システム ID に対して最新の CKFREEZE に関するものでない場合は、世代が表示されます。例えば、世代 -1 は最新のものの直前の CKFREEZE を意味します。

重大度

00

CKR2309 **ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE システム system は複合システム [version] complex を使用します (ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE system system [version] uses complex complex)**

説明

このメッセージは、明示的に指定されたアクティブな ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE に割り当てられた複合システムを示します。

重大度

00

CKR2310 **ddname システム system [version] は任意の機能の複合システム complex と一致します (ddname system system [version] matches any function complex complex)**

説明

このメッセージは、複合システム名とバージョン名が一致するため、示されたスナップショットが示された複合システム名にリンクされることを示します。

重大度

00

CKR2311 **セキュリティ db volser dsname の非マージ複合システム complex は ddname システム system [version] と一致します (Non-merge complex complex for security db volser dsname matches ddname system system [version])**

説明

このメッセージは、示されたセキュリティー・データベース・データ・セット名に基づくメインまたは基本機能のセキュリティー・データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度

00

CKR2312 **RACF データ・セット volser dsname の非マージ複合システム complex は ddname システム system [version] と一致します (Non-merge complex complex for RACF data set volser dsname matches ddname system system [version])**

説明

このメッセージは、示された RACF データ・セット名に基づくメインまたは基本機能の RACF セキュリティー・データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度

00

CKR2313 **ddname システム system [version] は通常機能の複合システム complex と一致します (ddname system system [version] matches normal function complex complex)**

説明

このメッセージは、複合システム名とバージョン名が一致するため、示されたスナップショットが示された複合システム名にリンクされることを示します。

重大度

00

CKR2314 **リモート・データベース complex での順次モードに切り替えられました (Switched to sequential mode on remote database complex)**

説明

このメッセージは、サーバー・インスタンスが、示された complex でのデータベースの読み取りを順次モードに切り替えることを決定したときに、CKRCARLA クライアントで発行されます。このメッセージは、データベースの最後のデータ・セットに対する大量の要求がサーバー側にあることが原因で発行されるメッセージ CKR1314 に続いて発行されます。このメッセージは、

クライアントが順次モードへの移行を開始する場合には発行されません。

重大度

00

CKR2315 セキュリティー *db volser dsname* の複合システム *complex* は *ddname* システム *system [version]* と一致します (**Complex complex for security db volser dsname matches ddname system system [version]**)

説明

このメッセージは、示されたセキュリティー・データ・セット名に基づいて、任意の機能のセキュリティー・データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度

00

CKR2316 RACF データ・セット *volser dsname* の複合システム *complex* は *ddname* システム *system* と一致します (**Complex complex for RACF data set volser dsname matches ddname system system**)

説明

このメッセージは、示された RACF データ・セット名に基づいて、任意の機能の RACF データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度

00

CKR2317 *ddname* システム *system [version] [-generation]* の暗黙的な割り振りはデフォルトで複合システム *complex* に設定されます (**ddname system system [version] [-generation] implicit allocation defaults to complex complex**)

説明

このメッセージは、それ以上に適切な一致がないため、示された複合システム名が示されたシステムに割り当てられたことを示します。このバージョンは ALLOC VERSION キーワードで指定されたものです。システム ID に対して最新の CKFREEZE に関するものでない場合は、世代が表示されます。例えば、世代 -1 は最新のものの直前の CKFREEZE を意味します。

重大度

00

CKR2318 *ddname* システム *system [version]* に一致するセキュリティー・データベースがありません。複合システム *complex* を作成します (**ddname system system [version] no matching security database, creating complex complex**)

説明

このメッセージは、一致が見つからなかったため、示されたシステム・スナップショットを格納する新規複合システムが作成されたことを示します。

重大度

00

CKR2319 *ddname* デフォルト・システム *system [version]* は、デフォルト複合システム *complex* のデフォルト・システムと見なされました (**ddname default system system [version] considered default system for default complex complex**)

説明

このメッセージは、デフォルト複合システムのデフォルト・システムが、デフォルト・システムと同等となるように変更されたことを示します。デフォルト・システムについて詳しくは、DEFAULT コマンドを参照してください。

重大度

00

CKR2320 ONLYAT オプションが指定され、生成された RACF コマンドに追加されます (**ONLYAT option specified and will be appended to generated RACF commands**)

説明

メッセージ CKR2320 は、ONLYAT オプションを指定すると発行されますが、VERIFY PERMIT 処理でシステムの RRSF 状況を判別することはできません。

ユーザーの処置

このメッセージは、指定されたシステムの CKFREEZE ファイルにシステムがマルチシステム RRSF 構成に属することを示す情報が含まれていない (または、CKFREEZE ファイルがない) 場合に、メッセージ CKR2322 または CKR2323 と一緒に発行されます。そ

これらのコマンドと関連のある推奨されるユーザー・アクションを参照してください。

重大度

04

CKR2321 **CKFREEZE はシステム xxxx が RRSF 状況を判別するために必要です (CKFREEZE required for system xxxx to determine RRSF status)**

説明

メッセージ CKR2321 は、コマンドを処理し、そのコマンドがマルチシステム RRSF 構成に適用されるかどうかを判別するために、CKFREEZE ファイルが必要であることを警告するために発行されます。このメッセージの原因となる可能性があるコマンドには、VERIFY PERMIT、COPY、MOVE、および REMOVE があります。

ユーザーの処置

システムがマルチシステム RRSF 構成の一部でない場合、必要なアクションはありません。システムがマルチシステム RRSF 構成の一部になっている場合は、以下の修正手順のいずれかを実行できます。

- ONLYAT オプションを指定して、すべての cleanup コマンドが必要なシステムにのみ導かれるようにします。
- すべてのシステムの RACF データベースをマルチシステム RRSF 構成に含め、例えば VERIFY PERMIT で、RRSF 構成内の 1 つのシステムで未定義のユーザー ID が RRSF 構成内の別のシステムで定義されているかどうかを判別できるようにします。

注: ONLYAT オプションを使用するには、RACF 特殊属性が必要です。

重大度

04

CKR2322 **システム xxxx の RRSF 状況を判別できません (Unable to determine RRSF status for system xxxx)**

説明

メッセージ CKR2322 は、ONLYAT オプションが指定されても、このメッセージで指定されたシステムがマルチシステム RRSF 構成の一部かどうかを判別するための CKFREEZE ファイルが存在しない場合に、メッセージ CKR2320 と一緒に発行されます。

ユーザーの処置

システムがマルチシステム RRSF 構成の一部でない場合、必要なアクションはありません。システムがマルチ

システム RRSF 構成の一部になっている場合は、以下の修正手順のいずれかを実行できます。

- ONLYAT オプションを指定して、すべての cleanup コマンドが必要なシステムにのみ導かれるようにします。
- すべてのシステムの RACF データベースをマルチシステム RRSF 構成に含め、RRSF 構成内の 1 つのシステムで未定義のユーザー ID が RRSF 構成内の別のシステムで定義されているかどうかを VERIFY PERMIT で判別できるようにします。

重大度

04

CKR2323 **CKFREEZE にシステム xxxx の RRSF 情報がありません (No RRSF information for system xxxx in CKFREEZE)**

説明

メッセージ CKR2323 は、ONLYAT オプションが指定されても、このメッセージで指定されたシステムがマルチシステム RRSF 構成の一部かどうかを判別するための情報が CKFREEZE ファイルに含まれていない場合に、メッセージ CKR2320 と一緒に発行されます。

ユーザーの処置

これは警告メッセージにすぎません。このジョブで処理されるどのシステムにおいても不要な場合は、ユーザー入力から ONLYAT オプションを除去できます。

重大度

04

CKR2324 **可変長フィールド *field* は、*ddname* の行 *number* の表示行の最後のフィールドでのみ有効です (Variable length field *field* only valid as last field in display line at *ddname* line *number*)**

説明

デフォルトの出力長さが 0 のこのフィールド (フィールドはデフォルトで不定の長さまたは可変長を使用して出力されることを示す) は、行の最後のフィールドとしてのみ使用できます。このフィールドが、画面上の行の残りのスペースを使用します。

ユーザーの処置

このフィールドを行のこの位置で使用するには、オーバーライドする長さを指定してください。

重大度

12

CKR2325 他の RRSF システムで ID が定義されていても、ID *xxxx* のコマンドは生成されませんでした (No commands generated for id *xxxx*, as id is defined on other RRSF systems)

説明

メッセージ CKR2325 は、RRSF 構成内の別のシステムで未定義のユーザー ID が見つかり、ONLYAT オプションが指定されなかった場合に、メッセージ CKR0068 と一緒に発行されます。

ユーザーの処置

メッセージ CKR0068 に関連する推奨されるユーザー・アクションを参照してください。

重大度

00

CKR2326 *ddname volser dsn* のシステム *system* レコード *number* の **GENERICANCHOR** データが切り捨てられます (Truncated **GENERICANCHOR data for system *system* record number of *ddname volser dsn***)

説明

CKFREEZE ファイルから取得した **GENERICANCHOR** データ・レコードは、CKFREEZE の **LRECL** が小さすぎるため切り捨てられます。

ユーザーの処置

LRECL サイズを大きくすることを検討してください。

重大度

08

CKR2327 *ddname line number* の *token* の前では、ネストされた **INPUT_CONDITION** は許可されません (Nested **INPUT_CONDITION** not allowed before *token* at *ddname line number*)

説明

条件付きで組み込まれた出力フィールドを示す構造体は、別のそういった構造体内にネストされます。構造体内で許されるのは、フィールド、ロックアップ、改行演算子、連結演算子、および要約レベル演算子のみです。

ユーザーの処置

ネストされたテストの構造体を CARLa から削除してください。

重大度

12

CKR2328 入力データが使い果たされました。 **INPUT_CONDITION** は、*ddname* のファイルの終わりが「**]**」で閉じられていません (**Input exhausted; INPUT_CONDITION not closed by ']' at end of file at *ddname***)

説明

条件付きで組み込まれた出力フィールドを示す構造体が、括弧で適切に閉じられていません。

ユーザーの処置

右括弧を使用して構造体を閉じることによって、CARLa を修正してください。

重大度

12

CKR2329 警告 - コマンドは RRSF によって送信される可能性があります (**Warning - commands may be directed by RRSF**)

説明

このメッセージは、コマンドが RRSF によって送信されるかどうかをプログラムで判別できなかったことを示します。

ユーザーの処置

コマンドが RRSF ノード全体に対して意図する効果を及ぼすことを確認します。

重大度

04

CKR2330 一時コマンド・ファイルを開くことができません: *reason*. (**Cannot open temporary command file: *reason*.**) コマンドのキューイングに戻ります (**Reverting to queuing the commands**)

説明

行コマンド処理で、「Action on command」設定が「Execute」であると判断されましたが、必要な

CKRTCMD 一時コマンド・ファイルを割り振ることも開くこともできませんでした。メッセージは、コマンドが実行されずにキューに入れられたことを示します。

ユーザーの処置

理由は「ALLOC TYPE=CKRTCMD ステートメントが欠落しています (Missing ALLOC TYPE=CKRTCMD statement)」または「ddname の OPEN 呼び出しに失敗しました (OPEN call for ddname failed)」の場合があります。IBM 提供の zSecure パネルおよび REXX コードを使用する場合はいずれの問題も発生しません。この種類の環境を自分自身でセットアップする場合、適切な DD 名を使用してこの ALLOC ステートメントを指定するようにしてください。

重大度

04

CKR2331 一時コマンド・ファイルを開くことができません: *reason*。(Cannot open temporary command file: *reason*.) **Result**

説明

行コマンド処理で、「Action on command」設定が「Execute」であると判断されましたが、必要な CKRTCMD 一時コマンド・ファイルを割り振ることも開くこともできませんでした。これは以下のいずれかの結果の原因になることがあります。

- コマンドが実行されずにキューに入れられる (重大度 4)。
- コマンドを再帰的照会から読み取ることができず、失われる (重大度 16)。

ユーザーの処置

理由は「ALLOC TYPE=CKRTCMD ステートメントが欠落しています (Missing ALLOC TYPE=CKRTCMD statement)」または「ddname の OPEN 呼び出しに失敗しました (OPEN call for ddname failed)」の場合があります。IBM 提供の zSecure パネルおよび REXX コードを使用する場合はいずれの問題も発生しません。この種類の環境を自分自身でセットアップする場合、適切な DD 名を使用してこの ALLOC ステートメントを指定するようにしてください。

重大度

04 または 16

CKR2332 *ddname* の行 *number* の *token* の前の ALLOC TYPE=CKRTCMD は DD パラメーターのみサポートします (ALLOC TYPE=CKRTCMD supports only the DD parameter before token at *ddname* line number)

説明

ALLOC TYPE=CKRTCMD DD=*ddname* ステートメントは追加パラメーターをサポートしません。

ユーザーの処置

誤ったパラメーターを削除してください。

重大度

12

CKR2333 ALLOC TYPE=CKRTCMD ステートメントが欠落しています - 一時コマンド・ファイルを開くことができません - FORALL コマンドはキューに入れられます (Missing ALLOC TYPE=CKRTCMD statement - cannot open temporary command file - FORALL commands will be queued)

説明

FORALL 処理で、「Action on command」設定は (通常のコマンド用の)「Execute」であることが検出されましたが、必要なコマンド・ファイルが割り振られませんでした。

ユーザーの処置

このエラーは、IBM 提供の zSecure パネルを使用している場合は発生しません。この種類の環境を自分自身でセットアップする場合、必要な ALLOC ステートメントを指定するようにしてください。

重大度

04

CKR2334 DD=*ddname* の OPEN 呼び出しに失敗しました - FORALL コマンドは *complex* 用のキューに入れられます (OPEN call for DD=*ddname* failed - FORALL commands will be queued for *complex*)

説明

FORALL 処理において、「Action on command」設定が「Execute」であることが検出され、必要な CKRTCMD コマンド・ファイルが検出されましたが、ファイルのオープンに失敗しました。このメッセージは、コマンドが実行されずにキューに入れられることの通知です。

重大度

4

CKR2335 *ddname* 行 *number* の NEWLIST [NAME=*name*] が *suppresstype* 処理に因るものであるとき、*ddname* 行 *number* の NEWLIST [NAME=*name*] が抑止される可能性があります - オプションは異なります (NEWLIST [NAME=*name*] at *ddname line number* may be suppressed when NEWLIST [NAME=*name*] at *ddname line number* is due to *suppresstype* processing - options differ) [この実行では、暗黙の抑止が適用されます (In this run implied suppression applies)]

説明

このメッセージは、MERGELIST ステートメントの有効範囲内にある 2 次の NEWLIST ステートメントが次の場合に発行されます。つまり、newlist オプション LICENSE=*list*、ESM=*list*、SEGMENT=*segment*、UNRESTRICTED、RESTRICT_AUDITOR、RDS、および NONRDS の差異により、2 次の NEWLIST それ自体が抑止されないときに、MERGELIST 内の最初の NEWLIST (および結果として MERGELIST 全体) が抑止される可能性があることを暗示するときです。

オプションであるメッセージの 2 行目 (この実行では、暗黙の抑止が適用されます (In this run implied suppression applies)) は、個別の 2 次の NEWLIST を抑止するための条件は満たされていないが、MERGELIST がこの実行で実際に抑止される場合のみ出力されます。

メッセージの *suppresstype* 部分には、ヘッダー NEWLIST を抑止するが、2 次の NEWLIST は抑止しないキーワードが表示されます。

注:

- いくつかの NEWLIST タイプは UNRESTRICTED モードでのみ許可されます。それらには、CARLa に明示的なキーワードがない場合でも、そのようなものとしてフラグを付けることができます。
- この警告は、現在サポートされている RACF データベースに存在するセグメントについても、SEGMENT=*segment* について発行されることがあります。
- OPTION MSGRC=(2335,*rc*) はメッセージの重大度に影響を与えるために使用され、メッセージ重大度は CKRCARLa プログラムの戻りコードに影響を与えません。このメッセージは有効な戻りコードに関係なく抑止可能です。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」にある MERGELIST ステートメントについての情報を参照してください。

重大度

4 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2336 *ddname* の行 *number* のヘッダー NEWLIST [NAME=*name*] が TYPE=*type* - *concerns* のとき、*ddname* の行 *number* のメンバー NEWLIST [NAME=*name*] は TYPE=*type* です (Member NEWLIST [NAME=*name*] TYPE=*type* at *ddname line number* while header NEWLIST [NAME=*name*] at *ddname line number* has TYPE=*type* - *concerns*)

説明

このメッセージは、MERGELIST ステートメントの有効範囲内で使用される newlist タイプの間の差異についての考慮事項に言及するために発行されます。次の考慮事項があります。

- RACF ソースが割り振られないか、SUPPRESS RACF が使用された場合、TYPE=RACF 出力は抑止されます。
- newlist タイプは、リアルタイム・モードでの実行中にそれらの入力なくなると、動的に抑止される場合があります (CKRCARLa が zSecure Alert (C2POLICE) または zSecure アクセス・モニター (C2PACMON) エンジンから呼び出される場合など)。

言及される *concerns* は、ソフト EOF コンテキストで安全でない (not safe in soft-EOF context)、RACF ソースがない場合に抑止される (will be suppressed when no RACF source)、または RACF ソースがないため抑止される (suppressed due to no RACF source) のいずれかが可能です。最初の 2 つの考慮事項は通常重大度 0 で発行され、最後の考慮事項は通常は重大度 4 で発行されます。この実行が、動的な「ソフト EOF」コンテキストで発生する場合、重大度は 12 です。OPTION MSGRC=(2336, *rc*) は、メッセージの重大度を固定された数値に変更するために使用できます。このメッセージは戻りコードに関わらず常に抑止可能です。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」にある MERGELIST ステートメントについての情報を参照してください。潜在的な差異が後で実行中に実際の差異になる場合、メッセージ CKR2337 が発行されます。

重大度

00 または 04 または 12 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2337 *ddname* 行 *number* のメンバー NEWLIST [NAME=*name*] は、*ddname* 行 *number* の NEWLIST [NAME=*name*] が抑止されたため、実質的に抑止されました (Member

**NEWLIST [NAME=name] at
ddname line number effectively
suppressed because NEWLIST
[NAME=name] at ddname line
number is suppressed)**

説明

このメッセージは、動的な「ソフト EOF」コンテキスト (zSecure Alert で実行中の場合など) において、MERGELIST の最初の NEWLIST の newlist タイプについての出力がなくなったが、MERGELIST の別の NEWLIST の出力がそうでない場合に発行されます。

LIST コマンドを使用しない MERGELIST の場合、最初の (「ヘッダー」) NEWLIST が抑止されるとすべての出力が抑止されます。残りの間隔では、この MERGELIST について追加の出力は生成されません。OPTION MSGRC=(2337,rc) は、メッセージの重大度を変更するために使用できます。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」にある MERGELIST ステートメントについての情報を参照してください。

重大度

00 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2338 *ddname* の行 *number* の
MERGELIST [NAME=name] は、最初の
NEWLIST が抑止されたため抑止
されました (**MERGELIST
[NAME=name] at ddname line
number suppressed because the
first NEWLIST is suppressed**)

説明

このメッセージは、LIST コマンドを使用しない MERGELIST ステートメントの有効範囲内の最初の NEWLIST についてメッセージ CKR1232 が発行されたときに、ENDMERGE で発行されます。このメッセージは、他の NEWLIST ステートメントの出力も抑止されることを警告します。

重大度

04

CKR2339 **SEGMENT** パラメーター値
segmentname が不明です - *ddname*
の行 *number* (**The SEGMENT
parameter value *segmentname* is
unknown - at ddname line number**)

説明

指定されたセグメント名は、zSecure の現行リリースに RACF データベース・セグメントとして認識されません。

ユーザーの処置

値が間違っていて指定されている場合、CARLa を調整してください。独自のセグメントを追加したか、古いリリースの zSecure を新しい RACF データベースと一緒に実行している場合、このメッセージを抑止するか (SUP MSG=2339)、OPTION MSGRC=(2339.rc) を使用して重大度を通知または警告レベルに下げてください。

重大度

12 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2340 *ddname* システム *system* [*version*]
は、複合システム *complex* のデフォ
ルト・システムと見なされました
(**ddname system system [*version*]
considered default system for
complex complex**)

説明

このメッセージは、示された複合システムのデフォルト・システムとして、どのシステムを使用するかを決定を示します。

重大度

00

CKR2341 *ddname* システム *system* [*version*]
は、複合システム *complex2* [*version*]
に類似した複合システム *complex1*
のデフォルト・システムと見なされ
ました (**ddname system system
[*version*] considered default
system for complex *complex1*
similar to complex *complex2*
[*version*]**)

説明

このメッセージは、機能またはバージョンが異なる可能性がある類似の複合システムに基づいて、示された複合システムのデフォルト・システムとして、どのシステムを使用するかについての決定を示します。

重大度

0

CKR2342 *ddname* システム *system* [*version*]
は、SMF ID が一致するため、複合シ
ステム *complex* のデフォルト・シス
テムと見なされました (**ddname
system system [*version*]
considered default system for
complex *complex* because SMF id
matches**)

説明

このメッセージは、SMF ID または VM システム名に基づいて、示された複合システムのデフォルト・システムとして、どのシステムを使用するののかについての決定を示します。

重大度

0

CKR2343 **警告: RACF データ・セット *volser dsname* は既に複合システム *complex1* として認識されています。複合システム「dupn」を *ddname* システム *system [version]* に割り当てます (Warning: RACF data set *volser dsname* already known as complex *complex1*, assigning complex "dupn" to *ddname system system [version]*)**

説明

このメッセージは、入力ファイルに同じ複合システム用の情報ソースが複数含まれていることを警告します。したがって、別の「dupn」複合システム名が重複セキュリティ・データベースに割り当てられました。

重大度

0

CKR2344 **警告: デフォルト・システムの複合システム名 *complex1* が重複しています。複合システム「dupn」を *ddname* システム *system [version]* に割り当てます (Warning: duplicate complex name *complex1* for default system, assigning complex "dupn" to *ddname system system [version]*)**

説明

このメッセージは、入力ファイルに同じ複合システム用の情報ソースが複数含まれていることを警告します。したがって、別の「dupn」複合システム名が重複セキュリティ・データベースに割り当てられました。

重大度

0

CKR2345 ***ddname* デフォルト・システム *system [version]* が複合システム名 *complex* と一致しました (*ddname default system system [version]* matched complex name *complex*)**

説明

このメッセージは、一致する複合システム名とバージョン名に基づいて、示されたセキュリティ・データベースでデフォルト・システムが割り当てられたことを示します。

重大度

0

CKR2346 ***ddname* システム *system [version]* が複合システム名 *complex* と一致しました (*ddname system system [version]* matched complex name *complex*)**

説明

このメッセージは、一致する複合システム名とバージョン名に基づいて、示されたセキュリティ・データベースで示されたシステム・スナップショットが割り当てられたことを示します。

重大度

0

CKR2347 **複合システム *complex* は、セキュリティ DB *volser secdb dsname* が *ddname* システム *system* と一致するため、*unload ddname volser unload dsname* に割り当てられました (Complex *complex* assigned to *unload ddname volser unload dsname* because security db *volser secdb dsname* matches *ddname system system*)**

説明

このメッセージは、示されたセキュリティ・データベースが示されたスナップショット・ファイルに含まれるため、示されたアンロード・データ・セットが示された複合システム名に割り当てられたことを示します。

重大度

0

CKR2348 **システム (SMF ID) *system ddname volser dsname* のシステム *num ID* (System *num identification for system (SMF id) system ddname volser dsname*) システム名 *sysname* シスプレックス *sysplex* クローン *cc* (Sysname *sysname sysplex sysplex clone cc*)**

クローン *cc* ハードウェア *hwname*
ボリューム・ユーザー *userid* (*clone*
cc hw hwname vm user userid)
rrsf rrsfnode nje njenode

説明

この情報メッセージは、示されたスナップショット・ファイルで検出されたシステム識別を示します。これにより、複合システム名の割り当てと通常コマンドのルーティングで使用されるロジックを理解できます。

重大度

0

CKR2349 *ddname* システム *system [version]*
は、複合システム *complex* のデフォルト・システムと見なされました
(*ddname system system [version]*
considered default system for
complex complex)

説明

このメッセージは、示された複合システムのデフォルト・システムとして ACTIVE CKFREEZE を使用する決定を示します。

重大度

0

CKR2350 CKRSVPUT では *clientfile* 用にサイズの大きなバッファ・ファイル *rmtfile* が必要です - 長さ *length* のレコードをスキップしました
(*CKRSVPUT need larger buffer file*
rmtfile for clientfile - skipping
record with length length)

説明

このメッセージは、メカニズムでサポートしない、予期されない長いレコードが検出されたことを示します。

ユーザーの処置

分析したファイルがサポートされるセキュリティー・データベース、SMF、または CKFREEZE ファイルである場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2351 必要なサーバー接続を使用できません (A required server connection is not available)

説明

このメッセージは、CARLa 照会で zSecure Server が必要とされるが、現在構成されているサーバー・トークンではサーバーに到達できないことを示します。

ユーザーの処置

ローカルの zSecure Server へのアクセス方法の詳細についてメッセージ CKR1494 および CKR1495 を参照し、ガイダンスに従ってください。

重大度

12

CKR2352 複合システム *complex* に範囲テーブル・シーケンス番号 *seqno* の RACF データ・セットがありません - 範囲 *startkey* (No RACF data set for range table sequence number *seqno* in complex *complex* - range *startkey*)

説明

このメッセージは、示された複合システムでは、範囲テーブルの特定のキー範囲に一致する RACF データ・セットが RACF データベースに存在しないことを示します。キー範囲の先頭が示されます。ご使用の製品にこの機能が組み込まれている場合は、範囲テーブル・レポート (メニュー・オプション「AU.S」-「RACF 制御」-「RANGE」) を見て、使用される範囲テーブルに関する理解を深めることができます。

ユーザーの処置

複合システムの割り振りを確認してください。CKFREEZE がデータベース・ソースに属さないか、ALLOC ステートメントで指定されている RACF データ・セットが RACF データベースにあるもののすべてではない可能性があります。

重大度

00

CKR2353 ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECNODE=*zsecnode*
ZSECSYS=*zsecsys* ACTIVE
[COMPLEX=*complex*] の追加
(Adding ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECNODE=*zsecnode*
ZSECSYS=*zsecsys* ACTIVE
[COMPLEX=*complex*])

説明

このメッセージは、示されたノードに関してリモート zSecure Server から、小さな最新 CKFREEZE が取得されることを示します。これは、ALLOC ステートメントの入力セットに適切な代替入力がない場合に実行されます。

重大度

00

CKR2354 **ZSECSYS/ZSECNODE を使用した ALLOC SMF は無効です - ddname 行 number の token の前 (ALLOC SMF invalid with ZSECSYS/ZSECNODE - before token at ddname line number)**

説明

ZSECSYS および ZSECNODE パラメーターは、明示的な割り振りステートメントでのみ許可されます。

ユーザーの処置

SMF の代わりに TYPE=SMF を使用してください。

重大度

12

CKR2355 **デフォルト・システムの複合システム name には、メイン・システムとしてのシステム system [version] が必要です (Default system's complex name must have that system system [version] as the main system)**

説明

この情報メッセージは、複合システムのデフォルト・システムが、どのシステムをデフォルト・システムとしてベースにし変更されたのかを示します。

ユーザーの処置

これが意図された構成ではない場合は、DEFAULT ステートメントでデフォルト・システムを変更できます。

重大度

00

CKR2356 **DATASET で LOGOPTIONS(NEVER) がアクティブ (LOGOPTIONS(NEVER) active for DATASET)**

説明

このメッセージは、VERIFY SENSITIVE に応答して発行されます。これは、クラス・レベルの DATASET プロファイルで LOGOPTIONS(NEVER) が有効であることを示します。個々のプロファイルのログ・オプションを調整するためにコマンドが発行されることがありますが、グローバル設定が変更されるまで、それらの影響はありません。

重大度

04

CKR2357 **SYSLOG オプションでは SYSLOGUDP/SYSLOGTCP/SYSLOGTOFILE 指定も必要です (SYSLOG option also requires SYSLOGUDP/SYSLOGTCP/SYSLOGTOFILE specification.)**

説明

NEWLIST ステートメントで SYSLOG オプションを指定する場合は、SYSLOGTO/SYSLOGUDP、SYSLOGTCP、または SYSLOGTOFILE も指定する必要があります。

ユーザーの処置

SYSLOGTO/SYSLOGUDP、SYSLOGTCP、または SYSLOGTOFILE オプションも必ず指定してください。これらのオプションにより、SYSLOG の宛先を示します。

重大度

12

CKR2358 **ファイル filename は、zsecspec 上のマップ済みユーザー ID id について READALL です (File filename READALL for mapped userid id on zsecspec)**

説明

この通知メッセージは、示されたリモート・ノード・マップ済みユーザー ID は、リモート・ノード上の CKR.READALL への READ アクセス権限を持つことを示しています。このファイルについては、制限モードの動作は不要です。

重大度

00

CKR2359 **ファイル filename は zsecspec 上のマップ済みユーザー ID id を使用する制限モードです (File filename restricted mode using mapped userid id on zsecspec)**

説明

この通知メッセージは、示されたリモート・ノード・マップ済みユーザー ID が CKR.READALL への READ アクセス権限を持たないため、制限付きモードが活動化されたことを示しています。したがって、示されたユーザー ID は、要求されたファイルに対する全アクセス権限を持ちません。

重大度

00

CKR2360 **SUPPRESS**
ACCESS_GDG_VERSION が *nnn* 件のデータ・セット名にマップされました (nn%) (**SUPPRESS ACCESS_GDG_VERSION mapped *nnn* data set names (nn%)**)

説明

このメッセージは、GDG 生成が固定ストリング「GnnnnVnn」で置き換えられた場合の入力 TYPE=ACCESS レコードの数を示します。このアクションは、統合された出力データ・セット内の固有の組み合わせの数を削減します。この形式のデータ削減は、サイトで以下を使用しない場合に安全に実行できます。

- 個々の GDG 生成のための個別の RACF DATASET プロファイル。
- GDG 生成の最後の修飾子としての G22%%V00 などの汎用修飾子。

ユーザーの処置

アクションがエラーの原因にならない場合、ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKR2361 **SUPPRESS**
ACCESS_JESSPOOL_JOB/DSID が *nnn* 件の JESSPOOL 名にマップされました (nn%) (**SUPPRESS ACCESS_JESSPOOL_JOB/DSID mapped *nnn* JESSPOOL names (nn%)**)

説明

このメッセージは、JOBID または DSID (先頭文字を除く) が小文字の「x」文字による固定ストリングで置き換えられた場合の入力 TYPE=ACCESS レコードの数を示します。このアクションは、統合された出力データ・セット内の固有の組み合わせの数を削減します。この形式のデータ削減は、ご使用のサイトで以下を制御する汎用指定のみを使用する場合に安全に実行できます。

- JOBID の 2 番目から 8 番目までの文字。
- RACF JESSPOOL プロファイルの D で始まる DSID 修飾子。

ユーザーの処置

アクションがエラーの原因にならない場合、ユーザーのアクションは不要です。

重大度

00

CKR2362 **TYPE=xxxxxxx** のリモート割り振りは不要です。 (**Remote allocations for TYPE=xxxxxxx not required.**)
割り振りは抑止されます (**Allocations suppressed**)

説明

このメッセージは、セキュリティー・データベースが不要なため、1 つ以上のリモートの RACF または ACF2 データベースの割り振りが抑止されたことを示すために発行されます。

データベース・タイプに指定される値 (TYPE=xxxxxxx) は、以下のいずれかが可能です。

- RACF
- ACF2
- ACF2LID
- ACF2RULE
- ACF2INFO

ユーザーの処置

アクションは不要です。

重大度

00

CKR2363 ルックアップ *type.key.target* の **key=key** の等しいエントリーが重複しています。 *record* の値「*value*」 (**Duplicate but identical entry for key=key in lookup *type.key.target* Value "*value*" in *record***)

説明

タイプ *type* のファイルの読み取り中に、ルックアップのキー・フィールドとして使用されるフィールド *key* エントリーが重複していることが検出されました。この場合、重複するエントリーは同一の値を指定します。この値のみが、ルックアップの表示用に保管されます。重複するエントリーが検出されたが値が異なる場合、メッセージ CKR1142 が発行されます。

重大度

00

CKR2364 変換 *type=type* は *ddname* 行 *number* ではサポートされません
(**Conversion *type=type* is not supported at *ddname* line number**)

説明

CONVERSION ステートメントでサポートされない型が指定されています。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトの指定された場所にあるサポートされない CONVERSION 型を修正してください。

重大度

12

CKR2365 変換 *name* が、*ddname* 行 *number* に指定されていません
(**Conversion *name* is not specified at *ddname* line number**)

説明

CONVERSION ステートメントに必須の *name* パラメーターが欠落しています。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトの指定された場所にある CONVERSION ステートメントに *name* パラメーターを指定してください。

重大度

12

CKR2366 変換アクション (REPLCHAR) が指定されていません。*ddname*、行 *number*。
(**Conversion action (REPLCHAR) is not specified at *ddname* line number**)

説明

CONVERSION ステートメントに必須の *action list* パラメーターが欠落しています。zSecure バージョン 1.13 以前の製品バージョンでは、有効なパラメーターは REPLCHAR のみです。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトの指定された場所にある CONVERSION ステートメントに *action list* パラメーターを指定してください。

重大度

12

CKR2367 警告: *ddname* 行 *number* の変換 *name (type=type)* が、*ddname* 行 *number* で変換を指定変更していません。
(**Warning: conversion *name (type=type)* at *ddname* line number overrides conversion at *ddname* line number**)

説明

CARLa スクリプト内で以前定義された別の CONVERSION ステートメントと同じ *type* および *name* を持つ CONVERSION ステートメントが CARLa スクリプト内で検出されました。(The CONVERSION statement was encountered in the CARLa script with the same *type* and *name* as another CONVERSION statement that was defined earlier in the CARLa script.) 後者のステートメントが前者のステートメントを指定変更します。

ユーザーの処置

後者のステートメントを使用すると誤解を招くレポートが生成される場合は注意が必要ことがあります(間違った変換が適用されることがあります)。

重大度

04

CKR2368 タイプ *type* の変換 *name* が未定義です。*ddname*、行 *number*。
(**Conversion *name* of type *type* at *ddname* line number is undefined**)

説明

(D)SUMMARY ステートメントが、CARLa スクリプトで以前定義されていない変換を参照しています。

ユーザーの処置

指定された変換 *name* が CARLa スクリプト内で以前定義されていることを確認し、変換 *type* が *newlist* タイプと一致することを確認してください。

重大度

12

CKR2369 *ddname* 行 *number* の変換変数 *name* が無効です
(**Conversion *variable name* is invalid at *ddname* line number**)

説明

CONVERSION ステートメントの *action list* パラメーターに、未定義の変数が指定されました。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトの指定された場所にある CONVERSION ステートメントの *action list* パラメーターに、サポートされる変数を指定してください。

重大度

12

CKR2370 *ddname* の行 *number* のサブストリング指定が無効です。(Substring specification is not valid at *ddname* line *number*)

説明

CONVERSION ステートメントの *action list* パラメーター内で使用されている SUBSTRING 関数を持つ *start index/length* 引数が原因で、サブストリングは受け入れ可能なフィールド値の範囲を超えています。サポートされるフィールド値の最大長は 246 文字です。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトの CONVERSION ステートメントの *action list* パラメーター内で使用されている SUBSTRING 関数の *start index/length* 引数を修正してください。

重大度

12

CKR2371 変換型は WHERE 節よりも前にある必要があります。*ddname*、行 *number*。(Conversion type must precede WHERE clause at *ddname* line *number*)

説明

CONVERSION ステートメント内で、変換型よりも前に WHERE 節があります。WHERE 節の評価は CONVERSION 型に依存するため、これは許可されません。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトの CONVERSION ステートメントでは、型パラメーターが WHERE 節よりも前になるようにしてください。

重大度

12

CKR2372

NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER 要求が発行されましたが、使用可能な CS リゾルバー構成データがありません。(A NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER request was issued, but no CS Resolver configuration data are available.) 原因は、CKFREEZE が古いか、または APF 以外の CKFREEZE である可能性があります (Perhaps old or non-APF CKFREEZE)

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER によって生成されます。CS リゾルバー構成レポートが要求されましたが、使用可能な CS リゾルバー構成データがありませんでした。

ユーザーの処置

使用されている CKFREEZE ファイルを確認してください。CS リゾルバー構成レポートでは、zSecure Audit などにフォーカスした、IBM Security zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。要求された情報を含んだ CKFREEZE ファイルを作成するためには、zSecure Collect のバージョンが最低でも 1.13 である必要があります。CKFREEZE ファイルを作成するために使用されたバージョンは、SYSPRINT のメッセージ CKR0132 で確認することができます。

重大度

00

CKR2373

NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER CKFREEZE データが不完全か破壊されています (NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER CKFREEZE data incomplete or corrupted)

説明

このメッセージは、NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER によって生成されます。CKFREEZE ファイルが不完全か破壊されていることを示します。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

CKR2374 **ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE**
[COMPLEX=name]
[VERSION=name] の追加 (Adding
ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE
[COMPLEX=name]
[VERSION=name])

説明

このメッセージは、対応するシステム・スナップショット・ファイルを持たないアクティブなセキュリティー・データベースが割り振られたことを示しています。正しいセキュリティー設定とコマンド・ルーティングを保証するために、稼働中のシステムの割り振りステートメントが自動的に追加されました。

ユーザーの処置

アクションは不要です。

重大度

00

CKR2375 **ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE**
の追加 (Adding ALLOC
TYPE=CKFREEZE ACTIVE)

説明

このメッセージは、システム・スナップショット・ファイルを持たないセキュリティー・データベースが割り振られたことを示しています。システム・レベル情報を指定するために、稼働中のシステムの割り振りステートメントが自動的に追加されました。

ユーザーの処置

アクションは不要です。

重大度

00

CKR2376 変換はフィールド **fieldaddr**
fieldname source ではサポートされ
ません。 (**Conversion is not allowed**
for field fieldaddr fieldname
source)

説明

このメッセージは、変換アクションを指定されたフィールドに適用できないことを示しています。示されたフィールドは「後で」処理されるフィールドで、後のステージングで構成されます。変換はそのようなフィールドに対して許可されません。

ユーザーの処置

これは制約事項です。示されたフィールドの CONVERSION 修飾子を削除してください。

重大度

12

CKR2377 システム **name** 複合システム
complex の **product** セキュリテ
ィー・データベースがありません
(**Missing product security database**
for system name complex complex)

説明

このメッセージは、1つ以上のレポートでこのセキュリティー情報が必要であるが、示されたシステム **name** に対して、使用可能な **product** セキュリティー・データベース (RACF、ACF2、または TSS) がないことを示します。この情報を必要とするレポートは不完全である可能性があります。他のレポートは影響を受けません。

重大度

00

CKR2378 ログオン ID **identity** : 役割 **role** につ
いてネスト・レベルの深さを超えま
した (**Logonid identity : Nesting**
level depth exceeded for role role)

説明

ACF2 役割レコードは最大 25 のネスト・レベルをサポートします。このメッセージに示された役割レコードは、この最大値を超えています。このレコードに対する以降の処理は打ち切られます。

重大度

20

CKR2379 **SENSITIVITY** は **RESOURCE** よりも
前にある必要があります。 **ddname**
の行 **number** の **type "value"** の前。
(**SENSITIVITY must precede**
RESOURCE before type "value" at
ddname line number)

説明

機密性属性は CLASS= パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置

パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2380 **RESOURCE_LOCATION** は **RESOURCE** よりも前にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。
(**RESOURCE_LOCATION** must precede **RESOURCE** before *type "value"* at *ddname line number*)

説明

リソースの場所は CLASS= パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置

パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2381 **ACCESS** は **RESOURCE** よりも前にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。
(**ACCESS** must precede **RESOURCE** before *type "value"* at *ddname line number*)

説明

リスク・アクセス・レベル指定は CLASS= パラメーターと CONCERN= または RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置

パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2382 **CONCERN** は **RESOURCE** よりも前にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。
(**CONCERN** must precede **RESOURCE** before *type "value"* at *ddname line number*)

説明

リスク・アクセス・レベル指定は CLASS= パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置

パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2383 **PRIO** は **RESOURCE** よりも前にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。
(**PRIO** must precede **RESOURCE** before *type "value"* at *ddname line number*)

説明

監査優先順位レベルの指定は CLASS= (または RESOURCE_TYPE=) パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置

パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2384 **PRIO** は 2 から 9 の範囲にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。 (**PRIO** must be in range 2..9, before *type "value"* at *ddname line number*)

説明

監査に関する考慮事項の優先度は 2 から 9 の範囲である必要があります。値 2 はアプリケーション・レベル許可に該当します。一方、9 は上位の許可を示し、RACF、ACF2、または TSS をバイパスできる APF プログラムを変更できることに相当します。

ユーザーの処置

優先順位を調整して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2385 **ID** には *token "value" source* の前に **RESOURCE** がある必要があります
(**ID** must precede **RESOURCE** before *token "value" source*)

説明

監査の考慮事項 ID の指定は、CLASS= (または RESOURCE_TYPE=) パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置

パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2386 **type "value" の前にある SENSITIVITY が重複しています。 ddname、行 number (Duplicate SENSITIVITY before type "value" at ddname line number)**

説明

リソースの機密性とリスク・レベルの組み合わせに関連付けられた CONCERN/PRIO は 1 つだけです。

ユーザーの処置

重複した機密性の名前を変更するか、アクセス・レベルを訂正するか、重複したステートメントを削除してください。

重大度

12

CKR2387 **考慮事項には PRIO/CONCERN/SENSITIVITY が必要です。 ddname の行 number の type "value" の前。(Concern requires PRIO/CONCERN/SENSITIVITY, before type "value" at ddname line number)**

説明

PRIO、CONCERN、または ID のいずれかのパラメーターを指定した場合には、PRIO、CONCERN、および SENSITIVITY の各パラメーターがすべて必要になります。

ユーザーの処置

欠落しているパラメーターを追加して、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2388

ddname の行 number の type "value" の前にある機密性タイプは、事前定義されたものであるか、先頭が「Site」で始まる必要があります (Sensitivity type must be predefined or start with "Site", before type "value" at ddname line number)

説明

サイト機密性は「Site」の 4 文字で始まる必要があります。事前定義された機密性の詳細については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『事前定義された機密性タイプ』セクションを参照してください。

ユーザーの処置

サイト機密性を定義したのであれば、「Site」で始まるように機密性を変更し、操作を再試行してください。事前定義された機密性を参照したつもりであれば、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」のセクション『SIMULATE SENSITIVE ステートメントに関連する事前定義された機密性タイプ』に示されているものにレベルを訂正してください。

重大度

12

CKR2389 **サイト考慮事項 ID は「S」で始まる必要があります。 ddname の行 number の type "value" の前。(Site concern ID must start with "S", before type "value" at ddname line number)**

説明

組み込み考慮事項 ID と区別するために、考慮事項 ID は「S」で始まる必要があります。

ユーザーの処置

文字「S」で始まるように ID を変更し、操作を再試行してください。

重大度

12

CKR2390 **修飾子索引は 1 以上でなければなりません (Qualifier index must be >= 1)**

説明

QUALIFIER 関数に無効な修飾子インデックスが指定されました。値は 1 と等しいか、それより大きい整数である必要があります。

ユーザーの処置

QUALIFIER 関数の修飾子インデックスが正しいことを確認してください。

重大度

12

CKR2391 *option* は *cmd* コマンドの複数の *object ID* ではサポートされません。
(*option is not supported for multiple object identifiers in cmd command.*)

説明

object パラメーターに ID のリストが含まれている場合、CARLa *cmd* コマンドについて *option* 指定は無効です。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトを変更してください。

重大度

12

CKR2392 *cmd* コマンドは、複数の *objectID* ではサポートされません。
(*cmd command is not supported for multiple object identifiers.*)

説明

object に対する複数の ID の指定は、*cmd* コマンドでは許可されません。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトを変更してください。

重大度

12

CKR2394 オプション **TOUSER/TOGROUP/TOPERMIT** は、**COPY USER TOUSER TOGROUP** を除いて同時に使用できません
(**Options TOUSER/TOGROUP/TOPERMIT are mutually exclusive except in COPY USER TOUSER TOGROUP**)

説明

オプション **TOUSER**、**TOGROUP**、および **TOPERMIT** は、**COPY/MOVE/REMOVE CARLa** コマンドでは同時に使用することはできません。唯一の例外は **COPY USER**

コマンドで、**TOUSER** オプションと **TOGROUP** オプションの両方が許可されます。

ユーザーの処置

CARLa を修正し、対応するコマンドから同時に指定できないオプションを削除してください。

重大度

12

CKR2395 **ICHNCV00** 変換は、*sysname "resource_name"* リソースではサポートされません
(**ICHNCV00 conversion is not supported for *sysname "resource_name" resource***)

説明

命名規則テーブル **ICHNCV00** は、指定された **VSAM** データ・セット (*resource_name*) の変換に失敗しました。これは、変換アクションは指定されたシステム (*sysname*) 上でサポートされないためです。

ユーザーの処置

ICHNCV00 変換は実行されなかったため、この状況では注意が必要なことがあります。

重大度

04

CKR2396 フィールド *field* の **long 16 進数の値 "value"** が無効です。
ddname、行 *number* (Field *field* long hex value "value" invalid at *ddname* line *number*)

説明

この行の **SELECT** または **EXCLUDE** ステートメントには、'FFFFFFFF'X より大きい 16 進値を持つ節があります。比較されたフィールドは、'FFFFFFFF'X と等しいか、それより小さい値のみを受け入れる数値フィールドです。

重大度

12

CKR2397 フィールド **CUSTOM_DATA** は、行の単一フィールドとしてのみ有効です。
ddname、行 *number* (Field **CUSTOM_DATA** only valid as single field on a line at *ddname* line *number*)

説明

CUSTOM_DATA フィールドは、行の唯一のフィールドである必要があります。

ユーザーの処置

CUSTOM_DATA フィールドが指定された行から追加フィールドを削除してください。

重大度

12

CKR2398 DIRLIST は失敗しました。
(DIRLIST failed.)ZERRMSG=error_message
(ZERRMSG=error_message)

説明

このメッセージは、DIRLIST サービスの呼び出し中に重大エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置

JESLOG を検討し、このエラーが他のエラーまたはメッセージに関連付けられているかどうかを判断してください。問題を解決できない場合、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR2399 ファイル *file volser dsname* の ACCESS ファイル・フォーマット B はサポートされません (A はサポートされます) (Unsupported ACCESS file format B (A supported) for file *file volser dsname*)

説明

このメッセージは、指定された TYPE=ACCESS 入力ファイルが、このレベルのプログラムによってサポートされるフォーマットよりも新しいフォーマットを持つことを示しています。

ユーザーの処置

ソフトウェアをアップグレードするか、同じソフトウェア・レベルでデータ・セットを作成します。

重大度

16

CKR メッセージ 2400 から 2499

CKR2400 *number1* ACCESS レコードは、入力で *number2* レコードに統合されました (縮小 *nn%*) (*number1* ACCESS records consolidated on input to *number2* records (reduction *nn%*))

説明

このメッセージは、新規フォーマットの TYPE=ACCESS ファイルの処理中に発行されます。メッセージは、達成されたデータ削減をレコード数で定量化します。

重大度

00

CKR2401 TYPE=ACCESS ファイル *ddname volser dsname* から *number* 件のレコードを読み取りました (エラー *n* 件) (Read *number* records (with *n* errors) from TYPE=ACCESS file *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、示されたレコード数を読み取った後、示された入力ファイルを閉じるときに発行されます。ファイルについてエラーが発生した場合、エラー数をリストします。

重大度

0

CKR2402 連結された入力ファイル *ddname volser dsname* から TYPE=ACCESS UNLOAD に連結できません (Cannot consolidate to TYPE=ACCESS UNLOAD from concatenated input file *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、高速連結の TYPE=ACCESS UNLOAD は、並列で読み取られた非連結の入力ファイルからのみ作成できることを示しています。示されたファイル名には、ACCESS ファイルの連結が含まれています。

重大度

16

CKR2403 不完全な **TYPE=ACCESS** ファイル
ddname volser dsname
(Incomplete **TYPE=ACCESS** file
ddname volser dsname)

説明

このメッセージは、新規フォーマット **TYPE=ACCESS** ファイルの末尾に通常書き込まれる特殊なファイルの終わり (EOF) レコードが検出されなかったことを示します。ファイルを作成したジョブが早期終了し、不完全なファイルが発生した場合があります。

重大度

8

CKR2404 **TYPE=ACCESS UNLOAD** は
SELECT/EXCLUDE をサポートしま
せん。**LIST RECORD** を使用してく
ださい (**TYPE=ACCESS UNLOAD**
does not support SELECT/
EXCLUDE, use LIST RECORD)

説明

このメッセージは、**UNLOAD** を伴う **NEWLIST** **TYPE=ACCESS** ステートメントでは選択はサポートされないことを示します。

ユーザーの処置

代わりに **NEWLIST NOPAGE** と一緒に **LIST RECORD** を使用して、目的の選択出力を得るか、**NEWLIST** **TYPE=ACCESS** ステートメントと **UNLOAD** ステートメントの間から **SELECT** ステートメントおよび **EXCLUDE** ステートメントを除去してください。

重大度

12

CKR2405 古いフォーマットのファイル
ddname volser dsname から
TYPE=ACCESS UNLOAD への高速
統合を実行できません (Cannot
perform fast consolidation to
TYPE=ACCESS UNLOAD from old-
format file *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、示された古いフォーマットの入力ファイルから高速統合の **TYPE=ACCESS UNLOAD** を作成できないことを示しています。

ユーザーの処置

最初に古いフォーマットのファイルを新しいフォーマットに変換してください。SCKRCARL メンバー **C2PAMCVT** を使用します。

重大度

16

CKR2406 *number* 件の **ACCESS** レコードを選
択し、*newlist name* によって
number file の要約レコードが生成
されました (削減 *nn%*) (*number*
selected ACCESS records resulting
in *number file* summary records
(reduction *nn%*) by *newlist name*)

説明

このメッセージは、示された **newlist** によって達成された、計算された削減率を提供します。削減を生成するには、1 レベル **SUMMARY** である必要があります。これは、結果の要約行数と選択されたレコード数を比較します。CARLa メンバー **C2PAMCMP** の場合、計算によって、達成されたデータ削減がレコード数で示されます。

選択によって達成された削減については、メッセージ番号 **CKR1414** を参照してください。入力統合によって達成された削減については、メッセージ **CKR2400** を参照してください。

重大度

00

CKR2407 **RACF** データベース・フォーマットで
の **UNLOAD** のエラー - **CRDB** が欠落
しています (**UNLOAD with RACF**
database format error - CRDB is
missing)

説明

RACF データベース・アンロードで、**RACF** データベース・プロパティについて記述したレコードが見つかりません。**RACF** データベース **UNLOAD** 処理が失敗した可能性があるか、**UNLOAD** データ・セットが破損しています。

ユーザーの処置

RACF データベースの **UNLOAD** 処理を繰り返し、その後で **UNLOAD** データ・セットが変更されていないことを確認してください。

重大度

16

CKR2409 有効な CKFREEZE がありません。
システム初期化を終了します (No
valid CKFREEZE, terminating
system initialization)

説明

このメッセージは、少なくとも1つのCKFREEZEファイルが割り振られたが、割り振られたファイルをいずれも使用できなかった場合に発行されます。照会は終了されました。割り振られたCKFREEZEファイルについての実際の問題を判別するには、SYSPRINTの前の方のメッセージを探してください(例えば、CKR1258が発生した可能性があります)。

重大度

20

CKR2410 PAGE/TITLE/RETAIN またはリテラルとの組み合わせの要約レベルが多すぎます。ddname の行 number の制限は 256 です (Too many summary levels in combination with PAGE/TITLE/RETAIN or literals, limit is 256 at ddname line number)

説明

このメッセージは、出力フィールドについてのPAGE修飾子、TITLE修飾子、SUBTITLE修飾子、またはRETAIN修飾子、あるいはCARLaリテラルと組み合わせた(D)SUMMARY CARLaステートメントに対して定義された要約レベルが多すぎることを示します。

ユーザーの処置

要約レベルの数を減らしてください。

重大度

12

CKR2411 システム system 複合システム complex での class に対する予期しないデフォルト RC (Unexpected default RC for class on system system complex complex)

説明

示されたシステム上の示されたクラスのデフォルト戻りコードが通常の状態と異なります。UNIXファイルについてのアクセス・シミュレーションではこの状態をサポートしません。UNIXおよびTRUSTEDレポートには、実際に認可されているよりも多くのアクセス権限が表示されることもあります。

重大度

04

CKR2412 modifier は、ddname の行 number の非ブール値フィールド fieldname でサポートされていません (modifier not supported for non-boolean field fieldname at ddname line number)

説明

示された modifier は、ブール値に評価されるフィールドまたは定義済み変数でのみ使用できます。示された field はブール型ではありません。

重大度

12

CKR2413 modifier は、ddname の行 number で定義された変数 fieldname でサポートされていません (modifier not supported for variable fieldname defined at ddname line number)

説明

統計タイプ modifier は、ブール値に評価される where 節を含まないフィールドまたは定義済み変数でのみ使用できます。つまり、DEFINEのタイプがTRUEまたはBOOLEANであるか、DEFINEのタイプがASであり、その基盤となるフィールドはブール型である場合です。示された variable は、これらの基準を満たしません。

重大度

12

CKR2414 ddname 行 lineno で定義された、WHERE 節のある変換は、ddname 行 lineno の選択句では許可されません (Conversion with WHERE clause defined at ddname line lineno not allowed in selection clause at ddname line lineno)

説明

入力パーサーは、サポートされていない、以下の状態を検出しました。

- 変換が SELECT/EXCLUDE ステートメントで間接的に (DEFINE...AS.. を使用して) 使用されている。
- 変換に WHERE 節がある。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトを修正してください。

重大度

12

CKR2415 セキュリティー・モニターは、ボリューム *volume user.dev* 上のミニディスクを保護しません (**Security monitor does not protect minidisk on volume *volume user.dev***)

説明

このメッセージは、次の場合に、VERIFY PROTECTALLによって発行されます。

- VM CP ディレクトリー内のミニディスク定義に一致するプロファイルがない場合。
- HCPRWA 情報が、未定 VMDISK アクションは DEFER であると示している場合。

この状態を修正するためのコマンドは生成されません。したがって、ユーザー自身がアクセス要件を確認する必要があります。

重大度

08

CKR2416 ボリューム *volume user.dev* 上でミニディスク以外の VMMDISK プロファイルは保護されません (**No VMMDISK profile but minidisk protected on volume *volume user.dev***)

説明

このメッセージは、次の場合に、VERIFY PROTECTALLによって発行されます。

- VM CP ディレクトリー内のミニディスク定義に一致するプロファイルがない場合。
- HCPRWA 情報が、未定 VMDISK アクションは FAIL であると示している場合。

この状態を修正するためのコマンドは生成されません。したがって、アクセス要件を確認する必要があります。

重大度

08

CKR2417 ボリューム *volume user.dev* 上のミニディスクのセキュリティー・モニターと関係なく、アクセスが許可されています (**Access allowed independently of security monitor for minidisk on volume *volume user.dev***)

説明

このメッセージは、次の場合に、VERIFY PROTECTALLによって発行されます。

- VM CP ディレクトリー内のミニディスク定義に一致するプロファイルがない場合。
- HCPRWA 情報が、未定 VMDISK アクションは ALLOW であると示している場合。

この状態を修正するためのコマンドは生成されません。したがって、ユーザー自身がアクセス要件を確認する必要があります。

重大度

08

CKR2418 **DIAGNOSE A0-50 処理中の *xxxx* (*xxxx* during DIAGNOSE A0-50 processing)**

説明

RACF 基本/バックアップ・データ・ファイルまたは稼働中 SMF データ・ファイルのどちらかを割り振るための情報を入手するために DIAGNOSE A0 コマンドを実行中にエラーが発生しました。CKRCARLA 処理を終了します。

重大度

08

CKR2419 ***xxxxx* 装置 *yyy* について VMLINK を発行中のエラー (Error issuing VMLINK for *xxxxx* device *yyy*) MSG=*ttttt***

説明

z/VM で RACF 基本/バックアップ・データ・ファイルまたは稼働中 SMF データ・ファイルのどちらかを割り振るために VMLINK コマンドを実行中にエラーが発生しました。指定された装置が、割り振られるファイルのタイプを決定します。

装置	ファイル・タイプ
200	基本 RACF データベース
300	バックアップ RACF データベース
301	稼働中 SMF データ・ディスク
302	稼働中 SMF データ・ディスク 2

メッセージ *ttttt* は、VMLINK コマンドから戻されたメッセージを示します。

重大度

04

CKR2420 [PRIMARY | BACKUP] RACF データベースの割り振り中のエラー。
(Error allocating [PRIMARY | BACKUP] RACF database.) 処理を終了します (Processing terminated)

説明

基本またはバックアップ RACF データベースを割り振るための情報を入手するために VMLINK コマンドを発行中にエラーが発生しました。CKRCARLA 処理を終了します。メッセージ CKR2418 により詳細情報が提供されます。

重大度

12

CKR2421 システム *system version complex volume dsn* について MCDS がもう 1 つ検出されました。最初のもは *dsn* でした (Encountered another MCDS for system *system version complex volume dsn*, first was *dsn*) 「SIMULATE SHARED VOL=MIGRAT」ステートメントを使用して、MCDS を共有するシステムを指定してください (Use 'SIMULATE SHARED VOL=MIGRAT' statement to specify which systems share MCDS)

説明

システムのデータ・セット情報を処理中に、複数の DFSMSHsm マイグレーション制御データ・セット (MCDS) が検出されました。zSecure では、MCDS を使用して、システム間でのマイグレーション (MIGRAT) ポリウム共有を判別します。複数のマイグレーション制御データ・セットが検出された場合、zSecure はシステム間での MIGRAT ポリウム共有を判別できません。

ユーザーの処置

MIGRAT を共有するシステムを明示的に指定するために、「SIMULATE SHARED VOL=MIGRAT ...」CARLa ステートメントを追加してください。ISPF UI で SETUP PREAMBLE を使用すると、このステートメントを追加することができます。あるいは、SUPPRESS MSG=2421 を指定して、最初に検出された MCDS を使用することができます。

重大度

20

CKR2422 HSM と ABR が両方とも *system version complex* 上にあり、ポリウム MIGRAT のポリウム共有を判別するために HSM MCDS を使用しています (HSM and ABR are both present on *system version complex*, using HSM MCDS for determining volume sharing for volume MIGRAT)

説明

DFSMSHsm マイグレーション制御データ・セットと ABR アーカイブ制御ファイルの両方が検出されました。DFSMSHsm MCDS の共有により、MIGRAT ポリウム共有が判別されました。

ユーザーの処置

アクションは不要です。

重大度

00

CKR2423 VMCMD DIAG0A0.RACONFIG に対する読み取り権限がありません。クラス A でも、クラス B でもありません (No READ access to VMCMD DIAG0A0.RACONFIG, or not class A or B)

説明

ユーザーには、DIAGNOSE A0 コマンドを実行して、RACF 基本/バックアップまたは稼働中 SMF データ・ファイルのどちらかを割り振るための情報を入手する権限がありません。zSecure では、RACFVM デフォルト値を使用して、これらの z/VM ファイルを割り振ります。

重大度

04

CKR2424 *file* 行 *number* のフォーマット *format* フィールド *field* の値 *value* が無効です (Invalid value *value* for format *format* field *field* at file line *number*)

説明

SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにフォーマット *format* を持つフィールド *field* に対して無効な値が指定されました。有効なフォーマット値は、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『TYPE=RACF 以外

の NEWLIST タイプ用の SELECT および EXCLUDE』に記載されています。

重大度

12

CKR2425 *ddname* 行 *number* の *token* の前に予期しない「)」があります
(Unexpected ')' before token at *ddname* line *number*)

説明

入力で、左括弧と一致しない右括弧が検出されました。

ユーザーの処置

CARLa ジョブから無関係の右括弧を削除してください。

重大度

12

CKR2426 LIST と同様のステートメントが使用し果たされました。
INPUT_CONDITION が、*ddname* 行 *number* の *token* の前で「)」で閉じられていません (LIST-like statement exhausted; INPUT_CONDITION not closed by ')' before token at *ddname* line *number*)

説明

条件付きで組み込まれた出力フィールドを示す構造体が、括弧で適切に閉じられていません。

ユーザーの処置

右括弧を使用して構造体を閉じることによって、CARLa を修正してください。

重大度

12

CKR2427 *ddname* 行 *number* の newlist *type=type* について自動比較が無視されました (Automatic compare ignored for newlist *type=type* at *ddname* line *number*)

説明

ALLOC ステートメントで FUNCTION=BASE を使用して自動比較が指定されていますが、この newlist タイプは自動比較をサポートしていません。newlist は、ALLOC ステートメントに FUNCTION=BASE が指定さ

れていない場合と同様に処理されます。

COMPARE_RESULT フィールドおよび COMPARE_CHANGES フィールドは使用できますが、ブランク値を戻します。COMPAREOPT SHOW 処理のため、フィルタリングは発生しません。

ユーザーの処置

この newlist が比較演算を実行することを明示的に要求するためには、独自の比較演算を定義する必要があります。「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度

00

CKR2428 デフォルトの比較では、*ddname* 行 *number* の newlist *type=type* に比較フィールドが必要です (Default compare requires compare fields in newlist *type=type* at *ddname* line *number*)

説明

NEWLIST ステートメントで COMPAREOPT=DEFAULT を使用して、この newlist タイプに比較が指定されました。しかし、このレポート・タイプにはデフォルトの比較は定義されていません。この newlist を使用して比較するためには、比較するフィールドを定義する COMPAREOPT ステートメントを作成してください。「BY」フィールドと「BASE」フィールドを指定することも必要です。

ユーザーの処置

比較演算の作成については、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度

12

CKR2429 異なる VERSION=*ver* ファイル *ddname* 行 *number* から TYPE=ACCESS UNLOAD に統合できません (Cannot consolidate to TYPE=ACCESS UNLOAD from different VERSION=*ver* file *ddname* line *number*)

説明

複数のバージョンの同時高速統合はサポートされていません。単一の統合出力ファイルに複数のバージョンからの情報を含めることはできません。

ユーザーの処置

VERSION ごとに別個の実行を使用してください。

重大度

16

CKR2430 **newlist** タイプ *type* が、**ddname2** line *number2* で既に使用されている **ddname1** line *number1* にあります (Newlist type *type* at **ddname1** line *number1* already used at **ddname2** line *number2*)

説明

各 newlist タイプは、SELECT 節または TEST 節で一度だけ指定できます。

ユーザーの処置

DOMAIN ステートメントで、2つの選択を結合して1つの SELECT TYPE() 節にしてください。TEST ステートメントで、2つのテストを2つの TEST ステートメントに対して分割してください。

重大度

12

CKR2431 **ddname1** 行 *number1* の TEST *testname* は、ルール *rulename* 内の **ddname2** 行 *number2* で既に定義されています (Test *testname* at **ddname1** line *number1* already defined at **ddname2** line *number2* in rule *rulename*)

説明

TEST には、OTHERWISE 節でネストされている場合でも、RULE を使用して独自の名前を付ける必要があります。

ユーザーの処置

指定されたルールで同じ名前を持つ2つのテストの名前のいずれかを変更してください。

重大度

12

CKR2432 **ddname1** 行 *number1* の STANDARD name VER(*version*) は、**ddname2** 行 *number2* で既に定義されています (Standard name VER(*version*) at **ddname1** line *number1* already defined at **ddname2** line *number2*)

説明

STANDARD は、名前と VERSION の固有の組み合わせを持つ必要があります。

ユーザーの処置

同じ名前とバージョンを持つ2つの STANDARD バージョンのいずれかの名前またはバージョンを変更してください。

重大度

12

CKR2433 **ddname1** 行 *number1* のドメイン *name* は、標準 *stdname* VER(*version*) の **ddname2** 行 *number2* で既に定義されています (Domain name at **ddname1** line *number1* already defined at **ddname2** line *number2* in standard *stdname* VER(*version*))

説明

DOMAIN は、STANDARD 内で固有の名前を持っている必要があります。

ユーザーの処置

指定された標準内で同じ名前を持つ2つのドメインの名前のいずれかを変更してください。

重大度

12

CKR2435 **ddname** 行 *number* のドメイン *name* 用に、パラメーター **SELECT** が存在している必要があります (Parameter **SELECT** must be present for domain name at **ddname** line *number*)

説明

ドメイン定義に、ドメインの内容を定義するパラメーターが含まれている必要があります。そのためには、ドメインが他のドメインの集合であることを指定するか、あるいはドメインを定義する TYPE 節および SELECTION 節を定義する SELECT パラメーターを指定する必要があります。

ユーザーの処置

ドメインを定義するために SUBDOMAIN パラメーターまたは SELECT パラメーターを追加してください。

重大度

12

CKR2436 *ddname1* 行 *number1* のルール *rulename* は、標準 *stdname* VER(*version*) 内のセット *setname* 内の *ddname2* 行 *number2* で既に定義されています (Rule *rulename* at *ddname1* line *number1* already defined at *ddname2* line *number2* in set *setname* in standard *stdname* VER(*version*))

説明

RULE は、STANDARD バージョン内で固有の名前を持っている必要があります。

ユーザーの処置

指定された標準内で同じ名前を持つ 2 つのルールの名前のいずれかを変更してください。

重大度

12

CKR2438 「)」を予期しています - 「)」がないか、スキップしています (Expecting) - skipping for) ;)

説明

構文エラーがあります。右括弧が欠落しています。コマンド・パーサーは、現行パラメーターを終了できる右括弧またはセミコロンを探すことにより、現行ネスティング・レベルでの解析の続行を試みます。見つかった場合に、それが意図した区切り文字でないことがあります。このスキャンは、場合によっては、STANDARD コマンド・パーサー全体が終了しないようにするためのエラー・リカバリーとして実行されます。これは、行の継続用のコンマが欠落している問題か、あるいは許可されなくなった名前を使用していることが原因である可能性があります。

ユーザーの処置

右括弧が適切な場所に指定されていることを確認してください。

重大度

12

CKR2439 SUMMARY パラメーターは、ドメイン *domain* の *ddname* 行 *number* でマルチレベルであってはなりません (SUMMARY parameter cannot be multi-level at *ddname* line *number* for domain *domain*)

説明

DOMAIN での SUMMARY 指定には、1 レベルの要約統計のみ含めることができます。

ユーザーの処置

追加の要約レベルを示す * を削除してください。

重大度

12

CKR2440 ドメイン *name* が、*ddname* 行 *number* のルール *rulename* で使用される前に標準 *name* に定義されていません (Domain *name* not defined in standard *name* before use in rule *rulename* at *ddname* line *number*)

説明

RULE の指定で使用されるドメインは、ここで使用される前に、同じ標準バージョンで DOMAIN ステートメントに定義されている必要があります。

ユーザーの処置

参照されるドメインが、前もって標準バージョンで定義されていることを確認してください。

重大度

12

CKR2441 ルール用には、*ddname2* 行 *number2* の *name2* ではなく、*ddname1* 行 *number1* の ENDRULE *name1* を予期しています (Expecting ENDRULE *name1* for rule at *ddname1* line *number1* instead of *name2* at *ddname2* line *number2*)

説明

ENDRULE ステートメントに含まれている、現在アクティブなルール名は予期したものではありません。

ユーザーの処置

ENDRULE ステートメントのルール名または RULE ステートメントのルール名を修正するか、あるいはステートメントのネスティング・レベルを修正してください。

重大度

12

CKR2442 標準用には、*ddname2* 行 *number2* の *name2* ではなく、*ddname1* 行 *number1* の **ENDSTANDARD** *name1* を予期しています (Expecting **ENDSTANDARD** *name1* for standard at *ddname1* line *number1* instead of *name2* at *ddname2* line *number2*)

説明

ENDSTANDARD ステートメントに含まれている、現在アクティブな標準名は予期したものではありません。

ユーザーの処置

ENDSTANDARD ステートメントの標準名を修正するか、STANDARD ステートメントの名前を変更する、あるいはステートメントのネスティング・レベルを修正してください。

重大度

12

CKR2443 *ddname1* 行 *number1* タイプ *type* のテスト *name* は、*ddname3* 行 *number3* のルール *rule* 用の *ddname2* 行 *number2* のルール・ドメイン *domain* の一部ではありません (Test *name* at *ddname1* line *number1* type *type* not part of rule domain *domain* at *ddname2* line *number2* for rule *rule* at *ddname3* line *number3*)

説明

RULE と ENDRULE 間での各 TEST の指定が、RULE ステートメントで識別されている DOMAIN の SELECT パラメーターにある newlist タイプに適用される必要があります。

ユーザーの処置

ドメイン SELECT パラメーターまたは RULE DOMAIN パラメーター、あるいは TEST newlist タイプを変更してください。

重大度

12

CKR2445 SET(*setname*) が指定されていますが、**RULE_SET** *setname* が存在しません (SET(*setname*) has been specified, but no **RULE_SET** *setname* exists)

説明

SET(*setname*) が RULE ステートメントで指定されましたが、同じ名前を持つ **RULE_SET** が存在しません。

重大度

12

CKR2446 *ddname* の行 *number* で、**OPTION** は **SELECT** *name* の前になければなりません (**OPTION** must precede **SELECT** *name* at *ddname* line *number*)

説明

DOMAIN ステートメントで **OPTION** キーワードが指定されている場合、**SELECT** キーワードの前になければなりません。

重大度

12

CKR2447 システム・カーソルの最終設定: **sysname** [*version*] [-*generation*] **filename** (System cursor last set to **sysname** [*version*] [-*generation*] **filename**)

説明:

このメッセージは、システム・カーソルが設定された場合に、要約ダンプ出力の一部として発行されます。この情報を利用すると、処理されていた CKFREEZE ファイルを判別できます。

重大度

00

CKR2448 複合システム・カーソルの最終設定: **complex** [*version*] (Complex cursor last set to **complex** [*version*])

説明:

このメッセージは、複合システム (セキュリティー・データベース) カーソルが設定された場合に、要約ダンプ出力の一部として発行されます。この情報を利用すると、処理されていたセキュリティー・データベースを判別できます。システム・カーソルを設定している場合は、一般に複合システム・カーソルが維持されないことに注意してください。

重大度

0

CKR2449 **ALLOC** ステートメントに **FUNCTION=MAIN** 複合システムが指定されていません (**No**

FUNCTION=MAIN complex - ALLOC statements)

説明:

このメッセージは、明示的な ALLOC ステートメントに FUNCTION=MAIN 複合システムが指定されなかったか、暗黙の割り振りデフォルトによる FUNCTION=MAIN 複合システムの指定がなかったことを示します。

ユーザーの処置:

FUNCTION を指定せずに ALLOC ステートメントを追加するか、明示的に FUNCTION=MAIN を指定してください。

重大度

12

CKR2450 ファイル *ddname volser dsn* 内のシステム *SMFid* について CKFREEZE が見つかりませんでした (No CKFREEZE file found for system *SMFid* in file *ddname volser dsn*)

説明

一連の入力ファイルに CKFREEZE ファイルが存在していないシステム SMF ID が含まれている ACCESS レコードが読み取られました。

ユーザーの処置

指示されたシステムの CKFREEZE ファイルを接続してください。例えば、ACCESS ファイルが変更されたことが原因で、そのような CKFREEZE が存在しない場合は、SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT ステートメントを使用して、デフォルト・システムからの設定を使用できます。

重大度

08

CKR2451 *ddname volser dsn* に一致する CKFREEZE ファイルがないため、システム *name1* をデフォルト *name2* でシミュレートしています (Simulating system *name1* with default *name2* because no CKFREEZE file matching *ddname volser dsn*)

説明

一連の入力ファイルに CKFREEZE ファイルが存在していないシステム SMF ID が含まれている ACCESS レコードが読み取られました。SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT ステートメントが指定

されているために、これらの ACCESS レコードにデフォルト・システムからの設定が使用されます。

ユーザーの処置

アクションは不要です。

重大度

00

CKR2452 許可されるのは単純選択節のみです。標準 *standard* 内のルール *rule* の *ddname* 行 *number* にあるテスト *testname* を単純化してください (Only simple select clauses allowed; simplify test *testname* at *ddname* line *number* in rule *rule* in *standard standard*)

説明

COMPLIANCE newlist で、テスト節は、形式 *field operator value* の単純テストのみを使用して表されます。現行のテスト節は、これらの必要な 3 つの部分に分割できません。このメッセージは、RACF テスト節にのみ当てはまります。

ユーザーの処置

テストを複数のテストに分割するか、あるいはもっと単純な方法でテストを表現してください。

重大度

12

CKR2453 許可されるのは単純選択節のみです。標準 *standard* 内のルール *rule* の *ddname* 行 *number* にあるテスト *testname* を単純化してください (Only simple select clauses allowed; simplify test *testname* at *ddname* line *number* in rule *rule* in *standard standard*)

説明

COMPLIANCE newlist で、テスト節は、形式 *field operator value* の単純テストのみを使用して表されます。現行のテスト節は、これらの必要な 3 つの部分に分割できません。このメッセージは、非 RACF テスト節にのみ当てはまります。

ユーザーの処置

テストを複数のテストに分割するか、あるいはもっと単純な方法でテストを表現してください。

重大度

12

CKR2454 システム *sysname, ddname vol dsn* の CKFREEZE からの DB2 カタログ情報が欠落しているためにレポートが不完全です (Report incomplete because DB2 catalog information missing from CKFREEZE for system *sysname, ddname vol dsn*)

説明

CKFREEZE ファイルからの DB2 カタログ情報が欠落しており、その結果、DB2 レポートが欠落しています。

ユーザーの処置

すべての DB2 サブシステムがアクティブな状態で zSecure Collect プログラム (CKFCOLL) を再実行し、DB2=Y オプションおよび DB2CAT=Y オプションを指定して、DB2 カタログ情報を収集してください。

重大度

08

CKR2455 *type*、GRANTEETYPE *xXX* は予想されていません (Unexpected *type*, GRANTEETYPE *xXX*)

説明

このメッセージは、SYSIBM...AUTH DB2 テーブルのフィールド GRANTEETYPE で予期しない値が検出されたことを示しています。予期値は、(UTF8 文字セットの) ブランク、L、または P です。このメッセージは、抑止することができます。

ユーザーの処置

CKFREEZE ファイルが破損していないか、確認してください。ファイルの破損を確認できない場合は、DB2 AUTH テーブルに、*type* で指示されている 2 文字オブジェクト・タイプがないか調べてください。新しいタイプがある場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

重大度

16

CKR2456 ドメイン *domain* の *ddname* 行 *number* タイプ *type* にあるテスト *testname* についてカウント・フィールドが見つかりませんでした (Count field not found for test *testname* at *ddname line number type type* of domain *domain*)

説明

SUMMARY が指定されたドメインの場合、COUNT 変数を定義して、テストに使用できる要約キーごとの追加のカウントを指定することが可能です。しかし、SUMMARY の指定で、COUNT フィールドが見つかりませんでした。

ユーザーの処置

指示された newlist type の DOMAIN SUMMARY 指定に COUNT フィールドを追加してください。

重大度

12

CKR2457 *ddname line number* の抑止コマンドで標準 *standard* が見つかりませんでした (Not found standard *standard* in suppress command at *ddname line number*)

説明

入力に SUPPRESS STANDARD=*standard* ステートメントが見つかりましたが、その標準を定義する STANDARD ステートメントがありませんでした。SUPPRESS ステートメントは無視されます。

ユーザーの処置

意図した標準で作業しているかどうか、あるいは標準名のミススペルではないか、確認してください。

重大度

04

CKR2458 *ddname* の行 *number* の抑止コマンドで、どのバージョンの標準 *standard* にもルール [セット] *rule [set]* が見つかりません (Not found *rule [set] rule [set]* in any version of standard *standard* in suppress command at *ddname line number*)

説明

この警告メッセージは、SUPPRESS STANDARD=*standard* RULE=*rule* ステートメントまたは SUPPRESS STANDARD=*standard* RULE_SET=*rule set* ステートメントが、指定された標準内に存在しない、名前指定された RULE または RULE_SET ステートメントを参照している場合に発行されます。SUPPRESS ステートメントは無視されます。

ユーザーの処置

意図した標準バージョンで作業しているかどうか、および名前スペルが正しいかどうかを確認してください。

重大度

04

CKR2459 DDNAME/DD/FILE/F=*ddname* オーバーライドは、マージ・コンテキスト内でサポートされていません (DDNAME/DD/FILE/F=*ddname* override is not supported within merge context - at *ddname* line number)

説明

MERGLIST ステートメントと ENDMERGE ステートメントとの間の newlist にも指示されている DDNAME ステートメントがありますが、MERGLIST ステートメントに DDNAME オプションが指定されています。これはサポートされません。

ユーザーの処置

MERGLIST 操作作用に出力宛先を 1 つだけ使用するよう CARLa コードを変更してください。

重大度

12

CKR2460 DDNAME/DD/FILE/F=*ddname* [override] は、マージ・コンテキスト [,DDNAME/D/FILE/F=*ddname* is used] 内で無視されます - *ddname* line number で (DDNAME/DD/FILE/F=*ddname* [override] is ignored within merge context [,DDNAME/D/FILE/F=*ddname* is used] - at *ddname* line number)

説明

MERGLIST/ENDMERGE ペア間の newlist ステートメントで、最初の newlist ステートメントに指定された名前と異なるデータ・セット名を持つ DDNAME オプションが指定されています。これは、同じマージ・コンテキスト内では許可されません。最初の newlist に DDNAME が指定されている場合、それは、同じマージ・コンテキスト内のすべての後続 newlist ステートメントに使用されます。

ユーザーの処置

CARLa コードを確認し、修正してください。

重大度

04

CKR2461 SMFID *smfid* の CKFREEZE がありません。リソース名は近似名です

(No CKFREEZE for SMFID *smfid*, resource names approximated)

説明

該当する CKFREEZE データ・セットがないため、SMF レコード内のデータ・セット名を、外部セキュリティ・マネージャーが使用するリソース名に正確に変換することができませんでした。プログラムでは、正確な方式に近い方式を使用しています。このシステムの SMF レコードを処理する際に、リソース名はデータ・セット名と同じであると見なされます。このメッセージは、*smfid* に示されているように、異なる SMFID ごとに一度だけ発行されます。このシステムから処理された SMF レコードの数は、メッセージ CKR0452 に示されています。

重大度

04

CKR2462 *ddname* line number に SUPPRESS_IF_COMPARE と COMPAREOPT=*name* の両方があります (Both SUPPRESS_IF_COMPARE and COMPAREOPT=*name* at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、SUPPRESS_IF_COMPARE キーワード (レポートが比較の適用範囲内にある場合にはレポートを抑止します) と、COMPAREOPT=*name* (比較を指定します) の両方が同じレポート上に明示的に存在する場合にのみ発行されます。これが許可されている場合でも、レポートについて真の出力を生成することはできません。SUPPRESS_IF_COMPARE は、自動 (暗黙) 比較の発生を条件付きで抑止するように作られています。

重大度

04

CKR2463 フィールド *field source* について、制限付きモードでの選択により、newlist [*name*] source へのアクセスが最小限に抑えられ、*level* になっています (Selection in restricted mode raises minimum access on newlist [*name*] source to level for field *field source*)

説明

指定された制限付きフィールドが select 節で参照されているために、示された newlist の出力が、ユーザーが必要なアクセス権限を持つレコードに自動的に制限されています。

重大度

00

CKR2464 フィールド *fieldname* に対して選択された入力が *number* 文字を超えています。(Selected input for field *fieldname* is longer than *number* characters.)

説明

フィールドで許可されている最大長を超えるストリングが指定されました。フィールド名と使用できる最大文字数がメッセージで示されています。

重大度

12

CKR2465 **CSRCSERV QUERY が失敗しました。RC=rc (CSRCSERV QUERY failed, RC=rc)**

説明

圧縮 DB2 SMF レコードに使用されるデータ解凍サービス (CSRCSERV) に対する QUERY 要求が、戻りコード *rc* で失敗しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR2466 *ddname volser dsn* 内の SMF レコード *recno* に対する **CSRCSERV EXPAND** が失敗しました。RC=rc (CSRCSERV EXPAND failed for SMF record *recno* in *ddname volser dsn*, RC=rc)

説明

データ解凍サービス (CSRCSERV) が、*ddname volser dsn* 内の DB2 圧縮 SMF レコード *recno* を解凍できませんでした。エラー・コードが *rc* です。

ユーザーの処置

SMF レコードが破損していないことを確認してください。レコードに問題がない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR2467 *nn* 個の [DB2| CICS] 圧縮 SMF レコードが読み取られ、*nn* 個の [DB2 | CICS] 圧縮 SMF レコードが処理されました (*nn%*) (*nn* [DB2 | CICS] compressed SMF records read, *nn* [DB2 | CICS] compressed SMF records processed (*nn%*))

説明

このメッセージは、読み取られた DB2 または CICS 圧縮 SMF レコードの数と、その後の処理に向けて正常に解凍されたレコードの数およびパーセンテージを示します。このメッセージは、SMF データ・セット内に DB2 または CICS 圧縮 SMF レコードが存在し、それらのレコードに解凍対象のマークが付けられている場合のみ発行されます。

ユーザーの処置

読み取りレコード数が処理レコード数と同じである場合、ユーザーのアクションは不要です。処理レコード数が読み取りレコード数と同じでない場合は、1 つ以上のレコードのデータ解凍に失敗しています。CKR2465 メッセージと CKR2466 メッセージによって、データ解凍の問題に関する詳細情報が提供されます。

重大度

00

CKR2468 **NOOMVS** キーワードは、**NEWOMVSUID**、**NEWOMVSGID**、**NEWOMVSPROGRAM**、および **NEWOMVSHOME** の各キーワードと同時に使用できません。(The **NOOMVS** keyword is mutually exclusive with the **NEWOMVSUID**、**NEWOMVSGID**、**NEWOMVSPROGRAM**, and **NEWOMVSHOME** keywords.)

説明

NOOMVS キーワードが COPY コマンドで使用されている場合は、NEWOMVSUID、NEWOMVSGID、NEWOMVSPROGRAM、および NEWOMVSHOME の各キーワードを使用できません。

ユーザーの処置

該当するキーワードを除去して、COPY コマンドを再発行してください。

重大度

12

CKR2469 *ddname volser dsn* の解凍済みレコードの長さが **32K** を超えるため、**DB2 圧縮 SMF レコード *recno* をスキップします (Skipping DB2 compressed SMF record *recno* because expanded record length is >32K in *ddname volser dsn*)**

説明

SMF レコード *recno* は圧縮 DB2 レコードのようです。しかし、示された解凍済みレコードが長すぎるため、このレコードは破損しているようです。このレコードはスキップされました。

ユーザーの処置

SMF レコードが破損していないことを確認してください。レコードに問題がない場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR2470 **TYPE=ACCESS 入力の事前選択がアクティブです (TYPE=ACCESS input pre-selection active)**

説明

この通知メッセージは、TYPE=ACCESS 入力レコードをアクセス制御シミュレーション・エンジンに渡す前に事前選択するパフォーマンス最適化が、アクティブになっていることを示します。その結果、メッセージ CKR1137 で報告されるアクセス・レコードの数が、全体の数ではなく、事前選択後の数になります。レコードの全体の数は、メッセージ CKR1414 に表示されます。

重大度

00

CKR2471 **TYPE=ACCESS 入力の事前選択は行われません (TYPE=ACCESS input no pre-selection)**

説明

この通知メッセージは、TYPE=ACCESS レコードのパフォーマンス最適化を実行できないことを示します。

以下の条件が満たされる場合は、パフォーマンス最適化が行われません。

- TYPE=ACCESS に対するいずれかの SELECT ステートメントまたは EXCLUDE ステートメントに、アクセス・シミュレーションが必要なフィールド (SIM_ で始まるフィールド) が含まれている場合。
- SELECT ステートメントも EXCLUDE ステートメントが存在しない場合。

注：完全なパフォーマンス最適化を実行できない場合は、CPU 時間を大幅に節約する部分選択が可能な場合があります。その説明については、メッセージ CKR2478 を参照してください。

重大度

00

CKR2472 トークン *name* の TOKN シーケンス *seqid* をスキップします。レコード *number ddname volser dsname* (Skipping TOKN sequence *seqid* for token *name* record *number ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、システム内の示されたトークン名の ICSF TKDS (トークン・データ・セット) 内に、重複する TOKN タイプのレコードが見つかった場合に発行されます。このメッセージは、重複するレコードのシーケンス番号フィールドを示します。

重大度

04

CKR2473 *location* に、**10 進数としては無効な文字が含まれています (Invalid character in decimal number at *location*)**

説明

示された位置で指定されている値は、有効な 10 進数ではありません。

重大度

12

CKR2474 **警告: システム *sysname* の ASID *asid* は既に検出されています。CKFREEZE のレコード *rectype* (Warning: ASID *asid* already found**

for system *sysname*, record
rectype of CKFREEZE)

説明

同一システム (CKFREEZE データ・セット) 上で同一のアドレス・スペース ID (*asid*) が 2 回検出されました。

重大度

04

CKR2475 **警告: システム *sysname* のフィールド *field name* は既に検出されています。CKFREEZE のレコード *rectype* (Warning: field *field name* already found for system *sysname*, record *rectype* of CKFREEZE)**

説明

同一システム (CKFREEZE データ・セット) 上で同一のフィールド (*field name*) が 2 回検出されました。

重大度

04

CKR2476 ***ddname* の行 *number* にある *defined variable* が TRUE/BOOLEAN ではありません。*ddname* の行 *number* にある IFDEFINED と互換性がありません (defined variable at *ddname* line *number* not TRUE/BOOLEAN - incompatible with IFDEFINED at *ddname* line *number*)**

説明

IFDEFINED(*field*) 操作内の指定された変数が、BOOLEAN タイプと TRUE タイプのいずれでもありません。IFDEFINED は、TRUE タイプと BOOLEAN タイプの定義済み変数のみ参照できます。

重大度

12

CKR2477 ***location* に 31 桁を超えるパック 10 進数があります (Packed decimal number with more than 31 digits at *location*)**

説明

示されたロケーションで指定された数値が 31 桁を超えています。IBM Security zSecure では、最大 31 桁の数値のパック 10 進数比較がサポートされています。

重大度

12

CKR2478 **TYPE=ACCESS 入力の事前選択の派生 (TYPE=ACCESS derived input pre-selection)**

説明

TYPE=ACCESS の選択ステートメントおよび除外ステートメントの分析で、部分選択を早期に実行できることが示されました。早期の部分選択は、アクセス・シミュレーションの前に実行され、特に RACF アクセス・リストの項目が多い場合は、これによって CPU 時間を大幅に節約できることがあります。例えば、USERID および CLASS で選択を行うことで、リソースの使用量を削減できます。すべての SELECT ステートメントと EXCLUDE ステートメントの完全な早期評価を実行できる場合は、代わりにメッセージ CKR2470 が発行されます。

重大度

00

CKR2479 **RACF_ACCESS 用の TYPE=ACCESS 入力の事前選択 (TYPE=ACCESS input pre-selection for RACF_ACCESS)**

説明

TYPE=RACF_ACCESS の選択および除外ステートメントの分析で、TYPE=ACCESS 入力レコードの読み取り時に、部分選択を早期に実行できることが示されました。早期の部分選択は、アクセス・シミュレーションの前に実行され、特に RACF アクセス・リストの項目が多い場合は、これによって CPU 時間を大幅に節約できることがあります。例えば、CLASS および COMPLEX で選択を行うことで、リソースの使用量を削減できます。すべての SELECT ステートメントと EXCLUDE ステートメントの完全な早期評価を実行できる場合は、代わりにメッセージ CKR2470 が発行されます。

重大度

00

CKR2480 ***num1* 個の ACCESS レコードが、事前選択によってシミュレーション前に *num2* 個のレコードに削減されました (削減率 *nn%*) (*num1* ACCESS records reduced by pre-select to *num2* records before simulation (reduction *nn%*))**

説明

このメッセージは、TYPE=ACCESS レコードの読み取りで何らかの形の前選択がアクティブである場合に発

行されます。このメッセージは、アクセス・シミュレーションおよび TYPE=ACCESS newlist 処理によって処理される入力レコード数が、事前選択によってどの程度削減されたかを示します。最初の数値は、統合後に残ったアクセス・レコードの数を示します。2 番目の数値は、事前選択後に残ったレコードの数を示します。統合によって実現された削減については、メッセージ CKR2400 を参照してください。事前選択の形式を調べるには、メッセージ CKR2470、CKR2478、および CKR2479 を参照してください。事前選択が行われない場合は、メッセージ CKR2471 が発行されます。

重大度

00

CKR2481 規則 *rule* 標準 *standard* の *source* におけるテスト *test* では、*field* 検索のベースに **TYPE=RACF** ではなく **TYPE=ID** を使用してください (**Use TYPE=ID not TYPE=RACF as base for field lookup in TEST test at source in rule rule standard standard**)

説明

このメッセージは、ベースとして RACF newlist を使用するユーザー・プロパティまたはグループ・プロパティの検索が試行されたときに、COMPLIANCE newlist に対して発行されます。そのような検索はサポートされていません。ベースとして ID newlist を使用する同様の検索はサポートされています。

ユーザーの処置

ドメインおよびテストの newlist タイプを RACF から ID に変更してください。ID newlist では、RACF newlist のフィールド KEY の代わりに、フィールド ID を使用してください。ID newlist では、フィールド CLASS を省略することはできません。必須プロパティについては、ID をベースとする検索を使用してください。

重大度

12

CKR2482 *num* 個の **ACCESS** レコードが *ddname volser dsname* にアンロードされました (***num* ACCESS records unload to *ddname volser dsname***)

説明

このメッセージは、各 TYPE=ACCESS アンロード・データ・セットに書き込まれたレコードの数を示します。

重大度

00

CKR2483 ドメイン *domain* のテスト *test source* タイプ *type* の **SUMMARY** に **SYSTEM** フィールドがありません。 (**SYSTEM field not on SUMMARY for test test source type type of domain domain**)

説明

このメッセージは、コンプライアンス・レポートで SYSTEM ごとにカウントが行われていないことについて警告しています。セキュリティ標準規則に準拠するためのコンプライアンス・レポートによるカウントが、レコード・キーの一部に SYSTEM が含まれるオブジェクト (newlist) タイプを対象としている場合、通常は SYSTEM ごとにカウントが行われます。

重大度

04

CKR2484 ドメイン *domain* のテスト *test source* タイプ *type* の **SUMMARY** に **COMPLEX** フィールドがありません。 (**COMPLEX field not on SUMMARY for test test source type type of domain domain**)

説明

このメッセージは、コンプライアンス・レポートで COMPLEX ごとにカウントが行われていないことについて警告しています。セキュリティ標準規則に準拠するためのコンプライアンス・レポートによるカウントが、レコード・キーの一部に COMPLEX が含まれるオブジェクト (newlist) タイプを対象としている場合、通常は COMPLEX ごとにカウントが行われます。

重大度

04

CKR2485 システム *system* 上でシミュレーション・モデル CDT クラス *class* が見つかりません。複合システム **complex version** (**Cannot find simulation model CDT class class on system system complex complex version**)

説明

このメッセージは、IBM 提供クラスに相当するクラスのモデル CDT 項目が見つからなかったために、SIMULATE SUBSYS コマンドを完了できないことを示しています。

重大度

16

CKR2486 予期しない空の ID フィールド
fieldname (Unexpected empty ID field fieldname)

説明

このメッセージは、空白の ID または 16 進ゼロの ID の発生元を調べるために役立つことがあります。このメッセージは、RACF データベースの示されたフィールドおよびプロファイルでの出現を識別します。このメッセージは抑止できます。

重大度

04

CKR2487 *type "value" の前にある SIM SUBSYS DB2 が重複しています。ddname 行 number (Duplicate SIM SUBSYS DB2 before type "value" at ddname line number)*

説明

同じ DB2 サブシステムに対して複数の SIMULATE SUBSYS DB2 ステートメントが検出されました。指定できるオプションのセットは 1 つだけです。SYSPRINT ファイルの CKR2487 項目の上で、複数ある DB2 サブシステムの名前を確認できます。

重大度

12

CKR2488 *IBM class を基盤とする newclass のクラス記述子をシミュレートしています。複合システム complexversion (Simulating class descriptor for newclass based on IBM class complex complex version)*

説明

SIMULATE SUBSYS コマンドを処理するために、示された IBM クラスのクラス記述子テーブルと同様の新しいクラス記述子テーブル項目が存在することが想定されました。

重大度

00

CKR2489 *class1 のシミュレートが class2 に伝搬されます。複合システム complex version (Simulate for*

class1 propagates to class2 complex complex version)

説明

このメッセージは、SIMULATE ステートメントの影響が、同じ POSIT 番号を持つ別のクラスにも拡張されることについて警告しています。

重大度

00

CKR2490 *ジョブ名 jobname の索引 index のポート port について、section 設定に関連付けられた TelnetParm セクションが見つかりません。システム sysname、ckfreeze のレコード recnum (TelnetParm section related to section settings, not found for port port with index index for jobname jobname - system sysname, record recnum of ckfreeze)*

説明

現在のジョブ名内に、同じポート番号およびポート索引の TelnetParm セクションが存在しないため、ALLOWAPPL、RESTRICTAPPL、ALLOW-RESTRICT APPL、DEFAULTAPPL、APPL LU GROUP、または USSTCP が破棄されました。ALLOW-RESTRICT APPL は、レコードが破損しているか正しくないときにのみ返されます。これはすなわち、RESTRICTAPPL セクションと ALLOWAPPL セクションのどちらであるかをプロシージャが識別できない場合です。

重大度

08

CKR2491 *NMI ヘッダー番号 recnumber が Telnet ヘッダー番号 ID rectnidnt と同じではありません。システム sysname、ckfreeze のレコード recnum (NMI Header number recnumber not equal to Telnet Header number identifier rectnidnt for system sysname, record recnum of ckfreeze)*

説明

現在の Telnet レコードに、Telnet ヘッダー ID とは異なるヘッダー番号が含まれています。レコードが破損しているか、レコードに誤ったデータが含まれている可能性があります。

重大度

08

CKR2492 DDNAME(MEMBER) を DSN/
DSNPREF/CMSFILE/INMEM/CDP
と同時に使用することはできません
- *ddname* の行 *number*
(DDNAME(MEMBER) is mutually
exclusive with DSN/DSNPREF/
CMSFILE/INMEM/CDP - at *ddname*
line *number*)

説明

ALLOC DD=DDNAME(MEMBER) パラメーターは、DSN、
DSNPREF、CMS、INMEM、および CDP のどのファイ
ル・パラメーターとも組み合わせることができません。

ユーザーの処置

CARLa スクリプトを確認し、修正してください。

重大度

12

CKR2493 *ddname* の行 *number* の *token* の前
では、**NEVER** による値の範囲が許可
されません (Value range not
allowed with NEVER before *token*
at *ddname* line *number*)

説明

時間値範囲に、その境界の 1 つとして NEVER 特殊値を
含めることはできません。

重大度

12

CKR2494 DOMAIN_OPTION 「*option*」が無効
です。*ddname* の行 *number* の
token より前の)のためにスキップ
します (Invalid DOMAIN_OPTION
"*option*" - skipping for) before
token at *ddname* line *number*)

説明

示された値は、DOMAIN ステートメントの OPTION パ
ラメーターの有効なキーワードではなく、少なくとも現
在の NEWLIST のコンテキスト内にありません。

重大度

12

CKR2495 DOMAIN_OPTION でサポートされな
い NEWLIST タイプ *type* です。

ddname の行 *number* の *token* の前
の)のためにスキップします
(Unsupported newlist type *type* on
DOMAIN_OPTION - skipping for)
before *token* at *ddname* line
number)

説明

示された NEWLIST タイプは、DOMAIN ステートメント
の OPTION パラメーターでサポートされていません。

重大度

12

CKR2496 警告: *complex* のデータベースが、シ
ステム *system* [*version*] の設定に一
致しました (Warning: database for
complex matched with settings
from system *system* [*version*])

説明

同じ名前を持つシステム上で UNLOAD が作成されてい
るにも関わらず、*complex* の UNLOAD が、*system* に使
用されるストレージ内設定の参照先である *system* に一
致しません。(このメッセージは、FUNCTION=MAIN ま
たは FUNCTION=BASE にのみ関係します。)

ユーザーの処置

COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用し
て使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・
セットを明示的に区分してください。

重大度

00

CKR2497 F=BASE のない CKFREEZE を複合
システム *complex* [*version*] に使用
することはできません (No
CKFREEZE without F=BASE
available for *complex* [*version*])

説明

F=BASE 関数が原因で、*complex* に割り当てることがで
きる唯一の CKFREEZE がふさわしくありません。デー
タベース処理には関連付けられたシステムが必要であ
るため、実行は終了します。

ユーザーの処置

COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用し
て使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・
セットを明示的に区分してください。

重大度

12

CKR2498 F=BASE 複合システム *complex* [version] に使用できる CKFREEZE がありません (No CKFREEZE available for F=BASE complex *complex* [version])

説明

実行中の CKFREEZE ファイルのいくつかは、他の複合システムに既に一致しています。データベース処理には関連付けられたシステムが必要であるため、実行は終了します。

ユーザーの処置

COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用して使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・セットを明示的に区分してください。

重大度

12

CKR2499 F=BASE が指定された CKFREEZE は、その VERSION/COMPLEX の組

み合わせに対して最新のものである必要があります - *ddname* (CKFREEZE with F=BASE must be the most recent one for its VERSION/COMPLEX combination - *ddname*)

説明:

ALLOC ステートメントでの COMPLEX および VERSION の指定が原因で、同じシステムからの古い CKFREEZE データ・セットが FUNCTION=BASE に割り当てられています。これはサポートされません。

ユーザーの処置:

COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用して使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・セットを明示的に区分してください。COMPLEX および VERSION が BASE 構成を一意的に識別することを確認してください。同じ構成の特定時点の比較のために、最も論理的な方法は、FUNCTION=BASE を最も古い構成に割り当てることです。

重大度

12

CKR メッセージ 2500 から 2599

CKR2500 CKRCUST.CKRCSTG: 無効なタグ *nnnn* (dec) が呼び出されました (CKRCUST.CKRCSTG: Called for invalid tag *nnnn* (dec))

説明

内部エラーが発生し、予期せぬタグを処理するため、モジュール CKRCUST のルーチン CKRCSTG が呼び出されました。値 *nnnn* は、処理するよう要求されたタグを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2501 CKRSTLV TRID ILEN=*len2* フィールド *fieldname* に対する予期されない長さ *len1* (CKRSTLV unexpected

len *len1* for TRID ILEN=*len2* field *fieldname*)

説明:

この内部エラーは、ID のルックアップ値の保管中に克服できない問題が発生したことを示します。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2502 DIFRPT 破損した VAL - *V1address hexvalue V2 address hexvalue* (DIFRPT corrupted VALs - *V1address hexvalue V2 address hexvalue*)

説明

これは内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2503 **RSB の再構成が *type idContents* に一致しません (RSB reconstruction mismatch for *type idContents*)**

説明

この内部エラーは、分析対象の ACF2 環境を理解するのに重要な制御ブロック構造をプログラムで再構成できない場合に生成されます。

type

complex または **system** です。UNLOAD または CKFREEZE の内容に予期せぬレイアウトが検出されたかどうかを示します。

id

再構成できなかった制御ブロックを示します。複合システムまたはシステム名を示すこともあります。

Contents

実際に検出されたデータを示します。

ユーザーの処置

適切な UNLOAD および CKFREEZE を割り振ったことを確認し、必要に応じて修正してください。それでも引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2504 **CKRLKFE 不明な SLFNTYPE= *type* (CKRLKFE unknown SLFNTYPE= *type*)**

説明

選択ルックアップ処理中に予期しない関数型が検出されました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2505 **CKRINSU は *field* について基本 SUMA OUTF を検出できません (CKRINSU cannot find base SUMA OUTF for *field*)**

説明

この内部エラー・メッセージは、要約統計に関する予期しない状態が発生し、対処不能なことを示します。

ユーザーの処置

CARLa 照会を簡素化することを試みてください。問題が引き続き発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2506 **内部エラー。自動比較では、*ddname line line* の *newlist type=type* に比較フィールドが必要です。(Internal error: automatic compare requires compare fields in *newlist type=type* at *ddname line line*.)**

説明

この *newlist* タイプの内部知識ベースに、矛盾が含まれています。これは、自動比較をサポートしていますが、比較対象となる出意義済みフィールドがありません。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。正しい比較指定を使用して COMPAREOPT ステートメントを作成すれば、この *newlist* はまだ比較に使用できます。比較演算の作成

については、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度

24

CKR2507 内部エラー。デフォルトの比較基本フィールド *field* はサポートされていません。(Internal error: Default compare base field *field* not supported.)(COMPLEX and SYSTEMのみ (Only COMPLEX and SYSTEM.))Newlist type=*type*

説明

この newlist タイプの内部知識ベースに、矛盾が含まれています。指示されたフィールドは、基本フィールドとして定義されていますが、基本フィールドとして許可されているのは COMPLEX フィールドと SYSTEM フィールドのみです。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。正しい比較指定を使用して COMPAREOPT ステートメントを作成すれば、この newlist はまだ比較に使用できます。比較演算の作成については、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度

24

CKR2508 内部エラー。デフォルトの比較基本フィールド *field* が繰り返されています。(Internal error: Default compare base field *field* is repeated.) Newlist type=*type*

説明

この newlist タイプの内部知識ベースに、矛盾が含まれています。指示されたフィールドは、基本フィールドとして定義されていますが、そのフィールドが繰り返されています。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。正しい比較指定を使用し

て COMPAREOPT ステートメントを作成すれば、この newlist はまだ比較に使用できます。比較演算の作成については、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度

24

CKR2509 CKRSTLV TLUR ILEN=*len2* フィールド *fieldname* に対する予期されない長さ *len1* (CKRSTLV unexpected len *len1* for TLUR ILEN=*len2* field *fieldname*)

説明:

この内部エラーは、オブジェクトのルックアップ値の保管中に克服できない問題が発生したことを示します。

ユーザーの処置:

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2511 SUMA *address* の内部エラー
SUMAILEN=0 (Internal error
SUMAILEN=0 for SUMA *address*)

説明

SUMMARY 処理中にエラーが発生しました。ユーザー異常終了 2511 が発行されて要約ダンプが生成され、実行が終了します。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。要約ダンプを含む SYSPRINT ファイルを添付してください。

重大度

24

CKR2512 newlist type=*type* に CKRELEMX/
SCDBELEMX 不一致レコード
number (CKRELEMX/SCDBELEMX
mismatch record *number* in
newlist type=*type*)

説明:

この内部エラー・メッセージは、渡された複合索引と複合ポインターとの間の矛盾を示します。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2513 ルール *rulename* 内の *ddname* 行 *number* にあるテスト *testname* 用のテスト・フィールド長 *num* は予期しないものです (Unexpected test field length *num* for test *testname* at *ddname* line *number* in rule *rulename*)

説明

テスト対象となっている COUNT フィールドの長さが、1、2、3、または 4 ではありません。プログラムはこれを処理できる設計になっていません。ユーザー異常終了 2513 が発行されました。

ユーザーの処置

COUNT 変数の定義を変更するか、あるいはこのメッセージが誤って発行されたと考えられる場合は、電子サポート Web サイトでこのメッセージ番号または異常終了コードを検索して、解決策を見つけてください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2514 ルール *rulename* 内の *ddname* 行 *number* にあるテスト *testname* 用のテスト関係演算子 *num* は予期しないものです (Unexpected test relop *num* for test *testname* at *ddname* line *number* in rule *rulename*)

説明

内部エラーが発生しました。テスト内の関係演算子フィールドはサポートされていない値です。ユーザー異常終了 2514 が発行されました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトでこのメッセージ番号または異常終了コードを検索して、解決策を見つけてください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2515 ルール *rulename* 内の *ddname* 行 *number* タイプ *type* に要約 COUNT 値 CKRGETV テスト *testname* がありません (No summary COUNT value CKRGETV test *testname* at *ddname* line *number* type *type* in rule *rulename*)

説明

内部エラーが発生しました。要約 COUNT 統計に対して値が存在している必要があります、見つかりませんでした。ユーザー異常終了 2515 が発行されました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトでこのメッセージ番号または異常終了コードを検索して、解決策を見つけてください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2516 CKRPUTV フィールド SYSTEM 値 *value* が、タイプ *type* の *system* の CKRELEM_SYSTINDEX と一致しません (CKRPUTV field SYSTEM value *value* does not match CKRELEM_SYSTINDEX for *system* in type *type*)

説明

内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトでこのメッセージ番号を検索して、解決策を見つけてください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2517 CKFREEZE またはコードの順序に関する問題 *cbid len #sys=n #cmlpx=n #vers=n* - 異常終了 2517 を発行しています (CKFREEZE or code order problem *cbid len #sys=n #cmlpx=n #vers=n* - issuing abend 2517)

説明

この内部エラー・メッセージは、CKFREEZE ファイル内のレコードがサポートされていない順序で処理されたことを示します。

ユーザーの処置

CKFREEZE ファイルを確認してください (ファイル転送エラーなど)。エレクトロニック・サポート Web サイトでエラー・メッセージ番号を検索してください。

重大度

24

CKR2521 *Profile* は変換してはならないものでした (*Profile should not have been translated*)

説明

この内部エラー・メッセージは、MERGE 内部レコード構造内の不整合を示します。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2522 *Profile* はソース専用にするべきではありませんでした (*Profile should not have been src-only*)

説明

この内部エラー・メッセージは、MERGE 内部レコード構造内の不整合を示しています。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2523 CKRSELIN.CKRGETP: message

説明

この内部エラーは、SELECT 節または DEFINE WHERE 節のために作成された制御ブロック構造が無効であるとみなされたため、生成されました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2524 CKRLPUT で、*field SUMA SUMAaddr* に対して予期せず *SUMAIEN=len1 < OUTFILEN=len2* になっていました (CKRLPUT unexpected *SUMAIEN=len1 < OUTFILEN=len2 for field SUMA SUMAaddr*)

説明

この内部エラーは、要約統計に関する予期しない状態が発生し、対処不能な場合に生成されます。このメッセージの後、ユーザー異常終了 2524 が続きます。

ユーザーの処置:

このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2525 CKRSYDB に VERS 制御ブロックがありません。VERSION "ver"、システム *system* (CKRSYDB missing VERS control block for VERSION "ver", system *system*)

説明

このメッセージは、示されたシステムの ALLOC TYPE=CKFREEZE VERSION=*name* 指定に関する予期しない状態を示します。この後にユーザー異常終了 2525 が続きます。このメッセージは抑止できません。

ユーザーの処置:

別のことを意図していた場合は、適切な FUNCTION=、COMPLEX=、および VERSION= の各パラメーターを指定した ALLOC ステートメントを追加してください。

重大度

24

CKR2526 **CKRCIB がゼロの CIB で呼び出されました (CKRCIB called with zero CIB)**

説明

この内部エラー・メッセージは、予期しないパラメーターを受信したことを示します。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2527 **エンティティ *entities* のセグメントの数が、*number* を超えています (Number of entity *entities* segments exceeds *number*)**

説明

entities 内のセグメントの総数が、現在サポートされている最大値である *number* を超えています。

重大度

20

CKR2528 **SLGN address に対する CKRGEVL CKABITS は実行されていません (CKRGEVL CKABITS not done for SLGN address)**

説明:

この内部エラー・メッセージは、処理スキップが誤ってスキップされたことを示します。このメッセージは抑止できますが、結果の出力が不完全になる可能性があります。メッセージを抑止しない限り、ユーザー異常終了 2528 が発行されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2529 **SLGN address に対する CKRGEVL CKASLGIN は実行されていません (CKRGEVL CKASLGIN not done for SLGN address)**

説明:

この内部エラー・メッセージは、処理スキップが誤ってスキップされたことを示します。このメッセージは抑止できますが、結果の出力が不完全になる可能性があります。メッセージを抑止しない限り、ユーザー異常終了 2529 が発行されます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2530 **SIM CLASS=*class* RESOURCE=*resname* 複合システム complex システム *system* で機密性「*senstype*」の ACCESS=*access* が重複しています (Duplicate ACCESS=*access* for sensitivity "*senstype*" on SIM CLASS=*class* RESOURCE=*resname* complex complex system system)**

説明

このメッセージは、SIMULATE CLASS ステートメント、または構成アサーションが組み込みの機密性と競合している場合に発行されます。これは内部エラーです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2532 **内部エラー CKRCCHH RC=16 (Internal error CKRCCHH RC=16)**

説明

この内部メッセージは、無効な相対トラック番号が CKRCCHH ルーチンに渡されたことを示します。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR2558

CKROUNIT.TLSDINIT: EBCDIC への fieldname1 の変換はサポートされていません - ddname の行 number でのフィールド fieldname2.
(CKROUNIT.TLSDINIT: Conversion of fieldname1 to EBCDIC is not supported - field fieldname2 at ddname line number.)

説明

このメッセージは抑止可能です。この場合は変換が行われません。(Fieldname2 は要求されたフィールド、fieldname1 は実際のデータベース・フィールドです。それらは、fieldname2 が定義済み変数である場合には異なる可能性があります。)

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2559

fieldaddr fieldname source の OUTF_SFCVAL が NIL です (OUTF_SFCVAL NIL for fieldaddr fieldname source)

説明

この内部エラーは、マルチレベル要約に対する特殊な処理 (TITLE 修飾子などに必要) が、適切に初期化されなかったことを示します。

このメッセージの後には、ユーザー異常終了 2559 が続きます。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2574

fieldaddr fieldname source の OUTF_UML_IDX が必要ですが NIL です (OUTF_UML_IDX needed but NIL for fieldaddr fieldname source)

説明:

この内部エラーは、マルチレベル要約に対する特殊な処理 (TITLE 修飾子などに必要) が、適切に初期化できないことを示します。このメッセージは抑止できますが、後で CKR2559 メッセージを出力する可能性があります。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2586

CKRPRTR.CKRPRTL: fieldaddr fieldname source の要約レベルの索引が欠落しています (CKRPRTR.CKRPRTL: Missing summary level index for fieldaddr fieldname source)

説明:

このメッセージは内部エラー状態を示しています。示されているフィールドは、(マルチレベル要約の) 特定の要約レベルに関連付けることはできません。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。回避策として、このフィールドが指定されている [D] SUMMARY ステートメントから、すべての PAGE、TITLE、SUBTITLE、TOPTITLE、および RETAIN の各修飾子およびすべての CARLa リテラルを削除してみることができます。

重大度

24

CKR2587

SIM CLASS=class RESOURCE=resname 複合システム

complex システム system で機密性「senstype」の ACCESS=access が重複しています (Duplicate ACCESS=access for sensitivity "senstype" on SIM CLASS=class RESOURCE=resname complex complex system system)

説明

このメッセージは、SIMULATE CLASS ステートメントが組み込みの機密性と競合している場合に発行されます。これは内部エラーです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2588 CKROULST.CKRPTG#: NEWLIST name type type source にフィールドがない状態で繰り返しグループ name がフラット化されました。

説明

FLATTEN 処理の初期化に失敗しました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2589 CKRACT.CKRACTT: type の宣言されていない結果 (CKRACT.CKRACTT: Undeclared result for type)

説明

newlist タイプ (10 進数表示) が FORALL 基本コマンドによってサポートされているかどうかは不明です。FORALL は続行されますが、実際の置換は行われな可能性がります。このメッセージは抑制することができます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2591 FORALL: 予期された X または XX - flags index linecommand (FORALL: Expected X or XX - flags index linecommand)

説明

表示での否定の選択 (なしまたは X / XX..XX) が FORALL 基本コマンドと結合されました。この要求を処理するときに内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラー発生時に表示で使用した行コマンドの詳細を報告してください。複数の異なる行コマンドを同時に使用した場合は、FORALL および選択行コマンドをこれらの他の行コマンドと組み合わせないようにすることで、このメッセージを回避できる可能性があります。

重大度

24

CKR2592 FORALL: XX の終了なしでの XX の開始 (FORALL: XX start without XX end)

説明

表示での否定の選択 (なしまたは X / XX..XX) が FORALL 基本コマンドと結合されました。この要求を処理するときに内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラー発生時に表示で使用した行コマンドの詳細を報告してください。複数の異なる行コマンドを同時に使用した場合は、FORALL および選択行コマンドをこれらの他の行コマンドと組み

合わせないようにすることで、このメッセージを回避できる可能性があります。

重大度

24

CKR2593 **FORALL: 「substring」の後の不明な置換変数 number (16 進数)**
(FORALL: Unknown substitution variable number (hex) after "substring")

説明

基本 FORALL コマンドを処理するときに内部エラーが発生しました。これは構文解析エラー (ISPF メッセージ CKRM991 が発行されます) ではありません。このメッセージの後に、このとき記録された構文解析結果とユーザー異常終了 2593 を示す一連のデバッグ・メッセージ (CKR2670) が続きます。

ユーザーの処置

このメッセージは抑止できます (空の代替メッセージが発生します)。IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に、SETUP PREAMBLE によってアクティブにされる DEBUG ACTION を使用して問題の再現を試みてください。これにより、CKR2670 メッセージの初期のシーケンスも示されます。

重大度

24

CKR2594 **CKRXINIT.CKRDIXY: サポートされていないマスク指定長さ length - address: keyrequest**
(CKRXINIT.CKRDIXY: Mask specification len length not supported - address: keyrequest)

説明

データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、255 文字より長いマスク指定を含むキー要求を受け取りました。キー要求項目は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、

(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度

24

CKR2595 **CKRXINIT.CKRDIXY: MASK= ですが Key-key がありません - address: keyrequest (CKRXINIT.CKRDIXY: MASK= but no Key-key - address: keyrequest)**

説明

データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、含まれていなかったマスク指定を宣言するキー要求を受け取りました。キー要求項目は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度

24

CKR2596 **CKRXINIT.CKRDIXY: 項目の長さ length がバッファ長さ length - address: keyrequest を超過しています (CKRXINIT.CKRDIXY: Entry length length exceeds buffer length length - address: keyrequest)**

説明

データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、要求の境界を超過する項目の長さを指定したキー要求を受け取りました。このキー要求および同じバッファ内でそれに続くすべてのキー要求は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度

24

CKR2597 **CKRXINIT.CKRDIXY: 残りのバッファ**
ァー長 *length* がキー入力に対して小
さすぎます - *address: keyrequest*
(CKRXINIT.CKRDIXY: Remaining
buffer length *length* is too small for
a Key-entry - *address: keyrequest*)

説明

データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、キー要求に対して小さすぎるキー要求バッファを受け取りました。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 2597 が続きます。

ユーザーの処置

この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度

24

CKR2598 **CKRXINIT.CKRDIXY: Key-prefix**
len *length* が項目長さ *length* -
***address: keyprefix* を超過していま**
す (CKRXINIT.CKRDIXY: Key-
prefix-len *length* exceeds entry
length *length* - *address: keyprefix*)

説明

データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、宣言されたキー接頭部を入れるには小さすぎるキー要求を受け取りました。キー要求項目は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度

24

CKR2599 **CKRXINIT.CKRDIXY: 残りの項目長**
さ *length* が Key-key に対して小
さすぎます - *address: keyrequest*
(CKRXINIT.CKRDIXY: Remaining
entry length *length* is too small for
a Key-key - *address: keyrequest*)

説明

データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、部分的な KEY/MASK 指定のキー要求を受け取りました。キー要求項目は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置

この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度

24

CKR メッセージ 2600 から 2699

CKR2600...CKR message
2659

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答として生成されます。CKR26xx メッセージについての情報が必要で、メッセージ番号がこのセクションに明確に記載されていない場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR2660 ***dsnmemfm* に対して DD=*ddname* を再使用しています (Reusing DD=*ddname* for *dsnmemfm*)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、CKRCARLA エンジンが、示されたデータ・セットにアクセスするために、追加の DD 名を割り振らずに、示された DD 名を使用していることを示します。

重大度

00

CKR2661 ***dsnmemfm* に対する Wrngpfx DD=*ddname* (Wrngpfx DD=*ddname* for *dsnmemfm*)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、CKRCARLA エンジンは原則として、示された DD 名を使用して示されたデータ・セットにアクセスできますが、DD 名の接頭部が再使用可能な DD 名として CKRCARLA エンジンによって割り当てられていないため、この方法は使用しないことを示します。

重大度

00

CKR2662 **事前割り振りされた *dsnmemfm* *ddname* (Pre-allocated *dsnmemfm* *ddname*)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、どのデータ・セット名がどの DD 名に事前割り振りされていることが判明したかを示します。

重大度

00

CKR2663 **CKREFREE を *ddnamelist* に設定します (Set CKREFREE to *ddnamelist*)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、UI を終了したとき、または異なるセットの入力データ・セットを選択したときに解放される UI に渡される DD 名のリストを示します。

重大度

00

CKR2664 **データ・セットが見つかりません。 *dsname* タイプ *hh* の LOCATE RC=*nn* (Data set not found, LOCATE RC=*nn* for *dsname* type *hh*)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、LOCATE サービスが、通常のカatalogでデータ・セット名を解決することも検出することもできないことを示します。ここでは、これ以上のアクションは実行されませんが、おそらく後で DAIRFAIL メッセージが出されるか、または復元が行われます。いくつかの DASD 管理パッケージでは、LOCATE 用の復元を実行しない実際の SVC 99 中にデータ・セットを復元します。

重大度

00

CKR2665 ***dsnmemfm* に対して DD=*ddname* を再使用しています (Reusing DD=*ddname* for *dsnmemfm*)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、CKRCARLA エンジンが、示された解決済みデータ・セット名にアク

セスするために、追加の DD 名を割り振らずに、示された DD 名を使用していることを示します。

重大度

00

CKR2666 ***dsnmemfm* に対する *Wrngpfx DD=ddname (Wrngpfx DD=ddname for dsnmemfm)***

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、CKRCARLA エンジン原則として、示された DD 名を使用して示された解決済みデータ・セット名にアクセスできますが、DD 名の接頭部が再使用可能な DD 名として CKRCARLA エンジンによって割り当てられていないため、この方法は使用しないことを示します。

重大度

00

CKR2667 ***dsname* の *CKRDSN* カウントを削減します (Reduce *CKRDSN* count for *dsname*)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、データ・セットに対してデキューが要求されましたが、これはまだキュー名 *CKRDSN* の最後のデータ・セットではないことを示します。

重大度

00

CKR2668 ***CKRGFTR RC=rc DFTR: address* がパラメーター *parameters* を呼び出します (CKRGFTR RC=rc DFTR: *address call parms: parameters*)**

説明

このメッセージは、デジタル証明書フィルターについての上書きまたは行コマンドをサポートするために情報が検索されたときに、DEBUG ACTION に応答して発行されます。ゼロ以外の戻りコードは何かのエラーを示します。この情報により、ISPF 画面上の特定のエラー・メッセージの理由を説明できることがあります。戻りコードには、エンド・ユーザー・メッセージの詳細レベルより高いレベルの詳細が関連付けられます。DFTR アドレスがゼロの場合、情報は見つかりません。

重大度

00

CKR2669...CKR message 2670

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答として生成されます。CKR26xx メッセージについての情報が必要で、メッセージ番号がこのセクションに明確に記載されていない場合、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR2671 **複合システム *complex* について *CKRCKX* を呼び出しました。RC=*rc* (Called *CKRCKX* for *complex RC=rc*)**

説明

このメッセージは、FORALL 処理によって複合システム用の (一時的な) コマンド・ファイルが実行されたときに、DEBUG ACTION に応答して発行されます。これは原因となったサブルーチンから戻りコードを表示します。

重大度

00

CKR2673 ***CKRCROD RC=rc zsecnode zsecnode RRSF* ノード *RRSFnode NJE* ノード *NJENode* が複合システム *complex* について取得されました (CKRCROD RC=rc zsecnode zsecnode RRSF node *RRSFnode NJE* node *NJENode* obtained for *complex complex*)**

説明

このメッセージは、FORALL 処理によって複合システム用の効果的なコマンド・ルーティング・パラメーターが取得されたときに、DEBUG ACTION に応答して発行されます。

重大度

00

CKR2674...CKR message 2686

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答として生成されます。CKR26xx メッセージについての情報が必要で、メッセージ番号がこのセクションに明確に記載されていない場合、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR2687 *dsname* に対して CKRDSN デキューを要求します (Request CKRDSN dequeue for *dsname*)

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、データ・セットに対してデキューが要求されたことを示します。これは、キュー名 CKRDSN の最後のデータ・セットであったため、デキュー要求が ISGENQ に渡されます。

重大度

00

CKR2688 *dsname* に対して SYSDSN デキューを要求します (Request SYSDSN dequeue for *dsname*)

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、データ・セットに対してデキューが要求されたことを示します。これは、キュー名 SYSDSN の最後のデータ・セットであったため、デキュー要求が ISGENQ に渡されます。

重大度

00

CKR2689 CKRALDSN: *dsname* の DDFR *ddname* を追加します (CKRALDSN add DDFR *ddname* for *dsname*)

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、示された DD 名を後で明示的に割り振り解除するための要求がキューに入れられたことを示します。

重大度

00

582 メッセージ・ガイド

CKR2690 CKRCFREE: *ddname* の DDFR がありません (CKRCFREE no DDFR for *ddname*)

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、示された DD 名を明示的 (早期) に割り振り解除する要求が存在しないことを示します。

重大度

00

CKR2691 CKRCFREE: DDFR により *ddname* は既に解放されています (CKRCFREE DDFR already freed *ddname*)

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、示された DD 名を明示的に割り振り解除する要求が既に存在することを示します。

重大度

00

CKR2692 CKRDEQ: *dsname* の DSDQ がありません (CKRDEQ no DSDQ for *dsname*)

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、エンキューが存在しないデータ・セットのデキューが要求されたことを示します。これは無視されます。

重大度

00

CKR2693 CKRENQ DSDQ *dsname* [SYSDSN|CKRDSN] ENQ#=*n* (CKRENQ DSDQ *dsname* [SYSDSN|CKRDSN] ENQ#=*n*)

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、示されたデータ・セット名の SYSDSN または CKRDSN 上にある新規エンキュー・カウントを示します。

重大度

00

CKR2694 **CKASMCL: ddname の使用回数が n に削減されました (CKASMCL reduced use count ddname to n)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、DD 名を明示的に割り振り解除する要求が出されましたが、当該 DD 名が CKRCARLA の別の関数でまだ使用されていることを示します。

重大度

00

CKR2695 **CKROUTYP: ddname の使用回数が n に削減されました (CKROUTYP reduced use count ddname to n)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、DD 名を明示的に割り振り解除する要求が出されましたが、当該 DD 名が CKRCARLA の別の関数でまだ使用されていることを示します。

重大度

00

CKR2696 **CKRCFREE: ddname の使用回数が n に削減されました (CKRCFREE reduced use count ddname to n)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、DD 名を明示的に割り振り解除する要求が出されましたが、当該 DD 名が CKRCARLA の別の関数でまだ使用されていることを示します。

重大度

00

CKR2697 **CKRFREE: 既に解放されている ddname を解放するための要求が出されました (CKRFREE request to free already freed ddname)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、DD 名を明示的に割り振り解除する要求が出されましたが、以前の要求によりこの DD 名は既に割り振り解除されています。

重大度

00

CKR メッセージ 2700 から 2799

CKR2700...CKR message 2799

説明

これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

注：この範囲のメッセージの一部について、このセクションでより詳細に記載します。

CKR2721 **dsname の SYSDSN カウントを削減します (Reduce SYSDSN count for dsname)**

説明

このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、データ・セットのデキューが要求されましたが、これはまだキュー名 SYSDSN の最後のデータ・セットではないことを示します。

重大度

00

CKR2759 **DEBUG ABENDLATE で異常終了が要求されました (Abend requested with DEBUG ABENDLATE)**

説明

このコマンドは、DEBUG ABENDLATE コマンドへの応答として発行されます。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 2759 が続きます。

重大度

00

CKR メッセージ 2800 から 2899

CKR2800...CKR *message*
2837

説明

これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR2838 *dsname* のボリューム・チェーンが破損しているように見えます。ボリューム *volser* を処理します (**Volume chain for *dsname* appears corrupt; processing volume *volser***)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2839 データ・セット *dsname* を共有するために要求されたボリューム *volser* は使用不可です (**Volume *volser* not available for sharing requested for data set *dsname***)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2840 サポートされていない UCM バージョン *nn* - TYPE=CONSOLE レコードが省略されました (UCM version *nn*)

not supported - TYPE=CONSOLE
records omitted)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKR2841 *message*

説明

このメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。このメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR2842 *dsname volser* の TNVR が見つかりませんでした (**No TNVR found for *dsname volser***)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2843 世代別データ・セットの名前セルが無効です - *entity* での世代 *nn* バージョン *vv* (**Generation data set name cell invalid - generation *nn* version *vv* for *entity***)

説明

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの](#)

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2843 *entity* で世代別データ・セットの名前セルが欠落しています (**Generation data set name cell missing for *entity***)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2844 *description* でサポートされないタグ値 xxxxxxxx (**Unsupported tag value xxxxxxxx for *description***)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2845 ボリューム *volume* のデータ・セット *dsname* で認識されないプロファイル・タイプ *profile* (**Unrecognized profile type *profile* for data set *dsname* on volume *volume***)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2846...CKR 2873 *message*

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR2874 **CKROURPT: メンバー STCPROC の TRID がありません (CKROURPT no TRID for member STCPROC)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2875 **CKROURPT TSTCUSER=user ID=id (CKROURPT TSTCUSER=user ID=id)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2876 **CKRMRGP がサポートされていないフィールド *field* をグループ化しました (CKRMRGP grouped field *field* not supported.)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2876 **CKRTRNS 内部エラー (CKRTRNS Internal error)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2877 **CKAOUJES での内部エラー状態 (Internal error condition in CKAOUJES)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2878 **CKRDELDA: ボリューム *volser* は不明です (CKRDELDA: volume *volser* unknown)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2879 **CKRDNVC が不明なメソッド *method* で呼び出されました - カタログ *catalog* から削除されていません *dsname* (CKRDNVC invoked with unknown method *method* - *dsname* not deleted from catalog *catalog*)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2880...CKR message 2887

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR2889 **CKACPXT 無効なコード *nn* (CKACPXT invalid code *nn*)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2890 ***field* の CKRMODC セグメントは未解決です (CKRMODC segment undetermined for *field*)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2891 *field* の CKRACTM セグメントが見つかりませんでした (CKRACTM segment not found for *field*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2892 プログラム・メンバー・インスタンスが *program* 内にはありません: *dsname volume* (システム *sys* 複合システム *complex version*) (Missing program member instance in *program : dsname volume in system sys complex complex version*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2893 CKRINPD 内部エラー (CKRINPD internal error)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2894 CKRXPLB でサポートされていないフォーマット - *xxxx* (Format not supported in CKRXPLB - *xxxx*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2895 CKRFLDP 非サポートの疑似フィールド・タグ *nnn* (10 進数) (CKRFLDP Unsupported pseudofield tag *nnn* (decimal))

説明

このメッセージは、オープンな SELECT または LIST ファミリー・ステートメントの DEFINE SUBSELECT 内でのみ有効なフィールドを使用することによって生成される可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2896 CVTMODF long 値を処理できません - *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* の長さが定義されました length (CVTMODF Cannot handle long values - length *length* for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname line number*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2896 CVTMODF 内部エラー - *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* の *field* の長さ 0 が定義されました (CVTMODF Internal error - length zero for *field* for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname line number*)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR2897 **DTFMTL2 の呼び出しは無効です (DTFMTL2 called invalidly)**

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKR メッセージ 2900 から 2999

CKR2900...CKR2999 *message*

説明

これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR メッセージ 3000 から 3099

CKR3005 **UNLOAD または TSSCFILE に対して割り振られた複合システム *complex* が複数あります。(Multiple allocations *complex complex* for UNLOAD or TSSCFILE.)**

説明:

セキュリティ・データベース・ソースは、複合システム名ごとに1つのみ存在できます。入力に、複数が指定されています。

ユーザーの処置:

異なるセキュリティ・データベースには異なる複合システム名を使用するか、重複している UNLOAD ステートメントを削除してください。

CKR2898,CKR2 *message*

899

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

重大度

12

CKR3008 **START コマンドを *console user userid* から受け取りました: *command* (START command received from console user *userid*: *command*)**

説明

このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから START コマンドを受信したことを印刷出力に記録します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。

重大度

00

CKR3009 **STCOM コマンドを console user userid から受け取りました: command (STCOM command received from console user userid: command)**

説明

このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから STCOM コマンドを受信したことを印刷出力に記録します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。

重大度

00

CKR3010 **MODIFY コマンドを console user userid から受け取りました: command (MODIFY command received from console user userid: command)**

説明

このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから MODIFY コマンドを受信したことを印刷出力に記録します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。

重大度

00

CKR3011 **console ユーザー userid から STOP コマンドを受信しました (STOP command received from console user userid)**

説明

このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから STOP コマンドまたは P コマンドを受信したことを示します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。SMF 処理を終了します。

重大度

00

CKR3012 **console ユーザー userid から MODIFY STOP コマンドを受信しま**

した (MODIFY STOP command received from console user userid)

説明

このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから MODIFY jobname, STOP コマンドを受信したことを示します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。SMF 処理を終了します。

重大度

00

CKR3013 **console ユーザー userid から MODIFY job, ATTN/CANCEL コマンドを受信しました (MODIFY job, ATTN/CANCEL command received from console user userid)**

説明

このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから MODIFY jobname, ATTN コマンドまたは MODIFY jobname, CANCEL コマンドを受信したことを示します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。プログラムに制御が戻ると、TSO ATTN の場合と同様にプログラムを終了します。

重大度

00

CKR3014 **SMF INMEM バッファオーバーフロー数 現在のインターバル中: number, 合計: number (SMF INMEM buffer overflows during current interval: number; total: number)**

説明

このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブであり、プログラムが INMEM ソースからの SMF レコードを処理している間にオペレーターから MODIFY jobname, DISPLAY コマンドを受信したことを示します。すべてのレコードを処理するまでに SMF INMEM バッファが先頭から上書きされた回数を示します。最後の再始動以降と、タスクの存続期間全体の 2 つの数が表示されます。

重大度

00

CKR3015 **console ユーザー userid から不明な MODIFY コマンドを受信しました:**

command (Unknown MODIFY command received from console user userid: command)

説明

このメッセージは、印刷出力とシステム・ログの両方に出力され、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間に認識できない MODIFY コマンドを検出したことを示します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。

ユーザーの処置:

コマンドの誤りを訂正し、再試行してください。

重大度

00

CKR3016 **CDP を使用するには APF 権限が必要です。位置: source (APF authorization required for using CDP - at source)**

説明

このメッセージは、ALLOC の Common Data Provider (CDP) 機能を使用できるのは APF 権限でエンジンが開始された場合のみ (CKRCARLX による場合など) であることを示します。

ユーザーの処置:

STEPLIB ライブラリーの APF 権限を確認してください。権限が指定されていない場合は APF リストに追加してください。まだ実行していない場合は EXEC PGM=CKRCARLX を使用してください。

重大度

12

CKR3017 **Syslog レコードを作成しました: number (Syslog records created: number)**

説明

このメッセージは、MODIFY job, DISPLAY コマンドに対する応答として発行され、選択された NEWLIST SYSLOG 出力レコードの数を示します。出力コマンドが LIST である newlist の場合は、書き込まれています。出力コマンドが SORTLIST または DISPLAY である newlist の場合は、引き続き入力の完了を待機するため (その後にはソートが完了できます)、まだ書き込まれません。数が 0 の場合、メッセージは書き込まれません。

重大度

00

CKR3018

INMEM を指定できるのは TYPE=SMF の場合のみです。位置: source (INMEM only allowed for TYPE=SMF - at source)

説明

INMEM は NEWLIST TYPE=SMF の場合のために用意されています。他のタイプの場合は指定できません。

ユーザーの処置:

INMEM を削除するか、NEWLIST TYPE を SMF に変更してください。

重大度

12

CKR3019 **CDP を指定できるのは TYPE=SMF の場合のみです。場所: source (CDP only allowed for TYPE=SMF - at source)**

説明

CDP を使用できるのは NEWLIST TYPE=SMF の場合のみであり、他のタイプの場合は指定できません。

ユーザーの処置:

CDP を削除するか、NEWLIST TYPE を SMF に変更してください。

重大度

12

CKR3020 **jobname ユーザー [userid] から MODIFY job, RESTART を受信しましたが、この操作は 31 ビット・モードのプログラムではサポートされません (MODIFY job, RESTART received but not supported in 31 bit mode program, from jobname user [userid])**

説明

このメッセージは、31 ビット版のプログラムでは RESTART オペレーター・コマンドが機能しないことの説明です。このメッセージは実行している CARLa の結果に影響しないため、重大度は 0 です。

ユーザーの処置:

64 ビット版のプログラムをサポートする最小ハードウェア・レベルを使用してください。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の ALLOCATE に関するセクションに記載されている ALLOC PROGRAM パラメーターも参照してください。

重大度

00

CKR3021 状況 **** BUSY **** status
(Status **** BUSY **** status)

説明

このメッセージは、MODIFY jobname, DISPLAY コマンドに対する応答として発行され、最後の状況チェックポイントが発生した個所を示します。ISPF、またはバッチの SYSPRINT の DEBUG PERFORM に示された最新の BUSY 進行状況メッセージを示します。

重大度

00

CKR3022 予期しない QEDIT RC=value
(Unexpected QEDIT RC=value)

説明

このメッセージは、多数のオペレーター・コマンド・インターフェース・ブロックのスペースを予約するための QEDIT サービスが、示された 10 進数の戻りコードで失敗したことを示しています。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKR3023 jobname ユーザー [userid] から
MODIFY job, RESTART を受信しま
した (MODIFY job, RESTART
received from jobname user
[userid])

説明

このメッセージは、MODIFY jobname, RESTART コマンドに対する応答としてコンソールに発行されます。

重大度

00

CKR3024 タスク・トークン CKR.PSTATUS で
予期しない IEANTRT 戻りコード
value が返されました (Unexpected
IEANTRT return code value on task
token CKR.PSTATUS)

説明

CKR.PSTATUS という名前のタスク・レベル・トークンを取得するときに予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置

戻りコードを「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」で調べてください。それでも解決しない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR3025 timestamp の RESTART number の
後に、タスク・トークン
CKR.PSTATUS からの memsize
の永続状態が復元されました
(Restored memsize persistent
state from task token
CKR.PSTATUS after RESTART
number at timestamp)

説明

このメッセージは、RESTART のために保存された永続状態が復元されたことを示します。

number

永続状態のタスク名トークンが作成された後の再始動回数を示します。

timestamp

いつプログラムが再始動されたかを示します。

重大度

00

CKR3026 タスク・トークン CKR.PSTATUS を
作成するときに予期しない
IEANTCR 戻りコード value が返さ
れました (Unexpected IEANTCR
return code value creating task
token CKR.PSTATUS)

説明

CKR.PSTATUS という名前のタスク・レベル・トークンを作成するときに予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置

戻りコードを「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」で調べてください。それでも解決しない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探

してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR3027 *where* に **RESTART_INTERVAL** が指定されていますが、**31** ビット・モードではサポートされません (**RESTART_INTERVAL not supported in 31 bit mode, at where**)

説明

このメッセージは、31 ビット・モードで **RESTART** 機能を使用しようとする発行されます。この動作は適切なハードウェア・レベルでのみサポートされます。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の **ALLOCATE** に関するセクションに記載されている **ALLOC PROGRAM** パラメーターも参照してください。

重大度

12

CKR3028 永続状態の名前トークンは **CBID** バージョン *number1* ですが、**PSTA** バージョン *number2* が必要です (**Persistent state name token is CBID version number1 but expecting PSTA version number2**)

説明

このメッセージは、タスクの名前トークンで予期しないレイアウトを検出した場合に発行されます。**CBID** は Control Block ID (制御ブロック ID) の頭文字です。

ユーザーの処置

タスクを終了し、新規タスク (TCB) の下でプログラムを開始してください。

重大度

16

CKR3029 制限モードでは **RESTART** を使用できません (**RESTART not allowed in restricted mode**)

説明

このメッセージは、制限モードのときに永続状態からプログラムを再始動しようとしたことを示します。これは許可されません。

ユーザーの処置

無制限で実行するか、再始動の指定を削除してください。

重大度

16

CKR3030 タスク・トークン **CKR.PSTATUS** を削除するとき予期しない **IEANTDL** 戻りコード *value* が返されました (**Unexpected IEANTDL return code value deleting task token CKR.PSTATUS**)

説明

CKR.PSTATUS という名前のタスク・レベル・トークンを削除するとき予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置

戻りコードを「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」で調べてください。それでも解決しない場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR3031 *jobname* ユーザー [*userid*] から **MODIFY job,RESTART** を受信しましたが、この操作は制限モードではサポートされません (**MODIFY job,RESTART received but not supported in restricted mode, from jobname user [userid]**)

説明

このメッセージは、制限モードでは **RESTART** オペレーター・コマンドを使用できないことの説明です。このメッセージは実行している **CARLa** の結果に影響しないため、重大度は 0 です。

重大度

00

CKR3032 再始動 *number* のインターバル (*number* 分) が *timestamp* に開始します (**Restart number interval of number minutes starts at timestamp**)

説明

このメッセージは、入力 CKFREEZE ファイルおよびセキュリティ・データベースが読み取られ、SMF 処理を開始しようとするときに発行されます。インターバルのカウントを開始する時点を示します。

重大度

00

CKR3033 次の反復を要求する **RESTART** 反復 **number** (**RESTART iteration number requesting next iteration**) レコード **number** で **source** を通過 (**Pass source at record number**)

説明

再始動インターバルの終わりに到達したか、即時再始動コマンドが要求されました。プログラムがブロッキング呼び出しで待機していたがインターバルが期限切れになった場合は、想定より遅れて発行される場合があります。インターバルの有効期限が検出された日時については、メッセージ CKR0852 を参照してください。

再始動の前後にまたがって開かれたままになる入力ファイルごとに 1 行のメッセージが、このメッセージの後に続きます。

重大度

00

CKR3034 ユーザー異常終了 3034 が **DEBUG ENDPROGABEND** によって要求されました (**User abend 3034 requested by DEBUG ENDPROGABEND**)

説明

このメッセージは、**DEBUG ENDPROGABEND** によって要求されたユーザー異常終了 3034 の直前に印刷出力の最終行として発行されます。

重大度

00

CKR3035 **TCP** ソケットのクローズに失敗しました。 **sockdesc n RC nn [meaning]** [理由 **qqqq rrrr [meaning]**] (**TCP socket close failed sockdesc n RC nn [meaning]** [reason **qqqq rrrr [meaning]**])

説明

これは **TCP** 接続のクローズに失敗したことを示しています。このメッセージは、**BPX1CLO** 呼び出しまたは

BPX4CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および理由コードが、理由コード修飾子 **qqqq** と理由コード **rrrr** (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。

ユーザーの処置

z/OS インターネット・ライブラリーから入手可能な「**z/OS UNIX System Services** メッセージおよびコード」のリファレンス・マニュアルを参照してください。

重大度

12

CKR3036 ドメイン・ネーム **source** に対して **CONFIG=name** を組み込みます: (**Imbedding CONFIG=name for domain name source**)

説明

このメッセージは、**DD** 名 **CKA@CUST** からのドメイン構成メンバー **name** をプログラムが組み込む前に発行されます。

内部で生成された **IMBED** ステートメントには **NODUP** パラメーターが指定されるため、複数の **DOMAIN** に指定されている場合でもメンバーが読み取られるのは 1 回だけです。

重大度

00

CKR3037 レコード **number** の後に **source** からの入力続行 (**Continue input from source after record number**)

説明:

このメッセージは、再始動中に見つかった開いているファイルを再始動後に識別するために発行されます。プログラムは、前の反復で残った場所から読み取りを再開します。

重大度

00

CKR3038 **ddname** 行 **number** の **token** の前の **TSS_EVENT** 値が無効です (**Invalid TSS_EVENT value before token at ddname line number**)

説明:

示されている **TSS_EVENT SELECT** ステートメントに指定された文字の値が無効です。許可される値とその数値のリストについては、「**zSecure CARLa** コマンド・リファレンス」で、**newlist SMF** に対する **TSS_EVENT** フィールドの説明を参照してください。

重大度

12

CKR3039 ソケット *num* 上で接続に失敗しました。RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx* [*meaning*]
[*IPaddress* の接続ポート *port* | unexpected SOCKADDRLEN=*len*]
(Connect failed on socket *num* RC *nn* [*meaning*] reason *qqqq rrrrx* [*meaning*]
[contacting port *port* of *IPaddress* | unexpected SOCKADDRLEN=*len*])

説明

これはリモート・ポートへの接続の失敗を示します。ファイアウォールによって接続がブロックされているか、宛先サービスが利用できないか、ポートか IP アドレスが誤っている可能性があります。このメッセージは、BPX1CON または BPX4CON 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。

このメッセージの重大度は、これが再試行であるか初回の試行であるか、および環境がどのようなものであるかに応じたものになります。ジョブ・ステップ・プログラムは最初の試行に基づいて RC 12 を戻します。

ユーザーの処置

IBM Knowledge Center for z/OS から入手可能な「z/OS UNIX System Services Messages and Codes」リファレンス・マニュアルで他の戻りコードや理由コードを探してください。IP アドレスとポート番号は正しく指定されています。宛先がポート上で実際に listen しているかどうかを確認してください。ブロックとトラフィックの間にファイアウォールがないことを確認してください。

重大度

4 または 12

CKR3040 ソケット *num* の、*destination*、*family* アドレス *IPaddress* のポート *port* への接続が成功しました (Connect on socket *num* succeeded to *destination*, port *port* of *family* address *IPaddress*)

説明

これは、示されたソケット記述子番号から、SYSLOGTCP などの宛先キーワードで指定された *destination* への

TCP 接続が正常に実行されたことを記録します。ポート、ソケット・ファミリー、および解決された IP アドレスも示されます。

重大度

00

CKR3041 *destination* のポート *port* への接続を待機しています (Waiting for connection to port *port* for *destination*)

説明

これは、オペレーター・コンソールに表示される、重大な最終的アクション・オペレーター・メッセージです。このメッセージは、タスクが接続を待機して停止している間、15 分にわたって毎分破棄と表示が繰り返されます。*destination* は、SYSLOGTCP または類似のパラメーターで渡される宛先ストリングです。*port* は、デフォルトのポートの場合もあれば、*destination* ストリングで明示的に言及されているポートの場合もあります。

ユーザーがエラー状態を除去できる可能性もあるので、重大度は 4 です。

ユーザーの処置

目標の受信側がアクティブであり、ポート上で listen していることを確認してください。問題を解決するためには、アプリケーションの再始動が必要な場合があります。トラフィックをブロックするファイアウォールがないことを確認してください。宛先またはポートで入力ミスがないことを確認してください。戻りコードや理由コードなどの詳細な診断情報については、プログラムの SYSPRINT のメッセージ CKR3039 を参照してください。

重大度

04

CKR3043 *name sockdesc num* に対する TCP 書き込みに失敗しました。RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx* [*meaning*]、*name source* (TCP write for *name sockdesc num* failed RC *nn* [*meaning*] reason *qqqq rrrrx* [*meaning*], *name source*)

説明

このメッセージは、例えば SYSLOGTCP に対する、TCP 接続のリカバリー不能な書き込み障害の診断情報を示します。

ユーザーの処置

接続が正常に復旧したかどうかを確認してください。

重大度

04

CKR3044 ソケット *num type* 上の接続が異常終了しました *code-reason (stock description) (Connect on socket num type abend code-reason (stock description))*

説明

このメッセージは、BPX1CON または BPX4CON IP 接続呼び出し中に予期しない異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置

IBM Knowledge Center for z/OS から入手可能な『z/OS MVS System Codes』で、この異常終了コードに対する推奨アクションを調べてください。

重大度

16

CKR3045 *destination* の *protocol* をポート *port family*、アドレス *IPaddress* に解決しました (**Resolved protocol for destination to port port family address IPaddress**)

説明

これは、宛先と *protocol* のデフォルト・ポートが IP アドレス構造に正常に変換されたことを示します。

重大度

00

CKR3046 *name sockdesc num* に対する TCP 書き込みに失敗しました。 **RC nn [meaning] 理由 qqqq rrrrx [meaning]、name source (TCP write for name sockdesc num failed RC nn [meaning] reason qqqq rrrrx [meaning], name source)**

説明

このメッセージは、例えば SYSLOGTCP に対する、TCP 接続の潜在的にリカバリー可能な書き込み障害の診断情報を示します。再試行が成功したかどうかを把握するには、同じソケット番号 (sockdesc) についての後続のメッセージを探します。

接続を待機して再接続を試行することによりエラー状態が除去される可能性があるため、重大度は 4 です。

ユーザーの処置

接続が正常に復旧したかどうかを確認してください。

重大度

04

CKR3047 **RESTART_INTERVAL** の最小値は **10** 分であり、*token "value" source* の前にある必要があります (**RESTART_INTERVAL minimum is 10 minutes, before token "value" source**)

説明:

OPTION RESTART_INTERVAL の指定値は 10 から 1440 分の範囲内でなければなりません (1440 分は 24 時間です)。

ユーザーの処置:

10 から 1440 の範囲内で値を選択してください。

重大度

12

CKR3048 *ddname* 行 *number* にある *token* の前の数値の TSS_EVENT は、0 から 255 の間の **10** 進数である必要があります (**Numeric TSS_EVENT must be decimal between 0 and 255 before token at ddname line number**)

説明:

示されている TSS_EVENT SELECT ステートメントに指定された TSS_EVENT フィールドの数値が、255 より大きくなっています。これはサポートされません。

重大度

12

CKR3082 **ID=UNDnnnnn** の {考慮事項 "concerntext" への | 機密性 "sensitivity" への | シミュレートされたリスク・レベルへの} 割り当て (**Assigning ID=UNDnnnnn { to concern "concerntext" | to sensitivity "sensitivity" | for simulated risk level }**)

説明

このメッセージは、ID がなくて機密性が使用されている SIMULATE ステートメントまたは DEFSENS ステートメントからの CONCERN に対して、考慮事項のない機密性に対して、または考慮事項も機密性もないシミュレートされたリスク・レベルに対して発行されます。示された ID UNNnnnnn は、この実行の出力に使用される可能性があります。ただし、他の CARLa ステートメント

が照会に追加されるか、照会から削除されると、この ID は変更される可能性があります。

デフォルトでは、このメッセージは通知メッセージ (RC 0) として発行されます。CARLa スクリプトの先頭または SETUP PREAMBLE に CARLa ステートメント OPTION MSGRC=(3082,12) を追加することで、このメッセージを構文エラー (実行を停止する) にプロモートすることができます。

ユーザーの処置:

このメッセージをトリガーしたステートメントを確認し、適切なサイト固有 ID を追加することを検討してください。

重大度

00 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR3084 *pattern* について、*source1* での現在の MASKTYPE=ACF2 は、*source2* での前の MASKTYPE=EGN と矛盾します (Current MASKTYPE=ACF2 at *source1* conflicts with earlier MASKTYPE=EGN at *source2* for *pattern*)

説明:

単一のデータ・セット名パターン *pattern* について、2 つの SIMULATE コマンド間のマスク・タイプが矛盾しています。後者の SIMULATE コマンドの SENSITIVE キーワードに対する応答です。プログラムで使用できるマスク・タイプは、データ・セット名パターンごとに 1 つのみです。

重大度

12

CKR3085 *pattern* について、*source1* での現在の MASKTYPE=EGN は、*source2* での前の MASKTYPE=ACF2 と矛盾します (Current MASKTYPE=EGN at *source1* conflicts with earlier MASKTYPE=ACF2 at *source2* for *pattern*)

説明:

単一のデータ・セット名パターン *pattern* について、2 つの SIMULATE コマンド間のマスク・タイプが矛盾しています。後者の SIMULATE コマンドの SENSITIVE キーワードに対する応答です。プログラムで使用できるマスク・タイプは、データ・セット名パターンごとに 1 つのみです。

重大度

12

CKR3086 *pattern* について、*source1* での現在の MASKTYPE=ACF2 は、*source2* での前の MASKTYPE=EGN と矛盾します (Current MASKTYPE=ACF2 at *source1* conflicts with earlier MASKTYPE=EGN at *source2* for *pattern*)

説明:

単一のデータ・セット名パターン *pattern* について、2 つの SIMULATE コマンド間のマスク・タイプが矛盾しています。後者の SIMULATE コマンドの CLASS=DATASET キーワードに対する応答です。プログラムで使用できるマスク・タイプは、データ・セット名パターンごとに 1 つのみです。

重大度

12

CKR3087 *pattern* について、*source1* での現在の MASKTYPE=EGN は、*source2* での前の MASKTYPE=ACF2 と矛盾します (Current MASKTYPE=EGN at *source1* conflicts with earlier MASKTYPE=ACF2 at *source2* for *pattern*)

説明:

単一のデータ・セット名パターン *pattern* について、2 つの SIMULATE コマンド間のマスク・タイプが矛盾しています。後者の SIMULATE コマンドの CLASS=DATASET キーワードに対する応答です。プログラムで使用できるマスク・タイプは、データ・セット名パターンごとに 1 つのみです。

重大度

12

CKR3088 リソース名の長さ *len* が、クラス DATASET *source* に対する最大の 44 を超えています (Resource name length *len* exceeds maximum of 44 for class DATASET *source*)

説明:

データ・セット名の最大長は 44 文字です。

ユーザーの処置:

データ・セット名の入力ミスを確認するか、総称の指定を短くしてください。

重大度

12

CKR3089 マスク指定では、*dsnmask* に対して少なくとも 3 文字の *source* の非総称接頭部を持つ必要があります (Mask specification must have a

non-generic prefix of at least 3 characters source for dsnmask)

説明:

SIMULATE コマンドの総称リソース名指定は、少なくとも 3 文字の非総称文字で始まる必要があります。

ユーザーの処置:

マスク指定を変更してください。

重大度

12

CKR3090 CKFREEZE 構造上のエラー - system、レコード *number ddname dsname* に CFVX がありません (CKFREEZE structural error - no

CFVX for system, record number ddname dsname)

説明:

このメッセージは、メッセージに示されている位置にある CKFREEZE スナップショット・ファイルに構造上のエラーがあることを示しています。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKR メッセージ 3100 から 3199

CKR3100...CKR message 3111

説明

これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR3112 オペレーター・コマンドを listen しています (Now listening for operator commands)

説明

このメッセージは、以下のようなオペレーター・コマンドをタスクが listen していることを示します。

```
STOP job
MODIFY job,DISPLAY
MODIFY job,CANCEL
```

このメッセージは、DEBUG CIB コマンドに対する応答としてのみ発行されます。

重大度

00

CKR3113 タスク・トークン CKR.PSTATUS は正常に削除されました (Task token CKR.PSTATUS deleted successfully)

説明

このメッセージは通常、RESTART ループの最後の反復の出力に示されます。このメッセージが発行されるのは、DEBUG RESTART が要求された場合のみです。

重大度

00

CKR3114 SMF INMEM *rname* から正常に切断しました (Successful disconnect from SMF INMEM *rname*)

説明

このメッセージは、示された SMF INMEM リソース *rname* からプログラムが切断したことを示します。このメッセージが発行されるのは、DEBUG RESTART が要求された場合のみです。

重大度

00

CKR3115 タスク・トークン CKR.PSTATUS は正常に作成されました (Task token CKR.PSTATUS created successfully)

説明

このメッセージは通常、初回の RESTART の前に書き込まれる初期プログラム出力の出力に示されます。この

メッセージが発行されるのは、DEBUG RESTART が要求された場合のみです。

重大度

00

**CKR3116...CKR message
3199**

説明

これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これら

のメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKR メッセージ 3700 から 3799

CKR3700...CKR3799 *message*

説明

これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

0

第 7 章 CKV メッセージ

zSecure Collect は、以下の製品のコンポーネントです。

- zSecure Admin
- zSecure Audit
- zSecure Alert
- zSecure Adapters for SIEM
- zSecure Manager for RACF z/VM

zSecure Collect はシステム・データを収集し、そのデータを CKFREEZE データ・セットに保管します。これは、z/OS 製品については CKF 接頭部が付いたメッセージを発行し、z/VM 製品については CKV 接頭部が付いたメッセージを発行します。例えば、zSecure Admin and Audit を使用している場合は、メッセージ番号 CKF0001 が表示される可能性があります。zSecure Manager for RACF z/VM によって発行される同じメッセージの番号は CKV001I となります。

z/OS プラットフォームと z/VM プラットフォームの間で共用される zSecure Collect メッセージは、5 ページの『第 2 章 CKF メッセージ』に記載されています。z/VM 製品に固有の zSecure Collect メッセージは、このセクションに記載されています。接頭部が CKV の特定のメッセージの説明を見つけるには、メッセージ番号 (CKV970I など) でこの資料を検索してください。

各メッセージ番号の形式は、CKVnnnI です (nnn は、メッセージ番号)。メッセージ ID に加え、重大度コードもプログラムによって発行されます。このコードは、プログラム完了コードから派生しており、検出された最高の重大度コードを示します。重大度コードには、以下のいずれかの値が含まれます。

- 00** 状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
- 04** 異常な条件が見つかりました。情報が欠落する可能性があります。
- 08** 要求された情報が失われる原因となる異常な状態が検出されました。後続の処理に影響が及ぶ場合があります。
- 12** zSecure Collect の処理中の予期しない状態です。
- 16** コマンド入力に構文エラーがあるか、またはライセンスに問題があります。
- 24** zSecure Collect で、内部エラーか、または他の予期しない/サポートされない状態が検出されました。
- 28** zSecure Collect で、内部エラーか、または他の予期しない/サポートされない状態が検出されました。システムを保護し、ダンプを強制的に実行するために、ユーザー異常終了が発行されます。

CKV メッセージ 0 から 99

CKV000I	IBM Security zSecure Collect for VM バージョン <i>version</i> (IBM Tivoli zSecure Collect for VM Version <i>version</i>)	重大度	0
		CKV001I	<i>siteidentifier activity</i>
説明		説明	
製品の識別番号です。			このメッセージは、サイト固有のストリングを示します。

重大度

0

CKV008I ディレクトリー情報に u 人のユーザー $\{, i identities, \}$ と n 個のミニディスクが含まれています (Directory information includes u users $\{, i identities, \}$ and n minidisks)

説明

実行の要約情報です。

重大度

0

CKV009I CKVCOLL が使用した CPU 時間: $ss.t$ 秒、経過時間: ss 秒、収集したデータ: $m.kkk$ MB ($m.kkk$ MB/s)。volume list 上の dsn に $rectotal$ 件のレコードを書き込み済み (CKVCOLL used $ss.t$ CPU seconds, ss elapsed seconds, and collected $m.kkk$ MB ($m.kkk$ MB/s) Written $rectotal$ records to dsn on volume list)

説明

このメッセージは、使用された CPU 時間と実時間を示します。また、収集された (CKFREEZE ファイルに書き込まれた) データの量と有効なデータ転送速度の要約も示します。

重大度

00

CKV010I **SYSTEM** コマンドでシステム名を指定してください (System name must be specified with **SYSTEM** command)

説明

ディレクトリー・ファイルを別のシステム (MVS または VM) で分析する場合は、システム名が必要です。

重大度

08

CKV011I 不明なコマンド $command$ は無視されます (Unknown command $command$ ignored)

説明

SYSIN ファイル内の示されたコマンドは認識されません。

重大度

04

CKV012I 出力ファイルを開くのに失敗しました - $ddname fname ftype fmode$ (Open of output file failed - $ddname fname ftype fmode$)

説明

zSecure Collect は、CKFREEZE 出力ファイルを開いているときにエラーを受け取りました。

ユーザーの処置

考えられるエラーは、ファイル・モードの指定が正しくないことが原因である可能性があります。コンソール・ログに追加メッセージがないか調べ、CKFREEZE ファイルに対して指定されたディスクが書き込みモードで使用可能かどうかを確認してください。

重大度

08

CKV013I 指定したユーザー・ディレクトリーは、空であるか、または存在しません。 (Specified user directory is empty or does not exist.)

説明

入力コマンドを含むディレクトリーが空であるか、または存在しません。

ユーザーの処置

データ収集プロセス (CKVECOLL) の実行に使用するコマンド入力を更新して、「VM Directory file source」パラメーターに有効なディレクトリー・ファイルを指定してください。「IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM: Manager for RACF z/VM Installation and Deployment Guide」の『日次収集プロセスのセットアップ (Setting up the daily collection process)』を参照してください。

重大度

04

CKV014I クラス B ユーザー ID 上で実行されていません。構成データの収集は失敗します (Not running on Class B userid, configuration data collection will fail)

説明

CKVECOLL には、クラス BE ユーザー ID が必要です。

重大度

08

CKV015I クラス E ユーザー ID 上で実行されていません。デバイス・タイプ情報は不完全になります (**Not running on Class E userid, device type information will be incomplete**)

説明

CKVECOLL には、クラス BE ユーザー ID が必要です。

重大度

04

CKV016I 370 仮想マシンを XA/ESA ハードウェア上で実行しています。構成データは不完全になります (**Running 370 virtual machine on XA/ESA hardware; configuration data will be incomplete**)

説明

VM/XA または VM/ESA 上で実行するときは、XA 対応の仮想マシンを使用することをお勧めします。370 マシンは重要な情報をすべて提供しますが、XA/ESA マシンはより詳細なパス情報を提供することがあります。

重大度

04

CKV019I VM/xxx 370/XA モードでユーザー ID *uid* システム *systemid* ノード *nodename* を実行中 (**Running VM/xxx 370/XA mode userid *uid* system *systemid* node *nodename***)

説明

VM システム上で実行しているときのシステムとユーザー ID を示します。

重大度

00

CKV020I 入力コマンドにエラーがあります (複数の場合もあり)。プログラムは異常終了しました (**Error(s) in input commands, program aborted**)

説明:

入力コマンド内の構文エラーが原因で、実行は停止しました。

ユーザーの処置

構文を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

重大度

08

CKV021I システム *system* のディレクトリーの読み取り中 (**Reading directory for system *system***)

説明

現在ディレクトリーを読み取っています。継続メッセージは、ディレクトリー読み取りプロセスを示します。

重大度

00

CKV022I ディレクトリー・テキスト・ファイルが **DIRECT DD** 名に割り振られていません。 (**Directory text file not allocated to DIRECT ddname.**) ミニディスク情報が欠落しています (**Minidisk info missing**)

説明

ディレクトリー情報が zSecure Collect に提供されていません。この情報がないと、他の zSecure 製品を使用した大部分の分析で、結果のファイルを使用できません。

重大度

08

CKV023I 指定したゲスト *userid* がディレクトリーで見つかりません (**Specified guest *userid* not found in directory**)

説明

GUEST コマンドで指定したユーザー ID に対応する USER ステートメントまたは IDENTITY ステートメントがユーザー・ディレクトリーに含まれていません。指定したゲストについての情報を収集できません。

重大度

08

CKV025I 重複するユーザー ID *userid* が見つかりました (**Duplicate userid *userid* found**)

説明

示されたユーザー ID は、ユーザー・ディレクトリーで 2 回定義されています。

重大度

04

CKV026I *statement* ステートメントの前に **USER** ステートメントがありません (*statement statement without preceding USER statement*)

説明

ディレクトリー内で構文エラーまたはサポートされない構造が検出されました。このメッセージの *statement* という語が取り得る値は、MDISK または DEDICATE です。

重大度

04

CKV027I **USER** ステートメントが重複しているので、*statement* ステートメントは無視されます (*statement statement ignored for duplicate USER statement*)

説明

最初に出現したユーザー ID からのミニディスク定義のみが使用されます。このメッセージの *statement* という語が取り得る値は、ACIGROUP、CLASS、DEDICATE、または MDISK のいずれかです。

重大度

04

CKV028I ユーザー *user* の *statement* アドレス *xxxx* が重複しています (*Duplicate statement address xxxx for user user*)

説明

同じユーザーについて、同じステートメントが 2 回見かけられました。このメッセージの *statement* という語が取り得る値は、DEDICATE または minidisk です。

重大度

04

CKV030I 重複しているプロファイル *profile* が見つかりました (*Duplicate profile profile found.*)

説明

同じ名前を持つ PROFILE 定義が USER DIRECT ファイル内で見つかりました。

重大度

04

CKV031I *profile* はプロファイルではありません。 (*profile is not a profile.*)

説明

INCLUDE ステートメントのターゲットが、USER DIRECT ファイル内の PROFILE 定義を参照しませんでした。

重大度

04

CKV032I プロファイル *profile* が見つかりませんでした (*Profile profile not found.*)

説明

INCLUDE ステートメントのターゲットが USER DIRECT ファイルで定義されていませんでした。

重大度

04

CKV033I **POOL** により、重複したユーザー ID *userid* が作成されました。 (*POOL creates duplicate userid userid.*)

説明

POOL ステートメントによって定義されたユーザー ID は、USER DIRECT ファイルに既に存在しています。

重大度

04

CKV034I **STORAGEGC** は **PARM** ストリングでのみ有効です。 (*STORAGEGC only valid in PARM string*)

説明

このメッセージは、STORAGEGC パラメーターはパラメーター・ストリングに指定しない限り有効にならないことを示しています。

ユーザーの処置

z/VM で収集を実行し、ストレージ・ガーベッジを収集する必要がある場合は、以下のステートメントを発行できます。

ステートメント	注
CKVECOLL (STORAGEGC)	z/VM の ISPF または CMS 下で実行中かどうかを判別します。
OSRUN CKVCOLL PARM=STORAGEGC	z/VM のネイティブ CMS 下で実行している場合に発行します。
ispexec 'SELECT PGM(CKVCOLL) PARM(STORAGEGC)'	z/VM の ISPF 下で実行している場合に発行します。

(Reading from *device-no* resulted in nonzero return code *code* [,SCSW=*channel status word*])

説明

示されたデバイスから読み取りを行うことができませんでした。問題を診断するために、状況コードとオプションのデバイス・サブチャンネル状況ワードが提供されません。

ユーザーの処置

示されたデバイスの資料を参照して、入出力エラーのトラブルシューティングを行ってください。

重大度

16

CKV079I *device-no* から読み取った結果、ゼロ以外の戻りコード *code* が戻されました [,SCSW=*channel status word*]

重大度

08

CKV メッセージ 100 から 199

CKV110I 実デバイス *xxxx* について、チャンネル・パス *nn* は無視されます。(Channel path *nn* ignored for real device *xxxx*.) サポートされる CHPID は、8 個のみです (Only 8 CHPIDs supported)

説明

示されたデバイスについて、8 個を超えるチャンネル・パスが Q PATHS コマンドで報告されました。

重大度

04

CKV112I Q PATHS に予期しないテキスト *text* がありました (Unexpected text *text* in Q PATHS)

説明

Q PATHS コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「SETUP FILES (SE.1)」オプションを使用して、「DEBUG CP」オプションを有効にして zSecure Collect プログラム (CKVECOLL) を再実行してください。次に、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。「セットアップ」パネルで、リフレッシュする CKFREEZE ファイルを選択します。次に、「Optional parameter list for CKFREEZE creation」フィールドから「DEBUG CP」オプションを選択します。次に、REFRESH コマンドを発行して、出力を生成します。

また、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してくだ

さい。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKV113I デバイス *xxx* の制御装置が見つかりませんでした (No control unit found for device *xxx*)

説明

VM/SP システムの RDEVBLOK に単一の制御装置 (RCUBLOK) ポインターが含まれていませんでした。これは回避しなければなりません。

重大度

04

CKV114I Q DASD DETAILS *xxxx* コマンドから予期しない出力が生成されました。(Unexpected output from Q DASD DETAILS *xxxx* command.)

説明

Q DASD DETAILS コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。追加説明については、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKV115I **Q DASD DETAILS xxxx の応答に不明なエレメント text があります (Unknown element text in Q DASD DETAILS xxxx response)**

説明

Q DASD DETAILS コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。追加説明については、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKV116I **Q NSS MAP ALL コマンドから予期しない出力が生成されました (Unexpected output from Q NSS MAP ALL command)**

説明

Q NSS MAP ALL コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。追加説明については、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKV120I **Q NSS 出力のサイズ修飾子 M が不明です (Unknown size modifier M in Q NSS output)**

説明

Q NSS MAP ALL コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。追加説明については、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKV140I **チャンネル list 上のデバイスのセンス情報がありません (No sense information for devices on channels list)**

説明

「COLLECT SENSE」を指定した場合、zSecure Collect (CKVECOLL) プログラムは、1 つ以上の読み取り構成データ CCW を 3990 コントローラーに発行することを試みます。このメッセージは、リストされたチャンネル上のデバイスについて、センス・データを取得できなかったことを示しています。この問題を解決するには、メッセージ CKV141 にリストされたいずれかのデバイス上でミニディスクを割り振ります。このプロセスが必要になるのは、サブシステム ID が必要な場合に限られます。

重大度

08

CKV141I **デバイスは次のとおりです: list of devices (Devices are: list of devices)**

説明

メッセージ CKV140I を参照してください。

重大度

08

CKV145I **Q CACHE nnn コマンドから予期しない出力が生成されました (Unexpected output from Q CACHE nnn command)**

説明

Q CACHE コマンドからの出力を構文解析できませんでした。デバイスがキャッシュされていない可能性があ

ります。または、サポートされない形式の Q CACHE コマンドが検出されました。その場合は、「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。このプロセスを完了する手順については詳しくは、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

CKV146I VMCMD DIAG0A0.RACONFIG に対する読み取り権限がありません。クラス A でも、クラス B でもありません (No READ access to VMCMD DIAG0A0.RACONFIG, or not class A or B)

説明

データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、DIAG A0 サブコード 50 を発行する権限がありません。

重大度

04

CKV147I DIAGNOSE A0-50 処理中の *abend*。(abend during DIAGNOSE A0-50 processing.)

説明

DIAG A0 サブコード 50 呼び出し中に異常終了が発生しました。返されたコードについては、「z/VM CP Programming Services (SC24-6179)」を参照してください。

重大度

08

CKV148I RACF はアクティブではありません。(RACF is not active.)

説明

DIAG A0 サブコード 50 呼び出しにより、RACF がアクティブではないと判別されました。

重大度

04

CKV149I DIAGNOSE A0-50 呼び出しからの条件コード *n*。(Condition code *n* from DIAGNOSE A0-50 call.)

説明

DIAGNOSE A0 サブコード 50 が条件コード *n* を返しました。返されたコードについては、「z/VM CP Programming Services (SC24-6179)」を参照してください。

重大度

04

CKV151I 照会 *command* に対する権限がありません - *command* データは収集されません。(Not authorised to Query *command* - *command* data will not be collected.)

説明

データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、QUERY *command* を発行する権限がありません。照会に対する応答は収集されません。

重大度

08

CKV153I クラス E ユーザー ID で実行されていません。ネットワーク・データは収集されません (Not running on Class E userid, network data will not be collected)

説明

データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、DIAGNOSE 26C を発行する権限がありません。VLAN データや仮想スイッチ・データは収集されません。

重大度

04

CKV154I DIAGNOSE 26C 処理中の *abend*。(abend during DIAGNOSE 26C processing.)

説明

DIAG 26C 呼び出し中に異常終了が発生しました。返されたコードについては、「z/VM CP Programming Services (SC24-6179)」を参照してください。

重大度

08

CKV155I **診断 26C-sc rc=rc - description
(Diagnose 26C-sc rc=rc -
description)**

説明

DIAGNOSE 26C がゼロ以外の戻りコードを返しました。

以下のサブコード (sc)、戻りコード (rc)、および説明が返される可能性があります。(The following sub-codes (sc), return codes (rc), and descriptions can be returned.)

表 4. CKV155I のサブコード、戻りコード、および説明	
サブコード	説明
08	仮想 LAN システム 情報を照会します。
18	ゲスト LAN 情報を照会します。
20	仮想スイッチ情報を照会します。
24	仮想ポート情報、仮想 NIC 情報、またはハイパーソケット論理ポート情報を照会します。
戻りコード	説明
04	一致する VLAN データが見つかりませんでした。
04	一致するゲスト VLAN データが見つかりませんでした。
04	一致する仮想データが見つかりませんでした。
04	一致する仮想ポート・データが見つかりませんでした。
04	一致する仮想 NIC データが見つかりませんでした。
12	要求されたバージョンはサポートされていません。
16	バッファが小さすぎます。
20	バッファが大きすぎます。
24	パラメーター・リスト (parmlist) タイプが正しくありません。

CKV156I **DIAGNOSE 4 処理中の abend。
(abend during DIAGNOSE 4
processing.)**

説明

DIAG 4 呼び出し中に異常終了が発生しました。SYSCM データ域は収集されません。返されたコードについては、「z/VM CP Programming Services (SC24-6179)」を参照してください。

重大度

08

CKV157I **VM リリースは SYSCM 収集用にサ
ポートされていません。**

**(Unsupported VM release for
SYSCM collect.)**

説明

zSecure では、この z/VM のリリースについて SYSCM の収集をサポートしていません。SYSCM データ域は収集されません。

重大度

08

CKV158I **Class E ユーザー ID で実行していま
せん。(Not running on Class E
userid.)SYSCM は収集されません。
(SYSCM will not be collected.)**

説明

データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、DIAGNOSE 4 を発行する権限がありません。SYSCM データ域は収集されません。

重大度

08

CKV159I **クラス E ユーザー ID で実行されて
いません。ネットワーク・データは
収集されません (Not running on
Class E userid, network data will
not be collected)**

説明

データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、DIAGNOSE 26C を発行する権限がありません。VLAN データや仮想スイッチ・データは収集されません。

重大度

04

CKV199I **デバイス vdevno 上で入出力エラー
が発生しました。cc=condition code
戻りコード R15=value (I/O error on
device vdevno cc=condition code
return code R15=value)**

説明

入出力要求 (診断 X'20' または X'A8') が失敗し、示された条件コードと戻りコードが戻されました。

重大度

08

CKV メッセージ 200 から 299

CKV200I MVS 上で構成データを収集できません (Cannot collect configuration data on MVS)

説明

CKVECOLL は、MVS または MVS ゲスト上で実行されているときは VM 構成データを収集しません。

重大度

04

CKV265I ディレクトリー・ファイルを読み取りましたが、**USER** [または **IDENTITY**] ステートメントが見つかりませんでした - ディレクトリー・ファイルではない可能性があります (Directory file read but no **USER** [or **IDENTITY**] statement found - probably not a directory file)

説明

VM ディレクトリー・ファイルとして読み取られたファイルに、**USER** (または **IDENTITY**) ステートメントが一切含まれていません。有効な VM ディレクトリー・ファイルでない可能性があります。メッセージの「または **IDENTITY** (or **IDENTITY**)」の部分は、z/VM V6R2 以降で実行中のみ示されます。

ユーザーの処置

データ収集プロセス (CKVECOLL) の実行に使用するコマンド入力を更新して、「*VM Directory file source*」パラメーターに有効なディレクトリー・ファイルを指定してください。「*IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM: Manager for RACF z/VM Installation and Deployment Guide*」の『日次収集プロセスのセットアップ』

プ (Setting up the daily collection process)』を参照してください。

重大度

04

CKV266I ディレクトリー・ファイルを読み取りましたが、有効な **MDISK** ステートメントが見つかりませんでした - ディレクトリー・ファイルではないことが考えられます (Directory file read but no valid **MDISK** statement found - probably not a directory file)

説明

読み取られた VM ディレクトリー・ファイルに **MDISK** ステートメントが含まれていないか、または **MDISK** ステートメントの前に **USER** ステートメントがありません。このファイルは、有効な VM ディレクトリー・ファイルではないことが考えられます。

ユーザーの処置

データ収集プロセス (CKVECOLL) の実行に使用するコマンド入力を更新して、「*VM Directory file source*」パラメーターに有効なディレクトリー・ファイルを指定してください。「*IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM: Manager for RACF z/VM Installation and Deployment Guide*」の『日次収集プロセスのセットアップ (Setting up the daily collection process)』を参照してください。

重大度

04

CKV メッセージ 300 から 399

CKV306I ゲスト *userid* のフリー・デバイス *rdevno* が一時的に接続されます (Free device *rdevno* of guest *userid* will be attached temporarily)

説明

このメッセージは、*userid* 専用のディスク *rdevno* が現在フリーであり、構成情報を収集するために一時的に接続されることを示します。*userid* は **GUEST** コマンドで指定されました。

重大度

00

CKV307I ユーザー ID *userid* にリンクまたは接続されているすべてのディスクを処理しています (Processing all disks linked or attached to *userid*)

説明

このメッセージは、**GUEST** コマンドを使用しない場合に出力されます。このメッセージは、このプログラム

を実行中の VM ユーザー ID に現在リンクまたは接続されているすべてのディスクが処理されていることを示します。

重大度

00

CKV308I **dasd vdev (volser) 上の vdev (volser) としてリンクされているディスクのスキャン中 (Scanning disk linked as vdev (volser) on dasd vdev (volser))**

説明

CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度

00

CKV309I **(dasd vdev (volser) 上で) ユーザー ID userid のディスク vdev のスキャン中 (Scanning disk vdev of userid userid (on dasd vdev (volser)))**

説明

CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度

00

CKV310I **ボリューム通し番号は volser です (Volume serial number is volser)**

説明

CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度

00

CKV311I **....完了。入出力数は count です (....done, number of I/O-s is count)**

説明

このメッセージは、CKVECOLL プログラムの状況情報を示します。メッセージ CKV310I の続きです。このメッセージは、DEBUG DEVICE オプションが有効な場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKV312I **VSAM カタログは data set name にあります (VSAM catalog resides in data set name)**

説明

示されたデータ・セットで VSAM マスターまたはユーザー・カタログが検出されました。カタログが読み取られます。このメッセージは、DEBUG DEVICE オプションが有効な場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKV313I **空の DSCB スロットの数: count (Number of empty DSCB slots: count)**

説明

VTOC には、示された数の空の DSCB スロットが含まれています。このメッセージは、DEBUG DEVICE オプションが有効な場合にのみ発行されます。

重大度

00

CKV320I **architecture devtype、count sizetype**

説明

デバッグの目的で、いくつかの *architecture* ディスク・パラメーターが報告されています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。*architecture* の取り得る値は、CKD (sizetype=tracks/cyl の場合) FBA (sizetype=tracks/cyl=blks/track の場合) です。

重大度

00

CKV321I **CKD レコード CCHHR = physical address の取得中 (Getting CKD record CCHHR = physical address)**

説明

示されたアドレスを持つ物理 CKD レコードが参照されています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度

00

CKV322I バッファから CKD トラックを削除中 (Removing CKD track out of buffer)

説明

CKD トラックが最近参照されていないためトラック・バッファから削除されます。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度

00

CKV323I CKD トラック *physical address* をディスクから読み取り中... (Reading CKD track *physical address* from disk...)

説明

CKD トラックがトラック・バッファになかったため、ディスクから CKD トラックを読み取っています。このメッセージは、メッセージ CKV324I に続きます。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度

00

CKV324I ...count バイトを読み取りました (...count bytes read)

説明

このメッセージはメッセージ CKV323I の続きであり、読み取った物理的なバイト数を示します。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度

00

CKV325I FBA ブロック *FBA block nr-FBA block nr* の取得中 (Getting FBA blocks *FBA block nr-FBA block nr*)

説明

示されたアドレスを持つ物理的な FBA ブロックが参照されています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度

00

CKV326I バッファから FBA トラックを削除中 (Removing FBA track out of buffer)

説明

FBA トラックが最近参照されていないためトラック・バッファから削除されます。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度

00

CKV327I FBA トラック *FBA block nr.* をディスクから読み取り中... (Reading FBA track *FBA block nr.* from disk...)

説明

FBA トラックがトラック・バッファになかったため、ディスクから FBA トラックを読み取っています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度

00

CKV328I カタログ・トラック・サイズ = *number of bytes* (Catalog track size = *number of bytes*)

説明

デバッグの目的で、カタログの低いキー範囲のデータ・レコードを含むトラックの物理トラック・サイズが報告されています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度

00

CKV329I VTOC 情報の収集 (Collecting VTOC information)

説明

CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度

00

CKV330I VSAM カタログ情報の収集 (Collecting VSAM catalog information)

説明

CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度

00

CKV340I 警告: ファイルのエクステントが
4096 を超えています *fn ft fm*

(Warning: More than 4096 extents
for file *fn ft fm*)

説明

CMS ファイルに割り振られた CMS ブロックは、zSecure Collect 出力ファイルの物理エクステントとして記述されます。サポートされるファイル・エクステントの数は、4096 に制限されています。

重大度

08

CKV メッセージ 400 から 499

CKV410I クラス G ユーザー ID で VTOC、CMS
ディレクトリー、またはカタログを
読み取れません (Cannot read
VTOC, CMS Directory, or Catalog
on class G userid)

(Cannot link or attach disk vdev of
userid *userid*)

説明

CKVECOLL には、クラス BE ユーザー ID が必要です。

説明

GUEST コマンドで指定したユーザーのディスクに対する **CP LINK** コマンドまたは **ATTACH** コマンドが失敗しました。対応する CP メッセージが **SYSPRINT** ファイルに出力されます。

重大度

08

CKV420I ユーザー ID *userid* のディスク *vdev*
をリンクまたは接続できません

重大度

04

CKV メッセージ 700 から 799

CKV700I *Module* 内部エラー: *description*
(Module internal error: *description*)

説明

示された仮想デバイスに対する診断 X'E4' 要求が失敗しました。このデバイスについて収集された情報は不完全です。

説明

示されたプログラム・モジュールが予期しない状態にあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

重大度

08

CKV711I VDEV *vdevno* に対する診断 E4 エラ
ー・コード *rc* (Diagnose E4 error
code *rc* for VDEV *vdevno*)

CKV712I ディスク・タイプ *device type* は、サ
ポートされません (Disk type *device
type* not supported)

説明

示されたディスク・タイプは、現在サポートされていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKV713I CMS CDF 形式はサポートされません (CMS CDF format not supported)
説明

CMS Conventional Disk Format は、現在サポートされていません。

重大度

08

CKV714I ボリューム・ラベルが認識されません: *char string (hex string)* (Unrecognized volume label: *char string (hex string)*)
説明

示されたボリューム・ラベルは、認識されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKV715I ファイル・ディレクトリーのエラー (*count* 個の FST を読み取れません) (Error in file directory (*count* FSTs not read))
説明

示された数のファイル状況テーブル項目を処理できませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKV メッセージ 800 から 899

CKV826I *statement* ステートメントの前に **USER** ステートメントがありません (*statement* statement without preceding **USER** statement)

CKV716I VTOC のエラー: format-4 DSCB が欠落しています (Error in VTOC: missing format-4 DSCB)
説明

最初に要求された format-4 DSCB が見つかりませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKV717I ボリュームあたり複数のカタログはサポートされません (Multiple catalogs per volume not supported)
説明

ボリュームには、複数の VSAM カタログを含めないでください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

08

CKV718I 警告: 水平エクステンション ptr = *hex* (Warning: horizontal extension ptr = *hex*)
説明

ここでは、水平エクステンションは予期されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

説明

ディレクトリー内で構文エラーまたはサポートされない構造が検出されました。このメッセージの *statement* という語が取り得る値は、ACIGROUP または

CLASS です。このメッセージは、REPORT DIRECTORY が指定されたときのみ発行されます。

重大度

00

CKV874I **RECFM=V(BS) RDW hex が、レコード *n ddname volser dsname* で LRECL=*lrecl* を超えています (RECFM=V(BS) RDW hex exceeds LRECL=*lrecl* at record *n ddname volser dsname*)**

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

CKV875I **RECFM=V(BS) BDW hex が、レコード *n ddname volser dsname* で BLKSIZE=*blksize* を超えています (RECFM=V(BS) BDW hex exceeds BLKSIZE=*blksize* at record *n ddname volser dsname*)**

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。BDW (ブロック記述子ワード) は 16 進数で表示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

第 8 章 CKX メッセージ

CKX メッセージは複数のプログラムによって書き込まれます。

CKX

コマンド実行ユーティリティー・プログラム

CKXLOG

zSecure Admin Command Logger

CKXLOGID

Command Logger のチケット ID モジュール

CKX プログラムは、IBM Security zSecure Admin、IBM Security zSecure Audit、IBM Security zSecure Visual、および IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM の各プログラムによって使用されます。

CKX メッセージの中には、CKXDEBUG ファイルに書き込まれるものもあります。ISPF ユーザー・インターフェイスで CKXDEBUG ファイルを割り振るには、SETUP TRACE (SE.T) の「**Collect CKX diagnostic information**」オプションを設定します。その後、CKXDEBUG 基本コマンドを使用して、CKX プログラムが書き込むメッセージを確認できます。CKXLOG プログラムは開始タスクとして実行されます。その CKXDEBUG ファイルは JCL により事前割り振りされている必要があります。

CKX メッセージのメッセージ接頭部の形式は CKXnnna です。この nna は、メッセージ番号と修飾子です。CKXLOG プログラムおよび CKXLOGID プログラムが使用する重大度レベル・コードは次のとおりです。

I

通知メッセージ。

W

警告メッセージ: タスクは続行されますが、エラーが発生しました。

E

エラー・メッセージ: タスクは作業終了することも、続行しようとすることもあります。

S

重大なエラー・メッセージ。

A

アクション・メッセージ: 状態を修正するには、オペレーターの操作が必要です。

CKX プログラムが発行するメッセージには、メッセージ接頭語の後に続く数字の重大度コードがあります。CKX プログラムは、完了コードとして検出された最高の重大度コードを返します。次に要約を示します。

0

すべてのコマンドが正常に完了したか (RC=0)、またはコマンドが見つかりませんでした。

4

すべてのコマンドが完了しましたが、RC が 0 より大きく 4 以下のコマンドが 1 つ以上ありました (メッセージ 962G または 962M が書き込まれます)。

8

すべてのコマンドが完了しましたが、4 よりも大きい RC のコマンドが 1 つ以上ありました (メッセージ 962F または 962I が書き込まれます)。

10

アテンションにより終了しました (一部のコマンドが実行されず、メッセージ 962A が書き込まれます)。

12

1 つ以上のコマンドが異常終了しました。アテンションが押されていない場合は、すべてのコマンドが試行されました (メッセージ 962V または 962C が書き込まれます)。

16

IKJEFTSR エラーまたは ATTACH エラーが発生したか、コマンドが見つかりませんでした (メッセージ 962B、962E、962L、962P、962S、962T、962U、962W、962X、または 962Y が書き込まれます)。

CKX メッセージ 0 から 99

<p>CKX000I ISPF 操作 CKRDSETR=value CKROSETT=token CKRSECN=zsecnode CKRRRSF=rrsfnode CKRNJE=njenode (ISPF operation CKRDSETR=value CKROSETT=token CKRSECN=zsecnode CKRRRSF=rrsfnode CKRNJE=njenode)</p> <p>説明</p> <p>このメッセージは、CKX が ISPF アプリケーションとして稼働しており、ISPF 変数 CKRDSETR からコマンド・ルーティング設定を取得し、CKROSETT からサーバー・トークンを取得したことを示します。</p> <p>重大度</p> <p>00</p>	<p>CKX003I NORMAL のデフォルト: AT(node,.user) (Normal defaults to AT(node,.user))</p> <p>説明</p> <p>これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。</p> <p>重大度</p> <p>00</p>
<p>CKX001I LMINIT が失敗しました - error message (LMINIT failed - error message)</p> <p>説明</p> <p>このメッセージは、コマンド出力の表示準備に使用された ISPF LMINIT サービスが失敗し、示されている長い ISPF メッセージが発行されたことを示します。</p> <p>ユーザーの処置</p> <p>このメッセージの ISPF ガイダンスを検索してください。</p> <p>重大度</p> <p>12</p>	<p>CKX004I NORMAL のデフォルト: ZSECNODE= (Normal defaults to ZSECNODE=)</p> <p>説明</p> <p>これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。</p> <p>重大度</p> <p>00</p>
<p>CKX002I CMSCALL BROWSE 失敗 RC=nn (CMSCALL BROWSE failed RC=nn)</p> <p>説明</p> <p>このメッセージは、CMS でのコマンド出力表示試行操作が、示されている CMSCALL 戻りコードで失敗したことを示します。</p> <p>重大度</p> <p>12</p>	<p>CKX005I NORMAL のデフォルト: ローカルのみ (Normal defaults to local only)</p> <p>説明</p> <p>これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。</p> <p>重大度</p> <p>00</p>
<p>CKX006I ローカル・モードが選択されました (Local mode selected)</p> <p>説明</p> <p>これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。この場合、CKRDSETR が ASK または LOCAL に設定されていなかったために、コマンド経路が選択されました。</p> <p>重大度</p> <p>00</p>	<p>CKX007I 宛先はローカル・システムにリダイ レクトされました (Destination redirected to Local system)</p>

説明

このメッセージは、コマンド・ルーティングが ASK だったが、サーバー通信が不可能であったために、デフォルトの LOCAL になったことを示します。このメッセージは、ISPF アプリケーションとして稼働していない場合にのみ書き込まれます。ISPF アプリケーションとして稼働している場合は、代わりに ISPF メッセージ CKR872 が表示されます。

重大度

04

CKX008I ファイル入力 DD=*ddname* (File input DD=*ddname*)

説明

このメッセージは、DD 命令が認識され、示されているファイル名のファイルからコマンドが読み取られることを示します。

重大度

00

CKX009I NORMAL のデフォルト: NJENODE= (Normal defaults to NJENODE=)

説明

これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度

00

CKX010I NORMAL はローカルのみです (Normal means local only)

説明

これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度

00

CKX011I NORMAL は AT(*node*,*.user*) です (Normal means AT(*node*,*.user*))

説明

これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度

00

CKX012I NORMAL は ZSECNODE= です (Normal means ZSECNODE=)

説明

これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度

00

CKX013I NORMAL は NJENODE= です (Normal means NJENODE=)

説明

これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度

00

CKX014I SERVETOKEN= が設定されているアクティブなサーバーがありません (There is no server active with SERVETOKEN=)

説明

このメッセージは、示されているサーバー・トークンを持つサーバーが見つからなかったことを示します。ISPF で実行中の場合の重大度は 0 です。この場合、ISPF メッセージ CKR870 が表示されます。

重大度

00 または 04

CKX015I サーバーへのクライアント 接続に失敗しました RC= (Client connection to server failed RC=)

説明

このメッセージは、サーバー・トークンが検出されたが、サーバーに接続できなかったことを示します。ISPF で実行中の場合の重大度は 0 です。この場合、ISPF メッセージ CKR871 が表示されます。

重大度

00 または 04

CKX016I NORMSEL=*s* 標準宛先は *node* です (NORMSEL=*s* Normal destination is *node*)

説明

これは、標準宛先に関する決定内容を記述する診断メッセージです。

重大度

00

CKX017I **NORMAL はローカルです (Normal means local)**

説明

これは、標準パスがローカル・システムであると判明したことを記述する診断メッセージです。

重大度

00

CKX018I **CMSCALL EXECIO 失敗 RC=nn
(CMSCALL EXECIO failed RC=nn)**

説明

このメッセージは、CMS での EXECIO を使用した空の RACF DATA A ファイルの作成試行が、示されている CMSCALL 戻りコードで失敗したことを示します。

重大度

12

CKX メッセージ 100 から 199

CKX100A **zSecure Admin Command Logger
が非アクティブです (zSecure
Admin Command Logger inactive)**

説明:

zSecure Admin Command Logger 開始タスクが停止しました。

CKX105I **コマンド *command-string* を受信し
ました (Received command
command-string)**

説明:

このメッセージは、オペレーターの MODIFY コマンドに回答して発行されます。

CKX101E **CKXCLEAN からのエラー戻りコード
retcode (Error return code from
CKXCLEAN *retcode*)**

説明:

このメッセージは内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。問題レコードを作成して、エラー・メッセージの完全なリストをご提示ください。

CKX106I **STOP コマンドを受信しました
(Received STOP command)**

説明:

このメッセージは、CKXLOG 開始タスクを停止するためのオペレーターの MODIFY コマンドに回答して発行されます。通常の停止が実行され、システム・リソースの再利用が可能になります。

CKX102W **異常終了 *xxx* に対する FRR ルーチン
が呼び出されました (FRR routine
invoked for ABEND *xxx*)**

説明:

コマンドのインターセプトとログ・ストリーム書き込みプログラムとの間のインターフェースとして使用される CKXPCRTN モジュールで異常終了が発生しました。異常終了は復旧し、実行は継続されています。

CKX107I **SIPL コマンドを受信しました
(Received SIPL command)**

説明:

このメッセージは、全体削除モードを使用して CKXLOG 開始タスクを停止するためのオペレーターの MODIFY コマンドに回答して発行されます。プログラムのクリーンアップによっても、ECSA 内の CKXC 制御ブロックとそれを指すポインターが削除されます。これにより、開始タスクの現行インスタンスに使用されたシステム LX は失われます。

CKX103E **IKJSCAN *retcode=retcode***

説明:

CKXPARM ステートメントの処理中に予期しないエラーが発生しました。プログラムは停止します。

CKX108E **ESTAEX なしで異常終了します
(Crashing without ESTAEX)**

説明:

CRSH コマンドが処理を行っています。CRSH コマンドは、IBM 内部でのテストのみで使用されます。

CKX104I **STOP コマンドを受信しました
(Received STOP command)**

説明:

このメッセージは、オペレーターの STOP コマンドに回答して発行されます。

CKX109E **CKXLOG は開始タスクとして実行する
必要があります (CKXLOG must
run as started task)**

説明:

zSecure Admin Command Logger プログラム (CKXLOG) は開始タスクとして実行する必要があります

す。これらのプログラムをバッチ・ジョブの一部として実行することはサポートされていません。実行は終了します。

CKX110E IEANTDL からのエラー戻り、
RC=retcode (Error return from IEANTDL, RC=retcode)

説明:
IEANTDL サービスが、戻りコード *retcode* で失敗しました。

ユーザーの処置:
デバッグ・オプションを指定してタスクを再始動してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。開始タスクの出力を含む問題報告書を作成してください。

CKX111I アクティブな名前/トークンのペアが削除されました (Removed Active Name/Token Pair)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

CKX112I IEAVRLS RC=retcode

説明:
このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

CKX113E IFAEDDRG からのエラー戻り、
RC=retcode (Error return from IFAEDDRG, RC=retcode)

説明:
プログラムの終了時に、登録解除の問題が発生しました。

ユーザーの処置:
この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX114I *product-name* に対する IFAEDDRG が正常に完了しました (IFAEDDRG for *product-name* succeeded)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

CKX115I ラッチ設定トークン *latchsettoken* をページします (Purge Latch Set token *latchsettoken*)

説明:

このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

CKX116I ラッチ設定のページからの戻り、
RC=retcode (Return from purge latch set, RC=retcode)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

CKX117E IEAVRLS parse_client RC=retcode

説明:
このメッセージはプログラムの終了中に発行される場合があります。メッセージ CKX117E として発行された場合、クライアント・タスクの解放が失敗しました。メッセージ CKX117I も参照してください。

ユーザーの処置:
CKX117E メッセージは問題を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX117I IEAVRLS parse_client RC=retcode

説明:
このメッセージはプログラムの終了中に発行される場合があります。メッセージ CKX117I として発行された場合、終了時にログ・レコードの書き込み要求が処理されていたことを示します。メッセージ CKX117E も参照してください。

ユーザーの処置:
このメッセージは通常は発行されませんが、必ずしもエラーを示すわけではありません。通常の CKXLOG シャットダウンのたびに発行される場合にだけ、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX118E IEAVRLS parse_task RC=retcode

説明:
このメッセージはプログラムの終了中に発行される場合があります。メッセージ CKX118E として発行された場合、サブタスクの解放が失敗しました。メッセージ CKX118I も参照してください。

ユーザーの処置:
CKX118E メッセージは問題を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX118I IEAVRLS parse_task RC=retcode

説明:

このメッセージはプログラムの終了中に発行される場合があります。メッセージ CKX118I として発行された場合、終了時にログ・レコードの書き込み要求が処理されていたことを示します。メッセージ CKX118E も参照してください。

ユーザーの処置:

このメッセージは通常は発行されませんが、必ずしもエラーを示すわけではありません。通常の CKXLOG シャットダウンのたびに発行される場合にだけ、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX119I モデル・ログ・ストリーム *LSModel* を使用します (Use model logstream *LSModel*)

説明:

初期化中に、指定されたログ・ストリームが定義されなかったことが検出されました。CKXLOG 開始タスクが、示されている *LSModel* を実際のログ・ストリームのモデルとして使用してその定義を試みています。

CKX120W 不明なコマンド (Unknown command)

説明:

メッセージ CKX105I に示されているオペレーター・コマンドは、製品の有効なオペレーター・コマンドとして認識されませんでした。

ユーザーの処置:

実行しようとしていたコマンドの正しい構文とスペルを確認してください。

CKX121E タスクは APF 許可されていません。終了します (Task is not APF authorized, exit)

説明:

このタスクは APF 許可を受けていません。正常に実行するためには、APF 許可が必要です。

ユーザーの処置:

モジュールのロード元のライブラリーに APF 許可のマークが付いていることを確認してください。STEPLIB を使用している場合、連結内のすべてのライブラリーが APF 許可されていることを確認してください。

CKX123E CKXINIT からのエラー戻りコード *retcode* (Error return code from CKXINIT *retcode*)

説明:

このメッセージは内部エラーを示します。[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告

してください。問題レコードを作成して、エラー・メッセージの完全なリストをご提示ください。

CKX124I 開始オプション **FORCE** が指定されました (Start option **FORCE** specified)

説明:

これは、開始オプションとしての **FORCE** キーワードの使用を確認する通知メッセージです。

CKX125I 開始オプション **DEBUG** が指定されました (Start option **DEBUG** specified)

説明:

これは、開始オプションとしての **DEBUG** キーワードの使用を確認する通知メッセージです。

CKX126E 製品登録に問題が発生しました。CKXDEBUG を参照してください。 (Product registration problem, see CKXDEBUG)

説明:

zSecure Admin 製品の登録時に問題が発生しました。

ユーザーの処置:

CKXDEBUG ファイルで詳細なエラー・メッセージを確認してください。適切な製品がご使用の IFAPRDxx parmlib メンバーで使用不可になっていないことを確認してください。

CKX127E 製品がこの環境で使用不可にされているか、またはインストール・エラーです。CKXDEBUG を参照してください (Product disabled here or install error, see CKXDEBUG)

説明:

zSecure Admin 製品の登録時に問題が発生しました。

ユーザーの処置:

CKXDEBUG ファイルで詳細なエラー・メッセージを確認してください。適切な製品がご使用の IFAPRDxx parmlib メンバーで使用不可になっていないことを確認してください。

CKX128E タスクは既にアクティブになっています (Task already active)

説明:

環境の検査時に、CKXLOG プログラムが既にアクティブになっていることが検出されました。現行タスクは終了します。

ユーザーの処置:

このメッセージが誤って発行されている場合 (つまり、システム内で CKXLOG の他のインスタンスがアクティブになっていない場合) は、**FORCE** 始動オプションを使用してこの状態からリカバリーできる可能性があります。このような状態は、**FORCE** オペレーター・コマンドを使用してタスクの直前のインスタンスを停止した結果として起こることがあります。

<p>CKX129I 強制再始動 (Force restart)</p> <p>説明: これは、FORCE オプションを使用して以前のリカバリー不能エラーからリカバリーすることを確認するために、初期化時に発行される通知メッセージです。これは、FORCE オプションを使用して直前の「バージョンが正しくありません (Incorrect version)」エラーまたは「長さが正しくありません (Incorrect length)」エラーをバイパスした場合に表示されます。</p>	<p>CKX134E 期限切れルーチンの接続でエラーが発生しました。retcode (Error attaching expiry routine, RC=retcode)</p> <p>説明: 使用されていないチケットの情報を期限切れにして削除するために使用されるサブタスクの接続中に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは <i>retcode</i> です。</p> <p>ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを含む問題報告書を作成してください。</p>
<p>CKX130E ESTAEX からのエラー戻りコード、RC=retcode-reascode (Error return code from ESTAEX, RC=retcode-reascode)</p> <p>説明: 異常終了出口ルーチンを指定する際に、システム・エラーが発生しました。エラー・コードと理由コードは <i>retcode-reascode</i> でした。</p> <p>ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。</p>	<p>CKX135I 期限切れルーチンの接続が正常に実行されました (Successful attach expiry routine)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、チケット期限切れサブタスクが正常に開始されたときに発行されます。</p>
<p>CKX131I サブタスクの終了待ちです (Waiting for subtasks to terminate)</p> <p>説明: タスクを正常に停止する間に、サブタスクが正常に停止できるようにするための短い待ち時間があります。この待ち時間が終わるとサブタスクは強制終了されます。</p>	<p>CKX136E 制御ブロック・エラーです。終了します。(Control Block error, exit)</p> <p>説明: 内部整合性検査時に、メイン制御ブロックの破損が検出されました。これは始動時に検出されたため、制御ブロックは直前の実行時に作成されたと思われます。この状態は回避しなければなりません。</p> <p>ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。START コマンドの FORCE キーワードを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。</p>
<p>CKX132E コマンド・パーサーの接続でエラーが発生しました。RC=retcode (Error attaching command parser, RC=retcode)</p> <p>説明: RACF コマンドの解析と正規化に使用されるサブタスクの接続中に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは <i>retcode</i> です。</p> <p>ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを含む問題報告書を作成してください。</p>	<p>CKX137E CKXC のバージョンが正しくありません (CKXC Incorrect version)</p> <p>説明: 製品の前の実行時に CKXC 制御ブロックに記録された CKXLOG バージョンが、製品の現行バージョンに一致しません。CKXC 制御ブロックは使用できません。実行タスクの実行は終了します。</p> <p>ユーザーの処置: この状態は、ほとんどの場合、開始タスクの前のインスタンスを適切にシャットダウンせずに、製品コードをアップグレードしたことが原因です。制御ブロックの破壊的なオーバーレイが原因の場合もあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サ</p>
<p>CKX133I コマンド・パーサーの接続が正常に実行されました (Successful attach command parser)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、RACF コマンド解析サブタスクが正常に開始されたときに発行されます。</p>	

『[ポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

CKX138E CKXC の長さが正しくありません (CKXC Incorrect length)

説明:

内部整合性検査の際、CKXLOG が、CKXC 制御ブロックの長さが正しくないことを検出しました。CKXC 制御ブロックは使用できません。実行タスクの実行は終了します。

ユーザーの処置:

この状態は、ほとんどの場合、開始タスクの前のインスタンスを適切にシャットダウンせずに、製品コードをアップグレードしたことが原因です。制御ブロックの破壊的なオーバーレイが原因の場合もあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

CKX139I 前の実行が検出されました (Previous execution detected)

説明:

この通知メッセージは、システムの IPL 以降に、CKXLOG プログラムが前にも実行されたことを検出したことを示します。これは、前の実行から一部のリソースが再使用されることを示します。これは主として共通通信域およびリンクエッジ索引 (LX) に関連しています。

CKX140I address の CKXC 域を再使用します (Reuse CKXC area at address)

説明:

このデバッグ専用メッセージは、開始タスクの前のインスタンスから再使用される共通通信制御ブロック (C2PC) のアドレスを提供するために発行されます。

CKX141W 不適切なシャットダウンが検出されました。クリーンアップを試行中です。 (Improper shutdown detected, attempting cleanup)

説明:

C2PC を初期化した開始タスクの最後のインスタンスが、その終了を示すマークを C2PC 制御ブロックに設定できませんでした。原因としては、プログラム・エラーか、直前のタスク・インスタンスの終了に STOP コマンドを使用しなかった可能性があります。

CKX142I address で CKXC ストレージを取得しました (Obtained CKXC storage at address)

説明:

このデバッグ専用メッセージは、作成される新しい共通通信制御ブロック (CKXC) のアドレスを提供するために発行されます。

CKX143E IEANTCR からのエラー戻り、RC=retcode (Error return from IEANTCR, RC=retcode)

説明:

共通通信制御ブロック (CKXC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの作成時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *retcode* です。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。retcode を含むエラー・レポートを作成します。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

CKX144E IEANTRT からのエラー戻り、RC=retcode (Error return from IEANTRT, RC=retcode)

説明:

共通通信制御ブロック (CKXC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの取得時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *retcode* です。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。retcode を含むエラー・レポートを作成します。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

CKX145E 内部エラー。終了します。 (Internal error, terminate)

説明:

共通通信制御ブロック (CKXC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの取得時に、詳細不明なエラーが発生しました。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

CKX146E IKJTSEV からのエラー戻り、RC=retcode (Error return from IKJTSEV RC=retcode)

説明:

コマンドの解釈と実行に必要な TSO 環境の初期化時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *retcode* です。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。retcode を含むエラーレポートを作成します。

CKX147I TRANSWAP が終了しました (TRANSWAP done)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、製品のタスクがスワップ不可に正常に移行したことを通知します。これは、クロスメモリー・サービスを使用できるようにするために必要です。

CKX148I 新規 LX が必要です (Need a new LX)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、既存の LX が検出されなかったことを示します。新規のシステム・リンケージ索引 (LX) が割り振られます。システム LX は、再要求不可の重要なシステム・リソースで、1 回だけ発行できます。システム IPL 後の最初の始動時に、新規システム LX が必要になります。新規システム LX は、開始タスクの後続インスタンスが将来再利用できるように保存されます。

CKX149I LX lxnum を取得しました (Obtained LX lxnum)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、割り振られた新規システム・リンケージ索引 (LX) の番号を示します。この索引は、開始タスクの後続インスタンスが将来再利用できるように保存されます。

CKX150I 既存の LX が見つかりました (Found existing LX)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、開始タスクの以前のインスタンスから LX が検出されたことを示します。その既存のシステム・リンケージ索引 (LX) が再使用されます。システム LX は、再要求不可の重要なシステム・リソースで、1 回だけ発行できます。

CKX151I LX は lxnum です (LX was lxnum)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、使用される既存のシステム・リンケージ索引 (LX) の番号を示します。これはメッセージ CKX150I の論理継続です。

CKX152I 新規 ET が必要です (Need a new ET)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、プログラム呼び出し定義を含む新規エントリー・テーブルが作成されることを示すために、初期化時に発行されることがあります。エントリー・テーブルは、タスクの終了時にシステムに返されます。

CKX153I ET token を取得しました (Obtained ET token)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、作成されたエントリー・テーブル (ET) のトークンを示します。

CKX154I 既存の ET が見つかりました (Found existing ET)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、初期化時に既存のエントリー・テーブル (ET) を検出した場合に発行されることがあります。その既存の ET が再使用されます。正常なタスク終了時にはエントリー・テーブルはシステムに返されるため、これは発生してはならないメッセージです。

CKX155I ET は etnum です (ET was etnum)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、開始タスクの以前のインスタンスから検出されたエントリー・テーブル (ET) のトークンを示します。これは、メッセージ CKX154I の論理継続メッセージです。

CKX156I nn 個のラッチのラッチ・セットを作成します (Create latch set of nn latches)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、プログラム開始処理の進行標識として発行されます。

CKX157I ラッチ・セットの作成 RC=retcode (Latch set create RC=retcode)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、ラッチ・セット作成サービスからの戻りコードを示します。

CKX158I ラッチ・セット・トークン =latchsettoken (Latch set token =latchsettoken)**説明:**

このデバッグ専用メッセージは、ラッチ・セット用に生成されたトークンを示します。

CKX159E IEANTCR からのエラー戻り、RC=retcode (Error return from IEANTCR, RC=retcode)**説明:**

コマンド発行アプリケーションに情報を提供するために使用する名前付きトークンの作成時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *retcode* です。プログラムは終了します。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。retcode を含むエラー・レポートを作成します。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

CKX160I ログ・ストリームへの接続、
RC=retcode (Connect to logstream, RC=retcode)

説明:

このデバッグ専用メッセージは、ログ・ストリームに接続するシステム・サービスからの戻りコードを示します。

CKX161I ログ・ストリーム *LSname* は定義されていません。作成を試行してください (Logstream *LSname* not defined, try create)

説明:

このメッセージは、示されたログ・ストリームが存在しなかった場合に発行されます。CKXLOG プログラムは、モデル・ログ・ストリームに基づいてログ・ストリームの定義を続行します。

CKX162I *Comm_LSname* を定義します、
RC=retcode (Define Comm_LSname RC=retcode)

説明:

このデバッグ専用メッセージは、モデル・ログ・ストリームに基づいて新規ログ・ストリームを定義するためのシステム・サービスからの戻りコードを示します。

CKX163I 定義後に接続を再試行します (Retry connect after define)

説明:

このデバッグ専用メッセージは、指定されたログ・ストリームへの接続が進行中であることを示します。

CKX164I ログ・ストリームへの接続、
RC=retcode (Connect to logstream, RC=retcode)

説明:

このデバッグ専用メッセージは、定義されたばかりのログ・ストリームに接続するシステム・サービスからの戻りコードを示します。

CKX165E 定義後の接続に失敗しました、
RC=retcode-reascode (Connect after define failed, RC=retcode-reascode)

説明:

新しく定義されたログ・ストリームへの接続が、予期せぬ戻りコード *retcode* で失敗しました。プログラムは終了します。

ユーザーの処置:

エラーの原因を判別するには、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 2 巻 (IAR-XCT)」に記載されている IXGCONN の『戻りコードと理由コード』のセクションを確認してください。

CKX166E *LSName* の定義に失敗しました。
MODEL ログ・ストリームは定義されませんでした (Define LSName failed, MODEL logstream not defined)

説明:

このメッセージは、指定された(またはデフォルトの)モデル・ログ・ストリームが存在しないために、示されたログ・ストリームの定義が失敗した場合に発行されます。プログラムは終了します。

CKX167E *LSName* の定義に失敗しました、
RC=retcode-reascode (Define LSName failed, RC=retcode-reascode)

説明:

ログ・ストリーム *LSName* の定義時に予期しないエラーが発生しました。プログラムは終了します。

ユーザーの処置:

エラーの原因を判別するには、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 2 巻 (IAR-XCT)」に記載されている IXGINVNT の『戻りコードと理由コード』のセクションを確認してください。

CKX168I 以前の実行のクリーンアップを開始します (Start of cleanup previous execution)

説明:

初期化時に、この開始タスクの前のインスタンスが検出されました。このデバッグ専用メッセージは、前のインスタンスに含まれている可能性のある残余データを除去していることを示します。

CKX169E IEANTDL からのエラー戻り、
RC=retcode (Error return from IEANTDL, RC=retcode)

説明:

このメッセージは、プログラムの前のインスタンスのクリーンアップ時に発行される場合があります。これは、残っていた名前トークンの除去時に予期しないエラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置:

デバッグ・オプションを指定してタスクを再始動してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。開始タスクの出力を含む問題報告書を作成してください。

CKX170I	非永続 NT が削除されました (Removed non-persistent NT)
説明: このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。	
CKX171I	PC ルーチン・アドレスが削除されました (Removed PC-Routine Address)
説明: このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。	
CKX172I	タスクが再びスワップ可能になりました (Made task swappable again)
説明: このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。	
CKX173I	既存の ET etnum が見つかりました (Found existing ET etnum)
説明: このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。	
CKX174I	ET が破棄されました (ET destroyed)
説明: このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。	
CKX175I	ET が見つかりません。次へ進みます (No ET found, next)
説明: このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。	
CKX176I	ログ・ストリームから切断されます、RC=retcode-rsncode(Disconnect from logstream, RC=retcode-rsncode)
説明: このデバッグ専用メッセージは、プログラムのクリーンアップ処理の進行標識として発行されます。通常、retcode および rsncode は両方とも 0 です。	
CKX177I	特殊 (合計) クリーンアップ・モード (Special (Total) cleanup mode)
説明: この通知メッセージは、CKXLOG プログラムの完全シャットダウンを実行中であることを示します。一部の再使用不可システム・リソースも含め、すべてのリソースが解放されます。通常、これが行われるのは、ソフトウェア・リリース・マイグレーションのための準備として SIPL コマンドを処理する場合のみです。	

CKX178I	zSecure Admin Command Logger のリリースは正常に初期化されました (zSecure Admin Command Logger release initialization successful)
説明: この通知メッセージは、zSecure Admin Command Logger のリリースの初期化が完了したことを示します。プログラムは、CKXLOG ログ・ストリームにレコードを記録する準備ができています。	
CKX179I	N/T を削除します (Delete N/T)
説明: このデバッグ専用メッセージは、「完全」クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。	
CKX180E	IEANTDL からのエラー戻り、RC=retcode (Error return from IEANTDL, RC=retcode)
説明: 「完全」クリーンアップ処理の途中で名前付きトークンの削除時に予期しないエラーが発生しました。プログラムのクリーンアップは続行されます。	
CKX181I	CKXC の freemain を実行します (Freemain CKXC)
説明: このデバッグ専用メッセージは、「完全」クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。	
CKX182E	CKXC の長さが正しくありません。解放を試行します (Incorrect length of CKXC, attempt free)
説明: 「完全」クリーンアップ処理の実行中に、メイン通信制御ブロックのストレージがシステムに返されました。しかし、内部の長さフィールドがコードの現行バージョンの長さフィールドに一致していません。プログラムは、内部の長さを使用してストレージを解放します。これにより、異常終了が発生する場合があります。	
ユーザーの処置: 多くの場合、これは、CKXLOG 開始タスクの前のインスタンスが正しく SIPL されずに CKXLOG プログラム・コードのリリースが変更されたことが原因です。正しいバージョンのコードを使用していること、および資料のマイグレーション手順に従っていることを確認してください。	
CKX183E	CKXC の長さが矛盾しています (Impossible length of CKXC)
説明: 「完全」クリーンアップ処理の実行中に、メイン通信制御ブロックのストレージがシステムに返されました。しかし、内部の長さフィールドが正しくありません。プログラムのクリーンアップを続行することができません。	

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを含む問題報告書を作成してください。

CKX196E **クリーンアップを実行できません (Cannot perform cleanup)**

説明:

CKXLOG 開始タスクの処理中に異常終了が発生しました。失敗したタスクには、固有のリカバリー・コードが含まれていません。異常終了出口ルーチンは一般プログラム・クリーンアップを実行しようとしていました。しかし、CKXLOG 開始タスクが不整合状態なため、それ以降の処理ができませんでした。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX197I **クリーンアップの試行中 (Attempting cleanup)**

説明:

CKXLOG 開始タスクの処理中に異常終了が発生しました。失敗したタスクには、固有のリカバリー・コードが

含まれていません。異常終了出口ルーチンは、一般プログラム・クリーンアップを開始します。

CKX198I **クリーンアップ完了 (Cleanup completed)**

説明:

CKXLOG 開始タスクの処理中に異常終了が発生しました。失敗したタスクには、固有のリカバリー・コードが含まれていません。異常終了出口ルーチンは、一般プログラム・クリーンアップを完了しました。

CKX199E **STACK が失敗しました。 RC=retcode (STACK failed; RC=retcode)**

説明:

コマンド入力スタックの操作中に予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置:

必要な CKQPARM ステートメントが読み取られて処理されたことを確認してください。CKQLOG 開始タスクを停止して、開始することもできます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを含む問題報告書を作成してください。

CKX メッセージ 200 から 299

CKX200I **input_statement**

説明:

このデバッグ専用メッセージは、CKXPARMs の DD 名からステートメントが読み取られると、そのステートメントをエコー出力します。

CKX201I **検出されたコマンドは cmdname です (Command found is cmdname)**

説明:

このデバッグ専用メッセージは、入力ステートメントの最初のワードが cmdname と判別されたことを示します。

CKX202E **コマンドが認識されません。 cmdname (Command not recognized, cmdname)**

説明:

入力ステートメントの最初のワード (cmdname) は、有効な入力ステートメントとして認識されませんでした。

CKX203E **パラメーターが無効です。 Parse-RC=retcode (Invalid parameter, Parse-RC=retcode)**

説明:

入力ステートメントに、有効なキーワードとパラメーターが含まれていません。

CKX204I **コマンドが見つかりません (? または /*) (No command found (? or /*))**

説明:

このデバッグ専用メッセージは、入力ステートメントに有効なコマンドが含まれていないことを示します。コメント行であるか、第 2 レベルのヘルプ・メッセージを要求する? である可能性があります。

CKX205E **コマンドが認識されません。 scancode=scan-flag (Command not recognized, scancode=scan-flag)**

説明:

入力ステートメントが有効なコマンドで開始されていませんでした。

CKX206E **ESTAEX からのエラー戻りコード、 RC=retcode-rsncode (Error return code from ESTAEX, RC=retcode-rsncode)**

説明:

異常終了出口ルーチンを指定する際に、システム・エラーが発生しました。エラー・コードは *retcode-rsncode* です。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX207I 再試行ルーチンを *retry-addr* でアクティブにします (**Activate retry routine at *retry-addr***)

説明:

CKXLOG 開始タスクの処理中に異常終了が発生しました。失敗したタスクには固有のリカバリー・コードが含まれています。異常終了出口ルーチンは、アドレス *retry-addr* でリカバリー・コードに制御を引き渡します。

CKX208E **ESTAEX での異常終了 (Abend with ESTAEX)**

説明:

このメッセージは、ABND コマンドが処理中であることを示します。ABND コマンドは、IBM 社内テスト専用です。

CKX210I **LSNAME =*lsname_with_symbols***

説明:

このデバッグ専用メッセージは、ログ・ストリームが CKXPARMS 入力ファイルから読み取られると、そのログ・ストリームの名前を示します。

CKX211I **LSNAME =*lsname_resolved_symbols***

説明:

このデバッグ専用メッセージは、システム・シンボルの解決後にログ・ストリームの名前を示します。使用されている実際のログ・ストリームの名前が表示されます。

CKX212I **LSMODEL =*lsmode_with_symbols***

説明:

このデバッグ専用メッセージは、ログ・ストリームが CKXPARMS 入力ファイルから読み取られると、ログ・ストリームのモデル定義の名前を示します。

CKX213I **LSMODEL =*lsmode_resolved_symbols***

説明:

このデバッグ専用メッセージは、システム・シンボルの解決後にモデル・ログ・ストリームの名前を示します。使用されている実際のモデルの名前が表示されます。

CKX214I チケットは (HHMM) *HHMM* 後に有効期限が切れず (**Tickets are expired after (HHMM) *HHMM***)

説明:

このデバッグ専用メッセージは、非アクティブ・チケット情報が破棄される間隔を示します。

CKX215E チケットの有効期間 *HHMM* が無効です (**Ticket expiration time invalid *HHMM***)

説明:

CKXPARMS に指定されたこの間隔が無効です。代わりにデフォルト値の 1 時間が使用されます。

CKX216E **IXGWRITE が失敗しました、RC=*retcode* (IXGWRITE Failed, RC=*retcode*)**

説明:

ログ・ストリームへのレコードの書き込みに失敗しました。

ユーザーの処置:

IXGWRITE サービスの戻りコードを調べてください。これが明かなエラーを指していない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX217I **IXGWRITE RC=*retcode***

説明:

このデバッグ専用メッセージは、ログ・ストリームへのレコードの書き込みの戻りコードを示します。

CKX218I **IXGWRITE blockid=*blockid***

説明:

このデバッグ専用メッセージは、書き込まれたばかりのレコードの固有のブロック ID を示します。

CKX220E **LSName の定義に失敗しました。MODEL ログ・ストリームに STRUCTNAME が欠落しています (Define *LSName* failed, STRUCTNAME missing on MODEL logstream)**

説明:

MODEL ログ・ストリームが DASDONLY ログ・ストリームではなく、STRUCTNAME の指定が欠落していたために、ログ・ストリーム *LSName* の定義に失敗しました。

ユーザーの処置:

MODEL ログ・ストリーム定義を訂正して、CKXLOG タスクを再開してください。

CKX221E **カップリング・ファシリティの STRUCTNAME が CFRM に定義されていません (Coupling Facility STRUCTNAME not defined in CFRM)**

説明:

MODEL ログ・ストリームで定義されている STRUCTNAME がカップリング・ファシリティ・リソース・マネージャー (CFRM) データ・セットに定義されていなかったため、ログ・ストリームの定義に失敗しました。

ユーザーの処置:

LOGR または CFRM (あるいはその両方) の定義を訂正して、CKXLOG タスクを再開してください。

CKX222E ログ・ストリーム *LSName* に使用可能なカップリング・ファシリティがありません (No Coupling Facility available for logstream *LSName*)

説明:

使用可能な適切なカップリング・ファシリティがなかったために、ログ・ストリーム *LSName* への接続に失敗しました。

ユーザーの処置:

CFRM 定義を調べ、適切なカップリング・ファシリティが使用可能なことを確認してください。CKXLOG タスクを再開してください。

CKX223E DASDONLY ログ・ストリーム *LSName* をシスプレックスで共有することはできません (DASDONLY logstream *LSName* cannot be shared in sysplex)

説明:

ログ・ストリーム *LSName* は DASDONLY ログ・ストリームとして定義されており、既に SYSPLEX 内で使用されているため、このログ・ストリームへの接続は失敗しました。

ユーザーの処置:

LOGR 定義および CKXLOG の入力ステートメントを訂正してください。CKXLOG タスクを再開してください。

CKX224E ログ・ストリームへの接続に失敗しました、RC=*retcode-rsncode* (Connect to logstream failed, RC=*retcode-rsncode*)

説明:

ログ・ストリームへの接続時に予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置:

IXGCONN サービスの戻りコードを調べてください。これが明かなエラーを指していない場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保

守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX225E *LSName* の定義に失敗しました。LOGR インベントリに STRUCTNAME が定義されていません (Define *LSName* failed, STRUCTNAME not defined in LOGR inventory)

説明:

MODEL ログ・ストリームで定義されている STRUCTNAME が LOGR インベントリに定義されていなかったため、ログ・ストリーム *LSName* の定義に失敗しました。

ユーザーの処置:

LOGR 定義を訂正して、CKXLOG タスクを再開してください。

CKX226E ログ・ストリーム *LSName* に接続するための SAF 許可がありません (No SAF authorization to connect to logstream *LSName*)

説明:

CKXLOG 開始タスクのユーザー ID には、LOGSTRM リソース・クラスの *LSName* に対する UPDATE 以上のアクセス権がありません。

ユーザーの処置:

LOGSTRM リソース・クラスの *LSName* に対する UPDATE アクセス権を付与して、CKXLOG タスクを再開してください。

CKX227E ログ・ストリーム *LSName* を定義するための SAF 許可がありません (No SAF authorization to define logstream *LSName*)

説明:

CKXLOG 開始タスクのユーザー ID には、LOGSTRM リソース・クラスの *LSName* に対する ALTER 以上のアクセス権がありません。

ユーザーの処置:

LOGSTRM リソース・クラスの *LSName* に対する ALTER アクセス権を付与して、CKXLOG タスクを再開してください。カップリング・ファシリティ・ログ・ストリームの場合、モデル・ログ・ストリームに定義されている STRUCTURE に対する UPDATE アクセス権も付与することが必要な場合があります。

CKX メッセージ 300 から 399

CKX301E ログに記録するコマンドがありません (No command to log)

説明:

LOG 機能が要求されましたが、コマンドが指定されていませんでした。コマンド処理を終了します。

<p>CKX302E Command Logger を使用できません (Command Logger not available)</p> <p>説明: zSecure Command Logger 開始タスクがアクティブになっていません。要求された機能は実行されませんでした。</p>	<p>引用符なしで指定されたチケット ID が、32 文字を超えています。切り捨て後のチケット ID が使用されます。</p>
<p>CKX304E CKXLOGID は TSO コマンドとして呼び出す必要があります (CKXLOGID must be invoked as a TSO command)</p> <p>説明: CKXLOGID コマンドはスタンドアロン・プログラムとして実行できません。このコマンドは TSO コマンドとして呼び出す必要があります。コマンド処理を終了します。</p>	<p>CKX313W ticket_id が切り捨てられました (ticket_id truncated)</p> <p>説明: 引用符で囲んで指定されたチケット ID が、32 文字を超えています。切り捨て後のチケット ID が使用されます。</p>
<p>CKX306I SET オプションが使用されました (SET option used)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>	<p>CKX314E Ticket_ID 値が欠落しています (Ticket_ID value missing)</p> <p>説明: チケット ID の値が見つかりませんでした。コマンド処理を終了します。</p>
<p>CKX307I CLEAR オプションが使用されました (CLEAR option used)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>	<p>CKX315I Ticket_ID = ticket_id が入力されました (Ticket_ID entered = ticket_id)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>
<p>CKX308I DISPLAY オプションが使用されました (DISPLAY option used)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>	<p>CKX316I Description キーワード (Description keyword)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>
<p>CKX309I LOG オプションが使用されました (LOG option used)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>	<p>CKX317W 記述が切り捨てられました (Description truncated)</p> <p>説明: 引用符なしで指定されたチケット記述が、255 文字を超えています。切り捨て後のチケット記述が使用されます。</p>
<p>CKX310E 関数が欠落しています (Missing function)</p> <p>説明: CKXLOGID の function キーワードが見つからなかったか、または認識されませんでした。コマンド処理を終了します。</p>	<p>CKX318W 記述が切り捨てられました (Description truncated)</p> <p>説明: 引用符で囲んで指定されたチケット記述が、255 文字を超えています。切り捨て後のチケット記述が使用されます。</p>
<p>CKX311I ID キーワード (ID keyword)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>	<p>CKX319W 記述値が欠落しています。</p> <p>説明: チケット記述の値が見つかりませんでした。チケット ID は、チケット記述なしで登録されます。</p>
<p>CKX312W ticket_id が切り捨てられました (ticket_id truncated)</p> <p>説明:</p>	<p>CKX320I 入力された記述 = ticket_description (Description entered = ticket_description)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>
<p>説明:</p>	<p>CKX321I Command キーワード (Command keyword)</p> <p>説明:</p>

このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。

CKX322W コマンドが切り捨てられました
(Command truncated)

説明:
引用符で囲んで指定されたコマンドが、32768 文字を超えています。切り捨て後のコマンドが使用されます。

CKX323I 入力されたコマンド = *command*
(Command entered = *command*)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。

CKX324E コマンド値が欠落しています
(Command value missing)

説明:
ログに記録するコマンドの値が見つかりませんでした。コマンド処理を終了します。

CKX325I FROM キーワード (From keyword)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。

CKX326I ノード名 = *node_name* (Node name
= *node_name*)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。

CKX327E ノード名が欠落しています (Node
name missing)

説明:
送信元ノードの値が見つかりませんでした。ノードは、FROM パラメーターの期間の直前にある値です。コマンド処理を終了します。

CKX328I ユーザー名 = *user_name* (User
name = *user_name*)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。

CKX329E ユーザー名が欠落しています (User
name missing)

説明:
LOG 関数内の送信元ユーザーの値が見つかりませんでした。ノードは、FROM パラメーターの期間の直後にある値です。コマンド処理を終了します。

CKX330I Component キーワード
(Component keyword)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。

CKX331I コンポーネント = *component_name*
(Component = *component_name*)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。コンポーネント名の値は常に CKXLOGID です。

CKX332I パラメーター解析の終り (End of
parameter parse)

説明:
このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。

CKX333W チケット ID が設定されていません
(No ticket identifier set)

説明:
DISPLAY 関数または LOG 関数を使用されていますが、CKXLOG サーバーにチケット ID の値がありません。LOG 関数の場合、指定されたコマンドはチケット情報なしでログに記録されます。

CKX334E コマンド・ログ・レコードの書き込みに失敗しました (Writing
command log record failed)

説明:
LOG 関数を使用されましたが、CKXLOG がログ・ストリーム・レコードを書き込んでいる時にエラーを検出しました。

ユーザーの処置:
追加情報については、CKXLOG 開始タスクのジョブ・ログを調べてください。

CKX335I Ticket_id は "*id-value*" です
(Ticket_id is "*id-value*")

説明:
このメッセージは、現在登録されているチケット情報を表示するための DISPLAY 要求に対する応答です。*id-value* は二重引用符で囲んで表示されます。二重引用符は登録値の一部ではありません。

CKX336I Ticket_desc は "*desc-value*" です
(Ticket_desc is "*desc-value*")

説明:
このメッセージは、現在登録されているチケット情報を表示するための DISPLAY 要求に対する応答です。*desc-value* は二重引用符で囲んで表示されます。二重引用符は登録値の一部ではありません。

CKX337I ログ・ストリーム名は "*lstream*" です
(Logstream name is "*lstream*")

説明:
このメッセージは、現在使用されているログ・ストリームの名前を表示するための LSNAME 要求に対する応答です。*lstream* は二重引用符で囲んで表示されます。二重引用符はログ・ストリーム名の一部ではありません。

<p>CKX338E パラメーターが正しくありません。コマンドは終了しました (Incorrect parameters, command terminated)</p> <p>説明: CKXLOGID コマンドの構文解析が失敗しました。このメッセージと一緒に出されたメッセージに、無効なパラメーターが示されています。コマンド処理を終了します。</p> <p>ユーザーの処置: 正しいパラメーターとキーワードが使用されていることを確認してください。</p>	<p>このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>
<p>CKX339I LSNAME オプションを表示します (Show LSNAME option)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>	<p>CKX342E Retcode 値が欠落しています (Retcode value missing)</p> <p>説明: LOG 関数の戻りコードの値が見つかりませんでした。コマンド処理を終了します。</p>
<p>CKX340I Retcode キーワード (Retcode keyword)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、要求のフローに関するトレース情報を示します。</p>	<p>CKX391I ベース ptr: address (Base ptr: address)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、後続の CKX392I メッセージに表示される 16 進データの開始位置を示します。</p>
<p>CKX341I 指定された retcode = retcode (Specified retcode = retcode)</p> <p>説明:</p>	<p>CKX391I ベース ptr: address (Base ptr: address)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、後続の CKX392I メッセージに表示される 16 進データの開始位置を示します。</p>
	<p>CKX392I アドレス : 16 進データ (address : hexdata)</p> <p>説明: このデバッグ専用メッセージは、IBM サポート担当員が問題の診断に使用できる 16 進データを示します。</p>

CKX メッセージ 700 から 799

<p>CKX797I サポートされない呼び出しタイプ (Unsupported call type)</p> <p>説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品のインストールおよびセットアップが正常に終了したことを確認してください。</p> <p>重大度 16</p>	<p>重大度 16</p>
<p>CKX798I 内部のバージョンの不一致 (Internal version mismatch)</p> <p>説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品のインストールおよびセットアップが正常に終了したことを確認してください。</p>	<p>CKX799I 内部の長さの不一致 (Internal length mismatch)</p> <p>説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品のインストールおよびセットアップが正常に終了したことを確認してください。</p> <p>重大度 16</p>

CKX メッセージ 800 から 899

<p>CKX809I...CKX 836I <i>message</i></p>	<p>説明 これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合</p>
--	--

は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

0

CKX837I *address* の CKXSRVIN の IDENTIFY RC=*n* (IDENTIFY RC=*n* for CKXSRVIN at *address*)

説明

このメッセージは、示されたアドレスで示されたモジュール名を設定する IDENTIFY サービスの失敗を示します。

ユーザーの処置

「IDENTIFY サービス」については、MVS 資料を参照してください。

重大度

12

CKX841I 重大な *function* エラー [*msg*] PC RC=*n* - ユーザー異常終了 841 を発行します (Severe *function* error [*msg*] PC RC=*n* - issuing user abend 841)

説明:

リモート・ノードからの読み取り中 (SRVIN) またはリモート・ノードへの書き込み中 (SRVOU) に、サーバーのプログラム呼び出しインターフェースからエラー状態が返されました。*function* は SRVIN または SRVOU であり、メッセージ・タイプ *msg* が示される場合があります。

ユーザーの処置

サーバーがアクティブであることを確認してから、サーバーを再始動して再試行してください。

重大度

16

CKX842I SPECPROC から、範囲外の長さが返されました R0=*hexnum* - ユーザー異常終了 842 を発行します (SPECPROC returned length out of range R0=*hexnum* - issuing user abend 842)

説明

このメッセージは、zSecure Server に関連する内部インターフェースの 1 つが予期しない長さを受け取り、異常終了を発行したことを示します。

ユーザーの処置

IBM サポート・サイトで、このメッセージを検索してください。解決策が投稿されていない場合は、ローカル側およびリモート側の SYSPRINT を収集して、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKX843I FILEDATA=RECORD レコード *recno* は *bytes* バイト (16 進数) で、*max_bytes* バイトを超えています。ファイル *ddname path* を閉じます (FILEDATA=RECORD record *recno* has *bytes* bytes (hex), exceeding *max_bytes* bytes; closing file *ddname path*)

説明

このメッセージは、FILEDATA=RECORD フォーマットの UNIX ファイル *path* のレコード *recno* が *bytes* バイトであることを示します。この値は、許容される最大バイト数 *max_bytes* を超えています。これは、ファイルが破損していることを示します。したがって、ファイルからこれ以上のレコードの読み取りは行われません。ファイルは閉じられます。

重大度

08

CKX844I 最後の FILEDATA=RECORD レコードが、ファイルの終わりで切り捨てられています *ddname path* (Last FILEDATA=RECORD record truncated by end-of-file *ddname path*)

説明

このメッセージは、レコードの途中で FILEDATA=RECORD フォーマットの UNIX ファイル *path* でファイルの終わりに達したことを示します。これは、ファイルが破損していることを示します。

重大度

08

CKX845I *module CKNSRVIR キュー file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* 理由 *zsecsys2* ファイル *file2* の待機中 (*module CKNSRVIR queue file message type from zsecsys length length because waiting on zsecsys2 file file2*)

説明:

このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

0

CKX846I *module CKNSRVIR リターン・キュー file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* (*module CKNSRVIR return queued file message type from zsecsys length length*)

説明:

このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

0

CKX851I ローカル **CKNSERVE** サーバーが使用できなくなります(ユーザー異常終了 214 (x'0D6')) (Local **CKNSERVE** server no longer available (user abend 214 (x'0D6')))

説明

zSecure Server プログラムが終了シーケンスを実行している間に、このプログラムへのプログラム呼び出しが試行されました。

ユーザーの処置

アクションは不要です。この問題に関するサポートが必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、

このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKX855I *ddname* に対する **GETPROC** *procname* **GET** (呼び出しタイプ *type*)、戻りコード *rc* - リカバリー失敗 (**GETPROC** *procname* **GET** (call *type type*) on *ddname* return code *rc* - recovery failed)

説明:

このメッセージは、GETPROC プロシージャが再試行を要求し、CLOSE と OPEN が正常に終了したが、次の GET が再度失敗した場合に、CKR0929 メッセージの後に発行されます。zSecure は、リカバリーが失敗したと結論付けます。

重大度

16

CKX874I **RECFM=V(BS) RDW hex** が、レコード *n* *ddname volser dsname* で **LRECL=lrecl** を超えています (**RECFM=V(BS) RDW hex exceeds LRECL=lrecl** at record *n* *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

CKX875I **RECFM=V(BS) BDW hex** が、レコード *n* *ddname volser dsname* で **BLKSIZE=blksize** を超えています (**RECFM=V(BS) BDW hex exceeds BLKSIZE=blksize** at record *n* *ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

CKX メッセージ 900 から 999

CKX900I *debug message*

説明

これは IBM ソフトウェア・サポートのみに関係するデバッグ・メッセージであり、一般出荷可能なソフトウェア・バージョンでは表示されません。

重大度

00

CKX907I **DYNALLOC** トレース: SVC 99 戻りコード *nn - meaning* (**DYNALLOC trace: SVC 99 return code *nn - meaning***)

説明

このメッセージは、SVC99 の失敗により、DAIRFAIL がメッセージ・テキストを返さなかった場合に発行されます。これには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度

0

CKX915I **UNIX** レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn [meaning]* 理由 *qqqq rrrrx [meaning]* ファイル *ddname path* (**UNIX write record *nn* failed RC *nn [meaning]* reason *qqqq rrrrx [meaning]* file *ddname path***)

説明

このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コ

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

ードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

CKX919I 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました (**Record with negative length *length* directed to *ddname* behind record *recno***)

説明

無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKX923I **TSO/E** 端末からの入力はサポートされません - *ddname*(Input from a TSO/E terminal is not supported - *ddname*)

説明

行モードの TSO/E 端末からの入力はサポートされません。

重大度

20

CKX924I **DD** *ddname* DSN *dsn* の無効なブロック・サイズ: *blksize* (**DD *ddname* DSN *dsn* invalid block size: *blksize***)

説明

ddname が正常に OPEN された後、その DCB は、ddname が DUMMY デバイスである場合以外は正の値のブロック・サイズを示している必要があります。

重大度

16

する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。recno は、正常に取得されたレコードの数を示します。

重大度

08

CKX925I メンバー *member* DDname *ddname*
DSname *dsn* 問題記述 (Member
member DDname *ddname* DSname
dsn Problem description)

説明

プログラムは示されたメンバーを見つけようとしたとき、FIND SVC からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。2 行目の問題記述に、問題の正しい性質が説明されます。

重大度

16

CKX930I ブロック数が等しくありません -
ddname の情報が欠落している可能性
があります (Block count unequal
- information may be missing for
ddname)

説明

このメッセージは、テープからの読み取り時に発生する可能性があります。これは、ddname に割り振られている 1 つ以上のテープのボリューム終了処理中に、DCB に記録されているブロック数がテープのトレーラー・レベルのブロック数と異なっていることを示しています。読み取られた情報が不完全である可能性があります。

重大度

08

CKX926I モジュール *module* の LOAD は失敗
しました (LOAD of module *module*
failed)

説明

プログラムは、示されたモジュールが使用可能であることを予期していました。しかし、このモジュールが見つかりませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKX931I *proc*:バッファオーバーラン -
dln=destinationlength
sln=sourcelength:: data (proc:
Buffer overrun -
dln=destinationlength
sln=sourcelength:: data)

説明

フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

CKX929I *ddname* 上の *procedure* 呼び出し
タイプ *type* が、*recno* 個のレコードの
後で、次のように報告しています:
msg (procedure call type type on
ddname after record recno reports:
msg)

説明

指定されたプロシージャ (ALLOCATE GETPROC= ステートメントで使用されている) が、*msg* という説明付きでゼロ以外の戻りコードを発行しました。*msg* に C2P メッセージ番号が含まれている場合は、「IBM Security zSecure Alert: ユーザー・リファレンス・マニュアル」を調べてください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当

CKX942I 製品コード *code* の環境が一致しま
せん (Environment mismatch for
product code *code*)

説明

このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、

z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の 非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度

00

CKX944I UNIX type のクローズ RC nn [meaning] 理由 qqq rrrr x [meaning] ファイル ddname path (UNIX type close RC nn [meaning] reason qqq rrrr x [meaning] file ddname path)

説明

このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 qqqq および理由コード rrrr (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

type は「wronly」または「rdonly」のいずれかです。

重大度

16

CKX945I UNIX action が失敗しました。 RC nn [meaning] 理由 qqq rrrr x [meaning] ファイル ddname path (UNIX action failed RC nn [meaning] reason qqq rrrr x [meaning] file ddname path)

説明

このメッセージは、BPX1OPN または BPX1FCT 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 qqqq および理由コード rrrr (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

action は wronly open、fcntl filetag、または rdonly open です。

重大度

16

CKX946I Unix レコードはバッファ・サイズ buflength を超えています - 分割します (Unix record larger than buffer size buflength- split)

説明

このメッセージは、元々は非常に大きかったレコードが、今は 2 つの別個のレコードとして処理されていることを警告します。

重大度

04

CKX947I filedesc off の読み取りが失敗しました RC nn [meaning] 理由 qqqq rrrr x [meaning] ファイル ddname path (Reading filedesc off failed RC nn [meaning] reason qqqq rrrr x [meaning] file ddname path)

説明

このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 qqqq と理由コード rrrr (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

CKX948I 製品コード code の使用可能化情報が壊れています (Enablement information corrupt for product code code)

説明

このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度

16

CKX949I 製品コード code がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (Product code code installed and non-APF registration limit exceeded)

説明

このメッセージは、インストールされたものの、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 限度を超えていたた

めに登録できない製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

重大度

00

CKX950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (**Code not installed here for product code code**)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度

16

CKX951I モジュール *module* のロード時にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました (**system abend code (desc) trying to load module module**)

説明

このメッセージは、モジュールのロードに失敗したことで、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了 306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていなかったことを意味する可能性があります。

重大度

08

CKX960 *message*

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。同等のメッセージ CKR0960 を参照してください。

CKX961 *message*

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。同等のメッセージ CKR0961 を参照してください。

CKX962 *message*

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。同等のメッセージ CKR0962 を参照してください。

CKX962A アテンションによりコマンドが終了しました (**Command terminated by attention**)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ATTN キーを押すことでコマンドを終了したことを示します。

重大度

10

CKX962B コマンドはバックグラウンドではサポートされていません (**Command not supported in background**)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO サービス機能を通してコマンドを実行できなかったことを示します。これは、PARMLIB メンバー IKJTSOxx の TSO 許可コマンド・リスト (AUTHCMD) に CKGRACF を含めないことが原因となる場合もあります。TSO PARMLIB コマンドを使用することによって、IPL を実行せずにこのメンバーへの変更を活動化できます。PARMLIB コマンドについて詳しくは、「TSO/E システム・プログラミング・コマンド解説書」を参照してください。

重大度

16

CKX962C コマンドは失敗しました *abend code* (**Command failed abend code**)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示された *abend code* でコマンドが異常終了したことを示します。

重大度

12

CKX962D メモリー不足 (**Out of memory**)

説明:

UNIX システム・サービスの spawn でメモリー不足状態が発生しました。

ユーザーの処置:

REGION (場合によっては MEMLIMIT) を増加させてください。

重大度

8

CKX962E TSO/E 環境で実行されていません
(Not running in a TSO/E environment)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、コマンド環境が TSO/E でないため、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度

16

CKX962F コマンドは失敗しました。戻りコード *code* (10 進数) (Command failed, return code *code* (decimal))

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、コマンドに失敗して、示された結果コードが返されたことを示しています。このメッセージの前のメッセージが CKG740I の場合、CKG740I の説明を参照してください。その他すべての状況の場合、実行されたコマンドを判別し、該当するマニュアルを確認して可能性のある戻りコードを調べてください。RACF コマンドの場合、戻りコードは「RACF コマンド言語解説書」に記載されています。

重大度

08

CKX962G CKGRACF コマンドで警告が発生しました。戻りコード 4 (CKGRACF command produced a warning; return code 4)

説明

CKGRACF コマンドは正常に実行されましたが、警告メッセージが発生しました。

重大度

4

CKX962H spawn に失敗しました (Spawn failed)

説明:

UNIX システム・サービスの spawn に失敗しました。

ユーザーの処置:

正確なエラー状態について詳しくは、SYSPRINT または CKXPRINT を参照してください。

重大度

08

CKX962I IKJTSOEV モジュールが見つかりませんでした (IKJTSOEV module not found)

説明

TSO 環境を確立しようとしたのですが、TSO 環境初期化ルーチン IKJTSOEV が見つかりませんでした。通常、IKJTSOEV はリンク・リストにあります。このため、TSO コマンド実行試行時に検出された場合は戻りコード 20 が返され、それ以外の場合は 8 が返されます。

重大度

8

CKX962I IKJTSOEV 戻りコード *xx* 理由コード *yy* サービス理由コード *zz* (10 進数) (IKJTSOEV return code *xx* reason code *yy* service reason code *zz* (decimal))

説明

TSO コマンドの実行試行時に検出される場合は戻りコード 20 が返されます。

重大度

8

CKX962I *command* の SVC 220 戻りコード *hh* (16 進数) (SVC 220 return code *hh* (hex) on *command*)

説明

RACF コマンドまたは CMS コマンドの実行試行時に検出される場合は、戻りコード 20 が返されます。

重大度

8

CKX962J TSOXUSS RC=*xnnnnnnnn*

説明:

UNIX システム・サービス・インターフェースが失敗し、16 進戻りコード *nnnnnnnn* を返しました。

重大度

08

CKX962K 待機に失敗しました (Wait failed)

説明:

UNIX システム・サービスのサブプロセス待機に失敗しました。

重大度

08

CKX962L コマンドが許可ライブラリーで見つかりませんでした。(Command could not be found in an authorized library.)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度

16

CKX962M コマンドが失敗した可能性があります。戻りコード *n* (Command may have failed, return code *n*)

説明

このメッセージは、コマンドが 4 以下でゼロ以外の戻りコードを返したことを示します。このメッセージでは、最小戻りコードは 4 になります。このエラーが部分的な失敗または警告のいずれであるかは、コマンドによって異なります。

重大度

4

CKX962N APF モードからのコマンドは許可されていません - *command* (Command not allowed from APF mode - *command*)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示されたコマンドが TSO AUTHCMD リスト内になく、APF 許可プログラムから呼び出される安全なコマンドの組み込みリストにもないことを示します。このコマンドをユーザー自身が要求した場合は、APF 許可のない状態で実行するか、または IKJEFT01 を使用して実行してください。組み込み関数に対する応答としてこのメッセージが返された場合は、[電子サポート Web](#)

[サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX962O コマンドが TSO スタックをフラッシュしました - 出力トラップ・ファイルを閉じるために再ログオンが必要です (Command has flushed TSO stack - relogon required to close output trap file)

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは通常、後続のコマンド出力が CKRTSPRT ファイルに書き込まれないことを意味します。コマンド出力が失われるか、zSecure の終了後に行モードで表示される可能性があります。z/OS のリリースによっては、通常の動作を復元するには ISPF を終了してから再度開始するだけでよいことがあります。最悪の場合は、再ログオンが必要になることもあります。

重大度

0

CKX962P % を介した CLIST 処理はサポートされていません (CLIST processing through % not supported)

説明

このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。% 演算子を使用して CLIST を実行しようとしたことを示します。CLIST の実行はサポートされていません。

重大度

16

CKX962Q 引用符エラー (Quoting error)

説明:

UNIX システム・サービスのコマンド・パラメーターの引用符を解釈できません。

重大度

08

CKX962S IKJEFTSR が失敗しました。戻りコード *error* 理由コード *reason* (IKJEFTSR fails return code *error* reason code *reason*)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。示されているエラー・コードと理由コードがコマンドから返されました。

重大度

16

CKX962T コマンドが失敗しました **ATTACH rc rc (10 進数) (Command failed, ATTACH rc rc (decimal))**

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを付加できなかったことを示します。

重大度

16

CKX962U 許可環境から許可されていない関数を呼び出すことはできません
(Unauthorized functions cannot be invoked from an authorized environment)

説明

このメッセージは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKX962V コマンドがありません (No command)

説明:

UNIX システム・サービス・コマンドがヌル・ストリングです。

重大度

08

CKX962W コマンドが見つかりません
(Command not found)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマン

ドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度

16

CKX962X コマンド名の構文エラー (Syntax error in the command name)

説明

このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドの名前が構文的に正しくなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度

16

CKX962Y 動的 TSO 環境では許可コマンドはサポートされていません - 代わりに IKJEFT01 から呼び出してください
(Authorized commands not supported in dynamic TSO environment - call from IKJEFT01 instead)

説明

これは、APF 以外および IKJEFT01 以外の環境から APF コマンドを実行しようとするとき発生します。APF ライブラリーまたは IKJEFT01 内部から CKX を実行してください。

重大度

20

CKX969I 入出力エラー: *description*
[optional 2nd line of description]
ddname volser dsn[(member)]
[volser dsn]... (I/O error for:
description
[optional 2nd line of description]
ddname volser dsn[(member)]
[volser dsn]...)

説明

このメッセージは、示されたいずれかのデータ・セットに対する通常の QSAM、BSAM、または BPAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われる

ことから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

このメッセージには、DFP SYNADAF 呼び出しから返された診断データが 1 行か 2 行示されます。DFP SYNADAF には、この診断データに関する詳細情報が含まれています。その後、DD 名およびデータ・セットの連結が続きます。BPAM の場合は、そのいずれかのデータ・セットのメンバー名も示されます。

重大度

08

CKX973I IBM セキュリティー製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product code *code* disabled or not installed)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シस्पレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKX974I IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (IBM Security *product* disabled or not installed here for requested focus)

説明

製品 *product* がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シस्पレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに

連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKX976I 製品コード *code* のコードまたは使用可能化がありません (Code or enablement for product code *code* is missing)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シस्पレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKX976I IBM セキュリティー *product* or *feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security *product* or *feature* disabled or not installed here)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シस्पレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

CKX977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能 ('*feature*') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME(''*name*')) FEATURE(''*feature*'))

**VER(version) REL(release)
MOD(modification)
[製品 action RC rc 10 進数]
([Product action RC rc decimal])**

説明

このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。*action* は、*registration* または *status* になります。戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、CKR0979 のため)。

重大度

00

CKX978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (Product code *code* has been disabled in PARMLIB)

説明

このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して無効になっている製品について DEBUG LICENSE への応答として発行されます。

ユーザーの処置

製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度

00

CKX979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (Product code *code* implied by other)

説明

このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に、DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

00

CKX991I 予期しない [*type|nil*] ポインター。
場所: *procedure* - ユーザー異常終了
991 (Unexpected [*type|nil*] pointer
in *procedure* - user abend 991)

説明

このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

CKX992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明

このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度

04

CKX994I 最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。ddname (Last record truncated by end-of-file ddname)

説明

このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度

16

第 9 章 CQT メッセージ

この章では、zSecure CICS Toolkit のモジュール CQTPMSGE で発行されるメッセージについて説明します。どのメッセージも、CQT という 3 文字の接頭部で始まります。

CQT メッセージ 0 から 99

CQT000 ツールキットのサブタスクがアクティブではありません (The Toolkit subtasks are not active)

説明

zSecure CICS Toolkit のサブタスクがまだ開始されていません。

zSecure CICS Toolkit が RACF データベースにアクセスするためには、サブタスクが接続されている必要があります。このエラーは、通常、CICS の初期化時に発生します。

CICS 開始ログを参照して、エラー・メッセージがないか確認してください。例えば、CQTPLT00 が実行されなかったか (CICS リソース定義および DFHPLTPI を確認してください)、または CQTPATCH が正しく定義されていない可能性があります。

zSecure CICS Toolkit SVC が正しくインストールされていないか、SVC を使用する権限が領域に付与されていないか (CICS 領域のユーザー ID には FACILITY クラス内の TOOLKIT.SVC に対する READ アクセス権限が必要です)、サブタスク・モジュール (CQTSxxxx) が (DFHRPL ではなく) CICS steplib にないか、zSecure CICS Toolkit が PARMLIB の IFAPRDxx によって無効になっている可能性があります。

CQT001 プログラム (*program*) が使用できません。 (Program (*program*) not available.)別の関数を選択してください (Please select a different function)

説明

zSecure CICS Toolkit がモジュール *program* に制御を渡そうとしたときに、選択した関数が失敗しました。

CICS PPT 定義を参照して、すべての zSecure CICS Toolkit プログラムが定義されていること、それらが RPL にあること、およびそれらが有効になっていることを確認してください。

CQT002 無効な DFLTGRP (Invalid DFLTGRP)

説明

ユーザー ID に指定されている DFLTGRP (デフォルト・グループ) が存在しません。既存の RACF グループを指定してください。

CQT003 TSQUEUE 名が指定されていません (TSQUEUE name not specified)

説明

出力データを CICS 一時ストレージ・キューに戻すためのフラグが設定されていますが、TSQUEUE 名が指定されていません。

有効な TSQUEUE 名を指定するか、または出力データを TSQUEUE に返さないようにしてください。

CQT004 TSQUEUE *tsqueue* の権限がありません。 (Not authorized for TSQUEUE *tsqueue*.)

説明

端末ユーザーには、指定された TSQUEUE を操作するための十分なアクセス権限がありません。CICS ログを参照して、追加情報がないか確認してください。

CQT006 有効な RACF サインオンを実行しませんでした (You have not performed a valid RACF signon)

説明

CICS 領域で RACF USERID を使用した有効なサインオンが実行されませんでした。

どの zSecure CICS Toolkit 関数を使用する場合でも、まず有効な RACF USERID を使用してサインオンを実行する必要があります。

有効なサインオンを実行したにもかかわらず、このメッセージが返された場合は、トランザクション・ダンプを取得し、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CQT007 CQTPCNTL をロードできません。 (Unable to load CQTPCNTL.)CICS

リソース定義を確認してください
(Check the CICS resource definitions)

説明

CQTPCNTL をロードしようとしたときに、エラーが検出されました。

CICS リソース定義で CQTPCNTL を参照して、このモジュールが定義され、有効になっていることを確認してください。また、DFHRPL を介してこのモジュールを使用できることを確認してください。

CQT008 **commarea アドレス/長さがゼロです (Commarea address/length is zero)**

説明

zSecure CICS Toolkit に渡された commarea アドレスまたは長さがゼロです。

API または 2 回目以降の RTMM 呼び出しで zSecure CICS Toolkit を呼び出すときには、commarea が必要です。zSecure CICS Toolkit を API から呼び出している場合は、アプリケーション・プログラムが有効な commarea を渡していることを確認してください。2 回目以降の RTMM 呼び出しでこのエラーが発生している場合は、CEDF を使用して、commarea が渡されているかどうかを判別してください。渡されていない場合は、そのエラーの原因 (例えばストレージの問題など) を判別してください。引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CQT009 **更新するユーザー ID を入力してください (Enter userid to be updated)**

説明

変更するユーザー ID を入力してください。これは有効な RACF ユーザー ID であることが必要です。また、そのユーザー ID に対するアクセス権限を持っている必要があります。

ユーザー ID へのアクセス権限は、そのユーザー ID のデフォルト・グループに基づきます。AUSR.dfltgrp に対するアクセス権限を持っている必要があります (dfltgrp は、ユーザー ID のデフォルト・グループです)。

CQT010 **無効な権限です。(Invalid authority.) U (使用)、C (作成)、N (接続)、J (結合) のいずれかである必要があります (Must be U (Use); C (Create); N (Connect); J(Join))**

説明

指定した権限のタイプが正しくありません。

U、C、N、J のいずれかを指定する必要があります。

CQT011 **ユーザーをこのグループ RC CONN.grpname に接続する権限がありません (You are not authorised to connect users to this group RC CONN.grpname)**

説明

アクセス権限のないグループを指定しました。RC は、CONN.grpname に対するアクセス権限検査からの RACF 戻りコードです。

CONN.grpname へのアクセス権限が必要です (grpname は、グループの名前です)。

CQT012 **無効なグループ名 (Invalid group name)**

説明

グループ名が入力されていません。

グループ名を入力して、関数を完了する必要があります。有効なグループ名を入力してください。

CQT013 **SPECIAL オペランドは Y または N である必要があります (SPECIAL operand must be Y or N)**

説明

SPECIAL に対する指定が無効です。

このフィールドの有効なエントリーは Y と N だけです。

CQT014 **OPERATIONS オペランドは、Y または N である必要があります (OPERATIONS operand must be Y or N)**

説明

OPERATIONS に対する指定が無効です。

このフィールドの有効なエントリーは Y と N だけです。

CQT015 **PF1=切り替え 3=オプション変更 ENTER=次 CLEAR=メインメニュー (PF1=Toggle 3=Chgopts ENTER=Next CLEAR=Main Menu)**

説明

通知メッセージ。

検索オプションを変更するには PF03 を押します。次のプロファイルを表示するには ENTER を押します。メインメニューに移動するには CLEAR を押します。

CQT016 ユーザー ID とグループ名を入力してください (Enter userid and group name)

説明

USERID と GROUP 名を必要とする関数を選択しました。

要求に応じて USERID と GROUP 名を入力してください。

CQT017 このグループ *RC REMV.grpname* からユーザーを削除する権限がありません (You are not authorized to remove users from this group *RC REMV.grpname*)

説明

アクセス権限のないグループを指定しました。RC は、*REMV.grpname* に対するアクセス権限検査からの RACF 戻りコードです。

REMV.grpname へのアクセス権限が必要です (*grpname* は、グループの名前です)。

CQT018 ユーザー ID を入力してください (Enter userid)

説明

ユーザー ID を必要とする関数を選択しました。

有効な USERID を入力してください。

CQT019 ユーザー・プロファイルの定義は失敗しました。データ・セキュリティーに通知してください (Inform data security)

説明

ADDUSER でエラーが発生しました。

ユーザーを RACF データベースに追加しようとしたときに、zSecure CICS Toolkit がエラー条件を検出しました。このことをデータ・セキュリティー管理者に報告してください。RACF データベースに問題がある可能性があります。

CQT020 追加するユーザーの詳細を入力してください。 (Enter details of user to be added.)

説明

ADDUSER 関数を選択しました。

追加するユーザーに関連する情報を入力してください。

CQT021 無効なユーザー ID です。 (Invalid userid.) 英字、数字、#、\$、および @ のみを使用する必要があります (Must be letters, numbers, #, \$ or @)

説明

入力したユーザー ID は無効です。

ユーザー ID は、RACF 命名規則に準拠し、英字、数字、および国別文字の #、\$、@ だけで構成されている必要があります。

CQT022 無効な名前です。 (Invalid name.) 英字、数字、#、\$、および @ のみを使用する必要があります (Must be letters, numbers, #, \$ or @)

説明

入力した名前は無効です。

名前には、1 つ以上の文字が含まれている必要があります。

CQT023 曜日標識は、Y または N である必要があります (Day indicator must be Y or N)

説明

アクセスの曜日の指定が正しくありません。

ユーザーがどの曜日にシステムにアクセスできるかを指定する場合、ユーザーにシステムへのアクセスを許可する曜日に対しては Y を入力し、ユーザー・アクセスを制限する曜日に対しては N を入力する必要があります。他の値はすべて無効です。

CQT024 FROM と TILL の時刻は、どちらも 0000 であるか、または 0001 から 2359 の範囲である必要があります (FROM and TILL times must BOTH be 0000, or range from 0001 thru 2359)

説明

指定した時刻が正しくありません。

ユーザーがログオンできる時刻を指定するときは、FROM と TILL のどちらの時刻も 0001 (深夜 0 時) から 2359 (午後 11:59) である必要があります。特殊値 0000 は、ログオン時刻に制限がないことを示します。

CQT025 無効なグループです。 (Invalid group.) 英字、数字、#、\$、および @ のみを使用する必要があります

(Must be letters, numbers, #, \$ or @)

説明

入力したグループ名は無効です。

ユーザー ID は、RACF 命名規則に準拠し、英字、数字、および国別文字の #、\$、@ だけで構成されている必要があります。

CQT026 **ユーザーをこのグループに追加する権限がありません (You are not authorised to add users to this group)**

説明

アクセス権限のないグループを指定しました。

ADUS.dfltgrp へのアクセス権限が必要です (dfltgrp はグループの名前です)。

CQT027 **無効な権限です。(Invalid authority.) U (使用) または C (作成) である必要があります。(must be U (Use) or C (Create).) 再入力してください (Please re-enter)**

説明

このユーザーの権限は無効です。

デフォルト・グループに対するこのユーザーの権限を指定するときは、U または C を入力する必要があります。他の値はすべて無効です。

CQT028 **RACRF=safreturn
RACR0=safreason RF=rr R0=re
RSC = (resclass) LAST = (last_res)**

説明

zSecure CICS Toolkit により、どの関数に対する権限もないと判断されました。

このトランザクションにより、使用する権限がある zSecure CICS Toolkit 関数が検査され、どの関数の使用も許可されていないと判断されました。zSecure CICS Toolkit 関数にアクセスできるはずである場合は、データ・セキュリティー管理者に連絡してください。

zSecure CICS Toolkit は、RACROUTE REQUEST=FASTAUTH を発行して権限を確認します。その応答は、次のようになりました。

```
RACRF = The SAF return code in register 15
RACR0 = The SAF reason code in register 0
RF     = The RACF return code in register 15
R0     = The RACF reason code in register 0
RSC    = The RACF resource class used in the
         RACROUTE
LAST   = The last resource name checked
```

戻りコードおよび理由コードは、どの zSecure CICS Toolkit 関数の使用も許可されていない理由を判別するために使用できます。RCHK トランザクション (zSecure CICS Toolkit 検証プログラムのデフォルト名) を使用する権限がある場合は、このトランザクションを実行して、zSecure CICS Toolkit のインストールを検証できます。RCHK トランザクションの使用中に PF1 を押すと、zSecure CICS Toolkit 関数定義と、ご使用のユーザー ID におけるそれぞれの定義の SAF/RACF 戻りコード/理由コードを表示できます。

CQT029 **ユーザー ID/グループ名と、リソースを入力してください (Enter userid/group name and resource)**

説明

PERMIT を行う USERID または GROUP と、そのユーザーまたはグループに使用を許可する RESOURCE を入力する必要があります。

CQT030 **一時 ACEE の作成に失敗しました。
(Create temporary ACEE failed.)
RC=xxxx-xxxx-xxxx**

説明

RACROUTE REQUEST=VERIFY にユーザーおよびグループを指定して ACEE を作成しようとしたますが、表示された戻りコードで失敗しました。RC に示された 3 つのフィールドは、SAF 戻りコード、RACF 戻りコード、および RACF 理由コードです。これらの値の説明については、「z/OS Security Server RACF RACROUTE マクロ解説書」を参照してください。

CQT031 **IRRPNL00 の呼び出しに失敗しました。
(Call to IRRPNL00 failed.)
RC=xxxx-xxxx**

説明

IRRPNL00 関数を使用して権限のあるプロファイルを表示しようとしたますが、表示された戻りコードで失敗しました。RC の 2 つのフィールドは、RACF 戻りコードと RACF 理由コードです。これらの値の説明については、「z/OS Security Server RACF マクロおよびインターフェース」を参照してください。

CQT033 **無効な seclevel (Invalid seclevel)**

説明

ADDUSER 画面に入力した SECLEVEL は、SECDATA リソース・クラスの SECLEVEL プロファイルで定義されているメンバーに対応していません。未定義の SECLEVEL は追加できません。

CQT034 **検索を行わない場合には ID を入力する必要があります (An ID must be entered if not doing a search)**

説明

プロファイル名が必要です。

(PF11 を押して) 検索を実行しない場合は、リストに含めるプロファイル名 (例えば、GROUP 名や DATASET 名) を入力する必要があります。

CQT035 無効なデータ・セット名 (Invalid dataset name)

説明

データ・セット名が必要です。

(PF11 を押して) 検索を実行しない場合は、リストに含めるデータ・セット名を入力する必要があります。

CQT036 検索を行わない場合にはユーザー ID を入力する必要があります (A userid must be entered if not doing a search)

説明

ユーザー ID が必要です。

(PF11 を押して) 検索を実行しない場合は、リストに含めるユーザー ID 名を入力する必要があります。

CQT037 無効なユーザー ID (Invalid userid)

説明

ユーザー ID が必要です。

(PF11 を押して) 検索を実行しない場合は、リストに含めるユーザー ID を入力する必要があります。

CQT038 ユーザー ID またはパスワード/フレーズが欠落しているか、または無効です (Userid or password/phrase is missing or invalid)

説明

API を使用して、PASSWORD または PHRASE を使用する USERID を検証しようとしています。USERID、PASSWORD、または PHRASE のいずれかが欠落しています。PHRASE または NEWPHRASE の長さが 1 から 8 桁の場合にも、このメッセージが発行されます。

ユーザーの処置:

エラーを訂正し、やり直してください。

CQT039 ユーザー ID が見つかりません (Unable to locate userid)

説明

RACF 内で USERID が見つかりませんでした。

zSecure CICS Toolkit は、指定された USERID を RACF 内で見つけることができませんでした。入力している

USERID が有効であり、まだ削除されていないことを確認してください。

CQT040 このユーザー ID に対する権限がありません。 (You are not authorised for this userid.) デフォルト・グループは無効です (Default group is invalid)

説明

この USERID のデフォルト・グループが見つかりませんでした。

zSecure CICS Toolkit では、ユーザーのデフォルト・グループがなければ、ユーザー ID にアクセスする権限を確認できません。このユーザー・プロファイルでは、デフォルト・グループが見つかりませんでした。データ・セキュリティー管理者にエラーを報告してください。

CQT041 ユーザー ID を入力する必要があります (A userid has to be entered)

説明

USERID が必要です。

この関数を使用するには、ユーザー ID を入力する必要があります。有効なユーザー ID を入力してください。

CQT042 このユーザー ID に対する権限がありません (You are not authorised for this userid)

説明

この USERID に対する権限がありません。

ユーザー ID へのアクセス権限は、そのユーザー ID のデフォルト・グループに基づきます。LUSR.dfltgrp へのアクセス権限が必要です (dfltgrp はユーザー ID のデフォルト・グループです)。

CQT043 このユーザー ID を再開できません (Unable to resume this userid)

説明

RESUME 関数でエラーが発生しました。

zSecure CICS Toolkit で、このユーザーを再開しようとしたときに、エラーが発生しました。RACF データベースにエラーがある可能性があるため、データ・セキュリティー管理者に通知してください。

CQT044 CLAUTH フィールドを更新できません。 (Unable to update CLAUTH field.) ユーザーに既に権限が付与されている可能性があります。 (User may already have authority.)

説明

CLAUTH フィールドの更新に失敗しました。

CLAUTH フィールドを更新しているときに、エラーが発生しました。ユーザーにこのクラスの権限が既に付与されているか、またはこのクラスが RACF に定義されていない可能性があります。詳細については、データ・セキュリティ管理者に連絡してください。

CQT045 NOCLAUTH フィールドを更新できません。(Unable to update NOCLAUTH field.) ユーザーがこのクラスに定義されていない可能性があります。(User may not be defined to this class.)

説明

NOCLAUTH フィールドの更新に失敗しました。

NOCLAUTH フィールドを更新しているときに、エラーが発生しました。ユーザーにはこのクラスの権限がないか、またはこのクラスが RACF に定義されていない可能性があります。詳細については、データ・セキュリティ管理者に連絡してください。

CQT046 SMF レコード RC=rc を書き込めません (Unable to write SMF record RC=rc)

説明

SMF データ・セットに書き込むときに、エラーが検出されました。

zSecure CICS Toolkit が RACF データベースを更新するたびに、その内容が SMF レコードに書き込まれます。エラーが発生したために、SMF レコードを書き込めませんでした。SMF データ・セットに空き領域があることと、他のタイプの問題が発生していないことを確認してください。RACF データベースの更新は正常に実行されています。

CQT047 *profile_field* を変更できません (Unable to alter *profile_field*)

説明

ALTUSER 関数でエラーが検出されました。

zSecure CICS Toolkit は、ユーザーのプロファイルを変更するときにエラーを検出しました。プロファイル内のどのフィールドに変更が加えられたかは、*profile_field* で示されます (例えば、LOGTIME)。データ・セキュリティ管理者に通知し、ユーザーのプロファイルを参照してエラーがないか確認してください。

CQT048 CQTPCNTL をロードできません、終了します。(Unable to load CQTPCNTL, exit.) CICS リソース定

義を確認してください (Check CICS resource definition)

説明

zSecure CICS Toolkit は、インストール・オプション・モジュール CQTPCNTL をロードできませんでした。

CQTPCNTL には、zSecure CICS Toolkit が必要とする制御情報が含まれています。ロードできないと、zSecure CICS Toolkit は正しく機能できません。CICS リソース定義を確認し、モジュールが正しく定義され、DFHRPL を介して使用できることを確認してください。

CQT049 無効な RSRCLASS が CQTPCNTL に定義されました。(Invalid RSRCLASS was defined in CQTPCNTL.) サブタスクはロードされません (Subtasks not loaded)

説明

CQTPCNTL パラメーター・モジュールに指定された RSRCLASS が正しくありませんでした。

RSRCLASS クラスは、この CICS システムで使用されているリソース・クラスである必要があります。例えば、TCICSTRN、PCICSPSB、MCICSPPT などです。

CQT050 CQTPATCH にリンクできません、終了します。(Unable to link CQTPATCH, exit.) CICS リソース定義を確認してください (Check CICS resource definition)

説明

zSecure CICS Toolkit は、CQTPATCH にリンクできませんでした。

CQTPATCH は、zSecure CICS Toolkit サブタスクをロードするモジュールです。サブタスクが接続されていないと、zSecure CICS Toolkit は機能しません。CICS リソース定義を確認し、モジュールが正しく定義され、DFHRPL を介して使用できることを確認してください。

CQT051 サブタスクが切り離されました (Subtasks detached)

説明

zSecure CICS Toolkit サブタスクの停止を要求しました。このメッセージは、CQTPDCH プログラムが正常に戻ったことを示します。

CQT052 サブタスクが接続されました (Subtasks attached)

説明

zSecure CICS Toolkit サブタスクの開始を要求しました。このメッセージは、CQTPLT00 プログラムが正常に戻ったことを示します。

CQT053 サブタスクは既にアクティブです
(Subtasks already active)

説明

zSecure CICS Toolkit サブタスクの開始を要求しましたが、モジュール CQTPAPRM のステータス・フラグはサブタスクがまだアクティブであることを示していました。サブタスクを1つでも再起動する必要がある場合は、まずすべてのサブタスクを停止してから別のサブタスクを開始する必要があります。

CQT054 所有者 ID (グループまたはユーザー)
が見つかりません (Unable to locate
owner id (GROUP or USER))

説明

所有者 ID は無効です。

所有者として指定した ID が RACF データベースで見つかりません。新しい所有者 ID を入力してください (所有者は USERID か、または GROUP 名です)。

CQT055 グループ名が見つかりません
(Unable to locate group name)

説明

グループ名は無効です。

指定したグループ名が、RACF データベースにありません。新しいグループ名を入力してください。

CQT056 関数を完了するには、PF5 を押して
ください (Press PF5 to complete
the function)

説明

zSecure CICS Toolkit は、関数を完了する準備ができました。

すべてのアクセス権限検査と編集が完了し、エラーは見つかりませんでした。PF05 を押すと、更新が実装されます。

CQT057 接続に失敗しました。データ・セキ
ュリティーに通知してください
(Inform data security)

説明

メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティ管理者に通知してください。RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT058 グループ・プロファイルの更新に失
敗しました。(Update of group
profile failed.) データ・セキュリ
ティーに通知してください (Inform data
security)

説明

メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティ管理者に通知してください。RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT059 ユーザー・プロファイルの更新は失
敗しました。データ・セキュリ
ティーに通知してください (Inform data
security)

説明

メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティ管理者に通知してください。RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT060 ユーザーはグループに接続されまし
た (User has been connected to the
group)

説明

接続が完了しました。

USERID は、グループに正常に接続されました。

CQT061 グループ名を入力する必要があります
(A GROUP name has to be
entered)

説明

グループ名を入力しませんでした。

有効なグループ名を入力してください。

CQT062 所有者は無効です (OWNER is
invalid)

説明

所有者 ID を入力しませんでした。

有効な所有者 ID を入力してください。USERID または GROUP 名です。

CQT063 このプロファイルのエントリーがあ
りません (No entries for this
profile)

説明

検索条件に一致するプロファイルはありません。

検索の実行後、zSecure CICS Toolkit は検索条件に一致するプロファイルを見つけることができませんでした。

CQT064 この条件に一致するエントリーの最後 (End of entries matching this criteria)

説明

これ以上プロファイルはありません。

RACF データベースには、指定した検索条件に一致するプロファイルはこれ以上ありません。

CQT065 ユーザーはまだデフォルト・グループ以外のグループに接続されています (User still connected to groups other than default group)

説明

ユーザーは、まだ複数のグループに接続されています。

ユーザーを削除するには、デフォルト・グループを除くすべてのグループからそのユーザーを削除する必要があります。このユーザーはまだ他のグループに接続されています。

CQT066 ユーザーはデフォルト・グループから削除できません (You may not remove a user from their default group)

説明

指定したグループは、ユーザーのデフォルト・グループです。

デフォルト・グループからユーザーを削除することはできません。

CQT067 接続グループの削除に失敗しました。 (Deletion of CONNECT GROUP failed.) データ・セキュリティーに通知してください (Inform data security)

説明

メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティー管理者に通知してください。RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT068 ユーザー・プロファイルの削除に失敗しました。 (Delete of USER profile failed.) データ・セキュリティーに通知してください (Inform data security)

説明

メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティー管理者に通知してください。RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT069 ユーザーは削除されました (User has been deleted)

説明

DELUSER 関数は完了しました。

指定された USERID は RACF データベースから削除されました。

CQT070 ユーザーは、グループから削除されました (User has been removed from group)

説明

REMOVE 関数は完了しました。

USER は、指定された GROUP から削除されました。

CQT071 接続グループの定義に失敗しました。 (Definition of CONNECT GROUP failed.) ユーザーは既に接続されている可能性があります (User may already be connected)

説明

ユーザーを接続しようとしたときに、エラーが発生しました。

ユーザーは、指定されたグループに既に接続されている可能性があります。

CQT072 ユーザーは定義されました (User has been defined)

説明

ADDUSER 関数は完了しました。

指定された USERID は、RACF データベースに既に追加されています。

CQT073 zSecure CICS Toolkit サブタスクが異常終了しました。 (The zSecure CICS Toolkit subtask has abended.) CICS ログを確認してください (Check the CICS log)

説明

zSecure CICS Toolkit サブタスクのいずれかが異常終了しました。

zSecure CICS Toolkit サブタスクで異常終了が発生しました。ログを確認し、あらゆる文書を参照して問題を判別してください。サブタスクを切り離してから再開するには、所定の RTST トランザクションを呼び出します。

CQT074 コマンドは正常に完了しました
(Command completed
successfully)

説明

要求された関数は完了し、エラーは検出されませんでした。

CQT075 このリソースに対する権限がありません
(You are not authorised for
this resource)

説明

このリソースに対する権限がありません。

ユーザー/グループに対してリソースを許可するには、そのリソースへのアクセス権限が必要です。リソースへのアクセス権限を得るには、セキュリティー管理者に連絡してください。

CQT076 リソース名を定義する必要があります
(A resource name has to be
defined)

説明

関数を完了するには、リソース名を入力する必要があります。

有効なリソース名を入力してください。

CQT077 PERMIT は失敗しました。ユーザー
は既にアクセス権限があるか、また
はリソースが RACF に定義されてい
ません (User already has access or
resource not defined to RACF)

説明

ユーザーにリソースを許可しようとしたのですが、失敗しました。リソースが RACF に定義されていることと、ユーザーが現在アクセス・リストに存在しないことを確認してください。

CQT078 DELETE は失敗しました。ユーザー
がアクセス・リストに存在しないか、
またはリソースが RACF に定義され
ていません (User not in access list
or resource not defined to RACF)

説明

リソースからユーザーを削除しようとしたのですが、失敗しました。リソースが RACF に定義されていることと、

ユーザーがアクセス・リストに存在することを確認してください。

CQT080 指定されたエントリーが存在しない
か、または後続のエントリーが存在
しません 15=0C (Specified entry
does not exist or no subsequent
entries 15=0C)

説明

RACF データベースには、一致するプロファイルがありません。

プロファイル (LISTUSER、LISTGROUP、etcetera) を表示しようとしていた場合は、そのプロファイルに一致するものが見つかりませんでした。検索を実行してからデータベース経由で表示しようとしていた場合は、エントリーの末尾に到達しました。

CQT081 不明なエラー: REG 15 = 10 (HEX)
15=10 (Unknown error : REG 15 =
10 (HEX) 15=10)

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT082 RACF データ・セットにアクセスしよ
うとしたときに、入出力エラーが発
生しました 15=18 (An I/O error
occurred while accessing the
RACF data set 15=18)

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT083 要求が実施された時点で RACF はア
クティブではありませんでした
15=1C (RACF was not active at the
time of the request 15=1C)

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT084 この要求タイプには作業域が必要ですが、作業域は提供されませんでした **15=20 (The request type requires a work area but area was not provided 15=20)**

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT085 エントリー名が無効であるか、またはエントリー・タイプが正しくありません **15=24. (Invalid entry name or incorrect entry type 15=24.)**

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。「RACF システム・プログラマーのガイド」および ICHEINTY の戻りコードを参照して、RC=24 の理由を調べることができます。

CQT086 ユーザー指定の作業域は、すべてのデータを保持できるほど大きくありません **15=2C (User supplied work area not large enough to hold all data 15=2C)**

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT087 ユーザー指定の作業域は、最小許容値よりも小さくなっています **15=30 (User supplied work area is smaller than the minimum allowed 15=30)**

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT088 要求を実施すると、RACF 索引が過去の最大値 (10) よりも大きくなります **15=48 (Request would have caused RACF index to increase past max(10) 15=48)**

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT089 索引ブロックが無効であるか、または索引ブロックが読み込めません **15=4C (Invalid index block encountered or non index block read 15=4C)**

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT090 REG 15 の不明な条件コード **15=?? (Unknown condition code in REG 15 15=??)**

説明

ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT091 検証は正常に完了しました (Verify has completed successfully)

説明

VERIFY 関数からの通常の戻りコードです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 00 RACFRET = 00 RACFRES = 00 です。

CQT092 TOKININ は指定されましたが、その長さが長すぎました (TOKININ was specified but its length was too large)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 00 RACFRET = 04 RACFRES = 0C です。

CQT093 STOKEN は指定されましたが、その長さが長すぎました (STOKEN was specified but its length was too large)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 00 RACFRET = 04 RACFRES = 10 です。

CQT094 要求を処理するときに、RACF が呼び出されませんでした (RACF was not called to process the request)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 04 RACFRET = 00 RACFRES = 0 です。

CQT095 ユーザー・プロファイルは、RACF に定義されていません (The user profile is not defined to RACF)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 04 RACFRET = 04 RACFRES = N/A です。

CQT096 RACF はアクティブではありません (RACF is not active)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 04 RACFRET = 20 RACFRES = N/A です。

CQT097 RJE または NJE オペレーター FACILITY クラス・プロファイルが見つかりません (RJE or NJE operator FACILITY class profile not found)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 04 RACFRET = 58 RACFRES = N/A です。

CQT098 パスワード/フレーズに権限がありません (The password/phrase is not authorized)

説明

パスワードまたはフレーズが正しくないため、VERIFY 関数が失敗しました。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 08 RACFRES = N/A です。

ユーザーの処置:

エラーを訂正し、やり直してください。

CQT099 パスワード/フレーズの有効期限が切れました (The password/phrase has expired)

説明

現在のパスワードまたはフレーズの有効期限が切れていて、新規パスワードまたはフレーズが指定されていないため、VERIFY 関数が失敗しました。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 0C RACFRES = N/A です。

ユーザーの処置:

エラーを訂正し、やり直してください。

CQT メッセージ 100 から 199

CQT100 新規パスワード/フレーズは無効です (The new password/phrase is invalid)

説明

新規パスワードまたはフレーズが RACF では無効なため、VERIFY 関数が失敗しました。例えば、新規パスワードまたはフレーズが履歴に含まれていた場合や、パスワードまたはフレーズが MINCHANGE 期間内に既に変更されていた場合が、これに該当します。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 10 RACFRES = N/A です。

ユーザーの処置:

エラーを訂正し、やり直してください

CQT101 ユーザーはグループに定義されていません (The user is not defined to the group)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 14 RACFRES = N/A です。

CQT102 インストール・システム出口ルーチンによって、VERIFY が失敗しました (VERIFY was failed by the installation exit routine)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 18 RACFRES = N/A です。

CQT103 ユーザー・アクセスが取り消されました (The users access has been revoked)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 1c RACFRES = N/A です。

CQT104 指定されたグループへのユーザー・アクセスが取り消されました (The users access to the specified group has been revoked)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 24 RACFRES = N/A です。

CQT105 **OIDCARD** パラメーターが必要ですが、指定されていません (OIDCARD parameter is required but not supplied)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 28 RACFRES = N/A です。

CQT106 **OIDCARD** パラメーターは、指定されたユーザーには無効です (OIDCARD parameter is invalid for specified user)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 2c RACFRES = N/A です。

CQT107 ユーザーには、この入力ポートに対する権限がありません (User not authorised to this port of entry)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 30 RACFRES = N/A です。

CQT108 ユーザーには、この曜日またはこの曜日のこの時刻に対する権限がありません (User is not authorized on this day, or at this time of day)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 30 RACFRES = 04 です。

CQT109 入力ポートは、この曜日またはこの曜日のこの時刻には使用できません

(Port of entry may not be used on this day, or at this time of day)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 30 RACFRES = 08 です。

CQT110 ユーザーには、アプリケーションを使用する権限がありません (The user is not authorized to use the application)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 34 RACFRES = N/A です。

CQT111 戻りコードが VERIFY の有効範囲外です (Return codes outside scope of VERIFY)

説明

VERIFY 関数が失敗しました。戻りコードが検証操作の有効範囲内にありません。サポートが必要な場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CQT112 無効なクラス名です。(Invalid CLASS name.) クラスは定義されていないか、またはアクティブではありません。(Class is not defined or inactive.)

説明

入力した CLASS がクラス記述子テーブルで見つからないか、または見つかったもののアクティブではありませんでした。アクティブなリソース・クラスの有効なクラス名を入力してください。

CQT113 このリソース・クラスに対する権限がありません (You are not authorized to this RESOURCE CLASS)

説明

実行しようとした関数をこのリソース・クラスで実行する権限がありません。データ・セキュリティー管理者に連絡してください。

CQT114 無効なプロファイル名 (Invalid PROFILE name)

説明

プロファイル名が入力されなかったか、またはプロファイル名に総称文字が含まれているものの、このプロファイル・タイプ (TYPE=G) に許可されるものではありませんでした。

CQT115 要求は失敗しました。SAFRET=xx RACFRET=xx RACFRES=xx

説明

RACF 要求が失敗しました。SAF 戻りコード、および RACF の戻りコードと理由コードが示されています。これらのコードの説明については、「RACF z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」を参照してください (RACROUTE REQUEST=EXTRACT)。

CQT116 OWNER/NOTIFY のユーザー ID が見つかりません (Unable to locate userid for OWNER/NOTIFY)

説明

OWNER/NOTIFY フィールドに指定されているユーザー ID は、RACF データベースに存在しません。有効なユーザー ID を入力してください。

CQT117 audit-A/S/F/N か AUD SUCC(FAIL) R/U/C/A、またはその両方を指定してください (Specify audit-A/S/F/N and/or AUD SUCC(FAIL) R/U/C/A)

説明

AUDIT、AUD SUCC、AUD FAIL の各パラメーターには、示されたオプションのいずれかが必要です。

CQT118 UACC= ALTER / CONTROL / UPDATE / READ / NONE / EXECUTE を指定してください (Specify UACC= ALTER / CONTROL / UPDATE / READ / NONE / EXECUTE)

説明

UACC パラメーターには、示されたオプションのいずれかが必要です。

CQT119 WARN= Y または N を指定してください (Specify WARN= Y or N)

説明

WARN パラメーターには、示されたオプションのいずれかが必要です。

CQT120 LEVEL は、000 から 099 の範囲内にある必要があります (LEVEL must be in the range of 000 - 099)

説明

LEVEL パラメーターには、示されたオプションのいずれかが必要です。

CQT121 MEMBERS は、このリソース・クラスでは許可されません (MEMBERS are not allowed in this resource class)

説明

MEMBER 定義が許可されるのは、グループ化クラスとして定義されるリソース・クラスだけです (TYPE=G で示されています)。

CQT122 名前に制限があります。 (Restricted name.)関数では許可されません (Function disallowed)

説明

zSecure CICS Toolkit 内部で使用されているリソース名を使用しようとすると拒否されます。別の名前を選択してください。

CQT123 PROFILE/MEMBER 名が、CDT に定義されている最大値よりも大きくなっています (PROFILE/MEMBER name greater than maximum defined in the CDT)

説明

PROFILE 名または MEMBER 名が、CDT の定義で許可されている最大長よりも大きくなっています。データ・セキュリティとともに、このクラスの最大長を確認してください。

CQT124 MEMBER はこのグループに既に存在します (MEMBER already exists in this group)

説明

追加しようとしている MEMBER は、このグループに既に定義されています。

CQT125 COMMAREA は、データには小さすぎます。 (COMMAREA too small for data.) 切り捨てが行われました (Truncation has occurred)

説明

API に渡された COMMAREA は、RACF から返されたすべてのデータを保持するには小さすぎました。切り捨てが行われました。

CQT126 MEMBER は、このグループに存在しません (MEMBER does not exist in this group)

説明

削除しようとした MEMBER は、このグループに存在しません。

CQT127 PROFILES は、このリソース・クラスでは許可されません (PROFILES are not allowed in this resource class)

説明

この一般リソース・クラスの CDT 定義では、プロフィールを定義できません。

CQT128 このグループに対する権限がありません (You are not authorized for this GROUP)

説明

実行しようとした関数をこのグループで実行する権限がありません。

CQT129 無効な SUPERIOR GROUP グループ名 (Invalid SUPERIOR GROUP group name)

説明

SUPERIOR GROUP に指定されているグループ名が正しくありません。

SUPERIOR GROUP のエントリは、有効なグループ名である必要があります。指定したグループ名が存在することを確認してください。

CQT130 グループにはまだサブグループがあります (GROUP still has subgroups)

説明

まだサブグループがあるグループを削除しようとした。

グループを削除する前に、すべてのサブグループを削除する必要があります。すべてのサブグループを削除してから、操作をやり直してください。

CQT131 グループには、まだユーザーが接続されています (GROUP still has users connected)

説明

まだユーザーがいるグループを削除しようとしていました。グループを削除する前に、すべてのユーザーを削除する必要があります。すべてのユーザーを削除してから、操作をやり直してください。

CQT132 **OPPRTY は、000 から 255 の範囲内にある必要があります (OPPRTY must be in the range 000 -255)**

説明

「オペレーター優先順位」に指定されている値が正しくありません。

このフィールドの値の範囲は、指定された範囲内である必要があります。このパラメーターの詳細については、「CICS リソース定義ガイド」または「CICS-RACF Security Guide」を参照してください。

CQT133 **XRSOFF は、FORCE または NOFORCE である必要があります (XRSOFF must be FORCE or NOFORCE)**

説明

XRSOFF に指定されている値が正しくありません。

このフィールドは FORCE または NOFORCE のいずれかでなければなりません。このパラメーターの詳細については、「CICS リソース定義ガイド」または「CICS/RACF Security Guide」を参照してください。

CQT134 **OPCLASS は、01 から 24 の範囲内にあり、コンマで区切る必要があります (OPCLASS must be in the range 01 - 24 and separated with a comma)**

説明

OPCLASS に指定されている値に誤りがあります。

OPCLASS パラメーターは、01 から 24 の範囲内にあり、コンマで区切る必要があります。例: 01,02,12,15,23

このパラメーターの詳細については、「CICS リソース定義ガイド」または「CICS-RACF Security Guide」を参照してください。

CQT135 **ユーザー ID が存在しないか、またはユーザーの CICS セグメントがありません (USERID does not exist or there is no CICS segment for the user)**

説明

入力したユーザー ID が存在しないか、または CICS SEGMENT がありません。

ユーザー ID が無効である場合は、新しいユーザー ID を入力してください。ユーザー ID が正しいもので、CICS SEGMENT が存在しない場合は、ユーザーの新しい情報を入力し、PF05 を押して CICS SEGMENT を作成してください。

CQT136 **この INTERVAL 値を指定する権限がありません (You are not authorized to specify this INTERVAL value)**

説明

PASSWORD コマンドを使用して、パスワード・インターバル値として 255 を指定したか、または別のユーザーのインターバル値を変更しようとしています。

インターバル値として 255 (NOINTERVAL に相当) を指定するか、または別のユーザーのインターバル値を変更するには、SPECIAL か、または TOOLKIT.SPEC または PSWD.dfltgrp へのアクセス権限が必要です。

CQT137 **xxxxxxxx は、この領域に使用されるリソース・クラスです (xxxxxxxx is the resource class that will be used for this region)**

説明

これは、zSecure CICS Toolkit 独自の内部セキュリティ検査に使用されるリソース・クラス名です。通常、これは CQTPCNTL での定義と同じになります。ただし、CQTPCNTL パラメーターにエラーがある場合、zSecure CICS Toolkit デフォルトで SIT の XTRAN パラメーターを使用するようになっています。

CQT138 **アクセスは、N、R、U、A、C のいずれかである必要があります (ACCESS must be N, R, U, A or C)**

説明

付与するアクセス・レベルは、「NONE」の場合は N、「READ」の場合は R、「UPDATE」の場合は U、「ALTER」の場合は A、「CONTROL」の場合は C とする必要があります。

CQT139 **XXXXXXXXXXXXX 指定されたフィールドのデータが正しくありません。 (XXXXXXXXXXXXX The data in the specified fields is incorrect.)**

説明

TSO セグメントを更新しようとしていましたが、示されたフィールドのデータは「RACF コマンド言語解説書」の定義で許可されている文字に準拠していません。情報が正しいことを確認し、「RACF コマンド言語解説書」を確認してください。

CQT140 **TIMEOUT は、000 から 999 の範囲内にある必要があります (TIMEOUT must be in the range 000 - 999)**

説明

TIMEOUT パラメーターは、RACF 2.2 をインストールしていない限り、000 から 255 である必要があります。インストール後は、最大で 999 まで可能になります。これは、非アクティブのままではいられる分数であり、この時間を過ぎると CICS ユーザーはタイムアウトします。

CQT141 **無効な MEMBER 名です。(Invalid MEMBER name.) 有効な MEMBER 名を入力してください。**

説明

有効な MEMBER 名を入力してください。追加または削除しようとしている MEMBER 名の構文が有効ではありません。変更しようとしているリソース・クラスに有効な MEMBER 名については、「RACF コマンド言語解説書」を確認してください。

CQT142 **RESUMEDT/REVOKEDT は数値 (yyddd) であり、今日以降の日付である必要があります (RESUMEDT/REVOKEDT must be numeric (yyddd) and NOT prior to TODAY)**

説明

指定された RESUMEDT/REVOKEDT には、数字以外の文字が含まれているか、または過去の日付が指定されています。日付には、世紀を含めないでください。yy が 71 以降である場合、その年は 20 世紀 (19yy) であると解釈されます。取り消し日/再開日を削除するには、値 00000 を指定してください。

CQT143 **fieldname フィールドを更新する権限がありません (fieldname you are not authorized to update this field)**

説明

フィールド *fieldname* を更新するには、RACF 特殊属性か、または TOOLKIT.SPEC プロファイルへのアクセス権限が必要です。このマニュアルの RACF コマンドまたは API に関するセクションを参照してください。

CQT144 **削除する DATASET プロファイルを入力してください。(Enter dataset profile to be deleted.) 総称である場合は「Y」、そうでない場合は「N」を指定します。(Specify 'Y' if Generic, 'N' if not)**

説明

要求した関数を実行するために必要な情報を提供してください。

CQT145 **DATASET プロファイルの削除に失敗しました。(Delete of DATASET profile failed.) Ret/Reas = 00000000**

説明

指定された DATASET プロファイルの削除に失敗しました。これは、ユーザーに権限がない、あるいはデータ・セット・プロファイルが存在しないなどの、明白な状況によって発生したエラーではありません。最も考えられる原因は、データ・セット・プロファイルの重複です (00003800)。詳細については、RACROUTE 戻りコードおよび ICHEINTY 戻りコードを参照してください。

CQT146 **DATASET プロファイルは削除されました (DATASET profile has been deleted)**

説明

要求した操作は正常に完了しました。

CQT147 **DATASET プロファイルが存在しない**

説明

指定された DATASET プロファイルは、RACF データベース内で見つかりませんでした。したがって削除できません。

CQT148 **汎用グループを安全に削除できません (Universal groups cannot be deleted safely)**

説明

汎用グループでは、グループに接続されているすべてのユーザーのリストが維持されていません。このため、すべてのユーザーをこのグループから安全に削除するためには、RACF データベース全体をスキャンする必要があります。このスキャンにはかなりの時間がかかる場合があるため、汎用グループの削除は現在サポートされていません。IRRRID00 または類似のユーティリティーを使用すると、汎用グループを削除できます。

CQT149 **汎用グループ設定が無効です。Y/N を指定してください (Invalid setting for Universal group setting, Specify Y/N)**

説明

YでもNでもない文字を指定しました。グループが汎用グループであることを示すにはYを指定し、通常のグループであることを示すにはNを指定します。

CQT150 現在、モジュール *modname* のリフレッシュ中です (**Currently refreshing module *modname***)

説明

これは進行状況を示すメッセージで、モジュール *modname* の設定 *newcopy* を確認するために発行されます。

CQT151 サブタスクがまだアクティブです (**Subtasks still active**)

説明

アクティブな zSecure CICS Toolkit モジュールのリフレッシュ (*newcopy*) はサポートされていません。サブタスクを非アクティブ化してから、モジュールをリフレッシュしてください。

CQT152 **TermUacc 設定が無効です。Y/N を指定してください (Invalid setting for TermUacc setting, Specify Y/N)**

説明

YでもNでもない文字を指定しました。グループに TERMUACC 属性があることを示すにはYを指定し、NOTERMUACC 属性があることを示すにはNを指定します。

CQT153 固定グループから **IBMUSER** を削除することはできません (**Remove of IBMUSER from Fixed Groups is not allowed**)

説明

IBMUSER は、グループ SYS1、SYSCTLG、および VSAMDSET から削除できません。

CQT154 モジュール *modname* に対する *newcopy* の実行中にエラーが発生しました (**Error during newcopy of module *modname***)

説明

モジュール *modname* に対する *newcopy* 関数の実行中にエラーが発生しました。エラーの原因として考えられるのは、*modname* の定義が正しくないか存在しないこと、あるいはモジュールがアクティブ・タスクによってまだ使用されていることです。

CQT155 プログラム・モジュールがリフレッシュされました (**Program modules refreshed**)

説明

すべての zSecure CICS Toolkit モジュールがリフレッシュされました。RTST トランザクション自体のモジュール (プログラムおよびマップ) だけは変更されません。

CQT156 **CQTPDTCH が見つかりません (CQTPDTCH not found)**

説明

zSecure CICS Toolkit で使用されている MVS サブタスクをすべて切り離すには、CQTPDTCH プログラムが必要です。このプログラムが見つからなかったか、または CICS に定義されていません。

CQT157 **CQTPLT00 が見つかりません (CQTPLT00 not found)**

説明

zSecure CICS Toolkit で使用されている MVS サブタスクをすべて開始するには、CQTPLT00 プログラムが必要です。このプログラムが見つからなかったか、または CICS に定義されていません。

CQT158 **USRDATA が削除されました (USRDATA deleted)**

説明

選択した USRDATA 名前/値は、USER プロファイルから削除されました。

CQT159 **USRDATA が追加されました (USRDATA added)**

説明

画面に入力した USRDATA は、USER プロファイルに正常に追加されました。

CQT160 **USRDATA は重複しています。変更は無効です (USRDATA is duplicate, modify disabled)**

説明

USRDATA 名前フィールドが一意ではありません。zSecure CICS Toolkit は、一意でない USRDATA 名をサポートしません。このような名前と値は表示と削除だけが可能です。

CQT161 無効な機能コードです (**Invalid function code**)

説明

サブタスクに渡されたパラメーター領域に無効な機能コードがありました。この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CQT162 この関数に対する権限がありません
(You are not authorized for this function)

説明

要求した関数 (機能コードで示されている関数) は許可されません。

CQT163 **USRDATA が変更されました**
(USRDATA modified)

説明

画面に入力した USRDATA は、USER プロファイルで正常に変更されました。

CQT164 **USRDATA 値が見つかりません**
(USRDATA value not found)

説明

変更要求、表示要求、または削除要求において、選択した USER プロファイル内に USRDATA 名前/値が見つかりませんでした。

CQT165 この USRDATA に対する権限がありません
(You are not authorized for this USRDATA)

説明

USRDATA 名前/値の名前部分が、権限のない USRN.name プロファイルによって制御されています。

CQT166 **USRDATA の名前が無効です**
(Invalid name for USRDATA)

説明

無効な USRDATA 名が指定されました。有効な値を入力してください。

CQT167 **USRDATA の値が欠落しています**
(Missing value for USRDATA)

説明

USRDATA を追加、更新、または削除するときに、値が指定されませんでした。

CQT168 **USRDATA は重複しています、追加されません**
(USRDATA is duplicate, not added)

説明

zSecure CICS Toolkit では、複数の USRDATA 値を同じ名前を追加できません。USRDATA 名前/値の一意の名前を選択してください。

CQT169 **有効範囲外の USRDATA エントリーが抑止されました**
(USRDATA entries outside scope suppressed)

説明

この警告メッセージは、1 つ以上の USRDATA エントリーが抑止されたことを示すために発行されます。USRDATA エントリーの名前に対する権限が USRN.name プロファイルに定義されていない場合、そのエントリーは表示されません。

CQT170 **UID は既に割り当てられました**
(UID already assigned)

説明

OMVS UID の値を指定するときに、一意でない値を指定しました。他に少なくとも 1 人のユーザーがこの UID を既に持っています。権限があれば、SHARED フィールドに Y を指定して、SHARED UID を割り当てることができます。

CQT171 **共有 UID を割り当てる権限がありません**
(You are not authorized to assign shared UIDs)

説明

システム SPECIAL 属性を持っているか、または UNIXPRIV SHARED.IDS プロファイルへのアクセス権限を持っていることが必要です。必要な権限がないまま、SHARED UID を作成しようとしていました。

CQT172 **UID(0) の割り当ては許可されません**
(Assigning UID(0) not allowed)

説明

UID 値ゼロ (0) をユーザーに割り当てることができるのは、RACF システム SPECIAL 属性を持っている場合だけです。TOOLKIT.SPEC へのアクセス権限だけでは不十分です。

CQT173 **UID を自動的に割り当てることはできません**
(Cannot automatically assign UID)

説明

次に使用可能な UID を解決しているときに、予期しないエラーが発生しました。

CQT174 **BPX.NEXT.USER** を処理しているときに、エラーが発生しました(見つからないか、または構文エラー) **CODE (Error in processing BPX.NEXT.USER (not found, or syntax error) CODE)**

説明

FACILITY クラスで BPX.NEXT.USER プロファイルが見つからなかったか、またはその APPLDATA に UID の有効な指定が含まれていませんでした。

CQT175 **AUTOUID** を使用して新しい値を割り当てることができません (**Cannot use AUTOUID to assign new value**)

説明

このメッセージは現在発行されません。現在の SHARED UID に代わって AUTOUID を使用する RACF 機能が今後実装される場合のために予約されています。

CQT176 **BPX.NEXT.USER** プロファイルで **UID** 値が不足しています (**BPX.NEXT.USER profile has run out of possible UID values**)

説明

BPX.NEXT.USER プロファイルに UID の上限が指定されたか、または現在の UID が値 2147483647 に達しました。

CQT177 *segname* セグメントが削除されました (**segname segment deleted**)

説明

segname セグメントが正常に削除されました。

CQT178 ツールキットには、指定されたディレクトリーの **MKDIR** を実行する権限がありません (**Toolkit not authorized for MKDIR of specified directory**)

説明

CICS 領域用のユーザー ID には、ユーザー ID のホーム・ディレクトリーに対して **MKDIR** コマンドを実行するための十分な権限がありません。アクセスできないリソースを示す RACF 関連のエラー・メッセージについては、システム・ログ(または CICS 領域のジョブ・ログ)を参照してください。

CQT179 新規ディレクトリー用に指定されたパスは存在しません (**The specified path for the new directory does not exist**)

説明

ホーム・ディレクトリーに指定されているパスは存在しません。この原因として考えられるのは、入力データがすべて大文字に自動的に変換されたことや、パスの指定に入力ミスがあったことです。

CQT180 新規ディレクトリー用に指定されたパスにディレクトリーでないものが含まれています (**The specified path for the new directory contains a non-directory**)

説明

ホーム・ディレクトリー用に指定されたパスには、中間ディレクトリーの 1 つとして、ディレクトリーではなくファイルが含まれています。この原因として考えられるのは、パスの指定に入力ミスがあったことです。

CQT181 ツールキットは、**OMVS** 環境を開始できません。 **reas=reascode (Toolkit cannot start OMVS environment, reas=reascode)**

説明

zSecure CICS Toolkit サブタスクは、**MKDIR** コマンドに必要な **OMVS** 環境を確立できません。 *reascode* は、**OMVS** 環境をセットアップできなかった理由を示します。よく発生するコードは以下のとおりです。

00FA

CICS 領域用の現在のグループには、**OMVS** セグメントがありません

00FB

CICS 領域のユーザー ID には、**OMVS** セグメントがありません

00FC

CICS 領域のユーザー ID には、UID がありません

00FD

CICS 領域用の現在のグループでは、**OMVS** セグメントに **GID** が割り当てられていません。

理由コードの説明については、「*Unix System Services* メッセージおよびコード」を参照してください。

CQT182 ツールキットには、指定されたディレクトリーの **CHOWN** に対する権限がありません (**Toolkit not authorized for CHOWN of specified directory**)

説明

CICS 領域用のユーザー ID には、CHOWN コマンドを実行してホーム・ディレクトリーをユーザー ID に割り当てるための十分な権限がありません。アクセスできないリソースを示す RACF 関連のエラー・メッセージについては、システム・ログ(または CICS 領域のジョブ・ログ)を参照してください。

CQT183 **CICS セグメントの自動追加は現在ではサポートされていません (Automatic add of CICS segment no longer supported)**

説明

zToolkit バージョン 1.7 以降、新規ユーザーを追加するときに CICS セグメントを自動的に作成する機能はサポートされなくなりました。新規 ID で CICS セグメントが必要になる場合(ほとんどの USERID では必要ありません)は、ALTUSER 関数を使用して CICS セグメントを追加してください。

CQT184 **フィールド *fieldname* は、この RACF レベルではサポートされません (Field *fieldname* not supported on this RACF level)**

説明

現在のシステムにインストールされている RACF バージョンではサポートされないフィールドを更新しようとして、フィールドは更新されませんでした。他のフィールドへの更新は、完了しているものもあれば、完了していないものもあります。

CQT185 **新規フレーズは無効です。理由 =*reason* (The new phrase is invalid, reason=*reason*)**

説明

新規パスフレーズは、最小要件を満たしていません。*reason* で示される可能性がある値は、以下のとおりです。

Length

環境に応じて、パスフレーズの最小長は 9 文字または 14 文字です。

Chars

2 文字以上の英字と 2 文字以上の特殊文字が必須です。

Consec

3 文字以上同じ文字を続けることはできません

Userid

ユーザー ID をパスフレーズに含めることはできません。

CQT186 **予約済み (Reserved)**

CQT187 **RACF 障害。(RACF Failure.) SAF-RC=xxxx RAC-RC=xxxx RAC-RE=xxxx**

説明

RACF 要求が失敗しました。SAF 戻りコード、および RACF の戻りコードと理由コードが示されています。これらのコードの説明については、「RACF z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」を参照してください (RACROUTE REQUEST=EXTRACT)。

CQT188 **MKDIR は失敗しました。BPX-RV=xxxx BPX-RC=xxxx BPX-RE=xxxx**

説明

MKDIR 要求は失敗しました。BPX-RV は BPX1MKD 呼び出し可能サービスの戻り値 (FFFF)、BPX-RC は戻りコード、BPX-RE は理由コードです。戻りコードおよび理由コードの説明については、「Unix System Services メッセージおよびコード」を参照してください。

CQT189 **CHOWN は失敗しました。BPX-RV=xxxx BPX-RC=xxxx BPX-RE=xxxx**

説明

CHOWN 要求は失敗しました。BPX-RV は BPX1CHO 呼び出し可能サービスの戻り値 (FFFF)、BPX-RC は戻りコード、BPX-RE は理由コードです。戻りコードおよび理由コードの説明については、「Unix System Services メッセージおよびコード」を参照してください。

CQT190 **CSDATA が削除されました (CSDATA deleted)**

説明:

選択した CSDATA 名前/値が指定したプロファイルから削除されました。

CQT191 **CSDATA が追加されました (CSDATA added)**

説明:

入力した CSDATA 名前/値が指定したプロファイルに追加されました。

CQT192 **CSDATA が変更されました (CSDATA modified)**

説明:

入力した CSDATA 名前/値が指定したプロファイル内で更新されました。

CQT193 **CSDATA フィールドが見つかりません (CSDATA field not found)**

説明:

入力した CSDATA フィールドは指定したプロファイルに追加されません。

<p>CQT194 この CSDATA フィールドに対する権限がありません (You are not authorized for this CSDATA field)</p> <p>説明: この CSDATA フィールドは、ユーザーに権限がない CSDN.csdata-name プロファイル経由で制御されています。</p>	<p>CQT197 CSDATA フィールドは既に存在しています。追加されません (CSDATA field already exists, not added)</p> <p>説明: zSecure CICS Toolkit では、同じ CSDATA フィールドへの複数の CSDATA 値の追加はサポートされません。既存のフィールドの変更は、更新機能を実行する必要があります。</p>
<p>CQT195 CSDATA に対して無効なフィールド名です (Invalid field name for CSDATA)</p> <p>説明: 入力した CSDATA 名は指定したリソース・クラスには存在しません。</p> <p>ユーザーの処置: クラスに対して定義されている CSDATA フィールドの正しい名前を入力したことを確認してください。</p>	<p>CQT198 有効範囲外の CSDATA エントリーが抑止されました (CSDATA entries outside scope suppressed)</p> <p>説明: この警告メッセージは、1 つ以上の CSDATA エントリーが抑止されたことを示すために発行されます。CSDN.csdata-name プロファイル経由でユーザーに権限が付与されていない名前を持つ CSDATA エントリーは、表示されません。</p>
<p>CQT196 指定したプロファイルが見つかりません (Unable to locate specified profile)</p> <p>説明: 指定したプロファイルが見つかりません。</p> <p>ユーザーの処置: 正しいクラスとプロファイル名を入力したことを確認してください。DATASET プロファイルについては、タイプ・フィールドが正しく汎用標識または個別標識を指定していることを確認してください。</p>	<p>CQT199 このプロファイルに対する権限がありません (You are not authorized for this profile)</p> <p>説明: このプロファイルに対する権限がありません。プロファイルへのアクセスは、プロファイル所有者に基づきます。CSDx.owner (ここで、x はリソース・タイプを表す U、G、D、または R、owner はプロファイルの所有者です) へのアクセス権限を持っている必要があります。</p>

CQT メッセージ 200 から 299

<p>CQT200 クラスとプロファイルを入力してください (Enter class and profile)</p> <p>説明: クラスとプロファイルを必要とする機能を選択しました。</p> <p>ユーザーの処置: 既存のプロファイルのクラスと名前を入力してください。</p>	<p>フィールド値を指定してください。</p> <p>CQT202 CSDATA 値が切り捨てられました (CSDATA value truncated)</p> <p>説明: 既存の CSDATA フィールド値が 255 文字を超えています。このため、フィールド値が切り捨てられました。zSecure CICS Toolkit 経由でフィールドを更新すると、切り捨てられた値が使用され、残りの文字は失われます。</p>
<p>CQT201 CSDATA フィールドの値がありません (Missing value for CSDATA field)</p> <p>説明: CSDATA の追加または更新時に、フィールド値が欠落していました。追加または更新するには、フィールド名とフィールド値の両方が存在する必要があります。削除するために存在する必要があるのは、名前のみです。フィールド値は無視されます。</p> <p>ユーザーの処置:</p>	<p>CQT203 CSDATA 値が長すぎます (maxLength) (CSDATA value too long (maxLength))</p> <p>説明: 指定した CSDATA フィールド値が、カスタム・データ・フィールドを定義する CFIELD プロファイルの CFDEF セグメントに指定されている MAXLENGTH より長くなっています。</p>

CQT メッセージ 900 から 999

CQT900 **CQTPCNTL をロードできません
(Unable to load CQTPCNTL)**

説明

CQTPCNTL オプション・メンバーをロードしようとしたときに、エラーが発生しました。初期化は続行できません。CQTPCNTL が CICS に定義されており、DFHRPL を介してこれを使用できることを確認してください。

CQT901 **destid に書き込めません、終了しま
す (Unable to write to destid, exit)**

説明

CQTPCNTL オプション・メンバーに指定されている DESTID にメッセージを送信しようとしたときに、エラーが発生しました。初期化は続行できません。CQTPCNTL オプション・メンバーの DESTID の指定を確認してください。

CQT902 **初期化を開始しています (Starting
initialization)**

説明

このメッセージは、zSecure CICS Toolkit の初期化が開始されたことを示すために、指定された DESTID に書き込まれます。

CQT903 **CQTPCNTL の長さは無効です、終了
します (CQTPCNTL length invalid,
exit)**

説明

CQTPCNTL オプション・メンバーは、想定される長さではありません。初期化は続行できません。「IBM Security zSecure CICS Toolkit: ユーザー・ガイド」の「Defining parameters for zSecure CICS Toolkit」に記載された仕様に基づいて、CQTPCNTL を訂正してください。

CQT904 **登録されていません。(Not
registered?) 登録解除をスキップし
ます (Skip deregister)**

説明

zSecure CICS Toolkit 終了ルーチンは、製品が登録されていなかったと判断しました。登録は CICS 開始時に製品をアクティブ化する際の必須作業であるため、この状況にはならないはずで

CQT905 **zSecure CICS Toolkit を起動する権
限を確認しています (Check
authorization to start zSecure
CICS Toolkit)**

説明

このメッセージは、zSecure CICS Toolkit 初期化処理が zSecure CICS Toolkit サブタスクのインストール権限を確認していることを示すために発行されます。このメッセージの後に、メッセージ CQT981 が続くはずで

CQT906 **REQUEST=AUTH SAF RC=sr RACF
RC=rr RE=re**

説明

RACF 要求が、ゼロ以外の戻りコードで失敗しました。sr は SAF 戻りコード、rr は RACF 戻りコード、re は RACF 理由コードです。

代表的な戻りコードおよび理由コードは以下のとおりです。

rr=4 re=0	The FACILITY class is not active, or the profile TOOLKIT.SVC has not been defined.
rr=8 re=0	The CICS region userid does not have access to the TOOLKIT.SVC profile.

CQT907 **CICS Toolkit の登録に失敗しました
(Registration failed for CICS
Toolkit)**

説明

zSecure CICS Toolkit 初期化ルーチンは、製品を登録できませんでした。この状況になる原因として考えられるのは、IFAPRDxx にエントリがないことや、IFAPRDxx で設定が明示的に無効にされていることなどです。

CQT908 **zSecure CICS Toolkit はまだアクテ
ィブであるため、再起動されません
(zSecure CICS Toolkit still active,
not restarted)**

説明

zSecure CICS Toolkit 初期化ルーチンは、zSecure CICS Toolkit サブタスクがまだアクティブであることを検出しました。初期化は終了します。提供されている RTST トランザクションを介して zSecure CICS Toolkit サブタスクを明示的に停止してから開始することによって、この状況からリカバリーできる可能性があります。

CQT909 **zSecure CICS Toolkit は登録されま
せんでした (zSecure CICS Toolkit
was not registered)**

説明

zSecure CICS Toolkit は、PARMLIB のメンバー IFAPRDxx で明示的に無効にされていました。製品が指定されていないか、または ENABLED として指定されている場合、初期化は続行します。

CQT910 登録解除に失敗しました
(Deregister failed)

説明

zSecure CICS Toolkit 終了ルーチンは、製品を登録解除できませんでした。この状態は回避しなければなりません。

CQT911 サブタスクの切り離しが開始されま
す (Start detaching subtasks)

説明

この情報メッセージは、zSecure CICS Toolkit 終了ルーチンがすべての zSecure CICS Toolkit サブタスクを停止しようとしていることを示します。

CQT980 CQTPCNTL は CICS に定義されてい
ません (CQTPCNTL not defined to
CICS)

説明

インストール検証プログラムは、CQTPCNTL プログラムをロードできませんでした。CICS に正しく定義されていない可能性があります。

CQT981 サブタスクが接続されました
(Subtasks attached)

説明

zSecure CICS Toolkit サブタスクが接続されました。

CQT982 サブタスクが終了しました
(Subtasks terminated)

説明

zSecure CICS Toolkit サブタスクが終了しました。

CQT984 ACEE の削除に失敗しました
(Delete of ACEE failed)

説明

これは、重大な問題を示す内部エラー・メッセージです。これが発生することはないはずですが。

CQT994 zSecure CICS Toolkit インストール
検証 (zSecure CICS Toolkit
installation verification)

説明

CQTPCNTL パラメーターは現在検証されています。

現在、トランザクション RCHK を実行して、zSecure CICS Toolkit のインストールを検証しています。このメッセージは、DESTID パラメーターが有効であることを確認するために、このパラメーターに書き込まれます。

CQT998 APCT CRTKAPRM の異常終了
(Abend APCT CRTKAPRM)

説明

CQTPAPRM のロードに失敗しました。

CQTPAPRM の定義を参照して、それが正しく定義されていることと、そのモジュールが DFHRPL を介して使用できることを確認してください。

CQT999 エラー・メッセージ・テーブル
(CQTPMSGE) が見つかりません。
(Unable to locate the error
message table (CQTPMSGE).) CICS
ジョブ・ログを確認してください
(Check CICS job log)

説明

エラー・メッセージ・テーブル CQTPMSGE が見つかりませんでした。

CQTPMSGEE の定義を参照して、それが正しく定義されていることと、そのモジュールが DFHRPL を介して使用できることを確認してください。CQTPMSGE のアドレスは、CQTPAPRM に格納されています。CQTPAPRM が常駐するように定義されていることと、CQTPMT00 が起動時に PLTPI プログラムとして稼働したことを確認してください。

第 10 章 C2P メッセージ

C2P メッセージは、zSecure Alert アドレス・スペースと zSecure Admin アクセス・モニター・アドレス・スペースの両方から発行されます。メッセージ ID では C2P $nnnX$ という形式を使用します。これらのプログラムによって発行されるメッセージは、メッセージ ID の a の位置に数字ゼロ (0) または 8 を使用します。それ以外の値は、WTO 形式を使用するアラートの場合に zSecure Alert によって使用されるのみです。可能な値は以下のとおりです。

- 1 事前定義 RACF アラート
- 2 事前定義 ACF2 アラート
- 3 事前定義 TSS アラートのために予約済み
- 4 インストール定義 RACF アラート
- 5 インストール定義 ACF2 アラート
- 6 インストール定義 TSS アラート

メッセージ ID の X は重大度レベルを示します。次のような値をとります。

- D** デバッグ・メッセージ。アクションは不要です。
- I** 通知メッセージ。
- W** 警告メッセージ。タスクは続行されますが、エラーが発生しました。
- E** エラー・メッセージ。タスクはすぐに終了する場合もあれば、続行を試みる場合もあります。
- S** 重大なエラー・メッセージ。
- A** アクション・メッセージ。状態を修正するには、オペレーターの操作が必要です。

事前定義のアラート・メッセージ (C2P1 $nnnI$ 、C2P2 $nnnI$ 、および C2P3 $nnnI$) では、常に **I** の重大度レベル標識を使用します。インストール定義のアラート・メッセージ (C2P4 $nnnX$ 、C2P5 $nnnX$ 、および C2P6 $nnnX$) では、**A** の重大度レベル標識を使用しません。アドレス・スペースによって発行されるメッセージ (C2P $nnnX$) では、現在のところ、**D** の重大度レベル標識を使用しません。

以下のジョブ・ステップ完了コードは、zSecure Alert 開始タスクおよび zSecure Admin アクセス・モニター開始タスクが使用します。

- 0** タスクは正常に完了しました。エラーは発生していません。
- 4** タスクは完了しましたが、1 つ以上の警告が出ています。
- 8** タスクは完了しましたが、エラーが発生しました。現在、これには、ライセンス・コードの問題およびタスクがすでにアクティブになっている状態が含まれています。
- 12** タスクは完了しましたが、重大エラーが発生しました。最も可能性が高い原因は、構成エラーです。

プログラムの実行を妨げる重大な内部エラーが発生しました。

この章での残りの部分では、メッセージをサブセクションにグループ化して、メッセージの説明と実行できるアクションと共にリストします。

C2P メッセージ 0 から 999 (zSecure の開始タスク)

関連情報

[C2P メッセージ 1000 から 1999 \(事前定義 RACF アラート\)](#)

[C2P メッセージ 2000 から 2999 \(事前定義 ACF2 アラート\)](#)

[C2P メッセージ 4000 から 6999 \(インストール定義アラート\)](#)

このメッセージ範囲は、インストール定義アラート用に予約されています。

[C2P メッセージ 8000 から 8999](#)

C2P0100A	<i>product-name</i> はアクティブではありません	説明 これは、開始オプションとしての DEBUG の使用を確認する通知メッセージです。
説明	このメッセージは、 <i>product-name</i> が停止したときに発行されます。	C2P0104I STOP コマンドを受信しました (Received STOP command)
ユーザーの処置	このメッセージの前にある C2P メッセージに問題が示されている場合は、その問題を解決してから、再始動してください。	説明 これは、zSecure Alert の処理をシャットダウンするための STOP コマンドの使用を確認する通知メッセージです。
C2P0101E	C2PCLEAN からのエラー戻りコード <i>retcode</i> (Error return code from C2PCLEAN <i>retcode</i>)	C2P0105I コマンド <i>modify</i> コンソール・コマンドのテキスト部分を受信しました (Received command text portion of <i>modify</i> console command)
説明	このメッセージは内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。問題レコードを作成して、エラー・メッセージの完全なリストをご提示ください。	説明 これは、オペレーター・コンソール・コマンドを受信したことを確認する通知メッセージです。
C2P0102I	開始オプション FORCE が指定されました (Start option FORCE specified)	C2P0106I <i>product-name</i> のオプションおよび状況 (<i>product-name</i> options and status)
説明	これは、開始オプションとしての FORCE コマンドの使用を確認する通知メッセージです。	説明 このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドの結果として表示される一連のメッセージの先頭のものであります。
C2P0103I	開始オプション DEBUG が指定されました (Start option DEBUG specified)	C2P0107I BufSize (K バイト) <i>bufsize</i>
説明		説明 このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 <i>bufsize</i> は、収集された SMF レコードおよび WTO メッセージを保存するために使用されるメモリー内バッファのサイズです。

C2P0108I **BufUsed (K バイト) *bufused*
(BufUsed (Kbytes) *bufused*)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *bufused* は、アクティブなメモリー内バッファで現在使用されているキロバイト数です。

C2P0109I **レポート・インターバル (秒) *interval*
(Report Interval (sec) *interval*)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *interval* は、短期の即時分析に使用するインターバル (秒数) です。

C2P0110I **データ・バッファの数 *numbufs*
(Number of data buffers is
numbufs)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *numbufs* は、収集された SMF レコードに使用可能なバッファの数です。これらのバッファの 1 つがアクティブなバッファで、その他のバッファには時間平均分析に使用する古いレコードが入る場合があります。

C2P0111I **現行バッファ索引は *bufindex* で
す (Current buffer index is
bufindex)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *bufindex* は、レコードの収集に使用される現在アクティブになっているバッファの番号です。

C2P0112I **バッファ索引の問題が発生しまし
た (Buffer Index problem
occurred)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。直前の *interval* 期間に、SMF レコード収集ルーチンが問題を検出しました。 *bufindex* が、SMF レコードの収集に使用可能なバッファを指していませんでした。この状態は回避しなければなりません。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の

『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。通常は、次の *interval* でシステムはリカバリーします。メッセージ C2P0303E も複数回出ている場合、これは自動リカバリーが失敗したことを示していることがあります。追加情報については、メッセージ C2P0303E を参照してください。

C2P0113I **バッファ・オーバーフローが発生
しました (Buffer Overflow
occurred)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。直前の *interval* 期間に、SMF レコード収集ルーチンが問題を検出しました。アクティブ・バッファに、現行の SMF レコードを収容できる十分なスペースが残っていませんでした。バッファには使用不可のフラグが立てられています。この状態が起こる可能性があるのは、指定されたバッファ・サイズが小さい場合、レポートの *interval* が長い場合、FILTER オプションを使用して SMF レコードの数を削減していない場合、または予期せぬシステム・アクティビティの結果として大量の SMF レコードが生成されている場合です。

ユーザーの処置

可能なりカバリー・アクションについて、メッセージ C2P0304E を参照してください。

C2P0114I **バッファのロック問題が発生しま
した (Buffer Locking problem
occurred)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。バッファが長い期間使用中になっていたために、直前の *interval* 期間に SMF レコード収集ルーチンまたは分析ルーチンがバッファにアクセスできませんでした。SMF レコードが収集されなかったか、バッファ内容の分析が取り消されました。これは、ごくまれにしか起こらない状態であればなりません。

ユーザーの処置

この状態が起こった場合は、可能なりカバリー・アクションについてメッセージ C2P0305E を参照してください。

C2P0115I **SMF フィルター *status* (SMF Filter
status)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。これは、すべてのアクティブな SMF フィルターについて繰り返され

ます。値 `status` のフォーマットは、以下のいずれかで
す。

- `Rectype(record-type)`
- `Rectype(record-type) Subtype(subtype)`
- `Rectype(record-type) All subtypes`

`record-type` の値は、SMF レコード・タイプを表します。
SMF タイプ 30 のレコードの場合、`subtype` はサブタイ
プを表します。RACF レコードの場合、これは RACF イ
ベント・コードを表します。ACF2 イベントの場合、サ
ブタイプは数字フォーマットと文字フォーマットの両
方 (例えば 196/D) で表示されます。

C2P0116I **WTO フィルター接頭部 (*prefix*)
(WTO Filter Prefix (*prefix*))****説明**

このメッセージは、コンソール・オペレーターの
DISPLAY コマンドへの応答の一部です。`prefix` の値は、
それ以降の処理のために選択される WTO メッセージ
ID の先頭部分の文字を表します。

C2P0117E **データ処理 MGR 接続エラー、RC=*rc*
(Error attaching data processing
MGR, RC=*rc*)****説明**

独立データ処理タスクを接続する際に、システム・エラ
ーが発生しました。ATTACH エラー・コードは `rc` です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージ
に関連付けられた使用可能な保守を探してください。
該当する保守が見つからない場合は、866 ページの
『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従っ
て問題を報告してください。完全なエラー・メッセージ
を報告してください。

C2P0118E **WTO 収集タスク接続エラー、RC=*rc*
(Error attaching WTO Capture
Task, RC=*rc*)****説明**

独立データ収集タスクを接続する際に、システム・エラ
ーが発生しました。ATTACH エラー・コードは `rc` です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージ
に関連付けられた使用可能な保守を探してください。
該当する保守が見つからない場合は、866 ページの
『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従っ
て問題を報告してください。完全なエラー・メッセージ
を報告してください。

C2P0119I **C2PIORTN ルーチンをロケーション
address にロードしました (Loaded
C2PIORTN routine at location
address)****説明**

この診断メッセージは、収集されたデータを
CKRCARLA 分析タスクに渡すために使用する
C2PIORTN モジュールの `address` を表示します。

C2P0120W **不明なコマンド (Unknown
command)****説明**

メッセージ C2P0105I に示されているコンソール・オペ
レーター・コマンドは、製品の有効なコンソール・オペ
レーター・コマンドとして認識されませんでした。

ユーザーの処置

実行しようとしていたコマンドの正しい構文とスペル
を確認してください。

C2P0121E **タスクは APF 許可されていません。
終了します (Task is not APF
authorized, exit)****説明**

このタスクは APF 許可を受けていません。正常に実行
するためには、APF 許可が必要です。

ユーザーの処置

モジュールのロード元の APF 許可ライブラリーに APF
許可のマークが付いていることを確認してください。
STEPLIB を使用している場合、連結内のすべてのライ
ブラリーが APF 許可されていることを確認してくださ
い。

C2P0122E **CKFREEZE MGR タスク接続エラー、
RC=*rc* (Error attaching CKFREEZE
MGR Task, RC=*rc*)****説明**

独立 zSecure Collect 管理タスクを接続する際に、シス
テム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コード
は `rc` です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージ
に関連付けられた使用可能な保守を探してください。
該当する保守が見つからない場合は、866 ページの
『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従っ
て問題を報告してください。完全なエラー・メッセージ
を報告してください。

C2P0123E **C2PINIT からのエラー戻りコード
retcode (Error return code from
C2PINIT retcode)**

説明

このメッセージは内部エラーを示します。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。問題レコードを作成して、エラー・メッセージの完全なリストをご提示ください。

C2P0124E **C2PIORTN ルーチンをロードでき
ませんでした abendcde-reascde
(Could not load C2PIORTN routine
abendcde-reascde)**

説明

データを分析タスクに渡すために使用する C2PIORTN モジュールを見つける際に問題が発生すると、このエラー・メッセージが発行されます。システム異常終了コードは *abendcde* で、理由コードは *reascde* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置

C2PIORTN モジュールが APF 許可された STEPLIB 内、または LINKLIST 内に存在していることを確認してください。このモジュールが存在している場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。 *abendcde* および *reascde* の値を含むエラー・レポートを作成してください。

C2P0125I **平均化期間 (秒) timeaverage
(Averaging Period (sec)
timeaverage)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *timeaverage* は、時間平均分析に使用するインターバル (秒数) です。

C2P0126I **プリプロセッシング・タスク・イン
ターバル (分) refreshtime
(Preprocessing task interval is
(min) refreshtime)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *refreshtime* は、システム環境情報の更新間のインターバル (分) です。

C2P0127I **メイン・レポート・メンバー member
(Main Report member member)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *member* は、収集されたレコードの分析に使用するメイン (1 次) CARLa コマンドが入っているメンバーの名前です。

C2P0128I **レポート DD 名 ddname (Report
DDName ddname)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *ddname* は、レコード分析に使用する *member* が入っているファイルの名前です。

C2P0129I **システム・データの収集開始時刻
time (System data collection start
time istance)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *time* は、システムの CKFREEZE 更新タスクがアクティブ化される現地時間です。

C2P0130E **ESTAEX からのエラー戻りコード、
RC=rc (Error return code from
ESTAEX, RC=rc)**

説明

異常終了出口ルーチンを指定する際に、システム・エラーが発生しました。エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0131I **サブタスクの終了待ちです (Waiting
for subtasks to terminate)**

説明

タスクを正常に停止する間に、サブタスクが正常に停止できるようにするための短い待ち時間があります。この待ち時間が終わるとサブタスクは強制終了されます。

C2P0132I **サブタスクの終了待ちです (Waiting
for subtasks to terminate)**

説明

製品の再始動時には、再始動の前にサブタスクが正常に終了できるようにするための短い待ち時間があります。この待ち時間が終わるとサブタスクは強制終了されません。

C2P0133E プリプロセッシング MGR 接続エラー、RC=rc (Error attaching preprocessing MGR, RC=rc)

説明

必要な CARLa ステートメントのプリプロセスに使用するマネージャー・タスクの接続時に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを含む問題報告書を作成してください。

C2P0134I バージョン C2P version

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。C2P version は、アクティブ・プログラムのバージョン標識です。

C2P0135I プリプロセッシング CARLa メンバー member (Preprocessing CARLa member is member)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。member は、分析時に使用するシステム依存の CARLa 選択ステートメントを生成するために使用する CARLa コマンドが入っているメンバーの名前です。

C2P0136I データ処理 MGR を正常に接続しました (Successfully attached data processing MGR)

説明

この診断メッセージは、独立データ処理タスクが正常に開始された後で発行されます。

C2P0137I WTO 収集タスクを正常に接続しました (Successfully attached WTO Capture task)

説明

この診断メッセージは、独立 WTO 収集ルーチンが正常に開始された後で発行されます。

C2P0138I プリプロセッシング MGR タスクを正常に接続しました (Successfully attached preprocessing MGR Task)

説明

この診断メッセージは、プリプロセッシング・マネージャー・タスクが正常に開始された後で発行されます。

C2P0139I CKFREEZE MGR タスクを正常に接続しました (Successfully attached CKFREEZE MGR Task)

説明

この診断メッセージは、CKFREEZE マネージャー・タスクが正常に開始された後で発行されます。

C2P0140I C2PC 領域は C2PC-address にあります (C2PC area located at C2PC-address)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。使用される ECSA 通信域は、アドレス C2PC-address にあります。

C2P0141I 拡張バッファが使用されました (Extended buffer used)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。直前の interval 期間中に、SMF レコード収集ルーチンが、アクティブ・バッファに現行 SMF レコードを収容できる十分なスペースが残っていないことを検出しました。バッファ・プールから追加バッファが使用されました。この状態が起こる可能性があるのは、指定されたバッファ・サイズが小さい場合、レポートの interval が長い場合、FILTER オプションを使用して SMF レコードの数を削減していない場合、または予期せぬシステム・アクティビティの結果として大量の SMF レコードが生成されている場合です。

ユーザーの処置

このメッセージは必ずしもエラー状態を示すわけではありません。この状態が頻繁に起こる場合は、DEBUG BUFFER コマンドを使用して現在のバッファ使用状況を調査してください。この状態が起こらないようにするために、バッファ・サイズ (bufsize) を大きくするか、レポート・インターバル (interval) を小さくすることを検討してください。

C2P0142I CKFREEZE 収集タスクはアクティブです (CKFREEZE collection task is active)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。DISPLAY コマンドを実行した時点で、zSecure Collect タスクがアクティブであることが検出されました。このタスクは、*collecttime* の時点、またはオペレーターの COLLECT コマンドの結果として開始されます。

C2P0143I Stage-1 CKRCARLA タスクはアクティブです (Stage-1 CKRCARLA task is active)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。DISPLAY コマンドを実行した時点で、stage 1 CKRCARLA タスクがアクティブであることが検出されました。このタスクは、*stage1interval* 秒ごとに開始されます。

C2P0144I CKFREEZE 収集の開始タスク名は *stc-name* です (CKFREEZE collection started task name is *stc-name*)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。zSecure Collect ルーチンに使用されるシステム proclib のプロシージャ・メンバーの名前は *stc-name* です。

C2P0145I データ収集タスクの再始動がスケジュールされました (Restart scheduled for data collection tasks)

説明:

このメッセージは、オペレーターの REFRESH コマンドの結果として、インターバルの最後に Stage 1 CARLa タスクおよびレポート作成タスクが再始動されることを示しています。メッセージ C2P0509I は、REFRESH 要求の完了を示します。

C2P0146I CKFREEZE 収集タスクの再始動がスケジュールされました (Restart scheduled for CKFREEZE collection task)

説明

このメッセージは、CKFREEZE 収集タスクが開始されることを示すために発行されます。その他のタスクは実行を続けますが、CKFREEZE 収集タスクが完了するまでは再開できません。CKFREEZE 収集タスクが完了した後、正常な操作が続行されます。

C2P0147E CKFREEZE 収集タスクは既にアクティブです。コマンドは無視されます。(CKFREEZE collection task already active, command ignored)

説明

このメッセージは、CKFREEZE 収集タスクが既にアクティブになっていることを示すために発行されます。複数の CKFREEZE 収集タスクの同時実行はサポートされていません。COLLECT コマンドは無視されます。

C2P0148I レポート DS 名 *dsname* (Report DSName *dsname*)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。*dsname* は、メッセージ C2P0128I に示されているレポートの DD 名に割り振られたデータ・セットの名前です。

C2P0149I 表示の終了 (End of display)

説明

これは、C2P0106I で開始されたメッセージ・ブロックの最終行です。

C2P0150E 製品登録に問題が発生しました。C2PDEBUG を参照してください。(Product registration problem, see C2PDEBUG)

説明

製品の登録時に問題が発生しました。

ユーザーの処置

C2PDEBUG ファイルで詳細なエラー・メッセージを確認してください。正しい製品がご使用の IFAPRDxx parmlib メンバーで使用不可になっていないことを確認してください。

C2P0151E 制御ブロック・エラーです。終了します。(Control Block error, exit)

説明

内部整合性検査時に、メイン制御ブロックの破損が検出されました。これは始動時に検出されたため、制御ブロックは直前の実行時に作成されたと思われます。この状態は回避しなければなりません。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従っ

て問題を報告してください。START コマンドの FORCE キーワードを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0152E **タスクは既にアクティブになっています (Task already active)**

説明

環境の検査時に、*product-name* が既にアクティブになっていることが検出されました。現行タスクは終了します。

ユーザーの処置

このメッセージが誤って発行されている場合 (つまり、システム内で *product-name* の他のインスタンスがアクティブになっていない場合) は、FORCE 始動オプションを使用してこの状態からリカバリーできる可能性があります。このような状態は、FORCE オペレーター・コマンドを使用してタスクの直前のインスタンスを停止した結果として起こることがあります。

C2P0153E **強制再始動を実行できません (Force restart not possible)**

説明

開始タスクの前のインスタンスがまだアクティブなときに FORCE 始動オプションを使用して *product-name* を始動しようとする、このエラー・メッセージが発行されます。製品の 2 つのインスタンスを同時に実行することはできません。

C2P0154I **前の実行が検出されました (Previous execution detected)**

説明

この通知メッセージは、システムの IPL 以降に、製品が前にも実行されたことを検出したことを示します。これは、前の実行から一部のリソースが再使用されることを示します。これは主として共通通信域およびリンクエーجز索引 (LX) に関連しています。

C2P0155I ***address* の C2PC 域を再使用します (Reuse C2PC area at *address*)**

説明

この診断メッセージは、開始タスクの前のインスタンスから再使用される共通通信制御ブロック (C2PC) のアドレスを提供するために発行されます。

C2P0156I ***address* で C2PC ストレージを取得しました (Obtained C2PC storage at *address*)**

説明

この診断メッセージは、作成される新しい共通通信制御ブロック (C2PC) のアドレスを提供するために発行されます。

C2P0157E **IEANTCR からのエラー戻り、RC=*rc* (Error return from IEANTCR, RC=*rc*)**

説明

共通通信制御ブロック (C2PC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの作成時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *rc* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。rc を含むエラー・レポートを作成してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0158E **IEANTRT からのエラー戻り、RC=*rc* (Error return from IEANTRT, RC=*rc*)**

説明

共通通信制御ブロック (C2PC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの取得時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *rc* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。rc を含むエラー・レポートを作成します。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0159E **内部エラー。終了します。(Internal error, terminate)**

説明

共通通信制御ブロック (C2PC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの取得時に、詳細不明なエラーが発生しました。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0160E **IKJTSOEV からのエラー戻り、RC=rc (Error return from IKJTSOEV, RC=rc)**

説明

コマンドの解釈と実行に必要な TSO 環境の初期化時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *rc* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。*rc* を含むエラー・レポートを作成します。

C2P0161I **新規バッファを割り振ります (Allocated New Buffer)**

説明

この診断メッセージは、新規バッファが割り振られることを示すために発行されます。新規バッファを取得する場所は、メッセージ C2P0162I に示されます。

C2P0162I **アドレス *address***

説明

この診断メッセージは、取り込んだ SMF レコードの収集に使用するメモリー内バッファのアドレスを提供するために発行されます。これは、メッセージ C2P0161I の論理的な継続メッセージです。

C2P0163W ***ddname* バッファ・レコードが無効です (*ddname* Invalid buffer record)**

説明

このメッセージは、常に、3つのメッセージからなるブロックで発行されます。最初のメッセージはヘッダー・メッセージであり、ストレージ内データ・バッファからレコードを読み取ったプロセスで無効なレコードが検出されたことを示しています。後に続くメッセージは、レコードが予期されていたストレージ域の内容を示します。レコードが無効である理由として最も可能性が高いのは、そのレコードを作成したユーザー・タ

スクがレコードの作成を終了しなかったことです。このメッセージが発行されるのは、DEBUG BUFFER がアクティブな場合のみです。

このメッセージ・フォーマットは、ヘッダー・メッセージを示します。変数 *ddname* は、CARLa 照会で使用される DD 名を表します。

C2P0163W ***c2pio_stream=value1*
*c2p_stream=value2***

説明

このメッセージは、常に、3つのメッセージからなるブロックで発行されます。最初のメッセージはヘッダー・メッセージであり、ストレージ内データ・バッファからレコードを読み取ったプロセスで無効なレコードが検出されたことを示しています。後に続くメッセージは、レコードが予期されていたストレージ域の内容を示します。レコードが無効である理由として最も可能性が高いのは、そのレコードを作成したユーザー・タスクがレコードの作成を終了しなかったことです。このメッセージが発行されるのは、DEBUG BUFFER がアクティブな場合のみです。

このメッセージ・フォーマットは、レコードのタイプの予期された値、およびそのレコード・タイプの実際の値を示します。

C2P0163W **16 進レコード・データ (*hex record data*)**

説明

このメッセージは、常に、3つのメッセージからなるブロックで発行されます。最初のメッセージはヘッダー・メッセージであり、ストレージ内データ・バッファからレコードを読み取ったプロセスで無効なレコードが検出されたことを示します。後に続くメッセージは、レコードが予期されていたストレージ域の内容を示します。レコードが無効である理由として最も可能性が高いのは、そのレコードを作成したユーザー・タスクがレコードの作成を終了しなかったことです。このメッセージが発行されるのは、DEBUG BUFFER がアクティブな場合のみです。

このメッセージ・フォーマットは、レコードが予期されていたストレージ内のデータ 16 進表現を示します。

C2P0164I **TRANSWAP が終了しました (TRANSWAP done)**

説明

この診断メッセージは、製品のタスクがスワップ不可に正常に移行したことを通知するために発行されます。これは、システム内のすべてのタスクから SMF レコードを取り込むために必要です。

C2P0165I **新規 LX が必要です (Need a new LX)**

説明

この診断メッセージは、既存の LX が検出されなかったことを示します。新規のシステム・リンケージ索引 (LX) が割り振られます。システム LX は、再要求不可の重要なシステム・リソースで、1 回だけ発行できます。システム IPL 後の最初の始動時に、新規システム LX が必要になります。新規システム LX は、開始タスクの後続インスタンスが将来再利用できるように保存されます。

C2P0166I **LX lc を取得しました (Obtained LX lc)**

説明

この診断メッセージは、割り振られた新規システム・リンケージ索引 (LX) の番号を示します。この索引は、開始タスクの後続インスタンスが将来再利用できるように保存されます。

C2P0167I **既存の LX が見つかりました (Found existing LX)**

説明

この診断メッセージは、開始タスクの以前のインスタンスから LX が検出されたことを示します。その既存のシステム・リンケージ索引 (LX) が再使用されます。システム LX は、再要求不可の重要なシステム・リソースで、1 回だけ発行できます。

C2P0168I **LX は LX です (LX was LX)**

説明

この診断メッセージは、使用される既存のシステム・リンケージ索引 (LX) の番号を示します。これはメッセージ C2P0167I の論理継続です。

C2P0169I **新規 ET が必要です (Need a new ET)**

説明

この診断メッセージは、プログラム呼び出し定義を含む新規エントリー・テーブルが作成されることを示すために、初期化時に発行されることがあります。エントリー・テーブルは、タスクの終了時にシステムに返されます。

C2P0170I **ET token を取得しました (Obtained ET token)**

説明

この診断メッセージは、作成された ET の token を示します。

C2P0171I **既存の ET が見つかりました (Found existing ET)**

説明

この診断メッセージは、初期化時に既存のエントリー・テーブル (ET) を検出した場合に発行されることがあります。その既存の ET が再使用されます。正常なタスク終了時には ET はシステムに返される必要があるため、これは発生してはならないメッセージです。

C2P0172I **ET は token です (ET was token)**

説明

この診断メッセージは、開始タスクの以前のインスタンスから検出された ET の token を示します。これは、メッセージ C2P0171I の論理継続メッセージです。

C2P0173E **IEANTCR からのエラー戻り、RC=rc (Error return from IEANTCR, RC=rc)**

説明

SMF レコード収集ルーチンに情報を提供するために使用する名前付きトークンの作成時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは rc です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。rc を含むエラー・レポートを作成します。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0174I **詳細情報 flags-retcode-reascode (Detail info flags-retcode-reascode)**

説明

これは、メッセージ C2P0193I から継続する 2 次メッセージです。これは、障害の理由を診断する際の助けとなる追加診断情報を提供します。

C2P0175I **アクティブな SMF フィルターはありません (No SMF filter active)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。SMF レコードに対するフィルター基準が指定されていない場合に、このメッセージが発行されます。

C2P0176I **CKRCARLA ルーチンを address の位置にロードしました (Loaded CKRCARLA routine at location address)**

説明

この診断メッセージは、収集されたデータの分析に使用する CKRCARLA ルーチンの *address* を示します。

C2P0177E **CKRCARLA ルーチンをロードできませんでした *abendcde-reascde* (Could not load CKRCARLA routine *abendcde-reascde*)**

説明

収集されたデータの分析に使用する CKRCARLA モジュールを見つける際に問題が発生すると、このエラー・メッセージが発行されます。システム異常終了コードは *abendcde* で、理由コードは *reascde* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置

モジュール CKRCARLA が APF 許可された STEPLIB 内、または LINKLIST 内に存在していることを確認してください。このモジュールが存在している場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。 *abendcde* および *reascde* の値を含むエラー・レポートを作成してください。

C2P0178I ***product_name version* が正常に初期化されました (*product_name version initialization successful*)**

説明

product_name タスクの初期化が正常に完了しました。値 *version* は、アクティブになっている *product_name* のバージョンを示します。

C2P0179I **動的 SMF 出口 *SMF-Exitname* がアクティブ化されました (Activated Dynamic SMF exit *SMF-Exitname*)**

説明

この診断メッセージは、初期化処理の進行標識として発行されます。

C2P0180E ***SMF-Exitname* の追加時にエラーが発生しました。RC=*retc-reas* (Error adding *SMF-Exitname* RC=*retc-reas*)**

説明

MVS 動的出口機能を使用して SMF 出口を追加中に、システム・エラーが発生しました。CSVDYNEX サービス・ルーチンの戻りコードは *retc* で、理由コードは *reas* です。

C2P0181E **C2PC のバージョンが正しくありません (C2PC Incorrect version)**

説明

製品の前の実行時に C2PC 制御ブロックに記録された *product_name* バージョンが、製品の現行バージョンに一致しません。このバージョンの C2PC 制御ブロックは使用できません。実行タスクの実行は終了します。

ユーザーの処置

この状態は通常の操作では起こりません。これは、ほとんどの場合、開始タスクの前のインスタンスを適切にシャットダウンせずに、製品コードをアップグレードしたことが原因です。制御ブロックの破壊的なオーバーレイが原因の場合もあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0182I **強制再始動 (Force restart)**

説明

これは、FORCE オプションを使用して以前のリカバリー不能エラーからリカバリーすることを確認するために、初期化時に発行される通知メッセージです。これは、FORCE オプションを使用して直前の「バージョンが正しくありません (Incorrect version)」エラーをバイパスした場合に表示されます。

C2P0183E **C2PC の長さが正しくありません (C2PC Incorrect length)**

説明

内部整合性検査の際、*product_name* プログラムが、C2PC 制御ブロックの長さが正しくないことを検出しました。このバージョンの C2PC 制御ブロックは使用できません。実行タスクの実行は終了します。

ユーザーの処置

この状態は通常の操作では起こりません。考えられる原因は、製品コードをアップグレードしたときに開始タスクの前のインスタンスが適切にシャットダウンされなかったことです。制御ブロックの破壊的なオーバーレイが原因の場合もあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0184I **強制再始動 (Force restart)**

説明

これは、FORCE オプションを使用して以前のリカバリー不能エラーからリカバリーすることを確認するために、初期化時に発行される通知メッセージです。これは、FORCE オプションを使用して直前の「長さが正しくありません (Incorrect length)」エラーをバイパスした場合に表示されます。

C2P0185I 前の ASIDX *asid* (Previous ASIDX *asid*)

説明

これは、C2PC 制御ブロックを初期化した開始タスクの最後のインスタンスのアドレス・スペース ID (ASID) の 16 進数表記を示す診断メッセージです。これは、前のタスクが正しくシャットダウンされなかった場合、または開始タスクのインスタンスがまだアクティブである場合に、デバッグ・モードでのみ発行されます。

C2P0186I ASCB アドレス *address* (ASCB Address *address*)

説明

これは、メッセージ C2P0185I に示された ASID に対応する、システム・アドレス・スペース・ベクトル・テーブル内の項目の 16 進数表現を示す診断メッセージです。前のタスクが正しくシャットダウンされなかった場合、または開始タスクの別のインスタンスがまだアクティブである場合に、このメッセージがデバッグ・モードでのみ発行されます。

C2P0187E タスクがまだアクティブです (Task is still active)

説明

C2PC 制御ブロックを初期化した開始タスクの最後のインスタンスが、システム内でまだアクティブになっています。同時にアクティブにできるのは、製品の 1 インスタンスのみです。現行インスタンスは終了します。

C2P0188I 不適切なシャットダウンが検出されました。クリーンアップを試行中です。(Improper shutdown detected, attempting cleanup)

説明

C2PC を初期化した開始タスクの最後のインスタンスが、その終了を示すマークを C2PC 制御ブロックに設定できませんでした。原因としては、プログラム・エラーか、直前のタスク・インスタンスの終了に STOP コマンドを使用しなかった可能性があります。

ユーザーの処置

STOP コマンドを使用して開始タスクを終了してください。STOP コマンドを実行しても開始タスクが終了

しない場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0189E 出口 *exitname* がサブシステム *subsystem name* に指定されていません (Exit *exitname* not specified for subsystem *subsys*)

説明

PARMLIB 内の SMF パラメーター・メンバーで、サブシステム *subsys* で SMF 出口 *exitname* を呼び出すことが指定されていませんでした。その結果、zSecure Alert は、このサブシステムの一部の SMF レコードを収集できません。一部のアラート状態では正しいアラートが生成されない可能性があります。

ユーザーの処置

z/OS 2.2 以下では、SYS、および SMF parmlib メンバー内のすべてのサブシステムについて、出口 IEFU83、IEFU84、および IEFU85 が指定されていることを確認してください。z/OS 2.3 以上では、出口 IEFU86 が指定されていることを確認してください。z/OS 2.3 以上で IEFU86 が指定されていない場合、出口 IEFU83、IEFU84、および IEFU85 はフォールバックとして使用されます。その結果、特定のイベント条件が欠落する可能性があります。SET SMF コマンドでこれらの出口ルーチンを動的にアクティブ化する場合は、zSecure Alert RESTART コマンドを使用して、zSecure Alert タスクがこれらの出口を使用してすべての使用可能な SMF レコードを取り込むことができるようにする必要があります。

C2P0190W *action exit_name* 出口が失敗しました。RC=*rc* (Failure *action exit_name* exit, RC=*rc*)

説明

action がインストールの場合は、RACF 出口 *exit_name* を定義している際に予期せぬエラーが発生しました。*action* が非アクティブ化の場合は、RACF 出口 *exit_name* を非アクティブ化している際に予期せぬエラーが発生しました。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0191I *action exit_name* 出口 (*action exit_name* exit)

説明

この診断メッセージは、zSecure アクセス・モニターのアクティブ化または非アクティブ化の処理中の進行状況を示します。変数 *action* の値は、**Installed** または **Deactivated** です。

C2P0192I **type** ルーチンの古いコピーを LPA から削除しました。RC=*retcode-reascode* (Remove old copy of type routine from LPA, RC=*retcode-reascode*)

説明

この診断メッセージは、システム 出口ルーチンの前のコピーがストレージ内 LPA から削除されたことを示すために発行されます。このメッセージ内の変数 *type* の値は、SMF 出口ルーチンの場合は SMF、ENF 通知出口の場合は ENF となります。この削除処理中にエラーが発生した場合も、このメッセージが発行されます。

C2P0193E **type** ルーチンを *location* から LPA にロードできませんでした。RC=*retcode-reascode* (Could not load type routine from location into LPA, RC=*retcode-reascode*)

説明

このエラー・メッセージは、システム 出口ルーチンの新規コピーをシステム LPA にロードできなかったことを示すために発行されます。このメッセージ内の *type* 変数の値は、C2PSMFU8 出口ルーチンの場合は SMF、C2PENFXR 通知出口の場合は ENF となります。*location* 変数には、値 LINKLIST または STEPLIB が入ります。このメッセージは DEBUG メッセージが要求された場合に通知メッセージとして発行されます。モジュールが LINKLIST または STEPLIB に見つからない場合は、STEPLIB についてのメッセージも発行されます。戻りコードおよび理由コード (*retcode-reascode*) について詳しくは、「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference, Vol 1」の CSVDYLPA を参照してください。

C2P0194I **type name**

説明

これは、現在アクティブになっているアドレス・スペースに関連付けられた開始タスクの *name* を示す診断メッセージです。これはメッセージ C2P0186I の論理継続です。

C2P0195I **type** ルーチンを *location* から LPA に追加しました。RC=*retcode-reascode* (Added type routine from location to LPA, RC=*retcode-reascode*)

説明

DEBUG が指定された場合、この通知メッセージは、システム 出口ルーチンの新規コピーが *location* からシステム LPA にロードされることを示すために発行されます。*location* 変数には、値 LINKLIST または STEPLIB が入ります。*type* 変数の値は、C2PSMFU8 出口ルーチンの場合は SMF、C2PENFXR 通知出口の場合は ENF となります。

C2P0196E **product** は開始タスクとして実行する必要があります (**product must run as started task**)

説明

zSecure Alert プログラムおよび zSecure Access Monitor プログラム (C2POLICE および C2PACMON) は、開始タスクとして実行する必要があります。これらのプログラムをバッチ・ジョブの一部として実行することはサポートされていません。実行は終了します。

C2P0197W **BufIndex** ロックは使用できません。お待ちください。(**BufIndex Lock not available, wait**)

説明

SMF または WTO 書き込みルーチンが新規バッファに切り替え中のため、現在は次のバッファに切り替えることができません。ロックが使用可能になり次第、バッファが切り替わります。

C2P0198A **BufIndex** ロックは使用できません。終了します。(**BufIndex Lock not available, exit**)

説明

SMF または WTO 書き込みルーチンが新規バッファに切り替え中のため、現在は次のバッファに切り替えることができません。バッファ索引にアクセスして現行バッファ索引を更新することができません。次のインターバルで、現行レコード・バッファの切り替えが再度試行されます。

C2P0199A 使用可能なバッファがありません。切り替わりません。(**No Buffer available, Not switched**)

説明

現在、次のバッファに切り替えることはできません。既存のすべてのバッファが、ロックされているか分析中です。次のインターバルで、現行レコード・バッファの切り替えが再度試行されます。

C2P0200E **DCB** 異常終了出口に入りました (**DCB Abend exit was entered**)。異常終了コード =*cde-reas* (**Abend Code=*cde-reas***)

説明

C2POLICE DD 名の 1 つで OPEN 異常終了が発生した場合、このメッセージが発行されます。異常終了コードは *cde* で、理由コードは *reas* です。

ユーザーの処置

「z/OS MVS システム・コード」で異常終了コードおよび理由コードを確認してください。この異常終了の原因として最も可能性が高いのは、データ・セット特性の指定に誤りがある場合です。

C2P0201I **ENF listen 要求 retcode=retcode
(ENF listen request
retcode=retcode)**

説明

デバッグが要求された場合、または ENF listen 要求のセットアップ時にエラーが発生した場合に、このメッセージが発行されます。*retcode* フィールドにゼロ以外の値が示されている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0202E **CKRCARLA ルーチンの削除時にエラーが発生しました。RC=rc (Error deleting CKRCARLA routine, RC=rc)**

説明

CKRCARLA プログラムの削除時に、システム・エラーが発生しました。エラー・コードが *rc* です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージを発行したタスクのメッセージ・ログを含むエラー・レポートを作成してください。

C2P0203I **CKRCARLA ルーチンが削除されました (Removed CKRCARLA routine)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0204E **IEANTDL からのエラー戻り、RC=rc (Error return from IEANTDL, RC=rc)**

説明

IEANTDL サービスが、戻りコード *rc* で失敗しました。

ユーザーの処置

デバッグ・オプションを指定してタスクを再始動してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。開始タスクの出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0205I **SMF の名前/トークン・ペアが削除されました (Removed SMF Name/Token Pair)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0206I **PC ルーチン・アドレスが削除されました (Removed PC-Routine Address)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0207I **タスクが再びスワップ可能になりました (Made task swappable again)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0208I **バッファを検出しました。このバッファを解放します。(Found a buffer, free it)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0209I **アドレス *address***

説明

この診断メッセージは、間もなく解放されるバッファのアドレスを示します。これはメッセージ C2P0208I の論理継続です。

C2P0210I **ロックされたバッファが見つかりました。タスクを待機後、解放します。(Locked buffer found, wait for task to release)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ・フェーズの途中で解放されていないバッファが検出されたことを示すために発行されます。これは、エラー、またはサブタスク (分析タスクなど) がまだアクティブなことが原因で起こることがあります。サブタスクが正常に完了できるように、バッファの解放が遅延されます。

C2P0211I **バッファがありません。次へ進み
ます。(No Buffers, next)**

説明

この診断進行メッセージは、クリーンアップ・ルーチンがメモリー内レコード・バッファが割り振られていないことを検出した場合に発行されます。タスクは、クリーンアップ・プロセスの次の部分を続行します。

C2P0212I **既存の ET ET-Token が見つかりまし
た (Found existing ET ET-Token)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0213E **C2PC の長さが正しくありません。
解放を試行します (Incorrect length
of C2PC, attempt free)**

説明

このエラー・メッセージは、ECSA 内の C2PC 制御ブロックの長さが、予期された制御ブロックの長さとは一致しない場合に発行されます。これは、C2PC ストレージのオーバーレイが原因で起こる場合があります。

システムの処置

クリーンアップ・タスクは、制御ブロック自体に記録された長さを使用して、ストレージ域を解放しようとしています。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。SIPL オペレーター・コマンドの使用理由も含め、タスク (zSecure Alert) の完全な出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0214I **ET が破棄されました (ET
destroyed)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0215I **ET が見つかりません。次へ進みま
す (No ET found, next)**

説明

この診断進行メッセージは、クリーンアップ・ルーチンがエントリ・テーブルが作成されなかったことを検出した場合に発行されます。タスクは、クリーンアップ・プロセスの次の部分を続行します。

C2P0216E **特殊 (合計) クリーンアップ・モード
(Special (Total) cleanup mode)**

説明

SIPL オペレーター・コマンドの結果として、クリーンアップ・ルーチンは、ECSA 内の C2PC 制御ブロックおよびその制御ブロックへのポインターの削除も実行します。これにより、開始タスクの現行インスタンスに使用されたシステム LX は失われます。

C2P0217I **N/T を削除します (Delete N/T)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0218E **IEANTDL からのエラー戻り、RC=rc
(Error return from IEANTDL,
RC=rc)**

説明

C2PC 制御ブロックへのポインターの削除時に、IEANTDL サービスが戻りコード rc で失敗しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。SIPL オペレーター・コマンドの使用理由も含め、開始タスクの完全な出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0219I **Freemain C2PC**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0220I **動的出口 SMF-Exitname が削除され
ました (Removed dynamic exit
SMF-Exitname)**

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0221E **SMF-Exitname RC=retc-reas の削除時にエラーが発生しました (Error deleting SMF-Exitname RC=retc-reas)**

説明

MVS 動的出口機能を使用して SMF 出口を削除する際に、システム・エラーが発生しました。CSVDPYNEX サービス・ルーチンの戻りコードは *retc* で、理由コードは *reas* です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。開始タスクの完全な出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0222I **以前の実行のクリーンアップを開始します (Start of cleanup previous execution)**

説明

初期化時に、この開始タスクの前のインスタンスが検出されました。そのインスタンスは正常にシャットダウンされていません。始動プロセスの一環として、所定の手順に従って前のインスタンスのクリーンアップが実行されます。

C2P0223E **バッファが解放されていません、解放を試行します (Buffer not released, attempt to free anyway)**

説明

クリーンアップ時に、メモリー内バッファがまだ使用中であることが検出され、クリーンアップ・タスクによる排他使用を確保できませんでした。いずれにしても、クリーンアップ・タスクは続行され、バッファが解放されます。これにより、バッファを使用しているプロセスが異常終了する場合があります。

C2P0224E **Bufsize が矛盾しています。解放をスキップします (Impossible Bufsize, skip free)**

説明

C2PC 制御ブロックに記録された *bufsize* が有効な制限の範囲外か、または奇数のバイト数になっています。*bufsize* の長さが間違っていると思われます。クリーンアップ・タスクは、どのメモリー内レコード・バッ

ファの解放も試みません。解放するとシステム異常終了になる可能性があるためです。

C2P0225E **C2PC の長さが矛盾しています。終了します (Impossible length of C2PC, terminate)**

説明

このエラー・メッセージは、ECSA 内の C2PC 制御ブロックの長さが大きすぎる場合に発行されます。これは、C2PC ストレージのオーバーレイが原因で起こる場合があります。

システムの処置

ストレージの解放を試行せずに、処理を続行します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。SIPL オペレーター・コマンドの使用理由も含め、開始タスクの完全な出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0226I **以前の実行のクリーンアップを終了します (End of cleanup previous execution)**

説明

初期化時に、この開始タスクの前のインスタンスが検出されました。そのインスタンスは正常にシャットダウンされていません。この進行メッセージは、直前のインスタンスのクリーンアップが所定の手順で完了したことを示します。

C2P0227E **C2PIORTN ルーチンの削除時にエラーが発生しました。RC=rc (Error deleting C2PIORTN routine, RC=rc)**

説明

C2PIORTN モジュールを削除する際に、システム・エラーが発生しました。エラー・コードが *rc* です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージを発行したタスクのメッセージ・ログを含むエラー・レポートを作成してください。

C2P0228I **C2PIORTN** ルーチンが削除されました (**Removed C2PIORTN routine**)

説明

この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0229E 製品がこの環境で使用不可にされているか、またはインストール・エラーです。 **C2PDEBUG** を参照してください (**Product disabled here or install error, see C2PDEBUG**)

説明

製品の登録時に問題が発生しました。

ユーザーの処置

C2PDEBUG ファイルで詳細なエラー・メッセージを確認してください。正しい製品がご使用の IFAPRDxx parmlib メンバーで使用不可になっていないことを確認してください。

C2P0230E **IFAEDDRG** からのエラー戻り、**RC=retcode** (**Error return from IFAEDDRG, RC=retcode**)

説明

プログラムの終了時に、登録解除の問題が発生しました。

ユーザーの処置

この状態は回避しなければなりません。 [電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0231I *product* に対する **IFAEDDRG** が正常に完了しました (**IFAEDDRG for product succeeded**)

説明

この診断メッセージは、製品の登録解除が正常に完了したことを確認するために、デバッグ・モードで発行されます。

C2P0232I バッファ統計: **ACMN(cnt,len) count_storage** (**Buffer stats: ACMN(cnt,len) count-storage**)

説明

この診断メッセージは、バッファの使用量分析の一部として提供されます。現行バッファ内のアクセス・モ

ニター (ACMN) のレコード数は、*count* です。これらのレコードの合計サイズは、*storage* です。*storage* の値は 8 桁に切り捨てられます。99999999 を超える値を表す 10 進数は省略されます。

C2P0233I このインターバルで収集されたレコードはありません (**No records collected this interval**)

説明

現在のレポート作成インターバルでは、レコードが収集されませんでした。該当するイベントが発生しなかったか、指定されたフィルター基準をパスしたイベントがありませんでした。

C2P0234I アクセス・モニターは、ユーザー自身のリソースに対する要求を収集します (**Access Monitor captures requests for a user's own resources**)

説明

このメッセージは、ユーザー自身のリソースに対する要求がアクセス・モニター・イベントで収集されることを示します。このオプションを使用すると、収集情報の量が大幅に増加する可能性があります。

C2P0235I アクセス・モニターは、ユーザー自身のリソースに対する要求を無視します (**Access Monitor ignores requests for a user's own resources**)

説明

このメッセージは、ユーザー自身のリソースに対する要求はアクセス・モニター・イベントで収集されないことを示します。INCLUDEOWNRESOURCE キーワードが指定されていない場合、これがデフォルトの状況です。

C2P0236I アクセス・モニターは、ユーザー自身のリソースに対する要求を収集します (**Access Monitor captures requests for a user's own resources**)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。DISPLAY コマンドの実行時に、zSecure アクセス・モニターは、専用データ・セットまたはユーザーのユーザー ID で実行されるジョブといった、ユーザー自身のリソースに対する要求ごとにレコードを収集します。

C2P0237E zSecure アクセス・モニターには **z/OS 1.8** 以上が必要です (**zSecure Access Monitor requires z/OS 1.8 or higher**)

説明

zSecure アクセス・モニターは、z/OS 1.8 以上でのみ稼動します。その他のバージョンのオペレーティング・システム環境はサポートされていません。プログラムは終了します。

C2P0238E **C2PEMFRB を開けません (Cannot open C2PEMFRB.)** スナップショットの使用法が *action* されません (Snapshot usage is not *action*.)

説明

このエラー・メッセージは、C2PEMFRB DD 名が割り振られているが開けない場合に発行されます。変数 *action* には、値 *retrieved* または *saved* が入ります。

ユーザーの処置

C2PEMFRB データ・セットのデータ・セット特性を確認してください。特性は、RECFM=FB および LRECL=80 です。データ・セットが存在していて正しい特性が指定されているにもかかわらず、依然としてエラーが発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0239E **C2PEMFRB を閉じることができませんでした (Could not close C2PEMFRB.)**

説明

このエラー・メッセージは、C2PEMFRB DD 名が割り振られて処理されているが、閉じることができない場合に発行されます。

C2P0240I **収集タイマーのループ (Collect Timer Loop)**

説明

この診断メッセージは、収集タイマーの満了を報告するために発行されます。

C2P0241I **CKFREEZE 収集タスクはアクティブです (The CKFREEZE collection task is active)**

説明

この診断メッセージは、CKFREEZE ファイルのシステム情報を収集する zSecure Collect タスクが実行中であることを示すために発行されます。

C2P0242I **CKFREEZE 収集タスクが完了しました (The CKFREEZE collection task is finished)**

説明

この診断メッセージは、CKFREEZE ファイルのシステム情報を収集する zSecure Collect タスクが完了したことを示すために発行されます。

C2P0243E **収集タイマー・ルーチンの接続でエラーが発生しました。RC=rc (Error attaching Collect Timer routine, RC=rc)**

説明

システム・データ収集タイマーのタイマー・タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、*rc* です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0244I **収集タイマー・ルーチンが正常に接続されました (Successfully attached Collect Timer routine)**

説明

この診断メッセージは、システム・データを収集するためのタイマー・ルーチンが正常に接続されたことを示します。

C2P0245E **CollectSTCName の START コマンドが失敗しました。RC=rc (START command for CollectSTCName failed RC=rc)**

説明

zSecure Collect 開始タスクの開始コマンドが失敗しました。開始プロシージャの名前は *CollectSTCName* で、タスクの開始に使用した MGCRC マクロからの戻りコードは *RC* です。

C2P0246E **内部エラー: CKFTABLE アドレスが無効です。(Internal error: Invalid CKFTABLE address.)**

説明

このメッセージは内部エラーを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0247E CKFCOLL の接続でエラーが発生しました。RC=rc (Error attaching CKFCOLL, RC=rc)

説明

CKFCOLL プログラムを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0248E 拡張モニター・スナップショット・データ・セットが検出されませんでした。(No extended monitor snapshot data sets were found.)

説明

このエラー・メッセージは、拡張モニター・スナップショット・データ・セットがシステム・カタログに見つからなかった場合に発行されます。拡張モニターをアクティブにして C2POLICE を最初に開始するときこのメッセージが表示されるのは、正常です。拡張モニターのデータ・セットは、拡張モニター処理の一環として作成されます。

ユーザーの処置

拡張モニターが OPTION STAGE1INTERVAL または OPTION PREPROCESSINTERVAL で指定されたプリプロセッシング・インターバルよりも長い間アクティブになっている場合は、拡張モニター・スナップショット・データ・セットが検出されない理由を調べてください。理由としては、データ・セットの作成に失敗した、これらのデータ・セットがカタログされていない、またはその他の理由が考えられます。

C2P0249E 拡張モニター・スナップショット・データ・セットが多すぎます。(Too many extended monitor snapshot data sets.) 終了します。(Exit.)

説明

このエラー・メッセージは、システム・カタログで見つかったスナップショット・データ・セットが 728 個より多い場合に発行されます。通常操作時に、任意の時点で存在すると考えられる拡張モニター・スナップショット・データ・セットの最大数は 595 です。指定された保存期間 (OPTION EXTMON(RETAIN(hh)) で指定) よりも古いデータ・セットは、自動的に削除されます。

ユーザーの処置

拡張モニター・スナップショット・データ・セットが削除されない理由を調べてください。理由としては、権限による失敗、または該当の拡張モニター・データ・セット以外のデータ・セットがリストされている、などが考えられます。C2PEMFRT メンバーに、拡張モニター・スナップショット・データ・セットの正しいデータ・セット名が指定されていることを確認してください。廃止されたデータ・セットまたは期限切れのデータ・セットは削除します。

C2P0250I カタログ・リストは正常に完了しました。(Catalog list was successful.)

説明

この通知メッセージは、システム・カタログ内の拡張モニター・データ・セットのリストが正常に完了した後で発行されます。

C2P0251E PARMLIB を開けません (Cannot open PARMLIB)

説明

オプションおよびパラメーターを処理するために parmlib ファイルを開こうとしているときに、エラーが発生しました。

ユーザーの処置

PARMLIB DD ステートメントは必ず、固定ブロック形式で LRECL が 80 の順次ファイルに割り振ってください。付随する IEC メッセージで、さらに詳しい情報を調べることができます。

C2P0252I Parmlib ファイルの終わり (End of Parmlib file)

説明

この診断メッセージは、parmlib ファイル内のすべてのレコードが処理されたときに発行されます。

C2P0253E PARMLIB を閉じることができませんでした (Could not close PARMLIB)

説明

オプションおよびパラメーターを処理するための parmlib ファイルを閉じようとしているときに、エラーが発生しました。

ユーザーの処置

PARMLIB DD ステートメントは必ず、固定ブロック形式で LRECL が 80 の順次ファイルに割り振ってください。

付随する IEC メッセージで、さらに詳しい情報を調べることができます。

C2P0254I 指定された WTO フィルター接頭部は *msg-prefix* です (Specified WTO Filter Prefix is *msg-prefix*)

説明

この診断メッセージは、WTO メッセージのフィルター基準として使用される *msg-prefix* を示します。

C2P0255I 接頭部 *prefix* の WTO フィルターを非アクティブにしました (Deactivated WTO Filter for prefix *prefix*)

説明

この診断メッセージは、*prefix* の WTO フィルターを非アクティブにしたことを示します。

注：すべての WTO フィルター基準を非アクティブにすると、すべての WTO メッセージが選択されます。

C2P0256I 指定されたレポート・メンバーは *member* です (Specified report member is *member*)

説明

この診断メッセージは、レコード分析に使用されるメイン CARLa メンバーのメンバー名を示します。

C2P0257I 指定された *samplib DD* 名は *ddname* です (Specified *samplib ddname* is *ddname*)

説明

この診断メッセージは、*product* サンプル・ライブラリーの *DD* 名を示します。

C2P0258I 指定された時間平均インターバル (秒) は *averageinterval* です (Specified Time-Averaged interval is (sec) *averageinterval*)

説明

この診断メッセージは、長期しきい値タイプ分析に使用する、指定された時間間隔 *interval* を示します。

C2P0259E 指定された時間平均インターバル *interval* が無効です (Specified Time-Averaged interval invalid *interval*)

説明

このエラー・メッセージは、長期しきい値タイプ分析に使用する、指定されたインターバル *interval* が無効な場

合に発行されます。有効な範囲は、10 秒から 9999 秒です。

C2P0260I 指定された *type* メンバーは *name* です (Specified *type member* is *name*)

説明

この診断メッセージは、プリプロセッシングまたは統合 CARLa に指定したメンバー *name* を示します。メッセージ内の *type* は、preprocessing (プリプロセッシング) または consolidation (統合) のいずれかです。

C2P0261I zSecure Collect は (HHMM) *HHMM* に実行されます (zSecure Collect Runs at (HHMM) *HHMM*)

説明

この診断メッセージは、システム情報と共に CKFREEZE ファイルをロードするために使用される zSecure Collect 開始タスクに対して指定された、開始時刻を示します。

C2P0262E zSecure Collect 実行時間 *HHMM* が無効です (zSecure Collect runtime invalid *HHMM*)

説明

zSecure Collect タスクの開始時刻として指定された時刻が無効です。*HHMM* には、0000 (午前 0 時) から 2359 (午前 0 時の 1 分前) の間の時刻を指定する必要があります。

ユーザーの処置

有効な時刻を指定します。

C2P0263I 検出されたコマンドは *command* です (Command found is *command*)

説明

この診断メッセージは、オペレーターから受信したか PARMLIB ファイルから読み取った *command* を示します。

C2P0264I zSecure Collect 開始プロシージャ名は *procnameprocname* です (zSecure Collect started procedure name is *procname*)

説明

この診断メッセージは、zSecure Collect 開始タスクの開始コマンドで使用される、指定のプロシージャ名を示します。

C2P0265I 指定された保存期間は *retpd* です。
(Specified retention period is *retpd*.)

説明

デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニター・スナップショット・データ・セットの保存期間 (時間) の設定を確認するために、この通知メッセージが発行されます。

C2P0266I **Debug ExtMon がアクティブになります (Debug ExtMon is activated.)**

説明

汎用デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニター・デバッグ・メッセージが発行されることを確認するために、この通知メッセージが発行されます。

C2P0267I コマンドが見つかりません (? または /*) (No command found (? or /*))

説明

入力レコードに、認識されるコマンドが何も含まれていませんでした。このレコードは、コメント・レコードである可能性があります。このメッセージは、DEBUG MAIN が指定された場合にのみ発行されます。

C2P0268E コマンドが認識されません。
scancode=scancode | command

説明

この診断メッセージは、コマンドとそのキーワードおよびパラメーター、または認識されないコマンドの値を判別できるように、スキャン操作の結果を提供します。

C2P0269E パラメーターが無効です。
SYSTSPRT を参照してください。
Parse-RC=rc (Invalid parameter, see SYSTSPRT, Parse-RC=rc)

説明

parmlib で指定されたコマンドまたはコンソール・オペレーターが入力したコマンドが、有効な構文ではありません。SYSTSPRT ファイルに、受け入れられなかったキーワードおよびパラメーターについての詳細が示されています。

ユーザーの処置

SYSTSPRT ファイルのエラー・メッセージを確認して、コマンドを再試行してください。

C2P0270E **SVC26 戻りコード =rc。 (SVC26 return code =rc.) 終了します (Exit)**

説明

このエラー・メッセージは、カタログ・インターフェース・ルーチンが予期せぬ戻りコードで終了した場合に発行されます。

ユーザーの処置

メッセージ IDC3009I にリストされているカタログ管理戻りコードを確認してください。

C2P0271I **Debug C2PC (option) が指定されました (Debug C2PC(option) specified)**

説明

これは、C2PC 共通域で要求されたアクションを確認する診断メッセージです。このオプションは、IBM サポート担当員の指示があった場合のみ使用してください。option の指定可能な値は、次のとおりです。

ACTIVE

C2PC 共通域が、C2P0802I メッセージによってシステム・コンソールに表示されます。

COPY

C2PC 共通域の保存コピーが、C2P0802I メッセージによってシステム・コンソールに表示されます。

SAVE

C2PC 共通域が、指定の保存域に保存されます。

CLEAR

C2PC 共通域のコピー用に使用する保存域が初期化されます。

????

C2PC DEBUG オプション用の不明なサブオプションが指定されました。

C2P0272I **Debug ALL がアクティブになります。 (Debug ALL is activated.)**

説明

これは、すべての診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0273E **指定された保存期間は範囲外です: retpd。 (Specified retention period is out of range: retpd.)**

説明:

OPTION EXTMON(RETAIN(hh)) コマンドに指定された保存期間が有効な範囲 (2 から 99 時間) の外にある場合に、このエラー・メッセージが発行されます。指定値が低すぎる場合は、最小値の 2 が使用されます。指定値が高すぎる場合は、最大値の 99 が使用されます。

ユーザーの処置

retain キーワードに有効な時間数を指定していることを確認してください。

C2P0274W 一時停止サービスが *rc= retcode* を返しました (Pause services returned *rc= retcode*)

説明

この診断メッセージは、MVS PAUSE サービスからの、最初の受け入れ不能戻りコードを示します。この情報は、IBM サポート担当員のみが使用するためのもので、お客様が診断に使用するためのものではありません。

C2P0275I 指定された *BufSize (size-unit)* は *bufsize* です (Specified *BufSize (size-unit)* is *bufsize*)

説明

この診断メッセージは、有効なバッファ・サイズを示します。 *size-unit* で示される可能性がある値は、KBytes および MBytes です。

C2P0276E 指定された *size-keyword* が範囲外です *bufsize* (Specified *size-keyword* is out of range *bufsize*)

説明

指定された *bufsize* は大きすぎるか、または小さすぎます。メモリー内バッファの有効なサイズは、1 キロバイトから 1 ギガバイトの間です。この値をキロバイト単位で指定する場合は *BufSize* キーワードを使用し、メガバイト単位で指定する場合は *BufSizeMB* キーワードを使用します。

システムの処置:

システムは、サポートされている最小バッファ・サイズまたは最大バッファ・サイズを使用します。

ユーザーの処置

BufSize または *BufSizeMB* に有効な値を指定してください。

C2P0277I 指定されたバッファ数は *numbufs* です (Specified Number of Buffers is *numbufs*)

説明

この診断メッセージは、有効なバッファ数を示します。

C2P0278E バッファ数が範囲外です *numbufs* (Number of buffers out of range *numbufs*)

説明

指定された *numbufs* の値が大きすぎるか、または小さすぎます。メモリー内レコード・バッファの有効な量は、2 から 32 の間です。

C2P0279I 指定されたレポート作成インターバル (秒) は *interval* です (Specified reporting interval is (sec) *interval*)

説明

この診断メッセージは、アラート分析またはデータ収集処理について指定された時間間隔を示します。

C2P0280E 指定されたレポート作成インターバルが範囲外です: *interval* (Specified Reporting Interval is out of range: *interval*)

説明

このエラー・メッセージは、アラート分析またはデータ収集処理について指定された時間間隔が無効な場合に発行されます。有効な範囲は、10 秒から 3600 秒です。

C2P0281I 指定された SMF フィルター *Rectype* は *ttt* です (Specified SMF Filter *Rectype* is *ttt*)

説明

この診断メッセージは、フィルター基準として使用する SMF レコード・タイプに指定された値 (*ttt*) を示します。

C2P0282E 指定された SMF フィルター *Rectype* が範囲外です: *ttt* (Specified SMF Filter *Rectype* is out of range: *ttt*)

説明

SMF レコードの範囲は、0 から 255 までです。指定された値 *ttt* は、この範囲外にあります。

C2P0283I 指定された SMF フィルター・サブタイプは *sss* です (Specified SMF Filter Subtype is *sss*)

説明

この診断メッセージは、フィルター基準として使用する SMF レコード・サブタイプに指定された値 (*sss*) を示します。サブタイプは、SMF レコード・タイプ 30 と、RACF SMF レコード内のイベント・コードに対してのみサポートされています。

C2P0284E 指定された SMF フィルター・サブタイプが範囲外です: *sss* (Specified SMF Filter Subtype is out of range: *sss*)

説明

SMF レコードのサブタイプの範囲は、0 から 255 までです。指定された値 *sss* は、この範囲外にあります。

C2P0285I 拡張モニターがアクティブになります。**(Extended Monitoring is activated.)**

説明

デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニターがアクティブになることを確認するために、この情報メッセージが発行されます。

C2P0286I 拡張モニターが非アクティブになります。**(Extended Monitoring is deactivated.)**

説明

デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニターが非アクティブになることを確認するために、この情報メッセージが発行されます。

C2P0287I プリプロセッシング・インターバル(分)は *interval* です **(Preprocessing interval is (min) interval)**

説明

この診断メッセージは、システム環境情報の更新から更新までの期間を示します。

C2P0288E プリプロセッシング・インターバルが範囲外です *interval* **(Preprocessing interval is out of range interval)**

説明

環境情報の更新に指定された値が無効です。有効な範囲は、10分から1440分です。

C2P0289I *rectype* *rectype* 用 SMF フィルターが非アクティブになりました **(Deactivated SMF Filter for rectype rectype)**

説明

この診断メッセージは、SMF レコード・タイプ *rectype* 用の SMF フィルターが非アクティブになったことを示します。すべての SMF フィルター基準を非アクティブにすると、すべての SMF レコードが選択されます。

C2P0290I SMF サブタイプ・フィルターが非アクティブになりました **(Deactivated SMF Subtype Filter)**

説明

SMF レコード・サブタイプ・フィルタリングが、この SMF フィルターに対して非アクティブになりました。

C2P0291I すべてのデバッグ・オプションが非アクティブになります。**(All debug options are deactivated.)**

説明

これは、診断メッセージが以後は生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0292I Debug SMF がアクティブになります。**(Debug SMF is activated.)**

説明

これは、SMF 収集関連の診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0293I Debug SMF が非アクティブになります。**(Debug SMF is deactivated.)**

説明

これは、SMF 収集関連の診断メッセージが以後は生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0294I Debug WTO がアクティブになります。**(Debug WTO is activated.)**

説明

これは、WTO 収集関連の診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0295I Debug WTO が非アクティブになります。**(Debug WTO is deactivated.)**

説明

これは、WTO 収集関連の診断メッセージが生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0296I Debug MAIN がアクティブになります。**(Debug MAIN is activated.)**

説明

これは、メインライン処理に関連する診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0297I Debug MAIN が非アクティブになります。**(Debug MAIN is deactivated.)**

説明

これは、メインライン処理に関連する診断メッセージが以後は生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0298I デバッグ BUFFER がアクティブになります。**(Debug BUFFER is activated.)**

説明

これは、バッファ使用状況の診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0299I デバッグ BUFFER が非アクティブになります。(Debug BUFFER is deactivated.)

説明

これは、バッファ使用状況の診断メッセージが以後は生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0300I データ収集タイマーのループ (Data capture timer loop)

説明

この診断メッセージは、オプション debug が指定されている場合、データ収集処理の開始時に発行されます。

C2P0301E COM N/T が見つかりません (COM N/T not found)

説明

C2PC 制御ブロックの取得に使用する名前/トークンのペアを取得できませんでした。

ユーザーの処置

この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0302E PC N/T が見つかりません (PC N/T not found)

説明

SMF レコード収集ルーチンで使用される名前/トークンのペアを取得できませんでした。

ユーザーの処置

この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0303E バッファ索引の問題が発生しました (Buffer index problem occurred)

説明

メモリー内バッファへのアクセス時に、内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置

このメッセージが頻繁に (レポート作成周期ごとに 1 回) 発生する場合は、オペレーター・コマンド MODIFY stcname, RESTART を使用して RESTART コマンドを発行することで、この状態からの復旧を試みるのが可能です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0304E バッファ・オーバーフローが発生しました (Buffer Overflow occurred)

説明

取り込みデータの収集に使用するメモリー内バッファの大きさが十分ではありませんでした。

ユーザーの処置

OPTION および REPORT コマンドを使用して、バッファ・サイズを大きくし、レポート作成インターバルを短くしてください。zSecure AlertzSecure Alert では、FILTER キーワードを使用して不要な SMF レコードおよび WTO メッセージをスキップすることもできます。

C2P0305E バッファのロック問題が発生しました (Buffer locking problem occurred)

説明

取り込みデータの収集に使用するメモリー内バッファを排他使用で取得できませんでした。バッファにデータを追加するには、短期間の排他使用が必要です。

ユーザーの処置

この状態が発生してよいのは、システム・アクティビティが多い期間だけです。このメッセージが頻繁に表示される場合、またはシステム・アクティビティの少ない期間に発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0306I ヘルス・チェックが完了しました (Health Check completed)

説明

デバッグ・オプションが指定されている場合、内部エラー・チェックのフェーズが終了した時点でこの診断メッセージが発行されます。

C2P0307A 次のバッファはロックされているか使用中です。スキップします (Next buffer is locked or in use, skip)

説明

次のバッファがまだ使用中のため、メモリー内バッファの切り替えができません。ロックされたバッファは無視されます。その他のバッファがすべて使用されている場合は、現在ロックされているバッファへのアクセスが再試行されます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。RESTART オペレーター・コマンドを使用することで、この状態からリカバリーできる場合があります。

C2P0308E ESTAEX なしで異常終了します (Crashing without ESTAEX)

説明:

このメッセージは、CRSH コマンドが処理中であることを示します。

C2P0309W どの長期分析に対してもバッファ数が小さすぎます (Number of buffers too small for any long term analysis)

説明

指定されたバッファ数が、ヒストリー・レコードを保持するには小さすぎます。指定されているバッファ数が 2 より大きいことを確認してください。

ユーザーの処置

OPTION NUMBUFS で少なくとも 3 個のメモリー内バッファを必ず指定するようにしてください。推奨されるバッファ数は、少なくとも TimeAverage / Interval + 1 です。

C2P0310E レポート作成タスクが早期終了しました。再始動します (Reporting task prematurely ended, restart)

説明

レポート作成タスク (CKRCARLA) が、明示的に停止を要求されることなく停止しました。タスクは、次のレポート作成インターバルで再始動されます。

C2P0311E データ収集タスクの接続時のエラー、RC=rc (Error attaching data capture task, RC=rc)

説明

独立データ収集タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0312E CKRCARLA MGR タスクの接続時のエラー、RC=rc (Error attaching CKRCARLA MGR task, RC=rc)

説明

独立データ収集タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0313W CKRCARLA からの戻りコード rc。C2PDEBUG を参照してください (Return code rc from CKRCARLA, see C2PDEBUG)

説明

取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0314W task-name タスクの再始動待ちです (Waiting to restart task-name task)

説明

アラート・レポート作成タスクまたはアクセス・モニター記録タスクが早期終了したか、または高い値の戻りコードで終了しました。これは、入力メンバーの CARLa ステートメント内のエラーが原因となった可能性があります。

ります。問題の原因の修正に割ける時間を多くするため、タスクの再始動が遅らされます。

ユーザーの処置

C2PDEBUG ファイルの CKRCARLA 出力を確認して、エラーがあればすべて訂正してください。

C2P0315E **SYSPRRPT を開けません。終了します (Cannot open SYSPRRPT, exit)**

説明

SYSPRRPT ファイルのオープン・エラーが発生しました。このファイルは、レコード・フォーマットが VBA で LRECL が 255 に指定された一時データ・セットに事前割り振りされている必要があります。追加情報については、付随する IEC メッセージを参照してください。

ユーザーの処置

正しい特性を持つ SYSPRRPT ファイルが使用可能であることを確認してください。

C2P0316E **SYSPRRPT を閉じることができませんでした (Could not close SYSPRRPT)**

説明

SYSPRRPT ファイルのクローズ・エラーが発生しました。

C2P0317E **C2PDEBUG を開けません。終了します (Cannot open C2PDEBUG, exit)**

説明

C2PDEBUG ファイルのオープン・エラーが発生しました。このファイルは、レコード・フォーマットが VBA で LRECL が 255 に指定された一時データ・セットに事前割り振りされている必要があります。追加情報については、付随する IEC メッセージを参照してください。

ユーザーの処置

正しい特性を持つ C2PDEBUG ファイルが使用可能であることを確認してください。

C2P0318E **C2PDEBUG を閉じることができませんでした (Could not close C2PDEBUG)**

説明

C2PDEBUG ファイルのクローズ・エラーが発生しました。

C2P0319I **CKRCARLA タスクの新規開始 (New start of CKRCARLA task)**

説明

この診断メッセージは、CKRCARLA データ処理タスクの新規インスタンスが開始されようとしていることを示すために発行されます。

C2P0320E **CKRCARLA 接続エラー、RC=rc (Error attaching CKRCARLA, RC=rc)**

説明

CKRCARLA タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0321E **CKRCARLA でのシステム異常 abndcode-reascode。C2PDEBUG を参照してください (System abend abndcode-reascode in CKRCARLA, see C2PDEBUG)**

説明

取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0322E **内部タイマー・ルーチンの接続エラー、RC=rc (Error attaching internal timer routine, RC=rc)**

説明

内部タイマー・タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0323I **現行バッファ索引は bufindex ではありません (Current buffer index was bufindex)**

説明

この診断メッセージは、バッファ・ロックの問題分析の一部として提供されます。これはメッセージ

C2P0305E の論理継続です。エラーの発生時にデータ収集に使用されていたバッファは *bufindex* です。

C2P0324I **バッファ (nn) 状況 (status-list)**
Last-task (Buffer(nn))
Status(status-list) Last-task)

説明

この診断メッセージは、バッファ・ロックの問題分析の一部として提供されます。これはメッセージ C2P0305E の論理継続です。すべてのバッファが、複数の C2P0324I メッセージで順にリストされます。状況は、次の組み合わせになります。

ActCol

バッファはデータの収集に使用されています。

ToBeAn

バッファには、最新の SMF または WTO 情報があります。この情報はまだ分析されていません。

CurHis

バッファには、SMF または WTO 情報があります。この情報は、最新データ収集またはヒストリー・データ収集の一部として分析する必要があります。

Locked

更新アクティビティーのため、バッファは現在ロックされています。

Last-Task は、以下のいずれかの (サブ) ルーチンです。

- CKRCARLA 入出力ルーチン
- 次に切り替え
- 状況設定
- SMF 収集
- WTO 収集
- なし

C2P0325I **バッファ統計 SMF(cnt,len)**
count-storage (Buffer stats
SMF(cnt,len) count-storage)

説明

この診断メッセージは、バッファの使用量分析の一部として提供されます。現行バッファ内の SMF レコード数は、*count* です。これらのレコードの合計サイズは、*storage* です。*storage* の値は 8 桁に切り捨てられます。99999999 を超える値を表す 10 進数は省略されます。

C2P0326I **バッファ統計 WTO(cnt,len)**
count-storage (Buffer stats
WTO(cnt,len) count-storage)

説明

この診断メッセージは、バッファの使用量分析の一部として提供されます。現行バッファ内の WTO メッセージ数は、*count* です。これらのメッセージの合計サ

イズは、*storage* です。*storage* の値は 8 桁に切り捨てられます。99999999 を超える値を表す 10 進数は省略されます。

C2P0327I **バッファ統計 Oth(cnt,len) rec-**
count-num-bytes (Buffer stats
Oth(cnt,len) rec-count-num-bytes)

説明

この診断メッセージは、バッファの使用量分析の一部として提供されます。現行のバッファ内の不明なレコード (つまり、SMF レコードまたは WTO レコード以外) の数は、*rec-count* です。これらのレコードの合計サイズは、*num-bytes* です。これらの数値は、通常はどちらもゼロでなければなりません。

C2P0328E

STACK が失敗しました。
RC=retcode (STACK failed;
RC=retcode)

説明

TSO STACK 機能を使用して外部ファイルからのデータを読み取ろうとしましたが、失敗しました。TSO STACK 機能からの戻りコードがメッセージに含まれています。

ユーザーの処置

操作を再試行してください。再度失敗する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0329I

IARV64 RC=retcode-reascode

説明

データ収集バッファのストレージを取得する際にエラーが発生しました。エラー・コードは *retcode* であり、理由コードは *reascode* です。

ユーザーの処置

IARV64 戻りコードと理由コードを確認してください。

C2P0330E

レポート作成タイマー・ルーチンの
接続エラー、RC=rc (Error attaching
Reporting Timer routine, RC=rc)

説明

分析ルーチン用のタイマー・タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、*rc* です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0331I レポート作成タスクが正常に接続しました (Successfully attached Reporting task)

説明

この診断メッセージは、レポート作成タスクが正常に接続されたことを示します。

C2P0332I CKRCARLA MGR タスクが正常に接続しました (Successfully attached CKRCARLA MGR task)

説明

この診断メッセージは、環境分析タスクが正常に接続されたことを示します。

C2P0333I バッファ *bufindex* のバッファ統計 (Buffer stats for buffer *bufindex*)

説明

この診断メッセージは、バッファの使用量分析の一部として提供されます。*Bufindex* は、分析しようとしている現行バッファへの索引です。

C2P0334I 拡張バッファが使用されました (Extended buffer used)

説明

SMF レコードおよび WTO メッセージの収集に使用するメモリー内バッファの大きさが十分ではありませんでした。SMF レコードおよび WTO メッセージの収集に追加バッファが使用されました。

C2P0335E zSecure *task-name* が非アクティブです (zSecure *task-name* inactive)

説明

重大なエラーのため、アラート・レポート作成タスクまたはデータ収集タスクがアクティブになっていません。アラートは生成されず、アクセス・データも取り込まれません。

ユーザーの処置

エラー・メッセージがないか、C2PDEBUG ファイルの内容を検査してください。問題を訂正し、オペレーターの MODIFY コマンドで RESTART オペランドを使用してタスクを再始動してください。

C2P0336W 要求された AverageInterval 時間に対してバッファ数が小さすぎます (Number of buffers too small for requested AverageInterval time)

説明

AverageInterval パラメーターで指定された期間のヒストリー・レコードを保持するには、指定されたバッファ数が小さすぎます。まだ期限切れになっていないヒストリー・データを含むバッファが、現行のデータで上書きされることとなります。より大きいバッファ数を指定するか、コマンド解説書セクションの説明に従って AverageInterval を小さくしてください。

C2P0337W HISTORY データが失われます。bufnum および/または bufsize を増加してください (HISTORY data lost, increase bufnum and/or bufsize)

説明

SMF または WTO データを入れるために拡張バッファが必要で、しかも使用可能な空きバッファがなかった場合に、このメッセージが発行されます。最も古いヒストリー・バッファが使用され、現行のデータでオーバーレイされます。ヒストリー・データに基づくアラートが失われる場合があります。データ損失を防ぐために、バッファ数または bufsize を増加させる必要があります。

C2P0338E CKRCARLA でユーザー異常終了 *abndcode-reascode*。C2PDEBUG を参照してください (User Abend *abndcode-reascode* in CKRCARLA, see C2PDEBUG)

説明

取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0339E zSecure *task-name* が非アクティブです (zSecure *task-name* inactive)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。重大なエラーのため、*task-name* が非アクティブになっていることを示しています。*task-name* は、アラート・レポート作成タスクかアクセス・モニター記録タスクのいずれかです。アラートは生成されておらず、アクセス・データも取得されていません。

ユーザーの処置:

メッセージ C2P0335E を参照してください。

C2P0340I アクセス・モニターが分析処理のためにファイルを準備します (Access

Monitor prepares files for Analytics processing)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。これは、分析アプリケーションによる使用のために、収集されたアクセス・レコードがプリプロセスされることを示します。

C2P0341I 分析 CARLa メンバーは *member-name* です (Analytics CARLa member is *member-name*)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。これは、分析ファイルを作成するために使用される CARLa ステートメントが含まれているメンバー名を示します。

C2P0342I 分析ディレクトリーは *directory-name* です (Analytics directory is *directory-name*)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。これは、分析ファイルを保管するために使用されるディレクトリー名を示します。

C2P0343I 分析ファイル *umask* は *umask* です (Analytics file *umask* is *umask*)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。これは、分析ファイルを作成するときには有効な *umask* を示します。

C2P0344I 分析ファイル保存期間は *num-days* 日です (Analytics file retention is *num-days* days)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。これは、分析ファイルが自動的に削除されるまでの保存日数を示します。

C2P0345W RECENT データが失われます。 *bufnum* および/または *bufsize* を増加してください (RECENT data lost, increase *bufnum* and/or *bufsize*)

説明

取り込みデータを入れるために拡張バッファが必要であり、最も古いデータが入ったバッファがすでに現

行インターバルで使用されている場合に、このメッセージが発行されます。現行インターバルの最も古いデータがオーバーレイされます。データが失われます。

ユーザーの処置

データ損失を防ぐために、バッファ数または *bufsize* を増加してください。

C2P0346I *status dsname*

説明

この診断メッセージは、DIAGNOSE EXTMON(All/Current) コマンドに回答して発行されます。これは、拡張モニター・スナップショット・データ・セットの状況および名前を示します。このメッセージは、要求されたすべての拡張モニター・スナップショット・データ・セットに対して繰り返されます。*status* フィールドは、ドットまたは文字のいずれかで示される 8 文字から成っています。*status* のフォーマットは、次のとおりです。

```
LCB .CED
L データ・セットがシステム・カタログで
見つけられました
C これは、現行スナップショット・データ・セットです
B This is the Baseline snapshot data set
. 予約済み (Reserved)
C データ・セットは作成されます
E データ・セットは期限切れであり、削除する
必要があります
D データ・セットは削除されました
```

C2P0347I デバッグ IO がアクティブになります。 (Debug IO is activated.)

説明

これは、入出力処理に関連する診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0348I デバッグ IO が非アクティブになります。 (Debug IO is deactivated.)

説明

これは、入出力処理に関連する診断メッセージが生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0349I ベースライン索引|=*Base-index* 現行索引|=*Curr-index* (Baseline Index=*Base-index* Current Index=*Curr-index*)

説明

この診断メッセージは、DIAGNOSE EXTMON(All/Current/Header) コマンドに回答して発行されます。これは、拡張モニター・スナップショット・データ・セットのリスト内の、ベースライン索引および現行索引の

番号を示します。この内部番号は、内部配列における相対位置を反映しています。

C2P0350E **ファイルはすでに開いています。終了します (File already open, exit)**

説明

すでに開いているファイルを再オープンしようとした場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0351E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)**

説明

C2PIORTN モジュールで C2PC 通信域のアドレスを設定できない場合に、このエラー・メッセージが返されます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0352E **バージョンが一致しません。終了します。(Version mismatch, exit)**

説明

C2PC 通信域のバージョン標識が正しくない場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0353E **不明な DD 名 (Unknown DDname)**

説明

サポートされているどのタイプでもないファイルを開こうとした場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。フ

ファイル・タイプは、DD 名の 5 文字目から 7 文字目に示す必要があります。

ユーザーの処置

DD 名が、サポートされているファイル・タイプのみを反映していることを確認してください。

C2P0354E **ファイルが開いていません。終了します (File not open, exit)**

説明

開いていないファイルを CLOSE しようとした場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0355E **ファイルが開いていません。終了します (File not open, exit)**

説明

開いていないファイルからレコードを GET しようとした場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0356E **無効な機能コードです (Invalid function code)**

説明

呼び出しパラメーターに無効な機能コードが指定されていた場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0357W **C2PEMFRB DD 名が見つかりませんでした。(C2PEMFRB ddname was**

not found.) スナップショットの使用法は保存されませんでした (Snapshot usage was not saved.)

説明

C2PEMFRB DD 名が割り振られていない場合に、この警告メッセージが発行されます。最後に使用された現行スナップショット・データ・セットの名前は保存できません。その結果、C2POLICE 開始タスクが停止され再始動された場合に、同じアラートが 2 回発行されるか、拡張モニター・アラートが欠落する場合があります。

ユーザーの処置

「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」の説明に従って、必ず C2PEMFRB DD 名を C2PEMFRB データ・セットに割り振ってください。

C2P0358E バッファはまだロックされています。終了します (Buffer still locked, exit)

説明

割り当てられたバッファがロックされている場合、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。これは、内部バッファ処理の問題です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0359E 現行バッファがロックされています。終了します (Current buffer locked, exit)

説明

バッファ終了のために現在処理されているバッファを他のタスクがロックしていると考えられる場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。これは、内部バッファ処理の問題です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0360I 日次 CKFREEZE DS 名は *dsname* です (Daily CKFREEZE DSName is *dsname*)

説明

このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージのテキストと *dsname* は、それぞれ、別のメッセージ行に示されます。メッセージには、イベント・ベースのアラート生成に使用されるフルサイズの CKFREEZE データ・セットの名前が示されます。このデータ・セットは CKFREEZE DD 名に割り振られ、1 日に 1 回更新されます。

C2P0361I タイプ *newlist-type* の *ddname* のオープン (Open of *ddname* for type *newlist-type*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0362I *ddname* のクローズ (Close of *ddname*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0363I *ddname* 用のレコードを取得 (Get record for *ddname*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0364I バッファ *buf_num* を使用して *ddname* の (再) オープン ((Re)Open of *ddname* Using buffer *buf_num*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0365I *ddname* の EOF、バッファ *buf_num* をクローズ (EOF on *ddname* Close buffer *buf_num*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0366I *ddname* の EOF、バッファ *buf_num* を試行 (EOF on *ddname* Try buffer *buf_num*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0367I *ddname* の EOF、これ以上バッファ
ーはありません (EOF on *ddname* No
more buffers)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0368I *ddname* の EOF、バッファ
ー *buf_num* を使用 (EOF on *ddname*
Use buffer *buf_num*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0369I *ddname* およびバッファ
ー *buf_num* の使用を増分 (Increment use for
ddname and buffer *buf_num*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0370I 現在のカウンター *use_counter*
(Counter now *use_counter*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0371I *ddname* およびバッファ
ー *buf_num* の使用を減分 (Decrement use for
ddname and buffer *buf_num*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0372I 現在のカウンター *use_counter*
(Counter now *use_counter*)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0373I *ddname* S-EOF 後に待機中
(*ddname* Waiting after S-EOF)

説明

この診断メッセージは、GET レコード要求の処理が現在、レポート作成インターバルが終了するまで遅延されていることを示すために発行されます。

C2P0374I *ddname* S-EOF 後に続行 (*ddname*
Continue after S-EOF)

説明

この診断メッセージは、GET レコード要求の処理が再開されることを示すために発行されます。

C2P0375I *hexdata*

説明

この診断メッセージは、現行の SMF または WTO レコードの最初の 16 バイトを 16 進形式で示します。

C2P0376I *ddname* が EOF に達しました
(*ddname* at EOF)

説明

この診断メッセージは、GET レコード要求がストレージ内のバッファの終わりに達したことを示すために発行されます。タスクは、この *ddname* に対する次の GET レコードで遅延されます。

C2P0377I *ddname* の強制 EOF (*ddname* hard
EOF)

説明

この診断メッセージは、GET レコード要求がストレージ内のバッファの終わりに達したことを示すために発行されます。Stage 1 のサイクルの終わりに達したため、処理を終了するための強制 EOF が CKRCARLA にシグナル通知されます。

C2P0378I WTO タスクのコンソール名
console-name (WTO Task console
name *console-name*)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。*console-name* は、WTO メッセージの収集に現在使用されている EMCS コンソールの名前です。

C2P0379I 指定された Extmon メンバーは
membername です (Specified
Extmon member is *membername*.)

説明

汎用デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニター・アラートの CARLa 指定が含まれているメンバーの

名前を確認するために、この通知メッセージが発行されます。

C2P0380I **Process_task が開始されました (Process_task started)**

説明

オプション debug が指定されている場合、プリプロセッシングまたはデータ統合プロセスの開始時に、この診断メッセージが発行されます。

C2P0381E **Process_task の接続エラー、RC=rc (Error attaching Process_task, RC=rc)**

説明

Process_task を接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0382W **CKRCARLA からの戻りコード rc。C2PDEBUG を参照してください (Return code rc from CKRCARLA, see C2PDEBUG)**

説明

取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0383E **Stage-1 CKRCARLA でシステム異常終了 abndcode-reascode。C2PDEBUG を参照してください (System Abend abndcode-reascode in Stage-1 CKRCARLA, see C2PDEBUG)**

説明

取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0384E **SYSRST1 を開けません。終了します (Cannot open SYSRST1, exit)**

説明

SYSRST1 ファイルのオープン・エラーが発生しました。このファイルは、レコード・フォーマットが VBA で LRECL が 255 に指定された一時データ・セットに事前割り振りされている必要があります。追加情報については、付随する IEC メッセージを参照してください。

ユーザーの処置

正しい特性を持つ SYSRST1 ファイルが使用可能であることを確認してください。

C2P0385E **SYSRST1 を閉じることができませんでした (Could not close SYSRST1)**

説明

SYSRST1 ファイルのクローズ・エラーが発生しました。

C2P0386I **現行の Extmon DS 名の項目番号は Curr-index です。 (Current Extmon dsname entry number is Curr-index.)**

説明

この情報メッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドに回答して発行されます。これは、現行の比較処理で使用される拡張モニター・データ・セットの内部項目番号を示します。これは、直前に作成されたデータ・セットです。この番号がゼロの場合は、拡張モニターがまだ完全には初期化されておらず、メッセージ C2P0387I は発行されません。

C2P0387I **現行の ExtMon DS 名は dsname です (Current ExtMon dsname is dsname)**

説明

このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージのテキストと dsname は、それぞれ、別のメッセージ行に示されます。メッセージは、現行の比較処理で使用される拡張モニター・データ・セットの名前を示します。これは、直前に作成されたデータ・セットです。メッセージ C2P0386I に表示される curr_index がゼロの場合、このメッセージは発行されません。

C2P0388W **Process_task の開始が遅延されます (Start of Process_task delayed)**

説明

現在は Process_task を開始できません。タスクは、ブロッキング処理が完了した後で自動的に開始されます。

C2P0389I **CKRCARLA タスクの再始動が要求されました (Requested restart of CKRCARLA task)**

説明

環境情報の更新 (Stage-1 CARLa) の完了時に、この診断メッセージが発行されます。これは、現行のレポート

作成タスクが停止通知を受け取ったこと、および新規のインスタンスを開始することを示します。

C2P0390I **Process_task が完了しました
(Process_task completed)**

説明

Process_task が完了しました。処理中にエラーが発生した場合、このメッセージの前に、メッセージ C2P0382W または C2P0383E が発行されます。

C2P0391E **CKRCARLA でユーザー異常終了
abndcode-reascode。C2PDEBUG
を参照してください (User Abend
abndcode-reascode in CKRCARLA,
see C2PDEBUG)**

説明

取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0392I **c2pio_ddname のソフト EOF
(c2pio_ddname soft EOF)**

説明

この診断メッセージは、ストリーム *c2pio_ddname* に対する現在のレコード取得要求の結果、ソフト EOF が返されることを示します。現行ストリームに対する次の要求は、次のレコードが使用可能になるまで (おそらく次のレポート作成インターバルまで) 待機する結果となります。

C2P0393I **c2pio_ddname Imm。お待ちください
(Wait)**

説明

この診断メッセージは、ストリーム *c2pio_ddname* に対する現在のレコード取得要求は、レコードが使用可能になるまで (おそらく次のレポート作成インターバルまで) 遅延されることを示します。

C2P0394I **c2pio_ddname、Imm 後に続行しま
す。(c2pio_ddname Continue after
Imm.) お待ちください (Wait)**

説明

この診断メッセージは、バッファの切り替えが発生したことを示します。バッファが分析されます。適切なタイプのレコードはすべて、呼び出し側プログラムに渡されます。

C2P0395I **C2PC がコピー領域に保存されまし
た (C2PC saved in copy area)**

説明

このメッセージは、オペレーターの DIAGNOSE(C2PC(SAVE)) コマンドの確認として発行されます。C2PC 制御ブロックの現在の内容が静的コピーに保存されます。この静的コピーは DIAGNOSE(C2PC(DUMP(COPY))) オペレーター・コマンドを使用して表示したり、ダンプ出力で見たりすることができます。保存された C2PC の内容は、IBM サポート担当員のみが使用するためのものです。

C2P0396I **C2PC コピー領域が消去されます
(C2PC copy area cleared)**

説明

このメッセージは、オペレーターの DIAGNOSE(C2PC(CLEAR)) コマンドの確認として発行されます。C2PC 制御ブロックの静的コピーの現在の内容が削除されます。直前のエラーまたはオペレーターの DIAGNOSE(C2PC(SAVE)) コマンドが原因で保存された情報は、以後は使用できなくなります。保存された C2PC の内容は、IBM サポート担当員のみが使用するためのものです。

C2P0397I **Diag C2PC(DUMP(Act)) が指定され
ました。(Diag C2PC(DUMP(Act)) is
specified.)**

説明

このメッセージは、オペレーターの DIAGNOSE C2PC コマンドに回答して発行されます。この後に、アクティブ C2PC データ域の内容を 16 進ダンプ・フォーマットで示す複数のメッセージが続きます。

C2P0398I **Diag C2PC(DUMP(copy)) が指定さ
れました。(Diag
C2PC(DUMP(copy)) is specified.)**

説明

このメッセージは、オペレーターの DIAGNOSE C2PC コマンドに回答して発行されます。この後に、C2PC データ域の保存コピーの内容を 16 進ダンプ・フォーマットで示す複数のメッセージが続きます。

C2P0399I **デバッグ ExtMon が非アクティブに
なります。(Debug ExtMon is
deactivated.)**

説明

汎用デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニター・デバッグ・メッセージが以後は発行されないことを確認するために、この通知メッセージが発行されます。

C2P0400E **メインタスク異常終了 (16 進数)
abndcode、理由コード (16 進数)
reascode (Maintask ABEND (Hex))**

**abndcode, Reasoncode (Hex)
reascode)**

説明

zSecure Alert タスクの実行中にエラーが発生しました。*abndcode* は、解釈されていない異常終了コード (ユーザーおよびシステム異常終了コードの 16 進表記) を表しており、*reascode* は理由コードの 16 進表記です。この異常終了に理由コードがない場合、または System Diagnostic WorkArea が存在しない場合、*reascode* は適用外 (N/A) として示されます。この異常終了に関する詳細情報については、追加メッセージを参照してください。

C2P0401E クリーンアップを実行できません。
**code (Cannot perform cleanup
code)**

説明

クリーンアップの試行中に、C2PC 通信域のアドレスを設定できませんでした。この制御ブロックがないと、クリーンアップはできません。コード *code* は、C2PC を見つけるために使用された IEANTRT ルーチンからの戻りコードです。

C2P0402I クリーンアップの試行中
(Attempting cleanup)

説明

この進行メッセージは、アドレス・スペース終了の前にシステム・リソースのクリーンアップ試行が開始したことを示すために発行されます。デバッグ・モードでは、別のクリーンアップ・プロセス進行メッセージが発行される可能性があります。

C2P0403I クリーンアップ完了 (Cleanup
completed)

説明

この進行メッセージは、クリーンアップ・プロセスの最後に発行され、今からアドレス・スペースの終了が続行されることを示します。

C2P0404W **Stage1interval が AverageInterval
よりも小さいです (Stage1interval
is smaller than AverageInterval)**

説明

環境情報の更新頻度が、有効な頻度を超えています。あまりに頻繁に環境情報を更新すると、必要以上にシステム・リソースを使用することになります。stage1interval の推奨設定値は、指定された averageinterval の 10 倍から 20 倍です。

C2P0405W **AverageInterval が Interval よりも
小さいです (AverageInterval is
smaller than Interval)**

説明

長期レポートに指定された期間が、短期レポートの期間よりも短いです。この結果、長期アラート処理からいくつかのレコードが失われることになります。averageinterval の推奨設定値は、Interval の 5 倍から 20 倍です。

C2P0406W **ACF2 レコード・タイプが不明です
(ACF2 record type unknown)**

説明

ACF2 キーワードを使用して、ACF2 レコードの選択をフィルター基準として指定することはできません。FILTER コマンドは無視されます。

C2P0407W **接頭部 prefix の WTO フィルターが
見つかりません (WTO Filter for
prefix prefix not found)**

説明

FILTER DELWTO コマンドに指定された接頭部は、WTO メッセージ接頭部のフィルター基準としてアクティブではありませんでした。FILTER コマンドは無視されます。

C2P0408I システム *sysname* のシミュレート・
**オプション (Simulate options for
system sysname)**

説明

この診断メッセージは、シミュレート・オプションが指定されているシステム名を示します。

C2P0409I **SMF レコード番号は record-type で
ず (SMF record number is record-
type)**

説明

この診断メッセージは、メッセージ C2P0408I の続きです。これは、ACF2 レコードに使用される SMF レコード番号を示します。

C2P0410E **サブタスク異常終了 (16 進数)
abndcode、理由コード (16 進数)
reascode (Subtask ABEND (Hex)
abndcode, Reasoncode (Hex)
reascode)**

説明

zSecure Audit サブタスクの実行中にエラーが発生しました。*abndcode* は、解釈されていない異常終了コード

(ユーザーおよびシステム異常終了コードの 16 進表記) を表しており、*reascode* は理由コードの 16 進表記です。この異常終了に理由コードがない場合、または System Diagnostic WorkArea が存在しない場合、*reascode* は適用外 (N/A) として示されます。この異常終了に関する詳細情報については、追加メッセージを参照してください。

C2P0411I アクティブな WTO フィルターがありません (No WTO filter active)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。WTO メッセージにフィルター基準が指定されていない場合に発行されます。

C2P0412W WTO フィルターを追加するためのスペースが不十分です (Insufficient space to add WTO filter)

説明

WTO メッセージの選択に使用する WTO 接頭部の最大数を超過しました。追加の WTO メッセージ接頭部はフィルター基準に追加されませんでした。現行の実装環境では 24 個の WTO メッセージ接頭部が許可されません。

ユーザーの処置

不要になった WTO フィルター基準を削除するか、複数の接頭部を組み合わせるより総称的な接頭部にしてください。

C2P0413W 接頭部は既に存在します (Prefix already present)

説明

FILTER ADDWTO コマンドで指定された接頭部が、現在アクティブな WTO 接頭部に基づく選択項目のリスト内で見つかりました。指定された WTO メッセージ接頭部は追加されませんでした。

C2P0414W 拡張モニター・スナップショット・データ・セットが重複しています。 (Duplicate extended monitor snapshot data set.)1 サイクルをスキップします。 (Skip one cycle.)

説明

この警告メッセージは、新規の拡張モニター・スナップショット・データ・セット名がシステム・カタログに既に存在する場合に発行されます。新規の拡張モニター・スナップショット・データ・セットは作成されません。拡張モニターは、一時的に中断されます。次のサイクルで、既存のベースラインと新規スナップショット・

データ・セットの間のすべての変更が分析され、結果としてアラートが遅れて発生する場合があります。

C2P0415I スナップショット・データ・セット *dsname* は期限切れです。 (Expired snapshot data set *dsname*.)

説明

この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、システム・カタログに存在するデータ・セットが指定の保存期間よりも古いと判別された場合に発行されます。データ・セットは削除されます。

C2P0416I 拡張モニター・スナップショット・テーブル・ヘッダー。 (Extended Monitor snapshot table header.)

説明

この通知メッセージは、DIAGNOSE EXTMON(HEADER) コマンドに回答して発行されます。これはヘッダー・メッセージであり、この後にいくつかの C2P0701I および C2P0702I メッセージが続きます。これは、拡張モニターに関連する可能性がある問題の診断において IBM サポート担当員を支援するためのものです。

C2P0417I 拡張モニター・スナップショットを取得しています。 (Extended monitor snapshot is being taken.)

説明

この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、新規の拡張モニター・スナップショット・データ・セットを取得している場合に発行されます。このメッセージは、データ収集プロセスの開始時に発行されます。

C2P0418I 拡張モニター・スナップショットが取得されました。 (Extended monitor snapshot has been taken.)

説明

この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、新規の拡張モニター・スナップショット・データ・セットが取得された場合に発行されます。このメッセージは、データ収集プロセスの終了時に発行されます。

C2P0419I MCS アラート QSTA (Mem/Que/Int/Pct) flag bytes (MCS ALERT QSTA (Mem/Que/Int/Pct) flag bytes)

説明

この診断メッセージは、デバッグ・モードがオンになっていて、MCS メッセージ処理アラートが生成される場

合に発行されます。flag-bytes は、診断のみを目的としたものです。

ユーザーの処置

このメッセージが頻繁に発生する場合は、対応方法を判断するために、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0420E **コンソールの活動化に失敗しました。RC=retcode-reascode (Console activation failed, RC=retcode-reascode)**

説明

MCSOPER システム・サービスを使用した EMCS コンソールのセットアップ中にエラーが発生しました。エラー・コードは *retcode* であり、理由コードは *reascode* です。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0421I **コンソール・インターフェース console-name がアクティブになりました (Console interface console-name activated)**

説明

このメッセージは、EMCS コンソール *console-name* による WTO メッセージ収集ルーチンの活動化が成功したことを示すために発行されます。

C2P0422W **MCS アラート条件が発生しました (MCS Alert condition raised)**

説明

この警告メッセージは、WTO メッセージの収集に問題がある可能性があることを示します。行われた修正アクションについて報告する、追加の C2P メッセージが発行されます。

C2P0423E **MCS GET エラー [RC=retcode-reascode] 再開を試行します (MCS GET error [RC=retcode-reascode] attempt resume)**

説明

EMCS コンソールからのメッセージの取得中にエラーが発生しました。WTO メッセージのキューイングが再開され、メッセージの取得が続行されます。DEBUG WTO が指定された場合は、*returncode* および *reasoncode* が報告されます。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。*returncode* および *reasoncode* を含む、完全なエラー・メッセージを記載した問題レポートを作成してください。

C2P0424I **MDB linecount=line-count
MsgNo=message-id**

説明

この診断メッセージは、MCSOPMSG システム・サービスが受け取ったメッセージの行数 (*line-count*) および最初の 8 文字 (*message-id*) を示します。

C2P0425E **コンソールの非活動化に失敗しました。RC=retcode-reascode (Console deactivation failed, RC=retcode-reascode)**

説明

MCSOPER システム・サービスを使用した EMCS コンソールのセットアップ中にエラーが発生しました。システム・エラー・コードは *retcode* であり、理由コードは *reascode* です。

ユーザーの処置

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0426I **WTO メッセージ・スペースがフルです。nnn 件のメッセージを破棄して再開します (WTO Message space full, discard nnn messages and resume)**

説明

この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが「メッセージ・スペースがフル」の条件により発生したことを示します。この原因として、収集タスクの処理速度を超えて WTO メッセージが作成されていることが考えられます。後れを取り戻し、このメッセージがすぐに再発しないようにするた

め、いくつかのメッセージが破棄され、通常の WTO メッセージ収集が続行されます。

ユーザーの処置

このメッセージが頻繁に発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。C2P0426I メッセージが発生した期間の前後に syslog に送信された WTO メッセージの量に関する情報もお知らせください。

C2P0427I **WTO メッセージ制限に到達しました。100 件のメッセージを破棄して再開します (WTO Message limit reached, discard 100 messages and resume)**

説明

この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが「メッセージ制限到達」の条件により発生したことを示します。この原因として、収集タスクの処理速度を超えて WTO メッセージが作成されていることが考えられます。後れを取り戻し、このメッセージがすぐに再発しないようにするため、100 件のメッセージが破棄され、通常の WTO メッセージ収集が続行されます。

ユーザーの処置

このメッセージが頻繁に発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。C2P0427I メッセージが発生した期間の前後に syslog に送信された WTO メッセージの量に関する情報もお知らせください。

C2P0428I **WTO メッセージ割合 (%) に到達しました (WTO Message percentage reached)**

説明

この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが「メッセージ割合 (%) 到達」の条件により発生したことを示します。この原因として、収集タスクの処理速度を超えて WTO メッセージが作成されていることが考えられます。この MCS アラートは、実際のエラーが発生する前に発行されるため、通常の WTO メッセージ収集が続行されます。

ユーザーの処置

このメッセージが頻繁に発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けら

れた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。C2P0428I メッセージが発生した期間の前後に syslog に送信された WTO メッセージの量に関する情報もお知らせください。

C2P0429I **MCS 内部エラー。再開を試行します (MCS Internal error, attempt resume)**

説明

この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが「MCS 内部エラー」の条件により発生したことを示します。zSecure Alert タスクがこの種の状況に影響を及ぼすことはできません。通常の WTO メッセージ収集が試行されます。

ユーザーの処置

このメッセージが頻繁に発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。C2P0429I メッセージが発生した期間の前後に syslog に記録された関連メッセージに関する情報もお知らせください。

C2P0430I **MCS コンソールが中断されました。終了します (MCS Console suspended, terminate)**

説明

この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが、WTO メッセージ収集に使用される EMCS コンソールの非活動化により発生したことを示します。これは、オペレーターが vary コマンドを実行した結果である可能性があります。

ユーザーの処置

このメッセージが予期せずに発生した場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0431I **MCS RESUME エラー RC=retcode-reascode。 (MCS RESUME error RC=retcode-reascode.)**

説明

EMCS コンソールからのメッセージ取得の再開中にエラーが発生しました。システム・エラー・コードは *retcode* であり、理由コードは *reascode* です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0432I 使用コンソール名 *console-name*
(Console name to be used *console-name*)

説明

この診断メッセージは、EMCS コンソールの活動化要求で使用される *console-name* を示します。このメッセージの最初のインスタンスには、&SYSCLONE システム・パラメーターを置換した後に得られる名前が示されます。コンソールが既にアクティブであるために活動化が失敗した場合、その後のメッセージでは、表示される *console-name* の最後の 2 文字の数値が大きくなっていきます。

C2P0433I *product version* は正常に再始動しました (*product version restart successful*)

説明

このメッセージは、再始動処理の最後に発行され、再始動処理が完了したことを示します。

C2P0434E ESM アンカーが見つかりません。終了します (No ESM anchor found, exit)

説明

製品は、セキュリティー製品のメイン制御ブロックを見つけれませんでした。

ユーザーの処置

この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0435E ESM *esm* を認識できません (ESM *esm* not recognized)

説明

製品は、システムにインストールされているセキュリティー製品を認識しませんでした。アンカー制御ブロック内で見つかった目印は *esm* でした。

ユーザーの処置

この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0436I 拡張モニターは *status* です。
(Extended Monitoring is *status*.)

説明

このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドの応答であり、拡張モニターがアクティブであるかどうかを示すために発行されます。*status* は次のいずれかの値をとります。

active

CKFREEZE スナップショット・データ・セットが作成され、アラート状態にあるかどうか分析されます。

not active

CKFREEZE スナップショット・データ・セットは作成されず、拡張モニター・アラートは出されません。

delayed

一時的なエラー状態が解決されるまで、拡張モニター・アラートは出されません。

C2P0437I 拡張モニター・スナップショットの保存期間は *hours* (時間) です。
(Extended Monitoring snapshot retention period is (hours) *hours*.)

説明

このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドに回答して発行されます。これは、拡張モニター・スナップショット・データ・セット (CKFREEZE データ・セット) が削除されるまでの保存期間を示します。

C2P0438I 拡張モニター・レポートのメンバーは *member* です。(Extended Monitoring report member is *member*.)

説明

このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドに回答して発行されます。これは、拡張モニター・アラートに使用される CARLa ステートメントが含まれているメンバー名を示します。

C2P0439W スナップショット・データ・セットが不十分です。(Insufficient snapshot data sets.) 拡張モニターは遅延されます。(Extended monitoring is delayed.)

説明

この警告メッセージは、存在する拡張モニター・スナップショット・データ・セットが2つ未満の場合に発行されます。拡張モニターは2つのデータ・セットの比較に基づいているため、拡張モニターを行うことができません。通常処理の一環として、追加の拡張モニター・スナップショット・データ・セットが作成され、拡張モニター分析およびアラート作成が再開されます。このメッセージは、現在の状態が存続する限り、各拡張モニター・インターバルの開始時に発行されます。

C2P0440I 使用可能な拡張モニター・スナップショット・データ・セットがありません。(No extended monitoring snapshot data sets are available.)

説明

この診断メッセージは、DIAGNOSE EXTMON(All/Current/Header) コマンドの応答であり、拡張モニターはアクティブであるが拡張モニター・データ・セットが見つからない場合に発行されます。これは、C2PEMFRT テンプレート・メンバーのエラーが原因であるか、またはシステム・カタログで検出されたデータ・セットが多すぎることが原因である可能性があります。

ユーザーの処置

C2PEMFRT テンプレート・メンバーに正しいデータ・セット名パターンが指定されていることを確認します。そのほかに関連するエラー・メッセージや警告メッセージがないかも確認してください。

C2P0441W ベースライン索引または現行索引がゼロです。(Baseline- or Current-index is zero.) 拡張モニターは遅延されます。(Extended monitoring is delayed.)

説明

この警告メッセージは、現行スナップショット・データ・セットまたはベースライン・スナップショット・データ・セットのいずれかが見つからなかった場合に発行されます。拡張モニターは2つのデータ・セットの比較に基づいているため、拡張モニターを行うことができません。通常処理の一環として、追加の拡張モニター・スナップショット・データ・セットが作成され、拡張モニター分析およびアラート作成が再開されます。このメッセージは、現在の状態が存続する限り、プリプロセッシング間隔ごとに1回発行されます。

C2P0442W ベースライン・データ・セットが削除されました。(Baseline data set was deleted.) 拡張モニターは遅延されます。(Extended monitoring is delayed.)

説明

この警告メッセージは、ベースライン・スナップショット・データ・セットが指定の保存期間よりも古いため、保存期間処理の一環として削除された場合に発行されます。拡張モニターは、次のインターバルで再開が試行されます。このメッセージは、再開が失敗した場合は再発行されます。

ユーザーの処置

保存期間 (OPTION EXTMON(RETAIN(hh) パラメーターに指定される) およびプリプロセッシング間隔 (OPTION PREPROCESSINTERVAL(mm) パラメーターに指定される) が正しいことを確認します。保存期間は、プリプロセッシング間隔よりも長くする必要があります。

C2P0443W 現行データ・セットが削除されました。(Current data set was deleted.) 拡張モニターは遅延されます。(Extended monitoring is delayed.)

説明

この警告メッセージは、現行スナップショット・データ・セットが指定の保存期間よりも古いため、保存期間処理の一環として削除された場合に発行されます。拡張モニターは、次のインターバルで再開が試行されます。このメッセージは、再開が失敗した場合は再発行されます。

ユーザーの処置

保存期間 (OPTION EXTMON(RETAIN(hh) パラメーターに指定される) およびプリプロセッシング間隔 (OPTION PREPROCESSINTERVAL(mm) パラメーターに指定される) が正しいことを確認します。保存期間は、プリプロセッシング間隔よりも長くする必要があります。

C2P0444W ベース索引が現行索引と同じです。(Base-index is same as Current-index.) 拡張モニターは遅延されません。(Extended monitoring is delayed.)

説明

この警告メッセージは、現行スナップショット・データ・セットがベースライン・スナップショット・データ・セットと同じである場合に発行されます。拡張モニターは2つのデータ・セットの比較に基づいているため、拡張モニターを行うことができません。通常処理の一環として、追加の拡張モニター・スナップショット・データ・セットが作成され、拡張モニター分析およびアラート作成が再開されます。このメッセージは、現在の状態が存続する限り、プリプロセッシング間隔ごとに1回発行されます。

ユーザーの処置

プリプロセッシング・サイクルの開始後1分間はリフレッシュ・コマンドを発行しないでください。

C2P0445I 保存されたベースライン・データ・セットは *dsname* です。(Saved baseline data set is *dsname*.)

説明

この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されている場合に発行されます。これは、保存されたベースライン・スナップショット・データ・セット名を示します。

C2P0446I スナップショット・データ・セット *dsname* を作成します。(Create snapshot data set *dsname*.)

説明

この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されている場合に発行されます。これは、新しい現行スナップショット・データ・セットの名前を示します。

C2P0447I 拡張モニター・スナップショット・テーブルが使用できません。(Extended monitor snapshot table is not available.)

説明

この診断メッセージは、DIAGNOSE EXTMON(All/Current/Header) コマンドの応答であり、拡張モニター・スナップショット・データ・セット・テーブルが見つからなかった場合に発行されます。拡張モニターがアクティブになっていない場合、これは正常な応答です。

C2P0448I 保存済みのベースライン・データ・セットが存在しません。(Saved baseline data set does not exist.)

説明

この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、保存済みのベースライン・スナップショット・データ・セットがシステム・カタログで見つからないか、削除された場合に発行されます。

C2P0449I 現行スナップショット・データ・セットが存在しません。(Current snapshot data set does not exist.)

説明

この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、現行スナップショット・データ・セットがシステム・カタログで見つからないか、削除された場合に発行されます。

C2P0450I **SMF インターバルの同期: フラグ Soft-EOF (SMF interval synchronization: flag Soft-EOF)**

説明

この診断メッセージは、SMF インターバル終了のイベントが発生したことを示します。C2PIORTN モジュールは、次のバッファ終了が CKRCARLA に対するソフト EOF コードとなることを通知されます。

C2P0451E **ALLOC コマンドが失敗しました。SYSTSPRT を参照してください (ALLOC command failed, see SYSTSPRT)**

説明

C2PAMCNT にある **alloc** コマンドが失敗しました。これは、テンプレート・コマンドの構文が無効であるか、プログラムによるテンプレート・コマンドの解釈が間違っているか、あるいは、指定されたデータ・セットの割り振りができないことが原因である可能性があります。

ユーザーの処置

SYSTSPRT ファイル内のエラー・メッセージを確認し、問題を修正してください。

C2P0452E **DS 名パラメーターの最初の部分 'DA(' が filename で見つかりません (Start of dsname parameter 'DA(' not found in filename)**

説明

テンプレート・ファイルに指定された **ALLOC** コマンドは、マニュアルに記載された制限に準拠していません。DS 名は単一引用符で囲み、先頭はストリング DA と、そのすぐ後に続く左括弧、およびデータ・セット名を囲む最初の引用符で始まっていなければなりません。つまり、DA(' とする必要があります。

ユーザーの処置

ALLOC コマンドを修正し、正しい形式を使用してデータ・セット名を指定してください。

C2P0453E **DS 名パラメーターの最後の部分 ')' が filename で見つかりません (End of dsname parameter ')' not found in filename)**

説明

テンプレート・ファイルに指定された **ALLOC** コマンドは、マニュアルに記載された制限に準拠していません。DS 名は単一引用符で囲み、末尾はデータ・セット名を囲む最後の引用符と、そのすぐ後に続く右括弧で終わっ

ていなければなりません。つまり、') とする必要があります。

ユーザーの処置

ALLOC コマンドを修正し、正しい形式を使用してデータ・セット名を指定してください。

C2P0454E 日付パターンが **filename** で見つかりません。(Date pattern not found in filename)

説明

テンプレート・ファイルに指定された **ALLOC** コマンドは、マニュアルに記載された制限に準拠していません。指定するデータ・セット名の最後の修飾子は、D<date>、T<time>、または D<date> のいずれかでなければなりません。日付パターン <date> は、動的システム・シンボル &LYR2.&LMON.&LDAY によって指定されるような、6 文字の数値とする必要があります。時刻パターン <time> は、動的システム・シンボル &LHR.&LMIN によって指定されるような、4 文字の数値とする必要があります。

ユーザーの処置

ALLOC コマンドを修正し、正しい形式を使用してデータ・セット名を指定してください。

C2P0455I **ddname** のバッファを閉じます (Close buffer for ddname)

説明

この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO がアクティブ化されていて、C2PIORTN モジュールが **ddname** のストレージ内バッファを CLOSE する必要がある場合に発行されます。ストレージ内バッファの終わりに到達したため、このメッセージが発行されます。このメッセージは、ファイル全体の外部 CLOSE 要求 (メッセージ C2P0362I を参照) が結果的にストレージ内バッファの内部 CLOSE 要求となったことを示すものです。

C2P0456E **FREE** コマンドが失敗しました。**SYSTSPRT** を参照してください (FREE command failed, see SYSTSPRT)

説明

統合アクセス・モニター・レコードを解放するために使用される **FREE** コマンドが正常に実行されませんでした。

ユーザーの処置

SYSTSPRT 内のエラー・メッセージを確認してください。

C2P0457I **C2PEMFRB** の EOF (EOF on C2PEMFRB)

説明

この診断メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、C2PEMFRB DD 名が空である場合に発行されます。このメッセージは、拡張モニターが使用可能な状態で C2POLICE を初めて開始するときに、発行される可能性があります。その他のあらゆる状況で、これはリカバリー可能なエラーの症状です。

ユーザーの処置

このメッセージが頻繁に発行される場合は、C2PEMFRB DD 名が指しているデータ・セットが他のプロセスによって使用されていないことを確認してください。他のアプリケーションはこのデータ・セットにアクセスしていない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0458E 内部エラー: 機能コードが無効です。(Invalid function code.)

説明

このメッセージは内部エラーを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0459E 必要な DD 名 **ddname** が割り振られていません (Required ddname ddname is not allocated)

説明

このメッセージは、REPORT DDNAME 構成ステートメントに指定された DD 名が割り振られていない場合に発行されます。指定された DD 名は、データ・セット名および必要な割り振りパラメーターに関する情報を取得するために使用されます。

ユーザーの処置

必要な DD 名および関連データ・セット内のメンバーの内容について詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

C2P0460E 必要なメンバー **member** が DD 名 **ddname** に存在しません (Required

member member is not is not present in ddname ddname)

説明

このメッセージは、REPORT DDNAME 構成ステートメントに指定された DD 名に必要なメンバーが含まれていない場合に発行されます。指定されたメンバーは、データ・セット名および必要な割り振りパラメーターに関する情報を取得するために使用されます。

ユーザーの処置

必要な DD 名および関連データ・セット内のメンバーの内容について詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

C2P0461I **ACMN 開始レコード (ACMN Start record)**

説明

この診断メッセージは、DEBUG IO の結果として、アクセス・モニター・ストリームからの最初のレコードが処理されるときに発行されます。

C2P0462I **ACMN 停止レコード (ACMN Stop record)**

説明

この診断メッセージは、DEBUG IO の結果として、アクセス・モニター・ストリームからの最後のレコードが処理されるときに発行されます。

C2P0463I **データ統合タスクの再開がスケジュールされました (Restart scheduled for data consolidation task)**

説明

このメッセージは、オペレーターの CONSOLIDATE コマンドの結果として、日次出力ファイル統合プロセスが実行されることを示すために発行されます。

C2P0464I **統合タスクはアクティブです (Consolidation task is active)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。DISPLAY コマンドの実行時に、日次データ統合 CKRCARLA タスクがアクティブであることが判明しました。このタスクは、1 日に 1 回 *consolidatetime* の時刻に開始されるか、コンソール・オペレーター要求により開始されます。

C2P0465I **統合タスクの開始時刻は *time* です (Consolidation task start time is *time*)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。*time* は、システムの日次データ統合タスクがアクティブ化される現地時間です。

C2P0466I **統合 CARLa メンバーは *member* です (Consolidation CARLa member is *member*)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。このメンバーは、日次データ統合 CARLa ステートメントに使用される CARLa コマンドが含まれているメンバーの名前です。

C2P0467E **統合 MGR 接続エラー、RC=*rc* (Error attaching consolidation MGR, RC=*rc*)**

説明

日次データ統合プロセスに使用されたマネージャー・タスクに接続するときに、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0468I **統合 MGR を正常に接続しました (Successfully attached consolidation MGR)**

説明

この診断メッセージは、日次データ統合マネージャー・タスクが正常に開始した後に発行されます。

C2P0469E **SMF 収集タスク接続エラー、RC=*rc* (Error attaching SMF capture task, RC=*rc*)**

説明

SMF レコードの収集に使用されたタスクに接続するときに、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの](#)

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0470I SMF 収集タスクを正常に接続しました (Successfully attached SMF capture task)

説明

この診断メッセージは、SMF データ収集タスクが正常に開始した後に発行されます。

C2P0471E ENF 収集タスク接続エラー、RC=rc (Error attaching ENF capture task, RC=rc)

説明

ENF イベントの収集に使用されたタスクに接続するときに、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0472I ENF 収集タスクを正常に接続しました (Successfully attached ENF capture task)

説明

この診断メッセージは、ENF データ収集タスクが正常に開始した後に発行されます。

C2P0473I データ統合は (HHMM) HHMM に実行されます (Data consolidation runs at (HHMM) HHMM)

説明

この診断メッセージは、指定された日次データ統合タスク開始時刻を示します。

C2P0474E データ統合の実行時間 HHMM が無効です (Data consolidation runtime invalid HHMM)

説明

指定された日次データ統合タスクの実行時刻が無効です。HHMM には、0000 (午前 0 時) から 2359 (午前 0 時の 1 分前) の間の時刻を指定する必要があります。

ユーザーの処置

有効な時刻を指定します。

C2P0475E RACF 収集タスク接続エラー、RC=rc (Error attaching RACF capture task, RC=rc)

説明

RACF アクセス・イベントの収集に使用されたタスクに接続するときに、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは rc です。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0476I RACF 収集タスクを正常に接続しました (Successfully attached RACF capture task)

説明

この診断メッセージは、RACF アクセス・イベント収集タスクが正常に開始した後に発行されます。

C2P0477I 現行のレポート・インターバルは hh:mm:ss に終了します (Current report interval ends hh:mm:ss)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージ内の時刻は、現行のレポート・インターバルがいつ終了するかを示します。

C2P0478I 次のプリプロセッシングの実行は hh:mm:ss に開始します (Next preprocessing run starts hh:mm:ss)

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージ内の時刻は、次のプリプロセッシング・タスクがいつ開始するかを示します。そのときに、parmlib 内の変更されたオプションも有効になります。

C2P0479E filename からのコマンドが失敗しました。SYSTSPRT を参照してください (Command from filename failed, see SYSTSPRT)

説明

テンプレート・ファイル filename に指定されたコマンドが正常に実行されませんでした。

ユーザーの処置

SYSTSPRT 内のエラー・メッセージを確認し、コマンドを修正してください。

C2P0480I 識別が失敗しました rc=return code
(Identify failed rc=return code)

説明

このメッセージは、ISPF サービス・ルーチンをダミー・ルーチンとして設定する IDENTIFY サービスが失敗したことを示します。

ユーザーの処置

戻りコードを確認するには、MVS 資料で「IDENTIFY サービス」に関する説明を参照してください。

C2P0481I ISP モジュールを BR14 としてロケーション xxxxxxxx で識別しました
(Identified ISP modules as BR14 at location xxxxxxxx)

説明

このデバッグ専用メッセージは、ISPLINK、ISPEXEC、および ISPQRY ISPF モジュールが、C2POLICE または C2PACMON 開始済みタスク環境内のノーオペレーション・ルーチンによって置換されたことを示すために発行されます。ISPF サービスは、この環境では通常は使用できません。これらの ISPF モジュールをノーオペレーション・ルーチンとして定義することで、これらのサービスに関する不要な警告メッセージによる混乱を防止します。

C2P0482I ISP モジュールが削除されました
(Removed ISP modules)

説明

このデバッグ専用メッセージは、ISPLINK、ISPEXEC、および ISPQRY ISPF モジュールが、C2POLICE または C2PACMON 開始済みタスク環境内のノーオペレーション・ルーチンによって置換されなくなったことを示すために発行されます。

C2P0483W 異常終了 xxxxxxxx-xxxxxxx に対する FRR ルーチンが呼び出されました (FRR routine invoked for ABEND xxxxxxxx-xxxxxxx)

説明

RACF FASTAUTH 要求についてのデータを収集するのに使用される C2PRFX04 モジュールで、異常終了が発生しました。異常終了は復旧し、実行は継続されています。

C2P0484I デバッグ RACF がアクティブになります (Debug RACF is activated)

説明

このメッセージは DEBUG RACF コマンドの応答として発行され、RACF データ収集に関する診断メッセージが発行されたことを示します。

C2P0485I デバッグ RACF が非アクティブになります (Debug RACF is deactivated)

説明

このメッセージは DEBUG NORACF コマンドの応答として発行され、RACF データ収集に関する診断メッセージが発行されなかったことを示します。

C2P0486I 現行バッファは使用中です。お待ちください (Current buffer in use, wait)

説明

ストレージ内データの処理中に、C2PIORTN モジュールが、次に処理対象となるバッファがまだ使用中であることを検出しました。他のタスクがこのバッファを解放できるように、バッファの処理は遅延されます。

C2P0487W 現行バッファは使用中です。共有バッファを読み取っています (Current buffer in use, reading shared buffer)

説明

ストレージ内データの処理中に、C2PIORTN モジュールが、次に処理対象となるバッファがまだ使用中であることを検出しました。数秒待った後で、少なくとも 1 つの他のタスクがストレージ内バッファをまだ使用中です。データ分析とレポート作成のタスクをこれ以上妨害させないようにするために、バッファには共有モードでアクセスします。

C2P0488E ddname buf_index=null

説明

ファイル ddname のストレージ内データの処理中に、C2PIORTN モジュールが、現行バッファに対する無効なポインターを検出しました。

C2P0489I アクセス・モニターがメモリー内バッファを使用してイベントを事前統合します (Access Monitor pre-consolidates events using in-memory buffers)

説明:

このメッセージは、DISPLAY コマンドへの応答の一部です。アクセス・モニター・イベントがメモリー内バッファを使用して事前統合されます。

C2P0490I **RACF 出口が直接ブランチを使用して呼び出されました (RACF exits are called using direct branch)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。アクセス・モニターが使用する RACF 出口は、出口ルーター・モジュールから直接ブランチ命令を使用して呼び出されます。

C2P0491I **RACF 出口が MVS 動的出口として呼び出されました (RACF exits are called as MVS dynamic exit)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。アクセス・モニターが使用する RACF 出口は、MVS 動的出口サービスを使用して呼び出されます。

C2P0492I **RACF 出口用に CSVDPNEX モードが指定されています (CSVDPNEX mode specified for RACF exits)**

説明

このメッセージは、アクセス・モニター出口が MVS 動的出口サービスを使用して呼び出されるように OPTION ステートメントで指示されていることを示しています。

C2P0493I **RACF 出口用に DIRECT モードが指定されています (DIRECT mode specified for RACF exits)**

説明

このメッセージは、アクセス・モニター出口が出口ルーター・モジュールから直接ブランチ命令を使用して呼び出されるように OPTION ステートメントで指示されていることを示しています。

C2P0494I **現行の日次収集 DS 名は *dsname* です (Current daily collection dsname is *dsname*)**

説明

このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージのテキストと *dsname* は、それぞれ、別のメッセージ行に示されます。このメッセージは、1 日の間にアクセス・モニター・レコードを収集するために使用するデータ・セットの名前を示します。通常、このデータ・セットは日次統合プロセス中に処理されて削除されます。

C2P0495I **収集サイクルの終了時にイベント統計が出力されます (Event statistics**

are shown at end of collection cycle)

説明:

このメッセージは、DISPLAY コマンドへの応答の一部です。データ収集サイクルの終了時に、レポートが作成されます。CARLa メンバー C2PAMSTS を使用して、イベントの総数およびインターバル中に作成された統合出力レコードの数の概要を提供できます。SMF グローバル・インターバルは、データ収集サイクルの期間を決定します。

C2P0496I **デバッグ分析がアクティブになります (Debug Analytics is activated)**

説明

このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルの処理に関連する特殊な診断メッセージが発行されることを示すために発行されます。

C2P0497I **デバッグ分析が非アクティブになります (Debug Analytics is deactivated)**

説明

このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルの処理に関連する特殊な診断メッセージが発行されないことを示すために発行されます。

C2P0498E **リンク解除が失敗しました
rv=return_value rc=return-code
rs=reason-code (Unlink failed
rv=return_value rc=return-code
rs=reason-code)**

説明

BPX1UNL サービス中にエラーが発生したため、分析ディレクトリーを期限切れにできませんでした。BPX1UNL 戻りコードおよび理由コードを調べて、リンク解除が失敗した理由を確認してください。このメッセージの後には、削除できなかったファイルを示すメッセージ C2P0499I が続きます。

システムの処置

実行を継続しますが、出力ディレクトリー内のファイルは削除されません。

C2P0499I ***path-name (path-name)***

説明

このメッセージは、メッセージ C2P0498E の続きです。これは、削除できなかったファイルのパス名を示します。

C2P0500E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)**

説明

このメッセージは、ICHGLS10 ルーチンが期待される RACF モジュール内に、このルーチンが見つからない場合に発行されます。

C2P0501I **ICHGLS10 がロケーション address に見つかりました (Found ICHGLS10 at location address)**

説明

この診断メッセージは、DEBUG MAIN がアクティブな場合に発行されます。これは、IRRGNT00 ルーチンが使用不可の場合に使用される ICHGLS10 ルーチンのロケーションを示します。

C2P0502E **IGC0013{ ルーチンをロードできませんでした: abend-code (Could not load IGC0013{ routine abend-code)**

説明

このメッセージは、ICHGLS10 ルーチンが期待される RACF モジュールをプログラムがロードできない場合に発行されます。

C2P0503W **CKRCARLA パラメーター・ストリングが切り捨てられました (CKRCARLA Parm string truncated)**

説明

このメッセージは、DEBUG CKRCARLAPARAMETER に指定されているパラメーター・ストリングが 63 文字より長い場合に発行されます。

C2P0504I **CKRCARLA パラメーター・ストリング = value (CKRCARLA Parm string = value)**

説明

このデバッグ専用メッセージは、プログラムが認識している CKRCARLAPARAMETER の値を示すために発行されます。

C2P0505I **すべての SMF サブタイプをアクティブ化しました (Activated All SMF Subtypes)**

説明

このデバッグ専用メッセージは、サブタイプの指定がない SMF レコード・タイプ・フィルターを追加するために FILTER コマンドが発行された場合、または ALLSUBTYPE キーワードが指定された場合に発行されます。レコード・サブタイプの指定は、レコード・タイ

プ 30、80、92、および ACF2 に対してのみサポートされています。

ユーザーの処置:
何も必要ありません。

C2P0506I **指定された SMF サブタイプは、AllSubtype 設定により無効です (Specified SMF Subtype ineffective due to AllSubtype setting)**

説明

この警告メッセージは、SMF レコード・サブタイプに指定された FILTER が無視されることを示します。既存の SMF レコード・フィルターが既に、このレコードのすべてのサブタイプが選択されることを指定しています。そのため、追加のサブタイプの指定は冗長です。

ユーザーの処置:
何も必要ありません。DISPLAY コマンドを発行して、SMF フィルターが意図したとおりであることを確認することをお勧めします。指定したサブタイプ**のみ**の選択が必要な場合は、以前の ALLSUBTYPE の指定が存在しないようにしてください。

C2P0507I **CKRCARLA パラメーター・ストリングは value です (CKRCARLA parameter string is value)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。示されている value が、CKRCARLA プログラムに渡されます。この値が最近指定されたものである場合、データ収集プロセスの一部としてアクティブな CKRCARLA の現行インスタンスがパラメーターの以前の値を使用している可能性があります。

C2P0508W **レポート作成フェーズ中のデータ・エラーの総数が num です (Total data errors during reporting phase was num)**

説明

このメッセージは、CKRCARLA データ収集インスタンスが終了した後で発行されます。これは、ストレージ内データ・バッファからのレコードの処理中に検出された無効なレコードの総数を示しています。このメッセージは、無効なレコードが検出されなかった場合には発行されません。無効なレコードの詳細は、その無効なレコードの検出時に DEBUG BUFFER がアクティブだった場合に、メッセージ C2P0163W に示されます。

C2P0509I **function プロセスが完了しました (function process completed)**

説明

この通知メッセージは、オペレーターによって要求された *function* が完了したときに発行されます。zSecure Alert 製品の場合、*function* の値は REFRESH であり、zSecure Admin のアクセス・モニター・コンポーネントの場合、*function* の値は CONSOLIDATE です。

C2P0510E レコード・タイプ *rectype* では、レコード・サブタイプはサポートされていません (**Record subtypes not supported for recordtype *rectype***)

説明

FILTER ステートメントで、レコード・タイプとレコード・サブタイプを使用して SMF レコードをフィルタリングすることが指定されています。指定されたレコード・タイプではレコード・サブタイプはサポートされていません。レコード・サブタイプは、レコード・タイプ 30、80、92、および ACF2 に対してのみサポートされています。

C2P0511I 収集サイクルの終了時にイベント統計が出力されます (**Event statistics are shown at end of collection cycle**)

説明

このデバッグ専用メッセージは、オプション **ShowStatistics** が設定されていることを示します。**ShowStatistics** オプションについて詳しくは、「zSecure CARLa-Driven Components インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『OPTION コマンド』を参照してください。

C2P0512I 収集サイクルの終了時にイベント統計を出力しません (**Event statistics are not shown at end of collection cycle**)

説明

このデバッグ専用メッセージは、オプション **NoShowStatistics** が設定されていることを示します。**NoShowStatistics** オプションについて詳しくは、「zSecure CARLa-Driven Components インストールおよびデプロイメント・ガイド」でオプション・コマンドに関する情報を参照してください。

C2P0513I 統計 CARLa メンバー名は *member-name* です (**Statistics CARLa member name is *member-name***)

説明

このデバッグ専用メッセージは、SMF インターバルが終了するごとにアクセス・モニター統計を生成するように指定されたメンバー名を示します。デフォルト値は C2PAMSTS です。

C2P0514W イベント・タイプ AUTH はサポートされていません (**Event type AUTH not supported**)

説明

このデバッグ・メッセージは、OPTION EVENTSTOALERT ステートメントに TYPE(AUTH) または TYPE(NOAUTH) が指定されたことを示すために発行されます。Authorization イベントを zSecure Alert に渡すことは現在のところサポートされていません。

C2P0515W イベント・タイプ FAST はサポートされていません (**Event type FAST not supported**)

説明

このデバッグ・メッセージは、OPTION EVENTSTOALERT ステートメントに TYPE(FAST) または TYPE(NOFAST) が指定されたことを示すために発行されます。Fastauth イベントを zSecure Alert に渡すことは現在のところサポートされていません。

C2P0516W イベント・タイプ DEFINE はサポートされていません (**Event type DEFINE not supported**)

説明

このデバッグ・メッセージは、OPTION EVENTSTOALERT ステートメントに TYPE(DEFINE) または TYPE(NODEFINE) が指定されたことを示すために発行されます。Define イベントを zSecure Alert に渡すことは現在のところサポートされていません。

C2P0517I アクセス・モニターは選択したイベントを zSecure Alert に渡します (**Access Monitor passes selected events to zSecure Alert**)

説明

このデバッグ・メッセージは、OPTION EVENTSTOALERT ステートメントを処理することを確認するために発行されます。

C2P0518I アクセス・モニターがイベントを zSecure Alert に渡しません (**Access Monitor does not pass events to zSecure Alert**)

説明

このデバッグ・メッセージは、OPTION NOEVENTSTOALERT ステートメントを処理することを確認するために発行されます。

C2P0519I イベントは VERIFY イベントを組み込み/除外します (**Events include/exclude VERIFY events**)

説明

このデバッグ・メッセージは、OPTION EVENTSTOALERT ステートメントに TYPE(VERIFY) または TYPE(NOVERIFY) が指定されたことを確認するために発行されます。VERIFY イベントは zSecure Alert の開始済みタスクに渡されるか、または渡されません。

C2P0520I **RACF 出口用に FASTSTORE が指定されています (FASTSTORE specified for RACF exits)**

説明:

このメッセージは、OPTION ステートメントでの指定により、アクセス・モニターが使用する複数の RACF 出口が、ユーザーのアドレス・スペース内のセル・プール・ストレージを使用して単一のモジュールとして実装されることを示します。

C2P0521I **RACF 出口が高速ストレージ・モードを使用して呼び出されました (RACF exits are called using fast storage mode)**

説明:

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。アクセス・モニターが使用する複数の RACF 出口が、ユーザーのアドレス・スペース内のセル・プール・ストレージを使用して単一のモジュールとして実装されます。

C2P0522E **IEANTCR からのエラー戻り、RC=retcode (Error return from IEANTCR, RC=retcode)**

説明:

ユーザーのアドレス・スペース内のセル・プール・ストレージのアンカーとして使用する名前付きトークンの作成時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *retcode* です。このメッセージは回避しなければなりません。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。retcode を含むエラー・レポートを作成します。

C2P0523I **アクセス・モニター・レコードがメモリー内バッファを使用して事前統合されます (Access Monitor records are pre-consolidated using in-memory buffers)**

説明:

このデバッグ・メッセージは、OPTION ステートメントでの指定により、アクセス・モニター・イベントの事前統合が必須である場合に表示されます。

C2P0524I **アクセス・モニター・レコードが CKRCARLA エンジンによって統合**

されます (Access Monitor records are consolidated by CKRCARLA engine)

説明:

このデバッグ・メッセージは、OPTION ステートメントでの指定により、アクセス・モニター・イベントの事前統合が実行されず、個別のイベント・レコードが CKRCARLA プログラムを使用して統合される場合に表示されます。

C2P0525W **CLASS によるイベントの選択はサポートされていません (Event selection by CLASS not supported)**

説明

このデバッグ・メッセージは、OPTION EVENTSTOALERT ステートメントに CLASS(resource-class) が指定されたことを示すために発行されます。リソース・クラスによる選択は、現在のところ、イベントを zSecure Alert に渡す際にはサポートされていません。

C2P0526I **アクセス・モニターは選択したイベントを zSecure Alert に渡します (Access Monitor passes selected events to zSecure Alert)**

説明

このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。zSecure アクセス・モニターによりキャプチャーされた VERIFY イベントが zSecure Alert にも提供されます。事前定義されているアラート 1122 を zSecure Alert でアクティブ化して、機密ユーザーの使用に関するニア・リアルタイムアラートを提供することができます。これには、SMF レコードを作成しない VERIFY イベントが含まれています。

C2P0527E **zSecure Alert アドレス・スペースが見つかりません (Cannot locate zSecure Alert address space)**

説明

このエラー・メッセージは、zSecure Admin アクセス・モニターが特定のイベント情報を zSecure Alert に渡すように構成されている場合に、必要な zSecure Alert アドレス・スペースが非アクティブであると発行されます。要求されたイベントは zSecure Alert に渡されず、アクセス・モニター自体で作成された ACCESS データ・セットでのみ使用できます。

C2P0528E **zSecure Alert PC 番号が見つかりません (Cannot locate zSecure Alert PC number)**

説明

このエラー・メッセージは、zSecure Admin アクセス・モニターが特定のイベント情報を zSecure Alert に渡すように構成されていて、その情報を渡すために必要な zSecure Alert プログラム呼び出しを特定できなかった場合に発行されます。要求されたイベントは zSecure Alert に渡されず、アクセス・モニター自体で作成された ACCESS データ・セットでのみ使用できます。

C2P0529E ディレクトリーを開くことができ
ませんでした *rv=return_value*
rc=return-code rs=reason-code
(Open dir failed *rv=return_value*
rc=return-code rs=reason-code)

説明

ディレクトリーを開くことができなかったため、分析ディレクトリーを期限切れにできませんでした。

システムの処置:

実行を継続しますが、出力ディレクトリー内のファイルは削除されません。

ユーザーの処置:

BPX1OPD *return-code* および *reason-code* を調べて、開くことができなかった理由を確認してください。

C2P0530I 分析 CARLa メンバーは *member-*
name です (Analytics CARLa
member is member-name)

説明

このデバッグ専用メッセージは、分析 CARLa に対して指定されたメンバー名を確認するために発行されます。

C2P0531E 無効な分析ディレクトリー
directory-name (Invalid analytics
directory directory-name)

説明

指定されたディレクトリー名は、マニュアルに記載された制限に準拠していません。先頭はスラッシュ (/) にする必要があり、末尾はスラッシュ以外にする必要があります。

C2P0532I デフォルト分析ディレクトリー */u/*
c2pacmon を使用します (Using
default analytics directory */u/*
c2pacmon)

説明

無効なディレクトリー名が指定されました。そのため、デフォルト・ディレクトリー */u/c2pacmon* が使用されます。

C2P0533I 分析ディレクトリーは *directory-*
name です (Analytics directory is
directory-name)

説明

このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルに対して指定されたディレクトリー名を確認するために発行されます。

C2P0534I 分析 *umask* は *umask* です
(Analytics *umask is umask*)

説明

このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルを作成するときに有効な *umask* を確認するために発行されます。

C2P0535I 分析ファイル保存期間は *num-days*
日です (Analytics file retention
period is num-days days)

説明

このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルが自動的に削除されるまでの保存日数を確認するために発行されます。

C2P0536I 無効な分析ファイル保存期間です。
デフォルト値の 5 日を使用します
(Invalid analytics file retention
period, using default value 5 days)

説明

指定された保存期間が短すぎるかまたは長すぎます。代わりに、デフォルト保存期間の 5 日が使用されます。

C2P0537I 分析ファイル *file-name* は期限切れ
です (Expired analytics file *file-*
name)

説明

このデバッグ専用メッセージは、分析出力ファイル *file-name* が期限切れであり、削除されたことを示すために発行されます。

C2P0542I デバッグ BUFFER DETAIL モード
(Debug BUFFER DETAIL mode)

説明

このデバッグ専用メッセージは、メモリー内バッファの SMF レコードに関する統計が各インターバルの最後に表示されることを示すために発行されます。

C2P0543I デバッグ BUFFER NODETAIL モー
ド (Debug BUFFER NODETAIL
mode)

説明

このデバッグ専用メッセージは、メモリー内バッファの SMF レコードに関する統計は表示されないことを示すために発行されます。

C2P0544I Rectype サブタイプ・カウント (Rectype Subtype Count)

説明

このメッセージには 2 つのタイプのコンテンツがあります。先頭の行には、後続のテーブル表示の見出しが表示されます。後続の行には、現在のメモリー内バッファの SMF レコード・タイプ (Rectype) およびサブタイプのオカレンスが示されます。

C2P0544I	Rectype	サブタイプ (Subtype)	カウント (Count)
C2P0544I	rectype	subtype	count
C2P0544I	rectype	subtype	count

RACF システムの場合、RACF レコードのサブタイプ列には、RACF イベント・コードの数値がリストされます。ACF2 システムの場合、サブタイプ列には ACF2 レコード・サブタイプの数値がリストされます。サブタイプ列の「total」というテキストが含まれるメッセージ・フォーマットには、その後に続くサブタイプのレコード・タイプ・レコードの総数が示されています。これらの後続レコードには、前のレコード・タイプのサブタイプについて情報を提供することを示すレコード・タイプの値は含まれません。

C2P0545I デバッグ buffer がアクティブになりました (Debug buffer lock activated)

説明:

この診断メッセージは、BUFLOCK オプションが認識され、アクティブにされたことを確認します。バッファのロック状態が発生した場合は、SVC ダンプが作成されます。ダンプは、関連付けられている C2P0305E メッセージの時点より早い、イベントが発生した時点で作成されます。

C2P0546I デバッグ buffer が非アクティブになりました (Debug buffer lock deactivated)

説明:

この診断メッセージは、NOBUFLOCK オプションが認識され、非アクティブにされたことを確認します。

C2P0547I デバッグ buffer が非アクティブになりました (Debug buffer lock deactivated)

説明:

BUFLOCK オプションは、現在のアドレス・スペースに対して SVC ダンプをスケジュールした後、自動的に非アクティブになります。BUFLOCK オプションは、オペ

レーター・コマンドによって、または PARMLIB から、DEBUG コマンドが再度発行されるまで非アクティブのままになります。

C2P0564E IEANTRT からのエラー戻り、RC=retcode (Error return from IEANTRT, RC=retcode)

説明:

ユーザーのアドレス・スペース内のセル・プール・ストレージのアンカーとして使用する名前付きトークンの取得時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *retcode* です。このメッセージは回避しなければなりません。

C2P0572E バッファを割り振ることができません。MEMLIMIT を超えました (Cannot allocate buffer; MEMLIMIT exceeded)

説明:

開始タスクの MEMLIMIT は、ストレージ内バッファに指定されたサイズと数には不十分です。開始タスク・プロシージャで指定されたサンプルの MEMLIMIT は 8G です。256M のバッファを 32 個指定すると 8G の MEMLIMIT に適合しますが、これでは CKRCARLA などの他のプログラム用のスペースが残りません。他のプログラムにもストレージが必要ですが、その量も MEMLIMIT に計上されます。

C2P0573W バッファ *bufnum* 内の不完全なレコードをスキップしています (Skipping incomplete record in buffer *bufnum*)

説明:

ストレージ内にあるバッファからデータを読み取り中に、不完全なヘッダーのレコードをプログラムが検出しました。現在のレコードは無視され、次のレコードから処理が続行されます。

C2P0574W 不明なレコードです。バッファ *bufnum* の残りの部分をスキップします (Unknown record, skipping rest of buffer *bufnum*)

説明:

ストレージ内にあるバッファからデータを読み取り中に、無効なレコードをプログラムが検出しました。レコードの長さが不明であるため、ストレージ内にあるバッファの残りの処理ができません。現在のレコードとストレージ内にあるバッファの残りは無視され、次のストレージ内にあるバッファから処理が続行されます。

C2P0575E *ddname* buf_index = null

説明:

ファイル *ddname* のストレージ内データの処理中に、C2PIORTN モジュールが、現行バッファに対する無効なポインターを検出しました。

C2P0701I ベース ptr: *address* (Base ptr:
address)

説明

この診断メッセージは、後続の C2P0702I メッセージに表示される領域の基底アドレスを示します。これは、C2PC 共通域のアドレス、またはその領域の保存済みコピーのアドレスのいずれかです。

C2P0702I *address hexdata *chardata**

説明

このメッセージは複数回出されます。これらのメッセージは内部診断データを示します。値 *address* は、アドレスの最後の 4 桁のみを示します。完全なアドレスは、メッセージ C2P0701I に示されます。

C2P0703I *address hexdata *chardata**

説明

このメッセージは内部診断データを示します。*hexdata* が完全な 16 バイトの *hexdata* を満たしていない場合に、このメッセージが出されます。追加のデータは後続ゼロとして示されます。値 *address* は、アドレスの最後の 4 桁のみを示します。完全なアドレスは、メッセージ C2P0701I に示されます。

C2P0704I *record data*

説明

この診断メッセージは、収集された RACF イベント・レコードからの情報を示します。このメッセージは、IBM サポート担当員が問題判別中の支援を行うときに使用することを想定しています。

C2P797I サポートされない呼び出しタイプ
(Unsupported call type)

説明

このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品のインストールおよびセットアップが正常に終了したことを確認してください。

重大度

16

C2P798I 内部のバージョンの不一致
(Internal version mismatch)

説明

このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品のインストールおよびセットアップが正常に終了したことを確認してください。

重大度

16

C2P799I 内部の長さの不一致 (Internal
length mismatch)

説明

このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品のインストールおよびセットアップが正常に終了したことを確認してください。

重大度

16

C2P874I RECFM=*V(BS) RDW hex* が、レコー
ド *n ddname volser dsname* で
LRECL=*lrecl* を超えています
(RECFM=*V(BS) RDW hex* exceeds
LRECL=*lrecl* at record *n ddname*
volser dsname)

説明

このメッセージは、RECFM=*V(B)(S)* データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

C2P875I RECFM=*V(BS) BDW hex* が、レコー
ド *n ddname volser dsname* で
BLKSIZE=*blksize* を超えています
(RECFM=*V(BS) BDW hex* exceeds
BLKSIZE=*blksize* at record *n*
ddname volser dsname)

説明

このメッセージは、RECFM=*V(B)(S)* データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、ある

いは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

C2P0900I *diagnostic text*

説明

この診断メッセージは、コマンド・テンプレート・ファイルの処理中に発生したエラーの診断を支援します。診断テキストのさまざまな値が使用されます。これらのメッセージは、主に IBM ソフトウェア・サポート向けのものです。

C2P0901W 製品は *yyyy-mm-dd hh:mm:ss* 以降、非アクティブです (*product was inactive since yyyy-mm-dd hh:mm:ss*)

説明

この警告メッセージは、製品の始動または再始動時に発行されます。このメッセージは、製品がシステムの最後の IPL 後に少なくとも 1 回アクティブになっている場合に限り、発行されます。また、製品の最後のインスタンスが SIPL コマンドにより停止された場合、このメッセージはありません。

C2P0903W アクセス・モニター記録は *yyyy-mm-dd hh:mm:ss* 以降、非アクティブです (*Access Monitor recording was inactive since yyyy-mm-dd hh:mm:ss*)

説明

この警告メッセージは、CKRCARLA データ処理タスクの新規インスタンス開始時に、前のインスタンスが早期に終了していた場合に発行されます。Type の値は、zSecure Alert の場合は「Alert reporting」となります。

C2P915I UNIX レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx* [*meaning*] ファイル *ddname path* (UNIX write record *nn* failed RC *nn* [*meaning*] reason *qqqq rrrrx* [*meaning*] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コード

が、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

C2P926I モジュール *module* の **LOAD** は失敗しました (**LOAD of module *module* failed**)

説明

プログラムは、示されたモジュールが使用可能であることを予期していました。しかし、このモジュールが見つかりませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2P931I *proc*: バッファー・オーバーラン - *destinationlength* *sourcelength:data* (***proc*: Buffer overrun - *destinationlength* *sourcelength:data***)

説明

フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファー・オーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

C2P934I 値 *value* が大きすぎます (**Value *value* too large**)

説明

このメッセージは、入力パーサーが受け取った数値が大きすぎたことを示します。入力パーサーにより処理可能な最大値は 2147483647 です。

重大度

12

C2P942I 製品コード *code* の環境が一致しません (Environment mismatch for product code *code*)

説明

このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の 非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度

00

C2P948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (Enablement information corrupt for product code *code*)

説明

このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度

16

C2P949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (Product code *code* installed and non-APF registration limit exceeded)

説明

このメッセージは、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 制限を超えたため、インストール済みの製品を登録できない場合に発行されます。

重大度

00

C2P950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (Code not installed here for product code *code*)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度

16

C2P951I モジュール *module* のロード時にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました (system abend *code (desc)* trying to load module *module*)

説明

このメッセージは、モジュールのロードに失敗したことで、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了 306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていないことを意味する可能性があります。

重大度

08

C2P955I *program task heap* ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (program task heap STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE)

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2P964I PDS(E) データ・セット *dsn* への書き込みにはメンバー名が必要です (Member name required for writes to PDS(E) data set *dsn*)

説明

このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、必要なメンバー名が指定されていないことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 964 を出します。

重大度

08

C2P965I メンバー *mem* は PDS(E) でのみ使用できます。 *dsn* には使用できません (Member *mem* can only be used with PDS(E); not for *dsn*)

説明

このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 965 を出します。

C2P966I 端末ファイル *ddname* でメンバー *mem* を使用することはできません (Cannot use member *mem* on terminal file *ddname*)

説明

このメッセージは、示された *ddname* を持つ終端出力ファイルに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 966 を出します。

C2P967I RECFM=F は、LRECL=X および RECFM=VBS が設定されたデータ・セット *dsname* に対して無効です (RECFM=F invalid for LRECL=X, RECFM=VBS preferred data set *dsname*)

説明

このメッセージは、示された *dsname* を持つ出力ファイルに対して、指定された固定レコード・フォーマットが許可されなかったことを示します。これは、示されたデータ・セットに対してはサポートされません。プログラムは、ユーザー異常終了 967 を出します。

C2P968I IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (IFAEDDRG failed RC *nn* decimal)

説明

このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2P969I *dsn* の入出力エラー: *description* (I/O error for *dsn*: *description*)

説明

このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度

08

C2P970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (FREE STORAGE ERROR): *message*

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2P971I *file* の行 *n* におけるこの *field* の最大長は *len* です (Maximum length for this *field* is *len* at *file* line *n*)

説明

入力に含まれている複数行ストリングが長すぎます。複数行ストリング (印刷タイトルまたは引用符付きストリング) の最大サイズ *len* を超えました。

重大度

12

C2P972I *product* の使用可能化情報がありません (Enablement information missing for *product*)

説明

このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度

16

C2P973I **IBM セキュリティー製品コード code が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product code code disabled or not installed)**

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2P974I **IBM セキュリティー product が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (IBM Security product disabled or not installed here for requested focus)**

説明

製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2P975I **IBM セキュリティー product が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product disabled or not installed)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2P976I **IBM セキュリティー product 製品または機能が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product product or feature disabled or not installed here)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2P976I **IBM セキュリティー product 製品または機能が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product product or feature disabled or not installed here)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2P977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前('name') 機能('feature') バージョン(*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (Installed **PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME('name') FEATURE('feature') VER(*version*) REL(*release*) MOD(*modification*)**)
[製品 *action RC rc 10* 進数]
([Product *action RC rc decimal*])

説明

このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG に応答して発行されます。 *action* は、"registration" または "status" になります。 戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、C2P979I のため)。

重大度

00

C2P978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (Product code *code* has been disabled in PARMLIB)

説明

このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シस्पレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して製品が無効になっている場合に発行されます。

ユーザーの処置

製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度

00

C2P979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (Product code *code* implied by other)

説明

このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に発行されます。

重大度

00

C2P982I 内部エラー: *ddname* の行 *number* におけるエラー・コードが不明です (Internal error: unknown error code at *ddname* line *number*)

説明

入力パーサー・エラー・ルーチンで無効なエラー・コードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

C2P983I 予期されるリスト・セパレーター/ターミネーターは *typ1* ですが、*ddname* の行 *number* では *type "value"* となっています (Expecting *typ1* list separator/terminator instead of *type "value"* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、表示されたタイプの現行リストのリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーター (コンテキストに応じてコンマ、空白、行の終わりなど) を予期したことを示します。代わりに、示されているトークン・タイプ *type* (およびテキストがある場合は *value*) が検出されました。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度

12

C2P984I *ddname* の行 *number* で無効な *type* リスト・エレメント・タイプ *type "value"* が検出されました (Invalid *type* list element *type type "value"* at *ddname* line *number*)

説明

このメッセージは、入力パーサーが指定されたタイプのリスト・エレメントを予期したが、このコンテキストのリスト・エレメントとしてサポートされないタイプのトークンを検出したことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度

12

C2P985I *ddname* の行 *number* に必須リスト・エレメント/パラメーター「*value*」がありません (Required list element/parameter "*value*" missing at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーによって、リスト内の示された行に必要なパラメーターまたはエレメントがないことが検出されたことを示します。

重大度

12

C2P986I *ddname* の行 *number* でパラメーター *value* が重複しています (Duplicate parameter *value* at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーによって、示された行にパラメーターまたはリスト・エレメント *value* が重複して出現することが検出されたことを示します。

重大度

12

C2P987I 構文エラー: *type1* が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "*value*" では *type2* となっています (Syntax error: *type1* expected instead of *type2* at "*value*" on *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定のトークン・タイプ *type1* を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type2* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度

12

C2P988I 構文エラー: "*c*" が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "*value*" では *type* となっています (Syntax error: "*c*" expected instead of *type* at "*value*" on *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定の文字「*c*」(おそらく区切り文字)を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度

12

C2P989I 予期しない *type* "*value*" が *ddname* の行 *number* にあります (Unexpected *type* "*value*" at *ddname* line number)

説明

このメッセージは、入力パーサーが特定のトークン・タイプのいずれかを予期したが、異なるトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。

重大度

12

C2P992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明

このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度

04

C2P993I *program* タスク *taskname* *type* に対する診断ダンプが抑止されました。異常終了 *xxx* (DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR *program* TASK *taskname* *type* ABEND *xxx*)

説明

このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

C2P994I 最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。 **ddname (Last record truncated by end-of-file ddname)**

説明

このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度

16

C2P995I LRECL が無効です。区分データ・セットであるため置き換えられませんでしたが (LRECL invalid; not overruled because partitioned data set)

説明

このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、その後に異常終了 013 または 002 が発生する可能性があります。

C2P996I MFREE: スタック *name* のブロック内で長さが見つかりません (MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK *name*)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

04

C2P997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック *name* の最上部にありません (STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK *name*)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2P998I *program* のスタック *tasklevel stackname* でスタック・オーバーフローが発生しました (STACK OVERFLOW FOR STACK *tasklevel stackname* IN *program*)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2P999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ *heapname* のストレージが不足しています - 領域を増やしてください (STORAGE SHORTAGE FOR TASK *taskname* HEAP *heapname* IN *program* - INCREASE REGION)

説明

このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。

重大度

16

C2P メッセージ 1000 から 1999 (事前定義 RACF アラート)

関連情報

C2P メッセージ 0 から 999 (zSecure の開始タスク)

C2P メッセージ 2000 から 2999 (事前定義 ACF2 アラート)

C2P メッセージ 4000 から 6999 (インストール定義アラート)

このメッセージ範囲は、インストール定義アラート用に予約されています。

C2P メッセージ 8000 から 8999

C2P1101I 不明なユーザー *id* ジョブ *job* がログオンしました (Logon by unknown user *id* job *job*)

説明

RACF で認識されていないユーザーが、ログオンしたかバッチ・ジョブをサブミットしました。

id

システムに入力された不明なユーザー ID。

job

ログオンの結果としてのジョブのジョブ名、またはサブミットされたジョブのジョブ名。

C2P1102I 緊急ユーザー *user* がログオンしました (Emergency user *user* logged on)

説明

緊急用のユーザー ID が TSO ログオンまたはバッチ・ジョブのサブミットに使用された場合、アラートが送信されます。

user

システムにログオンしたユーザーのユーザー ID。

C2P1103I スーパーユーザー *user* が *system* にログオンしました (Superuser *user* logon to *system*)

説明

UNIX uid 0 のユーザー ID を使用して TSO または OMVS へのログオンが行われた場合、アラートが送信されます。

user

システムにログオンしたスーパーユーザーのユーザー ID。

system

ユーザーがログオンしたシステム (OMVS または TSO)。

C2P1104I パスワード違反により、高い権限を持つユーザー *user* が取り消されます (Highly authorized user *user* revoked for password violations)

説明

無効なパスワード試行回数の制限を超えたため、システム・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、AUDITOR、または ROAUDIT) を持つユーザーが取り消されます。

user

パスワード違反が制限を超えたために取り消される、システム・レベル権限を持つユーザーのユーザー ID。

C2P1105I *user2* によって、*user1* にシステム権限 *authority* が付与されました (System authority *authority* granted to *user1* by *user2*)

説明

ユーザーは、システム・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、AUDITOR、ROAUDIT、または CLAUTH) を取得します。

authority

ユーザー *user1* に付与されるシステム・レベル権限 (SPECIAL、AUDITOR、OPERATIONS、ROAUDIT、または CLAUTH)。

user1

システム・レベル権限を付与されるユーザーのユーザー ID。

user2

user1 にシステム・レベル権限を付与したユーザーのユーザー ID。

C2P1106I *user2* によって、*user1* からシステム権限 *authority* が削除されました (System authority *authority* removed from *user1* by *user2*)

説明

システム・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、AUDITOR、ROAUDIT、または CLAUTH) が、ユーザーから削除されます。

authority

ユーザー *user1* から削除されるシステム・レベル権限 (SPECIAL、AUDITOR、OPERATIONS、ROAUDIT、または CLAUTH)。

user1

システム・レベル権限を削除されたユーザーのユーザー ID。

user2

ユーザー *user1* からシステム・レベル権限を削除したユーザーのユーザー ID。

C2P1107I **グループ権限 *authority* が *group* の *user* に付与されました (Group authority *authority* granted to *user* in *group*)**

説明

グループ・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、および AUDITOR) がユーザーに付与されます。

authority

ユーザー *user* に付与されるグループ・レベル権限 (SPECIAL、AUDITOR、または OPERATIONS)。

user

グループ *group* の権限を付与されるユーザーのユーザー ID。

group

権限を付与されるユーザーが所属するグループ。

C2P1108I **グループ権限 *authority* が *group* の *user* から削除されました (Group authority *authority* removed for *user* in *group*)**

説明

グループ・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、および AUDITOR) がユーザーから削除されるか、または該当の権限を持つユーザーがグループから削除されます。

authority

ユーザー *user* から削除されるグループ・レベル権限 (SPECIAL、AUDITOR、または OPERATIONS)。

user

グループ *group* の権限を削除されるユーザーのユーザー ID。

group

ユーザーの権限が削除されるグループ。

C2P1109I **非 SPECIAL ユーザー *user* が SPECIAL コマンド *command* を発行しました (non-SPECIAL user *user* issued SPECIAL command *command*)**

説明

システムまたはグループの特殊権限を持たないユーザーが、グループまたはシステムの特殊権限を持つコマンドを実行しています。これは、ユーザーが (グループまたはシステムの) 特殊権限を必要とするコマンドを正常

に実行する可能性があるが、そのユーザー自身は SPECIAL 権限を持っていないことを示します。

user

システム SPECIAL 権限を持つコマンドを実行したユーザーのユーザー ID。

command

実行されたコマンド。このフィールドは、複数行にまたがる可能性があります。

C2P1110I **非 OPERATIONS ユーザー *user* が OPERATIONS データ・セット *data set* にアクセス (*access*) しました (non-OPERATIONS user *user* accessed (*access*) with OPERATIONS data set *data set*)**

説明

システムまたはグループ操作のアクセス権限のないユーザーが、グループまたはシステム操作権限でデータ・セットにアクセスしています。これは、そのユーザーが (ACL で明示的に否認されない限り) 自分の有効範囲内のすべてのデータ・セットにアクセス可能であることを意味します。

user

データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのユーザー ID。

access

データ・セットに対して実行されたアクセス・レベル。

data set

アクセスされたデータ・セット。

C2P1111I **無効なパスワードの試行回数が *user* の制限を超えました (Invalid password attempts exceed limit for *user*)**

説明

無効なパスワードを指定して行われた特定ユーザー ID のログオン試行回数が、時間枠に設定された制限を超えました。

user

システムにログオンしようとして使用されたユーザー ID。

C2P1112I ***user* のパスワード・ヒストリーがフラッシュされました (Password history flushed for *user*)**

説明

特定のユーザー ID のパスワードが特定の時間枠内で、パスワード・ヒストリーの SETROPTS 設定よりも頻繁に変更されています。この方法で、ユーザーはパスマ

ード・ヒストリー全体をフラッシュし、それによって前のパスワードの再使用ができるようにしました。

user

パスワード・ヒストリーをフラッシュしたユーザーのユーザー ID。

C2P1113I **user のパスワード変更の不審な点があります (Suspect password changes for user)**

説明

特定の時間枠内で、特定ユーザー ID のパスワード変更回数が多すぎます (ただし、パスワード・ヒストリーを完全にフラッシュするほど頻繁ではありません)。

user

パスワードを頻繁に変更したユーザーのユーザー ID。

C2P1114I **group の user に接続権限 authority が設定されました (Connect authority authority set for user in group)**

説明

接続に対して、CREATE 以上の権限レベルが設定されます。

authority

ユーザー *user* に付与されるグループ権限 (CREATE、CONNECT、または JOIN)。

user

グループ *group* のグループ権限を付与されるユーザーのユーザー ID。

group

権限を付与されるユーザーが所属するグループ。

C2P1115I **ユーザー user revoke-action が nn 個の違反後に発生しました。ユーザー userid について nn 個の違反が記録されました。(User user revoke-action after nn violations nn violations recorded for user userid)**

説明

ユーザーが短時間に過剰な数の違反を作成しました。

nn

違反の数

revoke-action

ユーザーを取り消すために zSecure Alert が取るアクション。これは、RACF を介した直接の取り消しか、CKGRACF によるスケジュールされた取り消しか、いずれかです。

user

違反を作成したユーザーのユーザー ID

C2P1119I **user1 が user2 に対して無期限パスワードを割り当てました (user1 assigned non-expiring password for user2)**

説明

無期限パスワードを特定のユーザー ID に対して設定するための PASSWORD NOINTERVAL コマンドが発行されました。

user1

RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

user2

無期限パスワードが設定されたユーザー ID。

C2P1120I **ユーザー user について commands コマンドが記録されました (commands commands recorded for user user)**

説明

間隔内で特定のユーザー ID に関して、構成された数よりも多くの RACF コマンドが記録されたため、アラートが送信されました。間隔は、zSecure Alert の REPORT オプション **AverageInterval** で指定されます。

commands

発行された RACF コマンドの数。

user

RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

C2P1121I **user1 が user2 から保護状況を削除しました (user1 removed protected status from user2)**

説明

ユーザー ID の保護状況を削除するための ALTUSER PASSWORD コマンドが発行されました。

user1

RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

user2

保護状況が削除されたユーザー ID。

C2P1122I **機密ユーザー ID user、ジョブ名 jobname のログオン [失敗] (Sensitive user ID user jobname jobname logon [failed])**

説明

機密と見なされるユーザー ID がサインオンまたはバッチ・ジョブの実行に使用された場合、アラートが送信されます。

user

システムにログオンしたユーザーの ID。

jobname

ユーザー ID が使用されたタスクのジョブ名。これは、バッチ・ジョブの名前、TSO ユーザー ID、またはユーザーの代わりに作業を実行するサブシステムの名前のいずれかです。

C2P1123I *user: attribute* の ACEE 変更が検出されました (ACEE change detected for *user: attribute*)

説明

このアラートは、ユーザーの属性と許可を記述するストレージ内 ACEE への変更を RACF が検出した場合に発行されます。

user

ACEE が変更されたユーザーの ID。

attribute

RACF が検出し、メッセージ IRR421I で報告した最初の属性変更。

一般に、WTO メッセージに基づいて WTO アラートを発行しても、追加の利点はありません。WTO 形式のこのアラートの主な目的は、アラートがトリガーされたことを簡単に確認することです。

C2P1201I *user* がデータ・セット *data set* で **WARNING** モード *access* を実行しました (WARNING mode *access* by *user* on *data set data set*)

説明

データ・セットへのアクセスが行われ、警告モードのためアクセスが認可されます。

access

データ・セットで使用されるアクセス・レベル。

user

データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set

アクセスされたデータ・セット。

C2P1202I 公開アクセス権限 \geq UPDATE が設定されました。 *profile control* が *access* に設定されました (Public *access* \geq UPDATE set: *profile control* set to *access*)

説明

示された *control* によって DATASET プロファイル *profile* に高位アクセス権限レベルが付与されました。

プロファイル

高位の公開アクセス権限が付与されたプロファイル。

control

UACC (すべてのユーザーへのアクセスを許可) または ID(*) アクセス (RACF に定義されたすべてのユーザーへのアクセスを許可)。

access

付与された公開アクセス権限レベル。

C2P1203I 公開アクセス権限 \gt NONE が設定されました。 *profile control* が *access* に設定されました (Public *access* \gt NONE set: *profile control* set to *access*)

説明

示された *control* によって DATASET プロファイル *profile* にアクセス権限が付与されました。

プロファイル

公開アクセス権限が付与されたプロファイル。

control

UACC (すべてのユーザーへのアクセスを許可) または ID(*) アクセス (RACF に定義されたすべてのユーザーへのアクセスを許可)。

access

付与された公開アクセス権限レベル。

C2P1204I *user* が **APF** データ・セット *data set* を更新しました (Update by *user* on **APF** *data set data set*)

説明

APF 許可データ・セットが更新されます。

data set

更新された APF データ・セット。

user

APF データ・セットを更新したユーザーのユーザー ID。

C2P1205I コンソール *console* から **SETPROG** を使用して、データ・セットが **APF** リストに追加されました: ボリューム *volume* の *data set* (Data set added to **APF** list using **SETPROG** from *console*: *data set* on *volume volume*)

説明

SET PROG または SETPROG コマンドを使用して、動的にデータ・セットが APF リストに追加された場合、アラートが生成されます。

console

ユーザーが SET PROG または SETPROG コマンドを入力したコンソール。

data set

APF リストに追加されたデータ・セット。

volume

データ・セットが存在するボリューム、または、データ・セットが SMS によって管理されている場合は <SMS MANAGED>。

C2P1206I コンソール *console* から SETPROG を使用して、データ・セットが APF リストから削除されました: ボリューム *volume* の *data set (Data set removed from APF list using SETPROG from console console: data set on volume volume)*

説明

SET PROG または SETPROG コマンドを使用して、データ・セットが APF リストから動的に削除された場合、アラートが生成されます。

console

ユーザーが SET PROG または SETPROG コマンドを入力したコンソール。

data set

APF リストから削除されたデータ・セット。

volume

データ・セットが存在するボリューム、または、データ・セットが SMS によって管理されている場合は <SMS MANAGED>。

C2P1207I APF リストへのデータ・セットの追加が検出されました: *data set (Data set addition to APF list detected: data set)*

説明

何らかの方法でデータ・セットが APF リストに追加された場合に、このアラートが生成されます。これには、SET PROG または SETPROG コマンドの使用と、その他の製品の使用が含まれます。このアラートを生成するには、拡張モニターをアクティブにする必要があります。このアラートは、2つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、データ・セットを追加する際に使用されたユーザー ID またはジョブ名についての情報や追加を実行する際に使用されたプロセスについての情報は何も提供しません。

C2P1208I APF リストからのデータ・セットの削除が検出されました: *data set (Data set removal from APF list detected: data set)*

説明

何らかの方法でデータ・セットが APF リストから削除された場合に、このアラートが生成されます。これには、SET PROG または SETPROG コマンドの使用と、その他の製品の使用が含まれます。このアラートを生成するには、拡張モニターをアクティブにする必要があります。このアラートは、2つのシステム・スナップシ

ットの比較に基づいているため、データ・セットを追加する際に使用されたユーザー ID またはジョブ名についての情報や追加を実行する際に使用されたプロセスについての情報は何も提供しません。

C2P1209I *user* が PCI-PAN データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on PCI-PAN data set data set*)

説明

このアラートは、PCI-PAN (クレジット・カード主要アカウント番号) データ・セットに対して READ 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent

アクセス・インテント: READ、CONTROL、UPDATE、または ALTER。

user

PCI-PAN データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set

アクセスされた PCI-PAN データ・セット。

C2P1210I *user* が PCI-PAN-clr データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on PCI-PAN-clr data set data set*)

説明

このアラートは、平文の PCI-PAN (クレジット・カード主要アカウント番号) データ・セットに対して READ 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent

アクセス・インテント: READ、CONTROL、UPDATE、または ALTER。

user

平文の PCI-PAN データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set

アクセスされた平文の PCI-PAN データ・セット。

C2P1211I *user* が PCI-AUTH データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on PCI-AUTH data set data set*)

説明

このアラートは、PCI-AUTH データ・セットに対して READ 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent

アクセス・インテント READ、CONTROL、UPDATE、または ALTER を指定します。

user

PCI-AUTH データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID を指定します。

data set

アクセスされた PCI-AUTH データ・セットを指定します。

C2P1212I

user がサイト機密 READ データ・セット **data set** で **intent** アクセスを実行しました (**intent access by user on site-sensitive READ data set data set**)

説明

このアラートは、ユーザー **user** が、データ・セット **data set** に READ 以上のアクセスを行った場合に発行されます。データ・セット **dsname** は、サイト固有の READ 機密データ・セットとして指定されています。当該ユーザーは、このアラートの生成を免除される ID のリストには含まれていません。

intent

アクセス・インテント: READ、CONTROL、UPDATE、または ALTER。

user

サイト機密 READ データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set

アクセスされたサイト機密 READ データ・セット。

C2P1213I

user がサイト機密 UPDATE データ・セット **data set** で **intent** アクセスを実行しました (**intent access by user on site-sensitive UPDATE data set data set**)

説明

このアラートは、ユーザー **user** が、データ・セット **data set** に UPDATE 以上のアクセスを行った場合に発行されます。データ・セット **dsname** は、サイト固有の UPDATE 機密データ・セットとして指定されています。当該ユーザーは、このアラートの生成を免除される ID のリストには含まれていません。

intent

アクセス・インテント: UPDATE または ALTER。

user

サイト機密 UPDATE データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set

アクセスされたサイト機密 UPDATE データ・セット。

C2P1214I

user がデータ・セット **data set** 内の UPDATE 機密メンバー **member** で **action** アクションを実行しました (**action action by user on UPDATE**)

sensitive member member in data set data set**説明**

UPDATE 機密メンバーでアクションが正常に実行されました。

action

メンバーで実行されたアクション: INITIALIZE、DELETE、ADD、REPLACE、または RENAME。

user

UPDATE 機密メンバーに対してアクションを実行したユーザーのユーザー ID。

member

UPDATE 機密メンバー。

data set

メンバーが存在するデータ・セット。

C2P1215I

user が WARNING モードを **profile** に設定しました (**WARNING mode set: profile by user**)

説明

DATASET プロファイルに警告モードが設定されました。これは、プロファイルが通常は付与しないすべてのアクセス権限も許可されていることを意味します。

プロファイル

WARNING が設定されているプロファイル。

user

プロファイルを WARNING モードに設定したユーザーのユーザー ID。

C2P1216I

user が LEVEL 値を **profile** に設定しました (**LEVEL value set: profile by user**)

説明

新規の DATASET プロファイルにゼロ以外のレベル値が設定されたか、既存の DATASET プロファイルのレベルが変更されました。

プロファイル

レベルが設定されたプロファイル。

user

レベル値を設定したユーザーのユーザー ID。

C2P1301I

STARTED/profile が **STC procname.jobname** に使用されます (**STARTED/profile used for STC procname.jobname**)

説明

開始タスクは、STARTED クラスのキャッチオール・プロファイルに照らして検査されます。

プロファイル

開始タスクの検査に使用されるプロファイル。

procname

開始済みプロシージャの名前。

jobname

開始プロシージャを実行するジョブ名。

C2P1302I データ・セット *data set* の監査対象プログラム *program* が *user* によって実行されました (Audited program *program* from *data set data set* has been executed by *user*)

説明

監査対象プログラムが実行を開始しました。

program

実行されたプログラム。

data set

プログラムの発信元のデータ・セット。

user

プログラムを実行したユーザーのユーザー ID。

C2P1303I *user* が *class profile* で WARNING モード *access* を実行しました (WARNING mode *access* by *user* on *class profile*)

説明

一般リソース・クラスのプロファイルのアクセス権限が検査され、警告モードであるためにアクセスが認可されます。

access

リソースで使用されるアクセス・レベル。

user

一般プロファイルにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

class

プロファイルが常駐するクラス。

プロファイル

アクセスされたプロファイル。

C2P1304I 公開アクセス権限 >NONE が設定されました。 *class profile control* が *access* に設定されました (Public access >NONE set: *class profile control* set to *access*)

説明

示された *control* によって、示された *class* のプロファイル *profile* にアクセス権限が付与されました。

class

プロファイルの一般リソース・クラス。

プロファイル

公開アクセス権限が付与されたプロファイル。

control

UACC (すべてのユーザーへのアクセスを許可) または ID(*) アクセス (RACF に定義されたすべてのユーザーへのアクセスを許可)。

access

付与された公開アクセス権限レベル。

C2P1305I *user* が WARNING モードを *class profile* に設定しました (WARNING mode set: *class profile* by *user*)

説明

一般リソース・プロファイルの警告モードが設定されました。これは、プロファイルが通常は付与しないすべてのアクセス権限も許可されていることを意味します。

class

プロファイルの一般リソース・クラス。

プロファイル

WARNING が設定されているプロファイル。

user

プロファイルを WARNING モードに設定したユーザーのユーザー ID。

C2P1306I *user* が *STC profile* に対して任意のアクセス権限を許可しました (*user* has allowed any access for *STC profile*)

説明

STARTED クラスのプロファイルに対して RDEFINE または RALTER コマンドを使用することにより、トラステッドまたは特権ありの属性が開始タスク (STC) に割り当てられました。

user

RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

class

プロファイルが常駐するクラス。

プロファイル

STARTED プロファイル。

C2P1307I *user* が LEVEL 値を *class profile* に設定しました (LEVEL value set: *class profile* by *user*)

説明

新規の一般リソース・プロファイルにゼロ以外のレベル値が設定されたか、既存の一般リソース・プロファイルのレベルが変更されました。

class

プロファイルの一般リソース・クラス。

プロファイル

LEVEL 値が設定されたプロファイル。

user

プロファイルが WARNING モードに設定したユーザーのユーザー ID。

C2P1401I *path* で *user* による UNIX アクセス違反 (*access*) があります (UNIX *access violation (access) by user on path*)

説明

UNIX ファイルまたはディレクトリーに対するアクセス違反が発生しています。

access

対象となった UNIX アクセス。

user

ファイルまたはディレクトリーにアクセスしようとしたユーザーのユーザー ID。

path

ファイルまたはディレクトリーのパス。

C2P1402I *user* が *path* へのグローバル書き込みを指定しました (Global write specified by *user* on *path*)

説明

書き込み権限が、UNIX ファイルの「other」許可グループで指定されています。

user

UNIX ファイルまたはディレクトリーの許可にグローバル書き込みを追加したユーザーのユーザー ID。

path

ファイルまたはディレクトリーのパス。

C2P1403I *user* が *path* へのグローバル読み取りを指定しました (Global read specified by *user* on *path*)

説明

読み取り権限が、UNIX ファイルまたはディレクトリーの「other」許可グループで指定されています。

user

UNIX ファイルの許可にグローバル読み取りを追加したユーザーのユーザー ID。

path

ファイルのパス。

C2P1404I *user* が UNIX ファイルまたはディレクトリー *path* の APF またはプログラム制御ビットを変更しました (APF or program control bit changed by *user* on UNIX file or directory *path*)

説明

拡張属性 (APF、プログラム制御、または BPX shareas) が UNIX ファイルまたはプログラムに対して設定されるか、または削除されます。

user

ファイルまたはディレクトリーに対する APF またはプログラム制御ビットを設定したユーザーのユーザー ID。

path

ファイルまたはディレクトリーのパス。

C2P1405I UNIX プログラムが *user* によって実行されました:
path (UNIX program executed by *user: path*)

説明

正常な実行の監査 (ユーザーまたは監査員) が有効になっている UNIX プログラムが実行を開始しました。

user

プログラムを実行したユーザーのユーザー ID。

path

プログラムのパス。

C2P1406I スーパーユーザー特権が設定されている UNIX プログラムが *user* によって実行されました:
path (Superuser privileged UNIX program executed by *user: path*)

説明

setuid が有効になっており、正常な実行の監査 (ユーザーまたは監査員) が有効になっている、uid 0 が所有する UNIX プログラムが実行を開始しました。

user

プログラムを実行したユーザーのユーザー ID。

path

プログラムのパス。

C2P1407I ユーザー *user* が、スーパーユーザー特権シェルを取得しました (Superuser privileged shell obtained by *user user*)

説明

ユーザーが、UNIX **su** コマンドを使用して、スーパーユーザー特権を持つシェルを取得しました。

user

su を使用したユーザーのユーザー ID。

C2P1408I スーパーユーザー特権が UNIX プログラム

path に設定されました (**Superuser privileges set on UNIX program path**)

説明

UNIX スーパーユーザーが所有するプログラムに、setuid ビットが設定されます。

path

プログラムのパス。

C2P1409I **userid** が **filename** の拡張属性を変更 (**SAP->SAP**) しました (**Extended attribute changed (SAP->SAP) by userid for filename**)

説明

UNIX ファイル **filename** の拡張属性が変更されました。旧拡張属性と新規拡張属性は、括弧に入れて表示されません。**SAP** は拡張属性 (共有ライブラリー、APF 許可、およびプログラム制御) を表します。属性が設定されていない場合、ブランクで示されます。

コマンドは **userid** によって実行されました。

C2P1410I **issuer** が **user** に対して **UID(0)** を割り当てました (**issuer assigned UID(0) for user**)

説明

ALTUSER または ADDUSER OMVS(UID(0)) コマンドを使用して、UID(0) が割り当てられました。

issuer

RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

user

コマンドが発行されたユーザー ID。

C2P1411I **issuer** が **user** の **BPX.SUPERUSER** に対して許可を出しました (**issuer issued permit on BPX.SUPERUSER for user**)

説明

FACILITY クラスのプロファイル BPX.SUPERUSER に対して許可が出されました。

issuer

RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

user

コマンドが発行されたユーザー ID。

C2P1501I グローバル・セキュリティ対策が **user:** **command** によってアクティブ化されました (**Global security countermeasure activated by user: command**)

説明

システム・セキュリティを強化する RACF SETROPTS コマンドが実行されます。

user

コマンドを実行したユーザーのユーザー ID。

command

実行されたコマンド。

C2P1502I グローバル・セキュリティ対策が **user:** **command** によって非アクティブ化されました (**Global security countermeasure deactivated by user: command**)

説明

システム・セキュリティを低下させる RACF SETROPTS コマンドが実行されます。

user

コマンドを実行したユーザーのユーザー ID。

command

実行されたコマンド。

C2P1503I グローバル・セキュリティ対策が **user:** **command** によって変更されました (**Global security countermeasure changed by user: command**)

説明

システム・セキュリティを変更する RACF SETROPTS コマンドが実行されます。

user

コマンドを実行したユーザーのユーザー ID。

command

実行されたコマンド。

C2P1504I **RACF** リソース・クラスがアクティブ化されました: **class (RACF Resource class activated: class)**

説明

RACF リソース・クラスがアクティブ化されたことを検出した場合に、このアラートが生成されます。このアラートは、2つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、どのように変更が行われたかに関する情報は何も提供されません。

C2P1505I **RACF** リソース・クラスが非アクティブ化されました: **class (RACF Resource class deactivated: class)**

説明

RACF リソース・クラスが非アクティブ化されたことを検出した場合に、アラートが生成されます。このアラートは、2つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、どのように変更が行われたかに関する情報は何も提供されません。

C2P1506I *user* がクラス *class* の GAC テーブルを変更しました (*user modified GAC table for class class*)

説明

グローバル・アクセス検査テーブル項目が追加、削除、または変更されました。

user

RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

class

グローバル・アクセス検査テーブル項目。

C2P1507I *user* がクラス *class* の動的 CDT を変更しました (*user modified the dynamic CDT for class class*)

説明

動的クラス記述子テーブル項目が追加、削除、または変更されました。

user

RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

class

動的クラス記述子テーブル項目。

C2P1508I コンソール *console* で Command Verifier が非アクティブ化されました:
response (Command Verifier deactivated at *console: response*)

説明

zSecure Command Verifier が SETPROG EXIT,DELETE,EXITNAME=IRREVVX01,MODNAME=C4RMAIN コマンドによって非アクティブ化されました。

console

コマンドが発行されたコンソール ID。

response

SETPROG コマンド応答。

C2P1601I SMF データ損失が始まりました (SMF data loss started)。WTO *msgid: msgid*

説明

WTO が SMF データ損失が始まったことを報告しています。

msgid

このイベントが報告された WTO メッセージのメッセージ ID。

C2P1602I 障害後に SMF ロギングが再開されました。(SMF logging resumed after failure.) *number* 個のレコードが [失われました | 除去されました]。(*number records [lost | dropped]*)

説明

バッファが満杯になったため、またはフラッディング機能応答のため、SMF データが失われましたが、システムはロギングを再開しました。

number は、SMF レコードのフラッディング機能によって失われたか除去されたメッセージの数です。

C2P1603I SVC 定義が変更されました:
SVCNO/ESRNO (SVC definition changed: *SVCNO/ESRNO*)

説明

SVC テーブルまたは SVC ESR テーブル内の SVC の定義で変更が検出された場合に、アラートが生成されます。このアラートは、2つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、どのように変更が行われたかに関する情報は何も提供されません。

C2P1604I IBM Health Checker が低重大度の問題を検出しました:
msg (IBM Health Checker found low severity problem: *msg*)

説明

IBM Health Checker が重大度の低い問題を検出しました。

msgid

WTO ID HZS0001I のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ HZS0001I への対応については、z/OS Internet Library で「IBM Health Checker for z/OS User's Guide」を参照してください。

C2P1605I IBM Health Checker が中重大度の問題を検出しました:
msg (IBM Health Checker found medium severity problem: *msg*)

説明

IBM Health Checker が重大度が中程度の問題を検出しました。

msg

WTO ID HZS0002E のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ HZS0002E への対応については、[z/OS Internet Library](#) で「*IBM Health Checker for z/OS User's Guide*」を参照してください。

C2P1606I **IBM Health Checker が高重大度の問題を検出しました:
msg (IBM Health Checker found high severity problem: msg)**

説明

IBM Health Checker が重大度の高い問題を検出しました。

msg

WTO ID HZS0003E のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ HZS0003E への対応については、[z/OS Internet Library](#) で「*IBM Health Checker for z/OS User's Guide*」を参照してください。

C2P1607I **SMF レコードのフラッディングが検出されました (SMF record flood detected)。WTO msgid: msg**

説明

SMF レコードのフラッディングが検出されました。

msg

WTO ID IFA780A のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ IFA780A に対応する情報については、[z/OS インターネット・ライブラリー](#) で「*z/OS V1R12.0 MVS システム・メッセージ 第 8 巻 (IEF - IGD)*」を参照してください。

C2P1608I **SMF レコードのフラッディングによりレコードのドロップが開始されま
す (SMF record flood starts dropping records)。WTO msgid:
msg**

説明

SMF レコードのフラッディングにより、メッセージ・テキストで指定されたレコード・タイプのドロップが開始されました。

msg

WTO ID IFA782A のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ IFA782A に対応する情報については、[z/OS インターネット・ライブラリー](#) で「*z/OS V1R12.0 MVS システム・メッセージ 第 8 巻 (IEF - IGD)*」を参照してください。

C2P1609I **フィルター規則によってブロックされたアタックは以後は記録されません。
TCP/IP スタック stack_name 内の
監査証跡は不完全です。(Attacks
blocked by filter rules are no
longer logged
Audit trail incomplete in TCP/IP
stack stack_name)**

説明

パケット・フィルタリングのロギングは、使用可能ではなくなります。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P1610I **デフォルトのフィルター規則によっ
てブロックされたアタックは、以後
は記録されません。TCP/IP スタッ
ク stack_name 内の監査証跡は不完
全です。(Attacks blocked by
default filter rules are no longer
logged - audit trail incomplete in
TCP/IP stack stack_name)**

説明

暗黙のデフォルト規則によって拒否されるパケットに対するロギングは、使用可能ではなくなります。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P1611I **SMF 119 subtype が以後は書き込ま
れません。
TCP/IP スタック stack_name 内の
監査証跡は不完全です (SMF 119
subtype is no longer written
Audit trail incomplete in TCP/IP
stack stack_name)**

説明

次の場合、SMF 119 レコードが書き込まれなくなります。

- ユーザーが FTP クライアント・コマンドを呼び出す (FTPCLIENT)
- LINK 使用率に関連した統計が使用可能になる (IFSTAT)
- トンネルが追加、削除、アクティブ化、または非アクティブ化される (IPSECURITY)
- 予約済み PORT の使用率に関連した統計が使用可能になる (PORTSTAT)
- TCP 接続が確立される (TCPINIT)
- TCP/IP スタックがアクティブ化されるか終了する (TCPIPSTACK)
- TCP/IP 統計が使用可能になる (TCPIPSTAT)
- TCP 接続が終了する (TCPTERM)
- TSO Telnet クライアント・コードが接続を開始または終了する (TN3270CLIENT)
- UDP ソケットが閉じる (UDPTERM)

subtype

SMF 119 サブタイプ (ftpclient、ifstat、ipsecurity、portstat、tcpinit、tcpipstack、tcpipstat、tcpterm、tn3270client、または udpterm)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P1612I TCP/IP スタック *stack_name* 内で IP IP フィルタリング・サポートおよび IPsec トンネル・サポートが非アクティブ化されました (*IP IP filtering support and IPsec tunnel support deactivated in TCP/IP stack stack_name*)

説明

IPv4 または IPv6 の IP フィルタリング・サポートおよび IPsec トンネル・サポートは、もうアクティブではありません。

IP

IP のバージョン (IPv4 か IPv6 のいずれか)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P1613I TCP/IP スタック *stack_name* で、1024 より下の *protocol* ポートが予約済みではなくなりました (*protocol ports below 1024 are not reserved anymore in TCP/IP stack stack_name*)

説明

1 から 1023 までの TCP または UDP ポートの値は、PORT および PORTRANGE ステートメントでユーザー用に予約されなくなりました。

protocol

プロトコルのタイプ (TCP か UDP のいずれか)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P1614I TCP/IP スタック *stack_name* で、インターフェース *interface* のセキュリティ・クラスが変更されました (*Interface interface security class has changed in TCP/IP stack stack_name*)。

説明

インターフェース *interface* の IP フィルタリングで使用されるセキュリティ・クラスが変更されました。

interface

IPv4 または IPv6 インターフェースの名前。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P1615I TCP/IP スタック *stack_name* で、IP フィルター規則が変更されました (*IP filter rules changed in TCP/IP stack stack_name*)

説明

IP フィルター規則が変更、追加、または削除されました。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P1701I *user1* が *user2* を重要グループ *group* に接続しました (*user1 issued connect to important group group for user2*)

説明

接続が特別にモニターされるグループに、ユーザーが接続されました。

user1

接続を実行したユーザーのユーザー ID。

group

ユーザーが接続された先のグループ。

user2

接続されたユーザーのユーザー ID。

C2P1801I zSecure Access Monitor が非アクティブ (zSecure Access Monitor not active)

説明

zSecure Access Monitor が非アクティブで、Access Monitor データが収集されません。

C2P1802I zSecure サーバー接続の逸失

説明

パートナー zSecure Server に対する最後の TCP 接続が除去されました。新しい割り振り要求を受信するまで、接続は除去されたままとなります。

C2P1804I アプリケーション *applicationname* でジョブ *jobname* が開始されていません (Job *jobname* has not started in application *applicationname*)

説明

IWS アプリケーションの一部であるジョブの期限が過ぎました。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

C2P1805I アプリケーション *applicationname* のジョブ *jobname* の開始が遅れています (Job *jobname* is late starting for application *applicationname*)

説明

IWS アプリケーションの一部であるジョブの開始が遅れています。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

C2P1806I アプリケーション *applicationname* でジョブ *jobname* がエラーで終了しました (Job *jobname* ended in error in application *applicationname*)

説明

予期しないエラーが発生したため、IWS アプリケーションの一部であるジョブの実行が停止しました。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

C2P メッセージ 2000 から 2999 (事前定義 ACF2 アラート)

関連情報

[C2P メッセージ 0 から 999 \(zSecure の開始タスク\)](#)

[C2P メッセージ 1000 から 1999 \(事前定義 RACF アラート\)](#)

[C2P メッセージ 4000 から 6999 \(インストール定義アラート\)](#)

このメッセージ範囲は、インストール定義アラート用に予約されています。

[C2P メッセージ 8000 から 8999](#)

C2P2102I 緊急ユーザー *user* がログオンしました (Emergency user *user* logged on)

説明

緊急用のログオン ID が TSO ログオンまたはバッチ・ジョブのサブミットに使用された場合、アラートが送信されます。

user
システムにログオンしたユーザーのログオン ID。

C2P2104I パスワード違反により、高い権限を持つユーザー *user* が取り消されます (Highly authorized user *user* revoked for password violations)

説明

無効なパスワード試行回数の制限を超えたため、システム・レベル権限 (SECURITY、NON-CNCL、または READALL) を持つユーザーが取り消されます。

user
パスワード違反が制限を超えたために取り消される、システム・レベル権限を持つユーザーのログオン ID。

C2P2105I *user2* によって、*user1* にシステム権限 *authority* が付与されました (System authority *authority* granted to *user1* by *user2*)

説明

ユーザーは、システム・レベル権限 (SECURITY、NON-CNCL、または READALL) を取得します。

authority

ユーザー *user1* に付与されるシステム・レベル権限 (SPECIAL、NON-CNCL、READALL)。

user1

システム・レベル権限を付与されるユーザーのログオン ID。

user2

user1 にシステム・レベル権限を付与したユーザーのログオン ID。

C2P2106I *user2* によって、*user1* からシステム権限 *authority* が削除されました (System authority *authority* removed from *user1* by *user2*)

説明

システム・レベル権限 (SECURITY、NON-CNCL、または READALL) がユーザーから削除されます。

authority

ユーザー *user1* から削除されるシステム・レベル権限 (SPECIAL、NON-CNCL、READALL)。

user1

削除されるシステム・レベル権限を持つユーザーのログオン ID。

user2

user1 からシステム・レベル権限を削除したユーザーのログオン ID。

C2P2111I 無効なパスワードの試行回数が *user* の制限を超えました (Invalid password attempts exceed limit for *user*)

説明

無効なパスワードを指定して行われた特定ログオン ID のログオン試行回数が、時間枠に設定された制限を超えました。

user

システムにログオンしようとして使用されたログオン ID。

C2P2112I *user* のパスワード・ヒストリーがフラッシュされました (Password history flushed for *user*)

説明

特定のログオン ID のパスワードが特定の時間枠内で、パスワード・ヒストリーの GSO 設定よりも頻繁に変更されています。この方法で、ユーザーはパスワード・

ヒストリー全体をフラッシュし、それによって前のパスワードの再使用ができるようにしました。

user

パスワード・ヒストリーをフラッシュしたユーザーのログオン ID。

C2P2113I *user* のパスワード変更に不審な点があります (Suspect password changes for *user*)

説明

特定の時間枠内で、特定ログオン ID のパスワード変更回数が多すぎます (ただし、パスワード・ヒストリーを完全にフラッシュするほど頻繁ではありません)。

user

パスワードを頻繁に変更したユーザーのログオン ID。

C2P2115I ユーザー *user* について *nn* 個の違反が記録されました (*nn* violations recorded for *user user*)

説明

ユーザーが短時間に過剰な数の違反を作成しました。

nn

違反の数。

user

違反を作成したユーザーのログオン ID。

C2P2116I 非 SECURITY ユーザー *user* が SECURITY でデータ・セット *data set* にアクセス (*access*) しました (non-SECURITY user *user* accessed (*access*) with SECURITY data set *data set*)

説明

SECURITY のないユーザーが SECURITY 権限を使用してデータ・セットにアクセスしています。これは、そのユーザーがすべてのデータ・セットにアクセス可能であることを意味します。

user

データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのログオン ID。

access

データ・セットに対して実行されたアクセス・レベル。

data set

アクセスされたデータ・セット。

C2P2117I 非 NON-CNCL ユーザー *user* が NON-CNCL でデータ・セット *data set* にアクセス (*access*) しました (non-NON-CNCL user *user*)

accessed (access) with NON-CNCL data set data set)

説明

NON-CNCL のないユーザーが NON-CNCL 権限を使用してデータ・セットにアクセスしています。これは、そのユーザーがすべてのデータ・セットにアクセス可能であることを意味します。

user

データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのログオン ID。

access

データ・セットに対して実行されたアクセス・レベル。

data set

アクセスされたデータ・セット。

C2P2118I 非 READALL ユーザー *user* が READALL でデータ・セット *data set* にアクセス (*access*) しました (non-READALL user *user* accessed (*access*) with READALL data set *data set*)

説明

READALL のないユーザーが READALL 権限を使用してデータ・セットにアクセスしています。これは、そのユーザーがすべてのデータ・セットを読み取り可能であることを意味します。

user

データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのログオン ID。

access

データ・セットに対して実行されたアクセス・レベル。

data set

アクセスされたデータ・セット。

C2P2119I *user1* が *user2* に対して無期限パスワードを有効にしました (*user1* enabled non-expiring password for *user2*)

説明

ログオン ID に対して無期限パスワードを有効化する LIDZMAX 属性が設定されました。無期限パスワードは、ログオン ID に MAXDAYS(0) が設定された場合に有効になります。

user1

ACF2 コマンドを発行したユーザーのログオン ID。

user2

LIDZMAX 属性が設定されたログオン ID。

C2P2120I ログオン ID *logonid* について *commands* コマンドが記録されました (*commands* commands recorded for *logonid* *logonid*)

説明

間隔内で特定のユーザー ID に関して、構成された数よりも多くの ACF2 コマンドが記録されたため、アラートが送信されました。間隔は、zSecure Alert の REPORT オプション **AverageInterval** で指定されます。

commands

発行された ACF2 コマンドの数。

user

ACF2 コマンドを発行したユーザーのログオン ID。

C2P2201I *user* がデータ・セット *data set* で WARNING モード *access* を実行しました (WARNING mode *access* by *user* on data set *data set*)

説明

データ・セットへのアクセスが行われ、警告モードのためアクセスが認可されます。

access

データ・セットで使用されるアクセス・レベル。

user

データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのログオン ID。

data set

アクセスされたデータ・セット。

C2P2204I *user* が APF データ・セット *data set* を更新しました (Update by *user* on APF data set *data set*)

説明

APF 許可データ・セットが更新されます。

data set

更新された APF データ・セット。

user

APF データ・セットを更新したユーザーのログオン ID。

C2P2205I コンソール *console* から SETPROG を使用して、データ・セットが APF リストに追加されました: ボリューム *volume* の *data set* (Data set added to APF list using SETPROG from console *console*: *data set* on volume *volume*)

説明

SET PROG または SETPROG コマンドを使用して、動的にデータ・セットが APF リストに追加された場合、アラートが生成されます。

console

ユーザーが SET PROG または SETPROG コマンドを入力したコンソール。

data set

APF リストに追加されたデータ・セット。

volume

データ・セットが存在するボリューム、または、データ・セットが SMS によって管理されている場合は <SMS MANAGED>。

C2P2206I コンソール *console* から SETPROG を使用して、データ・セットが APF リストから削除されました: ボリューム *volume* の *data set* (Data set removed from APF list using SETPROG from console *console*: *data set* on volume *volume*)

説明

SET PROG または SETPROG コマンドを使用して、データ・セットが APF リストから動的に削除された場合、アラートが生成されます。

console

ユーザーが SET PROG または SETPROG コマンドを入力したコンソール。

data set

APF リストから削除されたデータ・セット。

volume

データ・セットが存在するボリューム、または、データ・セットが SMS によって管理されている場合は <SMS MANAGED>。

C2P2207I APF リストへのデータ・セットの追加が検出されました: *data set* (Data set addition to APF list detected: *data set*)

説明

何らかの方法でデータ・セットが APF リストに追加された場合に、アラートが生成されます。これには、SET PROG または SETPROG コマンドの使用と、その他の製品の使用が含まれます。このアラートを生成するには、拡張モニターをアクティブにする必要があります。このアラートは、2つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、データ・セットを追加する際に使用されたユーザー ID またはジョブ名についての情報や追加を実行する際に使用されたプロセスについての使用可能な情報はありません。

C2P2208I APF リストからのデータ・セットの削除が検出されました: *data set*

(Data set removal from APF list detected: *data set*)

説明

何らかの方法でデータ・セットが APF リストから削除された場合にアラートが生成されます。これには、SET PROG または SETPROG コマンドの使用と、その他の製品の使用が含まれます。このアラートを生成するには、拡張モニターをアクティブにする必要があります。このアラートは、2つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、データ・セットを削除する際に使用されたユーザー ID またはジョブ名についての情報や追加を実行する際に使用されたプロセスについての情報は何も提供されません。

C2P2209I *user* が PCI-PAN データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent* access by *user* on PCI-PAN *data set data set*)

説明

このアラートは、PCI-PAN (クレジット・カード主要アカウント番号) データ・セットに対して INPUT 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent

アクセス・インテント INPUT、READBACK、OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX を指定します。

user

PCI-PAN データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID を指定します。

data set

アクセスされた PCI-PAN データ・セットを指定します。

C2P2210I *user* が PCI-PAN-*clr* データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent* access by *user* on PCI-PAN-*clr data set data set*)

説明

このアラートは、平文の PCI-PAN (クレジット・カード主要アカウント番号) データ・セットに対して INPUT 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent

アクセス・インテント INPUT、READBACK、OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX を指定します。

user

平文の PCI-PAN データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID を指定します。

data set

アクセスされた平文の PCI-PAN データ・セットを指定します。

C2P2211I **user が PCI-AUTH データ・セット data set で intent アクセスを実行しました (intent access by user on PCI-AUTH data set data set)**

説明

このアラートは、PCI-AUTH データ・セットに対して INPUT 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent

アクセス・インテント INPUT、READBACK、OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX を指定します。

user

PCI-AUTH データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID を指定します。

data set

アクセスされた PCI-AUTH データ・セットを指定します。

C2P2212I **user がサイト機密 READ データ・セット data set で intent アクセスを実行しました (intent access by user on site-sensitive READ data set data set)**

説明

このアラートは、ユーザー *user* が、データ・セット *data set* に READ 以上のアクセスを行った場合に発行されます。データ・セット *dsname* は、サイト固有の READ 機密データ・セットとして指定されています。当該ユーザーは、このアラートの生成を免除される ID のリストには含まれていません。

intent

アクセス・インテント: INPUT、READBACK、OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX。

user

サイト機密 READ データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID。

data set

アクセスされたサイト機密 READ データ・セット。

C2P2213I **user がサイト機密 UPDATE データ・セット data set で intent アクセスを実行しました (intent access by user on site-sensitive UPDATE data set data set)**

説明

このアラートは、ユーザー *user* が、データ・セット *data set* に UPDATE 以上のアクセスを行った場合に発行されます。データ・セット *dsname* は、サイト固有の UPDATE 機密データ・セットとして指定されています。当該ユーザーは、このアラートの生成を免除される ID のリストには含まれていません。

intent

アクセス・インテント: OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX。

user

サイト機密 UPDATE データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID。

data set

アクセスされたサイト機密 UPDATE データ・セット。

C2P2214I **loginid がデータ・セット data set 内の UPDATE 機密メンバー member で action アクションを実行しました (action action by loginid on UPDATE sensitive member member in data set data set)**

説明

UPDATE 機密メンバーでアクションが正常に実行されました。

action

メンバーで実行されたアクション: INITIALIZE、DELETE、ADD、REPLACE、または RENAME。

loginid

UPDATE 機密メンバーに対してアクションを実行したユーザーのログオン ID。

member

UPDATE 機密メンバー。

data set

メンバーが存在するデータ・セット。

C2P2301I **STC デフォルト LID stcid が STC procname に使用されます (STC default LID stcid used for STC procname)**

説明

開始タスクでは、GSO OPTS 設定 DFTSTC で指定されているデフォルトの STC ログオン ID が使用されます。

stcid

デフォルトの STC ログオン ID。

procname

開始済みプロシージャの名前。

C2P2407I **ユーザー user が、スーパーユーザー特権シェルを取得しました**

**(Superuser privileged shell
obtained by user user)**

説明

ユーザーが、UNIX **su** コマンドを使用して、スーパーユーザー特権を持つシェルを取得しました。

user

su を使用したユーザーのログオン ID。

C2P2409I *userid* が *filename* の拡張属性を変更 (**SAP->SAP**) しました (**Extended attribute changed (SAP->SAP) by userid for filename**)

説明

UNIX ファイル *filename* の拡張属性が変更されました。旧拡張属性と新規拡張属性は、括弧に入れて表示されません。**SAP** は拡張属性 (共有ライブラリー、APF 許可、およびプログラム制御) を表します。属性が設定されていない場合、ブランクで示されます。

コマンドは *userid* によって実行されました。

C2P2501I

user がグローバル・セキュリティ対策を追加しました。規則キー: *rule key*、フィールド/値: *field/value* (**Global security countermeasure added by user Rule key: rule key Field/value: field/value**)

説明

ACF2 GSO 規則が追加されます。

user

コマンドを実行したユーザーのログオン ID。

rule key

追加された GSO 規則キー。

field

GSO フィールドの名前。

value

field に設定される値。

C2P2502I

user によってグローバル・セキュリティ対策が削除されました。規則キー: *rule key*、フィールド/値: *field/value* (**Global security countermeasure deleted by user Rule key: rule key Field/value: field/value**)

説明

ACF2 GSO 規則が削除されます。

user

コマンドを実行したユーザーのログオン ID。

rule key

削除された GSO 規則キー。

field

GSO フィールドの名前

value

field の値

C2P2503I

user がグローバル・セキュリティ対策を変更しました。規則キー: *rule key*、フィールド/値: *field/old value/new value* (**Global security countermeasure changed by user Rule key: rule key Field/value: field/old value/new value**)

説明

ACF2 GSO 規則が変更されます。

user

コマンドを実行したユーザーのログオン ID。

rule key

変更された GSO 規則キー。

field

GSO フィールドの名前。

old value

field の元の値。

new value

field に設定される値。

C2P2601I

SMF データ損失が始まりました (SMF data loss started)。WTO msgid: msgid

説明

WTO が SMF データ損失が始まったことを報告しています。

msgid

このイベントが報告された WTO メッセージのメッセージ ID。

C2P2602I

障害後に **SMF ロギングが再開されました。number** 個のレコードが失われました。 (**SMF logging resumed after failure. number records lost.**)

説明

バッファが満杯になったため SMF データが失われましたが、システムはロギングを再開しました。

number

失われたメッセージの数。

C2P2603I **SVC 定義が変更されました:
SVCNO/ESRNO (SVC definition
changed: SVCNO/ESRNO)**

説明

SVC テーブルまたは SVC ESR テーブル内の SVC の定義で変更が検出された場合に、アラートが生成されます。このアラートは、2つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、どのように変更が行われたかに関する情報は何も提供されません。

C2P2604I **IBM Health Checker が低重大度の
問題を検出しました:
msg (IBM Health Checker found
low severity problem: msg)**

説明

IBM Health Checker が重大度の低い問題を検出しました。

msg

WTO ID HZS0001I のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ HZS0001I への対応については、[z/OS Internet Library](#) で「*IBM Health Checker for z/OS User's Guide*」を参照してください。

C2P2605I **IBM Health Checker が中重大度の
問題を検出しました:
msg (IBM Health Checker found
medium severity problem: msg)**

説明

IBM Health Checker が重大度が中程度の問題を検出しました。

msg

WTO ID HZS0002E のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ HZS0002E への対応については、[z/OS Internet Library](#) で「*IBM Health Checker for z/OS User's Guide*」を参照してください。

C2P2606I **IBM Health Checker が高重大度の
問題を検出しました:
msg (IBM Health Checker found
high severity problem: msg)**

説明

IBM Health Checker が重大度の高い問題を検出しました。

msg

WTO ID HZS0003E のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ HZS0003E への対応については、[z/OS Internet Library](#) で「*IBM Health Checker for z/OS User's Guide*」を参照してください。

C2P2607I **SMF レコードのフラッディングが検
出されました (SMF record flood
detected)。WTO msgid: msg**

説明

SMF レコードのフラッディングが検出されました。

msg

WTO ID IFA780A のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ IFA780A に対応する情報については、[z/OS インターネット・ライブラリー](#) で「*z/OS V1R12.0 MVS システム・メッセージ 第 8 巻 (IEF - IGD)*」を参照してください。

C2P2608I **SMF レコードのフラッディングによ
りレコードのドロップが開始されま
す (SMF record flood starts
dropping records)。WTO msgid:
msg**

説明

SMF レコードのフラッディングにより、メッセージ・テキストで指定されたレコード・タイプのドロップが開始されました。

msg

WTO ID IFA782A のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置

メッセージ IFA782A に対応する情報については、[z/OS インターネット・ライブラリー](#) で「*z/OS V1R12.0 MVS システム・メッセージ 第 8 巻 (IEF - IGD)*」を参照してください。

C2P2609I **フィルター規則によってブロックさ
れたアタックは以後は記録されませ
ん。
TCP/IP スタック *stack_name* 内の
監査証跡は不完全です。(Attacks
blocked by filter rules are no
longer logged
Audit trail incomplete in TCP/IP
stack *stack_name*)**

説明

パケット・フィルタリングのロギングは、使用可能ではなくなります。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P2610I デフォルトのフィルター規則によってブロックされたアタックは、以後は記録されません。TCP/IP スタック *stack_name* 内の監査証跡は不完全です。(Attacks blocked by default filter rules are no longer logged - audit trail incomplete in TCP/IP stack *stack_name*)

説明

暗黙のデフォルト規則によって拒否されるパケットに対するロギングは、使用可能ではなくなります。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P2611I **SMF 119 subtype** が以後は書き込まれません。TCP/IP スタック *stack_name* 内の監査証跡は不完全です (SMF 119 subtype is no longer written Audit trail incomplete in TCP/IP stack *stack_name*)

説明

次の場合、SMF 119 レコードが書き込まれなくなります。

- ユーザーが FTP クライアント・コマンドを呼び出す (FTPCLIENT)
- LINK 使用率に関連した統計が使用可能になる (IFSTAT)
- トンネルが追加、削除、アクティブ化、または非アクティブ化される (IPSECURITY)
- 予約済み PORT の使用率に関連した統計が使用可能になる (PORTSTAT)
- TCP 接続が確立される (TCPINIT)
- TCP/IP スタックがアクティブ化されるか終了する (TCPIPSTACK)
- TCP/IP 統計が使用可能になる (TCPIPSTAT)
- TCP 接続が終了する (TCPTERM)
- TSO Telnet クライアント・コードが接続を開始または終了する (TN3270CLIENT)
- UDP ソケットが閉じる (UDPTERM)

subtype

SMF 119 サブタイプ (ftpclient、ifstat、ipsecurity、portstat、tcpinit、tcPIPstack、tcPIPstat、tcpterm、tn3270client、または udpterm)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P2612I TCP/IP スタック *stack_name* 内で IP フィルタリング・サポートおよび IPsec トンネル・サポートが非アクティブ化されました (IP IP filtering support and IPsec tunnel support deactivated in TCP/IP stack *stack_name*)

説明

IPv4 または IPv6 の IP フィルタリング・サポートおよび IPsec トンネル・サポートは、もうアクティブではありません。

IP

IP のバージョン (IPv4 か IPv6 のいずれか)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P2613I TCP/IP スタック *stack_name* で、1024 より下の *protocol* ポートが予約済みではなくなりました (protocol ports below 1024 are not reserved anymore in TCP/IP stack *stack_name*)

説明

1 から 1023 までの TCP または UDP ポートの値は、PORT および PORTRANGE ステートメントでユーザー用に予約されなくなりました。

protocol

プロトコルのタイプ (TCP か UDP のいずれか)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P2614I TCP/IP スタック *stack_name* で、インターフェース *interface* のセキュリティ・クラスが変更されました (Interface *interface* security class has changed in TCP/IP stack *stack_name*)。)

説明

インターフェース *interface* の IP フィルタリングで使用されるセキュリティ・クラスが変更されました。

interface

IPv4 または IPv6 インターフェースの名前。

stack_name
TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P2615I TCP/IP スタック **stack_name** で、IP フィルター規則が変更されました (IP filter rules changed in TCP/IP stack **stack_name**)

説明

IP フィルター規則が変更、追加、または削除されました。

stack_name
TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロセスの名前。

C2P2802I zSecure サーバー接続の逸失

説明

パートナー zSecure Server に対する最後の TCP 接続が除去されました。新しい割り振り要求を受信するまで、接続は除去されたままとなります。

C2P2804I アプリケーション **applicationname** でジョブ **jobname** が開始されていません (Job **jobname** has not started in application **applicationname**)

説明

IWS アプリケーションの一部であるジョブの期限が過ぎました。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

C2P2805I アプリケーション **applicationname** のジョブ **jobname** の開始が遅れています (Job **jobname** is late starting for application **applicationname**)

説明

IWS アプリケーションの一部であるジョブの開始が遅れています。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

C2P2806I アプリケーション **applicationname** でジョブ **jobname** がエラーで終了しました (Job **jobname** ended in error in application **applicationname**)

説明

予期しないエラーが発生したため、IWS アプリケーションの一部であるジョブの実行が停止しました。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

C2P メッセージ 4000 から 6999 (インストール定義アラート)

このメッセージ範囲は、インストール定義アラート用に予約されています。

4000 から 4999 の範囲は RACF アラート用です。5000 から 5999 の範囲は ACF2 アラート用です。6000 から 6999 の範囲は Top Secret アラート用です。ただし、現在これらは提供またはサポートされていません。サイトのアラート構成の保守担当者に相談してください。

関連情報

[C2P メッセージ 0 から 999 \(zSecure の開始タスク\)](#)

[C2P メッセージ 1000 から 1999 \(事前定義 RACF アラート\)](#)

[C2P メッセージ 2000 から 2999 \(事前定義 ACF2 アラート\)](#)

[C2P メッセージ 8000 から 8999](#)

C2P メッセージ 8000 から 8999

関連情報

[C2P メッセージ 0 から 999 \(zSecure の開始タスク\)](#)

[C2P メッセージ 1000 から 1999 \(事前定義 RACF アラート\)](#)

[C2P メッセージ 2000 から 2999 \(事前定義 ACF2 アラート\)](#)

C2P メッセージ 4000 から 6999 (インストール定義アラート)
このメッセージ範囲は、インストール定義アラート用に予約されています。

C2P8000I 期間 *datetime1 - datetime2* のアクセス・データ (Access data for period *datetime1 - datetime2*)

説明

このメッセージは、メッセージ C2P8001I で報告されるイベントが記録された期間を示します。

C2P8001I *Type count*

説明

このメッセージは、イベントの総数と、サポートされるイベント・タイプの数を示します。*count* は、5 文字を

使用して省略形式で表示され、該当する SI 乗算係数 (k、M、G、T、P、または E) が間に挿入されます。例えば、数が 10485760 の場合は 10M49 と出力されます。

C2P8002I 出力レコード *count* (Output records *count*)

説明

このメッセージは、この期間中に収集されたイベントのアクセス・ファイルに書き込まれたレコードの総数を示します。ここでは、リソース・マッピング規則の結果や、構成可能なデータ (ジョブ名や Port Of Entry など) の抑止が反映されています。

第 11 章 C2R メッセージ

この章では、IBM Security zSecure のいくつかのプログラム・コンポーネントによって発行される C2R メッセージについて説明します。

- NLS テーブルの処理プログラム C2RIMENU。

C2RIMENU は、製品およびメニュー・オプションの現行の構成を検査するために使用できるユーティリティ・プログラムです。C2RIMENU の割り振りおよび使用の詳細については、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」の『どのオプションが表示されるかを構成するリソース』を参照してください。

C2RIMENU プログラムによって発行される C2R メッセージには、C2RnnnI という形式のメッセージ接頭部が付きます。ここで、nnn はメッセージ番号です。C2RIMENU メッセージは、ISPF アプリケーションを始動する前にファイル C2RIMENU をデータ・セットに割り振ることによって読み取り可能になります。

- IBM Security zSecure に付属の XSLT スタイル・シート。

XSLT スタイル・シートによって発行される C2R メッセージには、C2R7nnn という形式のメッセージ接頭部が付きます。ここで、7nnn はメッセージ番号です。

- インストール済み環境カスタマイズ REXX exec C2REUPDR。

インストール済み環境カスタマイズ REXX exec C2REUPDR によって発行される C2R メッセージには、C2R8nnn という形式のメッセージ接頭部が付きます。ここで、8nnn はメッセージ番号です。

メッセージ接頭部の後に、重大度コードが示されます。プログラムは、検出された最高位の重大度コードを完了コードとして返します。

接頭部 C2RW の付いたメッセージは、zSecure Visual によって発行されます。これらのメッセージについて詳しくは、773 ページの『[第 13 章 C2RW メッセージ](#)』を参照してください。

接頭部 C2RU の付いたメッセージは、zSecure Visual クライアントによって発行されます。これらのメッセージについて詳しくは、765 ページの『[第 12 章 C2RU メッセージ](#)』を参照してください。

Visual のログ・メッセージについては、855 ページの『[第 19 章 zSecure Visual のログ・メッセージ](#)』を参照してください。

C2R000I **C2RIMENU が入力された対象:**
CKREREL r type/language 画面
screen 分析対象 OS os ユーザー ID
userid 日時 date time システム
name (C2RIMENU entered for
CKREREL r type/language screen
screen analyzing OS os userid
userid at date time on system
name)

説明

このメッセージは、C2RIMENU の開始時に指定されたオプションについて通知します。

- 使用される ISPF の内部リリース互換性 (CKREREL r)
- 選択された各国語サポート設定のタイプ (U=User、S=Site、D=Default) および言語 (C/E/D/G/P/...)
- NLS テーブルがビルドされる対象の論理 ISPF 画面 screen
- 実行環境のオペレーティング・システム (1 - MVS、または 2 - VM/CMS)

- NLS テーブルがビルドされる対象のユーザー ID
- NLS テーブルがビルドされた日時
- 実行中のシステム

継続行には、さまざまな ISPF 変数 (インストール済み製品と PARMLIB メンバー IFAPRDxx によって異なります) および、プログラムによって設定されている値が表示されます。この情報は、サポート担当者が状況を理解するために役立ちます。

重大度

0

C2R001I **C2RIMENU RACROUTE の異常終了**
type (C2RIMENU RACROUTE
abend type)

説明

RACROUTE で異常終了が発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『[IBM サポート](#)』

への連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

20

C2R002I リソース *class entity* SAF RC=*value*
RACF RC=*value* RSN=*value*
(Resource *class entity* SAF
RC=*value* RACF RC=*value*
RSN=*value*)

説明

このメッセージは、言及されているリソースに関する RACROUTE REQUEST=AUTH 呼び出しの結果を通知します。SAF 戻りコード、RACF 戻りコード、および理由コードが表示されます (値はすべて 16 進数です)。

重大度

0

C2R003I *type* で格納された NLS テーブル
table が見つかりました (Found NLS
table *table* stored *type*)

説明

このメッセージは、見つかった NLS テーブルの名前、タイプ、および言語を通知します。

重大度

0

C2R004I *option license* のライセンスが一致
しません (License mismatch for
option license)

説明

option に必要な製品がありません。このオプションは許可されていません。

重大度

0

C2R005I 許可されていない *option1* を
option2 に伝搬しました
(Propagated disallowed from
option1 to *option2*)

説明

このメッセージは、メニュー・オプション *option1* が許可されていないにもかかわらず、そのサブオプション *option2* に伝搬されたことを通知します。

重大度

0

C2R006I 欠落している *option1* を *option2* に
伝搬しました (Propagated missing
from *option1* to *option2*)

説明

このメッセージは、メニュー・オプション *option1* が欠落しているにもかかわらず、そのサブオプション *option2* に伝搬されたことを通知します。

重大度

0

C2R007I *option* は、サブオプションが存在す
るがすべて不許可のため、許可され
ませんでした (Disallowed *option*
because suboptions present but
all disallowed)

説明

このメッセージは、メニュー・オプション *option* が、そのサブオプションがすべて不許可であるために許可されなかったことを通知します。

重大度

0

C2R008I NLS テーブル行エラー - *option*
LVL1-3 の長さは 4 文字以内でなけ
ればなりません (NLS table row
error - *option* LVL1-3 length can
not be more than 4)

説明

メニュー・オプション *option* の NLS テーブル行が正しくありません。3つのオプションを合わせて 4 文字以内で構成しなければならないという制限を超えています。つまり、3つのレベルのオプションがある場合、1つのオプションだけを 2 文字にすることができます。

重大度

4

C2R009I STATUS=ACCESS はこのユーザー
に対して許可されていません (シス
テム異常終了 047)
(STATUS=ACCESS not allowed for
this user (system abend 047))

説明

現行の非 APF 実行の C2RIMENU は、RACROUTE STATUS=ACCESS 呼び出しの実行を許可されているログオン ID では稼働しません。これは、C2RIMENU の環境を記述する SAFDEF レコードで NOAPFCHK キーワードを使用することによって修復できます。

```
INSERT SAFDEF.C2RIMENU PROGRAM(C2RIMENU)
RB(C2RIMENU)NOAPFCHK ID(C2RIMENU)RACROUTE
(REQUEST=AUTH,CLASS=XFACILIT,
STATUS=ACCESS)
```

注: XFACILIT は単なるデフォルトです。CKRSITE モジュールを確認してください。

重大度

0

C2R010I	[option / action] level1 level2 level3 は os システムでのみ表示されます ([option / action] level1 level2 level3 only displayed on os systems)
----------------	---

説明

言及されているオプションまたはアクションは、os システム (z/OS または z/VM) でのみ使用可能です。

重大度

0

C2R011I	[option / action] level1 level2 level3 は、ISPF リリース 5.0 未満では許可 されていません ([option / action] level1 level2 level3 disallowed for ISPF releases lower than 5.0)
----------------	--

説明

言及されているオプションまたはアクションは、ISPF リリース 5.0 以上でのみ使用可能です。

重大度

0

C2R012I	[option / action] level1 level2 level3 os 分析オプションは使用不可です ([option / action] level1 level2 level3 os analysis option disabled)
----------------	---

説明

言及されているオプションまたはアクションは、os システム (z/OS または z/VM) の分析時にのみ使用可能です。

重大度

0

C2R013I	製品の製品 ID およびフルネーム: Products (Product id and full name of products: Products)
----------------	---

説明

このメッセージは、インストールされて IFAPRDxx によって使用不可になっていない製品を示します。Products セクション内の各行には、個別の製品機能の製品 ID およびフルネーム (例えば、5655-N17 IBM Security zSecure Audit for RACF) が表示されます。表示される可能性がある製品および製品コードのリストについては、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されている NEWLIST LICENSE パラメーターの説明を参照してください。

重大度

0

C2R014I	optnum 個のメニュー・オプションお よび actnum 個のアクションが許可 されています。 (Allowed optnum menu options and actnum actions.)
----------------	--

説明

このメッセージは、このライセンスで選択されているメニュー・オプションの数 **optnum** およびアクションの数 **actnum** を報告します。システムに IBM Security zSecure Admin がインストールされている場合、CKGRACF ACCESS コマンドを使用して、関連するメニュー・オプションおよびアクションのリソースに対するアクセス権限を調べることができます。関連するリソースについては、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『付録 B. zSecure 固有のセキュリティ・リソース (Appendix B. zSecure-specific security resources)』を参照してください。

重大度

0

C2R015I	このプログラムは ISPF および zSecure のもとで稼働させる必要が あります。そのような環境は見つかり ませんでした。(This program should run under ISPF and zSecure. No such environment found.)
----------------	---

説明

このメッセージは、有効な ISPF および zSecure 環境が存在しないために C2RIMENU が失敗したことを通知し

ます。そのような有効な環境が確実に稼働中であるようにしてください。

重大度

8

C2R016I **C2RIMENU が RC=rc で終了しました。(C2RIMENU ended with RC=rc.)**

説明

このメッセージは、C2RIMENU の最終戻りコード (rc) を報告します。次の 5 種類の結果が生じる可能性があります。

- RC=0。アクションは必要ありません。
- RC=4。低レベルのエラーが発生しました。C2RIMENU は問題なく続行されます。
- RC=8。ISPF の初期化が失敗しました。インストールが正常に行われたことを確認するには、システム・プログラマーに連絡してください。C2R015I も参照してください。
- RC=12。NLS テーブルがありません。インストールが正常に行われたことを確認するには、システム・プログラマーに連絡してください。
- RC=16。ライセンス・エラーが発生しました。インストールが正常に行われたことを確認するには、システム・プログラマーに連絡してください。

引き続き問題が発生する場合は、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

0

C2R874I **RECFM=V(BS) RDW hex が、レコード n ddname volser dsname で LRECL=lrecl を超えています (RECFM=V(BS) RDW hex exceeds LRECL=lrecl at record n ddname volser dsname)**

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

C2R875I **RECFM=V(BS) BDW hex が、レコード n ddname volser dsname で BLKSIZE=blksize を超えています (RECFM=V(BS) BDW hex exceeds BLKSIZE=blksize at record n ddname volser dsname)**

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

C2R900I *debug message*

説明

これは IBM ソフトウェア・サポートのみに関係するデバッグ・メッセージであり、一般出荷可能なソフトウェア・バージョンでは表示されません。

重大度

0

C2R901I **DTISPF 内部エラー: MX#B > DTLNLEN (DTISPF internal error: MX#B > DTLNLEN)**

説明

このメッセージは、表示のフォーマットに問題があることを示します。予期しないデータが表示される場合があります。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。分析のためにこの問題を再現する方法をお知らせください。

重大度

24

C2R902I **ENDDTPRO エラー: 書き込みが DTLNLEN を超えました (ENDDTPRO error: written beyond DTLNLEN)**

説明

このメッセージの後、ユーザー異常終了 902 が続きます。これは、問題が発生したためにプログラムが終了することを示します。

ユーザーの処置

入りに DEBUG コマンドがないことを確認してから再試行してください。DEBUG オプションがなくても引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

C2R915I **UNIX レコード nn 書き込み失敗 RC nn [meaning] 理由 qqqq rrrr [meaning] ファイル ddname path (UNIX write record nn failed RC nn [meaning] reason qqqq rrrr [meaning] file ddname path)**

説明

このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 qqqq および理由コード rrrr (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

C2R919I

負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました (Record with negative length *length* directed to *ddname* behind record *recno*)

説明

無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

C2R930I **ブロック数が等しくありません - data set の情報が欠落している可能性があります (Block count unequal - information may be missing for data set)**

説明

このメッセージは、テープからの読み取り時に発生する可能性があります。これは、*ddname* に割り振られている 1 つ以上のテープのボリューム終了処理中に、DCB に記録されているブロック数がテープのトレーラー・レベルのブロック数と異なっていることを示しています。読み取られた情報が不完全である可能性があります。

重大度

8

C2R931I **proc: バッファー・オーバーラン - destinationlength sourcelength:data (proc: Buffer overrun - destinationlength sourcelength:data)**

説明

フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファー・オーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

C2R942I 製品コード *code* の環境が一致しません (Environment mismatch for product code *code*)

説明

このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の 非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度

0

C2R944I Unix で *rduonly close* が失敗しました。RC *n* (10 進数)、理由 *n* (16 進数)、ファイル *ddname* [パス *path*] [記述子 *filedescriptor*] (Unix *rduonly close* RC *n* dec, reason *n* hex, file *ddname* [*path path*] [*desc filedescriptor*])

説明

このメッセージは、Unix のクローズ呼び出しが失敗したことを示します。戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

C2R945I Unix で *rduonly open* が失敗しました RC *n* (10 進数)、理由 *n* (16 進数)、ファイル *ddname* パス *path* (Unix *rduonly open* RC *n* dec, reason *n* hex, file *ddname path path*)

説明

このメッセージは、Unix のオープン呼び出しが失敗したことを示します。戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

C2R946I Unix レコードはバッファー・サイズを超えています - 分割します (Unix record larger than buffer size)

説明

このメッセージは、元々は非常に大きかったレコードが、今は2つの別個のレコードとして処理されていることを警告します。

重大度

4

C2R947I *filedesc off* の読み取りが失敗しました RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrr x* [*meaning*] ファイル *ddname path* (Reading *filedesc off* failed RC *nn* [*meaning*] reason *qqqq rrrr x* [*meaning*] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

C2R948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (Enablement information corrupt for product code *code*)

説明

このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度

16

C2R949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (Product code *code* installed and non-APF registration limit exceeded)

説明

このメッセージは、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 制限を超えたため、インストール済みの製品を登録できない場合に発行されます。

重大度

0

C2R950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (**Code not installed here for product code code**)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度

16

C2R951I モジュール *module* のロード時にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました (**system abend code (desc) trying to load module module**)

説明

このメッセージは、モジュールのロードに失敗したことで、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了 306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていないことを意味する可能性があります。

重大度

8

C2R955I *program task heap* ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (**program task heap STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE**)

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2R964I PDS(E) データ・セット *dsn* への書き込みにはメンバー名が必要です (**Member name required for writes to PDS(E) data set dsn**)

説明

このメッセージは、示されたデータ・セットに対して、必要なメンバー名が指定されていないことを示します。

重大度

16

C2R965I メンバー *mem* は PDS(E) でのみ使用できます。 *dsn* には使用できません (**Member mem can only be used with PDS(E); not for dsn**)

説明

このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 965 を出します。

C2R966I 端末ファイル *ddname* でメンバー *mem* を使用することはできません (**Cannot use member mem on terminal file ddname**)

説明

このメッセージは、示された *ddname* を持つ端末出力ファイルに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 966 を出します。

C2R967I RECFM=F は、LRECL=X および RECFM=VBS が設定されたデータ・セット *dsname* に対して無効です (**RECFM=F invalid for LRECL=X,RECFM=VBS preferred data set dsname**)

説明

このメッセージは、示された *ddname* を持つ出力ファイルに対して、指定された固定レコード・フォーマットが許可されなかったことを示します。これは、示されたデータ・セットに対してはサポートされません。プログラムは、ユーザー異常終了 967 を出します。

C2R968I IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (**IFAEDDRG failed RC nn decimal**)

説明

このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2R969I *dsn* の入出力エラー: *description*
(I/O error for *dsn*: *description*)

説明

このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度

8

C2R970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (FREE STORAGE ERROR): *message*

説明

このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2R972I *product* の使用可能化情報がありません (Enablement information missing for *product*)

説明

このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度

16

C2R973I IBM セキュリティー製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product code *code* disabled or not installed)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2R974I IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (IBM Security *product* disabled or not installed here for requested focus)

説明

製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2R975I IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed**)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2R976I *product* 製品または機能のコードまたは使用可能化がありません (**Code or enablement for product product or feature is missing**)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2R976I IBM セキュリティー *product or feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product or feature disabled or not installed here**)

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2R977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能 ('*feature*') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (**Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME('name') FEATURE('feature') VER(*version*) REL(*release*) MOD(*modification*)**)
[製品状況 RC *rc* 10 進数] ([Product status RC *rc* decimal])

説明

このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG に応答して発行されます。戻りコードは IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録の照会が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、C2R979I のため)。

重大度

0

C2R978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (**Product code *code* has been disabled in PARMLIB**)

説明

このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して製品が無効になっている場合に発行されます。

ユーザーの処置

製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度

0

C2R979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (**Product code *code* implied by other**)

説明

このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に発行されます。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

0

C2R992I	ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード rc (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code rc)
----------------	--

説明

このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度

4

C2R995I	LRECL が無効です。区分データ・セットであるため置き換えられませんでした (LRECL invalid; not overruled because partitioned data set)
----------------	---

説明

このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、この後に 013 または 002 の異常終了が発生する可能性があります。

C2R996I	MFREE: スタック name のブロック内で長さが見つかりません (MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK name)
----------------	--

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページ

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

4

C2R997I	スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック name の最上部にありません (STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK name)
----------------	---

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2R998I	program のスタック tasklevel stackname でスタック・オーバーフローが発生しました (STACK OVERFLOW FOR STACK tasklevel stackname IN program)
----------------	---

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2R999I	program 内のタスク taskname のヒープ heapname のストレージが不足しています - 領域を増やしてください (STORAGE SHORTAGE FOR TASK taskname HEAP heapname IN program - INCREASE REGION)
----------------	--

説明

このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。ヒープ名が LOWHEAP または SYSSTACK の場合、この要求は 16 MB ラインよ

り下のストレージに対して出されます。この名前が MAINHEAP の場合、この要求はあらゆる場所のストレージに対して出されます。

重大度

16

C2R7001 XML データ・ディクショナリーが欠落しています (Missing XML data dictionary)

説明

データ・ディクショナリーが欠落しているため、XSLT スタイル・シートが出力を生成できませんでした。CARLa でオプション XML_DATADICT を指定してください。

C2R8001 パラメーターが無効です。UPDATE および CHECK のみ可以使用です。 (Invalid parameter. Only UPDATE and CHECK are allowed)

説明

update Rexx C2REUPDR が、無効なパラメーターを使用して呼び出されました。UPDATE および CHECK のみが受け入れられます。

重大度

12

C2R8002 Listalc が失敗しました。rc=listalc_rc (Listalc failed rc=listalc_rc)

説明

Rexx C2REUPDR は、割り振られた DD を取得するために TSO LISTALC STATUS コマンドを発行します。このコマンドは失敗しました。TSO LISTALC エラー・メッセージのジョブ・ログを確認してください。

重大度

12

C2R8003 @ で始まる DD 名が見つかりません (No DD names starting with @ found)

説明

Rexx C2REUPDR は、@ で始まる割り振られた DD をすべて更新します。このメッセージは、そのような DD が指定されていないことを示します。JCL を確認してください。

重大度

12

C2R8004 DD ddname の読み取り時にエラーが発生しました。EXECIO RC=execiorc (Error reading DD ddname EXECIO RC=execiorc)

説明

Rexx C2REUPDR は、TSO EXECIO サービスを使用してパラメーター・ファイルを読み取ります。このサービスがエラーを報告しました。TSO EXECIO エラー・メッセージのジョブ・ログを確認してください。

重大度

12

C2R8005 CKRZUPDI で二重引用符が見つかりました。これはサポートされません。パラメーター名: name、パラメーター値: value (Double quotes found in CKRZUPDI. This is not supported Parameter name is : name Parameter value is : value)

説明

パラメーター name の値 value に二重引用符が含まれています。これはサポートされません。メンバー CKRZUPDI 内のこのパラメーターの二重引用符を削除するか、単一引用符に置き換えてください。

重大度

12

C2R8006 メンバーが編集されていません。ユーザー設定とデフォルト設定が同じです。 (No members edited: user and default setting are equal)

説明

デフォルトと、メンバー CKRZUPDI で指定された値の間に相違点が見つかりませんでした。メンバー CKRZUPDI を確認してください。

重大度

12

C2R8007 次の変数はサポートされません: variable_list (The following variables are unsupported: variable_list)

説明

メンバー CKRZUPDI に、サポートされないパラメーターが1つ以上指定されています。メンバー CKRZUPDI を確認してください。

重大度

12

C2R8008 *name* パラメーター値が最大長 *length* を超えています (*name parameter value exceeds maximum length of length*)

説明

メンバー CKRZUPDI でパラメーター *name* に指定された値が、許可された最大長を超えています。

重大度

12

C2R8009 **DD=ddname dsname** を処理していません (**Processing DD=ddname dsname**)

説明

Rexx C2REUPDR は、DD *ddname* に割り振られたデータ・セット *dsname* を更新しています。

重大度

0

C2R8010 **DD ddname** の **LINIT** が失敗しました (**LINIT for DDddname failed.**)**RC=linit_rc**

説明

ISPF サービス **LINIT** が DD *ddname* に対して失敗し、戻りコード *linit_rc* が戻されました。LINIT の戻りコードについては、IBM ISPF サービスのマニュアルを参照してください。

重大度

12

C2R8011 ライブラリー *dsname* の **LMOPEN** が失敗しました。 **RC=lmopen_rc** (**LMOPEN of library dsname failed. RC=lmopen_rc**)

説明

ISPF サービス **LMOPEN** がライブラリー *dsname* に対して失敗し、戻りコード *lmopen_rc* が戻されました。

LMOPEN の戻りコードについては、IBM ISPF サービスのマニュアルを参照してください。

重大度

12

C2R8012 ライブラリー *dsname* の **LMMLIST** が失敗しました。 **RC=lmmlist_rc** (**LMMLIST of library dsname failed. RC=lmmlist_rc**)

説明

ISPF サービス **LMMLIST** がライブラリー *dsname* に対して失敗し、戻りコード *lmmlist_rc* が戻されました。LMMLIST の戻りコードについては、IBM ISPF サービスのマニュアルを参照してください。

重大度

12

C2R8013 *member* メンバーは更新対象として適格ではありません (*member Member not eligible for update*)

説明

メンバー *member* は更新対象として適格ではありません。例えば、update Rexx exec 自体も対象から除外されます。

重大度

0

C2R8014 *member* メンバーの編集がエラーで終了しました。 **RC=edit_rc**。メンバーは更新されませんでした (*member Member edit ended in error RC=edit_rc Member not updated*)

説明

メンバー *member* の更新が失敗し、戻りコード *edit_rc* が戻されました。更新ジョブのログで、失敗した編集コマンドを確認してください。

重大度

8

C2R8015 一致が見つからないため、メンバーは更新されませんでした (**No members updated because no matches found**)

説明

メンバー CKRZUPDI で指定された変更ストリングが見つからないため、メンバーは更新されませんでした。

重大度

4

C2R8016 DD *ddname* に割り振られたメンバーが空です (Member allocated to DD *ddname* is empty)

説明

DD *ddname* に割り振られたパラメーター・メンバー CKRZUPDI が空です。

重大度

12

C2R8017 メンバー内の1つ以上のコメント行を更新できませんでした。メンバーはこのまま処理されます (member One or more comment lines could not be updated. Member processed anyway.)

説明

メンバー *member* 内の1つ以上のコメント行を更新できませんでした。更新ジョブのログで、失敗した編集コマンドを確認してください。処理を続行します。

重大度

4

C2R8018 変更コマンドがすべて失敗したため、メンバーは更新されませんでした (No members updated because all change commands failed)

説明

変更コマンドがすべて失敗しました。更新ジョブのログで、失敗した編集コマンドを確認してください。

重大度

12

C2R8019 パラメーター *parameter* に無効な最大長 *length* が指定されています (Invalid maximum length *length* specified for parameter *parameter*)

説明

メンバー CKRZUPD で、*parameter* のパラメーター定義を確認してください。

重大度

12

C2R8020 *member* メンバーが更新されました。 (member Member updated.)

説明

メンバーは更新されました。

重大度

0

C2R8021 *member* メンバーは、**PARM=CHECK** が指定されているため更新されませんでした。 (member Member not updated because PARM=CHECK.)

説明

メンバーは、**PARM=CHECK** が指定されているため更新されませんでした。

重大度

0

C2R8022 パラメーター *parameter* が *member* 内で2回指定されています (Parameter *parameter* specified twice in *member*)

説明

パラメーター *parameter* が、メンバー *member* 内で2回指定されています。示されたメンバーを確認してください。

重大度

12

C2R8023 最後のジョブ・カード・パラメーター *statement* の末尾に継続のコンマがあります (Last jobcard *parameter statement* ends with a continuation comma)

説明

最後のジョブ・カード・ステートメントの末尾にはコンマを使用できません。

重大度

12

C2R8024 ジョブ・カード・ステートメント *statement* に継続のコンマがありません (No continuation comma found for jobcard statement *statement*)

説明

最後の1つを除くすべてのジョブ・カード・ステートメントの末尾に、継続のコンマが必要です。

重大度

12

C2R8025 *parameter* パラメーターの値 *value* が最小長 *length* 未満です。 (*parameter parameter value value smaller than minimum length of length*)

説明

指定された値は最小長の要件を満たしていません。

重大度

12

C2R8026 *parameter* パラメーターの値 *value* は、*list* の値のいずれかでなければなりません (*parameter parameter value value should be one of: list*)

説明

指定された値は *list* の値のいずれかでなければなりません。

重大度

12

C2R8027 *parameter* パラメーターの値 *value* は数値でなければなりません。 (*parameter parameter value value should be numeric.*)

説明

指定された値は数値でなければなりません。

重大度

12

C2R8028 *parameter* パラメーターの値 *value* は有効な名前ではなければなりません

(*parameter parameter value value should be a valid name*)

説明

指定された値は、データ・セット・メンバー名の規則に従った有効な名前ではなければなりません。

重大度

12

C2R8029 *parameter* パラメーターの値 *value* は有効なデータ・セット名ではなければなりません。 (*parameter parameter value value should be a valid data set name.*)

説明

指定された値は有効なデータ・セット名ではなければなりません。

重大度

12

C2R8030 *parameter* パラメーターの値 *value* の末尾にはドットが必要です。 (*parameter parameter value value should end with a dot.*)

説明

指定された値の末尾にはドットが必要です。

重大度

12

C2R8031 *parameter* パラメーターの値 *value* はストリング *pict* を含んでいなければなりません (*parameter parameter value value should have string pict*)

説明

指定された値に含まれる文字は、*pict* ストリングで示された文字タイプに一致してなければなりません。

重大度

12

C2R8032 SMPETargetZone と SMPEDistributionZone を同じにすることはできません (SMPETargetZone may not be equal to SMPEDistributionZone)

説明

SMPETargetZone と SMPEDistributionZone を同じ値にすることはできません。

重大度

12

C2R8034 **PrefixForSmpeGlobalZone と PrefixForSmpeOtherData を同じにすることはできません (PrefixForSmpeGlobalZone may not be equal to PrefixForSmpeOtherData)**

説明

PrefixForSmpeGlobalZone と PrefixForSmpeOtherData を同じ値にすることはできません。

重大度

12

C2R8035 **パラメーター *parameter* の先頭が英字ではありません (Parameter *parameter* does not start with an alphabetic)**

説明

パラメーター *parameter* の先頭は英字でなければなりません。

重大度

12

C2R8036 **無効な VER ストリング: *string* (Invalid VER string: *string*)**

説明

ISPF VER サービスに無効なストリングが渡されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

12

C2R8037 **必要な末尾のドットを *value* に追加しました (Added required trailing dot to *value*)**

説明

PrefixForInstallMedia などの一部のパラメーターには、JCL のエラーを防ぐために末尾のドットが必要です。末尾のドットが指定されていない場合は、カスタマイズ REXX exec によって追加されます。

重大度

0

C2R8038 **データ・セット *dsname* の割り振りが *rc=rc* で失敗しました (Allocation of data set *dsname* failed with *rc=rc*)**

説明

データ・セット *dsname* に対する TSO ALLOCATE が失敗し、戻りコード *rc* が戻されました。ALLOCATE の戻りコードについて詳しくは、「TSO/E コマンド解説書」を参照してください。また、その他のメッセージについては、ジョブ・ログを確認してください。データ・セット特性については、SCKRSAMP REXX exec C2REUPDR プロシージャ allocSHPfiles を確認してください。

重大度

rc

C2R8039 ***dsname* が割り振られました (*dsname* allocated)**

説明

データ・セット *dsname* が正常に割り振られました。

重大度

0

C2R8040 ***dsname* は既に存在するため、割り振られません (*dsname* not allocated as it already exists)**

説明

データ・セット *dsname* は既に存在するため、割り振られません。

重大度

4

C2R8041 ***dsname* は PARM=UPDATE が指定されたときに割り振られます (*dsname* will be allocated when PARM=UPDATE)**

説明

データ・セット *dsname* は、ジョブ CKRZUPDZ が PARM=UPDATE が指定されて実行依頼されたときに割り振られます。

重大度

0

C2R8042 *dsname* は既に存在するため、**PARM=UPDATE** が指定されたときに割り振られません (*dsname* already exists so will not be allocated when PARM=UPDATE)

説明

データ・セット *dsname* は既に存在するため、ジョブ CKRZUPDZ が PARM=UPDATE が指定されて実行依頼されたときに割り振られません。

重大度

4

C2R8043

parameter パラメーターの値 *value* の末尾にはスラッシュが必要です。
(*parameter parameter value value* should end with a slash.)

説明:

ディレクトリーの値の末尾には「/」が必要です。

重大度

12

C2R8044 *parameter* パラメーターの値 *value* の先頭にはスラッシュが必要です。
(*parameter parameter value value* should start with a slash.)

説明:

ディレクトリーの値の先頭には「/」が必要です。

重大度

12

第 12 章 C2RU メッセージ

接頭部が C2RU のメッセージには、エラーの原因および zSecure Visual の通知プログラム内の場所を参照するための固有の番号が付いています。したがって、同じ種類のメッセージに、エラーの原因および場所を示すための異なる番号が付けられている場合があります。

注：C2RU メッセージは、以前のリリースの zSecure Visual では U メッセージというラベルを付けられていました。

C2RU100 CKGRACF バージョン *old version* が検出されました。(CKGRACF version *old version* encountered.) このクライアントは、CKGRACF バージョン *version* 用に開発されています。(This client has been developed for CKGRACF version *version*.)

説明

この製品を古いバージョンの CKGRACF と一緒に使用した場合、CKGRACF プログラムで取得されたデータは信頼できません。このメッセージが表示された後は、このバージョンの製品を使用してデータベースに変更を加えないでください。

C2RU101 パスワードの最大長は 8 文字であるため、新規パスワードは無効です。(The maximum length of a password is 8 characters, new password invalid.)

説明

RACF のパスワードの長さは 8 文字までに制限されています。

C2RU102 入力された新規パスワードが等しくありません。再入力してください。(New passwords typed are not equal, please retype.)

説明

パスワードのミスを防ぐために、新規パスワードはすべて 2 回入力する必要があります。

C2RU103 パスワードの最大長は 8 文字です。(The maximum length of a password is 8 characters.)

説明

RACF のパスワードの長さは 8 文字までに制限されています。

C2RU104 サーバー *server*(バージョン *server*) の *type port portnumber* が、サーバ

server (バージョン *version*) の *type port portnumber* と同じです。(type port *portnumber* of server *server* (version *version*) equals type port *portnumber* of server *server* (version *version*.)

説明

メインフレーム・ソフトウェア、クライアント・ソフトウェア、およびクライアント・インターフェース間の通信は、ポートによって特徴付けられる TCP ソケットを通じて行われます。ローカル・ポートは、メインフレームからクライアント・ソフトウェアへの通信に使用されます。UI ポートは、クライアント・インターフェース・アプリケーションとクライアント通信ソフトウェア間の通信に使用されます。デフォルトでは、ローカル・ポート番号はサーバー・ポート番号と同じです。UI ポートは、デフォルトでは常に、ローカル・ポート番号に 1 を加えた番号になります。異なるサーバーのサーバー・ポートが同じであるか、または十分に異なっていない場合、デフォルトのポート番号が重複するおそれがあります。サーバーのうちの少なくとも 1 つに代わりのローカル・ポート番号を指定するか、1 回の Windows セッション中に両方のサーバーに接続しないようにする必要があります。代わりのローカル・ポート番号を指定するには、「IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル」の『サーバー定義の追加および編集』のセクションで説明されている「ローカル・ポート」フィールドを使用してください。

C2RU105 他の Windows クライアントの構成ファイルを今すぐ作成しますか?(Are you sure you want to create configuration files for other Windows clients now?)

説明

このメッセージは、ユーザーが自分の構成を変更する代わりに構成ファイルを作成してしまうのを防ぐために表示されます。詳しくは、「IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル」の『自動セットアップおよび構成』セクションを参照してください。

C2RU106 有効範囲内にグループがありません。(No groups are in your scope.)

説明

グループはすべて有効範囲外です。常に存在する SYS1 を除き、グループ・ツリーは空のままになります。

C2RU107 グループ *group* が存在しないか、または有効範囲内にありません。
(Group *group* does not exist, or is not in your scope.)

説明

グループが存在しないか、またはグループを表示するための権限が不足しているため、グループが見つかりませんでした。

C2RU108 zSecure Visual では、文字 ' および " を *fieldname* フィールドに使用できません。(In zSecure Visual characters ' and " are not allowed in the *fieldname* field.)

説明

フィールドは、コマンド・ラインでメインフレームに渡されます。このコマンド・ラインでは、フィールドの境界を示すために引用符を使用します。コマンド・ラインが誤って解釈されるのを防ぐため、一部のフィールドでは引用符を入力できません。ただし、引用符を含んでいるフィールドは正しく表示されます。

C2RU109 一致するユーザーが見つかりません。(No matching users found.)

説明

ロードを要求した対象のユーザーが見つかりませんでした。ユーザーが存在しないか、または管理範囲外です。

C2RU110 一致するグループが見つかりません。(No matching groups found.)

説明

ロードを要求した対象のグループが見つかりませんでした。グループが存在しないか、または管理範囲外です。

C2RU111 新規パスワードが必要です。(New password required.)

説明

新規パスワードを空白値に設定することはできません。

C2RU112 新規パスワードの最大長は 8 文字です。(Maximum length of new password is 8 characters.)

説明

RACF では、パスワードが 8 文字までに制限されています。

C2RU113 入力されたパスワードが等しくありません。再入力してください。
(Passwords typed are not equal, please retype.)

説明

パスワードのミススペルを防ぐために、新規パスワードはすべて 2 回入力する必要があります。

C2RU114 ユーザー *userid* の取り消し状況が、スケジュールによって決定されなくなります。現在、このユーザーは取り消されています。*userid* を今すぐ再開しますか? (Currently the user is revoked, do you want to resume *userid* now?)

説明

ユーザーの取り消し状況は、スケジュールを使用して決定されます。過去のスケジュール済みアクションをすべて削除すると、取り消し状況がスケジュールによって決定されなくなります。削除の前にユーザーが取り消されたため、ログオンできませんでした。ユーザーの取り消し状況をクリアするには、「Yes」を選択して再開してください。

C2RU115 日付が無効です。終了日は開始日より後でなければなりません。
(Invalid dates, end date should be after start date.)

説明

終了日を使用したくない場合は、「Forever」チェック・ボックスにチェック・マークを付けてください。

C2RU116 ユーザー ID が必要です。(Userid required.)

説明

新規接続のユーザー ID が入力されていません。

C2RU117 グループが必要です。(Group required.)

説明

新規接続のグループが入力されていません。

C2RU120 zSecure Visual を終了しますか? (Do you want to exit zSecure Visual?)

説明

終了する場合は「**Yes**」、プログラムの実行を継続する場合は「**No**」を選択します。このダイアログが今後表示されないようにするには、「**No**」を選択し、「*IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル*」の『表示設定の指定』のセクションで説明されている「Options」ダイアログを表示し、「**Confirm Exit**」チェック・ボックスをクリアします。

C2RU122 ユーザー ID *userid* が RACF に対して定義されていないか、またはユーザー ID に OMVS セグメントが定義されていません。(Userid *userid* is not defined to RACF or it does not have an OMVS segment defined.)

説明

このエラーは、2つの場合に発生します。1つは、ユーザー ID が RACF に認識されない場合です。ユーザー ID のスペルを確認してください。もう1つは、既存のユーザーに OMVS セグメントが含まれず、デフォルトの OMVS セグメントがない場合です。このメッセージが引き続き表示される場合は、メインフレーム・システム管理者に連絡してください。

C2RU123 パスワードの期限が切れています。新規パスワードを入力する必要があります。(Your password has expired, you must enter a new password.)

説明

現在のパスワードは古すぎるため、パスワードを変更するよう RACF から要求されています。「*IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル*」の『ログオン』のセクションを参照してください。(See the “Logging on” section in the *IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル*.)

C2RU124 新規パスワードが無効です。(New password invalid.)

説明

新規パスワードは、ユーザーのパスワード・ヒストリーに存在するか、またはパスワード規則に従っていないため、RACF によって受け入れられません。別のパスワードを指定してください。

C2RU125 パスワードが無効です。(Password invalid.)

説明

パスワードが有効でないため、ログオンが失敗しました。

C2RU126 サーバー名に無効な文字が含まれています。(Server name contains invalid characters.)

説明

サーバーの名前を使用したサブディレクトリーが作成されるため、文字はすべて有効なファイル名文字でなければなりません。

C2RU127 サーバーの名前が必要です。(Name for server required.)

説明

各サーバーには固有の名前が必要であり、名前を空白にすることはできません。

C2RU128 サーバー名は既に使用されています。(Server name is already in use.)

説明

各サーバーには固有の名前が必要です。

C2RU129 *property* をコピーできません。(The *property* cannot be copied.)

説明

このメッセージは、ドラッグ・アンド・ドロップを使用して接続を移動、コピー、またはマージし、その結果として生成された接続が、指定を許可されていないプロパティを必要とする場合に表示されます。「**Cancel**」を選択して操作を取り消すか、「**OK**」を選択してそれらのプロパティにデフォルト値を使用して操作を続行してください。

C2RU130 ユーザー ID の最大長は 8 文字です。(The maximum length of a userid is 8 characters.)

説明

RACF では、ユーザー ID の最大長は 8 文字です。

C2RU131 ユーザー ID *userid* は取り消されています。(Userid *userid* is revoked.)

説明

ログオンを試みたユーザー ID は取り消されています。このユーザー ID を再度使用するには、先にユーザー ID を再開する必要があります。

C2RU134 グループ ID の最大長は 8 文字です。(The maximum length of a GroupID is 8 characters)

説明

RACF では、グループ ID の最大長は 8 文字です。

C2RU135 グループ *group* は、そのグループ ID が HLQ として指定されたデータ・セット・プロファイルが RACF データベース内にまだ存在するため、削除されませんでした。(Group *group* has not been deleted, because there are still dataset profiles with the GroupID as HLQ in the RACF database.)

説明

グループは、そのグループ ID が HLQ として指定されたデータ・セット・プロファイルが RACF データベース内にまだ存在する場合、削除できません。そのデータ・セット・プロファイルを削除した後で、グループを削除できます。データ・セット・プロファイルの管理に zSecure Visual を使用することはできません。

C2RU136 一致するリソースが見つかりません
(No matching resources found)

説明

ロードを要求した対象のリソース・プロファイルが見つかりませんでした。exact、filter、または mask オプション、検索ストリング、および拡張フィールドを確認してください。

C2RU137 クラス *class* のプロファイルがキャッシュされていないため、このクラスに対してリフレッシュを実行できません。(Profiles of class *class* are not cached, so a refresh cannot be done for this class.)

説明

リフレッシュの際は、キャッシュされたプロファイルを、データベースに加えた変更を反映するように更新します。示されたクラスのプロファイルがキャッシュされていないため、クラスをリフレッシュできません。データベースに対する変更は直ちに反映されます。

C2RU138 不明なクラス *class* (Unknown class)

説明

指定されたリソース・クラスはサーバーに定義されていません。

C2RU139 zSecure Visual では、クラス *class* のプロファイルの追加はサポートされていません。(Adding profiles in class *class* is not supported by zSecure Visual.)

説明

クラス DIGTCERT、DIGTCRIT、DIGTNMAP、DIGTRING、GMBR、KERBLINK、NDSLINK、NMBR、NOTELINK、PMBR、PTKTDATA、PTKTVAL、ROLE、UNIXMAP のプロファイルの変更はサポートされていません。これは、変更を行うために特殊なコマンドまたは特権を使用する必要があるか、そのクラスのプロファイルが特定のプログラムによって自動的に更新されるためです。

C2RU140 *class profile* のアクセス・リストに加えた変更は無視されます。(Changes made to Access List of *class profile* will be ignored.)

説明

示されたプロファイルのアクセス・リストに変更を加えましたが、変更をコミットしませんでした。「OK」を選択して変更を無視するか、「Cancel」をクリックして前に戻ってください。

C2RU141 *class profile* のメンバー・リストに加えた変更は無視されます。

説明

示されたプロファイルのメンバー・リストに変更を加えましたが、変更をコミットしませんでした。「OK」をクリックして変更を無視するか、「Cancel」をクリックして前に戻ってください。

C2RU142 所有者が必要です。(Owner required.)

説明

各リソース・プロファイルには所有者が必要です。

C2RU143 zSecure Visual では、クラス *class* 内のプロファイルの重複はサポートされていません。(Duplicating profiles in class *class* is not supported by zSecure Visual.)

説明

クラス DIGTCERT、DIGTCRIT、DIGTNMAP、DIGTRING、GMBR、KERBLINK、NDSLINK、NMBR、NOTELINK、PMBR、PTKTDATA、PTKTVAL、ROLE、UNIXMAP のプロファイルの変更はサポートされていません。これは、変更を行うために特殊なコマンドまたは特権を使用する必要があるか、そのクラスのプロファイルが特定のプログラムによって自動的に更新されるためです。

C2RU144 一致するセグメントが見つかりません。(No matching segments found.)

説明

プロファイルに一致するセグメントがありません。

C2RU145 プロパティーが見つかりません。
(No properties found.)

説明

選択したセグメントのプロパティー・ウィンドウを開こうとしたが、プロパティーがありません。

C2RU146 複数のプロファイルが見つかったため、プロパティーを表示できません。代わりにリストを表示しますか?
(More than one profile found; cannot show properties. Show list instead?)

説明

1つのセグメントが複数のプロファイルに属する場合、zSecure Visual ではそれらのプロパティーをすべて表示することはできません。プロファイル・リストを表示することは可能で、このリストからプロパティーにアクセスできます。

C2RU147 セグメントが見つかりません。(No segments found.)

説明

このプロファイルにはセグメントがありません。

C2RU148 *name* セグメントを削除しますか?
(Delete namesegment?)

説明

この名前のセグメントを削除しようとしています。セグメントを削除してもよろしいですか?

C2RU149 追加できるセグメントがありません。(No segments to add.)

説明

セグメントを追加しようとしたが、追加できませんでした。

C2RU150 クラス *class* のプロファイルがキャッシュされていないか、あるいはグローバルでないため、このクラスに対してリフレッシュを実行できません。(Profiles of class *class* are not cached or not global, so a refresh cannot be done for this class.)

説明

リフレッシュの際は、キャッシュされたプロファイル、データベースに加えた変更を反映するように更新し

ます。示されたクラスをリフレッシュできない理由は2つあり、クラスがキャッシュされていないか、グローバルでないかのいずれかです。「Refresh Global class」チェック・ボックスにマークを付けずに再試行してください。リフレッシュが再び失敗した場合、クラスはキャッシュされていません。データベースに対する変更は直ちに反映されます。

C2RU151 オプションがありません (No options available)

説明

オプションをアクティブ化しようとしたが、使用可能なオプションがありません。例えば、セグメントによっては、現在のリリースでの表示または編集が許可されていません。

C2RU152 セグメント *segment* を表示できません。コマンド形式がサポートされていないか、または表示可能なフィールドが存在しません。(Cannot show segment *segment*, command format not supported or no displayable fields present.)

説明

一部のセグメントが、異なるコマンド形式を必要としているか、または暗号化されたデータのみを含んでいます。そのようなセグメントは、このリリースでは表示できません。

C2RU153 ユーザー ID *userID* にはマッピング情報がありません。(User ID *userID* has no mapping information.)

説明

表示しようとしたユーザー ID にはマッピング情報がありません。

C2RU154 マッピング情報が見つかりません。(No mapping information found.)

説明

表示しようとしたリソース・プロファイルにはマッピング情報がありません。

C2RU155 変更は保存されていません。保存しないでウィンドウを閉じますか?
(Your changes have not been saved. Do you want to close the window without saving?)

説明

「編集」ウィンドウを使用してセグメントのフィールド値を変更しました。「編集」ウィンドウを閉じるか **Esc** キーを押すと、変更は保存されません。保存せずに「編

集」ウィンドウを閉じる場合は「Yes」、「編集」ウィンドウに戻る場合は「No」を選択します。変更を保存するには、「編集」ウィンドウで **Enter** キーまたは **Tab** キーを押します。

C2RU156 アクティブなサーバーがありません。ローカル・システム・サービスのみが使用可能です。(There is no active server, only local system services available.)

説明

zSecure Server がアクティブでないため、マルチシステム・サービスを使用できません。ローカル・システムではビジュアル・クライアントの使用を続行できます。

ユーザーの処置

zSecure Visual サーバーに正常に接続するには、その Visual サーバーと zSecure Server が同じシステム上で実行されている必要があります。

C2RU157 zSecure マルチシステム・サービスを使用するには、バージョン **1.12** 以上の **[CKRCARLA | CKGRACF]** が必要です。(To use zSecure multi-system services requires version **1.12** or higher of **[CKRCARLA | CKGRACF].**) ローカル・システム・サービスのみが使用可能です。(Only local system services are available.)

説明

zSecure クライアントの構成時に「**Use zSecure Server for multi-system services**」オプションを選択した場合、ターゲット zSecure Server サーバーに接続する前に、ソフトウェアが正しいバージョンであるかどうかプログラムによって確認されます。CKRCARLA または CKGRACF のいずれかがバージョン 1.12 以上ではない場合、ログオンして zSecure Server への接続を試みた後に、このメッセージが表示されます。

注：最初に CKGRACF がテストされ、次に CKRCARLA がテストされます。両方のプログラムがいずれも正しいバージョンでない場合は、CKGRACF のみがメッセージに表示されます。

C2RU158 検索先のノードが選択されていません。(No nodes selected to search on.)

説明

このメッセージは、マルチシステム・モードで操作しているが、検索先のノードを選択していない場合に表示されます。少なくとも1つのノードを選択するまで「OK」が使用不可になります。

ユーザーの処置

検索先のノードを選択してください。マルチシステム・モードで操作する必要がない場合は、クライアントを終了してローカル・モードで再始動してください。

C2RU159 アクティブ・サーバーに問題があります。ローカル・システム・サービスのみを引き続き使用します。(There is a problem with the active server, will continue using only local system services.)

説明

このメッセージは、マルチシステム・モードで操作していて、zSecure ノードの要求に対して使用可能なノードのリストを返すことができない場合に表示されます。

C2RU160 一致する接続がありません。(No matching connections.)

説明

選択されたリソースの接続が見つかりませんでした。接続が存在しないか、または管理範囲外です。

C2RU161 接続の表示では * は無効です。(Show Connections not valid for *.)

説明

選択された項目についての接続のリストを表示するためのフィルター文字として、アスタリスク (*) を指定することはできません。

C2RU162 許可の表示では * は無効です。(Show Permits not valid for *.)

説明

選択された項目についての許可のリストを表示するためのフィルター文字として、アスタリスク (*) を指定することはできません。

C2RU163 検索フィールド内で完全一致突き合わせを検索する場合、サイト固有フィールドに値を指定することはできません。(When searching for an exact match in the search field you cannot also specify values in the site-specific fields.)

説明

検索フィールド内で指定されたストリングについて完全一致突き合わせを検索するために「**Exact**」を選択した場合、サイト固有のユーザー・データ・フィールドに値を指定しないでください。

C2RU164 ファクター名が必要です。(Factor Name required.)

説明:

ユーザー・プロファイルにファクター・データを追加するには、MFA ファクター名が必要です。

C2RU165 ポリシー名が必要です。(Policy Name required.)

説明:

ユーザー・プロファイルにポリシー名を追加するには、MFA ポリシー名が必要です。

C2RU166 ファクター名が無効です。(Invalid Factor Name.)

説明:

ファクター名は 1 文字から 20 文字までにする必要があります。

C2RU167 タグが無効です。(Invalid Tag.)

説明:

タグは、*tagname:tagvalue* 形式で指定する必要があります。ここで、*tagname* は 1 文字から 20 文字まで、*tagvalue* は 1 文字から 1024 文字までにすることができます。

C2RU168 ポリシー名が無効です。(Invalid Policy Name.)

説明:

ポリシー名は 1 文字から 20 文字までにする必要があります。

C2RU169 ユーザーが保護されていて、ファクターがありません。(User is protected, No factors present.)

説明:

MFA 情報を保護ユーザーに割り当てることはできません。

C2RU170 ユーザーが保護されていて、ポリシーがありません。(User is protected, No policy present.)

説明:

MFA 情報を保護ユーザーに割り当てることはできません。

C2RU171 ファクター数が超過しました。(Factor count exceeded.)

説明:

ユーザーは最大 10 個のファクターに制限されています。

C2RU172 ポリシー数が超過しました。(Policy count exceeded.)

説明:

ユーザーは最大 10 個のポリシーに制限されています。

C2RU173 「適用」ボタンを押して、*segment-name* セグメントの変更を保存してください。(Press the Apply button

to save the *segment-name* segment changes)

説明:

別のセグメントに切り替えようとしたのですが、現行セグメントに未保存の変更があります。

ユーザーの処置:

「適用」ボタンを押して、現行セグメントのすべての変更を保存してください。その後、別のセグメントに切り替えることができます。

C2RU173 繰り返しフィールド「*field-name*」の Empty 値を編集してから「Apply」ボタンを押してください (Edit the Empty value of the repeated field '*field-name*' and then press the Apply button)

説明:

「Edit/add another field」に切り替えようとしたのですが、直前にセグメントに追加した繰り返しフィールドに値 Empty があります。

ユーザーの処置:

セグメントに追加した繰り返しフィールドの Empty 値を編集し、「適用」ボタンを押して現行フィールドのすべての変更を保存してください。その後、現行セグメントの別のフィールドに切り替えることができます。

C2RU173 「適用」ボタンを押して、繰り返しフィールド「*field-name*」の変更を保存してください。(Press the Apply button to save changes of the repeated field '*field-name*')

説明:

「Edit/add another field」に切り替えようとしたのですが、直前にセグメントに追加した繰り返しフィールドに未保存の変更があります。

ユーザーの処置:

「適用」ボタンを押して、追加および編集した繰り返しフィールドのすべての変更を保存してください。その後、現行セグメントの別のフィールドに切り替えることができます。

C2RU999 エラー *nn*: *description*。(Error *nn*: *description*.)

説明

このエラーは予期しない状態を示します。このエラーが発生する条件に関して何らかの心当たりがある場合は、ディストリビューターに報告するか、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

第 13 章 C2RW メッセージ

この章には、IBM Security zSecure Visual サーバーの始動時、またはこのサーバーに対し停止が通知された場合に出力される可能性があるメッセージがリストされています。これらのメッセージは、システム・ログと、サーバーのログ・ディレクトリーにある about-server.log ファイルに送信されます。

C2RW001I ルート *root directory* の zSecure Visual サーバーを始動します (Starting zSecure Visual server with root *root directory*)

説明

ルート *root directory* のサーバーを始動しています。

C2RW002I ルート *root directory* の zSecure Visual サーバーが始動しました (Started zSecure Visual server with root *root directory*)

説明

サーバーが始動しました。クライアント接続の受け入れ準備ができ次第、サーバーは C2RW016 メッセージをシステム・ログに送信します。

C2RW003I ルート *root directory* の zSecure Visual サーバーが設定されました (Established zSecure Visual server with root *root directory*)

説明

サーバーが (再) 構成の後に始動しました。クライアント接続の受け入れ準備ができ次第、サーバーは C2RW016 メッセージをシステム・ログに送信します。

C2RW004I zSecure Visual サーバーがまだセットアップされていません (The zSecure Visual server has not been set up yet)

説明

サーバーは、実行前に構成する必要があります。

C2RW005I サーバーの準備が未完了です。サーバー始動 JCL のジョブ・ステップ C2RSPREP が正常に終了していることを確認してください (Server preparation incomplete; make sure that job step C2RSPREP in the server-start JCL ended correctly)

説明

サーバーは、サーバー始動 JCL の C2RSPREP ステップから提供される必要がある特定のファイルを見つけることができませんでした。

C2RW006I プログラム *program* にアクセスできません (Cannot access program *program*)

説明

プログラム *program* にアクセスできないため、サーバーが停止しました。

C2RW007I サーバー・プログラム・エラーが発生しました。 *error message file* を参照してください (Severe program error encountered; see *error message file*)

説明

プログラム *program* が原因で重大エラーが発生しました。エラー・メッセージを *error message file* で確認できます。このエラーが原因でサーバーが停止しました。

C2RW008I プログラム *program* はプログラム管理対象としてマークされていません (Program *program* is not marked program controlled)

説明

プログラム *program* がプログラム管理対象としてマークされていないため、サーバーが停止しました。

C2RW009I ソフトウェア・ディレクトリーは SECURITY マウント・ファイル・システム内に存在する必要があります (The software directory should reside in a SECURITY mounted file system)

説明

サーバー・ソフトウェア・ディレクトリーが SECURITY マウント・ファイル・システム内にないため、サーバーが停止しました。

C2RW010I ポート *port/tcp* zSecure Visual サーバーは既に稼働しています (The

port port/tcp zSecure Visual server is running already)

説明

一度に1つの zSecure Visual サーバー・インスタンスのみがポート *port/tcp* を使用できます。

C2RW011I *port1/tcp* の IBM Security zSecure Visual サーバーがポート *port2/tcp* を開くことができません (The *port1/tcp* IBM Security zSecure Visual server is unable to open *port port2/tcp*)

説明

クライアントとの通信のためにポート *port2/tcp* を開くことができないため、サーバーが停止しました。*port2/tcp* を開くことができない原因として考えられるものは、以下のとおりです。

- PORT ステートメントまたは PORTRANGE ステートメント内のジョブ名が一致しない
- ポートが SAF によって保護されている
- ポートが別のプロセス (既に実行中の別の Visual サーバー・プロセスなど) によって使用されている

Visual サーバーに関連する PORT(RANGE) ステートメントおよび SAF リソースについては、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『TCP/IP セキュリティー』を参照してください。

C2RW012I スクリプト *script* の使用方法が無効です。 (Invalid use of the script *script*.) スクリプトはサーバー始動 JCL から呼び出される必要があります (The script should be called from the server-start JCL)

説明

スクリプト *script* には他のパラメーターが必要でした。スクリプトはサーバー始動 JCL から呼び出される必要がありました。

C2RW013I 証明書データベースが空です (The certificate database is empty)

説明

サーバーに必要な証明書が見つからなかったため、サーバーが停止しました。最も考えられる原因として、サーバー初期化 (ジョブ C2RZWINI) が正常に実行されていません。

ユーザーの処置:

サーバーを停止して、ジョブ C2RZWINI を実行または再実行し、サーバーが認証局として正常に初期化されたことを確認してください。「IBM Security zSecure

CARLa-Driven Components インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『サーバーの初めての始動』を参照してください。

C2RW014I アクティブなポート *port/tcp* zSecure Visual サーバーがありませんでした (No *port port/tcp* zSecure Visual server was active)

説明

アクティブな *port/tcp* サーバーが存在していないため、*port/tcp* サーバーを停止できませんでした。

C2RW015I ポート *port/tcp* zSecure Visual サーバーの *pid* を処理するために SIGTERM が送信されました (SIGTERM sent to process *pid* of the *port port/tcp* zSecure Visual server)

説明

port/tcp サーバーに対して停止を指示するシグナルが送信されました。

C2RW016I ポート *port/tcp* zSecure Visual サーバーは接続を受け入れる準備ができています (The *port port/tcp* zSecure Visual server is ready to accept connections)

説明

zSecure Visual クライアントはポート *port/tcp* サーバーに接続できます。

C2RW017I プログラム CKGRACF は APF を実行しません (Program CKGRACF does not run APF)

説明

CKGRACF が APF を実行しないため、サーバーは必要な CKGRACF 機能を使用できませんでした。このため、サーバーが停止しました。

C2RW018I zSecure セキュリティー検査のリソース・クラスを判別できません (The resource class for zSecure security checks cannot be determined)

説明

CKRSITE モジュールに、有効なセキュリティ・クラスが含まれていません。各種リソースへのユーザーのアクセス権限を判別するには、有効なクラスが必要です。CKRSITE モジュールについて詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『付録 A. サイト・モジュール』を参照してください。

第 14 章 C2X メッセージ

C2XACTV は、zSecure RACF Exit Activator プログラムです。このプログラムは、一部の RACF 出口に対する動的出口サポートを提供します。C2XACTV プログラムの主な目的は、以下のような各種 zSecure 製品で必要な出口のインストールです。

- IBM Security zSecure Admin and Audit
- IBM Security zSecure Alert

この章では、C2XACTV コンポーネントによって発行される C2X メッセージについて説明します。これらのメッセージには、C2XnnnI、C2XnnnnI、または C2XnnnnE という形式のメッセージ接頭部が付きます。ここで、*nnn* または *nnnn* はメッセージ番号です。これらのメッセージの一部には、明示的な数値による重大度レベルが含まれています。メッセージ内では、この重大度レベルはメッセージ接頭部とメッセージ・テキストの間に表示されます。zSecure の重大度コードの一般的な意味は以下のとおりです。

00

状況または要約情報を示す通常のメッセージ、または決定事項を示すメッセージ。

04

一般的な警告。

08

エラー条件。

12

コマンド入力の構文エラー。

16

ライセンスの問題。

20

サポートされない条件 (例えば、セキュリティー・データベース内) が検出されました。

24

内部エラー、またはその他の予期しないサポートされない条件が検出されました。

ほとんどのメッセージでは、明示的な数値による重大度レベルが表示されませんが、メッセージ接尾部の最後の文字が重大度標識として使用されます。これらの重大度標識について、一般的な意味を次に示します。

I

通知メッセージ。

W

警告メッセージ。プログラムは続行しますが、エラーが発生しました。

E

エラー・メッセージ。プログラムは直ちに終了するか、または続行を試みます。

S

重大なエラー・メッセージ。プログラムを続行できません。

A

アクション・メッセージ。状態を修正するには、オペレーターの操作が必要です。

C2X009I

ライセンス先 *site-specific identification string* 実行場所 *where CPU ID cpu-id* (Licensed to *site-specific identification string* Runs on *where CPU-id cpu-id*)

説明

このメッセージは、サイト固有の識別ストリング、CPU ID、関連する製品番号および製品名を示します。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。このメッセージを z/VM から受け取った場合は、[電子サポート Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

0

C2X0101I 既存の *Exitname* 出口ルーチンが存在しません。追加します (No existing *Exitname* exit routine, add)

説明

この進行メッセージは、RACF 出口 *exitname* に対して以前の出口ルーチンが存在しない場合に発行されます。

C2X0102E タスクは APF 許可されていません。終了します (Task is not APF authorized, exit)

説明

C2XACTV プログラムが機能を実行するためには、APF 許可が必要です。現行プログラムは APF 許可されていません。ライブラリーが APF 許可されていること、および、モジュールが AC=1 でリンクされていることを確認してください。

C2X0103E *class resource* に一致する RACF プロファイルがありません (No matching RACF profile for *class resource*)

C2X0103E *class resource* への RACF アクセス権限が不十分です (Insufficient RACF access to *class resource*)

説明

class リソース・クラス内のプロファイル *resource* への十分なアクセス権限がありません。RACF 出口用ストレージのアクティブ化、更新、非アクティブ化、またはリカバリーを行うには、*resource* への UPDATE アクセス権限が必要です。実行は終了します。*Resource* は C2X.common-exit-name で、*common-exit-name* は、例えば ICHPWX02 です。

C2X0104I *Exitname* 出口ルーターは既にアクティブ化されています。再使用します (*Exitname* exit router already activated, reuse)

説明

この進行メッセージは、*exitname* に指定された RACF 出口点に対して以前の出口ルーチンが存在する場合に発行されます。この出口ルーチンは、C2XACTV がインストールしたものと同一であると認識されました。

ACTIVATE 関数は引き続き、出口環境の再作成と、すべての情報が正しいことの確認を行います。

C2X0105I 他の *Exitname* 出口ルーチンが見つかりました。挿入します (Found other *Exitname* exit routine, insert)

説明

この進行メッセージは、RACF 出口点 *exitname* に対して以前の出口ルーチンが存在する場合に発行されます。この出口ルーチンが、C2XACTV がインストールしようとしたものと異なっていることが検出されました。現行の出口ルーチンが、現行バージョンの動的出口サポート・ルーチンによって置き換えられます。現行の出口ルーチンはメイン機能出口ルーチンとして呼び出されず。

C2X0106E 出口ルーターを削除できません (Exit router cannot be removed)

説明

DEACTIVATE 要求が試みられましたが、DEACTIVATE 関数が実行できません。このメッセージの後に、この失敗の理由を示す 1 つ以上の C2X0137I メッセージが示されます。処理は、メッセージ C2X0150I によって示されるとおり、zSecure 機能出口ルーチン (サブ出口) の削除から続行されます。

C2X0107E 内部エラー。終了します (Internal error, exit)

説明

内部整合性の問題が検出されました。動的出口点は定義されていますが、動的出口サポート・ルーチンがインストールされていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0108I システム・ライブラリー内でモジュール *modname* が見つかりませんでした。STEPLIB を試行してください (Could not locate module *modname* in system library, try STEPLIB)

説明

この進行メッセージは、指定されたモジュールをどのシステム・ライブラリーからもロードできなかったことを示しています。処理は、STEPLIB からのモジュールのロードを続けます。

C2X0109E 既存の出口用の出口ルーチンを追加できませんでした (Could not add exit routine for existing exit)

説明

既存の RACF 出口を検出した後で、出口モジュールをメイン機能出口ルーチンとして定義しようとして失敗しました。

C2X0111I モジュール *modname* を LINKLIST から LPA にロードしました (Loaded module *modname* from LINKLIST into LPA)

説明

この進行メッセージは、出口モジュールの新規コピーが PLPA ストレージ域に追加されたことを示します。

C2X0112E モジュール *modname* が見つかりませんでした (Could not locate module *modname*)

説明

このエラー・メッセージは、必要なモジュールを STEPLIB からロードできなかったことを示します。

C2X0113E 無効な方式が指定されました。終了します (Invalid method specified, exit)

説明

機能出口ルーチンを呼び出すために指定された方式は、サポートされていません。処理は停止しました。

C2X0114I 直接呼び出しは、出口 *exitname* についてサポートされていません。無視されます (Direct call not supported for exit *exitname*; ignored)

説明

入力コマンドは、出口 *exitname* に DIRECT 呼び出し方式を使用する必要があることを指示します。DIRECT 呼び出し方式は、この出口にはサポートされていません。DIRECT 呼び出し方式を使用する要求は無視され、代わりに、デフォルトの出口呼び出し方式が使用されます。

C2X0115I 出口ルーチンはデモートされました。 *exitname* (Exit router has been demoted: *exitname*)

説明

ACTIVATE 要求の間に、C2XACTV は、出口 *exitname* が既にインストールされているが、RCVT が zSecure 出口ルーター・モジュールを直接ポイントしなくなっていることを検出しました。 *exitname* の最後の ACTIVATE 以降に、別の製品によって RCVT が変更され、独自バージョンの RACF 出口がインストールされた可能性があります。

C2X0116I 出口 *exitname* 用に *mode* モードを使用中 (Using *mode* mode for exit *exitname*)

説明

このメッセージは、*exitname* に使用される出口ルーターのタイプを示します。 *mode* に指定可能な値は、CSVDYNEX、DIRECT、および FASTSTORE です。

CSVDYNEX

z/OS 動的出口サービスは、サブ出口を呼び出すために使用されます。

DIRECT

出口ルーターが z/OS 動的出口サービスなしでサブ出口への直接ブランチを出します。

FASTSTORE

出口ルーター・コードと出口機能ルーチンが単一のモジュールに結合されます。また、FASTSTORE モジュールは、別のストレージ割り振りインターフェースを使用します。

C2X0117E 出口がまだアクティブです。まず非アクティブにしてください (Exit still active, deactivate first)

説明

RECOVER 要求が出されましたが、出口は現在、システム内でまだアクティブです。RECOVER 処理は、システムによってまだ使用される可能性があるモジュール用のストレージをリカバリーしません。出口ルーチンを DEACTIVATE してから、RECOVER 関数を再度実行してください。

C2X0118I モジュール *modname* を出口 *exitname* に追加しました (Added module *modname* to exit *exitname*)

説明

この進行メッセージは、出口モジュールが所定の出口点に正常に関連付けられたことを報告するために発行されます。このメッセージは、モジュールが PLPA にプリロードされた場合に発行されます。

C2X0119I FORCE モード。続行します (FORCE mode, continue)

説明

この通知メッセージは、RECOVER 関数が FORCE オプションで開始された場合にメッセージ C2X0117E に続いて発行されます。FORCE オプションでは、追加の許可が必要です。FORCE オプションを指定する際には、細心の注意を払ってください。FORCE オプションの使用を間違えると、RECOVER FORCE 関数が使用される出口点に関連した後続の RACF イベントごとに異常終了になります。例えば、ICHRFX04 という名前の出口に

RECOVER FORCE を使用した場合、後続の FASTAUTH 要求は失敗する可能性があります。

C2X0121E *modname exitname* に対してモジュール/出口が見つかりませんでした (Could not locate Module/Exit for *modname exitname*)

説明

出口点の DEACTIVATE 時に、出口点が定義されていないか、または出口点にモジュールが関連付けられていないことが検出されました。実行を継続します。

C2X0122E *exitname* の定義を解除できませんでした (Could not undefine *exitname*)

説明

出口点の削除時に予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。レポートには *retcode* 値を含めるようにしてください。

C2X0124I 出口 *exitname* からモジュール *modname* を削除しました (Removed module *modname* from exit *exitname*)

説明

この進行メッセージは、出口点とそれに関連付けられたモジュールが正常に削除されたことを示します。このメッセージは、ACTIVATE の処理中に追加された出口ルーチンに適用されます。

C2X0125I 出口点 *exitname* が未定義です (Undefined exit point *exitname*)

説明

この進行メッセージは、出口 *exitname* の出口点がシステムから除去されたことを示しています。関連した出口ルーチンは使用されなくなりました。

C2X0126I モジュール *modname* のコピーを LPA から削除しました (Removed copy of module *modname* from LPA)

説明

この進行メッセージは、LPA 内で検出された、モジュール *modname* のすべての古い (未使用の) コピーに対し

て発行されます。 *modname* のコピーが複数存在する場合、このメッセージが複数回発行される可能性があります。メッセージ C2X0129I で示されているように、モジュールの現行の (アクティブな) コピーも削除される場合があります。

C2X0127E TSO 環境のセットアップ中にエラーが発生しました。 RC=*retcode* (Error during setup TSO environment, RC=*retcode*)

説明

初期化時に予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。レポートには *retcode* 値を含めるようにしてください。

C2X0128E 出口点 *exitname* を定義できませんでした (Could not define exit point *exitname*)

説明

このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* の定義時にエラーが発生した場合に発行されます。プログラムの戻りコードを含めてレポートを作成し、[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0129I モジュール *modname* のコピーを LPA から削除しました (Removed copy of module *modname* from LPA)

説明

この進行メッセージは、LPA 内で検出されたモジュール *modname* の現行の (アクティブな) コピーに対して発行されます。メッセージ C2X0126I で示されているように、モジュールの古い (未使用の) コピーも削除される場合があります。

C2X0130I 出口点 *exitname* を定義しました (Defined exit point *exitname*)

説明

この進行メッセージは、出口点 *exitname* が正常に作成されたことを示すために発行されます。

C2X0131E SMF によるパスワード変更の取り込みが失敗しました (Capture PASSWORD change via SMF failed)

説明

このエラー・メッセージは、SMF レコードの作成時に予期しないエラーが発生した場合に、システム・コンソールに対して発行されます。このエラーは回避しなければなりません。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0132E C2XPRINT 出力ファイルがありません。終了します (C2XPRINT output file missing, exit)

説明

C2XPRINT 出力ファイルが必要です。しかし、このファイルが JCL から欠落しています。JCL にタイプ・エラーがないかどうかを確認してください。

C2X0133I C2XIN 入力ファイルが見つかりません。処理を完了します (C2XIN input file not found, processing complete)

説明

C2XIN 入力ファイルが JCL に存在しません。パラメータを使用して C2XACTV への入力を指定している場合、これは意図的な設定である可能性があります。この通知メッセージは、C2XIN 入力ファイルを DUMMY に割り振ることによって抑止できます。

C2X0136I *exitname* の NT は破棄されました (Destroyed NT for *exitname*)

説明

この進行メッセージは、DEACTIVATE 処理の終わりと、RECOVER FORCE 処理の始めに発行されます。これは、出口 *exitname* に関する情報を記録するのに使用された名前付きトークン (NT) が除去されたことを示しています。出口状況に関する情報は保持されません。

C2X0137I *Diagnostic_information*

説明

このメッセージは、メッセージ C2X0106E の続きです。診断情報を提供して、出口ルーター・モジュールを除去できなかった理由を判別するために、1 つ以上の C2X0137I メッセージが発行されます。*Diagnostic_information* で示される可能性がある値は、以下のとおりです。

名前付きトークンが見つかりませんでした (Named token not found)

出口状況を判別するのに必要な名前付きトークンが見つかりませんでした。

RCV_ 内の出口ポインターは *address* です (Exit pointer in RCV_ is *address*)

このメッセージは、出口ルーター・モジュールをポイントしている RACF 制御ブロックを示します。

使用しているコードへのポインターは *address* です (Pointer to our code is *address*)

このメッセージは、名前付きトークンに保存されたとおりに出口ルーター・コードのロケーションを示します。

RCV_ 内の出口ポインターは *address* です (Exit pointer in RCV_ was *address*)

このメッセージは、ACTIVATE を使用して出口がアクティブ化された時点での出口ルーチンの当初の値を示します。

見出しは *text* です (Eyecatcher is *text*)

このメッセージは、出口ルーター・モジュールを識別する、ストレージで見つかったテキスト部分を示します。

予期される値は *text* です (Expected value is *text*)

このメッセージは、出口ルーター・モジュール内にある、予期される見出しの値を示します。

C2X0138E NT の削除時にエラーが発生しました。RC=*retcode* (Error during NT delete, RC=*retcode*)

説明

この状態は回避しなければなりません。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0139I *exitname* は *module_name* の「別名」として定義されました (Defined *exitname* as "alias" of *module_name*)

説明

このメッセージは、名前 *exitname* が、モジュール *module_name* にポイントする動的 LPA モジュールとして追加されたことを示します。このアクションにより、出口のロケーションは確実に RACF 制御ブロック内の値と一致するようになります。

C2X0140E C2XPRINT 出力ファイルをオープンできません。終了します (Cannot open C2XPRINT output file, exit)

説明

C2XPRINT 出力ファイルが必要です。ファイルを開くときにエラーが発生しました。C2XPRINT は、LRECL が少なくとも 255 バイトである VB ファイルに割り振られるようにしてください。

C2X0141E **C2XIN をオープンできません
(Cannot open C2XIN)**

説明

C2XIN ファイルの OPEN 時にエラーが発生しました。C2XIN ファイルは、LRECL が 80 である固定ブロック・ファイルに割り振られるようにしてください。

C2X0142I **C2XIN ファイルの終わり (End of
C2XIN file)**

説明

この通知メッセージは、C2XIN ファイルの終わりに達したこと、および、これ以上のコマンドが処理されないことを示すために発行されます。

C2X0143E **C2XIN をクローズできませんでした
(Could not close C2XIN)**

説明

C2XIN 入力ファイルの CLOSE 時に予期しないエラーが発生しました。

[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0144E **パラメーターが無効です。
SYSTSPRT を参照してください。
Parse-RC=retcode (Invalid
parameter, see SYSTSPRT, Parse-
RC=retcode)**

説明

DYNEXIT コマンドの一部として、無効なパラメーターまたはキーワードが検出されました。詳細なエラー・メッセージについては SYSTSPRT を、有効なコマンド構文については PARM または C2XIN ファイルを確認してください。

C2X0145E **コマンドが認識されません
(Command not recognized)**

説明

PARM または C2XIN 入力ファイル内のコマンドを認識できません。

C2X0146E **コマンドが認識されません。
scancode=code (Command not
recognized, scancode=code)**

説明

PARM または C2XIN によって渡されたコマンドの構文が有効ではありません。PARM または C2XIN 入力ファイルにタイプ・エラーがないかどうかを確認してください。

C2X0147I **入力: input command (Input: input
command)**

説明

このメッセージは、呼び出し PARM またはファイル C2XIN で指定されている *input command* を示します。

C2X0148I **Exitname 出口ルーチンが見つかり
ました。更新します (Exitname exit
routine found, refresh)**

説明

この進行メッセージは、RACF 出口 *exitname* に対して以前の出口ルーチンが存在する場合に発行されます。既存の出口ルーチンは、以前に C2XACTV によってインストールされた動的出口サポート・ルーチンです。動的出口モジュールおよびサポート・ルーチンが更新されます。

C2X0149E **Exitname がインストールされてい
ないため、更新できません。終了し
ます (Exitname not installed,
cannot refresh, exit)**

説明

このエラー・メッセージは、RACF 出口 *exitname* に対して以前の出口ルーチンが存在する場合に発行されます。ただし、このルーチンは、以前に C2XACTV によってインストールされた動的出口サポート・ルーチンではありません。REFRESH 操作を実行できません。

C2X0150I **サブ出口を削除します (Remove
sub-exits)**

説明

この通知メッセージは、機能サブ出口のみが削除されたことを示します。これは、出口ルーチンの DEACTIVATE が可能でない場合に発行されます。最後の ACTIVATE 中に存在している元の RACF 出口がメインの機能出口として保持されます。zSecure 機能出口は、機能サブ出口として使用されなくなりました。

C2X0151E **タスクは APF 許可されていません。
終了します (Task is not APF
authorized, exit)**

説明

C2XPWX01 出口ルーチンは現在、許可された状態 (APF、キーが 8 未満、または監視プログラム状態) で呼び出されていません。この出口ルーチンは、許可がないと機能を実行できません。実行は終了します。

C2X0152E 出口点 *exitname* を定義できませんでした (Could not define exit point *exitname*)

説明

このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* の定義時にエラーが発生した場合に発行されます。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0153E 出口 *exitname* の呼び出しに失敗しました。(Failure during call to exit *exitname*)

説明

このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの呼び出し時にエラーが発生した場合に発行されます。

C2X0154E *exitname* の実行中に異常終了しました。異常終了コード *abendcode* (Abend during *exitname*, abend code *abendcode*)

説明

出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの実行中に異常終了が発生しました。これらの出口ルーチンは、出口処理の最初に呼び出されます。異常終了コードは *abendcode* です。システム・ログでこの異常終了に関連する追加メッセージを調べて、この問題を出口ルーチンのサプライヤーに報告してください。

C2X0155I 想定される戻りコードは 0 です (Return code zero assumed)

説明

このメッセージは、メッセージ C2X0154E の続きです。出口モジュールは異常終了しましたが、モジュールから戻されるはずだった戻りコードは 0 (パスワードの変更は続行可能) です。

C2X0156E *exitname* の実行中に異常終了しました。異常終了コード *abendcode* (Abend during *exitname*, abend code *abendcode*)

説明

出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの実行中に異常終了が発生しました。通常、この出口ルーチンは、出口点の動的アクティベーションの前に既にアクティブになっている出口ルーチンです。異常終了コードは *abendcode* です。システム・ログでこの異常終了に関連する追加メッセージを調べて、この問題を出口ルーチンのサプライヤーに報告してください。

C2X0157I 想定される戻りコードは 0 です (Return code zero assumed)

説明

このメッセージは、メッセージ C2X0156E の続きです。出口モジュールは異常終了しましたが、モジュールから戻されるはずだった戻りコードは 0 (パスワードの変更は続行可能) です。

C2X0158E 出口点 *exitname* を定義できませんでした (Could not define exit point *exitname*)

説明

このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* の定義時にエラーが発生した場合に発行されます。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0159E 出口 *exitname* の呼び出しに失敗しました。(Failure during call to exit *exitname*)

説明

このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの呼び出し時にエラーが発生した場合に発行されます。

C2X0160E *exitname* の実行中に異常終了しました。異常終了コード *abendcode* (Abend during *exitname*, abend code *abendcode*)

説明

出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの実行中に異常終了が発生しました。これらの出口ルーチンは、出口処理の最後に呼び出されます。異常終了コードは *abendcode* です。システム・ログでこの異常終了に関連する追加メッセージを調べて、この問題を出口ルーチンのサプライヤーに報告してください。

C2X0161I 戻りコードは変更されません (Return code unchanged)

説明

このメッセージは、メッセージ C2X0160E の続きです。出口モジュールは異常終了しましたが、モジュールから戻されるはずだった戻りコードは既存の戻りコードのまま (事前出口ルーチンおよびメイン出口ルーチンからの戻りコード) です。

C2X0162E **RCVT が見つかりません。終了します (RCVT not found, exit)**

説明

必要な RACF システム制御ブロックが見つかりませんでした。プログラムを続行できません。このメッセージは、非 RACF システムで発生する場合があります。大半の終了エラー・メッセージとは異なり、プログラムは RC=4 で終了します。

C2X0163E **RACF RCVT が見つかりませんでした。終了します (No RACF RCVT found, exit)**

説明

必要な RACF システム制御ブロックに、必要な RACF ID が含まれていませんでした。プログラムを続行できません。このメッセージは、非 RACF システムで発生する場合があります。大半の終了エラー・メッセージとは異なり、プログラムは RC=4 で終了します。

C2X0164E **RCVX が見つかりません。終了します (RCVX not found, exit)**

説明

必要な RACF システム制御ブロックが見つかりませんでした。プログラムを続行できません。このメッセージは、非 RACF システムで発生する場合があります。大半の終了エラー・メッセージとは異なり、プログラムは RC=4 で終了します。

C2X0165E **RACF RCVX が見つかりませんでした。終了します (No RACF RCVX found, exit)**

説明

必要な RACF システム制御ブロックに、必要な RACF ID が含まれていませんでした。プログラムを続行できません。このメッセージは、非 RACF システムで発生する場合があります。大半の終了エラー・メッセージとは異なり、プログラムは RC=4 で終了します。

C2X0166E **出口点 *exitname* を定義できませんでした (Could not define exit point *exitname*)**

説明

このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* の定義時にエラーが発生した場合に発行されます。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0167E **出口 *exitname* の呼び出しに失敗しました。(Failure during call to exit *exitname*)**

説明

このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの呼び出し時にエラーが発生した場合に発行されます。

C2X0168E ***exitname* が指定されていません。終了します (No *exitname* specified, exit)**

説明

動的出口の管理要求で、アクティブ化、非アクティブ化、または更新を行う対象の出口が指定されていませんでした。要求を実行できません。

C2X0169I ***exitname* を *module_name* の「別名」として定義中にエラーが発生しました。RC=*retcode* (Error defining *exitname* as "alias" of *module_name* , RC=*retcode*)**

説明

名前 *exitname* を、モジュール *module_name* にポイントする動的 LPA モジュールとして追加できませんでした。このアクションが失敗したために、DSMON など特定の監査プログラムがエラーを報告する可能性があります。

C2X0171I ***exitname* の DEACTIVATE が要求されました (DEACTIVATE *exitname* requested)**

説明

この進行メッセージは、出口 *exitname* に対する DEACTIVATE 要求が受信され、処理されようとしていることを示すために発行されます。

C2X0172I ***exitname* の ACTIVATE が要求されました (ACTIVATE *exitname* requested)**

説明

この進行メッセージは、出口 *exitname* に対する **ACTIVATE** 要求が受信され、処理されようとしていることを示すために発行されます。

C2X0173I *exitname* の **RECOVER** が要求されました (**RECOVER *exitname* requested**)

説明

この進行メッセージは、出口 *exitname* に対する **RECOVER** 要求が受信され、処理されようとしていることを示すために発行されます。

C2X0174I *exitname* の **REFRESH** が要求されました (**REFRESH *Exitname* requested**)

説明

この進行メッセージは、出口 *exitname* に対する **REFRESH** 要求が受信され、処理されようとしていることを示すために発行されます。

C2X0175I 別名 *exitname* を **LPA** から除去できませんでした (**Could not remove alias *exitname* from LPA**)

説明

ACTIVATE プロセスの一部として、動的にインストールされた出口ルーター・モジュールにポイントするように、*exitname* について別名が定義されています。**DEACTIVATE** 処理中に、この別名ポインターは除去されます。このメッセージは、別名の削除が失敗したことを示しています。

C2X0176I モジュール *module_name* を **LPA** から除去できませんでした (**Could not remove module *module_name* from LPA**)

説明

DEACTIVATE プロセスの一部として、いくつかのモジュールが動的 **LPA** から除去されます。このメッセージは、指示されたモジュールについて、このステップが失敗したことを示しています。

C2X0177I *exitname* の **NT** は更新されました (**Updated **NT** for *exitname***)

説明

この進行メッセージは、*exitname* の既存の名前トークンが、出口モジュールの現在の状況とロケーションを反映するように更新されたことを示しています。

C2X0178I *exitname* のリカバリーの終了 (**End of recover for *exitname***)

説明

この進行メッセージは、出口 *exitname* についての処理が完了したことを示すために、**RECOVER** 処理の終わりに発行されます。

C2X0181I *modname* の **CSVDYLPA ADD** から戻りコードが戻されました。
RC=retcode-reascode (Return code from **CSVDYLPA ADD** for *modname*. **RC=retcode-reascode**)

説明

このメッセージは、動的 **LPA** サービス・ルーチンの呼び出しが失敗した場合に発行されます。サービス・ルーチンは、モジュール *modname* を追加できませんでした。このメッセージ・テキストには、戻りコードと理由コードが含まれています。最も一般的な戻りコードと理由コードの組み合わせは **4-401** です。これは、モジュール *modname* が見つからなかったことを示します。多くの場合、モジュール *modname* を別のライブラリーに配置することによってプログラムをリカバリーできます。その場合、このメッセージの後にメッセージ **C2X0137I** および **C2X014I** が続きます。リカバリーが失敗した場合は、このメッセージの後にメッセージ **C2X0115E** が続きます。

C2X0182I *modname* の **CSVDYLPA ADD** から戻りコードが戻されました。
RC=retcode-reascode (Return code from **CSVDYLPA ADD** for *modname*. **RC=retcode-reascode**)

説明

このメッセージは、動的 **LPA** サービス・ルーチンの呼び出しが失敗した場合に発行されます。サービス・ルーチンは、以前に追加された **LPA** モジュールに別名 *modname* を追加できませんでした。このメッセージ・テキストには、戻りコードと理由コードが含まれています。処理は続行されますが、他のシステム・コンポーネントがモジュール *modname* の不整合を報告する可能性があります。

C2X0183I *modname* の **CSVDYLPA DELETE OLDEST** から戻りコードが戻されました。
RC=retcode-reascode (Return code from **CSVDYLPA DELETE OLDEST** for *modname*. **RC=retcode-reascode**)

説明

このメッセージは、動的 **LPA** サービス・ルーチンの呼び出しが失敗した場合に発行されます。サービス・ルーチンは、最も古いバージョンのモジュール *modname* を **LPA** から削除できませんでした。このメッセージ・テキストには、戻りコードと理由コードが含まれています。最も一般的な戻りコードと理由コードの組み合わせは

4-401 です。これは、モジュール *modname* が LPA 内に存在しないか、または単一コピー (現行バージョン) のみが存在することを示します。DYNEXIT RECOVER コマンドの実行中に、最も古いバージョンの *modname* がすべて削除されていると、このメッセージが発行されます。

C2X0184I ***modname* の CSVDYLPA DELETE CURRENT から戻りコードが戻されました。RC=retcode-reascode (Return code from CSVDYLPA DELETE CURRENT for *modname*. RC=retcode-reascode)**

説明

このメッセージは、動的 LPA サービス・ルーチンの呼び出しが失敗した場合に発行されます。サービス・ルーチンは、現行バージョンのモジュール *modname* を LPA から削除できませんでした。このメッセージ・テキストには、戻りコードと理由コードが含まれています。最も一般的な戻りコードと理由コードの組み合わせは 4-401 です。これは、モジュール *modname* が LPA 内に存在しないことを示します。DYNEXIT RECOVER コマンドの実行中に、現行バージョンの *modname* がすべて削除されていると、このメッセージが発行されます。

C2X0185I **LPA からの既存の *module_name* を使用します (Use existing *module_name* from LPA)**

説明

zSecure 出口アクティベーターは、既にストレージに入っている既存のモジュールを使用しようとしています。この通知メッセージは、必要な *module_name* モジュールが LPA 内にあることが検出され、動的 LPA にロードして追加する必要がないことを示しています。

C2X0186I **サブ出口への参照が削除されました (Removed references to sub-exits)**

説明

このメッセージは、機能サブ出口ルーチンが使用されなくなったことを示すために、DEACTIVATE 処理の一部として発行されます。

C2X0187E **LPA からのモジュール *module_name* を使用中にエラーが発生しました。終了します (Error using module *module_name* from LPA, exit)**

説明

機能サブ出口として使用されるアクティブ LPA からのモジュール *module_name* の追加が失敗しました。ACTIVATE プロセスは停止しました。

C2X0188I **別名モジュール *exitname* が LPA から削除されました (Removed alias module *exitname* from LPA)**

説明

ACTIVATE プロセスの一部として、動的にインストールされた出口ルーター・モジュールにポイントするように、*exitname* について別名が定義されています。DEACTIVATE 処理中に、この別名ポインターは除去されます。このメッセージは、別名の削除が正常に実行されたことを示しています。

C2X0190I **RCV_ 内の *exitname* のポインターを置き換えました (Replaced *exitname* pointer in RCV_)**

説明

この進行メッセージは、RACF 制御ブロック内の出口 *exitname* を指すポインターが、出口ルーチンの現行エントリ・ポイントで更新されたことを示します。

C2X0191I **RCV_ 内の *exitname* のポインターをリセットしました (Reset *exitname* pointer in RCV_)**

説明

この進行メッセージは、RACF 制御ブロック内の出口 *exitname* を指すポインターが、ACTIVATE 関数を最初に実行する前の値にリセットされたことを示します。

C2X0197E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)**

説明

この状態は回避しなければなりません。電子サポート [Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0198E **RCV_ を更新できませんでした (Could not update RCV_)**

説明

このエラー・メッセージは内部エラーを示します。電子サポート [Web サイト](#) を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0199E **RCV_ を更新できませんでした (Could not update RCV_)**

説明

このエラー・メッセージは内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X795I サポートされない呼び出しタイプ
(Unsupported call type)

説明

このメッセージは、内部 API の不一致を示します。zSecure RACF Exit Activator が正常にインストールされたことを確認してください。

重大度

16

C2X796I 内部のバージョンの不一致
(Internal version mismatch)

説明

このメッセージは、内部 API の不一致を示します。zSecure RACF Exit Activator が正常にインストールされたことを確認してください。

重大度

16

C2X797I 内部の長さの不一致 (Internal length mismatch)

説明

このメッセージは、内部 API の不一致を示します。zSecure RACF Exit Activator が正常にインストールされたことを確認してください。

重大度

16

C2X798I RACF 出口アクティベーターが有効化されました。SAF クラス *class* を使用しています (RACF exit activator enabled, using SAF class *class*)

説明

このメッセージは、zSecure RACF Exit Activator が有効化され、機能チェックに SAF クラス *class* を使用することを示します。

重大度

0

C2X799I zSecure RACF Exit Activator には、製品コード ADMINRACF、AUDITRACF、または ALERTRACF が必要です (zSecure RACF Exit Activator requires a product code ADMINRACF, AUDITRACF, or ALERTRACF)

説明

zSecure RACF Exit Activator のソフトウェア前提条件が IFAPRDxx にインストールされていないか、使用不可にされています。示された IBM Security zSecure 製品の機能のいずれかが、存在する必要があります。

重大度

16

C2X874I RECFM=V(BS) RDW *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で LRECL=*lrecl* を超えています (RECFM=V(BS) RDW *hex* exceeds LRECL=*lrecl* at record *n ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

C2X875I RECFM=V(BS) BDW *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で BLKSIZE=*blksize* を超えています (RECFM=V(BS) BDW *hex* exceeds BLKSIZE=*blksize* at record *n ddname volser dsname*)

説明

このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワ

ードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置

データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度

04

C2X915I UNIX レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn* [meaning] 理由 *qqqq rrrrx* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX write record *nn* failed RC *nn* [meaning] reason *qqqq rrrrx* [meaning] file *ddname path*)

説明

このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度

16

C2X919I 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました (Record with negative length *length* directed to *ddname* behind record *recno*)

説明

無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

24

C2X924I DD *ddname* DSN *dsn* の無効なブロック・サイズ: *blksize* (DD *ddname* DSN *dsn* invalid block size: *blksize*)

説明

ddname が正常に OPEN された後、その DCB は、*ddname* が DUMMY デバイスである場合以外は正の値のブロック・サイズを示している必要があります。

重大度

16

C2X925I メンバー *member* DDname *ddname* DSname *dsn* 問題記述 (Member *member* DDname *ddname* DSname *dsn* Problem description)

説明

プログラムは示されたメンバーを見つけようとしたとき、FIND SVC からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。2 行目の問題記述に、問題の正しい性質が説明されます。

重大度

16

C2X942I 製品コード *code* の環境が一致しません (Environment mismatch for product code *code*)

説明

このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度

0

C2X948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (Enablement information corrupt for product code *code*)

説明

このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度

16

C2X949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (Product code *code* installed and non-APF registration limit exceeded)

説明

このメッセージは、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 制限を超えたため、インストール済みの製品を登録できない場合に発行されます。

重大度

0

C2X950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (Code not installed here for product code *code*)

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度

16

C2X955I ストレージ要求エラー: サイズが正しい値ではありません (STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE)

説明

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2X968I IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (IFAEDDRG failed RC *nn* decimal)

説明

このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2X969I *dsn* の入出力エラー: *description* (I/O error for *dsn*: *description*)

説明

このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度

8

C2X970I フリー・ストレージ・エラー: *description* (FREE STORAGE ERROR: *description*)

説明

このメッセージは内部メモリ管理エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2X972I *product* の使用可能化情報がありません (Enablement information missing for *product*)

説明

このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置

システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度

16

C2X973I **IBM セキュリティー製品コード code が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product code code disabled or not installed)**

説明

このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2X974I **IBM セキュリティー product が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (IBM Security product disabled or not installed here for requested focus)**

説明

製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2X975I **IBM セキュリティー product が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product disabled or not installed)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2X976I **product 製品または機能のコードまたは使用可能化が使用不可になっているか、インストールされていません (Code or enablement for product product or feature disabled or not installed here)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2X976I **IBM セキュリティー product 製品または機能が使用不可になっているか、インストールされていません (IBM Security product product or feature disabled or not installed here)**

説明

製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置

z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに

連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度

16

C2X977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能('feature') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME('name') FEATURE('feature') VER(*version*) REL(*release*) MOD(*modification*))
[製品状況 RC *rc* 10 進数] ([Product status RC *rc* decimal])

説明

このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG に応答して発行されます。戻りコードは IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録の照会が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、C2X979I のため)。

重大度

0

C2X978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (Product code *code* has been disabled in PARMLIB)

説明

このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して製品が無効になっている場合に発行されます。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

ユーザーの処置

製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度

0

C2X979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (Product code *code* implied by other)

説明

このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に発行されます。

重大度

0

C2X992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明

このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度

4

C2X993I 異常終了 *xxx* のために診断ダンプが抑止されました (DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR ABEND)

説明

このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。

C2X994I 最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。 *ddname* (Last record truncated by end-of-file *ddname*)

説明

このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度

16

C2X995I LRECL が無効です。区分データ・セットであるため置き換えられませんでした (LRECL invalid; not overruled because partitioned data set)

説明

このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、この後に 013 または 002 の異常終了が発生する可能性があります。

C2X996I MFREE: スタック *name* のブロック内で長さが見つかりません (MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK *name*)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

4

C2X997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック *name* の最上部にありません (STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK *name*)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2X998I スタック *name* のスタック・オーバーフロー (STACK OVERFLOW FOR STACK *name*)

説明

このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度

16

C2X999I ヒープ *name* の GETMAIN が失敗しました - 領域を増やしてください (GETMAIN FAILED FOR HEAP *name* - INCREASE REGION)

説明

このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。ヒープ名が LOWHEAP または SYSSTACK の場合、この要求は 16 MB ラインより下のストレージに対して出されます。この名前が MAINHEAP の場合、この要求はあらゆる場所のストレージに対して出されます。

重大度

16

第 15 章 C4R メッセージ

この章には、zSecure Command Verifier により発行されるメッセージがリストされています。各メッセージの接頭部の形式は C4RnnnX です。この nnn はメッセージ番号、X は重大度を示す指標です。IBM Security zSecure Admin または IBM Security zSecure Visual のコンテキストでは、一部の C4R エラー・メッセージが CKGRACF により発行される可能性がある点に注意してください。これらの重大度標識について、一般的な意味を次に示します。

I

通知メッセージ。

W

警告メッセージ。プログラムは続行しますが、エラーが発生しました。

E

エラー・メッセージ。プログラムは直ちに終了するか、または続行を試みます。

S

重大なエラー・メッセージ。プログラムを続行できません。

C4R メッセージ 0 から 399

C4R000I 不明なメッセージ。(Unknown message.)

説明

これは内部エラーです。存在しないメッセージ番号がメッセージ・ルーチンに渡されました。

モジュール

C4RMSG

**C4R001-
C4R099** 将来使用するために予約済みです。(Reserved for future use)

説明

このエラー・メッセージは、zSecure Command Verifier で将来使用するために予約済みです。

**C4R100-
C4R199** ユーザー・プロファイルに関連する Command Verifier 出口ルーチンで使用するために予約済みです。(Reserved for use by user profile related Command Verifier exit routines.)

説明

これらのエラー・メッセージは、ユーザー・プロファイルに関連する zSecure Command Verifier 出口ルーチン (C4RXUSR) で使用するために予約されています。

**C4R200-
C4R299** グループ・プロファイルに関連する Command Verifier 出口ルーチンで使用するために予約済みです。(Reserved for use by group profile related Command Verifier exit routines.)

説明

これらのエラー・メッセージは、グループ・プロファイルに関連する zSecure Command Verifier 出口ルーチン (C4RXGRP) で使用するために予約されています。

**C4R300-
C4R399** リソース・プロファイルに関連する Command Verifier 出口ルーチンで使用するために予約済みです。(Reserved for use by resource profile related Command Verifier exit routines.)

説明

このエラー・メッセージは、リソース・プロファイルに関連する zSecure Command Verifier 出口ルーチン (C4RXRES) で使用するために予約されています。

C4R メッセージ 400 から 499

C4R400W チケット ID が設定されていません (No ticket identifier set)

説明:

端末ユーザーには C4R.command.=CKXLOG リソースに対する READ アクセス権限がありますが、チケット ID を設定する CKXLOGID コマンドを発行していません。

ユーザーの処置:

CKXLOGID コマンドを発行してチケット情報を設定するか、システム管理者に連絡して =CKXLOG リソースに対する正しいアクセス権限を確認してください。

管理者の応答:

=CKXLOG リソースに対する正しいアクセス権限が端末ユーザーにあることを確認してください。該当する =CKXLOG リソースに対する READ 以上のアクセス権限がないことを確認した場合は、RACF コマンドをコマンド・ログに記録しないようにします。または、該当する =CKXLOG リソースに対する UPDATE 以上のアクセス権限があることを確認した場合は、この警告メッセージを抑制します。

C4R401E コマンド・ログ・レコードの書き込みに失敗しました (Writing command log record failed)

説明:

この警告メッセージが出されるのは、端末ユーザーに C4R.command.=CKXLOG リソースに対する READ 以上のアクセス権限があり、コマンド・ログ・レコードの書き込みが失敗した場合です。

ユーザーの処置:

システム管理者に連絡してこのエラーの原因を調べてください。

C4R402W CKXLOG 開始タスクがアクティブではありません (CKXLOG started task not active)

説明:

端末ユーザーに C4R.command.=CKXLOG リソースに対する READ アクセス権限はありますが、CKXLOG 開始タスクがアクティブではありません。

ユーザーの処置:

システム管理者に連絡して、=CKXLOG リソースに対する正しいアクセス権限を確認し、CKXLOG 開始タスクがアクティブであることを確認してください。

管理者の応答:

=CKXLOG リソースに対する正しいアクセス権限が端末ユーザーにあることを確認してください。該当する =CKXLOG リソースに対する READ 以上のアクセス権限がないことを確認した場合は、RACF コマンドをコマンド・ログに記録しないようにします。または、該当する =CKXLOG リソースに対する UPDATE 以上のアクセ

ス権限があることを確認した場合は、この警告メッセージを抑制します。ロギングが必要な場合は、CKXLOG 開始タスクがアクティブであることを確認してください。

C4R410E 命名規則ではユーザー ID userid は許可されていません。コマンドが終了しました。(Userid userid not allowed in naming conventions, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACUID(n) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R411E 命名規則ではユーザー ID userid は許可されていません。コマンドが終了しました。(Userid userid not allowed in naming conventions, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACGPID(n) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R412E 命名規則ではユーザー ID userid は許可されていません。コマンドが終了しました。(Userid userid not allowed in naming conventions, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、USERID の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R413E ユーザー userid に PWFALLBACK を設定することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to set PWFALLBACK for user userid, command terminated)

説明

端末ユーザーには、示された userid に対して PWFALLBACK を指定する権限がありません。

C4R414E ユーザー userid に NOPWFALLBACK を設定することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to set NOPWFALLBACK for user userid, command terminated)

説明

端末ユーザーには、示された *userid* に対して NOFALLBACK を指定する権限がありません。

C4R415E ユーザー *userid* に対するファクター *factor-name* を管理することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to manage factor *factor-name* for user *userid*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、示された *userid* に対するファクター *factor-name* を追加、変更、または削除する権限がありません。

C4R416E ファクター *factor-name* のアクティブ状況を変更することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to change active status of factor *factor-name*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ファクター *factor-name* のアクティブ状況または非アクティブ状況を変更する権限がありません。

C4R417E ファクター *factor-name* のタグ *tag-name* を変更することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to change tag *tag-name* of factor *factor-name*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ファクター *factor-name* のタグ *tag-name* のタグ値を変更する権限がありません。

C4R418E ファクター *factor-name* のタグ *tag-name* を削除することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to remove tag *tag-name* of factor *factor-name*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ファクター *factor-name* のタグ *tag-name* を削除する権限がありません。

C4R419E ファクター *factor-name* のすべてのタグを削除することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to remove all tags of factor *factor-name*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ファクター *factor-name* のすべてのタグを削除する権限がありません。

C4R420E ユーザー ID *userid* は削除できません。コマンドが終了しました (Userid *userid* may not be deleted, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、USERID の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R421E ユーザー ID *userid* は削除できません。コマンドが終了しました (Userid *userid* may not be deleted, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、USERID 値が一致し、端末ユーザーに READ アクセス権限が付与されているが、システム SPECIAL 属性がない場合に発行されます。

C4R422E ユーザー *userid* に対するポリシー *policy-name* を管理することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to manage policy *policy-name* for user *userid*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ユーザー *userid* に対する MFA ポリシーのリスト内のポリシー *policy-name* を追加または削除する権限がありません。ユーザー・プロファイルは変更されません。

C4R423E MFADEF プロファイル *profile-name* に対する TOKENTIMEOUT を設定することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to set tokentimeout for MFADEF profile *profile-name*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、MFADEF プロファイル *profile-name* 内の TOKENTIMEOUT 値を設定または再設定する権限がありません。MFA ポリシー・プロファイルは変更されません。

C4R424E MFADEF プロファイル *profile-name* に対する REUSE 値を設定することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to set reuse

value for MFADEF profile *profile-name*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、MFADEF プロファイル *profile-name* 内の REUSE 属性を設定する権限がありません。MFA ポリシー・プロファイルは変更されません。

C4R425E MFADEF プロファイル *profile-name* に対するファクター *factor-name* を管理することはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to manage factor *factor-name* for MFADEF profile *profile-name*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、MFA ポリシー *profile-name* に対するファクターのリスト内のファクター *factor-name* を追加または削除する権限がありません。MFA ポリシー・プロファイルは変更されません。

C4R430E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(Could not find my own OWNER, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP でなく、Mandatory Value ポリシー・プロファイルで DFLTGRP が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R431E DFLTGRP のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of default value for DFLTGRP not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、端末ユーザーに、一致する /DFLTGRP プロファイルへの十分なアクセス権限がない場合に発行されます。

C4R432E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(Could not find my own OWNER, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP ではなく、Default Value ポリシーにより、DFLTGRP が端末ユーザーの OWNER

と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R440E DFLTGRP(*dfltgrp*) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of DFLTGRP(*dfltgrp*) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACUID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R441E DFLTGRP(*dfltgrp*) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of DFLTGRP(*dfltgrp*) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACGPID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R442E DFLTGRP(*dfltgrp*) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of DFLTGRP(*dfltgrp*) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=USERID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R443E DFLTGRP(*dfltgrp*) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of DFLTGRP(*dfltgrp*) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、DFLTGRP.USERID の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R444E DFLTGRP *dfltgrp* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。(DFLTGRP *dfltgrp* is outside your scope, command terminated)

説明

/SCOPE ポリシーにより、端末ユーザーの有効範囲内がない DFLTGRP の使用が禁止されています。

C4R445E SUPGROUP *supgroup* の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of SUPGROUP

supgroup not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACUID(n) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R446E **SUPGROUP *supgroup* の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of SUPGROUP *supgroup* not allowed, command terminated)**

説明

このエラー・メッセージは、=RACGPID(n) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R447E **SUPGROUP *supgroup* の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of SUPGROUP *supgroup* not allowed, command terminated)**

説明

このエラー・メッセージは、=GROUP(n) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R448E **SUPGROUP *supgroup* の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of SUPGROUP *supgroup* not allowed, command terminated)**

説明

このエラー・メッセージは、SUPGRP.GROUP の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R449E **SUPGROUP *supgroup* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。(SUPGROUP *supgroup* is outside your scope, command terminated)**

説明

/SCOPE ポリシーにより、端末ユーザーの有効範囲内がない SUPGROUP の使用が禁止されています。

C4R450E **DFLTGRP は OWNER と同じでなければなりません。コマンドが終了しました。(DFLTGRP must be same as OWNER, command terminated)**

説明

DFLTGRP./OWNER プロファイルにより、OWNER と異なるデフォルト GROUP を割り当てることが禁じられていました。ALTUSER コマンドの結果としてこのメッセージが発生した場合は、同じコマンド内の OWNER と DFLTGRP を変更してください。

C4R451E **OWNER は DFLTGRP と同じでなければなりません。コマンドが終了しました。(OWNER must be same as DFLTGRP, command terminated)**

説明

OWNER./DFLTGRP プロファイルにより、デフォルト GROUP と異なる OWNER を割り当てることが禁じられていました。ALTUSER コマンドの結果としてこのメッセージが発生した場合は、同じコマンド内の OWNER と DFLTGRP を変更してください。

C4R452E **新規 OWNER *owner* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。(New OWNER *owner* is outside your scope, command terminated)**

説明

/SCOPE ポリシーにより、端末ユーザーの有効範囲内がない OWNER の使用が禁止されています。

C4R453E **新規 OWNER *owner* がグループではありません。コマンドが終了しました。(New OWNER *owner* is not a group, command terminated)**

説明

/GROUP ポリシーにより、既存の RACF GROUP ではない OWNER の使用が禁じられていました。

C4R454E **Supgroup は OWNER と同じでなければなりません。コマンドが終了しました。(Supgroup must be same as OWNER, command terminated)**

説明

SUPGROUP./OWNER プロファイルにより、OWNER と異なる SUPGROUP を割り当てることが禁じられていました。ALTGROUP コマンドの結果としてこのメッセージが発生した場合は、同じコマンド内の OWNER と SUPGROUP を変更してください。

C4R455E **OWNER は Supgroup と同じでなければなりません。コマンドが終了しました。(OWNER must be same as Supgroup, command terminated)**

説明

OWNER./SUPGRP プロファイルにより、上位 GROUP と異なる OWNER を割り当てるのが禁じられていました。ALTGROUP コマンドの結果としてこのメッセージが発生した場合は、同じコマンド内の OWNER と SUPGROUP を変更してください。

C4R460E 所有者と Dfltgrp が相互を参照しています。コマンドが終了しました。
(Owner and Dfltgrp refer to each other, command terminated)

説明

OWNER の必須値が DFLTGRP 値から取得されることが指定されていましたが、DFLTGRP の必須値またはデフォルト値は OWNER から取得される必要があります。これは循環定義です。

C4R461E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。
(Could not find my own OWNER, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP でなく、Mandatory Value ポリシー・プロファイルで OWNER が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R462E 所有者と Dfltgrp が相互を参照しています。コマンドが終了しました。
(Owner and Dfltgrp refer to each other, command terminated)

説明

OWNER のデフォルト値が DFLTGRP 値から取得されるように指定されていましたが、DFLTGRP の必須値またはデフォルト値は OWNER から取得される必要があります。これは循環定義です。

C4R463E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。
(Could not find my own OWNER, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP ではなく、Default Value ポリシーにより、OWNER が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R464E OWNER のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Use of default value for

OWNER not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、端末ユーザーに、一致する /OWNER ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がない場合に発行されます。

C4R470E OWNER(owner) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました
(Use of OWNER(owner) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACUID(n) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R471E OWNER(owner) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました
(Use of OWNER(owner) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACGPID(n) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R472E OWNER(owner) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました
(Use of OWNER(owner) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=USERID(n) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R473E OWNER(owner) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました
(Use of OWNER(owner) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、OWNER.USERID の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R479E フレーズ管理は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Phrase management not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、この USERID の PHRASE を変更または設定する権限がありません。

C4R480E **Special** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(Special attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、SPECIAL 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R481E **NoSpecial** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoSpecial attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から SPECIAL 属性を削除する権限がありません。

C4R482E **Operations** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(Operations attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、OPERATIONS 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R483E **NoOperations** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoOperations attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から OPERATIONS 属性を削除する権限がありません。

C4R484E **Auditor** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(Auditor attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、AUDITOR 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R485E **NoAuditor** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoAuditor attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から AUDITOR 属性を削除する権限がありません。

C4R486E **Uaudit** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(Uaudit attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、UAUDIT 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R487E **NoUaudit** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoUaudit attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から UAUDIT 属性を削除する権限がありません。

C4R488E **Restricted** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(Restricted attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、RESTRICTED 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R489E **NoRestricted** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoRestricted attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から RESTRICTED 属性を削除する権限がありません。

C4R490E **ADSP** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(ADSP attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、ADSP 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R491E **NoADSP** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoADSP attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から ADSP 属性を削除する権限がありません。

C4R492E **GRPACC 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(GRPACC attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、GRPACC 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R493E **NoGRPACC 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(NoGRPACC attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から GRPACC 属性を削除する権限がありません。

C4R494E **Protected 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(Protected attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、この USERID に対して NOPASSWORD キーワードを使用する権限がありません。

C4R495E **Protected 属性の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。(Remove of Protected attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、PASSWORD の割り当て、およびこの USERID の PROTECTED 状況の削除を行う権限がありません。

C4R メッセージ 500 から 599

C4R500E **OIDcard 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(OIDcard attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID の OIDCARD オプションを設定する権限がありません。

C4R496E **パスワード管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(Password management not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、この USERID の PASSWORD を変更または設定する権限がありません。

C4R497E **パスワードは DFLTGRP とは異なる必要があります。コマンドが終了しました。(Password must be different from DFLTGRP, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、PASSWORD 値を指定せずに USERID を追加する権限がありません。

C4R498E **パスワードは DFLTGRP とは異なる必要があります。コマンドが終了しました。(Password must be different from DFLTGRP, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、PASSWORD 値を指定せずに、USERID のパスワードを RESET する権限がありません。

C4R499E **パスワードに USERID を含めることはできません。コマンドが終了しました。(Password may not contain the USERID, command terminated)**

説明

PASSWORD の新規値に USERID が含まれています。/ USERID パスワード・ポリシーでは、これは許可されていません。

C4R501E **NoOIDcard 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(NoOIDcard attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から OIDCARD オプションを削除する権限がありません。

C4R502E ユーザーの取り消しは許可されていません。コマンドが終了しました。
(Revoke of user not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、USERID を REVOKE する権限がありません。

C4R503E ユーザーの再開は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Resume of user not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、USERID を RESUME する権限がありません。

C4R504E パスワード/フレーズに (No)Expired を指定することはできません。コマンドが終了しました ((No)Expired for password/phrase not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、新しいパスワードまたはフレーズを有効期限なしと指定する権限がありません。

C4R505W ポリシー・プロファイル内のパスワード/フレーズ・インターバル *value* が無効です。SETROPTS の値を使用しました (Invalid password/phrase interval *value* in policy profile, SETROPTS value used)

説明

=PWINT プロファイルに指定されている必須パスワードおよびフレーズ・インターバルが無効です。システム管理者が、APPLDATA に指定されている値を訂正する必要があります。

C4R506E パスワード/フレーズに *nointerval* を指定することはできません。コマンドが終了しました (Password/phrase *nointerval* not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、有効期限のないパスワードおよびフレーズ (NOINTERVAL) を設定する権限がありません。

C4R507E ポリシー・プロファイル内のパスワード/フレーズ・インターバル *int* が無効です。すべての値が受け入れられました。 (Invalid password/

phrase interval *int* in policy profile, all values accepted)

説明

=PWINT ポリシー・プロファイルに指定されているパスワードおよびフレーズ・インターバルが無効です。システム管理者が、APPLDATA に指定されている値を訂正する必要があります。

C4R508E パスワード/フレーズ・インターバルの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。 (Password/phrase interval change not allowed, command terminated)

説明:

端末ユーザーには、ユーザーのパスワードおよびフレーズ・インターバルを変更する権限がありません。

C4R509E パスワード/フレーズ・インターバルが長すぎます。コマンドが終了しました。 (Password/phrase interval too long, command terminated)

説明

指定されたパスワードおよびフレーズ・インターバルが、当該ユーザーの最大許容値より長くなっています。

C4R510E 名前の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。 (Name change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ALTUSER コマンドを使用して USERID の NAME を変更する権限がありません。

C4R511E 名前の指定は許可されていません。コマンドが終了しました。 (Name specification not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ADDUSER コマンドで USERID に初期 NAME を指定する権限がありません。

C4R512E INST データの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。 (Instdata setting not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ADDUSER コマンドで USERID の INSTDATA の初期値を指定する権限がありません。

C4R513E INST データの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。

(Instdata change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ALTUSER コマンドを使用して USERID の INSTDATA の値を変更する権限がありません。

C4R514E **CLAuth(*clauth*) の付与は許可されていません。コマンドが終了しました。(Giving CLAuth(*clauth*) not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、リソース・クラスの CLAUTH を USERID に付与する権限がありません。

C4R515E **CLAuth(*clauth*) の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。(Removing CLAuth(*clauth*) not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、リソース・クラスの CLAUTH を USERID から削除する権限がありません。

C4R516E **Seclabel の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Seclabel setting not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID の SECLABEL を指定する権限がありません。

C4R517E **Seclabel の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。(Seclabel removal not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から SECLABEL を削除する権限がありません。

C4R518E **カテゴリ *category* の追加は許可されていません。コマンドが終了しました。(Giving category *category* not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、カテゴリ *category* を USERID に追加する権限がありません。

C4R519E **カテゴリ *category* の削除は許可されていません。コマンドが終了し**

ました。(Removing category *category* not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、USERID から *category* を削除する権限がありません。

C4R520E **Seclevel の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Seclevel setting not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID の SECLEVEL を指定する権限がありません。

C4R521E **Seclevel の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。(Seclevel removal not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USERID から SECLEVEL を削除する権限がありません。

C4R522I **ランダム・パスワードがユーザー *userid* に割り当てられました。(Random password assigned to user *userid*)**

説明

デフォルト・パスワード・ポリシー・プロファイルで、新規パスワードに値 RANDOM が指定されています。端末ユーザーには、このプロファイルへの READ アクセス権限があります。ランダム・パスワードが *userid* に割り当てられますが、端末ユーザーにはこの値は通知されません。

C4R523E **モデルの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Model setting not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、ADDUSER コマンドで USERID にデータ・セット MODEL 名を指定する権限がありません。

C4R524E **モデルの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Model change not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、ALTUSER コマンドを使用して USERID のデータ・セット MODEL 名を変更する権限がありません。

C4R525E ログオン時期の変更は許可されていません。コマンドが終了します。
(When Logon change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ユーザーがログオン (LOGON) できる特定の期間 (特定の時間または曜日) を指定する権限がありません。

C4R526I ランダム・パスワード *password* がユーザー *userid* に割り当てられました。
(Random password *password* assigned to user *userid*)

説明

デフォルト・パスワード・ポリシー・プロファイルで、新規パスワードに値 RANDOM が指定されています。端末ユーザーには、このプロファイルへの UPDATE アクセス権限があります。ランダム・パスワードは *userid* に割り当てられます。

C4R527I デフォルト・パスワード・ポリシーに無効な APPLDATA *appldata* があります。これは無視されました。
(Invalid APPLDATA *appldata* in default password policy, ignored)

説明

デフォルト・パスワード・ポリシー・プロファイルに、認識できない APPLDATA 値 *appldata* が指定されています。APPLDATA 値は無視されます。デフォルト・パスワード・ポリシー・プロファイルでサポートされている値を指定してください。

C4R528E FROM の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Use of FROM not allowed, command terminated)

説明

FROM キーワードを使用して新規リソース・プロファイルのモデルを指定することはできません。

C4R530E NoTermuacc 属性は使用できません。コマンドが終了しました。
(NoTermuacc attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、この GROUP を現行接続 GROUP として使用するユーザーが、明示的に許可されている TERMINAL のみを使用できることを指定する権限がありません。

C4R531E グループの Termuacc は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Termuacc for group not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、既存の GROUP に対し、この GROUP を現行接続 GROUP として使用するユーザーが、任意の端末を使用できることを指定する権限がありません。

C4R532E 汎用グループの作成は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Creation of UNIVERSAL group not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、汎用 GROUP を作成する権限がありません。汎用 GROUP は、グループ・メンバーであるすべてのユーザー ID を記録しません。このため、接続ユーザー数に関する同じ制限はありません。

C4R533E INST データの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Instdata setting not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ADDGROUP コマンドで INSTDATA を指定する権限がありません。

C4R534E INST データの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Instdata change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ALTGROUP コマンドを使用して INSTDATA を変更する権限がありません。

C4R535E モデルの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Model setting not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ADDGROUP コマンドで GROUP のデータ・セット MODEL 名を指定する権限がありません。

C4R536E モデルの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Model change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ALTGROUP コマンドを使用して GROUP のデータ・セット MODEL 名を指定する権限がありません。

C4R537E **INSTDATA(nnn:mmm)** は変更できません。コマンドが終了しました。
(INSTDATA(nnn:mmm) cannot be changed, command terminated)

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、既存の値が変更できないことが指定されていました。現行コマンドでは、示されている位置の既存の値とは異なる値が指定されます。

C4R538E 取り消し日の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Revoke Date change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、USERID の REVOKE 日を指定または削除する権限がありません。

C4R539E 再開日の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Resume Date change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、USERID の RESUME 日を指定または削除する権限がありません。

C4R540E ユーザー *userid* は類似名のグループに接続していない可能性があります。コマンドが終了しました。
(User *userid* may not be connected to like-named groups, command terminated)

説明

USERID から、先頭 *n* 文字が同じ名前を持つ GROUP への接続のためのポリシー・プロファイルにより、端末ユーザーは USERID を GROUP に接続できません。

C4R541E ユーザー *userid* はグループ *group* に接続できません。コマンドが終了しました。
(User *userid* may not be connected to group *group*, command terminated)

説明

userid と *group* の間の特定の接続は許可されていません。

C4R542E ユーザー *userid* をグループ *group* から削除できません。コマンドが終了しました。
(User *userid* may not be removed from group *group*, command terminated)

説明

userid と *group* の間の特定の接続は削除できません。

C4R543E **CONNECT** ユーザー *userid* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。
(CONNECT user *userid* is outside your scope, command terminated)

説明

端末ユーザーには、有効範囲外にある USERID のユーザーからグループへの接続を操作する権限がありません。これは、Group-SPECIAL が設定されているユーザー、GROUP 内の CONNECT 権限を持つユーザー、GROUP の OWNER であるユーザーに適用されます。このコマンドでは、有効範囲は Group-SPECIAL を使用してのみ判別されます。

C4R544E **CONNECT** グループ *group* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。
(CONNECT group *group* is outside your scope, command terminated)

説明

端末ユーザーには、有効範囲外にある GROUP のユーザーからグループへの接続を操作する権限がありません。これは、GROUP 内で CONNECT 権限を持つユーザー、および GROUP の OWNER であるユーザーに適用されます。このコマンドでは、有効範囲は Group-SPECIAL を使用してのみ判別されます。

C4R545E **CONNECT** グループ *group* はデータ・セット・グループです。コマンドが終了しました。
(CONNECT group *group* is a dataset group, command terminated)

説明

接続 GROUP 管理のためのポリシー・プロファイルでは、データ・セット・プロファイルが定義されている GROUP への USERID の接続は許可されていません。このポリシー・プロファイルは、RACF GROUP を、使用タイプに基づいて分類することを目的としています。

C4R546E 接続許可 *auth* は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Connect authorization *auth* not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、*auth* 権限を使用してこの GROUP に USERID を CONNECT する権限はありません。これは新規と既存の CONNECT に適用されます。

C4R547E UACC 設定 *uacc* は許可されていません。コマンドが終了しました。
(UACC setting *uacc* not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、*uacc* の UACC 設定を使用して USERID を GROUP に CONNECT する権限はありません。これは新規と既存の CONNECT に適用されます。

C4R548E ユーザー自体をグループ *group* に接続することはできません。コマンドが終了しました。

説明

端末ユーザーには、ユーザー自身のユーザー ID からグループ *group* への CONNECT を作成する権限がありません。

C4R549E グループ *group* からユーザー自身を削除することはできません。コマンドが終了しました。(You may not remove yourself from GROUP *group*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ユーザー自身の USERID から GROUP *group* への接続を削除する権限がありません。

C4R550E NoGrpSpecial 属性は使用できません。コマンドが終了しました。
(NoGrpSpecial attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、Group-SPECIAL 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R551E GrpSpecial 属性は使用できません。コマンドが終了しました。
(GrpSpecial attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、Group-SPECIAL 属性を付与するための十分な権限がありません。

C4R552E NoGrpOperations 属性は使用できません。コマンドが終了しました。
(NoGrpOperations attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、Group-OPERATIONS 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R553E GrpOperations 属性は使用できません。コマンドが終了しました。
(GrpOperations attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、Group-OPERATIONS 属性を付与するための十分な権限がありません。

C4R554E NoGrpAuditor 属性は使用できません。コマンドが終了しました。
(NoGrpAuditor attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、Group-AUDITOR 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R555E GrpAuditor 属性は使用できません。コマンドが終了しました。
(GrpAuditor attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、Group-AUDITOR 属性を付与するための十分な権限がありません。

C4R556E NoADSP 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(NoADSP attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ADSP 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R557E ADSP 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(ADSP attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ADSP 属性を設定するための十分な権限がありません。

C4R558E **NoGRPACC 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(NoGRPACC attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、GRPACC 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R559E **GRPACC 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(GRPACC attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、GRPACC 属性を設定するための十分な権限がありません。

C4R560E **REVOKE 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(REVOKE attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、この USERID の GROUP 接続を REVOKE するための十分な権限がありません。

C4R561E **RESUME 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(RESUME attribute not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、この USERID の GROUP 接続を RESUME するための十分な権限がありません。

C4R562E **segname セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to access segname segment, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、USER *segname* セグメントへアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルには関係なく、ポリシー・プロファイルへの READ アクセス権限が必要です。

C4R563E **segname セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to modify**

segname segment, command terminated)

説明

端末ユーザーには、USER *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、ポリシー・プロファイルへの UPDATE アクセス権限が必要です。

C4R564E **有効範囲外の segname セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to access segname segment outside scope, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるグループの *segname* セグメントにアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、/SCOPE プロファイルへの NONE アクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R565E **有効範囲外の segname セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to access segname segment outside scope, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるユーザーの *segname* セグメントにアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、/SCOPE プロファイルへの NONE アクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R566E **有効範囲外にある segname セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了します。(Not allowed to modify segname segment outside scope, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるグループの *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、UPDATE よりも低い /SCOPE プロファイルへのアクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R567E **有効範囲外の segname セグメントへのアクセスは許可されていませ**

ん。コマンドが終了しました。(Not allowed to access *segname* segment outside scope, command terminated)

説明

端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるリソースの *segname* セグメントにアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、/SCOPE プロファイルへの NONE アクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R568E 有効範囲外にある *segname* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to modify *segname* segment outside your scope, command terminated)

説明

端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるリソースの *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、UPDATE よりも低い /SCOPE プロファイルへのアクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R569E 有効範囲外にある *segment* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to modify *segment* segment outside your scope, command terminated)

説明

端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にある USERID の *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、UPDATE よりも低い /SCOPE プロファイルへのアクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R570E 命名規則ではグループ ID *group* は許可されていません。コマンドが終了しました。(Groupid *group* not allowed in naming conventions, command terminated)

説明

名前の先頭 *n* 文字が端末ユーザーと同じ GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (=RACUID(*n*)) により、RACF GROUP *group* の作成が禁止されています。

C4R571E 命名規則ではグループ ID *group* は許可されていません。コマンドが終了しました。(Groupid *group* not allowed in naming conventions, command terminated)

説明

名前の先頭 *n* 文字が端末ユーザーのいずれかのグループの名前の先頭 *n* 文字と同じであるグループについて、GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (=RACGPID(*n*)) により、RACF GROUP *group* の作成が禁止されました。

C4R572E 命名規則ではグループ ID *group* は許可されていません。コマンドが終了しました。(Groupid *group* not allowed in naming conventions, command terminated)

説明

GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (GROUP 名自体に基づく) により、RACF GROUP *group* の作成が禁止されていました。

C4R573E グループ ID *group* を削除できません。コマンドが終了しました。(Groupid *group* may not be deleted, command terminated)

説明

GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (GROUP 名自体に基づく) により、RACF GROUP *group* の削除が禁止されています。端末ユーザーには、ポリシー・プロファイルへのアクセス権限がありませんでした。

C4R574E グループ ID *group* を削除できません。コマンドが終了しました。(Groupid *group* may not be deleted, command terminated)

説明

GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (GROUP 名自体に基づく) により、RACF GROUP *group* の削除が禁止されています。端末ユーザーには、このポリシーの適用外対象となるための十分なアクセス権限がありませんでした。

C4R575E 所有者と SupGroup が相互を参照しています。コマンドが終了しました。(Owner and Supgroup refer to each other, command terminated)

説明

ポリシー・プロファイルの誤った定義が原因で、新規 RACF GROUP の OWNER と SUPGROUP を判別できませんでした。Mandatory Value ポリシー・プロファイルにより、OWNER を SUPGROUP と同一に設定する必要がありますこと(またはその逆)が指定されています。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R576E ユーザー自身の所有者を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(Could not find my own owner, command terminated)

説明

新規 GROUP の OWNER の Mandatory Value ポリシー・プロファイルで、端末ユーザーの OWNER を設定することが指定されていました。端末ユーザーの OWNER が、RACF データベース内の既存の USERID または GROUP として見つかりませんでした。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R577E 所有者と SupGroup が相互を参照しています。コマンドが終了しました。(Owner and Supgroup refer to each other, command terminated)

説明

ポリシー・プロファイルの誤った定義が原因で、新規 RACF GROUP の OWNER と SUPGROUP を判別できませんでした。Default value ポリシー・プロファイルにより、OWNER を SUPGROUP と同一に設定する必要がありますこと(またはその逆)が指定されています。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R578E ユーザー自身の所有者を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(Could not find my own owner, command terminated)

説明

新規 GROUP の OWNER の Default Value ポリシー・プロファイルにより、このグループ所有者が端末ユーザーの OWNER と同一である必要があることが指定されていました。端末ユーザーの OWNER が、RACF データベース内の既存の USERID または GROUP として見つかりませんでした。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R579E OWNER のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of default value for OWNER not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、新規 GROUP の OWNER の Default Value ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権がありません。端末ユーザーは、新規 RACF GROUP の OWNER に正しい値を指定する必要があります。

C4R580E owner の使用は許可されていません。コマンドが終了しました(Use of owner not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザー名の先頭 *n* と一致する新規 OWNER のポリシー・プロファイルにより、GROUP の OWNER として *owner* を使用することが禁止されています。

C4R581E owner の使用は許可されていません。コマンドが終了しました(Use of owner not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーの現行接続 GROUP グループ名の先頭 *n* 文字と一致する新規所有者のポリシー・プロファイルにより、GROUP の OWNER として *owner* を使用することが禁止されています。

C4R582E owner の使用は許可されていません。コマンドが終了しました(Use of owner not allowed, command terminated)

説明

GROUP 自体の先頭 *n* 文字と一致する新規所有者のポリシー・プロファイルにより、GROUP の OWNER として *owner* を使用することが禁止されています。

C4R583E owner の使用は許可されていません。コマンドが終了しました(Use of owner not allowed, command terminated)

説明

新規所有者のポリシー・プロファイルにより、GROUP の OWNER として *owner* を使用することが禁止されています。

C4R584E 新規 OWNER *owner* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。(New OWNER owner is outside your scope, command terminated)

説明

OWNER は、Group- SPECIAL の有効範囲内の USERID または GROUP としてのみ割り当てることができます。

C4R585E 新規 OWNER *owner* がグループではありません。コマンドが終了しました。(New OWNER *owner* is not a group, command terminated)

説明

GROUP 所有権のポリシー・プロファイルにより、既存の GROUP のみを OWNER として指定できることが指定されています。

C4R586E ユーザー自身の所有者を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(Could not find my own owner, command terminated)

説明

新規 GROUP の SUPGROUP の Mandatory Value ポリシー・プロファイルにより、この SupGroup に端末ユーザーの OWNER を設定する必要があることが指定されていました。端末ユーザーの OWNER が、RACF データベース内の既存の USERID または GROUP として見つかりませんでした。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R587E ユーザー自身の所有者を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(Could not find my own owner, command terminated)

説明

新規 GROUP の SUPGROUP の Default Value ポリシー・プロファイルにより、この SupGroup に端末ユーザーの OWNER を設定する必要があることが指定されていました。端末ユーザーの OWNER が、RACF データベース内の既存の USERID または GROUP として見つかりませんでした。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R588E SUPGROUP のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of default value for SUPGROUP not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、新規 GROUP の SUPGROUP の Default Value ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。端末ユーザーは、新規 RACF GROUP の SUPGROUP に正しい値を指定する必要があります。

C4R589E INSTDATA(xxxxxxxx フォーマット・プロファイルは無効です。このフォーマットは無視されます (INSTDATA(xxxxxxxx format profile not valid, format ignored)

説明

フォーマット指定プロファイルが無効です。この状態の原因として最も可能性が高いのは、インストール・データ・フィールドの位置の指定が誤っていたことです。xxxxxxxx は、正しくない位置指定を示します。開始位置と終了位置は両方とも 3 桁の 10 進数として指定する必要があります (例: 001:010)。このフォーマット指定プロファイルと後続のすべてのフォーマット指定プロファイルは無視されます。

C4R590E INSTDATA(xxxxxxxx フォーマット・プロファイルは無効です。このフォーマットは無視されます (INSTDATA(xxxxxxxx format profile not valid, format ignored)

説明

フォーマット指定プロファイルが無効です。この状態の原因として最も可能性が高いのは、インストール・データ・フィールドの位置の指定が誤っていたことです。xxxxxxxx は、正しくない位置指定を示します。開始位置と終了位置は両方とも 3 桁の 10 進数として指定する必要があります (例: 001:010)。このフォーマット指定プロファイルと後続のすべてのフォーマット指定プロファイルは無視されます。

C4R591E INSTDATA(nnn:mmm) をブランクにすることはできません。コマンドが終了しました。(INSTDATA(nnn:mmm) cannot be blank, command terminated)

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、値が存在している必要があることが指定されていました。現行コマンドにより、これらの位置が暗黙的または明示的にブランクのままにされました。

C4R592E INSTDATA(nnn:mmm) に *format* 以外の文字が含まれています。コマンドが終了しました (INSTDATA(nnn:mmm) contains non-format character, command terminated)

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、この位置では英字、数字、または英数字のみ使用できることが指定されます。現行のコマンドで、許可されない文字が指定されました。英字フォーマットの場合、現行コマンドにより、1 つ以上の位置で A から Z 以外の文字が指定されました。数字フォーマットの場合、現行コマンドにより、1 つ以上の位置で 0 から 9 以外の文字が指定されました。英数字フォー

マツの場合、現行コマンドにより、1つ以上の位置で A から Z または 0 から 9 以外の文字が指定されました。

C4R594E **INSDATA(nnn:mmm) がピクチャー・フォーマットと一致しません。コマンドが終了しました。(INSDATA(nnn:mmm) does not match picture format, command terminated)**

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定に、インストール・データにピクチャー・フォーマットが含まれていました。現行コマンドには、ピクチャー・フォーマットに従っていない文字が1つ以上含まれています。例えば、文字の位置に数字が指定されているか、またはリテラル・ストリングが正確に一致していないなどです。

C4R595E **INSDATA(nnn:mmm) がどのリスト項目にも一致しません。コマンドが終了しました。(INSDATA(nnn:mmm) does not match any list-item, command terminated)**

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、許容値のリストが指定されていました。現行コマンドは、このリストに含まれていない値を指定しました。

C4R596E **INSDATA(nnn:mmm) が、禁止リスト項目に一致します。コマンドが終了しました。(INSDATA(nnn:mmm) matches not-allowed list-item, command terminated)**

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、禁止値のリストが指定されていました。現行コマンドは、このリストに含まれている値を指定しました。

C4R597E **INSDATA(nnn:mmm) は、有効な RACF USERID ではありません。コ**

マンドが終了しました。(INSDATA(nnn:mmm) is not a valid RACF USERID, command terminated)

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、値 =USERID が指定されており、これらの位置が既存の RACF USERID と一致する必要があることが示されていました。現行コマンドにより指定された値は、USERID に対応していませんでした (指定された値が未定義であるか、または既存の RACF GROUP である可能性があります)。

C4R598E **INSDATA(nnn:mmm) は、有効な RACF GROUP ではありません。コマンドが終了しました。(INSDATA(nnn:mmm) is not a valid RACF GROUP, command terminated)**

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、値 =GROUP が指定されており、これらの位置が既存の RACF GROUP と一致する必要があることが示されていました。現行コマンドにより指定された値は、GROUP に対応していませんでした (指定された値が未定義であるか、または既存の RACF USERID である可能性があります)。

C4R599E **INSDATA(nnn:mmm) に無効なフォーマットが含まれています。フォーマットは無視されました。(INSDATA(nnn:mmm) contains invalid format, format ignored)**

説明

インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定に、認識されない仕様が含まれていました。これは、コマンドの欠落またはタイプ入力エラーが原因で発生した可能性があります。エラーより前のフォーマット指定部分は既に処理されている可能性があります。エラーより後のフォーマット指定は無視されます。

C4R メッセージ 600 から 699

C4R600E **UACC uacc 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(UACC uacc setting not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーに、UACC *uacc* のポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。

C4R601E **ACL userid access 設定は許可されていません。コマンドが終了しまし**

た。(ACL setting userid access not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ID *userid* に対してリソースへのアクセス権限 *access* を PERMIT するためのポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。

C4R602E **ACL 項目 *userid* がグループではありません。コマンドが終了しました。(ACL entry *userid* is not a group, command terminated)**

説明

ポリシー・プロファイルでは、このリソースのアクセス・リストで GROUP のみが使用可能であることが指定されています。指定されたエンティティは、既存の RACF GROUP ではありません。

C4R603E **ユーザー *userid* が有効範囲外です。コマンドが終了しました。(User *userid* outside scope, command terminated)**

説明

ポリシー・プロファイルにより、RACF Group-SPECIAL の有効範囲内のユーザーとグループにのみアクセス権限を付与できることが指定されていました。指定されたエンティティは、有効範囲外にあります。

C4R604E **ACL *profile* のリセットは許可されていません。コマンドが終了しました (ACL reset *profile* not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーに対し、標準アクセス・リスト全体の RESET が許可されていません。ただし、個々のアクセス・リスト項目を削除することはできます。

C4R605E **条件付き ACL *profile* のリセットは許可されていません。コマンドが終了しました。(Cond.ACL reset *profile* not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーに対し、条件付きアクセス・リスト全体の RESET が許可されていません。ただし、個々のアクセス・リスト項目を削除することはできます。

C4R606E **When(*class*) は許可されていません。コマンドが終了しました (When(*class*) not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーに対し、*class* を使用した条件付きアクセス権限の条件付きアクセス・リストの変更が許可されていません。

C4R607E **ACL でユーザー自身による *access* の設定は許可されていません。コマンドが終了します。(ACL Setting for self to *access* not allowed, command terminated)**

説明

アクセス・リスト管理ポリシー・プロファイルでは、端末ユーザーがアクセス・リストでユーザー自身を追加、変更、または削除することが許可されていません。

これは、*class* および *resource* の ACL.=RACUID プロファイルによって制御されます。

C4R608E **ACL でのユーザー自身のグループの *access* の設定は許可されていません。コマンドが終了します。(ACL Setting for own group to *access* not allowed, command terminated)**

説明

アクセス・リスト管理ポリシー・プロファイルでは、端末ユーザーがアクセス・リストでユーザー自身の GROUP を追加、変更、または削除することが許可されていません。

C4R609E **データ・セット・グループ *group* の許可は実行できません。コマンドが終了しました。(Permit for data set *group* *group* not allowed, command terminated)**

説明

アクセス・リストに追加する項目が、データ・セット・プロファイルが定義されている GROUP です。このような GROUP をアクセス・リストに追加する操作は、プロファイル C4R.class.ACL.=DSN.group.resource により禁止されています。

C4R610E **Erase 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Erase setting not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、リソース・プロファイルの ERASE 設定を変更する権限がありません。

C4R611E **Warning モードは許可されていません。コマンドが終了しました。**

(Warning mode not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、リソース・プロファイルで WARNING モードにする権限がありません。

C4R612E NoWarning モードは許可されていません。コマンドが終了しました。(NoWarning mode not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、リソース・プロファイルから WARNING モードを削除する権限がありません。

C4R613E *proftype* プロファイルは許可されていません。コマンドが終了しました。(proftype Profiles not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、*proftype* リソース・プロファイルを作成する権限がありません。これは、DISCRETE プロファイルで最も一般的です。

C4R614E RACF 標識管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(RACF indicator management not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーは、NOSET または SETONLY キーワードを使用して、一致するフラグビットに関係なく、RACF 個別プロファイルを独立して操作することはできません(カタログ内、VTOC など)。

C4R615E Seclabel *seclabel* の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Seclabel *seclabel* setting not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、リソースの *seclabel* を指定する権限がありません。

C4R616E カテゴリ *category* の追加は許可されていません。コマンドが終了しました。(Giving category *category* not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、リソースにこのセキュリティー *category* を割り当てる権限がありません。

C4R617E カテゴリ *category* の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。(Removing category *category* not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、リソースからこのセキュリティー *category* を削除する権限がありません。

C4R618E Seclevel *seclabel* 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Seclevel *seclabel* setting not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、リソースにこの *seclabel* を割り当てる権限がありません。

C4R619E レベル *level* 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Level *level* setting not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、リソースにこの *level* を割り当てる権限がありません。LEVEL は通常、いかなる目的でも RACF により使用されることはありません。zSecure Command Verifier で NOCHANGE 制御を起動する目的で使用されることがあります。

C4R620E INST データの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Instdata setting not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーに対し、ADDSO および RDEFINE コマンドに INSTDATA を指定する権限が明示的に否認されました。

C4R621E INST データの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Instdata change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ALTSO または RALTER コマンドを使用して INSTDATA を変更するための十分な権限がありません。

C4R622E Notify 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Notify setting not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーに対し、ADDSD コマンドおよび RDEFINE コマンドで NOTIFY ID を指定する権限が明示的に否認されました。

C4R623E **Notify の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Notify change not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、ALTDSD コマンドまたは RALTER コマンドを使用して NOTIFY ID を変更するための十分な権限がありません。

C4R624E **Retpd 管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(Retpd management not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、データ・セット・プロファイルで保存期間を設定または変更するための十分な権限がありません。

C4R625E **APPLdata の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(APPLdata setting not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、リソース・プロファイルの APPLDATA 値を設定または変更するための十分な権限がありません。zSecure Command Verifier の多くの関数は、ポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドにより制御される点に注意してください。

C4R626E **APPLdata の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(APPLdata change not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーには、リソース・プロファイルの APPLDATA 値を設定または変更するための十分な権限がありません。zSecure Command Verifier の多くの関数は、ポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドにより制御される点に注意してください。

C4R627E **Singledsn の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Singledsn usage not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーは、TAPEVOL を単一データ・セットに限定することを指定することはできません。

C4R628E **TVTOC の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(TVTOC usage not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーは、RACF によりこの TAPEVOL の TAPE VTOC を維持することを指定できません。

C4R629E **時間帯の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Timezone usage not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーは、この TERMINAL を特定の時間帯に指定できません。

C4R630E **日時の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(When usage not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーは、この TERMINAL の使用を特定の日または時間に制限できません。

C4R631E **監査の success(auditlvl) は許可されていません。コマンドが終了しました。(Audit success(auditlvl) not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーは、このリソース・プロファイルのアクセス監査成功オプションを設定または変更できません。

C4R632E **監査の Fail(auditlvl) は許可されていません。コマンドが終了しました。(Audit Fail(auditlvl) not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーは、このリソース・プロファイルのアクセス監査失敗オプションを設定または変更できません。

C4R633E **グローバル監査の success(auditlvl) は許可されていません。コマンドが終了しました。(GlobalAudit success(auditlvl) not allowed, command terminated)**

説明

端末ユーザーは、このリソース・プロファイルの「監査者が指定した」アクセス監査成功オプションを設定または変更できません。この監査値を設定するには、適切な zSecure Command Verifier 権限に加え、監査員属性も必要である点に注意してください。

C4R634E グローバル監査の fail(*auditlvl*) は許可されていません。コマンドが終了しました。 (**GlobalAudit fail(*auditlvl*) not allowed, command terminated**)

説明

端末ユーザーは、このリソース・プロファイルの「監査員が指定した」のアクセス監査失敗オプションを設定または変更できません。この監査値を設定するには、適切な zSecure Command Verifier 権限に加え、監査員属性も必要である点に注意してください。

C4R635E Permit FROM は許可されていません。コマンドが終了しました。 (**Permit FROM not allowed, command terminated**)

説明

端末ユーザーに対し、FROM キーワードを使用して既存の ACL を現行プロファイルにコピーする操作は許可されていません。コマンドは実行されません。

C4R636E *segname* セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。 (**Not allowed to access *segname* segment, command terminated**)

説明

端末ユーザーには、GROUP *segname* セグメントへアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルには関係なく、ポリシー・プロファイルへの READ アクセス権限が必要です。

C4R637E *segname* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。 (**Not allowed to modify *segname* segment, command terminated**)

説明

端末ユーザーには、GROUP *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、ポリシー・プロファイルへの UPDATE アクセス権限が必要です。

C4R638I 非制御オプションにより、Controlled Temporary Special の使

用が禁止されました: **keywords (Uncontrolled options prevented use of Controlled Temporary Special: keywords)**

説明

端末ユーザーには制御された一時特殊 (Controlled Temporary Special) 機能 (=CTLSPEC) を使用する権限がありますが、一時 SPECIAL が使用されませんでした。コマンドには、必須ポリシー・プロファイルにより制御されないオプションが指定されていました。リストされた、制御されないキーワードまたはパラメーターを削除してください。

C4R639W =NOCHANGE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に基準が指定されていませんでした。このプロファイルは無視されました。 (**No criterion specified in APPLDATA of =NOCHANGE policy profile, ignored**)

説明

=NOCHANGE プロファイルの APPLDATA に値が指定されていません。=NOCHANGE プロファイルは無視され、リソースは変更できないシステム・リソースとして扱われます。APPLDATA に有効な値を指定してください。

C4R640E *class profile* の定義/削除は許可されていません。コマンドが終了しました。 (**Define/Delete *class profile* not allowed, command terminated**)

説明

リソース命名規則ポリシー・プロファイルにより、*class* での *profile* の作成が禁止されていました。

C4R641E メンバー *member* の追加は許可されていません。コマンドが終了しました。 (**Adding member *member* not allowed, command terminated**)

説明

リソース命名規則ポリシー・プロファイルにより、*member* の作成が禁止されていました。これは、コマンドで使用されるグループ化クラス・プロファイルに関連付けられているメンバー・クラス・ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がなかったことが原因で発生する点に注意してください。

C4R642E メンバー *member* の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。 (**Deleting member *member* not allowed, command terminated**)

説明

リソース命名規則ポリシー・プロファイルにより、*member* の削除が禁止されていました。これは、コマンドで使用されるグループ化クラス・プロファイルに関連付けられているメンバー・クラス・ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がなかったことが原因で発生する点に注意してください。

C4R643E ボリューム・キーワードは許可されていません。コマンドが終了しました。(Volume keywords not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、個別データ・セット・プロファイルでボリュームを追加または削除する権限がありません。

C4R644E 単位キーワードは許可されていません。コマンドが終了しました。(Unit keywords not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、アンカタログされている個別データ・セット・プロファイルを追加する権限がありません。

C4R645E プライベート・プロファイルの管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(Management of private profiles not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、HLQ としてユーザー自身の USERID が指定されているデータ・セット・プロファイルを管理する権限がありません。

C4R646E ロックされたプロファイルの管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(Management of locked profiles not allowed, command terminated)

説明

このプロファイルは NOCHANGE リソース・プロファイルとして分類されています。このタイプのリソース・プロファイルを変更する権限がありません。

C4R647W =NOCHANGE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に無効なレベル *level* が指定されています。このプロファイルは無視されました。(Invalid LEVEL *level* in APPLDATA of =NOCHANGE policy profile, ignored)

説明

=NOCHANGE プロファイルの *appldata* に指定されているレベルに、有効な値が含まれていません。ストリング「LEVEL=*nn*」の *nn* には 2 桁の 10 進数を指定してください。

C4R648W =NOCHANGE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に無効な値 *appldata* が指定されています。このプロファイルは無視されました。(Invalid value *appldata* in APPLDATA of =NOCHANGE policy profile, ignored)

説明

=NOCHANGE プロファイルの APPLDATA に指定されている値は認識されません。APPLDATA に有効な値を指定してください。

C4R649E *class profile* の定義は許可されていません。コマンドが終了しました。(Define *class profile* not allowed, command terminated)

説明

新規プロファイルは、既存の(新規プロファイルよりも総称的な)プロファイルによりカバーされているリソースをより詳細に定義しています。より詳細なプロファイルの定義により、既存の保護が損なわれますが、これはこのプロファイルでは許可されていません。これは、このメッセージと共に表示される ICH408I メッセージに示されます。

C4R650E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(Could not find my own OWNER, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP でなく、Mandatory Value ポリシー・プロファイルで OWNER が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R651E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(Could not find my own OWNER, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP ではなく、Default Value ポリシーにより、OWNER が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R652E OWNER のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of default value for OWNER not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、「/OWNER」プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。

C4R653E UID にユーザー *userid* の *uid* を設定できません。コマンドが終了しました。(Not allowed to set UID to *uid* for user *userid*, command terminated)

説明

端末ユーザーは、USERID の OMVS セグメントに特定値 *uid* を使用できません。

C4R654E UID にユーザー *userid* の *uid* を設定できません。コマンドが終了しました。(Not allowed to set UID to *uid* for user *userid*, command terminated)

説明

端末ユーザーは、USERID の OVM セグメントに特定値 *uid* を使用できません。

C4R655E owner(owner) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of owner(owner) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACUID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R656E owner(owner) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of owner(owner) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=RACGPID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R657E owner(owner) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of owner(owner) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、=HLQ(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R658E owner(owner) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of owner(owner) not allowed, command terminated)

説明

このエラー・メッセージは、選択された OWNER を使用できない場合に発行されます。

C4R659E 新規 OWNER *owner* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。(New OWNER *owner* is outside your scope, command terminated)

説明

/SCOPE ポリシーにより、端末ユーザーの有効範囲内がない OWNER の使用が禁止されていました。

C4R660E 新規 OWNER *owner* がグループではありません。コマンドが終了しました。(New OWNER *owner* is not a group, command terminated)

説明

/GROUP ポリシーにより、既存の RACF GROUP ではない OWNER の使用が禁じられていました。

C4R661E 新規 OWNER *owner* が HLQ と同一ではありません。コマンドが終了しました。(New OWNER *owner* is not same as HLQ, command terminated)

説明

このポリシー・プロファイルは主にデータ・セット・プロファイルに使用され、リソース・プロファイルの OWNER として HLQ 以外を使用することが禁止されています。

C4R662E GID にグループ *group* の *gid* を設定できません。コマンドが終了しました。(Not allowed to set GID to *gid* for group *group*, command terminated)

説明

端末ユーザーは、GROUP の OMVS セグメントに特定値 *gid* を使用できません。

C4R663E GID にグループ *group* の *gid* を設定できません。コマンドが終了しまし

た。(Not allowed to set GID to *gid* for group *group*, command terminated)

説明

端末ユーザーは、GROUP の OVM セグメントに 特定値 *gid* を使用できません。

C4R664E ロックされたリソースの管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(Management of locked resources not allowed, command terminated)

説明

新規リソース・プロファイルにより、NOCHANGE リソースとして分類されているリソースを保護するために現在使用されているプロファイルが変更されます。これは許可されません。

C4R665W 「*string*」で始まる必須 GROUP 属性値は無効です。この属性値は無視されました。(Invalid mandatory GROUP attribute value(s) starting "*string*" ignored)

説明

必須 GROUP 属性のポリシー・プロファイルに、無効な GROUP 属性が含まれていました。このメッセージには、不明な属性の先頭から 8 文字が示されます。不明属性および APPLDATA フィールドの残りのすべての属性は無視されます。

C4R666W 「*string*」で始まる必須 USER 属性値は無効です。この属性値は無視されました。(Invalid mandatory USER attribute value(s) starting "*string*" ignored)

説明

必須 USER 属性のポリシー・プロファイルに、無効な USER 属性が含まれていました。このメッセージには、不明な属性の先頭から 8 文字が示されます。不明属性および APPLDATA フィールドの残りのすべての属性は無視されます。

C4R667W 必須 AUTH 値が無効です。この値は USE に置き換えられました。(Invalid mandatory AUTH value, replaced by USE)

説明

必須 CONNECT AUTHORITY のポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドに、無効な値が指定されました。有効な値は JOIN、CONNECT、CREATE、および

USE です。無効値は無視され、値 USE が代わりに使用されます。

C4R668W デフォルト AUTH 値が無効です。この値は USE に置き換えられました。(Invalid default AUTH value, replaced by USE)

説明

デフォルト CONNECT AUTHORITY のポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドに、無効な値が指定されていました。有効な値は JOIN、CONNECT、CREATE、および USE です。無効値は無視され、値 USE が代わりに使用されます。

C4R669W 必須 UACC 値が無効です。代わりに NONE が使用されます。(Invalid mandatory UACC value, replaced by NONE)

説明

必須 UACC のポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドに、無効な値が指定されていました。有効な値は、ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、および NONE です。無効値は無視され、NONE が代わりに使用されます。

C4R670E ユーザー *userid* が存在しません。コマンドが終了しました。(User *userid* does not exist, command terminated)

説明

存在しない USERID に対して ALTUSER コマンドが発行されました。

C4R671E ユーザー *userid* が存在しません。コマンドが終了しました。(User *userid* does not exist, command terminated)

説明

存在しない USERID に対して ALTUSER コマンドが発行されました。

C4R672E グループ *groupid* が存在しません。コマンドが終了しました。

説明

存在しない GROUP に対して ALTGROUP コマンドが発行されました。

C4R673E ユーザー *userid* が存在しません。コマンドが終了しました。(User *userid* does not exist, command terminated)

説明

存在しない USERID に対して ALTUSER コマンドが発行されました。

C4R674W デフォルト UACC 値が無効です。代わりに NONE が使用されます。
(Invalid default UACC value, replaced by NONE)

説明

デフォルト UACC のポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドに、無効な値が指定されていました。有効な値は、ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、および NONE です。無効値は無視され、NONE が代わりに使用されます。

C4R675E ATTRIBUTE 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign ATTRIBUTE value, please split command)

説明

複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、必須 GROUP 属性に複数の値が指定されています。

C4R676E OWNER 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明

複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP の必須 OWNER に複数の値が指定されています。

C4R677E OWNER 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明

複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP のデフォルト OWNER に複数の値が指定されています。

C4R678E SUPGROUP 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign SUPGROUP value, please split command)

説明

複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP の SUPGROUP に複数の値が指定されています。

C4R679E SUPGROUP 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign SUPGROUP value, please split command)

説明

複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP の必須 SUPGROUP に複数の値が指定されています。

C4R680E SUPGROUP 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign SUPGROUP value, please split command)

説明

複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP のデフォルト SUPGROUP に複数の値が指定されています。

C4R681E UACC 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign UACC value, please split command)

説明

複数のリソースに対して RDEFINE または ADDSD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、リソース・プロファイルまたはデータ・セット・プロファイルの必須 UACC に複数の値が指定されています。

C4R682E UACC 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign UACC value, please split command)

説明

複数のリソースに対して RDEFINE または ADDSD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、リソース・プロファイルまたはデータ・セット・プロファイルのデフォルト UACC に複数の値が指定されています。

C4R683E OWNER 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明

複数のリソースに対して RDEFINE または ADDSD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、リソース・プロファイルまたはデータ・セット・プロファイルの必須 OWNER に複数の値が指定されています。

C4R684E **OWNER 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign OWNER value, please split command)**

説明

複数のリソースに対して RDEFINE または ADDSD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、リソース・プロファイルまたはデータ・セット・プロファイルのデフォルト OWNER に複数の値が指定されています。

C4R685E **ATTRIBUTE 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign ATTRIBUTE value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須属性に複数の値が指定されています。

C4R686E **AUTH 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign AUTH value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して ADDUSER または CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須 CONNECT 許可に複数の値が指定されています。

C4R687E **AUTH 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign AUTH value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して ADDUSER または CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID のデフォルト CONNECT 許可に複数の値が指定されています。

C4R688E **UACC 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign UACC value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して ADDUSER または CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須 UACC 値に複数の値が指定されています。

C4R689E **UACC 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign UACC value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して ADDUSER または CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID のデフォルト UACC 値に複数の値が指定されています。

C4R690E **OWNER 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign OWNER value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID から GROUP への接続の必須 OWNER 値に複数の値が指定されています。

C4R691E **UACC 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign UACC value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID から GROUP への接続のデフォルト OWNER 値に複数の値が指定されています。

C4R692E **DFLTGRP 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign DFLTGRP value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須 DFLTGRP 値に複数の値が指定されています。

C4R693E **DFLTGRP 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。(Cannot assign DFLTGRP value, please split command)**

説明

複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID のデフォルト DFLTGRP 値に複数の値が指定されています。

C4R694E DFLTGRP 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign DFLTGRP value, please split command)

説明

複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の DFLTGRP 値に複数の値が指定されています。

C4R695E OWNER 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明

複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須 OWNER 値に複数の値が指定されています。

C4R696E OWNER 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明

複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID のデフォルト OWNER 値に複数の値が指定されています。

C4R697E INTERVAL 値を割り当てるできません。コマンドを分割してください。

さい。(Cannot assign INTERVAL value, please split command)

説明

複数の USERID に対して PASSWORD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、ユーザー ID の必須パスワード INTERVAL に複数の値が指定されています。

C4R698E UPDATE 保護リソースの管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(Management of UPDATE protected resources not allowed, command terminated)

説明

新規リソース・プロファイルにより、NOUPDATE リソースとして分類されているリソースを保護するために現在使用されているプロファイルが変更されます。これは許可されません。C4R.class.=NOUPDATE.pattern ポリシー・プロファイルで指定されている LEVEL とパターンに一致するリソースは、NOUPDATE リソースとして分類されます。

C4R699E UPDATE 保護プロファイルへの UPDATE アクセス権限の付与は許可されていません (Granting UPDATE access to UPDATE protected profiles not allowed)

説明

このリソース・プロファイルは、LEVEL およびプロファイル・パターンにより UPDATE 保護リソースとして分類されています。このようなりソースへの UPDATE アクセス権限を付与するための十分な権限がありません。

C4R メッセージ 700 から 799

C4R700E =NOUPDATE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に無効な LEVEL level が指定されています。このプロファイルは無視されました。(Invalid LEVEL level in APPLDATA of =NOUPDATE policy profile, ignored)

説明

=NOUPDATE プロファイルの APPLDATA に指定されているレベルに、有効な値が含まれていません。ストリング「LEVEL=nn」の nn には 2 桁の 10 進数を指定してください。

C4R701W 必須 OWNER の指定が無効です。現行グループを使用します。(Specification for mandatory OWNER is invalid, use current group)

説明

該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =GROUP 指定に無効な数値が含まれています。

C4R702W デフォルト OWNER の指定が無効です。現行グループを使用します。(Specification for default OWNER is invalid, use current group)

説明

該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =GROUP 指定に無効な数値が含まれています。

C4R703W 必須/デフォルト OWNER owner が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(Mandatory/Default OWNER owner is not a valid id, use current group)

説明

結果として指定された OWNER ID が無効です。ID は、USERID または GROUP として存在していません。

C4R704W 必須 SUPGRP の指定が無効です。現行グループを使用します。(Specification for mandatory SUPGRP is invalid, use current group)

説明

該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =GROUP 指定に無効な数値が含まれています。

C4R705W デフォルト SUPGRP の指定が無効です。現行グループを使用します。(Specification for default SUPGRP is invalid, use current group)

説明

該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =GROUP 指定に無効な数値が含まれています。

C4R706W 必須/デフォルト SUPGRP supgrp が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(Mandatory/Default SUPGRP supgrp is not a valid id, use current group)

説明

結果として指定された上位グループが無効です。ID は GROUP として存在していません。

C4R707W 必須 OWNER の指定が無効です。現行グループを使用します。(Specification for mandatory OWNER is invalid, use current group)

説明

該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =USERID 指定に無効な数値が含まれています。

C4R708W デフォルト OWNER の指定が無効です。現行グループを使用します。

(Specification for default OWNER is invalid, use current group)

説明

該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =USERID 指定に無効な数値が含まれています。

C4R709W 必須/デフォルト OWNER owner が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(Mandatory/Default OWNER owner is not a valid id, use current group)

説明

結果として指定された OWNER ID が無効です。ID は、USERID または GROUP として存在していません。

C4R710W 必須 DFLTGRP の指定が無効です。現行グループを使用します。(Specification for mandatory DFLTGRP is invalid, use current group)

説明

該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =USERID 指定に無効な数値が含まれています。

C4R711W デフォルト DFLTGRP の指定が無効です。現行グループを使用します。(Specification for default DFLTGRP is invalid, use current group)

説明

該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =USERID 指定に無効な数値が含まれています。

C4R712W 必須/デフォルト DFLTGRP dfltgrp が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(Mandatory/Default DFLTGRP dfltgrp is not a valid id, use current group)

説明

結果として指定されたデフォルト・グループが無効です。ID は GROUP として存在していません。

C4R713W 必須/デフォルト OWNER owner が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(Mandatory/Default OWNER owner is not a valid id, use current group)

説明

結果として指定された OWNER ID が無効です。ID は、USERID または GROUP として存在していません。

C4R714W 必須/デフォルト OWNER owner が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(Mandatory/Default OWNER owner is not a valid id, use current group)

説明

結果として指定された OWNER ID が無効です。ID は、USERID または GROUP として存在していません。

C4R715E STARTED プロファイル profile に TRUSTED を設定することはできません。(Not allowed to set TRUSTED for STARTED profile profile)

説明

開始済みタスクの TRUSTED 属性を設定または再設定する権限がありません。profile は変更されません。

C4R716E STARTED プロファイル profile に PRIVILEGED を設定することはできません。(Not allowed to set PRIVILEGED for STARTED profile profile)

説明

開始済みタスクの PRIVILEGED 属性を設定または再設定する権限がありません。profile は変更されません。

C4R717E STARTED プロファイル profile に TRACE を設定することはできません。(Not allowed to set TRACE for STARTED profile profile)

説明

開始済みタスクの TRACE 属性を設定または再設定する権限がありません。profile は変更されません。

C4R718E STARTED プロファイル profile の id-type id を設定することはできません。(Not allowed to set id-type id for STARTED profile profile)

説明

STARTED プロファイルの STDATA セグメントで USER または GROUP を設定または再設定する権限がありません。profile は変更されません。

C4R719W =NOUPDATE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に基準が指定されていませんでした。このプロファイ

ルは無視されました。(No criterion specified in APPLDATA of =NOUPDATE policy profile, ignored)

説明

=NOUPDATE プロファイルの APPLDATA に値が指定されていません。=NOUPDATE プロファイルは無視され、リソースは UPDATE 保護リソースとして扱われません。APPLDATA に有効な値を指定してください。

C4R720W =NOUPDATE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に無効な値 appldata が指定されています。このプロファイルは無視されました。(Invalid value appldata in APPLDATA of =NOUPDATE policy profile, ignored)

説明

=NOUPDATE プロファイルの APPLDATA に指定された値は認識されません。APPLDATA に有効な値を指定してください。

C4R721E segname セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to access segname segment, command terminated)

説明

端末ユーザーには、DATASET または一般リソースの segname セグメントにアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルには関係なく、ポリシー・プロファイルへの READ アクセス権限が必要です。

C4R722E segname セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to modify segname segment, command terminated)

説明

端末ユーザーには、DATASET または一般リソースの segname セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、ポリシー・プロファイルへの UPDATE アクセス権限が必要です。

C4R723E プロファイルの UPDATE 制御を解除することはできません。コマンドが終了しました。(Taking profile out of UPDATE control not allowed, command terminated)

説明

リソース・プロファイルは現在 NOUPDATE リソースとして分類されています。LEVEL を変更すると、この分類が解除されます。これは許可されません。C4R.class.NOUPDATE.pattern で指定されている LEVEL とパターンに一致するリソースは、NOUPDATE リソースとして分類されます。

C4R724E 取り消し日の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Revoke Date change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ユーザー ID の取り消し日を変更する権限がありません。このメッセージは、CONNECT コマンドに将来の取り消し日または NOREVOKE キーワードが指定されている場合に発行されます。いずれの場合でも、UPDATE 権限が必要です。

C4R725E 再開日の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Resume Date change not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ユーザー ID の再開日を変更する権限がありません。このメッセージは、CONNECT コマンドに将来の再開日または NORESUME キーワードが指定されている場合に発行されます。いずれの場合でも、UPDATE 権限が必要です。

C4R726E 公開リソースへのアクセス権限の管理は許可されていません。コマンドが終了しました
(Managing access to public resource not allowed, command terminated)

説明

リソースが公開リソースとして分類されているため、端末ユーザーには、PERMIT コマンドを使用してこのリソースのアクセス・リストで項目を追加または削除する権限がありません。公開リソースとは、UACC>NONE が設定されているか、またはそのアクセス・リストに ACCESS>NONE が設定された ID(*) が含まれているリソースです。

C4R728E 内部エラー。終了します (Internal error, exit)

説明

INSTDATA フォーマット・ポリシー・プロファイルの処理中に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連

絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R729E 内部エラー。終了します (Internal error, exit)

説明

C4RCATMN コマンド・パラメーターの処理中に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R730E C4RCATMN モジュールは APF 許可モジュールではありません。終了します。
(C4RCATMN module is not APF authorized, exit)

説明

コマンド監査証跡データを維持する C4RCATMN モジュールは、その機能を実行するために APF 許可が必要です。APF 許可ライブラリーにこのモジュールを追加し、モジュール名が PARMLIB の IKJTSOnn メンバーの APF 許可コマンド・テーブルに含まれるようにしてください。

C4R731E 解析中にエラーが発生しました。
RC=retcode (Error in parse, RC=retcode)

説明

このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R732E クラスが必要でした。終了します。
(Class required, exit)

説明

class パラメーターが必要です。有効なクラス・パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

C4R733E プロファイルが必要でした。終了します。
(Profile required, exit)

説明

profile パラメーターが必要です。有効なプロファイル・パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

C4R734E コマンド監査証跡が RACF LIST 出力に追加されます。
(Command

Audit Trail will be appended to RACF LIST output.)

説明

コマンド監査証跡情報が標準 RACF LIST コマンド (LISTUSER など) の一部として含まれます。

C4R735E **コマンド監査証跡が RACF LIST 出力から除外されます。(Command Audit Trail will be excluded from RACF LIST output.)**

説明

コマンド監査証跡が標準 RACF LIST コマンド (LISTUSER など) の一部として含まれません。

C4R736I **class profile のコマンド監査証跡 (Command Audit Trail for class profile)**

説明

これは、profile のコマンド監査証跡表示のヘッダー行です。

C4R737E **class profile が見つかりませんでした (class profile not found)**

説明

タイプ class の profile が見つかりませんでした。クラス名が正しく完全に指定されていることを確認してください。また、profile に class の既存のプロファイルが反映されていることも確認してください。データ・セットの場合、profile には接頭部が含まれていますが、組み込み引用符は含まれていません。このメッセージは、コマンド監査証跡情報をリストまたは削除しようとする発行されることがあります。

C4R738E **コマンド監査証跡情報をリストする権限がありません (Not authorized to list Command Audit Trail info)**

説明

=MAINT コマンド監査証跡ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。リストできるものはありません。必要な権限について詳しくは、「IBM Security zSecure Command Verifier: ユーザー・ガイド」の『コマンド監査証跡機能の制御 (Controlling the Command Audit Trail function)』を参照してください。

C4R739I **Section-type: data-item command-info**

説明

これは、コマンド監査証跡情報行をマークするものです。Section-type は、その後続くデータのタイプを示

します。継続行では、Section-type の値が空白であることがあります。Data-item は、Section-type 内のセグメントまたは属性を示します。継続行では、data-item の値が空白であることがあります。Command-info は、コマンドに関する記録データを示します。表示されるデータについて詳しくは、「IBM Security zSecure Command Verifier: ユーザー・ガイド」の『コマンド監査証跡データ表示フォーマット (Format of the Command Audit Trail data display)』を参照してください。

C4R740I **class profile のコマンド監査証跡はありません。(No Command Audit Trail for class profile)**

説明

プロファイル profile のコマンド監査証跡はありません。リストできる情報はありません。

C4R742I **section-type のコマンド監査データが削除されました。(Command Audit data for section-type has been removed)**

説明

コマンドに指定されているプロファイルとクラスに関するメッセージに指定されているセクションに関するコマンド監査証跡情報が削除されました。

C4R743I **非制御オプションにより、Controlled Temporary Auditor の使用が禁止されました: keywords (Uncontrolled options prevented use of Controlled Temporary Auditor: keywords)**

説明

端末ユーザーには Controlled Temporary Auditor 機能 (=CTLAUD) を使用する権限がありますが、一時 AUDITOR 属性が使用されていません。コマンドに、必須ポリシー・プロファイルで制御されないオプションが 1 つ以上指定されています。リストされている非制御キーワードまたはパラメーターを削除してください。

C4R744E **コマンド監査証跡情報を管理する権限がありません (Not authorized to manage Command Audit Trail info)**

説明

=MAINT コマンド監査証跡ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。情報は削除されません。必要な権限について詳しくは、「IBM Security zSecure Command Verifier: ユーザー・ガイド」の『コマンド監査証跡機能の制御 (Controlling the Command Audit Trail function)』を参照してください。

C4R745E コマンド監査証跡では、データ・セットの複数ボリュームはサポートされていません (Command Audit Trail does not support multiple volumes for datasets)

説明

個別のデータ・セット・プロファイルの場合、存在できるボリュームは1つのみです。個別のデータ・セット・プロファイルが1つのボリュームのみに対して定義されていることを確認してください。

C4R746W コマンド監査証跡が大きすぎます。最も古い項目を削除します。 (Command Audit Trail too large, remove oldest entry)

説明

各コマンド監査証跡セクションの最大サイズは4Kです。現行セクションに、平均よりも大幅に長い項目が含まれています。項目数の上限である64項目には達していませんが、最新の項目が収まりません。最も古い項目が削除されます。

C4R747E クラス *class* が見つからなかったか、または非アクティブです。終了します。 (Class *class* not found or inactive, exit)

説明

「4C4RCATMN」コマンドに指定されたクラスが存在しないか、または非アクティブです。コマンド監査証跡情報を管理することはできません。

C4R748E 汎用グループを削除できません。コマンドが終了しました (Universal groups may not be deleted, command terminated)

説明

このメッセージは、システム特殊権限を持つユーザーが汎用グループを削除しようとしているが、そのユーザーが C4R.GROUP.DELETE.=UNIVERSAL ポリシーに対して少なくとも READ アクセスを持っていない場合に発行されます。

C4R749E 汎用グループを削除できません。コマンドが終了しました (Universal groups may not be deleted, command terminated)

説明

このメッセージは、システム特殊権限を持っていないユーザーが汎用グループを削除しようとしているが、そのユーザーは C4R.GROUP.DELETE.=UNIVERSAL ポリシ

ーに対して少なくとも UPDATE アクセスを持っていない場合に発行されます。

C4R751E SETROPTS *keyword* は許可されていません。コマンドが終了しました。 (SETROPTS *keyword* not allowed, command terminated)

説明

対応するポリシー・プロファイルへの READ 以上のアクセス権限を必要とする SETROPTS キーワードは、許可されていませんでした。コマンドは実行されません。

C4R752E SETROPTS *keyword* は許可されていません。コマンドが終了しました。 (SETROPTS *keyword* not allowed, command terminated)

説明

対応するポリシー・プロファイルへの UPDATE 以上のアクセス権限を必要とする SETROPTS キーワードは、許可されていませんでした。コマンドは実行されません。

C4R753E *function* REFRESH はクラス *class* に対して実行できません。コマンドが終了しました。 (*function* REFRESH not allowed for class *class*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、クラス *class* の関数 *function* のポリシー・プロファイルへの READ 以上のアクセス権限がありませんでした。REFRESH は実行されません。

C4R754E *function* はクラス *class* に対して実行できません。コマンドが終了しました。 (*function* not allowed for class *class*, command terminated)

説明

端末ユーザーには、クラス *class* の関数 *function* のポリシー・プロファイルへの UPDATE 以上のアクセス権限がありませんでした。コマンドは実行されません。

C4R755E パスワード・ヒストリーのクリーンアップは許可されていません。コマンドが終了しました (Password history cleanup not allowed, command terminated)

説明

このメッセージは、十分な権限がないユーザーがパスワードおよびフレーズのヒストリーのクリーンアップ機能を実行しようとした場合に発行されます。ユーザーには、少なくとも、C4R.USER.PWCLEAN.owner.user ポ

リシー・プロファイルに対する UPDATE 権限が必要です。

C4R756E パスワード変換は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Password conversion not allowed, command terminated)

説明

このメッセージは、十分な権限がないユーザーが現在のパスワードおよびパスワード・ヒストリーの変換機能を実行しようとした場合に発行されます。ユーザーには、少なくとも、C4R.USER.PWCONVERT.owner.user ポリシー・プロファイルに対する UPDATE 権限が必要です。

C4R757E ROAudit 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(ROAudit attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ROAUDIT 属性をターゲット・ユーザーに割り当てる権限がありません。

C4R758E NoROAudit 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(NoROAudit attribute not allowed, command terminated)

説明

端末ユーザーには、ROAUDIT 属性をターゲット・ユーザーから削除する権限がありません。

C4R759E ロックされたユーザー *user-name* の管理は許可されていません。コマンドが終了しました (Management of locked user *user-name* not allowed, command terminated)

説明:

端末ユーザーには、=NOCHANGE ポリシー・プロファイルで制御されるユーザー ID に関するアクションを実行する権限がありません。コマンドを終了します。

C4R760E ロックされたグループ *group-name* の管理は許可されていません。コマンドが終了しました (Management of locked group *group-name* not allowed, command terminated)

説明:

端末ユーザーには、=NOCHANGE ポリシー・プロファイルで制御されるグループに関するアクションを実行する権限がありません。コマンドを終了します。

C4R761E SHARED UID をユーザー *user-name* に割り当てることはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to assign SHARED UID to

user user-name, command terminated)

説明:

SHARED キーワードを使用して、指定した UID を複数のユーザーで共有できると指定することはできません。このメッセージは、指定した UID が既に使用中かどうかにかかわらず発行される可能性があります。

ユーザーの処置:

UID を共有 UID にする意図がない場合は、正しい UID を指定し、SHARED キーワードを指定せずに再度コマンドを実行してください。

C4R762E SHARED GID をグループ *group-name* に割り当てることはできません。コマンドが終了しました (Not allowed to assign SHARED GID to group *group-name, command terminated*)

説明:

SHARED キーワードを使用して、指定した GID を複数のグループで共有できると指定することはできません。このメッセージは、指定した GID が既に使用中かどうかにかかわらず発行される可能性があります。

ユーザーの処置:

GID を共有 GID にする意図がない場合は、正しい GID を指定し、SHARED キーワードを指定せずに再度コマンドを実行してください。

C4R763E ロックされたユーザー *user-name* に対するアクセス権限の付与または解除は許可されていません。コマンドが終了しました (Granting or removing access for locked user *user-name* not allowed, command terminated)

説明:

端末ユーザーには、=NOCHANGE ポリシー・プロファイルで制御されるユーザー ID に対するアクセス権限の付与または解除を実行する権限がありません。コマンドを終了します。

C4R764E ロックされたグループ *group-name* に対するアクセス権限の付与または解除は許可されていません。コマンドが終了しました (Granting or removing access for locked group *group-name* not allowed, command terminated)

説明:

端末ユーザーには、=NOCHANGE ポリシー・プロファイルで制御されるグループに対するアクセス権限の付与または解除を実行する権限がありません。コマンドを終了します。

C4R765E 内部エラー RC: *retcode - reascode*
(Internal error RC: *retcode - reascode*)

説明

サイト・メッセージ・テキストの取得中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R766I サイト・メッセージ・テキストを削除しました (Site message text removed)

説明

インストール・データを \$C4RMSGT=DELETE と指定しているときに RALTER コマンドが発行されました。要求に従って、このポリシー・プロファイルを対象として格納されたサイト・メッセージ・テキストを削除しました。

C4R767I サイト・メッセージ・テキストを保存しました (Site message text saved)

説明

インストール・データを \$C4RMSGT=message-text と指定しているときに RALTER コマンドが発行されました。要求に従って、このポリシー・プロファイルに指定されたメッセージ・テキストを保存しました。

C4R768W サイト・メッセージ・テキストがありません (Site message text is missing)

説明

接頭部 \$C4RMSGT= でインストール・データを指定しているときに RALTER コマンドが発行されました。しかし、接頭部の後にサイト・メッセージ・テキストが見つかりませんでした。

C4R メッセージ 800 から 899

C4R897W デフォルトのキーワード: *keywords*
(Keywords defaulted: *keywords*)

C4R769E サイト・メッセージ・テキストの更新に失敗しました (Failure updating site message text)

説明

インストール・データを \$C4RMSGT=message-text と指定しているときに RALTER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルのサイト・メッセージ・テキストを更新するときに障害が発生しました。このメッセージにはメッセージ C4R770E が付随します。

C4R770E 内部エラー RC: *retcode - reascode*
(Internal error RC: *retcode - reascode*)

説明

サイト・メッセージ・テキストの保存中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R771E DATASET プロファイル *dsname* に RESOWNER を設定することはできません。 (Not allowed to set RESOWNER for DATASET profile *dsname*)

説明:

このデータ・セット・プロファイルの DFP セグメントで RESOWNER 値を設定または再設定する権限がありません。profile は変更されません。

C4R772E DATASET プロファイル *dsname* に DATAKEY を設定することはできません。 (Not allowed to set DATAKEY for DATASET profile *dsname*)

説明:

このデータ・セット・プロファイルの DFP セグメントで DATAKEY 値を設定または再設定する権限がありません。profile は変更されません。

説明

デフォルト・ポリシーが原因でデフォルトに設定されたキーワードをリストします。

C4R898W オーバーライドされたキーワード:
keywords (Keyword overrides:
keywords)

説明

必須ポリシーが原因でオーバーライドされたキーワードをリストします。

C4R899W 抑止されたキーワード: *keywords*
(Keywords suppressed: *keywords*)

説明

ポリシーに違反していたために抑止されたキーワードをリストします。

C4R メッセージ 900 から 999

C4R900E zSecure Command Verifier により
制御されていないコマンドです。終
了します。(Command not
controlled by zSecure Command
Verifier, exit)

説明

内部エラーが発生しました。入力されたコマンドは、有効な RACF コマンドとして認識されませんでした。

C4R910E コマンド解析中にエラーが発生しま
した。終了しました。(Error in
command parsing; terminated)

説明

コマンドのパラメーターおよびキーワードの解析中に内部エラーが発生しました。

C4R911W プロファイル・リストはサポートさ
れていません。2 番目以降のプロフ
ァイルはすべて無視されます。(List
of Profiles not supported, all but
first ignored)

説明

zSecure Command Verifier 出口では複数のプロファイルはサポートされていません。

C4R913I *Command-String*

説明

このメッセージは、zSecure Command Verifier による処理後に実行するために RACF に渡された RACF コマンドを示します。

C4R914I *site message text*

説明

ポリシー違反が発生しました。このメッセージは、追加情報を提供するサイト指定のメッセージ・テキストを示します。サイト・メッセージ・テキストは、適用可能なポリシー・プロファイルで定義されています。

C4R920E コマンド作成中にエラーが発生しま
した。終了しました。(Error in
command creation; terminated)

説明

内部エラーが発生したため、ポリシーの解析および処理後に RACF コマンドを再作成できませんでした。

C4R930E コマンド変更中にエラーが発生しま
した。終了しました。(Error in
command modification;
terminated)

説明

内部エラーが発生しました。

C4R940E IKJPARS の呼び出し中に内部エラ
ーが発生しました。(Internal error
in calling IKJPARS.)

説明

内部エラーが発生しました。

C4R945E パラメーターの入力を求めるプロン
プトを出すことができませんでした
(Could not prompt for parameters)

説明

無効なパラメーターが検出されましたが、zSecure Command Verifier はユーザーに対し訂正を求めるプロンプトを出すことができませんでした。

C4R950E アテンション・キーが押されました
(Attention key pressed)

説明

アテンション・キーが押されたため、処理が中断しました。

C4R967E インストール・エラー: C4RMAIN と
C4RPIER でバージョンが一致しま
せん。(Installation error: Version
mismatch between C4RMAIN and
C4RPIER)

説明

2つの主要コンポーネントのレベルが同一ではありません。IRREX01 出口ルーチン (C4RMAIN) がアクティブであり、対応する C4RPIER モジュールが使用されていることを確認してください (SETPROG および LLA に関連するインストール手順を参照)。

C4R968W 総称プロファイルは使用されません
(Generic profiles will not be used)

説明

ポリシー・プロファイルに使用されているリソース・クラスで、総称プロファイルが有効になっていません。このリソース・クラスに対して SETROPTS GENERIC コマンドが発行されていることを確認してください。
class.

C4R969I 総称プロファイルが有効にされま
す。(Generic profiles will be
enabled)

説明

ポリシー・プロファイルに使用されるリソース・クラス内の総称プロファイルが定義され、使用されます (特定のポリシー・プロファイルに適用可能な場合)。

C4R970E サポートされていない出口バージョ
ンです。(Unsupported exit
version)

説明

zSecure Command Verifier 状況モジュールは、RACF 共通コマンド出口 (IRREX01) として使用されている C4RMAIN モジュールのバージョンを認識できません。この状態の原因として最も可能性が高いのは、zSecure Command Verifier バージョン 1.6 より前のバージョンが存在していることです。

C4R971I 出口のバージョンは *number* です。
(Exit version is *number*)

説明

RACF 共通コマンド出口 (IRREX01) として使用される C4RMAIN モジュールのバージョンは *number* です。

C4R972W バージョン番号の読み取り中にエラ
ーが発生しました。(Error reading
version number)

説明

zSecure Command Verifier 状況モジュールは、RACF 共通コマンド出口 (IRREX01) として使用されている C4RMAIN モジュールのバージョンを認識できません。バージョン番号が必須構文に従っていません。

C4R973I PIER バージョンは *number* です。
(PIER version is *number*)

説明

ポリシー解釈および実施ルーチン (Policy Interpretation and Enforcement Routine) (C4RPIER) のバージョンは *number* です。

C4R975W リソース・クラスがアクティブでは
ありません。(Resource class is not
active)

説明

C4REXP でポリシー・プロファイルに指定されている RACF リソース・クラスがアクティブではありません。正しいリソース・クラスが指定されており、SETROPTS CLASSACT(*classname*) を使用してこのクラスがアクティブにされていることを確認してください。

C4R976I リソース・クラスがアクティブです。
(Resource class is active)

説明

C4REXP でポリシー・プロファイルに指定されている RACF リソース・クラスがアクティブです。これは予期されている状況です。

C4R978I ポリシー・プロファイル数は *number*
です。(Number of policy profiles is
number)

説明

ポリシー・プロファイルに指定されている RACF リソース・クラスで *number* 個のプロファイルが定義されています。この数が予期されている数であるかどうかを確認してください。

C4R979E 有効な XPL がありません。終了しま
す。(No valid XPL, terminate)

説明

このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイト を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R980I Command Verifier がアクティブで
はありません。(Command Verifier
has not been activated)

説明

RACF 動的出口点 IRREX01 のアクティブな出口モジュールが見つかりませんでした。

C4R981I	Command Verifier がアクティブではありません。(Command Verifier has not been activated)	発生しました。rc=retcode (Error pre-loading policy profiles via RACLIST, rc=retcode)
説明	RACF 動的出口点 IRREXV01 に対して C4RMAIN 出口モジュールが定義されていますが、このモジュールがアクティブではありませんでした。	説明 ポリシー・プロファイルの RACLIST 実行中にエラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。
C4R982I	Command Verifier はアクティブです。(Command Verifier is active)	
説明	zSecure Command Verifier が、アクティブな RACF 共通コマンド出口 (IRREXV01) として検出されました。	C4R993E ポリシー・プロファイル・リソース・クラスがアクティブではありません。(Policy profile resource class is not active)
C4R985I	ポリシー・プロファイルに使用されているリソース・クラスは class です。(Resource class used for policy profiles is class)	説明 C4REXP に指定されているポリシー・プロファイルに使用されるリソース・クラスがアクティブではありません。ほとんどのポリシー規則は、実施されないものとして見なされます。
説明	このメッセージは、C4REXP オプション・モジュールで指定されているリソース・クラスを示します。	C4R995E 正しくない関数、コマンド・コード、または呼び出しにより終了しました。(Illegal function or command code or call; terminated.)
C4R988E	C4RSTAT モジュールは APF 許可モジュールではありません。終了します。(C4RSTAT module is not APF authorized, exit)	説明 zSecure Command Verifier の呼び出しに使用されたパラメーターが無効です。
説明	C4RSTAT では、現行 RACF 共通コマンド出口ルーチンを検出するには APF 許可が必要です。続行できません。	C4R999E 内部エラー 04 が発生しました。終了しました。(Internal error 04, terminated)
C4R990I	コマンドの呼び出し中にエラーが発生しました。(Error in calling command)	説明 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。
説明	zSecure Command Verifier は、指定されたコマンドを実行できませんでした。関連付けられているコマンド・プロセッサの接続中にエラーが発生しました。	C4R999E 内部エラー 08 が発生しました。終了しました。(Internal error 08, terminated)
C4R991E	生成されたコマンドが無効です。終了しました。(Generated command is invalid; terminated.)	説明 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。
説明	zSecure Command Verifier により作成されたコマンドの先頭文字が、有効な文字ではありませんでした。続行できません。	
C4R992E	RACLIST を使用してポリシー・プロファイルをプリロード中にエラーが	

C4R999E 内部エラー **0C** が発生しました。終了しました。(Internal error **0C**, terminated)

説明

内部エラーが発生しました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R999E 内部エラー **10** が発生しました。終了しました。(Internal error **10**, terminated)

説明

内部エラーが発生しました。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

第 16 章 B8R メッセージ

IBM Security zSecure Admin で使用できる RACF-Offline 機能を使用すると、非アクティブの RACF データベースに対して大半の RACF コマンドを発行できます。RACF Offline によって発行されたメッセージには、B8RnnnX という形式のメッセージ接頭部が付いています。nnn はメッセージ番号、X は重大度標識を表します。RACF-Offline について詳しくは、「*IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル*」を参照してください。重大度標識の一般的な意味は、以下のとおりです。

I

通知メッセージ。

W

警告メッセージ。プログラムは続行しますが、エラーが発生しました。

E

エラー・メッセージ。プログラムは直ちに終了するか、または続行を試みます。

S

重大なエラー・メッセージ。プログラムを続行できません。

A

アクション・メッセージ。プログラムは、ユーザーからの応答を待っています。

B8R100I **B8RACF バージョン version
(B8RACF Version version)**

説明

この識別メッセージは、アクティブな IBM Security zSecure Admin RACF-Offline のバージョンを示します。

B8R102E **B8RACF モジュールに APF 許可が
ありません。終了します。(B8RACF
module is not APF authorized,
exit)**

説明

B8RACF コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があり、APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。これが正しく実装されていることを確認してください。

B8R104E **コマンドに APF 許可がありません。
終了します。(Command not APF
authorized, exit)**

説明

RACF コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があり、APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。これが正しく実装されていることを確認してください。

B8R105E **estaex のセットアップ時エラー、
RC=retcode-reascode (Error in
setup of estaex, RC=retcode-
reascode)**

説明

エラー・リカバリー環境のセットアップ中にシステム・エラーが発生しました。実行は終了します。システム戻りコードは *retcode*、理由コードは *reascode* です。

B8R106E **RACF-Offline は使用不可になって
います。終了します。(RACF-
Offline disabled, exit)**

説明

IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 機能は、parmlib 内の IFAPRDxx メンバーを介して使用不可になりました。

B8R108E **登録解除エラー、rc=return-code
(Deregistration error, rc=return-
code)**

説明

製品の使用登録を解除しているときに、予想外のエラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R110E **B8RACF コマンドは許可されませ
ん。既に B8RACF 環境に入っていま
す。(You are already under
B8RACF)**

説明

B8RACF を再帰的に使用することはできません。このメッセージが発行されるのは、現行セッションで

B8RACF が既に実行されているときに、B8RACF を開始しようとしたときです。

B8R111E **RACF-Offline は RACF 制御されません。(RACF-Offline is not RACF controlled)**

説明

IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 機能は RACF プロファイルを介して制御されていないか、指定したリソース・クラスはアクティブではありません。

B8R112E **IBM Security zSecure Admin RACF Offline を使用する権限がありません (You are not authorized to use IBM Security zSecure Admin RACF Offline)**

説明

IBM Security zSecure Admin RACF-Offline へのアクセスを制御する目的で使用される RACF プロファイルに、該当ユーザーが製品を使用することを許可しないと指定されています。アクセス権限の検査時に使用された正確なプロファイルについては、同時に表示される ICH408I メッセージを参照してください。

B8R113E **B8RACF を使用するための検査時にエラーが発生しました。RC=retcode (Error during verification to use B8RACF, RC=retcode)**

説明

IBM Security zSecure Admin RACF-Offline を使用する権限の検査中に、システム・エラーが発生しました。実行は終了します。RACF 戻りコードは *retcode* です。

B8R114E **通信ブロックのセットアップ中にエラーが発生しました。(Error setting up communication block)**

説明

複数の B8RACF モジュール間に通信域をセットアップするときに、システム・エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R116E **新規セキュリティー環境のセットアップ中にエラーが発生しました。(Error setting up new security environment)**

説明

オフライン RACF データベースを使用するには、2 次 ACEE が必要です。ACEE の作成処理中にシステム・エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R118E **オプション・モジュールの処理中にエラーが発生しました。終了します。(Error processing options module, exit)**

説明

B8ROPT オプション・モジュールの処理中に内部エラーが発生しました。インストール処理中に、このオプション・モジュールを作成するための正しい手順に従っていたことを確認してください。

B8R119E **パラメーター・ファイルの処理中にエラーが発生しました。終了します。(Error processing parameter file, exit.)**

説明

B8RPARM ファイルの処理中に内部エラーが発生しました。TSO が受け入れる正しい属性を持つファイルを B8RPARM DDNAME が指すことを確認してください。例えば、次の属性を持つファイルは有効です。

- 最後の 8 列に属性 RECFM=FB、LRECL=80、および行番号がある順次ファイル
- 最初の 8 列に属性 RECFM=VB、LRECL=255 および行番号があるファイル

B8R120E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)RC=retcode-reascode**

説明

RACF-Offline で使用する RACF コードを準備する際に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R121I **B8ROPT オプション・モジュールの処理が完了しました (Completed)**

processing B8ROPT options module)

説明

B8ROPT オプション・モジュールからのすべてのコマンドが処理されました。B8RPARM ファイル (存在する場合) からの実行コマンドで処理は続行されます。

B8R122E **RACF コマンドのインターセプトのセットアップ中にエラーが発生しました (Error during RACF command intercept setup)**

説明

RACF-Offline で処理される RACF コマンドのセットアップ中にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R123E **RACF コマンド・プロセッサのセットアップ中にエラーが発生しました (Error during RACF command processor setup)**

説明

RACF-Offline で使用する RACF コマンド・プロセッサの準備中にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R124E **オフラインの RACF DB のセットアップ中にエラーが発生しました。終了します。 (Error during setup of offline RACF DB, exit)**

説明

オフラインの RACF データベースを初期化するために必要な RACF サブルーチンの実行中にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R125E **modname の識別エラーが発生しました。RC=rc (Identify error for modname. RC=rc)**

説明

RACF-Offline コマンド・プロセッサ *modname* を識別する際にエラーが発生しました。実行を継続しますが、一部の RACF コマンドが正しく機能しない可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R126E **ENV00 を準備できません (Cannot prepare ENV00)**

説明

RACF-Offline で使用する IRRENV00 の専用コピーを準備する際にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R127E **TSO 環境のセットアップ中にエラーが発生しました。RC=retcode (Error during setup TSO environment, RC=retcode)**

説明

TSO 環境の初期化中にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R128E **MNGR を準備できません (Cannot prepare MNGR)**

説明

RACF-Offline で使用する IRRMNGR の専用コピーを準備する際にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R130E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)**

説明

オフライン環境の初期化中に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)

の『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R131E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)**

説明

オフライン環境の初期化中に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R134E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)RC=retcode-reascode**

説明

オフライン環境の初期化中に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージの完全なテキストを報告してください。

B8R135E **B8REPLAY コマンドに APF 許可がありません。終了します。(B8REPLAY command not APF authorized, exit)**

説明

いくつかの RACF-Offline コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があります。APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。このメッセージは、正しく定義されていない B8REPLAY コマンドを ISPF 内で呼び出した場合に発行されます。

B8R136E **B8RACFLG コマンドに APF 許可がありません。終了します。(B8RACFLG command not APF authorized, exit)**

説明

いくつかの RACF-Offline コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があります。APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。このメッセージは、正しく定義されていない B8RACFLG コマンドを ISPF 内で呼び出した場合に発行されます。

B8R137E **B8RVARY コマンドに APF 許可がありません。終了します。(B8RVARY command not APF authorized, exit)**

説明

いくつかの RACF-Offline コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があります。APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。このメッセージは、正しく定義されていない B8RVARY コマンドを ISPF 内で呼び出した場合に発行されます。

B8R138E **code を準備できません (Cannot prepare code)**

説明

RACF-Offline で使用するプログラム・モジュールを準備する際にエラーが発生しました。値 *code* はプログラム・モジュールの内部表現です。処理を続行できません。エラー状態の性質によっては、このメッセージが数回出される場合があります。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージの完全なテキストを報告してください。

B8R143I **B8RPARM ファイルの処理が完了しました (Completed processing B8RPARM file)**

説明

このメッセージは、B8RPARM 入力ファイルの最後に達したことを示しています。オフライン環境は初期化され、入力した RACF コマンドは処理されるようになります。

B8R150E **割り振られている RACF データベースがありません。終了します。(No RACF database allocated, exit)**

説明

オフライン環境の初期化中に、RACF データベースが割り振られていなかったことが分かりました。この原因としては、以下のことが考えられます。

- 割り振りエラー
- B8ROPT オプション・モジュールでの指定エラー
- B8RPARM ファイルでの指定エラー
- B8ROPT および B8RPARM に RACFDB ステートメントがない

RACFDB ステートメントに正しい RACF データベースが指定されていることを確認してください。

B8R151E **アクティブな基本 RACF-DB はサポートされていません。(Active Primary RACF-DB is not supported)**

説明

RACFDB ステートメントに、現在アクティブな基本 RACF データベースが指定されていないことを確認してください。

B8R152E **アクティブなバックアップ RACF-DB はサポートされていません。(Active Backup RACF-DB is not supported)**

説明

RACFDB ステートメントに、現在アクティブなバックアップ RACF データベースが指定されていないことを確認してください。

B8R154I **選択されている RACF DB の使用は制御されません。(Use of selected RACF DB is uncontrolled)**

説明

RACFDB ステートメントに示されている RACF データベースの使用は、zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを紹介しては制御されません。zSecure Admin RACF-Offline を介した RACF データベースの使用は現在許可されています。

B8R155E **無効な LOG データ・セット reason (Invalid LOG data set reason)**

説明

指定されているログ・データ・セットには必須の属性がありません。reason 変数は、誤った属性を説明するため、以下のいずれかの値になります。

- dsorg not PS
- recfm not VB
- lrecl not 32756

ユーザーの処置

正しいログ・データ・セットが指定されていることを確認してください。ログ・データ・セットは、順次の可変ブロック化データ・セットで、論理レコード長が 32756 である必要があります。ログ・データ・セットなしで IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 機能を実行することもできます。

B8R156E **この RACF DB を使用する権限がありません。(You are not authorized to use this DB)**

説明

RACFDB ステートメントに示されている RACF データベースの使用は許可されていません。

この RACF データベースを IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 製品で使用することを拒否した該当プロファイルについては、同時に表示される ICH408I メッセージを確認してください。オフライン・データベースにデータ共用モード・シスプレックスの IRRPLEX_sysplex プロファイルが格納されている場合は、少なくとも CONTROL 権限が必要です。それ以外の場合は、プロファイルに対する UPDATE 権限で十分です。

B8R158E **RACF からの戻りコード retcode (Return code retcode from RACF)**

説明

RACF アクセス権限検査の実行中に、予想外の戻りコードが返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R162I **RACINIT DELETE からの戻りコード retcode-reascode (Return code from RACINIT DELETE retcode-reascode)**

説明

一時セキュリティー環境を削除するための RACROUTE が失敗しました。このメッセージには、戻りコード (retcode) と理由コード (reascode) が含まれています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R170E **DCB アベンド EXIT が入力されました。Code=abendcode-reascode (DCB Abend exit entered, Code=abendcode-reascode)**

説明

B8RLOG ファイルの処理中にエラーが発生しました。リカバリーが試行されますが、必ずしも可能なわけではありません。LOG 処理は中断されます。abendcode-reascode について詳しくは、IBM メッセージおよびコードのマニュアルを参照してください。

B8R172E **リカバリーを実行できません。終了処理を続行します。(Recovery not possible, continue termination)**

説明

メッセージ B8R170E で示されたエラーを抑止することができません。異常終了処理が続行され、終了が早まる可能性が高くなります。

B8R174I リカバリーが試行され、ログは中断
 されます。(Recovery will be
 attempted, log suspended)

説明

メッセージ B8R170E で示されたエラーは、リカバリー
できません。通常の処理は続行されますが、LOG 機能は
中断されます。

B8R180E 作業域にアクセスできません。
 RC=retcode (Cannot access
 workarea, RC=retcode)

説明

コマンド実行モジュールが内部作業域にアクセスでき
ません。N/T 検索ルーチンからの戻りコードは
retcode です。電子サポート Web サイトを参照して、こ
のメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探し
てください。該当する保守が見つからない場合は、
866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて
いる手順に従って問題を報告してください。

B8R182E リカバリー環境のセットアップ中に
 エラーが発生しました。
 RC=retcode-reascode (Error setting
 up recovery environment,
 RC=retcode-reascode)

説明

リカバリー環境のセットアップ中に予想外のシステ
ム・エラーが発生しました。ESTAEX ルーチンからの戻
りコードおよび理由コードは、retcode-reascode です。
電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージ
に関連付けられた使用可能な保守を探してください。
該当する保守が見つからない場合は、866 ページの
『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従っ
て問題を報告してください。

B8R184E 無効な DSCT ポインターです。
 (Invalid DSCT pointer)

説明

内部制御ブロック構造にエラーが検出されました。
電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに
関連付けられた使用可能な保守を探してください。該
当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM
サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題
を報告してください。

B8R186E PUTGET でエラーが発生しました。
 RC=retcode (Error in PUTGET,
 RC=retcode)

説明

入力ファイルからコマンドを取得するための PUTGET
サービスの実行中にエラーが発生しました。サービス
からの戻りコードは retcode でした。電子サポート
Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けら
れた使用可能な保守を探してください。該当する保守
が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポート
への連絡』に記載されている手順に従って問題を報告し
てください。

B8R188E smf-exit-routine の追加時にエラー
 が発生しました。RC=retcode-
 reascode (Error adding smf-exit-
 routine, RC=retcode-reascode)

説明

DYNEXIT サービス・ルーチンの実行中にエラーが発生
しました。このルーチンは、オフラインの RACF データ
ベースのアクセス中に作成された SMF レコードを識別
するために使用される、SMF 出口ルーチンを定義する
ために使用されます。サービスからの戻りコードおよ
び理由コードは、retcode-reascode です。電子サポート
Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けら
れた使用可能な保守を探してください。該当する保守
が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポート
への連絡』に記載されている手順に従って問題を報告し
てください。

B8R189E 出口 exitname がサブシステム
 subsystem name に指定されていま
 せん。(Exit exitname not specified
 for subsystem subsystem name)

説明

SMF 出口 (IEFU83、IEFU84 および IEFU85) の定義は、
システム全体、および SMFPRMxx parmlib メンバー内
で指定されているすべてのサブシステムに対して必要
です。このメッセージが表示されるのは、これらの出口
定義のいずれか (exitname) が、いずれかのサブシステ
ム (subsystem name) で欠落している場合です。欠落
している定義ごとに、個別のメッセージが発行されま
す。

SUBSYS(OMVS,NOEXITS) などのステートメントが
SMFPRMxx parmlib メンバーに含まれているため、出口
定義が欠落している可能性があります。このようなス
テートメントが含まれていると、このサブシステムに対
して出口が使用不可になります。その結果、このサブシ
ステムからの、オフライン・データベースに対する更新
情報を反映する SMF レコードは、ライブ RACF データ
ベースに対する更新情報と区別できなくなります。

ユーザーの処置

このメッセージが発生しないようにするには、出口
IEFU83、IEFU84、IEFU85 がすべてのサブシステムで
有効になるようにします。SMFPRMxx Parmlib メンバ

ーについて詳しくは、「z/OS MVS 初期設定およびチューニングガイド (SA88-7084)」を参照してください。

B8R190E *smf-exit-routine* の削除時にエラーが発生しました。RC=retcode-reascode (Error deleting smf-exit-routine, RC=retcode-reascode)

説明

DYNEXIT サービス・ルーチンの実行中にエラーが発生しました。このルーチンは、オフラインの RACF データベースのアクセス中に作成された SMF レコードを識別するために使用される、SMF 出口ルーチンを削除する目的で使用されます。サービスからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R200A RACF コマンドまたは「END」を入力してください。(Enter RACF command or "END")

説明

これは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline が初期化されたことを示す端末プロンプトであり、オフラインの RACF データベースに対して実行する RACF コマンドを要求しています。発行する RACF コマンドがこれ以上ない場合は、END を入力してプロンプト表示を停止してください。

B8R201A 続行するには、Enter キーを押してください。(Press enter to continue)

説明

これは、アテンション・キーの処理後にアテンション・ルーチンから出された端末プロンプトです。

B8R202E 構文解析でエラーが発生しました。RC=retcode (Error from parse, RC=retcode)

説明

B8REPLAY コマンドの構文解析を正常に実行できませんでした。戻りコードは *retcode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R203E SELECT パラメーターは必須です。終了します。(SELECT parameter is required, exit)

説明

SELECT パラメーターは B8REPLAY コマンドの必須パラメーターです。SELECT キーワードと、B8ROPTxx ファイルの 2 文字の ID を指定してください。

B8R204E *ddname* を開くことができません。(Cannot open *ddname*)

説明

ファイル *ddname* に OPEN エラーが発生しました。このファイルは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドを含む、事前に割り振られた B8ROPTxx ファイルにしてください。データ・セットは FB(80) にしてください。

B8R205I リプレイにより、*ddname* の解釈が開始されます (Replay start interpreting *ddname*)

説明

この進行メッセージは、LOGDS コマンドに対する B8ROPTxx ファイルのスキャンが開始されたことを示しています。LOGDS ステートメントにより、リプレイの対象の LOG データ・セットが指定されます。

B8R207I リプレイによる *ddname* の解釈が完了しました (Replay finished interpreting *ddname*)

説明

この進行メッセージは、B8ROPTxx ファイルのスキャンが完了したことを示しています。このファイルでは、リプレイの対象である LOG データ・セットを指定する LOGDS ステートメントがスキャンされました。

B8R208E *ddname* を閉じることができません。(Cannot close *ddname*)

説明

ファイル *ddname* に CLOSE エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R209E *ddname* が見つかりません。(ddname not found)

説明

SELECT キーワードを介して指定した B8ROPTxx ファイルが見つかりません。正しいサフィックスが指定されていること、および B8ROPTxx ファイルが割り振られていることを確認してください。

B8R210E リプレイ LOG ファイルが見つかり
 ません。(Replay LOG file not
 found)

説明

LOGDS キーワードを介して指定した COMMAND ファイルが見つかりません。正しい *dsname* を指定していたことと、データ・セットが存在することを確認してください。

B8R211I アテンション・キーが押され、コマ
 ンドが終了しました。(Attention
 key pressed, command
 terminated)

説明

アテンション・キー (ATTN または PA1) が押されました。現行のコマンドは終了されました。B8R201A プロンプトの後に、次のコマンドを入力してください。

B8R214E *ddname* を開くことができません。
 (Cannot open *ddname*)

説明

ファイル *ddname* に OPEN エラーが発生しました。このファイルは、RACF サブコマンドやその他のサポート対象 IBM Security zSecure Admin RACF-Offline サブコマンドを含む既存のファイルにしてください。データ・セットは VB(255) にしてください。

B8R215I リプレイにより、*cmdfile* の処理が開
 始されます。(Replay start
 processing *cmdfile*)

説明

この進行メッセージは、B8REPLAY コマンドの SELECT キーワードを介して指定した COMMAND ファイルが処理されることを示しています。

B8R216I *command*

説明

この進行メッセージは、RACF サブコマンドまたは IBM Security zSecure Admin RACF-Offline サブコマンドである *command* が処理されることを示しています。

B8R217I リプレイによる *cmdfile* の処理が完
 了しました (Replay finished
 processing *cmdfile*)

説明

この進行メッセージは、COMMAND ファイルの処理が完了したことを示します。COMMAND ファイルは、指定された B8ROPTxx ファイル内の LOGDS ステートメントによって検索されました。

B8R218E *ddname* を閉じることができませ
 ん。(Cannot close *ddname*)

説明

ファイル *ddname* に CLOSE エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R220E リカバリー環境のセットアップ中に
 エラーが発生しました。
 RC=*retcode-reascode* (Error setting
 up recovery environment,
 RC=*retcode-reascode*)

説明

リカバリー環境のセットアップ中に予想外のシステム・エラーが発生しました。ESTAEX ルーチンからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R222E *smf-exit-routine* の活動化時にエラ
 ーが発生しました。RC=*retcode-
 reascode* (Error activating *smf-
 exit-routine*, RC=*retcode-
 reascode*)

説明

DYNEXIT サービス・ルーチンの実行中にエラーが発生しました。このルーチンは、オフラインの RACF データベースにアクセスしているときに作成された SMF レコードを識別するために使用される SMF 出口ルーチンを活動化する目的で使用されます。サービスからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R224E *smf-exit-routine* の非活動化時にエ
 ラーが発生しました。RC=*retcode-
 reascode* (Error inactivating *smf-
 exit-routine*, RC=*retcode-reascode*)

説明

DYNEXIT サービス・ルーチンの実行中にエラーが発生しました。このルーチンは、オフラインの RACF データベースにアクセスしているときに作成された SMF レコ

ードを識別するために使用される SMF 出口ルーチンを非活動化する目的で使用されます。サービスからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R226E *ddname* を開くことができません。
(Cannot open *ddname*)

説明

ファイル *ddname* に OPEN エラーが発生しました。このファイルは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドを含む既存の B8ROPTxx ファイルにしてください。データ・セットは FB(80) にしてください。

B8R228I *ddname* の処理を開始します。
(Start processing *ddname*)

説明

この進行メッセージは、*ddname* で指定された B8ROPTxx ファイルが処理されることを示します。このファイルは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドの有無がスキャンされます。

B8R230E 構文解析でエラーが発生しました。
RC=retcode (Error from parse, RC=retcode)

説明

B8RVARY コマンドの構文解析を正常に実行できませんでした。戻りコードは *retcode* です。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R231E *ddname* が見つかりません。
(*ddname* not found)

説明

SELECT キーワードを介して指定した B8ROPTxx ファイルが見つかりません。正しいサフィックスが指定されていること、および B8ROPTxx ファイルが割り振られていることを確認してください。

B8R232A RACFDB の切り替えを確認してください (YES/NO)。 (Confirm switching RACFDB (YES/NO))

説明

このメッセージは、オフライン RACF データベースを切り替えるための確認を求めています。応答を YES にすると、他の RACF データベース (および対応する LOGDS オプションと SMF オプション) を指定できます。それ以外の値にすると、B8RVARY 機能が終了します。

B8R234A B8RVARY サブコマンドまたは「END」を入力してください。(Enter B8RVARY subcommand or "END")

説明

これは、この IBM Security zSecure Admin RACF-Offline セッションの残りで使用するために、オフライン RACF データベースの指定に関する入力を IBM Security zSecure Admin RACF-Offline が要求することを示している端末プロンプトです。任意の IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドを入力できます。IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドの概要については、「*IBM Security zSecure Admin* ユーザー・リファレンス・マニュアル」の『B8RACF コマンドおよび制御コマンド』を参照してください。発行する RACF コマンドがこれ以上ない場合は、END を入力してプロンプト表示を停止してください。

B8R235E PUTGET でエラーが発生しました。
RC=retcode (Error in PUTGET, RC=retcode)

説明

入力ファイルからコマンドを取得するための PUTGET サービスの実行中にエラーが発生しました。サービスからの戻りコードは *retcode* でした。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R236I RACFDB の切り替えが取り消されました。(RACFDB switch cancelled)

説明

このメッセージは、オフライン RACF データベースの切り替えが取り消されたことを確認したものです。メッセージ B8R232A への応答時に、YES 以外の値が入力されました。

B8R238I *ddname* の処理が完了しました。
(Completed processing *ddname*)

説明

この進行メッセージは、*ddname* で指定された B8ROPTxx ファイルの処理が完了したことを示します。

B8R239E **ddname** を閉じることができません。(Cannot close ddname)

説明

ファイル *ddname* に CLOSE エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R240E **ESTAC: タスクがアベンドしました。コード =abndcode。クリーンアップして終了します。(ESTAC: Task ABENDED, Code=abndcode, cleanup and exit)**

説明

コマンドの実行中にアベンドが発生しました。エラー・リカバリー・ルーチンが一時 RACF 環境をクリーンアップし、処理を終了します。異常終了コード (*abndcode*) によっては、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R242E **ESTAM: タスクがアベンドしました。コード =abndcode。クリーンアップして終了します。(ESTAM: Task ABENDED, Code=abndcode, cleanup and exit)**

説明

IBM Security zSecure Admin RACF-Offline ルーチンの実行中にアベンドが発生しました。エラー・リカバリー・ルーチンが一時 RACF 環境をクリーンアップし、処理を終了します。異常終了コード (*abndcode*) によっては、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R244E **ESTAV: タスクがアベンドしました。コード =abndcode。クリーンアップして終了します。(ESTAV: Task ABENDED, Code=abndcode, cleanup and exit)**

説明

RACF コマンドの実行中にアベンドが発生しました。エラー・リカバリー・ルーチンが一時 RACF 環境をクリーンアップし、処理を終了します。異常終了コード (*abndcode*) によっては、電子サポート Web サイトを参

照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R246I **RACF データベースは使用中です。(RACF databases in use)**

説明

これは、B8RVARV LIST コマンドに対する応答の最初のメッセージです。使用されている RACF データベースの名前については、追加のメッセージを参照してください。

B8R247I **番号ボリューム データ・セット (Number Volume Dataset)**

説明

これは、使用されている RACF データベースのリストのヘッダー行です。実際の情報については、追加のメッセージを参照してください。

B8R248I **number volume dataset**

説明

このメッセージは、使用されている RACF データベースのシーケンス番号 (*number*)、ボリューム (*volume*)、およびデータ・セット名 (*dataset*) を表します。

B8R249I **割り振られていない RACF データベースがありません。(No RACF data base allocated)**

説明

このメッセージは、現在使用中のオフライン RACF データベースが存在しないことを示しています。このメッセージは回避しなければなりません。

B8R250E **ISPF 内部からのリプレイ中は LOGON コマンドがサポートされません。(LOGON command not supported during replay from within ISPF)**

説明

リプレイ・ファイルを ISPF 環境の内部から実行しているときは、LOGON コマンドを処理できません。リプレイ・ファイルを正常に実行するために LOGON コマンドが必要な場合は、B8REPLAY コマンドを B8R200A プロンプトで発行してください。

B8R251I **userid がログオンしました。(userid logged on)**

説明

userid は、オフライン RACF データベースに正常にログオンしました。オフライン RACF データベースからのユーザー許可が使用されます。

B8R252E RACINIT CREATE からの戻りコード *retcode-reascode* (Return code from RACINIT CREATE *retcode-reascode*)

説明

一時セキュリティー環境を作成する目的で使用した RACROUTE に障害が発生しました。このメッセージには、戻りコード (*retcode*) と理由コード (*reascode*) が含まれています。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R253E オフライン・データベースにユーザーが定義されていません。(User not defined in Offline database)

説明

ユーザー・プロファイルがオフライン RACF データベース内で見つからなかったため、指定されたユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。正しいユーザー ID が指定されていることを確認してください。

B8R254E パスワードが間違っています。(Incorrect password)

説明

オフライン RACF データベース内にある USERID に対して、指定したパスワードが間違っているため、指定されたユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。正しいユーザー ID/パスワードの組み合わせが指定されていることを確認してください。

B8R255E 有効期限が切れています (Password expired)

説明

オフライン RACF データベース内での USERID に対して、指定したパスワードの期限が切れているため、指定されたユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。LOGON user ID/password/newpass コマンドを使用して、新規パスワードを指定してください。

B8R256E 新規パスワードが無効です。(New password invalid)

説明

指定した新規パスワードが RACF に対して無効であるため、指定したユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。これが発生する理由としては、パスワードがパスワード・ヒストリーに存在する、パスワードが(システム RACF データベースの) インストール・パスワード規則に適合しない、またはパスワードがシステムの新規パスワード出口によって拒否されることが考えられます。有効な新規パスワードを指定します。

B8R257E オフライン・データベースでユーザーが取り消されています。(User is revoked in Offline database)

説明

指定したユーザーがオフライン RACF データベース内で取り消されているため、そのユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。これが発生する理由としては、明示的な REVOKE、非活動状態、または過度のパスワードの間違いが考えられます。このユーザーを再開する場合は、オフライン RACF データベース内のいずれかの許可ユーザーから ALTUSER コマンドを介して再開します。オフライン・データベースにログオンする前に ALTUSER コマンドを発行する場合は、システム RACF データベース内のシステム SPECIAL ユーザー ID からコマンドを発行して、取り消されたユーザーを再開できます。

B8R258I ユーザー ID が指定されていません。*userid* を使用します。(Userid not specified, using *userid*)

説明

有効なユーザー ID およびパスワードなしで LOGON コマンドが指定されました。オフライン RACF データベースにログオンするために、現行のシステム・ユーザー ID が使用されます。

B8R259E パスワードが欠落しています。(Password missing)

説明

LOGON コマンドでは、オフライン・データベースに対する有効なユーザー ID およびパスワードが必要です。パスワードは見つかりませんでした。少なくとも USERID とその後にスラッシュを指定し、プロンプトで正しいパスワードを指定してください。

B8R260E 作業域にアクセスできません。RC=*retcode* (Cannot access workarea, RC=*retcode*)

説明

コマンド実行モジュールが内部作業域にアクセスできません。N/T 検索ルーチンからの戻りコードは *retcode* です。[電子サポート Web サイト](#)を参照して、こ

のメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R261E メンバー名は許可されません。
(Membername not allowed.)コマンドは無視されます。

説明

RACFDB コマンドおよび LOGDS コマンドでは、区分データ・セット・メンバーの使用はサポートされていません。コマンド全体が処理されません。

ユーザーの処置

エラーを訂正し、必要なコマンドを再度出してください。

B8R262E 構文解析でエラーが発生しました。
RC=retcode (Error from parse,
RC=retcode)

説明

内部コマンドの構文解析を正常に実行できませんでした。戻りコードは *retcode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R264E DSNAME が欠落しています。終了します。(DSNAME missing, terminate)

説明

内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R265E DSNAME が欠落しています。終了します。(DSNAME missing, terminate)

説明

内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R266E 無効な SEQUENCE 番号です。終了します。(Invalid SEQUENCE number, terminate)

説明

現時点では、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline がサポートしている RACF データベースは、現行システム上のアクティブな RACF データベースと同じ方法で物理的に分割されているデータベースのみです。RACFDB コマンドに指定されているシーケンス番号には、物理データベースの現在の数より大きいシーケンス番号か、ゼロが指定されています。指定するシーケンス番号は、1 から、現行システムに定義されている物理 RACF データベースの数までの範囲にしてください。

B8R267E DSNAME が欠落しています。終了します。(DSNAME missing, terminate)

説明

内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R268I 使用する LOG データ・セットは LOG-dataset-Name です。(LOG data set to be used is LOG-dataset-Name)

説明

表示された LOG データ・セットが、すべての RACF コマンドを記録するために使用されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R269I 使用する REPLAY データ・セットは Replay-dataset-Name です。(REPLAY data set to be used is Replay-dataset-Name)

説明

表示された REPLAY データ・セットが、RACF コマンドのソースとして使用されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R270E 選択されている RACF DB は、RACF で制御されません。無視されます。(Use of selected RACF DB is not RACF controlled, ignored)

説明

RACFDB ステートメントに示されている RACF データベースの使用は、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを介しては制御されません。指定したデータベースを使用することはできません。処理は終了します。

B8R272E この RACF DB を使用することは許可されていません。無視されます。

(You are not authorized to use this RACF DB, ignored)

説明

RACFDB ステートメントに示されている RACF データベースの使用は許可されていません。処理は終了します。許可されている RACF データベースを指定するか、指定したデータベースを使用するための許可を得てください。

B8R273I RACF LOG ファイルがオープンされました。(RACF LOG file opened)

説明

このメッセージは、現行の LOG ファイルがオープンされたことを確認するものです。このコマンドが LOG ファイルに記録されます。

B8R274I 使用される RACF DB は RACF-DB-Name です。(RACF DB used is RACF-DB-Name)

説明

表示の RACF データベースは、すべての RACF コマンドに対して使用されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R275I RACF LOG ファイルが閉じられました。(RACF LOG file closed)

説明

このメッセージは、現行の LOG ファイルが閉じられたことを確認するものです。すべてのレコードは書き込み済みです。この LOG ファイルが今後使用されることはありません。

B8R276E RACF からの戻りコード *retcode* (Return code *retcode* from RACF)

説明

RACFDB アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R277I RACF LOG ファイルがリセットされました。(RACF LOG file reset)

説明

このメッセージは、現行の LOG ファイルがリセットされたことと、以前に記録されたすべてのコマンドが上書きされることを確認するものです。

B8R278E RACF LOG ファイルが見つかりません。(RACF LOG file not found)

説明

現在使用中の LOG ファイルはありません。このため、現在は B8RACFLG コマンドを使用できません。

B8R279I RACF LOG ファイルがフラッシュされました。(RACF LOG file flushed)

説明

このメッセージは、現行の LOG ファイルがフラッシュされたことを確認するものです。すべてのレコードは書き込み済みです。この LOG ファイルは、引き続き使用されます。

B8R280E SMF レコードの抑止は、RACF で制御されません。無視されます。(SMF Record suppression is not RACF controlled, ignored)

説明

SMF ステートメントで要求されているような SMF レコード抑止の使用は、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを介しては制御されません。このオプションは使用できません。処理は終了します。

B8R282E SMF レコードの抑止は許可されていません。無視されます。(You are not authorized to suppress SMF records, ignored)

説明

SMF ステートメントで要求されているような SMF レコード抑止の使用は許可されていません。処理は終了します。許可されている SMF 処理オプションを指定するか、SMF レコードを抑止するための許可を得てください。

B8R284I RACF SMF レコードは抑止されません。(RACF SMF records will be suppressed)

説明

オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドの実行時に生成される SMF レコードは抑止されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R285I RACF SMF レコードは抑止されません。(RACF SMF records will not be suppressed)

説明

オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドを実行するときに生成される SMF レコードは抑止されません。これは単なる通知メッセージです。

B8R286E **RACF からの戻りコード *retcode*
(Return code *retcode* from RACF)**

説明

SMF アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R287I **現行ログ・ファイルは *dsname* です。
(Current logfile is *dsname*)**

説明

このメッセージは、現在アクティブな LOG ファイルのデータ・セット名を示します。

B8R288I **アクティブな LOG ファイルはありません。
(No LOG file active)**

説明

現在使用中の LOG ファイルはありません。

B8R290E **SMF レコードの再番号付けは、RACF
で制御されません。(SMF Record
renumber is not RACF controlled)**

説明

SMF ステートメントで要求されているような SMF レコードの再番号付けの使用は、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを紹介しては制御されません。このオプションは使用できません。処理は終了します。

B8R292E **SMF レコードの再番号付けを許可さ
れていません。(You are not
authorized to renumber SMF
records)**

説明

SMF ステートメントで要求されているような SMF レコードの再番号付けの使用は許可されていません。処理は終了します。許可されている SMF 処理オプションを指定するか、SMF レコードの再番号付けを行うための許可を得てください。

B8R294I **RACF SMF レコードが再番号付けさ
れます。(RACF SMF records will be
renumbered)**

説明

オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドの実行時に生成される SMF レコードには、異なる SMF レコード・タイプ番号が割り当てられます。これは単なる通知メッセージです。

B8R295I **RACF SMF レコードは再番号付けさ
れません。(RACF SMF records will
not be renumbered)**

説明

オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドの実行時に生成される SMF レコードは、元の SMF レコード・タイプ番号を保持します。これは単なる通知メッセージです。

B8R296E **RACF からの戻りコード *retcode*
(Return code *retcode* from RACF)**

説明

SMF アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R297I **New80 の値 *SMF-Record-type-
number* (New80 value *SMF-Record-
type-number*)**

説明

RACF SMF レコードに、新規のレコード・タイプ番号が割り当てられます。レコード・タイプ 80 のレコードの場合、新規のレコード・タイプは *SMF-Record-type-number* になります。

B8R298I **New81 の値 *SMF-Record-type-
number* (New81 value *SMF-Record-
type-number*)**

説明

RACF SMF レコードに、新規のレコード・タイプ番号が割り当てられます。レコード・タイプ 81 のレコードの場合、新規のレコード・タイプは *SMF-Record-type-number* になります。

B8R299I **New83 の値 *SMF-Record-type-
number* (New83 value *SMF-Record-
type-number*)**

説明

RACF SMF レコードに、新規のレコード・タイプ番号が割り当てられます。レコード・タイプ 83 のレコードの

場合、新規のレコード・タイプは *SMF-Record-type-number* になります。

B8R300E 新規の **SMF-ID** の割り当ては、**RACF** で制御されません。無視されます。
(Assigning new **SMF-ID** is not **RACF** controlled, ignored)

説明

SMF ステートメントで要求されているような **SMF-ID** 再割り当ての使用は、IBM Security zSecure Admin **RACF-Offline** 固有のプロファイルを介しては制御されません。このオプションは使用できません。処理は終了します。

B8R302E 新規の **SMF-ID** を割り当てる権限がありません。無視されます。(You are not authorized to assign a new **SMF-ID**, ignored)

説明

オフライン **RACF** データベースへのアクセス時に作成されたすべての **SMF** レコードに対して、新規の **SMF-ID** を割り当てることは許可されていません。処理は終了します。許可されている **SMF** 処理オプションを指定するか、別の **SMF-ID** を割り当てるための許可を得てください。

B8R304I 新規の **SMF-ID**: *New-SMF-ID* (*New SMF-ID: New-SMF-ID*)

説明

オフライン **RACF** データベースにアクセスする **RACF** コマンドの実行時に生成される **SMF** レコードには、システム ID として値 *New-SMF-ID* が割り当てられます。これは単なる通知メッセージです。

B8R305I **SMF-ID** 設定は変更されませんでした。(SMF-ID setting not modified)

説明

オフライン **RACF** データベースにアクセスする **RACF** コマンドの実行時に生成される **SMF** レコードでは、以前の **SMF** コマンドで設定したときの **SMF** システム ID か、またはアクティブなシステムの **SMF-ID** が使用されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R306E **RACF** からの戻りコード *retcode*
(Return code *retcode* from **RACF**)

説明

SMF アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)

の『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R310E スキャン中にエラーが発生しました。**RC=retcode** (Error during scan, **RC=retcode**)

説明

TSO コマンド・スキャン・サービス・ルーチンから予想外の応答が返されました。戻りコードは *retcode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、[866 ページ](#)の『[IBM サポートへの連絡](#)』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R312I サポートされないコマンド:
command (Unsupported command: *command*)

説明

command は、**RACF-Offline** の下での実行がサポートされているコマンドの 1 つではありません。あるいは、現在の環境では使用できません。この事態は、zSecure **ISPF** ユーザー・インターフェースがアクティブである間に **RACF-Offline** が開始された場合に、zSecure コマンドで発生する可能性があります。

ユーザーの処置:

サポートされている (**RACF**) コマンドのうちの 1 つを入力してください。

B8R314E 無効なコマンド名構文です。
(Invalid command name syntax)

説明

入力されたコマンドは認識されません。最も可能性の高い理由は、コマンド名のタイプ入力エラーか、コマンド名とパラメーターまたはコマンド名とキーワードの間に入る空白の欠落です。

B8R315E **SPECIAL/NOSPECIAL** を指定する権限がありません (Not authorized to specify **SPECIAL/NOSPECIAL**)

説明

LOGON コマンドで **SPECIAL** または **NOSPECIAL** キーワードを指定するには、リソース *B8R.SPECIAL.master-racfdb-name* への **UPDATE** アクセス権限が必要です。ここで、*master-racfdb-name* は、最初または唯一のオフライン **RACF** データベースの名前です。一致するプロファイルが見つからないか、十分なアクセス権限がありません。属性の有効値は変更されません。

B8R316E **OPERATIONS/NOOPERATIONS** を指定する権限がありません (Not

**authorized to specify
OPERATIONS/NOOPERATIONS)**

説明

LOGON コマンドで OPERATIONS または NOOPERATIONS キーワードを指定するには、リソース B8R.OPERATIONS.master-racfdb-name への UPDATE アクセス権限が必要です。ここで、master-racfdb-name は、最初または唯一のオフライン RACF データベースの名前です。一致するプロファイルが見つからないか、十分なアクセス権限がありません。属性の有効値は変更されません。

B8R317E **AUDITOR/NOAUDITOR を指定する権限がありません (Not authorized to specify AUDITOR/NOAUDITOR)**

説明

LOGON コマンドで AUDITOR または NOAUDITOR キーワードを指定するには、リソース B8R.AUDITOR.master-racfdb-name への UPDATE アクセス権限が必要です。ここで、master-racfdb-name は、最初または唯一のオフライン RACF データベースの名前です。一致するプロファイルが見つからないか、十分なアクセス権限がありません。属性の有効値は変更されません。

B8R320E **nn が見つかりません。終了します。(Cannot find nn, exit)**

説明

内部エラーが発生しました。ここで、nn は内部診断番号です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R322E **nn のロード・エラーが発生しました。終了します retcode-reascode (Load error for nn, exit retcode-reascode)**

説明

内部エラーが発生しました。ここで、nn は内部診断番号です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R330E **command の開始時にエラーが発生しました。コード=retcode-reascode (Error starting command, Code=retcode-reascode)**

説明

指定したコマンドは、プログラム・ロード・ルーチンにエラーがあったため、開始できませんでした。retcode の共通の値は、806 および 306 です。この状態は、サポートされているすべてのコマンドで発生しないようにする必要があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R340E **新規の SMF-USER の割り当ては、RACF で制御されません。無視されます。(Assigning new SMF-USER is not RACF controlled, ignored)**

説明

SMF ステートメントで要求されているような USER 再割り当ての使用は、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを介しては制御されません。このオプションは使用できません。処理は終了します。

B8R342E **新規の SMF-USER を割り当てる権限がありません。無視されます。(You are not authorized to assign a new SMF-USER ignored)**

説明

RACF コマンド・レコード (SMF-80) に対して新規の USER を割り当てることは、許可されていません。処理は終了します。許可されている SMF 処理オプションを指定するか、別の USER を割り当てるための許可を得てください。

B8R344I **新規の SMF-USER: New-USER (New SMF-USER: New-USER)**

説明

RACF コマンドに対して生成される SMF レコードには、SMF80UID に値 New-USER が割り当てられます。これは単なる通知メッセージです。

B8R345I **SMF-USER 設定は変更されませんでした。(SMF-USER setting not modified)**

説明

RACF コマンドに対して生成される SMF レコードでは、元々の USER 値が SMF80UID に保持されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R346E **RACF からの戻りコード retcode (Return code retcode from RACF)**

説明

SMF アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R350W **RACF データベースのシスプレックス *sysplexname* との共有に誤りがある可能性があります。(Possible incorrect sharing of RACF database with *sysplex sysplexname*)**

説明

このメッセージが発行されるのは、オフライン RACF データベースがデータ共有モードで使用されていたことを RACF-Offline が検出した場合です。データベースをデータ共有モードで使用したシスプレックス (または複数のシスプレックスのうちの 1 つ) は、*sysplexname* で示されます。データベースがその他のシステムでは既に使用されていないことが確実である場合は、メッセージ B8R351A に対して「continue」と応答できます。確信を持っていない場合は、「end」と応答してください。

続行するには、プロファイル B8R.RACFDB <RACF データベース名> に対する CONTROL 以上のアクセス権限が必要です。これらの保護プロファイルについて詳しくは、「RACF システム・プログラマーのガイド」のセクション『不正なデータベース共有によって生じるデータ破壊に対するガード』を参照してください。

B8R351A **「CONTINUE」または「END」を入力してください。(Enter "CONTINUE" or "END")**

説明

このメッセージは、メッセージ B8R350W の続きとして発行されます。オフライン・データベースがその他のシステムでは既に使用されていないことが確実である場合は、「continue」と応答できます。その他の応答をすると、この RACF-Offline セッションが終了する結果になります。「continue」という応答は短縮できません。また、空白を含む他の文字を続けることもできません。

B8R352I **STEPLIB から LPA に SMF ルーチンを読み込むことができませんでした。RC=*retcode* (Could not load SMF routine from STEPLIB into LPA, RC=*retcode*)**

説明

この診断メッセージは、zSecure Admin SMF 出口ルーチンの新規コピーをシステム LPA に読み込むときに予想外のエラーが発生したことを示すために発行されます。追加情報がメッセージ B8R353I に表示されます。

B8R353I **詳細情報 *retcode-reascode* (Detail info *retcode-reascode*)**

説明

この診断メッセージは、メッセージ B8R352I の続きです。このメッセージには、CSVDYLPA 要求の詳細なエラー・コードおよび理由コードが示されます。

B8R354I **SMF 出口の古いコピーを LPA から削除するときにエラーが発生しました。RC=*retcode* (Error removing old copies of SMF exit from LPA, RC=*retcode*)**

説明

この診断メッセージは、zSecure Admin SMF 出口ルーチンの廃止コピーをシステム LPA から削除するときに予想外のエラーが発生したことを示すために発行されます。

B8R355I **DBSHIELD: ICHEINTY RC=*retcode* (DBSHIELD: ICHEINTY RC=*retcode*)**

説明

このメッセージは、内部の ICHEINTY から予想外の応答を受け取ったときに発行されます。戻りコードは *retcode* です。

B8R356I **DBSHIELD *appldata profile* が無効です。無視されます。(DBSHIELD *appldata profile* invalid, ignored)**

説明

このメッセージは、いずれかの IRRPLEX_ *sysplex* プロファイルの APPLDATA フィールドに無効値が検出されると発行されます。有効な *appldata* 値は、NON-DATA SHARING MODE および DATA SHARING MODE のみです。

B8R357I **DBSHIELD *appldata profile* が欠落しています。無視されます。(DBSHIELD *appldata profile* missing, ignored)**

説明

このメッセージは、いずれかの IRRPLEX_ *sysplex* プロファイルに APPLDATA 値が存在しなかった場合に発行されます。有効な *appldata* 値は、NON-DATA SHARING MODE および DATA SHARING MODE のみです。

B8R358I **DBSHIELD プロファイル管理エラーが発生しました。RC=*retcode-reascode* (DBSHIELD profile management error, RC=*retcode-reascode*)**

説明

このメッセージは、IRRPLEX_sysplex プロファイルの APPLDATA 値の更新時に障害が発生すると発行されます。

B8R359I **DBSHIELD** プロファイル管理エラーが発生しました。RC=retcode-reascode (DBSHIELD profile management error, RC=retcode-reascode)

説明

このメッセージは、IRRPLEX_sysplex プロファイルの削除に失敗すると発行されます。

B8R360E **New80** の値が欠落しています。(New80 value missing.)終了します。(Terminate)

説明

このエラー・メッセージは、NEW80 パラメーターの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R361E **New81** の値が欠落しています。(New81 value missing.)終了します。(Terminate)

説明

このエラー・メッセージは、NEW81 パラメーターの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R362E **New83** の値が欠落しています。(New83 value missing.)終了します。(Terminate)

説明

このエラー・メッセージは、NEW83 パラメーターの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R363E 新規の SMF-ID の値が欠落しています。(New SMF-ID value missing.)終了します。(Terminate)

説明

このエラー・メッセージは、SMF-ID パラメーターの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R364E 新規の SMF-USER が欠落しています。(New SMF-USER missing.)終了します。(Terminate)

説明

このエラー・メッセージは、SMF-USER パラメーターの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R365E **SMF** 処理を使用不可に設定することは、RACF で制御されません。無視されます。(Disabling SMF processing is not RACF controlled, ignored)

説明

SMF レコードの RACF-Offline 処理をすべて使用不可に設定する機能は、該当の RACF プロファイルを介しては制御されません。SMF レコードの RACF-Offline 処理をすべて使用不可に設定する要求は、拒否されます。SMF レコード処理の以前の状況は変更されません。

B8R366E **SMF** 処理を使用不可に設定する権限がありません。(You are not authorized to disable SMF processing.)無視されます。(Ignored)

説明

リソース B8R.SMF.ASIS に対する十分なアクセス権限がありません。SMF レコードの RACF-Offline 処理をすべて使用不可に設定する要求は、拒否されます。RACF-Offline による SMF レコード処理の現在の状況は、変更されません。

B8R367E **RACF** からの戻りコード retcode (Return code retcode from RACF)

説明

RACF-Offline による SMF 処理をすべて使用不可に設定するためのアクセス権限検査要求から、予想外のコードが返されました。

B8R368I **B8RACF** SMF 処理が使用不可に設定されました。(B8RACF SMF processing disabled)

説明

RACF-Offline が SMF レコードを変更して、オフライン RACF データベース内のプロファイルに対するアクセス権限または更新情報に関連していると明示的にマークを付けることはなくなります。オフライン RACF データベースに対する更新情報に関連した RACF SMF レコードは、システム RACF データベースに対する更新情報として作成されたレコードと区別できません。

B8R369I **B8RACF** SMF 処理は使用不可に設定されませんでした。(B8RACF SMF processing not disabled)

説明

RACF-Offline による RACF レコードの処理に関する以前の設定は変更されません。

B8R370W クラス *class* に対する RACROUTE LIST で障害が発生しました。
RC=retcode-reascode (RACROUTE LIST failed for class *class*, RC=retcode-reascode)

説明

一部のリソース・クラスでは、Offline コマンドによって実行された許可検査に正しいプロファイルが使用されていることを確認するために、RACF-Offline によってローカル RACLIST が実行されます。例えば、FIELD クラスや CKGRACF の使用許可に対しては、オフライン RACF データベースからのプロファイルを使用する必要があります。このメッセージが発行された場合は、ローカル RACLIST プロセスに障害が発生しています。「Security Server RACROUTE マクロ解説書」で、retcode/reascode を調べてください。

B8R371W クラス *class* に対する RACROUTE LIST で障害が発生しました。
RC=retcode-reascode (RACROUTE LIST failed for class *class*, RC=retcode-reascode)

説明

一部のリソース・クラスでは、Offline コマンドによって実行された許可検査に正しいプロファイルが使用されていることを確認するために、RACF-Offline によってローカル RACLIST が実行されます。例えば、FIELD クラスや CKGRACF の使用許可に対しては、オフライン RACF データベースからのプロファイルを使用する必要があります。このメッセージが発行された場合は、ローカル RACLIST の実行されたクラスのクリーンアップに障害が発生しています。「Security Server RACROUTE マクロ解説書」で、retcode/reascode を調べてください。

B8R372E ENV00 を準備できません (Cannot prepare ENV00)

説明:

RACF-Offline で使用する IRRENV00 の専用コピーを準備する際にエラーが発生しました。処理を続行できません。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R373E ENV00 を準備できません (Cannot prepare ENV00)

説明:

RACF-Offline で使用する IRRENV00 の専用コピーを準備する際にエラーが発生しました。処理を続行できません。

ユーザーの処置:

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R400I Setropts コマンドは現在サポートされていません。(Setropts command currently not supported)

説明

SETROPTS コマンドは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境では現在サポートされていません。

B8R410I RVARY コマンドは現在サポートされていません。(RVARY command currently not supported)

説明

RVARY コマンドは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境では現在サポートされていません。

B8R420I RACLINK コマンドは現在サポートされていません。(RACLINK command currently not supported)

説明

RACLINK コマンドは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境では現在サポートされていません。

B8R430I B8RACFLG コマンドは RACF-Offline でのみ有効です。(B8RACFLG Command only valid in RACF-Offline)

説明

B8RACFLG コマンドを発行できるのは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境の内部からに限りです。

B8R432I B8REPLAY コマンドは RACF-Offline でのみ有効です。(B8REPLAY Command only valid in RACF-Offline)

説明

B8REPLAY コマンドを発行できるのは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境の内部からに限りです。

B8R434I **B8RVARY コマンドは RACF-Offline
でのみ有効です。(B8RVARY
Command only valid in RACF-
Offline)**

説明

B8RVARY コマンドを発行できるのは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境の内部からに限ります。

B8R450I **コマンド #rc0 #rc4 #rc8**

説明

これは、現行の IBM Security zSecure Admin RACF-Offline セッション中に発行された RACF コマンドを要約しているメッセージ・ブロックの先頭行です。後続の B8R451I メッセージに、カウンターが表示されます。#rc0 列には、戻りコードが 0 で終了したコマンドの数が表示されます。他の 2 つの列には、戻りコードが 4 および 8 で終了したコマンドの数が表示されます。

B8R451I **Command #rc0 #rc4 #rc8**

説明

このメッセージは、数回繰り返されます。Command は RACF コマンドの名前であり、#rcn は、RACF コマンドが戻りコード n で終わっている回数を表します。

B8R452I **合計 #rc0 #rc4 #rc8 (Total #rc0
#rc4 #rc8)**

説明

これは、現行の IBM Security zSecure Admin RACF-Offline セッション中に発行された RACF コマンドを要約しているメッセージ・ブロックの最後の行です。この行は、発行された RACF コマンドの合計回数を示しています。

第 17 章 ICH メッセージおよび IRR メッセージ

zSecure Admin の zSecure Admin RACF-Offline 機能は RACF を内部で呼び出し、結果として RACF メッセージ (ICH および IRR) が発行されます。ただし、zSecure Admin RACF-Offline 環境では、以下のメッセージ索引で説明するように、一部の ICH および IRR メッセージが代替的な解釈および修正アクションを示す場合もあります。RACF の信頼できる標準的な説明は、RACF マニュアルに記載されています。

注: ICH メッセージおよび IRR メッセージに関する追加情報 (システム・プログラマーの応答オプションに関する説明など) は、以下の資料を参照してください。

- z/OS システムの場合は、z/OS インターネット・ライブラリー ([IBM Knowledge Center for z/OS](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/)) で、「Security Server RACF メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。
- z/VM システムの場合は、z/VM インターネット・ライブラリー (www.vm.ibm.com/library/) で「Security Server RACF メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。

ICH51003I NAME NOT FOUND IN RACF DATA SET

説明

このメッセージは、現行ユーザー (またはその現行グループ) がオフライン RACF データベース内で定義されておらず、ユーザーがアクティブな RACF データベース内で system-special (または system-auditor) 属性を持たない場合に発行されることがあります。このメッセージは、コマンドを発行するための現行ユーザーの権限を RACF が評価する必要がある場合のみ発行されます。

ユーザーの処置

LOGON コマンドを使用して、オフライン RACF データベースでのユーザー ID の定義を使用します。あるいは、現行のユーザー ID (およびその現行グループ) がオフライン RACF データベース内で定義されるようにするか、**アクティブな RACF データベース内のユーザーに system-special 属性を割り当てます。**

ICH51011I RACF マネージャーの処理がエラーのために終了しました。(RACF MANAGER PROCESSING ENDED DUE TO ERROR.) 戻りコード =return-code (RETURN CODE =return-code)

説明

このメッセージは、現行ユーザーがオフライン RACF データベース内で定義されておらず、ユーザーがアクティブな RACF データベース内で system-special (または system-auditor) 属性を持たない場合に発行されることがあります。このメッセージは、コマンドを実行するための現行ユーザーの権限を RACF が評価する必要がある場合のみ発行されます。

ユーザーの処置

LOGON コマンドを使用して、オフライン RACF データベースでのユーザー ID の定義を使用します。あるいは、現行のユーザー ID (およびその現行グループ) がオフライン RACF データベース内で定義されるようにするか、**アクティブな RACF データベース内のユーザーに system-special 属性を割り当てます。**

IRR52105I 動的解析テーブル内のフィールドがテンプレートで検出されません。(Field in dynamic parse table is not found in template.) システム・プログラマーに連絡してください。

説明

このエラー・メッセージが RACF オフライン環境の外部でも発生する場合、「Security Server RACF メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。このメッセージが RACF オフライン環境内で CSDATA 情報を処理する場合にのみ発生する場合、インストール・エラーが発生した可能性があります。最も可能性の高い原因は、各種 RACF モジュール間の不一致です。

ユーザーの処置

B8RENVXX モジュールが再作成されていること、およびこのモジュールが IRRENV00 に存在するのと同レベルの RACF コードを含むことを確認します (例えば csect IRRENV00 の見出しを確認します)。

ICH メッセージおよび IRR メッセージに関する追加情報 (システム・プログラマーの応答オプションに関する説明など) は、以下の資料を参照してください。

- z/OS システムの場合は、z/OS インターネット・ライブラリー (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSLTBW/) で、「Security Server RACF メッセージおよびコード」を参照してください。
- z/VM システムの場合は、z/VM インターネット・ライブラリー (www.vm.ibm.com/library/) で「z/VM RACF

Security Server メッセージおよびコード」を参照してください。

IRR52115I

RACF マネージャーの処理中のエラー。(Error during RACF manager processing.)戻りコードは **36** です。理由コードは **3** です。

説明

RACF はオフライン RACF データベース内の RACF データベース・テンプレートが現行バージョンの RACF コマンド・プロセッサに関してダウン・レベルであることを検出しました。現行バージョンの IRRMIN00 を確認し、オフライン RACF データベースに対して適切な入力を使用されていることを確認してください。

第 18 章 BB メッセージ

この章では、zSecure Visual を使用するときに表示される場合があるエラー・メッセージについて説明します。クライアント側では、これらのエラーがメインフレーム側での誤ったインストールの結果である可能性もあれば、権限上の問題が原因である可能性もあります。Visual サーバーのセットアップおよびクライアント権限の構成については、「*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド*」を参照してください。以下のリストでは、zSecure Visual クライアントが zSecure Visual サーバーにログインした後に表示される場合があるサーバー・エラー・メッセージに関する情報を示します。

BBn	メッセージ・テキストは、 <i>n</i> の値によって異なります。(The message text varies depending on the value of <i>n</i> .)	environment does not satisfy the requirements for program control.)
説明	BBn メッセージ (ここで <i>n</i> は 100000 未満の番号) については、資料「 <i>UNIX System Services</i> メッセージおよびコード」の『戻りコード一覧 (値順)』のセクションで『10 進値 <i>n</i> 』の項目を参照してください。	説明 必須モジュールのプログラム制御が行われていません。Visual サーバーのアドレス・スペースに読み込まれているすべてのロード・モジュール (およびプログラム・オブジェクト) は、プログラム制御する必要があります。さらに、Visual サーバー・ソフトウェアを格納しているファイル・システムは、SECURITY 属性および SETUID 属性を指定してマウントする必要があります。制御されていないモジュールは、MVS syslog のメッセージ CSV0421I で識別できます。 「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『zSecure Visual サーバーのセットアップおよび使用 (Setting up and using the zSecure Visual Server)』の章で、『インストール要件』および『ソフトウェアの所有者および場所の準備』を参照してください。 プログラム制御を設定したら、サーバーを再始動してください。
BB124	このプロセスに対して開いているファイル数が多すぎます。(Too many files are open for this process.)	
説明	サーバー・プロセスのファイル記述子の数が最大数に達しました。最大値を増大する方法については、「 <i>IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド</i> 」の『所有者、ディレクトリー、およびファイル・システムの設定 (Establishing owners, directories and file systems)』を参照してください。	BB100018 ユーザー・アドレス・スペースのストレージが残っていないため、ユーザーの数が最大に到達しました。(The maximum number of users has been reached because there is no user address space storage left)
BB146	シンボリック・リンクの数が多すぎます。(Too many levels of symbolic links)	
説明	プログラム (CKRCARLA または CKGRACF) からプログラムまでのシンボリック・リンクが、zSecure Visual サーバー・ソフトウェアが収容されているディレクトリー内に存在します。ジョブ C2RZWUNP によって作成されたファイルおよびリンク以外には、このディレクトリー内に存在しないことを確認してください。	説明 ユーザー・アドレス・スペースのストレージが使用できません。現在サーバーに接続されているクライアントが、使用可能なユーザー・アドレス・スペースをすべて使い果たしています。追加のクライアントを接続することはできません。
BB157	内部エラーが発生しました。	
説明	bbracf プログラムは、プログラム制御が行われていません。エラー BB100014 を参照してください。	BB200004 要求されたプログラム <i>program</i> が異常終了しました。(The requested program <i>program</i> has abended)
BB100014	この環境はプログラム制御の要件を満たしていません。(The	説明 このメッセージは、通常、CKRCARLA または CKGRACF を実行する権限をユーザーが持っていないため、システ

ム異常終了 913-38 (アクセスがセキュリティー・マネージャーによって拒否された)が発生していることを示します。

第 19 章 zSecure Visual のログ・メッセージ

Visual のサーバー・ログ・ファイル `server.log`、`server.logn`、`bbmini.log`、`bbmini.logn`、`bbracf.log`、`bbracf.logn`、および Visual のクライアント・ログ・ファイル `cesys`、`cesysn` には、それぞれ次のようにフォーマットされたメッセージが保管されます。

```
yyyyMMdd hh:mm:ss utc PpMmVv1.v2.v3.v4LlAaSsEn:id:msgbody
```

以下はサンプルのメッセージです。

```
<20181210 09:38:54 utc> P399M13V1.0.48.0L534A4S0E11:LDB: Opened database 'CADbase'
```

<u>yyyyMMdd hh:mm:ss</u> utc	UTC による年、月、日、時間、分、および秒を識別します。これは、当該のメッセージの発生原因になったイベントが発生した時刻 (UTC 時) を示します。
<u>PpMmVv1.v2.v3.v4Ll</u>	エラー・メッセージの発信元の正確な仕様を示すもので、Visual のソース・コードへのアクセス権限が付与された担当者に便利です。 p 製品タグ。 m カテゴリ・タグ。 v1.v2.v3.v4 カテゴリのバージョン。 l 行番号。
<u>Aa</u>	対象者コード。
<u>Ss</u>	内部重大度コード。
<u>En:id:msgbody</u>	同じメッセージ番号を共有するメッセージ、またはメッセージ・グループを特定します。 n <i>id</i> カテゴリ内のメッセージ番号。 id カテゴリ ID。 msgbody 当該メッセージの発生原因になったイベントの簡略説明。

zSecure Visual のメッセージ - 「Agent」 カテゴリ

0 エージェント: **Agent: argv[index]:**
<parameter>(Agent: argv[index]:
<parameter>)

説明

エージェントに渡された索引 *index* のパラメーターは *parameter* です。

重大度:

0

10 エージェント: **ExitFlag SET:**
exit_descr (exit_flag) が終了します
(Agent: ExitFlag SET: exit_descr
(exit_flag), going exit)

説明

exit_descr(exit_flag) シグナルを受け取ったために、エージェントがシャットダウンします。

重大度:

zSecure Visual のメッセージ - 「CA」 カテゴリー

10 CA: 終了しています。エージェント *agent* のインストールは取り消されました (CA: Exiting. Installation of agent *agent* canceled)

説明

エージェントがシャットダウンしているため、パートナー・エージェント *agent* のインストールは取り消されました。

重大度:
0

ージェントはインストールされていません。エージェント「*srcAgent*」のアダプター「*srcAdapt*」からの「*owner*」のメッセージ「*msg_id*」は無視されました。

説明

ISPF オプション SE.W を使用して、エージェント *agent* に対するワнтаイム・パスワードが要求されました。

重大度:
0

45 CA: エージェント *agent* のインストールの取り消しに失敗しました。エ

zSecure Visual のメッセージ - 「Crm」 カテゴリー

10 Crm: *log_description* が開かれました。製品: *product*、バージョン: *version*、作成日: *build*、現地時間: *localtime*(Crm: Opened *log_description*.Product: *product*.Version: *version*.Builddate: *build*.Local time: *localtime*.)

説明

Visual エージェントが始動され、ファイル *log_description* へのロギングを開始しました。

重大度:
0

説明

Visual エージェントはまもなくシャットダウンします。これは、ファイル *log_description* にエージェントが記録した最後のメッセージです。

重大度:
0

28 Crm: システム ID は *systemID* です (Crm: System ID is *systemID*)

説明

Visual サーバーはシステム *systemID* で実行中です。

重大度:
0

15 Crm: *log_description* が閉じられました (Crm: Closed *log_description*)

zSecure Visual のメッセージ - 「CRMCrypt」 カテゴリー

11 CRMCrypt: BBS 状態が生成されました (CRMCrypt: generated BBS state)

説明

エージェントが、疑似乱数の生成に使用できる構造体を作成しました。

重大度:
0

zSecure Visual のメッセージ - 「CrmlODB」 カテゴリー

10 **CrmlODB:** ファイル *filename* を開くことができません。アクセス権が拒否されました。スレッドには、指定されたファイル、ディレクトリー、コンポーネント、またはパスへのアクセス権がありません (**CrmlODB: Could not open file: filename; permission denied; the thread does not have access to the specified file, directory, component, or path**)

説明

エージェントは、*filename* を開くためのアクセス権がないため、このファイルを開けませんでした。エージェントが正しくインストールされている場合は、このような状態は発生しないはずです

ユーザーの処置

インストール手順とオプションに十分に注意して、エージェントをもう一度インストールしてください。

重大度:

12

zSecure Visual のメッセージ - 「Crypt」 カテゴリー

42 **Crypt:** エージェント「*partner*」とのセキュア・チャンネルを作成していません (**Crypt: Creating secure channel with agent 'partner'**)

ジを受信する準備ができました。このチャンネルを介して受信するメッセージは、署名されて暗号化されます。

重大度:
0

説明

エージェントは、エージェント *partner* との通信チャンネルを作成中です。このチャンネルを介して送信するメッセージは、署名されて暗号化されます。

重大度:

0

44 **Crypt:** エージェント「*partner*」とのセキュア・チャンネルを介してメッセージを受信する準備ができました (**Crypt: Ready to receive messages over secure channel with agent 'partner'**)

45 **Crypt:** エージェント「*partner*」とのセキュア・チャンネルは完全にアクティブです (**Crypt: Secure channel with agent 'partner' fully active**)

説明

エージェントは、エージェントとパートナー・エージェント *partner* との間の通信チャンネルを介してメッセージを送受信する準備ができました。このチャンネルを介して送受信するメッセージは、署名されて暗号化されます。

重大度:
0

説明

エージェントは、エージェントとパートナー・エージェント *partner* との間の通信チャンネルを介してメッセー

zSecure Visual のメッセージ - 「Dispatch」 カテゴリー

5 **ディスパッチ:** アダプター「*adapterid*」を開始しました (**Dispatch: Started adapter 'adapterid'**)

説明

adapterid というエージェント・コンポーネントが正常に開始されました。

重大度:
0

10 ディスパッチ: アダプター
「*adapterid*」を停止しました
(Dispatch: Stopped adapter
'*adapterid*') 重大度:
0

説明

adapterid という名前のエージェント・コンポーネントが正常にシャットダウンされました。

zSecure Visual のメッセージ - 「Engine」 カテゴリー

39 エンジン: エンジンが空のため、ハン
ドラーを削除できません (Engine:
Can't delete handler, because
engine is empty) 重大度:
0

説明

このメッセージは、エージェントがシャットダウンしようとしているときに発行されます。エージェント操作には影響ありません。

重大度:
0

40 エンジン: ハンドラーが見つかりま
せん (Engine: Can't find handler)

説明

このメッセージは、エージェントがシャットダウンしようとしているときに発行されます。エージェント操作には影響ありません。

重大度:
0

41 エンジン: エンジンが空のため、エン
ジンを始動できません (Engine:
can't start engine, because engine
is empty)

説明

始動時に克服できないエラーが発生したため、エージェントのコアを始動できません。

ユーザーの処置

インストール手順とオプションに十分に注意して、エージェントをもう一度インストールしてください。

重大度:
12

zSecure Visual のメッセージ - 「Fdcrmio」 カテゴリー

15 Fdcrmio: CRMIODriver: データベース *databasename* のオープン中にエラ
ー *error* が発生しました (Fdcrmio: CRMIODriver: error *error* opening
database *databasename*)

説明

データベース *databasename* を開こうとしているときに、番号 *error* で識別されるエラーが発生しました。

ユーザーの処置

インストール手順とオプションに十分に注意して、エージェントをもう一度インストールしてください。

重大度:
12

zSecure Visual のメッセージ - 「IPCser」 カテゴリー

30 IPCser: 「*program arguments*」を
開始しています (IPCser: Starting
'*program arguments*') 説明

エージェントの *program* コンポーネントを、引数 *arguments* を使用して開始しています。このコンポー

ネットは、メイン・エージェント・プロセスとは別のプロセスとして表示されます。

重大度:
0

60 **IPCSer: 「dest」との接続に失敗しました。rc: event (IPCSer: Failed to connect with 'dest' rc:event)**

説明

dest が「P:DEST_ANY:49152」であり、event が 2500 で、このメッセージがログ・ファイルに 1 回しか出ていない場合は、発生した接続障害は無害であり、エージェ

ントの始動には影響はありません。それ以外の場合は、接続障害がエージェントの始動に影響を与える可能性があります。

ユーザーの処置

重大度が 24 の場合のみ、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

dest が「P:DEST_ANY:49152」で event が 2500 で、かつメッセージがログ・ファイルに 1 回しか出ない場合は 0、それ以外の場合は 24。

zSecure Visual のメッセージ - 「LCM」 カテゴリー

20 **LCM: 不適切なエージェント証明書が検出されました。(Illegal Agent certificate encountered.)終了します (Exit)**

説明

証明書の形式に誤りがあることが検出されました。証明書データベース内にエラーが存在します。

ユーザーの処置

866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:
24

ユーザーの処置

866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:
24

160 **RemoveLCMCertificate メッセージ: message (RemoveLCMCertificate message: message)**

説明

データベースからの LCM 証明書の削除に問題があります。

ユーザーの処置

866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:
24

160 **NIST 800-131A に準拠していない証明書が一時的に許可されます (Non-NIST 800-131A compliant certificates are temporarily allowed)**

説明

クライアント・エージェントとサーバーの間で NIST 800-131A 準拠証明書の交換が完了するまでの間、NIST 800-131A に準拠していない証明書の使用が許可されます。

重大度:
4

160 **現在使用中の LCM 証明書 certificate は、NIST 800-131A に準拠していません (The LCM certificate in current use, certificate, is NIST 800-131A compliant.)**

説明

certificate 証明書は NIST 800-131A に準拠していません。

重大度:
0

160 **RemoveLCMCertificate: 証明書 certificate は削除されています (certificate certificate has already been removed)**

説明

証明書 certificate を削除しようとしたのですが、すでに削除されていたために削除できませんでした。

160 **現在使用中の LCM 証明書 serial_number は、NIST 800-131A に準拠していません。新しい LCM 証明書が seconds 秒後に生成されます (The LCM certificate in**

current use, serial_number, is not NIST 800-131A compliant. A new LCM certificate will be generated in about seconds seconds.)

800-131A 準拠モードで他のエージェントとすぐに通信できるようにするために、seconds 秒後に NIST 800-131A に準拠した証明書を生成します。

重大度:
4

説明

エージェントは、NIST 800-131A に準拠していない証明書を使用しています。エージェントは、NIST

zSecure Visual のメッセージ - 「LDB」 カテゴリー

11 LDB: データベース「*dbname*」が開かれました (LDB: Opened database '*dbname*')
説明
データベース *dbname* が正常に開かれました。
重大度:
0

説明

データベース要求が失敗しました。command と error の両方が 802 の場合、エージェント操作には影響はありません。

ユーザーの処置

重大度が 24 の場合のみ、866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

command および error の両方が 802 の場合は 0、command または error のいずれかが 802 ではない場合は 24。

12 LDB: 要求が失敗しました (コマンド、状態) = (command,error)(LDB: Request Failed (command,status) = (command,error))

zSecure Visual のメッセージ - 「Route」 カテゴリー

125 Route: 初期化中... (Initializing...)

説明

エージェントのコンポーネントの 1 つであるルート・アダプターを初期化しています。これはすぐに終了します。

重大度:
0

説明

エージェントがシャットダウンされているため、そのパートナー・エージェントのすべてに対する接続が閉じられます。

重大度:
0

130 Route: 終了中... すべての接続を閉じています。 (Exiting... Closing all connections.)

zSecure Visual のメッセージ - 「TCPIP Conn」 カテゴリー

35 TCPIP Conn: 引数が間違っています (TCPIP Conn: Wrong Argument)

説明

間違った関数引数が内部で使用されました。

ユーザーの処置

866 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:
24

55 TCPIP Conn: dest の接続を取り消すためのハンドルが見つかりませんでした (TCPIP Conn: Couldn't find

handle to cancel connection for dest)

説明

このメッセージは、エージェントがまもなくシャットダウンするときに発行されます。エージェント操作には影響はありません。

重大度:
0

230 TCPIP Conn: ソケットにバインドできません (エラー番号 *errno*) (TCPIP Conn: can't bind to socket (*errno* *errno*))

説明

エージェントがソケットにバインドできません。 *errno* コードが 1115 で、ログ・ファイルにこのメッセージが 1 回しか出ていない場合は、エージェントの操作には影響はありません。

ユーザーの処置

重大度が 24 の場合のみ、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

errno が 1115 でこのメッセージがログ・ファイルに 1 回しか出ない場合は 0。 *errno* が 1115 ではないか、このメッセージがログ・ファイルに複数回出る場合は 24。

245 TCPIP Conn: EventRecv: 読み取りなし?!?, 例外を受け取りました: event (TCPIP Conn: EventRecv: no read?!?, received exception: event)

説明

event が 3 の場合、この例外はエージェントの操作に影響はありません。

ユーザーの処置

重大度が 24 の場合のみ、[866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度:

event が 3 の場合は 0、*event* が 3 以外の場合は 24。

第 20 章 その他のエラー・メッセージ

この章では、zSecure Visual を使用するときが発生する可能性がある追加のエラー・メッセージについて説明します。エラー・メッセージのソースは、後続のセクションでメッセージ接頭部によって示します。

C エラー

C メッセージはインストールまたは構成が正しくない結果である可能性があります。クライアントのインストール、セットアップ、および構成についての情報は、*IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル* を参照してください。

LC エラー

LC607 失敗しました。(Get Failed.)

説明

ローカルの TCP/IP 通信が失敗しました。ローカル・エージェントに問題があるか、TCP/IP 通信に使用されるいずれかのポートに競合が発生しました。ポートの競合をトラブルシューティングするには、zSecure Visual が使用するポートをサーバー定義から検索します (ポートを見つけるには、メインメニューから「ファイル」>「Configure」を選択します)。デフォルトでは、サーバー・ポート番号およびサーバー・ポート番号 + 1 が使用されます。ローカル・ポートが定義される場合、サーバー・ポート + 1 の代わりにローカル・ポート + 1 が使用されます。マシンで使用されているポートを検査するには、コマンド・プロンプトから `netstat -a` コマンドを入力します。これにより、システムのアクティブな接続が表示されます。競合を回避するには、zSecure Visual によって使用されるポートが他のプロセスによって使用されないようにする必要があります。

EPR エラー

EPR エラーの最大の推定原因は、クライアントまたはサーバーの構成が正しくないことです。Visual Client の構成については、*IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル* を参照してください。Visual サーバーの構成については、*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド* を参照してください。また、「Edit server」ダイアログの「Test Connection」ボタンを使用して、サーバーが実行中であって到達可能であることを確認できます。このバージョンでは、ログオン後のエラー EPR13052 は無視できます。これは最初のログオンに極めて時間がかかる場合に発生します。

付録 A 問題解決に対するサポート

この節では、IBM 製品のサポートが得られる、以下のオプションについて説明します。

- [865 ページの『知識ベースの検索』](#)
- [865 ページの『フィックスの入手』](#)
- [865 ページの『IBM ソフトウェア・サポートへの登録』](#)
- [866 ページの『各週のサポート更新情報の入手』](#)
- [866 ページの『IBM サポートへの連絡』](#)

知識ベースの検索

使用可能な IBM の知識ベースを検索して、その問題に対する解決策が既に文書化されているかどうかを判別することができます。

IBM サポート・コミュニティ (www.ibm.com/mysupport/) を使用して、検索結果を最適化する方法を確認してください。

IBM Security zSecure Suite の IBM Knowledge Center に加え、以下のテクニカル・リソースにアクセスして質問の回答および問題の解決について支援を受けることもできます。

- 技術情報、APAR (問題報告書)、およびその他の関連情報を表示するには、[IBM サポート・コミュニティ](#) にアクセスしてください。
- zSecure の最新の Redbook を見つけるには、[IBM Redbooks® サイト](#) にアクセスしてください。
- [zSecure コミュニティ](#) にアクセスしてください。

フィックスの入手

以下は英語のみの対応となります。お客様の問題の解決に、プロダクトのフィックスが有効な場合があります。ご使用の IBM Security zSecure ソフトウェア・プロダクトに使用可能なフィックスにどのようなものがあるかを調べるには、以下のステップを実行してください。

1. [IBM サポート・コミュニティ](#) に移動します。
2. 検索フィールドに、zSecure recommended fixes と入力します。
3. 目的の IBM Security zSecure 製品を選択します。
4. 「**Fixes by Version**」、または目的のバージョンの **PSP (予防サービス計画)** を選択します。

問題と一致する記述がない場合は、[IBM サポート・コミュニティ](#) の検索フィールドに、検索語、エラー・コード、またはフィックス番号あるいは APAR 番号を指定します。

使用可能なフィックスの種類について詳しくは、「[IBM サポート・ガイド](#)」を参照してください。

IBM ソフトウェア・サポートへの登録

Case をオープンして、IBM 製品に関するフィックスなどのニュースについての週次の E メール更新情報を受信するには、[IBM サポート・コミュニティ](#) に登録する必要があります。[IBM サポート・コミュニティ](#) に登録するには、次の手順に従ってください。

1. IBM アカウントを作成するか、[IBMID](#) に登録します。
2. IBM ID 登録フォームへの入力完了したら、「**Submit**」をクリックします。

フォームに指定した E メール・アドレスがユーザー名 (IBM ID) になります。

IBM サポート・コミュニティへのログインや Case の表示で問題が発生した場合は、問題を記述する E メールを mysphelp@us.ibm.com に送信してください。

各週のサポート更新情報の入手

週次 E メール通知サービスを申し込むには、IBM ソフトウェア・サポートに登録する必要があります。865 ページの『[IBM ソフトウェア・サポートへの登録](#)』を参照してください。

以下は英語のみの対応となります。フィックスおよびその他のソフトウェア・サポートに関する情報についての通知を、週次 E メールで受信するには、以下のステップを実行してください。

1. Stay up to date サイト (www.ibm.com/software/support/einfo.html) にアクセスします。
2. 「**My notifications**」または「**Subscribe now!**」ボタンをクリックします。
3. 「**Subscribe to notifications**」フィールドに、目的とする製品名を入力します。入力していくと、使用可能な製品のリストがドロップダウン・ウィンドウに表示されます。
4. 登録する各製品の「**Subscribe**」をクリックします。
5. 登録する製品ごとに、受信したい文書タイプを選択して「**Submit**」をクリックします。ドロップダウン・リストのその製品の個所に「**Subscribed**」が表示されます。登録を取り消すには「**Unsubscribe**」をクリックします。
6. 必要な製品をすべて選択したら、右上隅または選択可能な製品のドロップダウン・リストにある「**x**」をクリックしてリストを閉じます。「**Product subscriptions**」セクションに、登録したすべての製品がリストされます。
7. 「**Delivery preferences**」をクリックし、すべての登録について Eメールの頻度および形式を選択します。Eメール・アドレスを変更したり、機械翻訳を含めるように選択したりすることもできます。

「**My notifications**」機能で問題が発生した場合は、その問題について説明した Eメールを erchelp@ca.ibm.com に送信してください。

IBM サポートへの連絡

IBM サポートでは、製品の問題点に関するサポートや、よくある質問 (FAQ) への回答を提供するほか、ユーザーが製品に関する問題を解決するのを支援しています。

IBM サポートに連絡するには、ユーザーの企業が有効な IBM ソフトウェア・サブスクリプションおよびサポート契約を保持し、ユーザーが IBM に問題を送信する権限を持っている必要があります。利用できるソフトウェア・サポートの種類については、「[IBM サポート・ガイド](#)」の『[サポート・オファリング](#)』トピックを参照してください。

問題に関して IBM サポートにお問い合わせいただくには、以下の手順を実行してください。

1. [866 ページの『ビジネス・インパクトの判別』](#)
2. [867 ページの『問題の説明と情報の収集』](#)
3. [867 ページの『IBM サポートへの問題の送信』](#)

ビジネス・インパクトの判別

したがって、報告する問題のビジネス・インパクトを理解し、評価する必要があります。以下の基準を使用してください。

重大度 1

この問題は、重大なビジネス・インパクトがあります。プログラムを使用できなくなり、その結果、業務に重大な影響が及びます。この状態は、即時の解決策を必要とします。

重大度 2

この問題は、大きなビジネス・インパクトがあります。プログラムは使用可能ですが、かなり限定されます。

重大度 3

この問題は、ある程度のビジネス・インパクトがあります。プログラムは使用可能ですが、重要性の低い(業務にとって重大でない)機能が使用できません。

重大度 4

この問題は、わずかなビジネス・インパクトです。問題は業務にほとんど影響を及ぼさないか、または、この問題に対する妥当な回避策が実施されました。

問題の説明と情報の収集

問題を報告する際には、可能な限り具体的に説明してください。IBM ソフトウェア・サポート・スペシャリストがお客様の問題の解決を効率的にお手伝いできるように、関連する背景情報もすべて含めてください。時間を節約するために、以下の質問の答えを用意してください。

- 問題が発生したときに実行していたソフトウェアのバージョンは？
- 問題の症状に関係のあるログ、トレース、およびメッセージがありますか？IBM サポートは、以下の情報の提供をお願いすることがよくあります。
- 問題を再現させることができますか？ その場合、どのステップを実行したらこの問題が再現されますか？
- システムに何か変更を行いましたか？ 例えば、ハードウェア、オペレーティング・システム、ネットワーキング・ソフトウェアなどの変更を行いましたか？
- 現在、この問題に対する回避策を使用していますか？ その場合は、問題を報告されるときに、その回避策について説明する準備もお願いします。

IBM サポートへの問題の送信

問題を IBM ソフトウェア・サポートに処理依頼するには、以下の 2 つの方法のいずれかをご利用いただけます。

Web

Web から問題を送信するには、[IBM サポート・コミュニティー](#)で、新しい Case をオープンします。まだサインインしていない場合は、[IBM ID](#) およびパスワードを使用してサインインする必要があります。詳しくは、[IBM サポート・コミュニティー](#)の情報を参照してください。

電話

お客様の国から電話をかける場合の電話番号については、[Directory of worldwide contacts](#) にアクセスしてください。案内に従って、必ず [IBM セキュリティー・アプライアンス](#)に関するサポートや質問の要求に該当するソフトウェア・サポートのオプションを選択してください。

IBM セキュリティー製品に関する情報

- [IBM Knowledge Center の IBM Security zSecure Suite 関連資料](#)
- [IBM Community フォーラム: zSecure Suite](#)
- [IBM Knowledge Center の IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 関連資料](#)
- [Accessing Product Documentation for IBM Security products](#)
- [インターネット上の IBM セキュリティー製品の情報](#)

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス 渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示 もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムと その他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation

224A/101

11400 Burnet Road

Austin, TX 78758 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。

ん。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っていません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IT Infrastructure Library は AXELOS Limited の登録商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

ITIL は AXELOS Limited の登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Cell Broadband Engine は、Sony Computer Entertainment, Inc. の米国およびその他の国における商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Linear Tape-Open、LTO、LTO ロゴ、Ultrium および Ultrium ロゴは、HP、IBM Corp. および Quantum の米国およびその他の国における商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。
なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アクセシビリティ [xii](#)
インターネット、検索 [865](#)
インフォメーション・センター、検索 [865](#)
エラー
 BB100018 [853](#)
 BB124 [853](#)
 BB146 [853](#)
 BB157 [853](#)
 BB200004 [854](#)
 LC607 [863](#)
 nが100000より小さい場合のBBn [853](#)
 zSecure Visual クライアント [863](#)
お客様サポート
 検索のヒント [865](#)
 サポート・ツールを使用した検索 [865](#)
 知識ベースの検索 [865](#)
 登録 [865](#)
オンライン
 資料 [vii, x](#)
 用語 [vii](#)

[カ行]

研修 [xii](#)

[サ行]

サポート [865](#)
重大度コード [153](#)
条件コード [153](#)
資料
 アクセス、オンライン [vii, x](#)
 本製品用のリスト [vii, x](#)
 ライセンス出版物の入手 [vii](#)
スパン・レコード
 VSAM [18](#)
セグメント
 スパン VSAM レコード [18](#)
ソフトウェア・サポート
 受信、各週の更新情報 [866](#)
 連絡 [866](#)

[タ行]

知識ベース
 検索のヒント [865](#)
 サポート・ツールを使用した検索 [865](#)
 知識ベースの検索 [865](#)
通信エラー [863](#)
トラブルシューティング [xii](#)

[ハ行]

フィックス、入手 [865](#)
ポート
 競合 [863](#)
ポリシー・プロファイル
 メッセージ [791](#)

[マ行]

メッセージ
 エンタープライズ・エラー [863](#)
 クライアント [863](#)
 ローカル通信エラー [863](#)
 C2RU161 [770](#)
 C2RU162 [770](#)
 C2RU163 [770](#)
戻りコード [153](#)
問題判別 [xii](#)

[ヤ行]

用語 [vii](#)

[ラ行]

ライセンス文書 [vii](#)
リソースのコピー [333](#)
リソースの削除 [331](#)

[数字]

3350
 コンソール上のメッセージ [7](#)

A

ADDSD [222, 255](#)
ALTDSD
 NOTIFY [249, 250](#)
 DELVOL [251](#)
 NODFP [253, 254, 256](#)
 NONOTIFY [252](#)
 OWNER
 メッセージ内の [218](#)
ALTGROUP
 OWNER [219](#)
ALTUSER
 DFLTGRP [256](#)
 OWNER [219](#)
 REVOKE [256](#)
APF
 許可 [221](#)

B

B8R メッセージ
重大度 [831](#)
BB メッセージ [853](#)
BB100018 [853](#)
BB124 [853](#)
BB146 [853](#)
BB157 [853](#)
BB200004 [854](#)

C

C エラー [863](#)
C2P メッセージ
完了コード [667](#)
重大度 [667](#)
戻りコード [667](#)
C2R メッセージ [749](#)
C2RU メッセージ [765](#)
C2RW メッセージ [773](#)
C2X メッセージ
完了コード [775](#)
重大度 [775](#)
戻りコード [775](#)
C2XACTV メッセージ [775](#)
C4R メッセージ
重大度 [791](#)
CKF メッセージ
完了コード [5](#)
重大度 [5](#)
戻りコード [5](#)
CKG メッセージ
完了コード [103](#)
重大度 [103](#)
戻りコード [103](#)
CKGRACF メッセージ [103](#)
CKN メッセージ
完了コード [153](#)
重大度 [153](#)
戻りコード [153](#)
CKNSERVE メッセージ [153](#)
CKQ メッセージ
完了コード [201](#)
重大度 [201](#)
戻りコード [201](#)
CKQEXSMF プログラム・メッセージ [201](#)
CKR メッセージ
完了コード [205](#)
重大度 [205](#)
戻りコード [205](#)
CKRCARLA メッセージ [205](#)
CKV メッセージ
完了コード [599](#)
重大度 [599](#)
戻りコード [599](#)
CKX メッセージ
完了コード [613](#)
重大度 [613](#)
戻りコード [613](#)
CMD reject [7](#)
CONNECT
OWNER [219](#)
VERIFY [220](#)

CQT メッセージ [643](#)

D

DASDVOL [221](#)
DEFINE ALIAS [333](#)
DELDSD
GENERIC [222](#)
NOSET
メッセージ内の [216](#)
DELETE
ALIAS [333](#)
PERMIT
メッセージ内の [216-218](#)
DELMEM
RALTER
メッセージ内の [216](#)
DELUSER [257](#)
DFLTGRP
ALTUSER [256](#)
DFP
VVDS [221](#)

E

EDT [6](#)
EPR エラー [863](#)
Error
ローカル通信 [863](#)

I

IBM
ソフトウェア・サポート [xii](#)
Support Assistant [xii](#)
IBM Security zSecure Visual サーバー・メッセージ [773](#)
ICH メッセージ [851](#)
IDCAMs
DIAGNOSE [221](#), [223](#), [331](#)
INDICATED
VERIFY
メッセージ内の [215](#)
IOCH [6](#)
IODN [6](#)
IRR メッセージ [851](#)
IRRUT200
推奨される場合 [210](#), [211](#)

L

LC エラー [863](#)
Log
エンタープライズ [863](#)
LPBT [6](#)

N

n が 100000 より小さい場合の BBn [853](#)
NODFP
ALTDSD [253](#), [254](#), [256](#)
NONOTIFY
ALTDSD [252](#)
RALTER [253](#)

O

ONVOLUME
 VERIFY
 メッセージ内の [216](#)
OWNER
 ALTDSD
 メッセージ内の [218](#)
 ALTGROUP [219](#)
 ALTUSER [219](#)
 CONNECT [219](#)
 RALTER [219](#)

P

PADS
 メッセージ内の [206](#), [209](#), [230](#), [284](#), [376](#)
 VERIFY [216](#), [265](#), [395-397](#)
PERMIT
 DELETE
 メッセージ内の [216-218](#)
 REMOVE
 メッセージ内 [218](#)
 メッセージ内の [216-218](#)
 VERIFY
 メッセージ内 [218](#)
 メッセージ内の [216-218](#)
PROGRAM
 VERIFY
 メッセージ内の [216](#)
PROTECTALL
 VERIFY [221-223](#), [255](#), [256](#)

R

RACF Offline メッセージ [831](#)
RALTER
 NOTIFY [249](#), [257](#)
 ADDMEM [274](#), [275](#)
 DELMEM
 メッセージ内の [216](#)
 NONOTIFY [253](#)
 OWNER [219](#)
RCVT [6](#)
RDEL
 RDEL [253](#)
REDUNDANT
 REMOVE [222](#), [223](#)
REMOVE
 PERMIT
 メッセージ内 [218](#)
 メッセージ内の [216-218](#)
 REDUNDANT [222](#), [223](#)
REVOKE
 ALTUSER [256](#)

S

SSVT [6](#)
STGS [6](#)

T

TCP
 ポートの競合 [863](#)

V

VERIFY
 CONNECT [220](#)
 INDICATED
 メッセージ内の [215](#)
 NOTEMPTY [222](#)
 ONVOLUME
 メッセージ内の [216](#)
 PADS [216](#), [265](#), [395-397](#)
 PERMIT
 メッセージ内 [218](#)
 メッセージ内の [216-218](#)
 PROGRAM
 メッセージ内の [216](#)
 PROTECTALL [221-223](#), [255](#), [256](#)
VVDS
 プロファイル [221](#)

Z

z/VM 用の zSecure Collect メッセージ [599](#)
zSecure CICS Toolkit メッセージ [643](#)
zSecure Alert メッセージ [667](#)
zSecure Command Execution Utility メッセージ [613](#)
zSecure Command Verifier メッセージ [791](#)
zSecure Manager for RACF z/VM メッセージ [599](#)
zSecure SMF Collector メッセージ [201](#)
zSecure Visual クライアント・エラー [863](#)
zSecure Visual クライアント通信エラー [863](#)
zSecure Visual メッセージ [853](#)

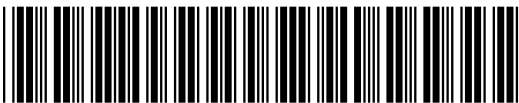
[特殊文字]

zSecure Visual クライアント・メッセージ [765](#)
NOTIFY
 ALTDSD [249](#), [250](#)
 RALTER [249](#), [257](#)
 REMOVE [252](#), [255](#)
z/OS 用のメッセージ [5](#)



部品番号:

SA88-7160-07



(1P) P/N: